# 労災保険業務機械処理事務手引

（年金・一時金業務）

平成２３年

厚生労働省労働基準局

目次

Ⅰ　基本的事項
1　労働基準行政システム（年金・一時金業務）の概要　Ⅰ-1-1
(1)　システムの目的　Ⅰ-1-1
(2)　労働基準行政システム（年金・一時金業務）の概要　Ⅰ-1-1
(3)　システムの対象給付　Ⅰ-1-2
2　端末装置の用語　Ⅰ-2-1
3　基本用語　Ⅰ-3-1
(1)　給付キー　Ⅰ-3-1
(2)　データ受付番号（20 桁）　Ⅰ-3-3
(3)　キャンセル　Ⅰ-3-4
(4)　用語集　Ⅰ-3-5
4　台帳の種類　Ⅰ-4-1
5　運用管理　Ⅰ-5-1
(1)　帳票入力・検索時間　Ⅰ-5-1
(2)　操作カードの使用　Ⅰ-5-1
(3)　ブザーの短鳴動　Ⅰ-5-1
(4)　端末装置障害時の代行入力　Ⅰ-5-1
(5)　直接印刷・自動配信の帳票の再印字　Ⅰ-5-1
6　入出力帳票一覧　Ⅰ-6-1
(1)　入力帳票一覧　Ⅰ-6-1
(2)　出力帳票一覧　Ⅰ-6-2
7　時効の取り扱い　Ⅰ-7-1
8　文書報告事案　Ⅰ-8-1

Ⅱ　機械処理事務
1　請求から支払までの処理の流れ　Ⅱ-1-1
2　支給決定処理　Ⅱ-2-1
（受付処理・登記処理）　Ⅱ-2-4
(1)　給付の種類及び入力帳票　Ⅱ-2-6
(2)　登録票　Ⅱ-2-7
(3)　入力票　Ⅱ-2-64
(4)　外国払入力票　Ⅱ-2-101
（決議処理）　Ⅱ-2-130
(5)　支給決定決議書　Ⅱ-2-131
3　変更処理　Ⅱ-3-1
（受付処理・登記処理）　Ⅱ-3-4
(1)　変更票　Ⅱ-3-5
（決議処理）　Ⅱ-3-210
(2)　変更決議書　Ⅱ-3-211

4　訂正処理　Ⅱ-4-1
（受付処理・登記処理）　Ⅱ-4-4
(1)　訂正票　Ⅱ-4-5
（決議処理）　Ⅱ-4-93
(2)　訂正決議書　Ⅱ-4-94
5　就学等援護費処理　Ⅱ-5-1
（受付処理・登記処理）　Ⅱ-5-4
(1)　就学等援護費申請書　Ⅱ-5-5
（決議処理）　Ⅱ-5-20
(2)　就学等援護費決議書　Ⅱ-5-21
6　住所・氏名等変更処理　Ⅱ-6-1
(1)　住所・氏名等変更届　Ⅱ-6-3
(2)　外国払入力票　Ⅱ-6-11
7　債務者登録処理　Ⅱ-7-1
(1)　債務者登録票　Ⅱ-7-2
8　定期報告入力処理　Ⅱ-8-1
(1)　定期報告入力票（年金）　Ⅱ-8-6
(2)　定期報告入力票（援護費）　Ⅱ-8-19
（打鍵入力処理）　Ⅱ-8-31
(3)　定期報告書未提出者リスト配信要求　Ⅱ-8-32
9　出力帳票等　Ⅱ-9-1
(1)　年金証書　Ⅱ-9-2
(2)　支給決定通知書　Ⅱ-9-7
(3)　不支給決定通知書　Ⅱ-9-24
(4)　変更決定通知書　Ⅱ-9-29
(5)　不変更決定通知書　Ⅱ-9-61
(6)　援護費通知書　Ⅱ-9-70
(7)　年金・一時金入力結果票　Ⅱ-9-83
(8)　年金年額リスト　Ⅱ-9-86
(9)　遺族（補償）年金資格者一覧　Ⅱ-9-90
(10)　年金内訳リスト　Ⅱ-9-94
(11)　一時金内訳リスト　Ⅱ-9-107
(12)　定期報告書提出照会状・内容照会状　Ⅱ-9-122
(13)　被災者情報リスト　Ⅱ-9-129
(14)　計算式リスト　Ⅱ-9-133
(15)　メッセージリスト　Ⅱ-9-156

Ⅲ　支払事務等
1　支払事務の流れ　Ⅲ-1-1
(1)　支払事務の概要　Ⅲ-1-1

(2)　支払期月と支払開始日　Ⅲ-1-1
(3)　支払方法　Ⅲ-1-1
(4)　振込通知書及び送金通知書の通知方法　Ⅲ-1-2
(5)　振込通知書の表示方法　Ⅲ-1-2
2　支払機関の変更に掛かる留意事項　Ⅲ-2-1
(1)　住所・氏名等変更届等が入力締切日までに入力された場合　Ⅲ-2-1
(2)　住所・氏名等変更届等が入力締切日までに入力されなかった場合　Ⅲ-2-1
3　支払いに関する事故処理　Ⅲ-3-1
(1)　金融機関振込みに係る事故処理　Ⅲ-3-1
(2)　ゆうちょ銀行払に係る事故処理　Ⅲ-3-2
4　受給権者死亡の場合の留意事項　Ⅲ-4-1
(1)　支払取消　Ⅲ-4-1
(2)　未支給年金の発生と支払　Ⅲ-4-1
5　債権管理について　Ⅲ-5-1
(1)　過誤払による債権の発生　Ⅲ-5-1
(2)　不正受給による債権管理について　Ⅲ-5-2
(3)　内払・充当処理について　Ⅲ-5-2
6　受給権者への指導等　Ⅲ-6-1
(1)　受給権者への指導　Ⅲ-6-1
(2)　受給権者に対する通知の送付　Ⅲ-6-1
7　様式等　Ⅲ-7-1

Ⅳ　業務資料
1　日報・月報・年計表　Ⅳ-1-1
(1)　業務処理日報　Ⅳ-1-2
(2)　月計表　Ⅳ-1-6
(3)　年計表　Ⅳ-1-8
2　未処理事案リスト　Ⅳ-2-1
(1)　厚年等未処理リスト　Ⅳ-2-2
(2)　内払充当未処理リスト　Ⅳ-2-5
(3)　失権差額一時金・未支給年金未処理リスト　Ⅳ-2-7
(4)　支払事故未処理リスト　Ⅳ-2-9
(5)　データ未入力リスト　Ⅳ-2-11
(6)　転給未処理リスト　Ⅳ-2-13
(7)　データ登記未処理リスト　Ⅳ-2-15
(8)　決議書未入カリスト　Ⅳ-2-17
(9)　厚年情報照合リスト　Ⅳ-2-19
(10)　被災者別未処理事案リスト（局用）　Ⅳ-2-22
(11)　被災者別未処理事案リスト（署用）　Ⅳ-2-24
3　処理件数リスト　Ⅳ-3-1

(1)　年金・一時金処理件数リスト（登録）（署用）　Ⅳ-3-2
(2)　年金・一時金処理件数リスト（変更）（署用）　Ⅳ-3-5
(3)　年金・一時金処理件数リスト（訂正）（署用）　Ⅳ-3-11
4　支払情報リスト　Ⅳ-4-1
(1)　受給権者金融機関変更リスト　Ⅳ-4-2
(2)　指定年齢到達予定者リスト（署用）　Ⅳ-4-4
(3)　支給停止解除予定者リスト　Ⅳ-4-7
(4)　支払取消リスト　Ⅳ-4-10
(5)　支払事故通知リスト　Ⅳ-4-12
(6)　支払回収データリスト　Ⅳ-4-15
(7)　支払差止者リスト（署用）　Ⅳ-4-17
(8)　決議書破棄リスト（署）　Ⅳ-4-20
(9)　支払不備リスト（局用）　Ⅳ-4-22
5　定期報告関係リスト　Ⅳ-5-1
(1)　所在不明差止者リスト　Ⅳ-5-2
(2)　未提出状況リスト　Ⅳ-5-4
(3)　住基突合不備結果リスト　Ⅳ-5-6
6 局署管理資料　Ⅳ-6-1
(1)　年金支払明細表　Ⅳ-6-2
(2)　年金額等変更リスト　Ⅳ-6-5
(3)　局署別年金基本権件数・支払額リスト　Ⅳ-6-7
(4)　未処理事案リスト（局用）　Ⅳ-6-9
(5)　転帰者一覧表（局用）　Ⅳ-6-12
(6)　支払差止者リスト（局用）　Ⅳ-6-14
(7)　援護費支給開始メッセージリスト　Ⅳ-6-16
(8)　援護費月額改定変更リスト　Ⅳ-6-18
(9)　援護費月額改定未支給金リスト　Ⅳ-6-20
7　リスト等の保存期間　Ⅳ-7-1
8　受給権者に対する通知　Ⅳ-8-1
(1)　労災年金の支給開始についてのお知らせ　Ⅳ-8-2
(2)　遺族補償年金についてのお知らせ　Ⅳ-8-4
(3)　特別遺族年金についてのお知らせ　Ⅳ-8-6
(4)　労災保険年金支払額についてのお知らせ　Ⅳ-8-8
(5)　特別遺族年金支払額についてのお知らせ　Ⅳ-8-11
(6)　労災保険年金等送金通知書　Ⅳ-8-13
(7)　特別遺族年金送金通知書　Ⅳ-8-15
(8)　労災保険年金等振込通知書　Ⅳ-8-17
(9)　労災保険年金等振込通知書（外国払）　Ⅳ-8-19
(10)　労災保険年金等振込通知書（ゆうちょ銀行振込）　Ⅳ-8-21
(11)　特別遺族年金振込通知書　Ⅳ-8-23

(12)　特別遺族年金振込通知書（外国払）　Ⅳ-8-25
(13)　特別遺族年金振込通知書（ゆうちょ銀行振込）　Ⅳ-8-27
(14)　スライド等率の改定等による）変更決定通知書　Ⅳ-8-29

Ⅴ　別　表
1　傷病等級表　Ⅴ-1-1
2　障害等級表　Ⅴ-2-1
3　特別加入者の適用年月　Ⅴ-3-1
4　資格者枝番号　Ⅴ-4-1
5　厚年等種別に対応する厚年等基礎年金番号及び年金コード一覧（平成９年１月現在）　Ⅴ-5-1
6　厚生年金等との調整　Ⅴ-6-1
7　外国コード表（50 音順）　Ⅴ-7-1
8　年金給付基礎日額算出方法　Ⅴ-8-1
9　差額種別コード表　Ⅴ-9-1
10　算定基礎年額算出方法　Ⅴ-10-1
11　産業分類コード表　Ⅴ-11-1
12　傷病性質コード表　Ⅴ-12-1
13　傷病部位コード表　Ⅴ-13-1
14　通勤災害における傷病性質コード表　Ⅴ-14-1
15　通勤方法コード表　Ⅴ-15-1
16　事故の相手方コード表　Ⅴ-16-1
17　都道府県労働局及び労働基準監督署コード表　Ⅴ-17-1
18　都道府県労働局及び公共職業安定所コード表　Ⅴ-18-1

Ⅵ　情報検索
(Ⅰ)基本的事項　Ⅵ-(Ⅰ)-1
1　検索の概要　Ⅵ-(Ⅰ)-1
2　検索の方法　Ⅵ-(Ⅰ)-1
3　エラー表示　Ⅵ-(Ⅰ)-2
4　検索体系図　Ⅵ-(Ⅰ)-3
(1)　検索フロー図　Ⅵ-(Ⅰ)-3
(2)　画面の分類　Ⅵ-(Ⅰ)-5
5　検索一覧表　Ⅵ-(Ⅰ)-9
(1)　入力画面　Ⅵ-(Ⅰ)-9
(2)　検索結果一覧画面（再入力画面）　Ⅵ-(Ⅰ)-9
(3)　検索結果詳細画面　Ⅵ-(Ⅰ)-12
(Ⅱ)検索画面　Ⅵ-(Ⅱ)-1

1　入力画面　VI-(Ⅱ)-1
(1)　年金・一時金４キー検索　VI-(Ⅱ)-1
(2)　年金・一時金検索　VI-(Ⅱ)-4
2　検索結果一覧画面（再入力画面）　VI-(Ⅱ)-8
(1)　年金証書番号検索　VI-(Ⅱ)-8
(2)　一時金データ受付番号検索　VI-(Ⅱ)-11
(3)　氏名・短期キー検索　VI-(Ⅱ)-14
(4)　障害等級検索　VI-(Ⅱ)-16
(5)　未決データ受付番号検索　VI-(Ⅱ)-18
(6)　年金支払検索　VI-(Ⅱ)-20
(7)　算定基礎検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-22
(8)　年金額等計算検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-25
(9)　年金額等調整検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-27
(10)　受付検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-29
(11)　支払履歴検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-35
(12)　支給停止検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-37
(13)　資格者・援護費検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-39
(14)　追・回（有無）検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-42
(15)　追・回検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-44
(16)　追・回データ検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-46
(17)　変更履歴検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-48
(18)　住所・氏名・支払先検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-50
(19)　厚年等情報検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-52
(20)　一時金訂正履歴検索（一覧）　VI-(Ⅱ)-55
3　検索結果詳細画面　VI-(Ⅱ)-57
(1)　年金概要検索　VI-(Ⅱ)-57
(2)　支払検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-60
(3)　算定基礎検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-67
(4)　年金額等計算検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-73
(5)　年金額等調整検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-77
(6)　受付検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-81
(7)　支払履歴検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-84
(8)　支給停止検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-86
(9)　転帰情報検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-88
(10)　資格者・援護費検索（概要）　VI-(Ⅱ)-92
(11)　資格者・援護費検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-94
(12)　追・回検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-98
(13)　氏名・住所・支払先検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-102
(14)　定期報告検索　VI-(Ⅱ)-108
(15)　厚年等情報検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-111

(16)　一時金概要検索　VI-(Ⅱ)-113
(17)　一時金訂正履歴検索（詳細）　VI-(Ⅱ)-122
(18)　新データ受付番号検索　VI-(Ⅱ)-125

Ⅶ　メッセージ一覧

別紙

【別　　紙】　1
別紙１　【被災者と資格者との年齢差チェック】　2
別紙２　【第１．２．３．種特別加入者の労働保険番号チェック】　3
別紙３　【システム化対象範囲】　4
別紙４　【枝番号での入力項目チェック】　6
別紙５　【通常の支給終了（予定）年月】　8
別紙６　【年金及び特別年金の計算方法】　9
別紙７　【スライド率早見表】(1)　20
別紙８　【年齢階層別最低限度額・最高限度額(年金給付基礎日額)】(1)　25
別紙９　【失権差額一時金算定にかかる換算率】　29
別紙10　【年金給付基礎日額の算定にかかる年齢早見表】(1)　31

# I

# 基本的事項

## 1 労働基準行政システム（年金・一時金業務）の概要

(1) システムの目的

労働基準行政システム（年金・一時金業務）は、遺族（補償）年金等の年金給付及び障害（補償）一時金等の一時金給付、労災就学等援護費、特別遺族給付に関し、署において行われる支給決定、変更決定等に係わる事務処理の適正化、効率化等を図ることを目的とする。

(2) 労働基準行政システム（年金・一時金業務）の概要

労働基準行政システム（年金・一時金業務）は、年金給付及び一時金給付、労災就学等援護費、特別遺族給付に係る請求書等のデータ入力を受け付けて機械処理し、支払額等の処理結果を出力するとともに、データベースによりデータを管理し、情報検索に利用できるシステムである。

(3) システムの対象給付

年金・一時金システムでは、次表に掲げる給付を処理の対象としている。

| 給付の種類 | 請求書等の様式 |
|---|---|
| 障害（補償）一時金<br>障害特別一時金<br>障害特別支給金<br><br>障害（補償）年金<br>障害特別年金<br>障害特別支給金 | ◆障害（補償）給付支給請求書<br>（告示様式第 10 号）<br>（告示様式第 16 号の 7）<br><br>◆障害（補償）給付変更請求書<br>（告示様式第 11 号） |
| 遺族（補償）一時金<br>遺族特別一時金<br>遺族特別支給金 | ◆遺族（補償）一時金支給請求書<br>（告示様式第 15 号）<br>（告示様式第 16 号の 9） |
| 遺族（補償）年金<br>遺族特別年金<br>遺族特別支給金 | ◆遺族（補償）年金支給請求書<br>（告示様式第 12 号）<br>（告示様式第 16 号の 8） |
| 葬祭料（葬祭給付） | ◆葬祭料（葬祭給付）請求書<br>（告示様式第 16 号）<br>（告示様式第 16 号の 10） |
| 傷病（補償）年金<br>傷病特別年金<br>傷病特別支給金 | ◆傷病の状態に関する届（報告書）<br>（告示様式第 16 号の 2）<br>（告示様式第 16 号の 11） |
| 障害（補償）年金前払一時金 | ◆障害（補償）年金前払一時金請求書<br>（年金申請様式第 10 号） |
| 遺族（補償）年金前払一時金 | ◆遺族（補償）年金前払一時金請求書<br>（年金申請様式第 1 号） |
| 障害（補償）年金差額一時金<br>障害特別年金差額一時金 | ◆障害（補償）年金差額一時金支給請求書<br>（告示様式第 37 号の 2） |
| 未支給の障害（補償）年金<br>未支給の障害特別年金<br>未支給の遺族（補償）年金<br>未支給の遺族特別年金<br>未支給の傷病（補償）年金<br>未支給の傷病特別年金<br>未支給の労災就学等援護費 | ◆未支給の保険給付支給請求書<br>（告示様式第 4 号） |
| 労災就学等援護費 | ◆労災就学等援護費支給・変更申請書<br>（様式第 1 号） |
| 特別遺族年金 | ◆特別遺族年金支給請求書（様式第 1 号） |
| 特別遺族一時金 | ◆特別遺族一時金支給請求書（様式第 7 号） |

## 2 端末装置の用語

| 名　　称 | 内　　容 |
|---|---|
| Fat Client | OCR帳票に記入された手書き文字（カナ文字、数字、記号、ひらがな及び漢字）を光学的に読み取ることで、データ入力を実現する装置である。また、印刷指示を行った際に、業務課から送信されたデータを所定の用紙に印字する装置である。 |
| Thin Client | 労災APサーバに搭載されるThin Client アプリケーションを操作する端末である。Thin Client端末から照会、印刷等の労災業務を行う。 |
| 汎用プリンタ | 業務課から送信された配信データ等を印字するカラーレーザプリンタである。出力専用装置で、両面印刷及びカラー印刷も可能である。 |

## 3 基本用語

(1) 給付キー

給付キーとは、給付履歴等を管理するため、個人を特定するキーである。

このシステムで使用する給付キーには、年金給付キーと短期給付キーの2種類があり、請求の内容等によりいずれかを用いて入力することとなる。

イ　年金給付キー

年金給付キーは、年金証書番号＋被災者生年月日により構成される。

| 年金証書番号 | | | | 被災者生年月日 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 管轄局 | 種別 | 西暦年 | 番号 | 元号 | 年 | 月 | 日 |
| ○○ | ○ | ○○ | ○○○○ | ○ | ○○ | ○○ | ○○ |
| 2桁 | 1桁 | 2桁 | 4桁 | 1桁 | 2桁 | 2桁 | 2桁 |

(ｲ) 年金証書番号

年金証書番号は、管轄局、種別、西暦年、番号で構成される。年金・一時金システムでは受付処理段階において機械で振り出され決議書に印字される。年金証書番号は、(2)で説明するデータ受付番号の頭から4桁目からの9桁の数字である。

a　管轄局

支給決定を行った監督署を管轄する局をコードで示す。

b　種別

傷病（補償）年金…1(2)、障害（補償）年金…3(4)、遺族（補償）年金…5

特別遺族年金･･･6

() 内は番号が4桁を超えた場合に使用する。

c　西暦年

年金の請求を受け付けた西暦年の下2桁とする。

d　番号

管轄局、種別、西暦年ごとに振り出す。

なお、データ受付番号の頭から4桁目からの9桁を年金証書番号としているため、必ずしも連続した番号とはならない。

(ﾛ) 被災者生年月日

被災労働者の生年月日。ただし、元号の表示は次のコードによる。

明治……1

大正……3

昭和……5

平成……7

ロ　短期給付キー

労働保険番号＋被災者生年月日＋傷病年月日（負傷又は発病年月日）＋被災者氏名カナにより構成される。

〔例〕

| 労働保険番号 | | | | | 被災者生年月日 | | | | 傷病年月日 | | | | 被災者氏名カナ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 府県 | 所掌 | 管轄(1) | 基幹番号 | 枝番号 | 元号 | 年 | 月 | 日 | 元号 | 年 | 月 | 日 | － |
| 48 | 1 | 01 | 810001 | 001 | 5 | 37 | 01 | 30 | 7 | 06 | 02 | 11 | ﾛｳｻｲﾀﾛｳ |

(イ)労働保険番号

a　府県（2 桁）

当該事業場の所在地（事務組合委託事業場については、事務組合の主たる事務所の所在地）を管轄する都道府県を別表 17「都道府県労働局及び労働基準監督署コード表」及び別表 18「都道府県労働局及び公共職業安定所コード表」のコードで示す。

b　所掌（1 桁）

当該事業に係る労働保険料等の徴収事務の所掌を次のコードで示す。

| | |
|---|---|
| 労働基準監督署が所掌する事業 …… | 1 |
| 公共職業安定所が所掌する事業 …… | 3 |
| 昭和 47 年 3 月 31 日までに成立した有期事業及び消滅した事業 …… | 9 |

c　管轄(1)（2 桁）

当該事業の所在地を管轄する監督署又は安定所を示すコードである。なお、労働基準監督署が所掌する事業については、別表 17「都道府県労働局及び労働基準監督署コード表」、公共職業安定所が所掌する事業については、別表 18「都道府県労働局及び公共職業安定所コード表」によるので参照すること。

d　基幹番号（6 桁）及び枝番号（3 桁）

当該事業の労働保険番号の事業単位を示す固有番号で、6 桁の数字で構成する基幹番号及び 3 桁の数字で構成する枝番号で表す。

（ロ）被災者生年月日（7桁）

被災労働者の生年月日に次の元号コードを付して示す。

| | |
|---|---|
| 明治 …… | 1 |
| 大正 …… | 3 |
| 昭和 …… | 5 |
| 平成 …… | 7 |

(ハ)傷病年月日（7桁）

被災労働者の負傷又は発病年月日を示す。

(ニ)被災者氏名カナ

被災労働者の氏名（カタカナ）を示す。

(2) データ受付番号（20桁）

データ受付番号は、登録票、変更票等の各種入力帳票が入力された受付時において、台帳に該当データが登録されたとき、システムが自動的に振り出す番号である。

したがって、このデータ受付番号は、受付整理番号としての性格を持ち台帳に登録された個々の請求書等データを特定できるため、すでに登録されているデータの訂正処理等においてキーとなる。

| 業務区分 | 新旧区分 | 年金証書番号 | ＣＤ | 決議番号 | ダミー |
|---|---|---|---|---|---|
| 20 | 1 | 011110001 | 2 | 001 | 0000 |

(イ)業務区分（2桁）

業務区分を次のコードで示す。

| | |
|---|---|
| 年金・一時金・援護費 …… | 20 |

（ロ） 新旧区分（1桁）

新旧区分を次のコードで示す。

| | |
|---|---|
| 労働基準行政システム運用開始日以前に入力したデータ…… | 0 |
| 労働基準行政システム運用開始日以降に入力したデータ …… | 1 |

（ハ）年金証書番号（9桁）

年金証書番号を示す。

(ニ)ＣＤ（1桁）

データ受付番号の記入誤り・誤読等を発見するためのチェックコードであり、システムが自動的に付与する。

(ホ)決議番号（3桁）

決議番号は、年金及び一時金の種類ごとに請求、変更決議事由発生の都度001から順に振り出す番号である。年金給付の場合は、同一年金証書番号ごとに登録、変更に関する届等が何回行われたかを表示することになるとともに、請求等のデータの特定を行うことができる。

(ヘ)ダミー（4桁）

システムが自動的に「0000」を付与する。

(3) キャンセル

入力データに不備があり、各種給付台帳に登記されず、データが破棄されることをいう。

キャンセルの場合は、キャンセルメッセージを処理結果画面に出力するので、キャンセルとなった理由を解消した上で再入力すること。

(4)用語集

前述以外の用語について以下に整理する。

| 行 | 用　　語 | 意　　味 |
|---|---|---|
| ア | 援護費差止 | 支払を受ける受給権者（支払権者）が援護費の定期報告書を提出しないことにより、提出されなかった在学者の援護費の支払額を一時差し止めること。 |
| カ | 回収 | 一旦支払われた給付額に過誤払が生じ、本来支給すべき額との差額を返還させること。 |
| | 過期履歴 | そ及処理により過去の算定基礎等を修正した情報。 |
| | 過誤払 | 一旦支払われた給付額が誤っていたこと。 |
| | 基本年金年額 | 各種調整前の労災年金の年額。【年金給付基礎日額×給付日数】で算出される。 |
| | 給付額（決定額） | 算定基礎項目により算出した各種調整前の額。 |
| | 給付月額 | 支払対象月の支給制限後年金額により求めた年金の一月あたりの額。 |
| | 給付限度額 | 年金給付基礎日額の算定に用いられる年齢階層別の最高限度額。これにより受給権者に支払われる年金保険給付の限度額を示す。 |
| | 給付種別 | 年金・一時金の給付を表す種別。（年金種別に葬祭料「7(8)」が加わった種別）<br>傷病（補償）年金…1(2)、障害（補償）年金…3(4)、<br>遺族（補償）年金…5　　特別遺族年金･･･6　　葬祭料…7(8) |
| | 強制債権 | 内払・充当処理ができないため債権管理を選択することなく債権管理を行うこと。<br>(例)失権差額一時金のない遺族（補償）年金の転帰時の回収額。 |
| | 権者 | 遺族（補償）年金で最先順位の資格者。 |
| | 権者払 | 遺族（補償）年金で最先順位の受給権者が複数人存在する場合に各々の権者ごとに支払を行うこと。 |
| | 項目群 | 訂正処理において関連のある項目をまとめた群。 |
| | 項目番号 | 変更、訂正処理において用いる項目ごとの番号。 |
| サ | 在学者 | 労災就学援護費又は労災就労保育援護費の支給対象者。 |
| | 債権整理番号 | 債権管理の徴収決定の際にシステムが振り出す番号。 |
| | 再入力画面 | 検索結果を出力し、かつ、出力した内容を選択することで、詳細が検索できる画面。 |
| | 事故解消 | 支払事故が再振込、支払取消等により解消されること。 |
| | 失格 | 受給資格者が受給資格を失うこと。 |
| | 失権 | 支払権者が年金を受ける権利を有する者でなくなること。 |
| | 自動更新 | 年齢等によりシステムで自動的に変更処理等を行うこと。 |

| 行 | 用　　語 | 意　　味 |
|---|---|---|
| サ | 失権差額一時金 | 障害（補償）年金差額一時金（法第 58 条並びに第 61 条）又は遺族（補償）一時金（法第 16 条の 6 第 1 項第 2 号並びに第 22 条の 4 第 3 項）のこと。 |
| | 実行コード | 1 つの帳票で多種類の処理を行うためのコード。 |
| | 支払額 | 給付額から各種調整を行い受給権者等に支払った又は支払う額。 |
| | 支払権者 | 受給権者のうち支払を受ける受給権者。 |
| | 支払事故 | 年金の支払が口座名義人相違等の原因で受給者等に支払うことができなかったこと。 |
| | 支払取消 | 年金の支払を取り消すこと。 |
| | 若年資格者 | 受給資格者で支給事由発生年月時点において 55 歳以上 60 歳未満の者であって、現時点でも 55 歳以上 60 歳未満の者。 |
| | 若年停止 | 支払を受ける受給権者（支払権者）が支給事由発生時点において 55 歳以上 60 歳未満の者であって、現時点でも 55 歳以上 60 歳未満の者であるため、年金の給付を停止していること。 |
| | 収納 | 債権額（徴収決定額）を回収すること。 |
| | 18 歳失権（格） | 遺族（補償）年金の受給権者が、18歳になることにより受給権（資格）を失うこと。<br>なお、平成 8 年 4 月 2 日以降に 18 歳となる者については、18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日を経過したときに失権（格）する。 |
| | 受給資格者（資格者） | 遺族（補償）年金を受けることができる遺族。 |
| | 成消給付 | 傷病年月日が労災保険の保険関係の成立前又は消滅後の保険給付。 |
| | 前給付過誤払額 | 直前の給付の過誤払額。 |
| | 選択コード | 訂正処理を行う項目を選択するためのコード。 |
| | そ及追回額 | そ及処理により発生した追給額又は回収額。 |
| | そ及処理 | 効力開始年月が当期の支払対象月より前の処理。 |
| タ | 他給付連携 | 平均賃金等の訂正処理において、同一短期給付キー内の全ての給付を訂正すること。 |
| | 追・回番号 | 一時金給付において追給又は回収が発生した場合に振り出す 2 桁の一連番号。 |
| | 訂正番号 | 一時金給付の訂正ごとに振り出す 2 桁の一連番号。 |
| | 転帰後訂正 | 転帰後の訂正処理のこと。 |
| | 転給 | 支払を受ける受給権者（支払権者）が変わること。 |
| | 転帰 | 年金の基本権が消滅すること。 |
| | 当期追給額 | 当期に追給する額。 |
| | 同時処理 | 年金の支給決定処理と前払一時金の支給決定処理を同時に行うこと。 |

| 行 | 用　　語 | 意　　味 |
|---|---|---|
| タ | 同時決議 | 本来別々に行う決議を同時に 1 回の決議で行うこと。 |
| | 同時決議番号 | 同時決議の種類ごとに用いるコードで、次の4種類がある。<br>1 ・・・・・・・・・・・・・ 失権　　→転給<br>2 ・・・・・・・・・・・・・ 死亡　　→転給<br>3 ・・・・・・・・・・・・・ 支給停止　　→転給<br>4 ・・・・・・・・・・・・・ 支給停止解除　→転給 |
| ナ | 入力支払期 | 過期履歴は、変更・訂正決議書を入力した支払期。<br>過期履歴以外は、支払を行った支払期。 |
| | 年金種別 | 年金の給付を表す種別。（給付種別から葬祭料「7(8)」を除いた種別）<br>傷病（補償）年金…1(2)、障害（補償）年金…3(4)、<br>遺族（補償）年金…5　　特別遺族年金･･･6 |
| ハ | 変更内容コード | 様式番号のみでは変更処理の内容を判断できない場合に振り出す 2 桁の一連番号 |
| | 保留 | 転帰時に回収額が存在し、債権管理も内払・充当も選択していない状態 |
| マ | 未支給金扱い | 本来の未支給給付ではなく、支払先が不明で支払額が存在する場合の支払方法。 |

## 4　台帳の種類

| 名　　称 | 台　　帳　　の　　内　　容 |
|---|---|
| 被災者情報 | 被災労働者単位で労働保険番号、被災者生年月日、傷病年月日、被災者氏名カナ等を管理する台帳。 |
| 年金重複台帳 | 短期給付キー(労働保険番号、被災者生年月日、傷病年月日、被災者氏名カナ)と被災者番号、年金証書番号の対応を管理し、併せて当該短期給付キーが未決議状態か否かも管理するための台帳。 |
| 年金受付台帳 | 年金・一時金に係わる受給権者からの請求情報の受付状況等を管理する台帳。 |
| 退避 DB | 旧システムにおいて、CMT に退避された以下の情報。<br>・5 年 2 ヶ月のデータベース保存期間を経過した支払履歴情報（受給権者の支払額、支払先、氏名、住所等）<br>・同一短期給付キーにかかる最新の年金の転帰後、支払履歴が存在せず、最新の転帰年月日から 5 年 2 ヶ月を経過した被災者情報（被災者にかかるすべての給付データ）<br>・一時金給付の支給事由発生年月日から 5 年 2 ヶ月を経過した被災者情報（被災者にかかるすべての給付データ） |

## 5　運用管理

(1) 帳票入力・検索時間

帳票の入力時間は 8 時 30 分～17 時 30 分である。

(2) 操作カードの使用

「年金・一時金業務」においては、以下の帳票の入力時に「操作カード」（通称 0 番カード。以下「操作カード」という。）を使用すること。

・支給決定決議書
・変更決議書
・訂正決議書
・援護費決議書
・氏名・住所等変更届
・外国払入力票

(3) ブザーの短鳴動

端末装置には、ブザーが備え付けられており、システムエラー時等に鳴動する。

(4) 端末装置障害時の代行入力

帳票の入力は、当該事案を管轄する監督署(以下「自署」という。)の端末装置から行うことが原則であるが、自署の端末装置に障害が発生し、長期間にわたり使用不能となったときは、「登録票」を他の監督署（以下「代行署」という。）の端末装置から代行入力することができる。

（「住所・氏名変更届」については代行入力しなくても全国の署で入力可能である。）

代行入力を行うときは、代行入力を希望する旨を事前に業務課に連絡しシステムが代行入力受け入れ可能となっていることを確認すること。

なお、代行署から入力する帳票は、各帳票にある「管轄局署」の欄に自署のコードを必ず記入した上で入力すること（「管轄局署」の欄を記入せずに入力したデータは、代行署が管轄であるデータとして台帳に登記される。）。

(5) 直接印刷・自動配信の帳票の再印字

直接印刷（帳票の入力により即時に出力される帳票）される帳票や、自動配信される帳票を再印字したいときは、帳票検索画面にて検索し、再印字することができる。

## 6　入出力帳票一覧

(1) 入力帳票一覧

| 帳票種別 | 出力帳票種別※1 | 検索用の帳票 ID | 帳　票　名 | 略　　称 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 39560 | 560 | NSKUK001 | 登録帳票 | 登録票 | |
| 39561 | － | NSKNY001 | 年金・一時金入力帳票 | 年金・一時金入力帳票 | |
| 39562 | 562 | NHKUK001 | 変更帳票 | 変更票 | |
| 39563 | 563 | NTSUK001 | 訂正（履歴検索）帳票 | 訂正票（履歴検索票） | |
| 39564 | 564 | NEGUK001 | 労災就学等援護費支給・変更申請書※２ | 援護費申請書 | 旧システム帳票 |
| 39565 | 565 | NEGUK001 | 労災就学等援護費支給・変更申請書※２ | 援護費申請書 | |
| 39570 | － | NSKKG001 | 年金・一時金支給決定・一時金支払決議書 | （不）支給決議書 | ターンアラウンド |
| 39571 | － | NHKKG001 | 年金変更・不変更決定決議書 | （不）変更決議書） | ターンアラウンド |
| 39572 | － | NTSKG001 | 年金・一時金訂正決定決議書 | 訂正決議書 | ターンアラウンド |
| 39573 | － | NEGUK002 | 労災就学等援護費支給・不支給・変更・不変更決定決議書 | 援護費決議書 | ターンアラウンド |
| 39580 | － | NHKUK002 | 年金たる保険給付の受給権者の住所・氏名・年金の払渡金融機関等変更届※２<br>特別遺族年金の受給権者の住所・氏名・特別遺族年金の払渡金融機関等変更届※２ | 住所・氏名等変更届 | |
| 39581 | － | NSKGA001 | 外国払入力帳票 | 外国払入力票 | |
| 39582 | － | － | 債務者登録帳票 | 債務者登録票 | |
| 39583 | － | NTHUK001 | 定期報告入力帳票　※２ | 定期報告入力票（年金） | 旧システム帳票<br>ターンアラウンド |
| 39584 | － | NTHUK003 | 定期報告入力帳票（就学等援護費）※２ | 定期報告入力票（援護費） | ターンアラウンド |
| 39586 | － | NTHUK001 | 定期報告入力帳票　※２ | 定期報告入力票（年金） | ターンアラウンド |

【凡例】

※ 1　出力帳票種別に数字が記載されている入力帳票は、初回入力時にデータ受付番号を機械印字するため、出力帳票として手差しトレイにセットする必要があるもの。

※ 2　同一帳票名の旧システムの帳票を入力可能としているもの。後述で、帳票名または略称のみで記載する場合は、新旧帳票の両方を指す。新旧帳票の区別が必要な場合は、帳票種別を併記して示す。

(2) 出力帳票一覧

| 帳票種別 | 検索用の帳票 ID | 帳票名 | 略称 | 出力場所 | 時期 | 出力方式 | 記載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | NEGUK003 | 援護費支給・不支給決定通知書 | 援護費通知書 | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-75 |
| - | NHKKG002 | 変更決定通知書 | 変更決定通知書(労審法教示文あり) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-34 |
| - | NHKKG003 | 変更決定通知書 | 変更決定通知書(行審法教示文あり) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-29 |
| - | NHKKG004 | 変更決定通知書 | 変更決定通知書(教示文なし) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-41 |
| 452 | NHKKG005 | 不変更決定通知書 | 不変更決定通知書(教示文あり) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-66 |
| 497 | NHKKG006 | 不変更決定通知書 | 不変更決定通知書(教示文なし) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-70 |
| - | NHKKG007 | 特別遺族年金変更決定通知書 | 変更決定通知書(労審法教示文あり、特別遺族) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-38 |
| - | NHKKG008 | 特別遺族年金変更決定通知書 | 変更決定通知書(行審法教示文あり、特別遺族) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-32 |
| - | NHKKG009 | 特別遺族年金変更決定通知書 | 変更決定通知書(教示文なし、特別遺族) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-45 |
| 483 | NHKKG010 | 特別遺族年金不変更決定通知書 | 不変更決定通知書(教示文あり、特別遺族) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-68 |
| 499 | NHKKG011 | 特別遺族年金不変更決定通知書 | 不変更決定通知書(教示文なし、特別遺族) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-72 |
| - | NKKCHB01 | 業務処理日報 | 業務処理日報 | 監督署 | 日次 | コマンド配信 | Ⅳ-1-2 |
| - | NKKCHB02 | 年金一時金処理件数リスト（登録）（署用） | 年金一時金処理件数リスト（登録）（署用） | 監督署 | 月次/年次 | コマンド配信 | Ⅳ-3-2 |
| - | NKKCHB05 | 月計表 | 月計表 | 監督署 | 月次 | コマンド配信 | Ⅳ-1-6 |
| - | NKKCHB06 | 年金一時金処理件数リスト（変更）（署用） | 年金一時金処理件数リスト（変更）（署用） | 監督署 | 月次/年次 | コマンド配信 | Ⅳ-3-5 |
| - | NKKCHB08 | 年金一時金処理件数リスト（訂正）（署用） | 年金一時金処理件数リスト（訂正）（署用） | 労働局 | 月次/年次 | コマンド配信 | Ⅳ-3-11 |
| - | NKKCHB10 | 年計表 | 年計表 | 労働局 | 年次 | コマンド配信 | Ⅳ-1-8 |
| - | NKKCHB11 | データ登記未処理リスト | データ登記未処理リスト | 監督署 | 月次 | コマンド配信 | Ⅳ-2-15 |

| 帳票種別 | 検索用の帳票 ID | 帳票名 | 略称 | 出力場所 | 時期 | 出力方式 | 記載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | NKKCHB12 | 決議書未入力リスト | 決議書未入力リスト | 監督署 | 月次 | コマンド配信 | Ⅳ-2-17 |
| - | NKKCHB13 | 内払充当未処理リスト | 内払充当未処理リスト | 監督署 | 月次 | コマンド配信 | Ⅳ-2-5 |
| - | NKKCHB14 | 支払事故未処理リスト | 支払事故未処理リスト | 監督署 | 月次 | コマンド配信 | Ⅳ-2-9 |
| - | NKKCHB15 | 厚年等未処理リスト | 厚年等未処理リスト | 監督署 | 月次 | コマンド配信 | Ⅳ-2-2 |
| - | NKKCHB16 | 失権差額一時金・未支給年金未処理リスト | 失権差額一時金・未支給年金未処理リスト | 監督署 | 月次 | コマンド配信 | Ⅳ-2-7 |
| - | NKKCHB18 | 支払回収データリスト | 支払回収データリスト | 監督署 | 月次 | コマンド配信 | Ⅳ-4-15 |
| - | NKKCHB19 | データ未入力リスト | データ未入力リスト | 監督署 | 月次 | コマンド配信 | Ⅳ-2-11 |
| - | NKKCHB20 | 転給未処理リスト | 転給未処理リスト | 労働局 | 月次 | コマンド配信 | Ⅳ-2-13 |
| - | NKKCHB22 | 未処理事案リスト（局用） | 未処理事案リスト（局用） | 監督署 | 月次/支払期 | コマンド配信 | Ⅳ-6-9 |
| - | NKKCHB24 | 被災者別未処理事案リスト（局用） | 被災者別未処理事案リスト（局用） | 監督署 | 月次 | コマンド配信 | Ⅳ-2-22 |
| - | NKKCHB25 | 被災者別未処理事案リスト（署用） | 被災者別未処理事案リスト（署用） | 監督署 | 月次 | コマンド配信 | Ⅳ-2-24 |
| - | NKKCHB29 | 援護費支給開始メッセージリスト | 援護費支給開始メッセージリスト | 監督署 | 年次 | コマンド配信 | Ⅳ-6-16 |
| - | NKKTKB02 | 所在不明差止者リスト | 所在不明差止者リスト | 労働局 | 年２回 | コマンド配信 | Ⅳ-5-2 |
| - | NKKTKB04 | 住基突合不備結果リスト | 住基突合不備結果リスト | 監督署 | 年２回 | コマンド配信 | Ⅳ-5-6 |
| 460 | NKKTKB16 | 定期報告書提出照会状 | 定期報告書提出照会状 | 労働局 | 随時 | 自動配信 | Ⅱ-9-128 |
| - | NKKTKB17 | 未提出状況リスト | 未提出状況リスト | 労働局 | 随時 | コマンド配信 | Ⅳ-5-4 |
| 494 | NKKTKB18 | 定期報告書提出照会状（特別遺族） | 定期報告書提出照会状（特別遺族） | 監督署 | 随時 | 自動配信 | Ⅱ-9-130 |
| - | NSCCHB20 | 年金支払明細表 | 年金支払明細表 | 監督署 | 支払期 | コマンド配信 | Ⅳ-6-2 |

| 帳票種別 | 検索用の帳票 ID | 帳票名 | 略称 | 出力場所 | 時期 | 出力方式 | 記載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | NSCCHB45 | 転帰者一覧表（局用） | 転帰者一覧表（局用） | 監督署 | 支払期 | コマンド配信 | Ⅳ-6-12 |
| - | NSCCHB50 | 支給停止解除決定通知（変更決定通知書） | 支給停止解除決定通知（変更決定通知書） | 監督署 | 月次 | 自動配信 | Ⅱ-9-47 |
| - | NSCCHB51 | 支給停止解除決定通知（援護費支給・不支給決定通知書） | 支給停止解除決定通知（援護費支給・不支給決定通知書） | 監督署 | 月次 | 自動配信 | Ⅱ-9-82 |
| - | NSCCHB52 | 変更決定通知書（18 歳到達） | 変更決定通知書（18 歳到達） | 監督署 | 月次 | 自動配信 | Ⅱ-9-50 |
| - | NSCCHB59 | 特別遺族年金変更決定通知書（18 歳到達） | 特別遺族年金変更決定通知書（18 歳到達） | 監督署 | 月次 | 自動配信 | Ⅱ-9-53 |
| - | NSCCHB63 | 局署別年金基本権件数・支払額リスト（局用） | 局署別年金基本権件数・支払額リスト(局用) | 監督署 | 支払期 | コマンド配信 | Ⅳ-6-7 |
| - | NSCCHB71 | 支払差止者リスト（署用） | 支払差止者リスト（署用） | 監督署 | 支払期 | コマンド配信 | Ⅳ-4-17 |
| - | NSCCHB72 | 支払差止者リスト（局用） | 支払差止者リスト（局用） | 監督署 | 支払期 | コマンド配信 | Ⅳ-6-14 |
| - | NSCCHB81 | 支払不備リスト（局用） | 支払不備リスト（局用） | 本省（上石神井）監督署 | 支払期/随時 | コマンド配信 | Ⅳ-4-22 |
| - | NSDTKB08 | 受給権者金融機関変更リスト（署用） | 受給権者金融機関変更リスト（署用） | 本省（上石神井）監督署 | 月次/支払期 | コマンド配信 | Ⅳ-4-2 |
| - | NSDTKB15 | 決議書破棄リスト | 決議書破棄リスト | 本省（上石神井）監督署 | 月次/支払期 | コマンド配信 | Ⅳ-4-20 |
| - | NSDYKB04 | 指定年齢到達予定者リスト（署用） | 指定年齢到達予定者リスト（署用） | 本省（上石神井）監督署 | 月次/年次 | コマンド配信 | Ⅳ-4-4 |
| - | NSDYKB06 | 支給停止解除予定者リスト（署用） | 支給停止解除予定者リスト（署用） | 本省（上石神井）監督署 | 月次/年次 | コマンド配信 | Ⅳ-4-7 |
| - | NSKKG002 | 支給決定通知書 | 支給決定通知書 | 本省（上石神井）監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-7 |

| 帳票種別 | 検索用の帳票 ID | 帳票名 | 略称 | 出力場所 | 時期 | 出力方式 | 記載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 452 | NSKKG003 | 不支給決定通知書 | 不支給決定通知書 | 本省（上石神井）監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-24 |
| 450 | NSKKG004 | 年金証書 | 年金証書 | 本省（上石神井）監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-2 |
| - | NSKKG005 | 特別遺族給付金支給決定通知書 | 支給決定通知書(特別遺族) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-19 |
| 483 | NSKKG006 | 特別遺族給付金不支給決定通知書 | 不支給決定通知書(特別遺族) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-27 |
| 440 | NSKKG007 | 特別遺族年金証書 | 年金証書（特別遺族） | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-5 |
| - | NSKNY002 | 年金入力結果票 | 年金･一時金入力結果票 | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-88 |
| - | NSKNY003 | 労災補償年金等年額変更内訳 | 年金年額リスト | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-91 |
| - | NSKNY004 | 年金･一時金計算式リスト | 計算式リスト | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-138 |
| - | NSKNY005 | メッセージリスト | メッセージリスト | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-161 |
| - | NSKNY006 | 特別遺族年金年額変更内訳 | 年金年額リスト(特別遺族) | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-93 |
| - | NSKNY007 | 遺族（補償）年金資格者一覧 | 遺族（補償）年金資格者一覧 | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-95 |
| - | NSKNY008 | 特別遺族年金資格者一覧 | 特別遺族年金資格者一覧 | 本省（上石神井）監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-97 |
| - | NSKUK002 | 被災者情報リスト | 被災者情報リスト | 本省（上石神井）監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-134 |
| - | NSUENB02 | 決議書破棄リスト | 決議書破棄リスト（署用） | 本省（上石神井）監督署 | 月次/支払期 | コマンド配信 | Ⅱ-4-20 |
| - | NSUENB05 | 労災就学等援護費変更決定通知 | 労災就学等援護費変更決定通知 | 本省（上石神井）監督署 | 随時 | 自動配信 | Ⅱ-9-84 |
| - | NSUENB06 | 援護費月額改定変更リスト（署用） | 援護費月額改定変更リスト（署用） | 監督署 | 随時 | コマンド配信 | Ⅳ-6-18 |

| 帳票種別 | 検索用の帳票 ID | 帳票名 | 略称 | 出力場所 | 時期 | 出力方式 | 記載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | NSUENB08 | 援護費月額改定未支給金リスト（署用） | 援護費月額改定未支給金リスト（署用） | 監督署 | 随時 | コマンド配信 | Ⅳ-6-20 |
| - | NSUSJB03 | 支払取消リスト（署用） | 支払取消リスト（署用） | 監督署 | 随時 | コマンド配信 | Ⅳ-4-10 |
| - | NSUSJB04 | 支払事故通知リスト | 支払事故通知リスト | 監督署 | 随時 | コマンド配信 | Ⅳ-4-12 |
| - | NSUSLB03 | 年金額等変更リスト | 年金額等変更リスト | 監督署 | 年次 | コマンド配信 | Ⅳ-6-5 |
| 460 | NTHUK002 | 定期報告書内容照会状 | 定期報告書内容照会状 | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-131 |
| 494 | NTHUK004 | 定期報告書内容照会状（特別遺族） | 定期報告書内容照会状（特別遺族） | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-132 |
| - | NTSUK003 | 他給付連携等の年金変更決定決議書（年金内訳リスト） | 年金内訳リスト | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-99 |
| - | NTSUK004 | 特別遺族年金の年金変更決定決議書 | 年金内訳リスト（特別遺族） | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-106 |
| - | NTSUK005 | 一時金支給決定取消、支給決定、支払（追給）決議書（一時金内訳リスト） | 一時金内訳リスト | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-112 |
| - | NTSUK006 | 特別遺族一時金支給決定取消支給決定支払（追給）決議書 | 一時金内訳リスト（特別遺族） | 監督署 | 随時 | 直接印刷 | Ⅱ-9-120 |
| - | NZNKNB01 | 厚年情報照合リスト（署） | 厚年情報照合リスト（署） | 監督署 | 年次 | コマンド配信 | Ⅳ-2-19 |

## 7　時効の取り扱い

保険給付の請求権に係る消滅時効は、法令どおり機械処理されるが、時効の起算日等についての留意点は下記のとおりである。

①年金給付における支払請求権に係る時効の起算日及び完成日

支払請求権に係る時効の起算日は、支払期月の 15 日（2 月 15 日、4 月 15 日、6 月 15 日、8 月 15 日、10 月 15 日、12 月 15 日）である。

支払請求権に係る時効は、5 年後の応答日の前日をもって完成することになる。

（例）平成 12 年 10 月 15 日の支払については、平成 17 年 10 月 14 日が終了した時点で時効が完成する。

②計算期間の取扱い

署において、年金額に影響を及ぼすデータをそ及して入力する場合の年金額の再計算（追給・回収額の計算）は、

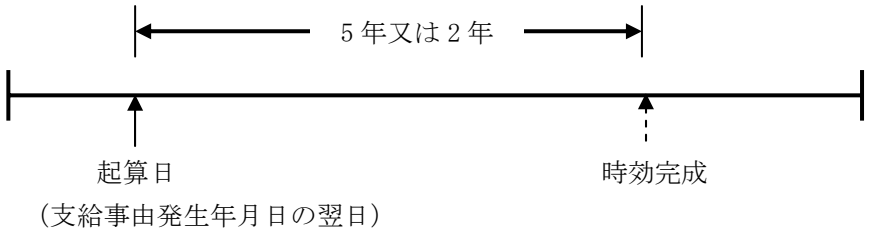
受付日の 5 年前の応答日の支払期の初月～入力支払期の終月

について行う。

（ただし、受付日の 5 年前の応答日が支給事由発生年月以前となった場合は、支給事由発生年月から入力支払期の終月までとする。）

③支給決定請求権に係る時効の起算日、完成日及びうるう年における考慮

支給決定請求権に係る時効の起算日は、支給事由発生年月日の翌日であり、5 年（一時金の場合は 2 年）後の応答日の前日をもって時効が完成する。




うるう年の場合の機械管理上の時効のチェックは、下表のとおりである。

【例】

| 起　算　日 | 時効完成日 〔年金の場合〕 | 受　付　日 | 時効のチェック |
|---|---|---|---|
| 1999 年　2 月 28 日 | 2004 年（うるう年）2 月 27 日 | 2004 年　2 月 27 日 | ○ |
| | | 2004 年　2 月 28 日 | 時効 |
| 1999 年　3 月 1 日 | 2004 年（うるう年）2 月 29 日 | 2004 年　2 月 29 日 | ○ |
| | | 2004 年　3 月 1 日 | 時効 |
| 2000 年（うるう年）2 月 28 日 | 2005 年　2 月 27 日 | 2005 年　2 月 27 日 | ○ |
| | | 2005 年　2 月 28 日 | 時効 |
| 2000 年（うるう年）2 月 29 日 | 2005 年　2 月 28 日 | 2005 年　2 月 28 日 | ○ |
| 3 月 1 日 | | 2005 年　3 月 1 日 | 時効 |

## 8 文書報告事案

下記の事案が発生した場合は、文書報告事案として本省（業務課）あて報告を求めることとしているので、当該事案の発生した署においては都道府県労働局長あて報告すること。

なお、局においては、内容を審査・確認した上で労災保険業務課長あて報告すること。

【文書報告一覧】

| 様式 | 文書報告番号 | 文書報告内容 | 提　出　の　事　由 |
|---|---|---|---|
| 様式(1) | 文書報告書第１号 | ５年より前にそ及する事案 | ５年より前にそ及して年金額等に影響を及ぼすデータを入力する場合 |
| | 文書報告書第２号 | 一時金給付の実額入力事案 | (1)　再発・再治ゆ事案で障害（補償）年金差額一時金を算出する場合<br>(2)　転帰後訂正で失権差額一時金に追給又は回収が生じた場合<br>(3)　実額入力事案の給付を訂正する場合 |
| | 文書報告書第３号 | 基本権取消事案 | 基本権取消事案が発生した場合 |
| | 文書報告書第４号 | データベース復活事案 | 被災者情報が待避データベース上に存在している以下の事案についてそ及適用する場合･平成１７年８月支払期以前の支払履歴情報(受給権者の支払額、支払先、氏名、住所等)<br>･同一短期給付キーにかかる最新の年金の転帰後、支払履歴が存在しない場合で、最新の転帰年月日が平成１７年８月以前の被災者情報(被災者にかかるすべての給付データ)<br>･一時金給付の支給事由発生年月日が平成１７年８月以前の被災者情報(被災者にかかるすべての給付データ) |
| | 文書報告書第５号 | その他システムで対応していない事案 | システムで対応していない事案が発生した場合 |
| 様式(2) | 労働基準監督署の名称・所在地・電話番号等に係る文書報告書 | | (1)　監督署が新設又は変更されたとき<br>(2)　監督署の名称、所在地、電話番号又は郵便番号の変更が生じたとき |
| 様式(3) | 事業主損賠との支給調整を行う文書報告書 | | 民事損害賠償（事業主損賠）が行われて支給調整を行うとき |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 様<br>式<br>(4) | 文書報告書特第１号 | 一時金給付の実額入力をするもの | 代表者に選任できない等の理由から一時金を複数人に支払うもの |
| | 文書報告書特第２号 | 基本権取消を行うもの | 生年月日を訂正する等の理由から、基本権取消処理が必要なもの |
| | | | 訂正処理のうち、以下の処理についてはキャンセルとしているため、基本権取消処理が必要なもの<br>・特別遺族給付金キー情報（500）による傷病年月日の訂正<br>・転帰情報（540）による支給事由発生年月日の訂正<br>・受付情報（650）による受付年月日の訂正 |
| | 文書報告書特第３号 | その他機械処理に対応していないもの | その他システムで対応していないため、労災保険業務課での特別処理が必要なもの |

文書報告書　様式(1)

基署発第　　号
平成　　年　　月　　日

＿＿＿労働局長 殿

＿＿＿労働基準監督署長　㊞

下記について文書報告事案が発生したので、必要事項を記載の上報告いたします。

記

| | |
|---|---|
| 1．文書報告書番号（該当番号に○印をつけること） | 第１号　５年より前にそ及する事案<br>第２号　一時金給付の実額入力事案<br>第３号　基本権取消事案<br>第４号　データベース復活事案<br>第５号　その他システムで対応していない事案 |
| 2．年金証書番号<br>データ受付番号<br>被災者生年月日 | 管轄局署 / 年金証書番号 / 管轄局 / 種　別 / 西暦年 / 番　　号 / 枝番 / 生年月日 / 元号 / 年 / 月 / 日<br>データ受付番号 / 管轄局 / 種　別 / 西暦年 / 番　　号 / ＣＤ / 決議番号 |
| 3．被災者氏名 | フリガナ |
| 4．報告事案の概要 | |
| 5．備　　考 | |

文書報告書　様式(2)

基署発第　　　　号
平成　　年　　月　　日

＿＿＿＿労働局長 殿

＿＿＿＿労働基準監督署長 ㊞

下記のとおり労働基準監督署の {名称／所在地／電話番号} が {新設／変更／廃止} されましたので、

報告いたします。

記

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 区分・局署 | 区分 | 区分コード | 新設 1<br>変更 3<br>廃止 5 | 局署 | | | | | | | | | | | | |
| 2. 労働基準監督署名 | フリガナ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 郵便番号 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 労働基準監督署所在地 | フリガナ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | フリガナ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | フリガナ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 5. 電話番号（右詰めで記入） | 市外局番 | | 市内局番 | | 番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | － | | － | |

文書報告書　様式(3)

基署発第　　号
平成　　年　　月　　日

＿＿＿＿労働局長 殿

＿＿＿＿労働基準監督署長　㊞

下記年金証書番号について文書報告事案が発生したので、必要事項を記載の上報告致します。

記

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1．年金証書番号<br>被災者生年月日 | 管轄局署 | | 年証番号 | 管轄局 | 種別 | 西暦年 | 番号 | | | 枝番 | 生年月日 | 元号 | 年 | 月 | 日 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2．災害発生年月日<br>支給事由発生年月日 | 災害発生 | 年 | | 月 | | 日 | 年金の支給事由発生年月日 | | | | | 年 | | 月 | | 日 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3．被災者氏名 | フリガナ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4．住所 | フリガナ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〒 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5．民事損害賠償の受領 | 事業主損賠の受領 | 年 | | 月 | | 日 | 受領額　　円 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 調整対象額　　円 | | | | | | | | | | | |
| 6．調整済額<br>調整済期間 | 調整済額　　円 | | | | | | 調整済期間（短期給付期間等）　　ケ月 | | | | | | | | | | | |
| 7．年金での調整額 | ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8．受領方法 | 事業主損賠分割の有無　　有　・　無 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9．第三者行為災害による損賠受領の有無等 | 受領の有無 | | | 損賠調整開始年月 | | | 損賠調整額 | | | | | | | | | | | |
| | 有　・　無 | | | 年　　月 | | | ＿＿＿＿円 | | | | | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※　他の年金から移行している場合は、移行前年金証書番号を必ず備考欄に記入すること。

基署発第　　号
平成　年　月　日

＿＿＿＿労働局長　殿

＿＿＿＿労働基準監督署長　㊞

下記について文書報告事案が発生したので、必要事項を記載の上報告いたします。

記

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 文書報告書番号<br>(該当番号に○印をつけること) | 特第1号　一時金給付の実額入力事案<br>特第2号　基本権取消事案<br>特第3号　その他システムで対応していない事案 |
| 2 | 年金証書番号<br>データ受付番号<br>死亡労働者等生年月日 | 管轄局署 / 年金証書番号 / 管轄局 / 種別 / 西暦年 / 番号 / 枝番号 / 生年月日 / 元号 / 年 / 月 / 日<br>種別：6<br>データ受付番号 / 管轄局 / 種別 / 西暦年 / 番号 / CD / 決議番号<br>種別：6 |
| 3 | 死亡労働者等氏名 | フリガナ |
| 4 | 報告事案の概要 | |
| 5 | 備考 | |

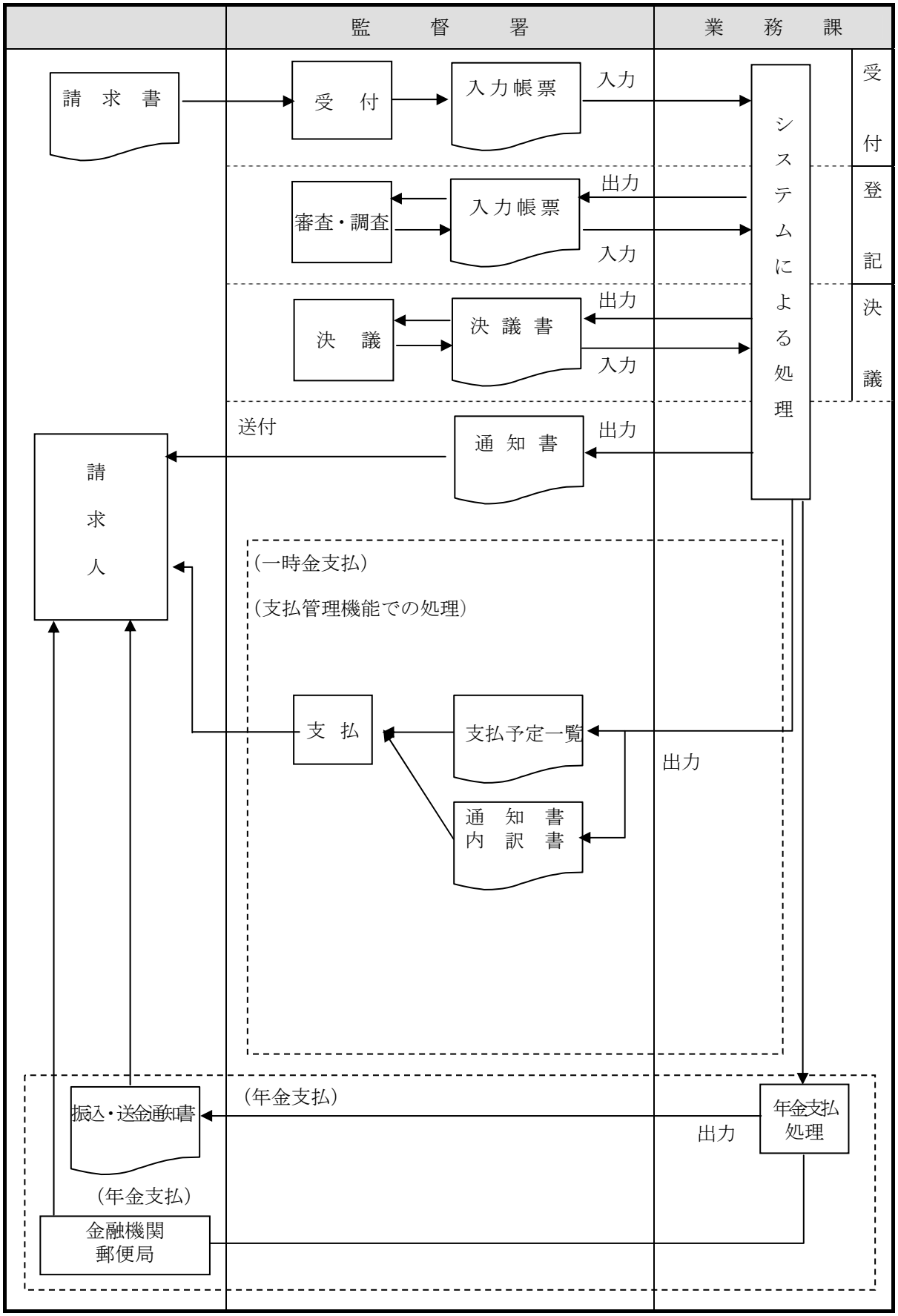
# Ⅱ

# 機械処理事務

# 1

# 請求から支払までの処理の流れ

請求から支払までの処理の流れ



左図は、年金・一時金システムにおける受付から支払までの基本的な機械処理事務の流れを示したものである。

請求人から請求書等が提出された場合は、原則として、次の3種類の処理を行うことになる。それぞれの処理の概要を簡単に説明すると次のようになる。

①受付処理

請求書が提出された段階で行う処理のことで、請求人の氏名、受付年月日、支給事由発生年月日等の受付項目をＯＣＲ入力し、データベースに登記する処理である。

また、この受付処理を行うことにより、受付段階からシステム管理を行うことができるため、審査・調査に時間を要するような事案についても、請求人からの照会等に迅速に対応できることになる。

②登記処理

審査・調査終了後、平均賃金、障害等級、口座番号等その請求に対する給付に直接関係する項目を登記する処理である。

また、この登記処理を行うことにより受給者等に対する給付年額をシステムで即時に計算するとともに、決議書を出力させることになる。

なお、就学等援護費の支給決定等のように審査等に時間を要さない事案の場合は、受付処理と登記処理を同時に行うこともできる。これを受付未済登記という。

③決議処理

登記処理において出力された決議書により署長決裁を行った後に行う処理である。支給・不支給決定年月日、処理区分及び統計項目等を登記することになる。

また、この決議処理を行うことにより支給・不支給決定通知書等が出力されるので、受給者等への通知を行うことになる。

（年金の支払）

ＯＣＲ入力されたデータに基づきシステムで計算処理を行い、支払期に支払データを作成する。業務課から支払データを日本銀行及びゆうちょ銀行に持込むとともに、労災管理課を経由して財務省会計センターへ支払データを官庁会計事務データ通信システム（以下「ＡＤＡＭＳ」という。）を使用して送信することにより、金融機関又はゆうちょ銀行において請求人等に年金が支払われる。

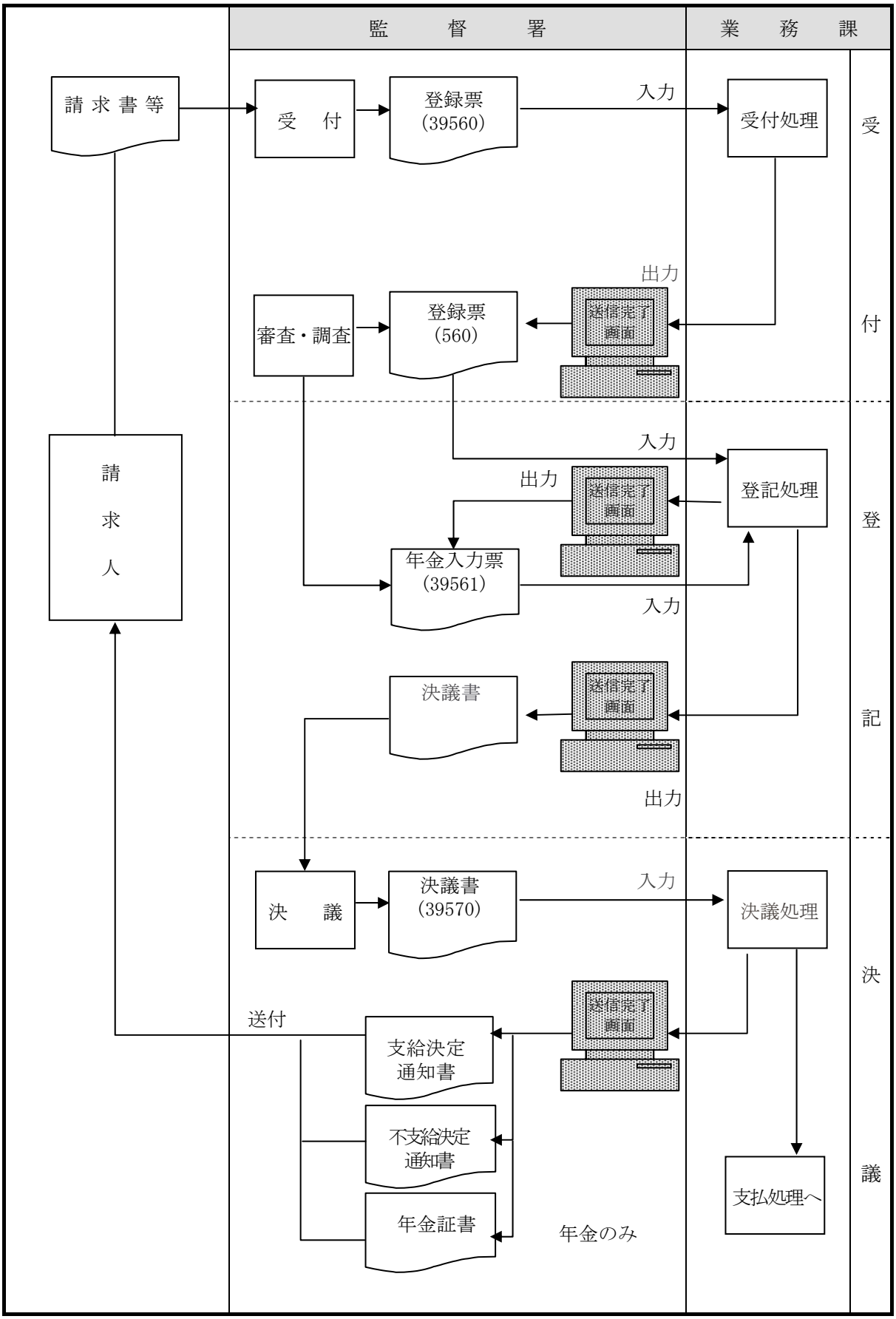
（一時金の支払）

一時金の支払処理は、支払管理機能で行われる処理である。その内容については、共通編の機械処理事務手引を参照すること。

# 2

# 支給決定処理

・支給決定処理の流れ


監　督　署
業　務　課
請 求 書 等
受　付
登録票
(39560)
入力
受付処理
受
出力
審査・調査
登録票
(560)
送信完了
画面
付
請
求
人
入力
出力
登記処理
年金入力票
(39561)
入力
登
決議書
出力
記
決　議
決議書
(39570)
入力
決議処理
決
送付
支給決定
通知書
不支給決定
通知書
年金証書
年金のみ
支払処理へ
議

## 【 処 理 の 説 明 】

支給決定処理とは、被災労働者又は遺族から提出された請求書等に対して支給・不支給決定を行う際の機械処理のことをいう。

受付処理

- 請求書等を受け付けた段階で、請求書等から受付項目を登録票に転記しＯＣＲ入力する。
- 受付処理が終了するとその旨が送信完了画面に出力される。入力した登録票をＯＣＲ専用プリンタにセットし、データ受付番号を印字する。

登記処理

- 審査・調査が終了し、入力項目が確定した時点で、登記入力項目を受付処理した登録票に記入しＯＣＲ入力する。
- 登記処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され決議書等が出力される。

決議処理

- 出力された決議書で支給決定を行い、決議終了後、所定の項目を記入し、操作カードを使ってＯＣＲ入力する。
- 決議処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され、通知書及び年金証書が出力される。

# (受付処理・登記処理)

受付処理・登記処理で用いる入力帳票としては、登録票、年金入力票、外国払入力票の 3 つがある。

① 登録票

支給決定処理にかかわる請求書の受付段階から被災者情報等を管理するために使用する帳票である。年金・一時金処理に共通の帳票であり、給付の種類ごとに様式番号を記入して汎用的に使用する。受付処理及び登記処理において、繰り返し使用するとともに、出力帳票としても使用することになる。

② 年金・一時金入力票

登記処理において使用する帳票であり、年金給付独自の項目及び銀行振込を選択した一時金給付の住所情報を入力するための帳票である。入力内容としては、厚年等情報、資格者情報、支払金融機関情報等である。

また、受給者等の住所・氏名についての漢字登録もこの年金・一時金入力票の入力段階で行うことになる。

③ 外国払入力票

年金受給者が外国に居住しているため、年金給付にかかる支払金を外国に送金する場合に使用する帳票である。この帳票により年金受給者等の氏名・住所等をアルファベットで管理することになる。

(1) 給付の種類及び入力帳票

支給決定処理は、次に掲げる 14 の給付について行う処理である。ここでは、給付の種類及び入力帳票を示す。

なお、年金給付、及び支払方法で銀行振込を選択した一時金については、登録票に加えて年金・一時金入力票を入力する必要がある。さらに、支払方法で外国送金を選択した年金については、年金入力票に加えて外国払入力票も入力することとなる。

下図は、各給付ごとに必要な入力帳票及び掲載頁を示したものである。

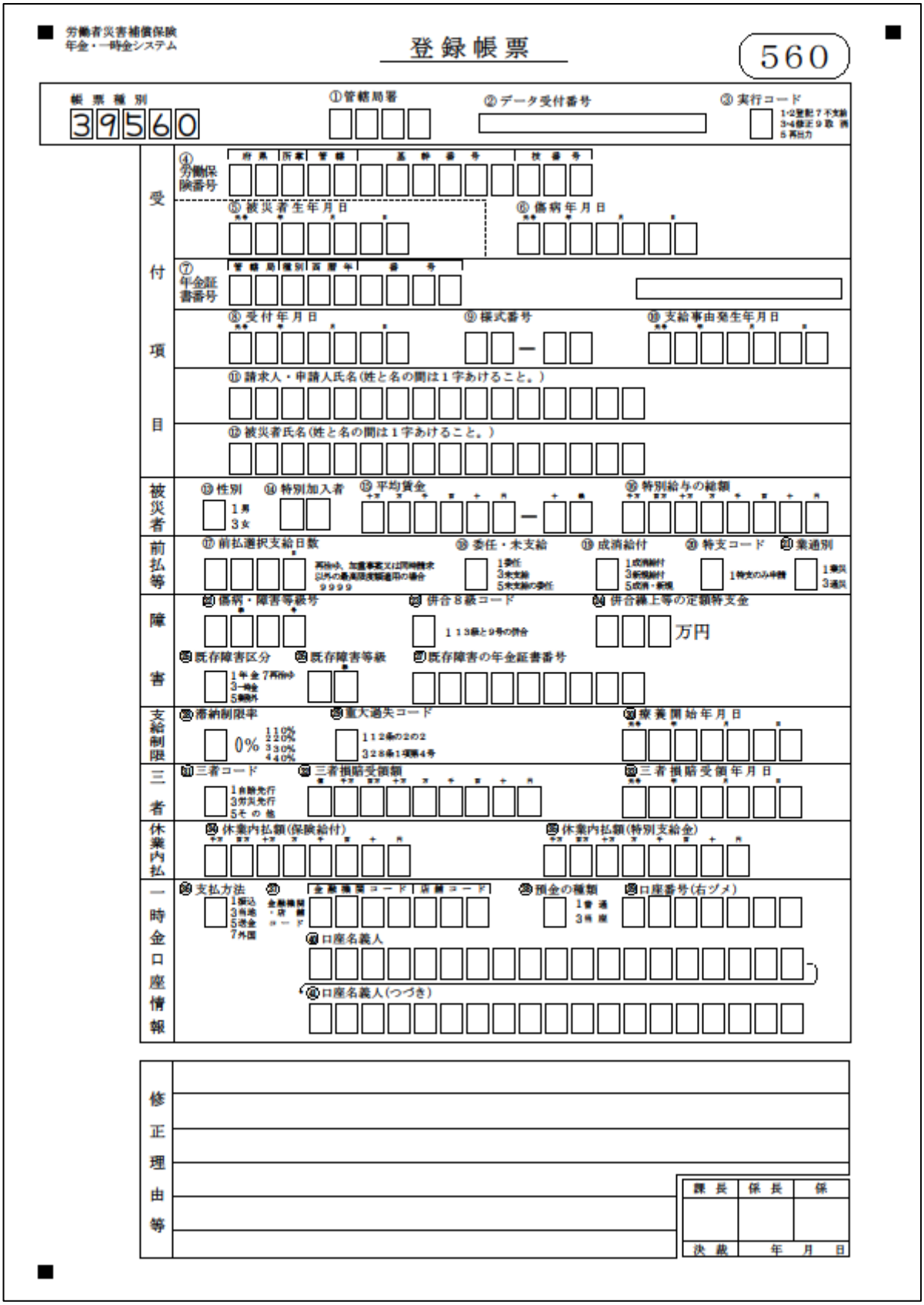
| No. | 給 付 の 種 類 | 請求書様式 | 登録票 | 年金入力票 | 外国払入力票 | 掲載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 傷病（補償）年金 | “1602”『傷病の状態等に関する届』<br>“1611”『傷病の状態等に関する報告書』 | ○ | ○ | 外国送金の場合のみ入力 | Ⅱ-2-8 |
| 2 | 障害（補償）一時金 | “1000”『障害補償給付支給請求書』<br>“1607”『障害給付支給請求書』<br>“9003”『(職権決議用) 年金たる保険給付の変更決定』 | ○ | ○※ | 外国送金の場合のみ入力 | Ⅱ-2-15 |
| 3 | 障害（補償）年金 | | ○ | ○ | 外国送金の場合のみ入力 | Ⅱ-2-18 |
| 4 | 遺族（補償）一時金 | “1500”『遺族補償一時金支給請求書』<br>“1609”『遺族一時金支給請求書』 | ○ | ○※ | 外国送金の場合のみ入力 | Ⅱ-2-21 |
| 5 | 遺族（補償）年金 | “1200”『遺族補償年金支給請求書』<br>“1608”『遺族年金支給請求書』 | ○ | ○ | 外国送金の場合のみ入力 | Ⅱ-2-24 |
| 6 | 障害（補償）年金前払一時金 | “0010”『障害（補償）年金前払一時金支給請求書』 | ○ | - | - | Ⅱ-2-27 |
| 7 | 遺族（補償）年金前払一時金 | “0001”『遺族（補償）年金前払一時金支給請求書』 | ○ | - | - | Ⅱ-2-30 |
| 8 | 障害（補償）年金差額一時金 | “3702”『障害（補償）年金差額一時金支給請求書』 | ○ | ○※ | 外国送金の場合のみ入力 | Ⅱ-2-33 |
| 9 | 遺族（補償）一時金<br>（失権差額一時金） | “1500”『遺族補償一時金支給請求書』<br>“1609”『遺族一時金支給請求書』 | ○ | ○※ | 外国送金の場合のみ入力 | Ⅱ-2-36 |
| 10 | 未支給金・未支給年金 | “0400”『未支給の保険給付支給請求書』<br>『未支給の特別遺族給付金支給請求書』 | ○ | ○※ | 外国送金の場合のみ入力 | Ⅱ-2-39 |
| 11 | 葬祭料・葬祭給付 | “1600”『葬祭料請求書』<br>“1610”『葬祭給付請求書』 | ○ | ○ | 外国送金の場合のみ入力 | Ⅱ-2-42 |
| 12 | 特別遺族一時金 | “7100”『特別遺族一時金支給請求書』 | ○ | ○※ | 外国送金の場合のみ入力 | Ⅱ-2-45 |
| 13 | 特別遺族年金 | “7000”『特別遺族年金支給請求書』 | ○ | ○ | 外国送金の場合のみ入力 | Ⅱ-2-48 |
| 14 | 特別遺族一時金<br>（失権差額一時金） | “7100”『特別遺族一時金支給請求書』 | ○ | ○※ | 外国送金の場合のみ入力 | Ⅱ-2-51 |

○ … 必要　　- …不要

※ … 支払方法が銀行振込の場合のみ必須入力

(2) 登録票

イ　様式


労働者災害補償保険
年金・一時金システム
登録帳票
560
帳票種別
39560
①管轄局署
②データ受付番号
③実行コード
受付項目
④労働保険番号
府県 所掌 管轄 基幹番号 枝番号
⑤被災者生年月日
⑥傷病年月日
⑦年金証書番号
管轄局 種別 西暦年 番号
⑧受付年月日
⑨様式番号
⑩支給事由発生年月日
⑪請求人・申請人氏名(姓と名の間は1字あけること。)
⑫被災者氏名(姓と名の間は1字あけること。)
被災者
⑬性別
1男
3女
⑭特別加入者
⑮平均賃金
⑯特別給与の総額
前払等
⑰前払選択支給日数
9999
⑱委任・未支給
1委任
3未支給
5未支給の委任
⑲成病給付
1成病給付
3新規給付
5成病・新規
⑳特支コード
㉑業通別
1業災
3通災
障害
㉒傷病・障害等級号
㉓併合8級コード
113級と9号の併合
㉔併合繰上等の定額特支金
万円
㉕既存障害区分
1年金 7再併合
3一時金
5該当外
㉖既存障害等級
㉗既存障害の年金証書番号
支給制限
㉘滞納制限率
0%
110%
220%
330%
440%
㉙重大過失コード
112条の202
328条1項第4号
㉚療養開始年月日
三者
㉛三者コード
1自賠先行
3労災先行
5その他
㉜三者損賠受領額
㉝三者損賠受領年月日
休業内払
㉞休業内払額(保険給付)
㉟休業内払額(特別支給金)
一時金口座情報
㊱支払方法
1振込
3当座
5現金
7外国
㊲金融機関・店舗コード
金融機関コード 店舗コード
㊳預金の種類
1普通
3当座
㊴口座番号(右ヅメ)
㊵口座名義人
㊶口座名義人(つづき)
修正理由等
課長 係長 係
決裁 年 月 日

1　登録票の記入項目

それぞれの処理における登録票の記入項目は次のとおりである。

イ　傷病（補償）年金

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登　記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | △ | △ | | | | | | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | ● | | | ● | | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | | | 3 | | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | ● | ● | | | | | | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ● | ● | | | | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | ● | ● | | | | | | | | |
| 7 | 年金証書番号 | × | × | × | | | × | | | | |
| 8 | 受付年月日 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 9 | 様式番号 | 16-02<br>16-11 | 16-02<br>16-11 | | | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 12 | 被災者氏名 | ● | ● | | | | | | | | |
| 13 | 性別 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 14 | 特別加入者 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 15 | 平均賃金 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | × | × | | | × | | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 19 | 成消給付 | | ○※1 | ○※1 | | | ○※1 | | | | |
| 20 | 特支コード | | × | × | | | × | | | | |
| 21 | 業通別 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | ● | ● | | | ● | | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | | | × | | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | × | × | | | × | | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | × | × | | | × | | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | × | × | | | × | | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 29 | 重大過失コード | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 31 | 三者コード | | △ | △ | | | △ | |
| 32 | 三者損賠受領額 | | △ | △ | | | △ | |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | △ | △ | | | △ | |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | △ | △ | | | △ | |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | △ | △ | | | △ | |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　目　名 | 登　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 38 | 預金の種類 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 39 | 口座番号 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 40 | 口座名義人 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略可能）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

空欄 … 未使用項目

※1 … 留意点参照（Ⅱ-2-61 ページ）

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

登録票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | × | × | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 被災者情報リスト | － | ● | × | × | × | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 入力票 | － | × | △ | △ | × | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金・一時金入力結果票 | － | × | × | × | × | × | × | × | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金年額リスト | － | × | × | × | × | × | × | × | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| 計算式リスト | － | × | × | × | × | × | × | × | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | × | △ | △ | × | × | △ | × | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | △ | △ | × | × | △ | × | △ | △ | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

登録票入力時の出力画面

登録票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。

キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

出力項目の説明

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア（キャンセル時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | | 実行コードに応じた処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | キー項目 | 帳票に記載されたデータ受付番号、もしくは 4 キー（労働保険番号、傷病年月日、被災者生年月日、被災者氏名カナ)、もしくは年金証書番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | 管轄局署 | 帳票に記載された管轄局署を出力する。 | － |
| | データ受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| | 実行コード | 帳票に記載された実行コードを出力する。 | － |
| | 労働保険番号 | 帳票に記載された労働保険番号を出力する。 | － |
| | 被災者生年月日 | 帳票に記載された被災者生年月日を出力する。 | － |
| | 傷病年月日 | 帳票に記載された傷病年月日を出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |
| | 受付年月日 | 帳票に記載された受付年月日を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| | 様式番号 | 帳票に記載された様式番号を出力する。 | － |
| | 支給事由発生年月日 | 帳票に記載された支給事由発生年月日を出力する。 | － |
| | 請求人・申請人氏名 | 帳票に記載された請求人・申請人氏名、もしくは短期情報／前給付情報から流用した請求人・申請人氏名を出力する。 | － |
| | 被災者氏名 | 帳票に記載された被災者氏名を出力する。 | － |
| | 性別 | 帳票に記載された性別、もしくは短期情報／前給付情報から流用した性別を出力する。 | － |
| | 特別加入者 | 帳票に記載された特別加入者、もしくは短期情報／前給付情報から流用した特別加入者を出力する。 | － |
| | 平均賃金 | 帳票に記載された平均賃金、もしくは短期情報／前給付情報から流用した平均賃金を出力する。 | － |
| | 特別給与の総額 | 帳票に記載された特別給与の総額、もしくは短期情報／前給付情報から流用した特別給与の総額を出力する。 | － |
| | 前払選択支給日数 | 帳票に記載された前払選択支給日数を出力する。 | － |
| | 委任・未支給 | 帳票に記載された委任・未支給を出力する。 | － |
| | 成消給付 | 帳票に記載された成消給付を出力する。 | － |
| | 特支コード | 帳票に記載された特支コードを出力する。 | － |
| | 業通別 | 帳票に記載された業通別、もしくは短期情報／前給付情報から流用した業通別を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| | 傷病・障害等級号 | 帳票に記載された傷病・障害等級号を出力する。 | － |
| | 併合８級コード | 帳票に記載された併合８級コードを出力する。 | － |
| | 併合繰上等定額特支金 | 帳票に記載された併合繰上等定額特支金を出力する。 | － |
| | 既存障害区分 | 帳票に記載された既存障害区分を出力する。 | － |
| | 既存障害等級 | 帳票に記載された既存障害等級を出力する。 | － |
| | 既存障害年金証書番号 | 帳票に記載された既存障害年金証書番号を出力する。 | － |
| | 滞納制限率 | 帳票に記載された滞納制限率を出力する。 | － |
| | 重大過失コード | 帳票に記載された重大過失コード、もしくは短期情報／前給付情報から流用した重大過失コードを出力する。 | － |
| | 療養開始年月日 | 帳票に記載された療養開始年月日、もしくは短期情報／前給付情報から流用した療養開始年月日を出力する。 | － |
| | 三者コード | 帳票に記載された三者コードを出力する。 | － |
| | 三者損賠受領額 | 帳票に記載された三者損賠受領額を出力する。 | － |
| | 三者損賠受領年月日 | 帳票に記載された三者損賠受領年月日を出力する。 | － |
| | 休業内払額（保険給付） | 帳票に記載された休業内払額（保険給付）を出力する。 | － |
| | 休業内払額（特別支給金） | 帳票に記載された休業内払額（特別支給金）を出力する。 | － |
| | 支払方法 | 帳票に記載された支払方法を出力する。 | － |
| | 金融機関コード | 帳票に記載された金融機関コードを出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| | 預金の種類 | 帳票に記載された預金の種類を出力する。 | － |
| | 口座番号 | 帳票に記載された口座番号を出力する。 | － |
| | 口座名義人 | 帳票に記載された口座名義人を出力する。 | － |
| | 口座名義人（つづき） | 帳票に記載された口座名義人（つづき）を出力する。 | － |
| 操作者情報 | ユーザ ID | 当該処理を実施したユーザの ID を出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末の IP アドレスを出力する。 | － |

ロ　障害（補償）一時金

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登　記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | △ | △ | | △ | | | | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | ● | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | Ⓐ | Ⓐ | | Ⓐ | | | | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ⒶⒷ | ⒶⒷ | | ⒶⒷ | | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | Ⓐ | Ⓐ | | Ⓐ | | | | | | |
| 7 | 年金証書番号 | Ⓑ | Ⓑ | | Ⓑ | | | | | | |
| 8 | 受付年月日 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 9 | 様式番号 | 10-00<br>16-07<br>90-03 | 10-00<br>16-07<br>90-03 | | 10-00<br>16-07<br>90-03 | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 12 | 被災者氏名 | Ⓐ | Ⓐ | ○ | Ⓐ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 13 | 性別 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 14 | 特別加入者 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 15 | 平均賃金 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 19 | 成消給付 | | ○※1 | ○※1 | ○※1 | ○※1 | ○※1 | ○※1 | | | |
| 20 | 特支コード | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 23 | 併合８級コード | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 29 | 重大過失コード | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 31 | 三者コード | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 32 | 三者損賠受領額 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　目　名 | 登　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 38 | 預金の種類 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 39 | 口座番号 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 40 | 口座名義人 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略可能）

Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

空欄 … 未使用項目

※1 … 留意点参照（Ⅱ-2-61 ページ）

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

＜注意事項＞

ｲ　職権により障害（補償）一時金の支給決定決議を行う場合（様式番号 90－03）、「8：受付年月日」「11：請求人・申請人氏名」の記入は必要ない。

なお、記入されている場合はキャンセルされる。

ﾛ　支払方法「1：振込」の場合、支払権者の住所入力が必須となるため、実行コードは 2、4 のいずれかを選択すること。1、3 を選択した場合は、キャンセルとなる。

登録票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | × | ● | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 被災者情報リスト | － | ● | × | × | × | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 入力票 | － | × | × | × | △ | △ | × | △ | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 計算式リスト | － | × | △ | △ | × | × | △ | × | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | × | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | ● | ● | △ | △ | ● | △ | ● | ● | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

ハ　障害（補償）年金

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登　記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | △ | △ | | | | | | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | ● | | | ● | | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | | | 3 | | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | Ⓐ | Ⓐ | | | | | | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ⒶⒷ | ⒶⒷ | | | | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | Ⓐ | Ⓐ | | | | | | | | |
| 7 | 年金証書番号 | Ⓑ | Ⓑ | | | | | | | | |
| 8 | 受付年月日 | △ | △ | ● | | | ● | | | | |
| 9 | 様式番号 | 10-00<br>16-07 | 10-00<br>16-07 | | | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 12 | 被災者氏名 | Ⓐ | Ⓐ | ○ | | | ○ | | | | |
| 13 | 性別 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 14 | 特別加入者 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 15 | 平均賃金 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 19 | 成消給付 | | ○※1 | ○※1 | | | ○※1 | | | | |
| 20 | 特支コード | | × | × | | | × | | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | | | × | | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | ● | ● | | | ● | | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | | | × | | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 29 | 重大過失コード | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |

| 番号 | 項　　目　　名 | 受付 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 31 | 三者コード | | △ | △ | | | △ | |
| 32 | 三者損賠受領額 | | △ | △ | | | △ | |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | △ | △ | | | △ | |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | △ | △ | | | △ | |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | △ | △ | | | △ | |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 38 | 預金の種類 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 39 | 口座番号 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 40 | 口座名義人 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略可能）

Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

空欄 … 未使用項目

※1 … 留意点参照（Ⅱ-2-61 ページ）

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

＜注意事項＞

ｲ 前払選択支給日数に「9999」と記入された場合、前払一時金調整残額を自動的に引継ぎ、決議書にワーニング MSG を印字する。引き継ぐべき額があるにも関わらず、「9999」が入力されていない場合はキャンセルとし、引き継ぐべき額がないのにも関わらず、「9999」が入力された場合は、決議書にワーニング MSG を出力する。

登録票入力時の出力帳票

登録票の入力がキャンセルされた場合は、修正再送信画面を出力する。

正常に処理した場合は、送信完了画面を出力後、それぞれの処理段階で次の帳票を出力する。

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | × | | | × | | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 被災者情報リスト | － | ● | × | × | | | × | | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 入力票 | － | × | △ | △ | | | × | | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金・一時金入力結果票 | － | × | × | × | | | × | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金年額リスト | － | × | × | × | | | × | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| 計算式リスト | － | × | × | × | | | × | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | × | △ | △ | | | △ | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | △ | △ | | | △ | | △ | △ | × | OCR専用プリンタ |
| 債務者登録票 | － | × | × | × | | | × | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

ニ　遺族（補償）一時金

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | △ | △ | | △ | | | | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | ● | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | Ⓐ | Ⓐ | | Ⓐ | | | | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ⒶⒷ | ⒶⒷ | | ⒶⒷ | | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | Ⓐ | Ⓐ | | Ⓐ | | | | | | |
| 7 | 年金証書番号 | Ⓑ | Ⓑ | | Ⓑ | | | | | | |
| 8 | 受付年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 9 | 様式番号 | 15-00<br>16-09 | 15-00<br>16-09 | | 15-00<br>16-09 | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 12 | 被災者氏名 | Ⓐ | Ⓐ | | Ⓐ | | | | | | |
| 13 | 性別 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 14 | 特別加入者 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 15 | 平均賃金 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 19 | 成消給付 | | ○※1 | ○※1 | ○※1 | ○※1 | ○※1 | ○※1 | | | |
| 20 | 特支コード | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 29 | 重大過失コード | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |

| 番号 | 項　　目　　名 | 受付 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 31 | 三者コード | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 32 | 三者損賠受領額 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | × | × | × | × | × | × |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | × | × | × | × | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 38 | 預金の種類 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 39 | 口座番号 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 40 | 口座名義人 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● ： 必須入力項目

○ ： 必須入力項目（省略可能）

Ⓐ・Ⓑ ： Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目

△ ： 任意入力項目

× ： 入力不可項目

空欄： 未使用項目

※1 ： 留意点参照（Ⅱ-2-61 ページ）

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

＜注意事項＞

ｲ 支払方法「1：振込」の場合、支払権者の住所入力が必須となるため、実行コードは 2、4 のいずれかを選択すること。1、3 を選択した場合は、キャンセルとなる。

登録票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | × | ● | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 被災者情報リスト | － | ● | × | × | × | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 入力票 | － | × | × | × | △ | △ | × | △ | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金・一時金入力結果票 | － | × | × | × | × | × | × | × | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | × | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | ● | ● | △ | △ | ● | △ | ● | ● | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

ホ　遺族（補償）年金

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登　記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | △ | △ | | | | | | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | ● | | | ● | | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | | | 3 | | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | Ⓐ | Ⓐ | | | | | | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ⒶⒷ | ⒶⒷ | | | | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | Ⓐ | Ⓐ | | | | | | | | |
| 7 | 年金証書番号 | Ⓑ | Ⓑ | | | | | | | | |
| 8 | 受付年月日 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 9 | 様式番号 | 12-00<br>16-08 | 12-00<br>16-08 | | | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 12 | 被災者氏名 | Ⓐ | Ⓐ | | | | | | | | |
| 13 | 性別 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 14 | 特別加入者 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 15 | 平均賃金 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | × | × | | | × | | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 19 | 成消給付 | | ○※1 | ○※1 | | | ○※1 | | | | |
| 20 | 特支コード | | × | × | | | × | | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | | | × | | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | × | × | | | × | | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | | | × | | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | × | × | | | × | | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | × | × | | | × | | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | × | × | | | × | | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | × | × | | | × | | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 29 | 重大過失コード | | ○ | ○ | | | ○ | | | | |

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 31 | 三者コード | | △ | △ | | | △ | |
| 32 | 三者損賠受領額 | | △ | △ | | | △ | |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | △ | △ | | | △ | |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | × | × | | | × | |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | × | × | | | × | |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　目　名 | 登　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | ● | × | ● | × | ● | × |
| 38 | 預金の種類 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 39 | 口座番号 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 40 | 口座名義人 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● ： 必須入力項目

○ ： 必須入力項目（省略可能）

Ⓐ・Ⓑ ： Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目

△ ： 任意入力項目

× ： 入力不可項目

空欄： 未使用項目

※1 ： 留意点参照（Ⅱ-2-61 ページ）

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

登録票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | ● | | | × | | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 被災者情報リスト | － | ● | × | × | | | × | | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 入力票 | － | × | △ | △ | | | × | | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金・一時金入力結果票 | － | × | × | × | | | × | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金年額リスト | － | × | × | × | | | × | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | × | △ | △ | | | △ | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| 遺族（補償）年金資格者一覧 | － | × | × | × | | | × | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | △ | △ | | | △ | | ● | ● | × | OCR専用プリンタ |
| 債務者登録票 | － | × | × | × | | | × | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

ヘ　障害（補償）年金前払一時金

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | △ | △ | △ | | | △ | | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | ● | | | ● | | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | | | 3 | | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | × | × | | | | | | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ● | ● | | | | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | × | × | | | | | | | | |
| 7 | 年金証書番号 | ● | ● | | | | | | | | |
| 8 | 受付年月日 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 9 | 様式番号 | 00-10 | 00-10 | | | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 12 | 被災者氏名 | × | × | | | | | | | | |
| 13 | 性別 | | × | × | | | × | | | | |
| 14 | 特別加入者 | | × | × | | | × | | | | |
| 15 | 平均賃金 | | × | × | | | × | | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | × | × | | | × | | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | ● | ● | | | ● | | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 19 | 成消給付 | | × | × | | | × | | | | |
| 20 | 特支コード | | × | × | | | × | | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | | | × | | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | × | × | | | × | | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | | | × | | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | × | × | | | × | | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | × | × | | | × | | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | × | × | | | × | | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | × | × | | | × | | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | × | × | | | × | | | | |
| 29 | 重大過失コード | | × | × | | | × | | | | |

| 番号 | 項　　目　　名 | 受付 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | × | × | | | × | |
| 31 | 三者コード | | × | × | | | × | |
| 32 | 三者損賠受領額 | | × | × | | | × | |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | × | × | | | × | |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | × | × | | | × | |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | × | × | | | × | |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 38 | 預金の種類 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 39 | 口座番号 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 40 | 口座名義人 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● ： 必須入力項目

○ ： 必須入力項目（省略可能）

△ ： 任意入力項目

× ： 入力不可項目

空欄： 未使用項目

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

登録票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | ● | | | × | | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | ● | ● | | | ● | | ● | ● | × | OCR専用プリンタ |
| 計算式リスト | － | × | △ | △ | | | △ | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

ト　遺族（補償）年金前払一時金

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | △ | △ | △ | | | △ | | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | △ | △ | | | ● | | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | | | 3 | | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | × | × | | | | | | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ● | ● | | | | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | × | × | | | | | | | | |
| 7 | 年金証書番号 | ● | ● | | | | | | | | |
| 8 | 受付年月日 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 9 | 様式番号 | 00-01 | 00-01 | | | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | |
| 12 | 被災者氏名 | × | × | | | | | | | | |
| 13 | 性別 | | × | × | | | × | | | | |
| 14 | 特別加入者 | | × | × | | | × | | | | |
| 15 | 平均賃金 | | × | × | | | × | | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | × | × | | | × | | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | ● | ● | | | ● | | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 19 | 成消給付 | | × | × | | | × | | | | |
| 20 | 特支コード | | × | × | | | × | | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | | | × | | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | × | × | | | × | | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | | | × | | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | × | × | | | × | | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | × | × | | | × | | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | × | × | | | × | | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | × | × | | | × | | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | × | × | | | × | | | | |
| 29 | 重大過失コード | | × | × | | | × | | | | |

| 番号 | 項　　目　　名 | 受付 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | × | × | | | × | |
| 31 | 三者コード | | × | × | | | × | |
| 32 | 三者損賠受領額 | | × | × | | | × | |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | × | × | | | × | |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | × | × | | | × | |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | × | × | | | × | |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 38 | 預金の種類 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 39 | 口座番号 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 40 | 口座名義人 | ○ | × | ○ | × | ○ | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● ： 必須入力項目

○ ： 必須入力項目（省略可能）

△ ： 任意入力項目

× ： 入力不可項目

空欄： 未使用項目

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

登録票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | ● | | | × | | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | ● | ● | | | ● | | ● | ● | × | OCR専用プリンタ |
| 計算式リスト | － | × | △ | △ | | | △ | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

チ　障害（補償）年金差額一時金

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登　記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | ● | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ● | ● | | ● | | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| 7 | 年金証書番号 | ● | ● | | ● | | | | | | |
| 8 | 受付年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 9 | 様式番号 | 37-02 | 37-02 | | 37-02 | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 12 | 被災者氏名 | × | × | | × | | | | | | |
| 13 | 性別 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 14 | 特別加入者 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 15 | 平均賃金 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 19 | 成消給付 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 20 | 特支コード | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 29 | 重大過失コード | | × | × | × | × | × | × | | | |

| 番号 | 項　　目　　名 | 受付 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | × | × | × | × | × | × |
| 31 | 三者コード | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 32 | 三者損賠受領額 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | × | × | × | × | × | × |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | × | × | × | × | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地･送金 | 銀行振込 | 当地･送金 | 銀行振込 | 当地･送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3･5･7 | 1 | 3･5･7 | 1 | 3･5･7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | ● | × | ● | × | ● | × |
| 38 | 預金の種類 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 39 | 口座番号 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 40 | 口座名義人 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● ： 必須入力項目

○ ： 必須入力項目（省略可能）

△ ： 任意入力項目

× ： 入力不可項目

空欄： 未使用項目

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

＜注意事項＞

ｲ 支払方法「1：振込」の場合、支払権者の住所入力が必須となるため、実行コードは 2、4 のいずれかを選択すること。1、3 を選択した場合は、キャンセルとなる。

登録票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | × | ● | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 入力票 | － | × | × | × | △ | △ | × | △ | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金・一時金入力結果票 | － | × | × | × | × | × | × | × | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | ● | ● | △ | △ | ● | △ | ● | ● | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

リ　遺族（補償）一時金（失権差額一時金）

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登　記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | ● | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ● | ● | | ● | △ | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| 7 | 年金証書番号 | ● | ● | | ● | | | | | | |
| 8 | 受付年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 9 | 様式番号 | 15-00<br>16-09 | 15-00<br>16-09 | | 15-00<br>16-09 | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 12 | 被災者氏名 | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| 13 | 性別 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 14 | 特別加入者 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 15 | 平均賃金 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 19 | 成消給付 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 20 | 特支コード | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 29 | 重大過失コード | | × | × | × | × | × | × | | | |

| 番号 | 項　　目　　名 | 受付 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | × | × | × | × | × | × |
| 31 | 三者コード | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 32 | 三者損賠受領額 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | × | × | × | × | × | × |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | × | × | × | × | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地･送金 | 銀行振込 | 当地･送金 | 銀行振込 | 当地･送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3･5･7 | 1 | 3･5･7 | 1 | 3･5･7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | ● | × | ● | × | ● | × |
| 38 | 預金の種類 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 39 | 口座番号 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 40 | 口座名義人 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● ： 必須入力項目

○ ： 必須入力項目（省略可能）

△ ： 任意入力項目

× ： 入力不可項目

空欄： 未使用項目

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

＜注意事項＞

ｲ 支払方法「1：振込」の場合、支払権者の住所入力が必須となるため、実行コードは 2、4 のいずれかを選択すること。1、3 を選択した場合は、キャンセルとなる。

登録票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | × | ● | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 入力票 | － | × | × | × | △ | △ | × | △ | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金・一時金入力結果票 | － | × | × | × | × | × | × | × | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | ● | ● | △ | △ | ● | △ | ● | ● | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

ヌ　未支給金・未支給年金

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登　記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | ● | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ● | ● | | ● | | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| 7 | 年金証書番号 | ● | ● | | ● | | | | | | |
| 8 | 受付年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 9 | 様式番号 | 04-00 | 04-00 | | 04-00 | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 12 | 被災者氏名 | × | × | | × | | | | | | |
| 13 | 性別 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 14 | 特別加入者 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 15 | 平均賃金 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | × | × | △ | × | | | |
| 19 | 成消給付 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 20 | 特支コード | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 29 | 重大過失コード | | × | × | × | × | × | × | | | |

| 番号 | 項　　目　　名 | 受付 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | × | × | × | × | × | × |
| 31 | 三者コード | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 32 | 三者損賠受領額 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | × | × | × | × | × | × |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | × | × | × | × | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地･送金 | 銀行振込 | 当地･送金 | 銀行振込 | 当地･送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3･5･7 | 1 | 3･5･7 | 1 | 3･5･7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | ● | × | ● | × | ● | × |
| 38 | 預金の種類 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 39 | 口座番号 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 40 | 口座名義人 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● ： 必須入力項目

○ ： 必須入力項目（省略可能）

△ ： 任意入力項目

× ： 入力不可項目

空欄： 未使用項目

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

＜注意事項＞

ｲ 支払方法「1：振込」の場合、支払権者の住所入力が必須となるため、実行コードは 2、4 のいずれかを選択すること。1、3 を選択した場合は、キャンセルとなる。

登録票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | × | ● | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 入力票 | － | × | × | × | △ | △ | × | △ | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金・一時金入力結果票 | － | × | × | × | × | × | × | × | ● | × | × | OCR専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | △ | △ | △ | × | × | △ | × | △ | △ | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | ● | ● | △ | △ | ● | △ | ● | ● | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

ル　葬祭料・葬祭給付

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | △ | △ | | △ | | | | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | ● | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | Ⓐ | Ⓐ | | Ⓐ | | | | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ⒶⒷ | ⒶⒷ | | ⒶⒷ | | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | Ⓐ | Ⓐ | | Ⓐ | | | | | | |
| 7 | 年金証書番号 | Ⓑ | Ⓑ | | Ⓑ | | | | | | |
| 8 | 受付年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 9 | 様式番号 | 16-00<br>16-10 | 16-00<br>16-10 | | 16-00<br>16-10 | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 12 | 被災者氏名 | Ⓐ | △ | △ | Ⓐ | △ | △ | △ | | | |
| 13 | 性別 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 14 | 特別加入者 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 15 | 平均賃金 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | × | × | △ | × | | | |
| 19 | 成消給付 | | ○※1 | ○※1 | ○※1 | ○※1 | ○※1 | ○※1 | | | |
| 20 | 特支コード | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 29 | 重大過失コード | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |

| 番号 | 項　　目　　名 | 受付 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 31 | 三者コード | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 32 | 三者損賠受領額 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | × | × | × | × | × | × |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | × | × | × | × | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | ● | × | ● | × | ● | × |
| 38 | 預金の種類 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 39 | 口座番号 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 40 | 口座名義人 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● ： 必須入力項目

○ ： 必須入力項目（省略可能）

Ⓐ・Ⓑ ： Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目

△ ： 任意入力項目

× ： 入力不可項目

空欄： 未使用項目

※1 ： 留意点参照（Ⅱ-2-61 ページ）

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

＜注意事項＞

ｲ 支払方法「1：振込」の場合、支払権者の住所入力が必須となるため、実行コードは 2、4 のいずれかを選択すること。1、3 を選択した場合は、キャンセルとなる。

登録票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | × | ● | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 被災者情報リスト | － | ● | × | × | × | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 入力票 | － | × | × | × | △ | △ | × | △ | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金・一時金入力結果票 | － | × | × | × | × | × | × | × | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | × | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | ● | ● | △ | △ | ● | △ | ● | ● | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

ヲ　特別遺族一時金

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | △ | △ | | △ | | | | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | ● | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | ● | ● | | ● | | | | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ● | ● | | ● | | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | ● | ● | | ● | | | | | | |
| 7 | 年金証書番号 | × | × | | × | | | | | | |
| 8 | 受付年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 9 | 様式番号 | 71-00 | 71-00 | | 71-00 | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 12 | 被災者氏名 | ● | ● | | ● | | | | | | |
| 13 | 性別 | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 特別加入者 | | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 15 | 平均賃金 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | × | × | △ | × | | | |
| 19 | 成消給付 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 20 | 特支コード | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 29 | 重大過失コード | | × | × | × | × | × | × | | | |

| 番号 | 項　　目　　名 | 受付 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | × | × | × | × | × | × |
| 31 | 三者コード | | × | × | × | × | × | × |
| 32 | 三者損賠受領額 | | × | × | × | × | × | × |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | × | × | × | × | × | × |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | × | × | × | × | × | × |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | × | × | × | × | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 | 1 | 3・5・7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | ● | × | ● | × | ● | × |
| 38 | 預金の種類 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 39 | 口座番号 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 40 | 口座名義人 | ● | × | ● | × | ● | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略可能）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

空欄 … 未使用項目

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

＜注意事項＞

イ　支払方法「1：振込」の場合、支払権者の住所入力が必須となるため、実行コードは 2、4 のいずれかを選択すること。1、3 を選択した場合は、キャンセルとなる。

ロ　受付年月日は、平成 18 年 3 月 27 日以降、平成 24 年 3 月 27 日以前の日付を記入すること。平成 24 年 3 月 27 日以降の受付年月日を記入する場合、遺族補償一時金で支給決定すること。（特別遺族給付金の請求期限が平成 24 年 3 月 27 日までであるため。）また、受付年月日は傷病年月日＋5 年以降となる日付を記入すること。（労災保険法の時効にあたらない場合は、特別遺族給付は不支給となるため。その際は遺族補償一時金で支給決定すること。）

ハ　傷病年月日は平成 18 年 3 月 26 日以前の日付を記入すること。

登録票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | × | ● | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 被災者情報リスト | － | ● | × | × | × | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | ● | ● | △ | △ | ● | △ | ● | ● | × | OCR専用プリンタ |
| 入力票 | － | × | × | × | △ | △ | × | △ | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金・一時金入力結果票 | － | × | × | × | × | × | × | × | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | × | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | × | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

ワ　特別遺族年金

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | △ | △ | △ | | | △ | | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | △ | | | ● | | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | | | 3 | | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | ● | ● | △ | | | △ | | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ● | ● | △ | | | △ | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | ● | ● | △ | | | △ | | | | |
| 7 | 年金証書番号 | × | × | △ | | | △ | | | | |
| 8 | 受付年月日 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 9 | 様式番号 | 70-00 | 70-00 | △ | | | △ | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ● | ● | ● | | | ● | | | | |
| 12 | 被災者氏名 | ● | ● | △ | | | △ | | | | |
| 13 | 性別 | | ● | ● | | | ● | | | | |
| 14 | 特別加入者 | | △ | △ | | | △ | | | | |
| 15 | 平均賃金 | | × | × | | | × | | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | × | × | | | × | | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | × | × | | | × | | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | × | × | | | × | | | | |
| 19 | 成消給付 | | × | × | | | × | | | | |
| 20 | 特支コード | | × | × | | | × | | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | | | × | | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | × | × | | | × | | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | | | × | | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | × | × | | | × | | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | × | × | | | × | | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | × | × | | | × | | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | × | × | | | × | | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | × | × | | | × | | | | |
| 29 | 重大過失コード | | × | × | | | × | | | | |

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | × | × | | | × | |
| 31 | 三者コード | | × | × | | | × | |
| 32 | 三者損賠受領額 | | × | × | | | × | |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | × | × | | | × | |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | × | × | | | × | |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | × | × | | | × | |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　目　名 | 登　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 | 銀行振込 | 当地・送金 |
| 36 | 支払方法 | × | × | × | × | × | × |
| 37 | 金融機関・店舗コード | × | × | × | × | × | × |
| 38 | 預金の種類 | × | × | × | × | × | × |
| 39 | 口座番号 | × | × | × | × | × | × |
| 40 | 口座名義人 | × | × | × | × | × | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | × | × | × | × | × | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略可能）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

空欄 … 未使用項目

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

＜注意事項＞

ｲ　受付年月日は、平成 18 年 3 月 27 日以降、平成 24 年 3 月 27 日以前の日付を記入すること。平成 24 年 3 月 27 日以降の受付年月日を記入する場合、遺族補償年金で支給決定すること。（特別遺族給付金の請求期限が平成 24 年 3 月 27 日までであるため。）また、受付年月日は傷病年月日+５年以降となる日付を記入すること。（労災保険法の時効にあたらない場合は、特別遺族給付は不支給となるため。その際は遺族補償年金で支給決定すること。）

ﾛ　傷病年月日は平成 18 年 3 月 26 以前の日付を記入すること。

登録票入力時の出力帳票

登録票の入力がキャンセルされた場合は、修正再送信画面を出力する。

正常に処理した場合は、送信完了画面を出力後、それぞれの処理段階で次の帳票を出力する。

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | × | | | × | | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 入力票 | － | × | △ | △ | | | × | | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | △ | △ | | | △ | | ● | △ | × | OCR専用プリンタ |
| 年金・一時金入力結果票 | － | × | × | × | | | × | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | － | × | × | × | | | × | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |
| 被災者情報リスト | － | ● | × | × | | | × | | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | × | △ | △ | | | △ | | △ | △ | × | OCR専用プリンタ |
| 特別遺族年金資格者一覧 | － | × | × | × | | | × | | △ | × | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

カ　特別遺族一時金（失権差額一時金）

| 番号 | 項　目　名 | 受付 | 登　記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | 管轄局署 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | | | |
| 2 | データ受付番号 | × | × | ● | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 労働保険番号 | × | | | | | | | | | |
| 5 | 被災者生年月日 | ● | ● | | ● | | | | | | |
| 6 | 傷病年月日 | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| 7 | 年金証書番号 | ● | ● | | ● | | | | | | |
| 8 | 受付年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 9 | 様式番号 | 71-00 | 71-00 | | 71-00 | | | | | | |
| 10 | 支給事由発生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 請求人・申請人氏名 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 12 | 被災者氏名 | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| 13 | 性別 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 14 | 特別加入者 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 15 | 平均賃金 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 16 | 特別給与の総額 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 17 | 前払選択支給日数 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 18 | 委任・未支給 | | △ | △ | × | × | △ | × | | | |
| 19 | 成消給付 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 20 | 特支コード | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 21 | 業通別 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 22 | 傷病・障害等級号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 23 | 併合８級コード | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 24 | 併合繰上等定額特支金 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 25 | 既存障害区分 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 26 | 既存障害等級 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 27 | 既存障害年金証書番号 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 28 | 滞納制限率 | | × | × | × | × | × | × | | | |
| 29 | 重大過失コード | | × | × | × | × | × | × | | | |

| 番号 | 項　　目　　名 | 受付 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 |
| 30 | 療養開始年月日 | | × | × | × | × | × | × |
| 31 | 三者コード | | × | × | × | × | × | × |
| 32 | 三者損賠受領額 | | × | × | × | × | × | × |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | | × | × | × | × | × | × |
| 34 | 休業内払額（保険給付） | | × | × | × | × | × | × |
| 35 | 休業内払額（特別支給金） | | × | × | × | × | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表の通りである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登　　記 | | | | 修正 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 受付未済 | | 受付済 | | | |
| | | 銀行振込 | 当地･送金 | 銀行振込 | 当地･送金 | 銀行振込 | 当地･送金 |
| 36 | 支払方法 | 1 | 3･5･7 | 1 | 3･5･7 | 1 | 3･5･7 |
| 37 | 金融機関・店舗コード | △ | × | △ | × | △ | × |
| 38 | 預金の種類 | △ | × | △ | × | △ | × |
| 39 | 口座番号 | △ | × | △ | × | △ | × |
| 40 | 口座名義人 | △ | × | △ | × | △ | × |
| 41 | 口座名義人（つづき） | △ | × | △ | × | △ | × |

● ： 必須入力項目

○ ： 必須入力項目（省略可能）

△ ： 任意入力項目

× ： 入力不可項目

空欄： 未使用項目

（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

＜注意事項＞

ｲ 支払方法「1：振込」の場合、支払権者の住所入力が必須となるため、実行コードは 2、4 のいずれかを選択すること。1、3 を選択した場合は、キャンセルとなる。

登録票入力時の出力帳票

登録票の入力がキャンセルされた場合は、修正再送信画面を出力する。

正常に処理した場合は、送信完了画面を出力後、それぞれの処理段階で次の帳票を出力する。

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | | | 修正 | | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 未済 | 済 | 未済 | 済 | | | | | | |
| | | － | 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | |
| 登録票 | 560 | ● | ● | × | ● | × | × | × | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| 入力票 | － | × | × | × | △ | △ | × | △ | × | × | × | OCR専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | ● | ● | △ | △ | ● | △ | ● | ● | × | OCR専用プリンタ |
| 年金・一時金入力結果票 | － | × | × | × | × | × | × | × | ● | × | × | OCR専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | × | OCR専用プリンタ |

● ： 出力

△ ： 条件出力

× ： 非出力

空欄 ： 処理対象外

2　登録票の記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | 管轄局署 | 記入しない。ただし、端末の障害等のため代行署から入力を行う場合には記入する。 |
| 2 | データ受付番号 | 受付処理が正常に行われた場合に、請求書等のデータ受付番号を印字する。 |
| 3 | 実行コード | 処理に合わせ次のコードを記入する。<br>受付　…… 記入しない<br>登記（受付未済・受付済）　…… 1<br>登記・一時金（受付未済・受付済）　…… 2<br>修正　…… 3<br>修正・一時金　…… 4<br>決議書再出力　…… 5<br>不支給決議書出力　…… 7<br>取消　…… 9 |
| 4 | 労働保険番号 | 4キーで請求する場合に記入する。<br>被災労働者の所属する事業場の労働保険番号を記入する。 |
| 5 | 被災者生年月日 | 被災労働者の生年月日を記入する。<br>〈元号コード〉<br>明治　…… 1<br>大正　…… 3<br>昭和　…… 5<br>平成　…… 7 |
| 6 | 傷病年月日 | 負傷年月日又は発病年月日を記入する。<br>〈元号コード〉<br>昭和　…… 5<br>平成　…… 7 |
| 7 | 年金証書番号 | 年金給付キーで請求する場合に記入する。 |
| 8 | 受付年月日 | 請求書等を受け付けた年月日を記入する。 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 9 | 様式番号 | 請求書等により下記の様式番号を記入する。<br>障害補償給付　告示様式第 10 号 …… 10-00<br>障害給付　告示様式第 16 号の 7 …… 16-07<br>障害等級変更　職権決議様式第 3 号 …… 90-03<br>障害（補償）年金差額一時金　告示様式第 37 号の 2 …… 37-02<br>障害（補償）年金前払一時金　年金申請様式第 10 号 …… 00-10<br>遺族補償一時金　告示様式第 15 号 …… 15-00<br>遺族一時金　告示様式第 16 号の 9 …… 16-09<br>遺族補償年金　告示様式第 12 号 …… 12-00<br>遺族年金　告示様式第 16 号の 8 …… 16-08<br>遺族（補償）年金前払一時金　年金申請様式第 1 号 …… 00-01<br>傷病の状態等に関する届　告示様式第 16 号の 2 …… 16-02<br>傷病の状態等に関する報告書　告示様式第 16 号の 11 …… 16-11<br>葬祭料　告示様式第 16 号 …… 16-00<br>葬祭給付　告示様式第 16 号の 10 …… 16-10<br>未支給年金　告示様式第 4 号 …… 04-00<br>特別遺族年金　告示様式第 7 号 …… 70-00<br>特別遺族一時金　告示様式第 1 号 …… 71-00 |
| 10 | 支給事由発生年月日 | 該当する給付について次の年月日を記入する。<br>障害(補償)給付 …… 治ゆ年月日、再治ゆ年月日<br>障害等級変更 (90-03) …… 等級変更年月日(転帰年月日)<br>障害(補償)年金差額一時金 …… 被災者死亡年月日<br>障害(補償)年金前払一時金 …… 治ゆ年月日、再治ゆ年月日<br>(年金の支給事由発生年月日)<br>遺族(補償)一時金 …… 被災者死亡年月日<br>遺族(補償)一時金(失権差額) …… 遺族(補償)年金の転帰年月日<br>遺族(補償)年金 …… 被災者死亡年月日<br>遺族(補償)年金前払一時金 …… 被災者死亡年月日<br>(年金の支給事由発生年月日)<br>傷病(補償)年金 …… 監督署長が傷病(補償)年金の傷病等級号に該当すると認めた年月日<br>葬祭料(葬祭給付) …… 被災者死亡年月日<br>未支給金(傷病) …… 受給（権）者死亡年月日<br>未支給金(障害) …… 受給（権）者死亡年月日<br>未支給金(遺族) …… 最後の受給権者死亡年月日<br>未支給金(特別遺族年金) …… 特別遺族年金の転帰年月日<br>未支給金(援護費) …… 受給権者死亡年月日<br>特別遺族年金 …… 特別遺族年金の請求年月日<br>特別遺族一時金 …… 特別遺族一時金の請求年月日<br>特別遺族一時金(失権差額) …… 特別遺族年金の転帰年月日 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 11 | 請求人・申請人氏名 | 請求人・申請人氏名を記入する。なお、姓と名の間は1字あけること。ただし、傷病・障害（補償）給付を受給しているため、記入を省略した場合には、被災者氏名を引用する。 |
| 12 | 被災者氏名 | 被災者の氏名を記入する。なお、姓と名の間は1字あけること。 |
| 13 | 性別 | 被災者の性別を記入する。<br>男 …… 1<br>女 …… 3 |
| 14 | 特別加入者 | 被災者が特別加入者の場合は次のコードを記入する。<br>中小事業主等 …… 11<br>建設 …… 21<br>林業 …… 22<br>医薬品販売 …… 23<br>職適訓練 …… 24<br>再生資源取扱 …… 25<br>事業主団体等委託訓練 …… 26<br>労組役員作業従事者 …… 27<br>介護作業従事者 …… 28<br>船員 …… 29<br>運輸 …… 41<br>漁業 …… 42<br>農業(指定農業機械作業従事者) …… 43<br>家内労働者<br>イ （則46条の18、3号のイ） …… 44<br>ロ （則46条の18、3号のロ） …… 45<br>ハ （則46条の18、3号のハ） …… 46<br>ニ （則46条の18、3号のニ） …… 47<br>ホ （則46条の18、3号のホ） …… 48<br>ヘ （則46条の18、3号のヘ） …… 49<br>農業（指定農作業従事者） …… 51<br>海外派遣 …… 61 |
| 15 | 平均賃金 | 被災労働者の平均賃金を銭の単位まで記入する。銭の単位が“00 銭”の場合は省略できる。 |
| 16 | 特別給与の総額 | 被災労働者の特別給与の総額を記入する。特別加入者の場合は記入しない。<br>特別加入者以外で特別給与がない場合は“0”と記入する。<br>傷病年月日が昭和52年3月31日以前の場合は、記入しない。 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 17 | 前払選択支給日数 | 請求人の希望する前払選択支給日数を記入する。<br>（200 日、400 日、600 日、800 日、1000 日、1200 日、560 日、670 日、790 日、920 日、1050 日、1190 日、1340 日）。<br>ただし、三者損賠金を受領している場合で限度日数を希望する場合、加重・再発事案で障害（補償）年金前払一時金の限度日数を希望する場合等は、“9999”を記入する。<br>前払選択支給日数に“9999”と記入された場合、前払一時金調整残額を自動的に引継ぎ、決議書にワーニング MSG を印字する。引き継ぐべき額があるにも関わらず、“9999”が入力されていない場合はキャンセルとし、引き継ぐべき額がないのにも関わらず、“9999”が入力された場合は、決議書にワーニング MSG を出力する。 |
| 18 | 委任・未支給 | 一時金の委任者払又は一時金の未支給事案の場合は、次のコードを記入する。<br>委任（受任者払） …… 1<br>未支給（未支給事案） …… 3<br>未支給の委任（未支給事案の受任者払） …… 5 |
| 19 | 成消給付コード | 傷病年月日が被災者の所属する事業場の労働保険番号の成立前又は消滅後である事案について給付を行う場合は、次のコードを記入する。<br>成消給付（成立前・消滅後） …… 1<br>傷病年月日と支給事由発生年月日との間が 5 年以上経過している事案については、前給付（年金、一時金）があった場合でも、その被災者情報をデータベース（D／B）から削除している可能性がある（Ⅰ-4-1 ページ参照）ので、一律にキャンセル（EN_00500）としているが、当該事案が前給付のない新規の給付であるなど、データベース削除事案でない場合には、次のコードを記入する。<br>新規給付 …… 3<br>傷病年月日が被災者の所属する事業場の労働保険番号の成立前又は消滅後である場合で、かつ傷病年月日と支給事由発生年月日との間が 5 年以上経過している新規給付等については、次のコードを記入する。<br>成消・新規 …… 5 |
| 20 | 特支コード | 特別支給金のみの申請の場合に記入する。<br>特別支給金のみ申請 …… 1 |
| 21 | 業通別 | 傷病(補償)年金で休業・診療の情報が存在しない場合は、次のコードを記入する。<br>業務災害 …… 1<br>通勤災害 …… 3 |
| 22 | 傷病・障害等級号 | 傷病(補償)年金、障害(補償)給付の場合は、傷病・障害等級表に該当するコードを記入する。<br>（別表Ⅴ-1-1 ページ参照） |
| 23 | 併合 8 級コード | 13 級と 9 級の併合により併合 8 級となる場合に“1”を記入する。 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 24 | 併合繰上等級における定額の特別支給金 | 繰り上げられた障害等級に応ずる定額の特別支給金額が、各々の障害等級に応ずる特別支給金額の合算額を上回る場合等は、各々の障害等級に応ずる特別支給金の合算額を万単位で記入する。 |
| 25 | 既存障害区分 | 障害(補償)給付において既に別災害又は私病等で障害がある場合に次のコードを記入する。<br>業務上災害(年金) …… 1<br>業務上災害(一時金) …… 3<br>(91～97 も含む)<br>業務外 …… 5<br>障害（補償）給付において既に受給した一時金の再発・再治ゆである場合は次のコードを記入する。<br>再発・再治ゆ …… 7 |
| 26 | 既存障害等級 | 障害（補償）給付において既に別災害又は私病等で障害がある場合は、その障害の等級を記入する。<br>1 級 …… 01(91)　8 級 …… 08<br>2 級 …… 02(92)　9 級 …… 09<br>3 級 …… 03(93)　10 級 …… 10<br>4 級 …… 04(94)　11 級 …… 11<br>5 級 …… 05(95)　12 級 …… 12<br>6 級 …… 06(96)　13 級 …… 13<br>7 級 …… 07(97)　14 級 …… 14<br>（注） 既存障害の支給事由発生年月日が昭和 41 年 2 月 1 日以前の場合で障害等級が 1～7 級にもかかわらず、一時金給付が行われたものについては 91～97 を記入する。 |
| 27 | 既存障害の年金証書番号 | 障害(補償)給付において既に別災害で障害があり、かつ、その障害について労災年金の支給があった場合に記入する。 |
| 28 | 滞納制限率 | 特別加入者について滞納制限を適用する場合は、次のコードを記入する。<br>10% …… 1<br>20% …… 2<br>30% …… 3<br>40% …… 4<br>（注） 支給制限の適用期間は医療開始年月日から 3 年以内とする。 |
| 29 | 重大過失コード | 重大過失事案について支給制限を適用する場合に次のコードを記入する。<br>労働者災害補償保険法第 12 条の 2 の 2 を適用する事案 …… 1<br>労働者災害補償保険法第 28 条第 1 項第 4 号を適用する事案 … 3 |
| 30 | 療養開始年月日 | 療養を開始した年月日を記入する。<br>再発の場合においても、当初の療養開始年月日を記入する。 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 31 | 三者コード | 第三者行為災害に該当する場合に次のコードを記入する。<br>自賠先行 …… 1<br>労災先行(自賠のみ) …… 3<br>自賠以外の三者行為 …… 5 |
| 32 | 三者損賠受領額 | 第三者行為災害による自賠責保険等から支払われた金額(逸失利益相当額)を記入する。 |
| 33 | 三者損賠受領年月日 | 第三者行為災害による自賠責保険等から支払を受けた年月日を記入する。 |
| 34 | 休業内払額<br>(保険給付) | 休業(補償)給付に過誤払額が生じ、年金又は一時金で内払処理を行う場合に、その額を記入する。 |
| 35 | 休業内払額<br>(特別支給金) | 休業特別支給金に過誤払額が生じ、特別年金又は特別一時金等で内払処理を行う場合に、その額を記入する。 |
| 36 | 支払方法 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>銀行振込 …… 1<br>当地払 …… 3<br>送金払 …… 5<br>外国払 …… 7 |
| 37 | 金融機関コード | 請求書等に記載してある金融機関の名称・店舗名を金融機関検索で確認の上、金融機関コードを記入する。 |
| 38 | 預金の種類 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>普通預金 …… 1<br>当座預金 …… 3 |
| 39 | 口座番号 | 口座番号を記入する。7 桁未満の場合は、右詰めで記入する。 |
| 40 | 口座名義人 | 口座名義人を記入する。20 桁以上の場合は「41：口座名義人(つづき)」に記入する。 |
| 41 | 口座名義人<br>(つづき) | 「40：口座名義人」におさまらない場合に記入する。 |

□実行コードについての説明（変更処理及び訂正処理と一部共通）

受付　……　記入しない
登記　……　1
登記・一時金　……　2
修正　……　3
修正・一時金　……　4
決議書再出力　……　5
不支給決議書出力　……　7
取消　……　9

（受付処理）

受付項目をデータベース（D／B）に登記することである。この処理により請求書等にかかる情報を受付段階から管理することになる。

（登記処理）

審査・調査が終了後、平均賃金、障害等級、支払先口座番号等給付に直接関係する項目を入力することである。この処理によりシステムで年金額等を計算したうえで、入力帳票に口座情報、住所情報を登記し、決議書等を出力することになる。

また、受付処理を終了していない段階で審査・調査を行うまでもなく、登記項目の内容が判明している場合については、受付処理と登記処理を同時に行うことも可能である。これを受付未済登記という。

（登記・一時金処理）

一時金給付において、審査・調査が終了後、平均賃金、障害等級等の項目を入力した後に、年金・一時金入力帳票を用いて受給者の住所情報を登録することである。

振込による支払いを実施する一時金については、受給者の住所情報の入力が必須であるため、当処理を実行する。振込以外の支払方法を選択した一時金については、住所情報の登録は任意である。
なお、年金給付は、年金・一時金入力帳票の入力が必須であるため、上記の「登記処理」のみ実行可能である。

（修正）

登記処理の結果、出力された決議書への印字項目等に誤りがあった場合に決裁の前に修正し、決議書を再出力することである。

（修正・一時金処理）

登記処理、または、登記・一時金処理の結果、出力された決議書の印字項目等に誤りがあった場合に、決裁の前に修正し、決議書を出力することである。

（決議書再出力）

決議書が汚損等により入力不能となった場合等に決議書を再度出力させることである。

（不支給決議書出力）

審査・調査の結果、不支給とすべき事案について不支給決議書を出力させることである。

なお、変更処理においては、不変更とすべき事案について不変更決議書を出力させることである。

（取消）

入力済の項目の内容（受付項目も含む）をその入力がなかった状態に戻すことである。

なお、この処理により、年金入力票で入力した内容も取り消すこととなる。この場合は、正常に処理されると送信完了画面が出力される。

ただし、実行コード「7：不支給決議書出力」により不支給決議書を出力した場合には、不支給決議書の再出力はできないため、この場合は、実行コード「9：取消」により未決議状態を取消した後に、再度、新たな登録帳票を使用して不支給決議書を出力させること。

3　留意点

a　支給決定処理から決議処理までの入力は、同一の管轄局署において入力を行うこと。

b　登記・修正時に時効のチェックを行うので、時効によらない処理を行う場合は文書報告書様式(1) 第1号により本省（業務課）あてに報告し、指示を受けること。

c　4キー及び年金給付キーの入力方法

| 給　付　種　別 | 労働保険番号 | 傷病年月日 | 被災者生年月日 | 被災者氏名 | 年金証書番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 傷病(補償)年金 | ● | ● | ● | ● | × |
| 障害(補償)一時金 | Ⓐ | Ⓐ | ⒶⒷ | Ⓐ | Ⓑ |
| 障害(補償)年金 | Ⓐ | Ⓐ | ⒶⒷ | Ⓐ | Ⓑ |
| 遺族(補償)一時金 | Ⓐ | Ⓐ | ⒶⒷ | Ⓐ | Ⓑ |
| 遺族(補償)年金 | Ⓐ | Ⓐ | ⒶⒷ | Ⓐ | Ⓑ |
| 障害(補償)年金前払一時金 | × | × | ● | × | ● |
| 遺族(補償)年金前払一時金 | × | × | ● | × | ● |
| 障害(補償)年金差額一時金 | × | × | ● | × | ● |
| 遺族（補償）一時金（失権差額一時金） | × | × | ● | × | ● |
| 未支給金・未支給年金 | × | × | ● | × | ● |
| 葬祭料・葬祭給付 | Ⓐ | Ⓐ | ⒶⒷ | Ⓐ | Ⓑ |
| 特別遺族一時金 | ● | ● | ● | ● | × |
| 特別遺族年金 | ● | ● | ● | ● | × |
| 特別遺族一時金（失権差額一時金） | × | × | ● | × | ● |

●　…　必須入力項目　　ⒶⒷ　…　Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目　　×　…　入力不可項目

〈参考〉　4キー＝労働保険番号＋被災者生年月日＋傷病年月日＋被災者氏名　……　Ⓐ
年金給付キー＝年金証書番号＋被災者生年月日　……　Ⓑ
上記の入力条件を満たさない場合には、キャンセルとする。

d　職権による障害（補償）一時金の処理は、それまで受給していた障害（補償）年金の年金証書番号及び被災者生年月日で行うこと（4キーによる入力はできない）。

e　受付、登記又は修正処理において異なった受付年月日を入力した場合、台帳で保持するのは最新の処理における受付年月日のみとなる。

f　被災者情報リストは、受付処理時のみに出力し、受付未済登記を行った場合には出力しない。

g　「○…必須入力項目（省略可能）」の（省略可能）とは、既存データが存在する場合は情報を引用することとしているため、当該項目については入力の省略が可能という意味である。

ここで言う引用とは、既に存在する「年金情報」あるいは「短期情報」を引用のうえ、データとして取得することである。

なお、情報の取得は年金情報、短期情報の順で行う。

引用する項目は、被災者情報リスト（Ⅱ-9-129ページ参照）に出力されている項目（短期情報、年金情報、口座関係情報）である。

h　入力内容が既存の年金情報と異なる場合はキャンセルとするが、入力内容が既存の短期情報と異なる場合には業務警告メッセージを出力する。

i　遺族（補償）年金又は遺族（補償）一時金と葬祭料（葬祭給付）との同時入力において、前給付として年金・一時金情報がない場合、先に出力されている決議書の内容と後に登記する内容とが異なる時はキャンセルとする。

また、同時に両方の決議書が出力されている場合で一方の内容を修正する場合、修正後の内容がもう一方の内容と異なる時はキャンセルとする。この場合、修正を行わない方の決議書を取消してから修正処理を行う。

なお、照合する項目は、登録票の「⑨様式番号」、「⑩支給事由発生年月日」、「⑫被災者氏名」、「⑬性別」、「⑭特別加入者」、「⑮平均賃金」、「⑲成消給付」、「▯重大過失コード」及び「▯療養開始年月日」である。

j　前払一時金の登記条件は次のとおりである。

イ　先行する年金が受付済の場合は、受付処理まで可能。

ロ　先行する年金が登記済（決議書出力済）の場合は、登記処理まで可能。

ハ　先行する年金が不支給決定されている場合は、登記処理時に不支給決議書を出力。

ニ　先行する年金が支給決定されている場合は、支給決定処理及び支払まで可能。

k　前払一時金の登記処理終了後に年金情報（遺族（補償）年金と葬祭料（葬祭給付）の同時入力時の葬祭情報を含む。）を決議前修正（不支給決議書出力及び取消も含む。）することはできないため、修正する場合は、前払一時金の情報を取り消してから行うこと。

l　単独請求された前払一時金については、決議書入力年月日以後、最初の１月、３月、５月、７月、９月、１１月を支払対象月としている。

m　データベース（Ｄ／Ｂ）削除事案である場合は、文書報告書様式（①）第４号により本省（業務課）あて報告し、データベース（Ｄ／Ｂ）の復活後に再度登記を行うこと。

n　成消給付コード「3」、「5」は、次の条件に該当する場合で、前給付のない新規給付などデータベース削除事案でない場合に入力する。

(ｲ) 短期給付情報に再発年月日が登記されているにもかかわらず同一短期キーの年金・一時金給付がない場合。

(ﾛ) 傷病年月日より支給事由発生年月日が５年を経過している場合。

(ﾊ) 前給付（療養開始から１年６ヵ月経過後の傷病（補償）年金）を等級不該当のため不支給決定している場合。

(注)(ｲ)、(ﾛ)又は(ﾊ)に該当するにもかかわらず、成消給付コードに入力がない場合は、データベース削除事案の可能性があるためキャンセルとするので確認すること。

キャンセルメッセージ：【EN_00500　Ｄ／Ｂが削除されている可能性があります。確認してください】

なお、条件と異なる場合において成消給付コードに入力した場合にもメッセージを出力する。

o　併合繰上等の定額特支金欄には「0 円」入力を可能とする。

p　既存障害情報（既存障害区分・既存障害等級）については、同一災害の障害（補償）一時金の再発・再治ゆ事案の場合に入力すること。

q　滞納制限率は、特別加入者に係る事案のうち、再発以外のものについて入力すること。

r　保留となっている前給付の過誤払額あるいは休業内払額については、今回の年金の支給決定処理において、そ及追給額が発生する場合は、その追給額により調整する。過誤払額等がそ及追給額を上回るときは、その調整残額について、当期以降の年金の支払額から内払処理する。

また、一時金の支給決定処理において、前給付の過誤払額等が支給決定額を上回るときは、その調整残額を局債権とする。

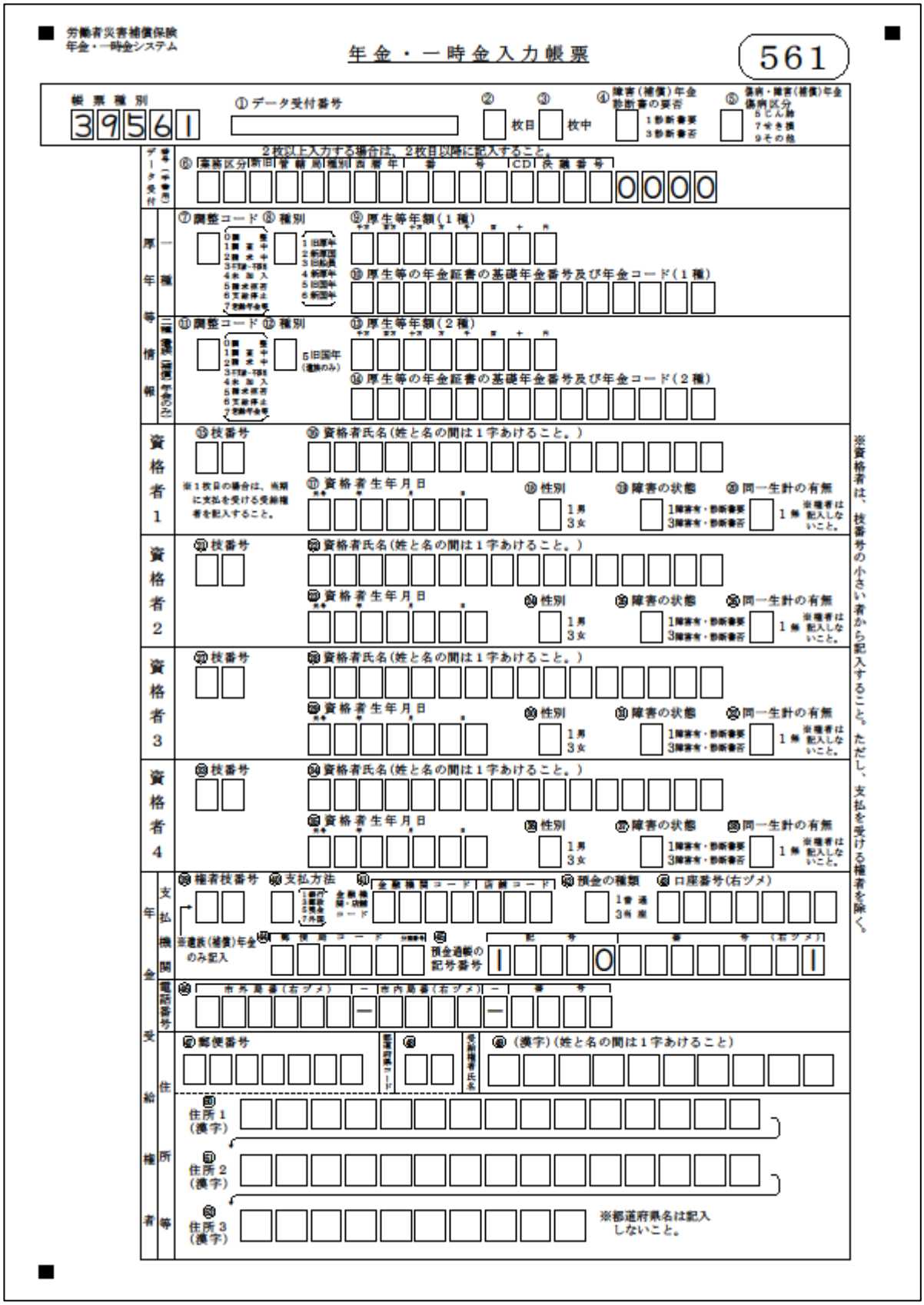
s　定額の特支金の内払調整方法について

(a) 年金の場合は、定額の特支金から調整後なお内払調整残がある場合は、特別年金から調整する。

(b) 一時金の場合は、定額の特支金から調整後なお内払調整残がある場合は、特別一時金から調整する。

(3) 入力票

イ　様式


労働者災害補償保険
年金・一時金システム
年金・一時金入力帳票
561
帳票種別
39561
①データ受付番号
②
枚目
③
枚中
④障害(補償)年金 診断書の要否
1診断書要
3診断書否
⑤傷病・障害(補償)年金 傷病区分
5じん肺
7ぜき損
9その他
2枚以上入力する場合は、2枚目以降に記入すること。
⑥事業区分 新旧 管轄局 種別 西暦年 番号 CD 保険番号
0000
厚年等情報
一種
⑦調整コード ⑧種別
⑫厚生等年額(1種)
⑭厚生等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード(1種)
二種(遺族(補償)年金のみ)
⑪調整コード ⑫種別
5旧国年(遺族のみ)
⑬厚生等年額(2種)
⑮厚生等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード(2種)
資格者1
⑨枝番号
※1枚目の場合は、先順に支払を受ける受給権者を記入すること。
⑩資格者氏名(姓と名の間は1字あけること。)
⑰資格者生年月日
⑱性別 1男 3女
⑲障害の状態 1障害有・診断書要 3障害有・診断書否
⑳同一生計の有無 1無 ※該当者は記入しないこと。
資格者2
㉑枝番号
㉒資格者氏名(姓と名の間は1字あけること。)
㉓資格者生年月日
㉔性別 1男 3女
㉕障害の状態 1障害有・診断書要 3障害有・診断書否
㉖同一生計の有無 1無 ※該当者は記入しないこと。
資格者3
㉗枝番号
㉘資格者氏名(姓と名の間は1字あけること。)
㉙資格者生年月日
㉚性別 1男 3女
㉛障害の状態 1障害有・診断書要 3障害有・診断書否
㉜同一生計の有無 1無 ※該当者は記入しないこと。
資格者4
㉝枝番号
㉞資格者氏名(姓と名の間は1字あけること。)
㉟資格者生年月日
㊱性別 1男 3女
㊲障害の状態 1障害有・診断書要 3障害有・診断書否
㊳同一生計の有無 1無 ※該当者は記入しないこと。
※資格者は、枝番号の小さい者から記入すること。ただし、支払を受ける権者を除く。
年金受給権者
支払機関
㊴権者枝番号
㊵支払方法 1銀行 3郵貯 5現金 7口座
金融機関・郵便局コード
㊶金融機関コード 店舗コード
㊷預金の種類 1普通 3当座
㊸口座番号(右ヅメ)
※遺族(補償)年金のみ記入
㊹郵便局コード
㊺預金通帳の記号番号
記号 番号(右ヅメ)
電話番号
㊻市外局番(右ヅメ) 市内局番(右ヅメ) 番号
住所等
㊼郵便番号
㊽
㊾(漢字)(姓と名の間は1字あけること)
㊿住所1(漢字)
(51)住所2(漢字)
(52)住所3(漢字)
※都道府県名は記入しないこと。

1　年金入力票の記入項目

表に掲載されていない項目は、全て入力不可項目である。

イ　傷病（補償）年金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 2 | 枚目 | ● | ● |
| 3 | 枚中 | ● | ● |
| 4 | 診断書の要否 | × | × |
| 5 | 傷病区分 | ● | ● |
| 6 | データ受付番号（手書用） | Ⓑ | Ⓑ |
| 7 | 調整コード（1 種） | ● | △ |
| 8 | 種別（1 種） | △ | △ |
| 9 | 厚年等年額（1 種） | △ | △ |
| 10 | 厚年等年金証書番号（1 種） | △ | △ |

● … 必須入力項目
○ … 必須入力項目（省略可能）
Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目
△ … 任意入力項目
× … 入力不可項目
（注）数字が記入されている項目は、
その数字が必須入力

支払先情報についての入力条件は次の表のとおりである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 銀行（ゆうちょ銀行除く） | ゆうちょ銀行 | | 銀行 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 口座振込 | 口座振込 | 現金払 | 外国払 |
| 40 | 支払方法 | 1 | 3 | 5 | 7 |
| 41 | 金融機関・店舗コード | ○ | × | × | × |
| 42 | 預金の種類 | ○ | × | × | × |
| 43 | 口座番号 | ○ | × | × | × |
| 44 | 郵便局コード | × | ○ | ○ | × |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | × | ○ | × | × |
| 46 | 電話番号 | △ | △ | △ | × |
| 47 | 郵便番号 | ○ | ○ | ○ | × |
| 48 | 都道府県コード | ○ | ○ | ○ | × |
| 49 | 受給権者氏名 | ○ | ○ | ○ | × |
| 50 | 住所 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 51 | 住所 2 | △ | △ | △ | × |
| 52 | 住所 3 | △ | △ | △ | × |

入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 年金・一時金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金年額リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 計算式リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

年金入力票入力時の出力画面

登録票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。

キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

出力項目の説明

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | | 実行コードに応じた処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | データ受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | データ受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| | 枚目 | 帳票に記載された枚目を出力する。 | － |
| | 枚中 | 帳票に記載された枚中を出力する。 | － |
| | 診断書の要否 | － | － |
| | 傷病区分 | 帳票に記載された傷病区分を出力する。 | － |
| | データ受付番号（手書用） | 帳票に記載されたデータ受付番号（手書用）を出力する。 | － |
| | 調整コード(1種) | 帳票に記載された調整コード(1種）を出力する。 | |
| | 種別（1種） | 帳票に記載された種別（1 種）を出力する。 | |
| | 厚年等年額(1種) | 帳票に記載された厚年等年額(1種）を出力する。 | |
| | 厚年等年金証書番号（1種） | 帳票に記載された厚年等年金証書番号（1種）を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| | 調整コード（2 種） | 帳票に記載された調整コード（2 種）を出力する。 | － |
| | 種別（2 種） | 帳票に記載された種別（2 種）を出力する。 | － |
| | 厚年等年額（2 種） | 帳票に記載された厚年等年額（2 種）を出力する。 | － |
| | 厚年等年金証書番号（2 種） | 帳票に記載された厚年等年金証書番号（2 種）を出力する。 | － |
| | 枝番号 1 | 帳票に記載された枝番号 1 を出力する。 | － |
| | 資格者氏名 1 | 帳票に記載された資格者氏名 1 を出力する。 | － |
| | 資格者生年月日 1 | 帳票に記載された資格者生年月日 1 を出力する。 | － |
| | 性別 1 | 帳票に記載された性別 1 を出力する。 | － |
| | 障害の状態 1 | 帳票に記載された障害の状態 1 を出力する。 | － |
| | 同一生計の有無 1 | 帳票に記載された同一生計の有無 1 を出力する。 | － |
| | 枝番号 2 | 帳票に記載された枝番号 2 を出力する。 | － |
| | 資格者氏名 2 | 帳票に記載された資格者氏名 2 を出力する。 | － |
| | 資格者生年月日 2 | 帳票に記載された資格者生年月日 2 を出力する。 | － |
| | 性別 2 | 帳票に記載された性別 2 を出力する。 | － |
| | 障害の状態 2 | 帳票に記載された障害の状態 2 を出力する。 | － |
| | 同一生計の有無 2 | 帳票に記載された同一生計の有無 2 を出力する。 | － |
| | 枝番号 3 | 帳票に記載された枝番号 3 を出力する。 | － |
| | 資格者氏名 3 | 帳票に記載された資格者氏名 3 を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| | 資格者生年月日 3 | 帳票に記載された資格者生年月日 3 を出力する。 | － |
| | 性別 3 | 帳票に記載された性別 3 を出力する。 | － |
| | 障害の状態 3 | 帳票に記載された障害の状態 3 を出力する。 | － |
| | 同一生計の有無 3 | 帳票に記載された同一生計の有無 3 を出力する。 | － |
| | 枝番号 4 | 帳票に記載された枝番号 4 を出力する。 | － |
| | 資格者氏名 4 | 帳票に記載された資格者氏名 4 を出力する。 | － |
| | 資格者生年月日 4 | 帳票に記載された資格者生年月日 4 を出力する。 | － |
| | 性別 4 | 帳票に記載された性別 4 を出力する。 | － |
| | 障害の状態 4 | 帳票に記載された障害の状態 4 を出力する。 | － |
| | 同一生計の有無 4 | 帳票に記載された同一生計の有無 4 を出力する。 | － |
| | 権者枝番号 | 帳票に記載された権者枝番号を出力する。 | － |
| | 支払方法 | 帳票に記載された支払方法を出力する。 | － |
| | 金融機関・店舗コード | 帳票に記載された金融機関・店舗コードを出力する。 | － |
| | 預金の種類 | 帳票に記載された預金の種類を出力する。 | － |
| | 口座番号 | 帳票に記載された口座番号を出力する。 | － |
| | 郵便局コード | 帳票に記載された郵便局コードを出力する。 | － |
| | 預金通帳の記号番号 | 帳票に記載された預金通帳の記号番号を出力する。 | － |
| | 電話番号 | 帳票に記載された電話番号を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| | 郵便番号 | 帳票に記載された郵便番号を出力する。 | － |
| | 都道府県コード | 帳票に記載された都道府県コードを出力する。 | － |
| | 受給権者氏名（漢字） | 帳票に記載された受給権者氏名（漢字）を出力する。 | － |
| | 住所（漢字）1 | 帳票に記載された住所（漢字）1を出力する。 | － |
| | 住所（漢字）2 | 帳票に記載された住所（漢字）2を出力する。 | － |
| | 住所（漢字）3 | 帳票に記載された住所（漢字）3を出力する。 | － |
| 操作者情報 | ユーザ ID | 当該処理を実施したユーザの ID を出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末の IP アドレスを出力する。 | － |

ロ　障害（補償）一時金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 2 | 枚目 | ● | ● |
| 3 | 枚中 | ● | ● |
| 4 | 診断書の要否 | × | × |
| 5 | 傷病区分 | × | × |
| 6 | データ受付番号（手書用） | Ⓑ | Ⓑ |
| 7 | 調整コード（1 種） | × | × |
| 8 | 種別（1 種） | × | × |
| 9 | 厚年等年額（1 種） | × | × |
| 10 | 厚年等年金証書番号（1 種） | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表のとおりである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 40 | 支払方法 | × | × |
| 41 | 金融機関・店舗コード | × | × |
| 42 | 預金の種類 | × | × |
| 43 | 口座番号 | × | × |
| 44 | 郵便局コード | × | × |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | × | × |
| 46 | 電話番号 | × | × |
| 47 | 郵便番号 | ○ | ○ |
| 48 | 都道府県コード | ○ | ○ |
| 49 | 受給権者氏名 | ○ | ○ |
| 50 | 住所 1 | ○ | ○ |
| 51 | 住所 2 | △ | △ |

● … 必須入力項目
○ … 必須入力項目（省略可能）
Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目
△ … 任意入力項目
× … 入力不可項目

入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 年金・一時金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 計算式リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

ハ　障害（補償）年金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 2 | 枚目 | ● | ● |
| 3 | 枚中 | ● | ● |
| 4 | 診断書の要否 | × | × |
| 5 | 傷病区分 | ● | ● |
| 6 | データ受付番号（手書用） | Ⓑ | Ⓑ |
| 7 | 調整コード（1 種） | ● | △ |
| 8 | 種別（1 種） | △ | △ |
| 9 | 厚年等年額（1 種） | △ | △ |
| 10 | 厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード（1 種） | △ | △ |

● … 必須入力項目
○ … 必須入力項目（省略可能）
Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目
△ … 任意入力項目
× … 入力不可項目
（注）数字が記入されている項目は、
その数字が必須入力

支払先情報についての入力条件は次の表のとおりである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 銀行（ゆうちょ銀行除く） | ゆうちょ銀行 | | 銀行 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 口座振込 | 口座振込 | 現金払 | 外国払 |
| 40 | 支払方法 | 1 | 3 | 5 | 7 |
| 41 | 金融機関・店舗コード | ○ | × | × | × |
| 42 | 預金の種類 | ○ | × | × | × |
| 43 | 口座番号 | ○ | × | × | × |
| 44 | 郵便局コード | × | ○ | ○ | × |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | × | ○ | × | × |
| 46 | 電話番号 | △ | △ | △ | × |
| 47 | 郵便番号 | ○ | ○ | ○ | × |
| 48 | 都道府県コード | ○ | ○ | ○ | × |
| 49 | 受給権者氏名 | ○ | ○ | ○ | × |
| 50 | 住所 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 51 | 住所 2 | △ | △ | △ | × |
| 52 | 住所 3 | △ | △ | △ | × |

入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 年金・一時金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金年額リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 計算式リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 債務者登録票 | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

二　遺族（補償）一時金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 2 | 枚目 | ● | ● |
| 3 | 枚中 | ● | ● |
| 4 | 診断書の要否 | × | × |
| 5 | 傷病区分 | × | × |
| 6 | データ受付番号（手書用） | Ⓑ | Ⓑ |
| 7 | 調整コード（1 種） | × | × |
| 8 | 種別（1 種） | × | × |
| 9 | 厚年等年額（1 種） | × | × |
| 10 | 厚年等年金証書番号（1 種） | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表のとおりである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 40 | 支払方法 | × | × |
| 41 | 金融機関・店舗コード | × | × |
| 42 | 預金の種類 | × | × |
| 43 | 口座番号 | × | × |
| 44 | 郵便局コード | × | × |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | × | × |
| 46 | 電話番号 | × | × |
| 47 | 郵便番号 | ● | ● |
| 48 | 都道府県コード | ● | ● |
| 49 | 受給権者氏名 | ● | ● |
| 50 | 住所 1 | ● | ● |
| 51 | 住所 2 | △ | △ |

● … 必須入力項目
○ … 必須入力項目（省略可能）
Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目
△ … 任意入力項目
× … 入力不可項目

入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 年金・一時金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

ホ　遺族（補償）年金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 2 | 枚目 | ● | ● |
| 3 | 枚中 | ● | ● |
| 4 | 診断書の要否 | × | × |
| 5 | 傷病区分 | × | × |
| 6 | データ受付番号（手書用） | Ⓑ | Ⓑ |
| 7 | 調整コード（1 種） | ● | △ |
| 8 | 種別（1 種） | △ | △ |
| 9 | 厚年等年額（1 種） | △ | △ |
| 10 | 厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード（1 種） | △ | △ |
| 11 | 調整コード（2 種） | △ | △ |
| 12 | 種別（2 種） | △ | △ |
| 13 | 厚年等年額（2 種） | △ | △ |
| 14 | 厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード（2 種） | △ | △ |
| 15 | 枝番号 | ● | ● |
| 16 | 資格者氏名 | ● | ● |
| 17 | 資格者生年月日 | ● | ● |
| 18 | 性別 | ● | ● |
| 19 | 障害の状態 | △ | △ |
| 20 | 同一生計の有無 | △ | △ |
| 21 | 枝番号 | △ | △ |
| 22 | 資格者氏名 | △ | △ |
| 23 | 資格者生年月日 | △ | △ |
| 24 | 性別 | △ | △ |
| 25 | 障害の状態 | △ | △ |
| 26 | 同一生計の有無 | △ | △ |

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 27 | 枝番号 | △ | △ |
| 28 | 資格者氏名 | △ | △ |
| 29 | 資格者生年月日 | △ | △ |
| 30 | 性別 | △ | △ |
| 31 | 障害の状態 | △ | △ |
| 32 | 同一生計の有無 | △ | △ |
| 33 | 枝番号 | △ | △ |
| 34 | 資格者氏名 | △ | △ |
| 35 | 資格者生年月日 | △ | △ |
| 36 | 性別 | △ | △ |
| 37 | 障害の状態 | △ | △ |
| 38 | 同一生計の有無 | △ | △ |
| 39 | 権者枝番号 | ● | ● |

支払先情報についての入力条件は次の表のとおりである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 銀行（ゆうちょ銀行除く） | ゆうちょ銀行 | | 銀行 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 口座振込 | 口座振込 | 現金払 | 外国払 |
| 40 | 支払方法 | 1 | 3 | 5 | 7 |
| 41 | 金融機関・店舗コード | ○ | × | × | × |
| 42 | 預金の種類 | ○ | × | × | × |
| 43 | 口座番号 | ○ | × | × | × |
| 44 | 郵便局コード | × | ● | ● | × |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | × | ● | × | × |
| 46 | 電話番号 | △ | △ | △ | × |
| 47 | 郵便番号 | ● | ● | ● | × |
| 48 | 都道府県コード | ● | ● | ● | × |
| 49 | 受給権者氏名 | ● | ● | ● | × |
| 50 | 住所１ | ● | ● | ● | × |
| 51 | 住所２ | △ | △ | △ | × |
| 52 | 住所３ | △ | △ | △ | × |

● … 必須入力項目
○ … 必須入力項目（省略可能）
Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目
△ … 任意入力項目
× … 入力不可項目
（注）数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 年金・一時金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金年額リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 遺族（補償）年金資格者一覧 | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 債務者登録票 | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

ヘ　障害（補償）年金差額一時金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 2 | 枚目 | ● | ● |
| 3 | 枚中 | ● | ● |
| 4 | 診断書の要否 | × | × |
| 5 | 傷病区分 | × | × |
| 6 | データ受付番号（手書用） | Ⓑ | Ⓑ |
| 7 | 調整コード（1 種） | × | × |
| 8 | 種別（1 種） | × | × |
| 9 | 厚年等年額（1 種） | × | × |
| 10 | 厚年等年金証書番号（1 種） | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表のとおりである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 40 | 支払方法 | × | × |
| 41 | 金融機関・店舗コード | × | × |
| 42 | 預金の種類 | × | × |
| 43 | 口座番号 | × | × |
| 44 | 郵便局コード | × | × |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | × | × |
| 46 | 電話番号 | × | × |
| 47 | 郵便番号 | ● | ● |
| 48 | 都道府県コード | ● | ● |
| 49 | 受給権者氏名 | ● | ● |
| 50 | 住所 1 | ● | ● |
| 51 | 住所 2 | △ | △ |

● … 必須入力項目
○ … 必須入力項目（省略可能）
Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目
△ … 任意入力項目
× … 入力不可項目

入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 年金・一時金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

ト　遺族（補償）一時金（失権差額一時金）

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 2 | 枚目 | ● | ● |
| 3 | 枚中 | ● | ● |
| 4 | 診断書の要否 | × | × |
| 5 | 傷病区分 | × | × |
| 6 | データ受付番号（手書用） | Ⓑ | Ⓑ |
| 7 | 調整コード（1 種） | × | × |
| 8 | 種別（1 種） | × | × |
| 9 | 厚年等年額（1 種） | × | × |
| 10 | 厚年等年金証書番号（1 種） | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表のとおりである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 40 | 支払方法 | × | × |
| 41 | 金融機関・店舗コード | × | × |
| 42 | 預金の種類 | × | × |
| 43 | 口座番号 | × | × |
| 44 | 郵便局コード | × | × |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | × | × |
| 46 | 電話番号 | × | × |
| 47 | 郵便番号 | ● | ● |
| 48 | 都道府県コード | ● | ● |
| 49 | 受給権者氏名 | ● | ● |
| 50 | 住所 1 | ● | ● |
| 51 | 住所 2 | △ | △ |

● … 必須入力項目
○ … 必須入力項目（省略可能）
Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目
△ … 任意入力項目
× … 入力不可項目

入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 年金・一時金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

チ　未支給金・未支給年金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 2 | 枚目 | ● | ● |
| 3 | 枚中 | ● | ● |
| 4 | 診断書の要否 | × | × |
| 5 | 傷病区分 | × | × |
| 6 | データ受付番号（手書用） | Ⓑ | Ⓑ |
| 7 | 調整コード（1 種） | × | × |
| 8 | 種別（1 種） | × | × |
| 9 | 厚年等年額（1 種） | × | × |
| 10 | 厚年等年金証書番号（1 種） | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表のとおりである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 40 | 支払方法 | × | × |
| 41 | 金融機関・店舗コード | × | × |
| 42 | 預金の種類 | × | × |
| 43 | 口座番号 | × | × |
| 44 | 郵便局コード | × | × |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | × | × |
| 46 | 電話番号 | × | × |
| 47 | 郵便番号 | ● | ● |
| 48 | 都道府県コード | ● | ● |
| 49 | 受給権者氏名 | ● | ● |
| 50 | 住所 1 | ● | ● |
| 51 | 住所 2 | △ | △ |

● … 必須入力項目
○ … 必須入力項目（省略可能）
Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目
△ … 任意入力項目
× … 入力不可項目

入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 年金・一時金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

リ　葬祭料・葬祭給付

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 2 | 枚目 | ● | ● |
| 3 | 枚中 | ● | ● |
| 4 | 診断書の要否 | × | × |
| 5 | 傷病区分 | × | × |
| 6 | データ受付番号（手書用） | Ⓑ | Ⓑ |
| 7 | 調整コード（1 種） | × | × |
| 8 | 種別（1 種） | × | × |
| 9 | 厚年等年額（1 種） | × | × |
| 10 | 厚年等年金証書番号（1 種） | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表のとおりである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 40 | 支払方法 | × | × |
| 41 | 金融機関・店舗コード | × | × |
| 42 | 預金の種類 | × | × |
| 43 | 口座番号 | × | × |
| 44 | 郵便局コード | × | × |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | × | × |
| 46 | 電話番号 | × | × |
| 47 | 郵便番号 | ● | ● |
| 48 | 都道府県コード | ● | ● |
| 49 | 受給権者氏名 | ● | ● |
| 50 | 住所 1 | ● | ● |
| 51 | 住所 2 | △ | △ |

● … 必須入力項目
○ … 必須入力項目（省略可能）
Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目
△ … 任意入力項目
× … 入力不可項目

入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 年金・一時金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

ヌ　特別遺族一時金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 2 | 枚目 | ● | ● |
| 3 | 枚中 | ● | ● |
| 4 | 診断書の要否 | × | × |
| 5 | 傷病区分 | × | × |
| 6 | データ受付番号（手書用） | Ⓑ | Ⓑ |
| 7 | 調整コード（1 種） | × | × |
| 8 | 種別（1 種） | × | × |
| 9 | 厚年等年額（1 種） | × | × |
| 10 | 厚年等年金証書番号（1 種） | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表のとおりである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 40 | 支払方法 | × | × |
| 41 | 金融機関・店舗コード | × | × |
| 42 | 預金の種類 | × | × |
| 43 | 口座番号 | × | × |
| 44 | 郵便局コード | × | × |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | × | × |
| 46 | 電話番号 | × | × |
| 47 | 郵便番号 | ● | ● |
| 48 | 都道府県コード | ● | ● |
| 49 | 受給権者氏名 | ● | ● |
| 50 | 住所 1 | ● | ● |
| 51 | 住所 2 | △ | △ |

● … 必須入力項目
○ … 必須入力項目（省略可能）
Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目
△ … 任意入力項目
× … 入力不可項目

入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 年金・一時金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

ル　特別遺族年金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 2 | 枚目 | ● | ● |
| 3 | 枚中 | ● | ● |
| 4 | 診断書の要否 | × | × |
| 5 | 傷病区分 | × | × |
| 6 | データ受付番号（手書用） | Ⓑ | Ⓑ |
| 7 | 調整コード（1種） | × | × |
| 8 | 種別（1種） | × | × |
| 9 | 厚年等年額（1種） | × | × |
| 10 | 厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード（1種） | × | × |
| 11 | 調整コード（2種） | × | × |
| 12 | 種別（2種） | × | × |
| 13 | 厚年等年額（2種） | × | × |
| 14 | 厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード（2種） | × | × |
| 15 | 枝番号 | △ | △ |
| 16 | 資格者氏名 | △ | △ |
| 17 | 資格者生年月日 | △ | △ |
| 18 | 性別 | △ | △ |
| 19 | 障害の状態 | △ | △ |
| 20 | 同一生計の有無 | △ | △ |
| 21 | 枝番号 | △ | △ |
| 22 | 資格者氏名 | △ | △ |
| 23 | 資格者生年月日 | △ | △ |
| 24 | 性別 | △ | △ |
| 25 | 障害の状態 | △ | △ |
| 26 | 同一生計の有無 | △ | △ |

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 27 | 枝番号 | △ | △ |
| 28 | 資格者氏名 | △ | △ |
| 29 | 資格者生年月日 | △ | △ |
| 30 | 性別 | △ | △ |
| 31 | 障害の状態 | △ | △ |
| 32 | 同一生計の有無 | △ | △ |
| 33 | 枝番号 | △ | △ |
| 34 | 資格者氏名 | △ | △ |
| 35 | 資格者生年月日 | △ | △ |
| 36 | 性別 | △ | △ |
| 37 | 障害の状態 | △ | △ |
| 38 | 同一生計の有無 | △ | △ |
| 39 | 権者枝番号 | △ | △ |

支払先情報についての入力条件は次の表のとおりである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 銀行<br>（ゆうちょ銀行除く） | ゆうちょ銀行 | | 銀行 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 口座振込 | 口座振込 | 現金払 | 外国払 |
| 40 | 支払方法 | 1 | 3 | 5 | 7 |
| 41 | 金融機関・店舗コード | ○ | × | × | × |
| 42 | 預金の種類 | ○ | × | × | × |
| 43 | 口座番号 | ○ | × | × | × |
| 44 | 郵便局コード | × | ● | ● | × |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | × | ● | × | × |
| 46 | 電話番号 | △ | △ | △ | × |
| 47 | 郵便番号 | ● | ● | ● | × |
| 48 | 都道府県コード | ● | ● | ● | × |
| 49 | 受給権者氏名 | ● | ● | ● | × |
| 50 | 住所１ | ● | ● | ● | × |
| 51 | 住所２ | △ | △ | △ | × |
| 52 | 住所３ | △ | △ | △ | × |

● … 必須入力項目
○ … 必須入力項目（省略可能）
Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目
△ … 任意入力項目
× … 入力不可項目

入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 年金・一時金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金年額リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 特別遺族年金資格者一覧 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

ヲ　特別遺族一時金（失権差額一時金）

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 2 | 枚目 | ● | ● |
| 3 | 枚中 | ● | ● |
| 4 | 診断書の要否 | × | × |
| 5 | 傷病区分 | × | × |
| 6 | データ受付番号（手書用） | Ⓑ | Ⓑ |
| 7 | 調整コード（1 種） | × | × |
| 8 | 種別（1 種） | × | × |
| 9 | 厚年等年額（1 種） | × | × |
| 10 | 厚年等年金証書番号（1 種） | × | × |

支払先情報についての入力条件は次の表のとおりである。

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 40 | 支払方法 | × | × |
| 41 | 金融機関・店舗コード | × | × |
| 42 | 預金の種類 | × | × |
| 43 | 口座番号 | × | × |
| 44 | 郵便局コード | × | × |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | × | × |
| 46 | 電話番号 | × | × |
| 47 | 郵便番号 | ● | ● |
| 48 | 都道府県コード | ● | ● |
| 49 | 受給権者氏名 | ● | ● |
| 50 | 住所 1 | ● | ● |
| 51 | 住所 2 | △ | △ |

● … 必須入力項目
○ … 必須入力項目（省略可能）
Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれかが必須入力項目
△ … 任意入力項目
× … 入力不可項目

入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 年金・一時金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

2　記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | 登録処理において登録票を正常に入力した場合に印字する。 |
| 2 | 枚目 | 入力する帳票枚数を1から順に記入する。 |
| 3 | 枚中 | 入力する帳票の総枚数を記入する。 |
| 4 | 診断書の要否 | 記入しない。 |
| 5 | 傷病区分 | 傷病・障害（補償）年金において、次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>じん肺 …… 5<br>せき損 …… 7<br>その他 …… 9 |
| 6 | データ受付番号（手書用） | 複数枚入力する場合に、受付処理で登録票に印字したデータ受付番号を記入する。ただし、「1：データ受付番号」を印字している場合は記入しない。記入した場合は項目を無視する。 |
| 7 | 調整コード | 労災保険年金と同一の事由による厚生年金等の受給状況について、次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>調整 …… 0<br>調査中（未調整） …… 1<br>請求中（調整）（額なし調整） …… 2<br>不支給・不該当（非調整） …… 3<br>未加入（非調整） …… 4<br>請求拒否（非調整） …… 5<br>支給停止（非調整） …… 6<br>老齢年金等選択（非調整） …… 7 |
| 8 | 種別 | 労災保険年金と同一の事由により厚生年金等が支給される場合は、次の区分に従って該当するコードを記入する。<br>旧厚生年金保険 …… 1<br>新厚生年金保険・新国民年金 …… 2<br>旧船員保険 …… 3<br>新厚生年金保険 …… 4<br>旧国民年金 …… 5<br>新国民年金 …… 6<br>(注)① 旧種別には、原則として労災年金の支給事由発生年月日が昭和61年3月31日以前のものが該当する。<br>② 新種別には、原則として労災年金の支給事由発生年月日が昭和61年4月1日以降のものが該当する。 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 9 | 厚年等年額 | 厚年等種別に対応する厚生年金等の年額を記入する。 |
| 10 | 厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード | 厚生年金等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード(14 桁) を記入する。 |
| 11 | 調整コード | 遺族（補償）年金と同一の事由による旧国民年金の受給状況について、次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>調整 …… 0<br>調査中（未調整） …… 1<br>請求中（調整）（額なし調整） …… 2<br>不支給・不該当（非調整） …… 3<br>未加入（非調整） …… 4<br>請求拒否（非調整） …… 5<br>支給停止（非調整） …… 6<br>老齢年金等選択（非調整） …… 7 |
| 12 | 種別 | 遺族（補償）年金と同一の事由により旧国民年金が支給される場合は、次に示すコードを記入する。<br>旧国民年金 …… 5<br>（注） 旧国民年金には、原則として労災年金の支給事由発生年月日が昭和 61 年 3 月 31 日以前のものが該当する。 |
| 13 | 厚年等年額 | 上記旧国民年金の年額を記入する。 |
| 14 | 厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード | 上記旧国民年金の年金証書の基礎年金番号及び年金コード（14 桁）を記入する。 |
| 15 | 枝番号 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金の資格者枝番号を記入する。(別表Ⅴ-4-1 ページ参照) |
| 16 | 資格者氏名 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金の資格者氏名を左詰めで記入する。なお、姓と名の間は一字あけること。 |
| 17 | 資格者生年月日 | 枝番号に記入した資格者の生年月日を記入する。<br>なお、この生年月日は年齢管理を行うため特に注意して記入すること。 |
| 18 | 性別 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>男 …… 1<br>女 …… 3 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 19 | 障害の状態 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>障害無 …… 0又は空白<br>障害有（診断書要） …… 1<br>障害有（診断書否） …… 3 |
| 20 | 同一生計の有無 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>同一生計有 …… 0又は空白<br>同一生計無 …… 1 |
| 21 | 枝番号 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金の資格者枝番号を記入する。<br>（別表Ⅴ-4-1ページ参照） |
| 22 | 資格者氏名 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金の資格者氏名を左詰めで記入する。なお、姓と名の間は一字あけること。 |
| 23 | 資格者生年月日 | 枝番号に記入した資格者の生年月日を記入する。<br>なお、この生年月日は年齢管理を行うため特に注意して記入すること。 |
| 24 | 性別 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>男 …… 1<br>女 …… 3 |
| 25 | 障害の状態 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>障害無 …… 0又は空白<br>障害有（診断書要） …… 1<br>障害有（診断書否） …… 3 |
| 26 | 同一生計の有無 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>同一生計有 …… 0又は空白<br>同一生計無 …… 1 |
| 27 | 枝番号 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金の資格者枝番号を記入する。<br>（別表Ⅴ-4-1ページ参照） |
| 28 | 資格者氏名 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金の資格者氏名を左詰めで記入する。なお、姓と名の間は一字あけること。 |
| 29 | 資格者生年月日 | 枝番号に記入した資格者の生年月日を記入する。<br>なお、この生年月日は年齢管理を行うため特に注意して記入すること。 |
| 30 | 性別 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>男 …… 1<br>女 …… 3 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 31 | 障害の状態 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>障害無　…… 0 又は空白<br>障害有（診断書要）　…… 1<br>障害有（診断書否）　…… 3 |
| 32 | 同一生計の有無 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>同一生計有　…… 0 又は空白<br>同一生計無　…… 1 |
| 33 | 枝番号 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金の資格者枝番号を記入する。<br>（別表Ⅴ-4-1 ページ参照） |
| 34 | 資格者氏名 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金の資格者氏名を左詰めで記入する。なお、姓と名の間は一字あけること。 |
| 35 | 資格者生年月日 | 枝番号に記入した資格者の生年月日を記入する。<br>なお、この生年月日は年齢管理を行うため特に注意して記入すること。 |
| 36 | 性別 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>男　…… 1<br>女　…… 3 |
| 37 | 障害の状態 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>障害無　…… 0 又は空白<br>障害有（診断書要）　…… 1<br>障害有（診断書否）　…… 3 |
| 38 | 同一生計の有無 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>同一生計有　…… 0 又は空白<br>同一生計無　…… 1 |
| 39 | 権者枝番号 | 受給権者（代表者）の枝番号を記入する。 |
| 40 | 支払方法 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>銀行（ゆうちょ銀行を除く）振込　…… 1<br>ゆうちょ銀行振込　…… 3<br>窓口現金　…… 5<br>外国払　…… 7<br>“7”を記入した場合は、金融機関・店舗コード以下の項目は記入せず、外国払入力票により処理を行うこと。<br>登録票で一時金口座情報の支払方法を“銀行振込”としている場合で、年金の支払も同一の銀行口座への振込を希望するときは、支払情報を引用するため、記入を省略することができる（同様に番号 41 から 43 まで省略可能）。 |
| 41 | 金融機関・店舗コード | 請求書等の金融機関の名称・店舗名を金融機関検索で確認の上、金融機関・店舗コードを記入する。 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 42 | 預金の種類 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>普通預金 …… 1<br>当座預金 …… 3 |
| 43 | 口座番号 | 口座番号を記入する。7桁未満の場合は、右詰めで記入する。 |
| 44 | 郵便局コード | ゆうちょ銀行の支店等又は郵便局の名称と都道府県コードをもとに、「郵便局コード」を検索のうえ記入する。 |
| 45 | 預金通帳の記号番号 | ゆうちょ銀行の預金通帳の記号5桁、番号8桁を記入する。<br>なお、番号が8桁未満の場合は右詰めで記入すること。<br>記号の上1桁が“1”、下1桁が“0”で、番号の下1桁が“1”の預金通帳以外は口座振込はできないので注意すること。 |
| 46 | 電話番号 | 市外局番（最大6桁）、市内局番（最大4桁）、番号（4桁）を右詰めで記入する。外国払の場合は記入しない。 |
| 47 | 郵便番号 | 受給権者の住所の郵便番号を左詰めで記入する。外国払の場合は記入しない。 |
| 48 | 都道府県コード | 受給権者の住所地の都道府県コードを記入する。<br>外国払の場合は記入しない。 |
| 49 | 受給権者氏名（漢字） | 受給権者氏名を漢字で記入する。姓と名の間は、一文字あけること。<br>外国払の場合は記入しない。 |
| 50 | 住所（漢字） | 受給権者の住所（都道府県名以降）を漢字で記入する。外国払の場合は記入しない。 |
| 51 | 住所（漢字） | 受給権者の住所（都道府県名以降）を漢字で記入する。外国払の場合は記入しない。 |
| 52 | 住所（漢字） | 受給権者の住所（都道府県名以降）を漢字で記入する。外国払の場合は記入しない。 |

（注）項番47「郵便番号」を入力すると、郵便番号に該当する住所（漢字）を項番50「住所」へ自動変換する。

3　留意点

a　複数枚入力する場合、2 枚目以降の年金入力票「⑥データ受付番号（手書用)」欄に、データ受付番号を手書で記入すること。

b　資格者の登録は最大 16 人までとしている。(17 人分以上の入力を行った場合は、キャンセルとなる。)

〈枝番号について〉

c　年金入力票 1 枚目の資格者 1「枝番号」欄には、必ず「受給権者枝番号」を記入すること。

d　枝番号の記入は、資格者の優先順位に基づき行うこと。(別表Ⅴ-4-1 ページ参照)

〈枚目／枚中について〉

e　傷病・障害に係る入力の場合、枚目は常に「1」を記入すること。

f　遺族に係る入力の場合、枚目は資格者の優先順位に従って記入した枝番号順となるように 1 から順に記入すること。

g　枚中は入力する【年金入力票の総枚数】又は【年金入力票の総枚数＋外国払入力票】を記入すること。

〈厚年等情報について〉

h　⑦調整コードは「0（調整)」の場合でも、必ず記入すること。

i　遺族で厚年等調整が旧国民年金のみの場合には、厚年等情報の記入欄の 2 種（項番 11～14）の方へ記入すること。

j　厚年種別の 1 種、2 種共に入力がある場合は、1 種の種別コードは「1」又は「3」で 2 種の種別コードは「5」であること。

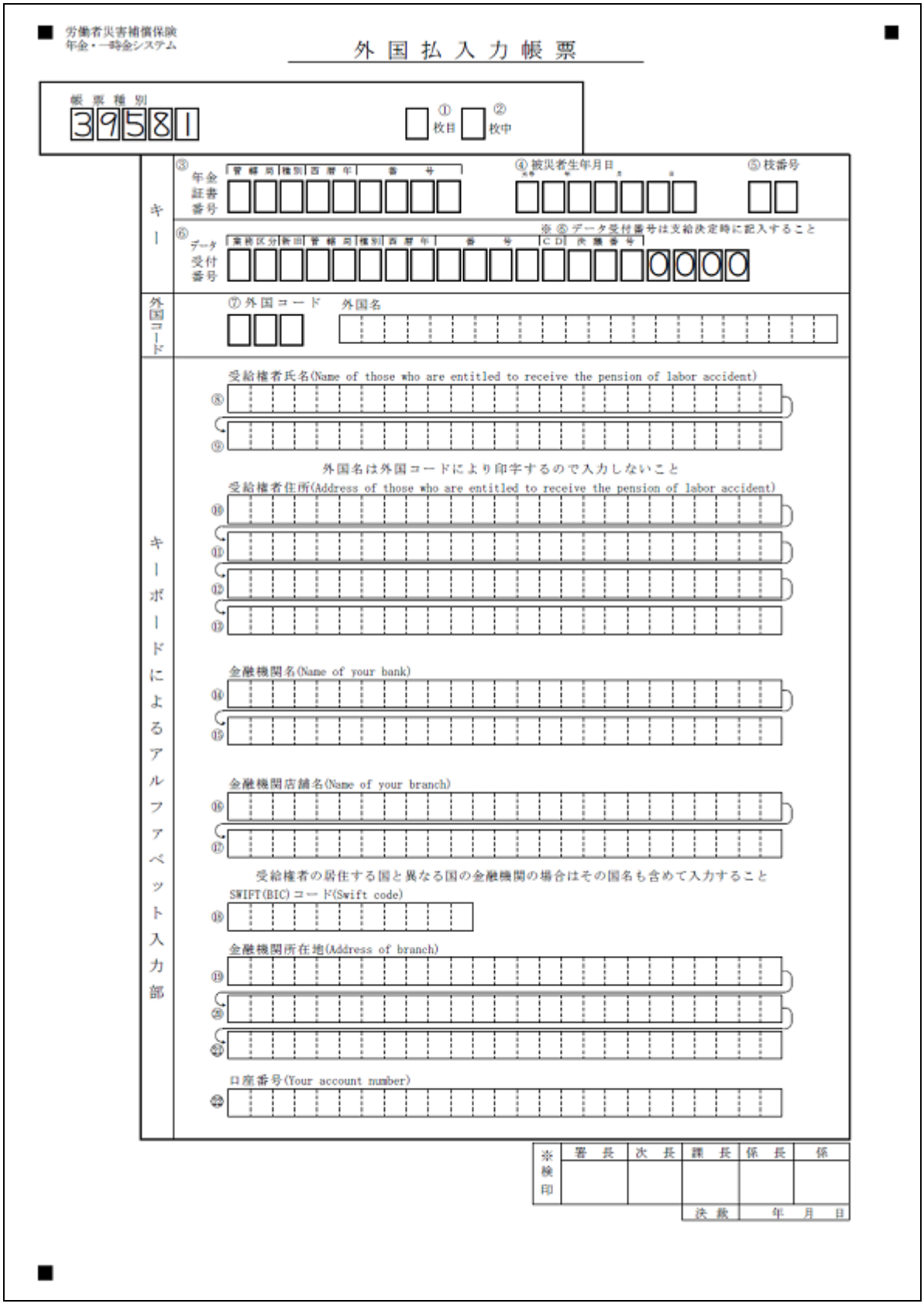
k　厚年等調整コードによる厚年等情報の入力条件は下記のとおりとする。

| 厚年等調整コード | | | 厚年等種別 | 厚年等年額 | 厚年等年金証書番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| コード | 内　　容 | 調整区分 | | | |
| 0 | 調整（差止） | 調整 | ● | ● | △ |
| 1 | 調査中 | 未調整 | × | × | × |
| 2 | 請求中 | 調整（額なし調整） | ● | × | × |
| 3 | 不支給（不該当） | 非調整 | × | × | × |
| 4 | 未加入 | 非調整 | × | × | × |
| 5 | 請求拒否 | 非調整 | × | × | × |
| 6 | 支給停止 | 非調整 | ● | × | × |
| 7 | 老齢年金選択 | 非調整 | ● | × | × |

● … 必須入力項目、△ … 任意入力項目、× … 入力不可項目

(4) 外国払入力票

様式


労働者災害補償保険
年金・一時金システム
外国払入力帳票
帳票種別
39581
①枚目
②枚中
キー
③年金証書番号
管轄局 種別 西暦年 番号
④被災者生年月日
⑤枝番号
⑥データ受付番号
※⑥データ受付番号は支給決定時に記入すること
業務区分 新旧 管轄局 種別 西暦年 番号 CD 決裁番号
0000
外国コード
⑦外国コード
外国名
キーボードによるアルファベット入力部
受給権者氏名(Name of those who are entitled to receive the pension of labor accident)
⑧
⑨
外国名は外国コードにより印字するので入力しないこと
受給権者住所(Address of those who are entitled to receive the pension of labor accident)
⑩
⑪
⑫
⑬
金融機関名(Name of your bank)
⑭
⑮
金融機関店舗名(Name of your branch)
⑯
⑰
受給権者の居住する国と異なる国の金融機関の場合はその国名も含めて入力すること
SWIFT(BIC)コード(Swift code)
⑱
金融機関所在地(Address of branch)
⑲
⑳
㉑
口座番号(Your account number)
㉒
※検印
署長 次長 課長 係長 係
決裁
年 月 日

1　外国払入力票の記入項目

イ　傷病（補償）年金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | 枚目 | ● | ● |
| 2 | 枚中 | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | × | × |
| 4 | 被災者生年月日 | × | × |
| 5 | 枝番号 | × | × |
| 6 | データ受付番号 | ● | ● |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名 1 | ● | ○ |
| 9 | 受給権者氏名 2 | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所 1 | ● | ○ |
| 11 | 受給権者住所 2 | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所 3 | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所 4 | △ | △ |
| 14 | 金融機関名 1 | △ | △ |
| 15 | 金融機関名 2 | △ | △ |
| 16 | 金融機関店舗名 1 | △ | △ |
| 17 | 金融機関店舗名 2 | △ | △ |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | △ | △ |
| 19 | 金融機関所在地 1 | △ | △ |
| 20 | 金融機関所在地 2 | △ | △ |
| 21 | 金融機関所在地 3 | △ | △ |
| 22 | 口座番号 | △ | △ |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略した場合は登記時の項目を流用）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

(ｲ) 外国払入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| (不) 支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金年額リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 計算式リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

(ﾛ) 外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面<br>(正常時) | メッセージエリア<br>(キャンセル時) |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | | 処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | 枚目 | 帳票に記載された枚目を出力する。 | － |
| | 枚中 | 帳票に記載された枚中を出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面<br>(正常時) | メッセージエリア<br>(キャンセル時) |
| | 被災者生年月日 | 帳票に記載された被災者生年月日を出力する。 | - |
| | 枝番号 | 帳票に記載された枝番号を出力する。 | - |
| | データ受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | - |
| | 外国コード | 帳票に記載された外国コードを出力する。 | - |
| | 受給権者氏名(1) | 入力された受給権者氏名(1)を出力する。 | - |
| | 受給権者氏名(2) | 入力された受給権者氏名(2)を出力する。 | - |
| | 受給権者住所(1) | 入力された受給権者住所(1)を出力する。 | - |
| 登録項目／入力項目 | 受給権者住所(2) | 入力された受給権者住所(2)を出力する。 | - |
| | 受給権者住所(3) | 入力された受給権者住所(3)を出力する。 | - |
| | 受給権者住所(4) | 入力された受給権者住所(4)を出力する。 | - |
| | 金融機関名(1) | 入力された金融機関名(1)を出力する。 | - |
| | 金融機関名(2) | 入力された金融機関名(2)を出力する。 | - |
| | 金融機関店舗名(1) | 入力された金融機関店舗名(1)を出力する。 | - |
| | 金融機関店舗名(2) | 入力された金融機関店舗名(2)を出力する。 | - |
| | SWIFT(BIC)コード | 入力されたSWIFT(BIC)コードを出力する。 | - |
| | 金融機関所在地(1) | 入力された金融機関所在地(1)を出力する。 | - |
| | 金融機関所在地(2) | 入力された金融機関所在地(2)を出力する。 | - |
| | 金融機関所在地(3) | 入力された金融機関所在地(3)を出力する。 | - |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面<br>（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| | 口座番号 | 入力された口座番号を出力する。 | － |
| 操作者情報 | ユーザ ID | 当該処理を実施したユーザの ID を出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末の IP アドレスを出力する。 | － |

ロ　障害（補償）一時金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | 枚目 | ● | ● |
| 2 | 枚中 | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | × | × |
| 4 | 被災者生年月日 | × | × |
| 5 | 枝番号 | × | × |
| 6 | データ受付番号 | ● | ● |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名 1 | ● | ○ |
| 9 | 受給権者氏名 2 | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所 1 | ● | ○ |
| 11 | 受給権者住所 2 | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所 3 | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所 4 | △ | △ |
| 14 | 金融機関名 1 | × | × |
| 15 | 金融機関名 2 | × | × |
| 16 | 金融機関店舗名 1 | × | × |
| 17 | 金融機関店舗名 2 | × | × |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | × | × |
| 19 | 金融機関所在地 1 | × | × |
| 20 | 金融機関所在地 2 | × | × |
| 21 | 金融機関所在地 3 | × | × |
| 22 | 口座番号 | × | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略した場合は登記時の項目を流用）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

(ｲ) 外国払入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| (不) 支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 計算式リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

(ﾛ) 外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

(出力項目の説明は、Ⅱ-2-103 ページ参照)

ハ　障害（補償）年金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | 枚目 | ● | ● |
| 2 | 枚中 | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | × | × |
| 4 | 被災者生年月日 | × | × |
| 5 | 枝番号 | × | × |
| 6 | データ受付番号 | ● | ● |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名 1 | ● | ○ |
| 9 | 受給権者氏名 2 | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所 1 | ● | ○ |
| 11 | 受給権者住所 2 | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所 3 | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所 4 | △ | △ |
| 14 | 金融機関名 1 | △ | △ |
| 15 | 金融機関名 2 | △ | △ |
| 16 | 金融機関店舗名 1 | △ | △ |
| 17 | 金融機関店舗名 2 | △ | △ |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | △ | △ |
| 19 | 金融機関所在地 1 | △ | △ |
| 20 | 金融機関所在地 2 | △ | △ |
| 21 | 金融機関所在地 3 | △ | △ |
| 22 | 口座番号 | △ | △ |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略した場合は登記時の項目を流用）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

(ｲ) 外国払入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| (不) 支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 債務者登録票 | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 計算式リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金年額リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

(ﾛ) 外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

(出力項目の説明は、Ⅱ-2-103 ページ参照)

ニ　遺族（補償）一時金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | 枚目 | ● | ● |
| 2 | 枚中 | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | × | × |
| 4 | 被災者生年月日 | × | × |
| 5 | 枝番号 | × | × |
| 6 | データ受付番号 | ● | ● |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名 1 | ● | ○ |
| 9 | 受給権者氏名 2 | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所 1 | ● | ○ |
| 11 | 受給権者住所 2 | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所 3 | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所 4 | △ | △ |
| 14 | 金融機関名 1 | × | × |
| 15 | 金融機関名 2 | × | × |
| 16 | 金融機関店舗名 1 | × | × |
| 17 | 金融機関店舗名 2 | × | × |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | × | × |
| 19 | 金融機関所在地 1 | × | × |
| 20 | 金融機関所在地 2 | × | × |
| 21 | 金融機関所在地 3 | × | × |
| 22 | 口座番号 | × | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略した場合は登記時の項目を流用）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

(ｲ) 外国払入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| (不) 支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

(ﾛ) 外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

(出力項目の説明は、Ⅱ-2-103 ページ参照)

ホ　遺族（補償）年金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | 枚目 | ● | ● |
| 2 | 枚中 | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | × | × |
| 4 | 被災者生年月日 | × | × |
| 5 | 枝番号 | × | × |
| 6 | データ受付番号 | ● | ● |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名 1 | ● | ○ |
| 9 | 受給権者氏名 2 | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所 1 | ● | ○ |
| 11 | 受給権者住所 2 | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所 3 | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所 4 | △ | △ |
| 14 | 金融機関名 1 | △ | △ |
| 15 | 金融機関名 2 | △ | △ |
| 16 | 金融機関店舗名 1 | △ | △ |
| 17 | 金融機関店舗名 2 | △ | △ |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | △ | △ |
| 19 | 金融機関所在地 1 | △ | △ |
| 20 | 金融機関所在地 2 | △ | △ |
| 21 | 金融機関所在地 3 | △ | △ |
| 22 | 口座番号 | △ | △ |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略した場合は登記時の項目を流用）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

(ｲ) 外国払入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| (不) 支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 遺族(補償)年金資格者一覧 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 債務者登録票 | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金年額リスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

(ﾛ) 外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

(出力項目の説明は、Ⅱ-2-103 ページ参照)

ヘ　障害（補償）一時金（失権差額一時金）

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | 枚目 | ● | ● |
| 2 | 枚中 | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | × | × |
| 4 | 被災者生年月日 | × | × |
| 5 | 枝番号 | × | × |
| 6 | データ受付番号 | ● | ● |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名 1 | ● | ○ |
| 9 | 受給権者氏名 2 | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所 1 | ● | ○ |
| 11 | 受給権者住所 2 | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所 3 | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所 4 | △ | △ |
| 14 | 金融機関名 1 | × | × |
| 15 | 金融機関名 2 | × | × |
| 16 | 金融機関店舗名 1 | × | × |
| 17 | 金融機関店舗名 2 | × | × |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | × | × |
| 19 | 金融機関所在地 1 | × | × |
| 20 | 金融機関所在地 2 | × | × |
| 21 | 金融機関所在地 3 | × | × |
| 22 | 口座番号 | × | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略した場合は登記時の項目を流用）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

(ｲ) 外国払入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| (不) 支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

(ﾛ) 外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

(出力項目の説明は、Ⅱ-2-103 ページ参照)

ト　遺族（補償）一時金（失権差額一時金）

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | 枚目 | ● | ● |
| 2 | 枚中 | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | × | × |
| 4 | 被災者生年月日 | × | × |
| 5 | 枝番号 | × | × |
| 6 | データ受付番号 | ● | ● |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名 1 | ● | ○ |
| 9 | 受給権者氏名 2 | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所 1 | ● | ○ |
| 11 | 受給権者住所 2 | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所 3 | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所 4 | △ | △ |
| 14 | 金融機関名 1 | × | × |
| 15 | 金融機関名 2 | × | × |
| 16 | 金融機関店舗名 1 | × | × |
| 17 | 金融機関店舗名 2 | × | × |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | × | × |
| 19 | 金融機関所在地 1 | × | × |
| 20 | 金融機関所在地 2 | × | × |
| 21 | 金融機関所在地 3 | × | × |
| 22 | 口座番号 | × | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略した場合は登記時の項目を流用）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

(ｲ) 外国払入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| (不) 支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

(ﾛ) 外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

(出力項目の説明は、Ⅱ-2-103 ページ参照)

チ　未支給金・未支給年金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | 枚目 | ● | ● |
| 2 | 枚中 | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | × | × |
| 4 | 被災者生年月日 | × | × |
| 5 | 枝番号 | × | × |
| 6 | データ受付番号 | ● | ● |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名 1 | ● | ○ |
| 9 | 受給権者氏名 2 | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所 1 | ● | ○ |
| 11 | 受給権者住所 2 | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所 3 | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所 4 | △ | △ |
| 14 | 金融機関名 1 | × | × |
| 15 | 金融機関名 2 | × | × |
| 16 | 金融機関店舗名 1 | × | × |
| 17 | 金融機関店舗名 2 | × | × |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | × | × |
| 19 | 金融機関所在地 1 | × | × |
| 20 | 金融機関所在地 2 | × | × |
| 21 | 金融機関所在地 3 | × | × |
| 22 | 口座番号 | × | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略した場合は登記時の項目を流用）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

(ｲ) 外国払入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| (不) 支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

(ﾛ) 外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

(出力項目の説明は、Ⅱ-2-103 ページ参照)

リ　葬祭料・葬祭給付

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | 枚目 | ● | ● |
| 2 | 枚中 | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | × | × |
| 4 | 被災者生年月日 | × | × |
| 5 | 枝番号 | × | × |
| 6 | データ受付番号 | ● | ● |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名 1 | ● | ○ |
| 9 | 受給権者氏名 2 | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所 1 | ● | ○ |
| 11 | 受給権者住所 2 | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所 3 | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所 4 | △ | △ |
| 14 | 金融機関名 1 | × | × |
| 15 | 金融機関名 2 | × | × |
| 16 | 金融機関店舗名 1 | × | × |
| 17 | 金融機関店舗名 2 | × | × |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | × | × |
| 19 | 金融機関所在地 1 | × | × |
| 20 | 金融機関所在地 2 | × | × |
| 21 | 金融機関所在地 3 | × | × |
| 22 | 口座番号 | × | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略した場合は登記時の項目を流用）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

(ｲ) 外国払入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| (不) 支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

(ﾛ) 外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

(出力項目の説明は、Ⅱ-2-103 参照)

ヌ　特別遺族一時金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | 枚目 | ● | ● |
| 2 | 枚中 | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | × | × |
| 4 | 被災者生年月日 | × | × |
| 5 | 枝番号 | × | × |
| 6 | データ受付番号 | ● | ● |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名 1 | ● | ○ |
| 9 | 受給権者氏名 2 | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所 1 | ● | ○ |
| 11 | 受給権者住所 2 | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所 3 | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所 4 | △ | △ |
| 14 | 金融機関名 1 | × | × |
| 15 | 金融機関名 2 | × | × |
| 16 | 金融機関店舗名 1 | × | × |
| 17 | 金融機関店舗名 2 | × | × |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | × | × |
| 19 | 金融機関所在地 1 | × | × |
| 20 | 金融機関所在地 2 | × | × |
| 21 | 金融機関所在地 3 | × | × |
| 22 | 口座番号 | × | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略した場合は登記時の項目を流用）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

(ｲ) 外国払入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| (不) 支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

(ﾛ) 外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

(出力項目の説明は、Ⅱ-2-103 ページ参照)

ル　特別遺族年金

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | 枚目 | ● | ● |
| 2 | 枚中 | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | × | × |
| 4 | 被災者生年月日 | × | × |
| 5 | 枝番号 | × | × |
| 6 | データ受付番号 | ● | ● |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名 1 | ● | ○ |
| 9 | 受給権者氏名 2 | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所 1 | ● | ○ |
| 11 | 受給権者住所 2 | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所 3 | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所 4 | △ | △ |
| 14 | 金融機関名 1 | △ | △ |
| 15 | 金融機関名 2 | △ | △ |
| 16 | 金融機関店舗名 1 | △ | △ |
| 17 | 金融機関店舗名 2 | △ | △ |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | △ | △ |
| 19 | 金融機関所在地 1 | △ | △ |
| 20 | 金融機関所在地 2 | △ | △ |
| 21 | 金融機関所在地 3 | △ | △ |
| 22 | 口座番号 | △ | △ |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略した場合は登記時の項目を流用）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

(ｲ) 外国払入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| (不) 支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 特別遺族年金資格者一覧 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金年額リスト<br>(特別遺族) | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

(ﾛ) 外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

(出力項目の説明は、Ⅱ-2-103 ページ参照)

ヲ　特別遺族一時金（失権差額一時金）

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|
| 1 | 枚目 | ● | ● |
| 2 | 枚中 | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | × | × |
| 4 | 被災者生年月日 | × | × |
| 5 | 枝番号 | × | × |
| 6 | データ受付番号 | ● | ● |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名 1 | ● | ○ |
| 9 | 受給権者氏名 2 | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所 1 | ● | ○ |
| 11 | 受給権者住所 2 | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所 3 | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所 4 | △ | △ |
| 14 | 金融機関名 1 | × | × |
| 15 | 金融機関名 2 | × | × |
| 16 | 金融機関店舗名 1 | × | × |
| 17 | 金融機関店舗名 2 | × | × |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | × | × |
| 19 | 金融機関所在地 1 | × | × |
| 20 | 金融機関所在地 2 | × | × |
| 21 | 金融機関所在地 3 | × | × |
| 22 | 口座番号 | × | × |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略した場合は登記時の項目を流用）

△ … 任意入力項目

× … 入力不可項目

(ｲ) 外国払入力票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 登記 | 修正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| (不) 支給決議書 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金入力結果票 | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | △ | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

(ﾛ) 外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

(出力項目の説明は、Ⅱ-2-103 ページ参照)

2　記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | 枚目 | 入力を要する帳票（年金入力票と外国払入力票）の総枚数のうち何枚目に入力するかを記入する。 |
| 2 | 枚中 | 入力を要する帳票（年金入力票と外国払入力票）の総枚数を記入する。 |
| 3 | 年金証書番号 | 支給決定処理では記入しない。 |
| 4 | 被災者生年月日 | 支給決定処理では記入しない。 |
| 5 | 枝番号 | 支給決定処理では記入しない。 |
| 6 | データ受付番号 | 登録票に印字しているデータ受付番号を記入する。 |
| 7 | 外国コード | 受給権者が居住する国の該当コードを記入する。（別表Ⅴ-7-1 参照） |
| 8<br>9 | 受給権者氏名<br>（アルファベット） | ＯＣＲではアルファベットを読み取ることができないため、受給権者の氏名をキーボードによりアルファベット入力する。 |
| 10<br>11<br>12<br>13 | 受給権者住所<br>（アルファベット） | 受給権者の住所をキーボードによりアルファベット入力する。 |
| 14<br>15 | 金融機関名<br>（アルファベット） | 振込先金融機関名をキーボードによりアルファベット入力する。<br>（一時金の場合は、記入しない） |
| 16<br>17 | 金融機関店舗名<br>（アルファベット） | 振込先金融機関店舗名をキーボードによりアルファベット入力する。<br>（一時金の場合は、記入しない） |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | SWIFT(BIC)コードをキーボードによりアルファベット入力する。<br>（一時金の場合は、記入しない） |
| 19<br>20<br>21 | 金融機関所在地<br>（アルファベット） | 振込先金融機関所在地をキーボードによりアルファベット入力する。<br>（一時金の場合は、記入しない） |
| 22 | 口座番号 | 預貯金の口座番号をキーボードによりアルファベット入力する。<br>（一時金の場合は、記入しない） |

（注）　アルファベット入力方法については、外国払入力票の単独処理の方で説明しているので
Ⅱ-6-11 ページを参照すること。

3　留意点

a　年金給付の支払先として外国払入力票を入力する場合は、年金入力票の後に入力することとなるため、枚中には総枚数として【年金入力票の入力枚数＋1】を記入すること。

なお、外国払入力票は、最後に入力することから、枚目と枚中が同じになる。

b　一時金給付の「支給（不支給）決定通知書」に出力する氏名・住所情報として外国払入力票を入力する場合は、枚目と枚中には【1】を記入すること。

また、登録帳票の入力時に出力された年金・一時金入力帳票は使用しない。

c　登記時に、既に「受給権者氏名 1」「受給権者住所 1」「金融機関名 1」「金融機関店舗名 1」「SWIFT(BIC)コード」「金融機関所在地 1」「口座番号」の入力が行われている場合は、修正時の入力を省略することができる。

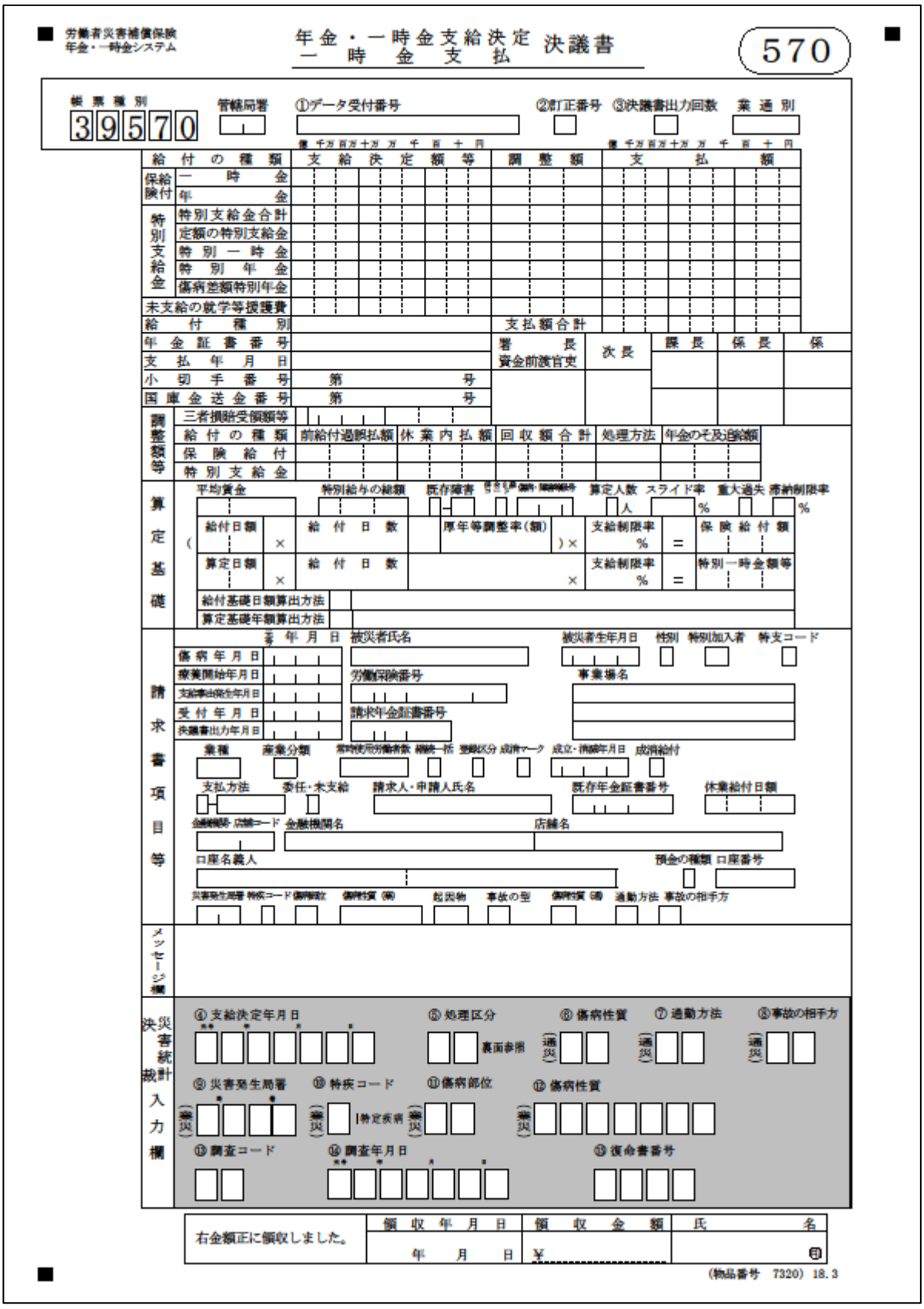
d　登記した情報を修正時に削除する場合、削除できる項目は、「金融機関名 1」「金融機関店舗名 1」「SWIFT(BIC)コード」「金融機関所在地 1」「口座番号」である。

また、削除は、各項目の左端に「＊（アスタリスク）」を打鍵入力することにより行う（各項目を空欄にした場合は、登記時の情報を引用する。）。（Ⅱ-6-19 参照）

# (決　議　処　理)

(5) 支給決定決議書

様式


労働者災害補償保険
年金・一時金システム
年金・一時金支給決定 決議書
一時金支払
570
帳票種別
39570
管轄局署
①データ受付番号
②訂正番号
③決議書出力回数
業通別
給付の種類
支給決定額等
調整額
支払額
保険給付
一時金
年金
特別支給金
特別支給金合計
定額の特別支給金
特別一時金
特別年金
傷病差額特別年金
未支給の就学等援護費
給付種別
支払額合計
年金証書番号
支払年月日
小切手番号
国庫金送金番号
署長
資金前渡官吏
次長
課長
係長
係
第 号
第 号
調整額等
三者損賠受領額等
給付の種類
前給付過誤払額
休業内払額
回収額合計
処理方法
年金のそ及追納額
保険給付
特別支給金
算定基礎
平均賃金
特別給与の総額
既存障害
算定人数
スライド率
重大過失
滞納制限率
給付日額
給付日数
厚年等調整率(額)
支給制限率
保険給付額
算定日額
特別一時金額等
給付基礎日額算出方法
算定基礎年額算出方法
請求書項目等
傷病年月日
療養開始年月日
支給事由発生年月日
受付年月日
決議書出力年月日
被災者氏名
被災者生年月日
性別
特別加入者
特支コード
労働保険番号
事業場名
請求年金証書番号
業種
産業分類
常時使用労働者数
相続一括
登録区分
成行マーク
成立・消滅年月日
遡給給付
支払方法
委任・未支給
請求人・申請人氏名
既存年金証書番号
休業給付日額
金融機関コード
金融機関名
店舗コード
店舗名
口座名義人
預金の種類
口座番号
災害発生局署
特疾コード
傷病部位
傷病性質(業)
起因物
事故の型
傷病性質(通)
通勤方法
事故の相手方
メッセージ欄
災害統計入力欄
④支給決定年月日
⑤処理区分
裏面参照
⑥傷病性質
⑦通勤方法
⑧事故の相手方
⑨災害発生局署
⑩特疾コード
特定疾病
⑪傷病部位
⑫傷病性質
⑬調査コード
⑭調査年月日
⑮復命書番号
右金額正に領収しました。
領収年月日
年 月 日
領収金額
¥
氏名
㊞
(物品番号 7320) 18.3

1　支給決定決議書の記入項目

| 番号 | 項　目　名 | 支給 | | 不支給 |
|---|---|---|---|---|
| | | 業務災害 | 通勤災害 | |
| 1 | **データ受付番号** | ● | ● | ● |
| 2 | 訂正番号 | | | |
| 3 | **決議書出力回数** | ● | ● | ● |
| 4 | 支給決定年月日 | ● | ● | ● |
| 5 | 処理区分 | ● | ● | ● |
| 6 | 傷病性質（通災） | × | ○ | × |
| 7 | 通勤方法 | × | ○ | × |
| 8 | 事故の相手方 | × | ○ | × |
| 9 | 特疾コード | ○ | × | × |
| 10 | 災害発生局署 | ○ | × | × |
| 11 | 傷病部位 | ○ | × | × |
| 12 | 傷病性質（業災） | ○ | × | × |
| 13 | 調査コード | A | A | A |
| 14 | 調査年月日 | A | A | A |
| 15 | 復命書番号 | A | A | A |

● … 必須入力項目

○ … 必須入力項目（省略可能）

△ … 任意入力項目

A … セット入力項目（3項目すべてを入力する）

× … 入力不可項目

（注）　**ゴシック体**となっている項目は、決議書出力時に印字する項目である。

支給決定決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 支給 | 不支給 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 支給決定通知書 | ● | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 不支給決定通知書 | × | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金証書 | △ | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| メッセージリスト | △ | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

△ … 条件出力

× … 非出力

支給決定決議書入力時の出力画面

登録票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。

キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

出力項目の説明

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | | 実行コードに応じた処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | データ受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | データ受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| | 訂正番号 | － | － |
| | 決議書出力回数 | 帳票に記載された決議書出力回数を出力する。 | － |
| | 支給決定年月日 | 帳票に記載された支給決定年月日を出力する。 | － |
| | 処理区分 | 帳票に記載された処理区分を出力する。 | － |
| | 傷病性質（通災） | 帳票に記載された傷病性質（通災）を出力する。 | － |
| | 通勤方法 | 帳票に記載された通勤方法を出力する。 | － |
| | 事故の相手方 | 帳票に記載された事故の相手方を出力する。 | － |
| | 特疾コード | 帳票に記載された特疾コードを出力する。 | － |
| | 災害発生局署 | 帳票に記載された災害発生局署を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| | 傷病部位 | 帳票に記載された傷病部位を出力する。 | － |
| | 傷病性質（業災） | 帳票に記載された傷病性質（業災）を出力する。 | － |
| | 調査コード | 帳票に記載された調査コードを出力する。 | － |
| | 調査年月日 | 帳票に記載された調査年月日を出力する。 | － |
| | 復命書番号 | 帳票に記載された復命書番号を出力する。 | － |
| 操作者情報 | ユーザ ID | 当該処理を実施したユーザの ID を出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末の IP アドレスを出力する。 | － |

2　記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | 登記処理により印字する。 |
| 2 | 訂正番号 | 印字しない。 |
| 3 | 決議書出力回数 | 登記処理により印字する。 |
| 4 | 支給決定年月日 | 支給（不支給）決定した日付を記入する。 |
| 5 | 処理区分 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>支給 …… 01<br>適用外で不支給（労災保険適用外） …… 11<br>業通外で不支給 …… 12<br>重複請求で不支給 …… 13<br>再発不認定で不支給 …… 20<br>傷病・障害等級不該当で不支給 …… 21<br>治ゆ不認定で不支給 …… 22<br>遺族（補償）年金・資格者なしで不支給 …… 23<br>時効により不支給 …… 24<br>基本権なしで不支給 …… 25<br>給付額なしで不支給 …… 26<br>管轄外の請求のため不支給 …… 30<br>その他で不支給 …… 14～19<br>（注）14～19 については、各局が任意に設定し使用する。 |
| 6 | 傷病性質（通災） | 通勤災害の場合のみ、傷病性質コードを記入する。<br>（別表Ⅴ-12-1 参照） |
| 7 | 通勤方法 | 通勤災害の場合のみ、通勤方法コードを記入する。<br>（別表Ⅴ-15-1 参照） |
| 8 | 事故の相手方 | 通勤災害の場合のみ、事故の相手方コードを記入する。<br>（別表Ⅴ-16-1 参照） |
| 9 | 災害発生局署(業災) | 業務災害のみ災害の発生した場所を管轄する局署を記入する。 |
| 10 | 特疾コード | 業務災害のみ次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>特定疾病（注１） …… 1 |
| 11 | 傷病部位 | 業務災害の場合のみ、傷病部位コードを記入する。<br>（別表Ⅴ-13-1 参照） |
| 12 | 傷病性質 | 業務災害の場合のみ、傷病性質コードを記入する。<br>（別表Ⅴ-14-1 参照） |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 13 | 調査コード | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>適用関係 …… 11<br>業務上外・通勤途上外 …… 12<br>療養内容 …… 13<br>支給事由発生年月日 …… 14<br>休業期間 …… 15<br>休業中の賃金 …… 16<br>平均賃金・特別給与 …… 17<br>傷病・障害状態（治ゆ・再発） …… 18<br>受給権者 …… 19<br>支給制限 …… 20<br>厚年等受給関係 …… 21<br>損害賠償関係 …… 22<br>第三者行為災害関係 …… 23<br>その他（上記以外） …… 24～29<br>支給停止 …… 31<br>支払差止 …… 32<br>受給資格者 …… 33<br>時効 …… 34<br>（注）　24～29 については、各局が任意に設定し使用する。 |
| 14 | 調査年月日 | 調査実施年月日を記入する。 |
| 15 | 復命書番号 | 調査により作成した復命書の番号を記入する。 |

（注１）　特定疾病とは下記に掲げるとおりである。

| 疾　　病 | 事業の種類 | 疾　　病 |
|---|---|---|
| 非災害性腰痛 | 港湾貨物取扱事業<br>港湾荷役業 | 事業主を異にする 2 以上の事業場において非災害性腰痛の発生のおそれのある業務に従事し、又は従事したことのある労働者であって、疾病の発生の原因となった業務に従事した最後の事業場の事業主に日々又は二月以内の期限を定めて使用され、又は使用されたもの。(2 月を超えて使用されるに至った者を除く) |
| 振動障害 | 林業の事業<br>建設の事業 | 事業主を異にする 2 以上の事業場において振動障害の発生のおそれのある業務に従事し、又は従事したことのある労働者であって、疾病の発生の原因となった業務に従事した最終事業場における当該業務の従事期間が 1 年に満たないもの。 |
| じん肺症 | 建設の事業 | 事業主を異にする 2 以上の事業場においてじん肺症の発生のおそれのある業務に従事し、又は従事したことのある労働者であって、当該業務の従事期間が 3 年に満たないもの。 |

3　留意点

a　統計項目の引用について

既存データに情報がある場合は、統計項目を記入しなくても情報を引用することができ、短期情報、年金情報が共に存在するときは、年金情報を優先する。

また、統計項目を記入した場合において内容が既存データと異なる時は、メッセージを出力し、既存データを統計項目とする。

b　障害（補償）一時金（職権 90-03）において不支給とした場合は、不支給決定通知書は出力せずに送信完了画面を出力する。

c　障害（補償）一時金（職権 90-03）を入力した場合、出力する決議書の受付年月日は登録票の入力年月日を印字する。

d　登録票の入力時点において、適用外、管轄外、重複請求あるいは時効経過の理由により、システムが自動的に不支給決議書を出力した場合においては、その不支給となった原因とそれに対応する処理区分コードを記入すること。

e　決議入力後、住所・漢字氏名の入力誤りが判明した場合、支払振込通知書に表示される住所・氏名を訂正する必要があるため、至急本省に連絡すること。

4　支給決定決議書の出力項目の説明

| 出　力　項　目　名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| 上方標題 | 支給停止決議（前払調整・若年停止・三者調整）及び不支給決議書要求の場合について別表 2－1（Ⅱ-2-147 ページ参照）のとおり印字する。<br>また、適用外・管轄外・重複請求・時効による不支給についても、不支給決議書要求の場合と同様の内容を印字する。 |
| データ受付番号 | 受付処理において振り出した番号を印字する。 |
| 訂正番号 | 訂正処理において、休業内払額又は前払選択日数を訂正した場合に出力される支給決定決議書に印字する。 |
| 決議書出力回数 | 決議書を出力した回数を印字する。 |
| 業通別 | 業通別を次のとおり印字する。<br>業務災害<br>通勤災害 |
| 保険給付（一時金） | 〈支給決定額等〉<br>支給制限後の給付額を印字する。<br>〈調整額〉<br>支給決定額を限度に三者損賠受領額、前給付過誤払額（保険給付）及び休業内払額（保険給付）の合計を印字する。<br>〈支払額〉<br>支給決定額から調整額を差し引いた額を印字する。 |
| 保険給付（年金） | 〈支給決定額等〉<br>厚年調整後、支給制限後及び端数処理後の年金年額を印字する。未支給金の場合は未支給金額を印字する。<br>〈調整額〉<br>年金の場合は印字しない。未支給金の場合は三者受領額を印字する。<br>〈支払額〉<br>年金の場合は印字しない。未支給金の場合は支給決定額より調整額を差し引いた額を印字する。 |
| 定額の特別支給金 | 〈支給決定額等〉<br>傷病・障害等級に応じた定額の特別支給金額（支給制限後）又は遺族の定額の特別支給金額（支給制限後）を印字する。<br>なお、併合８級コードに「１」を入力した場合は「64 万円」を、併合繰上等の定額特支金額を入力した場合は当該金額を印字する。<br>〈調整額〉<br>支給決定額を限度に前給付過誤払額（特支金）及び休業内払額（特支金）の合計額を印字する。<br>〈支払額〉<br>支給決定額から調整額を差し引いた額を印字する。 |

| 出　力　項　目　名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| 特別一時金 | 〈支給決定額等〉<br>支給制限後の給付額を印字する。<br>〈調整額〉<br>定額の特別支給金の支給決定額と特別支給金の回収額合計との調整を行い調整残額が生じた場合は支給決定額を限度に印字する。<br>〈支払額〉<br>支給決定額より調整額を差し引いた額を印字する。 |
| 特別年金 | 〈支給決定額等〉<br>支給制限後及び端数処理後の特別年金年額を印字する。未支給金の場合は未支給金額を印字する。<br>〈調整額〉<br>印字しない。<br>〈支払額〉<br>未支給金の場合は支給決定額と同額を印字する。他は印字しない。 |
| 傷病差額特別年金 | 〈支給決定額等〉<br>傷病（補償）年金の場合で端数処理後の傷病差額特別年金年額を印字する。<br>〈調整額〉<br>印字しない。<br>〈支払額〉<br>印字しない。 |
| 未支給の就学等援護費 | 〈支給決定額等〉<br>就学等援護費の未支給金額を印字する。<br>〈調整額〉<br>印字しない。<br>〈支払額〉<br>支給決定額と同額を印字する。 |
| 支払額合計 | 保険給付額、特別支給金額及び未支給の就学等援護費額の支払額の合計を印字する。 |
| 給付種別 | 給付種別ごとに下記のとおり印字する。<br>傷病補償年金、傷病年金<br>障害補償年金、障害年金、障害補償年金前払一時金<br>障害年金前払一時金、障害補償年金差額一時金<br>障害年金差額一時金、障害補償一時金、障害一時金<br>遺族補償年金、遺族年金、遺族補償年金前払一時金<br>遺族年金前払一時金、遺族補償年金差額一時金<br>遺族年金差額一時金、遺族補償一時金、遺族一時金<br>未支給の保険給付<br>葬祭料、葬祭給付<br>特別遺族年金、特別遺族一時金、特別遺族差額一時金<br>ただし、不支給決定決議の場合は印字しない。 |

| 出　力　項　目　名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| 年金証書番号 | 次の給付について年金証書番号を印字する。<br>傷病補償年金、傷病年金<br>障害補償年金、障害年金、障害補償年金前払一時金<br>障害年金前払一時金<br>遺族補償年金、遺族年金、遺族補償年金前払一時金<br>遺族年金前払一時金、特別遺族年金<br>ただし、不支給決定決議の場合は印字しない。 |
| 三者損賠受領額等 | 登録票で入力した三者コード、三者損賠受領日、三者損賠受領額を印字する。 |
| 前給付過誤払額 | 〈保険給付額・特別支給金〉<br>前年金転帰時の内払調整残額（回収額）を印字する。 |
| 休業内払額 | 〈保険給付額・特別支給金〉<br>登録票で入力した休業内払額を印字する。 |
| 回収額合計 | 〈保険給付額・特別支給金〉<br>前給付過誤払額、休業内払額の合計を印字する。 |
| 処理方法 | 処理方法を次のとおり漢字で印字する。<br>〈保険給付額・特別支給金〉<br>内払 …… 内払調整する場合<br>充当 …… 充当調整する場合<br>債権管理 …… 内払・充当ができない場合<br>局債権 …… 一時金給付において前給付過誤払額あるいは休業内払額との調整を行い、調整残額が生じた場合 |
| 追給額 | 〈保険給付額・特別支給金〉<br>そ及処理により発生したそ及追給額を印字する。 |
| 平均賃金 | 登録票で入力した平均賃金を印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。 |
| 特別給与の総額 | 登録票で入力した特別給与の総額を印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。 |

| 出　力　項　目　名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| 既存区分・障害 | 登録票で入力した既存障害区分コード及び既存障害等級号を印字する。 |
| 併合８級コード | 登録票で入力した併合８級コード（「1」）を印字する。 |
| 傷病・障害等級号 | 登録票で入力した傷病等級号又は障害等級号を印字する。 |
| 算定人数 | 年金入力票で入力した資格者で権者及び権者との同一生計の有無が「有り」の資格者の人数を印字する。ただし、6 人以上の場合は「5」と印字する。（平成 7 年 8 月 1 日以降は、5 人以上の場合は「4」と印字する。） |
| スライド率 | 支給事由発生年月日の翌月時点のスライド率を印字する。 |
| 重大過失 | 登録票で入力した重大過失コードを印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。 |
| 滞納制限率 | 登録票で入力した滞納制限率を印字する。 |
| 給付日額 | 〈年金給付の場合〉<br>支給事由発生年月日時点の年金給付基礎日額（スライド後）を印字する。<br>なお、支給事由発生年月日が平成 2 年 6 月 30 日以前の場合は給付基礎日額（スライド前）を印字する。<br>〈一時金給付の場合〉<br>支給事由発生年月日時点の一時金給付基礎日額（スライド後）を印字する。<br>なお、支給事由発生年月日が平成 2 年 7 月 31 日以前の場合は給付基礎日額（スライド前）を印字する。 |
| 給付日数 | 請求の内容に応じた給付日数を印字する。 |
| （給付日数の後の四則計算記号） | 該当する記号（＋、－、×）を印字する。<br>〈「＋」を印字する場合〉<br>葬祭料を印字する場合。（給付基礎日額の 60 日分の場合は除く）<br>〈「－」を印字する場合〉<br>限度額適用者で、厚年等年額を印字する場合<br>〈「×」を印字する場合〉<br>厚年等調整率を印字する場合 |
| 厚年等調整率（額） | 厚年種別に応じた厚年等調整率（別表 V-6-1 ページ参照）又は厚年等年額（限度額適用者）を印字する。 |
| 支給制限率 | 登録票で入力した重大過失コード及び滞納制限率により【100%－支給制限率（%）】を印字する。 |

| 出　力　項　目　名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| 保険給付額 | 〈年金給付〉<br>支給事由発生年月日時点の年金年額（端数処理前）を印字する。<br>〈一時金給付〉<br>支給事由発生年月日時点の一時金額を印字する。 |
| 算定日額 | 〈年金給付の場合〉<br>支給事由発生年月日時点の算定基礎日額(スライド後)を印字する。<br>なお、支給事由発生年月日が平成2年6月30日以前の場合は給付基礎日額（スライド前）を印字する。<br>〈一時金給付の場合〉<br>支給事由発生年月日時点の一時金給付基礎日額（スライド後）を印字する。<br>なお、支給事由発生年月日が平成2年7月31日以前の場合は給付基礎日額（スライド前）を印字する。 |
| 給付日数 | 請求の内容に応じた給付日数を印字する。 |
| 支給制限率 | 登録票で入力した重大過失コード及び滞納制限率により【100%－支給制限率（%)】を印字する。 |
| 特別一時金額等 | 〈年金給付〉<br>支給事由発生年月日時点の特別年金年額(端数処理前)を印字する。<br>〈一時金給付〉<br>支給事由発生年月日時点の特別一時金額を印字する。 |
| 給付基礎日額算出方法 | 年金給付基礎日額の算出方法を下記のとおり印字する。<br>00 …… 平均賃金（切上げ）<br>01 …… 最低保障額<br>03 …… 最低限度額<br>05 …… 最高限度額<br>07 …… 経過措置対象者<br>09 …… 特別加入者 |
| 算定基礎年額算出方法 | 算定基礎年額の算出方法を別表10（Ⅴ－１０－１ページ参照）のとおり印字する。 |
| 傷病年月日 | 登録票で入力した傷病年月日を印字する。 |
| 療養開始年月日 | 登録票で入力した療養開始年月日を印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。 |
| 支給事由発生年月日 | 登録票で入力した支給事由発生年月日を印字する。 |
| 受付年月日 | 登録票で入力した受付年月日を印字する。<br>ただし、職権90-03の場合は登記処理を行った年月日を印字する。 |

| 出　力　項　目　名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| 決議書出力年月日 | 支給決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 被災者氏名 | 登録票で入力した被災者氏名を印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。 |
| 生年月日 | 登録票で入力した被災者生年月日を印字する。 |
| 性別 | 登録票で入力した被災者の性別を印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。 |
| 特別加入者 | 登録票で入力した特別加入者コードを印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。 |
| 特支コード | 登録票で特支コードを入力した場合にコードを印字する。 |
| 労働保険番号 | 登録票で入力した労働保険番号を印字する。<br>短期キーによる入力をしない場合は、短期情報又は年金情報の既存データを引用し印字する。 |
| 産業分類 | 事業場の産業分類を労働保険番号台帳より印字する。 |
| 常時使用労働者数 | 事業場の常時使用労働者数を労働保険番号台帳より印字する。 |
| 継続一括 | 事業場が継続一括事業場である場合に、コード「１」を印字する。 |
| 登録区分 | 労働保険番号台帳の作成元の台帳を区分で印字する。<br>1 …… 適用事業場台帳で登録<br>2 …… 労保番号登録票で登録<br>3 …… 労災事業場台帳又は労働保険番号台帳（統合前）で登録 |
| 成消マーク | 成消給付事案の場合で傷病年月日が保険関係成立前又は保険関係消滅後の場合に次のコードを印字する。<br>1 …… 成立前<br>2 …… 消滅後 |
| 成立・消滅年月日 | 成消給付事案の場合で傷病年月日が保険関係の成立前の場合は成立年月日を、また、消滅後の場合は消滅年月日を印字する。 |
| 成消給付 | 登録票で入力した成消給付コードを印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。 |
| 請求年金証書番号 | 登録票で入力した年金証書番号を印字する。 |

| 出　力　項　目　名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| 事業場名 | 労働保険番号に対応する事業場名を漢字又はカタカナで印字する。<br>労働保険番号台帳に事業場名が漢字で登録されている場合は漢字で、カタカナで登録されている場合はカタカナで印字する。 |
| 支払方法 | 登録票で入力したコード及びコードに対応した文言を印字する。<br>1 …… 銀行振込<br>3 …… 当地払<br>5 …… 送金払 |
| 委任・未支給 | 登録票で入力した委任・未支給コードを印字する。 |
| 請求人・申請人氏名 | 登録票で入力した請求人・申請人氏名を印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。 |
| 既存年金証書番号 | 登録票で入力した既存障害の年金証書番号を印字する。 |
| 休業給付日額 | 傷病（補償）年金で休業給付基礎日額を計算に使用した場合に、年金移行直前のスライド後の休業（補償）給付と休業特別支給金の１日分の合算額を印字する。 |
| 金融機関・店舗コード | 登録票で入力した金融機関・店舗コードを印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。 |
| 金融機関名 | 金融機関コードに対応する金融機関名を漢字で印字する。 |
| 店舗名 | 金融機関・店舗コードに対応する店舗名を漢字で印字する。 |
| 口座名義人 | 登録票で入力した口座名義人を印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。 |
| 預金の種類 | 登録票で入力した預金の種類をコードで印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。<br>1 …… 普通預金<br>3 …… 当座預金 |
| 口座番号 | 登録票で入力した口座番号を印字する。<br>入力を省略し、短期情報又は年金情報が存在する場合は、データを引用し印字する。 |
| 災害発生局署 | 業務災害において短期情報又は年金情報が存在する場合に印字する。 |
| 特疾コード | 業務災害において短期情報又は年金情報が存在する場合に印字する。 |
| 傷病部位 | 業務災害において短期情報又は年金情報が存在する場合に印字する。 |
| 傷病性質（業） | 業務災害において短期情報又は年金情報が存在する場合に印字する。 |

| 出　力　項　目　名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| 傷病性質（通） | 通勤災害において短期情報又は年金情報が存在する場合に印字する。 |
| 通勤方法 | 通勤災害において短期情報又は年金情報が存在する場合に印字する。 |
| 事故の相手方 | 通勤災害において短期情報又は年金情報が存在する場合に印字する。 |
| メッセージ | 決議に際し注意を促す内容がある場合に、メッセージを印字する。<br>ただし、印字するメッセージが５以上ある場合は、メッセージリストを出力するため決議書には印字しない。<br>また、訂正処理において休業内払額又は前払選択日数を訂正した場合には支給決定決議書を出力するが、その場合には次のメッセージを出力することとしている。<br>〈前払選択日数の訂正の場合〉<br>「前払選択日数」を訂正したため、再決議となります。<br>〈休業内払額の訂正の場合〉<br>訂正帳票処理　休業情報の再決議です。 |

別表 2－1【支給決議書タイトル】

| 様式番号 | タイトル | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 前払調整 | 若年停止 | 三者事案 | 再決議 | 不支給決定決議 |
| 10-00 | | | 障害補償年金支給停止決議 | | 障害補償給付不支給決定決議 |
| 16-07 | | | 障害年金支給停止決議 | | 障害給付不支給決定決議 |
| 90-03 | | ― | ― | | （職権決議用）障害等級変更決議 |
| 12-00 | | 遺族補償年金支給停止決議 | 遺族補償年金支給停止決議 | | 遺族補償年金不支給決定決議 |
| 16-08 | | 遺族年金支給停止決議 | 遺族年金支給停止決議 | | 遺族年金不支給決定決議 |
| 15-00 | | ― | ― | | 遺族補償一時金不支給決定決議 |
| | | ― | ― | | 遺族補償年金差額一時金不支給決定決議 |
| 16-09 | | ― | ― | | 遺族一時金不支給決定決議 |
| | | ― | ― | | 遺族年金差額一時金不支給決定決議 |
| 16-02 | | | 傷病補償年金支給停止決議 | | 傷病補償給付不支給決定決議 |
| | | | 傷病年金支給停止決議 | | 傷病給付不支給決定決議 |
| 16-11 | | | 傷病補償年金支給停止決議 | | 傷病補償給付不支給決定決議 |
| | | | 傷病年金支給停止決議 | | 傷病給付不支給決定決議 |
| 16-00 | | ― | ― | | 葬祭料不支給決定決議 |
| 16-10 | | ― | ― | | 葬祭給付不支給決定決議 |
| 00-10 | 障害補償年金支給停止決議 | ― | ― | (再決議)障害補償年金支給停止決議 | 障害補償年金前払一時金不支給決定決議 |
| | 障害年金支給停止決議 | ― | ― | (再決議)障害年金支給停止決議 | 障害年金前払一時金不支給決定決議 |
| 00-01 | 遺族補償年金支給停止決議 | ― | ― | (再決議)遺族補償年金支給停止決議 | 遺族補償年金前払一時金不支給決定決議 |
| | 遺族年金支給停止決議 | ― | ― | (再決議)遺族年金支給停止決議 | 遺族年金前払一時金不支給決定決議 |
| 37-02 | | ― | ― | | 障害補償年金差額一時金不支給決定決議 |
| | | ― | ― | | 障害年金差額一時金不支給決定決議 |

― … 未使用、空欄 … 出力しない

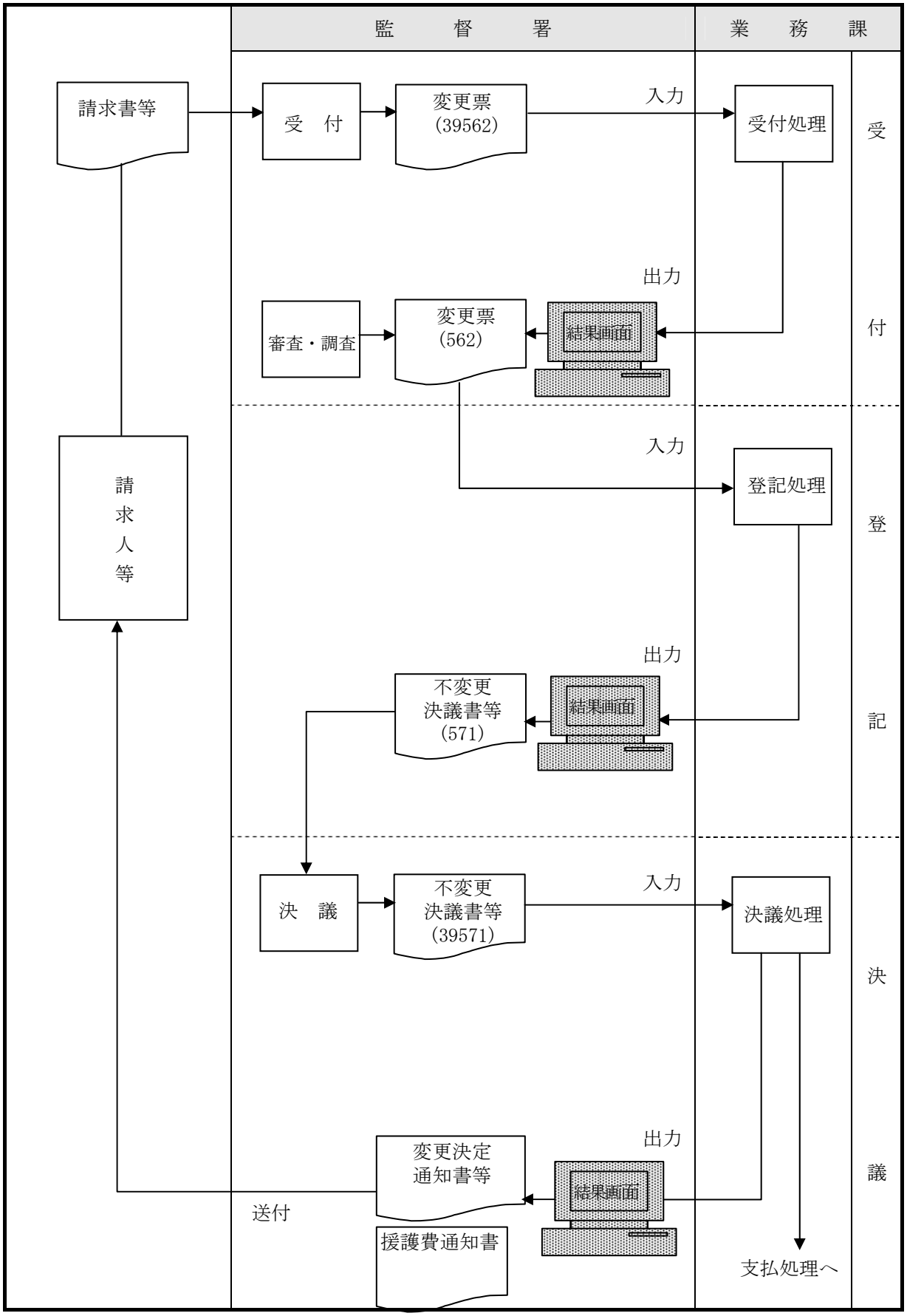
| 様式番号 | タイトル | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 前払調整 | 若年停止 | 三者事案 | 再決議 | 不支給決定決議 |
| 04-00 | | － | － | | 未支給金不支給決定決議 |
| | | － | － | | 未支給の特別遺族給付金不支給決定決議 |
| 70-00 | | 特別遺族年金支給停止決議 | 特別遺族年金支給停止決議 | | 特別遺族年金不支給決定決議 |
| 71-00 | | － | － | | 特別遺族一時金不支給決定決議 |
| | | | | | 特別遺族年金差額一時金不支給決定決議 |

－ … 未使用、空欄 … 出力しない

# 3

# 変更処理

・変更処理の流れ


監　督　署
業　務　課
請求書等
受　付
変更票
(39562)
入力
受付処理
受
出力
審査・調査
変更票
(562)
結果画面
付
入力
登記処理
請
求
人
等
登
出力
不変更
決議書等
(571)
結果画面
記
決　議
不変更
決議書等
(39571)
入力
決議処理
決
出力
変更決定
通知書等
結果画面
送付
援護費通知書
支払処理へ
議

【 処 理 の 説 明 】

変更処理とは、年金給付について、厚生年金等受給関係等の変更による年額など時間の経過によって変化する項目の内容を変更、登録する処理をいう。

（受付処理）

- 変更申請書等が提出された段階で変更票に受付項目を記入しＯＣＲ入力する。
- 受付処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力される。入力した変更票をＯＣＲ専用プリンタにセットし、データ受付番号・入力する項目番号・出力枚数を印字する。

（登記処理）

- 審査・調査が終了し入力項目が確定した時点で、登記入力項目を受付処理で使用した変更票に記入しＯＣＲ入力する。

  なお、変更データはすべて左詰めで記入する。
- 登記処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され、変更決議書が出力される。変更決議書には変更前、変更後のデータ等の処理結果が印字される。

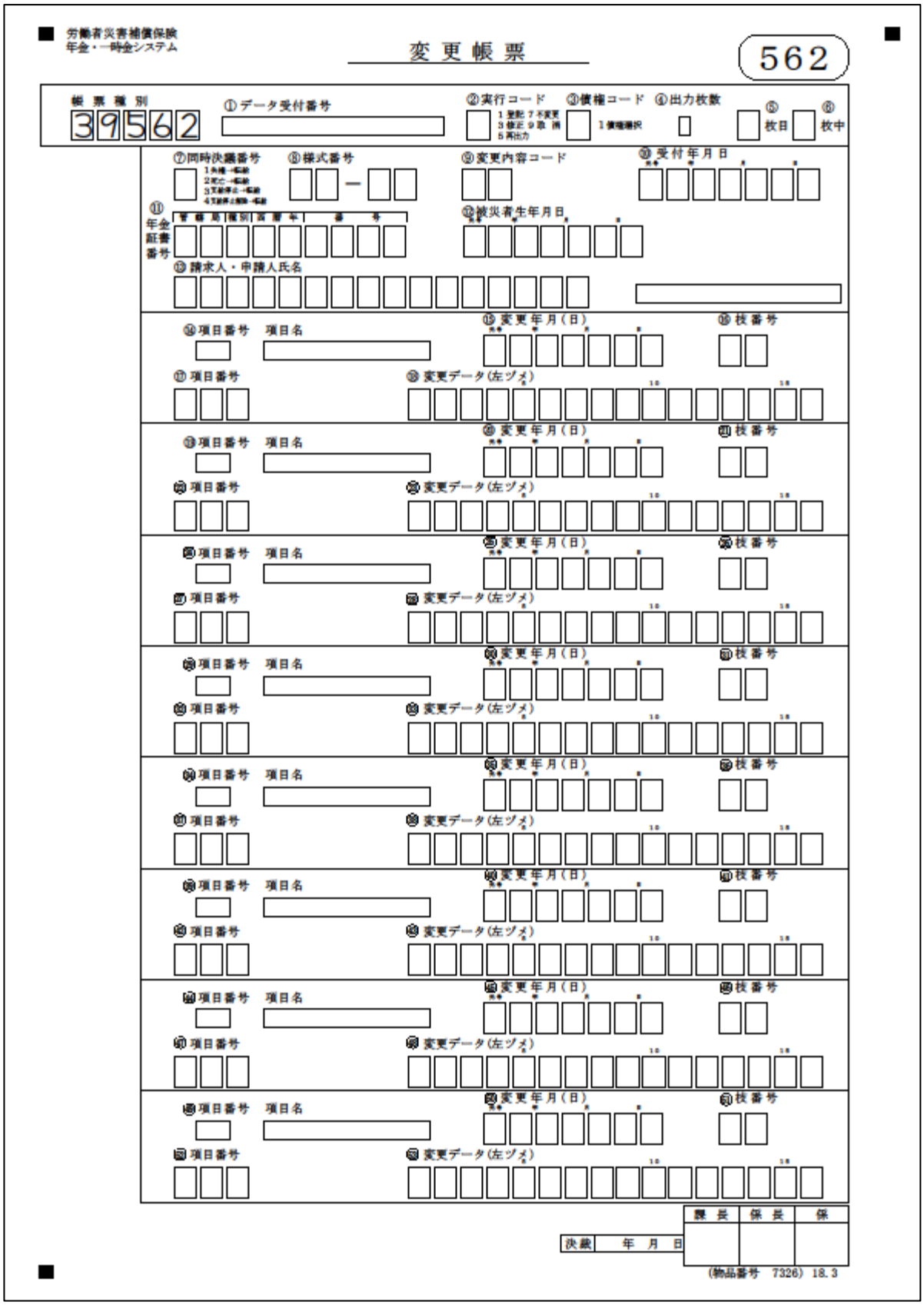
（決議処理）

- 出力された決議書により変更決定決議を行い、決議終了後、決定年月日・処理区分等を記入して、操作カードを使ってＯＣＲ入力する。
- 決議処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され、変更決定通知書等が出力される。

# (受付処理・登記処理)

(1) 変更票

イ　様式


労働者災害補償保険
年金・一時金システム
変更帳票
562
帳票種別
39562
①データ受付番号
②実行コード
③債権コード
④出力枚数
⑤枚目
⑥枚中
⑦同時決議番号
⑧様式番号
⑨変更内容コード
⑩受付年月日
⑪年金証書番号
管轄局 種別 西暦年 番号
⑫被災者生年月日
⑬請求人・申請人氏名
⑭項目番号
項目名
⑮変更年月日
⑯枝番号
⑰項目番号
⑱変更データ(左ヅメ)
課長
係長
係
決裁
年 月 日
(物品番号 7326) 18.3

ロ　記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | 正常に受付処理された場合に印字する。 |
| 2 | 実行コード | 次の該当するコードを記入する。<br>受付　……　記入しない<br>登記　……　1<br>修正　……　3<br>変更決議書再出力　……　5<br>不変更決議書出力　……　7<br>取消　……　9 |
| 3 | 債権選択コード | 年金転帰時に生じている内払調整残額を債権として回収する場合に次のコードを記入する。<br>債権選択　……　1 |
| 4 | 出力枚数 | 受付処理により出力した変更票の枚数を印字する。<br>なお、印字する枚数については、「出力帳票一覧」を参照すること。 |
| 5 | 枚目 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届等のうち、入力する枚目を記入する。<br>なお、記入する「枚目」については、各処理ごとに示している帳票の「記入項目」を参照すること。 |
| 6 | 枚中 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届等の総枚数を記入する。 |
| 7 | 同時決議番号 | 該当する次のコードを記入する。<br>失権→転給　……　1<br>（失権処理と同時に転給処理を行う場合に記入する。）<br>死亡→転給　……　2<br>（死亡失権処理と同時に転給処理を行う場合に記入する。）<br>支給停止→転給　……　3<br>（支給停止の処理と同時に転給処理を行う場合に記入する。）<br>支給停止解除→転給　……　4<br>（支給停止解除処理と同時に転給処理を行う場合に記入する。） |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 8 | 様式番号 | 提出された請求書又は申請書の様式番号を記入する。<br>なお、職権で入力する場合は、職権決議での様式番号を記入する。 |
| 9 | 変更内容コード | 該当する変更内容コードを記入する。<br>なお、変更内容コードについては、「変更処理一覧（Ⅱ-3-9～Ⅱ-3-12)」を参照すること。 |
| 10 | 受付年月日 | 各種申請書・請求書、届等を受け付けた年月日を記入する。<br>なお、職権で入力する場合は空欄とする。 |
| 11 | 年金証書番号 | 変更処理を行う年金の年金証書番号を記入する。 |
| 12 | 被災者生年月日 | 被災労働者の生年月日を記入する。 |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | 請求人・申請人氏名をカタカナで記入する。なお、姓と名の間は1字あけること。<br>なお、職権で入力する場合は記入しないこと。 |
| 14～53 | | 記入要領については、各処理ごとに記述しているのでそれによること。<br>なお、変更データについては必ず記入枠に左ヅメで記入すること。<br>また、複数の変更を同一帳票で行う場合、変更年月日は同一であることから、その記入は「⑮変更年月（日)」だけを記入する。 |

■変更票入力時の出力画面

変更票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面<br>（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| 帳票番号 | - | 入力された帳票番号を出力する。 | - |
| 処理結果画面名 | - | 処理結果画面名を出力する。 | - |
| 処理日時 | - | 当該処理の実施日時を出力する。 | - |
| メッセージ | | 実行コードに応じた処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | - |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | - |
| 登録項目／入力項目 | データ受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | |
| | 実行コード | 帳票に記載された実行コードを出力する。 | |
| | 債権コード | 帳票に記載された債権コードを出力する。 | |
| | 出力枚数 | 帳票に記載された出力枚数を出力する。 | |
| | 枚目 | 帳票に記載された枚目を出力する。 | |
| | 枚中 | 帳票に記載された枚中を出力する。 | |
| | 同時決議番号 | 帳票に記載された同時決議番号を出力する。 | |
| | 様式番号 | 帳票に記載された様式番号を出力する。 | |
| | 変更内容コード | 帳票に記載された変更内容コードを出力する。 | |
| | 受付年月日 | 帳票に記載された受付年月日を出力する。 | |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | |
| | 被災者生年月日 | 帳票に記載された被災者生年月日を出力する。 | |
| | 請求人・申請人氏名 | 帳票に記載された請求人・申請人氏名を出力する。 | |
| | 項目番号（出力）1～8 | 帳票に記載された項目番号を出力する。 | |
| | 変更年月（日）1～8 | 帳票に記載された変更年月を出力する。 | |
| | 枝番号1～8 | 帳票に記載された枝番号を出力する。 | |
| | 項目番号（入力）1～8 | 帳票に記載された項目番号を出力する。 | |
| | 変更データ1～8 | 帳票に記載された変更データ出力する。 | |
| 操作者情報 | ユーザID | 当該処理を実施したユーザのIDを出力する。 | |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末のIPアドレスを出力する。 | |

■変更処理一覧

| 項番 | 請求書・申請書等の種類 | 様式番号 | 同時決議番号 | 変更内容 | 変更内容コード | 住所・氏名等変更票の入力 | 項目番号 | 出力項目名 | 掲載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 遺族(補償)年金支給停止解除申請書及び遺族(補償)年金転給等請求書／特別遺族年金支給停止解除申請書及び特別遺族年金転給等申請書 | 00-02 | 4 | | | ● | 591 | 行方不明・解除 | Ⅱ-3-13 |
| | | | | | | | 801 | 枝番号 | |
| | | | | | | | 561 | 三者損賠受領額 | |
| | | | | | | | 562 | 三者損賠受領日 | |
| | | | | | | | 604 | 同一生計の有無 | |
| | | | | | | | 581 | 厚年調整コード① | |
| | | | | | | | 582 | 厚年種別① | |
| | | | | | | | 583 | 厚年年額① | |
| | | | | | | | 584 | 厚年年証番号① | |
| | | | | | | | 586 | 厚年調整コード② | |
| | | | | | | | 587 | 厚年種別② | |
| | | | | | | | 588 | 厚年年額② | |
| | | | | | | | 589 | 厚年年証番号② | |
| 2 | 遺族(補償)年金支給停止解除申請書／特別遺族年金支給停止解除申請書 | 00-02 | | | | ● | 591 | 行方不明・解除 | Ⅱ-3-30 |
| 3 | 年金証書再交付申請書 | 00-03 | | | | | 802 | 再交付事由 | Ⅱ-3-33 |
| 4 | 傷病の状態の変更に関する届・治ゆ届 | 00-04 | | | | | 571 | 傷病・障害等級号 | Ⅱ-3-35 |
| 5 | 障害(補償)年金受給者再発届 | 00-05 | | | | | 542 | 転帰事由 | Ⅱ-3-38 |
| 6 | 年金受給者死亡届及び遺族(補償)年金転給等請求書／年金受給者死亡届及び特別遺族年金転給等請求書 | 00-06 | 2 | | | ● | 606 | 失権（格）事由 | Ⅱ-3-41 |
| | | | | | | | 801 | 枝番号 | |
| | | | | | | | 561 | 三者損賠受領額 | |
| | | | | | | | 562 | 三者損賠受領日 | |
| | | | | | | | 604 | 同一生計の有無 | |
| | | | | | | | 581 | 厚年調整コード① | |
| | | | | | | | 582 | 厚年種別① | |
| | | | | | | | 583 | 厚年年額① | |
| | | | | | | | 584 | 厚年年証番号① | |
| | | | | | | | 586 | 厚年調整コード② | |
| | | | | | | | 587 | 厚年種別② | |
| | | | | | | | 588 | 厚年年額② | |
| | | | | | | | 589 | 厚年年証番号② | |
| 7 | 年金受給者死亡届 | 00-06 | | (傷病・障害) | | | 542 | 転帰事由 | Ⅱ-3-46 |
| 8 | | | | (遺族) | | | 606 | 失権(格)事由 | Ⅱ-3-49 |
| 9 | 遺族(補償)年金代表者選任・解任届／特別遺族年金代表者選任・解任届 | 00-07 | | 解任 | 01 | ● | 801 | 枝番号 | Ⅱ-3-52 |
| | | | | 選任 | 02 | ● | 801 | 枝番号 | |

| 項番 | 請求書・申請書等の種類 | 様式番号 | 同時決議番号 | 変更内容 | 変更内容コード | 住所・氏名等変更票の入力 | 項目番号 | 出力項目名 | 掲載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | 障害(補償)給付変更請求書 | 11-00 | | 障害等級号変更 | | | 571 | 傷病・障害等級号 | Ⅱ-3-55 |
| 11 | 遺族(補償)年金転給等請求書／特別遺族年金転給等請求書 | 13-00 | | 三者損賠同一生計 | 01 | ● | 801 | 枝番号 | Ⅱ-3-59 |
| | | | | | | | 561 | 三者損賠受領額 | |
| | | | | | | | 562 | 三者損賠受領日 | |
| | | | | | | | 604 | 同一生計の有無 | |
| 12 | 遺族(補償)年金転給等請求書 | 13-00 | | 三者損賠同一生計厚年年額 | 02 | ● | 801 | 枝番号 | Ⅱ-3-67 |
| | | | | | | | 561 | 三者損賠受領額 | |
| | | | | | | | 562 | 三者損賠受領日 | |
| | | | | | | | 604 | 同一生計の有無 | |
| | | | | | | | 581 | 厚年調整コード① | |
| | | | | | | | 582 | 厚年種別① | |
| | | | | | | | 583 | 厚年年額① | |
| | | | | | | | 584 | 厚年年証番号① | |
| | | | | | | | 586 | 厚年調整コード② | |
| | | | | | | | 587 | 厚年種別② | |
| | | | | | | | 588 | 厚年年額② | |
| | | | | | | | 589 | 厚年年証番号② | |
| 13 | 遺族(補償)年金転給等請求書 | 13-00 | | 三者損賠同一生計厚年年額胎児出生 | 03 | ● | 801 | 枝番号 | Ⅱ-3-79 |
| | | | | | | | 561 | 三者損賠受領額 | |
| | | | | | | | 562 | 三者損賠受領日 | |
| | | | | | | | 604 | 同一生計の有無 | |
| | | | | | | | 581 | 厚年調整コード① | |
| | | | | | | | 582 | 厚年種別① | |
| | | | | | | | 583 | 厚年年額① | |
| | | | | | | | 584 | 厚年年証番号① | |
| | | | | | | | 586 | 厚年調整コード② | |
| | | | | | | | 587 | 厚年種別② | |
| | | | | | | | 588 | 厚年年額② | |
| | | | | | | | 589 | 厚年年証番号② | |
| | | | | | | | 601 | 資格者氏名 | |
| | | | | | | | 602 | 資格者生年月日 | |
| | | | | | | | 603 | 資格者性別 | |
| 14 | 遺族(補償)年金支給停止申請書及び遺族(補償)年金転給等請求書／特別遺族年金支給停止申請書及び特別遺族年金転給等申請書 | 14-00 | 3 | | | ● | 591 | 行方不明・解除 | Ⅱ-3-94 |
| | | | | | | | 801 | 枝番号 | |
| | | | | | | | 561 | 三者損賠受領額 | |
| | | | | | | | 562 | 三者損賠受領日 | |
| | | | | | | | 604 | 同一生計の有無 | |
| | | | | | | | 581 | 厚年調整コード① | |
| | | | | | | | 582 | 厚年種別① | |
| | | | | | | | 583 | 厚年年額① | |
| | | | | | | | 584 | 厚年年証番号① | |
| | | | | | | | 586 | 厚年調整コード② | |
| | | | | | | | 587 | 厚年種別② | |
| | | | | | | | 588 | 厚年年額② | |
| | | | | | | | 589 | 厚年年証番号② | |

| 項番 | 請求書・申請書等の種類 | 様式番号 | 同時決議番号 | 変更内容 | 変更内容コード | 住所・氏名等変更票の入力 | 項目番号 | 出力項目名 | 掲載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 遺族(補償)年金支給停止申請書／特別遺族年金支給停止申請書及び特別遺族年金転給等申請書 | 14-00 | | | | | 591 | 行方不明・解除 | Ⅱ-3-99 |
| 16 | 厚生年金保険等の受給関係変更届 | 20-00 | | | | | 581 | 厚年調整コード① | Ⅱ-3-102 |
| | | | | | | | 582 | 厚年種別① | |
| | | | | | | | 583 | 厚年年額① | |
| | | | | | | | 584 | 厚年年証番号① | |
| | | | | | | | 586 | 厚年調整コード② | |
| | | | | | | | 587 | 厚年種別② | |
| | | | | | | | 588 | 厚年年額② | |
| | | | | | | | 589 | 厚年年証番号② | |
| 17 | 遺族(補償)年金受給権者失権届及び遺族（補償)年金転給等請求書／特別遺族年金受給権者失権届及び特別遺族年金転給等申請書 | 21-00 | 1 | | | ● | 606 | 失権（格）事由 | Ⅱ-3-111 |
| | | | | | | | 801 | 枝番号 | |
| | | | | | | | 561 | 三者損賠受領額 | |
| | | | | | | | 562 | 三者損賠受領日 | |
| | | | | | | | 604 | 同一生計の有無 | |
| | | | | | | | 581 | 厚年調整コード① | |
| | | | | | | | 582 | 厚年種別① | |
| | | | | | | | 583 | 厚年年額① | |
| | | | | | | | 584 | 厚年年証番号① | |
| | | | | | | | 586 | 厚年調整コード② | |
| | | | | | | | 587 | 厚年種別② | |
| | | | | | | | 588 | 厚年年額② | |
| | | | | | | | 589 | 厚年年証番号② | |
| 18 | 遺族(補償)年金受給権者失権届／特別遺族年金受給権者失権届 | 21-00 | | | | | 606 | 失権（格）事由 | Ⅱ-3-116 |
| 19 | 遺族(補償)年金額算定基礎変更届／特別遺族年金算定基礎変更届 | 22-00 | | 胎児出生 | 01 | | 601 | 資格者氏名 | Ⅱ-3-120 |
| | | | | | | | 602 | 資格者生年月日 | |
| | | | | | | | 603 | 資格者性別 | |
| | | | | | | | 604 | 同一生計の有無 | |
| 20 | | | | 同一生計 | 02 | | 604 | 同一生計の有無 | Ⅱ-3-124 |
| 21 | | | | 障害の有無の変更 | 03 | | 605 | 障害の状態 | Ⅱ-3-128 |
| 22 | | | | 妻の障害の有無の変更 | 04 | | 605 | 障害の状態 | Ⅱ-3-132 |
| 23 | | | | 失格 | 05 | | 606 | 失権(格)事由 | Ⅱ-3-134 |

職権決議

| 項番 | 請求書・申請書等の種類 | 様式番号 | 変更内容 | 変更内容コード | 住所・氏名等変更票の入力 | 項目番号 | 出力項目名 | 掲　載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 24 | (職権決議用)<br>年金たる保険給付の受給権消滅／特別遺族年金の受給権消滅 | 90-02 | 死亡(傷病・障害) | 01 | | 542 | 転帰事由 | Ⅱ-3-138 |
| 25 | | | 死亡(遺族) | 01 | | 606 | 失権(格)事由 | Ⅱ-3-141 |
| 26 | | | 失権 | 02 | | 606 | 失権(格)事由 | Ⅱ-3-144 |
| 27 | | | 障害の再発 | 03 | | 542 | 転帰事由 | Ⅱ-3-149 |
| 28 | (職権決議用)<br>年金たる保険給付の変更決定／特別遺族年金の変更決定 | 90-03 | 厚年等の変更 | 01 | | 581 | 厚年調整コード① | Ⅱ-3-152 |
| | | | | | | 582 | 厚年種別① | |
| | | | | | | 583 | 厚年年額① | |
| | | | | | | 584 | 厚年年証番号① | |
| | | | | | | 586 | 厚年調整コード② | |
| | | | | | | 587 | 厚年種別② | |
| | | | | | | 588 | 厚年年額② | |
| | | | | | | 589 | 厚年年証番号② | |
| 29 | | | 傷病等級の変更 | 02 | | 571 | 傷病・障害等級号 | Ⅱ-3-159 |
| 30 | | | 障害等級の変更 | 03 | | 571 | 傷病・障害等級号 | Ⅱ-3-162 |
| 31 | | | 上順位者への転給 | 04 | ● | 801 | 枝番号 | Ⅱ-3-166 |
| | | | | | | 561 | 三者損賠受領額 | |
| | | | | | | 562 | 三者損賠受領日 | |
| | | | | | | 604 | 同一生計の有無 | |
| | | | | | | 581 | 厚年調整コード① | |
| | | | | | | 582 | 厚年種別① | |
| | | | | | | 583 | 厚年年額① | |
| | | | | | | 584 | 厚年年証番号① | |
| | | | | | | 586 | 厚年調整コード② | |
| | | | | | | 587 | 厚年種別② | |
| | | | | | | 588 | 厚年年額② | |
| | | | | | | 589 | 厚年年証番号② | |
| 32 | | | 胎児出生(資格者) | 05 | | 601 | 資格者氏名 | Ⅱ-3-176 |
| | | | | | | 602 | 資格者生年月日 | |
| | | | | | | 603 | 資格者性別 | |
| | | | | | | 604 | 同一生計の有無 | |
| 33 | | | 同一生計 | 06 | | 604 | 同一生計の有無 | Ⅱ-3-181 |
| 34 | | | 障害の有無の変更 | 07 | | 605 | 障害の状態 | Ⅱ-3-185 |
| 35 | | | 妻の障害の有無の変更 | 08 | | 605 | 障害の状態 | Ⅱ-3-189 |
| 36 | | | 失格 | 09 | | 606 | 失権(格)事由 | Ⅱ-3-192 |
| 37 | | | 代表者解任 | 10 | ● | 801 | 枝番号 | Ⅱ-3-196 |
| | | | 代表者選任 | 11 | ● | 801 | 枝番号 | Ⅱ-3-196 |
| 38 | (職権決議用)<br>その他 | 90-04 | 再発行 | | | 802 | 再交付事由 | Ⅱ-3-199 |
| 39 | (職権決議用)<br>支払差止(解除)変更 | 90-12 | 差止・解除 | 01 | ●※ | 811 | 差止・解除事由 | Ⅱ-3-202 |
| 40 | | | 援護費差止・解除 | 02 | | 812 | 援護費差止・解除事由 | Ⅱ-3-207 |

※所在判明による差止解除の場合は、住所・氏名等変更票の入力が必要。

1　支給停止解除【同時決議】(00-02)

法第 16 条の 5 第 2 項の規定により、所在不明を事由として支給停止されている者又は所在不明を事由として受給している次順位者から支給の停止解除の申請がなされた場合に行う処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

a　１枚目【変更票（解除情報)】

支給停止者について支給停止解除情報を入力する。

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 3or4 | 3or4 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | 4 | | | | | |
| 8 | 様式番号 | | 00-02 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | × | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | **591** | **591** | | | |
| 15 | 変更年月（日） | | | × | × | | | |
| 16 | 枝番号 | 支給停止解除者枝番号(2) | | ● | ● | | | |
| 17 | 項目番号 | | | × | × | | | |
| 18 | 変更データ | 支給停止解除事由(1) | | 0 | 0 | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | | | |

●…必須入力項目　　×…入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

（　）の数字は入力に必要な桁数を表す。

＜記入要領＞

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、または特別遺族年金の年金証書番号を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 「8：様式番号」により入力すべき項目の項目番号「591」及び項目名「行方不明」が印字される。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「591」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月（日） | 記入しない |
| 16 | 枝番号 | 支給停止を解除する受給権者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 記入しない |
| 18 | 変更データ | 次のコードを記入する。<br>所在判明　…… 0 |

b　２枚目【変更票（転給者・三者損賠情報・同一生計の有無)】

支給停止解除者（転給者）について三者損賠情報・資格者との同一生計関係を入力する。

| 番号 | 項目名<br>印刷名 | 入力項目名 | 登記<br>1 | 修正<br>3 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | × |
| 3 | 債権コード | | × | × |
| 4 | 出力枚数 | | | |
| 5 | 枚目 | | 2 | 2 |
| 6 | 枚中 | | 3or4 | 3or4 |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × |
| 8 | 様式番号 | | × | × |
| 9 | 変更内容コード | | × | × |
| 10 | 受付年月日 | | × | × |
| 11 | 年金証書番号 | | × | × |
| 12 | 被災者生年月日 | | × | × |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × |
| 14 | 項目番号（出力）1 | | 801 | 801 |
| 15 | 変更年月（日）1 | | × | × |
| 16 | 枝番号1 | | × | × |
| 17 | 項目番号（入力）1 | | × | × |
| 18 | 変更データ1 | 転給者枝番号(2) | ● | ● |
| 19 | 項目番号（出力）2 | | 561 | 561 |
| 20 | 変更年月(日）2 | | × | × |
| 21 | 枝番号2 | | × | × |
| 22 | 項目番号（入力）2 | | × | × |
| 23 | 変更データ2 | 三者損賠受領額 | A | A |
| 24 | 項目番号（出力）3 | | 562 | 562 |
| 25 | 変更年月（日）3 | | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | × | × |
| 27 | 項目番号（入力）3 | | × | × |
| 28 | 変更データ3 | 三者損賠受領年月日(7) | A | A |

●…必須入力項目　　×…入力不可項目　　△……任意入力

数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

（　　）の数字は入力に必要な桁数を表す

A……任意セット入力

b　２枚目【変更票（転給者・三者損賠情報・同一生計の有無)】つづき

| 番号 | 項目名 | | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | 1 | 3 |
| 29 | 項目番号（出力）4 | | 604 | 604 |
| 30 | 変更年月（日）4 | | × | × |
| 31 | 枝番号 4 | 同一生計変更者枝番号(2) | △ | △ |
| 32 | 項目番号（入力）4 | | × | × |
| 33 | 変更データ 4 | 同一生計の有無(1) | △ | △ |
| 34 | 項目番号（出力）5 | | 604 | 604 |
| 35 | 変更年月(日）5 | | × | × |
| 36 | 枝番号 5 | 同一生計変更者枝番号(2) | △ | △ |
| 37 | 項目番号（入力）5 | | × | × |
| 38 | 変更データ 5 | 同一生計の有無(1) | △ | △ |
| 39 | 項目番号（出力）6 | | 604 | 604 |
| 40 | 変更年月（日）6 | | × | × |
| 41 | 枝番号 6 | 同一生計変更者枝番号(2) | △ | △ |
| 42 | 項目番号（入力）6 | | × | × |
| 43 | 変更データ 6 | 同一生計の有無(1) | △ | △ |
| 44 | 項目番号（出力）7 | | 604 | 604 |
| 45 | 変更年月(日）7 | | × | × |
| 46 | 枝番号 7 | 同一生計変更者枝番号(2) | △ | △ |
| 47 | 項目番号（入力）7 | | × | × |
| 48 | 変更データ 7 | 同一生計の有無(1) | △ | △ |
| 49 | 項目番号（出力）8 | | 604 | 604 |
| 50 | 変更年月(日）8 | | × | × |
| 51 | 枝番号 8 | 同一生計変更者枝番号(2) | △ | △ |
| 52 | 項目番号（入力）8 | | × | × |
| 53 | 変更データ 8 | 同一生計の有無(1) | △ | △ |

＜記入要領＞

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | 正常に受付処理された場合に印字される。ただし、受付により出力された変更票を汚損等した場合のみ、「変更票」（解除情報）に印字されたデータ受付番号をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 4 | 出力枚数 | 受付処理により出力した変更票の枚数「2」が印字される。 |
| 5 | 枚目 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届のうち、入力する枚目を記入する。 |
| 6 | 枚中 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届の総枚数を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 1 | 項目番号「801」及び項目名「枝番号」が印字される。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「801」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 18 | 変更データ 1 | 転給した受給権者の枝番号（支給停止解除者の枝番号）を記入する。 |
| 19 | 項目番号・項目名 2 | 項目番号「561」及び項目名「三者損賠受領額」を印字する。 |
| 23 | 変更データ 2 | 転給者の三者損賠受領額を記入すること。<br>既に三者損賠受領額が登記されていて、転給によって三者損賠受領額に変更がない場合であっても三者損賠受領額は記入すること。（理由：通常は、転給によって受給権が次順位者に移る場合は、三者損賠受領額が当然に変わるものである。たとえ変更がないとしても入力すること。）記入を省略した場合は、三者損賠情報は「非調整」となる。<br>三者損賠受領額を記入した場合は、項目番号「28」の三者損賠受領日も同時に入力すること。<br>傷病年月日から 3 年を経過している場合は入力できない。<br>特別遺族年金の場合は、入力できない。 |
| 24 | 項目番号・項目名 3 | 項目番号「562」及び項目名「三者損賠受領日」を印字する。<br>なお、受付処理により出力された変更票を汚損等した場合は、「562」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 28 | 変更データ 3 | 既に登記している三者損賠受領日を記入すること。<br>特別遺族年金の場合は、入力できない。<br>なお、「三者損賠受領日」は、一度登記されると変更することはできない。 |
| 29 | 項目番号・項目名 4 | 項目番号「604」及び項目名「同一生計の有無」を印字する。<br>なお、受付処理により出力された変更票を汚損等した場合は、「604」をキーボードで打鍵入力すること。 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 31 | 枝番号 4 | 同一生計関係に変更が生じた資格者の枝番号を記入する。 |
| 33 | 変更データ 4 | 次の該当するコードを記入する。<br>同一生計有　…… 0<br>同一生計無　…… 1 |
| 34～53 | 4 人分の同一生計関係 | 記入方法は項目 29～33 と同様である。 |

c　３枚目【変更票（厚年等情報）】

支給停止解除（転給）にかかる厚年等情報を入力する。

| 番号 | 項目名<br>印刷名 | 入力項目名 | 登記<br>1 | 修正<br>3 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | × |
| 3 | 債権コード | | × | × |
| 4 | 出力枚数 | | | |
| 5 | 枚目 | | 3 | 3 |
| 6 | 枚中 | | 4 | 4 |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × |
| 8 | 様式番号 | | × | × |
| 9 | 変更内容コード | | × | × |
| 10 | 受付年月日 | | × | × |
| 11 | 年金証書番号 | | × | × |
| 12 | 被災者生年月日 | | × | × |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × |
| 14 | 項目番号（出力）1 | | 581 | 581 |
| 15 | 変更年月（日）1 | | × | × |
| 16 | 枝番号1 | | × | × |
| 17 | 項目番号（入力）1 | | × | × |
| 18 | 変更データ1 | 厚年調整コード①(1) | B | B |
| 19 | 項目番号（出力）2 | | 582 | 582 |
| 20 | 変更年月(日）2 | | × | × |
| 21 | 枝番号2 | | × | × |
| 22 | 項目番号（入力）2 | | × | × |
| 23 | 変更データ2 | 厚年等種別①(1) | B | B |
| 24 | 項目番号（出力）3 | | 583 | 583 |
| 25 | 変更年月（日）3 | | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | × | × |
| 27 | 項目番号（入力）3 | | × | × |
| 28 | 変更データ3 | 厚年年額① | B | B |

●…必須入力項目　　×…入力不可項目　　△……任意入力

数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

（　　）の数字は入力に必要な桁数を表す。

Ｂ・Ｃ…任意セット入力

c　３枚目【変更票（厚年等情報）】つづき

| 番号 | 項目名<br>印刷名 | 入力項目名 | 登記<br>1 | 修正<br>3 |
|---|---|---|---|---|
| 29 | 項目番号（出力）4 | | 584 | 584 |
| 30 | 変更年月（日）4 | | × | × |
| 31 | 枝番号4 | | × | × |
| 32 | 項目番号（入力）4 | | × | × |
| 33 | 変更データ4 | 厚年年金証書番号①(14) | △ | △ |
| 34 | 項目番号（出力）5 | | 586 | 586 |
| 35 | 変更年月(日）5 | | × | × |
| 36 | 枝番号5 | | × | × |
| 37 | 項目番号（入力）5 | | × | × |
| 38 | 変更データ5 | 厚年調整コード②(1) | C | C |
| 39 | 項目番号（出力）6 | | 587 | 587 |
| 40 | 変更年月（日）6 | | × | × |
| 41 | 枝番号6 | | × | × |
| 42 | 項目番号（入力）6 | | × | × |
| 43 | 変更データ6 | 厚年等種別②(1) | C | C |
| 44 | 項目番号（出力）7 | | 588 | 588 |
| 45 | 変更年月(日）7 | | × | × |
| 46 | 枝番号7 | | × | × |
| 47 | 項目番号（入力）7 | | × | × |
| 48 | 変更データ7 | 厚年年額② | C | C |
| 49 | 項目番号（出力）8 | | 589 | 589 |
| 50 | 変更年月(日）8 | | × | × |
| 51 | 枝番号8 | | × | × |
| 52 | 項目番号（入力）8 | | × | × |
| 53 | 変更データ8 | 厚年年金証書番号②(12) | △ | △ |

＜記入要領＞

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | 正常に受付処理された場合に印字する。ただし、受付により出力された変更票を汚損等した場合のみ、「変更票」（解除情報）に印字したデータ受付番号をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 4 | 出力枚数 | 受付処理により出力した変更票の枚数「3」を印字する。 |
| 5 | 枚目 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届のうち、入力する枚目を記入する。 |
| 6 | 枚中 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届の総枚数を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 1 | 項目番号「581」及び項目名「厚年調整コード①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「581」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 18 | 変更データ 1 | 転給した受給権者の労災保険年金と同一の事由による厚生年金等の受給状況について、次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>調整 …… 0<br>調査中（未調整） …… 1<br>請求中（調整）（額なし調整） …… 2<br>不支給・不該当（非調整） …… 3<br>未加入（非調整） …… 4<br>請求拒否（非調整） …… 5<br>支給停止（非調整） …… 6<br>老齢年金等選択（非調整） …… 7<br>厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点（Ⅱ-3-109、110 ページ参照）のとおりである。 |
| 19 | 項目番号・項目名 2 | 項目番号「582」及び項目名「厚年種別①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「582」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 23 | 変更データ 2 | 転給した受給権者の労災保険年金で、同一の事由により厚生年金等が支給される場合は、次の区分に従って該当するコードを記入する。<br>旧厚生年金保険 …… 1<br>新厚生年金保険・新国民年金 …… 2<br>旧船員保険 …… 3<br>新厚生年金保険 …… 4<br>新国民年金 …… 6<br>厚年等種別については厚年等調整コードが調整及び請求中の場合は必須入力、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照）。 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 24 | 項目番号・項目名 3 | 項目番号「583」及び項目名「厚年年額①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「583」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 28 | 変更データ 3 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚年等年金年額を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照)。 |
| 29 | 項目番号・項目名 4 | 項目番号「584」及び項目名「厚年年証番号①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「584」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 33 | 変更データ 4 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚生年金等年金証書番号を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ任意入力であり、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照)。 |
| 34 | 項目番号・項目名 5 | 項目番号「586」及び項目名「厚年調整コード②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「586」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 38 | 変更データ 5 | 転給した受給権者の労災保険年金と同一の事由による厚生年金等の受給状況について、次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>調整 …… 0<br>調査中（未調整） …… 1<br>請求中（調整）（額なし調整） …… 2<br>不支給・不該当（非調整） …… 3<br>未加入（非調整） …… 4<br>請求拒否（非調整） …… 5<br>支給停止（非調整） …… 6<br>老齢年金等選択（非調整） …… 7<br>厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点（Ⅱ-3-109 ページ参照）のとおりである。 |
| 39 | 項目番号・項目名 6 | 項目番号「587」及び項目名「厚年種別②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「587」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 43 | 変更データ 6 | 転給した受給権者の厚年等種別について次のコードを記入する。<br>旧国民年金 …… 5<br>厚年等種別については、厚年等調整コードが調整及び請求中の場合は必須入力、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照)。 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 44 | 項目番号・項目名 7 | 項目番号「588」及び項目名「厚年年額②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「588」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 48 | 変更データ 7 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚年等年金年額を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照)。 |
| 49 | 項目番号・項目名 8 | 項目番号「589」及び項目名「厚年年証番号②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「589」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 53 | 変更データ 8 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚生年金等年金証書番号を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ任意入力であり、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照)。 |

d　４枚目【住所・氏名等変更届】

転給者の支払先が国内払いの場合に記入する。

| 番号 | 項　　目　　名 | | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|
| | 印　刷　名 | 入力項目名 | 1 | 3 |
| 1 | 枚目 | | ● | ● |
| 2 | 枚中 | | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | | ● | ● |
| 4 | 被災者生年月日 | | ● | ● |
| 5 | 枝番号 | 支給停止解除者枝番号(2) | ● | ● |
| 6 | 郵便番号 | | ● | ● |
| 7 | 電話番号 | | △ | △ |
| 8 | 都道府県コード | | ● | ● |
| 9 | 預金の種類 | | Ⓐ | Ⓐ |
| 10 | 口座番号 | | Ⓐ | Ⓐ |
| 11 | 金融機関コード | | Ⓐ | Ⓐ |
| 12 | 預金通帳記号番号 | | Ⓑ | Ⓑ |
| 13 | 郵便局コード | | Ⓒ | Ⓒ |
| 14 | 変更後氏名(カタカナ) | | × | × |
| 15 | 変更後氏名(漢字) | | ● | ● |
| 16 | 変更後住所 | | ● | ● |
| 17 | 変更後住所(続き) | | △ | △ |
| 18 | 変更後住所(続き) | | △ | △ |

●…必須入力項目　　×…入力不可項目　　△……任意入力

Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれか必須入力項目

Ⓒ … ゆうちょ振込の場合にⒷとともに記入する

(　　)の数字は入力に必要な桁数を表す。

＜記入要領＞

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | 枚目 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届のうち、入力する枚目を記入する。 |
| 2 | 枚中 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届の総枚数を記入する。 |
| 3 | 年金証書番号 | 変更処理をする遺族（補償）年金の、又は特別遺族年金の年金証書番号を記入する。 |
| 4 | 被災者生年月日 | 変更処理をする年金証書番号の被災労働者の生年月日を記入する。 |
| 5 | 枝番号 | 支給停止解除をする受給権者の枝番号を記入する。 |
| 6～15 | 住所情報<br>支払先情報<br>氏名情報 | 支給停止前と同様であってもすべて記入する。ただし、カナ氏名については記入しない。 |

e　４枚目【外国払入力票】

転給者の支払先が外国払いの場合に記入する。

| 番号 | 項目名 | | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | 1 | 3 |
| 1 | 枚目 | | ● | ● |
| 2 | 枚中 | | ● | ● |
| 3 | 年金証書番号 | | ● | ● |
| 4 | 被災者生年月日 | | ● | ● |
| 5 | 枝番号 | 支給停止解除者枝番号(2) | ● | ● |
| 6 | データ受付番号 | | × | × |
| 7 | 外国コード | | ● | ● |
| 8 | 受給権者氏名１ | | ● | △※ |
| 9 | 受給権者氏名２ | | △ | △ |
| 10 | 受給権者住所１ | | ● | △※ |
| 11 | 受給権者住所２ | | △ | △ |
| 12 | 受給権者住所３ | | △ | △ |
| 13 | 受給権者住所４ | | △ | △ |
| 14 | 金融機関名１ | | △ | △ |
| 15 | 金融機関名２ | | △ | △ |
| 16 | 金融機関店舗１ | | △ | △ |
| 17 | 金融機関店舗２ | | △ | △ |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | | △ | △ |
| 19 | 金融機関所在地１ | | △ | △ |
| 20 | 金融機関所在地２ | | △ | △ |
| 21 | 金融機関所在地３ | | △ | △ |
| 22 | 口座番号 | | △ | △ |

●…必須入力項目　　×…入力不可項目　　△……任意入力

（　）の数字は入力に必要な桁数を表す。

※省略した場合は、登記時の項目を流用する。

＜記入要領＞

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | 枚目 | 入力を要する変更票及び外国払入力票のうち、入力する枚目を記入する。 |
| 2 | 枚中 | 入力を要する変更票及び外国払入力票の総枚数を記入する。 |
| 3 | 年金証書番号 | 変更処理をする遺族（補償）年金、または特別遺族年金の年金証書番号を記入する。 |
| 4 | 被災者生年月日 | 変更処理をする年金証書番号の被災労働者の生年月日を記入する。 |
| 5 | 枝番号 | 支給停止解除をする受給権者の枝番号を記入する。 |
| 7～22 | 氏名情報<br>住所情報<br>支払先情報 | 支給停止前と同様であっても記入する。ただし、金融機関名、金融機関店舗名、SWIFT(BIC)コード、金融機関所在地、口座番号は任意入力項目である。 |

(ﾛ) 出力帳票等一覧

変更票等を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | － | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票-１枚目 | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更票-2 枚目 | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更票-3 枚目 | 562 | △※1 | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | － | × | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | － | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力　△…条件出力　×…非出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　支給停止後の支払権者が失権したことにより支給停止者が最後の権者となり、転給未処理状態となった場合に支給停止を解除するためには、当該支給停止解除・転給の同時決議をすること。

2　受付年月日、変更年月日について

支給停止解除・転給は、支給停止されていた受給権者から支給停止解除申請書が提出された年月日が支給停止解除・転給年月日となり、その翌月から効力発生する。よって、受付年月日が変更年月日を兼ねることになる（変更年月日は記入しない。）。

3　当該処理では支給停止解除年月日と厚年等変更年月、三者損賠情報変更年月、算定基礎変更年月は同一である。このため、これらの変更項目について支給停止解除年月と異なる変更年月を入力する必要のある場合は、それぞれ単独の変更処理により対応すること。

4　帳票の入力順は、帳票の出力順である。したがって、このことを考慮して「枚目」を記入すること。

5　厚年等情報について入力をしない場合(転給者が厚年との調整の対象とならない場合)は、厚年等情報に関する変更票は入力の必要がないため、入力の総枚数から差し引くこと。

6　三者損賠調整の必要のある者で、支給停止以前に年金と同一の理由により三者損賠を受領していた者については、その受領額を記入するのではなく、その受領額から三者損賠調整済額を差し引いた金額を記入すること。

7　支給停止解除以前に三者損賠情報が登記されていても、今回の処理で三者損賠情報を入力しなかった場合には「三者損賠受領額」は0円として登記するが、「三者損賠受領年月日・三者コード」については既に登記してある「三者損賠受領年月日・三者コード」を引用し登記する。ただし、転給年月日が傷病年月日から3年を経過している場合には、三者損賠情報は空白として管理する。当該処理が正常に終了した場合には、その変更した情報をメッセージリストに印字するので確認すること。

8　複数の権者が三者損賠を受領している場合は「受領額」にはその合計額を記入する。

9　「三者損賠受領日」は、一度登記されると変更することはできないため、登記済の受領日が誤っている場合には、訂正処理で訂正すること。

10　転給後の支払権者と資格者との同一生計関係については、転給前の支払権者と当該資格者とのデータを引用するので、転給前後で支払権者との関係に変動のあった者に対してのみ、同一生計の有無を記入すること。もし転給前と同じデータを記入した場合にはキャンセルとなる。

また、転給後支払権者と同順位の者については、同一生計の有無を記入する必要はない。

なお、転給前支払権者及びその同順位者については、転給後支払権者と「同一生計有」としてデータを引き継ぐ。

11　同一生計関係は、枝番号の昇順に上の項目欄からつめて記入すること。

12　厚年等情報を入力しなかった場合、厚年等調整コードは次のとおり変更される。

| 転給前厚年等調整コード（581・586） | | 転給後厚年等調整コード（581・586） | |
|---|---|---|---|
| コード | 内　　容 | コード | 内　　容 |
| 0 | 調整 | 3 | 不支給（不該当） |
| 1 | 調査中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 2 | 請求中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 3 | 不支給（不該当） | 3 | 不支給（不該当） |
| 4 | 未加入 | 4 | 未加入 |
| 5 | 請求拒否 | 3 | 不支給（不該当） |
| 6 | 支給停止 | 3 | 不支給（不該当） |
| 7 | 老齢年金等選択 | 3 | 不支給（不該当） |

なお、厚年等年額は「0円」に変更される。これらの変更情報をメッセージリストに印字するので確認すること。

13　年金の支給停止に伴い支給停止された援護費は、年金が支給停止解除されても中断は解除されない。この場合には、援護費の変更で復帰を入力すること。

14　転給したことにより在学者が援護費対象から外れる場合は、システムで自動的に転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に関する援護費通知書（４５４）が出力される。また、変更票入力の際、在学者を同一生計無へ変更すると、その在学者の援護費は年金と連動して、同一生計無を事由とする中断となる。この場合、変更決議書入力後、援護費中断に関する援護費通知書（４５４）が出力される。

なお、他に在学者が存在しない場合（他の在学者が全員中断中の場合も含む。）で援護費の内払残額が残っている場合には援護費転帰を事由として強制的に債権管理とするため、債務者登録帳票（39582）が出力される。

15　前支払権者の定期報告が提出・未提出にかかわらず、転給処理を受付した年月日がＡグループ3/1～5/31、Ｂグループ7/1～9/30の場合には、定期報告を提出したもの（Ａグループ6月第一開庁日、Ｂグループ10月第一開庁日）として管理する。

2　支給停止解除（00-02）

権者払い中に、法第16条の5第2項の規定により、所在不明を事由として支給停止された受給権者から支給の停止解除の申請がなされた場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

a　1枚目【変更票(解除情報)】

支給停止者について支給停止解除情報を入力する。

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 2 | 2 | 2 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 00-02 | 00-02 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | × | × | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | 解除者(16) | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **591** | **591** | | | |
| 15 | 変更年月(日) | | | × | × | × | | | |
| 16 | 枝番号 | 解除者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | | |
| 17 | 項目番号 | | | 591 | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 解除事由(1) | | 0 | 0 | 0 | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | | |

●…必須入力項目　　△…任意入力項目　　×…入力不可項目

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

(　)の数字は入力に必要な桁数を表す。ただし、氏名については最大桁数を表す。

b　2枚目【住所・氏名等変更届】

解除者の支払先が国内払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-24ページ）。

c　2枚目【外国払入力票】

解除者の支払先が外国払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-26ページ）。

(ﾛ) 記入要領

a 【変更票(解除情報)】

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、または特別遺族年金の年金証書番号を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「591」及び項目名「行方不明・解除」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「591」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 16 | 枝番号 | 支給停止を解除する受給権者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「591」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 次のコードを記入する。<br>所在判明 …… 0 |

b 【住所・氏名等変更届】

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-24 ページ）。

c 【外国払入力票】

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-26 ページ）。

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票等を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未 | 受付済 | | | | | |
| | | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票-１枚目 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | － | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | － | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力　△…条件出力　×…非出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

(ニ) 留意点

1　支給停止解除をする時点で当該解除者の他に支払権者が 2 人以上存在し、権者払いをしている場合は、支給停止を解除する者も権者払いとなる。

2　支給停止解除をする時点で代表者払いとなっている場合には、支給停止解除を行っても権者払いにはならず代表者払いとして引続き現在の支払権者に対して支払われる。

3　受付年月日・変更年月日について

支給停止解除は、支給停止されていた受給権者から支給停止解除申請書が提出された年月日が支給停止解除年月日となり、その翌月から効力発生する。よって、受付年月日が変更年月日を兼ねることになる（変更年月日は記入しない。）。

4　同一生計関係、厚年等情報及び三者損賠情報については、支給停止以前に登記されたものを引用するため、支給停止解除に伴い内容に変更が生じた場合には通常の変更処理（Ⅱ-3-102 ページ～、Ⅱ-3-123 ページ～）又は訂正処理にて必要な処理をすること。

5　年金の支給停止に伴い支給停止された援護費は、年金が支給停止解除されても中断は解除されない。この場合には、援護費の変更で復帰を入力すること。

3　年金証書再交付（00-03）

支払権者から「年金証書再交付申請書（年金申請様式第3号)」が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 00-03 | 00-03 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | × | × | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **802** | **802** | | | |
| 15 | 変更年月（日） | | | × | × | × | | | |
| 16 | 枝番号 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金のみ | | △ | △ | △ | | | |
| 17 | 項目番号 | | | **802** | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 再交付事由（1） | | ● | ● | ● | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | | |

●…必須入力項目　　△…任意入力項目　　×…入力不可項目　　空白…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

（　）の数字は入力に必要な桁数を表す。

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「802」及び項目名「再交付事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「802」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 16 | 枝番号 | 年金証書の再交付を受ける支払権者の枝番号を記入する。ただし、遺族（補償）年金、または特別遺族年金の場合のみ必須入力であり、その他の年金は入力不可である。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「802」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 該当する次のコードを記入する。<br>紛失 …… 1<br>汚損 …… 2<br>盗難 …… 3<br>その他 …… 9 |

(ﾊ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出　力<br>帳票番号 | 受付 | 登　記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未 | 受付済 | | | | | |
| | | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| (不)変更決議書-変更 | － | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| (不)変更決議書-不変更 | － | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力　△…条件出力　×…非出力

(ﾆ) 留意点

年金証書の「再発行番号」は当該処理を繰り返すことによりカウントアップされる。また、再発行番号は人毎に管理している。（例：支払権者Ａさんが再交付を２回受けたため再交付番号が「２」となっていた場合であっても、その後転給したＢさんの再交付番号はスペースとなる。）

4　傷病（補償）年金変更（00-04）

受給権者から「傷病（補償）年金受給者傷病の状態の変更に関する届・治ゆ届（年金申請様式第4号)」が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | △ | △ | △ | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 00-04 | 00-04 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **571** | **571** | | | |
| 15 | 変更年月（日） | | | ● | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 | | | × | × | × | | | |
| 17 | 項目番号 | | | 571 | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 傷病等級号（4） | | ● | ● | ● | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | | |

●…必須入力項目　　△…任意入力項目　　×…入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

（　）の数字は入力に必要な桁数を表す。

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 傷病（補償）年金の年金証書番号を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「571」及び項目名「傷病・障害等級号」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「571」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 変更事由が生じた年月日を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「571」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 変更した傷病等級号等を記入する。<br>1　傷病等級号の変更の場合<br>変更後の傷病等級号を先頭0を加えた4桁で記入する。<br>記入例<br>傷病1級1号 …… 0101<br>2　傷病の状態が治ゆし、障害（補償）給付に移行する場合<br>治ゆ …… 8888<br>3　変更後の傷病の状態が傷病等級のいずれにも該当しない場合又は治ゆ後の障害等級が障害（補償）給付に該当しない場合<br>等級不該当 …… 9999 |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出　力<br>帳票番号 | 受付 | 登　記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未 | 受付済 | | | | | |
| | | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | － | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | － | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | － | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | － | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力　△…条件出力　×…非出力

㈡ 留意点

1　治ゆにより、過誤払いを残して傷病（補償）年金が転帰し、障害（補償）給付に移行した場合は、傷病（補償）年金の過誤払いは、次給付である障害（補償）給付で内払される。

2　等級不該当により、過誤払いを残して傷病（補償）年金が転帰し、休業（補償）給付へ移行した場合は、傷病（補償）年金の過誤払いは、休業（補償）給付で内払調整を行うこととなるが、年金・一時金システムのデータ上から当該過誤払額は消えないので、債権者登録票による「休業内払への変更」処理を行うこと。

3　傷病等級が3級又は2級から1級に変更したことにより傷病差額特別年金に過誤払いが残り、かつ特別年金の支給がないときは、強制債権となる。

4　治ゆ又は等級不該当により、過誤払いを残して傷病（補償）年金が転帰した場合で、内払充当すべき次給付がない場合は、債権コードに債権選択の「1」を記入すること。

これにより過誤払額の処理方法が債権管理となり、債務者登録票（39582）が出力される。

5　保険給付・傷病差額特別年金いずれも過誤払額を残して転帰した場合に、傷病差額特別年金についてのみ債権選択をすることはできない。

（例）特別給与等を算定の基礎とする特別支給金の支給がない受給者が、治ゆにより保険給付・傷病差額特別年金について過誤払額を残し転帰し、障害（補償）給付に移行した場合、傷病差額特別年金の過誤払額については内払できないため債権選択する必要があるが、障害（補償）給付の支給決定前に傷病（補償）年金変更で債権選択をすると債権管理する必要のない保険給付までも債権管理してしまう。この場合、過誤払額は「保留」のままにして、次給付である障害（補償）給付の支給決定を行うと保険給付は内払となり、傷病差額特別年金の過誤払額のみ強制債権として債権者登録票が出力されるため、これにより債権管理の処理を行うこと。

6　転帰事由「治ゆ」で年金転帰した場合は、傷病（補償）年金での援護費情報は次給付としての障害（補償）年金に引き継がれるため、障害（補償）年金での援護費の支給決定の必要はない。ただし、障害（補償）年金での障害等級が3級以上の場合及び傷病（補償）年金の転帰年月日と障害（補償）年金の支給事由発生年月日が同一の場合に限られる。

7　「治ゆ」及び「等級不該当」の場合で、援護費の支給がある場合、変更決議書入力後、援護費転帰に係る援護費通知書（４５４）が必ず出力されるが、上記6に該当し、援護費が次給付に引き継がれる場合は、当該決定通知書は不要となる。この場合、次給付の決議書またはメッセージリストに援護費を引き継いだ旨のメッセージが印書されるので、メッセージの内容を確認のうえ、当該援護費通知書を破棄すること

8　傷病等級号の変更に伴い就学等援護費の支給要件に該当しなくなったことを事由とする援護費転帰についてはシステムで管理しないことから、援護費の変更で処理すること。

5　障害（補償）年金変更（再発）(00-05)

受給権者から「障害（補償）年金受給者再発届」が提出された場合に行う障害（補償）年金の転帰処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | △ | △ | △ | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 00-05 | 00-05 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **542** | **542** | | | |
| 15 | 変更年月（日） | 転帰年月日(7) | | ● | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 | | | × | × | × | | | |
| 17 | 項目番号 | | | **542** | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 転帰事由(1) | | 2 | 2 | 2 | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | | |

●…必須入力項目　　△…任意入力項目　　×…入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

（　）の数字は入力に必要な桁数を表す。

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 障害（補償）年金の年金証書番号を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「542」及び項目名「転帰事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「542」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 変更事由が生じた年月日を記入する。（療養（補償）給付の療養開始年月日と同一である。） |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「542」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 次の受給権消滅事由コードを記入する。<br>再発　…… 2 |

(ﾊ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出　力<br>帳票番号 | 受付 | 登　記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未 | 受付済 | | | | | |
| | | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| (不) 変更決議書-変更 | － | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| (不) 変更決議書-不変更 | － | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | － | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力　△…条件出力　×…非出力

㈡ 留意点

1　障害（補償）年金が再発により過誤払いを残して傷病（補償）年金に移行した場合は、障害（補償）年金の過誤払は次給付である傷病（補償）年金で内払調整される。

2　障害（補償）年金が再発により過誤払いを残して休業（補償）給付へ移行した場合は、障害（補償）年金の過誤払いは休業（補償）給付で内払調整を行うこととなるが、年金・一時金システムのデータ上から当該過誤払額は消えないので、これを削除するために債務者登録票による「休業内払への変更」処理を行うこと。

3　前払一時金調整残を残して再発した場合に次給付の支給決定を行うと、次給付と内払残額を調整してしまうので、次給付の支給決定前に文書報告(1)第５号により本省（業務課）に報告し、指示を受けること。

4　障害（補償）年金での援護費情報は、次給付として、傷病（補償）年金がある場合は引き継がれるため、傷病（補償）年金での援護費の支給決定の必要はない。

　ただし、障害（補償）年金の転帰年月日と傷病（補償）年金の支給事由発生年月日が同一の場合に限られる。

5　援護費の支給がある場合、変更決議書入力後、援護費転帰に係る援護費通知書(４５４)が必ず出力されるが、上記４に該当し、援護費が次給付に引き継がれる場合は、当該決定通知書は不要となる。この場合、次給付の決議書またはメッセージリストに援護費を引き継いだ旨のメッセージが印書されるのでメッセージの内容を確認のうえ、当該援護費通知書を破棄すること。

6　遺族年金・特別遺族年金死亡（同時決議）(00-06)

転給者から死亡した支払権者の「年金等受給権者死亡届（年金申請様式第 6 号)」と併せて「遺族（補償）年金転給等申請書（様式第 13 号)」又は「特別遺族年金転給等申請書（様式第 2 号)」が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

a　1 枚目【変更票（死亡)】

失権する受給者について失権情報を入力する。

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 3or4 | 3or4 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | 2 | △ | △ | | | |
| 8 | 様式番号 | | 00-06 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | △ | △ | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | △ | △ | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | **606** | **606** | | | |
| 15 | 変更年月（日） | 失権年月日(7) | | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 | 失権者枝番(2) | | ● | ● | | | |
| 17 | 項目番号 | | | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 失権事由(1) | | 1 | 1 | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | | | |

●…必須入力項目　　△…任意入力項目　　×…入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

(　) の数字は入力に必要な桁数を表す。

b　2 枚目【変更票（転給者・三者損賠情報・同一生計の有無)】(Ⅱ-3-15 ページ)

転給者の枝番号及び転給者について三者損賠情報・資格者との同一生計関係を入力する。

c　3 枚目【変更票（厚年等情報)】(Ⅱ-3-19 ページ)

転給者にかかる厚年等情報を入力する。

d　4 枚目【住所・氏名等変更届】(Ⅱ-3-24 ページ)

転給者の支払先が国内払いの場合に記入する。

e　4枚目【外国払入力票】(Ⅱ-3-26ページ)

転給者の支払先が外国払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照。

記入要領

a 【変更票（死亡)】

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、または特別遺族年金の年金証書番号を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「606」及び項目名「失権（格）事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「606」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 失権事由の生じた年月日を記入する。<br>当該変更年月日は転給年月日、厚年等変更年月日、三者損賠変更年月日を兼ねている。 |
| 16 | 枝番号 | 失権した支払権者の枝番号を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 次のコードを記入する。<br>死亡　…… 1 |

b 【変更票（転給者・三者損賠情報・同一生計の有無)】(Ⅱ-3-17ページ)

c 【変更票（厚年等情報)】(Ⅱ-3-21ページ)

d 【住所・氏名等変更届】(Ⅱ-3-25ページ)

e 【外国払入力票】(Ⅱ-3-27ページ)

「支給停止解除の同時決議」を参照

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出　力<br>帳票番号 | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | - | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票-１枚目(失権情報) | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更票-２枚目(転給情報) | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更票-３枚目(厚年情報) | 562 | △※1 | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| (不)変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| (不)変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト(特別遺族) | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力　△…条件出力　×…非出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　当該処理の対象となる転給は「次順位者への転給」又は「同順位者への転給」である。

2　転給処理は代表者選任も兼ねている。このため、権者払の必要がある場合には転給処理の後に代表者解任処理を行うこと。

3　転給以前に三者損賠情報が登記されていても、今回の転給処理で三者損賠情報を入力をしなかった場合には「三者損賠受領額」は0円として登記するが、「三者損賠受領年月日・三者コード」については既に登記してある「三者損賠受領年月日・三者コード」を引用し登記する。ただし、転給年月日が傷病年月日から3年を経過している場合には、三者損賠情報は空白として管理する。当該処理が正常に終了した場合には、その変更した情報をメッセージリストに印字するので確認すること。

4　転給者を含め複数の権者が三者損賠を受領している場合は、「受領額」にその合計額を記入すること。

5　転給後の支払権者と資格者との同一生計関係については、転給前の支払権者と当該資格者とのデータを引用するので、転給前後で支払権者との関係に変動のあった者に対してのみ同一生計の有無を記入すること。もし、転給前と同じデータを記入した場合にはキャンセルとなる。また、転給後の支払権者と同順位の者については、同一生計の有無を記入する必要はない。

6　同一生計関係は、枝番号の昇順に上の項目欄からつめて記入すること。

7　在学者が援護費対象から外れる場合は、システムで自動的に転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に関する援護費通知書（４５４）が出力される。また、変更票入力の際、在学者を同一生計無へ変更すると、その在学者の援護費は年金と連動して、同一生計無を事由とする中断となる。なお、他に在学者が存在しない場合（他の在学者が全員中断の場合も含む。）で、援護費の内払残額が残っている場合には、援護費転帰を事由として強制的に債権管理とするため、債務者登録票（39582）が出力される。

8　前支払権者の定期報告が提出・未提出にかかわらず転給処理を受付した年月日が、Ａグループ3/1～5/31、Ｂグループ7/1～9/30の場合には、定期報告を提出したもの（Ａグループ6月第一開庁日、Ｂグループ10月第一開庁日）として管理する。

9　当該処理では、転給年月（失権年月）と厚年等変更年月、三者損賠情報変更年月、算定基礎変更年月は同一である。このため、これらの変更項目について転給年月と異なる変更年月を入力する必要のある場合は、それぞれ単独の変更処理により対応すること。

10　厚年等情報を記入しなかった場合、厚年等調整コードは次のとおり変更される。

■同時決議処理時に厚年等情報が入力されない場合

| 転給前厚年等調整コード（581・586） | | 転給後厚年等調整コード（581・586） | |
|---|---|---|---|
| コード | 内　　容 | コード | 内　　容 |
| 0 | 調整 | 3 | 不支給（不該当） |
| 1 | 調査中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 2 | 請求中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 3 | 不支給（不該当） | 3 | 不支給（不該当） |
| 4 | 未加入 | 4 | 未加入 |
| 5 | 請求拒否 | 3 | 不支給（不該当） |
| 6 | 支給停止 | 3 | 不支給（不該当） |
| 7 | 老齢年金等選択 | 3 | 不支給（不該当） |

なお、厚年等年額は「0円」に変更される。これらの変更情報はメッセージリストに印字されるので確認すること。

11　帳票の入力順は、帳票の出力順である。したがって、このことを考慮して「枚目」を記入すること。

7　死亡（傷病・障害年金）(00-06)

傷病・障害（補償）年金で死亡した支払権者の遺族等から「年金等受給権者死亡届（年金申請様式第 6 号)」が提出された場合の処理である。

必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | △ | △ | △ | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 00-06 | 00-06 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | △ | △ | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **542** | **542** | | | |
| 15 | 変更年月（日） | 転帰年月日(7) | | ● | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 | | | × | × | × | | | |
| 17 | 項目番号 | | | 542 | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 転帰事由(1) | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | | |

●…必須入力項目　　△…任意入力項目　　×…入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

（　）の数字は入力に必要な桁数を表す。

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 傷病（補償）年金、または障害（補償）年金の年金証書番号を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「542」及び項目名「転帰事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「542」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 死亡年月日を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「542」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 次のコードを記入する。<br>死亡 …… 1 |

(ﾊ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未 | 受付済 | | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 計算式リスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力　△…条件出力　×…非出力

㈡ 留意点

1　失権差額一時金について【障害（補償）年金】

a　死亡転帰入力時に失権差額一時金が生じた場合は、「計算式リスト」が出力されることから、失権差額一時金の支給決定において、金額の確認に活用すること。

なお、年金転帰時に過誤払額が生じた場合は、失権差額一時金に充当する。

b　転帰した障害（補償）年金が再発・再治ゆ事案である場合は、そのメッセージと再発・再治ゆ前の障害（補償）年金の年金証書番号をすべて印字したメッセージリストが出力されることから、転帰情報検索によりメッセージリストに印字された障害（補償）年金の既支給額を調べること。

なお、この既支給額は、死亡時の換算率を加味した金額である。

《計算式》

【失権差額一時金額＝直近の年金の失権差額一時金額－[再発・再治ゆ前
の年金の（支払済額の合計＋前払一時金額＋損賠調整累計額）]】

なお、失権差額一時金が発生した場合及び過誤払額を失権差額一時金に充当した場合には、文書報告（1）第2号により本省（業務課）に報告し、指示を受けること。

2　変更決定通知書の宛名・宛先は印字しないため、手書きで記入すること。

3　援護費の支給がある場合、援護費も連動して転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に関する援護費通知書（４５４）が出力される。

4　受給権者の死亡により、過誤払額を残して年金が転帰した場合で、内払充当すべき次給付がない場合は、債権コードに債権選択の「1」を記入すること。これにより過誤払額の処理方法が債権管理となり債務者登録票（39582）が出力される。

8　失権・死亡（遺族年金・特別遺族年金）(00-06)

死亡した支払権者の遺族等から「年金等受給権者死亡届（年金申請様式第6号)」が提出された場合の処理である。遺族（補償）年金、又は特別遺族年金が全員失権する場合、転給未処理になる場合及び権者払中の一人が失権する場合がある。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | △ | △ | △ | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | | × | | | | | |
| 8 | 様式番号 | | 00-06 | 00-06 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **606** | **606** | | | |
| 15 | 変更年月（日） | 失権年月日(7) | | ● | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 | 失権者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | | |
| 17 | 項目番号 | | | **606** | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 失権事由(1) | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | | |

●…必須入力項目　　△…任意入力項目　　×…入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

（　）の数字は入力に必要な桁数を表す。

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、または特別遺族年金の年金証書番号を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「606」及び項目名「失権（格）事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「606」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 死亡年月日を記入する。 |
| 16 | 枝番号 | 死亡した支払権者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「606」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 次のコードを記入する。<br>死亡 …… 1 |

(ﾊ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未 | 受付済 | | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 計算式リスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力　△…条件出力　×…非出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　全員失権の場合

a　失権差額一時金について

死亡転帰時に失権差額一時金が生じた場合は、「計算式リスト」が出力されることから、失権差額一時金の支給決定において、金額の確認に活用すること。

b　変更決定通知書の宛名・宛先は印字しないため、手書きで記入すること。

c　援護費の支給がある場合、援護費も連動して転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に関する援護費通知書（４５４）が出力される。

d　過誤払額を残して年金転帰した場合は、強制的に債権管理となり債務者登録票（39582）が出力される。ただし、支払事故となっている給付が存在する場合は、その給付が過誤払に充当できるか否かシステムでは判断できないため、支払事故を解消し、本省（業務課）より配信される支払取消リストを確認後に債権管理もしくは未支給金の給付等の処理を行うこと。

2　同順位者又は次順位者が存在する場合

a　転給すべき資格者が存在する場合は、年金は転給未処理状態となるので転給処理を行うこと。転給未処理状態となった場合には、転給処理以外の処理はできないので注意すること。また、転給未処理状態（転給処理がされない状態）が長期にわたる場合、月次・支払期直前に「転給未処理リスト」が配信されるので速やかに転給すべき受給資格者に対し転給等請求書の提出を指導すること。

b　結果的に転給未処理状態となる失権処理では、変更決定通知書の宛名・宛先を印字しない。

c　転給未処理状態の場合には年金は支給されず、転給の決定年月日の属する支払期より転給者へ支払が開始される。

9　代表者選任・解任（00-07）

受給権者から「遺族(補償)年金代表者選任・解任届（年金申請様式第７号)」、又は「特別遺族年金代表者選任・解任届」が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

ａ　１枚目【変更票(選任・解任)】

代表者選任・解任する権者の枝番号を入力する。

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | ● | ● | ● | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 00-07 | 00-07 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 01or02 | 01or02 | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **801** | **801** | | | |
| 15 | 変更年月(日) | | | × | × | × | | | |
| 16 | 枝番号 | | | × | × | × | | | |
| 17 | 項目番号 | | | 801 | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 枝番号(2) | | ● | ● | ● | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | | |

●…必須入力項目　　△…任意入力項目　　×…入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

(　)の数字は入力に必要な桁数を表す。

ｂ　2～5 枚目【住所・氏名変更届】

支払先が国内払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-24 ページ)。

ｃ　2～5 枚目【外国払入力帳票】

支払先が外国払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-26 ページ）。

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、または特別遺族年金の年金証書番号を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「801」及び項目名「枝番号」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「801」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「801」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 1　代表者選任の場合<br>新たに選任され支払権者となる受給権者の枝番号を記入する。<br>2　代表者解任の場合<br>解任される支払権者の枝番号を記入する。（権者払に変更する場合のみの処理である。） |

(ﾛ) 記入要領

a　【変更票（選任・解任）】

b　【住所・氏名等変更届】

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-25 ページ）。

c　【外国払入力票】

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-27 ページ）。

(ﾊ) 出力帳票一覧

変更票等を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未 | 受付済 | | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力　×…非出力

㈡ 留意点

1　代表者解任処理では、解任者以外の全ての受給権者の住所・氏名・支払先情報を入力すること。なお、年金証書は解任者以外の全ての受給権者のものを出力する。

2　権者払は最大5人までとする。したがって、権者が6人以上存在する場合には代表者解任による権者払いには変更できない。

3　権者払いに変更する場合に住所・氏名等変更届又は外国払入力票を複数枚入力する場合は枝番号の昇順に入力すること。

4　代表者選任・解任の効力発生年月日は、当該支払期の初日とする。ただし、当該支払期の終月が支給事由発生年月日の翌月の場合、又は転給年月日の翌月の場合には終月の初日となる。

例　変更決定日を平成12年9月20日で処理した場合、当該代表者選任・解任の効力発生年月日は平成12年8月1日となる。また、この場合の変更決定日が支給事由発生年月日の翌月の場合には当該代表者選任・解任の変更年月日は平成12年9月1日となる。

10　障害（補償）年金変更（11-00）

受給権者から「障害(補償)給付変更請求書・障害特別年金変更請求書（様式第 11 号)」が提出された場合の等級変更又は受給権消滅の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | △ | △ | △ | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 11-00 | 11-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **571** | **571** | | | |
| 15 | 変更年月(日) | | | ● | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 | | | × | × | × | | | |
| 17 | 項目番号 | | | 571 | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 障害等級号(4) | | ● | ● | ● | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | | |

●…必須入力項目　　△…任意入力項目　　×…入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

(　)の数字は入力に必要な桁数を表す。

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入力項目 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 障害（補償）年金の年金証書番号を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「571」及び項目名「傷病・障害等級号」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「571」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 変更事由が生じた年月日を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「571」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 変更した障害等級号等を記入する。<br>1　障害等級号の変更の場合<br>記入例<br>障害1級1号 …… 0101<br>障害併合1級 …… 0120<br>障害準用1級 …… 0130<br>2　障害の等級が8級～14級に変更になった場合（障害（補償）年金受給権消滅処理）<br>記入例<br>障害8級1号 …… 0801<br>障害14級1号 …… 1401<br>記入する障害等級号は1級～9級までは先頭「0」を加えた4桁で記入する。<br>3　障害の等級が障害1級～14級のいずれにも該当しなくなった場合<br>等級不該当 …… 9999 |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未 | 受付済 | | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △ | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △ | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力　△…条件出力　×…非出力

㈡ 留意点

1　本処理は、障害（補償）年金の転帰処理、又は等級変更処理を行うだけなので、障害（補償）一時金に移行した場合は障害（補償）一時金の支給決定を別に行うこと。

2　既存障害があり、変更後の障害等級が既存障害の等級以下となる場合でも、システムでは自動的に受給権の消滅をさせない。このため、障害等級「9999」（等級不該当）を入力することにより障害（補償）年金を転帰させること。

3　障害（補償）一時金に移行した場合は、障害（補償）年金の過誤払いは、前給付過誤払額として次給付である障害（補償）一時金で内払される。

4　等級不該当により転帰した場合で、内払充当すべき次給付がない場合は、債権コードに債権選択の「1」を記入すること。

これにより過誤払額の処理方法が債権管理となり債権者登録票（39582）が出力される。

5　前払一時金調整残を残して転帰した場合は、債権選択を行わないこと。次給付がある場合にそのまま支給決定を行うと、次給付と内払残額を調整してしまうので、次給付の支給決定前に文書報告(1)第5号により本省（業務課）に報告し、指示を受けること。

6　援護費の支給のある障害（補償）年金の障害等級号を1級～3級から4級～7級に変更する場合、援護費の支給対象外となるので、システムで自動的に転帰となる。この場合、変更決定決議書入力後、等級変更に関する変更決定通知書及び、援護費転帰に関する援護費通知書（４５４）が出力される。

なお、援護費について過誤払額がある場合には、援護費の過誤払額のみ強制債権として債務者登録票（39582）が出力される。

11　遺族年金転給①・特別遺族年金転給（13-00）〔転給者について三者損賠情報・権者との同一生計関係のみを入力する場合〕

転給未処理状態にある遺族（補償）年金に対して、次支払権者たるべき転給者から「遺族（補償）年金転給等請求書」（様式第 13 号）が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

ａ　１枚目【変更票（転給情報）】

転給者の枝番号と転給者にかかる三者損賠情報及び権者との同一生計関係を入力する。

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 2 | 2 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 13-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 01 | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号（出力）1 | | × | **801** | **801** | | | |
| 15 | 変更年月(日）1 | 転給年月日(7) | | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 1 | | | × | × | | | |
| 17 | 項目番号（入力）1 | | | × | × | | | |
| 18 | 変更データ 1 | 転給者枝番(2) | | ● | ● | | | |

●…必須入力項目　　△…任意入力項目　　×…入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

(　)の数字は入力に必要な桁数を表す。

a　1枚目【変更票（転給情報)】つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 3 |
| 19 | 項目番号（出力）2 | | × | **561** | **561** |
| 20 | 変更年月(日）2 | | | × | × |
| 21 | 枝番号2 | | | × | × |
| 22 | 項目番号（入力）2 | | | × | × |
| 23 | 変更データ2 | 三者損賠受領額 | | △ | △ |
| 24 | 項目番号（出力）3 | | × | **562** | **562** |
| 25 | 変更年月(日）3 | | | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | | × | × |
| 27 | 項目番号（入力）3 | | | × | × |
| 28 | 変更データ3 | 三者損賠受領日(7) | | △ | △ |
| 29 | 項目番号（出力）4 | | × | **604** | **604** |
| 30 | 変更年月(日）4 | | | × | × |
| 31 | 枝番号4 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 32 | 項目番号（入力）4 | | | × | × |
| 33 | 変更データ4 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |
| 34 | 項目番号（出力）5 | | × | **604** | **604** |
| 35 | 変更年月(日）5 | | | × | × |
| 36 | 枝番号5 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 37 | 項目番号（入力）5 | | | × | × |
| 38 | 変更データ5 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |
| 39 | 項目番号（出力）6 | | × | **604** | **604** |
| 40 | 変更年月(日）6 | | | × | × |
| 41 | 枝番号6 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 42 | 項目番号（入力）6 | | | × | × |
| 43 | 変更データ6 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |

a　1枚目【変更票（転給情報)】つづき

| 番号 | 項　　目　　名 | | 受付 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 印　刷　名 | 入力項目名 | － | 1 | 3 |
| 44 | 項目番号（出力）7 | | × | 604 | 604 |
| 45 | 変更年月(日）7 | | | × | × |
| 46 | 枝番号7 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 47 | 項目番号（入力）7 | | | × | × |
| 48 | 変更データ7 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |
| 49 | 項目番号（出力）8 | | × | 604 | 604 |
| 50 | 変更年月(日）8 | | | × | × |
| 51 | 枝番号8 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 52 | 項目番号（入力）8 | | | × | × |
| 53 | 変更データ8 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |

b　2枚目【住所・氏名等変更届】

転給者の支払先が国内払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-24ページ)。

c　2枚目【外国払入力帳票】

転給者の支払先が外国払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-26ページ)。

(ﾛ) 記入要領

a 【変更票（転給情報)】

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「801」及び項目名「枝番号」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「801」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 転給未処理状態の日である前支払権者の失権年月日を記入すること。<br>なお、支払権者が 18 歳失権になったため、転給未処理状態となっている場合は、18 歳失権した支払権者の生年日の前日（平成 8 年 4 月 2 日以降に 18 歳となる者については、18 歳になった日以降の最初の 3 月 31 日）を記入すること。 |
| 18 | 変更データ 1 | 転給した受給権者の枝番号を記入すること。 |
| 19 | 項目番号・項目名 | 項目番号「561」及び項目名「三者損賠受領額」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「561」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 23 | 変更データ 2 | 転給者の三者損賠受領額を記入すること。<br>既に三者損賠受領額が登記されていて、転給によって三者損賠受領額に変更がない場合であっても三者損賠受領額は記入すること。（理由:通常は、転給によって受給権が次順位者に移る場合は、三者損賠受領額が当然に変わるものである。たとえ変更がないとしても入力すること。）記入を省略した場合は、三者損賠情報は「非調整」となる。<br>三者損賠受領額を記入した場合は、項目番号「28」の三者損賠受領日も同時に入力すること。<br>傷病年月日から 3 年を経過している場合は入力できない。<br>特別遺族年金の場合、入力できない。 |
| 24 | 項目番号・項目名 | 項目番号「562」及び項目名「三者損賠受領日」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「562」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 28 | 変更データ 3 | すでに登記している三者損賠受領日を記入すること。<br>なお、「三者損賠受領日」は、一度登記されると変更することはできない。<br>特別遺族年金の場合、入力できない。 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 29 | 項目番号・項目名 | 項目番号「604」及び項目名「同一生計の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「604」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 31 | 枝番号 | 同一生計関係に変更が生じた資格者の枝番号を記入する。 |
| 33 | 変更データ 4 | 次の該当するコードを入力する。<br>同一生計有 …… 0<br>同一生計無 …… 1 |
| 34～53 | 4 人分の同一生計関係 | 記入方法は項目 29～33 と同様である。 |

b 【住所・氏名等変更届】

転給者の支払先が国内払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-25 ページ）。

c 【外国払入力票】

転給者の支払先が外国払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-27 ページ）。

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票等を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | - | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | | |
| 変更票 | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト(特別遺族) | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力　△…条件出力　×…非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　当該処理の対象となる転給は「次順位者への転給」と「同順位者への転給」である。

2　転給処理は代表者選任も兼ねている。このため、権者払の必要がある場合は、転給処理終了後に代表者解任処理（Ⅱ-3-52 ページ）を行うこと。

3　転給以前に三者損賠情報が登記されていても、今回の転給処理で三者損賠情報を入力しなかった場合には「三者損賠受領額」は 0 円として登記するが、「三者損賠受領年月日・三者コード」については既に登記してある「三者損賠受領年月日・三者コード」を引用し登記する。ただし、転給年月日が傷病年月日から 3 年を経過している場合は、三者損賠情報は空白として管理する。当該処理が正常に終了した場合にはその変更した情報をメッセージリストに印字するので確認すること。

4　転給者を含め複数の権者が三者損賠を受領している場合は「受領額」にはその合計額を記入すること。

5　転給後の支払権者と資格者との同一生計関係については、転給前の支払権者と当該資格者とのデータを引用するので、転給前後で支払権者との関係に変動のあった者に対してのみ同一生計の有無を記入すること。もし、転給前と同じデータを記入した場合にはキャンセルとなる。

6　同一生計関係は、枝番号の昇順に上の項目欄からつめて記入すること。

7　転給したことにより、在学者が援護費対象から外れる場合は、システムで自動的に転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に関する援護費通知書（４５４）が出力される。また、変更票入力の際、在学者を同一生計無へ変更すると、その在学者の援護費は年金と連動して、同一生計無を事由とする中断となる。この場合、変更決議書入力後、援護費中断に関する援護費通知書（４５４）が出力される。なお、他に在学者が存在しない場合（他の在学者が全員中断中の場合も含む。）で援護費の内払残額が残っている場合には、援護費転帰を事由として強制的に債権管理とするため、債権者登録票（39582）が出力される。

8　厚年等情報を入力しなかった場合、厚年等調整コードは次のとおり変更される。

| 転給前厚年等調整コード（581・586） | | 転給後厚年等調整コード（581・586） | |
|---|---|---|---|
| コード | 内　　容 | コード | 内　　容 |
| 0 | 調整 | 3 | 不支給（不該当） |
| 1 | 調査中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 2 | 請求中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 3 | 不支給（不該当） | 3 | 不支給（不該当） |
| 4 | 未加入 | 4 | 未加入 |
| 5 | 請求拒否 | 3 | 不支給（不該当） |
| 6 | 支給停止 | 3 | 不支給（不該当） |
| 7 | 老齢年金等選択 | 3 | 不支給（不該当） |

なお、厚年等年額は「0円」に変更される。これらの変更情報はメッセージリストに印字されるので確認すること。

9　前支払権者の定期報告が提出・未提出にかかわらず転給処理を受付した年月日がＡグループ3/1～5/31、Ｂグループ7/1～9/30の場合には、定期報告を提出したもの（Ａグループ6月第一開庁日提出、Ｂグループ10月第一開庁日提出）として管理する。

12　遺族年金転給②（13-00）〔転給者について三者損賠情報・権者との同一生計関係・厚年等情報を入力する場合〕

転給未処理状態にある遺族（補償）年金に対して、次支払権者たるべき転給者から「遺族（補償）年金転給等請求書」（様式第 13 号）が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目と記入要領

ａ　１枚目【変更票（転給情報）】

転給者の枝番号と転給者にかかる三者損賠情報・権者との同一生計関係を入力する。

＜記入項目＞

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | ● | ● | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 13-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 02 | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号（出力）1 | | × | **801** | **801** | | | |
| 15 | 変更年月(日）1 | 転給年月日(7) | | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 1 | | | × | × | | | |
| 17 | 項目番号（入力）1 | | | × | × | | | |
| 18 | 変更データ 1 | 転給者枝番号(2) | | ● | ● | | | |
| 19 | 項目番号（出力）2 | | × | **561** | **561** | | | |
| 20 | 変更年月(日）2 | | | × | × | | | |
| 21 | 枝番号 2 | | | × | × | | | |
| 22 | 項目番号（入力）2 | | | × | × | | | |
| 23 | 変更データ 2 | 三者損賠受領額 | | △ | △ | | | |

●…必須入力項目　　△…任意入力項目　　×…入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

（　）の数字は入力に必要な桁数を表す。

a　1枚目【変更票（転給情報）】つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 3 |
| 24 | 項目番号（出力）3 | | × | 562 | 562 |
| 25 | 変更年月(日）3 | | | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | | × | × |
| 27 | 項目番号（入力）3 | | | × | × |
| 28 | 変更データ3 | 三者損賠受領日(7) | | △ | △ |
| 29 | 項目番号（出力）4 | | × | 604 | 604 |
| 30 | 変更年月(日）4 | | | × | × |
| 31 | 枝番号4 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 32 | 項目番号（入力）4 | | | × | × |
| 33 | 変更データ4 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |
| 34 | 項目番号（出力）5 | | × | 604 | 604 |
| 35 | 変更年月(日）5 | | | × | × |
| 36 | 枝番号5 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 37 | 項目番号（入力）5 | | | × | × |
| 38 | 変更データ5 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |
| 39 | 項目番号（出力）6 | | × | 604 | 604 |
| 40 | 変更年月(日）6 | | | × | × |
| 41 | 枝番号6 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 42 | 項目番号（入力）6 | | | × | × |
| 43 | 変更データ6 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |
| 44 | 項目番号（出力）7 | | × | 604 | 604 |
| 45 | 変更年月(日）7 | | | × | × |
| 46 | 枝番号7 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 47 | 項目番号（入力）7 | | | × | × |
| 48 | 変更データ7 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |
| 49 | 項目番号（出力）8 | | × | 604 | 604 |
| 50 | 変更年月(日）8 | | | × | × |
| 51 | 枝番号8 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 52 | 項目番号（入力）8 | | | × | × |
| 53 | 変更データ8 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |

＜記入要領＞

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「801」及び項目名「枝番号」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「801」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 転給未処理状態の日である前支払権者の失権年月日を記入すること。<br>なお、支払権者が 18 歳失権になったため、転給未処理状態となっている場合は、18 歳失権した支払権者の生年月日の前日（平成８年４月２日以降に 18 歳となる者については、18 歳になった日以降の最初の３月 31 日）を記入すること。 |
| 18 | 変更データ 1 | 転給した受給権者の枝番号を記入する。 |
| 19 | 項目番号・項目名 | 項目番号「561」及び項目名「三者損賠受領額」を印字する。<br>本欄は受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「561」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 23 | 変更データ 2 | 転給者の三者損賠受領額を記入すること。<br>既に三者損賠受領額が登記されていて、転給によって三者損賠受領額に変更がない場合であっても三者損賠受領額は記入すること。（理由：通常は、転給によって受給権が次順位者に移る場合は三者損賠受領額が当然に変わるものである。たとえ変更がないとしても入力すること。）記入を省略した場合は、三者損賠情報は「非調整」となる。<br>三者損賠受領額を記入した場合は、項目番号「28」の三者損賠受領日も同時に入力すること。<br>傷病年月日から３年を経過している場合は、入力できない。<br>特別遺族年金の場合、入力できない。 |
| 24 | 項目番号・項目名 | 項目番号「562」及び項目名「三者損賠受領日」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「562」をキーボードで打鍵入力すること。 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 28 | 変更データ 3 | すでに登記している三者損賠受領日を記入すること。<br>なお、「三者損賠受領日」は、一度登記されると変更することはできない。<br>特別遺族年金の場合、入力できない。 |
| 29 | 項目番号・項目名 | 項目番号「604」及び項目名「同一生計の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、[604」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 31 | 枝番号 | 同一生計関係に変更が生じた資格者の枝番号を記入する。 |
| 33 | 変更データ 4 | 次の該当するコードを入力する。<br>同一生計有 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 0<br>同一生計無 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1 |
| 34～53 | ４人分の同一生計関係 | 記入方法は項目 29～33 と同様である。 |

b　２枚目【変更票（厚年等情報）】

転給にかかる厚年等情報を入力する。

＜記入項目＞

| 番号 | 項目名 | | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|
| | 印　刷　名 | 入力項目名 | | |
| 1 | データ受付番号 | | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | × |
| 3 | 債権コード | | × | × |
| 4 | 出力枚数 | | | |
| 5 | 枚目 | | 2 | 2 |
| 6 | 枚中 | | ● | ● |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × |
| 8 | 様式番号 | | × | × |
| 9 | 変更内容コード | | × | × |
| 10 | 受付年月日 | | × | × |
| 11 | 年金証書番号 | | × | × |
| 12 | 被災者生年月日 | | × | × |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × |
| 14 | 項目番号（出力）1 | | 581 | 581 |
| 15 | 変更年月(日）1 | | × | × |
| 16 | 枝番号1 | | × | × |
| 17 | 項目番号（入力）1 | | × | × |
| 18 | 変更データ1 | 厚年調整コード①(1) | ● | ● |
| 19 | 項目番号（出力）2 | | 582 | 582 |
| 20 | 変更年月(日）2 | | × | × |
| 21 | 枝番号2 | | × | × |
| 22 | 項目番号（入力）2 | | × | × |
| 23 | 変更データ2 | 厚年等種別①(1) | △ | △ |
| 24 | 項目番号（出力）3 | | 583 | 583 |
| 25 | 変更年月(日）3 | | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | × | × |
| 27 | 項目番号（入力）3 | | × | × |
| 28 | 変更データ3 | 厚年年額① | △ | △ |

b　２枚目【変更票（厚年等情報)】つづき

| 番号 | 項目名 | | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|
| | 印　刷　名 | 入力項目名 | | |
| 29 | 項目番号（出力）4 | | 584 | 584 |
| 30 | 変更年月(日）4 | | × | × |
| 31 | 枝番号4 | | × | × |
| 32 | 項目番号（入力）4 | | × | × |
| 33 | 変更データ4 | 厚年年金証書番号①(14) | △ | △ |
| 34 | 項目番号（出力）5 | | 586 | 586 |
| 35 | 変更年月(日）5 | | × | × |
| 36 | 枝番号5 | | × | × |
| 37 | 項目番号（入力）5 | | × | × |
| 38 | 変更データ5 | 厚年調整コード②(1) | △ | △ |
| 39 | 項目番号（出力）6 | | 587 | 587 |
| 40 | 変更年月(日）6 | | × | × |
| 41 | 枝番号6 | | × | × |
| 42 | 項目番号（入力）6 | | × | × |
| 43 | 変更データ6 | 厚年等種別②(1) | △ | △ |
| 44 | 項目番号（出力）7 | | 588 | 588 |
| 45 | 変更年月(日）7 | | × | × |
| 46 | 枝番号7 | | × | × |
| 47 | 項目番号（入力）7 | | × | × |
| 48 | 変更データ7 | 厚年年額② | △ | △ |
| 49 | 項目番号（出力）8 | | 589 | 589 |
| 50 | 変更年月(日）8 | | × | × |
| 51 | 枝番号8 | | × | × |
| 52 | 項目番号（入力）8 | | × | × |
| 53 | 変更データ8 | 厚年年金証書番号②(12) | △ | △ |

c　３枚目【住所・氏名等変更届】

転給者の支払先が国内払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-24 ページ)。

d　３枚目【外国払入力帳票】

転給者の支払先が外国払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-26 ページ)。

＜記入要領＞

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | 正常に受付処理された場合に印字する。ただし、受付により出力された変更票を汚損等した場合のみ、「変更票」（転給情報）に印字したデータ受付番号をキーボードにより打鍵入力すること。 |
| 4 | 出力枚数 | 受付処理により出力した変更票の枚数「２」を印字する。 |
| 5 | 枚目 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届のうち、入力する枚目を記入する。 |
| 6 | 枚中 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届の総枚数を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「581」及び項目名「厚年調整コード①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「581」をキーボードにより打鍵入力すること。 |
| 18 | 変更データ | 転給した受給権者の労災保険年金と同一の事由による厚生年金等の受給状況について、次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>調整 …… 0<br>調査中（未調整）…… 1<br>請求中（調整）（額なし調整）…… 2<br>不支給・不該当（非調整）…… 3<br>未加入（非調整）…… 4<br>請求拒否（非調整）…… 5<br>支給停止（非調整）…… 6<br>老齢年金等選択（非調整）…… 7<br>厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点（Ⅱ-3-109 参照）のとおりである。 |
| 19 | 項目番号・項目名 | 項目番号「582」及び項目名「厚年種別①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「582」をキーボードにより打鍵入力すること。 |

| 番号 | 入力項目 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 23 | 変更データ | 転給した受給権者の労災保険年金で、同一の事由により厚生年金等が支給される場合は、次の区分に従って該当するコードを記入する。<br>旧厚生年金保険 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1<br>新厚生年金保険・新国民年金 ・・・・・・・・・・ 2<br>旧船員保険 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3<br>新厚生年金保険 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4<br>新国民年金 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6<br>厚年種別については厚年等調整コードが調整及び請求中の場合は必須入力、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照 ）。 |
| 24 | 項目番号・項目名 | 項目番号「583」及び項目名「厚年年額①」を印字する。なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「583」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 28 | 変更データ | 前項目で記入した厚年種別に対する厚年等年金年額を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合には入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照)。 |
| 29 | 項目番号・項目名 | 項目番号「584」及び項目名「厚年年証番号①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「584」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 33 | 変更データ | 前項目で記入した厚年種別に対する厚生年金等年金証書番号を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ任意入力であり、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照)。 |
| 34 | 項目番号・項目名 | 項目番号「586」及び項目名「厚年調整コード②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「586」をキーボードで打鍵入力すること。 |

| 番号 | 入力項目 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 38 | 変更データ | 転給した受給権者の労災保険年金と同一の事由による厚生年金等の受給状況について、次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0<br>調査中（未調整）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1<br>請求中（調整）（額なし調整）・・・・・・・・・・ 2<br>不支給・不該当（非調整）・・・・・・・・・・・・・ 3<br>未加入（非調整）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4<br>請求拒否（非調整）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5<br>支給停止（非調整）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6<br>老齢年金等選択（非調整）・・・・・・・・・・・・・ 7<br>厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点（Ⅱ-3-109 ページ参照）のとおりである。 |
| 39 | 項目番号・項目名 | 項目番号「587」及び項目名「厚年種別②」を印字する。なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「587」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 43 | 変更データ | 転給した受給権者の厚年等種別について次のコードを記入する。<br>旧国民年金 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5<br>厚年種別については厚年等調整コードが調整及び請求中の場合は必須入力、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照 ）。 |
| 44 | 項目番号・項目名 | 項目番号「588」及び項目名「厚年年額②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「588」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 48 | 変更データ | 前項目で記入した厚年種別に対する厚年等年金年額を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照 ）。 |
| 49 | 項目番号・項目名 | 項目番号「589」及び項目名「厚年年証番号②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「589」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 53 | 変更データ | 前項目で記入した厚年種別に対する厚生年金等年金証書番号を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ任意入力であり、それ以外の場合は入力不可である。 |

c 【住所・氏名等変更届】

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-25 ページ）。

d 【外国払入力票】

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-27 ページ）。

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票等を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | - | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票-1 枚目（転給情報） | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更票-2 枚目（厚年等情報） | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト(特別遺族) | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　当該処理の対象となる転給は、「次順位者への転給」又は「同順位者への転給」である。

2　転給処理は代表者選任も兼ねている。このため、権者払の必要がある場合は転給処理の後に代表者解任処理を行うこと。

3　当該処理では転給年月日（失権年月日）と厚年等変更年月、三者損賠情報変更年月、算定基礎変更年月は同一である。このため、これらの変更項目について転給年月と異なる変更年月を入力する必要のある場合は、それぞれ単独の変更処理により対応すること。

4　帳票の入力順は、帳票の出力順である。したがって、このことを考慮して「枚目」を記入すること。

5　厚年等情報について全ての項目の記入を省略する場合は、厚年等情報に関する変更票は入力しないため、入力の総枚数から差し引くこと。

6　転給以前に三者損賠情報が登記されていても、今回の転給処理で三者損賠情報を入力しなかった場合には「三者損賠受領額」は０円として登記するが、「三者損賠受領年月日・三者コード」については既に登記してある「三者損賠受領年月日・三者コード」を引用し登記する。ただし、転給年月日が傷病年月日から３年を経過している場合は、三者損賠情報は空白として管理する。

　当該処理が正常に終了した場合には、その変更した情報をメッセージリストに印字するので確認すること。

7　転給者を含め複数の権者が三者損賠を受領している場合は「受領額」にその合計額を記入すること。

8　転給後の支払権者と資格者との同一生計関係については、転給前の支払権者と当該資格者とのデータを引用するので、転給前後で支払権者との関係に変動のあった者に対してのみ同一生計の有無を記入すること。もし転給前と同じデータを記入した場合にはキャンセルとなる。また、転給後の支払権者を同順位の者については、同一生計の有無を記入する必要はない。

9　同一生計関係は、枝番号の昇順に上の項目欄からつめて記入すること。

10　厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点のとおりである。（Ⅱ-3-109 ページ参照）

11　厚年等情報を入力しなかった場合、厚年等調整コードは次のとおり変更される。

| 転給前厚年等調整コード（581・586） | | 転給後厚年等調整コード（581・586） | |
|---|---|---|---|
| コード | 内　　容 | コード | 内　　容 |
| 0 | 調整 | 3 | 不支給（不該当） |
| 1 | 調査中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 2 | 請求中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 3 | 不支給（不該当） | 3 | 不支給（不該当） |
| 4 | 未加入 | 4 | 未加入 |
| 5 | 請求拒否 | 3 | 不支給（不該当） |
| 6 | 支給停止 | 3 | 不支給（不該当） |
| 7 | 老齢年金等選択 | 3 | 不支給（不該当） |

なお、厚年等年額は「０円」に変更される。これらの変更情報はメッセージリストに印字されるので確認すること。

12　転給したことにより、在学者が援護費対象から外れる場合は、システムで自動的に転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に関する援護費通知書（４５４）が出力される。また、変更票入力の際、在学者を同一生計無へ変更すると、その在学者の援護費は年金と連動して、同一生計無を事由とする中断となる。この場合、変更決議書入力後、援護費中断に関する援護費通知書（４５４）が出力される。なお、他に在学者が存在しない場合（他の在学者が全員中断中の場合も含む。）で、援護費の内払残額が残っている場合には、援護費転帰を事由として強制的に債権管理とするため、債権者登録票（39582）が出力される。

13　前払権者の定期報告が提出・未提出にかかわらず転給処理を受付した年月日が、Ａグループ 3/1～5/31、Ｂグループ 7/1～9/30 の場合には、定期報告を提出したもの（Ａグループ 6 月第一開庁日提出、Ｂグループ 10 月第一開庁日提出）として管理する。

13　遺族年金転給③（13-00）〔後順位者（同順位者）が既に支給決定を受けている場合で転給により胎児が支払権者となる場合（労働者災害補償保険法施行規則第 15 条の 3)〕

遺族（補償）年金に対して次支払権者たるべき転給者から「遺族（補償）年金転給等請求書」（様式第 13 号）が提出された場合に行う処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

a　１枚目【変更票（転給情報)】

転給にかかる三者損賠情報・権者との同一生計関係を入力する。

＜記入項目＞

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | ● | ● | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 13-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 03 | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号（出力）1 | | × | 801 | 801 | | | |
| 15 | 変更年月(日）1 | 転給年月日(7) | | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 1 | | | × | × | | | |
| 17 | 項目番号（入力）1 | | | × | × | | | |
| 18 | 変更データ 1 | 転給者枝番号(2) | | ● | ● | | | |
| 19 | 項目番号（出力）2 | | × | 561 | 561 | | | |
| 20 | 変更年月(日）2 | | | × | × | | | |
| 21 | 枝番号 2 | | | × | × | | | |
| 22 | 項目番号（入力）2 | | | × | × | | | |
| 23 | 変更データ 2 | 三者損賠受領額 | | △ | △ | | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

a　１枚目【変更票（転給情報)】つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 印　刷　名 | 入力項目名 | | | |
| 24 | 項目番号（出力）3 | | × | 562 | 562 |
| 25 | 変更年月(日）3 | | | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | | × | × |
| 27 | 項目番号（入力）3 | | | × | × |
| 28 | 変更データ3 | 三者損賠受領日(7) | | △ | △ |
| 29 | 項目番号（出力）4 | | × | 604 | 604 |
| 30 | 変更年月(日）4 | | | × | × |
| 31 | 枝番号4 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 32 | 項目番号（入力）4 | | | × | × |
| 33 | 変更データ4 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |
| 34 | 項目番号（出力）5 | | × | 604 | 604 |
| 35 | 変更年月(日）5 | | | × | × |
| 36 | 枝番号5 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 37 | 項目番号（入力）5 | | | × | × |
| 38 | 変更データ5 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |
| 39 | 項目番号（出力）6 | | × | 604 | 604 |
| 40 | 変更年月(日）6 | | | × | × |
| 41 | 枝番号6 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 42 | 項目番号（入力）6 | | | × | × |
| 43 | 変更データ6 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |
| 44 | 項目番号（出力）7 | | × | 604 | 604 |
| 45 | 変更年月(日）7 | | | × | × |
| 46 | 枝番号7 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 47 | 項目番号（入力）7 | | | × | × |
| 48 | 変更データ7 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |
| 49 | 項目番号（出力）8 | | × | 604 | 604 |
| 50 | 変更年月(日）8 | | | × | × |
| 51 | 枝番号8 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ |
| 52 | 項目番号（入力）8 | | | × | × |
| 53 | 変更データ8 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ |

＜記入要領＞

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「801」及び項目名「枝番号」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「801」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 支給事由発生年月日以後において出生した胎児の生年月日を記入する。<br>この生年月日は、年齢管理（指定年齢到達）を行う上で特に重要であるため正確に記入すること。 |
| 18 | 変更データ１ | 支給事由発生年月日以後において出生した胎児の枝番号を記入する。 |
| 19 | 項目番号・項目名 | 項目番号「561」及び項目名「三者損賠受領額」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「561」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 23 | 変更データ２ | 転給者の三者損賠受領額を記入すること。<br>既に三者損賠受領額が登記されていて、転給によって三者損賠受領額に変更がない場合であっても三者損賠受領額は記入すること。（理由：通常は、転給によって受給権が次順位者に移る場合は三者損賠受領額が当然に変わるものである。たとえ変更がないとしても入力すること。）記入を省略した場合は、三者損賠情報は「非調整」となる。<br>三者損賠受領額を記入した場合は、項目番号「28」の三者損賠受領日も同時に入力すること。<br>傷病年月日から３年を経過している場合は入力できない。<br>特別遺族年金の場合、入力できない。 |
| 24 | 項目番号・項目名 | 項目番号「562」及び項目名「三者損賠受領日」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「562」をキーボードで打鍵入力すること。 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 28 | 変更データ 3 | すでに登記している三者損賠受領日を記入すること。<br>なお、「三者損賠受領日」は、一度登記されると変更することはできない。<br>特別遺族年金の場合、入力できない。 |
| 29 | 項目番号・項目名 | 項目番号「604」及び項目名「同一生計の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「604」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 31 | 枝番号 | 同一生計関係に変更が生じた資格者の枝番号を記入する。 |
| 33 | 変更データ | 胎児との同一生計関係について該当する次のコードを入力する。<br>同一生計有　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　0<br>同一生計無　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1 |
| 34～<br>53 | ４人分の同一生計関係 | 記入方法は項目 29～33 と同様である。 |

b　２枚目【変更票（厚年等情報）】

転給にかかる厚年等情報を入力する。

＜記入項目＞

| 番号 | 項目名 | | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | |
| 1 | データ受付番号 | | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | × |
| 3 | 債権コード | | × | × |
| 4 | 出力枚数 | | | |
| 5 | 枚目 | | 2 | 2 |
| 6 | 枚中 | | ● | ● |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × |
| 8 | 様式番号 | | × | × |
| 9 | 変更内容コード | | × | × |
| 10 | 受付年月日 | | × | × |
| 11 | 年金証書番号 | | × | × |
| 12 | 被災者生年月日 | | × | × |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × |
| 14 | 項目番号（出力）1 | | 581 | 581 |
| 15 | 変更年月(日）1 | | × | × |
| 16 | 枝番号1 | | × | × |
| 17 | 項目番号（入力）1 | | × | × |
| 18 | 変更データ1 | 厚年調整コード①(1) | ● | ● |
| 19 | 項目番号（出力）2 | | 582 | 582 |
| 20 | 変更年月(日）2 | | × | × |
| 21 | 枝番号2 | | × | × |
| 22 | 項目番号（入力）2 | | × | × |
| 23 | 変更データ2 | 厚年等種別①(1) | △ | △ |
| 24 | 項目番号（出力）3 | | 583 | 583 |
| 25 | 変更年月(日）3 | | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | × | × |
| 27 | 項目番号（入力）3 | | × | × |
| 28 | 変更データ3 | 厚年年額①(1) | △ | △ |

b　２枚目【変更票（厚年等情報）】つづき

| 番号 | 項目名 | | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | |
| 29 | 項目番号（出力）4 | | 584 | 584 |
| 30 | 変更年月(日）4 | | × | × |
| 31 | 枝番号4 | | × | × |
| 32 | 項目番号（入力）4 | | × | × |
| 33 | 変更データ4 | 厚年年金証書番号①(14) | △ | △ |
| 34 | 項目番号（出力）5 | | 586 | 586 |
| 35 | 変更年月(日）5 | | × | × |
| 36 | 枝番号5 | | × | × |
| 37 | 項目番号（入力）5 | | × | × |
| 38 | 変更データ5 | 厚年調整コード②(1) | △ | △ |
| 39 | 項目番号（出力）6 | | 587 | 587 |
| 40 | 変更年月(日）6 | | × | × |
| 41 | 枝番号6 | | × | × |
| 42 | 項目番号（入力）6 | | × | × |
| 43 | 変更データ6 | 厚年等種別②(1) | △ | △ |
| 44 | 項目番号（出力）7 | | 588 | 588 |
| 45 | 変更年月(日）7 | | × | × |
| 46 | 枝番号7 | | × | × |
| 47 | 項目番号（入力）7 | | × | × |
| 48 | 変更データ7 | 厚年年額② | △ | △ |
| 49 | 項目番号（出力）8 | | 589 | 589 |
| 50 | 変更年月(日）8 | | × | × |
| 51 | 枝番号8 | | × | × |
| 52 | 項目番号（入力）8 | | × | × |
| 53 | 変更データ8 | 厚年年金証書番号②(12) | △ | △ |

＜記入要領＞

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | 正常に受付処理された場合に印字する。ただし、受付により出力された変更票を汚損等した場合のみ、「変更票」（転給情報）に印字したデータ受付番号をキーボードにより打鍵入力すること。 |
| 4 | 出力枚数 | 受付処理により出力した変更票の枚数「２」を印字する。 |
| 5 | 枚目 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届のうち、入力する枚目を記入する。 |
| 6 | 枚中 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届の総枚数を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「581」及び項目名「厚年調整コード①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「581」をキーボードでにより打鍵入力すること。 |
| 18 | 変更データ１ | 転給した胎児の労災保険年金と同一の事由による厚生年金等の受給状況について、次の区分に従い該当するコードを記入すること。<br>調整 …… 0<br>調査中（未調整）…… 1<br>請求中（調整）（額なし調整）…… 2<br>不支給・不該当（非調整）…… 3<br>未加入（非調整）…… 4<br>請求拒否（非調整）…… 5<br>支給停止（非調整）…… 6<br>老齢年金等選択（非調整）…… 7<br>厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点（Ⅱ-3-109 ページ参照）のとおりである。 |
| 19 | 項目番号・項目名 | 項目番号「582」及び項目名「厚年種別①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「582」をキーボードにより打鍵入力すること。 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 23 | 変更データ 2 | 転給した胎児の労災保険年金で、同一の事由により厚生年金等が支給される場合は、次の区分に従って該当するコードを記入する。<br>旧厚生年金保険 …… 1<br>新厚生年金保険・新国民年金 …… 2<br>旧船員保険 …… 3<br>新厚生年金保険 …… 4<br>新国民年金 …… 6<br>厚年種別については、厚年等調整コードが調整及び請求中の場合は必須入力、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照）。 |
| 24 | 項目番号・項目名 | 項目番号「583」及び項目名「厚年年額①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「583」をキーボードにより打鍵入力すること。 |
| 28 | 変更データ 3 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚年等年金年額を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照）。 |
| 29 | 項目番号・項目名 | 項目番号「584」及び項目名「厚年年証番号①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「584」をキーボードにより打鍵入力すること。 |
| 33 | 変更データ 4 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚生年金等年金証書番号を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ任意入力であり、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照）。 |
| 34 | 項目番号・項目名 | 項目番号「586」及び項目名「厚年調整コード②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「586」をキーボードにより打鍵入力すること。 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 38 | 変更データ 5 | 転給した胎児の労災保険年金と同一の事由による厚生年金等の受給状況について、次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0<br>調査中（未調整）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1<br>請求中（調整）（額なし調整）・・・・・・・・・・・・ 2<br>不支給・不該当（非調整）・・・・・・・・・・・・・・ 3<br>未加入（非調整）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4<br>請求拒否（非調整）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5<br>支給停止（非調整）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6<br>老齢年金等選択（非調整）・・・・・・・・・・・・・・ 7<br>厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点（Ⅱ-3-109 ページ参照）のとおりである。 |
| 39 | 項目番号・項目名 | 項目番号「587」及び項目名「厚年種別②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「587」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 43 | 変更データ 6 | 転給した胎児の厚年等種別について次のコードを記入する。<br>旧国民年金 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5<br>厚年種別は厚年等調整コードが調整及び請求中の場合は必須入力、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照)。 |
| 44 | 項目番号・項目名 | 項目番号「588」及び項目名「厚年年額②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「588」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 48 | 変更データ 7 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚年等年金年額を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照 )。 |
| 49 | 項目番号・項目名 | 項目番号「589」及び項目名「厚年年証番号②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「589」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 53 | 変更データ 8 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚生年金等年金証書番号を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ任意入力であり、それ以外の場合は入力不可である（Ⅱ-3-109 ページ参照 )。 |

c　３枚目【変更票（胎児出生情報)】

転給した胎児の情報を入力する。

＜記入項目＞

| 番号 | 項目名 | | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | |
| 1 | データ受付番号 | | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | × |
| 3 | 債権コード | | × | × |
| 4 | 出力枚数 | | | |
| 5 | 枚目 | | ● | ● |
| 6 | 枚中 | | ● | ● |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × |
| 8 | 様式番号 | | × | × |
| 9 | 変更内容コード | | × | × |
| 10 | 受付年月日 | | × | × |
| 11 | 年金証書番号 | | × | × |
| 12 | 被災者生年月日 | | × | × |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × |
| 14 | 項目番号（出力）1 | | 601 | 601 |
| 15 | 変更年月(日）1 | | × | × |
| 16 | 枝番号1 | | × | × |
| 17 | 項目番号（入力）1 | | × | × |
| 18 | 変更データ1 | 胎児氏名(16) | ● | ● |
| 19 | 項目番号（出力）2 | | 602 | 602 |
| 20 | 変更年月(日）2 | | × | × |
| 21 | 枝番号2 | | × | × |
| 22 | 項目番号（入力）2 | | × | × |
| 23 | 変更データ2 | 胎児生年月日(7) | ● | ● |

c　３枚目【変更票（胎児出生情報)】つづき

| 番号 | 項目名 | | 登記 | 修正 |
|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | |
| 24 | 項目番号（出力）3 | | 603 | 603 |
| 25 | 変更年月(日）3 | | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | × | × |
| 27 | 項目番号（入力）3 | | × | × |
| 28 | 変更データ3 | 胎児性別(1) | 1or3 | 1or3 |
| 29～53 | その他 | | × | × |

d　４枚目【住所・氏名等変更届】

胎児の支払先が国内払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-24 ページ)。

e　４枚目【外国払入力帳票】

胎児の支払先が外国払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-26 ページ)。

＜記入要領＞

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | 正常に受付処理された場合に、他に出力された変更票と同様の番号を印字する。ただし、受付により出力された変更票を汚損等した場合のみ、「変更票」（転給情報）に印字されたデータ受付番号をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 4 | 出力枚数 | 受付処理により出力した変更票の枚数「３」を印字する。 |
| 5 | 枚目 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届のうち、入力する枚目を記入する。 |
| 6 | 枚中 | 入力を要する変更票及び住所・氏名等変更届の総枚数を記入する。 |
| 14 | 項目番号・項目名１ | 項目番号「601」及び項目名「資格者氏名」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「601」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 18 | 変更データ１ | 支給事由発生年月日以降において出生した胎児のカナ氏名を記入する。<br>なお、姓と名の間は一字あけて記入する。 |
| 19 | 項目番号・項目名２ | 項目番号「602」及び項目名「資格者生年月日」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「602」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 23 | 変更データ２ | 支給事由発生年月日以降において出生した胎児の生年月日を７桁で記入する。 |
| 24 | 項目番号・項目名３ | 項目番号「603」及び項目名「資格者性別」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「603」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 28 | 変更データ３ | 支給事由発生年月日以降において出生した胎児の性別について該当するコードを入力する。<br>男 …… 1<br>女 …… 3 |

d 【住所・氏名等変更届】

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-27 ページ）。

e 【外国払入力票】

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-27 ページ）。

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票等を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | - | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票-1 枚目（転給情報） | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更票-2 枚目（厚年等情報） | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更票-3 枚目（胎児出生情報） | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト(特別遺族) | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　当該処理の対象となる転給は、「上順位者への転給」又は「同順位者への転給」である。

2　胎児の生年月日が支給事由発生年月日より前の場合には訂正処理による資格者の追加で対応すること。

3　転給処理は代表者選任も兼ねている。このため、権者払の必要がある場合には転給処理の後に代表者解任処理を行うこと。

4　当該処理では、転給年月と厚年等変更年月、三者損賠情報変更年月、算定基礎変更年月は同一であるため、これらの変更項目について転給年月と異なる変更年月を入力する必要のある場合は、それぞれ単独の変更処理により対応すること。

5　帳票の入力順は、帳票の出力順である。したがって、このことを考慮して「枚目」を記入すること。

6　厚年等情報について全ての項目の記入を省略する場合は、厚年等情報に関する変更票は入力しない。よって、入力の総枚数には含まないこと。

7　転給以前に三者損賠情報が登記されていても、今回の転給処理で三者損賠情報を入力しなかった場合には「三者損賠受領額」は０円として登記するが、「三者損賠受領年月日・三者コード」については既に登記してある「三者損賠受領年月日・三者コード」を引用し登記する。ただし、転給年月日が傷病年月日から３年を経過している場合は、三者損賠情報は空白として管理する。当該処理が正常に終了した場合には、その変更した情報をメッセージリストに印字するので確認すること。

8　転給者を含め複数の権者が三者損賠を受領している場合は「受領額」に合計額を記入する。

9　転給後の支払権者と資格者との同一生計関係については、転給前の支払権者と当該資格者とのデータを引用するので、転給前後で支払権者との関係に変動のあった者に対してのみ、同一生計の有無を記入すること。もし、転給前と同じデータを記入した場合にはキャンセルとなる。

　また、転給後支払権者と同順位の者については、同一生計の有無を記入する必要はない。

　なお、転給前支払権者及びその同順位者については、転給後支払権者と「同一生計有」としてデータを引き継ぐ。

10　同一生計関係は、枝番号の昇順に上の項目欄からつめて記入すること。

11　厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点（Ⅱ-3-109 ページ参照）のとおりである。

12　厚年等情報を入力しなかった場合、厚年等調整コードは次のとおり変更される。

| 転給前厚年等調整コード（581・586） | | 転給後厚年等調整コード（581・586） | |
|---|---|---|---|
| コード | 内　　容 | コード | 内　　容 |
| 0 | 調整 | 3 | 不支給（不該当） |
| 1 | 調査中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 2 | 請求中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 3 | 不支給（不該当） | 3 | 不支給（不該当） |
| 4 | 未加入 | 4 | 未加入 |
| 5 | 請求拒否 | 3 | 不支給（不該当） |
| 6 | 支給停止 | 3 | 不支給（不該当） |
| 7 | 老齢年金等選択 | 3 | 不支給（不該当） |

なお、厚年等年額は「0円」に変更される。これらの変更情報はメッセージリストに印字されるので確認すること。

13　転給したことにより、在学者が援護費対象から外れる場合は、システムで自動的に転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に関する援護費通知書（４５４）が出力される。また、変更票入力の際、在学者を同一生計無へ変更すると、その在学者の援護費は年金と連動して同一生計無を事由とする中断となる。この場合、変更決議書入力後、援護費中断に関する援護費通知書（４５４）が出力される。なお、他に在学者が存在しない場合（他の在学者が全員中断中の場合も含む。）で、援護費の内払残額が残っている場合には、援護費転帰を事由として強制的に債権管理とするため、債務者登録票（39582）が出力される。

14　支給停止【同時決議】(14-00)

労働者災害補償保険法第16条の５第１項の規定により支払権者の住所が１年以上明らかでないため、同順位又は下順位の権者、資格者から「遺族（補償）年金支給停止申請書（様式第14号)」に併せて「遺族（補償）年金転給等申請書（様式第13号)」が提出された場合、又は「特別遺族年金支給停止申請書（様式第９号)」に併せて「特別遺族年金転給等申請書（様式第２号)」が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

ａ　１枚目【変更票（支給停止)】

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | ● | ● | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | 3 | | | | | |
| 8 | 様式番号 | | 14-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | × | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | **591** | **591** | | | |
| 15 | 変更年月（日） | 支給停止年月日(7) | | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 | 支給停止者枝番号(2) | | ● | ● | | | |
| 17 | 項目番号 | | | × | × | | | |
| 18 | 変更データ | 支給停止事由(1) | | 1 | 1 | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

b　２枚目【変更票（転給者・三者損賠情報・同一生計の有無)】(Ⅱ-3-15 ページ)
転給者について三者損賠情報・資格者との同一生計関係を入力する。

c　３枚目【変更票（厚年等情報)】(Ⅱ-3-19 ページ)
転給にかかる厚年等情報を入力する。

d　４枚目【住所・氏名等変更届】(Ⅱ-3-24 ページ)
転給者の支払先が国内払の場合に記入する。

e　４枚目【外国払入力票】(Ⅱ-3-26 ページ)
転給者の支払先が外国払いの場合に記入する。
「支給停止解除の同時決議」を参照。

(ﾛ) 記入要領

a【変更票（支給停止)】

| 番号 | 入力項目 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「591」及び項目名「行方不明・解除」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「591」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 支払権者の所在が不明となった日（通常は、警察に捜索願等が提出された日）を記入する。<br>当該変更年月日は転給者の転給年月日となる。 |
| 16 | 枝番号 | 所在が不明となった支払権者の枝番号を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 次のコードを記入する。<br>行方不明　‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　1 |

b【変更票（転給者・三者損賠情報・同一生計の有無)】(Ⅱ-3-17 ページ)

c【変更票（厚年等情報)】(Ⅱ-3-21 ページ)

d【住所・氏名等変更届】(Ⅱ-3-25 ページ)

e【外国払入力票】(Ⅱ-3-27 ページ)
「支給停止解除の同時決議」を参照。

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票等を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付<br>- | 登記<br>1 | 修正<br>3 | 再出力<br>5 | 不変更<br>7 | 取消<br>9 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 変更票-1 枚目（支給停止） | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更票-2 枚目（転給者・三者損賠情報・同一生計の有無） | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更票-3 枚目（厚年等情報） | 562 | △※1 | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　当該処理の対象とする転給は、「次順位者への転給」又は「同順位者への転給」である。

2　受付年月日について

支給停止申請書を受け付けた年月日を記入する。

なお、受付年月日と変更年月日の間の期間は、１年以上でなければならない。

3　当該処理では、支給停止年月（転給年月）と厚年等変更年月、三者損賠情報変更年月、算定基礎変更年月は同一であるため、これらの変更項目について支給停止年月（転給年月）と異なる変更年月を入力する必要のある場合は、それぞれ単独の変更処理により対応する。

4　帳票の入力順は、帳票の出力順である。したがって、このことを考慮して「枚目」を記入すること。

5　三者損賠調整の必要のある者で支給停止・転給以前にも年金と同一の理由により三者損賠を受領し調整されていた者については、その受領額を記入するのではなくその受領額から三者損賠調整済額を差し引いた金額を記入する。

6　転給以前に三者損賠情報が登記されていても、今回の転給処理で三者損賠情報を入力しなかった場合には「三者損賠受領額」は０円として登記するが、「三者損賠受領年月日・三者コード」については既に登記してある「三者損賠受領年月日・三者コード」を引用し登記する。ただし、転給年月日が傷病年月日から３年を経過している場合には、三者損賠情報は空白として管理する。当該処理が正常に終了した場合にはその変更した情報をメッセージリストに印字するので確認すること。

7　複数の権者が三者損賠を受領している場合は「受領額」にはその合計額を記入する。

8　「三者損賠受領日」は、一度登記されると変更することはできないため、登記済の受領日が誤っている場合には、訂正処理で訂正すること。

9　転給後の支払権者と資格者との同一生計関係については、転給前の支払権者と当該資格者とのデータを引用するので、転給前後で支払権者との関係に変動のあった者に対してのみ同一生計関係の有無を記入すること。もし、転給前と同じデータを記入した場合にはキャンセルとなる。

また、転帰後の支払権者と同順位の者については、同一生計の有無を記入する必要はない。

10　同一生計関係は、枝番号の昇順に上の項目欄からつめて記入すること。

11　厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点のとおりである。（Ⅱ-3-109 ページ参照）

12　厚年等情報を入力しなかった場合、厚年等調整コードは次のとおり変更される。

| 転給前厚年等調整コード（581・586） | | 転給後厚年等調整コード（581・586） | |
|---|---|---|---|
| コード | 内　　容 | コード | 内　　容 |
| 0 | 調整 | 3 | 不支給（不該当） |
| 1 | 調査中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 2 | 請求中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 3 | 不支給（不該当） | 3 | 不支給（不該当） |
| 4 | 未加入 | 4 | 未加入 |
| 5 | 請求拒否 | 3 | 不支給（不該当） |
| 6 | 支給停止 | 3 | 不支給（不該当） |
| 7 | 老齢年金等選択 | 3 | 不支給（不該当） |

なお、厚年等年額は「0 円」に変更される。これらの変更情報をメッセージリストに印字するので確認すること。

13　転給したことにより、在学者が援護費対象から外れる場合は、システムで自動的に転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に関する援護費通知書（４５４）が出力される。また、変更票入力の際、在学者を同一生計無へ変更すると、その在学者の援護費は年金と連動して同一生計無を事由とする中断となる。この場合、変更決議書入力後、援護費中断に関する援護費通知書（４５４）が出力される。なお、他に在学者が存在しない場合（他の在学者が全員中断中の場合も含む。）で、援護費の内払残額が残っている場合には援護費転帰を事由として強制的に債権管理とするため、債務者登録票（39582）が出力される。

また、支給停止者が在学者である場合は、年金の支給停止と連動して援護費は中断する。この場合で援護費に過誤払いが存在し、かつ他に中断以外の在学者が存在しない場合にも援護費強制債務となり、債務者登録票（39582）が出力される。

14　前支払権者の定期報告が提出・未提出にかかわらず、転給処理を受付した年月日が、Ａグループ 3/1～5/31、Ｂグループ 7/1～9/30 の場合には、定期報告を提出したもの（Ａグループ 6 月第一開庁日提出、Ｂグループ 10 月第一開庁日提出）として管理する。

15　支給停止（14-00）

権者払中に労働者災害補償保険法第16条の５第１項の規定により支払権者の住所が１年以上明らかでないため、同順位の支払権者から「遺族（補償）年金支給停止申請書（様式第14号)」、又は「特別遺族年金支給停止申請書（様式第９号)」が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | | × | | | | | |
| 8 | 様式番号 | | 14-00 | 14-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | × | × | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **591** | **591** | | | |
| 15 | 変更年月（日） | | | ● | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 | 支給停止者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | | |
| 17 | 項目番号 | | | 591 | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 支給停止事由(1) | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

記入要領

| 番号 | 入力項目 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「591」及び項目名「行方不明・解除」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「591」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 支払権者の所在が不明となった日（通常は、警察に捜索願等が提出された日）を記入する。 |
| 16 | 枝番号 | 所在が不明となった支払権者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「591」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 次のコードを記入する。<br>行方不明 …… 1 |

(ハ) 出力帳票一覧

変更票を入力して出力される帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　支給停止者が援護費の在学者である場合、または支給停止者と同一生計有の在学者がいる場合、援護費は年金と連動して年金の支給停止を事由とする中断になる。この場合、変更決議書入力後、援護費中断に関する援護費決定通知書（４５４）が出力される。

2　権者払中のため、支給停止を入力すると算定基礎が支給停止者の分だけ減額されて支給される。

3　支給停止の変更決定通知書は、支給停止後の権者払いされている受給権者のうち枝番号の一番若い者宛て出力する。

4　支給停止はそ及入力されるため、支払差止中の場合を除いて常に回収を伴う。

5　援護費中断の場合、援護費に過誤払いが存在し、かつ他に中断以外の在学者が存在しない場合は強制的に債権管理とするため、債務者登録票（39582）が出力される。

6　受付年月日について

支給停止申請書を受け付けた年月日を記入する。

なお、受付年月日と変更年月日の間の期間は、１年以上でなければならない。

16　厚年等変更（20-00）

受給権者から「厚生年金保険等の受給関係変更届（様式第 20 号)」が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 20-00 | 20-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号（出力）1 | | × | × | **581** | **581** | | | |
| 15 | 変更年月(日）1 | | | ● | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 1 | | × | × | × | × | | | |
| 17 | 項目番号（入力）1 | | | △ | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ 1 | 厚年調整コード①(1) | | △ | △ | △ | | | |
| 19 | 項目番号（出力）2 | | × | × | **582** | **582** | | | |
| 20 | 変更年月(日）2 | | × | × | × | × | | | |
| 21 | 枝番号 2 | | × | × | × | × | | | |
| 22 | 項目番号（入力）2 | | | △ | △ | △ | | | |
| 23 | 変更データ 2 | 厚年等種別①(1) | | △ | △ | △ | | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 24 | 項目番号（出力）3 | | × | × | 583 | 583 |
| 25 | 変更年月(日）3 | | × | × | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | × | × | × | × |
| 27 | 項目番号（入力）3 | | | △ | △ | △ |
| 28 | 変更データ3 | 厚年年額① | | △ | △ | △ |
| 29 | 項目番号（出力）4 | | × | × | 584 | 584 |
| 30 | 変更年月(日）4 | | × | × | × | × |
| 31 | 枝番号4 | | × | × | × | × |
| 32 | 項目番号（入力）4 | | | △ | △ | △ |
| 33 | 変更データ4 | 厚年年金証書番号① | | △ | △ | △ |
| 34 | 項目番号（出力）5 | | × | × | 586 | 586 |
| 35 | 変更年月(日）5 | | × | × | × | × |
| 36 | 枝番号5 | | × | × | × | × |
| 37 | 項目番号（入力）5 | | | △ | △ | △ |
| 38 | 変更データ5 | 厚年調整コード②(1) | | △ | △ | △ |
| 39 | 項目番号（出力）6 | | × | × | 587 | 587 |
| 40 | 変更年月(日）6 | | × | × | × | × |
| 41 | 枝番号6 | | × | × | × | × |
| 42 | 項目番号（入力）6 | | | △ | △ | △ |
| 43 | 変更データ6 | 厚年等種別②(1) | | △ | △ | △ |
| 44 | 項目番号（出力）7 | | × | × | 588 | 588 |
| 45 | 変更年月(日）7 | | × | × | × | × |
| 46 | 枝番号7 | | × | × | × | × |
| 47 | 項目番号（入力）7 | | | △ | △ | △ |
| 48 | 変更データ7 | 厚年年額② | | △ | △ | △ |
| 49 | 項目番号（出力）8 | | × | × | 589 | 589 |
| 50 | 変更年月(日）8 | | × | × | × | × |
| 51 | 枝番号8 | | × | × | × | × |
| 52 | 項目番号（入力）8 | | | △ | △ | △ |
| 53 | 変更データ8 | 厚年年金証書番号② | | △ | △ | △ |

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「581」及び項目名「厚年調整コード①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「581」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 厚年等年金年額又は種別が変更された場合は、変更後の厚生年金等が支給される年月を記入する。 |
| 17 | 項目番号 1 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「581」を記入する。 |
| 18 | 変更データ 1 | 変更後の厚年等調整コードについて該当する次のコードを記入する。<br>調整 …… 0<br>調査中（未調整）…… 1<br>請求中（調整）（額なし調整）…… 2<br>不支給・不該当（非調整）…… 3<br>未加入（非調整）…… 4<br>請求拒否（非調整）…… 5<br>支給停止（非調整）…… 6<br>老齢年金等選択（非調整）…… 7<br>厚年調整コードは厚年変更については必須入力である。<br>厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点（Ⅱ-3-109、110 ページ参照）のとおりである。 |
| 19 | 項目番号・項目名 2 | 項目番号「582」及び項目名「厚年種別①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「582」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 22 | 項目番号 2 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「582」を記入する。 |

| 番号 | 入力項目 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 23 | 変更データ2 | 変更後の厚年等種別について該当する次のコードを記入する。<br>旧厚生年金保険 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1<br>新厚生年金保険・新国民年金 ・・・・・・・・・・・・ 2<br>旧船員保険 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3<br>新厚生年金保険 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4<br>旧国民年金 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5<br>新国民年金 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6<br>厚年種別については厚年等調整コードが調整及び請求中の場合は必須入力、それ以外の場合は入力不可である。 |
| 24 | 項目番号・項目名3 | 項目番号「583」及び項目名「厚年年額①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「583」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 27 | 項目番号3 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「583」を記入する。 |
| 28 | 変更データ3 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚年等年金年額を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である。 |
| 29 | 項目番号・項目名4 | 項目番号「584」及び項目名「厚年年証番号①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「584」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 32 | 項目番号4 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「584」を記入する。 |
| 33 | 変更データ4 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚生年金等年金証書番号を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である。 |
| 項目番号「34」以降については、遺族（補償）年金の場合にのみ項目・項目名が印字され、変更情報を記入することができる。 | | |
| 34 | 項目番号・項目名5 | 項目番号「586」及び項目名「厚年調整コード②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「586」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 37 | 項目番号5 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「586」を記入する。 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 38 | 変更データ 5 | 変更後の厚年等調整コードについて該当する次のコードを記入する。<br>調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0<br>調査中（未調整）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1<br>請求中（調整）（額なし調整）・・・・・・・・・・・・ 2<br>不支給・不該当（非調整）・・・・・・・・・・・・・・・ 3<br>未加入（非調整）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4<br>請求拒否（非調整）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5<br>支給停止（非調整）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6<br>老齢年金等選択（非調整）・・・・・・・・・・・・・・・ 7<br>遺族（補償）年金のみ入力が可能である。<br>厚年調整コードは厚年変更については必須入力である。<br>厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点（Ⅱ-3-109、110 ページ参照）のとおりである。 |
| 39 | 項目番号・項目名 6 | 項目番号「587」及び項目名「厚年種別②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「587」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 42 | 項目番号 6 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「587」を記入する。 |
| 43 | 変更データ 6 | 変更後の厚年等種別について次のコードを記入する。<br>旧国民年金 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5<br>厚年種別については厚年等調整コードが調整及び請求中の場合は必須入力、それ以外の場合は入力不可である。 |
| 44 | 項目番号・項目名 7 | 項目番号「588」及び項目名「厚年年額②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「588」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 47 | 項目番号 7 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「588」を記入する。 |
| 48 | 変更データ 7 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚年等年金年額を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である。 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 49 | 項目番号・項目名 8 | 項目番号「589」及び項目名「厚年年証番号②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「589」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 52 | 項目番号 8 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「589」を記入する。 |
| 53 | 変更データ 8 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚生年金等年金証書番号を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である。 |

(ハ) 出力帳票一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

(ニ) 留意点

1　厚年等調整コード別の入力条件は次のとおりである。

| 厚年等調整コード (581・586) | | | 厚年等種別 | 厚年等年額 | 厚年等調整開始年月 | 厚年等年金証書番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| コード | 内容 | 調整区分 | | | | |
| 0 | 調整 | 調整 | ● | ● | ● | ▲ |
| 1 | 調査中 | 未調整 | × | × | ● | × |
| 2 | 請求中 | 調整（額なし調整） | ● | × | ● | × |
| 3 | 不支給（不該当） | 非調整 | × | × | ● | × |
| 4 | 未加入 | 非調整 | × | × | ● | × |
| 5 | 請求拒否 | 非調整 | × | × | ● | × |
| 6 | 支給停止 | 非調整 | × | × | ● | × |
| 7 | 老齢年金等選択 | 非調整 | × | × | ● | × |

● … 必須、▲ … 任意省略可能、×…入力不可

2　厚年等種別の変更可能パターンは次のとおりである。

| 変更前 | | | 変更後 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 厚年種別①コード | 厚年種別②コード | 内容 | 1 | 3 | 5 | 1・5 | 3・5 | 2 | 4 | 6 |
| 1 | － | 旧厚年 | ― | × | × | ● | × | ● | ● | ● |
| 3 | － | 旧船員 | × | ― | × | × | ● | × | × | × |
| 5 | － | 旧国年（傷病・障害） | × | × | ― | × | × | × | × | ● |
| － | 5 | 旧国年（遺族） | × | × | ― | × | × | × | ● | × |
| 1 | 5 | 旧厚年・国年 | ● | × | ● | ― | × | × | × | × |
| 3 | 5 | 旧船員・国年 | × | ● | ● | × | ― | × | × | × |
| 2 | － | 新厚年 | × | × | × | × | × | ― | ● | ● |
| 4 | － | 新厚年 | × | × | × | × | × | ● | ― | ● |
| 6 | － | 新国年（傷病・障害） | × | × | ● | × | × | ● | ● | ― |
| 6 | － | 新国年（遺族） | × | × | × | × | × | ● | ● | ― |

●･･･変更可　　×･･･変更不可　　―･･･変更ではない

3　厚年等調整コードの変更可能パターンは次のとおりである。

| 変更前 | | 変更後 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コード | 内容 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 9 |
| 0 | 調整 | ● | × | × | ● | × | × | ● | ● | × |
| 1 | 調査中 | ● | × | ● | ● | ● | ● | ● | ● | × |
| 2 | 請求中 | ● | × | ● | ● | × | × | ● | ● | × |
| 3 | 不支給（不該当） | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 4 | 未加入（傷病・障害） | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 4 | 未加入（遺族） | ● | × | ● | ● | × | ● | ● | ● | × |
| 5 | 請求拒否 | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 6 | 支給停止 | ● | × | × | ● | × | × | × | ● | × |
| 7 | 老齢年金等選択 | ● | × | × | × | × | × | ● | × | × |

●･･･変更可　　×･･･変更不可

4　厚年等年金証書番号の形態については、別表５を参照すること。

5　厚年種別②の項目名・項目番号は遺族（補償）年金のみ印字する。

6　厚年種別①と厚年種別②とで変更年月が異なる場合には別々に処理すること。

7　労災年金額に変更がなく、追回額が発生しない事案については、受給権者への通知を要しないことから、変更決定決議時に変更決定通知書は出力されないので留意すること。

17　遺族年金失権（同時決議）(21-00)

転給者から現支払権者の「遺族（補償）年金受給権者失権届（様式第 21 号)」と併せて「遺族（補償）年金転給等申請書（様式第 13 号)」が提出された場合、又は「特別遺族年金受給権者失権届（様式第 5 号)」と併せて「特別遺族年金転給等申請書（様式第 2 号)」が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

a　１枚目【変更票（失権)】

失権する受給者の枝番号及び失権事由を入力する。

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | | | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | ● | ● | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | 1 | | | | | |
| 8 | 様式番号 | | 21-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | | | | | |
| 13 | 請求人･申請人氏名 | 転給者枝番号(2) | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | **606** | **606** | | | |
| 15 | 変更年月（日） | 失権年月日(7) | | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 | 失権者枝番号(2) | | ● | ● | | | |
| 17 | 項目番号 | | | × | × | | | |
| 18 | 変更データ | 失権事由(1) | | ● | ● | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | | | |

● … 必須入力項目　　△ … 任意入力項目　　× … 入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

b　２枚目【変更票（転給者・三者損賠情報・同一生計の有無)】(Ⅱ-3-15 ページ)

転給者について三者損賠情報・資格者との同一生計関係を入力する。

c　３枚目【変更票（厚年等情報)】(Ⅱ-3-19 ページ)

転給にかかる厚年等情報を入力する。

d　４枚目【住所・氏名等変更届】（Ⅱ-3-24 ページ）
転給者の支払先が国内払いの場合に記入する。

e　４枚目【外国払入力票】（Ⅱ-3-26 ページ）
転給者の支払先が外国払いの場合に記入する。
「支給停止解除の同時決議」を参照。

(ﾛ) 記入要領

a【変更票（失権)】

| 番号 | 入力項目 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「606」及び項目名「失権（格）事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「606」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 失権事由が生じた年月日を記入する。<br>当該変更年月日は、転給年月日、厚年等変更年月日、三者損賠変更年月日等を兼ねている。 |
| 16 | 枝番号 | 失権した支払権者の枝番号を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 失権事由に該当する次のコードを記入する。<br>婚姻 …… 2<br>養子縁組 …… 3<br>離縁 …… 4<br>障害無 …… 5<br>妻の「障害無」・「離縁」は記入できない。（理由：妻は「障害無」「離縁」を事由として失権できないため。） |

b【変更票（転給者・三者損賠情報・同一生計の有無)】（Ⅱ-3-17 ページ）

c【変更票（厚年等情報)】（Ⅱ-3-21 ページ）

d【住所・氏名等変更届】（Ⅱ-3-25 ページ）

e【外国払入力票】（Ⅱ-3-27 ページ）
「支給停止解除の同時決議」を参照。

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票等を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | - | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票-1 枚目（失権情報） | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更票-2 枚目（転給情報） | 562 | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更票-3 枚目（厚年等情報） | 562 | △※1 | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト(特別遺族) | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　当該処理の対象となる転給は「次順位者への転給」又は「同順位者への転給」である。

2　転給処理は代表者選任も兼ねている。このため、権者払の必要がある場合は転給処理の後に代表者解任処理を行うこと。

3　転給以前に三者損賠情報が登記されていても、今回の処理で三者損賠情報を入力をしなかった場合には「三者損賠受領額」は０円として登記するが、「三者損賠受領年月日・三者コード」については既に登記してある「三者損賠受領年月日・三者コード」を引用し登記する。ただし、転給年月日が傷病年月日から３年を経過している場合は、三者損賠情報は空白として管理する。当該処理が正常に終了した場合には、その変更した情報をメッセージリストに印字するので確認すること。

4　転給者を含め複数の権者が三者損賠を受領している場合は「受領額」にはその合計額を記入すること。

5　転給後の支払権者と資格者との同一生計関係については、転給前の支払権者と当該資格者とのデータを引用するので、転給前後で支払権者との関係に変動のあった者に対してのみ同一生計の有無を記入すること。もし転給前と同じデータを記入した場合はキャンセルとなる。

6　同一生計関係は、枝番号の昇順に上の項目欄からつめて記入すること。

また、転給後の支払権者と同順位の権者については、同一生計の有無を記入する必要はない。

7　転給したことにより、在学者が援護費対象から外れる場合は、システムで自動的に転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に関する援護費通知書（４５４）が出力される。また、変更票入力の際、在学者を同一生計無へ変更すると、その在学者の援護費は年金と連動して同一生計無を事由とする中断となる。この場合、変更決議書入力後、援護費中断に関する援護費通知書（４５４）が出力される。なお、他に在学者が存在しない場合（他の在学者が全員中断中の場合も含む。）で、援護費の内払残額が残っている場合には、援護費転帰を事由として強制的に債権管理とするため、債務者登録票（39582）が出力される。

8　前支払権者の定期報告が提出・未提出にかかわらず転給処理を受付した年月日が、Ａグループ 3/1～5/31、Ｂグループ 7/1～9/30 の場合には、定期報告を提出したもの（Ａグループ 6 月第一開庁日提出、Ｂグループ 10 月第一開庁日提出）として管理する。

9　当該処理では転給年月（失権年月）と厚年等変更年月、三者損賠情報変更年月、算定基礎変更年月は同一である。このため、これらの変更項目について転給年月と異なる変更年月を入力する必要のある場合は、それぞれ単独の変更処理により対応する。

10　厚年等情報を記入しなかった場合、厚年等調整コードは次のとおり変更される。

■同時決議処理時に厚年等情報が入力されない場合

| 転給前厚年等調整コード（581・586） | | 転給後厚年等調整コード（581・586） | |
|---|---|---|---|
| コード | 内　　容 | コード | 内　　容 |
| 0 | 調整 | 3 | 不支給（不該当） |
| 1 | 調査中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 2 | 請求中 | 3 | 不支給（不該当） |
| 3 | 不支給（不該当） | 3 | 不支給（不該当） |
| 4 | 未加入 | 4 | 未加入 |
| 5 | 請求拒否 | 3 | 不支給（不該当） |
| 6 | 支給停止 | 3 | 不支給（不該当） |
| 7 | 老齢年金等選択 | 3 | 不支給（不該当） |

なお、厚年等年額は「0円」に変更される。これらの変更情報はメッセージリストに印字されるので確認すること。

11　帳票の入力順は、帳票の出力順である。したがって、このことを考慮して「枚目」を記入すること。

12　厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点のとおりである。（Ⅱ-3-109ページ参照）

18　遺族（補償）年金失権（21-00）

支払権者である受給権者から「遺族（補償）年金受給権者失権届（様式第 21 号)」、又は「特別遺族年金受給権者失権届（様式第 5 号)」が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | △ | △ | △ | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | | × | | | | | |
| 8 | 様式番号 | | 21-00 | 21-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | × | × | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | 606 | 606 | | | |
| 15 | 変更年月（日） | 失権年月日(7) | | ● | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 | 失権者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | | |
| 17 | 項目番号 | | | 606 | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 失権事由(1) | | ● | ● | ● | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | | |

● … 必須入力項目　　△ … 任意入力項目　　× … 入力不可項目　　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「606」及び項目名「失権（格）事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「606」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 15 | 変更年月日 | 失権事由の生じた年月日を記入する。 |
| 16 | 枝番号 | 失権した支払権者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「606」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 失権事由に該当する次のコードを記入する。<br>婚姻 …… 2<br>養子縁組 …… 3<br>離縁 …… 4<br>障害無 …… 5<br>妻の「障害無」・「離縁」は記入できない。（理由：妻は「障害無」「離縁」を事由として失権できないため。）<br>なお、失権者が最後の資格者であり全員失権により年金転帰する場合も当該コードを記入し、失権させること。 |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 計算式リスト | | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　支払権者が失権し転給すべき資格者が存在する場合は、年金は転給未処理状態となるので転給処理を行うこと。

2　転給未処理状態となった場合には転給処理以外は入力できない。

3　転給未処理状態の場合は、月次・支払期直前に「転給未処理リスト」を配信する。このリストをもとに速やかに転給すべき受給資格者に転給等申請書の提出を指導すること。

4　転給未処理状態の場合には年金は支給されず、転給の決定年月日の属する支払期より転給者へ支払が開始される。

5　遺族（補償）年金転帰時に失権差額一時金が生じた場合は、「計算リスト」が出力されることから、失権差額一時金の支給決定において、金額の確認に活用すること。

6　援護費の支給がある場合、援護費も連動して転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に係る援護費通知書（454）が出力される。

7　過誤払額を残して全員失権した場合は、全て債権管理となり債務者登録票（39582）が出力される。ただし、支払事故となっている給付が存在する場合はその給付が過誤払に充当できるか否かシステムでは判断できないため、支払事故を解消し、本省（業務課）より配信される支払取消リストを確認後に債権管理もしくは未支給金の給付等の処理を行うこと。

19　算定基礎変更（胎児出生）(22-00)

受給権者から胎児出生に関連して「遺族（補償）年金額算定基礎変更届（様式第 22 号)」が提出された場合の処理である。

なお、胎児出生でその胎児が支払権者となる場合は、転給により処理し、それ以外では算定基礎変更により処理する。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 22-00 | 22-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 01 | 01 | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 1 | | × | × | **601** | **601** | | | |
| 15 | 変更年月（日）1 | | | × | × | × | | | |
| 16 | 枝番号 1 | 胎児の枝番号(2) | | ● | ● | ● | | | |
| 17 | 項目番号 1 | | | 601 | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ 1 | 胎児氏名(16) | | ● | ● | ● | | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 19 | 項目番号2 | | × | × | 602 | 602 |
| 20 | 変更年月（日）2 | | | × | × | × |
| 21 | 枝番号2 | | | × | × | × |
| 22 | 項目番号2 | | | 602 | △ | △ |
| 23 | 変更データ2 | 胎児生年月日(7) | | ● | ● | ● |
| 24 | 項目番号3 | | × | × | 603 | 603 |
| 25 | 変更年月（日）3 | | | × | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | | × | × | × |
| 27 | 項目番号3 | | | 603 | △ | △ |
| 28 | 変更データ3 | 胎児性別(1) | | ● | ● | ● |
| 29 | 項目番号4 | | × | × | 604 | 604 |
| 30 | 変更年月（日）4 | | | × | × | × |
| 31 | 枝番号4 | 同一生計変更者枝番号(2) | | ● | ● | ● |
| 32 | 項目番号4 | | | 604 | △ | △ |
| 33 | 変更データ4 | 権者との同一生計(1) | | ● | ● | ● |
| 34～53 | | | × | × | × | × |

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であるこ |
| 14 | 項目番号・項目名 1 | 項目番号「601」及び項目名「資格者氏名」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「601」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 16 | 枝番号 1 | 胎児の資格者枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 1 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「601」を記入する。 |
| 18 | 変更データ 1 | 支給事由発生年月日以降において出生した胎児のカナ氏名を記入する。<br>なお、姓と名の間を１字あけて記入する。 |
| 19 | 項目番号・項目名 2 | 項目番号「602」及び項目名「資格者生年月日」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「602」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 22 | 項目番号 2 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「602」を記入する。 |
| 23 | 変更データ 2 | 支給事由発生年月日以降において出生した胎児の生年月日を７桁で記入する。<br>この生年月日は、年齢管理（指定年齢到達 18 歳）を行う上で特に重要であるため正確に記入すること。<br>この生年月日が算定基礎変更の変更年月日となる。 |
| 24 | 項目番号・項目名 3 | 項目番号「603」及び項目名「資格者性別」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「603」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 27 | 項目番号 3 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「603」を記入する。 |
| 28 | 変更データ 3 | 支給事由発生年月日以降において出生した胎児の性別について該当するコードを入力する。<br>男 …… 1<br>女 …… 3 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 29 | 項目番号・項目名 4 | 項目番号「604」及び項目名「同一生計の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「604」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 32 | 項目番号 4 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「604」を記入する。 |
| 33 | 変更データ 4 | 支給事由発生年月日以降において出生した胎児の受給権者との同一生計関係について該当するコードを入力する。<br>同一生計有　…… 0<br>同一生計無　…… 1<br>胎児が受給権者となる場合は「同一生計有」を入力すること。 |

(ハ) 出力帳票一覧

変更票等を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

(ニ) 留意点

1　この処理は胎児からみて先順位者もしくは同順位者が既に存在する場合の処理である。

2　胎児が受給権者であり三者損賠を受領している場合は、三者損賠額を変更する必要が生じる。しかし、算定基礎変更の胎児出生では入力することができない。このため、転給の胎児出生処理により入力し、その後に代表者選任・解任により支払権者をもとの権者に戻すことにより対応する。

20　算定基礎変更（同一生計）(22-00)

受給権者から資格者の同一生計関係について「遺族(補償)年金額算定基礎変更届(様式第22号)」、又は「特別遺族年金額算定基礎変更届（様式第6号)」が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | △ | △ | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 22-00 | 22-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 02 | 02 | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号1 | | × | × | **604** | **604** | | | |
| 15 | 変更年月（日）1 | 変更年月日(7) | | ● | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号1 | 同一生計変更者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | | |
| 17 | 項目番号1 | | | 604 | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ1 | 同一生計の有無(1) | | ● | ● | ● | | | |
| 19 | 項目番号2 | | × | × | **604** | **604** | | | |
| 20 | 変更年月（日）2 | 変更年月日(7) | | × | × | × | | | |
| 21 | 枝番号2 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ | | | |
| 22 | 項目番号2 | | | △ | △ | △ | | | |
| 23 | 変更データ2 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ | △ | | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印　刷　名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 24 | 項目番号3 | | × | × | 604 | 604 |
| 25 | 変更年月（日）3 | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 26 | 枝番号3 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 27 | 項目番号3 | | | △ | △ | △ |
| 28 | 変更データ3 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 29 | 項目番号4 | | × | × | 604 | 604 |
| 30 | 変更年月（日）4 | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 31 | 枝番号4 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 32 | 項目番号4 | | | △ | △ | △ |
| 33 | 変更データ4 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 34 | 項目番号5 | | × | × | 604 | 604 |
| 35 | 変更年月（日）5 | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 36 | 枝番号5 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 37 | 項目番号5 | | | △ | △ | △ |
| 38 | 変更データ5 | 同一生計の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 39～53 | | | × | × | × | × |

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 1 | 項目番号「604」及び項目名「同一生計の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「604」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 1 | 同一生計関係に変更が生じた年月日を記入する。<br>変更年月日は当項目のみ記入できる。したがって、異なった変更年月日による複数人の同一生計関係の変更は、それぞれの変更年月日毎に決議が必要になる。 |
| 16 | 枝番号 1 | 同一生計関係に変更が生じた資格者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 1 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「604」を記入する。 |
| 18 | 変更データ 1 | 変更後の同一生計関係について次の該当するコードを記入する。<br>同一生計有 …… 0<br>同一生計無 …… 1 |
| 19 | 項目番号・項目名 2 | 項目番号「604」及び項目名「同一生計の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「604」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 22 | 項目番号 2 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「604」を記入する。 |
| 21 | 枝番号 2 | 同一生計関係に変更が生じた資格者の枝番号を記入する。 |
| 23 | 変更データ 2 | 変更後の同一生計関係について次の該当するコードを記入する。<br>同一生計有 …… 0<br>同一生計無 …… 1 |
| 24<br>～<br>38 | 枝番号 3～5<br>変更データ 3～5 | 資格者の同一生計関係について項目 19～23 と同様に３人分記入が可能である。 |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

(ニ) 留意点

1　枝番号の昇順に記入すること。

2　在学者である資格者の同一生計を「無」に変更すると、その在学者の援護日は年金と連動して、同一生計無を事由とする中断となる。この場合、変更決議書入力後、援護費中断に関する援護費通知書（454）が出力される。

3　在学者である資格者の同一生計を「有」に変更しても、以前に連動して中断となっていた援護費は自動的に復帰されないため、援護費の変更処理で対応すること。

21　算定基礎変更（障害の有から無への変更）(22-00)

受給権者から受給権者及び資格者の障害の状態について「遺族（補償）年金額算定基礎変更届（様式第 22 号)」、又は「特別遺族年金額算定基礎変更届（様式第 6 号)」が提出された場合の処理である。なお、この処理において入力可能な者は障害の状態を変更することによって、受給権に変動を及ぼさないものに限る処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | △ | △ | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 22-00 | 22-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 03 | 03 | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 1 | | × | × | **605** | **605** | | | |
| 15 | 変更年月（日）1 | 変更年月日(7) | | ● | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 1 | 障害有無変更者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | | |
| 17 | 項目番号 1 | | | 605 | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 障害の有無(1) | | 0 | 0 | 0 | | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 19 | 項目番号2 | | × | × | 605 | 605 |
| 20 | 変更年月（日）2 | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 21 | 枝番号2 | 障害有無変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 22 | 項目番号2 | | | △ | △ | △ |
| 23 | 変更データ2 | 障害の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 24 | 項目番号3 | | × | × | 605 | 605 |
| 25 | 変更年月（日）3 | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 26 | 枝番号3 | 障害有無変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 27 | 項目番号3 | | | △ | △ | △ |
| 28 | 変更データ3 | 障害の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 29 | 項目番号4 | | × | × | 605 | 605 |
| 30 | 変更年月（日）4 | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 31 | 枝番号4 | 障害有無変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 32 | 項目番号4 | | | △ | △ | △ |
| 33 | 変更データ4 | 障害の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 34 | 項目番号5 | | × | × | 605 | 605 |
| 35 | 変更年月（日）5 | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 36 | 枝番号5 | 障害有無変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 37 | 項目番号5 | | | △ | △ | △ |
| 38 | 変更データ5 | 障害の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 39～53 | | | × | × | × | × |

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入力項目 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 1 | 項目番号「605」及び項目名「障害の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「605」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 1 | 障害の有無に変更が生じた年月日を記入する。<br>変更年月日は当項目のみ記入できる。したがって、異なった変更年月日による複数人の障害の有無の変更は、それぞれの変更年月日毎に処理すること。 |
| 16 | 枝番号 1 | 障害の有無に変更が生じた受給権者又は資格者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 1 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「605」を記入する。 |
| 18 | 変更データ 1 | 変更後の障害の有無について次の該当するコードを記入する。<br>障害無 …… 0 |
| 19 | 項目番号・項目名 2 | 項目番号「605」及び項目名「障害の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「605」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 21 | 枝番号 2 | 障害の有無に変更が生じた受給権者又は資格者の枝番号を記入する。 |
| 22 | 項目番号 2 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「605」を記入する。 |
| 23 | 変更テータ 2 | 変更後の障害の有無について次の該当するコードを記入する。<br>障害無 …… 0 |
| 24<br>～<br>38 | 枝番号 3～5<br>変更データ 3～5 | 障害の有無について項目 19～23 と同様に 3 人分記入が可能である。 |

(ハ) 出力帳票一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　× … 非出力

(ニ) 留意点

1　この処理において入力が可能な受給権者及び資格者は、18 歳未満で障害を有し、続柄「子、孫、兄弟姉妹」である受給権者または資格者である。この者以外の「障害の有無」の変更については、算定基礎（妻の障害の有無（Ⅱ-3-132 ページ～）又は算定基礎（失権（格））（Ⅱ-3-134 ページ～）により対応する。

2　支給事由発生年月日時点で 55 歳以上であり、かつ変更年月日時点で 60 歳以上の障害を有する続柄である「夫、父母、祖父母、兄弟姉妹」の場合は、障害を「有」から「無」へとしても算定基礎の人数の増減に変更を及ぼさないことから入力はできない。

3　この処理は失権（格）を伴わないため、算定基礎の増減に変更を及ぼすことはない。したがって、続柄「子供、孫、兄弟姉妹」において、当該処理により障害の状態を「無」に変更した後は、18 歳到達により自動的に失権（格）する。

4　この処理は障害の「有」から「無」への変更のみ可能であるから、障害の「無」を障害の「有」にする変更については訂正処理により対応すること。

5　障害の有無が「有」から「無」になることによって、若年停止となる資格者については変更帳票で入力することはできないので訂正処理により障害「有」の資格者を取り消して、障害「無」の資格者を追加する処理を行うこと。この処理によりデータの不整合が生じ、本来ならありえない回収額が発生することがあるが、その場合は本省での特別処理が必要になるため、文書報告(1)第 5 号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

なお、権者については、基本権取消事案となるため、文書報告(1)第 3 号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

6　枝番号の昇順に記入すること。

22　算定基礎変更（妻の障害の有無の変更）(22-00)

支払権者たる妻から自分の障害の状態について「遺族（補償）年金額算定基礎変更届（様式第 22 号)」が提出された場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | △ | △ | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 22-00 | 22-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 04 | 04 | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **605** | **605** | | | |
| 15 | 変更年月（日） | 変更年月日(7) | | ● | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 | | | × | × | × | | | |
| 17 | 項目番号 | | | 605 | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ | 障害の有無(1) | | ● | ● | ● | | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金の年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「605」及び項目名「障害の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「605」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 障害の有無に変更が生じた年月日を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「605」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 変更後の障害の有無について次の該当するコードを記入する。<br>障害無 …… 0<br>障害有 …… 1 |

(ﾊ) 出力帳票一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

(ﾆ) 留意点

算定基礎に変更を及ぼすのは、妻の年齢が障害の有無の変更時点で 55 歳未満であり他に年金資格者が存在しない場合である。したがって、妻 55 歳以上での障害の有無の変更は入力できない。

23　算定基礎変更（失権（格））(22-00)

受給権者から支払権者以外の資格者の失権・失格について「遺族（補償）年金額算定基礎変更届（様式第 22 号)」、又は「特別遺族年金額算定基礎変更届（様式第 6 号)」が提出された場合の処理である。

必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | △ | △ | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 22-00 | 22-00 | | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 05 | 05 | | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | ● | ● | ● | ● | | | |
| 14 | 項目番号 1 | | × | × | **606** | **606** | | | |
| 15 | 変更年月（日）1 | 変更年月日(7) | | ● | ● | ● | | | |
| 16 | 枝番号 1 | 失権(格)者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | | |
| 17 | 項目番号 1 | | | 606 | △ | △ | | | |
| 18 | 変更データ 1 | 失権(格)事由(1) | | ● | ● | ● | | | |
| 19 | 項目番号 2 | | × | × | **606** | **606** | | | |
| 20 | 変更年月（日）2 | 変更年月日(7) | | × | × | × | | | |
| 21 | 枝番号 2 | 失権(格)者枝番号(2) | | △ | △ | △ | | | |
| 22 | 項目番号 2 | | | △ | △ | △ | | | |
| 23 | 変更データ 2 | 失権(格)事由(1) | | △ | △ | △ | | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印　刷　名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 24 | 項目番号3 | | × | × | 606 | 606 |
| 25 | 変更年月（日）3 | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 26 | 枝番号3 | 失権(格)者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 27 | 項目番号3 | | | △ | △ | △ |
| 28 | 変更データ3 | 失権(格)事由(1) | | △ | △ | △ |
| 29 | 項目番号4 | | × | × | 606 | 606 |
| 30 | 変更年月（日）4 | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 31 | 枝番号4 | 失権(格)者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 32 | 項目番号4 | | | △ | △ | △ |
| 33 | 変更データ4 | 失権(格)事由(1) | | △ | △ | △ |
| 34 | 項目番号5 | | × | × | 606 | 606 |
| 35 | 変更年月（日）5 | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 36 | 枝番号5 | 失権(格)者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 37 | 項目番号5 | | | △ | △ | △ |
| 38 | 変更データ5 | 失権(格)事由(1) | | △ | △ | △ |
| 39～53 | | | × | × | × | × |

記入要領

| 番号 | 入力項目 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名1 | 項目番号「606」及び項目名「失権（格）事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「606」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 15 | 変更年月日1 | 失権（格）事由に変更が生じた年月日を記入する。<br>変更年月日はこの項目のみ記入できる。よって、異なった変更年月日による複数人の失権（格）は、それぞれの変更年月日毎に決議が必要になる。 |
| 16 | 枝番号1 | 失権・失格する資格者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号1 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「606」を記入する。 |
| 18 | 変更データ1 | 失権・失格事由について次の該当するコードを入力する。<br>死亡 …… 1<br>婚姻 …… 2<br>養子縁組 …… 3<br>離縁 …… 4<br>障害無 …… 5 |
| 19 | 項目番号・項目名2 | 項目番号「606」及び項目名「失権（格）事由」を印字される。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「606」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 21 | 枝番号2 | 失権・失格する資格者の枝番号を記入する。 |
| 22 | 項目番号2 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「606」を記入する。 |
| 23 | 変更テータ2 | 失権・失格事由について次の該当するコードを入力する。<br>死亡 …… 1<br>婚姻 …… 2<br>養子縁組 …… 3<br>離縁 …… 4<br>障害無 …… 5 |
| 24<br>～<br>38 | 枝番号3～5<br>変更データ3～5 | 資格者等の失権・失格について項目19～23と同様に3人分記入が可能である。 |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不変更 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-不変更 | - | × | × | × | × | × | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

(ニ) 留意点

1　この処理は、支払権者以外の受給権者、資格者を失権・失格させる処理である。ただし、同一生計の有無を事由とする失格は、算定基礎（同一生計）で処理することになる。

2　在学者である権者・資格者は、この処理に連動して援護費も転帰する。この場合変更決議書入力後、援護費転帰に関する援護費通知書（454）が出力される。

3　妻は常に支払権者であるため入力できない。

4　記入する場合は、枝番号の昇順に記入すること。

24　受給権消滅【死亡（傷病・障害年金）(90-02)】

傷病・障害（補償）年金で支払権者の死亡を定期報告書等によって把握し、遺族等から「年金等受給権者死亡届（年金申請様式第６号)」が提出されない場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | △ | △ | △ | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-02 | 90-02 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 01 | 01 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人･申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **542** | **542** | | |
| 15 | 変更年月（日） | 転帰年月日(7) | | ● | ● | ● | | |
| 16 | 枝番号 | | | × | × | × | | |
| 17 | 項目番号 | | | 542 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 転帰事由(1) | | 1 | 1 | 1 | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 傷病（補償）年金、障害（補償）年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「542」及び項目名「転帰事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「542」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 死亡年月日を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「542」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 次のコードを記入する。<br>死亡　…… 1 |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 計算式リスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

㈡ 留意点

1　受付年月日について

年金等受給権者死亡届が提出されないため記入しない。

なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

2　失権差額一時金について【障害（補償）年金】

a　死亡転帰入力時に失権差額一時金が生じた場合は、「年金・一時金計算式リスト」が出力されることから、失権差額一時金の支給決定において、金額の確認に活用すること。

また、年金転帰時に過誤払額が生じた場合は、失権差額一時金に充当する。

b　転帰した障害（補償）年金が再発・再治ゆ事案である場合は、そのメッセージと再発・再治ゆ前の障害（補償）年金の年金証書番号をすべて印字したメッセージリストが出力されることから、転帰情報検索によりメッセージリストに印字された障害（補償）年金の既支給額を調べること。

なお、この既支給額は死亡時の換算率を加味した金額である。

《計算式》

【失権差額一時金額＝直近の年金の失権差額一時金額－［再発・再治ゆ前
の年金の（支払済額の合計＋前払一時金額＋損賠調整累計額）］】

なお、失権差額一時金が発生した場合及び過誤払額を失権差額一時金に充当した場合には、文書報告⑴第２号により本省（業務課）に報告し、指示を受けること。

3　変更決定通知書の宛名・宛先は印字しないため、手書きで記入すること。

4　援護費の支給がある場合、援護費も連動して転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に係る援護費の決定通知書（454）が出力される。

5　受給権者の死亡により過誤払額を残して年金が転帰した場合で、内払充当すべき次給付がない場合は、債権コードに債権選択の「１」を記入すること。これにより過誤払額の処理方法が債権管理となり債務者登録帳票（39582）が出力される。

6　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

25　受給権消滅【失権・死亡（遺族年金・特別遺族年金）(90-02)】

支払権者の死亡を定期報告書等によって把握し、遺族等から「年金等受給権者死亡届（年金申請様式第６号)」が提出されない場合の処理である。遺族（補償）年金が全員失権する場合と転給未処理になる場合及び権者払中に一人が失権する場合がある。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | △ | △ | △ | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-02 | 90-02 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 01 | 01 | 01 | 01 | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人･申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | 606 | 606 | | |
| 15 | 変更年月（日） | 失権年月日(7) | | ● | ● | ● | | |
| 16 | 枝番号 | 失権者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | |
| 17 | 項目番号 | | | 606 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 失権事由(1) | | 1 | 1 | 1 | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆ゴシック体の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「606」及び項目名「失権（格）事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「606」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 死亡年月日を記入する。 |
| 16 | 枝番号 | 死亡した支払権者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「606」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 次のコードを記入する。<br>死亡　…… 1 |

(ハ) 出力帳票一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 計算式リスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　受付年月日について

年金等受給権者死亡届が提出されないため記入しない。

なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

2　全員失権の場合

a　死亡転帰時に失権差額一時金が生じた場合は、「計算式リスト」が出力されることから、失権差額一時金の支給決定において、金額の確認に活用すること。

b　変更決定通知書の宛名・宛先は印字しないため、手書きで記入すること。

c　援護費の支給がある場合、援護費も連動して転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に係る援護費通知書（454）が出力される。

d　過誤払額を残して年金転帰した場合は、強制的にすべて債権管理となり債務者登録帳票（39582）が出力される。ただし、支払事故となっている給付が存在する場合、その給付が過誤払に充当できるか否かシステムでは判断できないため、支払事故を解消し、本省（業務課）より配信される支払取消リスト確認後に債権管理もしくは未支給金の給付等の処理を行うこと。

3　同順位者又は次順位者が存在する場合

a　転給すべき資格者が存在する場合には、年金は転給未処理状態となるので転給処理を行うこと。転給未処理状態となった場合には、転給処理以外の処理はできないので注意すること。また、転給未処理状態（転給処理がされない状態）が長期にわたる場合、月次・支払期直前に「転給未処理リスト」が配信されるので速やかに転給すべき受給資格者に対し転給等請求書の提出を指導すること。

b　結果的に転給未処理状態となる失権処理では、変更決定通知書の宛名・宛先を印字しない。

c　転給未処理状態の場合には年金は支給されず、転給の決定年月日の属する支払期より転給者へ支払が開始される。

4　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には、「不変更通知書」は出力されない。

26　受給権消滅【遺族（補償）年金・特別遺族年金失権（90-02)】

遺族（補償）年金の支払権者が失権事由に該当することが定期報告書等によって判明した場合にその他の受給者又は遺族から「遺族（補償）年金受給権者失権届（様式第 21 号)」、又は「特別遺族年金受給権者失権届（様式第 5 号)」の提出がない場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | △ | △ | △ | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | | | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-02 | 90-02 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 02 | 02 | 02 | 02 | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **606** | **606** | | |
| 15 | 変更年月（日） | 失権年月日(7) | | ● | ● | ● | | |
| 16 | 枝番号 | 失権者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | |
| 17 | 項目番号 | | | 606 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 失権事由(1) | | ● | ● | ● | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | |

● … 入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

記入要領

| 番号 | 入力項目 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金のいずれかの年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「606」及び項目名「失権（格）事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「606」をキーボートで打鍵入力する。 |
| 15 | 変更年月日 | 失権事由の生じた年月日を記入する。 |
| 16 | 枝番号 | 失権した支払権者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「606」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 失権事由に該当する次のコードを記入する。<br>婚姻 …… 2<br>養子縁組 …… 3<br>離縁 …… 4<br>障害無 …… 5<br>18歳失権 …… 8<br>妻の「障害無」・「離縁」は記入できない。（理由:妻は「障害無」「離縁」を事由として失権できないため。）<br>なお、失権者が最後の資格者であり全員失権により年金転帰する場合も含む。 |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 計算式リスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　受付年月日について

職権の場合は遺族（補償）年金受給権者失権届が提出されないため記入しない。

なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

2　支払権者が失権し転給すべき資格者が存在する場合は、年金は転給未処理状態となるので転給処理を行うこと。

3　転給未処理状態となった場合には転給処理以外は入力できない。

4　転給未処理状態の場合には、月次・支払期直前に「転給未処理リスト」を配信する。このリストをもとに速やかに転給すべき受給者が転給等請求書の提出をすべく指導すること。

5　当該失権により全員失権する場合、当期に支払われる年金は失権者に通常どおり支払われる。

6　転給未処理状態の場合には年金は支給されず、転給の決定年月日の属する支払期より転給者へ支払が開始される。

7　遺族（補償）年金転帰時に失権差額一時金が生じた場合は、「計算リスト」が出力されることから、失権差額一時金の支給決定において、金額の確認に活用すること。

8　援護費の支給がある場合、援護費も連動して転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に係る援護費通知書（454）が出力される。

9　過誤払額を残して全員失権した場合は、すべて債権管理となり債務者登録帳票（39582）が出力される。ただし、支払事故となっている給付が存在する場合は、その給付が過誤払に充当できるか否かシステムでは判断できないため、支払事故を解消し、本省（業務課）より配信される支払取消リストを確認後に債権管理もしくは未支給金の給付等の処理を行うこと。

10　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

11　18 歳失権について

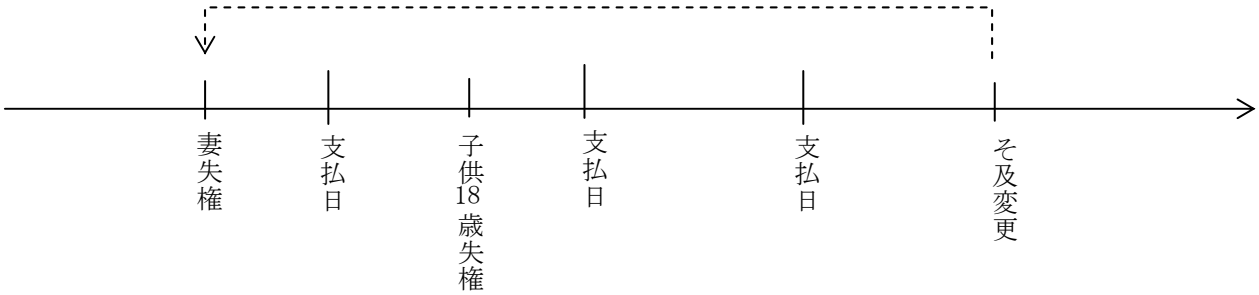
平成 8 年 4 月 2 日以降に 18 歳の誕生日を迎える者については、18 歳となった日以後の最初の 3 月 31 日が 18 歳失権の日となる。

なお、この場合、4 月最初のシステム稼働日に 18 歳失権した者に対する変更決定通知書（帳票 453）を自動配信する。ただし、全員失権する場合は、4 月支払期処理後の最初のシステム稼働日に変更決定通知書を配信する。また、援護費も自動的に転帰となるので、援護費対象者がいる場合は援護費転帰に係る援護費通知書（454）も同日に配信する。

12　18 歳到達は前記 10 のとおり、年齢の自動管理システムで行っているが、次の場合に限り職権により入力する必要が生じる。

①　18 歳失権（格）を取消し、新たに 18 歳失権（格）させる場合

例　直近の失権（格）者より前にそ及失権（格）することによって年金が転帰する処理




処理手順

1　子供の 18 歳失権を取消す。

2　妻の失権を入力する。

3　再び子供を 18 歳失権させて年金を転帰させる。

②　そ及して新規支給決定を行い、かつ、当期より前に 18 歳失権する者が最後の権者である場合には、システムでは自動的に失権処理を行わないため職権にて入力を行うこと。

なお、この場合の支給決定決議書には職権による 18 歳失権の入力を促すメッセージを印書する。

27　受給権消滅【障害（補償）年金変更（再発）(90-02)】

定期報告書等により受給権者の障害の状態が再発と判断した場合で、「療養（補償）給付たる療養の給付請求書（様式第5号又は第16号の3)」が提出されない場合、療養（補償）給付の支給決定と同時に行う障害（補償）年金の転帰処理である。

必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | △ | △ | △ | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-02 | 90-02 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 03 | 03 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **542** | **542** | | |
| 15 | 変更年月（日） | 転帰年月日(7) | | ● | ● | ● | | |
| 16 | 枝番号 | | | × | × | × | | |
| 17 | 項目番号 | | | 542 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 転帰事由(1) | | 2 | 2 | 2 | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 障害（補償）年金の年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「542」及び項目名「転帰事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「542」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 変更事由が生じた年月日を記入する。（療養（補償）給付の療養開始年月日と同一である。） |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「542」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 次の受給権消滅事由コードを記入する。<br>再発 …… 2 |

(ﾊ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

㈡ 留意点

1　受付年月日について

　職権の場合は療養（補償）給付たる療養の給付請求書（様式第5号又は第16号の3）が提出されないため記入しない。

　なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

2　障害（補償）年金が再発により過誤払いを残して傷病（補償）年金に移行した場合は、障害（補償）年金の過誤払は次給付である傷病（補償）年金で内払調整される。

3　障害（補償）年金が再発により過誤払いを残して休業（補償）給付へ移行した場合には、当該障害（補償）年金の過誤払は休業（補償）給付で内払調整を行うこととなるが、年金一時金システムのデータ上から当該過誤払額は消えないので、これを削除するために債権者登録票（39582）による「休業内払への変更」処理を行うこと。

4　前払一時金調整残を残して再発した場合に次給付の支給決定を行うと、次給付と内払残額を調整してしまうので、次給付の支給決定前に文書報告(1)第5号により本省（業務課）に報告し、指示を受けること。

5　障害（補償）年金での援護費情報は、次給付として傷病（補償）年金がある場合は引き継がれるため、傷病（補償）年金での援護費の支給決定の必要はない。

　ただし、障害（補償）年金の転帰年月日と傷病（補償）年金の支給事由発生年月日が同一の場合に限られる。

6　援護費の支給がある場合、変更決議書入力後、援護費転帰に係る援護費通知書（454）が必ず出力される。従って、上記５に該当し、援護費が次給付に引き継がれる場合は、次給付の決議書またはメッセージリストに援護費を引き継いだ旨のメッセージが印書されるので、内容を確認のうえ、当該援護費通知書を破棄すること。

7　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

28　職権変更【厚年等変更（90-03)】

定期報告等により受給権者の厚生年金保険等の受給関係に変更が生じていることを把握した場合で、支払権者より「厚生年金保険等の受給関係変更届（様式第 20 号)」が提出されない場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | | | | | | |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | × | × | × | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-03 | 90-03 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 01 | 01 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人･申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 1 | | × | × | **581** | **581** | | |
| 15 | 変更年月（日）1 | | | ● | ● | ● | | |
| 16 | 枝番号 1 | | × | × | × | × | | |
| 17 | 項目番号 1 | | | △ | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ 1 | 厚年調整コード①(1) | | △ | △ | △ | | |
| 19 | 項目番号 2 | | × | × | **582** | **582** | | |
| 20 | 変更年月（日）2 | | × | × | × | × | | |
| 21 | 枝番号 2 | | × | × | × | × | | |
| 22 | 項目番号 2 | | | △ | △ | △ | | |
| 23 | 変更データ 2 | 厚年等種別①(1) | | △ | △ | △ | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( ) の数字は入力に必要な桁数を表す。

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 24 | 項目番号3 | | × | × | 583 | 583 |
| 25 | 変更年月（日）3 | | × | × | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | × | × | × | × |
| 27 | 項目番号3 | | | △ | △ | △ |
| 28 | 変更データ3 | 厚年年額① | | △ | △ | △ |
| 29 | 項目番号4 | | × | × | 584 | 584 |
| 30 | 変更年月（日）4 | | × | × | × | × |
| 31 | 枝番号4 | | × | × | × | × |
| 32 | 項目番号4 | | | △ | △ | △ |
| 33 | 変更データ4 | 厚年年金証書番号①(14) | | △ | △ | △ |
| 34 | 項目番号5 | | × | × | 586 | 586 |
| 35 | 変更年月（日）5 | | × | × | × | × |
| 36 | 枝番号5 | | × | × | × | × |
| 37 | 項目番号5 | | | △ | △ | △ |
| 38 | 変更データ5 | 厚年調整コード②(1) | | △ | △ | △ |
| 39 | 項目番号6 | | × | × | 587 | 587 |
| 40 | 変更年月（日）6 | | × | × | × | × |
| 41 | 枝番号6 | | × | × | × | × |
| 42 | 項目番号6 | | | △ | △ | △ |
| 43 | 変更データ6 | 厚年等種別②(1) | | △ | △ | △ |
| 44 | 項目番号7 | | × | × | 588 | 588 |
| 45 | 変更年月（日）7 | | × | × | × | × |
| 46 | 枝番号7 | | × | × | × | × |
| 47 | 項目番号7 | | | △ | △ | △ |
| 48 | 変更データ7 | 厚年年額② | | △ | △ | △ |
| 49 | 項目番号8 | | × | × | 589 | 589 |
| 50 | 変更年月（日）8 | | × | × | × | × |
| 51 | 枝番号8 | | × | × | × | × |
| 52 | 項目番号8 | | | △ | △ | △ |
| 53 | 変更データ8 | 厚年年金証書番号②(14) | | △ | △ | △ |

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 14 | 項目番号・項目名 1 | 項目番号「581」及び項目名「厚年調整コード①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「581」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 1 | 厚年等年金年額又は種別が変更された場合は、変更後の厚生年金等が支給される年月を記入する。 |
| 17 | 項目番号 1 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「581」を記入する。 |
| 18 | 変更データ 1 | 変更後の厚年等調整コードについて該当する次のコードを記入する。<br>調整 ……0<br>調査中（未調整） ……1<br>請求中（調整）（額なし調整）……2<br>不支給・不該当（非調整） ……3<br>未加入（非調整） ……4<br>請求拒否（非調整） ……5<br>支給停止（非調整） ……6<br>老齢年金等選択（非調整） ……7<br>厚年調整コードは厚年変更については必須入力である。<br>厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点（P227・228 参照）のとおりである。 |
| 19 | 項目番号・項目名 2 | 項目番号「582」及び項目名「厚年種別①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「582」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 22 | 項目番号 2 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「582」を記入する。 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 23 | 変更データ 2 | 変更後の厚年等種別について該当する次のコードを記入する。<br>旧厚生年金保険　…… 1<br>新厚生年金保険・新国民年金…… 2<br>旧船員保険…… 3<br>新厚生年金保険…… 4<br>旧国民年金…… 5<br>新国民年金…… 6<br>厚年種別については厚年等調整コードが調整及び請求中の場合は必須入力、それ以外の場合には入力不可である。 |
| 24 | 項目番号・項目名 3 | 項目番号「583」及び項目名「厚年年額①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「583」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 27 | 項目番号 3 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「583」を記入する。 |
| 28 | 変更データ 3 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚年等年金年額を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である。 |
| 29 | 項目番号・項目名 4 | 項目番号「584」及び項目名「厚年年証番号①」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「584」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 32 | 項目番号 4 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「584」を記入する。 |
| 33 | 変更データ 4 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚生年金等年金証書番号を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である。 |
| 項目番号「34」以降については、遺族（補償）年金の場合にのみ項目・項目名が印字され、変更情報を記入することができる。 | | |
| 34 | 項目番号・項目名 5 | 項目番号「586」及び項目名「厚年調整コード②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「586」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 37 | 項目番号 5 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「586」を記入する。 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 38 | 変更データ 5 | 変更後の厚年等調整コードについて該当する次のコードを記入する。<br>調整 …… 0<br>調査中（未調整） …… 1<br>請求中（調整）（額なし調整） …… 2<br>不支給・不該当（非調整） …… 3<br>未加入（非調整） …… 4<br>請求拒否（非調整） …… 5<br>支給停止（非調整） …… 6<br>老齢年金等選択（非調整） …… 7<br>遺族（補償）年金のみ入力が可能である。<br>厚年調整コードは厚年変更については必須入力である。<br>厚年情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点（Ⅱ-3-108、109 ページ参照）のとおりである。 |
| 39 | 項目番号・項目名 6 | 項目番号「587」及び項目名「厚年種別②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「587」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 42 | 項目番号 6 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「587」を記入する。 |
| 43 | 変更データ 6 | 変更後の厚年等種別について次のコードを記入する。<br>旧国民年金 …… 5<br>厚年種別については厚年等調整コードが調整及び請求中の場合は必須入力、それ以外の場合は入力不可である。 |
| 44 | 項目番号・項目名 7 | 項目番号「588」及び項目名「厚年年額②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「588」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 47 | 項目番号 7 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「588」を記入する。 |
| 48 | 変更データ 7 | 前項目で記入した厚年種別に対する厚年等年金年額を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である。 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 49 | 項目番号・項目名８ | 項目番号「589」及び項目名「厚年年証番号②」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「589」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 52 | 項目番号８ | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「589」を記入する。 |
| 53 | 変更データ８ | 前項目で記入した厚年種別に対する厚生年金等年金証書番号を記入する。ただし、厚年等調整コードが調整の場合にのみ必須入力であり、それ以外の場合は入力不可である。 |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

㈡ 留意点

1　厚年等年金証書番号の形態については、別表 5 を参照すること。

2　厚年種別②の項目名・項目番号は遺族（補償）年金のみ印字する。

3　厚年種別①と厚年種別②とで変更年月が異なる場合には別々に処理すること。

4　職権であるため実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

5　受付年月日について

厚生年金保険等の受給関係変更届（様式第 20 号）が提出されないため記入しない。

なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

6　労災年金額に変更がなく、追回額が発生しない事案については、受給者への通知を要しないことから、変更決定決議時に変更決定通知書は出力されないため、留意すること。

7　厚年等調整コード別の入力条件、及び厚年等種別の変更可能パターンについては、Ⅱ-3-108、及びⅡ-3-109 を参照すること。

29　職権変更【傷病（補償）年金変更（90-03)】

定期報告等により受給権者の傷病の状態に変更が生じているのを把握した場合で、支払権者から「傷病（補償）年金受給権者障害の状態の変更に関する届・治ゆ届（年金申請様式第3号)」が提出されない場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | △ | △ | △ | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-03 | 90-03 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 02 | 02 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **571** | **571** | | |
| 15 | 変更年月（日） | | | ● | ● | ● | | |
| 16 | 枝番号 | | | × | × | × | | |
| 17 | 項目番号 | | | 571 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 傷病等級号(4) | | ● | ● | ● | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

(　)の数字は入力に必要な桁数を表す。

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 傷病（補償）年金の年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「571」及び項目名「傷病・障害等級号」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「571」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 変更事由が生じた年月日を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「571」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 変更した傷病等級号等を記入する。<br>1　傷病等級号の変更の場合<br>変更後の傷病等級号を先頭0を加えた4桁で記入する。<br>記入例<br>傷病1級1号 …… 0101<br>2　傷病の状態が治ゆし、障害（補償）給付に移行する場合<br>治ゆ …… 8888<br>3　変更後の傷病の状態が傷病等級のいずれにも該当しない場合又は治ゆ後の障害等級が障害（補償）給付に該当しない場合<br>等級不該当 …… 9999 |

(ﾊ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

㈡ 留意点

1　受付年月日について

傷病の状態の変更に関する届・治ゆ届が提出されないため記入しない。

なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

2　治ゆにより過誤払いを残して傷病（補償）年金が転帰し、障害（補償）給付に移行した場合、傷病（補償）年金の過誤払いは、次給付である障害（補償）給付で内払される。

3　等級不該当により、過誤払いを残して傷病（補償）年金が転帰し、休業（補償）給付へ移行した場合、傷病（補償）年金の過誤払いは休業（補償）給付で内払調整を行うこととなるが、年金・一時金システムのデータ上から当該過誤払額は消えないので、債務者登録票による「休業内払への変更」処理（共通編Ⅳ-4-(3)-2～参照）を行うこと。

4　傷病等級が3級又は2級から1級に変更したことにより傷病差額特別年金に過誤払いが残り、かつ特別年金の支給がないときは強制債権となる。

5　治ゆ又は等級不該当により、過誤払いを残して傷病（補償）年金が転帰した場合で、内払充当すべき次給付がない場合は、債権コードに債権選択「1」を記入すること。

これにより過誤払額の処理方法が債権管理となり債務者登録票（39582）が出力される。

6　保険給付、傷病差額特別年金いずれも過誤払いを残して傷病差額特別年金についてのみ債権選択することはできない。

（例）　特別給与等を算定の基礎とする特別支給金の支給がない受給者が、治ゆ等級不該当により保険給付・傷病差額特別年金について過誤払額を残して転帰し、障害（補償）給付に移行した場合、傷病差額特別年金の過誤払額については内払できないため債権選択する必要性があるが、障害（補償）給付の支給決定前に傷病（補償）年金変更で債権選択をすると債権管理する必要のない保険給付までも債権管理してしまう。この場合、過誤払額は「保留」のままにして、次給付である障害（補償）給付の支給決定を行うと保険給付は内払となり、傷病差額特別年金の過誤払額のみ強制債権として債務者登録票（39582）が出力されるため、これにより債権管理の処理を行うこと。

7　転帰事由「治ゆ」で年金転帰した場合、傷病（補償）年金での援護費情報は次給付としての障害（補償）年金に引き継がれるため、障害（補償）年金での援護費の支給決定の必要はない。

ただし、障害（補償）年金での障害等級が3級以上の場合及び傷病（補償）年金の転帰年月日と障害（補償）年金の支給事由発生日が同一の場合に限られる。

8　「治ゆ」及び「等級不該当」の場合で、援護費の支給がある場合、援護費転帰に係る援護費通知書（４５４）が必ず出力されるが、上記６に該当し、援護費が次給付に引き継がれる場合は、当該決定通知書は不要となる。この場合、次給付の決議書またはメッセージリストに援護費を引き継いだ旨のメッセージが印書されるので、メッセージの内容を確認のうえ、当該援護費通知書を破棄すること。

9　傷病等級号の変更に伴い就学等援護費の支給要件に該当しなくなったことを事由とする転帰についてはシステムで管理しないことから、援護費の変更で処理すること。

10　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

30　職権変更【障害（補償）年金変更（90-03)】

定期報告等により受給権者の障害の状態に変更が生じているのを把握した場合で、支払権者から「障害（補償）給付変更請求書・障害特別年金変更請求書（様式第 11 号)」が提出されていない場合の等級変更又は受給権消滅の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項　目　名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印　刷　名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | △ | △ | △ | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-03 | 90-03 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 03 | 03 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **571** | **571** | | |
| 15 | 変更年月（日） | | | ● | ● | ● | | |
| 16 | 枝番号 | | | × | × | × | | |
| 17 | 項目番号 | | | 571 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 傷病等級号(4) | | ● | ● | ● | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | |

●…必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

(　)の数字は入力に必要な桁数を表す。

記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 障害（補償）年金の年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「571」及び項目名「傷病・障害等級号」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「571」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 変更事由が生じた年月日を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「571」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 変更した障害等級号等を記入する。<br>1　障害等級号の変更の場合<br>記入例<br>障害1級1号 …… 0101<br>障害併合1級 …… 0120<br>障害準用1級 …… 0130<br>2　障害の等級が8級～14級に変更になった場合（障害（補償）年金受給権消滅処理）<br>記入例<br>障害8級1号 …… 0801<br>障害14級1号 …… 1401<br>記入する障害等級号は1級～9級までは先頭0を加えた4桁で記入する。<br>3　障害の等級が障害1級～14級のいずれにも該当しなくなった場合<br>等級不該当 …… 9999 |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

㈡ 留意点

1　受付年月日について

職権の場合は障害（補償）給付変更請求書・障害特別年金変更請求書が提出されないため記入しない。

なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

2　本処理は、障害（補償）年金の転帰処理を行うだけなので、障害（補償）一時金に移行した場合は障害（補償）一時金の支給決定を別に行うこと。

3　既存障害があり、変更後の障害等級が既存障害の等級以下となる場合でも、システムでは自動的に受給権消滅させない。このため、障害等級「9999」（等級不該当）を入力することにより障害（補償）年金を転帰させること。

4　障害（補償）一時金に移行した場合の障害（補償）年金の過誤払いは、前給付過誤払額として次給付である障害（補償）一時金で内払される。

5　等級不該当により転帰した場合で、内払すべき次給付がない場合は、債権コードに債権選択の「1」を記入すること。これにより過誤払額の処理方法が債権管理となり、債務者登録票（39582）が出力される。

6　前払一時金調整残額を残して転帰した場合には債権選択を行わないこと。また、その際に次給付がある場合、そのまま支給決定を行うと、次給付と内払残額を調整してしまうので、次給付の支給決定前に文書報告(1)第5号により本省（業務課）に報告し、指示を受けること。

7　援護費の支給のある障害（補償）年金の障害等級号を1級～3級から4級～7級に変更する場合、援護費の支給対象外となるのでシステムで自動的に転帰となる。この場合、変更決定決議書入力後、等級決定に関する変更決定通知書及び援護費転帰に関する援護費通知書（４５４）が出力される。

なお、援護費の過誤払額がある場合には、援護費の過誤払額のみ強制債権として債務者登録票（39582）が出力される。

8　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には、「不変更通知書」は出力されない。

31　職権変更【上順位者への転給（90-03)】

この処理は訂正における「資格者追加（Ⅱ-4-59～）に付随して行う処理であり、次の場合に行う。

現支払権者に対して先順位者たるべき資格者を追加し、その資格者に対して上順位者への転給を行う必要のある場合

(ｲ) 必要な記入項目

a　1枚目【変更票（転給情報)】

転給者の枝番号及び転給にかかる三者損賠情報・同一生計関係を入力する。

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | × | × | | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | | | |
| 6 | 枚中 | | | ● | ● | | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-03 | 90-03 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 04 | 04 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号1 | | × | × | 801 | 801 | | |
| 15 | 変更年月（日）1 | 転給年月日(7) | | ● | ● | ● | | |
| 16 | 枝番号1 | | | × | × | × | | |
| 17 | 項目番号1 | | | × | × | × | | |
| 18 | 変更データ1 | 転給者枝番(2) | | ● | ● | ● | | |

●…必須入力項目　△…任意入力項目　×…入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

（　）の数字は入力に必要な桁数を表す。

a　1枚目【変更票（上順位者への転給)】つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 19 | 項目番号2 | | × | × | 561 | 561 |
| 20 | 変更年月（日）2 | | | × | × | × |
| 21 | 枝番号2 | | | × | × | × |
| 22 | 項目番号2 | | | × | × | × |
| 23 | 変更データ2 | 三者損賠受領額 | | △ | △ | △ |
| 24 | 項目番号3 | | × | × | 562 | 562 |
| 25 | 変更年月（日）3 | | | × | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | | × | × | × |
| 27 | 項目番号3 | | | × | × | × |
| 28 | 変更データ3 | 三者損賠受領日(7) | | △ | △ | △ |
| 29 | 項目番号4 | | × | × | 604 | 604 |
| 30 | 変更年月（日）4 | | | × | × | × |
| 31 | 枝番号4 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 32 | 項目番号4 | | | × | × | × |
| 33 | 変更データ4 | 権者と同一生計有無(1) | | △ | △ | △ |
| 34 | 項目番号5 | | × | × | 604 | 604 |
| 35 | 変更年月（日）5 | | | × | × | × |
| 36 | 枝番号5 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 37 | 項目番号5 | | | × | × | × |
| 38 | 変更データ5 | 権者と同一生計有無(1) | | △ | △ | △ |
| 39 | 項目番号6 | | × | × | 604 | 604 |
| 40 | 変更年月（日）6 | | | × | × | × |
| 41 | 枝番号6 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 42 | 項目番号6 | | | × | × | × |
| 43 | 変更データ6 | 権者と同一生計有無(1) | | △ | △ | △ |

a　1枚目【変更票（上順位者への転給)】つづき

| 番号 | 項　目　名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印　刷　名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 44 | 項目番号7 | | × | × | 604 | 604 |
| 45 | 変更年月（日）7 | | | × | × | × |
| 46 | 枝番号7 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 47 | 項目番号7 | | | × | × | × |
| 48 | 変更データ7 | 権者と同一生計有無(1) | | △ | △ | △ |
| 49 | 項目番号8 | | × | × | 604 | 604 |
| 50 | 変更年月（日）8 | | | × | × | × |
| 51 | 枝番号8 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 52 | 項目番号8 | | | × | × | × |
| 53 | 変更データ8 | 権者と同一生計有無(1) | | △ | △ | △ |

b　2枚目【変更票（厚年等情報)】（Ⅱ-3-19ページ）

転給にかかる厚年等情報を入力する。

c　3枚目【住所・氏名等変更届】（Ⅱ-3-24ページ）

転給者の支払先が国内払いの場合に入力する。

d　3枚目【外国払入力票】（Ⅱ-3-26ページ）

転給者の支払先が外国払いの場合に入力する。

「支給停止解除の同時決議」を参照。

(ﾛ) 記入要領

a 【変更票（転給情報)】

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 14 | 項目番号・項目名 1 | 項目番号「801」及び項目名「枝番号」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「801」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 15 | 変更年月日 1 | 追加した資格者が当然に支払権者となるはずの年月日を記入する。<br>詳細については留意点を参照。 |
| 18 | 変更データ 1 | 転給した受給権者（追加した資格者）の枝番号を記入する。 |
| 19 | 項目番号・項目名 2 | 項目号「561」及び項目名「三者損賠受領額」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「561」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 23 | 変更データ 2 | 転給者の三者損賠受領額を左詰めで記入すること。<br>既に三者損賠受領額が登記されていて転給によって三者損賠受領額に変更がない場合であっても三者損賠受領額は記入すること。(理由:通常、転給によって受給権が移る場合には三者損賠受領額が当然に変わるものである。仮に変更がないとしてもそれを事実として確認するために入力すること。)<br>傷病年月日から 3 年を経過している場合は記入できない。<br>記入を省略した場合は三者損賠情報は「非調整」となる。<br>三者損賠受領額を記入した場合は三者損賠受領日もペア入力すること。<br>特別遺族年金の場合、入力できない。 |
| 24 | 項目番号・項目名 3 | 項目番号「562」及び項目名「三者損賠受領日」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「562」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 28 | 変更データ 3 | 三者損賠受領日を記入すること。<br>なお、「三者損賠受領日」は履歴をもたないため一度登記されると変更することはできない。したがって、受領額の変更時に登記済の三者損賠情報が存在する場合には、その三者損賠受領日を記入すること。<br>特別遺族年金の場合、入力できない。 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 29 | 項目番号・項目名 4 | 項目番号「604」及び項目名「同一生計の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「604」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 31 | 枝番号 4 | 同一生計関係に変更が生じた資格者の枝番号を記入する。 |
| 33 | 変更データ 4 | 次の該当するコードを入力する。<br>同一生計有…… 0<br>同一生計無…… 1 |
| 34～53 | 4 人分の同一生計関係 | 記入方法は項目 28～33 と同様である。 |

b 【変更票（厚年等情報)】(Ⅱ-3-21 ページ)

c 【住所・氏名等変更届】(Ⅱ-3-25 ページ)

d 【外国払入力票】(Ⅱ-3-27 ページ)

「支給停止解除の同時決議」を参照。

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票等を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票-1 枚目(転給情報) | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更票-2 枚目(厚年等情報 ) | 562 | △※1 | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

(ﾆ) 留意点

1　当該処理の対象となる転給は、「上順位者への転給」である。

2　転給処理は代表者選任も兼ねている。

3　つぎの a、b の場合には、この上順位者への転給での処理は不要である。

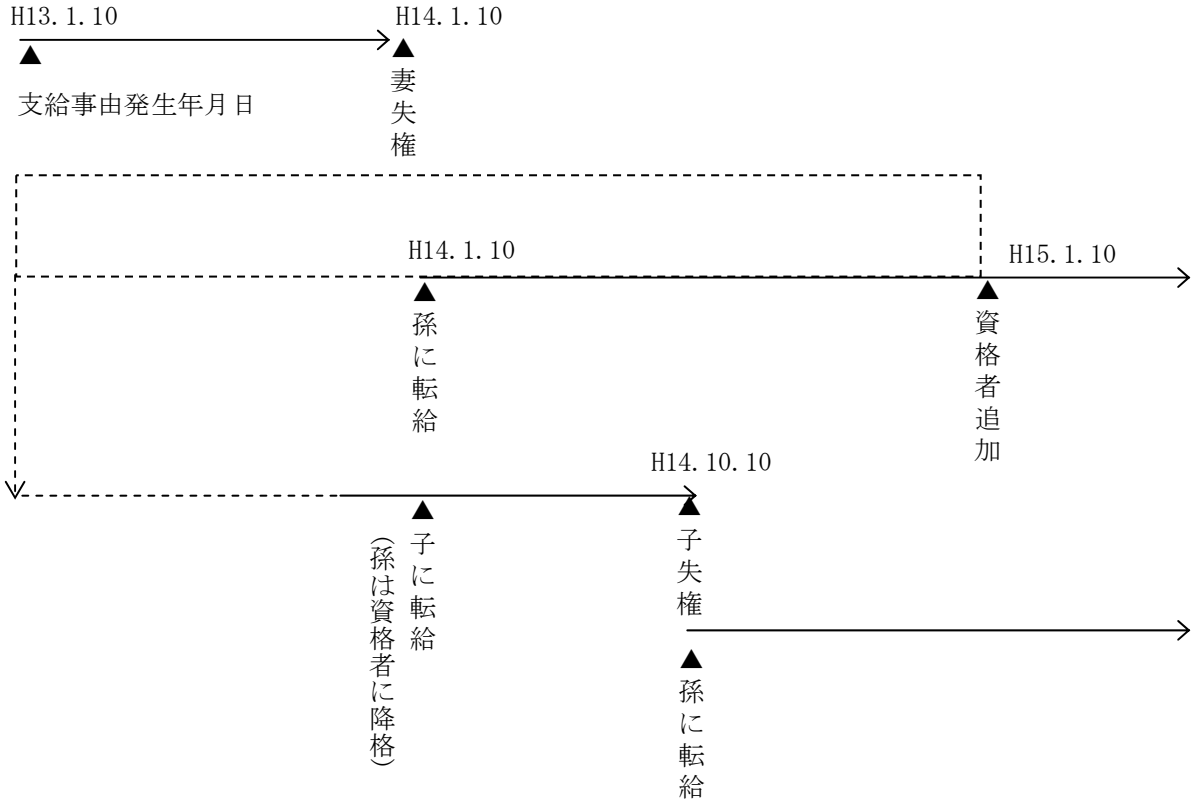
a　訂正処理による資格者追加をしたことにより、その者が当然に支払権者となる場合が過去に存在したが、現時点で既に失権している場合

例:遺族（補償）年金において　支給事由発生月日＝H13.1.10 資格者は 02 妻、21 孫

H14.1.10 妻失権、孫に転給

H15.1.10 資格者として子供 11 を追加

H14.10.10 子供 11 失権、孫に転給

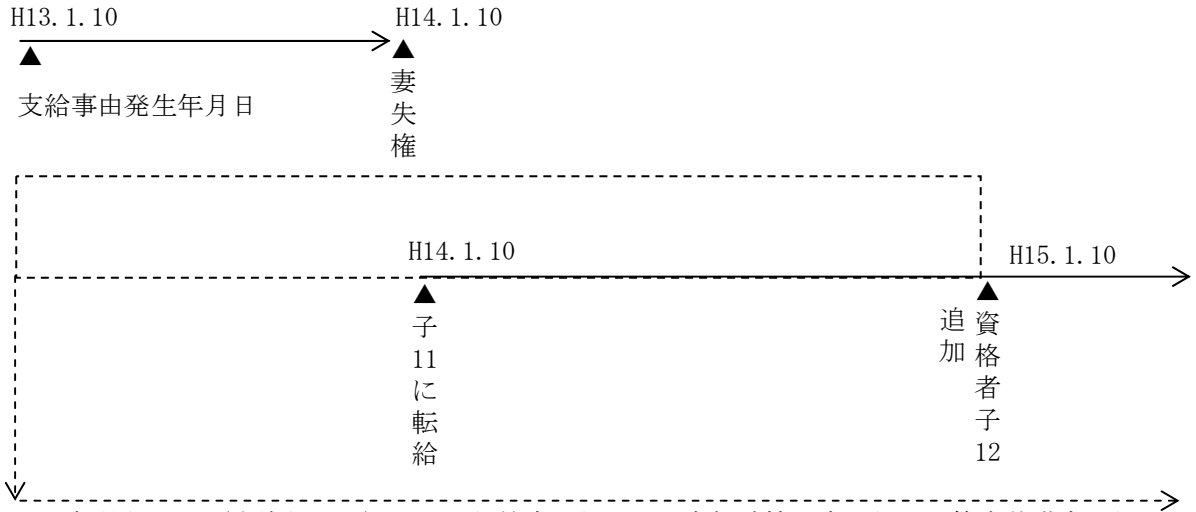


b　訂正処理による資格者追加をしたことにより、その者が当然に支払権者となりえる場合が過去に存在したが、支払権者である同順位者も存在した場合

例：遺族（補償）年金において　支給事由発生月日＝H13.1.10　資格者は02妻、11子供

H14.1.10妻失権、子供11に転給

H15.1.10資格者として子供12を追加




4　転給年月日（失権年月日）は、厚年等変更年月、三者損賠情報変更年月、算定基礎変更年月を兼ねているため、転給年月と異なる変更年月を入力する必要のある場合は、それぞれ単独の変更処理により対応すること。

5　厚年等情報について入力をしない場合（転給者が厚年との調整の対象とならない場合）は、厚年等情報に関する変更票は入力の必要がないため、入力の総枚数から差し引くこと。

6　受付年月日について

遺族（補償）年金転給等請求書が提出されないため記入しない。

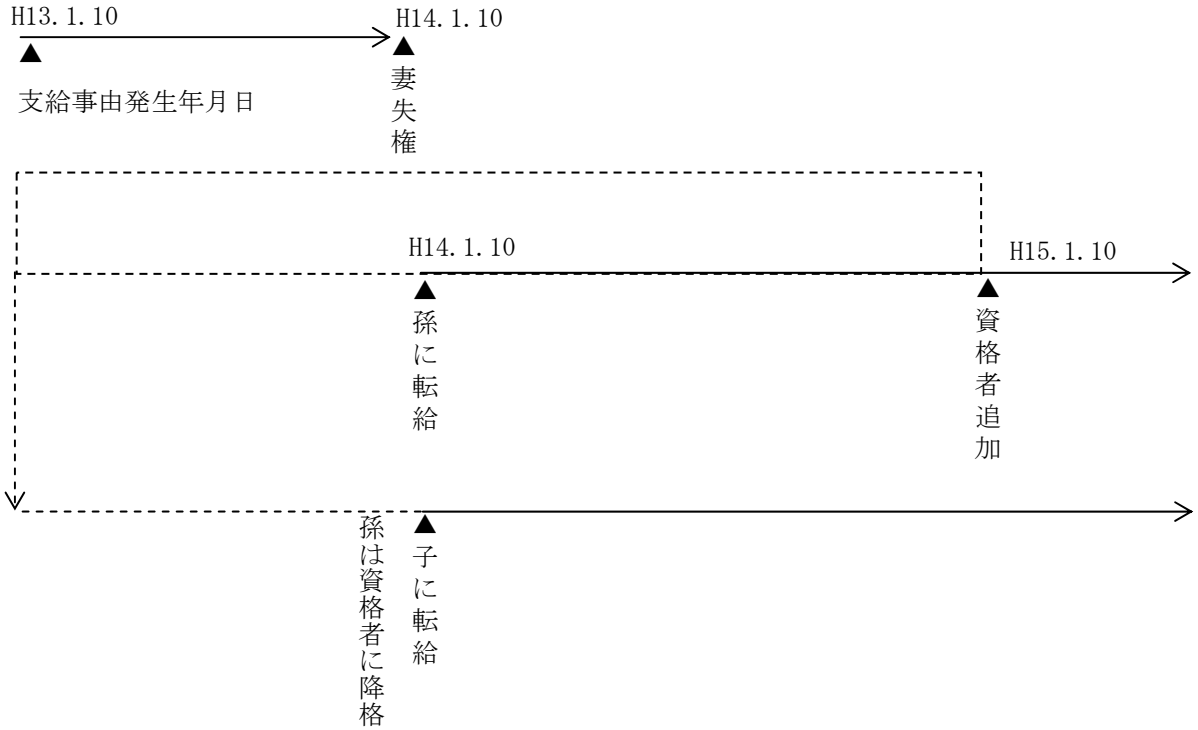
なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって受付検索にはこの処理年月日が出力される。

7　変更年月日について

例:遺族（補償）年金において　支給事由発生月日＝H13.1.10 資格者は 02 妻、21 孫

H14.1.10 妻失権、孫に転給

H15.1.10 資格者として子供 11 を追加した場合




よって、変更年月日である転給年月日は追加した資格者が支給事由発生時点から存在したと仮定して当然に転給していたであろう年月日を記入する。

変更年月日（転給年月日）　　平成 14 年 1 月 10 日

8　転給以前に三者損賠情報が登記されていても今回の処理で三者損賠情報を入力をしなかった場合には「三者損賠受領額」は 0 円として登記するが、「三者損賠受領年月日・三者コード」については既に登記してある「三者損賠受領年月日・三者コード」を引用し登記する。ただし、転給年月日が傷病年月日から 3 年を経過している場合は、三者損賠情報は空白として管理する。当該処理が正常に終了した場合には、その変更した情報をメッセージリストに印字するので確認すること。

9　転給者を含め複数の権者が三者損賠を受領している場合は「受領額」にはその合計額を記入する。

10　転給後の支払権者と資格者との同一生計関係については、転給前の支払権者と当該資格者とのデータを引用するので、転給前後で支払権者との同一生計関係に変動のあった者に対してのみ同一生計の有無を記入すること。もし転給前と同じデータを記入した場合にはキャンセルとなる。

また、転給後支払権者と同順位の者については、同一生計の有無を記入する必要はない。

なお、転給前支払権者及びその同順位者については、転給後支払権者と「同一生計有」としてデータを引き継ぐ。

11　同一生計関係は、枝番号の昇順に上の項目欄からつめて記入すること。

12　厚年等情報の入力条件、調整コード・厚年等種別の変更パターンは、厚年等変更処理の留意点（Ⅱ-3-108、109 ページ）のとおりである。

13　厚年等情報を入力しなかった場合、厚年等調整コードは次のとおり変更される。

| 転給前厚年等調整コード (581・586) | | 転給後厚年等調整コード (581・586) | |
|---|---|---|---|
| コード | 内容 | コード | 内容 |
| 0 | 調整 | 3 | 不支給(不該当) |
| 1 | 調査中 | 3 | 不支給(不該当) |
| 2 | 請求中 | 3 | 不支給(不該当) |
| 3 | 不支給（不該当） | 3 | 不支給(不該当) |
| 4 | 未加入 | 4 | 未加入 |
| 5 | 請求拒否 | 3 | 不支給（不該当） |
| 6 | 支給停止 | 3 | 不支給（不該当） |
| 7 | 老齢年金選択 | 3 | 不支給（不該当） |

なお、厚年等年額は「0 円」に変更される。これらの変更情報をメッセージリストに印字するので確認すること。

14　転給したことにより、在学者が援護費対象から外れる場合は、システムで自動的に転帰となる。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に関する援護費通知書（４５４）が出力される。また、変更票入力の際、在学者を同一生計無へ変更すると、その在学者の援護費は年金と連動して同一生計無を事由とする中断となる。この場合、変更決議書入力後、援護費中断に関する援護費通知書（４５４）が出力される。なお、他に在学者が存在しない場合（他の在学者が全員中断中の場合も含む。）で援護費の内払残額が残っている場合には、援護費転帰を事由として強制的に債権管理とするため、債務者登録票（39582）が出力される。

15　前支払権者の定期報告が提出・未提出にかかわらず転給処理を受付した年月日が、Ａグループ 3/1～5/31、B グループ 7/1～9/30 の場合には、定期報告を提出したもの（A グループ 6 月第一開庁日提出、B グループ 10 月第一開庁日提出）として管理する。

16　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には、「不変更通知書」は出力されない。

32　職権変更【算定基礎変更（胎児出生）(90-03)】

定期報告等により胎児が出生しているのを把握した場合で受給権者から胎児出生に関連して「遺族（補償）年金額算定基礎変更届（様式第 22 号)」が提出されない場合の処理である。

なお、胎児出生でその胎児が支払権者となる場合には、転給により処理し、それ以外では算定基礎変更により処理する。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | △ | △ | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-03 | 90-03 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 05 | 05 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 1 | | × | × | **601** | **601** | | |
| 15 | 変更年月(日)1 | | | × | × | × | | |
| 16 | 枝番号 1 | 胎児の枝番号(2) | | ● | ● | ● | | |
| 17 | 項目番号 1 | | | 601 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ 1 | 胎児氏名(16) | | ● | ● | ● | | |

● … 必須入力項目　　△ … 任意入力項目　　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

(　)の数字は入力に必要な桁数を表す。

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 19 | 項目番号2 | | × | × | 602 | 602 |
| 20 | 変更年月(日)2 | | | × | × | × |
| 21 | 枝番号2 | | | × | × | × |
| 22 | 項目番号2 | | | 602 | △ | △ |
| 23 | 変更データ2 | 胎児生年月日(7) | | ● | ● | ● |
| 24 | 項目番号3 | | × | × | 603 | 603 |
| 25 | 変更年月（日）3 | | | × | × | × |
| 26 | 枝番号3 | | | × | × | × |
| 27 | 項目番号3 | | | 603 | △ | △ |
| 28 | 変更データ3 | 胎児性別(1) | | ● | ● | ● |
| 29 | 項目番号4 | | × | × | 604 | 604 |
| 30 | 変更年月（日）4 | | | × | × | × |
| 31 | 枝番号4 | 同一生計変更者枝番号(2) | | ● | ● | ● |
| 32 | 項目番号4 | | | 604 | △ | △ |
| 33 | 変更データ4 | 権者との同一生計(1) | | ● | ● | ● |
| 34～53 | | | × | × | × | × |

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金の年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 1 | 項目番号「601」及び項目名「資格者氏名」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「601」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 16 | 枝番号 1 | 胎児の資格者枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 1 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「601」を記入する。 |
| 18 | 変更データ 1 | 支給事由発生年月日以降において出生した胎児のカナ氏名を記入する。<br>なお、姓と名の間を 1 字あけて記入すること。 |
| 19 | 項目番号・項目名 2 | 項目番号「602」及び項目名「資格者生年月日」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「602」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 22 | 項目番号 2 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「602」を記入する。 |
| 23 | 変更データ 2 | 支給事由発生年月日以降において出生した胎児の生年月日を 7 桁で記入する。<br>この生年月日は、年齢管理（指定年齢到達 18 歳）を行う上で特に重要であるため正確に記入すること。<br>この生年月日が算定基礎変更の変更年月日となる。 |
| 24 | 項目番号・項目名 3 | 項目番号「603」及び項目名「資格者性別」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「603」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 27 | 項目番号 3 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「603」を記入する。 |
| 28 | 変更データ 3 | 支給事由発生年月日以降において出生した胎児の性別について該当するコードを記入する。<br>男 …… 1<br>女 …… 3 |
| 29 | 項目番号・項目名 4 | 項目番号「604」及び項目名「同一生計の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「604」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 31 | 枝番号 4 | 胎児の資格者枝番号を記入する。 |
| 32 | 項目番号 4 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「604」を記入する。 |

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 33 | 変更データ 4 | 支給事由発生年月日以降において出生した胎児の受給権者との同一生計関係について該当するコードを記入する。<br>同一生計有　…… 0<br>同一生計無　…… 1<br>胎児が受給権者となる場合には「同一生計有」を入力すること |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

㈡ 留意点

1　この処理は胎児からみて先順位者もしくは同順位者が既に存在する場合の処理である。

2　受付年月日について

職権の場合は遺族（補償）年金額算定基礎変更届が提出されないため記入しない。

なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

3　胎児が受給権者であり三者損賠を受領している場合は、三者損賠額を変更する必要が生じるが、算定基礎変更の胎児出生では入力することができないため、胎児出生に伴う転給処理（Ⅱ-3-79 ページ～参照）により入力し、その後に代表者選任・解任により支払権者をもとの権者に戻すことにより対応すること。

4　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

33　職権変更【算定基礎変更（同一生計）(90-03)】

定期報告等により資格者の同一生計関係に変更が生じていることを把握した場合に、受給権者から「遺族（補償）年金額算定基礎変更届（様式第 22 号)」、又は「特別遺族年金額算定基礎変更届（様式第 6 号)」が提出されない場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | △ | △ | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-03 | 90-03 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 06 | 06 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **604** | **604** | | |
| 15 | 変更年月(日) | 変更年月日(7) | | ● | ● | ● | | |
| 16 | 枝番号 | 同一生計変更者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | |
| 17 | 項目番号 | | | 604 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 同一生計の有無(1) | | ● | ● | ● | | |
| 19 | 項目番号 | | × | × | **604** | **604** | | |
| 20 | 変更年月(日) | 変更年月日(7) | | × | × | × | | |
| 21 | 枝番号 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ | | |
| 22 | 項目番号 | | | △ | △ | △ | | |
| 23 | 変更データ | 同一生計の有無(1) | | △ | △ | △ | | |

● … 必須入力項目　　△ … 任意入力項目　　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

(　)の数字は入力に必要な桁数を表す。

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 24 | 項目番号 | | × | × | 604 | 604 |
| 25 | 変更年月(日) | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 26 | 枝番号 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 27 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 28 | 変更データ | 同一生計の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 29 | 項目番号 | | × | × | 604 | 604 |
| 30 | 変更年月(日) | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 31 | 枝番号 | 同一生計変更者枝番(2) | | △ | △ | △ |
| 32 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 33 | 変更データ | 同一生計の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 34 | 項目番号 | | × | × | 604 | 604 |
| 35 | 変更年月(日) | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 36 | 枝番号 | 同一生計変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 37 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 38 | 変更データ | 同一生計の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 39～53 | | | × | × | × | × |

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金の年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「604」及び項目名「同一生計の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「604」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 同一生計関係に変更が生じた年月日を記入する。<br>変更年月日は当項目のみ記入できる。よって、異なった変更年月日による複数人の同一生計関係の変更は、それぞれの変更年月日ごとに決議が必要になる。 |
| 16 | 枝番号 | 同一生計関係に変更が生じた資格者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「604」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 変更後の同一生計関係について次の該当するコードを入力する。<br>同一生計有 …… 0<br>同一生計無 …… 1 |
| 19 | 項目番号・項目名 | 項目番号「604」及び項目名「同一生計の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「604」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 22 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「604」を記入する。 |
| 21 | 枝番号 | 同一生計関係に変更が生じた資格者の枝番号を記入する。 |
| 23 | 変更データ | 変更後の同一生計関係について次の該当するコードを入力する。<br>同一生計有…… 0<br>同一生計無…… 1 |
| 24<br>～<br>38 | 枝番号<br>変更データ | 資格者の同一生計関係について項目 19～23 と同様に 3 人分記入が可能である。 |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

(ニ) 留意点

1　受付年月日について

職権の場合は遺族（補償）年金額算定基礎変更届が提出されないため記入しない。

なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

2　枝番号の昇順に記入すること。

3　在学者である資格者の同一生計を「無」に変更すると、その在学者の援護費は年金と連動して、同一生計無を事由とする中断となる。この場合、変更決議書入力後、援護費中断に関する援護費の決定通知書（４５４）が出力される。また、在学者である資格者の同一生計を「有」に変更しても、以前連動して中断となっていた援護費は自動的に復学されないため、援護費の変更処理で対応すること。

4　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

34　職権変更【算定基礎変更（障害の有無の変更）(90-03)】

定期報告等により資格者の障害の状態について変更が生じていることを把握した場合で受給権者から「遺族（補償）年金額算定基礎変更届（様式第 22 号)」、又は「特別遺族年金額算定基礎変更届（様式第 6 号)」が提出されない場合の処理である。

なお、この処理において入力可能な者は障害の状態を変更することによって、受給権に変動を及ぼさない者に限る。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | △ | △ | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-03 | 90-03 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 07 | 07 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **605** | **605** | | |
| 15 | 変更年月(日) | 変更年月日(7) | | ● | ● | ● | | |
| 16 | 枝番号 | 障害有無変更者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | |
| 17 | 項目番号 | | | 605 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 障害の有無(1) | | 0 | 0 | 0 | | |

● … 必須入力項目　　△ … 任意入力項目　　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

(　)の数字は入力に必要な桁数を表す。

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 19 | 項目番号 | | × | × | 605 | 605 |
| 20 | 変更年月(日) | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 21 | 枝番号 | 障害有無変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 22 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 23 | 変更データ | 障害の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 24 | 項目番号 | | × | × | 605 | 605 |
| 25 | 変更年月(日) | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 26 | 枝番号 | 障害有無変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 27 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 28 | 変更データ | 障害の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 29 | 項目番号 | | × | × | 605 | 605 |
| 30 | 変更年月(日) | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 31 | 枝番号 | 障害有無変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 32 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 33 | 変更データ | 障害の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 34 | 項目番号 | | × | × | 605 | 605 |
| 35 | 変更年月(日) | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 36 | 枝番号 | 障害有無変更者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 37 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 38 | 変更データ | 障害の有無(1) | | △ | △ | △ |
| 39～53 | | | × | × | × | × |

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金の年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「605」及び項目名「障害の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「605」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 15 | 変更年月日 | 障害の有無に変更が生じた年月日を記入する。<br>変更年月日は当項目のみ記入できる。よって、異なった変更年月日による複数人の障害の有無の変更は、それぞれの変更年月日毎に決議が必要になる。 |
| 16 | 枝番号 | 障害の有無に変更が生じた受給権者又は資格者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「605」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 変更後の障害の有無について次の該当するコードを入力する。<br>障害無　…… 0 |
| 19 | 項目番号・項目名 | 項目番号「605」及び項目名「障害の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「605」をキーボードで打鍵入力すること。 |
| 21 | 枝番号 | 障害の有無に変更が生じた受給権者または資格者の枝番号を記入する。 |
| 22 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「605」を記入する。 |
| 23 | 変更データ | 変更後の障害の有無について次の該当するコードを入力する。<br>障害無…… 0 |
| 24<br>～<br>38 | 枝番号<br>変更データ | 障害の有無について項目 19～23 と同様に 3 人分記入が可能である。 |

(ﾊ) 出力帳票一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　× … 非出力

㈡ 留意点

1　この処理において対象となる受給権者及び資格者は、18 歳未満で障害を有し、続柄「子供、孫、兄弟姉妹」の受給権者または資格者である。

この者以外の「障害の有無」の変更については、算定基礎（妻の障害の有無）（Ⅱ-3-132 ページ～参照）又は（失権（格））（Ⅱ-3-134 ページ～参照）により対応すること。

2　支給事由発生年月日時点で 55 歳以上であり、かつ変更年月日時点で 60 歳以上の障害を有する続柄である「夫、父母、祖父母、兄弟姉妹」の場合は、障害を「有」から「無」へとしても算定基礎人数の増減に変更を及ぼさないことから、入力はできない。

3　この処理は失権（格）を伴わないため算定基礎の増減に変更を及ぼすことはない。したがって、続柄「子供、孫、兄弟姉妹」において、当該処理により障害の状態を「無」に変更した後は、18 歳到達により自動的に失権（格）する。

4　この処理は障害の有から無への変更のみ可能であるから、障害の「無」を障害の「有」にする変更については訂正処理により処理すること。

5　障害の有無が「有」から「無」になることによって、若年停止となる資格者については変更帳票で入力することはできないので訂正処理により障害「有」の資格者を取り消して、障害「無」の資格者を追加する処理を行うこと。この処理によりデータの不整合が生じ、本来ならありえない回収額が発生することがあるが、その場合は本省（業務課）での特別処理が必要になるため、文書報告(1)第 5 号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

なお、権者については、基本権取消事案となるため、文書報告(1)第 3 号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

6　受付年月日について

職権の場合は遺族（補償）年金額算定基礎変更届が提出されないため記入しない。

なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

7　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

8　枝番号の昇順に記入すること。

35 職権変更【算定基礎変更（妻の障害の有無の変更）(90-03)】

定期報告等により支払権者たる妻の障害の状態の変更について把握した場合で、本人から「遺族（補償）年金額算定基礎変更届（様式第 22 号)」が提出されない場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | △ | △ | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-03 | 90-03 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 08 | 08 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **605** | **605** | | |
| 15 | 変更年月（日） | 変更年月日(7) | | ● | ● | ● | | |
| 16 | 枝番号 | | | × | × | × | | |
| 17 | 項目番号 | | | 605 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 障害の有無(1) | | ● | ● | ● | | |
| 19～53 | | | × | × | × | × | | |

● … 必須入力項目　　△ … 任意入力項目　　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

（ ）の数字は入力に必要な桁数を表す。

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金の年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「605」及び項目名「障害の有無」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「605」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 15 | 変更年月日 | 障害の有無に変更が生じた年月日を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「605」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 変更後の障害の有無について次の該当するコードを入力する。<br>障害無 …… 0<br>障害有 …… 1 |

(ﾊ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

㈡ 留意点

1　算定基礎に変更を及ぼすのは、妻の年齢が障害の有無の変更時点で 55 歳未満であり他に年金資格者が存在しない場合であるから、算定基礎に変更を及ぼすことがない妻 55 歳以上での障害の有無の変更は入力できない。

2　受付年月日について

職権の場合は遺族（補償）年金額算定基礎変更届が提出されないため記入しない。

なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって受付検索にはこの処理年月日が出力される。

3　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

36 職権変更【算定基礎変更（失権（格））(90-03)】

定期報告等により支払権者以外の資格者の失権・失格について把握した場合で、受給権者から「遺族（補償）年金額算定基礎変更届（様式第 22 号)」、又は「特別遺族年金額算定基礎変更届（様式第 6 号)」が提出されない場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | △ | △ | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-03 | 90-03 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 09 | 09 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **606** | **606** | | |
| 15 | 変更年月（日） | 変更年月日(7) | | ● | ● | ● | | |
| 16 | 枝番号 | 失権（格）者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | |
| 17 | 項目番号 | | | 606 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 失権（格）事由(1) | | ● | ● | ● | | |
| 19 | 項目番号 | | × | × | **606** | **606** | | |
| 20 | 変更年月（日） | 変更年月日(7) | | × | × | × | | |
| 21 | 枝番号 | 失権（格）者枝番号(2) | | △ | △ | △ | | |
| 22 | 項目番号 | | | △ | △ | △ | | |
| 23 | 変更データ | 失権（格）事由(1) | | △ | △ | △ | | |

● … 必須入力項目　△ … 任意入力項目　× … 入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

(　)の数字は入力に必要な桁数を表す。

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印　刷　名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 24 | 項目番号 | | × | × | 606 | 606 |
| 25 | 変更年月（日） | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 26 | 枝番号 | 失権（格）者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 27 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 28 | 変更データ | 失権（格）事由(1) | | △ | △ | △ |
| 29 | 項目番号 | | × | × | 606 | 606 |
| 30 | 変更年月（日） | 変更年月日(7) | | × | × | × |
| 31 | 枝番号 | 失権（格）者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 32 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 33 | 変更データ | 失権（格）事由(1) | | △ | △ | △ |
| 34 | 項目番号 | | × | × | 606 | 606 |
| 5 | 変更年月（日） | 変更年月日 (7) | | × | × | × |
| 36 | 枝番号 | 失権（格）事由(2) | | △ | △ | △ |
| 37 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 38 | 変更データ | 失権（格）事由(1) | | △ | △ | △ |
| 39～53 | | | × | × | × | × |

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金の年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「606」及び項目名「失権（格）事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「606」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 15 | 変更年月日 | 失権（格）事由の生じた年月日を記入する。<br>変更年月日はこの項目のみ記入できる。よって、異なった変更年月日による複数人の失権（格）は、それぞれの変更年月日毎に決議が必要になる。 |
| 16 | 枝番号 | 失権・失格する資格者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「606」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 失権・失格事由について次の該当するコードを入力する。<br>死亡 …… 1<br>婚姻 …… 2<br>養子縁組 …… 3<br>離縁 …… 4<br>障害無 …… 5<br>18 歳失権（格） …… 8 |
| 19 | 項目番号・項目名 | 項目番号「606」及び項目名「失権（格）事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「606」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 21 | 枝番号 | 失権・失格する資格者の枝番号を記入する。 |
| 22 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「606」を記入する。 |
| 23 | 変更データ | 失権・失格事由について次の該当するコードを入力する。<br>死亡 …… 1<br>婚姻 …… 2<br>養子縁組 …… 3<br>離縁 …… 4<br>障害無 …… 5<br>18 歳失権（格） …… 8 |
| 24<br>～<br>38 | 枝番号<br>変更データ | 資格者等の失権・失格について項目 19～23 と同様に 3 人分記入が可能である。 |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | - | × | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | - | × | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

※1：特別遺族以外の場合に出力する

※2：特別遺族の場合に出力する

(ニ) 留意点

1　この処理は、支払権者以外の受給権者、資格者を失権・失格させる処理である。ただし、同一生計の有無を事由とする失格は、算定基礎（同一生計）（Ⅱ-3-124 ページ～）で処理すること。

2　妻は常に支払権者であるため入力できない。

3　受付年月日について

職権での受付処理の場合は処理年月日を自動的にセットするため記入しない。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

4　枝番号の昇順に記入すること。

5　在学者である権者・資格者は、この処理に連動して援護費も転帰する。この場合、変更決議書入力後、援護費転帰に関する援護費通知書（454）が出力される。

6　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

37　職権決議【代表者選任・解任（90-03)】

転給による転給者は自動的に代表者としてセットされるため、引続き権者払いを請求する場合に職権により代表者解任を行う。

(ｲ) 必要な記入項目

a　1枚目【変更票（選任・解任)】

代表者選任・解任する権者の枝番号を入力する。

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | ● | ● | ● | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-03 | 90-03 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 10or11 | 10or11 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **801** | **801** | | |
| 15 | 変更年月（日） | | | × | × | × | | |
| 16 | 枝番号 | | | × | × | × | | |
| 17 | 項目番号 | | | 801 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 枝番号(2) | | ● | ● | ● | | |
| 19～53 | | | × | × | △ | △ | | |

●…必須入力項目　△…任意入力項目　×…入力不可項目　　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( )の数字は入力に必要な桁数を表す。

b　2～5枚目【住所・氏名変更届】

支払先が国内払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-24ページ)。

c　2～5 枚目【外国払入力帳票】

支払先が外国払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-26 ページ）。

(ﾛ) 記入要領

a 【変更票（選任・解任）】

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 年金証書番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金の年金証書番号であること。 |
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「801」及び項目名「枝番号」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は、「801」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「801」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 1　代表者選任の場合<br>新たに選任され支払権者となる受給権者の枝番号を記入する。<br>2　代表者解任の場合<br>解任される支払権者の枝番号を記入する。（権者払に変更する場合のみの処理である。） |

b 【住所・氏名等変更届】

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-25 ページ）。

c 【外国払入力票】

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-27 ページ）。

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票等を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　△ … 条件出力　× … 非出力

(ニ) 留意点

1　受付年月日について

職権の場合には遺族（補償）年金代表者選任・解任届が提出されないため記入しない。

なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

2　代表者解任処理では解任者以外の全ての受給権者の住所・氏名・支払先情報を入力すること。なお、年金証書は解任者以外の全ての受給権者のものを出力する。

3　権者払は最大5人までとする。したがって、権者が6人以上存在する場合には権者払いには変更できない。

4　権者払いに変更する場合に住所・氏名等変更届又は外国払入力票を複数枚入力する場合には枝番号の昇順に入力すること。

5　代表者選任・解任の効力発生年月日は当該支払期の初日とする。ただし、当該支払期の終月が支給事由発生年月日の翌月の場合、又は転給年月日の翌月の場合にはそれぞれ終月の初日となる。

例　変更決定日を平成12年9月20日で処理した場合、当該代表者選任・解任の変更年月日は平成12年8月1日となる。また、この場合の変更決定日が支給事由発生年月日の翌月、又は転給年月日の翌月の場合には当該代表者選任、解任の変更年月日は平成12年9月1日となる。

6　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

38　職権【年金証書再交付（90-04)】

職権により年金証書再交付の必要が生じた場合の処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-04 | 90-04 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | × | × | × | × | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **802** | **802** | | |
| 15 | 変更年月（日） | | | × | × | × | | |
| 16 | 枝番号 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金のみ | | △ | △ | △ | | |
| 17 | 項目番号 | | | 802 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 再交付事由(1) | | ● | ● | ● | | |
| 19～53 | | | | × | × | × | | |

●…必須入力項目　△…任意入力項目　×…入力不可項目　空欄…未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( )の数字は入力に必要な桁数を表す。

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記 入 要 領 |
|---|---|---|
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「802」及び項目名「再交付事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「802」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 16 | 枝番号 | 年金証書の再交付を受ける支払権者の枝番号を記入する。ただし、遺族（補償）年金、又は特別遺族年金のみ必須入力であり、その他の年金は入力不可である。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「802」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 該当する次のコードを入力する。<br>紛失 …… 1<br>汚損 …… 2<br>盗難 …… 3<br>その他 …… 9 |

(ﾊ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　× … 非出力

㈡ 留意点

1　支払権者の氏名等を変更もしくは訂正した場合は、当該処理により年金証書を再交付すること。

2　受付年月日について

年金証書再交付申請書が提出されないため記入しない。

なお、受付処理では処理年月日を自動的にセットする。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

3　年金証書の「再発行番号」は、当該処理を繰り返すことによりカウントアップされる。また、再発行番号は人毎に管理している。（例：支払権者Ａさんが再交付を２回受けたため再交付番号が「2」となっていた場合であっても、その後転給したＢさんの再交付番号はスペースとなる。）

4　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

39　職権【支払差止・解除（90-12)】

定期報告未提出・所在不明を事由として支払差止する場合又は定期報告提出、所在判明を事由として差止解除をする場合に行う処理である。

なお、所在判明による差止解除に限り、住所・氏名等変更届等との同時決議入力となる。

(ｲ) 必要な記入項目

a　1枚目【変更票（差止・解除情報)】

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付済 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | × | × | × | × | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | ● | ● | ● | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-12 | 90-12 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 01 | 01 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人・申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **811** | **811** | | |
| 15 | 変更年月（日） | | | △ | △ | △ | | |
| 16 | 枝番号 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金のみ(2) | | ● | ● | ● | | |
| 17 | 項目番号 | | | 811 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | ● | ● | ● | | |

●…必須入力項目　△…任意入力項目　×…入力不可項目　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( )の数字は入力に必要な桁数を表す。

b　2枚目【住所・氏名変更届】(所在判明による支払差止解除を行う場合のみ)

支払先が国内払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-24ページ)。

c　2枚目【外国払入力帳票】(所在判明による支払差止解除を行う場合のみ)

支払先が外国払いの場合に記入する。

「支給停止解除の同時決議」を参照（Ⅱ-3-26ページ)。

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 19 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 20 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 21 | 枝番号 | ※ | | △ | △ | △ |
| 22 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 23 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |
| 24 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 25 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 26 | 枝番号 | ※ | | △ | △ | △ |
| 27 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 28 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |
| 29 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 30 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 31 | 枝番号 | ※ | | △ | △ | △ |
| 32 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 33 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |
| 34 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 35 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 36 | 枝番号 | ※ | | △ | △ | △ |
| 37 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 38 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |
| 39 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 40 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 41 | 枝番号 | ※ | | △ | △ | △ |
| 42 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 43 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |
| 44 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 45 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 46 | 枝番号 | ※ | | △ | △ | △ |
| 47 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 48 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |

※遺族（補償）年金、又は特別遺族年金のみ(2)

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 49 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 50 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 51 | 枝番号 | ※ | | △ | △ | △ |
| 52 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 53 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |

※遺族（補償）年金、又は特別遺族年金のみ(2)

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入力項目 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「811」及び項目名「差止事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「811」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 16 | 枝番号 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金のみ支払権者の枝番号を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「811」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 次の該当するコードを記入する。<br>所在不明 …… 1<br>定期報告未提出 …… 3<br>所在判明 …… 5<br>その他支払差止解除 …… 7<br>差止事由が「所在不明」の場合には解除事由は「所在判明」、差止事由が「定期報告未提出」の場合には解除事由は「その他支払差止解除」のみ記入可能である。 |
| 19～53 | 枝番号<br>変更データ | 14～18 に同じ |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票等を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　× … 非出力

㈡ 留意点

1　受付年月日について

受付処理で処理年月日を自動的にセットするため記入しない。したがって、受付検索にはこの処理年月日を出力する。

2　差止・差止解除の情報は、変更票中どの記入欄にも記入できるが、一人しか記入できない。

3　差止年月・解除年月は入力支払期の初月を自動的に登記している。ただし、当該支払期の終月が支給事由発生年月日の翌月の場合、又は転給年月日の翌月の場合にはそれぞれ終月の初日となる。

4　差止解除額は時効を適用するため差止解除を入力した日より５年溯った日の属する支払期までしか計算されない。

5　「その他支払差止解除」を事由とする差止解除には住所・氏名情報は入力項目には含まれていないため、解除時に住所・支払先を再確認し、必要に応じて住所・氏名等変更届等を入力すること。

6　支払差止中の受給権者が死亡していた場合には、支払差止解除を行い、その後速やかに死亡転帰処理を行うこと。

なお、所在不明を事由として差止られていた場合は、差止解除にあたって「住所・氏名等変更届」又は「外国払入力帳票」については、差止前に登録されていたもの等仮の住所、支払先情報を入力すること。

7　差止解除者の定期報告情報の引き継ぎについて

差止解除者が定期報告を提出・未提出にかかわらず、差止解除後は定期報告の提出・未提出状況を「提出」として管理する。

8　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には、「不変更通知書」は出力されない。

9　年金支払差止対象者が援護費対象者である場合や同一生計の在学者がいる場合は、援護費も自動的に差止となる。この場合、変更決議書入力後、年金差止用の変更決定通知書の他、援護費差止用の変更決定通知書（４５３）が出力される。また、この場合、差止解除を行うと、年金差止解除用の変更決定通知書の他、援護差止解除用の変更決定通知書（４９６）が出力される。

40　職権【援護費差止・解除（90-12)】

労災就学等援護費に関して、定期報告未提出を事由として支払差止する場合又は定期報告提出を事由として差止解除をする場合に行う処理である。

(ｲ) 必要な記入項目

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 受付未済 | 受付 | | | |
| | 印刷名 | 入力項目名 | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 1 | データ受付番号 | | × | × | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 3 | 債権コード | | | × | × | × | | |
| 4 | 出力枚数 | | × | × | | | | |
| 5 | 枚目 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 6 | 枚中 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 7 | 同時決議番号 | | × | × | × | × | | |
| 8 | 様式番号 | | 90-12 | 90-12 | | | | |
| 9 | 変更内容コード | | 02 | 02 | | | | |
| 10 | 受付年月日 | | × | × | × | × | | |
| 11 | 年金証書番号 | | ● | ● | | | | |
| 12 | 被災者生年月日 | | ● | ● | | | | |
| 13 | 請求人･申請人氏名 | | × | × | × | × | | |
| 14 | 項目番号 | | × | × | **812** | **812** | | |
| 15 | 変更年月（日） | | | × | × | × | | |
| 16 | 枝番号 | 在学者枝番号(2) | | ● | ● | ● | | |
| 17 | 項目番号 | | | 812 | △ | △ | | |
| 18 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | ● | ● | ● | | |

●…必須入力項目　△…任意入力項目　×…入力不可項目　空欄 … 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆太字の項目は「受付」時に機械印字する。

( )の数字は入力に必要な桁数を表す。

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 19 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 20 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 21 | 枝番号 | 在学者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 22 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 23 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |
| 24 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 25 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 26 | 枝番号 | 在学者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 27 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 28 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |
| 29 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 30 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 31 | 枝番号 | 在学者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 32 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 33 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |
| 34 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 35 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 36 | 枝番号 | 在学者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 37 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 38 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |
| 39 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 40 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 41 | 枝番号 | 在学者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 42 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 43 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |
| 44 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 45 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 46 | 枝番号 | 在学者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 47 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 48 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |

つづき

| 番号 | 項目名 | | 受付 | 登記 | | 修正 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 印刷名 | 入力項目名 | | 受付未済 | 受付済 | |
| 49 | 項目番号 | | × | × | △ | △ |
| 50 | 変更年月（日） | | | × | × | × |
| 51 | 枝番号 | 在学者枝番号(2) | | △ | △ | △ |
| 52 | 項目番号 | | | △ | △ | △ |
| 53 | 変更データ | 差止・解除事由(1) | | △ | △ | △ |

(ﾛ) 記入要領

| 番号 | 入力項目 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 14 | 項目番号・項目名 | 項目番号「812」及び項目名「援護費差止事由」を印字する。<br>なお、受付により出力された変更票を汚損等した場合は「812」をキーボードで打鍵入力する。 |
| 16 | 枝番号 | 援護費支払差止・解除をする在学者の枝番号を記入する。<br>障害（補償）年金受給者本人の場合には、枝番号「00」を記入する。 |
| 17 | 項目番号 | 本欄は受付・登記処理を同時に行う場合にのみ「812」を記入する。 |
| 18 | 変更データ | 次の該当するコードを記入する。<br>援護費定期報告未提出 …… 3<br>援護費定期報告提出 …… 7 |
| 19～53 | 枝番号<br>変更データ | 援護費支払差止･解除について項目 14～18 と同様に 7 人分記入が可能である。<br>但し、変更データについては、7 人分全て同じ値であること。 |

(ハ) 出力帳票等一覧

変更票を入力して出力される帳票等

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| | | - | 1 | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 変更票 | 562 | ● | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書-変更 | - | × | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | - | × | △ | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力　　△ … 条件出力　× … 非出力

(ニ) 留意点

1　受付年月日について

受付処理では処理年月日を自動的にセットするため記入しない。したがって、受付検索にはこの処理年月日が出力される。

2　援護費差止年月・解除年月は、入力支払期の援護費の初月を自動的に登記している。ただし、当該支払期の終月が支給事由発生年月日の翌月の場合又は転給年月日の翌月の場合にはそれぞれ終月の初日となる。

3　援護費差止解除額は、時効を適用するため差止解除を入力した日より5年遡った日の属する支払期までしか計算されない。

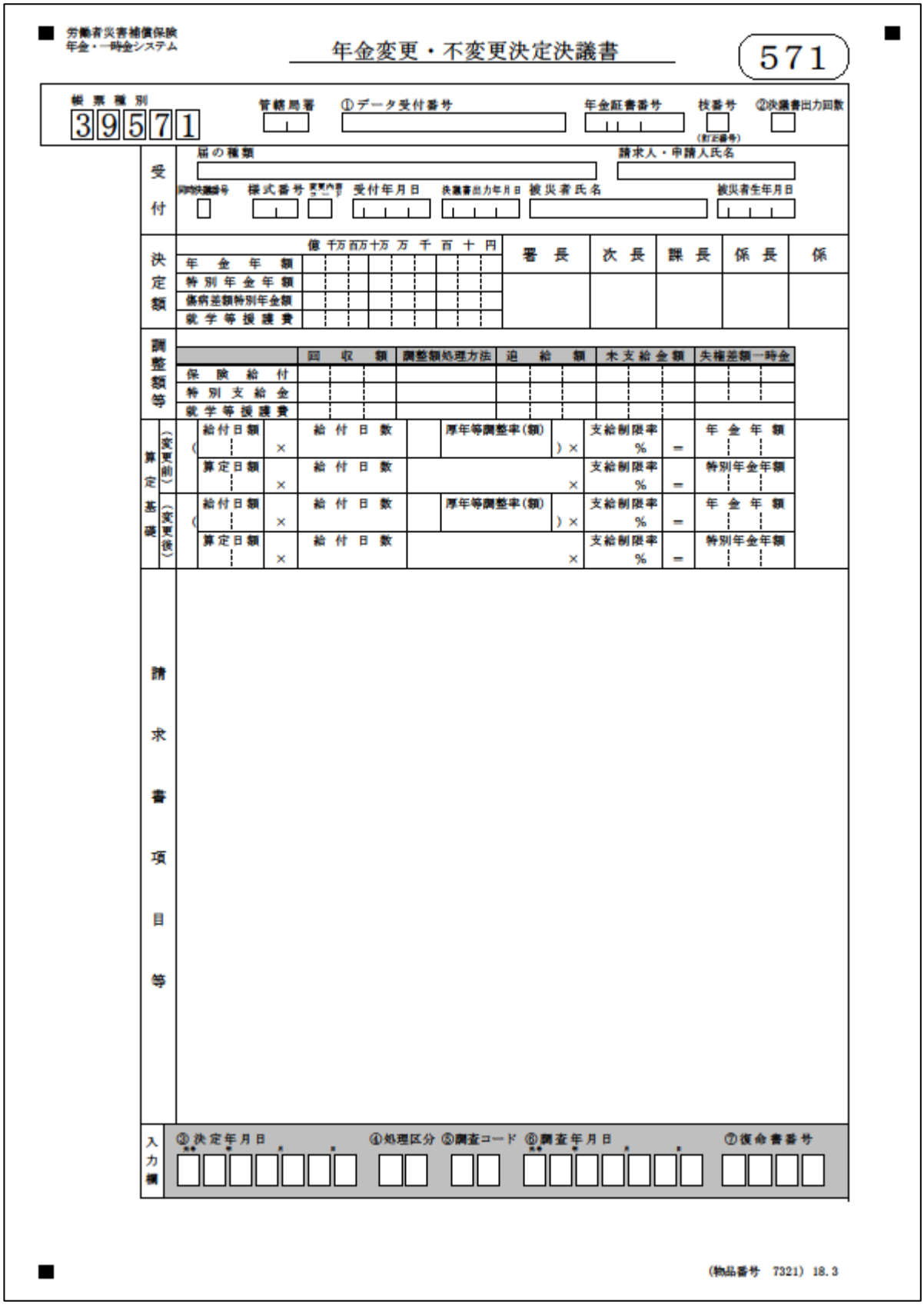
4　メッセージリストは4人以上の在学者を差止又は差止解除を入力した場合に印字される。

5　職権であるために実行コード「不変更決議書出力」は記入できない。また、変更決定決議時に「不変更」を選択した場合には「不変更通知書」は出力されない。

# (決　議　処　理)

(2) 変更決議書

変更・訂正処理で登記処理が正常に終了した場合に出力する。



労働者災害補償保険
年金・一時金システム

年金変更・不変更決定決議書

571

帳票種別 39571

管轄局署 | ①データ受付番号 | 年金証書番号 | 枝番号 | ②決議書出力回数

受付
届の種類 | 請求人・申請人氏名
同時決議番号 | 様式番号 | 変更内容 | 受付年月日 | 決議書出力年月日 | 被災者氏名 | 被災者生年月日

決定額

| | 億 千万 百万 十万 万 千 百 十 円 | 署長 | 次長 | 課長 | 係長 | 係 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金年額 | | | | | | |
| 特別年金年額 | | | | | | |
| 傷病差額特別年金額 | | | | | | |
| 就学等援護費 | | | | | | |

調整額等

| | 回収額 | 調整額処理方法 | 迫給額 | 未支給金額 | 失権差額一時金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 保険給付 | | | | | |
| 特別支給金 | | | | | |
| 就学等援護費 | | | | | |

算定基礎

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (変更前) | 給付日額 | × | 給付日数 | | 厚年等調整率(額) | )× | 支給制限率 % | = | 年金年額 | |
| | 算定日額 | × | 給付日数 | | × | | 支給制限率 % | = | 特別年金年額 | |
| (変更後) | 給付日額 | × | 給付日数 | | 厚年等調整率(額) | )× | 支給制限率 % | = | 年金年額 | |
| | 算定日額 | × | 給付日数 | | × | | 支給制限率 % | = | 特別年金年額 | |

請求書項目等

入力欄
②決定年月日 | ④処理区分 | ⑤調査コード | ⑥調査年月日 | ⑦復命書番号

(物品番号 7321) 18.3

イ　変更決定決議書の記入項目

| 番号 | 項　　目　　名 | 変更・不変更 |
|---|---|---|
| 1 | **データ受付番号** | ● |
| 2 | **出力回数** | ● |
| 3 | 決定年月日 | ● |
| 4 | 処理区分 | ● |
| 5 | 調査コード | A |
| 6 | 調査年月日 | A |
| 7 | 復命書番号 | A |

●…必須入力項目

A…セット入力項目（3 項目すべてを入力する）

（注）太字の項目は、決議書出力時に印字する項目である。

ロ　記入項目と記入要領

| 番号 | 項　目 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 1 | データ受付番号 | 登記処理により印字する。 |
| 2 | 決議書出力回数 | 登記処理により印字する。 |
| 3 | 決定年月日 | 変更（不変更）決定した日付を記入する。 |
| 4 | 処理区分 | 次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>変更 …… 01<br>重複請求で不変更 …… 13<br>その他で不変更 …… 31～39<br>（注）31～39 については、各局が任意に設定し使用する。 |
| 5 | 調査コード | 変更（訂正）するに当たり調査を行った場合は、次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>適用関係 …… 11<br>業務上外・通勤途上外 …… 12<br>療養内容 …… 13<br>治ゆ年月日 …… 14<br>休業期間 …… 15<br>休業中の賃金 …… 16<br>平均賃金・特別給与 …… 17<br>傷病・障害状態（治ゆ・再発） …… 18<br>受給権者 …… 19<br>支給制限 …… 20<br>厚年等受給関係 …… 21<br>損害賠償関係 …… 22<br>第三者行為災害関係 …… 23<br>その他（上記以外） …… 24～29<br>支給停止 …… 31<br>支払差止 …… 32<br>受給資格者 …… 33<br>時効 …… 34<br>（注）24～29 については、各局が任意に設定し使用する。 |
| 6 | 調査年月日 | 調査実施年月日を記入する。 |
| 7 | 復命書番号 | 調査により作成した復命書の番号を記入する。 |

調査コードを記入する場合は、調査年月日・復命書番号も記入すること。

(1) 出力項目の説明

| 出力項目名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| 上方標題 | 様式番号、変更内容コード、同時決議番号、項目群番号によって別表 3－1（Ⅱ-3-217 ページ）のとおり印字する。ただし、不変更決議書の場合は別表の文言の後に“不変更”の文字を印字する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署を印字する。 |
| データ受付番号 | 変更・訂正処理において振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 年金証書番号 | 変更・訂正処理の対象となった年金証書番号を印字する。 |
| 枝番号 | 遺族（補償）年金、または特別遺族年金の場合は支払権者の枝番号を印字する。ただし、権者払の場合は最小の枝番号を印字する。<br>なお、「540：支給・転帰情報」の一時金給付の訂正処理については訂正番号を印字する。 |
| 決議書出力回数 | 決議書を出力した回数を印字する。修正、決議書再出力等により加算する。 |
| 届の種類 | 対象となる請求書・申請書・届・項目群番号の名称を別表 3－1（Ⅱ-3-217 ページ）のとおり印字する。 |
| 請求人・申請人氏名 | 変更票で入力した請求人・申請人氏名を印字する。<br>なお、職権（訂正処理も含む。）については印字しない。 |
| 同時決議番号 | 変更票で入力した同時決議番号を印字する。 |
| 様式番号 | 変更票で入力した様式番号を印字する。 |
| 受付年月日 | 変更票で入力した受付年月日を印字する。 |
| 決議書出力年月日 | 決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名をカタカナで印字する。ただし、被災者氏名の情報が存在しない場合は印字しない。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| ＜決定額＞<br>年金年額 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点の算定基礎に基づいた支給制限後年金年額を印字する。ただし、不変更決議書の場合は“－”を印字する。<br>例外については、別表 3－2（Ⅱ-3-219 ページ）を参照すること。 |
| ＜決定額＞<br>特別年金年額 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点の算定基礎に基づいた支給制限後特別年金年額を印字する。ただし、特別遺族年金の場合、及び不変更決議書の場合は“－”を印字する。<br>例外については、別表 3－2（Ⅱ-3-219 ページ）を参照すること。 |

| 出力項目名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| ＜決定額＞<br>傷病差額特別年金額 | 原則として、傷病（補償）年金の場合で変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点の算定基礎に基づいた支給制限後傷病差額特別年金年額を印字する。ただし、不変更決議書の場合は“－”を印字する。<br>なお、傷病（補償）年金以外は“－”を印字する。<br>例外については、別表３－２（Ⅱ-3-219 ページ）を参照すること。 |
| ＜決定額＞<br>就学等援護費 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点の算定基礎に基づいた就学等援護費月額の合計を印字する。ただし、特別遺族年金の場合、及び不変更決議書の場合は“－”を印字する。なお、変更年月の効力開始年月が平成８年５月支払期以前の年金の終月（1・4・7・10 月）の場合は、翌期の支払対象年月となるため計算不能となることから“＊”を印字する。<br>例外については、別表３－２（Ⅱ-3-219 ページ）を参照すること。 |
| ＜調整額等＞<br>回収額 | 当期に生じたそ及回収額の合計を［保険給付」「特別支給金」「就学等援護費」別に印字する。但し、特別遺族年金の場合、「特別支給金」「就学援護費」は印字しない。 |
| ＜調整額等＞<br>調整額処理方法 | 回収額の処理方法を「保険給付」「特別支給金」「就学等援護費」別に下記のとおり印字する。但し、特別遺族年金の場合、「特別支給金」「就学援護費」は印字しない。<br>転帰時に債権コードを入力しない場合　……　保留<br>転帰時に債権コードを入力した場合<br>又は内払すべき給付額が存在しない場合　……　債権管理<br>年金継続中で内払処理が可能な場合　……　内払 |
| ＜調整額等＞<br>追給額 | 当期に生じたそ及追給額（内払調整後）の合計を「保険給付」「特別支給金」「就学等援護費」別に印字する。但し、特別遺族年金の場合、「特別支給金」「就学援護費」は印字しない。 |
| ＜調整額等＞<br>未支給金額 | 死亡転帰により発生した未支給金を「保険給付」「特別支給金」「就学等援護費」別に印字する。但し、特別遺族年金の場合、「特別支給金」「就学援護費」は印字しない。 |
| ＜調整額等＞<br>失権差額一時金 | 障害（補償）年金の死亡転帰又は遺族（補償）年金の転帰で発生した失権差額一時金を「保険給付」「特別支給金」別に印字する。但し、特別遺族年金の場合、「特別支給金」は印字しない。 |

| 出力項目名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| 算定基礎 | 原則として、変更年月の効力開始年月時点の変更前・後における算定基礎（年金給付基礎日額・算定基礎日額・給付日数・厚生等調整率・支給制限率・年金年額等）を印字する。ただし、不変更決議書の場合は“＊”を印字する。また、給付日数と厚生等調整率の間の枠には、厚生等調整方法が率調整の場合は“×”を、限度額調整の場合は“－”を印字する。<br>特別遺族年金の場合、”厚年等調整率（額）”に年金額を印字し、それ以外の項目はすべて印字しない。<br>例外は、別表３－４（Ⅱ-3-221 ページ）を参照すること。 |
| 請求書項目等 | 変更処理で入力した変更データ等又は訂正処理の訂正前・後の内容を別表 3－5（Ⅱ-3-222 ページ）のとおり印字する。ただし、不変更決議書の場合は印字しない。<br>また、注意を促す内容がある場合は最大３行メッセージを印字する。 |

■別表３－１【上方表題及び届の種類】

| 様式番号 | 上　方　表　題 | 届　の　種　類 |
|---|---|---|
| 00-02 | 支給停止解除 | 遺族（補償）年金支給停止解除申請書<br>特別遺族年金支給停止解除申請書 |
| 00-02-4 | 支給停止解除・転給 | 支給停止解除・転給 |
| 00-03 | 年金証書再交付 | 年金証書再交付申請書 |
| 00-04 | 傷病（補償）年金等級変更 | 傷病（補償）年金傷病変更・治ゆ届 |
| | 傷病（補償）年金治ゆ | |
| 00-05 | 障害（補償）年金再発 | 障害（補償）年金受給者再発届 |
| 00-06 | 受給権者死亡 | 年金等受給権者死亡届 |
| 00-06-2 | 受給権者死亡・転給 | 受給権者死亡・転給 |
| 00-07 | 代表者選任・解任 | 遺族（補償）年金代表者選任・解任届<br>特別遺族年金代表者選任・解任届 |
| 11-00 | 障害（補償）年金等級変更 | 障害（補償）給付変更請求書 |
| 13-00 | 遺族（補償）年金転給<br>特別遺族年金転給 | 遺族（補償）年金転給等請求書<br>特別遺族年金転給等請求書 |
| 14-00 | 遺族（補償）年金支給停止 | 遺族（補償）年金支給停止申請書<br>特別遺族年金支給停止申請書 |
| 14-00-3 | 支給停止・転給 | 支給停止・転給 |
| 20-00 | 厚年等受給関係変更 | 厚生年金保険等の受給関係変更届 |
| 21-00 | 遺族（補償）年金失権<br>特別遺族年金失権 | 遺族（補償）年金受給権者失権届<br>特別遺族年金受給権者失権届 |
| 21-00-1 | 失権・転給 | 受給者失権・転給 |
| 22-00-01～05 | 遺族（補償）年金算定基礎変更<br>特別遺族年金算定基礎変更 | 遺族（補償）年金算定基礎変更届<br>特別遺族年金算定基礎変更届 |

| 様式番号 | 上　方　表　題 | 届　の　種　類 |
|---|---|---|
| 90-02-01 | （職権決議）受給者死亡 | （職権決議用）受給権消滅確認決議書 |
| 90-02-02 | （職権決議）遺族（補償）年金失権 | （職権決議用）受給権消滅確認決議書 |
| | （職権決議）特別遺族年金失権 | （職権決議用）変更決定決議書 |
| 90-02-03 | （職権決議）障害（補償）年金再発 | （職権決議用）受給権消滅確認決議書 |
| 90-03-01 | （職権決議）厚年等受給関係変更 | （職権決議用）変更決定決議書 |
| 90-03-02 | （職権決議）傷病（補償）年金等級変更 | （職権決議用）変更決定決議書 |
| | （職権決議）傷病（補償）年金治ゆ | |
| 90-03-03 | （職権決議）障害（補償）年金等級変更 | （職権決議用）変更決定決議書 |
| 90-03-04 | （職権決議）遺族（補償）年金転給 | （職権決議用）変更決定決議書 |
| | （職権決議）特別遺族年金転給 | |
| 90-03-05～09 | （職権決議）遺族（補償）年金算定基礎変更 | （職権決議用）変更決定決議書 |
| | （職権決議）特別遺族年金算定基礎変更 | |
| 90-03-10～11 | （職権決議）代表者選任・解任 | （職権決議用）代表者選任・解任決議書 |
| 90-04 | （職権決議）年金証書再交付 | （職権決議用）年金証書再交付決議書 |

※様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」、1 桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　また、様式番号が 3 桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 上　方　表　題 | 届　の　種　類 |
|---|---|---|
| 90-12-01 | 支払差止決議 | （職権決議用）支払差止・解除決議書 |
| | 支払差止解除決議 | |
| 90-12-02 | 援護費支払差止決議 | （職権決議用）支払差止・解除決議書 |
| | 援護費支払差止解除決議 | |
| 540 | （職権決議） | 支給転帰情報訂正 |
| 580 | （職権決議） | 厚年等情報訂正 |
| 590 | （職権決議） | 支給停止情報訂正 |
| 600 | （職権決議） | 資格者情報訂正 |
| 610 | （職権決議） | 援護費情報訂正 |

※様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」、1 桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　また、様式番号が 3 桁の数字は「項目群番号」を示す。

■別表 3－2【決定額】

| 様 式 番 号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 00-03<br>90-04 | 全ての金額欄に“－”を印字する。 |
| 00-04 | 変更後の傷病等級号が「8888（治ゆ）」「9999（等級不該当）」の場合は、すべての金額欄に“0”を印字する。 |
| 00-05 | 全ての金額欄に“0”を印字する。 |
| 00-06<br>90-02 | 全ての金額欄に“0”を印字する。ただし、権者払いの場合は除く。 |
| 00-07<br>90-03-10<br>90-03-11 | 全ての金額欄に“－”を印字する。 |
| 11-00 | 変更後の等級が「8 級～14 級」又は「9999（等級不該当）」の場合は、すべての金額欄に“0”を印字する。 |
| 21-00 | 全ての金額欄に“0”を印字する。ただし、権者払いの場合は除く。 |
| 90-12-01 | 全ての金額欄に“－”を印字する。 |
| 90-12-02 | 全ての金額欄に“－”を印字する。 |
| 540 | 転帰取消以外はすべての金額欄に“－”を印字する。 |
| 600 | 「601：資格者氏名」又は「603：資格者性別」の訂正の場合はすべての金額欄に“0”を印字する。 |
| 610 | 「615：在学者氏名」、「616：在学者生年月日」又は「614：中断復帰転帰事由」の訂正の場合はすべての金額欄に“－”を印字する。上記以外は就学等援護費の欄以外は“－”を印字する。 |

※様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」を示す。また、様式番号が 3 桁の場合は項目群番号を示す。

■別表 3－3【調整額等】

| 様　式　番　号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 00-03<br>90-04 | 印字しない。 |
| 00-07<br>90-03-10<br>90-03-11 | 印字しない。 |
| 90-12-01 | 印字しない。 |
| 90-12-02 | 印字しない。 |
| 540 | 転帰取消以外は印字しない。 |
| 600 | 「601：資格者氏名」又は「603：資格者性別」の訂正の場合は印字しない。 |
| 610 | 「615：在学者氏名」、「616：在学者生年月日」又は「614：中断復帰転帰事由」の訂正の場合は印字しない。また、上記以外の訂正についても印字しない。 |

※　様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」を示す。また、様式番号が 3 桁の場合は項目群番号を示す。

別表 3－4【算定基礎】

| 様 式 番 号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 00-03<br>90-04 | 印字しない。 |
| 00-04 | 変更後の等級が「8888（治ゆ)」、「9999（等級不該当)」の場合は、変更前の算定基礎のみ印字する。 |
| 00-05 | 変更前の算定基礎のみ印字する。 |
| 00-06<br>90-02 | 変更前の算定基礎のみ印字する。ただし、権者払いの場合は除く。 |
| 00-07<br>90-03-10<br>90-03-11 | 印字しない。 |
| 11-00 | 変更後の等級が「8 級～14 級」、「9999（等級不該当)」の場合は、変更前の算定基礎のみ印字する。 |
| 13-00 | 変更前が転給未処理の場合、印字しない。 |
| 21-00 | 変更後の算定基礎は印字しない。ただし、権者払いの場合は除く。 |
| 90-12-01 | 印字しない。 |
| 90-12-02 | 印字しない。 |
| 540 | 転帰取消は変更後の算定基礎のみ印字する。<br>転帰取消以外は印字しない。 |
| 600 | 「601：資格者氏名」又は「603：資格者性別」の訂正の場合は印字しない。 |
| 610 | 印字しない。 |

※　様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」を示す。また、様式番号が 3 桁の場合は項目群番号を示す。

■別表 3－5【請求書項目等】

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 00-02 | 所在判明による支給停止解除<br><br>枝番 ☒☒　所在判明者　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>停止解除年月日　☒☒☒.☒☒.☒☒<br>所在判明時の支払権者<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>---<br>入力した内容及び所在判明時の所在判明者以外の支払権者を印字する。<br>所在判明者及び所在判明時の支払権者の氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者についてはカナで印字する。 |
| 00-02-4 | 所在判明による支給停止解除・転給<br><br>枝番 ☒☒　所在判明者　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>停止解除年月日　☒☒☒.☒☒.☒☒<br>転給者<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>---<br>入力した内容及び転給者の枝番号・氏名を印字する。<br>所在判明者・転給者氏名は同一人が印字される。所在判明者の氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者についてはカナで印字する。 |
| 00-03<br>90-04 | 年金証書再交付<br><br>枝番　☒☒<br>権者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>再交付事由　☒　☒☒☒<br>再発行回数　☒<br>---<br>入力した内容及び支払権者氏名を印字する。<br>再交付事由はコードとコードに対応する文言を印字する。<br>権者氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者についてはカナで印字する。 |

※　様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」、1 桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が 3 桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 00-04<br>90-03-02 | ＜変更後傷病等級号：8888 の場合＞<br>傷病治ゆ<br><br>変更前の等級　☒級☒☒号<br>変更後の等級　治ゆ<br>変更年月日　　☒☒☒.☒☒.☒☒<br>---<br>＜変更後傷病等級号：8888 以外の場合＞<br>傷病等級変更<br><br>変更前の等級　☒級☒☒号<br>変更後の等級　☒級☒☒号<br>変更年月日　　☒☒☒.☒☒.☒☒<br>---<br>入力した内容及び変更前の傷病等級号を印字する。<br>ただし、変更後の傷病等級に「8888」を入力した場合は“治ゆ”と印字する。また、変更後の傷病等級に「9999」を入力した場合は “等級不該当と印字する。<br>なお、タイトルは治ゆの場合には「傷病治ゆ」と印字する。 |
| 00-05<br>90-02-03 | 受給権消滅確認<br><br>受給権消滅年月日　☒☒☒.☒☒.☒☒　受給権消滅事由　再発<br>---<br>入力した内容を印字する。<br>「受給権消滅年月日」には再発年月日を印字する。 |

※　様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」、1 桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が 3 桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 00-06<br>90-02-01 | ＜傷病・障害（補償）年金の場合＞<br>受給権者死亡<br><br>受給権者氏名　　ⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧ<br>死亡年月日　　ⓧⓧⓧ. ⓧⓧ. ⓧⓧ |
| | ＜遺族（補償）年金で全員失権する場合＞<br>受給権者死亡<br><br>枝番 ⓧⓧ　氏名 ⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧ<br>失権年月日 ⓧⓧⓧ. ⓧⓧ. ⓧⓧ　失権事由　1-死亡 |
| | ＜遺族（補償）年金で転帰以外の場合＞<br>受給権者死亡<br><br>枝番 ⓧⓧ　氏名 ⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧ<br>失権年月日 ⓧⓧⓧ. ⓧⓧ. ⓧⓧ　失権事由　1-死亡<br>転給予定者<br>枝番 ⓧⓧ　氏名　ⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧ<br>枝番 ⓧⓧ　氏名　ⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧ<br>枝番 ⓧⓧ　氏名　ⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧ<br>枝番 ⓧⓧ　氏名　ⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧ<br>枝番 ⓧⓧ　氏名　ⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧ<br>枝番 ⓧⓧ　氏名　ⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧ<br>枝番 ⓧⓧ　氏名　ⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧ<br>枝番 ⓧⓧ　氏名　ⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧⓧ　他 |
| | 入力した内容を印字する。また、遺族（補償）年金の転帰以外の場合は転給予定の資格者の枝番号・氏名（カナ）を最大８人印字する。なお９人以上存在する場合は最後の資格者氏名の右に“他”を印字する。<br>死亡した支払権者氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者についてはカナで印字する。 |

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 00-06-2 | 死亡・転給<br><br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>失権年月日 ☒☒☒.☒☒.☒☒　失権事由　1-死亡<br>転給者<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒ |
| | 入力した内容及び転給者の枝番号・氏名（漢字）を印字する。<br>死亡した支払権者の氏名は漢字で印字する。転給者の氏名はカナで印字する。<br>ただし、外国送金者についてはすべてカナで印字する。 |
| 00-07-01<br>90-03-10 | 代表者解任<br><br>枝番 ☒☒　解任者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>解任年月日　☒☒☒.☒☒.☒☒<br><br>解任後権者<br>枝番 ☒☒　権者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　権者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　権者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　権者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒ |
| | 入力した内容及び解任後の解任者を除いた支払権者の枝番号及び氏名（カナ）を最大4人分印字する。<br>解任年月日は、決議書出力年月日の属する支払期の初月の1日を印字する。<br>解任者氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者はカナで印字する。 |

※　様式番号の次の2桁の数字は「変更内容コード」、1桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が3桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 00-07-02<br>90-03-11 | ＜代表者選任（代表者払→代表者払）＞<br>代表者選任<br><br>枝番 ☒☒　選任者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>選任年月日　☒☒☒.☒☒.☒☒<br><br>解任者情報<br>枝番☒☒　解任者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒ |
| | 入力した内容及び解任者の枝番号・氏名（漢字）を印字する。<br>解任者氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者についてはカナで印字する。<br>選任年月日は、決議書出力年月日の属する支払期の初月の１日を印字する。<br>選任者氏名はカナで印字する。 |
| | ＜代表者選任（権者払→代表者払）＞<br>代表者選任<br><br>枝番 ☒☒　選任者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>選任年月日　☒☒☒.☒☒.☒☒<br><br>解任者情報<br>枝番☒☒　解任者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番☒☒　解任者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番☒☒　解任者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番☒☒　解任者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒ |
| | 入力した内容及び解任者の枝番号・氏名（漢字）を印字する。<br>解任者氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者についてはカナで印字する。<br>選任年月日は、決議書出力年月日の属する支払期の初月の１日を印字する。<br>選任者氏名はカナで印字する。 |

※　様式番号の次の２桁の数字は「変更内容コード」、１桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が３桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 11-00<br>90-03-03 | 障害等級変更<br><br>変更前の等級　　変更後の等級　　変更年月日<br>障害等級号　　☒☒級☒☒号　　☒☒級☒☒号　　☒☒☒.☒☒.☒☒<br>---<br>入力した内容及び変更前の障害等級号を印字する。<br>入力した障害等級号が「9999」の場合は“等級不該当”と印字する。 |
| 13-00-01<br>～02 | 転給<br><br>転給年月日　☒☒☒.☒☒.☒☒<br>転給者<br>枝番 ☒☒　氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>---<br>入力した転給年月日、転給者枝番号及び転給者氏名（カナ）を印字する。 |
| 13-00-03 | 転給<br><br>転給年月日　☒☒☒.☒☒.☒☒<br>転給者<br>枝番 ☒☒　氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>胎児出生情報<br>氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒　　性別　☒<br>生年月日　☒☒☒.☒☒.☒☒<br>---<br>入力した転給年月日（生年月日）、転給者枝番号、転給者氏名（胎児氏名）（カナ）及び胎児の性別（漢字）を印字する。 |

※　様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」、1 桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が 3 桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 14-00 | 所在不明による支給停止<br><br>枝番 ☒☒　所在不明者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>所在不明年月日　☒☒☒.☒☒.☒☒<br>所在不明者以外の権者<br>枝番 ☒☒　氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒ |
| | 入力した内容及び所在不明者以外の支払権者の枝番号・氏名（漢字）を最大 4 人印字する。<br>所在不明者及び所在不明者以外の支払権者の氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者についてはカナで印字する。 |
| 14-00-03 | 所在不明による支給停止・転給<br>枝番 ☒☒　所在不明者氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>所在不明年月日　☒☒☒.☒☒.☒☒<br>転給者<br>枝番 ☒☒　氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒ |
| | 入力した内容及び転給者の枝番号・氏名（漢字）を印字する。<br>所在不明者および転給者の氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者についてはカナで印字する。 |

※　様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」、1 桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が 3 桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 20-00<br>90-03-01 | ＜傷病・障害（補償）年金＞<br>厚年等受給関係変更<br><br>変更前　　変更後<br>調整コード１種　　□　□□□　　□　□□□<br>厚年等種別１種　　□　□□□　　□　□□□<br>厚年等年額１種　　□□□,□□□,□□□　　□□□,□□□,□□□<br>厚年等年金証書番号１種　□□□□□□□□□□□□□　□□□□□□□□□□□□□<br>厚年等調整開始年月１種　□□□.□□　　□□□.□□ |
| | ＜遺族（補償）年金＞<br>厚年等受給関係変更<br><br>変更前　　変更後<br>調整コード１種　　□　□□□　　□　□□□<br>厚年等種別１種　　□　□□□　　□　□□□<br>厚年等年額１種　　□□□,□□□,□□□　　□□□,□□□,□□□<br>厚年等年金証書番号１種□□□□□□□□□□□□□　□□□□□□□□□□□□□<br>厚年等調整開始年月１種□□□.□□　　□□□.□□<br>調整コード２種　　□　□□□　　□　□□□<br>厚年等種別２種　　□　□□□　　□　□□□<br>厚年等年額２種　　□□□,□□□,□□□　　□□□,□□□,□□□<br>厚年等年金証書番号２種□□□□□□□□□□□□□　□□□□□□□□□□□□□<br>厚年等調整開始年月２種□□□.□□　　□□□.□□ |
| | 入力した内容及び変更前の内容を印字する。<br>厚年等年金証書番号にデータが存在しない場合は印字しない。 |

※　様式番号の次の２桁の数字は「変更内容コード」、１桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が３桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 21-00<br>90-02-02 | ＜全員失権する場合＞<br>失権<br><br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>失権年月日 ☒☒☒.☒☒.☒☒　失権事由 ☒-☒☒☒☒ |
| | ＜転帰以外の場合＞<br>受給権者死亡<br><br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>失権年月日 ☒☒☒.☒☒.☒☒ 失権事由 ☒-☒☒☒☒<br>転給予定者<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒　他 |
| | 入力した内容を印字する。また、転帰以外の場合は転給予定の資格者の枝番号・氏名（カナ）を最大 8 人印字する。なお、9 人以上存在する場合は最後の資格者氏名の右に“他”を印字する。<br>失権した支払権者氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者についてはカナで印字する。 |
| 21-00-1 | 失権・転給<br><br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>失権年月日 ☒☒☒.☒☒.☒☒ 失権事由 ☒-☒☒☒☒<br>転給者<br>枝番 ☒☒　氏名 ☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒ |
| | 入力した内容及び転給者の枝番号・氏名（漢字）を印字する。<br>失権した支払権者及び転給者の氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者についてはカナで印字する。 |

※　様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」、1 桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が 3 桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 22-00-01<br>90-03-05 | 算定基礎変更<br><br>変更前算定基礎人数　Ⅹ　　変更後算定基礎人数　Ⅹ<br>枝番　算定基礎遺族氏名　　生年月日　　性別　生計　事由<br>ⅩⅩ　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ　ⅩⅩⅩ.ⅩⅩ.ⅩⅩ　Ⅹ　　Ⅹ　　胎児出生<br>---<br>入力した内容及び変更前・後の算定基礎人数を印字する。<br>算定基礎人数が５人（平成７年８月１日以降は４人）以上の場合は５人（平成７年８月１日以降は４人）と印字する。 |
| 22-00-02～05<br>90-03-06～09 | 算定基礎変更<br><br>変更前算定基礎人数　Ⅹ　　変更後算定基礎人数　Ⅹ<br>事由発生日　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ<br>枝番　算定基礎遺族氏名　　生年月日　　事由　　算定<br>ⅩⅩ　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ　ⅩⅩⅩ.ⅩⅩ.ⅩⅩ　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ　Ⅹ<br>ⅩⅩ　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ　ⅩⅩⅩ.ⅩⅩ.ⅩⅩ　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ　Ⅹ<br>ⅩⅩ　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ　ⅩⅩⅩ.ⅩⅩ.ⅩⅩ　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ　Ⅹ<br>ⅩⅩ　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ　ⅩⅩⅩ.ⅩⅩ.ⅩⅩ　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ　Ⅹ<br>ⅩⅩ　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ　ⅩⅩⅩ.ⅩⅩ.ⅩⅩ　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ　Ⅹ<br>---<br>入力した内容、変更前・後の算定基礎人数を印字する。<br>算定基礎人数が５人（平成７年８月１日以降は４人）以上の場合は５人（平成７年８月１日以降は４人）と印字する。<br>算定は“増”・“減”を印字する。ただし、増減の生じない場合は印字しない。<br>事由は変更内容コードに対応した文言を印字する。 |
| 90-03-04 | 転給<br><br>転給年月日　ⅩⅩⅩ.ⅩⅩⅩ.ⅩⅩ<br>転給者<br>枝番　ⅩⅩ　氏名　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ<br>---<br>入力した内容及び転給者氏名（カナ）を印字する。 |

※　様式番号の次の２桁の数字は「変更内容コード」、１桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が３桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 90-12-01 | ＜支払差止の場合＞<br>支払差止<br>枝番号　　☒☒<br>権者氏名　　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>支払差止開始年月　　☒☒☒.☒☒<br>支払差止（解除）事由　☒　☒☒☒☒☒☒☒☒ |
| | ＜支払差止解除の場合＞<br>支払差止解除<br>枝番号　　☒☒<br>権者氏名　　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒<br>支払差止開始年月　　☒☒☒.☒☒<br>支払差止（解除）事由　☒　☒☒☒☒☒☒☒☒<br>支払差止累計額年金　　☒☒☒,☒☒☒,☒☒☒<br>支払差止累計額特年　　☒☒☒,☒☒☒,☒☒☒<br>支払差止累計額援護費　☒☒☒,☒☒☒,☒☒☒ |
| | 入力した内容及び差止開始年月を印字する。<br>差止開始年月は、変更票を入力した年月日の属する支払期の初月を印字する。<br>差止累計額は、変更票を入力した年月日の直前の支払期までの時効調整後の金額を印字する。権者の氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者についてはカナで印字する。枝番号は、遺族（補償）年金、または特別遺族年金の場合に印字する。 |
| 90-12-02 | ＜援護費支払差止の場合＞<br>援護費支払差止<br>枝番　在学者等氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒　　支給区分　☒<br>☒☒　差止年月　☒☒☒.☒☒.☒☒　　差止事由　☒　☒☒☒☒☒☒☒☒ |
| | ＜援護費支払差止解除の場合＞<br>援護費支払差止解除<br>枝番　在学者等氏名　☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒☒　　支給区分　☒<br>☒☒　差止年月　☒☒☒.☒☒.☒☒　　解除事由　☒　☒☒☒☒☒☒☒☒<br>支払差止累計額　☒☒☒,☒☒☒,☒☒☒. |
| | 入力した内容及び差止開始年月を印字する。<br>差止開始年月は、変更票を入力した年月日の属する支払期の初月を印字する。<br>差止累計額は、変更票を入力した年月日の直前の支払期までの時効調整後の金額を印字する。権者の氏名は漢字で印字する。ただし、外国送金者についてはカナで印字する。最大 3 人分の権者の情報を印字する。 |

※　様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」、1 桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が 3 桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 540 | 支給転帰情報訂正<br><br>訂正項目　　訂正前データ　　訂正後データ<br>支給事由発生日　X X X. X X. X X　　X X X. X X. X X<br>転帰事由　　X　X X X X X X　　X　X X X X X X<br>転帰年月日　　X X X. X X. X X　　X X X. X X. X X<br><br>入力した内容及び訂正前の内容を印字する。<br>訂正項目は選択した項目のみ印字する。<br>転帰取消の場合は、転帰事由及び転帰年月日の訂正後データは印字しない。 |
| 580 | 厚年等情報訂正<br><br>訂正項目　　訂正前データ　　訂正後データ<br>調整コード 1 種　X　X X X X X X　　X　X X X X X X<br>厚年等種別　　X　X X X X X X　　X　X X X X X X<br>厚年等年額　　X X X, X X X, X X X　　X X X, X X X, X X X<br>~~厚年等年証~~番号　　X X X X X X X X X X X X X X X　　X X X X X X X X X X X X X X X<br>厚年等開始年月　　X X X. X X　　X X X. X X<br><br>入力した内容及び訂正前の内容を印字する。<br>取消の場合は訂正後データは印字しない。また、追加の場合は訂正前データは印字しない。 |
| 583 | 厚年等情報訂正<br><br>訂正項目　　訂正前データ　　訂正後データ<br>厚年等年額 1 種　X X X, X X X, X X X　　X X X, X X X, X X X<br>厚年等開始年月　　X X X. X X　　X X X. X X<br><br>入力した内容及び訂正前を印字する。 |

※　様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」、1 桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が 3 桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 588 | 厚生等情報訂正<br><br>訂正項目　　訂正前データ　　訂正後データ<br>厚年等年額 2 種　X X X, X X X, X X X　　X X X, X X X, X X X<br>厚年等開始年月　X X X. X X　　X X X. X X<br>---<br>入力した内容及び訂正前の内容を印字する。 |
| 590 | 支給停止情報訂正<br><br>枝番　X X　　氏名　X X X X X X X X X X<br>訂正項目　　変更年月　　訂正前データ　　訂正後データ<br>行方不明・解除　　X X X. X X　　X　　X<br>---<br>入力した内容、訂正した支払権者氏名及び訂正前の内容を印字する。<br>追加の場合は訂正前データを印字しない。また、取消の場合は訂正後データを印字しない。 |
| 600 | 資格者情報訂正<br><br>枝番　　資格者氏名　　生年月日<br>X X　　X X X X X X X X X X X X X X X X X X X X　　X X X. X X. X X<br>訂正項目　　変更年月　　訂正前データ　　訂正後データ<br>性別　　X　X　　X　X<br>失権事由　　X X X. X X　　X　　X<br>失権事由（内容）　　X X X X　　X X X X<br>同一生計　　X X X. X X　　X　X　　X　X<br>障害の状態　　X X X. X X　　X　X X X X　　X　X X X X<br>---<br>入力した内容及び訂正前の内容を印字する。ただし、資格者氏名、生年月日については訂正後データのみを印字する。<br>取消の場合は訂正後データは印字しない。また、追加の場合は訂正前データは印字しない。なお、資格者取消の場合は枝番号、資格者氏名及び生年月日のみ印字する。 |

※　様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」、1 桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が 3 桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 610 | 援護費情報訂正<br><br>枝番　　在学者・要保育児氏名（訂正後）<br>Ⅹ Ⅹ　　ⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩⅩ<br>訂正項目　　変更年月　　訂正前データ　　訂正後データ<br>在学者生年月日　　ⅩⅩⅩ. Ⅹ Ⅹ. Ⅹ Ⅹ　　ⅩⅩⅩ. Ⅹ Ⅹ. Ⅹ Ⅹ<br>支給区分　　ⅩⅩⅩ. Ⅹ Ⅹ　　Ⅹ　ⅩⅩⅩⅩ　　Ⅹ　ⅩⅩⅩⅩ<br>学年区分　　ⅩⅩⅩ. Ⅹ Ⅹ　　Ⅹ　　Ⅹ<br>支給終了年月　ⅩⅩⅩ. Ⅹ Ⅹ　　ⅩⅩⅩ. Ⅹ Ⅹ　　ⅩⅩⅩ. Ⅹ Ⅹ<br>中断復帰事由　ⅩⅩⅩ. Ⅹ Ⅹ　　Ⅹ　　Ⅹ<br>中断復帰事由（内容）　ⅩⅩⅩ. Ⅹ Ⅹ　ⅩⅩⅩⅩ　　ⅩⅩⅩⅩ<br>入力した内容、訂正した在学者及び訂正前の内容を印字する。<br>取消の場合は訂正後データを印字しない。 |

※　様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」、1 桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　　また、様式番号が 3 桁の数字は「項目群番号」を示す。

ハ　変更決定決議書を入力して出力される帳票

| 出力帳票等名 | 出　力<br>帳票番号 | 変更 | 不変更 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|
| 援護費通知書 | － | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（行審法教示文あり） | － | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（労審法教示文あり） | － | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（行審法教示文あり、特別遺族） | － | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（労審法教示文あり、特別遺族） | － | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（教示文なし） | － | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（教示文なし、特別遺族） | － | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 不変更決定通知書（教示文あり） | 452 | × | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 不変更決定通知書（教示文あり、特別遺族） | 483 | × | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 不変更決定通知書（教示文なし） | 497 | × | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 不変更決定通知書（教示文なし、特別遺族） | 499 | × | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金証書 | 450 | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金証書（特別遺族） | 440 | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

△…条件出力、×…非出力

年金証書が出力されるのは次の処理である。

様式番号【00-02（同時決議）、00-03、00-06（同時決議）、00-07（選任については権者払→選任の場合を除く）、13-00、14-00（同時決議）、21-00（同時決議）、90-03（変更内容コード 04）、90-03（変更内容コード 10）、90-04】

ニ　留意点

| （変更処理） | | | | | 変更決定通知書関係 | | | 年金証書関係 | 援護費変更決定通知書 | 不変更決定通知書関係 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 番号 | 請求書・申請書等の種類 | 様式番号 | 職権決議 | 同時決議 | 変更決定通知書（労審法の教示文あり）※特別遺族含む | 変更決定通知書（行審法の教示文あり）※特別遺族含む | 変更決定通知書（教示文なし）※特別遺族含む | 年金証書／特別遺族年金証書 | 行審法教示文あり | 不変更決定通知書（労審法の教示文あり）※特別遺族含む | 不変更決定通知書（教示文なし）※特別遺族含む |
| 1 | 遺族（補償）年金支給停止解除申請書及び遺族（補償）年金転給等請求書 | 00-02 | | ○ | △ | × | △ | × | △ | ○ | × |
| 2 | 遺族（補償）年金支給停止解除申請書 | 00-02 | | | × | × | ○ | × | △ | ○ | × |
| 3 | 年金証書再交付申請書 | 00-03 | 90-04 | | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ |
| 4 | 傷病の状態の変更に関する届・治ゆ届 | 00-04 | 90-03 | | ○ | × | × | × | △ | ○ | × |
| 5 | 障害（補償）年金受給者再発届 | 00-05 | 90-02 | | ○ | × | × | × | △ | ○ | × |
| 6 | 年金受給者死亡届及び遺族（補償）年金転給等請求書 | 00-06 | | ○ | △ | × | △ | ○ | △ | △ | △ |
| 7 | 年金受給者死亡届（傷病・障害） | 00-06 | 90-02 | | × | × | ○ | × | △ | × | ○ |
| | 年金受給者死亡届（遺族） | | | | △ | × | △ | × | △ | △ | △ |
| 8 | 遺族（補償）年金代表者選任・解任届 | 00-07 | 90-03 | | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ |
| 9 | 障害（補償）給付変更請求書 | 11-00 | 90-03 | | ○ | × | × | × | △ | ○ | × |
| 10 | 遺族（補償）年金転給等請求 | 13-00 | 90-03 | | ○ | × | × | ○ | △ | ○ | × |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 書 | | | | | | | | | | |
| 11 | 遺族（補償）年金支給停止申請書及び遺族（補償）年金転給等請求書 | 14-00 | | ○ | ○ | × | × | ○ | △ | ○ | × |
| 12 | 遺族（補償）年金支給停止申請書 | 14-00 | | | ○ | × | × | ○ | △ | ○ | × |
| 13 | 厚生年金保険等の受給関係変更届 | 20-00 | 90-03 | | ○ | × | × | × | × | ○ | × |
| 14 | 遺族（補償）年金受給権者失権届及び遺族（補償）年金転給等請求書 | 21-00 | | ○ | △ | × | △ | ○ | △ | ○ | × |
| 15 | 遺族（補償）年金受給権者失権届 | 21-00 | 90-02 | | △ | × | △ | × | △ | ○ | × |
| 16 | 遺族（補償）年金額算定基礎変更届（胎児出生） | 22-00 | 90-03 | | × | × | ○ | × | × | ○ | × |
| 17 | 遺族（補償）年金額算定基礎変更届（同一生計） | 22-00 | 90-03 | | ○ | × | × | × | △ | ○ | × |
| 18 | 遺族（補償）年金額算定基礎変更届（障害の有無の変更） | 22-00 | 90-03 | | ○ | × | × | × | × | ○ | × |
| 19 | 遺族（補償）年金額算定基礎変更届（妻の障害の有無の変更） | 22-00 | 90-03 | | ○ | × | × | × | × | ○ | × |
| 20 | 遺族（補償）年金額算定基礎変更届（失権） | 22-00 | 90-03 | | × | × | ○ | × | △ | ○ | × |
| 21 | 支払差止（解除）変更 | | 90-12 | | × | ○（差止時） | ○（解除時） | × | × | － | － |
| 22 | 援護費支払差止（解除）変更 | | 90-12 | | × | ○（差止時） | ○（解除時） | － | × | － | － |

・　変更処理の処分性の有無等により、出力する変更決定通知書、不変更決定通知書の種類が異なる。
・　援護費通知書（454）は、年金の変更処理の結果、援護費もシステムで連動して変更される場合に出力する。

ニ　変更決定決議書を入力して出力される帳票

変更決定決議書票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアに修正再送信用の情報を出力する。

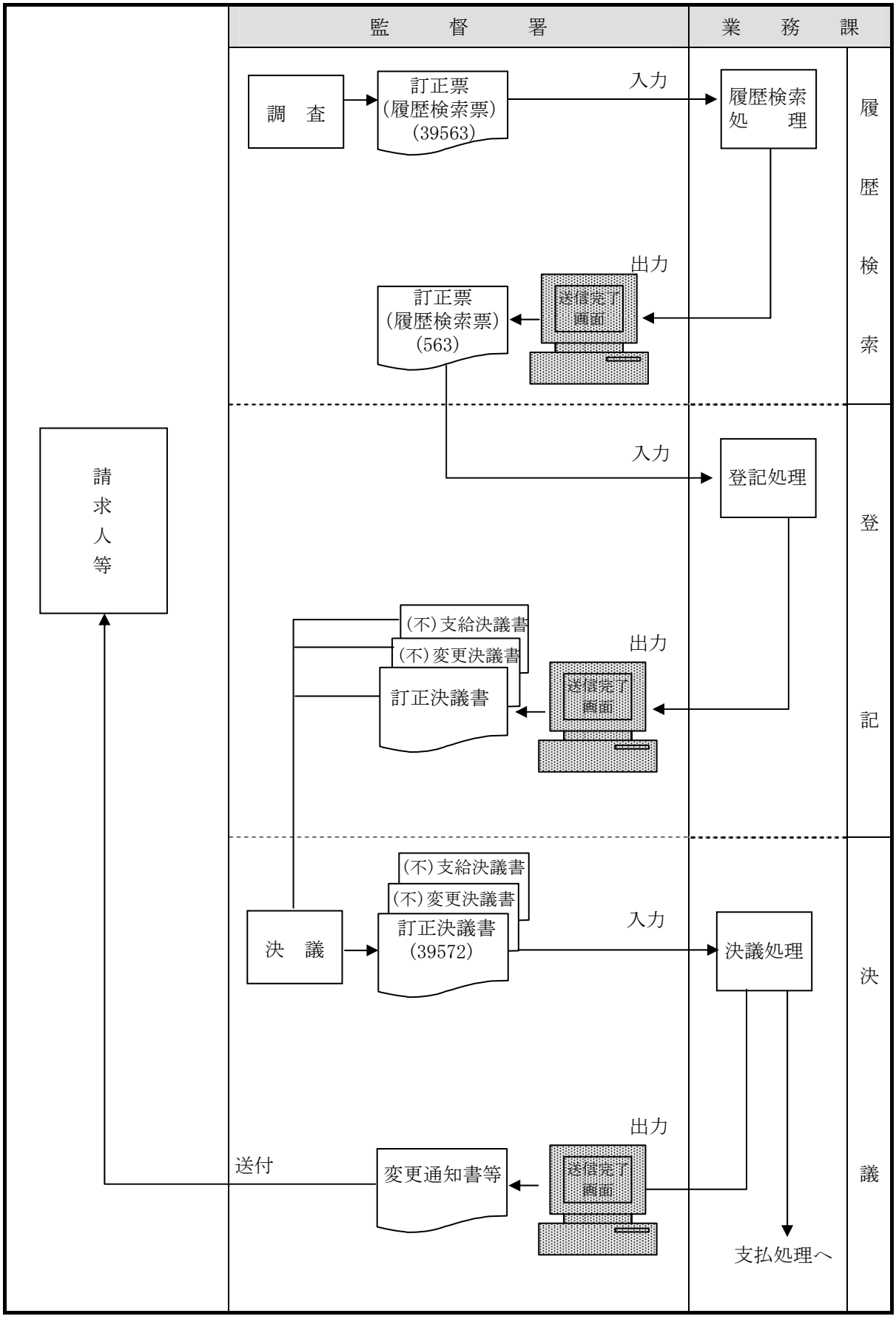
出力項目の説明

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア（修正再送信時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | － | 変更決議の処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | キー項目 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | データ受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| | 出力回数 | 帳票に記載された出力回数を出力する。 | － |
| | 決定年月日 | 帳票に記載された決定年月日を出力する。 | － |
| | 処理区分 | 帳票に記載された処理区分を出力する。 | － |
| | 調査コード | 帳票に記載された調査コードを出力する。 | － |
| | 調査年月日 | 帳票に記載された調査年月日を出力する。 | － |
| | 復命書番号 | 帳票に記載された復命書番号を出力する。 | － |
| 操作者情報 | ユーザ ID | 当該処理を実施したユーザの ID を出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末の IP アドレスを出力する。 | － |

# 4

# 訂正処理

訂正処理の流れ


監　督　署
業　務　課
調　査
訂正票
(履歴検索票)
(39563)
入力
履歴検索
処　理
履歴検索
出力
訂正票
(履歴検索票)
(563)
送信完了
画面
請求人等
入力
登記処理
登記
(不)支給決議書
(不)変更決議書
訂正決議書
出力
送信完了
画面
(不)支給決議書
(不)変更決議書
決　議
訂正決議書
(39572)
入力
決議処理
決議
出力
送付
変更通知書等
送信完了
画面
支払処理へ

## 【 処 理 の 説 明 】

訂正処理とは、既に決議した内容を訂正する処理をいう。

訂正とは、年金・一時金・就学等援護費について共通の帳票を使用して行う処理である。

関連のある項目をまとめて項目群としており、この項目群単位で訂正処理を行う。項目群及び項目については項目番号表（Ⅱ-4-13ページ参照）によること。

（履歴検索処理）

- 現在、登録されているデータの内容を確認するため、訂正票（履歴検索票）に年金証書番号、被災者生年月日、項目群番号等の必要項目を記入してＯＣＲ入力する。
- 履歴検索が終了すると、その旨が送信完了画面に出力される。
- 項目群に属する項目の項目番号、項目名及び登記済データがその帳票に印字される。

（登記処理）

- 出力内容を確認し、訂正すべき項目について訂正データを記入し、操作カードを使用し、ＯＣＲ入力する。
- 登記処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され、給付額が変更される場合等には、決議書が出力される。決議書には、訂正前データと訂正後データを印字する。

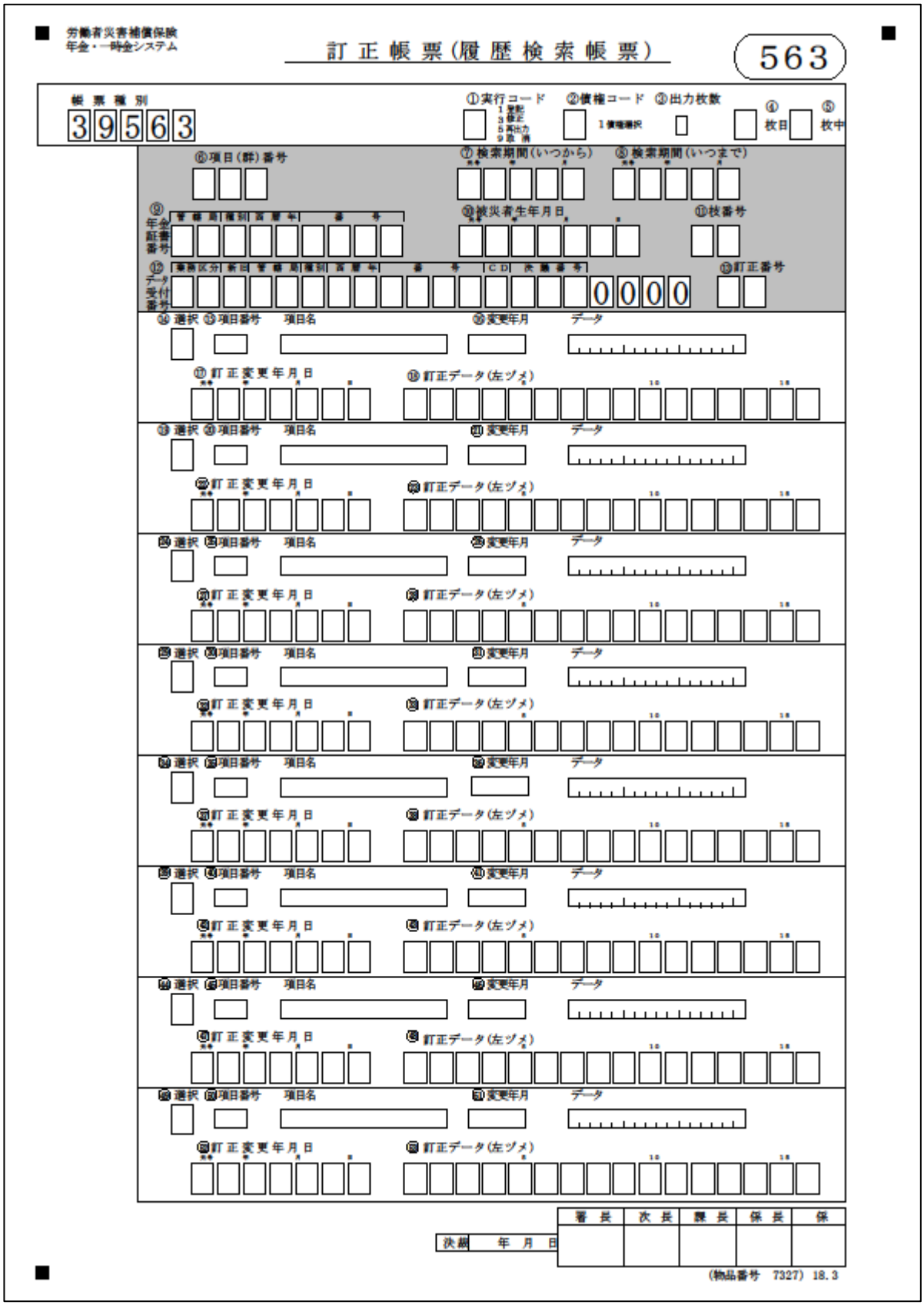
（決議処理）

- 決議書が出力された場合は、これを用いて決議を行う。
- 決議後、決定年月日等を記入し、操作カードを使用し、ＯＣＲ入力する。
- 決議処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され、変更決定通知書等が出力される。

# (受付処理・登記処理)

(1) 訂正票

様式


労働者災害補償保険
年金・一時金システム
訂正帳票(履歴検索帳票)
563
帳票種別
39563
①実行コード
②債権コード
③出力枚数
④枚目
⑤枚中
⑥項目(群)番号
⑦検索期間(いつから)
⑧検索期間(いつまで)
⑨年金証書番号
管轄局 種別 西暦年 番号
⑩被災者生年月日
⑪枝番号
⑫データ受付番号
事務区分 新旧 管轄局 種別 西暦年 番号 CD 決裁番号
0000
⑬訂正番号
⑭選択 ⑮項目番号 項目名 ⑯変更年月 データ
⑰訂正変更年月日 ⑱訂正データ(左ヅメ)
決裁 年 月 日
署長 次長 課長 保長 係
(物品番号 7327) 18.3

(ｲ) 項目別記入要領

| 番号 | 項　　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | 実行コード | 処理により下記のコードを記入する。<br>履歴検索 …… 記入しない<br>登記 …… 1<br>修正 …… 3<br>決議書再出力 …… 5<br>取消 …… 9 |
| 2 | 債権コード | 転帰済の年金を訂正し回収額を債権管理する場合は、下記のコードを記入する。<br>保留 …… 記入しない<br>債権管理 …… 1 |
| 3 | 出力枚数 | 記入しない。 |
| 4 | 枚目 | “1”を記入する。 |
| 5 | 枚中 | “1”を記入する。 |
| 6 | 項目（群）番号 | 訂正する項目の項目番号の属する項目群番号又は項目番号を記入する。（Ⅱ-4-13ページ参照） |
| 7 | 検索期間（いつから） | 履歴が存在する項目（群）番号の履歴を訂正する場合に記入する。<br>イ　検索期間（いつから）以降の変更年月の履歴を印字する。<br>ロ　等級等情報（570）の支給事由発生年月日時点の等級等情報を訂正する場合は記入しないこと。 |
| 8 | 検索期間（いつまで） | 検索期間（いつから）を記入した場合で検索期間を限定する場合に記入する。<br>イ　省略した場合は、入力した年月を設定する。ただし、転帰済の場合は転帰年月を設定する。<br>ロ　検索期間（いつまで）以前の変更年月の履歴を印字する。 |
| 9 | 年金証書番号 | 年金及び特別遺族年金の給付を訂正する場合等に記入する。<br>別表4-1参照 |
| 10 | 被災者生年月日 | 年金証書番号を記入する場合は必ず記入する。 |
| 11 | 枝番号 | 訂正する支払権者、資格者、在学者の枝番号を記入する。<br>※遺族（補償）年金で使用する若年停止に係る枝番号<br>61,71,72,73,74,81,82,91～99は、使用しないこと。<br>別表4-1参照 |
| 12 | データ受付番号 | 一時金給付及び特別遺族一時金を訂正する場合等に記入する。<br>別表4-1参照 |
| 13 | 訂正番号 | 一時金給付及び特別遺族一時金の訂正内容の情報を訂正する場合に記入する。<br>別表4-1参照 |

別表４－１【項目群番号による入力キー】

| No. | 項目群 | | 入力キー |
|---|---|---|---|
| | 群番号 | 項目群名 | |
| 1 | 500 | 短期キー情報 | 年金証書番号又はデータ受付番号 |
| 2 | 510 | 被災者算定情報 | 年金証書番号又はデータ受付番号 |
| 3 | 520 | 被災者共通情報 | 年金証書番号又はデータ受付番号 |
| 4 | 530 | 統計情報 | 年金証書番号又はデータ受付番号 |
| 5 | 540 | 支給・転帰情報 | 年金証書番号又はデータ受付番号 |
| 6 | 550 | 休業情報 | 年金証書番号又はデータ受付番号 |
| 7 | 560 | 損賠情報 | 年金証書番号又はデータ受付番号 |
| 8 | 570 | 等級等情報 | 年金証書番号又はデータ受付番号 |
| 9 | 580 | 厚年等情報 | 年金証書番号 |
| 10 | 583 | 厚年等年額（１種） | 年金証書番号 |
| 11 | 588 | 厚年等年額（２種） | 年金証書番号 |
| 12 | 590 | 支給停止情報 | 年金証書番号、かつ、枝番号 |
| 13 | 600 | 資格者情報 | 年金証書番号、かつ、枝番号 |
| 14 | 610 | 就学等援護費情報 | 年金証書番号、かつ、枝番号 |
| 15 | 630 | 前払情報 | データ受付番号 |
| 16 | 640 | 支払情報（一時金） | データ受付番号、かつ、（訂正番号）※1 |
| 17 | 650 | 受付情報 | データ受付番号、かつ、（訂正番号）※1 |
| 18 | 660 | 調査書情報 | データ受付番号、かつ、（訂正番号）※1 |
| 19 | 900 | 処理情報 | 年金証書番号またはデータ受付番号 |
| 20 | 910 | 三事等実額情報 | データ受付番号 |

※1　訂正番号は、一時金給付及び特別遺族一時金において、既に訂正した情報を再度訂正する場合に記入すること。

(ﾛ) 履歴検索時の出力内容

| 番号 | 項目 | 出力内容 |
|---|---|---|
| 3 | 出力枚数 | “1”を印字する。 |
| 15<br>20<br>25<br>～ | 項目番号 | 「⑥:項目(群)番号」により訂正処理に係る項目群番号表(Ⅱ-4-13ページ参照)の項目番号のとおり印字する。 |
| | 項目名 | 「⑥:項目(群)番号」により訂正処理に係る項目群番号表の項目出力文字のとおり印字する。 |
| 16<br>21<br>26<br>～ | 変更年月 | 「⑦:検索期間(いつから)」、「⑧:検索期間(いつまで)により次のとおり印字する。<br>イ.「⑦:検索期間(いつから)」以降「⑧:検索期間(いつまで)以前の履歴にかかる変更年月日を印字する。<br>ロ.「⑧:検索期間(いつまで)」の入力を省略した場合は入力した年月までのものを印字する。<br>ハ.履歴が存在しない項目(群)番号⑦⑧を空欄とする場合(等級等情報(570)の支給事由発生年月日時点の等級等情報を訂正する場合を含む)は、支給事由発生年月日の翌月を印字する。 |
| | データ | 「⑥:項目(群)番号」により⑯以降の変更年月日に対応するデータを印字する。 |

(ﾊ) 訂正処理内容一覧表

訂正処理とは、決議入力後間違った内容を正しい内容に訂正するための処理である。

なお、決議入力前に内容を訂正する場合は、各帳票(登録票・変更票・訂正票等)において「修正処理」(実行コード:3による処理)を行うことにより決議書の内容を修正することができる。

「項目群」は同時に訂正のあり得る項目をまとめたものであり、各々の項目群に固有の番号を設け「項目群番号」と呼んでいる。また、各々の項目も固有の番号を設け「項目番号」と呼んでいる。

訂正処理は、履歴検索をすることにより、変更履歴の存在する項目については検索期間で指定した履歴を印字し、訂正する履歴の特定を行う。また、変更履歴の存在しない項目又は変更履歴の存在する項目でも最新の履歴のみを訂正可能としている項目については最新の状態を印字することにより、訂正する項目の確認を行うこととしている。

訂正票入力時の出力帳票は、項目群番号ごとに決まっている。金額に影響のない場合は出力帳票なし、金額に影響があり１つの年金給付だけに影響のある場合は「変更決議書」、支払前のみ訂正可能な場合は「支給決定決議書」、金額に影響があり年金給付および一時金給付に影響のあり得る場合又は一度の訂正で同一被災者のすべての給付を訂正しなければならない場合は「訂正決議書」を出力する。

また、通知書については、各々の決議書により異なる通知書を出力する。

〔注〕 転帰後訂正(転帰取消をしなくてもデータの訂正入力ができる処理)

「短期給付キー情報」、「被災者算定情報」、「被災者共通情報」、「統計情報」、「等級等情報」、「厚年等情報」、「受付情報」及び「調査書情報」については転帰後訂正が可能である。

ただし、「等級等情報」及び「厚年等情報」については転帰した年金の後に別給付(年金・一時金)が支給決定されている場合に限り可能である。

なお、上記以外の訂正処理は転帰取消後の入力となる。

(ﾆ) 訂正票入力時の出力画面

出力項目の説明

①登録系の完了画面

短期キー情報（500)、被災者共通情報（520)、統計情報（530)、口座情報（640)、受付情報（650)、調査書情報（660）以外の訂正処理が正常に終了した場合に、以下の送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア（修正再送信時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | － | 実行コードに応じた処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | キー項目 | 帳票に記載された年金証書番号又はデータ受付番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | 実行コード | 帳票に記載された実行コードを出力する。 | － |
| | 債権コード | 帳票に記載されたを債権コードを出力する。 | － |
| | 出力枚数 | 帳票に記載されたを出力枚数を出力する。 | － |
| | 枚目 | 帳票に記載された枚目を出力する。 | － |
| | 枚中 | 帳票に記載された枚中を出力する。 | － |
| | 項目（群）番号 | 帳票に記載された項目（群）番号を出力する。 | － |
| | 検索期間（いつから） | 帳票に記載された検索期間（いつから）を出力する。 | － |
| | 検索期間（いつまで） | 帳票に記載された検索期間（いつまで）を出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |
| | 被災者生年月日 | 帳票に記載された被災者生年月日を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（修正再送信時） |
| 登録項目／入力項目 | 枝番号 | 帳票に記載された枝番号を出力する。 | － |
| | データ<br>受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| | 訂正番号 | 帳票に記載された訂正番号を出力する。 | － |
| | 選択 1～8 | 帳票に記載された選択 1～8 を出力する。 | － |
| | 項目番号<br>1～8 | 帳票に記載された項目番号 1～8 を出力する。 | － |
| | 項目名 1～8 | 帳票に記載された項目名 1～8 を出力する。 | － |
| | 変更年月<br>1～8 | 帳票に記載された変更年月 1～8 を出力する。 | － |
| | 訂正変更年月 1～8 | 帳票に記載された訂正変更年月 1～8 を出力する。 | － |
| | 訂正データ<br>1～8 | 帳票に記載された訂正データ 1～8 を出力する。 | － |
| 操作者情報 | ユーザ ID | 当該処理を実施したユーザの ID を出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末の IP アドレスを出力する。 | － |

②修正系の完了画面

短期キー情報（500）、被災者共通情報（520）、統計情報（530）、口座情報（640）、受付情報（650）、調査書情報（660）の訂正処理が正常に終了した場合に、以下の送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア（修正再送信時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | － | 実行コードに応じた処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | 実行コード | 帳票に記載された実行コードを出力する。 | － |
| | 債権コード | 帳票に記載されたを債権コードを出力する。 | |
| | 出力枚数 | 帳票に記載されたを出力枚数を出力する。 | |
| | 枚目 | 帳票に記載されたを枚目を出力する。 | |
| | 枚中 | 帳票に記載されたを枚中を出力する。 | |
| | 項目（群）番号 | 帳票に記載された項目（群）番号を出力する。 | |
| | 検索期間（いつから） | 帳票に記載された検索期間（いつから）を出力する。 | |
| | 検索期間（いつまで） | 帳票に記載された検索期間（いつまで）を出力する。 | |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | |
| | 被災者生年月日 | 帳票に記載された被災者生年月日を出力する。 | |
| | 枝番号 | 帳票に記載されたを枝番号を出力する。 | |
| | データ受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（修正再送信時） |
| 処理結果 | 訂正番号 | 帳票に記載された訂正番号を出力する。 | |
| 修正項目／入力項目 | 項目番号<br>1～8 | 帳票に記載された項目番号 1～8 を出力する。 | － |
| | 項目名<br>1～8 | 帳票に記載された項目名 1～8 を出力する。 | － |
| | 訂正データ<br>1～8 | 帳票に記載された訂正データ 1～8 について、修正前後の値を出力する。（選択コードが取消の場合は、修正後の値は空白表示とする。また、訂正対象外の項目については、修正前後の値は出力しない。） | － |
| 操作者情報 | ユーザ ID | 当該処理を実施したユーザの ID を出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末の IP アドレスを出力する。 | － |

■訂正処理に係る項目（群）番号

| 項番 | 訂正処理内容 | 項目群 | | 項目 | | 検索期間の記入の有・無 | 出力様式 | 掲載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 群番号 | 項目群名 | 項目番号 | 出力文字 | | | |
| 1 | ・短期キー、及び被災者氏名カナを訂正する場合<br>（金額に影響のない支払前の一定の条件にある場合のみ） | 500 | 短期キー情報 | 501 | 労働保険番号 | 無 | ― | Ⅱ-4-16 |
| | | | | 502 | 被災者生年月日 | | | |
| | | | | 503 | 傷病年月日 | | | |
| | | | | 521 | 被災者氏名カナ | | | |
| 2 | ・被災者ごとに決まる項目で金額に影響のある項目を訂正する場合<br>・特別加入者か否かを訂正する場合 | 510 | 被災者算定情報 | 511 | 平均賃金 | 無 | 訂正決議書 | Ⅱ-4-19 |
| | | | | 512 | 特別給与の総額 | | | |
| | | | | 513 | 特別加入者コード | | | |
| | | | | 514 | 重大過失 | | | |
| | | | | 515 | 滞納制限率 | | | |
| | | | | 516 | 療養開始年月日 | | | |
| | | | | 517 | 完納年月 | | | |
| 3 | ・被災者ごとに決まる項目で金額に影響のない項目を訂正する場合<br>・特別加入者コードを訂正する場合 | 520 | 被災者共通情報 | 522 | 被災者性別 | 無 | ― | Ⅱ-4-25 |
| | | | | 523 | 診断書の要否 | | | |
| | | | | 524 | 特別加入者コード | | | |
| 4 | ・統計項目を訂正する場合 | 530 | 統計情報 | 531 | 傷病区分 | 無 | ― | Ⅱ-4-28 |
| | | | | 532 | 業通別 | | | |
| | | | | 533 | 特疾コード | | | |
| | | | | 534 | 災害発生局署 | | | |
| | | | | 535 | 傷病性質 | | | |
| | | | | 536 | 傷病部位／通勤方法 | | | |
| | | | | 537 | 事故の相手方 | | | |
| 5 | ・支給事由発生年月日・転帰事由・転帰年月日を訂正する場合<br>・転帰を取消する場合 | 540 | 支給・転帰情報 | 541 | 支給事由発生日 | 無 | （不）変更決議書 | Ⅱ-4-32 |
| | | | | 542 | 転帰事由 | | | |
| | | | | 543 | 転帰年月日 | | | |
| 6 | ・休業内払額を訂正する場合 | 550 | 休業情報 | 551 | 休業内払額（保） | 無 | （不）支給決議書 | Ⅱ-4-36 |
| | | | | 552 | 休業内払額（特） | | | |
| 7 | ・三者損賠情報の最新の履歴を訂正・取消する場合<br>・三者損賠情報の最新履歴以降に履歴を追加する場合 | 560 | 損害情報 | 561 | 三者損賠受領額 | 無 | 訂正決議書 | Ⅱ-4-38 |
| | | | | 562 | 三者損賠受領日 | | | |
| | | | | 563 | 三者コード | | | |

| 項番 | 訂正処理内容 | 項目群 | | 項目 | | 検索期間の記入の有・無 | 出力様式 | 掲載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 群番号 | 項目群名 | 項目番号 | 出力文字 | | | |
| 8 | ・傷病・障害等級号等の情報を訂正する場合<br>・傷病・障害等級号の変更履歴を取消する場合<br>・傷病・障害等級号の変更履歴を追加する場合 | 570 | 等級等情報 | 571 | 傷病・障害等級号 | 有・無 | 訂正決議書 | Ⅱ-4-42 |
| | | | | 572 | 併合８級コード | | | |
| | | | | 573 | 既存障害区分 | | | |
| | | | | 574 | 既存障害等級 | | | |
| | | | | 575 | 既存障害年証番号 | | | |
| | | | | 576 | 定額特支金調整額 | | | |
| 9 | ・厚生年金等の情報を訂正する場合<br>・厚生年金等の変更履歴を取消する場合<br>・厚生年金等の変更履歴を追加する場合 | 580 | 厚年等情報 | 581 | 厚年調整コード① | 有 | (不)変更決議書 | Ⅱ-4-49 |
| | | | | 582 | 厚年種別① | | | |
| | | | | 583 | 厚年年額① | | | |
| | | | | 584 | 厚年年証番号① | | | |
| | | | | 586 | 厚年調整コード② | | | |
| | | | | 587 | 厚年種別② | | | |
| | | | | 588 | 厚年年額② | | | |
| | | | | 589 | 厚年年証番号② | | | |
| 10 | ・１年以上の所在不明による支給停止の最新履歴を取消する場合<br>・１年以上の所在不明による支給停止の履歴を最新履歴以降に追加する場合 | 590 | 支給停止情報 | 591 | 行方不明・解除 | 無 | (不)変更決議書 | Ⅱ-4-58 |
| 11 | ・資格者情報を訂正する場合<br>・資格者を取消する場合<br>・資格者を追加する場合<br>・同一生計の有無の変更履歴を追加する場合<br>・同一生計の有無の変更履歴を取消する場合<br>・障害の状態の変更履歴を追加する場合<br>・障害の状態の変更履歴を取消する場合<br>・失権を取消する場合 | 600 | 資格者情報 | 601 | 資格者氏名 | 有 | (不)変更決議書 | Ⅱ-4-61 |
| | | | | 602 | 資格者生年月日 | | | |
| | | | | 603 | 資格者性別 | | | |
| | | | | 604 | 同一生計の有無 | | | |
| | | | | 605 | 障害の状態 | | | |
| | | | | 606 | 失権（格）事由 | | | |
| 12 | ・援護費情報を訂正する場合<br>・在学者を取消する場合<br>・最新の在学情報（支給区分・学年区分・支給終了年月）を取消する場合<br>・中断・復帰の履歴を取消する場合 | 610 | 就学等援護費情報 | 611 | 支給区分 | 無 | (不)変更決議書 | Ⅱ-4-68 |
| | | | | 612 | 学年区分 | | | |
| | | | | 613 | 支給終了年月 | | | |
| | | | | 614 | 中断復帰転帰事由 | | | |
| | | | | 615 | 在学者氏名 | | | |
| | | | | 616 | 在学者生年月日 | | | |
| 13 | ・年金・一時金の支払前で前払選択日数を訂正する場合 | 630 | 前払情報 | 631 | 前払選択日数 | 無 | (不)支給決議書 | Ⅱ-4-73 |

| 項番 | 訂正処理内容 | 項目群 | | 項目 | | 検索期間の記入の有・無 | 出力様式 | 掲載ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 群番号 | 項目群名 | 項目番号 | 出力文字 | | | |
| 14 | ・一時金の支払先情報を訂正する場合 | 640 | 支払情報（一時金） | 641 | 委任・未支給 | 無 | ― | Ⅱ-4-76 |
| | | | | 642 | 支払方法 | | | |
| | | | | 643 | 金融機関コード | | | |
| | | | | 644 | 預金の種類 | | | |
| | | | | 645 | 口座番号 | | | |
| | | | | 646 | 口座名義人1 | | | |
| | | | | 647 | 口座名義人2 | | | |
| | | | | 648 | 口座名義人3 | | | |
| 15 | ・受付年月日・請求人氏名・決定年月日を訂正する場合<br>・不支給・不変更の処理区分を異なる不支給・不変更の処理区分に訂正する場合 | 650 | 受付情報 | 651 | 受付年月日 | 無 | ― | Ⅱ-4-80 |
| | | | | 652 | 請求人氏名 | | | |
| | | | | 653 | 決定年月日 | | | |
| | | | | 654 | 処理区分 | | | |
| 16 | ・調査コード・調査年月日・復命書番号を訂正する場合<br>・調査書情報を追加する場合 | 660 | 調査書情報 | 661 | 調査コード | 無 | ― | Ⅱ-4-83 |
| | | | | 662 | 調査年月日 | | | |
| | | | | 663 | 復命書番号 | | | |
| 17 | ・基本権を取消する場合　※1 | 900 | 処理情報 | 901 | 処理区分② | 無 | 訂正決議書 | Ⅱ-4-86 |
| 18 | ・一時金給付の実額訂正をする場合　※1 | 910 | 実額情報 | 911 | 三事等調整 | 無 | 訂正決議書 | Ⅱ-4-90 |
| | | | | 912 | 実額（保険給付） | | | |
| | | | | 913 | 実額（特別一時金） | | | |
| | | | | 914 | 実額（特別支給金） | | | |

※1　項番 17 および 18 については、文書報告書様式(1)第 3 号および第 2 号に基づいて本省（業務課）において登記処理を行い、署は本省(業務課）から連絡を受けた後、訂正決議書等の再出力および決議入力を行うこととなる。

1　短期給付キー情報（500）

4キーを構成している労働保険番号、被災者生年月日、傷病年月日、被災者氏名カナを訂正する場合の処理である。

特別遺族の場合は、特別遺族給付キー（労働保険番号、死亡労働者等生年月日、死亡年月日、死亡労働者等氏名カナ）のうち、死亡年月日以外を訂正する場合の処理となる。

(ｲ) 記入項目

| 番号 | 項目名 | 履歴検索 | 登　記 |
|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 |
| 2 | 債権コード | × | × |
| 3 | 出力枚数 | × | |
| 4 | 枚目 | × | 1 |
| 5 | 枚中 | × | 1 |
| 6 | 項目（群）番号 | 500 | 500 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × |
| 9 | 年金証書番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 10 | 被災者生年月日 | Ⓐ | Ⓐ |
| 11 | 枝番号 | × | × |
| 12 | データ受付番号 | Ⓑ | Ⓑ |
| 13 | 訂正番号 | × | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 |

Ⓐ・Ⓑ …Ⓐ又はⒷのいずれか必須入力項目、× … 入力不可項目

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 501 労働保険番号 | 選択 | 労働保険番号を訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「労働保険番号」［14桁］を左詰めで記入する。 |
| 502 被災者生年月日 | 選択 | 被災者生年月日（特別遺族の場合は死亡労働者等生年月日）を訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「被災者生年月日」［7桁］を左詰めで記入する。<br>計算年齢に影響する場合は、基本権取消事案となる。 |
| 503 傷病年月日 | 選択 | 傷病年月日を訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「傷病年月日」［7桁］を左詰めで記入する。<br>“日”以外の訂正は、基本権取消事案となる。 |
| 521 被災者氏名カナ | 選択 | 被災者氏名カナ（特別遺族の場合は死亡労働者等氏名カナ）を訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「被災者氏名カナ」を左詰めで記入する。<br>姓と名の間には、1文字の空白を空けること。 |

（注）特別遺族の場合は、503 傷病年月日の訂正は行えない。

(ﾊ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登記 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|
| | | － | 1 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力、× … 非出力

㈡ 留意点

a　既に存在する短期給付キー（労働保険番号＋被災者生年月日＋傷病年月日＋被災者氏名カナ）及び、特別遺族給付キー（労働保険番号、死亡労働者等生年月日、死亡年月日、死亡労働者等氏名カナ）への訂正はできない。

b　「被災者生年月日」の訂正は、計算年齢に影響のない範囲内のみ行うことができる。計算年齢に影響のある訂正を行う場合は、基本権取消事案となるため、文書報告書様式(1)第3号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

c　「被災者生年月日」を訂正しても年金証書は出力しないので、職権による年金証書再交付の処理（Ⅱ-3-199ページ）を行うことにより、年金証書を出力し再交付すること。

d　「傷病年月日」を、月をまたいで訂正する場合は基本権取消事案となるため、文書報告書様式(1)第3号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

e　傷病・障害（補償）年金については、「被災者氏名カナ」を訂正することにより、受給者氏名カナも同様に訂正する。しかし、「被災者氏名カナ」を訂正しても年金証書は出力しないので、職権による年金証書再交付の処理（Ⅱ-3-199ページ）を行い年金証書を出力し再交付すること。

f　外国払である受給者氏名の訂正については、次によること。

① 傷病・障害（補償）年金 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥「被災者氏名カナ：521」（短期キー情報）

② 遺族（補償）年金及び特別遺族年金‥‥‥‥‥‥‥‥‥「資格者氏名カナ：601」（資格者情報）

2　被災者算定情報（510）

被災者ごとに決まる項目で金額に影響のある平均賃金、特別給与の総額、特別加入者コード、重大過失コード、滞納制限率、療養開始年月日の６項目を訂正する場合又は完納年月を入力し滞納制限率を0%に変更する場合は、次の処理を行うこと。

なお、特別遺族の場合は、特別加入者コードのみ訂正できる。

(ｲ) 記入項目

| 番号 | 項目名 | 履歴検索 | 登記 | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 2 | 債権コード | × | △ | △ | | |
| 3 | 出力枚数 | × | | | | |
| 4 | 枚目 | × | 1 | 1 | | |
| 5 | 枚中 | × | 1 | 1 | | |
| 6 | 項目（群）番号 | 510 | 510 | 510 | 510 | 510 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × | × | | |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × | × | | |
| 9 | 年金証書番号 | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 10 | 被災者生年月日 | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 11 | 枝番号 | × | × | × | × | × |
| 12 | データ受付番号 | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ |
| 13 | 訂正番号 | × | × | × | × | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 | 項目別記入<br>要領参照 | | |

Ⓐ・Ⓑ…Ⓐ又はⒷのいずれか必須入力項目、△…任意入力項目、×…入力不可項目

Ⓑ：同一被災者に対して行った一時金給付（決議番号＝001）のデータ受付番号

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 511 平均賃金 | 選択 | 平均賃金を訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「平均賃金」［9桁以内］を左詰めで記入する。円と銭の間は“－”を記入する。 |
| 512 特別給与の総額 | 選択 | 特別給与の総額を訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「特別給与の総額」（8桁以内）を左詰めで記入する。 |
| 513 特別加入者コード | 選択 | 特別加入者の有無を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「特別加入者コード」［2桁］を左詰めで記入する。<br>特別加入者でない場合 …… 00<br>中小事業主等 …… 11<br>建設 …… 21<br>林業 …… 22<br>医薬品販売 …… 23<br>職場適応訓練生 …… 24<br>再生資源取扱 …… 25<br>事業主団体等委託訓練 …… 26<br>労組役員作業従事者 …… 27<br>介護作業従事者 …… 28<br>船員 …… 29<br>運輸 …… 41<br>漁業 …… 42<br>農業（指定農業機械作業従事者） …… 43<br>家内労働者イ（規則第46条の18、3号のイ） …… 44<br>家内労働者ロ（規則第46条の18、3号のロ） …… 45<br>家内労働者ハ（規則第46条の18、3号のハ） …… 46<br>家内労働者ニ（規則第46条の18、3号のニ） …… 47<br>家内労働者ホ（規則第46条の18、3号のホ） …… 48<br>家内労働者ヘ（規則第46条の18、3号のヘ） …… 49<br>農業（特定農作業従事者） …… 51<br>海外派遣 …… 61 |

| 項目 | 入力項目名 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 514<br>重大過失コード | 選択 | 重大過失コードを訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「重大過失コード」［1桁］を左詰めで記入する。<br>重大過失以外 …… 0<br>12条の2の2（労働者の重大過失）…… 1<br>28条第1項第4号後段（中小事業主等の重大過失）…… 3 |
| 515<br>滞納制限率 | 選択 | 滞納制限率を訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、下記の「滞納制限率コード」［1桁］を左詰めで記入する。<br>10％ …… 1<br>20％ …… 2<br>30％ …… 3<br>40％ …… 4 |
| 516<br>療養開始年月日 | 選択 | 療養開始年月日を訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、療養開始年月日［7桁］を左詰めで記入する。 |
| 517<br>完納年月 | 選択 | 滞納制限率を０％に変更する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 滞納制限を0%に変更する場合は、「完納年月」［5桁］を左詰めで記入する。<br>完納年月の翌月から滞納制限率を0%として計算する。<br>滞納制限率を0%以外に変更する場合は文書報告書様式(1)第5号により本省（業務課）あて報告すること。 |

（注）特別遺族の場合は、513 特別加入者コード以外の訂正は行えない。

(ハ) 処理別選択コード記入要領

処理名欄の訂正を行う場合は、下表に掲げる項目（任意入力項目）も訂正を行う必要が生じることがあるので留意すること。

| 処理名 | 項目 | 項目番号 | 必須・任意 | 選択 |
|---|---|---|---|---|
| 特別加入者コード（有→無） | 特別加入者コード | 513 | ● | 1（訂正） |
| | 特別給与の総額 | 512 | △ | 1（訂正） |
| | 重大過失 | 514 | △ | 1（訂正） |
| | 滞納制限 | 515 | △ | 1（訂正） |
| | 完納年月 | 517 | △ | 1（訂正） |
| 特別加入者コード（無→有） | 特別加入者コード | 513 | ● | 1（訂正） |
| | 特別給与の総額 | 512 | △ | 1（訂正） |
| | 重大過失 | 514 | △ | 1（訂正） |
| | 滞納制限 | 515 | △ | 1（訂正） |
| | 完納年月 | 517 | △ | 1（訂正） |

● ･･･ 必須入力、
△ ･･･ 特別遺族以外は任意入力、特別遺族の場合は入力不可

(ニ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登記 | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ― | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 訂正決議書 | ― | × | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | ― | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | ― | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | ― | × | △※2 | △※2 | △※2 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金内訳リスト | ― | × | Ⓐ※1 | Ⓐ※1 | Ⓐ※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 一時金内訳リスト | ― | × | Ⓑ※1 | Ⓑ※1 | Ⓑ※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金内訳リスト（特別遺族） | ― | × | Ⓐ※2 | Ⓐ※2 | Ⓐ※2 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 一時金内訳リスト（特別遺族） | ― | × | Ⓑ※2 | Ⓑ※2 | Ⓑ※2 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● ･･･ 出力、英字 ･･･ ⒶのみあるいはⒷのみあるいはⒶおよびⒷを出力、
△ ･･･ 条件出力、× ･･･ 非出力
※1…特別遺族以外の場合に出力する　　※2…特別遺族の場合に出力する

(ﾎ) 訂正決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 年金のみ | 一時金のみ | | 年金・一時金 | | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 追給 | 回収 | 追給 | 回収 | |
| 変更決定通知書（教示文なし） | × | × | × | △※1 | △※1 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（教示文なし、特別遺族） | × | × | × | △※2 | △※2 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 支給決定通知書 | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | △※1 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 支給決定通知書（特別遺族） | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | △※2 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債権確認書 | × | × | △ | × | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |

△･･･ 条件出力、× ･･･ 非出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

(ﾍ) 留意点

a 被災者算定情報に係る訂正処理を行うことにより、同一被災者のすべての給付（前払一時金、失権差額一時金、未支給金は除く）について訂正する。当該訂正処理を行うことにより発生した年金給付の追給・回収額は、すべて最新の年金給付の追給・回収額に合算される。

b 年金給付の定額の特別支給金はそれだけで１給付として扱うため、年金と定額の特別支給金ある年金給付は２給付として扱う。

c 「特別給与の総額」は特別加入者以外のみ訂正可能である。

d 被災者算定情報の訂正処理においては、「特別加入者コード」は特別加入者で有るか否かのみを訂正することができる。

なお、特別加入者コードの訂正を行う場合は、被災者共通情報（項目群番号：520）の項目番号：524 で行こと。

e 「滞納制限率」「完納年月」は、特別加入者のみ訂正可能である。

f 「滞納制限率」を 0%に変更する場合は、「完納年月」を訂正すること。完納年月の翌月から滞納制限は解除される。

なお、「滞納制限率」を 0%以外に変更する場合は特別処理の必要があるため、文書報告書様式(1)第５号により本省（業務課）あて報告すること。

g 「重大過失」「滞納制限率」については、支給事由発生年月が療養開始年月から３年以内である場合のみ訂正可能である。

「完納年月」は、既に滞納制限をしている事案で療養開始年月から３年以内の日付にのみ訂正可能である。

h 再発事案は、「重大過失」「療滞納制限率」「完納年月」を訂正できない。

i　死亡転帰等により、失権差額一時金が発生している場合又は既に失権差額一時金が支払済である場合は、被災者算定情報を訂正することにより失権差額一時金の給付額に追給・回収額が生じることがあるが、訂正処理では失権差額一時金の再計算は行わないので、転帰情報検索により訂正後の失権差額一時金の給付額を確認すること。

なお、追給・回収額が発生する場合は、一時金給付の実額入力事案となるため、文書報告書様式(1)第２号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

j　最新の年金給付の転帰（死亡以外）後に被災者算定情報を訂正することにより追給が発生した場合は、文書報告書様式(1)第５号により本省（業務課）あて報告し、指示をうけること。

k　死亡転帰により未支給金が発生している場合又は既に未支給金が支払済である場合に、被災者算定情報を訂正して発生した追給・回収額は、既に発生していた未支給金と調整されることはないので、新たな未支給金として、あるいは回収額として処理を行うこと。

l　前払一時金の支払を行った後に被災者算定情報を訂正した場合は、前払一時金に追給・回収額を発生させるのではなく、前払一時金の調整期間を調整し直し、年金給付として追給・回収額を発生させる。

m　被災者算定情報をそ及して訂正した場合の年金計算における時効の取扱いについては、Ⅰ-7-1ページ②のとおりであるが、一時金給付については、支給事由発生年月日から５年を経過している場合は、一時金支給決定取消・支給決定・支払（追給）決議書に“時効適用”と印字し、追給・回収額は計算しない。

n　一時金給付で既に実額入力事案として処理したものについてはシステムで自動計算できないため、再度実額入力事案として文書報告書様式(1)第２号により本省（業務課）あて報告すること。

なお、実額入力事案については、追・回決議書に“実額事案”と印字する。

o　一時金給付において保険給付、定額の特別支給金、特別一時金に各々に追給額と回収額が同時に発生する場合は訂正できない。

p　一時金給付の訂正処理を支払処理前に行った場合は、次の事項に留意すること。

（ａ）追給の場合

追給額が発生した場合については、支給決定決議書の支払額と訂正決議書に合算額が印字される。

（ｂ）回収の場合

回収額が発生した場合については、訂正決議書に差引額が印字される。

q　一時金給付のデータに対して訂正を行う場合は、以下の事項に留意すること。

- 当該一時金給付の支払方法が「振込」である場合、住所が登録されていることを確認する。
- 支払方法が「振込」であるにも関わらず、住所が未登録である場合は、当訂正処理を実施する前に、支払方法を「当地」もしくは「送金」に変更すること。（支払方法が「振込」の一時金給付データは、ADAMS による支払管理の対象となるが、ADAMS へデータを登録する際に住所情報を設定しないとエラーになってしまうため。）

3　被災者共通情報（520）

被災者ごとに決まる項目で金額に影響のない被災者性別、特別加入者コードの２項目を訂正する場合は、次の処理を行うこと。

特別遺族給付の金額に影響のない死亡労働者等の氏名、死亡労働者等の性別、診断書の要否、特別加入者コードを訂正する場合も次の処理で行う。

(ｲ) 記入項目

| 番号 | 項　　目　　名 | 履歴検索 | 登　記 |
|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 |
| 2 | 債権コード | × | × |
| 3 | 出力枚数 | × | |
| 4 | 枚目 | × | 1 |
| 5 | 枚中 | × | 1 |
| 6 | 項目（群）番号 | 520 | 520 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × |
| 9 | 年金証書番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 10 | 被災者生年月日 | Ⓐ | Ⓐ |
| 11 | 枝番号 | × | × |
| 12 | データ受付番号 | Ⓑ | Ⓑ |
| 13 | 訂正番号 | × | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 |

Ⓐ・Ⓑ…Ⓐ又はⒷのいずれか必須入力項目、×…入力不可項目

Ⓑ：同一被災者に対して行った一時金給付（決議番号＝001）のデータ受付番号

(ﾛ) 項目記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 522 被災者性別 | 選択 | 被災者性別を訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「被災者性別」［1桁］を左詰めで記入する。<br>男 …… 1<br>女 …… 3 |
| 523 診断書の要否 | 選択 | 診断書の要否を訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「診断書の要否」［1桁］を左詰めで記入する。<br>否 …… 3<br>※平成15年4月より、障害（補償）年金の診断書の要否については一律「否」とされたため、平成15年3月以前に登録されたデータについて、診断書の要否を「要」から「否」に訂正する場合にのみ使用する。 |
| 524 特別加入者コード | 選択 | 特別加入者コードを訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「特別加入者コード」［2桁］を左詰めで記入する。<br>中小事業主等 …… 11<br>建設 …… 21<br>林業 …… 22<br>医薬品販売 …… 23<br>職場適応訓練生 …… 24<br>再生資源取扱 …… 25<br>事業主団体等委託訓練 …… 26<br>労組役員作業従事者 …… 27<br>介護作業従事者 …… 28<br>船員 …… 29<br>運輸 …… 41<br>漁業 …… 42<br>農業（指定農業機械作業従事者） …… 43<br>家内労働者イ（規則第46条の18、3号のイ） …… 44<br>家内労働者ロ（規則第46条の18、3号のロ） …… 45<br>家内労働者ハ（規則第46条の18、3号のハ） …… 46<br>家内労働者ニ（規則第46条の18、3号のニ） …… 47<br>家内労働者ホ（規則第46条の18、3号のホ） …… 48<br>家内労働者ヘ（規則第46条の18、3号のヘ） …… 49<br>農業（特定農作業従事者） …… 51<br>海外派遣 …… 61 |

（注）特別遺族の場合は、523 診断書の要否の訂正は行えない。

(ハ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登記 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|
| | | － | 1 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力、× … 非出力

(ニ) 留意点

a　外国払者の支払権者の氏名については、次によること。

①　傷病・障害（補償）年金　……「被災者氏名（カナ）：521」

②　遺族（補償）年金及び特別遺族年金　……「資格者氏名（カナ）：601」

b　被災者共通情報の訂正処理において、「特別加入者コード：524」は、特別加入者コードの訂正のみ行うことができる。

なお、特別加入者の“有りから無し”又は“無しから有り”への訂正については、被災者算定情報：510 の「特別加入者コード：513」で行うこと。

4　統計情報（530）

統計項目である８つの項目を訂正する場合の処理である。

（ｲ）記入項目

| 番号 | 項　　目　　名 | 履歴検索 | 登　記 |
|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 |
| 2 | 債権コード | × | × |
| 3 | 出力枚数 | × | |
| 4 | 枚目 | × | 1 |
| 5 | 枚中 | × | 1 |
| 6 | 項目（群）番号 | 530 | 530 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × |
| 9 | 年金証書番号 | Ⓐ | Ⓐ |
| 10 | 被災者生年月日 | Ⓐ | Ⓐ |
| 11 | 枝番号 | × | × |
| 12 | データ受付番号 | Ⓑ | Ⓑ |
| 13 | 訂正番号 | × | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 |

ⒶⒷ …Ⓐ又はⒷのいずれか必須入力項目、× …入力不可項目

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 531 傷病区分 | 選択 | 傷病・障害（補償）年金で傷病区分を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「傷病区分」［1桁］を左詰めで記入する。<br>じん肺 …… 5<br>せき損 …… 7<br>その他 …… 9 |
| 532 業通別 | 選択 | 業通別を訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「業通別」［1桁］を左詰めで記入する。<br>業務災害 …… 1<br>通勤災害 …… 3<br>業通別を訂正した場合は、項目番号533～538の必要な項目を訂正すること。 |
| 533 特疾コード | 選択 | 特疾コードを訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の［特疾コード］［1桁］を左詰めで記入する。<br>特定疾病以外 …… 0<br>特定疾病 …… 1 |
| 534 災害発生局署 | 選択 | 業務災害で災害発生局署を訂正する場合又は業通別を業務災害に訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「災害発生局署」［4桁］を別表Ⅴ-17-1ページの局署コードで左詰めで記入する。 |

| 項目 | 入力項目名 | 記入要領 |
|---|---|---|
| 535<br>傷病性質 | 選択 | 傷病性質を訂正する場合、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、業務災害による傷病性質コード表の「傷病性質」［7桁］、又は通勤災害による傷病性質コード表の「傷病性質」［2桁］のどちらかを、左詰めで記入する。<br>（別表Ｖ-12-1、Ｖ-14-1ページ参照） |
| 536<br>傷病部位<br>通勤方法 | 選択 | 業務災害で傷病部位又は通勤災害で通勤方法を訂正する場合、又は業通別を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「傷病部位」［2桁］、又は「通勤方法」［2桁］を左詰めで記入する。<br>（別表Ｖ-13-1、Ｖ-15-1ページ参照） |
| 537<br>事故の相手方 | 選択 | 通勤災害で事故の相手方を訂正する場合、又は業通別を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「事故の相手方」［2桁］を左詰めで記入する。<br>（別表Ｖ-16-1ページ参照） |

（注）特別遺族の場合は、531 傷病区分、532 業通別、537 事故の相手方の訂正は行えない。

(ハ) 処理別選択コード記入要領

処理名欄の訂正を行う場合は、下表に掲げる項目（必須入力項目）も訂正すること。

| 処理名 | 項目 | 項目番号 | 必須･任意 | 選択 |
|---|---|---|---|---|
| 業通別の訂正<br>（通勤災害から業務災害への訂正） | 業通別 | 532 | ● | 1（訂正） |
| | 特疾コード | 533 | ● | 1（訂正） |
| | 災害発生局署 | 534 | ● | 1（訂正） |
| | 傷病性質（業災） | 535 | ● | 1（訂正） |
| | 傷病部位 | 536 | ● | 1（訂正） |
| 業通別の訂正<br>（業務災害から通勤災害への訂正） | 業通別 | 532 | ● | 1（訂正） |
| | 傷病性質（通災） | 535 | ● | 1（訂正） |
| | 通勤方法 | 536 | ● | 1（訂正） |
| | 事故の相手方 | 537 | ● | 1（訂正） |

(ニ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登記 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|
| | | － | 1 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力、× … 非出力

(ホ) 留意点

a 「傷病区分：531」は、傷病・障害（補償）年金のみ訂正可能であるため、両年金についての年金証書番号を入力した場合にのみ印字する。

b 「業通別：532」を訂正しても支給請求書の様式番号は訂正しないので検索等を行う場合は注意すること。

c 「事故の型：537」と「起因物：538」を取消す場合は、両方の選択コードに 9（取消）を入力すること。

5　支給・転帰情報（540）

支給事由発生年月日、転帰事由、転帰年月日を訂正する場合及び転帰を取り消す場合は、次の処理を行うこと。

(ｲ) 記入項目

| 番号 | 項　目　名 | 履歴検索 | 登　記 | 修　正 | 再出力 | 取　消 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 2 | 債権コード | × | | | | |
| 3 | 出力枚数 | × | | | | |
| 4 | 枚目 | × | 1 | 1 | | |
| 5 | 枚中 | × | 1 | 1 | | |
| 6 | 項目（群）番号 | 540 | 540 | 540 | 540 | 540 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × | × | | |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × | × | | |
| 9 | 年金証書番号 | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 10 | 被災者生年月日 | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 11 | 枝番号 | × | × | × | × | × |
| 12 | データ受付番号 | Ⓑ※1 | Ⓑ※1 | Ⓑ※1 | Ⓑ※1 | Ⓑ※1 |
| 13 | 訂正番号 | × | × | × | × | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 | 項目別記入<br>要領参照 | | |

● ･･･ 必須入力項目、△ ･･･ 任意入力項目、× ･･･ 入力不可項目、空欄 ･･･ 未使用
ⒶⒷ …Ⓐ又はⒷのいずれか必須入力項目
※1 ： 同一被災者に対して行った一時金給付（決議番号＝001）のデータ受付番号

（ﾛ）項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 541<br>支給事由発生日 | 選択 | 支給事由発生年月日の日を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「支給事由発生年月日」［7桁］を左詰めで記入する。<br>“日”以外の訂正は、基本権取消事案となる。 |
| 542<br>転帰事由 | 選択 | 年金給付で転帰事由を訂正する場合又は転帰取消をする場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>取消 …… 9<br>転帰取消をする場合は「転帰年月日（543）」も取消“9”を記入すること。 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「転帰事由」［1桁］を左詰めで記入する。<br>＜傷病（補償）年金＞<br>治ゆ …… 2<br>等級不該当 …… 3<br>＜障害（補償）年金＞<br>再発 …… 2<br>等級不該当（8～14級以外） …… 3<br>等級不該当（8～14級） …… 4<br>＜遺族（補償）年金＞<br>婚姻 …… 2<br>養子縁組 …… 3<br>離縁 …… 4<br>障害無 …… 5<br>死亡・18歳失権に訂正はできない。<br>死亡・18歳失権からの訂正はできない。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| 543<br>転帰年月日 | 選択 | 年金給付で転帰年月日の「日」を訂正する場合又は転帰取消をする場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「転帰年月日」［7桁］を左詰めで記入する。<br>“日”以外を訂正する場合は、転帰取消を行うこと。<br>取消する場合は、記入しない。<br>次の給付を支給決定している場合は、転帰取消はできない。 |

（注）特別遺族の場合は、541 支給事由発生年月日の訂正は行えない。

(ハ) 処理別選択コード記入要領

処理名欄の取消を行う場合は、下表に掲げる項目（必須入力項目）も取消すること。

| 処　理　名 | 項　目 | 項目番号 | 必須・任意 | 選　択 |
|---|---|---|---|---|
| 転帰取消 | 転帰事由 | 542 | ● | 9（取消） |
| | 転帰年月日 | 543 | ● | 9（取消） |

(ニ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登記 | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | － | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| (不) 変更決議書 | － | × | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | － | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | － | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力、△…条件出力、×…非出力

(ホ)　(不) 変更決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 年金 | 出力端末装置 |
|---|---|---|
| 変更決定通知書（労審法教示文あり）（選択コード＝9（取消の場合））| Ⓐ※1 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（教示文なし）（選択コード＝1（訂正の場合））| Ⓑ※1 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（労審法教示文あり、特別遺族）（選択コード＝9（取消の場合））| Ⓐ※2 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（教示文なし、特別遺族）（選択コード＝1（訂正の場合））| Ⓑ※2 | ＯＣＲ専用プリンタ |

英字 ・・・ ⒶまたはⒷどちらかを出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

(ﾍ) 留意点

a　履歴検索において「転帰事由：542」「転帰年月日：543」は、年金給付で既に転帰している場合に印字する。

b　「支給事由発生年月日：541」は同月内のみ訂正可能である。「支給事由発生年月日」を、月をまたいで訂正する場合は、基本権取消事案となるため、文書報告書様式(1)第3号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

なお、傷病（補償）年金の支給事由発生年月日については、療養開始年月日から1年6箇月を経過の応答日以後であることが条件となる。

また、一時金給付にかかる支給事由発生年月日の訂正についても同月内のみ訂正可能であるので、月をまたいで訂正する場合は、文書報告書様式(1)第３号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

c　「支給事由発生年月日：541」を訂正しても年金証書は出力しないので、職権による年金証書再交付の処理（Ⅱ-3-199ページ）で年金証書を出力し交付すること。

d　「転帰年月日：543」は同月内のみ訂正可能である。「転帰年月日」を月をまたいで訂正する場合は、転帰取消を行うこと。

e　「支給事由発生年月日：541」「転帰年月日：543」を訂正する場合は、関連する給付（前後の給付・前払一時金・失権差額一時金・未支給金）の支給事由発生年月日又は転帰年月日を訂正する必要があること。

（例）傷病補償年金から障害補償年金へ移行し、障害補償年金前払一時金が支払済である場合は、傷病補償年金の転帰年月日の訂正に併せて障害補償年金の支給事由発生年月日及び障害補償年金前払一時金の支給事由発生年月日についても訂正すること。

f　「転帰事由：542」を“死亡”又は“18歳失権”に訂正できない。また、既に“死亡”又は“18歳失権”が登録されている場合も他の事由への訂正はできない。

なお、これらについて訂正する場合は、転帰取消後に再度正しい内容で転帰入力処理を行うこと。

g　既に次の年金給付又は一時金給付を支給決定している場合は、転帰取消ができない。転帰取消を行う場合は、現給付の基本権取消を行う必要があるため、文書報告書様式(1)第3号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

h　「転帰事由：542」の訂正で、“死亡から死亡以外へ”又は“死亡以外から死亡へ”の訂正はできない。この場合は転帰取消ししたうえで変更処理を行うこと。

6　休業内払調整情報（550）

休業内払額を訂正する場合の処理である。

（ｲ）記入項目

| 番号 | 項　　目　　名 | 履歴検索 | 登　記 | 修　正 | 再出力 | 取　消 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 2 | 債権コード | × | × | × | × | × |
| 3 | 出力枚数 | × | | | | |
| 4 | 枚目 | × | 1 | 1 | | |
| 5 | 枚中 | × | 1 | 1 | | |
| 6 | 項目（群）番号 | 550 | 550 | 550 | 550 | 550 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × | × | | |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × | × | | |
| 9 | 年金証書番号 | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 10 | 被災者生年月日 | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 11 | 枝番号 | × | × | × | × | × |
| 12 | データ受付番号 | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ |
| 13 | 訂正番号 | × | × | × | × | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 | 項目別記入<br>要領参照 | | |

× ･･･ 入力不可、空欄 ･･･ 未使用

☆数字が記入されている項目は、その数字が必須入力である。

☆英字が記入されている項目は、いずれかを必須セット入力

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 551 休業内払額（保） | 選択 | 休業内払額（保険給付）を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「休業内払額（保険給付）」［8桁以内］を左詰めで記入する。 |
| 552 休業内払額（特） | 選択 | 休業内払額（特別支給金）を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「休業内払額（特別支給金）」［8桁以内］を左詰めで記入する。 |

(ﾊ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登記 | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | － | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| (不) 支給決議書 | － | × | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力、×…非出力

(ﾆ) (不) 支給決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 年金 | 出力端末装置 |
|---|---|---|
| 支給決定通知書 | ● | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力

(ﾎ) 留意点

a　傷病（補償）年金、障害（補償）年金、障害（補償）一時金を対象に、年金・一時金ともに支払前である場合のみ訂正可能である。

b　訂正前の支給決定通知書は破棄すること。

7　三者損賠情報（560）

三者損賠情報の最新の履歴を訂正・取消する場合及び三者損賠情報の最新の履歴以降に履歴を追加する場合の処理である。

(ｲ) 記入項目

| 番号 | 項　　目　　名 | 履歴検索 | 登　記 | 修　正 | 再出力 | 取　消 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 2 | 債権コード | × | × | × | | |
| 3 | 出力枚数 | × | | | | |
| 4 | 枚目 | × | 1 | 1 | | |
| 5 | 枚中 | × | 1 | 1 | | |
| 6 | 項目（群）番号 | 560 | 560 | 560 | 560 | 560 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × | × | | |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × | × | | |
| 9 | 年金証書番号 | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 10 | 被災者生年月日 | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 11 | 枝番号 | × | × | × | × | × |
| 12 | データ受付番号 | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ |
| 13 | 訂正番号 | × | × | × | × | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 | 項目別記入<br>要領参照 | | |

Ⓐ・Ⓑ…Ⓐ又はⒷのいずれか必須入力項目、×…入力項目不可

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 561 三者損賠受領額 | 選　　択 | 三者損賠受領額を訂正する場合又は三者情報の履歴を追加・取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、三者調整開始年月を記入する。<br>訂正又は取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、「三者損賠受領額」［9桁以内］を左詰めで記入する。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| 562 三者損賠受領日 | 選　　択 | 三者損賠受領年月日を訂正する場合又は三者情報の履歴を追加（示談成立等）・取消する場合、下記のコードを入力する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、三者調整開始年月を記入する。<br>訂正又は取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、「三者損賠受領年月日」［7桁］を左詰めで記入する。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| 563 三者コード | 選　　択 | 三者コードを訂正する場合又は三者情報の履歴を追加（示談成立等）・取消する場合は、下記のコードを入力する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、三者調整開始年月を記入する。<br>訂正又は取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、下記の「三者コード」［1桁］を左詰めで記入する。<br>自賠先行 …… 1<br>労災先行 …… 3<br>その他 …… 5<br>取消する場合は、記入しない。 |

(ﾊ) 処理別選択コード記入要領

処理名欄の追加・取消を行う場合は、下表に掲げる項目（必須入力項目）を追加・取消すること。

| 処　理　名 | 項　目 | 項目番号 | 必須・任意 | 選　択 |
|---|---|---|---|---|
| 三者情報の履歴の追加<br>（支給決定後の三者損賠の受領）<br>（支給決定時の三者情報の履歴の追加）<br>（受給権者の失権による三者調整額の変更） | 三者損賠受領額 | 561 | ● | 5（追加） |
| | 三者損賠受領年月日 | 562 | ● | 5（追加） |
| | 三者コード | 563 | ● | 5（追加） |
| 三者情報の最新履歴の取消 | 三者損賠受領額 | 561 | ● | 9（取消） |
| | 三者損賠受領年月日 | 562 | ● | 9（取消） |
| | 三者コード | 563 | ● | 9（取消） |

(ﾆ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登　記 | 修　正 | 再出力 | 取　消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ― | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 訂正決議書 | ― | × | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | ― | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金内訳リスト | ― | × | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 一時金内訳リスト | ― | × | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● ･･･ 出力、英字 ･･･ Ⓐのみあるいは Ⓑのみを出力、△ ･･･ 条件出力、× ･･･ 非出力

(ﾎ) 訂正決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 年金 | 一時金 | | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|
| | | 追給 | 回収 | |
| 変更決定通知書（教示文なし） | ● | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 支給決定通知書 | × | ● | ● | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債権確認書 | × | × | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力、△…条件出力、×…非出力

(ﾍ) 留意点

a　三者損賠情報の訂正処理は、すでに入力していた「三者コード:561」「三者受領年月日:562」「三者受領額:563」のデータが誤っていた場合に行うこと。

b　三者損賠情報の訂正処理は最新の履歴に対してのみ行うことができる。履歴が複数存在する場合で、「三者損賠受領年月日：562」「三者コード：563」を訂正した場合は、全履歴を訂正すること。

c　三者損賠情報の追加処理は、支給決定から三者損賠情報が未入力である場合又は支給決定時の「三者コード：561」は“労災先行”又は“その他”であるが、後日、三者損賠の受領を確認した場合に行うこと。

なお、三者損賠情報を未入力で支給決定し、後日、三者損賠の受領を確認した場合は、まず、追加処理により支給決定時の三者コードを“労災先行”又は“その他”に訂正してから、三者損賠受領時のデータについて追加処理を行うこと。

なお、遺族（補償）年金においては、受給権者の失権により三者損賠受領額を変更する必要が生じた場合は、変更処理における転給（様式番号＝13-00）処理の際に入力する。

d　未入力の場合の調整開始年月は、支給事由発生年月の翌月であること。

e　労災先行で後日三者損賠の受領を確認した場合の調整開始年月は、損賠金を受領した月の属する支払期の初月であること。

f　年金給付で選択コードが「追加：5」で未入力以外の場合は、調整開始年月がシステムで管理している最新の三者情報の履歴以降であること。

g　支払権者以外の権者の失権により、三者損賠受領額を変更する場合は、変更履歴の追加を行うこととするが、その場合の「三者損賠受領年月日」は当初の受領年月日、「三者コード」は“自賠先行”又は“その他”、調整開始年月は、権者の失権年月の翌月であること。

h　三者損賠情報の取消処理は、履歴を削除したい場合に行うこと。当該処理は最新の履歴に対してのみ行うことができる。

なお、履歴を取り消した場合は、当該履歴は検索できなくなること。

i　登記処理を行う日が訂正する調整開始年月の属する支払年月日の翌日から5年以上経過している場合は、支払請求権の時効が適用される期間の支払額をシステムで計算できないため、キャンセルとなる。

なお、上記の訂正を行う必要が生じた場合は、文書報告書様式(1)第1号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

j　転帰後の訂正はできないため、転帰取消後に再度訂正処理を行うこと。

なお、次の給付を支給決定している場合は、基本権取消事案となるため、文書報告書様式(1)第3号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

k　一時金給付の訂正処理を支払前に行った場合の留意事項についてはⅡ-4-24 ページのｐを参照すること。

l　転給、失権（失格）、資格者追加、失権（失格）の取消等により支払権者が移動する場合又は権者が増減する場合は、三者情報も併せて訂正すること。

8　等級等情報（570）

傷病等級号、障害等級号等の情報を訂正する場合及び傷病・障害等級号の変更履歴を取消・追加する場合は、次の処理を行うこと

(ｲ)　記入項目

| 番号 | 項　　目　　名 | 履歴検索 | 登　記 | 修　正 | 再出力 | 取　消 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 2 | 債権コード | × | △ | △ | | |
| 3 | 出力枚数 | × | | | | |
| 4 | 枚目 | × | 1 | 1 | | |
| 5 | 枚中 | × | 1 | 1 | | |
| 6 | 項目（群）番号 | 570 | 570 | 570 | 570 | 570 |
| 7 | 検索期間（いつから） | △ | △ | △ | | |
| 8 | 検索期間（いつまで） | △ | | | | |
| 9 | 年金証書番号 | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 10 | 被災者生年月日 | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 11 | 枝番号 | × | × | × | × | × |
| 12 | データ受付番号 | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ |
| 13 | 訂正番号 | × | × | × | × | × |
| 14<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 | 項目別記入<br>要領参照 | | |

● ･･･ 必須入力項目、△ ･･･ 任意入力項目、× ･･･ 入力不可項目、空欄 ･･･ 未使用
ⒶⒷ …Ⓐ又はⒷのいずれか必須入力項目

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 571<br>傷病・障害等級号 | 選　　択 | 傷病・障害等級号を訂正する場合又は等級情報の変更履歴を追加・取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、変更年月を記入する。<br>訂正又は取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「傷病・障害等級号」[4 桁] を左詰めで記入する。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| 572<br>併合８級コード | 選　　択 | 障害（補償）一時金で併合 8 級コードを訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「併合 8 級コード」[1 桁] を左詰めで記入する。<br>13 級と 9 級の併合以外 …… 0<br>13 級と 9 級の併合 …… 1 |
| 573<br>既存障害区分 | 選　　択 | 障害（補償）給付で既存障害区分を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「既存障害区分」[1 桁] を左詰めで記入する。<br>既存障害なし …… 0<br>業務上年金（加重） …… 1<br>業務上一時金（加重） …… 3<br>業務外（加重） …… 5<br>再発再治ゆ（一時金のみ） …… 7 |

| 項目 | 入力項目名 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 574<br>既存障害等級 | 選　　択 | 障害（補償）給付で既存障害等級を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、下記の「既存障害等級」[2 桁] を左詰めで記入する。<br>既存障害なし …… 00<br>1 級 …… 01（91）　　8 級 …… 08<br>2 級 …… 02（92）　　9 級 …… 09<br>3 級 …… 03（93）　　10 級 …… 10<br>4 級 …… 04（94）　　11 級 …… 11<br>5 級 …… 05（95）　　12 級 …… 12<br>6 級 …… 06（96）　　13 級 …… 13<br>7 級 …… 07（97）　　14 級 …… 14<br>（注）　既存障害が業務上で支給事由発生年月日が、1 級～3 級は昭和 35 年 1 月以前、4 級～7 級は昭和 41 年 3 月以前の場合で、一時金で給付した事案については、91～97 を記入すること。 |
| 575<br>既存障害年証番号 | 選　　択 | 既存障害の年金証書番号を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、「既存障害年金証書番号」[9 桁]を左詰めで記入する。 |
| 576<br>定額特支金調整額 | 選　　択 | 併合繰上等級で各々の等級に応ずる金額の合算額が併合繰上等級に応ずる金額より少ない場合等により定額の特別支給金を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、「定額特支金調整額」[3 桁以内] を万円単位で左詰めで記入する。 |

(ハ) 処理別選択コード記入要領

処理名欄の訂正を行う場合は、下表に掲げる項目（任意入力項目）も訂正する必要が生じることもあるので留意すること。

| 処　理　名 | 項　目 | 項目番号 | 必須･任意 | 選　択 |
|---|---|---|---|---|
| 支給事由発生年月日時点の傷病・障害等級号の訂正 | 傷病・障害等級号 | 571 | ● | 1（訂正） |
| | 併合８級コード | 572 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害区分 | 573 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害等級 | 574 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害年金訂書番号 | 575 | △ | 1（訂正） |
| | 定額特支金調整額 | 576 | △ | 1（訂正） |
| 併合８級コードの訂正 | 併合８級コード | 572 | ● | 1（訂正） |
| | 傷病・障害等級号 | 571 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害区分 | 573 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害等級 | 574 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害年金証書番号 | 575 | △ | 1（訂正） |
| | 定額特支金調整額 | 576 | △ | 1（訂正） |
| 既存障害の取消 | 既存障害区分 | 573 | ● | 1（訂正） |
| | 既存障害等級 | 574 | ● | 1（訂正） |
| | 傷病・障害等級号 | 571 | △ | 1（訂正） |
| | 併合８級コード | 572 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害年金証書番号 | 575 | △ | 1（訂正） |
| | 定額特支金調整額 | 576 | △ | 1（訂正） |
| 既存障害区分の訂正 | 既存障害区分 | 573 | ● | 1（訂正） |
| | 傷病・障害等級号 | 571 | △ | 1（訂正） |
| | 併合８級コード | 572 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害等級 | 574 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害年金証書番号 | 575 | △ | 1（訂正） |
| | 定額特支金調整額 | 576 | △ | 1（訂正） |
| 既存障害等級の訂正 | 既存障害等級 | 574 | ● | 1（訂正） |
| | 傷病・障害等級号 | 571 | △ | 1（訂正） |
| | 併合８級コード | 572 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害区分 | 573 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害年金証書番号 | 575 | △ | 1（訂正） |
| | 定額特支金調整額 | 576 | △ | 1（訂正） |

| 処　　理　　名 | 項　　目 | 項目番号 | 必須･任意 | 選　　択 |
|---|---|---|---|---|
| 併合繰上等級等による定額の特支金の訂正 | 定額特支金調整額 | 576 | ● | 1（訂正） |
| | 傷病・障害等級号 | 571 | △ | 1（訂正） |
| | 併合８級コード | 572 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害区分 | 573 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害等級 | 574 | △ | 1（訂正） |
| | 既存障害年金証書番号 | 575 | △ | 1（訂正） |

(ﾆ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登　記 | 修　正 | 再出力 | 取　消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 訂正決議書 | － | × | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | － | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | － | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金内訳リスト | － | × | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 一時金内訳リスト | － | × | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力、英字 ･･･ Ⓐのみあるいは Ⓑのみあるいは Ⓐおよび Ⓑを出力、
△ … 条件出力、× … 非出力

(ﾎ) 訂正決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 年　金 | 一時金 | | 年金・一時金 | | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 追給 | 回収 | 追給 | 回収 | |
| 変更決定通知書（教示文なし） | ● | × | × | ● | ● | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 支給決定通知書 | × | ● | ● | ● | ● | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 援護費通知書 | △ | × | × | × | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債権確認書 | × | × | △ | × | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力、△ … 条件出力、× … 非出力

(ﾍ) 留意点

a　履歴検索の際、検索期間を指定した場合は、「傷病・障害等級号：571」の履歴を検索期間（いつから）から最大8履歴まで印字する。

なお、訂正する変更履歴が印字されなかった場合は、検索期間を変え再度履歴検索を行うこと。

b　支給事由発生年月日時点の傷病・障害等級号を訂正する場合は、検索期間を入力しないこと。

c　傷病・障害等級号の変更履歴が存在しない場合（履歴検索で1件も印字されない場合）は変更履歴の追加はできないため、変更処理（様式番号＝00-04，11-00,90-03）で処理すること。

d　障害（補償）給付で障害等級号を併合繰上等級に訂正した場合は、各々の等級に応ずる金額の合算額が併合繰上後の等級に応ずる金額未満の場合は「定額特支金調整額：576」も合わせて訂正すること。

e　「併合8級コード：572」を“1”（13級と9級の併合）に訂正した場合は、定額の特別支給金を64万円（調整のある場合を除く。）に訂正する。

f　障害（補償）給付で登録票の「併合繰上等級等による定額の特支金」を入力した事案については、システムでは自動計算できないため「定額特支金調整額：576」を必ず選択し訂正すること。

g　傷病（補償）年金については、「併合8級コード：572」「既存障害区分：573」「既存障害等級：574」「既存障害年金証書番号：575」「定額特支金調整額：576」は入力できない。

h　障害（補償）年金で援護費を支給している場合で、障害（補償）年金の障害等級を4級以下に訂正処理すると、援護費も連動して変更年月の翌月からの支給が取り消しとなる。

この場合、訂正決議書入力後、援護費の支給取消に関する援護費の決定通知書（454）が出力される。

I　障害（補償）年金の死亡転帰により差額一時金が発生している場合又は既に差額一時金が支払済である場合は、等級等情報を訂正することにより差額一時金の給付額に追給・回収額が生じることがあるが、訂正処理では差額一時金の再計算は行わないので、転帰情報検索により訂正後の差額一時金の給付額を確認すること。

なお、追給・回収額が発生する場合は、一時金給付の実額入力事案となるため、文書報告書様式(1)第2号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

j　最新の年金給付の転帰（死亡以外）後に、等級号情報を訂正することにより追給が発生した場合は、文書報告書様式(1)第5号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

k　死亡転帰により未支給金が発生している場合、又は、既に未支給金が支払済である場合に、等級等情報を訂正して発生した追給・回収額は、既に発生していた未支給金とは調整されることはないので新たな未支給金として、あるいは回収額として処理を行うこと。

l　前払一時金の支払を行った後に支給事由発生年月日時点の障害等級、既存障害区分、既存障害等級を訂正した場合は、前払一時金に追給・回収額を発生させるのではなく、前払一時金の調整期間を調整し直し、年金給付として追給・回収額を発生させる。

m　等級等情報をそ及して訂正した場合の年金の計算における時効の取扱いについてはⅠ-7-1ページ②のとおりであるが、一時金給付については、支給事由発生年月日から5年を経過している場合、一時金支給決定取消・支給決定・支払（追給）決議書に“時効適用”と印字し、追給・回収額は計算しない。

n　一時金給付の実額入力事案は、算定基礎項目が存在しないためシステムでは自動計算できないので、本訂正処理により追給・回収額が発生する場合は再度実額入力事案となる。この場合は、文書報告書様式(1)第2号により本省（業務課）あて報告すること。

o　一時金給付の訂正処理を支払前に行った場合の留意点については、Ⅱ-4-24ページのｐを参照すること。

9　厚年等情報（580）

厚生年金等の情報を訂正する場合及び厚生年金等の変更履歴を追加・取消する場合の処理である。

(ｲ) 記入項目

| 番号 | 項　目　名 | 履歴検索 | 登　記 | 修　正 | 再出力 | 取　消 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 2 | 債権コード | × | △ | △ | | |
| 3 | 出力枚数 | × | | | | |
| 4 | 枚目 | × | 1 | 1 | | |
| 5 | 枚中 | × | 1 | 1 | | |
| 6 | 項目（群）番号 | ●※1 | ●※1 | ●※1 | ●※1 | ●※1 |
| 7 | 検索期間（いつから） | ● | | | | |
| 8 | 検索期間（いつまで） | △ | | | | |
| 9 | 年金証書番号 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 10 | 被災者生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 11 | 枝番号 | × | × | × | × | × |
| 12 | データ受付番号 | × | × | × | × | × |
| 13 | 訂正番号 | × | × | × | × | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 | 項目別記入<br>要領参照 | | |

…　●

必須入力項目、△ ･･･ 任意入力項目、× ･･･ 入力不可項目、空欄 ･･･ 未使用

※1　項目（群）番号は「厚年等情報：580」または「厚年等年額（1 種）：583」、「厚年等年額（2 種）：588」のいずれかを入力する。

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 581<br>厚年調整コード① | 選　　択 | 傷病・障害（補償）年金又は遺族（補償）年金の旧国民年金以外の厚年等情報の項目を訂正する場合又は厚年等情報の変更履歴を追加又は取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月(日) | 追加する場合は、調整開始年月を記入する。<br>訂正又は取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、下記の「厚年等調整コード（1 種)」[1 桁」を左詰めで記入する。<br>調整 …… 0<br>調査中（未調整）…… 1<br>請求中（調整）（額なし調整） …… 2<br>不支給・不該当（非調整）…… 3<br>未加入（非調整）…… 4<br>請求拒否（非調整）…… 5<br>支給停止（非調整）…… 6<br>老齢年金等（非調整）…… 7<br>取消する場合は、記入しない。 |
| 582<br>厚年種別① | 選　　択 | 傷病・障害（補償）年金又は遺族（補償）年金の旧国民年金以外の厚年等情報の項目を訂正する場合又は厚年等情報の変更履歴を追加又は取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月(日) | 追加する場合は、調整開始年月を記入する。<br>訂正又は取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、下記の「厚年等種別（1 種)」[1 桁］を左詰めで記入する。<br>値なし …… 0<br>旧厚生年金保険 …… 1<br>厚生年金保険・国民年金 …… 2<br>旧船員保険 …… 3<br>厚生年金保険 …… 4<br>旧国民年金 …… 5<br>国民年金 …… 6<br>取消する場合は、記入しない。 |

| 項目 | 入力項目名 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 583<br>厚年年額① | 選　　択 | 傷病・障害（補償）年金又は遺族（補償）年金の旧国民年金以外の厚年等情報の項目を訂正する場合又は厚年等情報の変更履歴を追加又は取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、調整開始年月を記入する。<br>訂正又は取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、「厚年等年額（1 種）」［8 桁］を左詰めで記入する。<br>値なし …… 0<br>取消する場合は、記入しない。 |
| 584<br>厚年年証番号① | 選　　択 | 傷病・障害（補償）年金又は遺族（補償）年金の旧国民年金以外の厚年等情報の項目を訂正する場合又は厚年等情報の変更履歴を追加又は取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、調整開始年月を記入する。<br>訂正又は取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、別表Ⅴ-5-1 ページの「厚年等の年金証書番号の基礎年金番号及び年金コード（1 種）」［14 桁］を左詰めで記入する。<br>値なし …… 0<br>取消する場合は、記入しない。 |

| 項目 | 入力項目名 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 586<br>厚年調整コード② | 選　　択 | 遺族（補償）年金で旧国民年金の厚年等情報の項目を訂正する場合又は厚年等情報の変更履歴を追加又は取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、調整開始年月を記入する。<br>訂正又は取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、下記の「厚年等調整コード（2 種）」［1 桁］を左詰めで記入する。<br>調整 …… 0<br>調査中（未調整）…… 1<br>請求中（調整）（額なし調整） …… 2<br>不支給・不該当（非調整）…… 3<br>未加入（非調整）…… 4<br>請求拒否（非調整）…… 5<br>支給停止（非調整）…… 6<br>老齢年金等（非調整）…… 7<br>取消する場合は、記入しない。 |
| 587<br>厚年種別② | 選　　択 | 遺族（補償）年金で旧国民年金の厚年等情報の項目を訂正する場合又は厚年等情報の変更履歴を追加又は取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、調整開始年月を記入する。<br>訂正又は取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、下記の「厚年等種別（2 種）」［1 桁］を左詰めで記入する。<br>値なし …… 0<br>旧国民年金 …… 5<br>取消する場合は、記入しない。 |

| 項目 | 入力項目名 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 588<br>厚<br>年<br>年<br>額<br>② | 選　　択 | 遺族（補償）年金で旧国民年金の厚年等情報の項目を訂正する場合又は厚年等情報の変更履歴を追加又は取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 ………………………………………………… 1<br>追加 ………………………………………………… 5<br>取消 ………………………………………………… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、調整開始年月を記入する。<br>訂正又は取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、「厚年等年額（2 種）」［8 桁］を左詰めで記入する。<br>値なし ………………………………………………… 0<br>取消する場合は、記入しない。 |
| 589<br>厚<br>年<br>年<br>証<br>番<br>号<br>② | 選　　択 | 遺族（補償）年金で旧国民年金の厚年等情報の項目を訂正する場合又は厚年等情報の変更履歴を追加又は取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 ………………………………………………… 1<br>追加 ………………………………………………… 5<br>取消 ………………………………………………… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、調整開始年月を記入する。<br>訂正又は取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、別表Ⅴ-5-1 ページの「厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード（2 種）」［14 桁］を左詰めで記入する。<br>値なし ………………………………………………… 0<br>取消する場合は、記入しない。 |

(ハ) 処理別選択コード記入要領

処理名欄の訂正・追加・取消を行う場合は、下表に掲げる項目（必須入力項目）を訂正・追加・取消すること。

| 処　理　名 | 項　目 | 項目番号 | 必須･任意 | 選　択 |
|---|---|---|---|---|
| 厚年等調整コード（1 種）の訂正 | 厚年等調整コード① | 581 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等種別① | 582 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等年額① | 583 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等年金証書番号① | 584 | ● | 1（訂正） |
| 厚年等種別（1 種）の訂正 | 厚年等調整コード① | 581 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等種別① | 582 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等年額① | 583 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等年金証書番号① | 584 | ● | 1（訂正） |
| 厚年等年金証書番号（1 種）の訂正 | 厚年等調整コード① | 581 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等種別① | 582 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等年額① | 583 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等年金証書番号① | 584 | ● | 1（訂正） |
| 厚年等の変更履歴（1 種）の追加 | 厚年等調整コード① | 581 | ● | 5（追加） |
| | 厚年等種別① | 582 | ● | 5（追加） |
| | 厚年等年額① | 583 | ● | 5（追加） |
| | 厚年等年金証書番号① | 584 | ● | 5（追加） |
| 厚年等の変更履歴（1 種）の取消 | 厚年等調整コード① | 581 | ● | 9（取消） |
| | 厚年等種別① | 582 | ● | 9（取消） |
| | 厚年等年額① | 583 | ● | 9（取消） |
| | 厚年等年金証書番号① | 584 | ● | 9（取消） |

| 処　　理　　名 | 項　　目 | 項目番号 | 必須･任意 | 選　　択 |
|---|---|---|---|---|
| 厚年等調整コード（2 種）の訂正 | 厚年等調整コード② | 586 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等種別② | 587 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等年額② | 588 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等年金証書番号② | 589 | ● | 1（訂正） |
| 厚年等種別（2 種）の訂正 | 厚年等調整コード② | 586 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等種別② | 587 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等年額② | 588 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等年金証書番号② | 589 | ● | 1（訂正） |
| 厚年等年金証書番号（2 種）の訂正 | 厚年等調整コード② | 586 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等種別② | 587 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等年額② | 588 | ● | 1（訂正） |
| | 厚年等年金証書番号② | 589 | ● | 1（訂正） |
| 厚年等の変更履歴（2 種）の追加 | 厚年等調整コード② | 586 | ● | 5（追加） |
| | 厚年等種別② | 587 | ● | 5（追加） |
| | 厚年等年額② | 588 | ● | 5（追加） |
| | 厚年等年金証書番号② | 589 | ● | 5（追加） |
| 厚年等の変更履歴（2 種）の取消 | 厚年等調整コード② | 586 | ● | 9（取消） |
| | 厚年等種別② | 587 | ● | 9（取消） |
| | 厚年等年額② | 588 | ● | 9（取消） |
| | 厚年等年金証書番号② | 589 | ● | 9（取消） |

(ﾆ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登　記 | 修　正 | 再出力 | 取　消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | － | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書 | － | × | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | － | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | － | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力、△…条件出力、×…非出力

(ﾎ) 変更決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 年金 | 出力端末装置 |
|---|---|---|
| 変更決定通知書（労審法教示文あり） | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |

△…条件出力

(ﾍ) 留意点

a　厚年情報の履歴検索では、検索期間（いつから）から最初の履歴を印字する。

b　履歴検索において、傷病・障害（補償）年金については、２種の情報は印字しない。

c　厚年等年額のみ複数の履歴を訂正する場合は、項目（群）番号に 583（厚年等年額（１種））又は 588（厚年等年額（２種））を入力することにより、年額のみの履歴検索及び訂正処理が可能である。

なお、厚年等年額のみの訂正は、厚年等調整コードが"0"『調整済』の場合のみ可能である。

d　厚年等年額の履歴検索（項目番号に 583 又は 588 を入力した場合）は、検索期間（いつから）から、最大８履歴まで印字する。

なお、訂正する履歴が印字されない場合は、検索期間を変更して再度履歴検索を行うこと。

遺族（補償）年金の場合については、２種の情報が存在しない場合であっても、２種の項目番号（586～589）を印字する。

e　支給事由発生年月の翌月の履歴は取り消すことができないため、訂正（選択コード：１）により「厚年等調整コード：581,586」等を訂正すること。

f　転帰等により、失権差額一時金が発生している場合又は既に失権差額一時金が支払済である場合は、厚年等情報の訂正することにより失権差額一時金の給付額に追給・回収額が生じることがあるが、訂正処理では失権差額一時金の計算は行わないので、転帰情報検索により訂正後の失権差額一時金の給付額を確認すること。

なお、追給・回収額が発生する場合は、一時金給付の実額入力事案となるため、文書報告書様式（1)第２号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

g　最新の年金給付の転帰（死亡以外）後に厚年等情報を訂正することにより追給額が発生した場合は、文書報告書様式（1)第５号により本省（業務課）あて報告し、指示を受けること。

h　死亡転帰により、未支給金が発生している場合又は既に未支給金が支払済である場合に、厚年等情報を訂正することにより発生した追給・回収額は、新たな未支給金あるいは回収額として処理を行うこと。

i　厚年等情報の訂正処理により労災年金額の変更がない場合かつ追回額が発生しない場合は、変更決定通知書は出力されない。

10　支給停止情報（590）

１年以上の所在不明による支給停止についての最新履歴を追加・取消する場合の処理である。

(ｲ) 記入項目

| No. | 項目名 | 履歴検索 | 登記 | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 2 | 債権コード | × | × | × | × | × |
| 3 | 出力枚数 | × | | | | |
| 4 | 枚目 | × | 1 | 1 | | |
| 5 | 枚中 | × | 1 | 1 | | |
| 6 | 項目（群）番号 | 590 | 590 | 590 | 590 | 590 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × | × | | |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × | × | | |
| 9 | 年金証書番号 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 10 | 被災者生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 11 | 枝番号 | ● | ● | ● | | |
| 12 | データ受付番号 | × | × | × | × | × |
| 13 | 訂正番号 | × | × | × | × | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 | 項目別記入<br>要領参照 | | |

● ･･･ 必須入力項目、△ ･･･ 任意入力項目、× ･･･ 入力不可項目、空欄 ･･･ 未使用

(ﾛ) 項目別記入要領

| | | |
|---|---|---|
| 591<br>行方不明・解除 | 選　　択 | 遺族（補償）年金及び特別遺族年金で 1 年以上の所在不明による支給停止の変更履歴を追加又は取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、支給停止・解除年月を記入する。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 追加する場合は、下記の「支給停止事由」[１桁]を左詰めで記入する。<br>所在判明解除 …… 0<br>１年以上の所在不明による支給停止 …… 1<br>取消する場合は、記入しない。 |

(ハ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登　記 | 修　正 | 再出力 | 取　消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 訂正票 | 563 | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書 | － | × | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | － | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | － | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | － | × | △※2 | △※2 | △※2 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力、△…条件出力、×…非出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

(ニ) 変更決定決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 年金 | 出力端末装置 |
|---|---|---|
| 変更決定通知書（労審法教示文あり） | △※1 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（労審法教示文あり、特別遺族） | △※2 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 援護費通知書 | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |

△…条件出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

(ホ) 留意点

a　「取消」は最新の履歴に対してのみ行うことができる。

なお、過去の履歴を取消する場合は、最新の履歴から順次取消を行うこと。

b　「追加」では、最新の履歴以降に履歴を追加することができる。

c　転帰後の訂正処理はできないので、転帰取消後に処理すること。

d　当該資格者が援護費を支給中で、「所在判明解除の変更履歴の取消」及び「１年以上の所在不明による支給停止の変更履歴の追加」を行った場合は、援護費の支給の中断に関する援護費の決定通知書（454）が出力される。

e　行方不明の履歴の追加により転給未処理状態となる場合は、変更処理により必要な処理を行うこと。

f　所在判明の履歴の追加又は行方不明の履歴の取消により現在の支払権者より上順位者となる資格者は、算定基礎には算入されるが支払権者とはならないため、変更処理の上順位者への転給（様式番号:90-03,変更内容コード:04）により処理を行うこと。

11　資格者情報（600）

資格者情報の訂正、資格者の取消・追加、同一生計の有無の取消・追加、障害の状態の変更履歴の取消・追加及び失権の取消を行う場合は、次の処理を行うこと。

(ｲ) 記入項目

| No. | 項目名 | 履歴検索 | 登記 | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 2 | 債権コード | × | △ | △ | | |
| 3 | 出力枚数 | × | | | | |
| 4 | 枚目 | × | 1 | 1 | | |
| 5 | 枚中 | × | 1 | 1 | | |
| 6 | 項目（群）番号 | 600 | 600 | 600 | 600 | 600 |
| 7 | 検索期間（いつから） | ● | | | | |
| 8 | 検索期間（いつまで） | △ | | | | |
| 9 | 年金証書番号 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 10 | 被災者生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 11 | 枝番号 | ● | ● | ● | | |
| 12 | データ受付番号 | × | × | × | × | × |
| 13 | 訂正番号 | × | × | × | × | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 | 項目別記入<br>要領参照 | | |

● … 必須入力項目、△ … 任意入力項目、× … 入力不可項目、空欄 ･･･ 未使用

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 601<br>資格者氏名（カナ） | 選　　択 | 資格者氏名を訂正する場合又は遺族（補償）年金及び特別遺族年金で資格者を追加又は取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9<br>資格者を追加・取消する場合は 602～603 を必ず選択し、必要により 604～605 を選択すること。 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、支給事由発生年月を記入する。ただし、胎児出生の場合は、生年月を記入する。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、訂正後又は追加する「資格者氏名（カナ)」[16 桁以内]を左詰めで記入する。<br>取消する場合は、記入しない。<br>姓と名の間は、1 文字の空白を空けること。 |
| 602<br>資格者生年月日 | 選　　択 | 資格者生年月日を訂正する場合又は資格者を追加、取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 追加する場合は、支給事由発生年月を記入する。ただし、胎児出生の場合は、生年月を記入すること。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、訂正後又は追加する「資格者生年月日」[7 桁]を左詰めで記入する。<br>訂正は同月内の 2 日～末日の範囲で可能である。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| 603<br>資格者性別 | 選　　択 | 資格者性別を訂正する場合又は遺族（補償）年金で資格者を追加又は取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 資格者を追加する場合は、支給事由発生年月を記入する。ただし、胎児出生の場合は、生年月を記入すること。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、訂正後又は追加する下記の「資格者性別」[1 桁]を左詰めで記入する。<br>男 …… 1<br>女 …… 3<br>取消する場合は、記入しない。 |

| 項目 | 入力項目名 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 604<br>同<br>一<br>生<br>計<br>の<br>有<br>無 | 選　　択 | 権者との同一生計の有無の変更履歴を追加・取消する場合又は受給権者以外の資格者を追加する場合は、下記のコードを記入する。<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 資格者を追加する場合は、支給事由発生年月を記入する。ただし、胎児出生の場合は、生年月を記入する。<br>権者との同一生計の有無の変更履歴を追加する場合は、権者との同一生計が変更となった年月を記入する。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 追加する場合は、追加する下記の「同一生計の有無」[1 桁]を左詰めで記入する。なお、省略した場合は、権者との同一生計を“有り”とする。<br>同一生計有り …… 0<br>同一生計無し …… 1<br>取消する場合は、記入しない。 |
| 605<br>障<br>害<br>の<br>状<br>態 | 選　　択 | 障害有りの資格者で診断書の要否を訂正する場合、資格者を追加する場合（胎児は除く）又は障害の有無の変更履歴を追加又は取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 資格者を追加する場合は、支給事由発生年月を記入する。ただし、胎児出生の場合は、生年月を記入する。<br>障害の有無の変更履歴を追加する場合は、障害の有無の変更となった年月を記入する。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、訂正後又は追加する下記の「障害の状態」[1 桁]を左詰めで記入する。なお、追加で省略した場合は、“障害無し“とする。<br>障害無し …… 0<br>障害有り（診断書要） …… 1<br>障害有り（診断書否） …… 3<br>取消の場合は、記入しない。<br>障害を有りから無しに訂正することにより失権（失格）する場合は、訂正できない。 |

| 項目 | 入力項目名 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 606 失権(失格)事由 | 選　　択 | 失権（失格）事由を訂正する場合又は失権（失格）を取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「失権（格）事由」［１桁］を左詰めで記入する。<br>死亡 …… 1<br>婚姻 …… 2<br>養子縁組 …… 3<br>離縁 …… 4<br>障害無し …… 5<br>取消の場合は、記入しない。 |

(ハ) 処理別選択コード記入要領

処理名欄の追加・取消を行う場合は、下表に掲げる項目（必須入力項目）を追加・取消すること。

| 処　理　名 | 項　目 | 項目番号 | 必須･任意 | 選　択 |
|---|---|---|---|---|
| 資格者の追加 | 資格者氏名 | 601 | ● | 5（追加） |
| | 資格者生年月日 | 602 | ● | 5（追加） |
| | 資格者性別 | 603 | ● | 5（追加） |
| | 同一生計の有無 | 604 | △ | 5（追加） |
| | 障害の状態 | 605 | △ | 5（追加） |
| 資格者の取消 | 資格者氏名 | 601 | ● | 9（取消） |
| | 資格者生年月日 | 602 | ● | 9（取消） |
| | 資格者性別 | 603 | ● | 9（取消） |

(ﾆ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登　記 | 修　正 | 再出力 | 取　消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | － | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書 | － | × | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | － | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | － | × | △※1 | △※1 | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト（特別遺族） | － | × | △※2 | △※2 | △※2 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力、△ … 条件出力、× … 非出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

(ﾎ) 変更決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 年金 | 出力端末装置 |
|---|---|---|
| 変更決定通知書（労審法教示文あり）（選択コード＝5（追加）又は 9（取消）の場合） | Ⓐ※1 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（教示文なし）（選択コード＝1（訂正）の場合） | Ⓑ※1 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（労審法教示文あり、特別遺族）（選択コード＝5（追加）又は 9（取消）の場合） | Ⓐ※2 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（教示文なし、特別遺族）（選択コード＝1（訂正）の場合） | Ⓑ※2 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 援護費通知書 | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |

英字 ･･･ ⒶまたはⒷどちらかを出力、△ ･･･ 条件出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

(ﾍ) 留意点

a　履歴検索において、枝番号で指定された資格者が登録済みである場合に、「同一生計の有無:604」「障害の状態：605」「失権（失格）事由：606」の3項目は検索期間（いつから）以後に変更または訂正した履歴が存在する場合に印字する。

b　行方不明中、支払差止中の資格者については、有資格者情報の訂正処理はできない。

c　転帰後の訂正処理はできないため、転帰取消後に再度訂正処理を行うこと。

d　資格者を追加した場合は、支給事由発生時点から追加するので、支給事由発生時点以後の同一生計の有無、失権等の変更処理も合わせて行うこと。

e　現在の支払権者より上順位の資格者を追加した場合又は現在の支払権者より上順位の資格者の失権を取り消した場合は、算定基礎には算入されるが、自動的に支払権者とはならないため、変更処理の上順位者への転給処理（様式番号：90-03，変更内容コード：04）で処理する。

なお、この場合の転給年月日は、前記については先順位又は同順位者の失権年月日とする。また、後記については、取消する前の失権年月日とすること。

f　過去に支払権者になった資格者については、資格者の取消をすることはできない。

g　同一生計無しの履歴の追加を行った場合において、当該資格者が援護費の受給対象となる場合、援護費も連動して該当する訂正決議書入力後、援護費の支給の決定に関する援護費の決定通知書（454）を出力する。

資格者の取消を行った場合、又は、同一生計の有無の履歴の取り消しを行った場合、援護費も連動して全て取消となり、該当する訂正決議書入力後、援護費の変更の決定に関する援護費の決定通知書（454）を出力する。

h　援護費の支給対象者でもある資格者の「資格者氏名：601」「資格者性別：603」を訂正した場合は、援護費情報も連動して訂正する。

i　「資格者生年月日：602」の同月内（２日～末日）以外への訂正はできない。資格者生年月日の訂正を行う場合は、一旦資格者を取消した後に正しい生年月日で資格者追加の処理を行うこと。

受給権者の生年月日についても同月内（２日～末日）以外への訂正は行うことができず、基本権取消事案となるので、文書報告書様式(1)第３号により本省（業務課）あて報告し指示を受けること。

なお、訂正した場合は、援護費情報も連動して訂正する。

j　「資格者性別：603」の訂正は、子・孫・(若年) 兄弟姉妹のみ可能である。

k　「同一生計の有無：604」「障害の状態：605」の履歴が支給決定時のみの場合は、履歴の追加はできないため、変更処理（様式番号=22-00，90-03）で処理すること。

l　「同一生計の有無：604」及び「障害の状態：605」は１度に２つ以上の履歴を取消することはできない。

m　指定した資格者が受給権者の場合は、「同一生計の有無：604」は入力できない。

n　“障害無し”から“障害有り”の履歴を追加できるのは、妻のみである。

o　支給事由発生時点で胎児であった資格者については、“障害有り”へ訂正できない。また、“障害有り”としても追加できない。

p　「障害の状態：605」を“無し”に訂正することにより失格する場合（18歳以上の子・孫、55歳未満の夫・父母・祖父母、18歳以上55歳未満の兄弟姉妹）は、変更処理における算定基

礎変更（様式番号 22-00、90-03）又は失権処理（21-00、90-03）により失権（失格）処理を行うこと。

q　18 歳以上の子・孫、55 歳未満の夫・父母・祖父母、18 歳以上 55 歳未満の兄弟姉妹のみ“障害有り診断書要”から“障害有り診断書否”又は“障害有り診断書否”から“障害有り診断書要”への訂正が可能である。

r　「失権（失格）事由：606」の訂正で、“18 歳失権から 18 歳失権以外へ”又は“18 歳失権以外から 18 歳失権へ”の訂正はできない。この場合は転帰取消しを行うこと。

12　援護費情報（610）

援護費情報の訂正、在学者の取消、最新の在学者情報の取消及び中断・復帰・転帰履歴の取消を行う場合は、次の処理を行うこと。

(ｲ)記入項目

| No. | 項目名 | 履歴検索 | 登記 | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 2 | 債権コード | | | | | |
| 3 | 出力枚数 | × | | | | |
| 4 | 枚目 | × | 1 | 1 | | |
| 5 | 枚中 | × | 1 | 1 | | |
| 6 | 項目（群）番号 | 610 | 610 | 610 | 610 | 610 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × | × | | |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × | × | | |
| 9 | 年金証書番号 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 10 | 被災者生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 11 | 枝番号 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 12 | データ受付番号 | × | × | × | × | × |
| 13 | 訂正番号 | × | × | × | × | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入要領参照 | 項目別記入要領参照 | | |

● ･･･ 必須入力項目、△ ･･･ 任意入力項目、× ･･･ 入力不可項目、空欄 ･･･ 未使用

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 611<br>支給区分 | 選　　択 | 支給区分に関する情報（支給区分、支給開始年月、支給終了（予定）年月、中断・復帰・転帰年月、中断・転帰事由）を取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 記入しない。 |
| 612<br>学年区分 | 選　　択 | 支給開始年月時点の学年区分を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「学年区分」[１桁]を左詰めで記入する。 |
| 613<br>支給終了年月 | 選　　択 | 最新の支給開始年月の支給区分の支給終了（予定）年月を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「支給終了（予定）年月」[5 桁]を左詰めで記入する。 |

| 項目 | 入力項目名 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 614<br>中断復帰転帰事由 | 選　　択 | 最新の支給開始年月の支給区分の中断・復帰・転帰事由を訂正する場合又は最新の中断、復帰又は転帰を取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「中断・復帰・転帰事由」[2 桁]を左詰めで記入する。<br>休学 …… 01<br>停学 …… 02<br>留年 …… 03<br>退学 …… 04<br>権者との同一生計無し …… 05<br>不就労 …… 06<br>就労者との同一生計無し …… 07<br>障害等級４級以下 …… 08<br>死亡 …… 11<br>婚姻 …… 12<br>養子縁組 …… 13<br>養子離縁 …… 14<br>学資等支弁容易 …… 15<br>障害なし …… 16<br>18 歳失権 …… 18<br>復帰（復学・同一生計有り・就労） …… 50<br>再入学 …… 51<br>取消する場合は、記入しない。<br>年金の資格者でもある在学者で、年金資格者の失権（失格）事由については、資格者情報（600）で入力すること。<br>中断事由（0 番台）は中断事由に、復帰事由（50 番台）は復帰事由に、転帰事由（10 番台）は転帰事由にのみ訂正できる。 |
| 615<br>在学者氏名 | 選　　択 | 在学者氏名を訂正する場合又は在学を取消しする場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>取消 …… 9<br>在学者を取消する場合は、616 を必ず選択（“９”）すること。 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「在学者氏名」[16 桁以内]を左詰め記入する。<br>取消する場合は、記入しない。 |

| 項目 | 入力項目名 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 616<br>在学者生年月日 | 選　　択 | 在学者生年月日を訂正する場合又は在学者を取消しする場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の「在学者生年月日」[7桁]を左詰め記入する。<br>取消する場合は、記入しない。 |

(ハ) 処理別選択コード記入要領

処理名欄の取消を行う場合は、下表に掲げる項目（必須入力項目）を取消すること。

| 処　理　名 | 項　目 | 項目番号 | 必須・任意 | 選　択 |
|---|---|---|---|---|
| 在学者の取消 | 在学者氏名 | 615 | ● | 9（取消） |
| | 在学者生年月日 | 616 | ● | 9（取消） |

(ニ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登　記 | 修　正 | 再出力 | 取　消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | － | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）変更決議書 | － | × | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | － | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力、△ ･･･ 条件出力、× … 非出力

(ホ) 変更決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 年金 | 出力端末装置 |
|---|---|---|
| 変更決定通知書（教示文なし） | Ⓐ | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 援護費通知書 | Ⓑ | ＯＣＲ専用プリンタ |

英字 ･･･ ⒶまたはⒷどちらかを出力

(ﾍ) 留意点

a　年金転帰後の訂正はできないため、転帰取消後に訂正処理を行うこと。

b　最新の履歴のみ訂正処理ができる。

c　「支給区分：611」は最新の履歴のみ取消することができる。

d　最新の支給区分に対して中断・復帰の履歴が存在しない場合は、「中断・復帰・転帰事由：614」は印字しない。

e　援護費が転帰していない場合は、「中断・復帰・転帰事由：614」は印字しない。

f　年金の資格者でもある在学者等の場合は、「在学者氏名：615」「在学者生年月日：616」は訂正できない。

ただし、援護費のみ対象となる在学者等の場合は、「在学者氏名：615」「在学者生年月日：616」は訂正できる。

しかし、「在学者生年月日：616」については、18 歳失権（失格）の転帰年月日に影響しない場合のみ訂正できる。

なお、「在学者氏名：615」の訂正は資格者情報（600）の「資格者氏名：601」で行うこと。

g　年金の資格者でもある在学者等の失権（失格）事由は、資格者情報（600）で入力すること。

h　変更履歴の追加処理はできないため、職権で援護費支給・変更申請書を入力すること。

i　在学者等の最初の支給区分は取消できない。このため、最初の支給区分の取消を行う場合は、一旦在学者の取消（「在学者氏名：615」「在学者生年月日:616」に選択コード：９を記入する。）を行った後に職権で援護費支給・変更申請書を入力すること。

j　若年停止中、支払差止め中、行方不明中の在学者等については、訂正できない。

k　在学者等が転帰済の場合は転帰事由：614 の訂正、転帰取消のみ可能である。

l　「支給終了（予定）年月：613」の訂正で被災者の子以外については、18 歳の誕生月以降は訂正できない。

m　「支給終了（予定）年月：613」の訂正で６歳以上の要保育児の支給終了（予定）年月は年度内（３月）まで可能である。ただし、被災者の子以外については、最大 18 歳の誕生月までである。

n　援護費情報の訂正において、以下の項目に訂正が生じた場合は、変更決定通知書（教示文なし）を出力する。

○　選択コードが 1（訂正）

・　学年区分、中断復帰転帰事由、在学者氏名、在学者生年月日

o　援護費情報の訂正において、以下の項目に訂正が生じた場合は、援護費の決定通知書を出力する。

○　選択コードが 1（訂正）

・　支給終了年月

○　選択コードが 9（取消）

・　支給区分、中断復帰転帰事由、在学者の取消

p　（ﾍ）留意点ｎ、ｏの処理を同時に行った場合は、援護費の決定通知書のみを出力する。

13　前払情報（630）

年金・一時金の支払前で前払選択日数を訂正する場合は、次の処理を行うこと。

(ｲ) 記入項目

| No. | 項目名 | 履歴検索 | 登記 | 修正 | 再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 2 | 債権コード | × | × | × | × | × |
| 3 | 出力枚数 | × | | | | |
| 4 | 枚目 | × | 1 | 1 | | |
| 5 | 枚中 | × | 1 | 1 | | |
| 6 | 項目（群）番号 | 630 | 630 | 630 | 630 | 630 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × | × | | |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × | × | | |
| 9 | 年金証書番号 | × | × | × | × | × |
| 10 | 被災者生年月日 | × | × | × | × | × |
| 11 | 枝番号 | × | × | × | × | × |
| 12 | データ受付番号 | ● | ● | ● | ● | ● |
| 13 | 訂正番号 | × | × | × | × | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入要領参照 | 項目別記入要領参照 | | |

● ･･･ 必須入力項目、× ･･･ 入力不可項目、空欄 ･･･ 未使用

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 631 前払選択日数 | 選択 | 前払選択日数を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、「前払選択日数」［４桁以内］を左詰めで記入する。<br>200 日 …… 200<br>400 日 …… 400<br>560 日 …… 560<br>600 日 …… 600<br>670 日 …… 670<br>790 日 …… 790<br>800 日 …… 800<br>920 日 …… 920<br>1000 日 …… 1000<br>1050 日 …… 1050<br>1190 日 …… 1190<br>1200 日 …… 1200<br>1340 日 …… 1340<br>限度日数 …… 9999 |

(ﾊ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登記 | 修正 | 再出力 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | － | 1 | 3 | 5 | 9 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| （不）支給決議書 | － | × | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | － | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金年額リスト | － | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● ･･･ 出力、△ ･･･ 条件出力、× ･･･ 非出力

(ﾆ) 支給決定決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 一時金 | 出力端末装置 |
|---|---|---|
| 支給決定通知書 | ● | ＯＣＲ専用プリンタ |

● ･･･ 出力

(ﾎ) 留意点

a　年金給付の支払前（入力締切日）であり、かつ、前払一時金支払前のみ訂正可能である。

b　既に出力した支給決定決議書、支給決定通知書は破棄すること。

14　支払情報（一時金）(640)

一時金給付の支払先情報を訂正する場合の処理である。

(ｲ) 記入項目

| No. | 項目名 | 履歴検索 | 登記 |
|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 |
| 2 | 債権コード | × | × |
| 3 | 出力枚数 | × | |
| 4 | 枚目 | × | 1 |
| 5 | 枚中 | × | 1 |
| 6 | 項目（群）番号 | 640 | 640 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × |
| 9 | 年金証書番号 | × | × |
| 10 | 被災者生年月日 | × | × |
| 11 | 枝番号 | × | × |
| 12 | データ受付番号 | ● | ● |
| 13 | 訂正番号 | △ | △ |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入要領参照 |

● ･･･ 必須入力項目、△ ･･･ 任意入力項目、× ･･･ 入力不可項目、空欄 ･･･ 未使用

訂正番号は、既に訂正を行った一時金給付について再度訂正するデータを入力する場合に記入すること。

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 641<br>委任未支給 | 選択 | 一時金給付で委任・未支給コードを訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、下記の「委任・未支給コード」[１桁]を左詰めで記入する。<br>委任払…… 1<br>未支給給付…… 3<br>未支給給付、かつ、委任払…… 5 |
| 642<br>支払方法 | 選択 | 一時金給付で支払方法を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、訂正後の下記の「支払方法」[１桁]を左詰めで記入する。<br>銀行振込 …… 1<br>当地払 …… 3<br>送金払 …… 5<br>外国送金 …… 7<br>銀行振込に訂正する場合は、項目番号 643～646 を必ず訂正し、必要により 647～648 を訂正するとともに、本省（業務課）あて報告し指示を受けること。 |
| 643<br>金融機関コード | 選択 | 一時金給付の銀行振込で金融機関・店舗コードを訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、「金融機関・店舗コード」[７桁]を左詰めで記入する。 |
| 644<br>預金の種類 | 選択 | 一時金給付の銀行振込で預金の種類を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、下記の「預金の種類」[１桁]を左詰めで記入する。<br>普通預金 …… 1<br>当座預金 …… 3 |

| 項目 | 入力項目名 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 645<br>口<br>座<br>番<br>号 | 選　　択 | 一時金給付の銀行振込で口座番号を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、「口座番号」［７桁］を左詰めで記入する。<br>７桁未満の場合は、口座番号の先頭に「0」を記入すること。 |
| 646<br>口<br>座<br>名<br>義<br>人<br>1 | 選　　択 | 一時金給付の銀行振込で口座名義人の１桁目から16桁目を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、「口座名義人（１桁目から 16 桁目）」［16 桁以内］を左詰めで記入する。<br>17 桁以降を訂正する場合は、項目番号 647 を使用し、33 桁以降を訂正する場合は、項目番号 648 を使用すること。 |
| 647<br>口<br>座<br>名<br>義<br>人<br>2 | 選　　択 | 一時金給付の銀行振込で口座名義人の 17 桁目から 32 桁目を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、「口座名義人（17 桁目から 32 桁目）」［16 桁以内］を左詰めで記入する。<br>33 桁以降を訂正する場合は、項目番号 648 を使用すること。 |
| 648<br>口<br>座<br>名<br>義<br>人<br>3 | 選　　択 | 一時金給付の銀行振込で口座名義人の 33 桁目から 38 桁目を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、「口座名義人（33 桁目から 38 桁目）」［6 桁以内］を左詰めで記入する。 |

(ハ) 処理別選択コード記入要領

処理名欄の訂正を行う場合は、下表に掲げる項目（必須入力項目）を訂正すること。また、任意入力項目についても訂正を行う必要が生じることもあるので留意すること。

| 処　理　名 | 項　目 | 項目番号 | 必須･任意 | 選　択 |
|---|---|---|---|---|
| 支払方法（当地払・送金払・外国送金→銀行振込）の訂正 | 支払方法 | 642 | ● | 1（訂正） |
| | 金融機関コード | 643 | ● | 1（訂正） |
| | 預金の種類 | 644 | ● | 1（訂正） |
| | 口座番号 | 645 | ● | 1（訂正） |
| | 口座名義人 1 | 646 | ● | 1（訂正） |
| | 口座名義人 2 | 647 | △ | 1（訂正） |
| | 口座名義人 3 | 648 | △ | 1（訂正） |
| 口座名義人の訂正（銀行振込のみ） | 口座名義人 1 | 646 | ● | 1（訂正） |
| | 口座名義人 2 | 647 | △ | 1（訂正） |
| | 口座名義人 3 | 648 | △ | 1（訂正） |
| 口座名義人（17 桁から 32 桁）の訂正（銀行振込のみ） | 口座名義人 1 | 646 | ● | 1（訂正） |
| | 口座名義人 2 | 647 | ● | 1（訂正） |
| | 口座名義人 3 | 648 | △ | 1（訂正） |
| 口座名義人（33 桁から 38 桁）の訂正（銀行振込のみ） | 口座名義人 1 | 646 | ● | 1（訂正） |
| | 口座名義人 2 | 647 | ● | 1（訂正） |
| | 口座名義人 3 | 648 | ● | 1（訂正） |

● … 必須入力項目、△ … 任意入力項目

(ニ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 履歴検索 | 登記 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|
| 訂正票 | 563 | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力、× … 非出力

(ホ) 留意点

a　支給決定時の情報を訂正する場合は、決定後（決議書入力後）に訂正可能である。

b　支払方法を当地払・送金払・外国送金から銀行振込に訂正した場合は、本省（業務課）あて報告し指示を受けること。

15　受付情報（650）

受付年月日、請求人氏名、決定年月日を訂正する場合、不支給・不変更の処理区分内で処理区分を訂正する場合及び転帰後の年金でデータ登記未処理（受付状態）となっているデータ受付番号を取消する場合の処理である。

(ｲ) 記入項目

| 番号 | 項　目　名 | 履歴検索 | 登　記 | 取　消 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 | 9 |
| 2 | 債権コード | × | × | × |
| 3 | 出力枚数 | × | | |
| 4 | 枚目 | × | 1 | × |
| 5 | 枚中 | × | 1 | × |
| 6 | 項目（群）番号 | 650 | 650 | 650 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × | × |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × | × |
| 9 | 年金証書番号 | × | × | × |
| 10 | 被災者生年月日 | × | × | × |
| 11 | 枝番号 | × | × | × |
| 12 | データ受付番号 | ● | ● | ● |
| 13 | 訂正番号 | △ | △ | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 | |

● … 必須入力項目、△ … 任意入力項目、× … 入力不可項目、空欄 ･･･ 未使用
訂正番号は、既に訂正を行った一時金給付について再度訂正するデータを入力する場合に記入すること。

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 651<br>受付年月日 | 選　　択 | 受付年月日を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、「受付年月日」［７桁］を左詰めで記入する。<br>受付年月日を訂正しても時効とのチェック等は行わない。 |
| 652<br>請求人氏名 | 選　　択 | 請求人又は申請人氏名を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、「請求人・申請人氏名」［16 桁以内］を左詰めで記入する。<br>様式番号と請求人・申請人氏名とのチェックは行わない。 |
| 653<br>決定年月日 | 選　　択 | 支給決定年月日又は変更決定年月日を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、「決定年月日」［７桁］を左詰めで記入する。 |
| 654<br>処理区分 | 選　　択 | 不支給処理区分又は不変更処理区分を訂正する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正する場合は、別表 4－1（Ⅱ-4-82 ページ）の「処理区分」［2 桁］を左詰めで記入する。 |

（注）特別遺族の場合は、651 受付年月日の訂正は行えない

(ﾊ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力<br>帳票番号 | 履歴検索 | 登　記 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | － | 1 | 9 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力、× … 非出力

㈡ 留意点

a　処理区分は、不支給から不支給及び不変更から不変更への訂正は可能である。
しかし、支給から不支給、不支給から支給に訂正する場合は、基本権取消事案となるため、文書報告書様式(1)第３号により本省（業務課）あて報告すること。

b　受付年月日の訂正により請求権の時効になっても回収は発生させない。このような事案で回収を発生させる場合は基本権取消事案となるため、文書報告書様式(1)第３号により本省（業務課）あて報告すること。

c　訂正後の請求人・申請人氏名が本来提出しなくてはならない請求人・申請人氏名であるかの判断は行わない。

d　取消することができるデータ受付番号は、変更処理によるものに限られる。

別表４－１【訂正可能な処理区分】

| 処　理　内　容 | 訂正可能な処理区分 |
|---|---|
| 新　　規 | 11～26，30 |
| 変　　更 | 13，31～39 |
| 援護費新規 | 13，51～70 |
| 援護費変更 | 13，71～80 |
| 援護費定期報告処理 | 13，51～80 |

16　調査書情報（660）

調査コード、調査年月日、復命書番号を訂正する場合及び調査書情報を追加・取消する場合の処理である。

(ｲ) 記入項目

| 番号 | 項　　目　　名 | 履歴検索 | 登　記 |
|---|---|---|---|
| 1 | 実行コード | × | 1 |
| 2 | 債権コード | × | × |
| 3 | 出力枚数 | × | |
| 4 | 枚目 | × | 1 |
| 5 | 枚中 | × | 1 |
| 6 | 項目（群）番号 | 660 | 660 |
| 7 | 検索期間（いつから） | × | × |
| 8 | 検索期間（いつまで） | × | × |
| 9 | 年金証書番号 | × | × |
| 10 | 被災者生年月日 | × | × |
| 11 | 枝番号 | × | × |
| 12 | データ受付番号 | ● | ● |
| 13 | 訂正番号 | △ | △ |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | × | 項目別記入<br>要領参照 |

● ･･･ 必須入力項目、△ ･･･ 任意入力項目、× ･･･ 入力不可項目、空欄 ･･･ 未使用

訂正番号は、既に訂正を行った一時金給付について再度訂正するデータを入力する場合に記入すること。

(ﾛ) 項目別記入要領

| 項目 | 入力項目名 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 661<br>調査コード | 選　　択 | 調査コードを訂正する場合、既に決定した決議で調査書情報を登記せず新たに追加（登記）する場合又は既に登記した調査書情報を取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9<br>追加又は取消をする場合は、662～663 を選択すること。 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、「調査コード」［2 桁］を左詰めで記入する。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| 662<br>調査年月日 | 選　　択 | 調査年月日を訂正する場合、既に決定した決議で調査書情報を登記せず新たに追加（登記）する場合又は既に登記した調査書情報を取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、「調査年月日」［7 桁］を左詰めで記入する。<br>取消する場合は、記入しない。 |
| 663<br>復命書番号 | 選　　択 | 調査年月日を訂正する場合、既に決定した決議で調査書情報を登記せず新たに追加（登記）する場合又は既に登記した調査書情報を取消する場合は、下記のコードを記入する。<br>訂正 …… 1<br>追加 …… 5<br>取消 …… 9 |
| | 訂正変更年月（日） | 記入しない。 |
| | 訂正データ | 訂正又は追加する場合は、「復命書番号」［４桁］を左詰めで記入する。<br>取消する場合は、記入しない。 |

(ハ) 処理別選択コード記入要領

処理名欄の追加、取消を行う場合は、下表に掲げる項目（必須入力項目）も追加すること。

| 処　理　名 | 項　目 | 項目番号 | 必須・任意 | 選　択 |
|---|---|---|---|---|
| 調査書情報の追加 | 調査コード | 661 | ● | 5（追加） |
| | 調査年月日 | 662 | ● | 5（追加） |
| | 復命書番号 | 663 | ● | 5（追加） |
| 調査書情報の取消 | 調査コード | 661 | ● | 9（取消） |
| | 調査年月日 | 662 | ● | 9（取消） |
| | 復命書番号 | 663 | ● | 9（取消） |

●…必須入力項目

(ニ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力<br>帳票番号 | 履歴検索 | 登記 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|
| | | － | 1 | |
| 訂正票 | 563 | ● | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

●…出力、×…非出力

(ホ) 留意点

a　調査書情報を未入力の状態で決議書を入力した後に調査書情報を登記する場合は、選択コードを「５：追加」で入力すること。

b　調査書情報を追加又は取消する場合は、すべての項目を選択すること。

17　処理情報（900）

基本権取消の決議を行う場合の処理である。

(ｲ) 記入項目

| 番号 | 項　　目　　名 | 再出力 |
|---|---|---|
| 1 | 実行コード | 5 |
| 2 | 債権コード | |
| 3 | 出力枚数 | |
| 4 | 枚目 | |
| 5 | 枚中 | |
| 6 | 項目（群）番号 | 900 |
| 7 | 検索期間（いつから） | |
| 8 | 検索期間（いつまで） | |
| 9 | 年金証書番号 | Ⓐ |
| 10 | 被災者生年月日 | Ⓐ |
| 11 | 枝番号 | × |
| 12 | データ受付番号 | Ⓑ |
| 13 | 訂正番号 | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | |

× ･･･ 入力不可項目、空欄 ･･･ 未使用
ⒶⒷ …Ⓐ又はⒷのいずれか必須入力項目
履歴検索、登記及び取消は、本省（業務課）のみ行うことができる。

(ﾛ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票名 | 出力帳票番号 | 再出力 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| | | 5 | |
| 訂正票 | 563 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 訂正決議書 | － | ● | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | － | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金内訳リスト | － | Ⓐ※1 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 一時金内訳リスト | － | Ⓑ※1 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 年金内訳リスト（特別遺族） | － | AⒶ※2 | ＯＣＲプリンタ専用プリンタ |
| 一時金内訳リスト（特別遺族） | － | BⒷ※2 | ＯＣＲプリンタ専用プリンタ |

● ･･･ 出力、英字 ･･･ ⒶのみあるいはⒷのみあるいはⒶおよびⒷを出力、
△ ･･･ 条件出力、× ･･･ 非出力
※1…特別遺族以外の場合に出力する
※2…特別遺族の場合に出力する

(ﾆ) 訂正決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票名等 | 年金のみ | 一時金のみ回収 | 年金・一時金回収 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|
| 変更決定通知書（教示文なし） | △※1 | × | △※1 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 支給決定通知書 | × | △※1 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（教示文なし、特別遺族） | △※2 | × | △※2 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 支給決定通知書（特別遺族） | × | △※2 | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債権確認書 | × | △ | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |

△ ･･･ 条件出力、× ･･･ 非出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

(ホ) 留意点

a　基本権取消は文書報告書様式(1)第３号に基づき本省（業務課）で登記を行うため、本省（業務課）から連絡を受けた後、訂正票の決議書再出力（実行コード：５）により、決議書を出力し、決議入力すること。

b　基本権取消する給付以外にも同一被災者に対して給付を行っている場合は、基本権取消する給付以降に支給決定されたすべての給付の基本権について取り消される。

c　年金を基本権取消する場合は、システムで管理している定額の特別支給金、前払一時金、失権差額一時金及び未支給金も合わせて基本権取消にする。

d　年金給付の定額の特別支給金はそれだけで１給付として扱うため、年金と定額の特別支給金のある年金給付は２給付として扱う。

e　基本権取消後、新たに年金給付の支給決定を行った際に既に支払済である定額の特別給付金が算出された場合は、定額の特別支給金の二重払いを避けること。

この場合以下のとおり対応すること。

①基本権取消の決議書を機械入力する。

この際、発生した債権については、以下のとおり対応する。

a)歳入外債権の場合

債権確認書を登記した直後に、本省業務課に連絡し、回収額登記票の入力を依頼する。

b)歳入金債権の場合

債権確認書を登記した後、本省業務課に連絡し、当該データを ADAMS に引き渡さないよう、依頼する。

②本省業務課に連絡し、行政裁量処理により年金として計上された回収額を全額削除する。

③新規支給決定処理を行う。

なお、この際、支払方法として「当地」または「送金」を選択する。

④支給決定処理完了後、本省業務課に連絡し、行政裁量にて取り消した年金の回収額と同額にて支払い額を削除する。

f　一時金のみの基本権取消を行った際に出力される支給決定通知書は破棄すること。

18　実額情報（910）

一時金給付の実額訂正の決議を行う場合の処理である。

（ｲ）記入項目

| 番号 | 項目名 | 再出力 |
|---|---|---|
| 1 | 実行コード | 5 |
| 2 | 債権コード | × |
| 3 | 出力枚数 | |
| 4 | 枚目 | |
| 5 | 枚中 | |
| 6 | 項目（群）番号 | 910 |
| 7 | 検索期間（いつから） | |
| 8 | 検索期間（いつまで） | |
| 9 | 年金証書番号 | × |
| 10 | 被災者生年月日 | × |
| 11 | 枝番号 | × |
| 12 | データ受付番号 | ● |
| 13 | 訂正番号 | × |
| 14<br>～<br>53 | その他の項目 | |

● ･･･ 必須入力項目、× ･･･ 入力不可項目、空欄 ･･･ 未使用

履歴検索、登記、修正及び取消は、本省（業務課）のみ行うことができる。

(ﾛ) 訂正票入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 出力<br>帳票番号 | 登録<br>1 | 修正<br>3 | 再出力<br>5 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|
| 訂正票 | 563 | × | × | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 訂正決議書 | － | ● | ● | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 一時金内訳リスト | － | ●※1 | ●※1 | ●※1 | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 一時金内訳リスト<br>（特別遺族） | － | ●※2 | ●※2 | ●※2 | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● ･･･ 出力、× ･･･ 非出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

(ﾊ) 訂正決議書入力時の出力帳票

| 出力帳票等名 | 訂正決定 | 出力端末装置 |
|---|---|---|
| 支給決定通知書 | ●※1 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 支給決定通知書（特別遺族） | ●※2 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債権確認書 | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |

● ･･･ 出力、△ ･･･ 条件出力

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

(ホ) 留意点

a　実額入力事案は、文書報告様式(1)第２号に基づき本省で登記を行うため、本省（業務課）から連絡を受けた後、訂正票で決議書再出力（実行コード：５）により決議書を出力し、決議入力すること。

b　実額入力事案について追給・回収額を発生させるような訂正を行う場合は再度実額事案となる。

c　一時金給付が「委任」又は「委任の未支給」として請求された給付の場合は、支給決定通知書を委任者と受給権者向けにそれぞれ出力を行う。

d　訂正した結果、「実額（保険)」、「実額（特一時金)」、「実額（定額)」すべての一時金支払額が0円となるような訂正はできない。このような事案の場合は基本権取消事案となるため、文書報告書様式(1)第3号により本省（業務課）あて報告すること。

# (決　議　処　理)

(2) 訂正決議書

様式

労働者災害補償保険
年金・一時金システム

# 年金・一時金訂正決定決議書

572

| 帳票種別 | 管轄局署 | ①データ受付番号 | ②訂正番号 | ③決議書出力回数 | 業通別 |
|---|---|---|---|---|---|
| 39572 | | | | | |

**記事欄**

被災者氏名　　被災者生年月日

労働保険番号　　傷病年月日

入力年金番号・データ受付番号

決議書出力年月日

| 署長 | 次長 | 課長 | 係長 | 係 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

**関連する給付**

| 年金証書番号・データ受付番号 | 給付の種類 | 年金証書番号・データ受付番号 | 給付の種類 |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

各給付の内容は別添内訳のとおり。　（関連する給付の件数＝　　件）

**訂正内容**

| 項目番号 | 項目名 | 訂正年月日 | 訂正前データ | 訂正後データ |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

**入力欄**

④決定年月日　　⑤調査コード　　⑥調査年月日　　⑦復命書番号

**メッセージ欄**

**変更決定の理由**

（物品番号　7322）16.9

(ｲ) 訂正決定決議書の記入項目

| 番号 | 項　　目　　名 | 登記 |
|---|---|---|
| 1 | **データ受付番号** | ● |
| 2 | **訂正番号** | ▲ |
| 3 | **決議書出力回数** | ● |
| 4 | 決定年月日 | ● |
| 5 | 調査コード | Ⓐ |
| 6 | 調査年月日 | Ⓐ |
| 7 | 復命書番号 | Ⓐ |

●…必須入力項目
▲…一時金で訂正する場合
　　のみ必須入力項目
Ⓐ…セット任意入力項目（３項目すべてを入力する）

(注)　太字となっている項目は、決議書出力時に印字する。

(ﾛ) 訂正決議書の項目別記入要領

| 番号 | 項　　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | **データ受付番号** | 登記処理時に印字する。 |
| 2 | **訂正番号** | データ受付番号を入力キーとした場合に登記処理時に印字する。 |
| 3 | **決議書出力回数** | 登記処理により印字する。 |
| 4 | 決定年月日 | 訂正決定年月日を記入する。 |
| 5 | 調査コード | 訂正するに当たり調査を行った場合は、次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>適用関係 …… 11<br>業務上外・通勤途上外 …… 12<br>療養内容 …… 13<br>支給事由発生年月日 …… 14<br>休業期間 …… 15<br>休業中の賃金 …… 16<br>平均賃金・特別給与 …… 17<br>傷病・障害状態（治ゆ・再発） …… 18<br>受給権者 …… 19<br>支給制限 …… 20<br>厚年等受給関係 …… 21<br>損害賠償関係 …… 22<br>第三者行為災害関係 …… 23<br>その他（上記以外） …… 24～29<br>支給停止 …… 31<br>支払差止 …… 32<br>受給資格者 …… 33<br>時効 …… 34<br>（注）24～29 については、各局が任意に設定し使用する。 |
| 6 | 調査年月日 | 調査実施年月日を記入する。 |
| 7 | 復命書番号 | 調査により作成した復命書の番号を記入する。 |

調査コードを記入する場合は、調査年月日・復命書番号も記入すること。

(ハ) 出力内容

| 番号 | 項　　目 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|---|
| 1 | 管轄局署 | 管轄局署を印字する。 |
| 2 | データ受付番号 | 訂正処理で振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 3 | 訂正番号 | 訂正処理において、データ受付番号を入力キーとした場合に一時金給付の訂正処理の場合印字する。 |
| 4 | 決議書出力回数 | 訂正決議書を印字した回数を印字する。修正、決議書再出力等により加算する。 |
| 5 | 業通別 | 「業務災害」又は「通勤災害」を印字する。 |
| 6 | 被災者氏名 | 被災者氏名（カナ）を印字する。<br>特別遺族の場合は、死亡労働者等の氏名（カナ）を印字する。 |
| 7 | 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。<br>特別遺族の場合は、死亡労働者等の生年月日を印字する。 |
| 8 | 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 9 | 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。<br>特別遺族の場合は、死亡年月日を印字する。 |
| 10 | 入力年金番号・<br>データ受付番号 | 年金給付キーで入力した場合は年金証書番号を、また、データ受付番号で入力した場合はデータ受付番号を印字する。 |
| 11 | 決議書出力年月日 | 決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 12 | 年金証書番号・データ受付番号 | 関連のあった給付のキーを印字する。<br>年金給付の場合はデータ受付番号を、また、一時金給付の場合はデータ受付番号＋訂正番号を印字する。 |
| 13 | 給付の種類 | 給付の種類を印字する。 |
| 14 | 関連する給付の件数 | 関連のあった給付の件数を印字する。<br>なお、年金の定額の特支金も１給付として加算する。 |
| 15 | 項目番号 | 訂正する項目の項目番号を印字する。 |
| 16 | 項目名 | 訂正する項目名を印字する。 |
| 17 | 訂正年月日 | 年金給付において訂正票で選択した項目の変更年月（日）若しくは変更履歴を追加した場合の訂正変更年月日を印字する。 |
| 18 | 訂正前データ | 訂正前の内容を印字する。<br>なお、選択コードが“追加：５”の場合は印字しない。 |
| 19 | 訂正後データ | 訂正後の内容を印字する。<br>なお、選択コードが“取消：９”の場合は印字しない。 |
| 20 | メッセージ欄 | 注意を促す内容がある場合はメッセージを印字する。 |

(ﾆ) 訂正決定決議書を入力して出力される帳票

| 出力帳票等名 | 出力端末装置 |
|---|---|
| 支給決定通知書 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 支給決定通知書（特別遺族） | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（教示文なし） | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 変更決定通知書（教示文なし、特別遺族） | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 援護費支給・不支給決定通知書 | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債権確認書 | ＯＣＲ専用プリンタ |

債権確認書は一時金に回収が発生し、回収額を内払調整できない場合に出力される。

(ホ) 訂正決定決議書を入力して出力される画面

訂正決定決議書票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアに修正再送信用の情報を出力する。

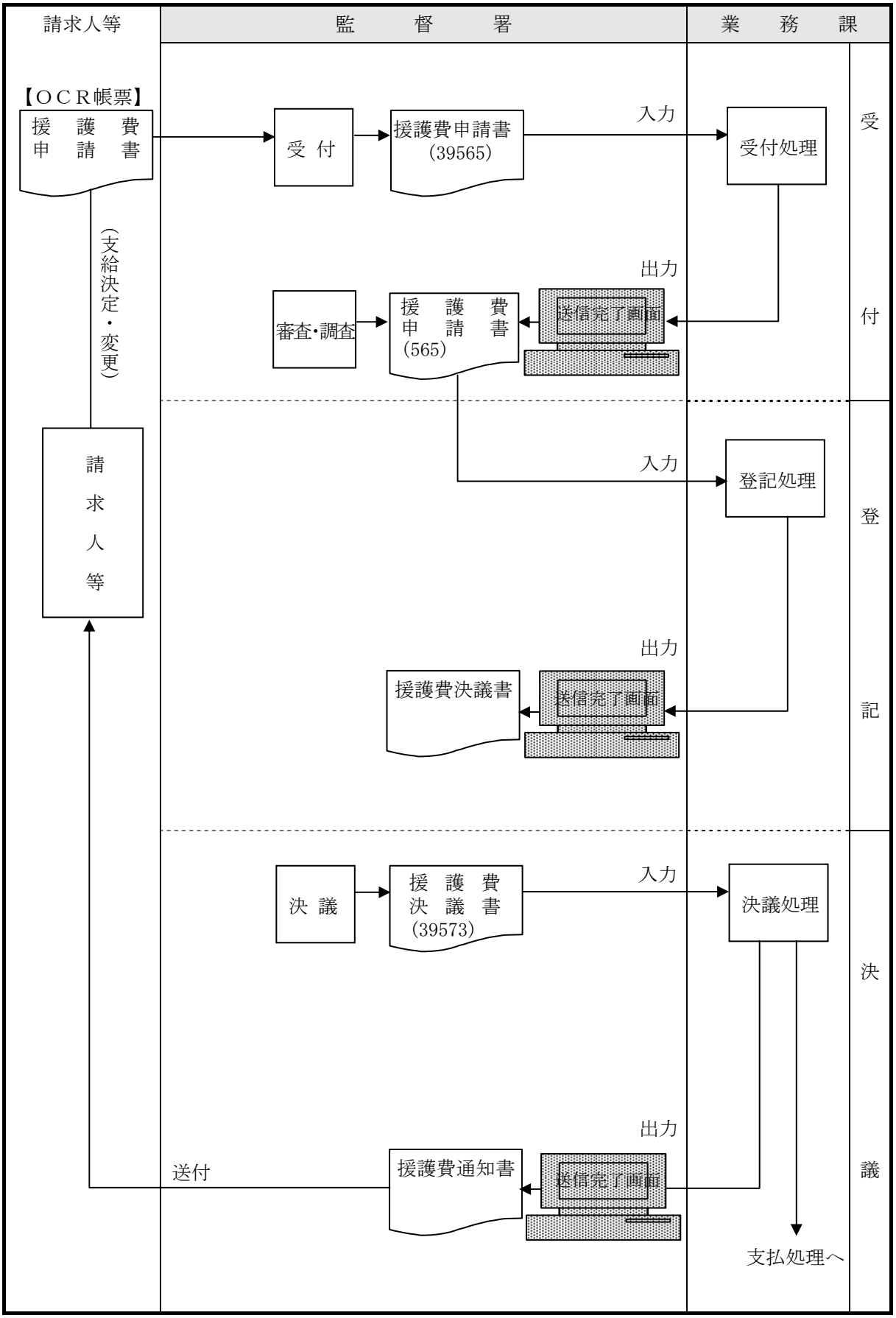
出力項目の説明

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア（修正再送信時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | － | 訂正決議の処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | キー項目 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | データ受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| | 訂正番号 | 帳票に記載された訂正番号を出力する。 | － |
| | 決議書出力回数 | 帳票に記載された決議書出力回数を出力する。 | － |
| | 決定年月日 | 帳票に記載された決定年月日を出力する。 | － |
| | 調査コード | 帳票に記載された調査コードを出力する。 | － |
| | 調査年月日 | 帳票に記載された調査年月日を出力する。 | － |
| | 復命書番号 | 帳票に記載された復命書番号を出力する。 | － |
| 操作者情報 | ユーザ ID | 当該処理を実施したユーザの ID を出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末の IP アドレスを出力する。 | － |

# 5

# 就学等援護費処理

就学等援護費処理の流れ



【処　理　の　説　明　】

就学等援護費処理とは、就学等援護費の支給・変更決定を行う機械処理をいう。

援護費申請書はＯＣＲ帳票となっており、援護費の支給を新たに申請をする場合及び支給の中断、復帰、転帰事由が生じた場合に提出される。

（受付処理）

- 援護費申請書が提出された場合は、受付年月日を記入してＯＣＲ入力する。
- 受付処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され、援護費申請書にデータ受付番号を印字する。

（登記処理）

- 申請書に実行コード・在学者・要保育児の枝番号を記入してＯＣＲ入力する。
- 登記処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され、援護費決議書が出力される。
- 受付処理と登記処理を同時に行うことも可能である。

（決議処理）

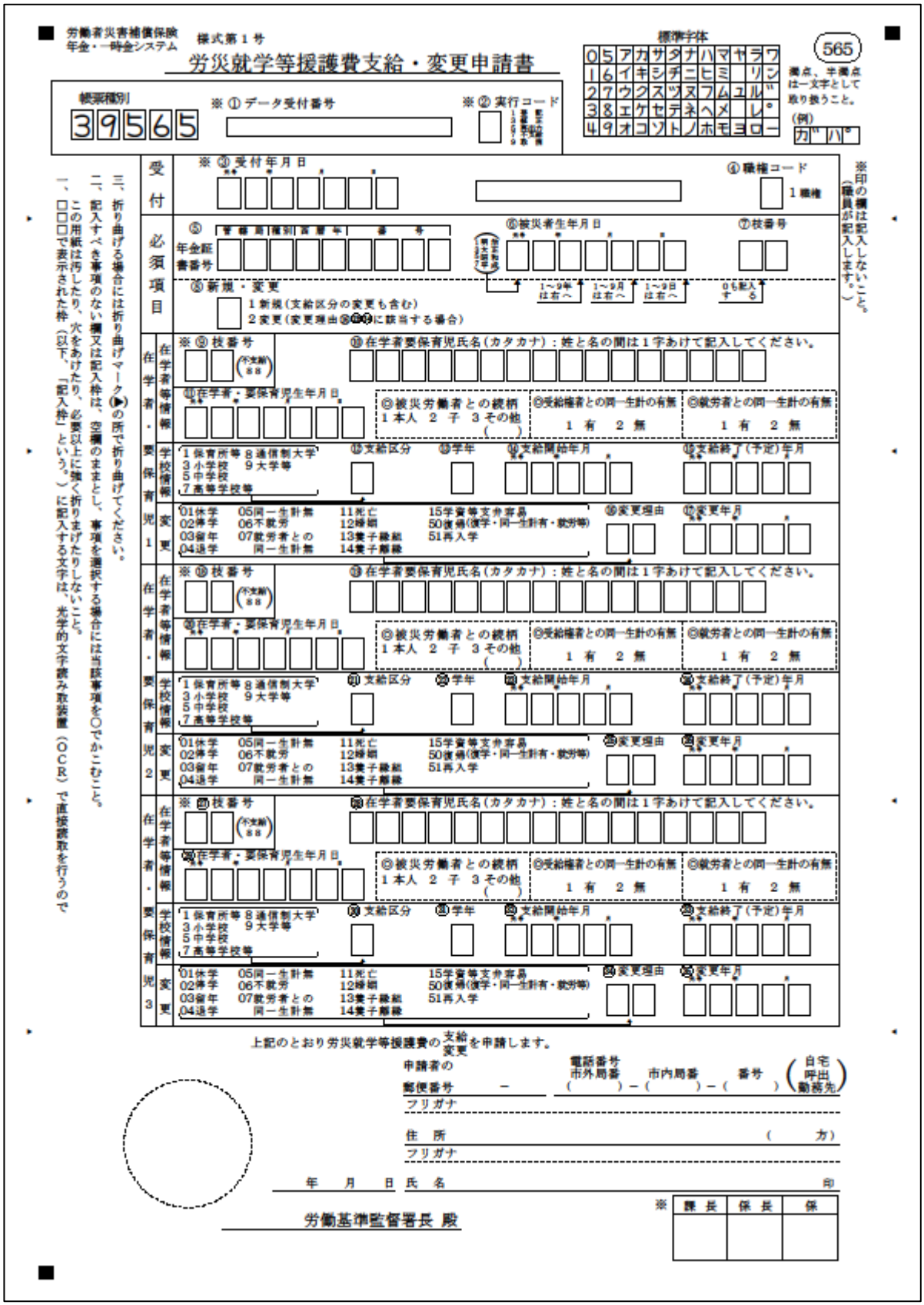
- 援護費決議書により支給（変更）決定を行い、決定年月日と処理区分を記入しＯＣＲ入力する。
- 決議処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され、援護費支給（変更）決定通知書が出力される。

なお、援護費の支払差止及び支払差止解除については、年金・一時金と同様に変更票を使用し、また、援護費の訂正については同様に、訂正票を使用して処理する。

# (受付処理・登記処理)

(1) 就学等援護費申請書

イ　様式



労働者災害補償保険
年金・一時金システム

様式第１号

# 労災就学等援護費支給・変更申請書

標準字体

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 5 | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | ワ |
| 1 | 6 | イ | キ | シ | チ | ニ | ヒ | ミ | | リ | ン |
| 2 | 7 | ウ | ク | ス | ツ | ヌ | フ | ム | ユ | ル | " |
| 3 | 8 | エ | ケ | セ | テ | ネ | ヘ | メ | | レ | ° |
| 4 | 9 | オ | コ | ソ | ト | ノ | ホ | モ | ヨ | ロ | ー |

565

濁点、半濁点は一文字として取り扱うこと。
(例) カ" ハ°

帳票種別 39565

※①データ受付番号

※②実行コード

受付
※③受付年月日
④職権コード　1 職権

必須項目
⑤年金証書番号（管轄局 種別 西暦年 番号）
⑥被災者生年月日
⑦枝番号
⑧新規・変更　1 新規（支給区分の変更も含む）　2 変更（変更理由⑳㉑㉒に該当する場合）

※印の欄は記入しないこと。（職員が記入します。）

在学者・要保育児1
在学者等情報
※⑨枝番号（不支給 88）
⑩在学者要保育児氏名（カタカナ）：姓と名の間は１字あけて記入してください。
⑪在学者・要保育児生年月日
⑫被災労働者との続柄　1 本人　2 子　3 その他（　）
⑬受給権者との同一生計の有無　1 有　2 無
⑭就労者との同一生計の有無　1 有　2 無
学校情報
1 保育所等　8 通信制大学
3 小学校　9 大学等
5 中学校
7 高等学校等
⑮支給区分
⑯学年
⑰支給開始年月
⑱支給終了（予定）年月
変更
01 休学　02 停学　03 留年　04 退学
05 同一生計無　06 不就労　07 就労者との同一生計無
11 死亡　12 婚姻　13 養子縁組　14 養子離縁
15 学資等支弁容易　50 復帰（復学・同一生計有・就労等）　51 再入学
⑲変更理由
⑳変更年月

在学者・要保育児2
在学者等情報
※㉑枝番号（不支給 88）
㉒在学者要保育児氏名（カタカナ）：姓と名の間は１字あけて記入してください。
㉓在学者・要保育児生年月日
㉔被災労働者との続柄　1 本人　2 子　3 その他（　）
㉕受給権者との同一生計の有無　1 有　2 無
㉖就労者との同一生計の有無　1 有　2 無
学校情報
1 保育所等　8 通信制大学
3 小学校　9 大学等
5 中学校
7 高等学校等
㉗支給区分
㉘学年
㉙支給開始年月
㉚支給終了（予定）年月
変更
01 休学　02 停学　03 留年　04 退学
05 同一生計無　06 不就労　07 就労者との同一生計無
11 死亡　12 婚姻　13 養子縁組　14 養子離縁
15 学資等支弁容易　50 復帰（復学・同一生計有・就労等）　51 再入学
㉛変更理由
㉜変更年月

在学者・要保育児3
在学者等情報
※㉝枝番号（不支給 88）
㉞在学者要保育児氏名（カタカナ）：姓と名の間は１字あけて記入してください。
㉟在学者・要保育児生年月日
㊱被災労働者との続柄　1 本人　2 子　3 その他（　）
㊲受給権者との同一生計の有無　1 有　2 無
㊳就労者との同一生計の有無　1 有　2 無
学校情報
1 保育所等　8 通信制大学
3 小学校　9 大学等
5 中学校
7 高等学校等
㊴支給区分
㊵学年
㊶支給開始年月
㊷支給終了（予定）年月
変更
01 休学　02 停学　03 留年　04 退学
05 同一生計無　06 不就労　07 就労者との同一生計無
11 死亡　12 婚姻　13 養子縁組　14 養子離縁
15 学資等支弁容易　50 復帰（復学・同一生計有・就労等）　51 再入学
㊸変更理由
㊹変更年月

一、□□□で表示された枠（以下、「記入枠」という。）に記入する文字は、光学的文字読み取装置（ＯＣＲ）で直接読取を行うので、この用紙は汚したり、穴をあけたり、必要以上に強く折りまげたりしないこと。
二、記入すべき事項のない欄又は記入枠は、空欄のままとし、事項を選択する場合には当該事項を○でかこむこと。
三、折り曲げる場合には折り曲げマーク（▶）の所で折り曲げてください。

上記のとおり労災就学等援護費の支給／変更を申請します。

申請者の
郵便番号　－
電話番号　市外局番　（　）－市内局番　（　）－番号　（　）（自宅／呼出／勤務先）
フリガナ
住所　（方）
フリガナ
年　月　日　氏名　印

労働基準監督署長 殿

※

| 課長 | 係長 | 係 |
|---|---|---|
| | | |

ロ　入力条件表

(ｲ) 新規

| 番号 | 項　　目 | 受付 | 登　記 | | 修正 | 決議書再出力 | 不支給決議書要求 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| 1 | データ受付番号 | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 受付年月日　※1 | ● | ● | ● | ● | | ● | |
| 4 | 職権コード | △ | △ | | | | | |
| 5 | 年金証書番号 | ● | ● | | | | | |
| 6 | 被災者生年月日 | ● | ● | | | | | |
| 7 | 権者枝番号　※2 | ● | ● | | | | ● | |
| 8 | 新規・変更 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 9 | 枝番号1 | | A | A | A | | A | |
| 10 | 在学者・要保育児<br>氏名1 | | △ | △ | △ | | △ | |
| 11 | 在学者・要保育児<br>生年月日1 | | △ | △ | △ | | △ | |
| 12 | 支給区分1 | | A | A | A | | A | |
| 13 | 学年区分1 | | A | A | A | | A | |
| 14 | 支給開始年月1 | | A | A | A | | A | |
| 15 | 支給終了（予定）年月1 | | A | A | A | | A | |
| 16 | 変更理由1 | | × | × | × | | × | |
| 17 | 変更年月1 | | × | × | × | | × | |
| 18 | 枝番号2 | | B | B | B | | B | |
| 19 | 在学者・要保育児<br>氏名2 | | △ | △ | △ | | △ | |
| 20 | 在学者・要保育児<br>生年月日2 | | △ | △ | △ | | △ | |
| 21 | 支給区分2 | | B | B | B | | B | |
| 22 | 学年区分2 | | B | B | B | | B | |
| 23 | 支給開始年月2 | | B | B | B | | B | |
| 24 | 支給終了（予定）年月2 | | B | B | B | | B | |
| 25 | 変更理由2 | | × | × | × | | × | |
| 26 | 変更年月2 | | × | × | × | | × | |
| 27 | 枝番号3 | | C | C | C | | C | |
| 28 | 在学者・要保育児<br>氏名3 | | △ | △ | △ | | △ | |
| 29 | 在学者・要保育児<br>生年月日3 | | △ | △ | △ | | △ | |

| 番号 | 項　　目 | 受付 | 登　記 | | 修正 | 決議書再出力 | 不支給決議書要求 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| 30 | 支給区分 3 | | C | C | C | | C | |
| 31 | 学年区分 3 | | C | C | C | | C | |
| 32 | 支給開始年月 3 | | C | C | C | | C | |
| 33 | 支給終了（予定）年月 3 | | C | C | C | | C | |
| 34 | 変更理由 3 | | × | × | × | | × | |
| 35 | 変更年月 3 | | × | × | × | | × | |

●…必須入力項目、△…任意入力項目、×…入力不可項目、空欄…未使用、

数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

英字が記入されている項目は、任意セット入力

※1…職権時は入力不可、※2…遺族（補償）年金の場合に必須入力

(ﾛ) 変更

| 番号 | 項　　目 | 受付 | 登　記 | | 修正 | 決議書再出力 | 不支給決議書要求 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| 1 | **データ受付番号** | × | × | ● | ● | ● | ● | ● |
| 2 | 実行コード | × | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 3 | 受付年月日　※1 | ● | ● | ● | ● | | ● | |
| 4 | 職権コード | △ | △ | | | | | |
| 5 | 年金証書番号 | ● | ● | | | | | |
| 6 | 被災者生年月日 | ● | ● | | | | | |
| 7 | 権者枝番号　※2 | ● | ● | | | | ● | |
| 8 | 新規・変更 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 9 | 枝番号 1 | | A | A | A | | A | |
| 10 | 在学者・要保育児<br>氏名 1 | | | | | | | |
| 11 | 在学者・要保育児<br>生年月日 1 | | | | | | | |
| 12 | 支給区分 1 | | | | | | | |
| 13 | 学年区分 1 | | | | | | | |
| 14 | 支給開始年月 1 | | | | | | | |
| 15 | 支給終了（予定）年月 1 | | △ | △ | △ | | △ | |
| 16 | 変更理由 1 | | A | A | A | | A | |
| 17 | 変更年月 1 | | A | A | A | | A | |
| 18 | 枝番号 2 | | B | B | B | | B | |
| 19 | 在学者・要保育児<br>氏名 2 | | | | | | | |
| 20 | 在学者・要保育児<br>生年月日 2 | | | | | | | |
| 21 | 支給区分 2 | | | | | | | |
| 22 | 学年区分 2 | | | | | | | |
| 23 | 支給開始年月 2 | | | | | | | |
| 24 | 支給終了（予定）年月 2 | | △ | △ | △ | | △ | |
| 25 | 変更理由 2 | | B | B | B | | B | |
| 26 | 変更年月 2 | | B | B | B | | B | |
| 27 | 枝番号 3 | | C | C | C | | C | |
| 28 | 在学者・要保育児<br>氏名 3 | | | | | | | |
| 29 | 在学者・要保育児<br>生年月日 3 | | | | | | | |

| 番号 | 項　　目 | 受付 | 登　記 | | 修正 | 決議書再出力 | 不支給決議書要求 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | |
| 30 | 支給区分 3 | | | | | | | |
| 31 | 学年区分 3 | | | | | | | |
| 32 | 支給開始年月 3 | | | | | | | |
| 33 | 支給終了（予定）年月 3 | | △ | △ | △ | | △ | |
| 34 | 変更理由 3 | | C | C | C | | C | |
| 35 | 変更年月 3 | | C | C | C | | C | |

太字の項目は、「受付」又は「受付未済登記」時に機械印字する。

●…必須入力項目、△…任意入力項目、×…入力不可項目、空欄…未使用、

数字が記入されている項目は、その数字が必須入力

英字が記入されている項目は、任意セット入力

※1…職権時は入力不可、※2…遺族（補償）年金の場合に必須入力

ハ　審査（記入）要領

<table>
<tr><th>番号</th><th>入力項目</th><th>審　査　（記　入）　要　領</th></tr>
<tr><td>1</td><td>データ受付番号</td><td>申請書を受付処理した場合にデータ受付番号を印字する。（機械印字項目）</td></tr>
<tr><td>※2</td><td>実行コード</td><td>次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>受付 …… 記入しない<br>登記 …… 1<br>修正 …… 3<br>決議書再出力 …… 5<br>不支給・不変更決議書出力 …… 7<br>取消 …… 9</td></tr>
<tr><td>※3</td><td>受付年月日</td><td>申請書を受け付けた年月日を記入する。<br>職権の場合は記入しない。</td></tr>
<tr><td>※4</td><td>職権コード</td><td>職権による支給（そ及新規）・変更を行う場合のみ“1”を記入する。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>年金証書番号</td><td>援護費を申請した支払権者の年金証書番号が記入されているか。</td></tr>
<tr><td>6</td><td>被災者生年月日</td><td>援護費を申請した支払権者の被災者の生年月日が記入されているか。</td></tr>
<tr><td>7</td><td>枝番号</td><td>遺族（補償）年金の場合に支払権者の年金証書番号の枝番号が記入されているか。傷病（補償）年金、障害（補償）年金の場合には記入しない。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>新規・変更</td><td>支給申請・変更申請の別が記入されているか。<br>新規（上級学校への進学を含む） …… 1<br>変更（中断・復帰・転帰） …… 2</td></tr>
<tr><td>※9<br>18<br>27</td><td>枝番号</td><td>申請した在学者・要保育児の枝番号を次のとおり記入する。
<table>
<tr><th>在学者等の区分</th><th>年金種別</th><th>枝番号の割りふり</th></tr>
<tr><td>受給者本人</td><td>障害（補償）年金</td><td>「00」</td></tr>
<tr><td>年金資格者</td><td>遺族（補償）年金</td><td>その資格者枝番号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">被災労働者の子</td><td>遺族（補償）年金</td><td>「10」、「20」、…「90」<br>（「10」刻み）</td></tr>
<tr><td>傷病（補償）年金・障害（補償）年金</td><td>「10」、「20」、…「90」<br>（「10」刻み）<br>（ただし、旧システムからの移行データは除く。〔「11」「12」…の場合有り。〕）</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>番号</th><th>入力項目</th><th>審　査（記入）要　領</th></tr>
<tr><td>10<br>19<br>28</td><td>在学者・要保育児<br>氏名（カタカナ）</td><td>援護費の資格者である在学者・要保育児の氏名がカタカナで記入されているか。また、姓と名の間は、1文字分あけているか。<br>（注）年金の受給資格者と既に援護費を受給している在学者等が上級学校に進学した場合は、記入を省略できる。</td></tr>
<tr><td>11<br>20<br>29</td><td>在学者・要保育児<br>生年月日</td><td>援護費の資格者である在学者・要保育児の生年月日が記入されているか。<br>元号は次のコードを使用する。<br>昭和 …… 5<br>平成 …… 7<br>（注）年金の受給資格者と既に援護費を受給している在学者等が上級学校に進学した場合は、記入を省略できる。</td></tr>
<tr><td>12<br>21<br>30</td><td>支給区分</td><td rowspan="2">次の区分にしたがい、該当コードが記入されているか。ただし、就労保育援護費（支給区分＝1）の対象者については、学年区分は記入しないこと。</td></tr>
<tr><td>13<br>22<br>31</td><td>学年区分</td></tr>
</table>

| 学年等の区分 | | 支給期間 | 支給区分コード | 学年区分コード |
|---|---|---|---|---|
| 保育所、幼稚園等（就労保育） | | 6年以内<br>（6歳以上、18歳未満の未就学児童を除く） | 1 | －<br>(記入しない) |
| 小学校（盲学校・ろう学校・養護学校の小学部を含む） | | 6年 | 3 | 1～6 |
| 中学校（盲学校・ろう学校・養護学校の中学部、いわゆる夜間中学校を含む） | | 4年 | 5 | 1～4 |
| 高等学校<br>①全日制（盲学校・ろう学校・養護学校の高等部を含む）<br>②定時制<br>③専攻科、別科 | | 3年<br>4年<br>1～3年 | 7 | 1～4 |
| 高等専門学校 | 工　業 | 5年 | 7<br>ただし、第4、5学年は9 | 1～5 |
| | 商　船 | 5年6ヵ月 | | |
| | 専攻科 | 1～3年 | 9 | 1～3 |

| 番号 | 入力項目 | 審　査　（　記　入　）　要　領 |
|---|---|---|
| 12<br>21<br>30<br><br>13<br>22<br>31 | 支給区分<br><br><br><br>学年区分 | |

| 学年等の区分 | | 支給期間 | 支給区分コード | 学年区分コード |
|---|---|---|---|---|
| 専修学校（一般課程の進学塾・予備校を除く） | 高等課程<br>一般課程 | １～５年 | 7 | １～５ |
| | 専門課程 | １～５年 | 9 | １～５ |
| 通信制大学<br>①学部<br>②短期大学<br>③専攻科、別科<br>④大学院 | <br><br><br><br>修士課程<br>博士前期課程<br>博士後期課程 | <br>４年<br>２年又は３年<br>１年<br>２年<br>２年<br>３年 | 8 | １～６ |
| 大学<br><br><br>①学部<br><br><br><br><br><br>②夜間学部<br>③短期大学<br>④専攻科、別科<br>⑤大学院 | 医学部、<br>歯学部、<br>獣医学部、<br>薬学部以外<br><br>医学部、<br>歯学部、<br>獣医学部、<br>薬学部<br><br><br><br>修士課程<br>博士前期課程<br>博士後期課程 | ４年<br><br><br><br>６年<br><br><br>４年又は５年<br>２年又は３年<br>１年<br>２年<br>２年<br>３年 | 9 | １～６ |
| 公共職業能力開発施設<br>①普通職業訓練<br>②高度職業訓練 | 普通課程<br>中卒者対象 | １～４年 | 7 | １～４ |
| | 普通課程<br>高卒者対象※ | １～４年 | 9 | １～４ |
| | 専門訓練課程 | ２～３年 | 9 | １～３ |
| 職業能力開発大学校（指導員訓練） | 長期課程 | ４年 | 9 | １～４ |

※「職業訓練法施行規則の一部を改正する省令」（昭和 53 年労働省令第 37 号）附則第２条に規定する第１類の専修訓練課程の普通訓練を受ける者を含む

（注）「学年区分コード」は、支給開始年月日時の学年を記入する。

| 番号 | 入力項目 | 審　査　（　記　入　）　要　領 |
|---|---|---|
| 14<br>23<br>32 | 支給開始年月 | イ　援護費を支給すべき事由が生じた年月を記入する。<br>援護費を支給すべき事由が生じた年月が年金支給事由発生年月であるときは、その翌月を記入する。<br>ロ　他の年金に移行した場合は、移行後の年金の支給事由発生年月の翌月を記入する。<br>ハ　在学者・要保育児が引き続き上級学校へ進学した場合は、上級学校へ進学した年月を記入する。<br>a　就労保育援護費を受けていた者が小学校へ入学した場合は、小学校へ入学した年月を記入する。<br>b　専修学校の高等課程（又は一般課程）から専門課程へ進学した場合は、専門課程へ進学した年月を記入する。<br>c　高等専門学校の第3学年から第4学年に進級した場合は、第4学年に進級した年月を記入する。 |
| 15<br>24<br>33 | 支給終了（予定）年月 | イ　在学中の学校の卒業予定年月が記入されているか。<br>ただし、小学校在学中の者については小学校の卒業予定年月が記入されているか。なお、その者の中学校区分については、自動管理する。（ただし、中断・差止中等及びそ及事案は除くー詳細については留意点参照）<br>ロ　就労保育援護費の支給対象者については、小学校入学予定の年の3月が記入されているか。ただし、新規申請時に既に6歳以上、18歳未満の未就学の児童については、申請年度の3月が記入されているか。<br>ハ　専修学校在学中の者又は職業能力開発施設等在学中の者については、修業年限を確認のうえ修了予定年月が記入されているか。<br>ニ　本項目は復帰・再入学時においても入力可能である。 |
| 16<br>25<br>34 | 変更理由 | 中断・復帰・転帰等の事由について、次の区分により該当コードが記入されているか。<br>休学 …… 01　死亡 …… 11<br>停学 …… 02　婚姻 …… 12<br>留年 …… 03　養子縁組 …… 13<br>退学 …… 04　養子離縁 …… 14<br>権者との同一生計無　05　学資等支弁容易 …… 15<br>不就労 …… 06　復帰(復学・同一生計有・就労) 50<br>就労者との同一生計無　07　再入学 …… 51<br>(注)　年金の受給資格者である援護費受給資格者の場合は、05及び11～14の区分は「年金」で変更するため、「援護費」では入力不可である。 |

| 番号 | 入力項目 | 審　査　（　記　入　）　要　領 |
|---|---|---|
| 17<br>26<br>35 | 変更年月 | 中断・復帰・転帰等となった年月が記入されているか。<br>なお、就学等援護費の効力発生年月（支給再開あるいは中断・終了）については、変更年月欄に記入した年月の翌月からとなる。<br>①中断<br>変更年月欄に記入した年月の翌月から中断する。<br>②復帰<br>変更年月欄に記入した年月の翌月から復帰となる。<br>1日復帰した場合、復帰年月は当月となり、変更年月欄には復帰年月の前月を記入する。<br>1日以外の日に復帰した場合、復帰年月は翌月となり、変更年月欄には復帰年月を記入する。<br>③転帰<br>変更年月欄に記入した年月の翌月以降は支給終了となる。 |

（注）　※印を付した項目は職員が記入すること。

ニ　出力帳票条件表

(ｲ) 新規

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | | |
| | | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 援護費申請書 | 565 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 援護費決議書 | － | × | ● | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力、△ … 条件出力、× … 出力なし

（注）メッセージリストは、決議書にメッセージが印字しきれない場合に出力する。

(ﾛ) 変更

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 登記 | | 修正 | 再出力 | 不支給 | 取消 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 受付未済 | 受付済 | | | | | |
| | | － | 1 | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 | |
| 援護費申請書 | 565 | ● | ● | × | × | × | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 援護費決議書 | － | × | ● | ● | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | － | × | △ | △ | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |

●…出力、△…条件出力、×…出力なし

（注）①　メッセージリストは、決議書にメッセージが印字しきれない場合に出力する。

②　債務者登録票は、変更処理によって債権が発生した場合に出力する。

ホ　出力画面

援護費申請書の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（修正再送信時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | － | 実行コードに応じた処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | キー項目 | 帳票に記載された年金証書番号又はデータ受付番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | データ受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| | 実行コード | 帳票に記載された実行コードを出力する。 | － |
| | 受付年月日 | 帳票に記載された受付年月日を出力する。 | － |
| | 職権コード | 帳票に記載された職権コードを出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |
| | 被災者生年月日 | 帳票に記載された被災者生年月日を出力する。 | － |
| | 権者枝番号 | 帳票に記載された権者枝番号を出力する。 | － |
| | 新規・変更 | 帳票に記載された新規・変更を出力する。 | － |
| | 枝番号1～3 | 帳票に記載された枝番号1～3を出力する。 | － |
| | 在学者・要保育児氏名1～3 | 帳票に記載された在学者・要保育児氏名1～3を出力する。 | － |
| | 在学者・要保育児生年月日1～3 | 帳票に記載された在学者・要保育児生年月日1～3を出力する。 | － |
| | 支給区分1～3 | 帳票に記載された支給区分1～3を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | 学年区分1～3 | 帳票に記載された学年区分1～3を出力する。 | － |
| | 支給開始年月1～3 | 帳票に記載された支給開始年月1～3を出力する。 | － |
| | 支給終了(予定)年月1～3 | 帳票に記載された支給終了(予定)年月1～3を出力する。 | － |
| | 変更理由1～3 | 帳票に記載された変更理由1～3を出力する。 | － |
| | 変更年月1～3 | 帳票に記載された変更年月1～3を出力する。 | － |
| 操作者情報 | ユーザID | 当該処理を実施したユーザのIDを出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末のIPアドレスを出力する。 | － |

ヘ　留意点

(ｲ) 在学者等欄の記入順位

「在学者等１」、「在学者等２」、「在学者等３」に入力されたその在学者等の番号は、「就学等援護費決議書」及び「就学等援護費決定通知書」に対応している。

例えば「在学者等２」に入力がなく「在学者等１」及び「在学者等３」のみ入力された場合、決議書及び通知書は「在学者等２」欄が空欄で出力されることになる。

(ﾛ) 在学者等枝番号「88」コードの使用

「在学者等」が２人以上の申請で、特定の「在学者等」のみを不支給としたい場合は、在学者等枝番号欄に「88」を入力することにより「就学等援護費決議書」を出力することができる。

(ﾊ) 小学校在学者の中学校への自動更新処理

「支給区分＝３」で入力した小学校在学者であって、「支給終了（予定）年月＝小学校６年生の３月」とした者については、義務教育期間中であることから中学校への進学を自動更新処理により自動管理している。

ただし、小学校６年生の３月現在、中断中、援護費の失権済（被災労働者の子以外の資格者の失格も含む)、援護費の差止中、年金の資格者で権者との同一生計なし、１年以上の所在不明による支払差止中（在学者が権者であった場合）の在学者については自動更新処理の対象とならない。

また、そ及新規事案で小学校を卒業した者について小学校区分から報告する場合は、自動更新の対象としないので、それぞれ別々の帳票で小学校区分及び中学校区分を入力すること。

(ﾆ) 債務者登録票の出力条件

援護費のそ及転帰により過誤払額が発生したが、他に援護費の支給対象者が存在しないため、内払処理が行えない場合で、変更理由が転帰の場合にのみ出力する。

(ﾎ) 中断中の変更履歴の入力

イ　以下の条件の場合には入力を不可とし、キャンセル（「当該中断事由への変更はできません」のメッセージが出力）される。

| 変更前中断事由 | 変更不可能な中断事由 |
|---|---|
| 休　　学 | 休　　学 |
| 停　　学 | 停　　学 |
| 留　　年 | 留　　年 |
| 退　　学 | 休　　学、停　　学、留　　年、退　　学 |
| 同一生計無 | 同一生計無、就労者との同一生計無 |
| 不　就　労 | 不　就　労 |
| 就労者との同一生計無 | 同一生計無、就労者との同一生計無 |

本処理後、年金資格者・援護費検索（手引Ⅵ-2-39 ページ参照）を行うと、最新の中断事由のみが表示される。中断事由の変更履歴については年金変更履歴検索（手引Ⅵ-2-48 ページ参照）によること。

(ﾍ) 年金との関係

a　年金を不支給決定した場合は受付入力不可となるため、援護費の請求に対する不支給決定は機械処理では行えない。不支給決定通知書については、手書きとなる。

b　年金の転帰後に援護費の支給決定に伴う入力を行う場合、援護費の受付年月日及び支給対象期間が年金の転帰前の日であってもキャンセルとなるので年金の転帰取消を行うこと。

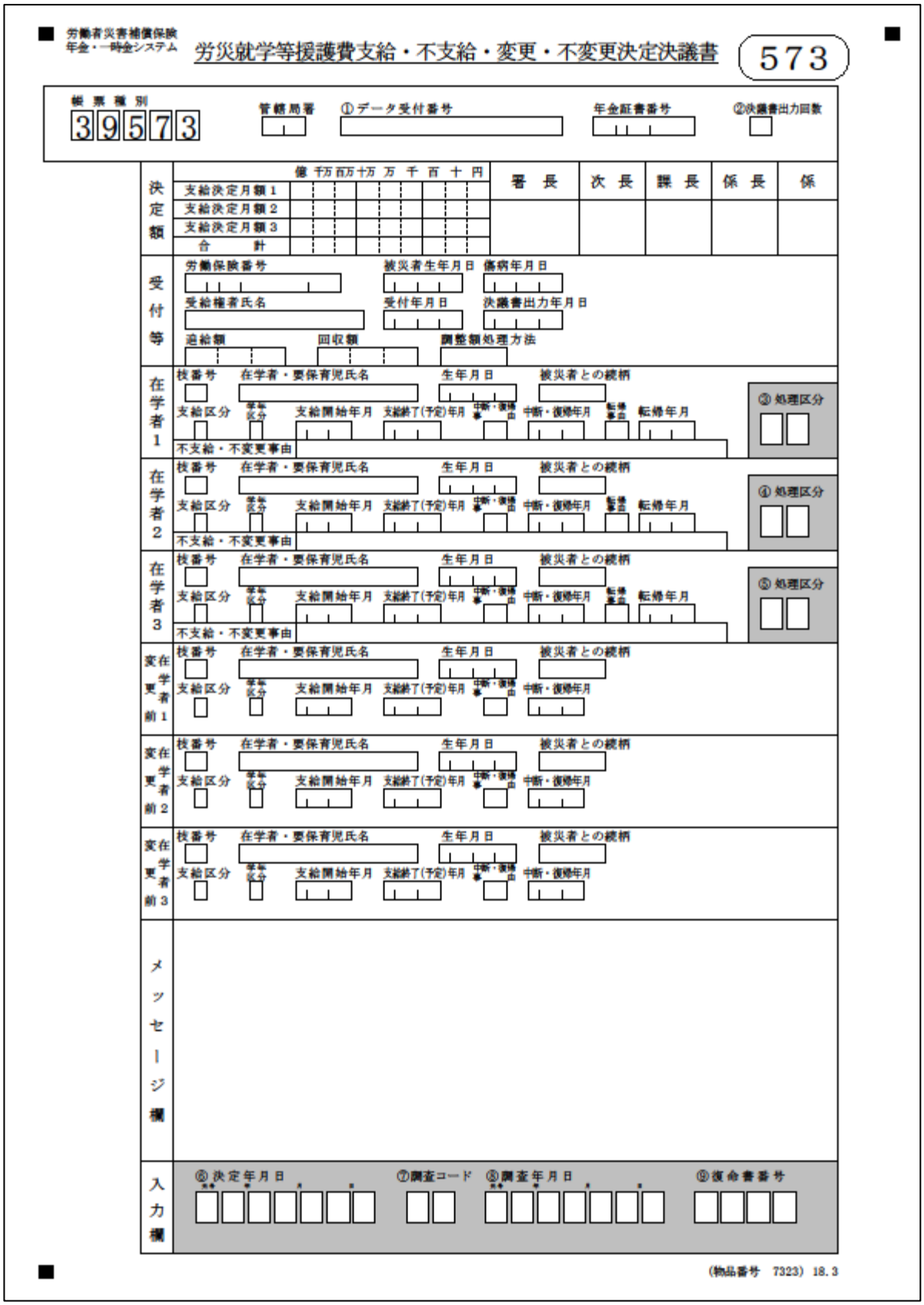
(ﾄ) 旧システムでの入力帳票

労災就学等援護費支給・変更申請書は、旧システムでの入力帳票（帳票種別＝39564）の入力も可能としている。旧システムでの入力帳票を使用した場合、項目の一部に枠線をはみ出して印刷される項目があるが、そのまま使用して問題ないこと。また、この場合の入力情報は、業務処理日報等や年金・一時金受付検索などで帳票種別＝39565 の入力情報として取り扱われることに注意すること。

# (決　議　処　理)

(2) 就学等援護費決議書

イ　様式



ロ　入力（必須）項目

| 番号 | 項　　目 | 決議 |
|---|---|---|
| 1 | **データ受付番号（印字）** | ● |
| 2 | **決議書出力回数（印字）** | ● |
| 3 | 処理区分（在学者等 1） | △※1 |
| 4 | 処理区分（在学者等 2） | △※1 |
| 5 | 処理区分（在学者等 3） | △※1 |
| 6 | 決定年月日 | ● |
| 7 | 調査コード | △※2 |
| 8 | 調査年月日 | △※2 |
| 9 | 復命書番号 | △※2 |

【凡例】

●…必須入力　△…任意入力

※1　いずれか一つは必須入力

※2　任意セット入力

太字の項目は「受付未済登記」「登記」「修正」「決議書再出力」または「不支給・不変更決議書要求」時に機械印字される。

ハ　記入項目と記入要領

| 番号 | 入力項目 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 1 | **データ受付番号** | この欄は出力時に「データ受付番号」を印字する。 |
| 2 | **決議書出力回数** | 同データ受付番号内で出力した決議書の出力回数を印字する。 |
| 3<br>4<br>5 | 処理区分<br>（在学者等１）<br>（在学者等２）<br>（在学者等３） | 支給・不支給、変更・不変更の区分を次のコードで記入する。<br>＜支給＞ …… 01<br>＜不支給＞<br>重複請求 …… 13<br>被災者の子又は受給権者（傷病（補償）年金は除く）でない …… 51<br>権者との同一生計なし …… 52<br>学費等支弁困難でない（年金給付基礎日額が16,000円を超える） …… 53<br>学校教育法第１条に定める学校等でない …… 54<br>学校等に在学していない …… 55<br>(障害(補償)年金の場合で)障害等級４級以下 …… 56<br>(傷病(補償)年金の)傷病等級号に該当しない …… 57<br>(就労保育援護費の場合で)就労していない …… 58<br>(就労保育援護費の場合で)就労者との同一生計なし …… 59<br>支給区分での支給期間が残っていない …… 60<br>その他　援護費不支給 …… 61～70<br>＜変更＞ …… 01<br>＜不変更＞<br>重複請求 …… 13<br>支給終了済 …… 71<br>その他　援護費不変更 …… 72～80<br>（注）　61～70、72～80については、各局が任意に設定したコードを使用すること。 |
| 6 | 決定年月日 | 支給・変更決定を行った年月日を記入する。 |

（注）　太字の項目は、「受付」又は「受付未済登記」時に機械印字される。

| 番号 | 入力項目 | 記　入　要　領 |
|---|---|---|
| 7 | 調査コード | 調査を行った場合に次の区分により該当するコードを記入する。<br>権者との同一生計関係 …… 51<br>続柄(被災者との続柄) …… 52<br>学費(保育費用)等支弁困難 …… 53<br>学校教育法第１条に定める学校等であるかどう<br>かの確認 …… 54<br>在学確認 …… 55<br>就労者との同一生計関係 …… 56<br>託児確認 …… 57<br>就労確認 …… 58<br>支給区分 …… 59<br>支給期間(支給開始年月、支給終了(予定)年月) … 60<br>中断(休学、留年、停学、退学、その他) …… 61<br>その他(上記以外) …… 62～70<br>(注)　62～70 については各局が任意に設定し、使用すること。 |
| 8 | 調査年月日 | 調査を行った場合に、調査実施年月日を記入する。 |
| 9 | 復命書番号 | 復命書を作成した場合に、復命書の整理番号を記入する。 |

ニ　出力項目説明

| 出力項目名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 管轄局署コードを印字する。 |
| データ受付番号 | 申請書で振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 年金証書番号 | 申請書で入力した年金証書番号を印字する。 |
| 決議書出力回数 | 決議書の出力回数を印字する。 |
| 決定額<br>＜支給決定月額1～3＞ | 在学者・要保育児1・2・3で入力した在学者の支給開始年月時点の支給決定月額をおのおの印字する。入力していない場合は“－”を印字する。<br>不支給要求で枝番号に「88」を入力した場合は“0”を印字する。また、不変更要求で枝番号に「88」を入力した場合は“－”を印字する。 |
| 決定額<br>＜合計＞ | 支給決定月額1～3に印字した支給決定月額の合計を印字する。 |
| 受付年月日 | 申請書で入力した受付年月日を印字する。 |
| 決議書出力年月日 | 決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 追給額 | そ及処理の場合で当期に発生したそ及追給額を印字する。 |
| 回収額 | そ及処理の場合で当期に発生したそ及回収額を印字する。 |
| 調整額処理方法 | 回収額が存在する場合に回収額の処理方法を印字する。<br>年金継続中で他に援護費転帰又は中断していない<br>在学者がいる場合 …… 保留<br>内払すべき援護費が存在しない場合 …… 債権管理<br>援護費が継続中で内払できる場合 …… 内払 |
| 枝番号1・2・3 | 申請書で入力した枝番号を印字する。 |
| 在学者・要保育児氏名<br>1・2・3 | 申請書で入力した又は資格者・在学者情報を引用した在学者・要保育児の氏名を印字する。 |
| 生年月日1・2・3 | 申請書で入力した又は資格者・在学者情報を引用した在学者・要保育児の生年月日を印字する。 |
| 被災者との続柄<br>1・2・3 | 枝番号により被災者との続柄を下記のように印字する。<br>0番台、60番台 …… 配偶者<br>10番台 …… 子<br>21・22・71・72番 …… 実父母<br>23・24・73・74番 …… 養父母<br>30番台 …… 孫<br>40番台、80番台 …… 祖父母<br>50番台、90番台 …… 兄弟姉妹 |

| 出力項目名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| 支給区分 1・2・3 | 申請書で入力した支給区分を印字する。 |
| 学年区分 1・2・3 | 申請書で入力した学年区分を印字する。 |
| 支給開始年月 1・2・3 | 申請書で入力した支給開始年月を印字する。 |
| 支給終了(予定)年月 1・2・3 | 申請書で入力した支給終了(予定)年月を印字する。 |
| 中断・復帰事由 1・2・3 | 申請書で入力した中断・復帰事由(01～07・50・51)を印字する。 |
| 中断・復帰年月 1・2・3 | 申請書で入力した変更年月を印字する。 |
| 転帰事由 1・2・3 | 申請書で入力した転帰事由（11～15）を印字する。 |
| 転帰年月 1・2・3 | 申請書で入力した変更年月を印字する。 |
| 不支給・不変更事由 1・2・3 | 新規申請で枝番号に「88」を入力した場合に、“不支給要求されました。支給処理区分は不支給のみです。”を印字する。<br>また、変更申請で枝番号に「88」を入力した場合に、“不変更要求されました。変更処理区分は不変更のみです。”を印字する。 |

| 出力項目名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| ＜変更前＞<br>枝番号 1・2・3 | 変更処理の場合で変更前の状態の枝番号を印字する。 |
| ＜変更前＞<br>在学者・要保育児氏名<br>1・2・3 | 変更処理の場合で変更前の状態の在学者・要保育児の氏名を印字する。 |
| ＜変更前＞<br>生年月日 1・2・3 | 変更処理の場合で変更前の状態の在学者・要保育児の生年月日を印字する。 |
| ＜変更前＞<br>被災者との続柄<br>1・2・3 | 枝番号により被災者との続柄を下記のように印字する。<br>0 番台、60 番台 …… 配偶者<br>10 番台 …… 子<br>21・22・71・72 番 …… 実父母<br>23・24・73・74 番 …… 養父母<br>30 番台 …… 孫<br>40 番台、80 番台 …… 祖父母<br>50 番台、90 番台 …… 兄弟姉妹 |
| ＜変更前＞<br>支給区分 1・2・3 | 変更処理の場合で変更前の状態の支給区分を印字する。 |
| ＜変更前＞<br>学年区分 1・2・3 | 変更処理の場合で変更前の状態の時点の学年区分を印字する。 |
| ＜変更前＞<br>支給開始年月 1・2・3 | 変更処理の場合で変更前の状態の支給開始年月を印字する。 |
| ＜変更前＞<br>支給終了(予定)年月 1・2・3 | 変更処理の場合で変更前の状態の支給終了(予定)年月を印字する。 |
| ＜変更前＞<br>中断・復帰事由 1・2・3 | 変更処理の場合で変更前の状態の中断・復帰事由(01～07・50・51)を印字する。 |
| ＜変更前＞<br>中断・復帰年月 1・2・3 | 変更処理の場合で変更前の状態の変更年月を印字する。 |
| メッセージ欄 | 決議をする上で、注意する内容が存在する場合に印字する。 |

ホ　出力帳票条件表

| 出力帳票等名 | 出　力<br>帳票番号 | （不）支給決定<br>（不）変更決定 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|
| 援護費通知書 | － | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |

△…条件出力

（注）職権での不支給決定又は不変更決定時には、援護費通知書は出力されない。

ヘ　出力画面

援護費決議書の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

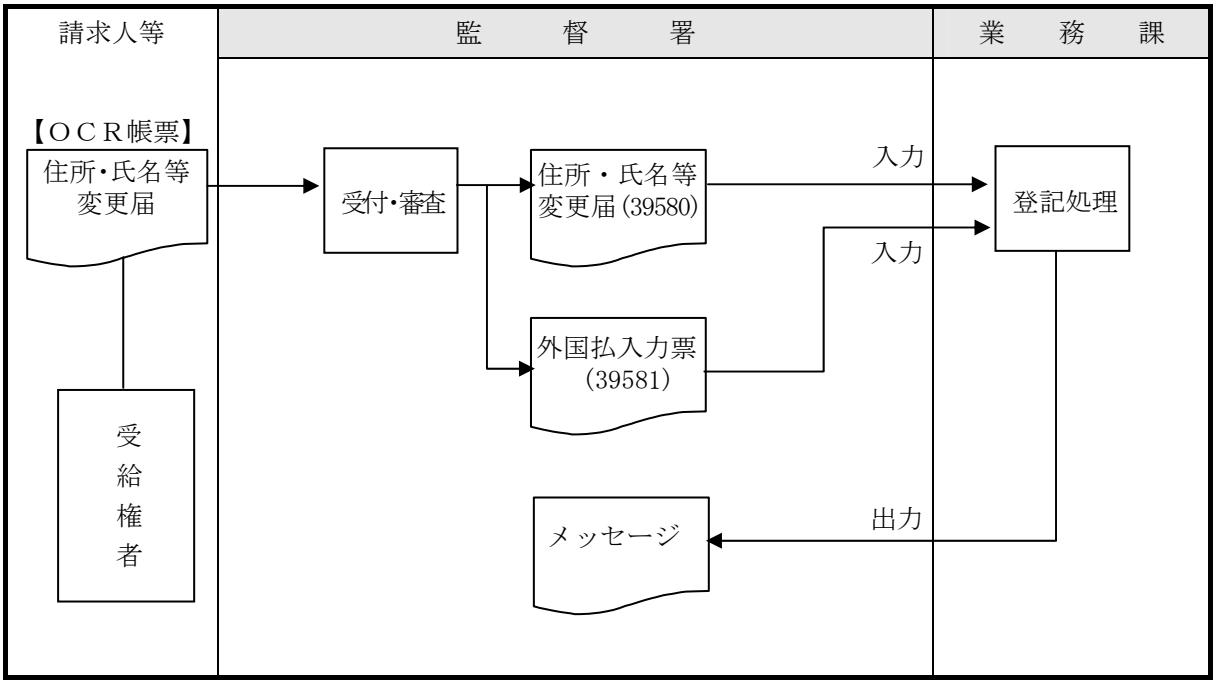
| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア<br>（修正再送信時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | － | 実行コードに応じた処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | キー項目 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | キー項目 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| | 決議書出力回数 | 帳票に記載された決議書出力回数を出力する。 | － |
| | 処理区分１ | 帳票に記載された処理区分１を出力する。 | － |
| | 処理区分２ | 帳票に記載された処理区分２を出力する。 | － |
| | 処理区分３ | 帳票に記載された処理区分３を出力する。 | － |
| | 決定年月日 | 帳票に記載された決定年月日を出力する。 | － |
| | 調査コード | 帳票に記載された調査コードを出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | 調査年月日 | 帳票に記載された調査年月日を出力する。 | － |
| | 復命書番号 | 帳票に記載された復命書番号を出力する。 | － |
| 操作者情報 | ユーザID | 当該処理を実施したユーザのIDを出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末のIPアドレスを出力する。 | － |

# 6

# 住所・氏名等変更処理

氏名・住所等変更処理の流れ




【処　理　の　説　明　】

住所・氏名等変更処理とは、受給権者の住所・氏名・支払機関を変更・訂正する機械処理をいう。

住所・氏名等変更届はＯＣＲ帳票であり、受給権者から提出される。なお、職権で住所・氏名・支払機関を訂正する場合にも本帳票を使用する。

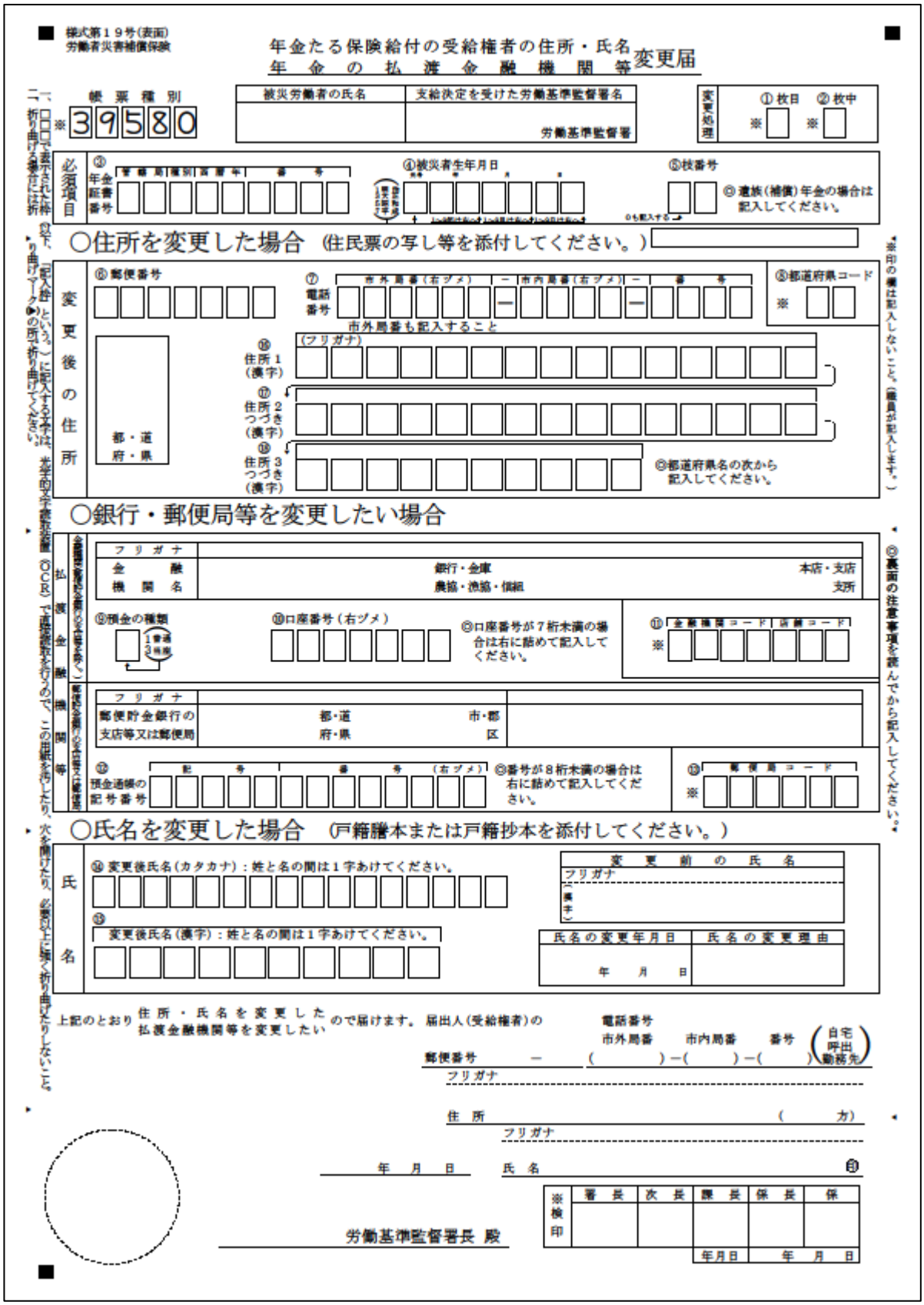
● この変更届は、管轄署以外の署（届出人の住所を管轄する署）においても入力可能としている。

● 外国送金の事案については、住所・氏名等変更届を使用せず、外国払入力票により受給権者の住所・氏名・金融機関名等をキーボードによりアルファベットで入力を行う。

住所・氏名等変更届は、単独でＯＣＲ入力する場合と、転給等の他の処理に付随して入力を行う場合とがある。

(1) 住所・氏名等変更届

イ　様式



様式第１９号(表面)
労働者災害補償保険

年金たる保険給付の受給権者の住所・氏名
年金の払渡金融機関等変更届

帳票種別 ※39580

被災労働者の氏名
支給決定を受けた労働基準監督署名
労働基準監督署

変更処理 ①枚目 ※　②枚中 ※

必須項目
⑫年金証書番号 管轄局 種別 西暦年 番号
④被災者生年月日 明・大・昭・平 年 月 日
⑤枝番号 ※0も記入する
◎遺族(補償)年金の場合は記入してください。

○住所を変更した場合 (住民票の写し等を添付してください。)

変更後の住所
⑥郵便番号
⑦電話番号 市外局番(右づめ) － 市内局番(右づめ) － 番号
市外局番も記入すること
⑤都道府県コード ※
都・道府・県
(フリガナ)
⑯住所1(漢字)
⑰住所2つづき(漢字)
⑱住所3つづき(漢字)
◎都道府県名の次から記入してください。

○銀行・郵便局等を変更したい場合

払渡金融機関等
フリガナ
金融機関名
銀行・金庫　農協・漁協・信組　本店・支店　支所
⑫預金の種類 1普通 3当座
⑩口座番号(右づめ)
◎口座番号が７桁未満の場合は右に詰めて記入してください。
⑪金融機関コード 店舗コード ※
フリガナ
郵便貯金銀行の支店等又は郵便局
都・道府・県　市・郡区
⑬預金通帳の記号番号 記号 番号(右づめ)
◎番号が８桁未満の場合は右に詰めて記入してください。
⑲郵便局コード ※

○氏名を変更した場合 (戸籍謄本または戸籍抄本を添付してください。)

氏名
⑭変更後氏名(カタカナ):姓と名の間は１字あけてください。
⑮変更後氏名(漢字):姓と名の間は１字あけてください。
変更前の氏名 フリガナ (漢字)
氏名の変更年月日　年　月　日
氏名の変更理由

上記のとおり住所・氏名を変更した／払渡金融機関等を変更したいので届けます。届出人(受給権者)の
電話番号 市外局番 市内局番 番号 (自宅 呼出 勤務先)
郵便番号 －　( )－( )－( )
フリガナ
住所　(方)
フリガナ
年　月　日　氏名　㊞

※検印 署長 次長 課長 係長 係
年月日　年　月　日

労働基準監督署長 殿

■印の欄は記入しないこと。(職員が記入します。)
◎裏面の注意事項を読んでから記入してください。
二、□□で表示された枠(以下、「記入枠」という。)に記入する文字は、光学的文字読取装置(OCR)で直接読取を行うので、この用紙を汚したり、穴を開けたり、必要以上に強く折り曲げたりしないこと。
一、□□で表示された枠内に記入する場合には折り曲げる場合には折り曲げマーク▶の所で折り曲げてください。

■ （表面）

# 石綿健康被害救済法
# 特別遺族年金の受給権者の住所・氏名変更届
# 特別遺族年金の払渡金融機関等変更届

帳票種別 ※ 39580

| 死亡労働者等の氏名 | 支給決定を受けた労働基準監督署名 |
|---|---|
| | 労働基準監督署 |

変更処理 ①枚目 ※ ②枚中 ※

必須項目

③年金証書番号（管轄局 種別 西暦年 番号）

④死亡労働者等生年月日（明治 大正 昭和 平成 年 月 日）

⑤枝番号（0も記入する）

## ○住所を変更した場合 （住民票の写し等を添付してください。）

変更後の住所

⑥郵便番号

⑦電話番号（市外局番（右づめ） － 市内局番（右づめ） － 番号）

市外局番も記入すること

⑧都道府県コード ※

都・道府・県

⑨住所1（漢字）（フリガナ）

⑩住所2つづき（漢字）

⑪住所3つづき（漢字）

⑫都道府県名の次から記入してください。

## ○銀行・郵便局等を変更したい場合

払渡金融機関等

| フリガナ | | |
|---|---|---|
| 金融機関名 | 銀行・金庫 農協・漁協・信組 | 本店・支店 支所 |

⑬預金の種類（1普通 3当座）

⑭口座番号（右づめ）

⑮口座番号が7桁未満の場合は右に詰めて記入してください。

⑯金融機関コード ※ 店舗コード

| フリガナ | | |
|---|---|---|
| 郵便貯金銀行の支店等又は郵便局 | 都・道府・県 | 市・郡区 |

⑰預金通帳の記号番号（口座 番号（右づめ））

⑱番号が8桁未満の場合は右に詰めて記入してください。

⑲郵便局コード ※

## ○氏名を変更した場合 （戸籍謄本または戸籍抄本を添付してください。）

氏名

⑳変更後氏名（カタカナ）：姓と名の間は1字あけてください。

㉑変更後氏名（漢字）：姓と名の間は1字あけてください。

| 変更前の氏名 |
|---|
| フリガナ |
| （漢字） |

| 氏名の変更年月日 | 氏名の変更理由 |
|---|---|
| 年 月 日 | |

上記のとおり住所・氏名を変更した 払渡金融機関等を変更したい ので届けます。 届出人（受給権者）の

電話番号 市外局番 市内局番 番号 （自宅 呼出 勤務先）

郵便番号 －

フリガナ

住所 （ 方）

フリガナ

年 月 日 氏名 ㊞

| ※検印 | 署長 | 次長 | 課長 | 保長 | 保 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | 年月日 | 年 月 日 | |

労働基準監督署長 殿

■

一、□□で表示された枠（以下、「記入枠」という。）に記入するときは、光学的文字読取装置（OCR）で直接読取りを行うので、この用紙を汚したり、穴を開けたり、必要以上に強く折り曲げたりしないこと。

二、折り曲げる場合には折り曲げマーク（▶）の所で折り曲げてください。

※印の欄は記入しないこと。（職員が記入します。）

◎裏面の注意事項を読んでから記入してください。

ロ　入力条件表

| | 番号 | 項　　目 | 登　　記 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 郵便番号変更 | 電話番号変更 | 都道府県コード変更 | 住所変更 | 氏名変更 | 金融機関変更 | | |
| | | | | | | | | 銀行振込 | ゆうちょ振込 | 窓口現金 |
| 必須項目 | 1 | 枚目 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 2 | 枚中 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 3 | 年金証書番号 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 4 | 被災者生年月日 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 5 | 枝番号（遺族のみ） | ●* | ●* | ●* | ●* | ●* | ●* | ●* | ●* |
| 住所 | 6 | 郵便番号 | ● | △ | △ | ● | △ | △ | △ | △ |
| | 7 | 電話番号 | △ | ● | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| | 8 | 都道府県コード | △ | △ | ● | ● | △ | △ | △ | △ |
| | 16<br>17<br>18 | 住所（漢字） | △ | △ | ● | ● | △ | △ | △ | △ |
| 金融機関情報 | 9 | 預金の種類 | △ | △ | △ | △ | △ | ● | × | × |
| | 10 | 口座番号 | △ | △ | △ | △ | △ | ● | × | × |
| | 11 | 金融機関コード | △ | △ | △ | △ | △ | ● | × | × |
| | 12 | 預金通帳の記号番号 | △ | △ | △ | △ | △ | × | ● | × |
| | 13 | 郵便局コード | △ | △ | △ | △ | △ | × | ● | ● |
| 氏名 | 14 | 氏名（カナ） | △ | △ | △ | △ | ● | △ | △ | △ |
| | 15 | 氏名（漢字） | △ | △ | △ | △ | ● | △ | △ | △ |

●…必須入力項目
●*‥遺族（補償）年金、特別遺族年金の場合のみ必須入力項目
△…任意入力項目
（同時に複数の処理も可能である。例えば、上記のマトリックスに従い住所と金融機関の変更を同時に行うことができる。）
×…入力不可項目

ハ　入力項目と審査（記入）要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 審　　査　（記　入）　要　　領 |
|---|---|---|
| － | 被災労働者の氏名 | 被災労働者の氏名が記入されているか。 |
| － | 支給決定を受けた労働基準監督署 | 年金の支給決定を行った労働基準監督署名が記入されているか。 |
| ※1 | 枚目 | 単独処理の場合、常に“1”を記入する。 |
| ※2 | 枚中 | 単独処理の場合、常に“1”を記入する。 |
| 3 | 年金証書番号 | 住所･氏名等を変更する支払権者の年金の年金証書番号が記入されているか。 |
| 4 | 被災者生年月日 | 住所･氏名等を変更する支払権者の年金の被災者の生年月日が記入されているか。 |
| 5 | 枝番号 | 遺族（補償）年金、特別遺族年金の場合に住所・氏名等を変更する支払権者の枝番号が記入されているか。 |
| 6 | 郵便番号 | 住所地の郵便番号が記入されているか。－（ハイフン）は記入しないこと。 |
| 7 | 電話番号 | 支払権者の電話番号が記入されているか。（市外局番は省略しないこと） |
| ※8 | 都道府県コード | 支払権者の住所地を管轄する都道府県労働局コードを記入する。（記入すると都道府県名の記入は省略出来る） |
| 16<br>17<br>18 | 住所（漢字） | 変更後の支払権者の住所が漢字で記入されているか。<br>ただし、都道府県名は記入しないこと。<br>変更後の住所を住民票の写し等で確認する。 |
| 9 | 預金の種類 | 預金の種類について、次のコードが記入されているか。<br>普通預金　･･･････････････････････　1<br>当座預金　･･･････････････････････　3 |
| 10 | 口座番号 | 口座番号が記入されているか。７桁未満の場合は、右詰めで記入されているか。 |
| ※11 | 金融機関コード | 変更届に記載されている金融機関の名称･店舗名を金融機関検索で確認の上、その金融機関コード・店舗コードを記入する。 |

（注） ※印は、職員が記入する。

| 番号 | 入力項目 | 審査（記入）要領 |
|---|---|---|
| 12 | 預金通帳の記号番号 | 番号が８桁未満の場合は、右詰めで記入されているか。<br>なお、預金通帳の記号番号は、記号の上１桁が“1”、下１桁が“0”、番号の下１桁が“1”であるか確認すること。 |
| ※13 | 郵便局コード | 変更届に記載されているゆうちょ銀行の支店等または郵便局を金融機関検索で確認の上、その郵便局コードを記入すること。<br>ゆうちょ振込の場合において郵便局コードが存在しない場合は、「０１０１６０（本店）」を記入すること。 |
| 14 | 変更後氏名（カタカナ） | 変更後の支払権者の氏名がカタカナで記入されているか。また、姓と名の間を一字あけているか。 |
| 15 | 変更後氏名（漢字） | 変更後の支払権者の氏名が漢字で記入されているか。<br>また、漢字氏名の姓と名の間を一字あけているか。 |
| － | 変更前の氏名<br>氏名の変更年月日<br>氏名変更理由 | 戸籍抄本又は戸籍謄本と照合する。 |

ニ　出力帳票

| 出力帳票等名 | 登記 | 出力端末装置 |
|---|---|---|
| メッセージリスト | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● ･･･ 出力

ホ　住所・氏名等変更届入力時の出力画面

住所・氏名等変更届の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面<br>（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | | 処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | 枚目 | 帳票に記載された枚目を出力する。 | － |
| | 枚中 | 帳票に記載された枚中を出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |
| | 被災者生年月日 | 帳票に記載された被災者生年月日を出力する。 | － |
| | 枝番号 | 帳票に記載された枝番号を出力する。 | － |
| | 郵便番号 | 帳票に記載された郵便番号を出力する。 | － |
| | 電話番号 | 帳票に記載された電話番号を出力する。 | － |
| | 都道府県コード | 帳票に記載された都道府県コードを出力する。 | － |
| | 預金の種類 | 帳票に記載された預金の種類を出力する。 | － |
| | 口座番号 | 帳票に記載された口座番号を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面<br>（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| 登録項目／入力項目 | 金融機関コード | 帳票に記載された金融機関コードを出力する。 | － |
| | 預金通帳の記号番号 | 帳票に記載された預金通帳の記号番号を出力する。 | － |
| | 郵便局コード | 帳票に記載された郵便局コードを出力する。 | － |
| | 氏名（カナ） | 帳票に記載された氏名（カナ）を出力する。 | － |
| | 氏名（漢字） | 帳票に記載された氏名（漢字）を出力する。 | － |
| | 住所（漢字）1 | 帳票に記載された住所（漢字）1を出力する。 | － |
| | 住所（漢字）2 | 帳票に記載された住所（漢字）2を出力する。 | － |
| | 住所（漢字）3 | 帳票に記載された住所（漢字）3を出力する。 | － |
| 操作者情報 | ユーザ ID | 当該処理を実施したユーザの ID を出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末の IP アドレスを出力する。 | － |

ヘ　留意点

(ｲ)　住所・氏名等変更届は、他の申請書・届等とは異なり、所轄監督署の他、届出人の住所地を管轄する監督署に対しても提出可能としているため、受理した署において内容を審査し、本帳票を入力すること。

(ﾛ)　変更後の住所の入力にあたっては、受給権者より本帳票に添付の上提出された住民票の写し、変更後の氏名の確認にあたっては、受給権者より本帳票の添付の上提出された戸籍抄本又は戸籍謄本と記入された事項が同一であるかどうかを確認すること。

(ﾊ)　本帳票においては、ゆうちょ銀行における「振込」と「窓口現金」を区別するコード等は特に設けておらず、「預金通帳の記号番号」の記入の有無によって、

「預金通帳の記号番号」の記入があれば　→「振込」

「預金通帳の記号番号」の記入がなければ　→「窓口現金」

とシステム上判断されるので留意のこと。

(ﾆ) 「住所」、「郵便番号(7 桁)」及び「電話番号」についてはそれぞれ単独での入力が可能であるが、「都道府県コード」を入力する場合に限り「住所（漢字)」が必須入力となる。

入力を行わなかった項目については、登録済の内容が引用される。

(ﾎ) 電話がなくなった場合など、登録済の「電話番号」を取り消したい場合には、「0」を 10 桁入力するとスペースとなる。

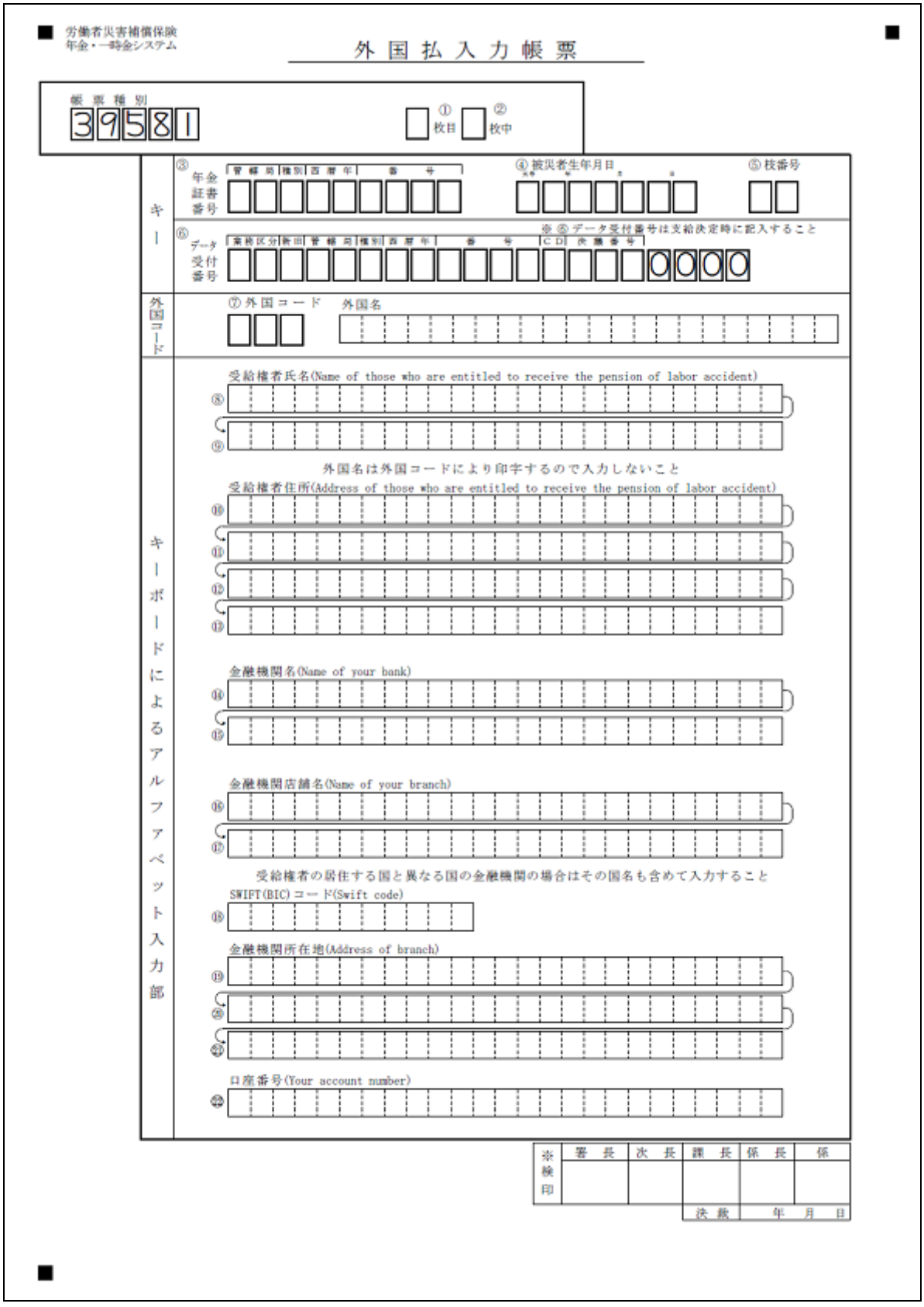
なお、この場合の 10 桁の組み合わせについては、それぞれの地域の電話番号にあわせて「0」を入力すること。

(ﾍ) 項番６「郵便番号(7 桁)」を入力すると、郵便番号に該当する住所（漢字）を項番 16「住所１」へ自動変換する。

(ﾄ) ゆうちょ銀行の支店等または郵便局を変更しないで、支払方法を現金払から振込に変更する場合及び現に振込の場合で、預金通帳の記号番号を変える場合には、受給権者に対して「年金たる保険給付の受給権者の住所・氏名・年金の払渡金融機関等の変更届」を提出するよう指導すること。

(2) 外国払入力票

イ　様式


労働者災害補償保険
年金・一時金システム
外国払入力帳票
帳票種別
39581
①枚目
②枚中
キー
③年金証書番号
管轄局 種別 西暦年 番号
④被災者生年月日
⑤枝番号
⑥データ受付番号
※⑥データ受付番号は支給決定時に記入すること
業務区分 新旧 管轄局 種別 西暦年 番号 CD 決裁番号
0000
外国コード
⑦外国コード
外国名
キーボードによるアルファベット入力部
受給権者氏名(Name of those who are entitled to receive the pension of labor accident)
⑧
⑨
外国名は外国コードにより印字するので入力しないこと
受給権者住所(Address of those who are entitled to receive the pension of labor accident)
⑩
⑪
⑫
⑬
金融機関名(Name of your bank)
⑭
⑮
金融機関店舗名(Name of your branch)
⑯
⑰
受給権者の居住する国と異なる国の金融機関の場合はその国名も含めて入力すること
SWIFT(BIC)コード(Swift code)
⑱
金融機関所在地(Address of branch)
⑲
⑳
㉑
口座番号(Your account number)
㉒
※検印
署長
次長
課長
係長
係
決裁
年 月 日

ロ　入力条件表

| 番号 | 項　　目 | 登記 | |
|---|---|---|---|
| | | 国内払から外国払への変更 | 左記以外 |
| 1 | 枚目 | 1 | 1 |
| 2 | 枚中 | 1 | 1 |
| 3 | 年金証書番号 | ● | ● |
| 4 | 被災者生年月日 | ● | ● |
| 5 | 枝番号 | ●* | ●* |
| 6 | データ受付番号 | × | × |
| 7 | 外国コード | ● | ● |
| 8<br>9 | 受給権者氏名 | ● | △* |
| 10<br>11<br>12<br>13 | 受給権者住所<br>（アルファベット） | ● | △* |
| 14<br>15 | 金融機関名<br>（アルファベット） | △* | △* |
| 16<br>17 | 金融機関店舗名<br>（アルファベット） | △* | △* |
| 18 | SWIFT(BIC)コード | △* | △* |
| 19<br>20<br>21 | 金融機関所在地<br>（アルファベット） | △* | △* |
| 22 | 口座番号 | △* | △* |

● … 必須入力項目

●* … 遺族（補償）年金、特別遺族年金のみ必須入力項目

△* … 項目別任意入力項目

（次頁「任意入力項目ケース別入力項目一覧」参照）

× … 入力不可項目

（注）　14 以降の項目を削除する場合、14 に「＊」を入力すれば、14 以下のすべ　ての項目が削除され、16, 18,　19, 22 に「＊」を入力すれば、それぞれ、17、20～21 も含めた項目削除が実行される。

【任意入力項目ケース別入力項目一覧】

| 内　　容 | 該当入力項目 | | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| | 項目番号 | 項目名 | |
| 支払権者住所変更・訂正<br>（送金払） | 10～13 | 受給権者住所 | 支払方法が送金払の場合 |
| 支払権者住所変更・訂正<br>（金融機関振込） | 10～13<br>14～15<br>16～17<br>18<br>19～21<br>22 | 受給権者住所<br>金融機関名<br>金融機関店舗名<br>SWIFT(BIC)コード<br>金融機関所在地<br>口座番号 | 支払方法が金融機関振込の場合 |
| 支払権者氏名の変更・訂正 | 8～9 | 受給権者氏名 | 他項目と同時に処理できる |
| 支払権者住所のみの変更・訂正<br>（振込先金融機関の変更なし） | 10～13 | 受給権者住所 | 他項目に変更のない場合 |
| 金融機関のみの変更・訂正 | 14～15<br>16～17<br>18<br>19～21<br>22 | 金融機関名<br>金融機関店舗名<br>SWIFT(BIC)コード<br>金融機関所在地<br>口座番号 | 他項目に変更のない場合 |
| 金融機関店舗名のみ変更・訂正 | 16～17<br>18<br>19～21<br>22 | 金融機関店舗名<br>SWIFT(BIC)コード<br>金融機関所在地<br>口座番号 | 他項目に変更のない場合 |
| SWIFT コードのみの変更・訂正 | 1819～21 | SWIFT(BIC)コード<br>金融機関所在地 | 他項目に変更のない場合 |
| 金融機関所在地のみの変更・訂正 | 18<br>19～21 | SWIFT(BIC)コード<br>金融機関所在地 | 他項目に変更のない場合 |
| 口座番号のみの変更・訂正 | 22 | 口座番号 | 他項目に変更のない場合 |
| 口座振込から送金払への変更・訂正 | 14 | 金融機関名 | 「＊」を入力すれば「14」以下削除となる<br>　よって、「金融機関振込」が取り消され「送金払」となる |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 送金払から金融機関振込への変更・訂正 | 14～15<br>16～17<br>18<br>19～21<br>22 | 金融機関名<br>金融機関店舗名<br>SWIFT(BIC)コード<br>金融機関所在地<br>口座番号 | 新たに設けた金融機関の口座（原則として同一国内に限る）への振込に変更する場合 |

（注）①以上の項目については、任意入力項目であるからたとえ該当項目に記入がなくともキャンセル扱いとはならないので、記入にあたっては十分注意のこと。

②「18」及び「19～21」が該当入力項目となる場合は、SWIFT コードの入力漏れを防ぐため、「18」の入力を省略するとキャンセルとするので、必ず入力すること。

なお、「18」及び「19～21」はセット入力項目であるため、「18」のみに入力し、「19～21」に何も入力しなかった場合、「19～21」は削除されることから、「18」のみの変更・訂正の場合であっても、必ず「19～21」も併せて入力すること。

③「10～13」のように「～」書きの項目は順に入力されていれば、後の数字の欄は空欄でもよい。（「10～13」の場合は「10」に記入があれば、「11～13」は空欄でもよい。）

④外国払に於ける「カナ氏名」については本帳票での変更・訂正はできないので、この場合においては「訂正入力票」による訂正処理（資格者情報訂正）によって処理を行うこと。

ハ　入力項目と記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | 枚目 | 単独処理の場合、常に“1”を記入する。 |
| 2 | 枚中 | 単独処理の場合、常に“1”を記入する。 |
| 3 | 年金証書番号 | 住所・氏名等を変更する支払権者の年金の年金証書番号を記入する。 |
| 4 | 被災者生年月日 | 住所・氏名等を変更する支払権者の年金の被災者の生年月日を記入する。 |
| 5 | 枝番号 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金の場合に外国払を行う支払権者の枝番号を記入する。 |
| 6 | データ受付番号 | 単独処理では、何も記入しない。 |
| 7 | 外国コード | 支払権者が居住する国の該当コードを記入する。<br>なお、コードは「外国コード表」（V-7-1 ページ）によること。 |
| 8<br>9 | 受給権者氏名<br>（アルファベット） | 支払権者の氏名をＯＣＲのキーボードによりアルファベットで入力する。 |
| 10<br>11<br>12<br>13 | 受給権者住所<br>（アルファベット） | 支払権者の住所をＯＣＲのキーボードによりアルファベットで入力する。 |
| 14<br>15 | 金融機関名<br>（アルファベット） | 振込先金融機関名をＯＣＲのキーボードによりアルファベットで入力する。<br>金融機関の情報（番号 14～22）を空白にする場合は、14 の左端枠に「＊」を入力する。（「へ　留意点」参照） |
| 16<br>17 | 金融機関店舗名<br>（アルファベット） | 振込先金融機関店舗名をＯＣＲのキーボードによりアルファベットで入力する。<br>金融機関店舗名（番号 16～17）を空白にする場合は、16 の左端枠に「＊」を入力する。（「へ　留意点」参照） |
| 18 | SWIFT(BIC) コ ー ド<br>（アルファベット） | SWIFT(BIC)コード（11 桁での必須入力、空白は入力不可）をＯＣＲのキーボードによりアルファベットで入力する。力する。 |
| 19<br>20<br>21 | 金融機関所在地<br>（アルファベット） | 金融機関所在地（都市名及び国名（米国、カナダ、豪州向けの場合は州名も））をＯＣＲのキーボードによりアルファベットで入力する。金融機関所在地（番号 19～22）を空白にする場合は、18 にのみ入力し、19～21 に何も入力しない。（「へ　留意点」参照） |
| 22 | 口座番号 | 預貯金の口座番号をＯＣＲのキーボードにより入力する。<br>口座番号（番号 22）を空白にする場合は、22 の１桁目に「＊」を入力する。（「へ　留意点」参照） |

ニ　出力帳票

| 出力帳票等名 | 登記 | 出力端末装置 |
|---|---|---|
| メッセージリスト | ● | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● … 出力

ホ　外国払入力票入力時の出力画面

外国払入力票の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面<br>（正常時） | メッセージエリア<br>（キャンセル時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | | 処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | 枚目 | 帳票に記載された枚目を出力する。 | － |
| | 枚中 | 帳票に記載された枚中を出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |
| | 被災者生年月日 | 帳票に記載された被災者生年月日を出力する。 | － |
| | 枝番号 | 帳票に記載された枝番号を出力する。 | － |
| | データ受付番号 | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| | 外国コード | 帳票に記載された外国コードを出力する。 | － |
| | 受給権者氏名(1) | 入力された受給権者氏名(1)を出力する。 | － |
| | 受給権者氏名(2) | 入力された受給権者氏名(2)を出力する。 | － |
| | 受給権者住所(1) | 入力された受給権者住所(1)を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面<br>(正常時) | メッセージエリア<br>(キャンセル時) |
| 登録項目／入力項目 | 受給権者住所(2) | 入力された受給権者住所(2)を出力する。 | - |
| | 受給権者住所(3) | 入力された受給権者住所(3)を出力する。 | - |
| | 受給権者住所(4) | 入力された受給権者住所(4)を出力する。 | - |
| | 金融機関名(1) | 入力された金融機関名(1)を出力する。 | - |
| | 金融機関名(2) | 入力された金融機関名(2)を出力する。 | - |
| | 金融機関店舗名(1) | 入力された金融機関店舗名(1)を出力する。 | - |
| | 金融機関店舗名(2) | 入力された金融機関店舗名(2)を出力する。 | - |
| | SWIFT(BIC)コード | 入力されたSWIFT(BIC)コードを出力する。 | - |
| | 金融機関所在地(1) | 入力された金融機関所在地(1)を出力する。 | - |
| | 金融機関所在地(2) | 入力された金融機関所在地(2)を出力する。 | - |
| | 金融機関所在地(3) | 入力された金融機関所在地(3)を出力する。 | - |
| | 口座番号 | 入力された口座番号を出力する。 | - |
| 操作者情報 | ユーザID | 当該処理を実施したユーザのIDを出力する。 | - |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | - |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | - |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末のIPアドレスを出力する。 | - |

ヘ　留意点

(ｲ) 支払権者の住所は、国際郵便規則第53条に「外国あて郵便物のあて名は、送達に支障のないように詳細に、かつ、明らかに記載しなければならない。」と定められているので、この条件を満たす住所を記入すること。

ただし、国名は「国名コード」を入力することにより印字されることとなっているので、入力しないこと。

また、住所の入力にあたっては国際郵便規則にのっとり通常の外国郵便の宛名書きと同様に「10」「11」「12」「13」欄の４桁で、例えば

１桁目　ルームナンバー、住居番号、街区番号
２桁目　都市名、地方名
３桁目　州名、県名、省名（中国・台湾等)、ZIP コード、郵便番号
４桁目　（続き）

というように、近い所から全体へとバランスよく入力すること。

(ﾛ) 外国送金者については、アルファベットで入力することとなるので、支払事故防止のためにも、支払権者によく確認した上で入力すること。

万一、支払権者が自らの住所をアルファベットで書くことができない場合等にあっては、支払権者の国籍を有する国の大使館・領事館などに照会する等により確認させること。

(ﾊ) 支払権者が外国の金融機関への振込を希望する場合における各該当項目の記入にあたっては、下記の事項に留意すること。

a　金融機関振込払の場合、「18」欄（SWIFT コード）は必須入力となっており、「19～21」欄（金融機関所在地）と必ずセットで入力すること。

b　「SWIFT コード」については、国際銀行間通信協会（SWIFT）における金融機関識別コードを入力すること。平成 22 年 11 月以降、「金融機関 SWIFT コード」が正しく入力されていない場合、外国送金の際に日本銀行または関係金融機関におけるシステムでエラーとなり、支払不能の扱いとなる可能性があるため、受給権者によく確認した上で入力すること。

なお、SWIFT コードは、金融機関コード(4 桁)＋ISO 国名略号（２桁）＋所在地コード（２桁）＋店舗コード（３桁）で構成（計 11 桁）されるが、３桁の店舗コード等が無い場合には、８桁の後にアルファベットの「XXX」を加えて 11 桁とすること。

c　「19～21」欄（「金融機関所在地」）については、入力されていなくともシステム上は受け付けるが、支払事故を未然に防止するためにも、受給権者に確認する等により可能な限り性格を期し、都市名及び国名を入力（米国、カナダ、豪州向けの場合は州名も入力）すること。（「通り名」（STREET)、「番地」等は省略可能であること。）なお、この場合は原則として「受給権者住所」と同一国に所在する金融機関であること。（止むを得ない事情により、「受給権者住所」と異なる国の金融機関に払込を行う場合には、「金融機関所在地」を正確に記入し、かつ、外国コード表の「標準簡略英文国名」を参考に、国名をアルファベットにて「金融機関所在地」に含めて必ず入力すること。）

d　「金融機関名」、「金融機関店舗名」（支店名等)、「口座番号」（欧州向けの送金の場合は、IBAN コード(International Bank Account Number を入力。スペースや「－」が含まれる場合は、そのまま入力)も同様に支払事故防止のためにも、受給権者によく確認した上で正確に入力すること。

なお、この場合は、外国の金融機関にあっては「支店」等を有しない金融機関も存在するので、

その場合は「金融機関店舗名」の入力を要しない。また、「金融機関名」における「LIMITED」は、「LTD.」に、「金融機関店舗名」（支店名等）における BRANCH は「BR.」に短縮可能であること。

e　漢字表記の金融機関（特に大韓民国〔韓国〕、朝鮮民主主義人民共和国〔北朝鮮〕、中華民国〔台湾〕、中華人民共和国〔中国〕等）にあっても、上記(ﾛ)と同様に「金融機関名」、「金融機関店舗名」（支店名等）、「金融機関所在地」はアルファベットにて入力すること。

なお、この場合、次の例のように各金融機関の英文名であっても差し支えないこと。

（例）　大韓民国〔韓国〕の場合

1　東京三菱 UFJ ソウル支店
金融機関名　THE BANK OF TOKYO MITSUBISHI UFJ LTD
金融機関店舗名　SEOUL BRANCH

2　東京三菱 UFJ 釜山支店
金融機関名　THE BANK OF TOKYO MITSUBISHI UFJ LTD
金融機関店舗名　BUSAN BRANCH

3　韓国外換銀行済州支店
金融機関名　KOREA EXCHANGE BANK
金融機関店舗名　CHEJU BRANCH

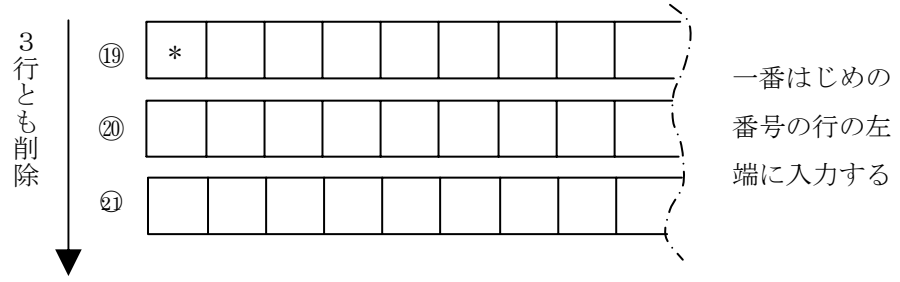
(ﾆ) 外国払の場合で、支払権者の「カナ氏名」に変更・訂正の必要が生じた場合は、訂正処理によって処理すること。（本入力帳票では変更・訂正はできない）

(ﾎ) 外国払において、これまで「金融機関振込」であった受給権者が「送金払」に変更を希望した場合は、本変更については支払事故を発生させる可能性が大であることに鑑み、止むを得ない場合を除いてなるべく当該変更をしないように説明すること。

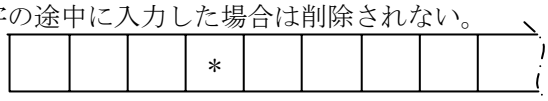
(ﾍ) 振込先の「金融機関」そのものを別の「金融機関」に変更する場合においては、一度「14」欄に「＊」を入力し、前「金融機関情報」を全て削除した上で、新たに「金融機関名」、「金融機関店舗名」、「SWIFT(BIC)コード及び金融機関所在地」、「口座番号」の入力を行うこと。

(ﾄ) 一項目削除の場合の「＊」の入力にあたっては、各入力項目の最初の番号（「18」欄を除く。）の行の左端に入力すること。なお、文字の途中に入力した場合は削除とならないので注意すること。

（例）　金融機関所在地の削除の場合（⑲～㉑）




（注）　下記のように文字の途中に入力した場合は削除されない。



(ﾁ) 外国払と国内払間の変更について

① 国内払から外国払に変更するには、「ロ　入力条件表」に従い「８　受給権者氏名」、外国における支払権者の住所を入力する「10　受給権者住所」他を必須入力とし、金融機関口座振込又は送金払のそれぞれの条件に応じて入力すること。（例えば、金融機関口座振込であれば「14」以下の金融機関情報についても入力すること。）

② 外国払から国内払に変更するには、「帳票種別 39580：住所・氏名等変更届」を用いて新たに国内の住所で入力すれば、外国払から国内払に自動的に変更される。

(ﾘ) ＳＷＩＦＴコードについて

全ての外国の金融機関のＳＷＩＦＴコード一覧が存在しないところであるが、一部の金融機関のＳＷＩＦＴコードについては、国際銀行間金融通信協会のホームページにおいて検索することが可能であるので、必要に応じて検索すること。

【留意事項】

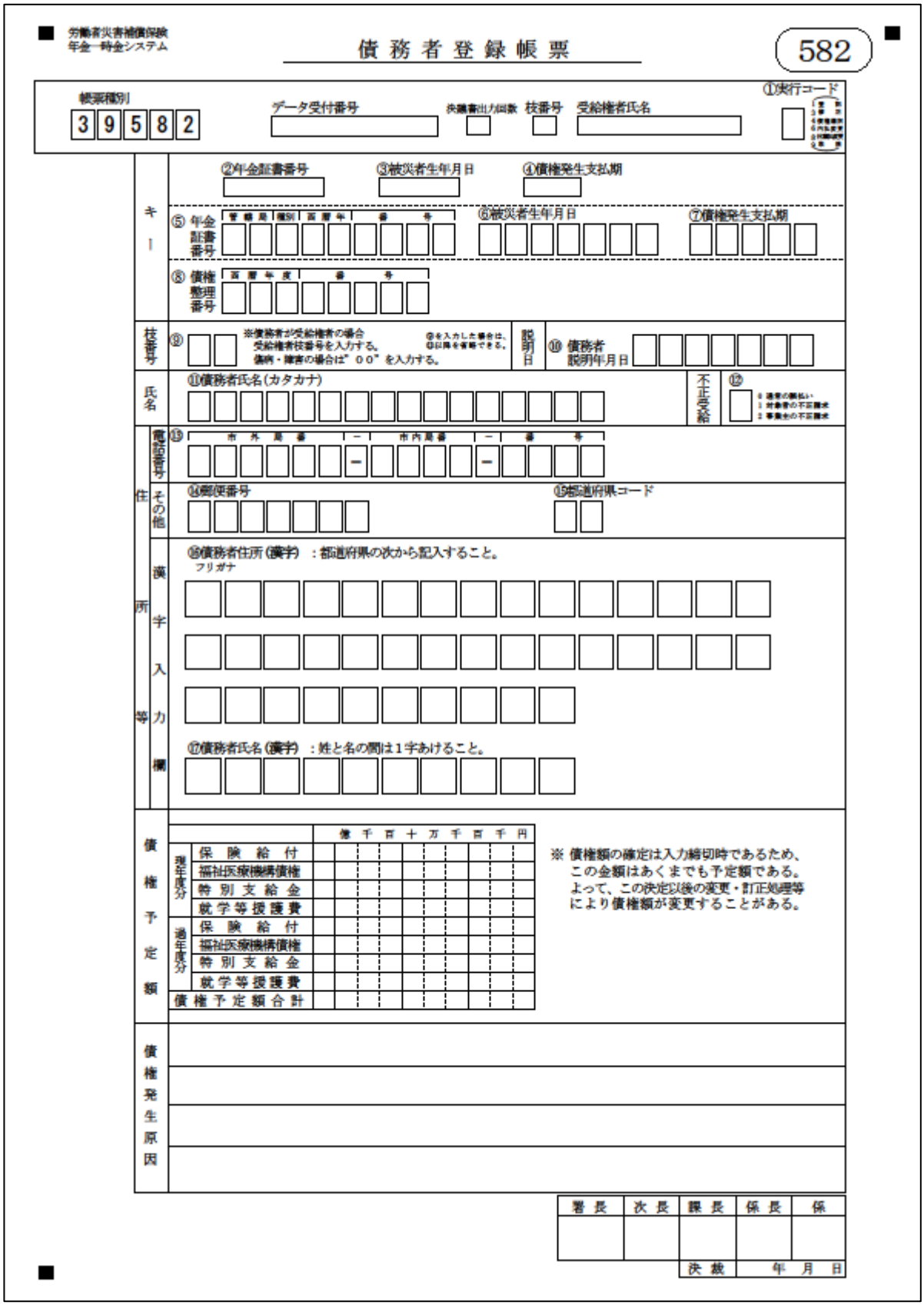
入力した文字を修正する場合は、上書きで入力すること。また、１文字の削除は当該文字枠にスペース、一行削除の場合は各項目の左端枠に「＊」をそれぞれ入力すること。

# 7

# 債務者登録処理

(1) 債務者登録票

イ　様式




入力条件については、共通編Ⅳ－４－(3)「債務者登録票の入力」参照。

ロ　出力項目の説明

| 出力項目名 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| データ受付番号 | 支給・変更・訂正決議書と同時に債務者登録票を出力する場合に決議書に印字したデータ受付番号を印字する。<br>ただし、保留から債権管理に変更した場合（実行コード：４）及び保留から休業内払に変更した場合（実行コード：８）は印字しない。 |
| 決議書出力回数 | 支給・変更・訂正決議書を出力した回数を印字する。<br>ただし、保留から債権管理に変更した場合（実行コード：４）及び保留から休業内払に変更した場合（実行コード：８）は印字しない。 |
| 枝番号 | 遺族（補償）年金、及び特別遺族年金で支給・変更・訂正決議書出力時の支払権者の枝番号を印字する。<br>ただし、保留から債権管理に変更した場合（実行コード：４）は印字しない。 |
| 受給権者氏名 | 変更・訂正決議書出力時の支払権者氏名を印字する。 |
| 年金証書番号 | 債権が発生した年金証書番号を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 債権発生支払期 | 債権が発生した支払期を印字する。 |
| 債権予定額〈現年度〉保険給付 | 債務者登録票出力時の回収額の保険給付の現年度分を印字する。 |
| 債権予定額〈現年度〉福祉医療機構債権 | 現年度の保険給付債権予定額のうち福祉医療機構が債権管理する金額を印字する。特別遺族年金の場合は、″0″を印字する。 |
| 債権予定額〈現年度〉特別支給金 | 債務者登録票出力時の回収額の特別支給金（特別年金）の現年度分を印字する。特別遺族年金の場合は、″0″を印字する。 |
| 債権予定額〈現年度〉就学等援護費 | 債務者登録票出力時の回収額の就学等援護費の現年度分を印字する。特別遺族年金の場合は、″0″を印字する。 |
| 債権予定額〈過年度〉保険給付 | 債務者登録票出力時の回収額の保険給付の過年度分を印字する。 |
| 債権予定額〈過年度〉福祉医療機構債権 | 過年度の保険給付債権予定額のうち福祉医療機構が債権管理する金額を印字する。特別遺族年金の場合は、″0″を印字する。 |
| 債権予定額〈過年度〉特別支給金 | 債務者登録票出力時の回収額の特別支給金（特別年金）の過年度分を印字する。特別遺族年金の場合は、″0″を印字する。 |
| 債権予定額〈過年度〉 | 債務者登録票出力時の回収額の就学等援護費の過年度分を印字 |

| 出力項目名 | 出　　力　　内　　容 |
| 就学等援護費 | する。特別遺族年金の場合は、″0″を印字する。 |

| | |
|---|---|
| 債権予定額合計 | 【〈現年度〉保険給付＋〈現年度〉特別支給金＋〈現年度〉就学等援護費＋〈過年度〉保険給付＋〈過年度〉特別支給金＋〈過年度〉就学等援護費】を印字する。 |

ハ　債務者登録票の出力条件

年金、特別年金及び援護費の登録、変更、訂正処理を行った場合で、以下の場合等に出力する。

a　傷病（補償）年金受給者について、傷病等級を２級又は３級から１級にそ及変更したことによって傷病差額特別年金が支給されなくなり、傷病差額特別年金が、過誤払となった場合。

b　援護費のそ及転帰により過誤払額が発生したが、他に援護費支給対象者が存在しないため、内払処理ができない場合。

c　遺族（補償）年金の全員失権によるそ及転帰により過誤払額が発生したが、失権差額一時金の発生がない又は、失権差額一時金の額を超えるため内払処理のできない場合。

d　変更処理において「債権コード」を記入した場合（変更処理により、過誤払額を残して年金が転帰した場合で、内払充当すべき次給付がないため債権管理する場合）又は訂正処理において「債権コード」を記入した場合（転帰済の年金を訂正し、過誤払額を債権管理する場合)。

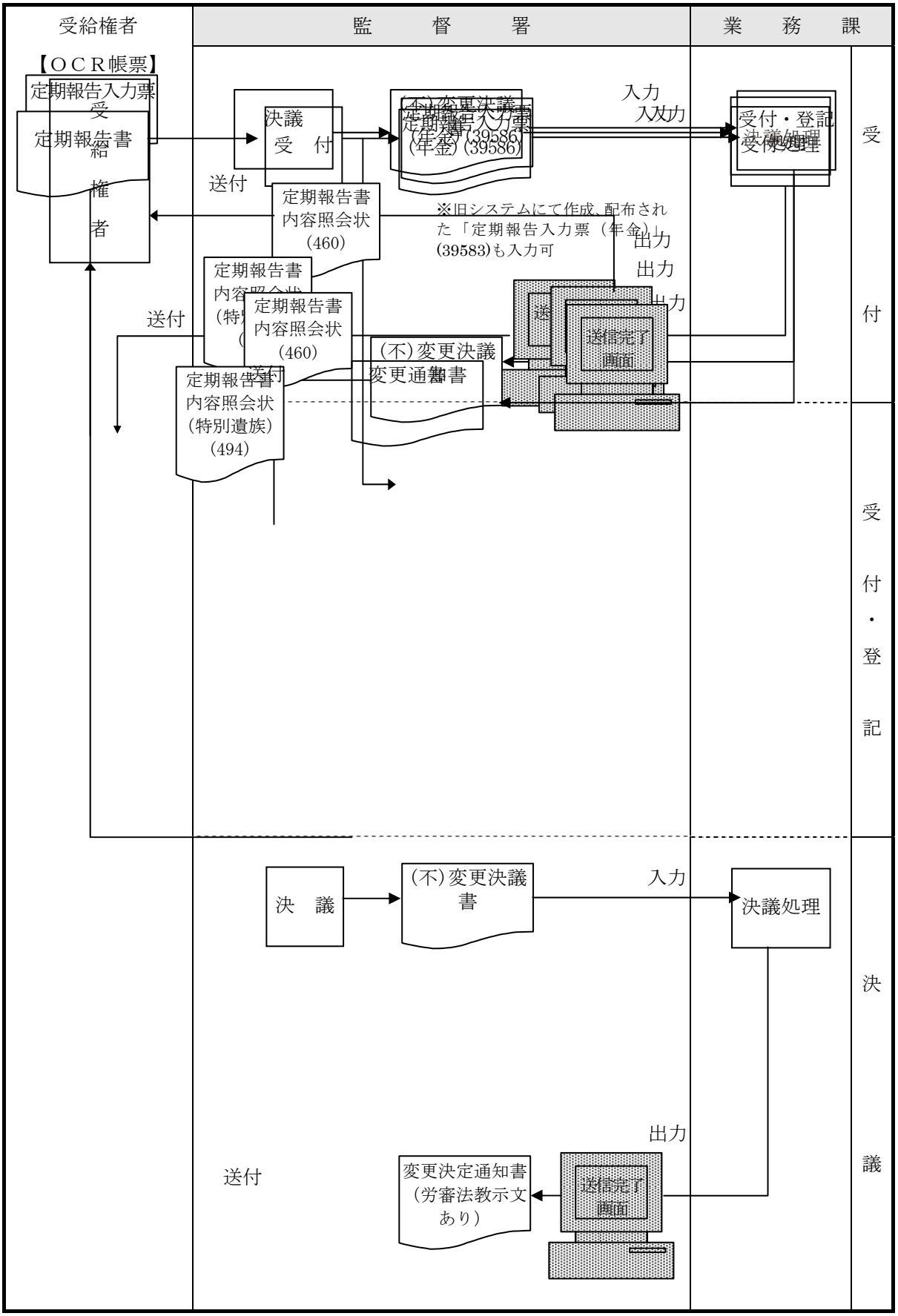
e 障害等級号を１級～3 級から 4 級～14 級に変更し、援護費回収額が発生し、強制的に債権となる場合。

f　変更処理における計算により、強制的に債権となる場合。

# 8

# 定期報告入力処理

定期報告入力処理（年金）の流れ



## 【 処 理 の 説 明 】

定期報告入力処理（年金）とは、定期報告書の提出状況を管理するとともに厚年等情報を変更する機械処理をいう。

受給権者への定期報告書の送付に際して、定期報告入力票に提出先の監督署名、監督署所在地を機械印字し、返信用の窓あき封筒に予め封入しておくため、受給権者は提出先の宛名を記入する必要がなく、返信用封筒に定期報告書等を同封して監督署に送付してくることとなる。

定期報告書の添付書類等に不備な点がある場合には、照会状コードを入力することにより「内容照会状」を出力する。

（受付処理）

- 定期報告書の受付年月日を記入して、ＯＣＲ入力することにより定期報告書の受付状況を管理する。
- 受付年月日が同一の定期報告書については、定期報告入力票のコピー処理（Ⅱ-8-16 ページ参照）が可能であり、２枚目以降の定期報告入力票の受付年月日の記入を省略することができる。
- 受付処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力される。

（受付・登記処理）

- 定期報告書によって把握される場合が多い厚年等の受給関係の変更については、定期報告入力票によっても処理できることとしているので、受付処理をする時点でこれらの変更内容が判明している場合にその内容を登記できる。
- 受付処理をする時点でこれらの変更内容が判明していない場合には、変更票によって別途処理を行うこととする。
- 受付・登記処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され、変更決議書が出力される。

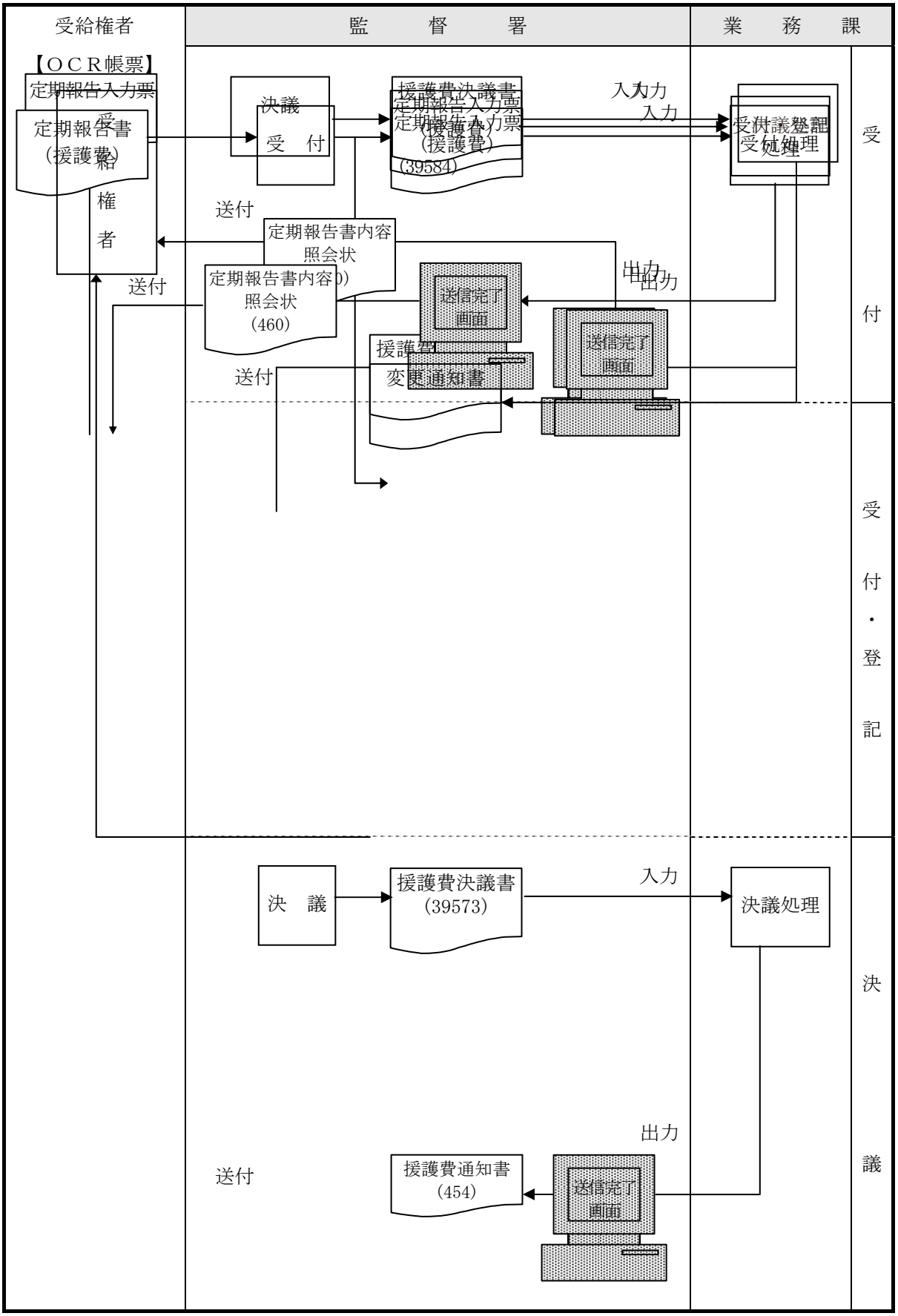
（決議処理）

- 出力された決議書により変更決定決議を行い、決定年月日・処理区分を記入し、操作カードを使用し、ＯＣＲ入力を行う。
- 決議処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され、変更通知書等が出力される。

（提出状況管理）

- 提出状況を確認する場合は、定期報告書未提出者リスト配信要求により、「定期報告書未提出者リスト」を出力する。
- 未提出者について督促を行う場合は、定期報告書未提出者リスト配信要求により、「提出照会状」を出力する。
- 配信要求が終了すると、定期報告書未提出者リスト配信要求完了画面を出力し、翌日に配信する。

定期報告入力処理（援護費）の流れ



【 処 理 の 説 明 】

定期報告入力処理（援護費）とは、定期報告書の提出状況を管理するとともに援護費の変更を行う機械処理をいう。

受給権者への定期報告書の送付に際して、定期報告入力票に提出先の監督署名、監督署所在地を機械印字し、返信用の窓あき封筒に予め封入しておくため、受給権者は提出先の宛名を記入する必要がなく、返信用封筒に定期報告書を同封して監督署に送付してくることとなる。

定期報告書の添付書類等に不備な点がある場合には、照会状コードを入力することにより「内容照会状」を出力する。

（受付処理）

- 定期報告書の受付年月日を記入して、ＯＣＲ入力することにより定期報告書の受付状況を管理する。
- 受付年月日が同一の定期報告書については、定期報告入力票のコピー処理（Ⅱ-8-16 ページ参照）が可能であり、２枚目以降の定期報告入力票の受付年月日の記入を省略することができる。
- 受付処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力される。

（受付・登記処理）

- 定期報告書によって把握される場合が多い援護費情報の変更については、定期報告入力票によっても処理できることとしている（ただし、上級学校への進学は新規扱いとなる。）。したがって、受付処理をする時点でこれらの変更内容が判明している場合には変更内容を登記できる。
- 受付処理をする時点でこれらの変更内容が判明していない場合には、援護費申請書によって別途処理する。
- 受付・登記処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され、援護費変更決議書等が出力される。

（決議処理）

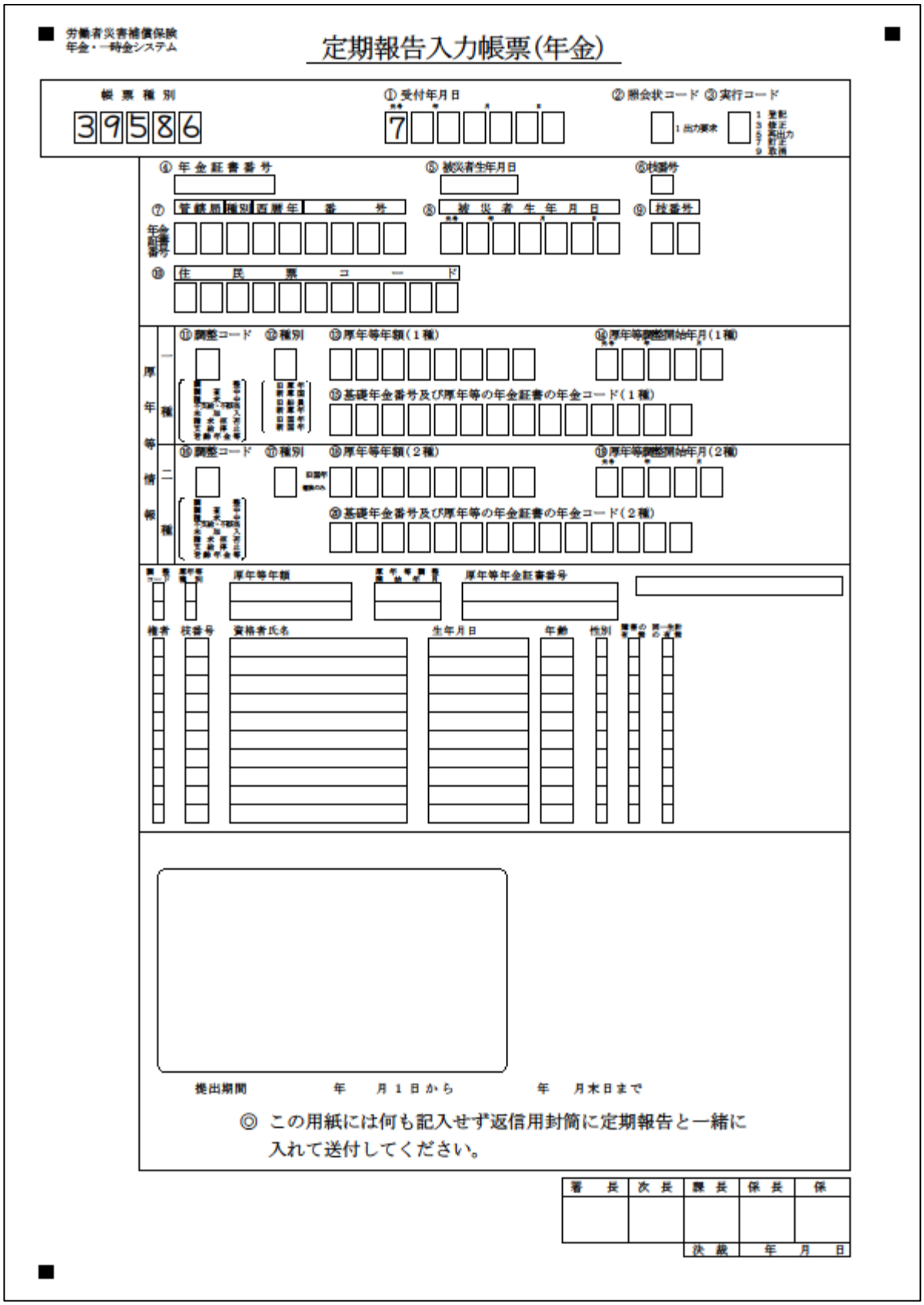
- 援護費決議書により支給又は変更決定を行い、決定年月日等を記入し、操作カードを使用し、ＯＣＲ入力を行う。
- 決議処理が終了すると、その旨が送信完了画面に出力され、援護費支給又は変更決定通知書が出力される。

（提出状況管理）

- 提出状況を確認する場合は、定期報告書未提出者リスト配信要求により、「定期報告書未提出者リスト」を出力する。
- 未提出者について督促を行う場合は、定期報告書未提出者リスト配信要求により、「提出照会状」を出力する。
- 配信要求が終了すると、定期報告書未提出者リスト配信要求完了画面を出力し、翌日に配信する。

(1) 定期報告入力票（年金）

イ　様式



労働者災害補償保険
年金・一時金システム

# 定期報告入力帳票(年金)

帳票種別 39586

① 受付年月日 7

② 照会状コード ③ 実行コード

1 出力要求

1 登記
3 修正
5 再出力
7 訂正
9 取消

④ 年金証書番号

⑤ 被災者生年月日

⑥検算符

⑦ 管轄局 種別 西暦年 番号

⑧ 被災者生年月日

⑨ 検算符

年金証書番号

⑩ 住民票コード

厚年等情報 一種

⑪ 調整コード ⑫ 種別 ⑬ 厚年等年額(1種) ⑭ 厚年等調整開始年月(1種)

⑮ 基礎年金番号及び厚年等の年金証書の年金コード(1種)

厚年等情報 二種

⑯ 調整コード ⑰ 種別 ⑱ 厚年等年額(2種) ⑲ 厚年等調整開始年月(2種)

⑳ 基礎年金番号及び厚年等の年金証書の年金コード(2種)

厚年等年額

厚年等年金証書番号

権者 枝番号 資格者氏名 生年月日 年齢 性別

提出期間　　年　月1日から　　年　月末日まで

◎ この用紙には何も記入せず返信用封筒に定期報告と一緒に入れて送付してください。

| 署長 | 次長 | 課長 | 係長 | 係 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | 決裁 | 年 月 日 | |

ロ　記入項目

| 番号 | 項　　目 | 受　付 | 受付・登記 | 修　正 | 決議書再出力 | 訂正 | 取　消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 受付年月日 | ● | ● | ● | ● | | |
| 2 | 照会状コード | △ | △ | | | | |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 4 | 年金証書番号（印字） | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 5 | 被災者生年月日（印字） | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 6 | 枝番号（印字）＊1 | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | | Ⓐ |
| 7 | 年金証書番号 | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ |
| 8 | 被災者生年月日 | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ |
| 9 | 枝番号＊1 | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | | Ⓑ |
| 10 | 住民票コード＊3 | △ | | | | ● | |
| 11 | 厚年等調整コード(1種) | | A | A | | | |
| 12 | 厚年等種別（1種） | | A | A | | | |
| 13 | 厚年等年額（1種） | | A | A | | | |
| 14 | 厚年等調整開始年月(1種) | | A | A | | | |
| 15 | 厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード(1種) | | A | A | | | |
| 16 | 厚年等調整コード（2種）＊2 | | B | B | | | |
| 17 | 厚年等種別（2種）＊2 | | B | B | | | |
| 18 | 厚年等年額（2種）＊2 | | B | B | | | |
| 19 | 厚年等調整開始年月(2種)＊2 | | B | B | | | |
| 20 | 厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード(2種)＊2 | | B | B | | | |

＊1 … 遺族（補償）年金又は特別遺族年金の場合のみ必須入力項目

＊2 … 2種併給の場合のみ入力

（厚年等受給関係については次ページ【厚年等受給関係ケース別パターン一覧】参照）

＊3 … 障害（補償）年金のみ入力可能

● … 必須入力項目、Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれか必須入力項目、△ … 任意入力項目
A・B … 任意入力セット入力項目
× … 入力不可項目、空欄 … 未使用

（注）特別遺族年金の場合は、「受付」と「取消」のみ可能

【厚年等受給関係ケース別パターン一覧】

| 受給内容 | 種別分類 | | 2種併給の有無 | 併給される労災年金種別 |
|---|---|---|---|---|
| | 国民年金等 | 厚生年金保険等 | | |
| 障害基礎年金 | 障害基礎年金 | － | × | 傷病(補償)年金<br>障害(補償)年金 |
| 国民年金法上の障害年金* | 障害年金 | － | × | 傷病(補償)年金<br>障害(補償)年金 |
| 障害厚生年金 | － | 障害厚生年金 | × | 傷病(補償)年金<br>障害(補償)年金 |
| 厚生年金保険法上の障害年金 | － | 障害年金 | × | 傷病(補償)年金<br>障害(補償)年金 |
| 船員保険法上の障害年金 | － | 障害年金 | × | 傷病(補償)年金<br>障害(補償)年金 |
| 遺族基礎年金・遺族厚生年金 | 遺族基礎年金 | 遺族厚生年金 | × | 遺族(補償)年金 |
| 寡婦年金*・遺族年金 | 寡婦年金 | 遺族年金 | ○ | 遺族(補償)年金 |
| 母子年金*・遺族年金 | 母子年金 | 遺族年金 | ○ | 遺族(補償)年金 |
| 準母子年金*・遺族年金 | 準母子年金 | 遺族年金 | ○ | 遺族(補償)年金 |
| 遺児年金*・遺族年金 | 遺児年金 | 遺族年金 | ○ | 遺族(補償)年金 |
| 遺族基礎年金・船員保険法上の遺族年金 | 遺族基礎年金 | 遺族年金 | × | 遺族(補償)年金 |
| 寡婦年金*・船員保険法上の遺族年金 | 寡婦年金 | 遺族年金 | ○ | 遺族(補償)年金 |
| 母子年金*・船員保険法上の遺族年金 | 母子年金 | 遺族年金 | ○ | 遺族(補償)年金 |
| 準母子年金*・船員保険法上の遺族年金 | 準母子年金 | 遺族年金 | ○ | 遺族(補償)年金 |
| 遺児年金*・船員保険法上の遺族年金 | 遺児年金 | 遺族年金 | ○ | 遺族(補償)年金 |
| 遺族基礎年金のみ | 遺族基礎年金 | － | × | 遺族(補償)年金 |
| 寡婦年金*のみ | 寡婦年金 | － | × | 遺族(補償)年金 |
| 母子年金*のみ | 母子年金 | － | × | 遺族(補償)年金 |
| 準母子年金*のみ | 準母子年金 | － | × | 遺族(補償)年金 |
| 遺児年金*のみ | 遺児年金 | － | × | 遺族(補償)年金 |
| 船員保険法上のみ | － | 遺族年金 | × | 遺族(補償)年金 |
| 厚生年金保険法上の遺族年金のみ | － | 遺族年金 | × | 遺族(補償)年金 |
| 厚生年金保険法上の遺族厚生年金のみ | － | 遺族厚生年金 | × | 遺族(補償)年金 |

（注）　＊印が旧国民年金（改正前国民年金）

ハ　入力項目と記入要領

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | 受付年月日 | 定期報告書を受け付けた年月日を記入する。 |
| 2 | 照会状コード | 定期報告内容照会状を出力したい場合に“１”を記入する。 |
| 3 | 実行コード | 次の区分に従って該当するコードを記入する。<br>受付（受付年月日のみ入力）…… 記入しない<br>受付・登記（厚年情報変更）…… 1<br>修正（厚年情報修正）…… 3<br>決議書再出力（変更決議書再出力）…… 5<br>訂正（住民票コードのみ入力） …… 7<br>取消（受付情報かつ厚年情報取消）…… 9 |
| 4 | 年金証書番号<br>（印字） | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に印字する。 |
| 5 | 被災者生年月日<br>（印字） | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に印字する。 |
| 6 | 枝番号　　（印字） | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に印字する。 |
| 7 | 年金証書番号 | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に「４：年金証書番号」を印字しているので、支払権者より提出された場合は記入の必要がないが、用紙の汚損等により署にて手書きで作成したものを入力する場合に、年金証書番号を記入する。 |
| 8 | 被災者生年月日 | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に「５：被災者生年月日」を印字しているので、支払権者より提出された場合は記入の必要がないが、用紙の汚損等により署にて手書きで作成したものを入力する場合に、その受給権者の被災者生年月日を記入する。 |
| 9 | 枝番号 | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に「６：枝番号」を印字しているので、支払権者より提出された場合は記入の必要がないが、用紙の汚損等により署にて手書きで作成したものを入力する場合に、その受給権者の枝番号を記入する。 |
| 10 | 住民票コード | 障害（補償）年金のみ入力可能で、11 桁の数字を入力する。住民票コードを訂正する場合は、実行コードに’7’（訂正）を入力し、訂正後の住民票コードを入力する。<br>登録された住民票コードを削除する場合は「00000000000」を入力する。 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11 | 厚年等調整コード（1 種） | 労災保険年金と同一の事由による厚生年金等の受給状況を次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>調整 …… 0<br>調査中 …… 1<br>請求中 …… 2<br>不支給・不該当 …… 3<br>未加入 …… 4<br>請求拒否 …… 5<br>支給停止 …… 6<br>老齢年金等 …… 7<br>受付・登記処理、修正処理（実行コード「1」「3」）の場合のみ記入する。 |
| 12 | 厚年等種別（1 種） | 労災保険年金と同一の事由により厚生年金等が支給される場合に、次の区分に従って該当するコードを記入する。（注）<br>旧厚生年金保険 …… 1<br>新厚生年金保険・国民年金 …… 2<br>旧船員保険 …… 3<br>新厚生年金保険 …… 4<br>旧国民年金 …… 5<br>新国民年金 …… 6<br>（注） 旧厚生年金保険、旧国民年金及び旧船員保険とは、原則として労働者災害補償保険の支給事由発生年月日が昭和 61 年 3 月 31 日以前のものである。 |
| 13 | 厚年等年額（1 種） | 上記厚年等種別に対応する厚生年金等の年額を記入する。 |
| 14 | 厚年等調整開始年月（1 種） | 厚年等の年金の情報（調整コード・種別・年額）が変更になった年月を記入する。 |
| 15 | 厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード　（1 種） | 支給されている厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コードを記入する。 |

| 番号 | 入 力 項 目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 16 | 厚年等調整コード（2 種） | 遺族（補償）年金と同一の事由による旧国民年金の受給状況を、次の区分に従い該当するコードを記入する。<br>調整 …… 0<br>調査中 …… 1<br>請求中 …… 2<br>不支給・不該当 …… 3<br>未加入 …… 4<br>請求拒否 …… 5<br>支給停止 …… 6<br>老齢年金等 …… 7 |
| 17 | 厚年等種別（2 種） | 遺族（補償）年金と同一の事由により旧国民年金が支給される場合は、次に示すコードを記入する。<br>旧国民年金 …… 5 |
| 18 | 厚年等年額（2 種） | 上記厚年等種別に対応する旧国民年金の年額を記入する。 |
| 19 | 厚年等調整開始年月（2 種） | 上記厚年等の年金の支給が開始された年月を記入する。 |
| 20 | 厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード　（2 種） | 上記旧国民年金の年金証書の基礎年金番号及び年金コードを記入する。 |

ニ　定期報告入力票（年金）入力時の出力画面

定期報告入力票（年金）の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。

キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

出力項目の説明

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア（キャンセル時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | － | 実行コードに応じた処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | 受付年月日 | 帳票に記載された受付年月日を出力する。 | － |
| | 照会状コード | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| | 実行コード | 帳票に記載された実行コードを出力する。 | － |
| | 出力年金証書番号 | 帳票に記載された出力年金証書番号を出力する。 | － |
| | 出力被災者生年月日 | 帳票に記載された出力被災者生年月日を出力する。 | － |
| | 出力枝番号 | 帳票に記載された出力枝番号を出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |
| | 被災者生年月日 | 帳票に記載された被災者生年月日を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア（キャンセル時） |
| 登録項目／入力項目 | 枝番号 | 帳票に記載された枝番号を出力する。 | － |
| | 住民票コード | 帳票に記載された住民票コードを出力する。 | － |
| | 調整コード（1 種） | 帳票に記載された調整コード（1 種）を出力する。 | － |
| | 種別（1 種） | 帳票に記載された種別（1 種）を出力する。 | － |
| | 厚年等年額（1 種） | 帳票に記載された厚年等年額（1 種）を出力する。 | － |
| | 厚年等調整開始年月（1 種） | 帳票に記載された厚年等調整開始年月（1 種）を出力する。 | － |
| | 基礎年金番号及び厚年等の年金証書の年金コード（1 種） | 帳票に記載された基礎年金番号及び厚年等の年金証書の年金コードを出力する。 | － |
| | 調整コード（2 種） | 帳票に記載された調整コード（2 種）を出力する。 | － |
| | 種別（2 種） | 帳票に記載された種別（2 種）を出力する。 | － |
| | 厚年等年額（2 種） | 帳票に記載された厚年等年額（2 種）を出力する。 | － |
| | 厚年等調整開始年月（2 種） | 帳票に記載された厚年等調整開始年月（2 種）を出力する。 | － |
| | 基礎年金番号及び厚年等の年金証書の年金コード（2 種） | 帳票に記載された基礎年金番号及び厚年等の年金証書の年金コード（2 種）を出力する。 | － |
| | 到達番号 | 帳票に記載された到達番号を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア（キャンセル時） |
| 操作者情報 | ユーザ ID | 当該処理を実施したユーザの ID を出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末の IP アドレスを出力する。 | － |

（注）①定期報告提出期間外に入力した場合、「当年度受付分は A6 月 B10 月以降で入力してください」のメッセージが出力される。この場合、当年度の受付は登録されていないため、A グループは 6 月以降、B グループは 10 月以降に、当年度の受付入力を行う。

②受付・登記処理にて厚年等情報の項目のみに不備がある場合は、受付年月日のみ登記され、以下のメッセージが出力される。

「年金・援護費定期報告の処理において、厚年等情報の変更、援護費の支給区分等変更の内容に不備が生じているため定期報告の受付年月日のみ登録しました。厚年等情報の変更、援護費の支給区分等変更はそれぞれ変更票・援護費申請書で処理してください。」

ホ　出力帳票条件表

出力される帳票、リストは次のとおりである。

| 出力帳票等名 | 出　力<br>帳票番号 | 受付 | 受付<br>＆登記 | 修正 | 決議書<br>再出力 | 訂正 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （不）変更決議書 | × | × | ● | ● | ● | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 年金年額リスト | × | × | △ | △ | △ | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 定期報告書内容照会状 | 460 | △※1 | △※1 | × | × | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 定期報告書内容照会状<br>（特別遺族） | 494 | △※2 | △※2 | × | × | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

●･･･ 出力する、△ ･･･ 条件出力、× ･･･ 出力しない

※1…特別遺族以外の場合に出力する

※2…特別遺族の場合に出力する

（注）年金変更・不変更決定決議書の入力項目及び出力帳票については、「厚生年金保険等の受給関係変更届」（様式第 20 号）と同じであるため、Ⅱ-3-211 を参照すること。

ヘ　定期報告書未提出を理由とする支払差止

定期報告書未提出者に対する支払差止の機械処理方法は、以下のとおりである。

(ｲ) 署からの定期報告書未提出者リスト配信要求により、「定期報告書未提出者リスト」を出力するので、その時点における提出状況を確認することができる。

(ﾛ) 定期報告書未提出者に対する督促のため、「定期報告書提出照会状」を適宜定期報告書未提出者リスト配信要求により出力する。

(ﾊ) 提出期限後の一定の期日においても定期報告書の提出がないものについて、「定期報告書未提出者リスト」を配信要求する。署においては、このリストを利用して支払差止を行うべきものについて当期支払期の入力締切日までに変更処理により支払差止決議を行うこと。

ト　定期報告入力票のコピー処理

(ｲ) 概要

コピー処理とは、定期報告入力票のＯＣＲ入力を行う際に、同じ日に受け付けられた定期報告書に係る「定期報告入力票」（帳票種別 39586、39583 及び 39584）を入力する場合に一枚目の同帳票に「受付年月日」を記入して入力すると、2 枚目以降の同帳票について同一日付による処理を行う機能である。

よって、「受付年月日」が同一である場合には、2 枚目以降の「受付年月日」の記入を省略することができるので、同一日に受け付けられた多量の「定期報告入力票」の入力を迅速に処理することができる。

なお、この場合においても「受付年月日」以外の項目は本処理の対象とはならないので、該当部分を記入すること。

(ﾛ) 留意点

a　コピー対象の「受付年月日」を変更する場合

登録されている「受付年月日」と異なる「受付年月日」を記入した「定期報告入力票」を入力する。

この場合、図１のように順に入力される。

「受付年月日」の異なる 2 種類以上の定期報告入力票を入力する場合は、あらかじめそれぞれの束を準備し、入力すれば途中から自動的に「受付年月日」が変更され入力される。
なお、「受付年月日」が変更されるタイミングで、確認メッセージが出力され、コピー処理は一旦停止となるので、日付に誤り等がある場合は、コピー処理を中断できる。

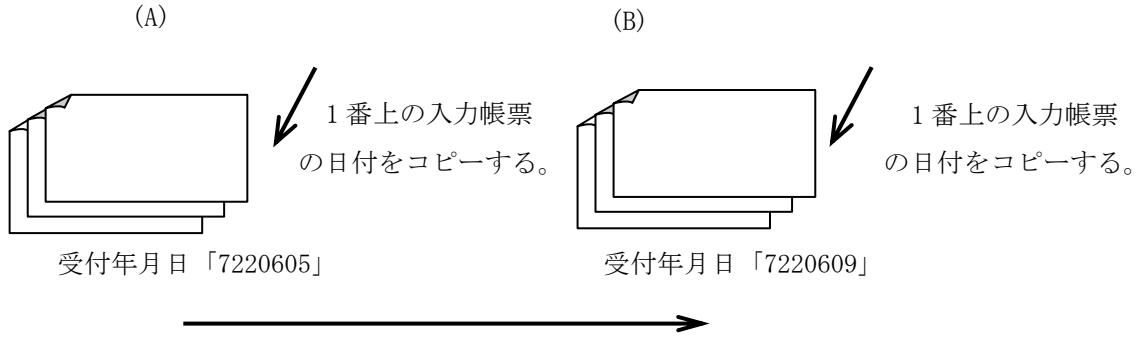



図１

b　コピー入力処理中にFAT端末から本処理に係る帳票（帳票種別39586、39583及び39584）以外の帳票が入力された場合

コピー処理は中断するが、混入した他帳票は自動で排出され、次の帳票を自動で読み込む。

c　コピー入力された帳票が「キャンセル」となった場合

コピー処理中に「キャンセル」となった場合は、「修正再送信画面」が出力されるので、入力項目に誤りがある場合は、入力項目を修正後にコピー処理を再開させること。また、当該帳票のみ受付処理を取り消し、コピー処理を再開させることもできる。

チ　留意点

(ｲ)　定期報告入力票のコピー処理

本処理は定期報告の受付を迅速に行うための付加機能であるため、必ずしも「コピー処理」によって入力しなければならないというものではない。

(ﾛ)　本帳票による厚年等情報の入力について

受給権者に係る厚年等情報の入力については、本来であれば受給権者より「厚生年金保険等の受給関係変更届」(様式第 20 号)の提出を待って、「変更票」(帳票種別 39562) によって行うべきものであるが、これらの情報は「年金たる保険給付の受給権者の定期報告書」(様式第 18 号(1)障害用、(2)遺族用、(3)傷病用) によって把握されることが多いことから便宜上、本帳票にて、「受付・登記」として同時に入力できることとしたものである。

したがって、受給権者より「年金たる保険給付の受給権者の定期報告書」(様式第 18 号　(1)障害用、(2)遺族用、(3)傷病用) とは別に「厚生年金保険等の受給関係変更届」(様式第 20 号) の提出があった場合においては、本帳票 (帳票種別 39586、39583) にて定期報告の受付のみを行い、厚年等情報については「変更票」(帳票種別 39562) によって入力しても差し支えない。

(ﾊ)　定期報告書内容照会状の出力について

本帳票の「照会状コード」に入力を行うことにより、「定期報告書内容照会状」(帳票種別 460)、「定期報告書内容照会状 (特別遺族)」(帳票種別 494) を出力することができるが、この処理は本帳票の「受付」(定期報告受付年月日の入力時) 又は「受付・登記」(定期報告受付年月日及び厚年等情報の登記時) と同時に入力した場合のみ行うことができる。

したがって、「定期報告書内容照会状」の出力は１度限りであり、本帳票の「受付」又は「受付・登記」時以外はその要求を入力することはできないので、受給権者 (支払権者) から定期報告書が提出された場合にはその内容を審査した上で、「定期報告書内容照会状」の出力が必要な場合には「受付」又は「受付・登記」時に必ず同時に行うこと。

なお、「定期報告書内容照会状」(帳票種別 460)、「定期報告書内容照会状 (特別遺族)」(帳票種別 494) の詳細については、「定期報告書提出照会状・内容照会状」(Ⅱ-9-126 ページ)を参照のこと。

(ﾆ)　定期報告入力票に記入する受付年月日について

当年度の定期報告書を受付入力する場合は、Ａグループ (１月～６月生まれの者) は６月、Ｂグループ (７月～12 月生まれの者) 10 月の初日以降の日付を記入すること。

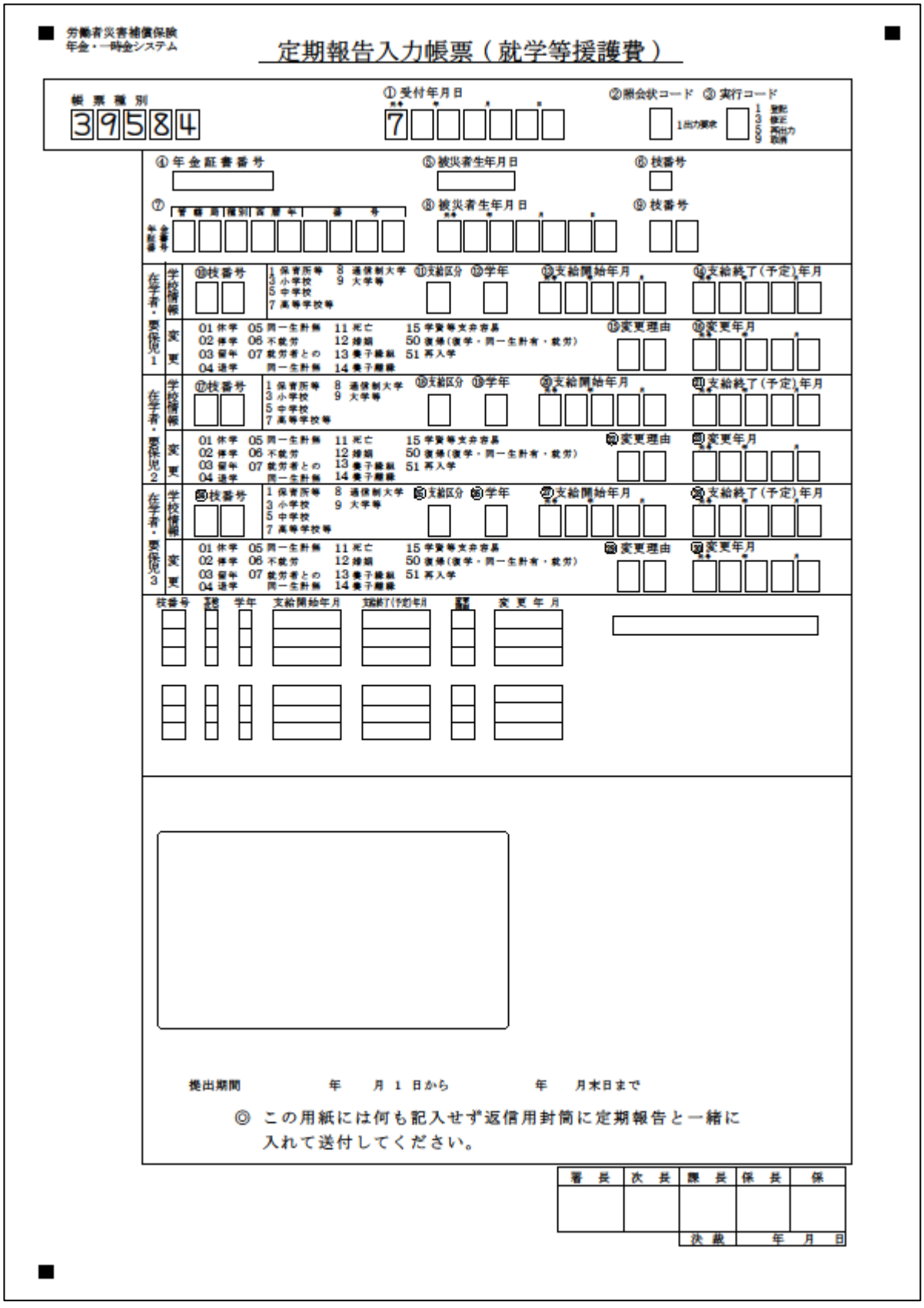
(ﾎ)「住民票コード」の登録について

「住民票コード」は、住民票コードが記載された住民票が添付された場合、職員が内容確認の上、「年金たる保険給付の受給権者の定期報告書」(様式第 18 号の障害用) に転記し、「受付」により登録する。登録した内容は、定期報告検索にて確認でき、登録した内容に誤りや変更がある場合は、「訂正」により正しい内容に更新すること。

なお、「住民票コード」が記入されていて、「定期報告書内容照会状」を出力した場合でも、「住民票の未提出」のメッセージは出力されるので、送付する際には丸で囲まないようにすること。

(2) 定期報告入力票（援護費）

イ　様式



労働者災害補償保険
年金・一時金システム

# 定期報告入力帳票（就学等援護費）

帳票種別 39584

① 受付年月日 7

②照会状コード　③実行コード　1出力要求　1 登記 3 修正 5 再出力 9 取消

④年金証書番号　⑤被災者生年月日　⑥枝番号

⑦年金証書番号　管轄局　種別　西暦年　番号

⑧被災者生年月日　⑨枝番号

在学者・要保児1

学校情報　⑩枝番号　1 保育所等 3 小学校 5 中学校 7 高等学校等 8 通信制大学 9 大学等　⑪支給区分　⑫学年　⑬支給開始年月　⑭支給終了(予定)年月

変更　01 休学 02 停学 03 留年 04 退学 05 同一生計無 06 不就労 07 就労者との同一生計無 11 死亡 12 婚姻 13 養子縁組 14 養子離縁 15 学費等支弁容易 50 復帰(復学・同一生計有・就労) 51 再入学　⑮変更理由　⑯変更年月

在学者・要保児2

学校情報　⑰枝番号　1 保育所等 3 小学校 5 中学校 7 高等学校等 8 通信制大学 9 大学等　⑱支給区分　⑲学年　⑳支給開始年月　㉑支給終了(予定)年月

変更　01 休学 02 停学 03 留年 04 退学 05 同一生計無 06 不就労 07 就労者との同一生計無 11 死亡 12 婚姻 13 養子縁組 14 養子離縁 15 学費等支弁容易 50 復帰(復学・同一生計有・就労) 51 再入学　㉒変更理由　㉓変更年月

在学者・要保児3

学校情報　㉔枝番号　1 保育所等 3 小学校 5 中学校 7 高等学校等 8 通信制大学 9 大学等　㉕支給区分　㉖学年　㉗支給開始年月　㉘支給終了(予定)年月

変更　01 休学 02 停学 03 留年 04 退学 05 同一生計無 06 不就労 07 就労者との同一生計無 11 死亡 12 婚姻 13 養子縁組 14 養子離縁 15 学費等支弁容易 50 復帰(復学・同一生計有・就労) 51 再入学　㉙変更理由　㉚変更年月

| 枝番号 | 区分 | 学年 | 支給開始年月 | 支給終了(予定)年月 | 理由 | 変更年月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | |
| | | | | | | |

提出期間　　年　月 1 日から　　年　月末日まで

◎ この用紙には何も記入せず返信用封筒に定期報告と一緒に入れて送付してください。

| 署長 | 次長 | 課長 | 係長 | 係 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | 決裁 | 年　月　日 | |

ロ　記入項目

| 番号 | 項　　目 | 受付 | 受付・登記 | 修正 | 決議書<br>再出力 | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 受付年月日 | ● | ● | ● | ● | |
| 2 | 照会状コード | △ | △ | | | |
| 3 | 実行コード | × | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 4 | 年金証書番号（印字） | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 5 | 被災者生年月日<br>（印字） | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 6 | 枝番号（印字）*1 | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ | Ⓐ |
| 7 | 年金証書番号 | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ |
| 8 | 被災者生年月日 | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ |
| 9 | 枝番号*1 | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ | Ⓑ |
| 10<br>17<br>24 | 在学者等枝番号*2 | ● | ● | ● | | |
| 11<br>18<br>25 | 支給区分 | × | A | A | | |
| 12<br>19<br>26 | 学年 | × | A | A | | |
| 13<br>20<br>27 | 支給開始年月 | × | A | A | | |
| 14<br>21<br>28 | 支給終了（予定）年月 | × | A | A | | |
| 15<br>22<br>29 | 変更理由 | × | B | B | | |
| 16<br>23<br>30 | 変更年月 | × | B | B | | |

*1 … 遺族（補償）年金のみ必須入力項目、*2 ･･･ 在学者等枝番号は 10、17、24 のいずれか必須入力項目

● … 必須入力項目、Ⓐ・Ⓑ … Ⓐ又はⒷのいずれか必須入力項目

△ … 任意入力項目

A・B … 任意入力セット入力項目

× … 入力不可項目、空欄 … 未使用

ハ　記入項目と記入要領

| 番号 | 入　力　項　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 1 | 受付年月日 | 定期報告書を受け付けた年月日を記入する。 |
| 2 | 照会状コード | 定期報告書内容照会状を出力したい場合は、コード“1”を記入する。 |
| 3 | 実行コード | 次の区分に従って該当するコードを記入する。<br>受付（受付年月日のみ入力）…… 記入しない<br>受付・登記（援護費新規・変更）…… 1<br>修正（援護費情報修正）…… 3<br>決議書再出力（援護費決議書再出力）…… 5<br>取消（受付情報かつ援護費情報取消）…… 9 |
| 4 | 年金証書番号<br>(印字) | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に印字する。 |
| 5 | 被災者生年月日<br>(印字) | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に印字する。 |
| 6 | 枝番号　(印字) | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に印字する。 |
| 7 | 年金証書番号 | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に「4：年金証書番号」を印字しているので、支払権者より提出された場合は記入の必要がないが、用紙の汚損等により署にて手書きで作成したものを入力する場合に、年金証書番号を記入する。 |
| 8 | 被災者生年月日 | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に「5：被災者生年月日」を印字しているので、支払権者より提出された場合は記入の必要がないが、用紙の汚損等により署にて手書き入力する場合に、その受給権者の被災者生年月日を記入する。<br>なお、元号は次のコードを使用する。<br>明治 …… 1<br>大正 …… 3<br>昭和 …… 5<br>平成 …… 7 |
| 9 | 枝番号 | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に「6：枝番号」を印字しているので、支払権者より提出された場合は記入の必要がないが、用紙の汚損等により手書き入力する場合に、その受給権者の枝番号を記入する。 |
| 10<br>17<br>24 | 在学者等枝番号 | 定期報告書の用紙を本省（業務課）より発送する際に定期報告書の提出のあった在学者等の枝番号又は、変更処理をする在学者等の枝番号を記入する。 |

<table>
<tr><th>番号</th><th>項　　目</th><th>記　　入　　要　　領</th></tr>
<tr><td>11<br>18<br>25<br><br><br>12<br>19<br>26</td><td>支給区分<br><br><br><br>学年区分</td><td>次の区分にしたがい、該当コードを記入する。ただし、就労保育援護費（支給区分＝1）の対象者については、学年区分は記入しないこと。
<table>
<tr><th colspan="2">学年等の区分</th><th>支給期間</th><th>支給区分<br>コード</th><th>学年区分<br>コード</th></tr>
<tr><td colspan="2">保育所、幼稚園等<br>（就労保育）</td><td>6年以内<br><br>(6歳以上、18歳未満の未就学児童を除く)</td><td>1</td><td>－<br>(記入しない)</td></tr>
<tr><td colspan="2">小学校<br>(盲学校、ろう学校、養護学校の小学部を含む)</td><td>6年</td><td>3</td><td>1～6</td></tr>
<tr><td colspan="2">中学校<br>(盲学校、ろう学校、養護学校の中等部、いわゆる夜間中学校を含む)</td><td>4年</td><td>5</td><td>1～4</td></tr>
<tr><td colspan="2">高等学校<br>①全日制<br>(盲学校、ろう学校、養護学校の高等部を含む)<br>②定時制<br>③専攻科、別科</td><td>3年<br><br><br><br>4年<br>1～3年</td><td>7</td><td>1～4</td></tr>
<tr><td rowspan="3">高等専門学校</td><td>工業</td><td>5年</td><td rowspan="2">7<br>ただし、第4、5学年</td><td rowspan="2">1～5</td></tr>
<tr><td>商船</td><td>5年6ヵ月</td></tr>
<tr><td>専攻科</td><td>1～3年</td><td>9</td><td>1～3</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専修学校<br>(一般課程の進学塾・予備校を除く)</td><td>高等課程<br>一般課程</td><td>1～5年</td><td>7</td><td>1～5</td></tr>
<tr><td>専門課程</td><td>1～5年</td><td>9</td><td>1～5</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

| 番号 | 項　　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 11<br>18<br>25<br><br><br>12<br>19<br>26 | 支給区分<br><br><br><br><br>学年区分 | |

| 学年等の区分 | | | 支給期間 | 支給区分コード | 学年区分コード |
|---|---|---|---|---|---|
| 通信制大学<br>①学部<br>②短期大学<br>③専攻科、別科<br>④大学院 | | 修士課程<br>博士前期課程<br>博士後期課程 | 4年<br>2年又は3年<br>1年<br>2年<br>2年<br>3年 | 8 | 1～6 |
| 大学<br><br><br><br><br><br>②夜間学部<br>③短期大学<br>④専攻科、別科<br>⑤大学院 | | 医学部、歯学部、獣医学部、薬学部以外<br><br>医学部、歯学部、獣医学部、薬学部<br><br><br><br>修士課程<br>博士前期課程<br>博士後期課程 | 4年<br><br><br><br><br>6年<br><br>4年又は5年<br>2年又は3年<br><br>1年<br>2年<br>2年<br>3年 | 9 | 1～6 |
| 公共職業能力開発施設<br>①普通職業訓練<br>②高度職業訓練 | 普通課程 | 中卒者対象 | 1～4年 | 7 | 1～4 |
| | | 高卒者対象(注) | 1～4年 | 9 | 1～4 |
| | 専門訓練課程<br>一般課程 | | 1～3年 | 9 | 1～3 |
| 職業能力開発大学校<br>（指導員訓練） | | 長期課程 | 4年 | 9 | 1～4 |

(注)　「職業訓練法施行規則の一部を改正する省令」（昭和53年労働省令第37号）附則第2条に規定する第1類の専修訓練課程の普通訓練を受ける者を含む。

| 番号 | 項　　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 13<br>20<br>27 | 支給開始年月 | イ　援護費を支給すべき事由が生じた年月を記入する。<br>　援護費を支給すべき事由が生じた年月が年金支給事由発生年月であるときは、その翌月を記入する。<br>なお、元号は次のコードを使用する。<br>　昭和 …… 5　　平成 …… 7<br>ロ　他の年金に移行した場合は、移行後の年金の支給事由発生年月の翌月を記入する。<br>ハ　在学者・要保育児が引き続き上級学校へ進学した場合は、上級学校へ進学した年月を記入する。<br>a　就労保育援護費を受けていた者が小学校へ入学した場合は、小学校へ入学した年月を記入する。<br>b　専修学校の高等課程（又は一般課程）から専門課程へ進学した場合は、専門課程へ進学した年月を記入する。<br>c　高等専門学校の第3学年から第4学年に進級した場合は、第4学年に進級した年月を記入する。 |
| 14<br>21<br>28 | 支給終了（予定）年月 | イ　在学中の学校の卒業予定年月を記入する。<br>　ただし、小学校在学中の者については小学校の卒業予定年月を記入する。なお、その者の中学校区分については、自動管理する。<br>（途中で中断・差止等があった場合を除く―詳細については、Ⅱ5(1)「就学等援護費申請書」の「へ留意点」（Ⅱ-5-18ページ）参照のこと。）<br>なお、元号は次のコードを使用する。<br>　昭和 …… 5　　平成 …… 7<br>ロ　就労保育援護費の支給対象者については、小学校入学予定の年の3月を記入する。ただし、新規申請時に6歳以上、18歳未満の未就学の児童については、申請年度の3月を記入する。<br>ハ　専修学校在学中の者又は職業能力開発施設等在学中の者については、修業年限を確認のうえ修了予定年月を記入する。<br>ニ　本項目は復帰・再入学時においても入力可能である。 |
| 15<br>22<br>29 | 変更理由 | 中断・復帰・転帰等の事由について、次の区分により該当コードを記入する。<br>休学 …… 01　死亡 …… 11<br>停学 …… 02　婚姻 …… 12<br>留年 …… 03　養子縁組…… 13<br>退学 …… 04　養子離縁…… 14<br>権者との同一生計無 … 05　学資等支弁容易…… 15<br>不就労 …… 06　復帰(復学・同一生計有・就労)50<br>就労者との同一生計無 … 07　再入学…… 51<br>（注）年金の受給資格者である援護費受給資格者の場合は、05及び11～14の区分は「年金」で変更するため、「援護費」では入力不可である。 |

| 番号 | 項　　目 | 記　　入　　要　　領 |
|---|---|---|
| 16<br>23<br>30 | 変更年月 | 中断・復帰・転帰等となった年月を記入する。<br>なお、就業等援護費の効力発生年月（支給再開あるいは中断・終了）については、変更年月欄に記入した年月の翌月からとなる。<br>①中断<br>変更年月欄に記入した年月の翌月から中断する。<br>②復帰<br>変更年月欄に記入した年月の翌月から復帰となる。<br>1日に復帰した場合、復帰年月が当月となり、変更年月欄に復帰年月の前月を記入する。<br>1日以外の日に復帰した場合、復帰年月が翌月となり、変更年月欄に復帰年月を記入する。<br>③転帰<br>変更年月欄に記入した年月の翌月以降は支給終了となる。 |

ニ　定期報告入力票（援護費）入力時の出力画面

定期報告入力票（援護費）の入力処理が正常に終了した場合は、送信完了画面を出力する。

キャンセルの場合は、帳票入力画面下部のメッセージエリアにエラーメッセージを出力する。

出力項目の説明

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア（キャンセル時） |
| 帳票番号 | － | 入力された帳票番号を出力する。 | － |
| 処理結果画面名 | － | 処理結果画面名を出力する。 | － |
| 処理日時 | － | 当該処理の実施日時を出力する。 | － |
| メッセージ | | 実行コードに応じた処理結果メッセージを出力する。 | 各入力値検証項目における違反時のメッセージを出力する。 |
| 処理結果 | 管轄局署 | 当該処理の入力局署を出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |
| 登録項目／入力項目 | 受付年月日 | 帳票に記載された受付年月日を出力する。 | － |
| | 照会状コード | 帳票に記載されたデータ受付番号を出力する。 | － |
| | 実行コード | 帳票に記載された実行コードを出力する。 | － |
| | 年金証書番号（印字） | 帳票に記載された年金証書番号（印字）を出力する。 | － |
| | 被災者生年月日（印字） | 帳票に記載された被災者生年月日（印字）を出力する。 | － |
| | 枝番号（印字） | 帳票に記載された枝番号（印字）を出力する。 | － |
| | 年金証書番号 | 帳票に記載された年金証書番号を出力する。 | － |
| | 被災者生年月日 | 帳票に記載された被災者生年月日を出力する。 | － |
| | 枝番号 | 帳票に記載された枝番号を出力する。 | － |

| 項目名 | | 内容 | |
|---|---|---|---|
| | | 送信完了画面（正常時） | メッセージエリア（キャンセル時） |
| 登録項目／入力項目 | 在学者等枝番号 1～3 | 帳票に記載された在学者等枝番号 1～3 を出力する。 | － |
| | 支給区分 1～3 | 帳票に記載された支給区分 1～3 を出力する。 | － |
| | 学年区分 1～3 | 帳票に記載された学年区分 1～3 を出力する。 | － |
| | 支給開始年月 1～3 | 帳票に記載された支給終了（予定）年月 1～3 を出力する。 | － |
| | 支給終了（予定）年月 1～3 | 帳票に記載された支給終了（予定）年月 1～3 を出力する。 | － |
| | 変更理由 1～3 | 帳票に記載された変更理由 1～3 を出力する。 | － |
| | 変更年月 1～3 | 帳票に記載された変更年月 1～3 を出力する。 | － |
| | 到達番号 | 帳票に記載された到達番号を出力する。 | － |
| 操作者情報 | ユーザ ID | 当該処理を実施したユーザの ID を出力する。 | － |
| | 氏名 | 当該処理を実施したユーザの漢字氏名を出力する。 | － |
| | 所属 | 当該処理を実施したユーザが所属する組織名称を出力する。 | － |
| | 端末番号 | 当該処理を実施した端末の IP アドレスを出力する。 | － |

（注）①定期報告提出期間外に入力した場合、「当年度受付年月日は 6 月以降で入力してください」のメッセージが出力される。この場合、当年度の受付は登録されていないため、6 月以降に当年度の受付入力を行う。

②受付・登記処理にて援護費情報の項目のみに不備がある場合は、受付年月日のみ登記され、以下のメッセージが出力される。

「年金・援護費定期報告の処理において、厚年等情報の変更、援護費の支給区分等変更の内容に不備が生じているため定期報告の受付年月日のみ登録しました。厚年等情報の変更、援護費の支給区分等変更はそれぞれ変更票・援護費申請書で処理してください。」

ホ　出力帳票

出力される帳票、リスト及び画面は次のとおりである。

| 出力帳票等名 | 出力帳票番号 | 受付 | 受付＆登記 | 修正 | 決議書再出力 | 出力端末装置 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 援護費決議書 | － | × | ● | ● | ● | ＯＣＲ専用プリンタ |
| メッセージリスト | － | × | △ | △ | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 定期報告書内容照会状 | 460 | △ | △ | × | × | ＯＣＲ専用プリンタ |
| 債務者登録票 | × | × | △ | △ | △ | ＯＣＲ専用プリンタ |

● … 出力する、△ … 条件出力、× … 出力しない

(注 1)メッセージリストは、決議書にメッセージが印字しきれない場合に出力する。

(注 2)就学等援護費決議書の入力項目及び出力帳票については､就学等援護費の決議処理と同じであるため、Ⅱ-5-21 ページを参照すること。

ヘ　定期報告書未提出を理由とする支払差止

定期報告書未提出者に対する支払差止の機械処理方法は、以下のとおりである。

(ｲ) 署からの配信要求により､「定期報告書未提出者リスト」を出力し、その時点における提出状況を確認することができる。

(ﾛ) 定期報告書未提出者に対する督促のため､「定期報告書提出照会状」を適宜配信要求により出力する。

(ﾊ) 提出期限後の一定の期日においても定期報告書の提出がないものについて､「定期報告書未提出者リスト」を配信要求する。署においては、このリストを利用して支払差止めを行うべきものについて支払差止決議を行い、その内容を変更票により当期支払期の入力締切日までに入力する。

ト　留意点

(ｲ) 定期報告入力票のコピー処理

「定期報告入力票のコピー処理」については、定期報告入力票（年金）と同様であるので、Ⅱ-8-16 ページを参照のこと。

なお、本処理は定期報告の受付を迅速に行うための付加機能であるため、必ずしも「コピー処理」によって入力しなければならないというものではない。

(ﾛ) 援護費支給終了後の定期報告入力票（援護費）の入力

援護費支給終了後も「定期報告入力票（援護費)」の入力は可能であるが、(定期報告書用紙作成後）転帰した場合は入力できない。(入力した場合は、キャンセルとなる。)

(ハ) 本帳票による援護費受給関係の変更入力について

援護費受給者に係る上級学校への進学、あるいは退学・停学等の受給関係の変更については、本来であれば受給権者より提出される「労災就学等援護費支給・変更申請書」の提出を待って、その帳票（帳票種別 39565 及び 39564）によって行うべきものであるが、これらの情報は「労災就学等援護費支給対象者の定期報告書」によって把握されることから、便宜上本帳票にて入力できることとしたものである。

したがって、受給権者より「労災就学等援護費支給対象者の定期報告書」とは別に「労災就学等援護費支給・変更申請書」（帳票種別 39565 及び 39564）の提出があった場合においては、本帳票（帳票種別 39584）にて定期報告の受付のみを行い、進学、退学等の情報については「労災就学等援護費支給・変更申請書」（帳票種別 39565 及び 39564）によって入力しても差し支えない。

(ニ) 定期報告書内容照会状の出力について

本帳票の「照会状コード」に入力を行うことにより、「定期報告書内容照会状」（帳票種別 460）を出力することができるが、この処理は本帳票の「受付」（定期報告受付年月日の入力時）又は「受付・登記」（定期報告受付年月日及び援護費情報の登記時）と同時に入力した場合のみ行うことができる。

したがって、「定期報告書内容照会状」の出力は１度限りであり、本帳票の「受付」又は「受付・登記」時以外はその要求を入力することはできないので、受給権者（支払権者）から定期報告書が提出された場合にはその内容を審査した上で、「定期報告書内容照会状」の出力が必要な場合には「受付」又は「受付・登記」時に必ず同時に行うこと。

なお、「定期報告書内容照会状」（帳票種別 460）の詳細については、「定期報告書提出照会状・内容照会状」（Ⅱ-9-126 ページ）を参照のこと。

(ホ) 在学者等を２人以上入力した場合の取扱い

在学者等を２人以上入力する場合には、以下の点に留意すること。

① 「取消」入力を行った場合は、在学者等のすべての定期報告受付年月日の取消しを行う。

したがって、権者払い時であって権者毎に別々に定期報告書の提出の対象としている場合であっても、特定の在学者等のみの受付年月日の取消しはできない。

なお、この場合にあっては一旦取消した後、取消の対象となっていない在学者等を再度入力し直すこと。

② 同一帳票にて在学者等２人以上の変更を行う場合は、「学校情報（支給決定）」と「変更」は混在して入力することはできない。

例えば、「在学者・要保育児１」の「学校情報」欄で高等学校への進学の支給決定を行い、「在学者・要保育児２」の「変更」欄で大学の停学を入力するなどといった同一帳票にて支給区分の変更と中断復帰転帰といった二つの異なる処理を同時に入力することはできない。

この場合においては、「在学者・要保育児１」の「学校情報」欄で高等学校への進学支給決定と「在学者・要保育児２」の「変更」欄で大学の停学をそれぞれ別々の帳票（定期報告入力票（就学等援護費））で入力するか（もう一枚の帳票は各署に配布されている予備の帳票を用いること）、又は本帳票ではなく帳票種別 39565 及び 39564「労災就学等援護費支給・変更申請書」を用いて入力すること。

③　在学者等２人以上の変更を行う場合は、支給開始年月日又は変更年月はすべて同月とする。

例えば、「在学者・要保育児１」で高等学校への入学、「在学者・要保育児２」で大学への入学を同一帳票で同時に行う場合、その支給開始年月は同一である必要がある。

(ﾍ)　定期報告入力票に記入する受付年月日について

当年度の定期報告を受付入力する場合は、６月初日以降の日付を記入すること。

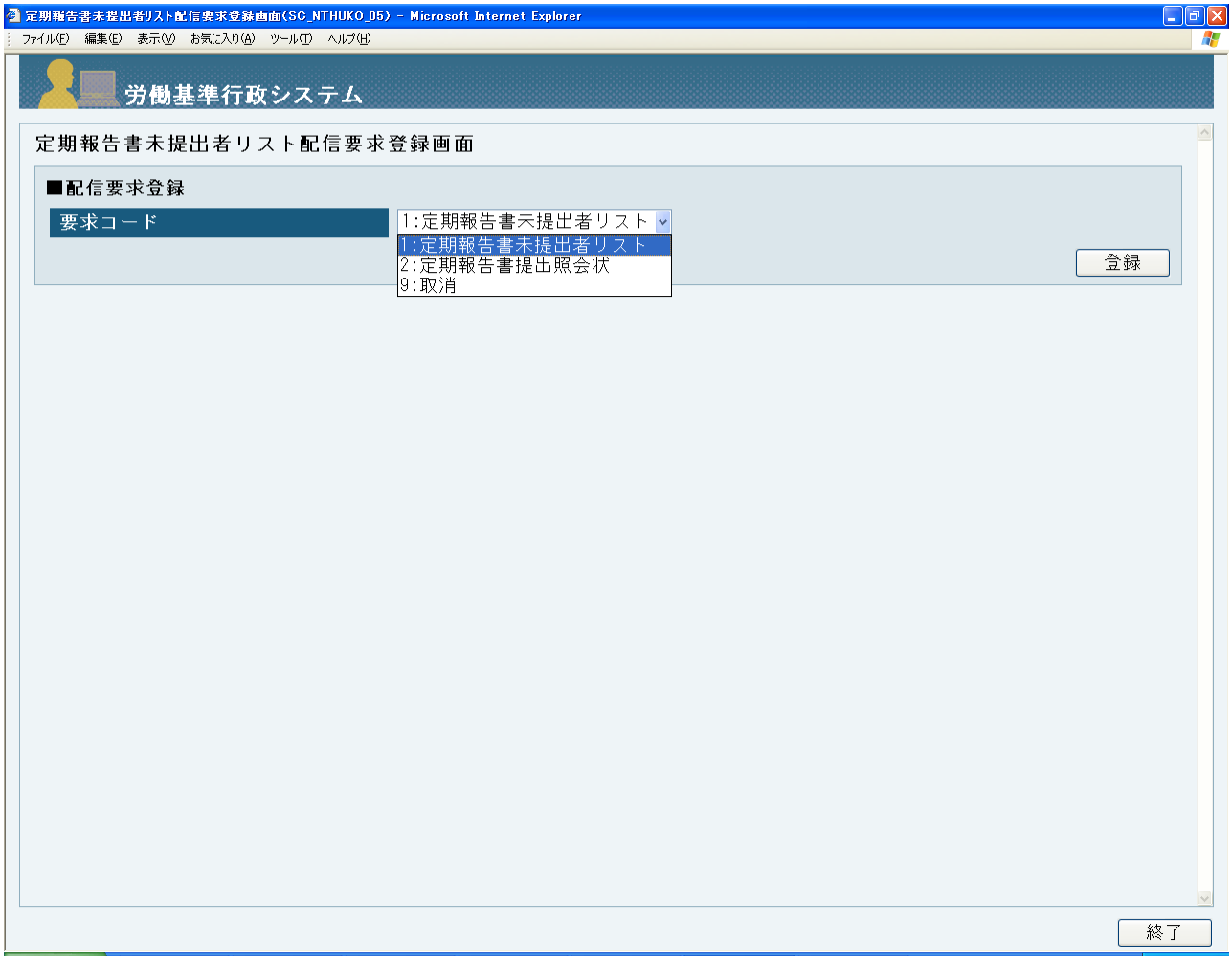
# (打鍵入力処理)

(3) 定期報告書未提出者リスト配信要求

定期報告書未提出者リスト及び定期報告書提出照会状については、画面から入力して配信要求を行う。

イ　配信画面

本帳票は帳票用紙ではなく、業務メニューより、「定期報告書未提出者リスト配信要求登録」を選択し、入力するものである。




ロ　入力項目と入力要領

| 番号 | 入力項目 | 入力要領 |
|---|---|---|
| 1 | 要求コード | リストボックスから、次の区分のいずれかを選択する。<br>1:定期報告書未提出者リスト<br>2:定期報告書提出照会状<br>9:取消 |
| － | 登録 | 要求コードを選択後、登録ボタンを押下する。 |
| － | 終了 | 入力画面を閉じる場合は、終了ボタンを押下する。 |

ハ　出力帳票

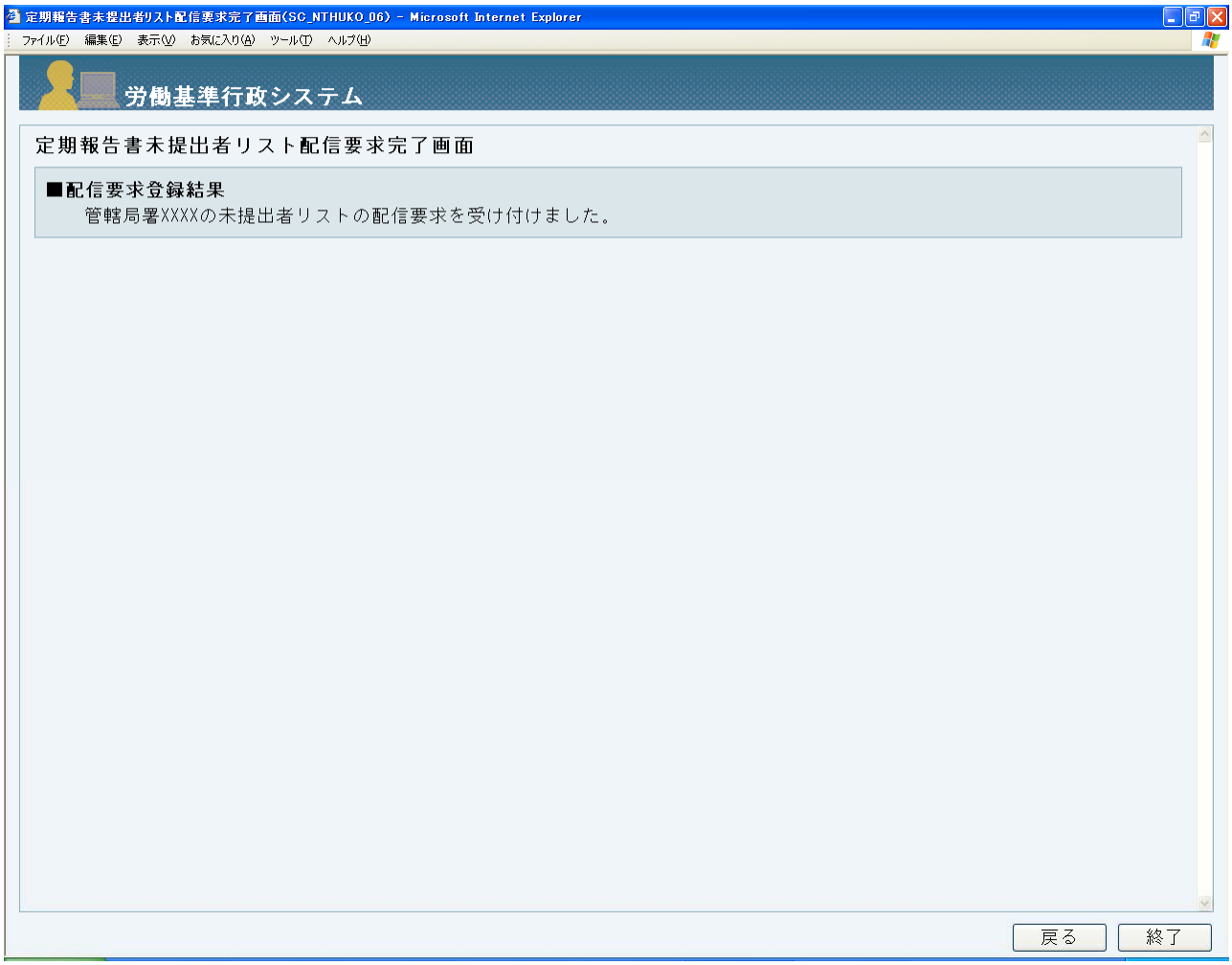
| 出力帳票等名 | 出力<br>帳票番号 | 配信<br>要求 | 取消 | 出力端末 |
|---|---|---|---|---|
| 定期報告書未提出者リスト | － | ● | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 定期報告書提出照会状 | 460 | ● | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |
| 定期報告書提出照会状<br>（特別遺族） | 494 | ● | × | ＯＣＲ<br>専用プリンタ |

● ･･･ 配信、× ･･･ 出力しない

ニ　定期報告書未提出者リスト配信要求時の出力画面

定期報告書未提出者リスト配信要求の入力処理が正常に終了した場合又はキャンセルの場合は、定期報告書未提出状況リスト配信要求完了画面を出力する。

(ｲ)　完了画面




【定期報告書未提出者リスト配信要求完了画面に表示されるメッセージ】

入力した要求コードにより下記のいずれかのメッセージが表示される。

(1)「定期報告書未提出者リスト」を配信要求した場合

(IN_00003) 管轄局署○○○○の「未提出者リスト」の配信要求を受け付けました

(2)「定期報告書提出照会状」を配信要求した場合

(IN_00003) 管轄局署○○○○の「提出照会状」の配信要求を受け付けました

(3)「取消」を入力した場合

(IN_00004) 「未提出者リスト」及び「提出照会状」の配信要求を取り消しました

(注)①「管轄局署○○○○」は入力局署

②「定期報告書未提出者リスト」あるいは「定期報告書提出照会状」のどちらか一方のみの「取消」はできない。

③キャンセルの場合は、エラー内容に応じたメッセージを表示する。

ホ　出力帳票様式

「定期報告書未提出者リスト」及び「定期報告書提出照会状」の様式は以下のとおりであるが、出力項目の詳細については「Ⅳ業務資料」の各該当項目を参照のこと。

(ｲ) 定期報告書未提出者リスト（Ⅳ-5-4 ページ参照）

＊＊＊　定期報告書未提出者リスト　＊＊＊　出力日付：平成XX年XX月XX日　1ページ

01-01

| 番号 | 年金証書番号 | 枝番 | 受給権者氏名 | 電話番号 | 種別 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 999999999 | XX | XXXXXXXXXXXXXXXXXX | XXXXXXXXXXXXXX | XXXXXX | XXXXXXXXXXX |
| 2 | 999999999 | XX | XXXXXXXXXXXXXXXXXX | XXXXXXXXXXXXXX | XXXXXX | XXXXXXXXXXX |
| 3 | 999999999 | XX | XXXXXXXXXXXXXXXXXX | XXXXXXXXXXXXXX | XXXXXX | XXXXXXXXXXX |
| 4 | 999999999 | XX | XXXXXXXXXXXXXXXXXX | XXXXXXXXXXXXXX | XXXXXX | XXXXXXXXXXX |
| 5 | 999999999 | XX | XXXXXXXXXXXXXXXXXX | XXXXXXXXXXXXXX | XXXXXX | XXXXXXXXXXX |

(ﾛ)　　定期報告書提出照会状（Ⅱ-9-126 ページ参照）

a　定期報告書提出照会状（年金及び援護費両方の場合）

460　労働者災害補償保険　　はがき

定期報告書について

| 年金証書番号 | ― |
|---|---|

あなたの「年金定期報告書」及び「就学等援護費定期報告書」が提出期限である××月××日までに提出されておりません。
提出がない場合は年金が差し止められますので至急提出してください。
なお、本状到着前に提出済のときは、行き違いにつきご容赦願います。

年　月　日

労働基準監督署長㊞

電話番号

b　定期報告書提出照会状（年金のみの場合）

460　労働者災害補償保険　　はがき

定期報告書について

| 年金証書番号 | ― |
|---|---|

あなたの「年金定期報告書」が提出期限である××月××日までに提出されておりません。
提出がない場合は年金が差し止められますので至急提出してください。
なお、本状到着前に提出済のときは、行き違いにつきご容赦願います。

年　月　日

労働基準監督署長㊞

電話番号

c　定期報告書提出照会状（援護費のみの場合）

460　労働者災害補償保険　　はがき

定期報告書について

| 年金証書番号 | － |
|---|---|

あなたの「就学等援護費定期報告書」が提出期限である××月××日までに提出されておりません。

提出がない場合は年金が差し止められますので至急提出してください。

なお、本状到着前に提出済のときは、行き違いにつきご容赦願います。

年　月　日

労働基準監督署長㊞

電話番号

(ハ)　定期報告書提出照会状（特別遺族）

494　石綿健康被害救済法　　はがき

定期報告書について

| 年金証書番号 | － |
|---|---|

あなたの「特別遺族年金の受給権者の定期報告書」が提出期限である××月××日までに提出されておりません。

提出がない場合は年金が差し止められますので至急提出してください。

なお、本状到着前に提出済のときは、行き違いにつきご容赦願います。

年　月　日

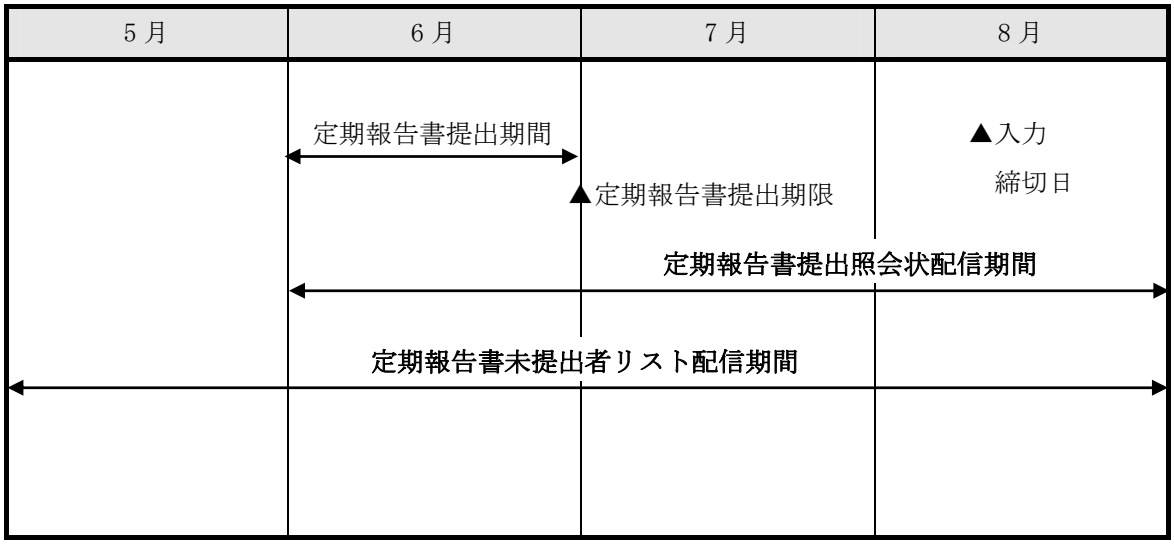
労働基準監督署長㊞

電話番号

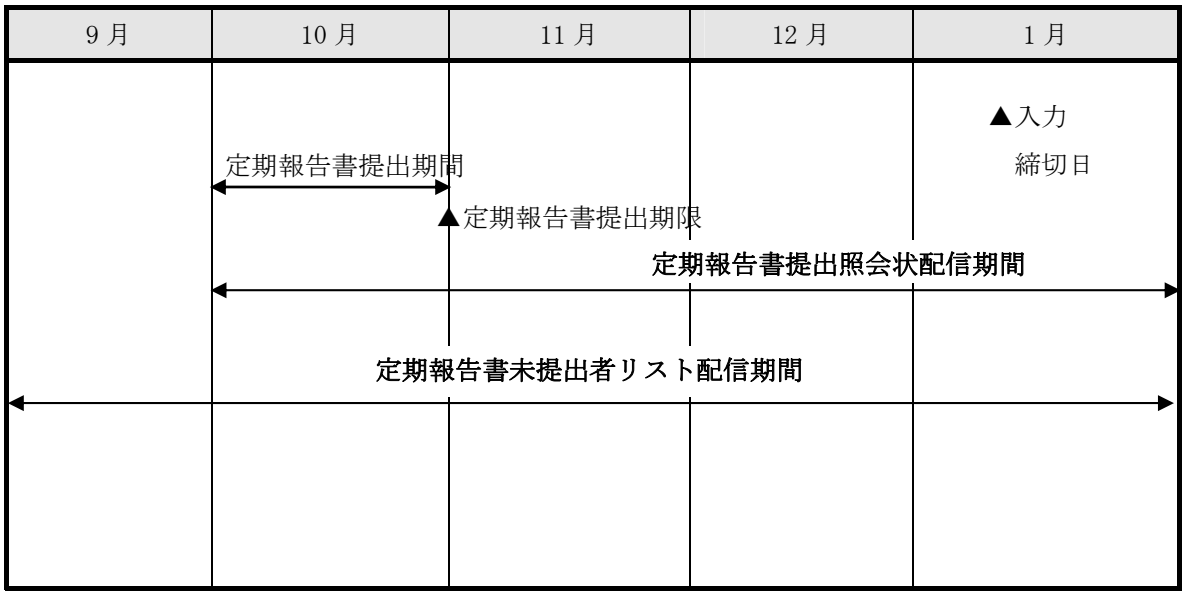
ヘ　配信要求期間

本配信の配信要求期間は下図のとおり。

●　6 月 30 日提出期限の場合（Ａグループの年金・援護費）




●　10 月 31 日提出期限の場合（Ｂグループの年金）



ト　留意点

(ｲ)　配信要求の受付時においては入力を確認するリスト等は配信されないので、入力の証拠が必要な場合には、定期報告書未提出者リスト配信要求完了画面の画面複写（ハードコピー）をとること。

(ﾛ)　配信は、配信要求入力日現在の状況を翌日（休日の場合は次の業務日）に行う。

(ﾊ)　同日に「定期報告書未提出者リスト」と「定期報告書提出照会状」の両方を配信要求した場合は、その両方を翌日（休日の場合は次の業務日）に配信する。

(ﾆ)　取消ができるのは、配信要求を入力した当日のみである。

(ﾎ)　同日に「定期報告書未提出者リスト」と「定期報告書提出照会状」の両方を配信要求した後、取消コード「９」を入力した場合はその両方が取り消されることとなるので、どちらか一方を配信要求したい場合は再度入力すること。

(ﾍ)　「定期報告書未提出者リスト」又は「定期報告書提出照会状」を配信要求したにもかかわらず、その対象者がいない場合には「配信帳票 460（494)」（ハガキ）に

＊　＊　該　当　データ　な　し　＊　＊

と印字される。

(ﾄ)　「定期報告書提出照会状」は、配信要求当日現在の定期報告未提出者分が全て印字される。

(ﾁ)　配信については、コマンド配信となる。

なお、出力（配信）場所については、「定期報告書未提出者リスト」については署の汎用プリンタに、「定期報告書提出照会状」については署のＯＣＲ専用プリンタに、それぞれ配信される。

# 9

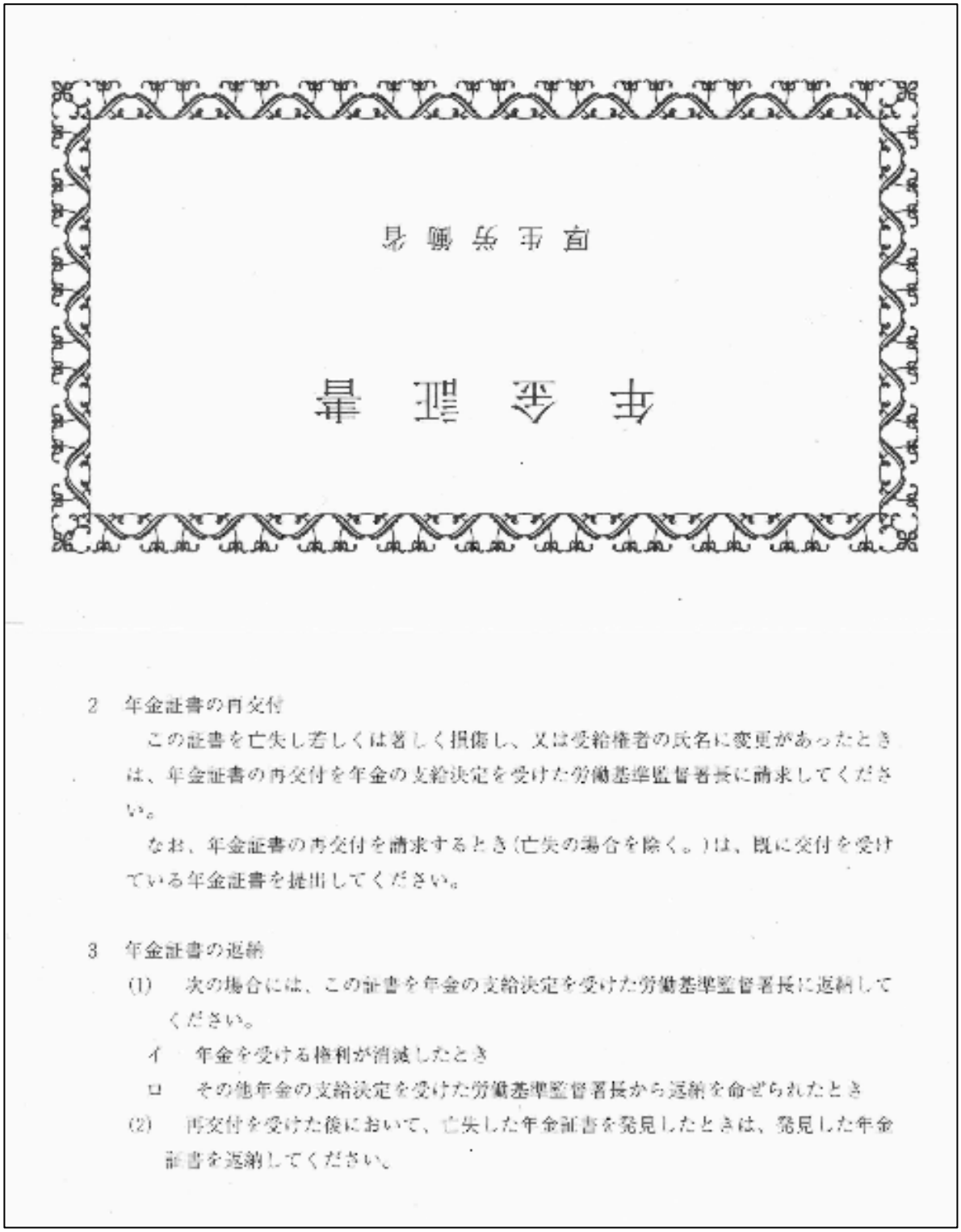
# 出力帳票等

(1)　年金証書

①　年金証書

イ　様式

（表面）




2　年金証書の再交付

この証書を亡失し若しくは著しく損傷し、又は受給権者の氏名に変更があったときは、年金証書の再交付を年金の支給決定を受けた労働基準監督署長に請求してください。

なお、年金証書の再交付を請求するとき（亡失の場合を除く。）は、既に交付を受けている年金証書を提出してください。

3　年金証書の返納

(1)　次の場合には、この証書を年金の支給決定を受けた労働基準監督署長に返納してください。

イ　年金を受ける権利が消滅したとき

ロ　その他年金の支給決定を受けた労働基準監督署長から返納を命ぜられたとき

(2)　再交付を受けた後において、亡失した年金証書を発見したときは、発見した年金証書を返納してください。

（裏面）

労働者災害補償保険

# 年　金　証　書

450

| 管轄局署 | 年金証書の番号 | 枝番号 | 被災労働者の生年月日 | 再発行番号 |
|---|---|---|---|---|
| | | | 年　月　日 | |
| 受給権者の氏名 | | | | |
| 受給権者の生年月日 | | | 年　月　日 | |
| 年金たる保険給付の種類 | | | | |
| 支給事由が生じた年月日 | | | 年　月　日 | |

労働者災害補償保険法によって上記の保険給付を行うことに決定したことを証します。

年　月　日

労働基準監督署長

（注意）

1　年金証書の提示又は提出

(1)　郵便局において年金の支払を受けようとするときは、窓口に支払通知書を提出するとともにこの証書を提示してください。

(2)　年金の支給決定を受けた労働基準監督署長から年金証書の提示又は提出を命ぜられたときは、その労働基準監督署長にこの証書を提示又は提出してください。

(3)　病院若しくは診療所、薬局又は訪問看護事業者（以下「指定病院等」という。）において傷病補償年金又は傷病年金の受給権者がその傷病に係る療養の給付を受けようとするときは、その指定病院等にこの証書を提示してください。また、その療養の給付を受ける指定病院等を変更しようとするときは、その旨の届書を変更先の指定病院等を経由して提出するとともに、この証書をその指定病院等に提示してください。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 管轄局署を印字する。 |
| 年金証書の番号 | 年金証書番号を印字する。 |
| 枝番号 | 遺族（補償）年金の場合のみ、受給権者の枝番号を印字する。 |
| 被災労働者の生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 再発行番号 | 年金証書の再交付を行った場合等に、１から順に印字する。 |
| 受給権者の氏名 | （上段）受給権者の氏名をカタカナで印字する。 |
| | （下段）受給権者の氏名を漢字で印字する。外国払の場合は、受給権者の氏名をアルファベットで印字する。 |
| 受給権者の生年月日 | 受給権者の生年月日を印字する。 |
| 年金たる保険給付の種類 | 保険給付の種類を次のとおり印字する。<br>傷病補償年金、傷病年金<br>障害補償年金、障害年金<br>遺族補償年金、遺族年金 |
| 支給事由が生じた年月日 | 支給事由発生年月日（治ゆ年月日、死亡年月日等）を印字する。 |

② 年金証書（特別遺族）

イ 様式

石綿健康被害救済法

**特別遺族年金証書**

440

| 管轄局署 | 年金証書の番号 | 枝番号 | 死亡労働者等の生年月日 | 再発行番号 |
|---|---|---|---|---|
| | | | 年 月 日 | |
| 受給権者の氏名 | | | | |
| 受給権者の生年月日 | | | 年 月 日 | |
| 請求年月日 | | | 年 月 日 | |

石綿による健康被害の救済に関する法律によって上記の特別遺族年金の支給を行うことに決定したことを証します。

年 月 日

労働基準監督署長

（注意）

1 年金証書の提示又は提出

(1) 郵便局において年金の支払を受けようとするときは、窓口に支払通知書を提出するとともにこの証書を提示してください。

(2) 年金の支給決定を受けた労働基準監督署長から年金証書の提示又は提出を命ぜられたときは、その労働基準監督署長にこの証書を提示又は提出してください。

2 年金証書の再交付

この証書を亡失し若しくは著しく損傷し、又は受給権者の氏名に変更があったときは、年金証書の再交付を年金の支給決定を受けた労働基準監督署長に請求してください。

なお、年金証書の再交付を請求するとき（亡失の場合を除く。）は、既に交付を受けている年金証書を提出してください。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 管轄局署を印字する。 |
| 年金証書の番号 | 年金証書番号を印字する。 |
| 枝番号 | 受給権者の枝番号を印字する。 |
| 死亡労働者の生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 再発行番号 | 年金証書（特別遺族）の再交付を行った場合等に、１から順に印字する。 |
| 受給権者の氏名 | （上段）受給権者の氏名をカタカナで印字する。 |
| | （下段）受給権者の氏名を漢字で印字する。 |
| 受給権者の生年月日 | 受給権者の生年月日を印字する。 |
| 請求年月日 | 支給事由発生年月日を印字する。 |

(2)　支給決定通知書

①　支給決定通知書

イ　様式

労働者災害補償保険
年　金　給　付　等

(451)

年　月　日

電話番号

あなたが請求・申請された保険給付・特別支給金を下記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長

○ この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

○ (1) 下記の保険給付に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に上記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

(2) 審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して６０日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求をした日から３ヶ月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

(3) 本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。ただし、①再審査請求をした日から３ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | 災害種別 | |
| 保険給付等の種類 | | | |
| 保険給付 | | 傷病年月日 | 年　月　日 |
| 特別支給金 | | 療養開始年月日 | 年　月　日 |
| | | 支給事由発生年月日 | 年　月　日 |
| | | 支給決定年月日 | 年　月　日 |
| 援護費等 | 未支給の援護費※ | 三者損賠受領額 | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 算定基礎 | 平均賃金 | 特別給与の総額 | 既存障害 | [illegible] | 傷病障害等級号 | 算定人数　人 | スライド率　% | 重大過失 / [illegible]　% |
| | (給付日額 × | 給付日数 | 厚年等調整率（額）) × | 支給制限率　% | = | 保険給付額 | | |
| | 算定日額 × | 給付日数 | × | 支給制限率　% | = | 特別一時金額等 | | |

| 一時金額の調整等 | 前給付過誤払額 | 休業内払額 | 回収額合計 | 調整額処理方法 |
|---|---|---|---|---|
| 保険給付額 | | | | |
| 特別支給金 | | | | |

| 備考 | |
|---|---|

※の合計金額から回収額合計・三者損賠受領額を差し引いた額が一時金振込（支払）金額です。
ただし、特別支給金については三者損賠受領額との調整は行われません。
年金の支払日が土曜日・日曜日又は祝祭日の場合は、金融機関等の直前の営業日となります。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| あて名 | 郵便番号、住所、氏名を別表 9－1（Ⅱ-9-11 ページ）及び 9－2（Ⅱ-9-12 ページ）のとおり印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、登録票で振り出したデータ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ)」＋「年金証書番号 9 桁」＋「チェックデジット 1 桁」＋「決議番号 3 桁」＋「0000」の 20 桁　　このうち年金証書番号 9 桁を除く 11 桁を印字 |
| 監督署名称等 | 支給決定を行った監督署名称、住所及び電話番号を印字する。 |
| 年月日 | 印字しない。 |
| 上方標題 | ＜年金給付の場合＞<br>“年金・一時金支給決定通知”を印字する。<br>＜一時金給付の場合＞<br>“一時金支給決定通知”を印字する。<br>詳細は別表 9－3（Ⅱ-9-13 ページ）のとおり。 |
| 年金証書番号 | 決議書に印字した年金証書番号を印字する。 |
| 災害種別 | 「業務災害」又は「通勤災害」を印字する。 |
| 保険給付等の種類 | 様式番号により給付の名称を別表 9－4（Ⅱ-9-14 ページ）のとおり印字する。 |
| 保険給付 | ＜見出し＞<br>“年金年額”及び“一時金※”をそれぞれ別表 9－5（Ⅱ-9-17 ページ）のとおり印字する。<br>＜金額＞<br>決議書に印字した支給決定額等を印字する。 |
| 特別支給金 | ＜見出し＞<br>“特別年金年額”、“差額年金年額”、“定額特支金”、“特別一時金”を給付別に別表 9－5（Ⅱ-9-17 ページ）のとおり印字する。<br>＜金額＞<br>決議書に印字した支給決定額を印字する。 |
| 援護費等 | 決議書に印字した未支給の援護費額を印字する。 |
| 傷病年月日 | 決議書に印字した傷病年月日を印字する。 |
| 療養開始年月日 | 決議書に印字した療養開始年月日を印字する。 |
| 支給事由発生年月日 | 決議書に印字した支給事由発生年月日を印字する。 |
| 支給決定年月日 | 決議書に記入した支給決定年月日を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 三者損賠受領額 | 決議書に印字した三者損賠受領額を印字する。 |
| 平均賃金 | 決議書に印字した平均賃金を印字する。 |
| 特別給与の総額 | 決議書に印字した特別給与の総額を印字する。 |
| 既存障害 | 決議書に印字した既存障害区分及び既存障害等級を印字する。 |
| 併合８級コード | 決議書に印字した併合８級コードを印字する。 |
| 傷病・障害等級号 | 決議書に印字した傷病・障害等級号を印字する。 |
| 算定人数 | 決議書に印字した算定人数を印字する。 |
| スライド率 | 決議書に印字したスライド率を印字する。 |
| 重大過失 | 決議書に印字した重大過失コードを印字する。 |
| 滞納率 | 決議書に印字した滞納制限率コードを印字する。 |
| 給付日額 | 決議書に印字した給付日額を印字する。 |
| 給付日数 | 決議書に印字した給付日数を印字する。 |
| (記号) | 決議書に印字した記号（＋、－、×）を印字する。 |
| 厚年等調整率（額） | 決議書に印字した厚年等調整率（額）を印字する。 |
| 支給制限率 | 決議書に印字した支給制限率を印字する。 |
| 保険給付額 | 決議書に印字した保険給付額を印字する。 |
| 算定日額 | 決議書に印字した算定日額を印字する。 |
| 給付日数 | 決議書に印字した給付日数を印字する。 |
| 支給制限率 | 決議書に印字した支給制限率を印字する。 |
| 特別一時金額等 | 決議書に印字した特別一時金額等を印字する。 |
| 保険給付額 | ＜前給付過誤払額＞<br>決議書に印字した金額を印字する。<br>＜休業内払額＞<br>決議書に印字した金額を印字する。<br>＜回収額合計＞<br>決議書に印字した金額を印字する。<br>＜調整額処理方法＞<br>決議書に印字した処理方法を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 特別支給金 | ＜前給付過誤払額＞<br>決議書に印字した金額を印字する。<br>＜休業内払額＞<br>決議書に印字した金額を印字する。<br>＜回収額合計＞<br>決議書に印字した金額を印字する。<br>＜調整額処理方法＞<br>決議書に印字した処理方法を印字する。 |
| 備考 | メッセージを印字する。<br>詳細は別表 9－6（Ⅱ-9-18 ページ）のとおり。<br>一時金の他給付連携処理（訂正）の場合は、次のメッセージを印字する。<br>「この決定の内容は、別紙の一時金内訳リストのとおりです」 |

■　別表 9－1【宛名（住所・郵便番号）】

| 給付の種類 | 様式番号 | 住所・郵便番号 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 委任未支給以外 | 委任：1 | 未支給：3 | 未支給の委任：5 |
| 傷病(補償)年金 | 16-02<br>16-11 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | ×<br>※2 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 |
| 障害(補償)年金 | 10-00<br>16-07 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | ×<br>※2 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒 |
| 遺族(補償)年金 | 12-00<br>16-08 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | ×<br>※2 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | ×<br>※2 |
| 障害(補償)一時金 | 10-00<br>16-07 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | ×<br>※2 | × | ×<br>※2 |
| 障害(補償)年金<br>前払一時金 | 00-10 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | ×<br>※2 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 |
| 遺族(補償)年金<br>前払一時金 | 00-01 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | ×<br>※2 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 |
| 遺族(補償)一時金<br>(失権差額一時金) | 15-00<br>16-09 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | × | × | × |
| 障害(補償)年金<br>差額一時金 | 37-02 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | ×<br>※2 | × | ×<br>※2 |
| 葬祭料・葬祭給付 | 16-00<br>16-10 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | ×<br>※2 | × | ×<br>※2 |
| 未支給金・<br>未支給年金 | 04-00 | 支払権者<br>住所（漢字）・〒<br>※1 | ×<br>※2 | × | ×<br>※2 |

×…印字しない

※1　外国送金の場合は、住所（外国）を出力する。なお、住所情報が存在しない場合は出力しない。

※2　委任の場合は、住所・氏名を印字した支払権者向けの通知書と、住所・氏名を印字しない受任者向けの通知書の 2 枚を出力する。

■　別表 9－2【宛名（氏名）】

| 給付の種類 | 様式番号 | 氏名 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 委任未支給以外 | 委任：1 | 未支給：3 | 未支給の委任：5 |
| 傷病(補償)年金 | 16-02<br>16-11 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | ×<br>※2 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 |
| 障害(補償)年金 | 10-00<br>16-07 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | ×<br>※2 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 |
| 遺族(補償)年金 | 12-00<br>16-08 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | ×<br>※2 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | ×<br>※2 |
| 障害(補償)一時金 | 10-00<br>16-07 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | ×<br>※2 | 請求人・申請人<br>氏名（カナ） | ×<br>※2 |
| 障害(補償)年金<br>前払一時金 | 00-10 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | ×<br>※2 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 |
| 遺族(補償)年金<br>前払一時金 | 00-01 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | ×<br>※2 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 |
| 遺族(補償)一時金<br>(失権差額一時金) | 15-00<br>16-09 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | ×<br>※2 | 請求人・申請人<br>氏名（カナ） | ×<br>※2 |
| 障害(補償)年金<br>差額一時金 | 37-02 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | ×<br>※2 | 請求人・申請人<br>氏名（カナ） | ×<br>※2 |
| 葬祭料・葬祭給付 | 16-00<br>16-10 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | ×<br>※2 | 請求人・申請人<br>氏名（カナ） | ×<br>※2 |
| 未支給金・<br>未支給年金 | 04-00 | 支払権者<br>氏名(漢字)<br>※1 | ×<br>※2 | 請求人・申請人<br>氏名（カナ） | ×<br>※2 |

×…印字しない

※1　外国送金の場合は、氏名（外国）を出力する。なお、氏名が存在しない場合は請求人・申請人氏名（カナ）を出力する。

※2　委任の場合は、住所・氏名を印字した支払権者向けの通知書と、住所・氏名を印字しない受任者向けの通知書の 2 枚を出力する。

■　別表 9－3【上方標題】

| 給　付　の　種　類 | 印　字　内　容 |
|---|---|
| 傷病（補償）年金<br>障害（補償）年金<br>遺族（補償）年金 | 年金・一時金支給決定通知 |
| 障害（補償）一時金・遺族（補償）一時金<br>障害（補償）年金前払一時金<br>遺族（補償）年金前払一時金<br>障害（補償）年金差額一時金<br>遺族（補償）一時金（失権差額一時金）<br>未支給金<br>葬祭料（給付） | 一時金支給決定通知 |

■　別表 9－4【保険給付等の種類】

| No. | 様式番号 | 給　付　の　名　称<br>印　字　内　容 |
|---|---|---|
| 1 | 10-00 | 障害補償年金・障害特別支給金・障害特別年金 |
| | | 障害補償一時金・障害特別支給金・障害特別一時金 |
| | | 障害特別支給金・障害特別一時金 |
| | | 未支給の障害特別支給金・障害特別一時金 |
| | | 未支給の障害補償一時金・障害特別支給金・障害特別一時金 |
| 2 | 16-07 | 障害年金・障害特別支給金・障害特別年金 |
| | | 障害一時金・障害特別支給金・障害特別一時金 |
| | | 障害特別支給金・障害特別一時金 |
| | | 未支給の障害特別支給金・障害特別一時金 |
| | | 未支給の障害補償一時金・障害特別支給金・障害特別一時金 |
| 3 | 90-03 | 障害一時金・障害特別支給金・障害特別一時金 |
| | | 障害特別支給金・障害特別一時金 |
| | | 未支給の障害特別支給金・障害特別一時金 |
| | | 未支給の障害一時金・障害特別支給金・障害特別一時金 |
| 4 | 12-00 | 遺族補償年金・遺族特別支給金・遺族特別年金 |
| 5 | 16-08 | 遺族年金・遺族特別支給金・遺族特別年金 |
| 6 | 15-00 | 遺族補償一時金・遺族特別支給金・遺族特別一時金 |
| | | 遺族補償一時金・遺族特別一時金 |
| | | 未支給の遺族補償一時金・遺族特別支給金・遺族特別一時金 |
| | | 未支給の遺族補償一時金・遺族特別一時金 |
| 7 | 16-09 | 遺族一時金・遺族特別支給金・遺族特別一時金 |
| | | 遺族一時金・遺族特別一時金 |
| | | 未支給の遺族一時金・遺族特別支給金・遺族特別一時金 |
| | | 未支給の遺族一時金・遺族特別一時金 |
| 8 | 16-02 | 傷病補償年金・傷病特別支給金・傷病特別年金 |
| | | 傷病年金・傷病特別支給金・傷病特別年金 |
| 9 | 16-11 | 傷病補償年金・傷病特別支給金・傷病特別年金 |
| | | 傷病年金・傷病特別支給金・傷病特別年金 |
| 10 | 16-00 | 葬祭料 |
| | | 未支給の葬祭料 |
| 11 | 16-10 | 葬祭給付 |
| | | 未支給の葬祭給付 |
| 12 | 00-10 | 障害補償年金前払一時金 |
| | | 障害年金前払一時金 |
| | | 未支給の障害年金前払一時金 |

| No. | 様式番号 | 給付の名称<br>印字内容 |
|---|---|---|
| 12 | 00-10 | 未支給の障害補償年金前払一時金 |
| 13 | 00-01 | 遺族補償年金前払一時金 |
| | | 遺族年金前払一時金 |
| | | 未支給の遺族年金前払一時金 |
| | | 未支給の遺族補償年金前払一時金 |
| 14 | 37-02 | 障害補償年金差額一時金 |
| | | 障害年金差額一時金 |
| | | 未支給の障害補償年金差額一時金 |
| | | 未支給の障害年金差額一時金 |
| 15 | 04-00 | 未支給の傷病補償年金・傷病特別年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の傷病補償年金 |
| | | 未支給の傷病補償年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の傷病補償年金・傷病特別年金 |
| | | 未支給の傷病年金・傷病特別年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の傷病年金 |
| | | 未支給の傷病年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の傷病年金・傷病特別年金 |
| | | 未支給の傷病特別年金 |
| | | 未支給の傷病特別年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の障害補償年金・障害特別年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の障害補償年金 |
| | | 未支給の障害補償年金・障害特別年金 |
| | | 未支給の障害補償年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の障害年金・障害特別年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の障害年金 |
| | | 未支給の障害年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の障害年金・障害特別年金 |
| | | 未支給の障害特別年金 |
| | | 未支給の障害特別年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の遺族補償年金・遺族特別年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の遺族補償年金 |
| | | 未支給の遺族補償年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の遺族補償年金・遺族特別年金 |
| | | 未支給の遺族年金・遺族特別年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の遺族年金 |
| | | 未支給の遺族年金・遺族特別年金 |

| No. | 様式番号 | 給　付　の　名　称<br>印　字　内　容 |
|---|---|---|
| 15 | 04-00 | 未支給の遺族年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の遺族特別年金 |
| | | 未支給の遺族特別年金・就学等援護費 |
| | | 未支給の就学等援護費 |
| | | 未支給の特別遺族年金 |

■　別表 9－5【見出し（金額漢字項目名称)】

| No. | 条　　件 | | 出　力　内　容 |
|---|---|---|---|
| 1 | ＜保険給付＞ | 年金 | 年金年額 |
| 2 | | 年金（未支給） | 年金※ |
| 3 | | 一時金 | 一時金※ |
| 4 | | 差額一時金 | 一時金※ |
| 5 | | 前払一時金 | 一時金※ |
| 6 | ＜特別支給金＞ | 特別年金 | 特別年金年額 |
| 7 | | 特別年金（未支給金） | 特別年金※ |
| 8 | | 傷病差額特別年金 | 差額年金年額 |
| 9 | | 定額の特別支給金 | 定額特支金※ |
| 10 | | 特別一時金 | 特別一時金※ |
| 11 | | 特別年金差額一時金 | 特別一時金※ |

（注）特別支給金の場合で複数給付が存在する場合は、上から順に出力する。

■　別表 9－6【備考欄への印字について】

| 条　　件 | 印　字　内　容 |
|---|---|
| 当期に三者調整を行う場合（年金） | 保険給付の年金は、第三者損害賠償との調整により支給停止されます。 |
| 三者受領額の入力がある場合（一時金） | 保険給付の一時金は、第三者損害賠償との調整を行います。 |
| 当期が若年停止の場合（年金） | 年金は 60 歳になるまで支給停止されます。 |
| 前払を支給決定した場合（一時金） | 保険給付の年金は、前払一時金との調整により支給停止されます。 |
| 内払を行う場合（年金・一時金） | 前給付の過誤払額を内払調整します。 |
| 充当を行う場合（年金・一時金） | 前給付の過誤払額を充当調整します。 |
| 追給が発生した場合（年金） | 追給額が発生しましたので、次の支払日に支払います。 |
| 年金給付の場合（三者調整・若年停止・前払調整を除く。） | 第一回の年金の支払日は××××年××月××日です。 |
| 一時金給付訂正の場合 | この決定の内容は、別紙一時金内訳リストのとおりです。 |
| 端数経過措置が終了する場合 | ×××年××月より年金年額等の切り上げ／切り捨ては行われません。 |
| 前払一時金調整残額を引継ぐ場合 | 前給付の前払一時金調整残額を引継ぎました。 |

② 支給決定通知書（特別遺族）

イ 様式

石綿健康被害救済法　　481

年　月　日

電話番号

あなたが請求された特別遺族給付金を下記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長

※ この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

(1) 下記の特別遺族給付金に関する決定(以下「本件処分」といいます。)に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に上記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官(以下「審査官」といいます。)に対して審査請求をすることができます。

(2) 審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して60日以内に労働保険審査会(以下「審査会」といいます。)に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求をした日から3ヶ月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

(3) 本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として(訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。)、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して6ヶ月以内に提起することができます(裁決があった日から1年を経過した場合を除きます。)。ただし、①再審査請求をした日から3ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | | | | |
| 特別遺族給付金の種類 | | | | | |
| 支給決定額 | | | 死亡年月日 | 年　月　日 | |
| | | | 請求年月日 | 年　月　日 | |
| | | | 支給決定年月日 | 年　月　日 | |
| 算定基礎 | 特別遺族給付金額 | | 算定人数 □人 | | |
| 一時金等の調整額 | | 前給付過誤払額 | | 回収額合計 | 調整額処理方法 |
| | 特別遺族給付金 | | | | |
| | | | | | |
| 備考 | | | | | |

※の合計金額から回収額合計・三者損賠受領額を差し引いた額が一時金振込（支払）金額です。

年金の支払日が土曜日・日曜日又は祝祭日の場合は、金融機関等の直前の営業日となります。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| あて名 | 郵便番号、住所、氏名を別表 9－7（Ⅱ-9-22 ページ）及び 9－8（Ⅱ-9-22 ページ）のとおり印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、登録票で振り出したデータ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ)」＋「年金証書番号 9 桁」＋「チェックデジット 1 桁」＋「決議番号 3 桁」＋「0000」の 20 桁　　このうち年金証書番号 9 桁を除く 11 桁を印字 |
| 監督署名称等 | 支給決定を行った監督署名称、住所及び電話番号を印字する。 |
| 年月日 | 支給決定通知書を出力した年月日を印字する。 |
| 上方標題 | ＜特別遺族年金給付の場合＞<br>“年金支給決定通知”を印字する。<br>＜特別遺族一時金給付の場合＞<br>“一時金支給決定通知”を印字する。 |
| 年金証書番号 | 決議書に印字した年金証書番号を印字する。 |
| 特別遺族給付金の種類 | 様式番号により給付の名称を別表 9－9（Ⅱ-9-23 ページ）のとおり印字する。 |
| 支給決定額 | ＜見出し＞<br>“年金年額”及び“一時金※”をそれぞれ別表 9－10（Ⅱ-9-23 ページ）のとおり印字する。<br>＜金額＞<br>決議書に印字した支給決定額等を印字する。 |
| 死亡年月日 | 決議書に印字した死亡年月日を印字する。 |
| 請求年月日 | 決議書に印字した請求年月日を印字する。 |
| 支給決定年月日 | 決議書に記入した支給決定年月日を印字する。 |
| 算定人数 | 決議書に印字した算定人数を印字する。 |
| 特別遺族給付金額 | 決議書に印字した特別遺族給付金額を印字する。 |
| 一時金の調整額等 | ＜前給付過誤払額＞<br>決議書に印字した金額を印字する。<br>＜回収額合計＞<br>決議書に印字した金額を印字する。<br>＜調整額処理方法＞<br>決議書に印字した処理方法を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 備考 | メッセージを印字する。<br>詳細は別表 9－11（Ⅱ-9-23 ページ）のとおり。 |

■ 別表 9－7【宛名（住所・郵便番号）】

| 給付の種類 | 様式番号 | 住所・郵便番号 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 委任未支給以外 | 委任：1 | 未支給：3 | 未支給の委任：5 |
| 特別遺族一時金 | 71-00 | 支払権者住所（漢字）・〒※1 | ×※2 | × | ×※2 |
| 特別遺族年金 | 70-00 | 支払権者住所（漢字）・〒※1 | 支払権者住所（漢字）・〒※2 | 支払権者住所（漢字）・〒※1 | 支払権者住所（漢字）・〒 |

×…印字しない

※1　外国送金の場合は、住所（外国）を出力する。なお、住所情報が存在しない場合は出力しない。

※2　委任の場合は、住所・氏名を印字した支払権者向けの通知書と、住所・氏名を印字しない受任者向けの通知書の 2 枚を出力する。

■ 別表 9－8【宛名（氏名）】

| 給付の種類 | 様式番号 | 氏名 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 委任未支給以外 | 委任：1 | 未支給：3 | 未支給の委任：5 |
| 特別遺族一時金 | 71-00 | 支払権者氏名(漢字)※1 | ×※2 | 請求人･申請人氏名(カナ)※1 | ×※2 |
| 特別遺族年金 | 70-00 | 支払権者氏名(漢字)※1 | 支払権者氏名(漢字)※2 | 支払権者氏名(漢字)※1 | 支払権者氏名(漢字)※2 |

×…印字しない

※1　外国送金の場合は、氏名（外国）を出力する。なお、氏名が存在しない場合は請求人・申請人氏名（カナ）を出力する。

※2　委任の場合は、住所・氏名を印字した支払権者向けの通知書と、住所・氏名を印字しない受任者向けの通知書の 2 枚を出力する。

■　別表 9－9【特別遺族給付の種類】

| No. | 様式番号 | 給　付　の　名　称<br>印　字　内　容 |
|---|---|---|
| 1 | 71-00 | 特別遺族一時金 |
| | | 未支給の特別遺族一時金 |
| 2 | 70-00 | 特別遺族年金 |

■　別表 9－10【見出し（金額漢字項目名称)】

| No. | 条　件 | | 出　力　内　容 |
|---|---|---|---|
| 1 | ＜保険給付＞ | 特別遺族年金 | 年金年額 |
| 2 | | 特別遺族一時金 | 一時金※ |

■　別表 9－11【備考欄への印字について】

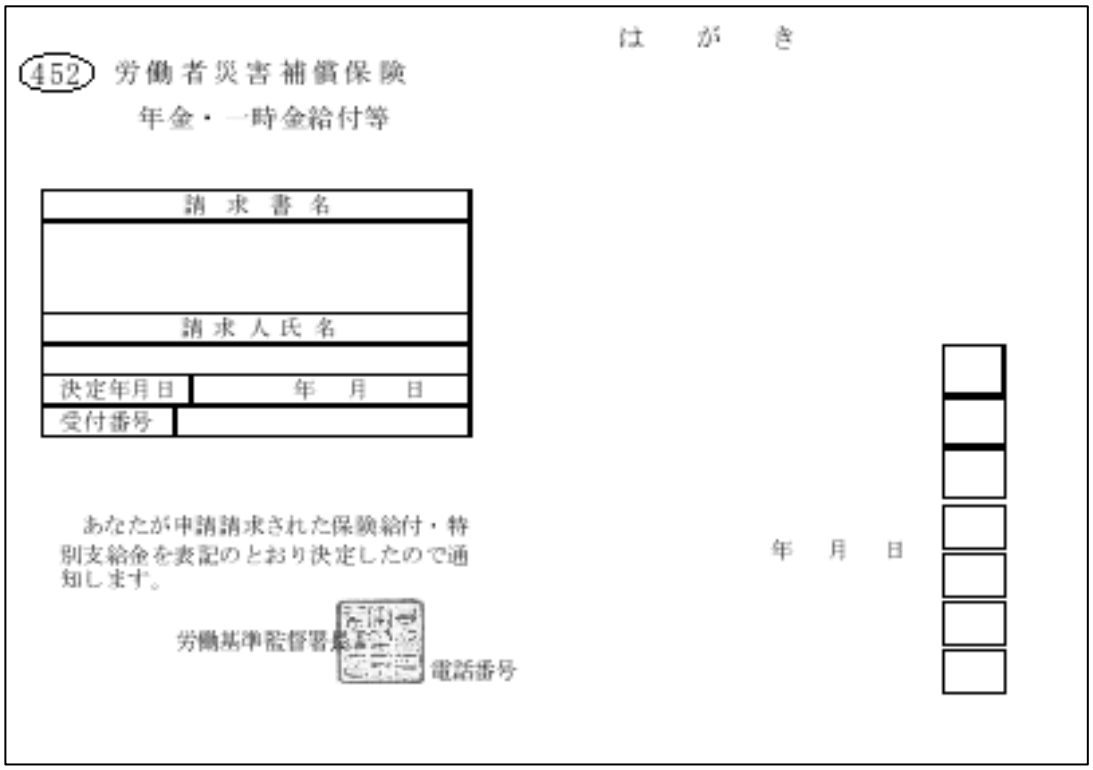
| 条　件 | 印　字　内　容 |
|---|---|
| 充当を行う場合（年金・一時金） | 前給付の過誤払額を充当調整します。 |
| 追給が発生した場合（年金） | 追給額が発生しましたので、次の支払日に支払います。 |
| 年金給付の場合<br>（三者調整・若年停止・前払調整を除く。） | 第一回の年金の支払日は××××年××月××日です。 |

(3)　不支給決定通知書

①　不支給決定通知書

イ　様式

a　表面



はがき

(452) 労働者災害補償保険
年金・一時金給付等

| 請求書名 |
| --- |
| |
| 請求人氏名 |
| |
| 決定年月日 | 年　月　日 |
| 受付番号 | |

あたたが申請請求された保険給付・特別支給金を表記のとおり決定したので通知します。

年　月　日

労働基準監督署長　印

電話番号

b　裏面



| 不支給・不変更理由 |
| --- |
| |

○ この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば，当署まで照会してください。

○ (1) 表記の特別遺族給付金に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には，本件処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に下記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

(2) 審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には，決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して６０日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし，審査請求をした日から3ヶ月を経過しても決定がないときは，決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

(3) 本件処分に対する取消訴訟は，当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に，国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。），再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して6ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。ただし，①再審査請求をした日から３ヶ月を経過しても裁決がないとき，②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき，のいずれかに該当するときは，審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また，①処分，処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき，②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき，のいずれかに該当するときは，審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| （上方標題） | “不支給決定通知”と印字する。 |
| 請求書名 | 請求書・申請書名を漢字で別表 9－12（Ⅱ-9-26 ページ）のとおり印字する。 |
| 請求人氏名 | 登録票で入力した請求人・申請人氏名を印字する。 |
| 決定年月日 | 支給決定決議書に入力した支給決定年月日を印字する。 |
| 受付番号 | 決議書に印字したデータ受付番号を印字する。 |
| 宛名 | 以下のとおり印字する。<br>郵便番号、住所<br>支払権者の住所（漢字）・〒を印字する。<br>但し、住所情報が存在しない場合は出力しない。<br>外国送金の場合は、住所（漢字）に代えて住所（外国）を出力する。<br><br>氏名<br>支払権者の氏名（漢字）を印字する。<br>但し、氏名（漢字）が存在しない場合は、請求人・申請人氏名（カナ）を出力する。<br>外国送金の場合は、氏名（漢字）に代えて氏名（外国）を出力する。 |
| 年月日 | 不支給決定通知書を出力した日を印字する。 |
| 監督署名等 | 監督署名、郵便番号、住所及び電話番号を印字する。 |

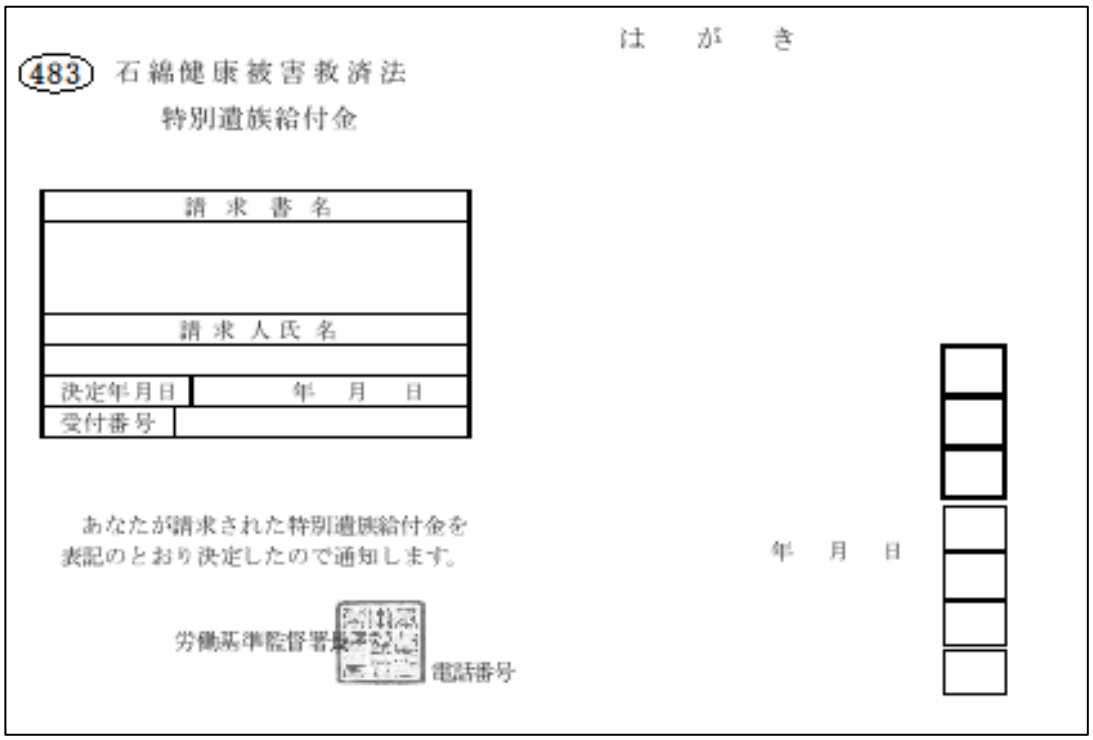
■　別表 9－12【請求書・申請書名（請求）】

| 様式番号 | 請　求　書　・　申　請　書　名 |
|---|---|
| 10-00 | 障害補償給付支給請求書 |
| 16-07 | 障害給付支給請求書 |
| 12-00 | 遺族補償年金支給請求書 |
| 16-08 | 遺族年金支給請求書 |
| 15-00 | 遺族補償一時金支給請求書 |
| 15-00 | 遺族補償差額一時金支給請求書 |
| 16-09 | 遺族一時金支給請求書 |
| 16-09 | 遺族差額一時金支給請求書 |
| 16-02 | 傷病の状態等に関する届 |
| 16-11 | 傷病の状態等に関する報告書 |
| 16-00 | 葬祭料請求書 |
| 16-10 | 葬祭給付請求書 |
| 00-10 | 障害（補償）年金前払一時金請求書 |
| 00-01 | 遺族（補償）年金前払一時金請求書 |
| 37-02 | 障害年金差額一時金支給請求書 |
| 37-02 | 障害補償年金差額一時金支給請求書 |
| 04-00 | 未支給の保険給付支給請求書 |

② 不支給決定通知書（特別遺族）

イ 様式

a 表面



はがき

(483) 石綿健康被害救済法
特別遺族給付金

| 請求書名 |
| --- |
| |
| 請求人氏名 |
| |
| 決定年月日 | 年 月 日 |
| 受付番号 | |

あなたが請求された特別遺族給付金を
表記のとおり決定したので通知します。

年 月 日

労働基準監督署長

電話番号

b 裏面



| 不支給・不変更理由 |
| --- |
| |

○ この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

○ (1) 表記の特別遺族給付金に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に下記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

(2) 審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して６０日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求をした日から３ヶ月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

(3) 本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。ただし、①再審査請求をした日から３ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| （上方標題） | “不支給決定通知”と印字する。 |
| 請求書・申請書名 | 請求書・申請書名を漢字で以下のとおり印字する。<br>＜様式番号＞　　＜請求書・申請書名＞<br>70-00　・・・　特別遺族年金支給請求書<br>71-00　・・・　特別遺族一時金支給請求書<br>又は、未支給の特別遺族給付金支給請求書 |
| 請求人・申請人氏名 | 登録票で入力した請求人・申請人氏名を印字する。 |
| 決定年月日 | 支給決定決議書に入力した支給決定年月日を印字する。 |
| 受付番号 | 決議書に印字したデータ受付番号を印字する。 |
| 宛名 | 以下のとおり印字する。<br>郵便番号、住所<br>支払権者の住所（漢字）・〒を印字する。<br>但し、住所情報が存在しない場合は出力しない。<br>外国送金の場合は、住所（漢字）に代えて住所（外国）を出力する。<br><br>氏名<br>支払権者の氏名（漢字）を印字する。<br>但し、氏名（漢字）が存在しない場合は、請求人・申請人氏名（カナ）を出力する。<br>外国送金の場合は、氏名（漢字）に代えて氏名（外国）を出力する。 |
| 年月日 | 不支給決定通知書を出力した日を印字する。 |
| 監督署名等 | 監督署名、郵便番号、住所及び電話番号を印字する。 |

(4)　変更決定通知書

変更決定決議書及び訂正決定決議書の入力処理が正常に終了した場合又は自動更新処理により年額に変更があった場合に出力する。

①変更決定通知書（行審法教示文あり）

イ 様式

労働者災害補償保険
年 金 給 付 等

495

年　月　日

電話番号

あなたが請求・申請された保険給付・特別支給金を下記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長

| | | | |
|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | 年金の種類 | |
| 変更届等の種類 | | | |
| 年金年額 | | 決定年月日 | 年　月　日 |
| 特別年金年額 | | 変更年月日 | 年　月　日 |
| 傷病差額特別年金 | | 三者損賠受領額 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 算定基礎 | 平均賃金 | | 特別給与の総額 | | 既存障害 | 傷病・障害等級 | 算定人数 | 人 | スライド率 | % | 重大過失 | % | 減額率 | % | | | | |
| | ( | 給付日額 | × | 給付日数 | | XX | 厚労省令で定める率（額） | ) × | 支給制限率 | % | = | 年金年額 | | | | | | |
| | | 算定日額 | × | 給付日数 | | | | × | 支給制限率 | % | = | 特別年金年額 | | | | | | |
| 理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

年金の支払日が土曜日、日曜日又は祝祭日の場合は、金融機関等の直前の営業日となります。

○ この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

○ ＿＿＿＿＿＿＿＿の一時差止め処分に不服がある場合には、この処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に＿＿＿＿労働局長に対して審査請求をすることができます。（処分があった日から１年を経過した場合は除きます。）。

この処分に対する取消訴訟は、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、この処分があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（処分があった日から１年を経過した場合を除きます。）。

ただし、この処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に審査請求をした場合には、取消訴訟は、その審査請求に対する裁決の送達を受けた日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起しなければなりません（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 宛名 | 郵便番号、住所、氏名を別表9－13（Ⅱ-9-50ページ）、及び9－14（Ⅱ-9-51ページ）の通り印字する。 |
| 出力年月日 | 変更決定通知書を出力した年月日を印字する。 |
| 監督署名称 | 決定を行った監督署の名称を印字する。 |
| 監督署所在地 | 決定を行った監督署の所在地を印字する。 |
| 監督署電話番号 | 決定を行った監督署の電話番号を印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、変更票で振り出したデータ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ)」＋「年金証書番号9桁」＋「チェックデジット1桁」＋「決議番号3桁」＋「0000」の20桁<br>変更票で振り出した場合、このうち年金証書番号9桁を除く11桁を印字 |
| 訂正番号 | 印字しない。 |
| 署長印用監督署等名称 | 決定を行った監督署、又は支署の名称を印字する。 |
| 上方標題 | ″年金支払差止通知″、又は″援護費支払差止通知″と印字する。<br>詳細は、別表9－15（Ⅱ-9-52ページ）を参照すること。 |
| 年金証書番号 | 変更処理の対象となった年金証書番号を印字する。 |
| 年金の種類 | 変更処理の対象となった年金の種類を次の通り印字する。<br>「傷病補償年金」「傷病年金」「障害補償年金」「障害年金」「遺族補償年金」「遺族年金」 |
| 変更届等の種類 | 印字しない。(職権処理であるため) |
| ＜決定額＞<br>年金年額 | ″－″を印字する。詳細は、別表9－18（Ⅱ-9-55ページ）を参照すること。 |
| ＜決定額＞<br>特別年金年額 | ″－″を印字する。詳細は、別表9－18（Ⅱ-9-55ページ）を参照すること。 |
| ＜決定額＞<br>傷病差額特別年金額 | ″－″を印字する。詳細は、別表9－18（Ⅱ-9-55ページ）を参照すること。 |
| 決定年月日 | 入力した決定年月日を印字する。 |
| 変更年月日 | 印字しない。詳細は、別表9－17（Ⅱ-9-54ページ）を参照すること。 |
| 三者損賠受領額 | 印字しない。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 算定基礎 | 印字しない。詳細は、別表 9－19（Ⅱ-9-56 ページ）を参照すること。 |
| 備考 | 注意を促す内容がある場合は、メッセージを印字する。<br>詳細は、別表 9－20（Ⅱ-9-57 ページ）を参照すること。 |

②変更決定通知書（行審法教示文あり、特別遺族）

イ 様式

石綿健康被害救済法

498

年　月　日

電話番号

あなたが請求された特別遺族給付金を下記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長

| | | | |
|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | | |
| 変更届等の種類 | | | |
| 特別遺族年金年額 | | 決定年月日 | 年　月　日 |
| | | 変更年月日 | 年　月　日 |
| 算定基礎 | 年金年額 | 算定人数 □人 | |
| 理由 | | | |

年金の支払日が土曜日、日曜日又は祝祭日の場合は、金融機関等の直前の営業日となります。

○ この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

○ ＿＿＿＿＿＿＿＿の一時差止め処分に不服がある場合には、この処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に＿＿＿労働局長に対して審査請求をすることができます。（処分があった日から１年を経過した場合は除きます。）。

この処分に対する取消訴訟は、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、この処分があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（処分があった日から１年を経過した場合を除きます。）。

ただし、この処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に審査請求をした場合には、取消訴訟は、その審査請求に対する裁決の送達を受けた日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起しなければなりません（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 宛名 | 郵便番号、住所、氏名を別表 9－13（Ⅱ-9-50 ページ）、及び 9－14（Ⅱ-9-51 ページ）の通り印字する。 |
| 出力年月日 | 変更決定通知書を出力した年月日を印字する。 |
| 監督署名称 | 決定を行った監督署の名称を印字する。 |
| 監督署所在地 | 決定を行った監督署の所在地を印字する。 |
| 監督署電話番号 | 決定を行った監督署の電話番号を印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、変更票又で振り出したデータ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ)」＋「年金証書番号 9 桁」＋「チェックデジット 1 桁」＋「決議番号 3 桁」＋「0000」の 20 桁<br>変更票で振り出した場合、このうち年金証書番号 9 桁を除く 11 桁を印字 |
| 訂正番号 | 印字しない。 |
| 署長印用監督署等名称 | 決定を行った監督署、又は支署の名称を印字する。 |
| 上方標題 | ″年金支払差止通知″と印字する。<br>詳細は、別表 9－18（Ⅱ-9-55 ページ）を参照すること。 |
| 年金証書番号 | 変更処理の対象となった年金証書番号を印字する。 |
| 変更届等の種類 | 印字しない。(職権処理であるため) |
| ＜決定額＞<br>特別遺族年金年額 | ″－″を印字する。詳細は、別表 9－18（Ⅱ-9-55 ページ）を参照すること。 |
| 決定年月日 | 入力した決定年月日を印字する。 |
| 変更年月日 | 印字しない。詳細は、別表 9－17（Ⅱ-9-54 ページ）を参照すること。 |
| 算定基礎（算定人数） | 印字しない。詳細は、別表 9－19（Ⅱ-9-56 ページ）を参照すること。 |
| 算定基礎（年金年額） | 印字しない。詳細は、別表 9－19（Ⅱ-9-56 ページ）を参照すること。 |
| 備考 | 注意を促す内容がある場合は、メッセージを印字する。<br>詳細は、別表 9－20（Ⅱ-9-57 ページ）を参照すること。 |

③変更決定通知書（労審法教示文あり）

イ 様式

労働者災害補償保険
年 金 給 付 等

453

年 月 日

電話番号

あなたが請求・申請された保険給付・特別支給金を下記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | | | 年金の種類 | |
| 変更届等の種類 | | | | | |
| 年金年額 | | | 決定年月日 | 年 月 日 | |
| 特別年金年額 | | | 変更年月日 | 年 月 日 | |
| 傷病差額特別年金 | | | 三者損賠受領額 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 算定基礎 | 平均賃金 | | 特別給与の総額 | | 既存障害 | 傷病・障害等級 | 算定人数 | 人 | スライド率 | % | 重大過失 減額率 % |
| | 給付日額 | × | 給付日数 | XX | 厚労省令率（額） | ）× | 支給制限率 | % | ＝ | 年金年額 | |
| | 算定日額 | × | 給付日数 | | | × | 支給制限率 | % | ＝ | 特別年金年額 | |
| 理由 | | | | | | | | | | | |

年金の支払日が土曜日、日曜日又は祝祭日の場合は、金融機関等の直前の営業日となります。

8 この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

(1) 上記の保険給付に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に上記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

(2) 審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して６０日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求をした日から３ヶ月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

(3) 本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。ただし、①再審査請求をした日から３ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 宛名 | 郵便番号、住所、氏名を別表 9－13（Ⅱ-9-50 ページ）、及び 9－14（Ⅱ-9-51 ページ）の通り印字する。 |
| 出力年月日 | 変更決定通知書を出力した年月日を印字する。 |
| 監督署名称 | 決定を行った監督署の名称を印字する。 |
| 監督署所在地 | 決定を行った監督署の所在地を印字する。 |
| 監督署電話番号 | 決定を行った監督署の電話番号を印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、変更票又は訂正票で振り出したデータ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ)」＋「年金証書番号 9 桁」＋「チェックデジット 1 桁」＋「決議番号 3 桁」＋「0000」の 20 桁<br>変更票で振り出した場合、このうち年金証書番号 9 桁を除く 11 桁を印字<br>訂正票で振り出した場合は、変更票の処理で印字される 11 桁＋【-】＋【修正番号】を印字 |
| 訂正番号 | 訂正番号を印字する。 |
| 署長印用監督署等名称 | 決定を行った監督署、又は支署の名称を印字する。 |
| 上方標題 | 原則として、″年金変更決定通知″と印字する。<br>詳細は、別表 9－15（52 ページ）を参照すること。 |
| 年金証書番号 | 変更・訂正処理の対象となった年金証書番号を印字する。ただし、訂正処理の「540：支給・転帰情報」の一時金給付の支給事由発生年月日の訂正、「510：被災者算定情報」、「560：損賠情報」、「570：等級等情報」及び「900：処理情報」の場合は印字しない。 |
| 年金の種類 | 変更処理の対象となった年金の種類を次の通り印字する。<br>「傷病補償年金」「傷病年金」「障害補償年金」「障害年金」「遺族補償年金」「遺族年金」 |
| 変更届等の種類 | 様式番号により申請書・請求書・届の名称を別表 9－15（Ⅱ-9-52 ページ）及び 9－16（Ⅱ-9-53 ページ）の通り印字する。ただし、職権処理（訂正処理を含む。）の場合は印字しない。 |
| ＜決定額＞<br>年金年額 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点算定基礎に基づいた支給制限後年金年額を印字する。<br>例外については、別表 9－18（Ⅱ-9-55 ページ）を参照すること。 |
| ＜決定額＞<br>特別年金年額 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点算定基礎に基づいた支給制限後特別年金年額を印字する。<br>例外については、別表 9－18（Ⅱ-9-55 ページ）を参照すること。 |
| ＜決定額＞<br>傷病差額特別年金額 | 原則として、傷病（補償）年金の場合で変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点算定基礎に基づいた支給制限後傷病差額特別年金年額を印字する。<br>例外については、別表 9－18（Ⅱ-9-55 ページ）を参照すること。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 決定年月日 | 入力した決定年月日を印字する。ただし、訂正処理で「540：支給・転帰情報」の転帰取消以外、「510：被災者算定情報」、「560：損賠情報」、「570：等級等情報」及び「900：処理情報」の場合は印字しない。 |
| 変更年月日 | 原則として、入力した変更年月日を印字する。<br>詳細は、別表 9－17（Ⅱ-9-54 ページ）を参照すること。 |
| 三者損賠受領額 | 変更処理の転給で三者損賠受領額を入力した場合に印字する。ただし、調整期間中である場合には入力を行わない場合でも「0」を印字する。 |
| 算定基礎 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点の算定基礎を印字する。<br>例外については、別表 9－19（Ⅱ-9-56 ページ）を参照すること。 |
| 備考 | 注意を促す内容がある場合は、メッセージを印字する。<br>詳細は、別表 9－20（Ⅱ-9-57 ページ）を参照すること。 |

④変更決定通知書（労審法教示文あり、特別遺族）

イ 様式

石綿健康被害救済法

484

年　月　日

電話番号

あなたが請求された特別遺族給付金を下記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長

| | | | |
|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | | |
| 変更届等の種類 | | | |
| 特別遺族年金年額 | | 決定年月日 | 年　月　日 |
| | | 変更年月日 | 年　月　日 |
| 算定基礎 | 年金年額 | 算定人数 □人 | |
| 理由 | | | |

年金の支払日が土曜日、日曜日又は祝祭日の場合は、金融機関等の直前の営業日となります。

この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

(1) 上記の特別遺族給付金に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に上記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

(2) 審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して６０日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求をした日から３ヶ月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

(3) 本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。ただし、①再審査請求をした日から３ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 宛名 | 郵便番号、住所、氏名を別表 9－13（Ⅱ-9-50 ページ）、及び 9－14（Ⅱ-9-51 ページ）の通り印字する。 |
| 出力年月日 | 変更決定通知書を出力した年月日を印字する。 |
| 監督署名称 | 決定を行った監督署の名称を印字する。 |
| 監督署所在地 | 決定を行った監督署の所在地を印字する。 |
| 監督署電話番号 | 決定を行った監督署の電話番号を印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、変更票又は訂正票で振り出したデータ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ)」＋「年金証書番号 9 桁」＋「チェックデジット 1 桁」＋「決議番号 3 桁」＋「0000」の 20 桁<br>変更票で振り出した場合、このうち年金証書番号 9 桁を除く 11 桁を印字<br>訂正票で振り出した場合は、変更票の処理で印字される 11 桁＋【-】＋【修正番号】を印字 |
| 訂正番号 | 印字しない。 |
| 署長印用監督署等名称 | 決定を行った監督署、又は支署の名称を印字する。 |
| 上方標題 | 原則として、″年金変更決定通知″と印字する。<br>詳細は、別表 9－15（Ⅱ-9-52 ページ）を参照すること。 |
| 年金証書番号 | 変更・訂正処理の対象となった年金証書番号を印字する。ただし、訂正処理の「540：支給・転帰情報」の一時金給付の支給事由発生年月日の訂正、「510：被災者算定情報」、「560：損賠情報」、「570：等級等情報」及び「900：処理情報」の場合は印字しない。 |
| 変更届等の種類 | 様式番号により申請書・請求書・届の名称を別表 9－15（Ⅱ-9-52 ページ）及び 9－16（Ⅱ-9-53 ページ）の通り印字する。ただし、職権処理（訂正処理を含む。）の場合は印字しない。 |
| ＜決定額＞<br>特別遺族年金年額 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点算定基礎に基づいた支給制限後年金年額を印字する。<br>例外については、別表 9－18（Ⅱ-9-55 ページ）を参照すること。 |
| 決定年月日 | 入力した決定年月日を印字する。ただし、訂正処理で「540：支給・転帰情報」の転帰取消以外、「510：被災者算定情報」、「560：損賠情報」、「570：等級等情報」及び「900：処理情報」の場合は印字しない。 |
| 変更年月日 | 原則として、入力した変更年月日を印字する。詳細は、別表 9－17（Ⅱ-9-54 ページ）を参照すること。 |
| 算定基礎 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点の算定基礎を印字する。例外については、別表 9－19（Ⅱ-9-56 ページ）を参照すること。 |
| 備考 | 注意を促す内容がある場合は、メッセージを印字する。<br>詳細は、別表 9－20（Ⅱ-9-57 ページ）を参照すること。 |

⑤変更決定通知書（教示文なし）

イ 様式

労働者災害補償保険
年 金 給 付 等

496

年　月　日

電話番号

あなたが請求・申請された保険給付・特別支給金を下記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | | | | | | | | | | | | | | | 年金の種類 | | | | | | | |
| 変更届等の種類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年金年額 | | | | | | | | | | | | 決定年月日 | | | | 年 | 月 | 日 | | | | | |
| 特別年金年額 | | | | | | | | | | | | 変更年月日 | | | | 年 | 月 | 日 | | | | | |
| 傷病差額特別年金 | | | | | | | | | | | | 三者損賠受領額 | | | | | | | | | | | |
| 算定基礎 | 平均賃金 | | | | | | 特別給与の総額 | | | | | 既存障害 | | 傷病・障害等級 | | 算定人数 | 人 | スライド率 | % | 重大過失 | % | 減額率 | % |
| | （ | 給付日額 | | × | 給付日数 | | | | | | | 厚生労働省令率（額） | | | ）× | 支給制限率 | % | ＝ | 年金年額 | | | | |
| | | 算定日額 | | × | 給付日数 | | | | | | | | | | × | 支給制限率 | % | ＝ | 特別年金年額 | | | | |
| 理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

年金の支払日が土曜日、日曜日又は祝祭日の場合は、金融機関等の直前の営業日となります。

○　この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 宛名 | 郵便番号、住所、氏名を別表 9－13（Ⅱ-9-50 ページ）、及び 9－14（Ⅱ-9-51 ページ）の通り印字する。 |
| 出力年月日 | 変更決定通知書を出力した年月日を印字する。 |
| 監督署名称 | 決定を行った監督署の名称を印字する。 |
| 監督署所在地 | 決定を行った監督署の所在地を印字する。 |
| 監督署電話番号 | 決定を行った監督署の電話番号を印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、変更票又は訂正票で振り出したデータ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ)」＋「年金証書番号 9 桁」＋「チェックデジット 1 桁」＋「決議番号 3 桁」＋「0000」の 20 桁<br>変更票で振り出した場合、このうち年金証書番号 9 桁を除く 11 桁を印字<br>訂正票で振り出した場合は、変更票の処理で印字される 11 桁＋【-】＋【修正番号】を印字 |
| 訂正番号 | 訂正番号を印字する。 |
| 署長印用監督署等名称 | 決定を行った監督署、又は支署の名称を印字する。 |
| 上方標題 | 原則として、″年金変更決定通知″と印字する。<br>詳細は、別表 9－15（Ⅱ-9-52 ページ）を参照すること。 |
| 年金証書番号 | 変更・訂正処理の対象となった年金証書番号を印字する。ただし、訂正処理の「540：支給・転帰情報」の一時金給付の支給事由発生年月日の訂正、「510：被災者算定情報」、「560：損賠情報」、「570：等級等情報」及び「900：処理情報」の場合は印字しない。 |
| 年金の種類 | 変更処理の対象となった年金の種類を次の通り印字する。<br>「傷病補償年金」「傷病年金」「障害補償年金」「障害年金」「遺族補償年金」「遺族年金」 |
| 変更届等の種類 | 様式番号により申請書・請求書・届の名称を別表 9－15（Ⅱ-9-52 ページ）及び 9－16（Ⅱ-9-53 ページ）の通り印字する。ただし、職権処理（訂正処理を含む。）の場合は印字しない。 |
| ＜決定額＞<br>年金年額 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点算定基礎に基づいた支給制限後年金年額を印字する。<br>例外については、別表 9－18（Ⅱ-9-55 ページ）を参照すること。 |
| ＜決定額＞<br>特別年金年額 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点算定基礎に基づいた支給制限後特別年金年額を印字する。<br>例外については、別表 9－18（Ⅱ-9-55 ページ）を参照すること。 |
| ＜決定額＞<br>傷病差額特別年金額 | 原則として、傷病（補償）年金の場合で変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点算定基礎に基づいた支給制限後傷病差額特別年金年額を印字する。<br>例外については、別表 9－18（Ⅱ-9-55 ページ）を参照すること。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 決定年月日 | 入力した決定年月日を印字する。ただし、訂正処理で「540：支給・転帰情報」の転帰取消以外、「510:被災者算定情報」、「560:損賠情報」、「570:等級等情報」及び「900：処理情報」の場合は印字しない。 |
| 変更年月日 | 原則として、入力した変更年月日を印字する。<br>詳細は、別表 9－17（Ⅱ-9-54 ページ）を参照すること。 |
| 三者損賠受領額 | 変更処理の転給で三者損賠受領額を入力した場合に印字する。ただし、調整期間中である場合には入力を行わない場合でも「0」を印字する。 |
| 算定基礎 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点の算定基礎を印字する。<br>例外については、別表 9－19（Ⅱ-9-56 ページ）を参照すること。 |
| 備考 | 注意を促す内容がある場合は、メッセージを印字する。<br>詳細は、別表 9－20（Ⅱ-9-57 ページ）を参照すること。 |

⑥変更決定通知書（教示文なし、特別遺族）

イ 様式

石綿健康被害救済法

485

年　月　日

電話番号

あなたが請求された特別遺族給付金を下記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長

| | | | |
|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | | |
| 変更届等の種類 | | | |
| 特別遺族年金年額 | | 決定年月日 | 年　月　日 |
| | | 変更年月日 | 年　月　日 |
| 算定基礎 | 年金年額 | 算定人数 □人 | |
| 理由 | | | |

年金の支払日が土曜日、日曜日又は祝祭日の場合は、金融機関等の直前の営業日となります。

○　この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 宛名 | 郵便番号、住所、氏名を別表 9－13（Ⅱ-9-50 ページ）、及び 9－14（Ⅱ-9-51 ページ）の通り印字する。 |
| 出力年月日 | 変更決定通知書を出力した年月日を印字する。 |
| 監督署名称 | 決定を行った監督署の名称を印字する。 |
| 監督署所在地 | 決定を行った監督署の所在地を印字する。 |
| 監督署電話番号 | 決定を行った監督署の電話番号を印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、変更票又は訂正票で振り出したデータ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ）」＋「年金証書番号 9 桁」＋「チェックデジット 1 桁」＋「決議番号 3 桁」＋「0000」の 20 桁<br>変更票で振り出した場合、このうち年金証書番号 9 桁を除く 11 桁を印字<br>訂正票で振り出した場合は、変更票の処理で印字される 11 桁＋【-】＋【修正番号】を印字 |
| 訂正番号 | 印字しない。 |
| 署長印用監督署等名称 | 決定を行った監督署、又は支署の名称を印字する。 |
| 上方標題 | 原則として、"年金変更決定通知"と印字する。<br>詳細は、別表 9－15（Ⅱ-9-52 ページ）を参照すること。 |
| 年金証書番号 | 変更・訂正処理の対象となった年金証書番号を印字する。ただし、訂正処理の「540：支給・転帰情報」の一時金給付の支給事由発生年月日の訂正、「510：被災者算定情報」、「560：損賠情報」、「570：等級等情報」及び「900：処理情報」の場合は印字しない。 |
| 変更届等の種類 | 様式番号により申請書・請求書・届の名称を別表 9－15（Ⅱ-9-52 ページ）及び 9－16（Ⅱ-9-53 ページ）の通り印字する。ただし、職権処理（訂正処理を含む。）の場合は印字しない。 |
| ＜決定額＞<br>特別遺族年金年額 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点算定基礎に基づいた支給制限後年金年額を印字する。<br>例外については、別表 9－18（Ⅱ-9-55 ページ）を参照すること。 |
| 決定年月日 | 入力した決定年月日を印字する。ただし、訂正処理で「540：支給・転帰情報」の転帰取消以外、「510：被災者算定情報」、「560：損賠情報」、「570：等級等情報」及び「900：処理情報」の場合は印字しない。 |
| 変更年月日 | 原則として、入力した変更年月日を印字する。詳細は、別表 9－17（Ⅱ-9-54 ページ）を参照すること。 |
| 算定基礎 | 原則として、変更・訂正後の変更年月の効力開始年月時点の算定基礎を印字する。例外については、別表 9－19（Ⅱ-9-56 ページ）を参照すること。 |
| 備考 | 注意を促す内容がある場合は、メッセージを印字する。<br>詳細は、別表 9－20（Ⅱ-9-57 ページ）を参照すること。 |

⑦支給停止解除決定通知（変更決定通知書）

イ 様式

労働者災害補償保険
年 金 給 付 等

453

99年 99月 99日

電話番号

あなたが請求・申請された保険給付・特別支給金を下記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | | | | | | | | | | | | | 年金の種類 | | | | | |
| 変更届等の種類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年金年額 | | | | | | | | | | 決定年月日 | | | 99年 99月 99日 | | | | | | |
| 特別年金年額 | | | | | | | | | | 変更年月日 | | | 99年 99月 99日 | | | | | | |
| 傷病差額特別年金 | | | | | | | | | | 三者損賠受領額 | | | | | | | | | |
| 算定基礎 | 平均賃金 | | | 特別給与の総額 | | | | 既存障害 | 傷病・障害等級 | | 算定人数 | 人 | スライド率 | % | 重大過失 | % | 減額率 | % | |
| | （給付日額 | × | 給付日数 | | 厚年等調整率（額） | ）× | 支給制限率 | % | ＝ | 年金年額 | | | | | | | | | |
| | 算定日額 | × | 給付日数 | | | × | 支給制限率 | % | ＝ | 特別年金年額 | | | | | | | | | |
| 理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

年金の支払日が土曜日・日曜日又は祝祭日の場合は、金融機関等の直前の営業日となります。

○ この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

○ (1) 上記の保険給付に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に上記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

(2) 審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して６０日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求をした日から３ヶ月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

(3) 本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。ただし、①再審査請求をした日から３ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 宛名 | 郵便番号、住所、氏名を印字する。 |
| 出力年月日 | 変更決定通知書を出力した年月日を印字する。 |
| 監督署名称 | 決定を行った監督署の名称を印字する。 |
| 監督署所在地 | 決定を行った監督署の所在地を印字する。 |
| 監督署電話番号 | 決定を行った監督署の電話番号を印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、変更票で振り出したデータ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ)」＋「年金証書番号9桁」＋「チェックデジット1桁」＋「決議番号3桁」＋「0000」の20桁<br>このうち年金証書番号9桁を除く11桁を印字 |
| 署長印用監督署等名称 | 決定を行った監督署、又は支署の名称を印字する。 |
| 上方標題 | ″支給停止解除決定通知″と印字する。 |
| 年金証書番号 | 支給停止解除の対象となった年金証書番号を印字する。 |
| 年金の種類 | 支給停止解除の対象となった年金の種類を次の通り印字する。<br>「傷病補償年金」「傷病年金」「障害補償年金」「障害年金」「遺族補償年金」「遺族年金」 |
| 変更届等の種類 | 印字しない。 |
| ＜決定額＞<br>年金年額 | 年金年額の決定額を印字する。 |
| ＜決定額＞<br>特別年金年額 | 特別年金年額の決定額を印字する。 |
| ＜決定額＞<br>傷病差額特別年金額 | 傷病差額特別年金年額の決定額を印字する。 |
| 決定年月日 | 決定年月日を印字する。 |
| 変更年月日 | 変更年月日を印字する。 |
| 三者損賠受領額 | 印字しない。 |
| 算定基礎 | 効力開始年月時点の算定基礎を印字する。 |
| 備考 | 注意を促す内容がある場合は、メッセージを印字する。<br>詳細は、別表9－20（Ⅱ-9-57ページ）を参照すること。 |

⑧変更決定通知書（18 歳到達）

イ 様式

労働者災害補償保険
年 金 給 付 等

453

99年 99月 99日

電話番号

あなたが請求・申請された保険給付・特別支給金を下記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | | | 年金の種類 | |
| 変更届等の種類 | | | | | |
| 年金年額 | | 決定年月日 | 99年 99月 99日 | | |
| 特別年金年額 | | 変更年月日 | 99年 99月 99日 | | |
| 傷病差額特別年金 | | 三者損賠受領額 | | | |

| 算定基礎 | 平均賃金 | 特別給与の総額 | 既存障害 傷病・障害等級 | 算定人数 | スライド率 | 重大過失 | 減額率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 人 | % | | % |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （ | 給付日額 | × | 給付日数 | 厚年等調整率（額） | ）× | 支給制限率 % | ＝ | 年金年額 |
| | 算定日額 | × | 給付日数 | × | | 支給制限率 % | ＝ | 特別年金年額 |

| 理由 | |
|---|---|

年金の支払日が土曜日・日曜日又は祝祭日の場合は、金融機関等の直前の営業日となります。

この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

(1) 上記の保険給付に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に上記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

(2) 審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して６０日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求をした日から３ヶ月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

(3) 本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。ただし、①再審査請求をした日から３ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 宛名 | 郵便番号、住所、氏名を印字する。 |
| 出力年月日 | 変更決定通知書を出力した年月日を印字する。 |
| 監督署名称 | 決定を行った監督署の名称を印字する。 |
| 監督署所在地 | 決定を行った監督署の所在地を印字する。 |
| 監督署電話番号 | 決定を行った監督署の電話番号を印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、変更票で振り出したデータ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ)」＋「年金証書番号9桁」＋「チェックデジット1桁」＋「決議番号3桁」＋「0000」の20桁<br>このうち年金証書番号9桁を除く11桁を印字 |
| 署長印用監督署等名称 | 決定を行った監督署、又は支署の名称を印字する。 |
| 上方標題 | ″変更決定通知″と印字する。 |
| 年金証書番号 | 変更の対象となった年金証書番号を印字する。 |
| 年金の種類 | 変更の対象となった年金の種類を次の通り印字する。<br>「傷病補償年金」「傷病年金」「障害補償年金」「障害年金」「遺族補償年金」「遺族年金」 |
| 変更届等の種類 | 印字しない。 |
| ＜決定額＞<br>年金年額 | 年金年額の決定額を印字する。 |
| ＜決定額＞<br>特別年金年額 | 特別年金年額の決定額を印字する。 |
| ＜決定額＞<br>傷病差額特別年金額 | 傷病差額特別年金年額の決定額を印字する。 |
| 決定年月日 | 決定年月日を印字する。 |
| 変更年月日 | 変更年月日を印字する。 |
| 三者損賠受領額 | 印字しない。 |
| 算定基礎 | 効力開始年月時点の算定基礎を印字する。 |
| 備考 | 注意を促す内容がある場合は、メッセージを印字する。<br>詳細は、別表9－20（Ⅱ-9-57ページ）を参照すること。 |

⑨特別遺族年金変更決定通知書（18 歳到達）

イ　様式

石綿健康被害救済法

484

99年 99月 99日

電話番号

あなたが請求された特別遺族給付金を下記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長

| | | | |
|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | | |
| 変更届等の種類 | | | |
| 特別遺族年金年額 | | 決定年月日 | 99年 99月 99日 |
| | | 変更年月日 | 99年 99月 99日 |
| 算定基礎 | 年金年額 | 算定人数 □人 | |
| 理由 | | | |

年金の支払日が土曜日・日曜日又は祝祭日の場合は、金融機関等の直前の営業日となります。

この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

(1) 上記の保険給付に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に上記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

(2) 審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して６０日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求をした日から３ヶ月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

(3) 本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。ただし、①再審査請求をした日から３ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 宛名 | 郵便番号、住所、氏名を印字する。 |
| 出力年月日 | 変更決定通知書を出力した年月日を印字する。 |
| 監督署名称 | 決定を行った監督署の名称を印字する。 |
| 監督署所在地 | 決定を行った監督署の所在地を印字する。 |
| 監督署電話番号 | 決定を行った監督署の電話番号を印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、変更票で振り出したデータ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ)」＋「年金証書番号9桁」＋「チェックデジット1桁」＋「決議番号3桁」＋「0000」の20桁<br>このうち年金証書番号9桁を除く11桁を印字 |
| 署長印用監督署等名称 | 決定を行った監督署、又は支署の名称を印字する。 |
| 上方標題 | ″変更決定通知″と印字する。 |
| 年金証書番号 | 変更の対象となった年金証書番号を印字する。 |
| 変更届等の種類 | 印字しない。 |
| ＜決定額＞<br>特別遺族年金年額 | 特別遺族年金年額の決定額を印字する。 |
| 決定年月日 | 決定年月日を印字する。 |
| 変更年月日 | 変更年月日を印字する。 |
| 備考 | 注意を促す内容がある場合は、メッセージを印字する。<br>詳細は、別表9－20（Ⅱ-9-57ページ）を参照すること。 |

■　別表９－13【変更通知書のあて名（変更）】

| 様式番号 | 処理の内容 | 宛　　名 |
|---|---|---|
| 00-02 | 支給停止解除【単独処理】 | 支給停止解除者 |
| 00-02-4 | 支給停止解除【同時決議】 | 転給者（支給停止解除者） |
| 00-03<br>90-04 | 年金証書再交付 | 支払権者 |
| 00-04<br>90-03-02 | 傷病等級変更・治ゆ | 支払権者（被災者） |
| 00-05<br>90-02-03 | 障害再発 | 支払権者（被災者） |
| 00-06<br>90-02-01 | 死亡【傷病・障害】 | 印字しない。 |
| 00-06<br>90-02-01 | 死亡【遺族・転給未処理】 | 印字しない。 |
| | 死亡【遺族・全員失権】 | 印字しない。 |
| 00-06-2 | 死亡【遺族・同時決議】 | 転給者 |
| 00-07-01<br>90-03-10 | 代表解任【代表者払→権者払】 | 枝番号の一番若い支払権者 |
| 00-07-02<br>90-03-11 | 代表選任【権者払→代表者払】 | 選任者（代表者） |
| | 代表選任【代表者→代表者払】 | 選任者（代表者） |
| 11-00<br>90-03-03 | 障害等級変更 | 支払権者（被災者） |
| 13-00-01～03<br>90-03-04 | 転給 | 転給者 |
| 14-00 | 支給停止【単独処理】 | 枝番号の一番若い支払権者 |
| 14-00-3 | 支給停止【同時決議】 | 転給者 |
| 20-00<br>90-03-01 | 厚年等変更 | 支払権者(注) |
| 21-00<br>90-02-02 | 失権【転給未処理】 | 失権者 |
| | 失権【全員失権】 | 失権者 |
| 21-00-1 | 失権【同時決議】 | 転給者 |
| 22-00-01～05<br>90-03-05<br>～09 | 算定基礎変更 | 支払権者(注) |
| 90-12-01 | 支払差止【所在不明】 | 差止者【住所・郵便番号・氏名は印字しない】 |
| | 支払差止【定期報告未提出】 | 差止者 |
| | 差止解除【所在判明】 | 差止解除者 |
| | 差止解除【その他】 | 差止解除者 |
| 90-12-02 | 援護費差止・解除 | 支払権者(注) |

（注）権者払で支払権者が複数人存在する場合は、枝番号の一番若い支払権者の宛名を印字する。

※様式番号の次の２桁の数字は「変更内容コード」、１桁の数字は「同時決議番号」を示す。
また、様式番号が３桁の数字は「項目群番号」を示す。

■　別表 9－14【変更通知書のあて名（訂正)】

| 様式番号 | 処理の内容 | 宛　　名 |
|---|---|---|
| 510 | 被災者算定情報訂正 | 支払権者 |
| 540 | 支給・転帰情報訂正 | 支払権者。ただし、転帰取消以外の場合は印字しない。 |
| 560 | 損害情報訂正 | 支払権者 |
| 570 | 等級等情報訂正 | 支払権者 |
| 580 | 厚年等情報訂正 | 支払権者。ただし、転帰している場合は印字しない。 |
| 590 | 支給停止情報訂正 | 支払権者 |
| 600 | 資格者情報訂正 | 支払権者 |
| 610 | 就学等援護費情報訂正 | 支払権者 |
| 900 | 処理情報訂正 | 支払権者。ただし、請求時の処理内容が「不支給」であった場合は印字しない。 |

※様式番号の次の２桁の数字は「変更内容コード」、１桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　また、様式番号が３桁の数字は「項目群番号」を示す。

■　別表 9－15【上方標題及び届の種類】

| 様式番号 | 標題 | 届　の　種　類 |
|---|---|---|
| 00-02 | 年金変更決定通知 | 遺族（補償）年金支給停止解除申請書 |
| 00-02-4 | 年金変更決定通知 | 支給停止解除・転給 |
| 00-03 | 年金証書再交付通知 | 年金証書再交付申請書 |
| 00-04 | 年金変更決定通知 | 傷病（補償）年金傷病変更・治ゆ届 |
| 00-05 | 年金変更決定通知 | 障害（補償）年金受給者再発届 |
| 00-06 | 年金変更決定通知 | 年金等受給権者死亡届 |
| 00-06-2 | 年金変更決定通知 | 受給権者死亡・転給 |
| 00-07 | 代表者選任・解任通知 | 遺族（補償）年金代表者選任・解任届<br>特別遺族年金代表者選任・解任届 |
| 11-00 | 年金変更決定通知 | 障害（補償）給付変更請求書 |
| 13-00-01～03 | 年金変更決定通知 | 遺族（補償）年金転給等請求書 |
| 14-00 | 年金変更決定通知 | 遺族（補償）年金支給停止申請書<br>特別遺族年金支給停止申請書 |
| 14-00-3 | 年金変更決定通知 | 支給停止・転給 |
| 20-00 | 年金変更決定通知 | 厚生年金保険等の受給関係変更届 |
| 21-00 | 年金変更決定通知 | 遺族（補償）年金受給権者失権届<br>特別遺族年金受給権者失権届 |
| 21-00-1 | 年金変更決定通知 | 受給者失権・転給 |
| 22-00-01～05 | 年金変更決定通知 | 遺族（補償）年金算定基礎変更届<br>特別遺族年金算定基礎変更届 |
| 90-02-01 | 年金変更決定通知 | 印字しない。 |
| 90-02-02 | 年金変更決定通知 | 印字しない。 |
| 90-02-03 | 年金変更決定通知 | 印字しない。 |
| 90-03-01 | 年金変更決定通知 | 印字しない。 |
| 90-03-02 | 年金変更決定通知 | 印字しない。 |
| 90-03-03 | 年金変更決定通知 | 印字しない。 |
| 90-03-04 | 年金変更決定通知 | 印字しない。 |
| 90-03-05～09 | 年金変更決定通知 | 印字しない。 |
| 90-03-10～11 | 代表者選任・解任通知 | 印字しない。 |
| 90-04 | 年金証書再交付通知 | 印字しない。 |
| 90-12-01 | 年金支払差止通知 | 印字しない。 |
| | 年金支払差止解除通知 | |
| 90-12-02 | 援護費支払差止通知 | 印字しない。 |
| | 援護費支払差止解除通知 | |

※様式番号の次の２桁の数字は「変更内容コード」、１桁の数字は「同時決議番号」を示す。
　また、様式番号が３桁の数字は「項目群番号」を示す。

■　別表 9－16【上方標題及び届の種類】

| 様式番号 | 標題 | 届　の　種　類 |
|---|---|---|
| 510 | 印字しない。 | 印字しない。 |
| 540 | 年金変更決定通知 | 印字しない。 |
| | 一時金給付の訂正の場合は印字しない。 | |
| 560 | 印字しない。 | 印字しない。 |
| 570 | 印字しない。 | 印字しない。 |
| 580 | 年金変更決定通知 | 印字しない。 |
| 590 | 年金変更決定通知 | 印字しない。 |
| 600 | 年金変更決定通知 | 印字しない。 |
| 610 | 印字しない。 | 印字しない。 |
| 900 | 印字しない。 | 印字しない。 |

※様式番号の次の２桁の数字は「変更内容コード」、１桁の数字は「同時決議番号」を示す。

また、様式番号が３桁の数字は「項目群番号」を示す。

■　別表９－17【変更通知書の変更年月日】

| 様式番号 | 変　更　年　月　日 |
|---|---|
| 00-02<br>00-02-04 | 支給停止解除・転給年月日（受付年月日） |
| 00-03,90-04 | 印字しない。 |
| 00-04,90-03-02 | 傷病等級変更年月日 |
| 00-05,90-02-03 | 再発年月日 |
| 00-06,90-02-01<br>（傷病・障害） | 死亡年月日 |
| 00-06,90-02-01<br>（遺族） | 死亡年月日 |
| 00-07-01<br>90-03-10 | 印字しない。 |
| 00-07-02<br>90-03-11 | 印字しない。 |
| 11-00,90-03-03 | 障害等級変更年月日 |
| 13-00,90-03-04 | 転給年月日（先順位者の失権年月日） |
| 14-00 | 所在不明年月日 |
| 20-00,90-03-01 | 厚年等の調整開始年月 |
| 21-00,<br>21-00-01<br>90-02-02 | 失権年月日 |
| 22-00-01～05<br>90-03-05～09 | 算定基礎変更年月日 |
| 90-12-01 | 印字しない。 |
| 90-12-02 | 印字しない。 |
| 510 | 印字しない。 |
| 540 | 印字しない。 |
| 560 | 印字しない。 |
| 570 | 印字しない。 |
| 580 | 印字しない。 |
| 590 | 印字しない。 |
| 600 | 印字しない。 |
| 610 | 印字しない。 |
| 900 | 印字しない。 |

※様式番号の次の２桁の数字は「変更内容コード」を示す。また、様式番号が３桁の数字は「項目群番号」を示す。

■　別表 9－18【変更通知書の決定額】

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 00-03<br>90-04 | 全ての金額欄に“－”を印字する。 |
| 00-04 | 変更後の傷病等級号が「8888（治ゆ）」又は「9999（等級不該当）」の場合は全ての金額欄に“０”を印字する。 |
| 00-05<br>90-02-03 | 全ての金額欄に“０”を印字する。 |
| 00-06<br>90-02-01～02 | 全ての金額欄に“０”を印字する。 |
| 00-07<br>90-03-10<br>90-03-11 | 全ての金額欄に“－”を印字する。 |
| 11-00 | 変更後の等級が「8 級～14 級」又は「9999（等級不該当）」の場合は全ての金額欄に“０”を印字する。 |
| 21-00<br>90-02-02 | 全ての金額欄に“０”を印字する。 |
| 90-12-01 | 全ての金額欄に“－”を印字する。 |
| 90-12-02 | 全ての金額欄に“－”を印字する。 |
| 510 | 印字しない。 |
| 540 | 転帰取消以外は印字しない。 |
| 560 | 印字しない。 |
| 570 | 印字しない。 |
| 600 | 妻の障害状態の訂正、資格者追加・取消、履歴追加・取消以外は印字しない。 |
| 610 | 印字しない。 |
| 900 | 印字しない。 |

※様式番号の次の２桁の数字は「変更内容コード」を示す。また、様式番号が３桁の数字は「項目群番号」を示す。

■　別表 9－19【算定基礎】

| 様式番号 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 00-03<br>90-04 | 印字しない。 |
| 00-04 | 変更後の傷病等級号が「8888（治ゆ）」、「9999（等級不該当）」の場合は印字しない。 |
| 00-05 | 印字しない。 |
| 00-06<br>90-02 | 印字しない。 |
| 00-07<br>90-03-10<br>90-03-11 | 印字しない。 |
| 11-00 | 変更後の等級が「8 級～14 級」、「9999（等級不該当）」の場合は印字しない。 |
| 21-00 | 印字しない。 |
| 90-12-01 | 印字しない。 |
| 90-12-02 | 印字しない。 |
| 510 | 印字しない。 |
| 540 | 転帰取消以外は印字しない。 |
| 560 | 印字しない。 |
| 570 | 印字しない。 |
| 600 | 「601:資格者氏名」又は「603:資格者性別」の訂正の場合は印字しない。 |
| 610 | 印字しない。 |
| 900 | 印字しない。 |

※様式番号の次の２桁の数字は「変更内容コード」を示す。また、様式番号が３桁の数字は「項目群番号」を示す。

■　別表 9－20【メッセージ】

| 様式番号 | 条　　件 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|---|
| 00-02<br>00-02-04 | 支給停止解除 | 所在が判明しましたので、支給停止を解除しました。 |
| 00-03<br>90-03-04 | 年金証書再交付 | 年金証書を再交付しましたので、大切に保管してください。 |
| 00-04<br>90-03-02 | 傷病等級変更 | 傷病等級を××級××号に変更しました。 |
| | 傷病等級変更<br>(等級不該当) | 傷病等級に該当しないので、受給権が消滅しました。<br>年金証書を返却してください。 |
| | 傷病治ゆ | 傷病が治ゆしましたので、受給権が消滅しました。<br>年金証書を返却してください。 |
| 00-05<br>90-02-03 | 障害再発 | 傷病が再発しましたので受給権が消滅しました。<br>年金証書を返却してください。 |
| 00-06<br>90-02-01 | 死亡の場合（失権） | 届の内容により該当の方は死亡失権しました。 |
| | 死亡の場合（転帰） | 届の内容により該当の方は死亡失権により受給権が消滅しました。 |
| 00-07-01<br>90-03-10 | 代表者解任 | 代表者を解任しました。 |
| 00-07-02<br>90-03-11 | 代表者選任 | 代表者に選任しました。 |
| 11-00-01<br>90-03-03 | 障害等級変更 | 障害等級を××級××号に変更しました。 |
| | 障害等級変更<br>(等級不該当) | 障害等級１～７級に該当しないので受給権が消滅しました。<br>年金証書を返却してください。 |
| 13-00<br>90-03-04 | 転給の場合 | 転給しました。 |
| 14-00 | 支給停止 | 申請の内容により該当の方は所在不明のため支給停止しました。 |
| 20-00<br>90-03-01 | 厚年等変更 | 厚生年金等の内容を変更しました。 |
| 21-00<br>21-00-01（失権の場合）<br>90-02-02 | 失権の場合 | ××××（失権事由）により失権しました。 |
| | 全員失権の場合 | ××××（失権事由）により全員失権したので、受給権が消滅しました。 |
| 22-00-01<br>90-03-05 | 胎児出生 | 届の内容により該当の方は資格者になりました。 |
| 22-00-02<br>90-03-06 | 同一生計の有への変更 | 届の内容により該当の方は算定基礎の対象になりました。 |
| | 同一生計の無への変更 | 届の内容により該当の方は算定基礎の対象外になりました。 |
| 22-00-03<br>90-03-07 | 障害の有無の変更 | 届の内容により該当の方は障害無しになりました。 |
| 22-00-04<br>90-03-08 | 妻の障害の有への変更 | 障害有りになりました。 |
| | 妻の障害の無への変更 | 障害無しになりました。 |

※様式番号の次の２桁の数字は「変更内容コード」、１桁の数字は「同時決議番号」を示す。

また、様式番号が３桁の数字は「項目群番号」を示す。

| 様式番号 | 条　　件 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|---|
| 22-00-05<br>90-03-09 | 失格 | 届の内容により該当の方は××××（失格事由）により資格者でなくなりました。 |
| 90-12-01 | 差止の場合 | 労災保険法第 47 条の３の規定に基づき年金の支払を一時差し止めます。 |
| | 差止解除の場合 | 年金の支払差止を解除しましたので、住所・支払先に変更のある場合は、至急最寄りの監督署へ連絡してください。 |
| 90-12-02 | 援護費差止の場合 | 労災保険法第 47 条の３の規定を準用し、次の方の就学等援護費の支払を一時差し止めます。<br>××××××××××××××××（在学者氏名） |
| | 援護費差止解除の場合 | 次の方の援護費の支払差止を解除しました。<br>××××××××××××××××（在学者氏名） |
| | 年金の差止に連動して援護費が差止になる場合 | 労災保険法第 47 条の 3 の規定を準用し、就学等援護費の支払を一時差し止めます。 |
| | 年金の差止に連動して援護費が差止解除になる場合 | 就学援護費の支払差止を解除しました。<br>次の支払日は××年××月××日です。 |
| 11-00<br>90-03-03-03<br>14-00<br>14-00-3<br>21-00<br>21-00-1<br>90-02-01<br>90-02-02<br>00-06<br>00-06-2<br>00-04<br>90-03-02<br>13-00-01 ～ 03<br>90-03-04<br>00-02<br>00-02-4 | 端数経過措置の終了 | XXXX 年 XX 月より年金年額等の切り上げ／切り捨ては行われません。 |
| － | 等級変更等により援護費を不支給にした場合 | 就学等援護費を不支給にしました。 |
| － | 失権差額一時金がある場合 | 年金の受給権消滅により、失権差額一時金が発生しています。 |
| － | 未支給年金がある場合 | 受給者の死亡により、未支給金が発生しています。 |
| － | 年金証書を出力した場合 | 年金証書を同封しましたので大切に保管してください。 |
| － | 若年停止中の変更の場合 | 60 歳になるまで支給停止されます。 |

| 様式番号 | 条　　件 | 印　字　内　容 |
|---|---|---|
| － | 前払調整中の変更の場合 | 保険給付の年金は前払調整中です。 |
| － | 損賠調整中の変更の場合 | 保険給付の年金は第三者損害賠償との調整中です。 |
| － | 年金額に変更のない場合 | 年金額等には変更ありません。 |
| － | 内払処理の場合 | 過誤払額がありますので、内払調整を行います。 |
| － | 充当処理の場合 | 過誤払額が発生しましたので、充当調整を行います。 |
| － | 債権管理の場合 | 過誤払額が発生しましたので、債権管理します。 |
| － | 追給が発生した場合 | 追給額が発生しましたので、次の支払日に支払います。 |
| － | 当期に支払額が有る場合 | 次の支払日は××××年××月××日です。 |
| － | 支給停止解除（前払） | 前払一時金との調整が終了しましたので、支給停止を解除します。 |
| － | 支給停止解除（三者） | 第三者損害賠償との調整が終了しましたので、支給停止を解除します。 |
| － | 18 歳全員失権 | 18 歳に到達しましたので、受給権が消滅しました。<br>年金証書を返却してください。 |
| － | 18 歳到達（算定某礎変更） | 次の方が 18 歳に到達しましたので、資格者でなくなりました。　××××××××××××××××（資格者氏名） |
| － | 60 歳支給停止解除 | 60 歳に到達しましたので、支給停止を解除します。 |
| － | 60 歳到達（算定基礎変更） | 次の方が 60 歳に到達しましたので、算定基礎の対象となります。　××××××××××××××××（資格者氏名） |
| － | 妻の 55 歳で給付日数増加の場合 | 55 歳に到達しましたので、給付日数が増加しました。 |
| － | 差止中 18 歳全員失権 | 未支給金が発生しています。 |
| 510、560<br>570、900 | | この決定の内容は、別紙「年金内訳リスト」のとおりです。 |
| 540、580<br>590、600<br>610 | | 印字しない。 |

※様式番号の次の 2 桁の数字は「変更内容コード」、1 桁の数字は「同時決議番号」を示す。

また、様式番号が 3 桁の数字は「項目群番号」を示す。

ハ　留意点

(ｲ) 備考欄には変更（訂正）決定した内容の結論のみをメッセージとして印字するので、決定した内容の詳細を受給者に分かるように記入すること。また、職権処理（訂正処理を含む。）については、変更・訂正処理をした経緯等も記入すること。

(ﾛ) 宛名が印字されない変更通知書については通知書を送付すべき遺族等を確認し宛名を記入すること。

(ﾊ) 変更通知書に印字する年金年額等は変更年月時点の年金年額等であるため、実際の支払額とは異なる。実際の支払額は支払検索等により把握すること。

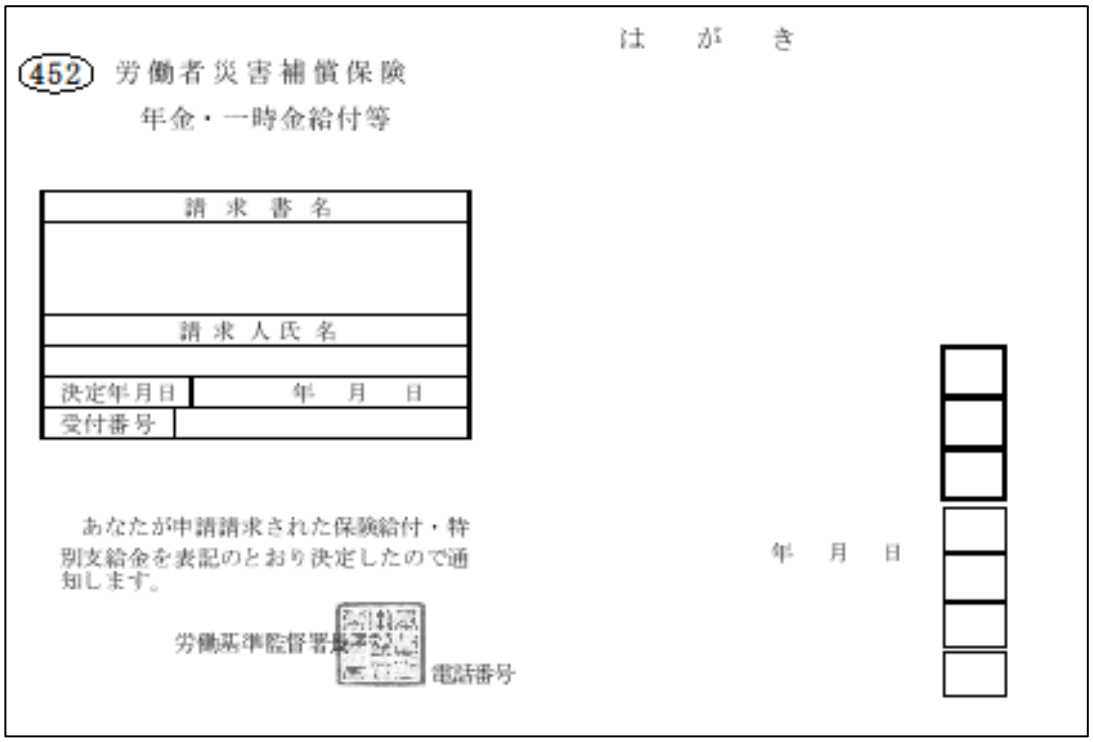
(ﾆ) 変更決定通知書（行審法教示文あり）、変更決定通知書（行審法教示文あり、特別遺族）の下欄に印字されている教示文については、「　　の一時差止め処分に不服がある場合には、この処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に　　労働局長に対して審査請求をすることができます。（処分があった日から１年を経過した場合を除きます。）。」と印書されているが、「　　の一時差止め処分」の欄には、該当の年金等の種別（傷病（補償）年金、障害（補償）年金、遺族（補償）年金、労災就学等援護費）のいずれかを、「　　労働局長」の欄には該当の労働基準監督署を管轄している都道府県労働局名を、手書きにより記載すること。

(5)　不変更決定通知書

①不変更決定通知書（教示文あり）

イ　様式

a　表面



は　が　き

452 労働者災害補償保険
年金・一時金給付等

| 請求書名 |
| --- |
| |
| 請求人氏名 |
| |
| 決定年月日 | 年　月　日 |
| 受付番号 | |

あなたが申請請求された保険給付・特別支給金を表記のとおり決定したので通知します。

年　月　日

労働基準監督署長

電話番号

b　裏面



| 不支給・不変更理由 |
| --- |
| |

○ この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

○ (1) 表記の特別遺族給付金に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に下記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

(2) 審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して６０日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求をした日から３ヶ月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

(3) 本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。ただし、①再審査請求をした日から３ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| （上方標題） | “不変更決定通知”と印字する。 |
| 請求書・申請書名 | 請求書・申請書名を漢字で別表 9－21（Ⅱ-9-69 ページ）のとおり印字する。 |
| 請求人・申請人氏名 | 請求人・申請人氏名を印字する。 |
| 決定年月日 | 変更不変更決定決議書に入力した支給決定年月日を印字する。 |
| 受付番号 | 決議書に印字したデータ受付番号を印字する。 |
| 宛名 | 印字しない。 |
| 年月日 | 不変更通知書を出力した日を印字する。 |
| 監督署名等 | 監督署名、郵便番号、住所及び電話番号を印字する。 |

② 不変更決定通知書（教示文あり、特別遺族）

イ 様式

a 表面




b 裏面



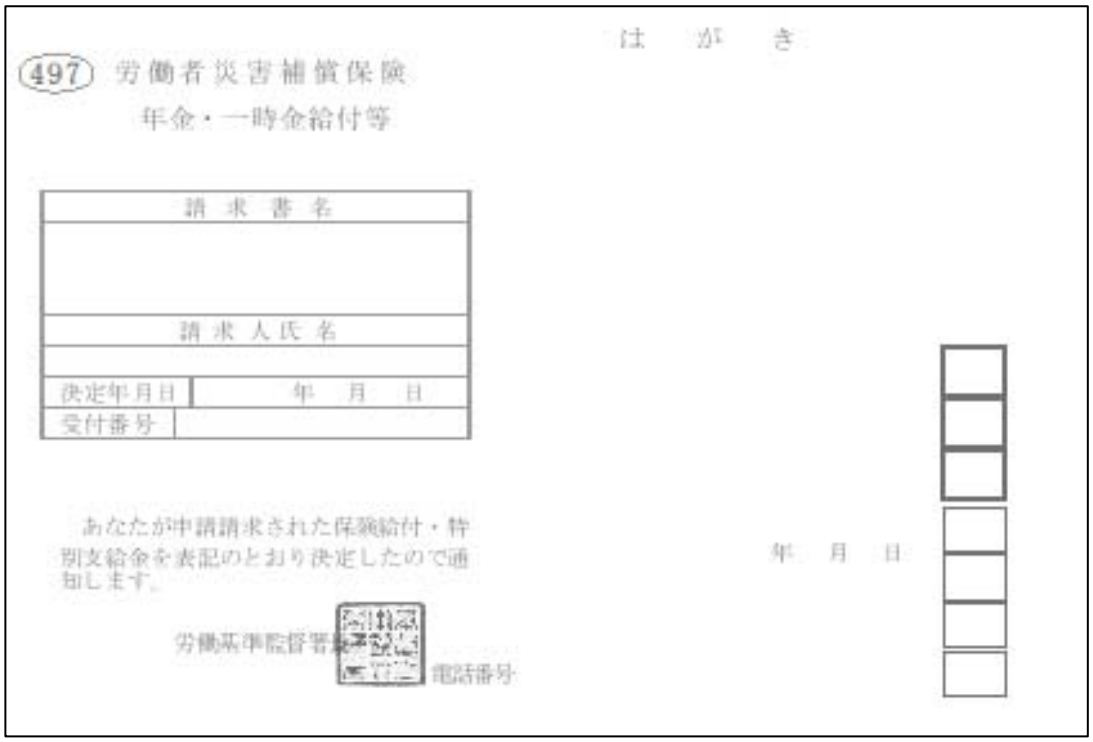
ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| （上方標題） | “不変更決定通知”と印字する。 |
| 請求書・申請書名 | 請求書・申請書名を漢字で別表 9－21（Ⅱ-9-69 ページ）のとおり印字する。 |
| 請求人・申請人氏名 | 請求人・申請人氏名を印字する。 |
| 決定年月日 | 変更不変更決定決議書に入力した支給決定年月日を印字する。 |
| 受付番号 | 決議書に印字したデータ受付番号を印字する。 |
| 宛名 | 印字しない。 |
| 年月日 | 不変更通知書を出力した日を印字する。 |
| 監督署名等 | 監督署名、郵便番号、住所及び電話番号を印字する。 |

③不変更決定通知書（教示文なし）

イ　様式

a　表面




b　裏面



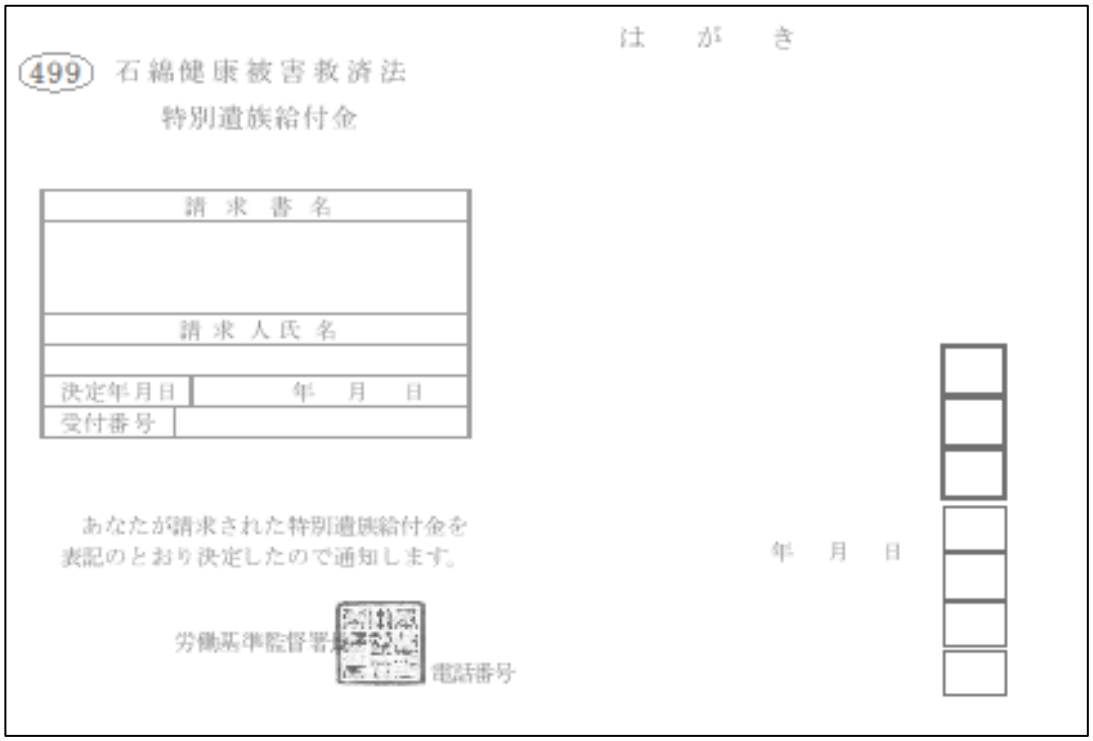
ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| （上方標題） | “不変更決定通知”と印字する。 |
| 請求書・申請書名 | 請求書・申請書名を漢字で別表 9－21（Ⅱ-9-69 ページ）のとおり印字する。 |
| 請求人・申請人氏名 | 請求人・申請人氏名を印字する。 |
| 決定年月日 | 変更不変更決定決議書に入力した支給決定年月日を印字する。 |
| 受付番号 | 決議書に印字したデータ受付番号を印字する。 |
| 宛名 | 印字しない。 |
| 年月日 | 不支給・不変更通知書を出力した日を印字する。 |
| 監督署名等 | 監督署名、郵便番号、住所及び電話番号を印字する。 |

④　不変更決定通知書（教示文なし、特別遺族）

イ　様式

a　表面




b　裏面



ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| （上方標題） | “不変更決定通知”と印字する。 |
| 請求書・申請書名 | 請求書・申請書名を漢字で別表 9－21（Ⅱ-9-69 ページ）のとおり印字する。 |
| 請求人・申請人氏名 | 請求人・申請人氏名を印字する。 |
| 決定年月日 | 変更不変更決定決議書に入力した支給決定年月日を印字する。 |
| 受付番号 | 決議書に印字したデータ受付番号を印字する。 |
| 宛名 | 印字しない。 |
| 年月日 | 不支給・不変更通知書を出力した日を印字する。 |
| 監督署名等 | 監督署名、郵便番号、住所及び電話番号を印字する。 |

■　別表 9－21【請求書・申請書名（請求）】

| 様式番号 | 請　求　書　・　申　請　書　名 |
|---|---|
| 00-02 | 遺族（補償）年金支給停止解除申請書<br>特別遺族年金支給停止解除申請書 |
| 00-02-4 | 支給停止解除・転給 |
| 00-03 | 年金証書再交付申請書 |
| 00-04 | 傷病（補償）年金傷病変更・治ゆ届 |
| 00-05 | 障害（補償）年金受給者再発届 |
| 00-06 | 年金等受給権者死亡届 |
| 00-06-2 | 受給権者死亡・転給 |
| 00-07 | 遺族（補償）年金代表者選任・解任届<br>特別遺族年金代表者選任・解任届 |
| 11-00 | 障害（補償）給付変更請求書 |
| 13-00 | 遺族（補償）年金転給等請求書 |
| 14-00<br>14-00-3 | 遺族（補償）年金支給停止申請書<br>特別遺族年金支給停止申請書 |
| 20-00 | 厚生年金保険等の受給関係変更届 |
| 21-00 | 遺族（補償）年金受給権者失権届<br>特別遺族年金受給権者失権届 |
| 21-00-1 | 受給権者失権・転給 |
| 22-00 | 遺族（補償）年金算定基礎変更届<br>特別遺族年金算定基礎変更届 |
| 90-02 | （職権決議用）受給権消滅確認決議書<br>（職権決議用）変更決定決議書 |
| 90-03 | （職権決議用）変更決定決議書<br>（職権決議用）代表者選任・解任決議書 |
| 90-04 | （職権決議用）年金証書再交付決議書 |

※様式番号の次の１桁の数字は「同時決議番号」を示す。

(6)　援護費通知書

①　援護費通知書

イ　様式

労働者災害補償保険
労災就学等援護費　様式第２号

454

年　月　日

電話番号

－

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | | | | | | 決定年月日 | | | 年　月　日 | | | | | |
| 調整額等 | 追給額 | | | | 回収額 | | | 回収額の処理方法 | | | | | | | |
| 在学者1 | 決定内容 | | | | | | | 支給決定月額 | | | | | | | |
| | 在学者等氏名 | | | | | | | 生年月日 | 年　月　日 | | | 枝番号 | | | |
| | 支給区分 | | 申請時の学年 | 年 | 支給開始年月 | | 年　月 | 支給終了予定年月 | | 年　月 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 年　月 | | | | | |
| | 備考 | | | | | | | | | | | | | | |
| 在学者2 | 決定内容 | | | | | | | 支給決定月額 | | | | | | | |
| | 在学者等氏名 | | | | | | | 生年月日 | 年　月　日 | | | 枝番号 | | | |
| | 支給区分 | | 申請時の学年 | 年 | 支給開始年月 | | 年　月 | 支給終了予定年月 | | 年　月 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 年　月 | | | | | |
| | 備考 | | | | | | | | | | | | | | |
| 在学者3 | 決定内容 | | | | | | | 支給決定月額 | | | | | | | |
| | 在学者等氏名 | | | | | | | 生年月日 | 年　月　日 | | | 枝番号 | | | |
| | 支給区分 | | 申請時の学年 | 年 | 支給開始年月 | | 年　月 | 支給終了予定年月 | | 年　月 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 年　月 | | | | | |
| | 備考 | | | | | | | | | | | | | | |

あなたが申請された労災就学等援護費を上記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長(印)

○　この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。

○　この決定に不服がある場合には、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に＿＿＿労働局長に対して審査請求をすることができます。決定があった日から１年を経過した場合を除きます。

この決定に対する取消訴訟は、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります）、この決定があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（決定があった日から１年を経過した場合を除きます。）。

ただし、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に審査請求をした場合には、取消訴訟は、その審査請求に対する裁決の送達を受けた日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起しなければなりません（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| あて名 | 支払権者の住所・氏名を印字する。 |
| 年月日 | 通知書を出力した年月日を印字する。 |
| 監督署名称等 | 決定を行った監督署名称、郵便番号、所在地及び電話番号を印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、申請書で振り出したデータ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ)」＋「年金証書番号 9 桁」＋「チェックデジット 1 桁」＋「決議番号 3 桁」＋「0000」の 20 桁<br>このうち年金証書番号 9 桁を除く 11 桁を印字 |
| 上方標題 | 就学等援護費決議書の内容により、次のうちいずれかの標題を印字する。<br>全員不支給以外の場合 ……「労災就学等援護費支給決定通知」<br>全員不支給の場合 ……「労災就学等援護費不支給決定通知」<br>全員不変更以外の場合 ……「労災就学等援護費変更決定通知」<br>全員不変更の場合 ……「労災就学等援護費不変更決定通知」<br>年金に連動して援護費通知書が出力される場合<br>……「労災就学等援護費変更決定通知」 |
| 年金証書番号 | 就学等援護費の支払権者の年金証書番号を印字する。 |
| 決定年月日 | 援護費決議書で入力した支給（不支給）・変更（不変更）決定年月日を印字する。 |
| 追給額 | 援護費決議書に印字した追給額を印字する。 |
| 回収額 | 援護費決議書に印字した回収額を印字する。 |
| 回収額の処理方法 | 援護費決議書に印字した回収額処理方法を印字する。ただし、保留の場合は印字しない。 |
| 決定内容 1・2・3 | 処理区分等により次のとおり印字する。<br>新規申請で処理区分に 01 を入力した場合 …… 支給決定<br>新規申請で処理区分に 01 以外を入力した場合 …… 不支給決定<br>変更申請で処理区分に 01 を入力した場合 …… 変更決定<br>変更申請で処理区分に 01 以外を入力した場合 …… 不変更決定<br>年金に連動して援護費通知書が出力される場合…… 変更決定 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 支給決定月額１・２・３ | 援護費支給決定月額を印字する。<br>　また、年金に連動して援護費通知書が出力される場合で、援護費支給終了(予定)年月の訂正と、中断・復帰・転帰事由の取消においては、訂正・取り消し後の状態が継続又は復帰又は再入学の時に支給区分に応じた額を印字する。<br>　上記以外の時又は支給区分の取消、在学者の取消の時は″０″と印字する。 |
| 在学者等氏名１・２・３ | 援護費資格者氏名を印字する。 |
| 生年月日１・２・３ | 援護費資格者生年月日を印字する。 |
| 枝番号１・２・３ | 援護費資格者枝番号を印字する。ただし、”88”（不支給、不変更枝番）の場合は印字しない。 |
| 支給区分１・２・３ | 援護費決議書に印字した支給区分に対応する文言を下記のとおり印字する。<br>1 …… 保育所等<br>3 …… 小学校<br>5 …… 中学校<br>7 …… 高等学校等<br>8 …… 通信制大学<br>9 …… 大学等 |
| 申請時の学年区分 １・２・３ | 援護費資格者の申請時の学年区分を印字する。 |
| 支給開始年月 １・２・３ | 援護費資格者の支給開始年月を印字する。 |
| 支給終了（予定）年月 １・２・３ | 援護費資格者の支給終了（予定）年月を印字する。 |
| 事由及び年月 | 変更決定通知の場合、中断・復帰・転帰事由又は年金と連動している場合の中断・復帰・転帰事由により別表 9-22（Ⅱ-9-73、74 ページ） のとおり印字する。 |
| 備考１・２・３ | 処理区分又は年金と連動している場合の資格者情報の訂正処理又は援護費情報の訂正処理により別表 9-23（Ⅱ-9-75 ページ）のとおり印字する。 |
| 署長印用監督署等名称 | 決定を行った監督署、又は支署の名称を印字する。 |

■ 別表 9-22【事由及び年月】

| 中断・復帰・転帰事由 | 文　言 | 中断・復帰・転帰事由文言 | 文　言 | 年　月 |
|---|---|---|---|---|
| 01 | 中断事由 | 休学 | 中断年月 | 中断年月 |
| 02 | 中断事由 | 停学 | 中断年月 | 中断年月 |
| 03 | 中断事由 | 留年 | 中断年月 | 中断年月 |
| 04 | 中断事由 | 退学 | 中断年月 | 中断年月 |
| 05 | 中断事由 | 同一生計無 | 中断年月 | 中断年月 |
| 06 | 中断事由 | 不就労 | 中断年月 | 中断年月 |
| 07 | 中断事由 | 就労者との同一生計無 | 中断年月 | 中断年月 |
| 11 | 転帰事由 | 死亡 | 転帰年月 | 転帰年月 |
| 12 | 転帰事由 | 婚姻 | 転帰年月 | 転帰年月 |
| 13 | 転帰事由 | 養子縁組 | 転帰年月 | 転帰年月 |
| 14 | 転帰事由 | 養子離縁 | 転帰年月 | 転帰年月 |
| 15 | 転帰事由 | 学資等支弁容易 | 転帰年月 | 転帰年月 |
| 50 | 復帰事由 | 復帰 | 復帰年月 | 復帰年月 |
| 51 | 復帰事由 | 再入学 | 復帰年月 | 復帰年月 |

（年金と連動している場合に出力される援護費通知書の事由及び年月）

| 変更・訂正処理 | 文　言 | 中断・復帰・転帰事由文言 | 文　言 | 年　月 |
|---|---|---|---|---|
| 遺族(補償)年金支給停止解除及び転給（００－０２） | “中断事由” | “権者との同一生計無” | “中断年月” | 中断年月 |
| 傷病(補償)年金変更（００～０４）、（９０－０３） | “転帰事由” | 転帰事由により“治ゆ”または“等級不該当” | “転帰年月” | 転帰年月 |
| 障害（補償)年金再発（００－０５）、（９０－０２） | “転帰事由” | “再発” | “転帰年月” | 転帰年月 |
| 遺族（補償)年金死亡及び転給（００－０６） | “中断事由”、本人の場合は“転帰事由” | “権者との同一生計無”、本人の場合は“死亡” | “中断年月”、本人の場合は“転帰年月” | 中断年月、本人の場合は転帰年月 |
| 遺族（補償)年金死亡（００－０６）、（９０－０２） | “転帰事由” | “死亡” | “転帰年月” | 転帰年月 |

| 変更・訂正処理 | 文　言 | 中断・復帰・転帰事由文言 | 文　言 | 年　月 |
|---|---|---|---|---|
| 傷病（補償）年金・<br>障害（補償）年金死亡<br>（００－０６）、（９０－０２） | “転帰事由” | “死亡” | “転帰年月” | 転帰年月 |
| 障害(補償)年金変更<br>（１１－００）、（９０－０３） | 等級変更の場合“中断事由”、転帰の場合“転帰事由” | 等級変更の場合“障害４～７級変更”、転帰の場合“等級不該当” | 等級変更の場合“中断年月”、転帰の場合“転帰年月” | 中断年月または転帰年月 |
| 遺族(補償)年金転給<br>（１３－００）、（９０－０３） | “中断事由” | “権者との同一生計無” | “中断年月” | 中断年月 |
| 遺族(補償)年金支給停止及び転給<br>（１４－００） | “中断事由” | “年金の支給停止”（本人）<br>“権者との同一生計無” | “中断年月” | 中断年月 |
| 遺族(補償)年金支給停止<br>（１４－００） | “中断事由” | “年金の支給停止” | “中断年月” | 中断年月 |
| 遺族(補償)年金失権及び転給<br>（２１－００） | “中断事由”、本人の場合は“転帰事由” | “権者との同一生計無”、本人の場合は“婚姻”、“養子縁組”、“離縁”、“障害無”、“18歳到達” | “中断年月”、本人の場合は“転帰年月” | 中断年月、本人の場合は転帰年月 |
| 遺族(補償)年金失権<br>（２１－００）、（９０－０２） | “転帰事由” | “婚姻”、“養子縁組”、“離縁”、“障害無”、“18歳到達” | “転帰年月” | 転帰年月 |
| 遺族(補償)年金算定基礎変更(２２－００)、（９０－０３）(同一生計の有無) | “中断事由” | “権者との同一生計無” | “中断年月” | 中断年月 |
| 遺族(補償)年金算定基礎変更<br>（２２－００）、（９０－０３）<br>(失権(失格)) | “転帰事由” | “死亡”、“婚姻”、“養子縁組”、“離縁”、“障害無”、“18歳到達” | “転帰年月” | 転帰年月 |
| 等級等情報(５７０) | “中断事由” | “障害４～７級変更” | “中断年月” | 中断年月 |
| 支給停止情報(６９０) | “中断事由” | “年金の支給停止” | “中断年月” | 中断年月 |
| 資格者情報(６００) | “中断事由” | “権者との同一生計無” | “中断年月” | 中断年月 |
| 支給停止解除更新 | “転帰事由” | “18歳失権” | “転帰年月” | 処理年の３月 |

■ 別表 9-23【備考】

| 処理区分 | 印　　字　　内　　容 |
|---|---|
| 01 | ― |
| 13 | 重複請求 |
| 25 | 基本権なし |
| 30 | 管轄外 |
| 51 | 被災者の子又は受給権者（傷病年金は除く）でない。 |
| 52 | 権者との同一生計なし |
| 53 | 学資等支弁困難でない。（年金給付基礎日額 16,000 円を超える） |
| 54 | 学校教育法第 1 条に定める学校等でない。 |
| 55 | 学校等に在学してない。 |
| 56 | 障害等級４級以下。 |
| 57 | 傷病等級号に該当しない。 |
| 58 | 就労していない。 |
| 59 | 就労者との同一生計なし。 |
| 60 | 当該支給区分での支給期間が残ってない。 |
| 61～70 | その他援護費不支給。 |

(年金と連動している場合に出力される援護費通知書の備考)

資格者情報(600)

| 出力条件 | 備考の印字内容 |
|---|---|
| 資格者の取消 | 資格者でなくなりました。 |

援護費情報(610)

| 出力条件 | | 備考の印字内容 |
|---|---|---|
| 援護費支給終了予定年月の訂正 | | 支給終了年月を訂正しました。 |
| 中断復帰転帰事由の取消 | | |
| | 中断復帰転帰事由が休学(01) | 休学を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が停学(02) | 停学を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が留年(03) | 留年を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が退学(04) | 退学を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が権者との同一生計無(05) | 権者との同一生計無を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が不就労(06) | 不就労を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が就労者との同一生計無(07) | 就労者との同一生計無を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が障害等級４級以下(08) | 障害４～７級変更を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が死亡(11) | 死亡を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が婚姻(12) | 婚姻を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が養子縁組(13) | 養子縁組を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が離縁(14) | 養子離縁を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が学資等支弁容易(15) | 学資等支弁容易を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が障害無(16) | 障害無を取り消しました。 |
| | 中断復帰転掃事由が 18 歳到達(18) | 18 歳到達を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が復帰(50) | 復帰を取り消しました。 |
| | 中断復帰転帰事由が再入学(51) | 再入学を取り消しました。 |
| 支給区分の取消 | | 支給区分を取り消しました。 |
| 在学者の取消 | | 在学者でなくなりました。 |

ハ　留意点

援護費支給・不支給決定通知書の下欄に印字されている教示文については、該当の都道府県労働局を手書きにより記載すること。

② 支給停止解除決定通知（援護費支給・不支給決定通知書）

イ 様式

労働者災害補償保険
労災就学等援護費 様式第２号

454

年 月 日

電話番号

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | | | 決定年月日 | 年 月 日 | | | |
| 調整額等 | 追給額 | | 回収額 | | 回収額の処理方法 | | | |
| 在学者1 | 決定内容 | | | 支給決定月額 | | | | |
| | 在学者等氏名 | | | 生年月日 | 年 月 日 | 枝番号 | | |
| | 支給区分 | 申請時の学年 年 | 支給開始年月 | 年 月 | 支給終了(予定)年月 | 年 月 | | |
| | | | | | | 年 月 | | |
| | 備考 | | | | | | | |
| 在学者2 | 決定内容 | | | 支給決定月額 | | | | |
| | 在学者等氏名 | | | 生年月日 | 年 月 日 | 枝番号 | | |
| | 支給区分 | 申請時の学年 年 | 支給開始年月 | 年 月 | 支給終了(予定)年月 | 年 月 | | |
| | | | | | | 年 月 | | |
| | 備考 | | | | | | | |
| 在学者3 | 決定内容 | | | 支給決定月額 | | | | |
| | 在学者等氏名 | | | 生年月日 | 年 月 日 | 枝番号 | | |
| | 支給区分 | 申請時の学年 年 | 支給開始年月 | 年 月 | 支給終了(予定)年月 | 年 月 | | |
| | | | | | | 年 月 | | |
| | 備考 | | | | | | | |

あなたが申請された労災就学等援護費を上記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長(印)

○ この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。
○ この決定に不服がある場合には、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に＿＿＿労働局長に対して審査請求をすることができます(決定があった日から１年を経過した場合を除きます。)。
この決定に対する取消訴訟は、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、この決定があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（決定があった日から１年を経過した場合を除きます。）。
ただし、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に審査請求をした場合には、取消訴訟は、その審査請求に対する裁決の送達を受けた日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起しなければなりません（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。

ロ　　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 宛名 | 郵便番号、住所、氏名を印字する。 |
| 出力年月日 | 援護費支給・不支給決定通知書を出力した年月日を印字する。 |
| 監督署名称 | 決定を行った監督署の名称を印字する。 |
| 監督署所在地 | 決定を行った監督署の所在地を印字する。 |
| 監督署電話番号 | 決定を行った監督署の電話番号を印字する。 |
| データ受付番号 | 「あて名」欄の最下段に、データ受付番号の一部を印字する。印字内容は以下のとおり。<br>※データ受付番号＝「20」＋「新旧区分（1:旧システムからの移行データ、2:新システムで入力したデータ)」＋「年金証書番号9桁」＋「チェックデジット1桁」＋「決議番号3桁」＋「0000」の20桁<br>このうち年金証書番号9桁を除く11桁を印字 |
| 上方標題 | ″労災就学等援護費変更決定通知″と印字する。 |
| 年金証書番号 | 支給停止解除の対象となった年金証書番号を印字する。 |
| 決定年月日 | 決定年月日を印字する。 |
| 追給額 | 印字しない。 |
| 回収額 | 印字しない。 |
| 回収額の処理方法 | 印字しない。 |
| 決定内容1・2・3 | ″変更決定″と印字する。<br>但し、該当の援護費情報が存在しない場合は印字しない。 |
| 支給決定月額1・2・3 | 支給決定月額を印字する。 |
| 在学者氏名1・2・3 | 在学者の氏名を印字する。 |
| 生年月日1・2・3 | 在学者の生年月日を印字する。 |
| 枝番号1・2・3 | 在学者の枝番号を印字する。 |
| 支給区分1・2・3 | 印字しない。 |
| 申請時の学年1・2・3 | 援護費資格者の申請時の学年区分を印字する。 |
| 支給開始年月1・2・3 | 援護費資格者の支給開始年月を印字する。 |
| 支給（終了）予定年月1・2・3 | 援護費資格者の支給終了（予定）年月を印字する。 |
| 事由及び年月 | 変更決定通知の場合、中断・復帰・転帰事由又は年金と連動している場合の中断・復帰・転帰事由により別表9-22（Ⅱ-9-73、74ページ）のとおり印字する。 |
| 備考1・2・3 | 印字しない。 |
| 署長印用監督署等名称 | 決定を行った監督署、又は支署の名称を印字する。 |

ハ　留意点

援護費支給・不支給決定通知書の下欄に印字されている教示文については、該当の都道府県労働局を手書きにより記載すること。

③　援護費変更決定通知

イ　様式（国内）

労働者災害補償保険
労災就学等援護費　様式第２号

454

XXXXXXXX
XXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX　　年　月　日
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

電話番号

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | | | 決定年月日 | 年　月　日 | | | | | |
| 調整額等 | 追給額 | | | 回収額 | | | 回収額の処理方法 | | | |
| 在学者1 | 決定内容 | | | | 支給決定月額 | | | | | |
| | 在学者等氏名 | | | | 生年月日 | 年　月　日 | | 枝番号 | | |
| | 支給区分 | | 申請時の学年 | 年 | 支給開始年月 | 年　月 | 支給終了予定年月 | 年　月 | | |
| | | | | | | | | 年　月 | | |
| | 備考 | | | | | | | | | |
| 在学者2 | 決定内容 | | | | 支給決定月額 | | | | | |
| | 在学者等氏名 | | | | 生年月日 | 年　月　日 | | 枝番号 | | |
| | 支給区分 | | 申請時の学年 | 年 | 支給開始年月 | 年　月 | 支給終了予定年月 | 年　月 | | |
| | | | | | | | | 年　月 | | |
| | 備考 | | | | | | | | | |
| 在学者3 | 決定内容 | | | | 支給決定月額 | | | | | |
| | 在学者等氏名 | | | | 生年月日 | 年　月　日 | | 枝番号 | | |
| | 支給区分 | | 申請時の学年 | 年 | 支給開始年月 | 年　月 | 支給終了予定年月 | 年　月 | | |
| | | | | | | | | 年　月 | | |
| | 備考 | | | | | | | | | |

あなたが申請された労災就学等援護費を上記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長（印）

○　この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。
○　この決定に不服がある場合には、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に＿＿＿労働局長に対して審査請求をすることができます（決定があった日から１年を経過した場合を除きます。）。
　この決定に対する取消訴訟は、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、この決定があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（決定があった日から１年を経過した場合を除きます。）。
　ただし、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に審査請求をした場合には、取消訴訟は、その審査請求に対する裁決の送達を受けた日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起しなければなりません（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。

（外国）

労働者災害補償保険
労災就学等援護費　様式第２号

454

XXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

年　月　日

電話番号

| 年金証書番号 | | 決定年月日 | 年　月　日 |
|---|---|---|---|
| 調整額等 | 追給額 | 回収額 | 回収額の処理方法 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 在学者1 | 決定内容 | | | 支給決定月額 | | | | |
| | 在学者等氏名 | | | 生年月日 | 年　月　日 | 枝番号 | | |
| | 支給区分 | | 申請時の学年 | 年 | 支給開始年月 | 年　月 | 支給終了予定年月 | 年　月 |
| | | | | | | | | 年　月 |
| | 備考 | | | | | | | |
| 在学者2 | 決定内容 | | | 支給決定月額 | | | | |
| | 在学者等氏名 | | | 生年月日 | 年　月　日 | 枝番号 | | |
| | 支給区分 | | 申請時の学年 | 年 | 支給開始年月 | 年　月 | 支給終了予定年月 | 年　月 |
| | | | | | | | | 年　月 |
| | 備考 | | | | | | | |
| 在学者3 | 決定内容 | | | 支給決定月額 | | | | |
| | 在学者等氏名 | | | 生年月日 | 年　月　日 | 枝番号 | | |
| | 支給区分 | | 申請時の学年 | 年 | 支給開始年月 | 年　月 | 支給終了予定年月 | 年　月 |
| | | | | | | | | 年　月 |
| | 備考 | | | | | | | |

あなたが申請された労災就学等援護費を上記のとおり決定したので通知します。

労働基準監督署長(印)

○　この決定理由の詳細についてお聞きになりたい点があれば、当署まで照会してください。
○　この決定に不服がある場合には、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に＿＿＿労働局長に対して審査請求をすることができます(決定があった日から１年を経過した場合を除きます。)。
　この決定に対する取消訴訟は、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、この決定があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（決定があった日から１年を経過した場合を除きます。）。
　ただし、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に審査請求をした場合には、取消訴訟は、その審査請求に対する裁決の送達を受けた日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起しなければなりません（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 国内の場合 | |
| 郵便番号 | 郵便番号を印字する。 |
| 都道府県名 | 都道府県名を印字する。 |
| 住所１ | 住所の１桁目～15 桁目を印字する。 |
| 住所２ | 住所の 16 桁目～30 桁目を印字する。 |
| 住所３ | 住所の 31 桁目～40 桁目を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 受給権者の氏名を印字する。 |
| 外国の場合 | |
| 外国コード | 外国コードを印字する。 |
| 受給権者氏名 | 受給権者の氏名を印字する。 |
| 住所１ | 住所の１桁目～25 桁目を印字する。 |
| 住所２ | 住所の 26 桁目～50 桁目を印字する。 |
| 住所３ | 住所の 51 桁目～75 桁目を印字する。 |
| 住所４ | 住所の 76 桁目～100 桁目を印字する。 |
| 外国名 | 外国名を印字する。 |
| データ受付番号 | 印字しない。 |
| 処理年月日 | 業務運用日の漢字元号、和暦年、和暦月、和暦日を印字する。 |
| 監督署名称等 | 支給決定を行った監督署名称、住所及び電話番号を印字する。 |
| 上方標題 | ″労災就学等援護費変更決定通知″を印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号を印字する。 |
| 決定年月日 | 業務運用日の漢字元号、和暦年、和暦月、和暦日を印字する。 |
| 追給額 | 援護費追給額が存在する場合、追給額を印字する。<br>援護費追給額が存在しない場合は、印字しない。 |
| 回収額 | 援護費回収額が存在する場合、追給額を印字する。<br>援護費回収額が存在しない場合は、印字しない。 |
| 回収額の処理方法 | 援護費回収額が存在する場合に、回収額の処理方法として、以下のいずれかを印字する。<br>″債権管理″、″内払い″、″（空白）″ |
| 決定内容 | ″変更決定″を印字する。 |
| 支給決定月額 | 援護費の月額を印字する。 |
| 在学者氏名 | 在学者の氏名を印字する。 |
| 生年月日 | 生年月日の和暦元号、和暦年、月日を印字する。 |
| 枝番号 | 枝番号を印字する。 |
| 支給区分 | 支給区分の漢字名を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 申請時の学年 | 申請時の学年区分を印字する。 |
| 支給開始年月日 | 支給開始年月日の和暦元号、和暦年、月日を印字する。 |
| 支給終了年月日 | 支給終了年月日の和暦元号、和暦年、月日を印字する。 |
| 変更事由名 | 変更事由名として、以下のいずれかを印字する。<br>″中断事由″、″転帰事由″、″復帰事由″、″（空白）″ |
| 変更事由 | 変更事由として、以下のいずれかを印字する。<br>″休学″、″停学″、″留年″、″退学″、″同一生計無″、″不就労″、<br>″就労者と同一生計無″、″障害等級４～７級変更″、″死亡″、″婚姻　″、<br>″養子縁組″、″離縁″、″学資等支弁容易″、″障害無″、″十八才到達″、″復帰″、″再入学″、″（空白）″ |
| 変更事由年月名 | 変更事由年月名として、以下のいずれかを印字する。<br>″中断年月″、″転帰年月″ 、″復帰年月″、″（空白）″ |
| 変更事由年月 | 変更事由年月の和暦元号、和暦年、和暦月を印字する。 |
| 備考 | ″援護費月額の改定″を印字する。 |
| 署長印用監督署等名称 | 決定を行った監督署、又は支署の名称を印字する。 |

ハ　留意点

援護費支給・不支給決定通知書の下欄に印字されている教示文については、該当の都道府県労働局を手書きにより記載すること。

(7)　年金・一時金入力結果票

イ　様式

年金入力結果票

455

データ受付番号　出力年月日　出力回数　0/0

年金証書番号　受給権者氏名

| | | | |
|---|---|---|---|
| 氏名・住所情報 | 受給権者枝番号・氏名 | | |
| | 郵便番号 | | |
| | 都道府県名(外国名) | | |
| | 住所 | | |
| | 電話番号 | | |
| 払渡金融機関等情報 | 支払方法 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 厚年等情報 | | 1種 | 2種 |
| | 調整コード | | |
| | 種別 | | |
| | 年額 | | |
| | 調整開始年月 | | |
| | 厚年等年金証書番号 | | |
| その他 | 診断書の要否 | | |
| | 傷病区分 | | |
| | 三者調整開始年月 | | |
| 備考欄 | | | |

ロ　出力項目の説明

| 情　報　名 | 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|---|
| － | データ受付番号 | データ受付番号を印字する。 |
| | 出力年月日 | 年金入力結果票の出力年月日を印字する。 |
| | 出力回数 | 決議書出力回数を印字する。 |
| | 枚目/枚中 | 枚目/枚中を印字する。 |
| | 年金証書番号 | 年金証書番号を印字する。 |
| | 受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |
| 氏名・住所情報 | 受給権者枝番号･氏名 | 年金入力票又は外国払入力票で入力した枝番号（遺族（補償）年金、又は特別遺族年金のみ）及び氏名を印字する。 |
| | 郵便番号 | 年金入力票で入力した郵便番号を印字する。 |
| | 都道府県名（外国名） | 年金入力票又は外国払入力票で入力した都道府県コード又は外国コード及び当該コードに対応する都道府県名又は国名を印字する。 |
| | 住所 | 年金入力票又は外国払入力票で入力した住所を印字する。 |
| | 電話番号 | 年金入力票で入力した電話番号を印字する。 |
| 払渡金融機関情報 | 支払方法 | 年金入力票で入力したコード及びコードに対応する内容を印字する。なお、以下の項目については、支払方法に従い出力項目名及び出力内容を印字する。 |
| | 金融機関コード<br>又は<br>郵便局コード | 年金入力票又は外国払入力票で入力した金融機関コード又は郵便局コードを印字する。入力を省略した場合は、登録票で入力した一時金口座情報を引用する（一時金口座情報の引用は金融機関コードのみ）。 |
| | 金融機関名<br>又は<br>郵便局名 | 年金入力票又は外国払入力票で入力したコードに対応する金融機関名又は郵便局名を印字する。入力を省略した場合は、登録票で入力した一時金口座情報を引用する（一時金口座情報の引用は金融機関名のみ）。 |
| | 店舗名 | 年金入力票又は外国払入力票で入力したコードに対応する金融機関店舗名を印字する。入力を省略した場合は、登録票で入力した一時金口座情報を引用する（銀行振込の場合のみ印字）。 |
| | 預金の種類 | 年金入力票で入力したコード及びコードに対応する内容を印字する。入力を省略した場合は、登録票で入力した一時金口座情報を引用する（銀行振込の場合のみ印字）。 |
| | 口座番号<br>又は<br>預金通帳記号番号 | 年金入力票又は外国払入力票で入力した口座番号又は預金通帳の記号番号を印字する。入力を省略した場合は、登録票で入力した一時金口座情報を引用する（一時金口座情報の引用は口座番号のみ）。 |

| 情　報　名 | 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 払渡金融機関情報 | SWIFT(BIC)コード | 外国払のみ、外国払入力票で入力したSWIFT(BIC)コードを印字する。 |
| | 金融機関所在地 | 外国払のみ、外国払入力票で入力した金融機関所在地を印字する。 |
| 厚年等情報（1種） | 調整コード | 入力したコード及びコードに対応する内容を印字する。 |
| | 種別 | 入力したコード及びコードに対応する内容を印字する。 |
| | 年額 | 入力した厚年等年額を印字する。 |
| | 調整開始年月 | 調整開始年月（支給事由発生年月日の翌月）を印字する。 |
| | 厚年等年金証書番号 | 入力した厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コードを印字する。 |
| 厚年等情報（2種） | 調整コード | 入力したコード及びコードに対応する内容を印字する。 |
| | 種別 | 入力したコード及びコードに対応する内容を印字する。 |
| | 年額 | 入力した厚年等年額を印字する。 |
| | 調整開始年月 | 調整開始年月（支給事由発生年月日の翌月）を印字する。 |
| | 厚年等年金証書番号 | 入力した厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コードを印字する。 |
| その他 | 診断書の要否 | 入力したコード及びコードに対応する内容を印字する。 |
| | 傷病区分 | 入力したコード及びコードに対応する内容を印字する。 |
| | 三者調整開始年月 | 三者調整がある場合には、支給事由発生年月日の翌月を印字する。 |

(8)　年金年額リスト

そ及処理において、効力開始年月（変更年月）時点の年金年額、特別年金年額又は傷病差額特別年金年額が入力した支払期の終月時点までに変動する場合に出力する。

①　年金年額リスト

イ　様式

456

労災補償年金等年額変更内訳

データ受付番号　　訂正番号　　出力年月日　　出力回数　　／

年金証書番号　　受給者氏名　　転帰年月日

| 項番 | 変更年月 | 保険給付額 | 特別年金額 | 傷病差額特別年金 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |
| 11 | | | | | |
| 12 | | | | | |
| 13 | | | | | |
| 14 | | | | | |
| 15 | | | | | |
| 16 | | | | | |
| 17 | | | | | |
| 18 | | | | | |
| 19 | | | | | |
| 20 | | | | | |
| 21 | | | | | |
| 22 | | | | | |
| 23 | | | | | |
| 24 | | | | | |
| 25 | | | | | |

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| データ受付番号 | 登録・変更・訂正処理で振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 訂正番号 | 訂正処理で振り出した訂正番号を印字する。 |
| 出力年月日 | 支給・変更・訂正決定決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 出力回数 | 支給・変更・訂正決定決議書を出力した回数を印字する。 |
| 枚目/枚中 | 年金年額リストの枚目（ページ）/枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号を印字する。 |
| 受給者氏名 | 支払権者氏名を漢字で印字する。<br>なお、外国送金者の場合はカナで印字する。 |
| 転帰年月日 | 転帰年月日を印字する。 |
| 変更年月 | 年金年額、特別年金年額又は傷病特別年金年額に変動が生じた年月を印字する。 |
| 保険給付額 | 変更年月時点の年金年額を印字する。 |
| 特別年金額 | 変更年月時点の特別年金年額を印字する。 |
| 傷病差額特別年金 | 変更年月時点の傷病差額特別年金年額を印字する。 |

② 年金年額リスト（特別遺族）

イ 様式

石綿健康被害救済法

# 特別遺族年金年額変更内訳

486

データ受付番号　訂正番号　出力年月日　出力回数　□/□

年金証書番号　受給者氏名　転帰年月日

| 項番 | 変更年月 | 特別遺族年金額 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 16 | | | |
| 17 | | | |
| 18 | | | |
| 19 | | | |
| 20 | | | |
| 21 | | | |
| 22 | | | |
| 23 | | | |
| 24 | | | |
| 25 | | | |

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| データ受付番号 | 登録・変更・訂正処理で振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 訂正番号 | 訂正処理で振り出した訂正番号を印字する。 |
| 出力年月日 | 支給・変更・訂正決定決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 出力回数 | 支給・変更・訂正決定決議書を出力した回数を印字する。 |
| 枚目/枚中 | 年金年額リスト（特別遺族）の枚目（ページ）/枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号を印字する。 |
| 受給者氏名 | 支払権者氏名を漢字で印字する。<br>なお、外国送金者の場合はカナで印字する。 |
| 転帰年月日 | 転帰年月日を印字する。 |
| 変更年月 | 特別遺族年金額に変動が生じた年月を印字する。 |
| 特別遺族年金額 | 変更年月時点の特別遺族年金額を印字する。 |

(9)　遺族（補償）年金資格者一覧

①　遺族（補償）年金資格者一覧

イ　様式

457

## 遺族(補償)年金資格者一覧

データ受付番号　　出力年月日　　出力回数　　1/1

年金証書番号　　受給権者氏名

| | 枝番号 | 氏　　名 | 生　年　月　日 | 性 別 | 続柄の有無 | 同一生計の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 資 格 者 1 | | | | | | |
| 資 格 者 2 | | | | | | |
| 資 格 者 3 | | | | | | |
| 資 格 者 4 | | | | | | |
| 資 格 者 5 | | | | | | |
| 資 格 者 6 | | | | | | |
| 資 格 者 7 | | | | | | |
| 資 格 者 8 | | | | | | |
| 資 格 者 9 | | | | | | |
| 資 格 者 10 | | | | | | |
| 資 格 者 11 | | | | | | |
| 資 格 者 12 | | | | | | |
| 資 格 者 13 | | | | | | |
| 資 格 者 14 | | | | | | |
| 資 格 者 15 | | | | | | |
| 資 格 者 16 | | | | | | |

| 備考欄 | |
|---|---|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| データ受付番号 | 登録処理で振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 出力年月日 | 支給決定決議書の出力年月日を印字する。 |
| 出力回数 | 支給決定決議書を出力した回数を印字する。 |
| 枚目/枚中 | 遺族（補償）年金資格者一覧の枚目（ページ）/枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| 年金証書番号 | 支給決定決議書出力時に振り出した年金証書番号を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 支払権者氏名を漢字で印字する。 |
| 枝番号 1 | 年金入力票で入力した支払権者の枝番号を印字する。 |
| 氏名 1 | 年金入力票で入力した支払権者の氏名を印字する。 |
| 生年月日 1 | 年金入力票で入力した支払権者の生年月日を印字する。 |
| 性別 1 | 年金入力票で入力したコードを印字し、コードに対応する文言も併せて印字する。 |
| 障害の有無 1 | 年金入力票で省略した場合は、「0:無」を印字する。<br>年金入力票で入力した場合は、「1:有」又は「3:有」を印字する。 |
| 同一生計の有無 1 | 常に「0:有」を印字する。 |
| 枝番号 2～16 | 年金入力票で入力した資格者枝番号を印字する。 |
| 氏名 2～16 | 年金入力票で入力した資格者氏名を印字する。 |
| 生年月日 2～16 | 年金入力票で入力した資格者生年月日を印字する。 |
| 性別 2～16 | 年金入力票で入力したコードを印字し、コードに対応する文言も併せて印字する。 |
| 障害の有無 2～16 | 年金入力票で省略した場合は、「0:無」を印字する。<br>年金入力票で入力した場合は、「1:有」又は「3:有」を印字する。 |
| 同一生計の有無 2～16 | 年金入力票で省略した場合は、「0:無」を印字する。<br>年金入力票で入力した場合は、「1:有」を印字する。 |

② 特別遺族年金資格者一覧

イ 様式

石綿健康被害救済法

# 特別遺族年金資格者一覧

487

データ受付番号　　出力年月日　　出力回数　　/

年金証書番号　　受給権者氏名

| | 枝番号 | 氏　　名 | 生　年　月　日 | 性 別 | 障害の有無 | 同一生計の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 資 格 者 1 | | | | | | |
| 資 格 者 2 | | | | | | |
| 資 格 者 3 | | | | | | |
| 資 格 者 4 | | | | | | |
| 資 格 者 5 | | | | | | |
| 資 格 者 6 | | | | | | |
| 資 格 者 7 | | | | | | |
| 資 格 者 8 | | | | | | |
| 資 格 者 9 | | | | | | |
| 資 格 者 10 | | | | | | |
| 資 格 者 11 | | | | | | |
| 資 格 者 12 | | | | | | |
| 資 格 者 13 | | | | | | |
| 資 格 者 14 | | | | | | |
| 資 格 者 15 | | | | | | |
| 資 格 者 16 | | | | | | |

| 備考欄 | |
|---|---|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| データ受付番号 | 登録処理で振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 出力年月日 | 支給決定決議書の出力年月日を印字する。 |
| 出力回数 | 支給決定決議書を出力した回数を印字する。 |
| 枚目/枚中 | 特別遺族年金資格者一覧の枚目（ページ）/枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| 年金証書番号 | 支給決定決議書出力時に振り出した年金証書番号を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 支払権者氏名を漢字で印字する。 |
| 枝番号 1 | 年金入力票で入力した支払権者の枝番号を印字する。 |
| 氏名 1 | 年金入力票で入力した支払権者の氏名を印字する。 |
| 生年月日 1 | 年金入力票で入力した支払権者の生年月日を印字する。 |
| 性別 1 | 年金入力票で入力したコードを印字し、コードに対応する文言も併せて印字する。 |
| 障害の有無 1 | 年金入力票で省略した場合は、「0:無」を印字する。<br>年金入力票で入力した場合は、「1:有」又は「3:有」を印字する。 |
| 同一生計の有無 1 | 常に「0:有」を印字する。 |
| 枝番号 2～16 | 年金入力票で入力した資格者枝番号を印字する。 |
| 氏名 2～16 | 年金入力票で入力した資格者氏名を印字する。 |
| 生年月日 2～16 | 年金入力票で入力した資格者生年月日を印字する。 |
| 性別 2～16 | 年金入力票で入力したコードを印字し、コードに対応する文言も併せて印字する。 |
| 障害の有無 2～16 | 年金入力票で省略した場合は、「0:無」を印字する。<br>年金入力票で入力した場合は、「1:有」又は「3:有」を印字する。 |
| 同一生計の有無 2～16 | 年金入力票で省略した場合は、「0:無」を印字する。<br>年金入力票で入力した場合は、「1:有」を印字する。 |

(10)　年金内訳リスト

訂正処理において年金給付を訂正した場合に出力する。

①　年金内訳リスト

イ　様式

458

## 他給付連携等の年金変更決定決議書

データ受付番号　　訂正番号　　出力年月日　　出力回数　　□/□

被災者氏名　　生年月日　　傷病年月日　　労働保険番号

### 年金給付1

| 年金証書番号 | | 決定額 | 年金年額 | |
|---|---|---|---|---|
| 受給権者氏名 | | | 特別年金年額 | |
| 支給事由発生 | | | 傷病差額特別年金額 | |
| 転帰年月日 | | | 就学等援護費 | |

| 調整額等 | | 回収額 | 追給額 |
|---|---|---|---|
| | 保険給付額 | | |
| | 特別支給金 | | |
| | 就学等援護費 | | |

### 年金給付2

| 年金証書番号 | | 決定額 | 年金年額 | |
|---|---|---|---|---|
| 受給権者氏名 | | | 特別年金年額 | |
| 支給事由発生 | | | 傷病差額特別年金額 | |
| 転帰年月日 | | | 就学等援護費 | |

| 調整額等 | | 回収額 | 追給額 |
|---|---|---|---|
| | 保険給付額 | | |
| | 特別支給金 | | |
| | 就学等援護費 | | |

### 年金給付3

| 年金証書番号 | | 決定額 | 年金年額 | |
|---|---|---|---|---|
| 受給権者氏名 | | | 特別年金年額 | |
| 支給事由発生 | | | 傷病差額特別年金額 | |
| 転帰年月日 | | | 就学等援護費 | |

| 調整額等 | | 回収額 | 追給額 |
|---|---|---|---|
| | 保険給付額 | | |
| | 特別支給金 | | |
| | 就学等援護費 | | |

### 追給・回収額合計

| 調整額等 | | 回収額 | 調整額処理方法 | 追給額 | 追給額処理方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 保険給付額 | | | | |
| | 特別支給金 | | | | |
| | 就学等援護費 | | | | |

備考

| 署長 | 次長 | 課長 | 係長 | 係 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

決裁　　年　月　日

年金内訳リスト　（2 枚目）

イ　様式

## 年金内訳リスト

□/□

| 被災者氏名 | 被災者生年月日 | 傷病年月日 | 労働保険番号 |
|---|---|---|---|
| | | | |

### 年金給付 1

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | 決定額 | 年金年額 | | | | | | | |
| 受給権者氏名 | | | 特別年金年額 | | | | | | | |
| 支給事由発生 | | | 傷病差額特別年金額 | | | | | | | |
| 転帰年月日 | | | 就学等援護費 | | | | | | | |

| 調整額等 | | 回収額 | | | 追給額 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 保険給付額 | | | | | | |
| | 特別支給金 | | | | | | |
| | 就学等援護費 | | | | | | |

### 年金給付 2

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | 決定額 | 年金年額 | | | | | | | |
| 受給権者氏名 | | | 特別年金年額 | | | | | | | |
| 支給事由発生 | | | 傷病差額特別年金額 | | | | | | | |
| 転帰年月日 | | | 就学等援護費 | | | | | | | |

| 調整額等 | | 回収額 | | | 追給額 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 保険給付額 | | | | | | |
| | 特別支給金 | | | | | | |
| | 就学等援護費 | | | | | | |

### 年金給付 3

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金証書番号 | | 決定額 | 年金年額 | | | | | | | |
| 受給権者氏名 | | | 特別年金年額 | | | | | | | |
| 支給事由発生 | | | 傷病差額特別年金額 | | | | | | | |
| 転帰年月日 | | | 就学等援護費 | | | | | | | |

| 調整額等 | | 回収額 | | | 追給額 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 保険給付額 | | | | | | |
| | 特別支給金 | | | | | | |
| | 就学等援護費 | | | | | | |

### 追給・回収額合計

| 調整額等 | | 回収額 | | | 調整額処理方法 | 追給額 | | | 追給額処理方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 保険給付額 | | | | | | | | |
| | 特別支給金 | | | | | | | | |
| | 就学等援護費 | | | | | | | | |

| 備考欄 | |
|---|---|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

年金内訳リストの裏面

イ　様式

労働者災害補償保険

# 年金給付変更決定通知書

さきに貴殿に対してなした裏面内訳の年金給付の決定については、下記の理由により裏面内訳のとおり、取消し新たに変更決定したので通知します。

○　追給額は、裏面内訳の「追給・回収額合計」欄の金額をお支払い致します。
○　過払額は、裏面内訳の「追給・回収額合計」欄の金額について「調整額処理方法」欄のとおりと致します。
○　（1）保険給付に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に下記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

（2）審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して60日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求をした日から3ヶ月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

（3）本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して6ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から1年を経過した場合を除きます。）。ただし、①再審査請求をした日から3ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

＿＿＿＿＿＿年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿労働基準監督署長

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

| | |
|---|---|
| 変更決定の理由 | |

ロ　出力項目の説明

1枚目（他給付連携等の年金変更決定決議書）

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| データ受付番号 | 訂正処理で振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 訂正番号 | 訂正処理においてデータ受付番号を入力キーとした場合に印字する。 |
| 決議書出力年月日 | 訂正決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 決議書出力回数 | 訂正決議書を出力した回数を印字する。修正、決議書再出力等によって加算する。 |
| 枚目/枚中 | 他給付連携等の年金変更決定決議書の枚目（ページ）/枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名（カナ）を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 年金証書番号1・2・3 | 訂正処理を行った年金給付の年金証書番号を印字する。 |
| 受給権者氏名1・2・3 | 決議書出力時点の支払権者氏名（漢字）を印字する。ただし、転帰済の場合は転帰時の支払権者氏名（漢字）を印字する。<br>外国送金者の場合、支払権者氏名（カナ）を印字する。<br>なお、権者払の場合は、枝番号の若い支払権者を印字する。 |
| 支給事由発生年月日<br>1・2・3 | 支給事由発生年月日を印字する。 |
| 転帰年月日1・2・3 | 転帰済の場合は、転帰年月日を印字する。 |
| 年金年額1・2・3 | 訂正した変更年月時点の支給制限後年金年額を印字する。 |
| 特別年金年額1・2・3 | 訂正した変更年月時点の支給制限後特別年金年額を印字する。 |
| 傷病差額特別年金額<br>1・2・3 | 傷病(補償)年金の場合で、訂正した変更年月時点の支給制限後傷病差額特別年金年額を印字する。 |
| 就学等援護費額1・2・3 | 訂正（変更）年月時点の就学等援護費の給付月額の全在学者の合計を印字する。<br>なお、訂正（変更）年月の効力開始年月が平成8年5月支払期以前の年金の終月（1、4、7、10月）の場合は、就学等援護費では翌期の対象年月であり計算不能となるため“＊”を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 保険給付額（回収額）<br>1・2・3 | 当期に生じた保険給付額（年金）のそ及回収額（時効調整後）を印字する。 |
| 保険給付額（追給額）<br>1・2・3 | 当期に生じた保険給付額（年金）のそ及追給額（内払調整後）を印字する。 |
| 特別支給金（回収額）<br>1・2・3 | 当期に生じた特別支給金（特別年金・傷病差額年金）のそ及回収額を印字する。 |
| 特別支給金（追給額）<br>1・2・3 | 当期に生じた特別支給金（特別年金・傷病差額年金）のそ及追給額（内払調整後）を印字する。 |
| 就学等援護費（回収額）<br>1・2・3 | 当期に生じた就学等援護費のそ及回収額を印字する。 |
| 就学等援護費（追給額）<br>1・2・3 | 当期に生じた就学等援護費のそ及追給額を印字する。 |
| 保険給付額（回収額） | 全ページの保険給付額（回収額）1・2・3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 調整額処理方法 | 保険給付額（回収額）の処理方法を印字する。<br>「保留」「内払・充当」「債権管理」 |
| 保険給付額（追給額） | 全ページの保険給付額（追給額）1・2・3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 追給額処理方法 | 保険給付額（追給額）の処理方法を印字する。<br>「未支給金」 |
| 特別支給金（回収額） | 全ページの特別支給金（回収額）1・2・3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 調整額処理方法 | 特別支給金（回収額）の処理方法を印字する。<br>「保留」「内払・充当」「債権管理」 |
| 特別支給金（追給額） | 全ページの特別支給金（追給額）1・2・3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 追給額処理方法 | 特別支給金（追給額）の処理方法を印字する。<br>「未支給金」 |
| 就学等援護費（回収額） | 全ページの就学等援護費（回収額）1・2・3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 調整額処理方法 | 就学等援護費（回収額）の処理方法を印字する。<br>「保留」「内払・充当」「債権管理」 |
| 就学等援護費（追給額） | 全ページの就学等援護費（追給額）1・2・3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 追給額処理方法 | 就学等援護費（追給額）の処理方法を印字する。<br>「未支給金」 |

2枚目（年金内訳リスト）

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 枚目/枚中 | 年金内訳リストの枚目（ページ）/枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名（カナ）を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 年金証書番号1・2・3 | 訂正処理を行った年金給付の年金証書番号を印字する。 |
| 受給権者氏名1・2・3 | 決議書出力時点の支払権者氏名（漢字）を印字する。ただし、転帰済の場合は転帰時の支払権者氏名（漢字）を印字する。<br>外国送金者の場合、支払権者氏名（カナ）を印字する。<br>なお、権者払の場合は、枝番号の若い支払権者を印字する。 |
| 支給事由発生年月日<br>1・2・3 | 支給事由発生年月日を印字する。 |
| 転帰年月日1・2・3 | 転帰済の場合は、転帰年月日を印字する。 |
| 年金年額1・2・3 | 訂正した変更年月時点の支給制限後年金年額を印字する。 |
| 特別年金年額1・2・3 | 訂正した変更年月時点の支給制限後特別年金年額を印字する。 |
| 傷病差額特別年金額<br>1・2・3 | 傷病(補償)年金の場合で、訂正した変更年月時点の支給制限後傷病差額特別年金年額を印字する。 |
| 就学等援護費額1・2・3 | 訂正（変更）年月時点の就学等援護費の給付月額の全在学者の合計を印字する。<br>なお、訂正（変更）年月の効力開始年月が平成8年5月支払期以前の年金の終月（1、4、7、10月）の場合は、就学等援護費では翌期の対象年月であり計算不能となるため“＊”を印字する。 |
| 保険給付額（回収額）<br>1・2・3 | 当期に生じた保険給付額（年金）のそ及回収額（時効調整後）を印字する。 |
| 保険給付額（追給額）<br>1・2・3 | 当期に生じた保険給付額（年金）のそ及追給額（内払調整後）を印字する。 |
| 特別支給金（回収額）<br>1・2・3 | 当期に生じた特別支給金（特別年金・傷病差額年金）のそ及回収額を印字する。 |
| 特別支給金（追給額）<br>1・2・3 | 当期に生じた特別支給金（特別年金・傷病差額年金）のそ及追給額（内払調整後）を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 就学等援護費（回収額）<br>1・2・3 | 当期に生じた就学等援護費のそ及回収額を印字する。 |
| 就学等援護費（追給額）<br>1・2・3 | 当期に生じた就学等援護費のそ及追給額を印字する。 |
| 保険給付額（回収額） | 全ページの保険給付額（回収額）1・2・3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 調整額処理方法 | 保険給付額（回収額）の処理方法を印字する。<br>「保留」「内払・充当」「債権管理」 |
| 保険給付額（追給額） | 全ページの保険給付額（追給額）1・2・3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 追給額処理方法 | 保険給付額（追給額）の処理方法を印字する。<br>「未支給金」 |
| 特別支給金（回収額） | 全ページの特別支給金（回収額）1・2・3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 調整額処理方法 | 特別支給金（回収額）の処理方法を印字する。<br>「保留」「内払・充当」「債権管理」 |
| 特別支給金（追給額） | 全ページの特別支給金（追給額）1・2・3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 追給額処理方法 | 特別支給金（追給額）の処理方法を印字する。<br>「未支給金」 |
| 就学等援護費（回収額） | 全ページの就学等援護費（回収額）1・2・3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 調整額処理方法 | 就学等援護費（回収額）の処理方法を印字する。<br>「保留」「内払・充当」「債権管理」 |
| 就学等援護費（追給額） | 全ページの就学等援護費（追給額）1・2・3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 追給額処理方法 | 就学等援護費（追給額）の処理方法を印字する。<br>「未支給金」 |

② 年金内訳リスト（特別遺族）

イ 様式

488

石綿健康被害救済法

# 特別遺族年金の年金変更決定決議書

データ受付番号　訂正番号　出力年月日　出力回数　0/0

死亡労働者等氏名　死亡労働者等生年月日　死亡年月日　労働保険番号

## 年金 1

| 年金証書番号 | | 特別遺族年金年額の決定額 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 受給権者氏名 | | | | | | |
| 請求年月日 | | | | | | |
| 転帰年月日 | | | | | | |

| | 回収額 | 追給額 |
|---|---|---|
| 特別遺族年金の調整額等 | | |

## 年金 2

| 年金証書番号 | | 特別遺族年金年額の決定額 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 受給権者氏名 | | | | | | |
| 請求年月日 | | | | | | |
| 転帰年月日 | | | | | | |

| | 回収額 | 追給額 |
|---|---|---|
| 特別遺族年金の調整額等 | | |

## 年金 3

| 年金証書番号 | | 特別遺族年金年額の決定額 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 受給権者氏名 | | | | | | |
| 請求年月日 | | | | | | |
| 転帰年月日 | | | | | | |

| | 回収額 | 追給額 |
|---|---|---|
| 特別遺族年金の調整額等 | | |

## 追給・回収額合計

| | 回収額 | 調整額処理方法 | 追給額 | 追給額処理方法 |
|---|---|---|---|---|
| 特別遺族年金の調整額等 | | | | |

備考欄

| 署長 | 次長 | 課長 | 係長 | 係 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| 決裁 | | 年月日 | | |

年金内訳リスト（特別遺族）（2 枚目）

イ　様式

石綿健康被害救済法

# 特別遺族年金年金内訳リスト

□/□

| 死亡労働者等氏名 | 死亡労働者等生年月日 | 死亡年月日 | 労働保険番号 |
|---|---|---|---|
| | | | |

## 年　金　1

| 年金証書番号 | | 特別遺族年金年額の決定額 | |
|---|---|---|---|
| 受給権者氏名 | | | |
| 請求年月日 | | | |
| 転帰年月日 | | | |

| | 回収額 | 追給額 |
|---|---|---|
| 特別遺族年金の調整額等 | | |

## 年　金　2

| 年金証書番号 | | 特別遺族年金年額の決定額 | |
|---|---|---|---|
| 受給権者氏名 | | | |
| 請求年月日 | | | |
| 転帰年月日 | | | |

| | 回収額 | 追給額 |
|---|---|---|
| 特別遺族年金の調整額等 | | |

## 年　金　3

| 年金証書番号 | | 特別遺族年金年額の決定額 | |
|---|---|---|---|
| 受給権者氏名 | | | |
| 請求年月日 | | | |
| 転帰年月日 | | | |

| | 回収額 | 追給額 |
|---|---|---|
| 特別遺族年金の調整額等 | | |

## 追給・回収額合計

| | 回収額 | 調整額処理方法 | 追給額 | 追給額処理方法 |
|---|---|---|---|---|
| 特別遺族年金の調整額等 | | | | |

| 備考欄 | |
|---|---|
| | |

年金内訳リスト（特別遺族）の裏面

イ　様式

石綿健康被害救済法

# 特別遺族年金変更決定通知書

さきに貴殿に対してなした裏面内訳の年金の決定については、下記の理由により裏面内訳のとおり、取消し新たに変更決定したので通知します。

○　追給額は、裏面内訳の「追給・回収額合計」欄の金額をお支払い致します。
○　過払額は、裏面内訳の「追給・回収額合計」欄の金額について「調整額処理方法」欄のとおりと致します。
○　（1）特別遺族給付金に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して６０日以内に下記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

（2）審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して６０日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求をした日から３ヶ月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

（3）本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。ただし、①再審査請求をした日から３ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

＿＿＿＿＿＿年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿労働基準監督署長

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

| | |
|---|---|
| 変更決定の理由 | |

ロ　出力項目の説明

1枚目（特別遺族年金の年金変更決定決議書）

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| データ受付番号 | 訂正処理で振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 訂正番号 | 訂正処理においてデータ受付番号を入力キーとした場合に印字する。 |
| 決議書出力年月日 | 訂正決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 決議書出力回数 | 訂正決議書を出力した回数を印字する。修正、決議書再出力等によって加算する。 |
| 枚目/枚中 | 特別遺族年金の年金変更決定決議書の枚目（ページ）/枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| 死亡労働者氏名 | 死亡労働者氏名（カナ）を印字する。 |
| 死亡労働者等生年月日 | 死亡労働者の生年月日を印字する。 |
| 死亡年月日 | 死亡年月日を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 年金証書番号1・2・3 | 訂正処理を行った年金給付の年金証書番号を印字する。 |
| 受給権者氏名1・2・3 | 決議書出力時点の支払権者氏名（漢字）を印字する。ただし、転帰済の場合は転帰時の支払権者氏名（漢字）を印字する。<br>外国送金者の場合、支払権者氏名（カナ）を印字する。<br>なお、権者払の場合は、枝番号の若い支払権者を印字する。 |
| 請求年月日<br>1・2・3 | 請求年月日を印字する。 |
| 転帰年月日1・2・3 | 転帰済の場合は、転帰年月日を印字する。 |
| 特別遺族年金年額1･2･3 | 訂正した変更年月時点の支給制限後特別遺族年金年額を印字する。 |
| 特別遺族年金の調整額等（回収額）1･2･3 | 当期に生じた特別遺族年金のそ及回収額（時効調整後）を印字する。 |
| 特別遺族年金の調整額等（追給額）1･2･3 | 当期に生じた特別遺族年金のそ及追給額（内払調整後）を印字する。 |
| 特別遺族年金の調整額等（回収額） | 全ページの特別遺族年金の調整額等（回収額）1･2･3の合計を最終ページに印字する。 |
| 調整額処理方法 | 特別遺族年金（回収額）の処理方法を印字する。<br>「保留」「内払・充当」「債権管理」 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 特別遺族年金の調整額等（追給額） | 全ページの特別遺族年金（追給額額）1･2･3 の合計を最終ページに印字する。 |
| 追給額処理方法 | 特別遺族年金（追給額）の処理方法を印字する。<br>「未支給金」 |

2枚目（年金内訳リスト（特別遺族））

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 枚目/枚中 | 年金内訳リストの枚目（ページ）/枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| 死亡労働者氏名 | 死亡労働者氏名（カナ）を印字する。 |
| 死亡労働者等生年月日 | 死亡労働者の生年月日を印字する。 |
| 死亡年月日 | 死亡年月日を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 年金証書番号1・2・3 | 訂正処理を行った年金給付の年金証書番号を印字する。 |
| 受給権者氏名1・2・3 | 決議書出力時点の支払権者氏名（漢字）を印字する。ただし、転帰済の場合は転帰時の支払権者氏名（漢字）を印字する。<br>外国送金者の場合、支払権者氏名（カナ）を印字する。<br>なお、権者払の場合は、枝番号の若い支払権者を印字する。 |
| 請求年月日1・2・3 | 請求年月日を印字する。 |
| 転帰年月日1・2・3 | 転帰済の場合は、転帰年月日を印字する。 |
| 特別遺族年金年額1･2･3 | 訂正した変更年月時点の支給制限後特別遺族年金年額を印字する。 |
| 特別遺族年金の調整額等（回収額）1･2･3 | 当期に生じた特別遺族年金のそ及回収額（時効調整後）を印字する。 |
| 特別遺族年金の調整額等（追給額）1･2･3 | 当期に生じた特別遺族年金のそ及追給額（内払調整後）を印字する。 |
| 特別遺族年金の調整額等（回収額） | 全ページの特別遺族年金の調整額等（回収額）1･2･3の合計を最終ページに印字する。 |
| 調整額処理方法 | 特別遺族年金（回収額）の処理方法を印字する。<br>「保留」「内払・充当」「債権管理」 |
| 特別遺族年金の調整額等（追給額） | 全ページの特別遺族年金（追給額額）1･2･3の合計を最終ページに印字する。 |
| 追給額処理方法 | 特別遺族年金（追給額）の処理方法を印字する。<br>「未支給金」 |

(11)　一時金内訳リスト

①　一時金内訳リスト

訂正処理で一時金給付を訂正した場合に出力する。

イ　様式

459

支給決定取消
**一時金 支給決定 決議書**
支払（追給）

入力データ受付番号　訂正番号　出力年月日　出力回数　□/□

被災者氏名　生年月日　傷病年月日　労働保険番号

**一時金給付1**

データ受付番号　訂正番号　給付の種別

億 千 百 十 万 千 百 十 円　年度

| | | | |
|---|---|---|---|
| 支払額 | | 支給事由発生年月日 | |
| 要債権確認額 | | 当初支払年月日 | |

支払方法　金融機関コード　預金の種類　口座番号

| 種類 | 当初支払額 | 今回支払額 | 追給額 | 回収額 |
|---|---|---|---|---|
| 内訳 保険給付 | | | | |
| 特支金（定） | | | | |
| 特支金（特） | | | | |
| 未支給の援護費 | | | | |

口座名義人

通知年月日　支払年月日
小切手番号　第　号　国庫金送金番号　第　号

右金額正に領収しました。　領収年月日　年　月　日　領収金額　¥　氏名　㊞

**一時金給付2**

データ受付番号　訂正番号　給付の種別

億 千 百 十 万 千 百 十 円　年度

| | | | |
|---|---|---|---|
| 支払額 | | 支給事由発生年月日 | |
| 要債権確認額 | | 当初支払年月日 | |

支払方法　金融機関コード　預金の種類　口座番号

| 種類 | 当初支払額 | 今回支払額 | 追給額 | 回収額 |
|---|---|---|---|---|
| 内訳 保険給付 | | | | |
| 特支金（定） | | | | |
| 特支金（特） | | | | |
| 未支給の援護費 | | | | |

口座名義人

通知年月日　支払年月日
小切手番号　第　号　国庫金送金番号　第　号

右金額正に領収しました。　領収年月日　年　月　日　領収金額　¥　氏名　㊞

**一時金給付3**

データ受付番号　訂正番号　給付の種別

億 千 百 十 万 千 百 十 円　年度

| | | | |
|---|---|---|---|
| 支払額 | | 支給事由発生年月日 | |
| 要債権確認額 | | 当初支払年月日 | |

支払方法　金融機関コード　預金の種類　口座番号

| 種類 | 当初支払額 | 今回支払額 | 追給額 | 回収額 |
|---|---|---|---|---|
| 内訳 保険給付 | | | | |
| 特支金（定） | | | | |
| 特支金（特） | | | | |
| 未支給の援護費 | | | | |

口座名義人

通知年月日　支払年月日
小切手番号　第　号　国庫金送金番号　第　号

右金額正に領収しました。　領収年月日　年　月　日　領収金額　¥　氏名　㊞

| 備考欄 | | 署長 専決額決定 | 次長 | 課長 | 係長 | 係 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | |
| | | 決裁 | | 年　月　日 | | |

一時金内訳リスト　（2枚目）

イ　様式

## 一時金内訳リスト

□/□

| 被災者氏名 | 生年月日 | 傷病年月日 | 労働保険番号 |
|---|---|---|---|
| | | | |

### 一時金給付1

給付の種別

| | 億 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 支払額 | | | | | | | | | |
| 回収額 | | | | | | | | | |

当初支払年月日

| 種類 | 当初支払額 | 今回支払額 | 過給額 | 回収額 |
|---|---|---|---|---|
| 内訳 保険給付 | | | | |
| 内訳 特支金（定） | | | | |
| 内訳 特支金（特） | | | | |
| 内訳 未支給の援護費 | | | | |

### 一時金給付2

給付の種別

| | 億 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 支払額 | | | | | | | | | |
| 回収額 | | | | | | | | | |

当初支払年月日

| 種類 | 当初支払額 | 今回支払額 | 過給額 | 回収額 |
|---|---|---|---|---|
| 内訳 保険給付 | | | | |
| 内訳 特支金（定） | | | | |
| 内訳 特支金（特） | | | | |
| 内訳 未支給の援護費 | | | | |

### 一時金給付3

給付の種別

| | 億 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 支払額 | | | | | | | | | |
| 回収額 | | | | | | | | | |

当初支払年月日

| 種類 | 当初支払額 | 今回支払額 | 過給額 | 回収額 |
|---|---|---|---|---|
| 内訳 保険給付 | | | | |
| 内訳 特支金（定） | | | | |
| 内訳 特支金（特） | | | | |
| 内訳 未支給の援護費 | | | | |

| 備考欄 | |
|---|---|
| | |
| | |
| | |

一時金内訳リストの裏面

イ　様式

労働者災害補償保険

# 一時金給付変更決定通知書

さきに貴殿に対してなした裏面内訳の一時金給付の決定については、下記の理由により裏面内訳のとおり、取消し新たに変更決定したので通知します。

○　追給額は、裏面内訳の「支払額」欄の金額をお支払い致します。

○　過払額は、裏面内訳の「回収額」欄の金額については、同封の納入告知書により告知書記載の指定銀行に払い込むか、もしくは当署へ持参の上納入して下さい。

○　(1) 保険給付に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に下記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

(2) 審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して60日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求した日から３か月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

(3) 本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。ただし、①再審査請求をした日から３ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

＿＿＿＿＿＿年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿労働基準監督署長

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

| | |
|---|---|
| 変更決定の理由 | |

ロ　出力項目の説明

1枚目（一時金支給決定取消・支給決定・支払（追給）決議書）

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 入力データ受付番号 | 訂正処理で振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 訂正番号 | 訂正処理においてデータ受付番号を入力キーとした場合に印字する。 |
| 決議書出力年月日 | 訂正決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 決議書出力回数 | 訂正決議書を出力した回数を印字する。修正、決議書再出力等によって加算する。 |
| 枚目/枚中 | 他給付連携等の場合には、ページを印字する。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名（カナ）を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 標頭 | 下記の事案の場合に印字する。<br>実額事案 …… 「実額事案」<br>時効適用事案 …… 「時効適用」<br>三者損賠調整事案 ……「時効適用・実額事案」 |
| データ受付番号1・2・3 | 訂正処理を行った一時金給付のデータ受付番号を印字する。 |
| 訂正番号1・2・3 | 訂正処理を行った一時金給付の訂正番号を印字する。 |
| 給付の種類1・2・3 | 給付の種類を別表9－24（Ⅱ-9-121ページ参照）のとおり印字する。 |
| 年度1・2・3 | 登記した入力年月日が4月以外の場合は前年度以前の支払年月日の給付を、また、登記した入力年月日が4月の場合は前々年度以前の支払年月日の給付を「過」と印字する。上記以外の給付を「現」と印字する。<br>（要債権確認額が0円でない場合） |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 支払額１・２・３ | 追給額の保険給付、特支金（定）及び特支金（特）の合計を印字する。 |
| 要債権確認額１・２・３ | 回収額の保険給付、特支金（定）及び特支金（特）の合計を印字する。 |
| 支給事由発生年月日<br>１・２・３ | 訂正処理を行った一時金給付の支給事由発生年月日を印字する。 |
| 当初支払年月日１・２・３ | 当初（支給決定処理時）の支払年月日を印字する。 |
| 当初（保険給付）<br>１・２・３ | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の保険給付の支給決定額を印字する。<br>なお、三者損賠調整額が存在する場合は三者受領額を差し引いた額を印字する。 |
| 当初（特支金（定））<br>１・２・３ | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の定額の特別支給金の支給決定額を印字する。 |
| 当初（特支金（(特)）<br>１・２・３ | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の特別一時金の支給決定額を印字する。 |
| 当初（未支給の援護費）<br>１・２・３ | 支給決定処理時の未支給の援護費を印字する。 |
| 今回（保険給付） | 訂正処理後の保険給付の支給決定額を印字する。<br>なお、三者損賠調整額が存在する場合は三者損賠受領額を差し引いた額を印字する。 |
| 今回（特支金（定））<br>１・２・３ | 訂正処理後の定額の特別支給金の支給決定額を印字する。 |
| 今回（特支金（特））<br>１・２・３ | 訂正処理後の特別一時金の支給決定額を印字する。 |
| 今回（未支給の援護費）<br>１・２・３ | 訂正処理後の未支給の援護費の支給決定額を印字する。 |
| 追給（保険給付）<br>１・２・３ | 今回の保険給付額から当初の保険給付額を差し引いた金額を印字する。 |
| 追給（特支金（定））<br>１・２・３ | 今回の定額の特別支給金額から当初の定額の特別支給金額を差し引いた金額を印字する。 |
| 追給（特支金（特））<br>１・２・３ | 今回の特別一時金額から当初の特別一時金額を差し引いた金額を印字する。 |
| 追給（未支給の援護費）<br>１・２・３ | 今回の未支給の援護費額から当初の未支給の援護費額を差し引いた金額を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 回収（保険給付）<br>1・2・3 | 当初の保険給付額から今回の保険給付額を差し引いた金額を印字する。 |
| 回収（特支金（定））<br>1・2・3 | 当初の定額の特別支給金額から今回の定額の特別支給金額を差し引いた金額を印字する。 |
| 回収（特支金（特））<br>1・2・3 | 当初の特別一時金額から今回の特別一時金額を差し引いた金額を印字する。 |
| 回収（未支給の援護費）<br>1・2・3 | 当初の未支給の援護費額から今回の未支給の援護費額を差し引いた金額を印字する。 |
| 支払方法<br>1・2・3 | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の支払方法を印字する。<br>銀行振込 …… 1<br>当地払 …… 3<br>送金払 …… 5<br>外国払 …… 7<br>（支払額が０円でない場合） |
| 金融機関コード<br>1・2・3 | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の金融機関店舗コードを印字する。<br>（支払額が０円でない場合） |
| 預金の種類<br>1・2・3 | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の預金の種類を印字する。<br>普通預金 …… 1<br>当座預金 …… 3<br>（支払額が０円でない場合） |
| 口座番号<br>1・2・3 | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の口座番号を印字する。<br>（支払額が０円でない場合） |
| 口座名義人<br>1・2・3 | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の口座名義人を印字する。<br>（支払額が０円でない場合） |

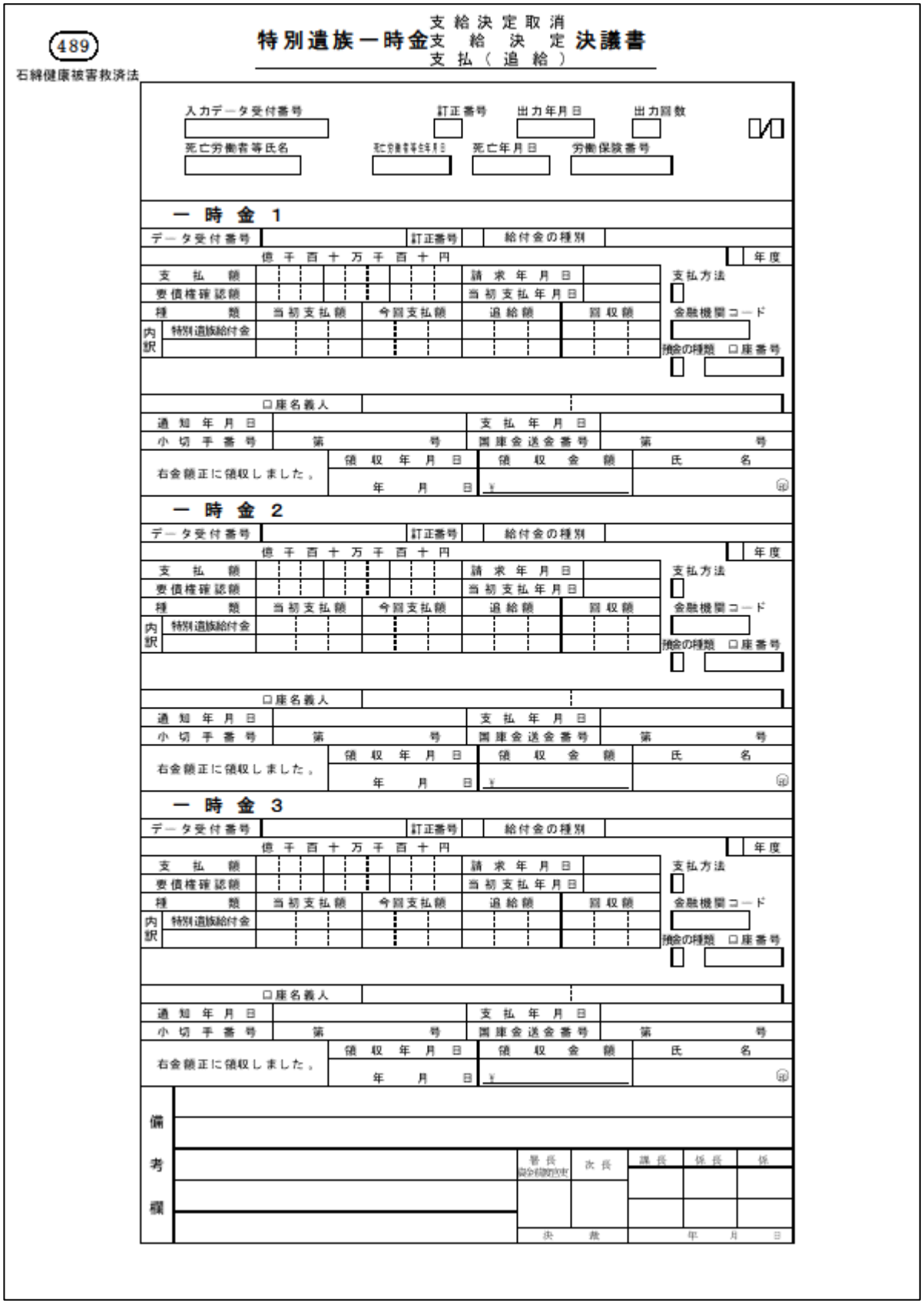
2枚目（一時金内訳リスト）

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 枚目/枚中 | 他給付連携等の場合には、ページを印字する。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名（カナ）を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 標頭 | 下記の事案の場合に印字する。<br>実額事案 …… 「実額事案」<br>時効適用事案 …… 「時効適用」<br>三者損賠調整事案 ……「時効適用・実額事案」 |
| 給付の種類1・2・3 | 給付の種類を別表9－24（Ⅱ-9-121ページ参照）のとおり印字する。 |
| 年度1・2・3 | 登記した入力年月日が4月以外の場合は前年度以前の支払年月日の給付を、また、登記した入力年月日が4月の場合は前々年度以前の支払年月日の給付を「過」と印字する。上記以外の給付を「現」と印字する。（要債権確認額が0円でない場合） |
| 支払額1・2・3 | 追給額の保険給付、特支金（定）及び特支金（特）の合計を印字する。 |
| 要債権確認額1・2・3 | 回収額の保険給付、特支金（定）及び特支金（特）の合計を印字する。 |
| 当初支払年月日1・2・3 | 当初（支給決定処理時）の支払年月日を印字する。 |
| 当初（保険給付）<br>1・2・3 | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の保険給付の支給決定額を印字する。<br>なお、三者損賠調整額が存在する場合は三者受領額を差し引いた額を印字する。 |
| 当初（特支金（定））<br>1・2・3 | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の定額の特別支給金の支給決定額を印字する。 |
| 当初（特支金（(特)）<br>1・2・3 | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の特別一時金の支給決定額を印字する。 |
| 当初（未支給の援護費）<br>1・2・3 | 支給決定処理時の未支給の援護費を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 今回（保険給付） | 訂正処理後の保険給付の支給決定額を印字する。<br>なお、三者損賠調整額が存在する場合は三者損賠受領額を差し引いた額を印字する。 |
| 今回（特支金（定））<br>1・2・3 | 訂正処理後の定額の特別支給金の支給決定額を印字する。 |
| 今回（特支金（特））<br>1・2・3 | 訂正処理後の特別一時金の支給決定額を印字する。 |
| 今回（未支給の援護費）<br>1・2・3 | 訂正処理後の未支給の援護費の支給決定額を印字する。 |
| 追給（保険給付）<br>1・2・3 | 今回の保険給付額から当初の保険給付額を差し引いた金額を印字する。 |
| 追給（特支金（定））<br>1・2・3 | 今回の定額の特別支給金額から当初の定額の特別支給金額を差し引いた金額を印字する。 |
| 追給（特支金（特））<br>1・2・3 | 今回の特別一時金額から当初の特別一時金額を差し引いた金額を印字する。 |
| 追給（未支給の援護費）<br>1・2・3 | 今回の未支給の援護費額から当初の未支給の援護費額を差し引いた金額を印字する。 |
| 回収（保険給付）<br>1・2・3 | 当初の保険給付額から今回の保険給付額を差し引いた金額を印字する。 |
| 回収（特支金（定））<br>1・2・3 | 当初の定額の特別支給金額から今回の定額の特別支給金額を差し引いた金額を印字する。 |
| 回収（特支金（特））<br>1・2・3 | 当初の特別一時金額から今回の特別一時金額を差し引いた金額を印字する。 |
| 回収（未支給の援護費）<br>1・2・3 | 当初の未支給の援護費額から今回の未支給の援護費額を差し引いた金額を印字する。 |

② 一時金内訳リスト（特別遺族）

イ 様式



489

石綿健康被害救済法

支給決定取消
特別遺族一時金支給決定決議書
支払（追給）

入力データ受付番号　訂正番号　出力年月日　出力回数

死亡労働者等氏名　死亡労働者等生年月日　死亡年月日　労働保険番号

一時金1

データ受付番号　訂正番号　給付金の種別

億 千 百 十 万 千 百 十 円　年度

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 支払額 | | | 請求年月日 | | 支払方法 |
| 要債権確認額 | | | 当初支払年月日 | | |
| 種類 | 当初支払額 | 今回支払額 | 追給額 | 回収額 | 金融機関コード |
| 内訳 特別遺族給付金 | | | | | |
| | | | | | 預金の種類　口座番号 |

口座名義人

| | | | |
|---|---|---|---|
| 通知年月日 | | 支払年月日 | |
| 小切手番号 | 第　号 | 国庫金送金番号 | 第　号 |

| | 領収年月日 | 領収金額 | 氏名 |
|---|---|---|---|
| 右金額正に領収しました。 | 年　月　日 | ¥ | ㊞ |

一時金2

データ受付番号　訂正番号　給付金の種別

億 千 百 十 万 千 百 十 円　年度

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 支払額 | | | 請求年月日 | | 支払方法 |
| 要債権確認額 | | | 当初支払年月日 | | |
| 種類 | 当初支払額 | 今回支払額 | 追給額 | 回収額 | 金融機関コード |
| 内訳 特別遺族給付金 | | | | | |
| | | | | | 預金の種類　口座番号 |

口座名義人

| | | | |
|---|---|---|---|
| 通知年月日 | | 支払年月日 | |
| 小切手番号 | 第　号 | 国庫金送金番号 | 第　号 |

| | 領収年月日 | 領収金額 | 氏名 |
|---|---|---|---|
| 右金額正に領収しました。 | 年　月　日 | ¥ | ㊞ |

一時金3

データ受付番号　訂正番号　給付金の種別

億 千 百 十 万 千 百 十 円　年度

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 支払額 | | | 請求年月日 | | 支払方法 |
| 要債権確認額 | | | 当初支払年月日 | | |
| 種類 | 当初支払額 | 今回支払額 | 追給額 | 回収額 | 金融機関コード |
| 内訳 特別遺族給付金 | | | | | |
| | | | | | 預金の種類　口座番号 |

口座名義人

| | | | |
|---|---|---|---|
| 通知年月日 | | 支払年月日 | |
| 小切手番号 | 第　号 | 国庫金送金番号 | 第　号 |

| | 領収年月日 | 領収金額 | 氏名 |
|---|---|---|---|
| 右金額正に領収しました。 | 年　月　日 | ¥ | ㊞ |

| 備考欄 | | 署長 副署長(副所長) | 次長 | 課長 | 係長 | 係 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | |
| | | 決裁 | | 年　月　日 | | |

一時金内訳リスト（特別遺族）　（2 枚目）

イ　様式

石綿健康被害救済法

## 特別遺族一時金内訳リスト

□/□

| 死亡労働者等氏名 | 死亡労働者等生年月日 | 死亡年月日 | 労働保険番号 |
|---|---|---|---|
| | | | |

### 一 時 金 1

給付金の種別

| | 億 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 支　払　額 | | | | | | | | | | 請求年月日 | |
| 回　収　額 | | | | | | | | | | 当初支払年月日 | |

| 種　類 | 当初支払額 | 今回支払額 | 追給額 | 回収額 |
|---|---|---|---|---|
| 内訳 特別遺族給付金 | | | | |
| | | | | |

### 一 時 金 2

給付金の種別

| | 億 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 支　払　額 | | | | | | | | | | 請求年月日 | |
| 回　収　額 | | | | | | | | | | 当初支払年月日 | |

| 種　類 | 当初支払額 | 今回支払額 | 追給額 | 回収額 |
|---|---|---|---|---|
| 内訳 特別遺族給付金 | | | | |
| | | | | |

### 一 時 金 3

給付金の種別

| | 億 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 支　払　額 | | | | | | | | | | 請求年月日 | |
| 回　収　額 | | | | | | | | | | 当初支払年月日 | |

| 種　類 | 当初支払額 | 今回支払額 | 追給額 | 回収額 |
|---|---|---|---|---|
| 内訳 特別遺族給付金 | | | | |
| | | | | |

| 備考欄 | |
|---|---|
| | |
| | |
| | |

一時金内訳リスト（特別遺族）の裏面

イ　様式

石綿健康被害救済法

# 特別遺族一時金変更決定通知書

さきに貴殿に対してなした裏面内訳の特別遺族給付金の決定については、下記の理由により裏面内訳のとおり、取消し新たに変更決定したので通知します。

○ 追給額は、裏面内訳の「支払額」欄の金額をお支払い致します。

○ 過払額は、裏面内訳の「回収額」欄の金額については、同封の納入告知書により告知書記載の指定銀行に払い込むか、もしくは当署へ持参の上納入して下さい。

○ (1) 特別遺族給付金に関する決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に下記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官（以下「審査官」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

(2) 審査請求に対する審査官の決定に不服がある場合には、決定書の謄本が送付された日の翌日から起算して60日以内に労働保険審査会（以下「審査会」といいます。）に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求した日から３か月を経過しても決定がないときは、決定を経ないで審査会に対して再審査請求をすることができます。

(3) 本件処分に対する取消訴訟は、当該処分についての再審査請求に対する裁決を経た後に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して６ヶ月以内に提起することができます（裁決があった日から１年を経過した場合を除きます。）。ただし、①再審査請求をした日から３ヶ月を経過しても裁決がないとき、②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。また、①処分、処分の執行又は手続の進行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他審査官の決定及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、審査官の決定及び審査会の裁決を経ないで取消訴訟を提起することができます。

＿＿＿＿＿＿年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿労働基準監督署長

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

| | |
|---|---|
| 変更決定の理由 | |

ロ　出力項目の説明

1枚目（特別遺族一時金支給決定取消支給決定支払（追給）決議書）

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 入力データ受付番号 | 訂正処理で振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 訂正番号 | 訂正処理においてデータ受付番号を入力キーとした場合に印字する。 |
| 決議書出力年月日 | 訂正決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 決議書出力回数 | 訂正決議書を出力した回数を印字する。修正、決議書再出力等によって加算する。 |
| 枚目/枚中 | 他給付連携等の場合には、ページを印字する。 |
| 死亡労働者等氏名 | 死亡労働者等氏名（カナ）を印字する。 |
| 死亡労働者等生年月日 | 死亡労働者等の生年月日を印字する。 |
| 死亡年月日 | 死亡年月日を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 標頭 | 下記の事案の場合に印字する。<br>実額事案　……「実額事案」<br>時効適用事案　……「時効適用」 |
| データ受付番号1・2・3 | 訂正処理を行った一時金給付のデータ受付番号を印字する。 |
| 訂正番号1・2・3 | 訂正処理を行った一時金給付の訂正番号を印字する。 |
| 給付の種類1・2・3 | 給付の種類を別表9－24（Ⅱ-9-121ページ参照）のとおり印字する。 |
| 年度1・2・3 | 登記した入力年月日が4月以外の場合は前年度以前の支払年月日の給付を、また、登記した入力年月日が4月の場合は前々年度以前の支払年月日の給付を「過」と印字する。上記以外の給付を「現」と印字する。（要債権確認額が0円でない場合） |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 支払額１・２・３ | 追給額の合計を印字する。 |
| 要債権確認額１・２・３ | 回収額の合計を印字する。 |
| 請求年月日１・２・３ | 訂正処理を行った一時金給付の請求年月日を印字する。 |
| 当初支払年月日１・２・３ | 当初（支給決定処理時）の支払年月日を印字する。 |
| 当初支払額１・２・３ | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の支給決定額を印字する。 |
| 今回支払額１・２・３ | 訂正処理後の支給決定額を印字する。 |
| 追給額１・２・３ | 今回の支払額から当初の支払額を差し引いた金額を印字する。 |
| 回収額１・２・３ | 当初の支払額からの支払額を差し引いた金額を印字する。 |
| 支払方法<br>１・２・３ | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の支払方法を印字する。<br>銀行振込 …… 1<br>当地払 …… 3<br>送金払 …… 5<br>外国払 …… 7<br>（支払額が０円でない場合） |
| 金融機関コード<br>１・２・３ | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の金融機関店舗コードを印字する。<br>（支払額が０円でない場合） |
| 預金の種類<br>１・２・３ | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の預金の種類を印字する。<br>普通預金 …… 1<br>当座預金 …… 3<br>（支払額が０円でない場合） |
| 口座番号<br>１・２・３ | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の口座番号を印字する。<br>（支払額が０円でない場合） |
| 口座名義人<br>１・２・３ | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の口座名義人を印字する。<br>（支払額が０円でない場合） |

2枚目（一時金内訳リスト（特別遺族））

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 枚目/枚中 | 他給付連携等の場合には、ページを印字する。 |
| 死亡労働者等氏名 | 死亡労働者等氏名（カナ）を印字する。 |
| 死亡労働者等生年月日 | 死亡労働者の生年月日を印字する。 |
| 死亡年月日 | 死亡年月日を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 標頭 | 下記の事案の場合に印字する。<br>実額事案 …… 「実額事案」<br>時効適用事案 …… 「時効適用」 |
| 給付の種類1・2・3 | 給付の種類を別表9－24（Ⅱ-9-121ページ参照）のとおり印字する。 |
| 年度1・2・3 | 登記した入力年月日が4月以外の場合は前年度以前の支払年月日の給付を、また、登記した入力年月日が4月の場合は前々年度以前の支払年月日の給付を「過」と印字する。上記以外の給付を「現」と印字する。（要債権確認額が0円でない場合） |
| 支払額1・2・3 | 追給額の合計を印字する。 |
| 要債権確認額1・2・3 | 回収額の合計を印字する。 |
| 当初支払年月日1・2・3 | 当初（支給決定処理時）の支払年月日を印字する。 |
| 当初支払額1・2・3 | 当初（追給が存在した場合は最後の追給時）の支給決定額を印字する。 |
| 今回支払額1・2・3 | 訂正処理後の支給決定額を印字する。 |
| 追給額1・2・3 | 今回の支払額から当初の支払額を差し引いた金額を印字する。 |
| 回収額1・2・3 | 当初の支払額からの支払額を差し引いた金額を印字する。 |

■ 別表 9-24　給付の種類

| 様式番号 | 給付の種類 |
|---|---|
| 00-01 | 遺族前払一時金 |
| 00-10 | 障害前払一時金 |
| 04-00 | 未支給年金 |
| 10-00 | 障害補償年金 |
| 10-00、90-03 | 障害補償一時金 |
| 16-07、90-03 | 障害一時金 |
| 12-00 | 遺族補償年金 |
| 15-00 | 遺族補償一時金<br>遺族差額一時金 |
| 16-00 | 葬祭料 |
| 16-02、16-11 | 傷病補償年金 |
| 16-02、16-11 | 傷病年金 |
| 16-07 | 障害年金 |
| 16-08 | 遺族年金 |
| 16-09 | 遺族一時金<br>遺族差額一時金 |
| 16-10 | 葬祭給付 |
| 37-02 | 障害差額一時金 |
| 70-00 | 特別遺族年金 |
| 71-00 | 特別遺族一時金<br>特別遺族年金差額 |

(12)　定期報告書提出照会状・内容照会状

「定期報告書提出照会状」と「定期報告書内容照会状」、「定期報告書提出照会状（特別遺族)」と、「定期報告書内容照会状（特別遺族)」は、以下の 7 種類の印字パターンがある。

これらの印字パターンおよび留意事項を次に示す。

| リスト名 | 配信帳票 | | 配信方法 |
|---|---|---|---|
| | 区　分 | 入力帳票名、入力画面名 | |
| (ｲ) 定期報告書提出照会状 | a　年金・援護費 | 定期報告書未提出者リスト配信要求登録画面（Ⅱ-8-32 ページ） | 定期報告書未提出者リスト配信要求登録画面の要求コードに“2:定期報告書提出照会状”を選択する。 |
| | b　年金 | | |
| | c　援護費 | | |
| (ﾛ) 定期報告書提出照会状（特別遺族） | 年金 | | |
| (ﾊ) 定期報告書内容照会状 | a　年金 | 定期報告入力票（年金） | 定期報告入力票（年金・援護費共）の「②照会状コード」に“1”を記入し入力する。 |
| | b　援護費 | 定期報告入力票（援護費） | |
| (ﾆ) 定期報告書内容照会状（特別遺族） | 年金 | 定期報告入力票（年金） | |

(注)「定期報告書提出照会状」については、次のとおり出力する。

①「年金」及び「援護費」　→　「定期報告書提出照会状（年金・援護費)」

②「年金」のみの場合は　→　「定期報告書提出照会状（年金)」

③「援護費」のみの場合は　→　「定期報告書提出照会状（援護費)」

なお、対象者がいない場合は、“＊＊　該当データなし　＊＊“を印字した帳票が配信される。

イ　様式

以下に様式を示すとともに、通知欄への印字パターンを示す。

(ｲ) 定期報告書提出照会状

a　定期報告書提出照会状（年金及び援護費両方の場合）

(460) 労働者災害補償保険　　は　が　き

定期報告書について

| 年金証書番号 | － |
|---|---|

あなたの「年金定期報告書」及び「就学等援護費定期報告書」が提出期限である××月××日までに提出されておりません。

提出がない場合は年金が差し止められますので至急提出してください。

なお、本状到着前に提出済のときは、行き違いにつきご容赦願います。

年　月　日

労働基準監督署長(印)

電話番号

b　定期報告書提出照会状（年金のみの場合）

460　労働者災害補償保険　　はがき

定期報告書について

| 年金証書番号 | － |
|---|---|

あなたの「年金定期報告書」が提出期限である××月××日までに提出されておりません。
提出がない場合は年金が差し止められますので至急提出してください。
なお、本状到着前に提出済のときは、行き違いにつきご容赦願います。

年　月　日

労働基準監督署長㊞

電話番号

c　定期報告書提出照会状（援護費のみの場合）

460　労働者災害補償保険　　はがき

定期報告書について

| 年金証書番号 | － |
|---|---|

あなたの「就学等援護費定期報告書」が提出期限である××月××日までに提出されておりません。
提出がない場合は年金が差し止められますので至急提出してください。
なお、本状到着前に提出済のときは、行き違いにつきご容赦願います。

年　月　日

労働基準監督署長㊞

電話番号

（ﾛ） 定期報告書提出照会状（特別遺族）

494 石綿健康被害救済法　　は　が　き

定期報告書について

| 年金証書番号 | － |
|---|---|

あなたの「特別遺族年金の受給権者の定期報告書」が提出期限である××月××日までに提出されておりません。
提出がない場合は年金が差し止められますので至急提出してください。
なお、本状到着前に提出済のときは、行き違いにつきご容赦願います。

年　月　日

労働基準監督署長㊞

電話番号

(ハ)　定期報告書内容照会状

a　定期報告書内容照会状（年金）

460　労働者災害補償保険　　はがき

定期報告書について

| 年金証書番号 | ― |
|---|---|

先に提出された定期報告書に下記のような不備がありますので、早急に回答してください。

●診断書の未提出
●住民票の未提出
●戸籍謄本又は抄本の未提出
●厚生年金等の裁定通知書の写
●本年度厚生年金等改定通知書の写

年　月　日

労働基準監督署長㊞

電話番号

b　定期報告書内容照会状（援護費）

460　労働者災害補償保険　　はがき

定期報告書について

| 年金証書番号 | ― |
|---|---|

先に提出された定期報告書に下記のような不備がありますので、早急に回答してください。

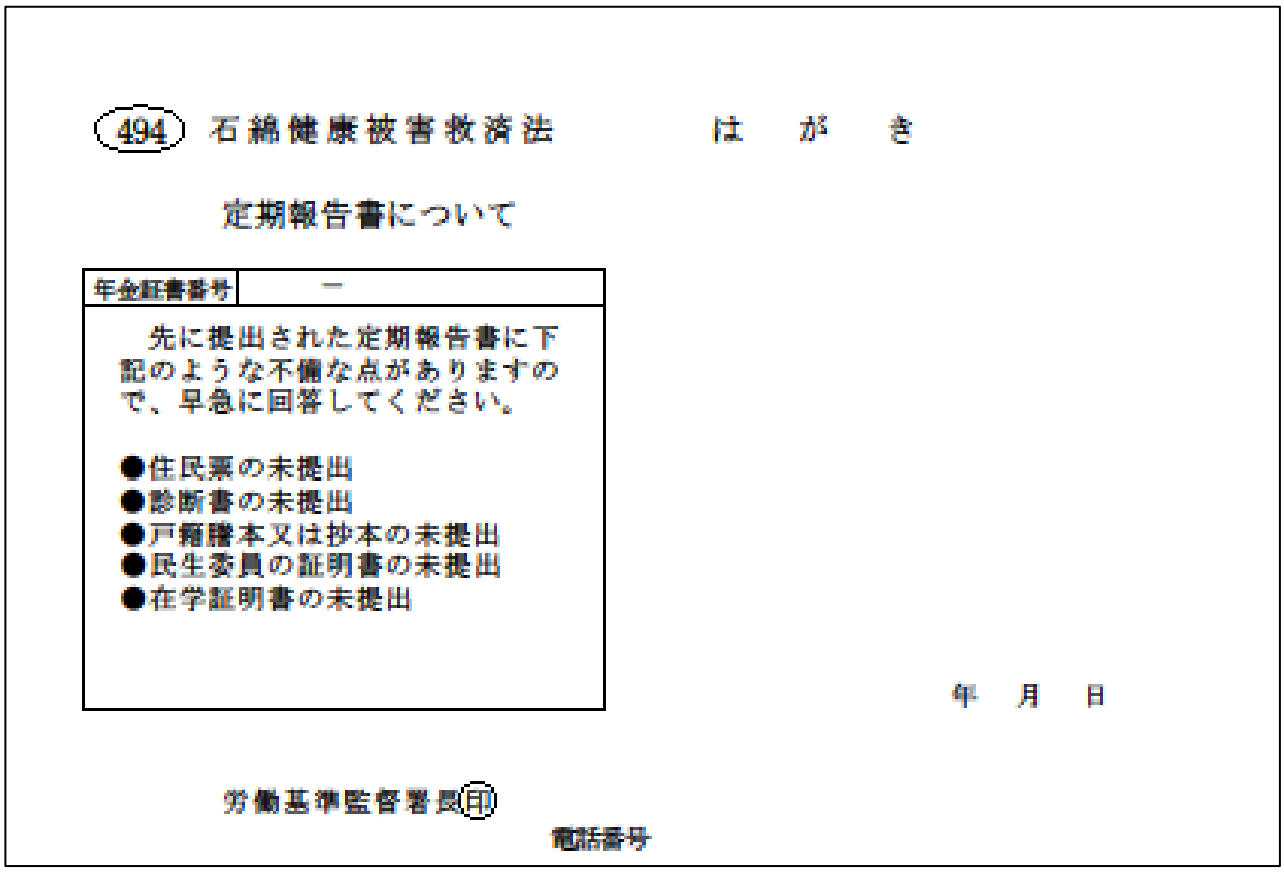
●住民票の未提出
●在学証明書の未提出
●託児等証明書の未提出
●民生委員の証明書の未提出
●就労証明書・納税証明書の未提出

年　月　日

労働基準監督署長㊞

電話番号

(ﾆ) 定期報告書内容照会状（特別遺族）



494 石綿健康被害救済法　　はがき

定期報告書について

| 年金証書番号 | ― |
|---|---|

先に提出された定期報告書に下記のような不備な点がありますので、早急に回答してください。

●住民票の未提出
●診断書の未提出
●戸籍謄本又は抄本の未提出
●民生委員の証明書の未提出
●在学証明書の未提出

年　月　日

労働基準監督署長㊞

電話番号

ロ　出力項目の説明

| 出　力　項　目 | 出　　力　　内　　容 |
|---|---|
| あて名 | 受給権者の住所・氏名を印字する。 |
| 通知年月日 | 照会状を出力した年月日を印字する。 |
| 監督署名称・所在地等 | 支給決定を行った監督署名称、所在地、電話番号を印字する。 |
| 年金証書番号 | 管轄局署、受給権者の年金証書番号を印字する。遺族または特別遺族の場合は、枝番号も印字する。 |
| メッセージ | それぞれの区分に応じて「イ　様式」で示すメッセージを印字する。 |

ハ　留意点

(ｲ)　「定期報告書提出照会状」あるいは「定期報告書内容照会状」のそれぞれの出力方法については、下記のとおりそれぞれの入力帳票の該当ページを参照のこと。

| 区　　分 | 入力帳票の該当ページ | |
|---|---|---|
| | 目　次　項　目 | 該当ページ |
| 定期報告書提出照会状<br>（年金・援護費共通）<br>定期報告書提出照会状<br>（特別遺族） | Ⅱ8（3）　定期報告書未提出者リスト配信要求 | Ⅱ-8-32 ページ |
| 定期報告書内容照会状<br>（年金）<br>定期報告書内容照会状<br>（特別遺族） | Ⅱ8（1）　定期報告入力票（年金） | Ⅱ-8-6 ページ |
| 定期報告書内容照会状<br>（援護費） | Ⅱ8（2）　定期報告入力票（援護費） | Ⅱ-8-19 ページ |

(ﾛ)　各区分の印字は汎用で出力しているので、下記の例により該当項目を○で囲むこと。

【例】　厚生年金等の裁定通知書の未提出のみの場合

| 年金証書番号 | 9999-999999999-99 |
|---|---|

先に提出された定期報告書に下記
のような不備な点がありますので、
早急に回答してください。

・住民票の未提出
・診断書の未提出　*1)
・戸籍謄本又は抄本の未提出
・厚生年金等の裁定通知書の写　*2)
・本年度厚生年金等改定通知書の写　*2)
・民生委員の証明書の未提出　*3)
・在学証明書の未提出　*3)

*1)傷病年金の場合、じん肺用、せき損用、その他用のいずれかを印字
*2)特別遺族の場合は、印字されない
*3)特別遺族及び援護費以外の場合は、印字されない

上記の場合は、「厚生年金等の裁定通知書の写」のみを指示した例である。このように該当項目に○で囲んだ上で支払権者に発送すること。

(13)　被災者情報リスト

イ　様式

39560

# 被災者情報リスト

データ受付番号
年金証書番号
労働保険番号
被災者生年月日　　年　月　日
傷病年月日　　年　月　日
被災者氏名
性別

＜　情報＞
権者氏名
郵便番号
都道府県コード
住所

電話番号

＜　情報＞
平均賃金
特別給与の総額
重大過失

療養開始年月日
特別加入者コード

＜　情報＞
支払方法
金融機関コード
預金の種類
口座番号
口座名義人

療養期間（診療）
休業期間
三者コード

＜障害等級＞
管轄　　短期キー　　等級　部位　性質

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 処理年月日 | 被災者情報リストを出力した年月日を印字する。 |
| 処理時刻 | 被災者情報リストを出力した時刻を印字する。 |
| 枚目／枚中 | １／１を印字する。 |
| データ受付番号 | 登録票の受付時に振り出したデータ受付番号 20 桁を印字する。 |
| 年金証書番号 | 登録票の受付時に年金給付キーによる入力を行った場合に印字する。 |
| ４キー | |
| 　労働保険番号 | 登録票の受付時に４キーによる入力を行った場合に印字する。 |
| 　傷病年月日 | 登録票の受付時に４キーによる入力を行った場合に印字する。 |
| 　被災者生年月日 | 登録票の受付時に４キーによる入力を行った場合に印字する。 |
| 　被災者氏名 | 登録票の受付時に４キーによる入力を行った場合に印字する。 |
| 性別 | 既存データが存在する場合に印字する。 |
| ＜××情報＞ | 短期又は年金システムに既存データが存在する場合に、＜短期情報＞又は＜年金情報＞と印字し、既存データが存在しない場合は、＜　　情報＞と印字する。以下の項目について短期・年金ともに情報が存在する場合は、年金情報を優先する。 |
| 権者氏名 | 既存データが存在する場合に漢字で印字する。 |
| 郵便番号 | 既存データが存在する場合に印字する。 |
| 都道府県コード | 既存データが存在する場合に都道府県コード及び都道府県名を漢字で印字する。 |
| 住所 | 既存データが存在する場合に印字する。 |
| 電話番号 | 既存データが存在する場合に印字する。 |
| ＜××情報＞ | 短期又は年金システムに既存データが存在する場合に、＜短期情報＞又は＜年金情報＞と印字し、既存データが存在しない場合は、＜　　情報＞と印字する。ただし、短期・年金ともに情報が存在する場合は、年金情報を優先する（以下の項目についても同様の扱いとする。）。 |
| 平均賃金 | 既存データが存在する場合に印字する。 |
| 特別給与の総額 | 既存データが存在する場合に印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 重大過失 | 既存データが存在する場合に重大過失コードを印字する。 |
| 療養開始年月日 | 既存データが存在する場合に印字する。 |
| 特別加入者コード | 既存データが存在する場合に印字する。 |
| ＜××情報＞ | 短期又は年金システムに既存データが存在する場合に、＜短期情報＞又は＜一時金情報＞又は＜年金情報＞と印字し、既存データが存在しない場合は、＜　　情報＞と印字する。ただし、短期・年金ともに情報が存在する場合は、年金情報を優先する（以下の項目についても同様の扱いとする。）。 |
| 支払方法 | コード及び支払方法を次のとおり印字する。<br>＜短期情報＞＜一時金情報＞<br>1 …… 銀行振込<br>3 …… 当地払<br>5 …… 送金払<br>＜年金情報＞<br>1 …… 口座振込<br>3 …… 郵便振込<br>5 …… 現金払い<br>7 …… 外国払い |
| 金融機関コード | 金融機関コード又は郵便局コードを印字する。 |
| 預金の種類 | コード及び預金の別を次のとおり印字する。<br>1 …… 普通預金<br>3 …… 当座預金<br>＊支払方法が銀行振込以外の場合は印字しない。 |
| 口座番号 | 口座番号を印字する。 |
| 口座名義人 | 口座名義人を印字する。<br>＊支払方法が銀行振込以外の場合は印字しない。 |
| 療養期間（診療） | 短期情報が存在する場合に印字する。 |
| 休業期間 | 短期情報が存在する場合に印字する。 |
| 三者コード | 既存データが存在する場合に印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| ＜障害等級＞<br>（最大 5 件出力） | （管轄）<br>同一氏名及び同一生年月日で既存データが存在する場合に管轄局署コードを印字する。 |
| | （短期キー）<br>同一氏名及び同一生年月日で既存データが存在する場合に、労働保険番号・被災者生年月日・傷病年月日を印字する。 |
| | （等級）<br>同一氏名及び同一生年月日で既存データが存在する場合に障害等級コードを印字する。 |
| | （部位）<br>同一氏名及び同一生年月日で既存データが存在する場合に傷病部位又は通勤方法コードを印字する。 |
| | （性質）<br>同一氏名及び同一生年月日で既存データが存在する場合に傷病性質コードを印字する。 |
| 【メッセージ】 | 不支給理由などの確認メッセージを最大 3 明細印字する。 |

(14) 計算式リスト

イ　失権差額一時金

(ｲ) 障害（補償）年金の失権差額一時金の計算式リスト

39562　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害(補償)年金・失権差額一時金の計算式

((給付基礎日額×保障給付日数)－(スライド前既支給年金額＋
スライド前既支給前払一時金額＋スライド前損賠調整済額))×
転帰時のスライド率－充当額＝給付額

年金

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX) －(XXX, XXX, XXX　＋
XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX))　×
XXX, XXX, XXX　－　XXX, XXX, XXX　＝　XXX, XXX, XXX

特別年金

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX) －(XXX, XXX, XXX　＋
XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX))　×
XXX, XXX, XXX　－　XXX, XXX, XXX　＝　XXX, XXX, XXX

39562　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害(補償)年金・失権差額一時金の計算式

(転帰時の一時金給付基礎日額　×　保障給付日数)　－

(換算後既支給年金額　＋　換算後既支給前払一時金額　＋

換算後損賠調整済額)　－　充当額　＝　給付額

年金

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX)　-

(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX　＋

XXX, XXX, XXX)　-　XXX, XXX, XXX　＝　XXX, XXX, XXX

特別年金

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX)　-

(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX　＋

XXX, XXX, XXX)　-　XXX, XXX, XXX　＝　XXX, XXX, XXX

（ﾛ）遺族（補償）年金の失権差額一時金の計算式リスト

a　遺族（補償）年金

39562　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

遺族(補償)年金(失権差額一時金)の計算式

((給付基礎日額x1000日)－(スライド前既支給年金額＋
スライド前既支給前払一時金＋スライド前損賠調整済額)) ×
転帰時のスライド率－充当額＝給付額

年金

((XXX, XXX, XXX × 1000) － (XXX, XXX, XXX ＋
XXX, XXX, XXX ＋ XXX, XXX, XXX)) ×
XXX, XXX, XXX － XXX, XXX, XXX ＝ XXX, XXX, XXX

特別年金

((XXX, XXX, XXX × 1000) － (XXX, XXX, XXX ＋
XXX, XXX, XXX ＋ XXX, XXX, XXX)) ×
XXX, XXX, XXX － XXX, XXX, XXX ＝ XXX, XXX, XXX

39562　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

遺族(補償)年金(失権差額一時金)の計算式

(転帰時の一時金給付基礎日額×1000日)－
(換算後既支給年金額＋換算後既支給前払一時金額＋
換算後損賠調整済額)－充当額＝給付額

年金

(XXX, XXX, XXX　×　1000)　－
(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX　＋
XXX, XXX, XXX)　－　XXX, XXX, XXX　＝　XXX, XXX, XXX

特別年金

((XXX, XXX, XXX　×　1000)　－
(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX　＋
XXX, XXX, XXX)　－　XXX, XXX, XXX　＝　XXX, XXX, XXX

b　特別遺族年金

39562　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

特別遺族年金（失権差額一時金）の計算式

12，000，000　－

既支給年金額　－

充当額　＝　給付額

年金

12,000,000 －

XXX，XXX，XXX　－

XXX，XXX，XXX　＝　XXX，XXX，XXX

ロ　障害（補償）年金・保障給付日数の計算式

39562　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害(補償)年金・保障給付日数の計算式

加重後の保障給付日数　－　加重前の保障給付日数

＝　保障給付日数

XXX, XXX, XXX　－　XXX, XXX, XXX

＝　XXX, XXX, XXX

39562　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害（補償）年金・保障給付日数の計算式

加重後の保障給付日数　×　（加重後の給付日数　－
加重前の給付日数　×　1／25）　／　加重後の給付日数
＝　保障給付日数

XXX, XXX, XXX　×　（XXX, XXX, XXX　－
XXX, XXX, XXX　×　1/25）　／　XXX, XXX, XXX
＝　XXX, XXX, XXX

39562　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害（補償）年金・保障給付日数の計算式

再治ゆ後の保障給付日数　×　（再治ゆ後の給付日数　－
再発前の給付日数　×　1／25）　／　再治ゆ後の給付日数
＝　保障給付日数

XXX, XXX, XXX　×　（XXX, XXX, XXX　－
XXX, XXX, XXX　×　1/25）　／　XXX, XXX, XXX
＝　XXX, XXX, XXX

ハ　定額の傷病特別支給金の計算式リスト

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

傷病(補償)年金・定額の特別支給金の計算式

＊傷病特別支給金算出式

現障害(傷病)等級に応ずる額　－　支払済額　＝

XXX, XXX, XXX　－　XXX, XXX, XXX

＝　XXX, XXX, XXX

---

＊傷病特別支給金算出式

現障害(傷病)等級に応ずる額　－　加重時の既存障害等級に応ずる額

－　支払済額　＝

XXX, XXX, XXX　－　XXX, XXX, XXX

－　XXX, XXX, XXX

＝　XXX, XXX, XXX

---

＊傷病特別支給金算出式(稼動前)

現障害(傷病)等級に応ずる額　－

直前給付の現障害(傷病)等級に応ずる額　＝

XXX, XXX, XXX　－　XXX, XXX, XXX

＝　XXX, XXX, XXX

ニ　定額の障害特別支給金の計算式リスト

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害(補償)年金の計算式

＊障害特別支給金算出式

現障害(傷病)等級に応ずる額　－　支払済額　＝

XXX, XXX, XXX　－　XXX, XXX, XXX

＝　XXX, XXX, XXX

---

＊障害特別支給金算出式

現障害(傷病)等級に応ずる額　－　加重時の既存障害等級に応ずる額

－　支払済額　＝

XXX, XXX, XXX　－　XXX, XXX, XXX

－　XXX, XXX, XXX

＝　XXX, XXX, XXX

---

＊障害特別支給金算出式(稼動前)

現障害(傷病)等級に応ずる額　－

直前給付の現障害(傷病)等級に応ずる額　＝

XXX, XXX, XXX　－　XXX, XXX, XXX

＝　XXX, XXX, XXX

ホ　加重事案の計算式

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害(補償)年金の計算式

＊給付日数算出式(加重)

加重後該当等級給付日数 － 既存障害等級給付日数 ／ 25

XXX. XX － XXX. XX ／ 25 ＝ XXX. XX

---

＊給付日数算出式(加重)

加重後該当等級給付日数 － 既存障害等級給付日数 ＝

XXX. XX － XXX. XX ＝ XXX. XX

ヘ　再発治ゆ事案の計算式リスト

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害(補償)年金の計算式

＊給付日数算出式(再発)

再発後該当等級給付日数 － 再発前障害等級給付日数 ／ 25

XXX. XX － XXX. XX ／ 25 ＝ XXX. XX

ト　障害前払一時金の計算式

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害前払一時金の計算式

((給付基礎日額　×　限度日数　×　スライド率) ―
(支給制限後給付月額の累計　＋　三者損賠調整済額の累計))
×　支給制限率 ― 三者損賠調整残額
＝ 前払限度額

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX　×　XXXX. XX) －
(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX))
×　XXX, XXX　－　XXX, XXX, XXX
＝ XXX, XXX, XXX

＊障害年金給付限度日数計算式 (加重)
加重後の限度日数　×　((加重後の給付日数　－
加重前の給付日数　×　1／25)　／　加重後の給付日数)
＝ 給付限度日数

XXX, XXX, XXX　×　((XXX, XXX, XXX　－
XXX, XXX, XXX　×　1/25)　/　XXX, XXX, XXX)
＝ XXX, XXX, XXX

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害前払一時金の計算式

((給付基礎日額　×　限度日数　×　スライド率) —
(支給制限後給付月額の累計　＋　三者損賠調整済額の累計))
×　支給制限率　—　三者損賠調整残額
＝　前払限度額

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX　×　XXXX. XX) -
(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX))
×　XXX, XXX　-　XXX, XXX, XXX
＝　XXX, XXX, XXX

＊障害年金給付限度日数計算式 (加重)
加重後の限度日数　－　加重前の給付限度日数　＝　給付限度日数

XXX, XXX, XXX　-　XXX, XXX, XXX　＝　XXX, XXX, XXX

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害前払一時金の計算式

((給付基礎日額　×　限度日数　×　スライド率) ―
(支給制限後給付月額の累計　＋　三者損賠調整済額の累計))
×　支給制限率 ― 三者損賠調整残額
＝ 前払限度額

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX　×　XXXX. XX) -
(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX)
×　XXX, XXX　-　XXX, XXX, XXX
＝ XXX, XXX, XXX

障害年金給付限度日数計算式 (再発　再治ゆ)
再治ゆ後の限度日数　×((再治ゆ後の給付日数　－
加重前の給付日数　×　1／25) ／ 加重後の給付日数
＝ 給付限度日数

XXX, XXX, XXX　×　((XXX, XXX, XXX　-
XXX, XXX, XXX　×　1/25) ／ XXX, XXX, XXX
＝ XXX, XXX, XXX

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害前払一時金の計算式

((給付基礎日額　×　限度日数　×　スライド率) —
(支給制限後給付月額の累計　＋　三者損賠調整済額の累計))
×　支給制限率　—　三者損賠調整残額
＝　前払限度額

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX　×　XXXX. XX) -
(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX))
×　XXX, XXX　-　XXX, XXX, XXX
＝　XXX, XXX, XXX

障害年金給付限度日数計算式（再発　再治ゆ）
加重後の限度日数　－　加重前の給付限度日数　＝　給付限度日数

XXX, XXX, XXX　-　XXX, XXX, XXX　＝　XXX, XXX, XXX

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害前払一時金の計算式

((一時金給付基礎日額　×　限度日数)　－
(支給制限後給付月額の累計　＋　三者損賠調整済額の累計))
×　支給制限率　―　三者損賠調整残額
＝　前払限度額

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX)　-
(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX))
×　XXX, XXX　-　XXX, XXX, XXX
＝　XXX, XXX, XXX

＊障害年金給付限度日数計算式（加重）
加重後の限度日数　×　((加重後の給付日数　－
加重前の給付日数　×　1／25)　／　加重後の給付日数)
＝　給付限度日数

XXX, XXX, XXX　×　((XXX, XXX, XXX　-
XXX, XXX, XXX　×　1/25)　/　XXX, XXX, XXX)
＝　XXX, XXX, XXX

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害前払一時金の計算式

((一時金給付基礎日額　×　限度日数)　－

(支給制限後給付月額の累計　＋　三者損賠調整済額の累計))

×　支給制限率　―　三者損賠調整残額

＝　前払限度額

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX)　-

(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX))

×　XXX, XXX　-　XXX, XXX, XXX

＝　XXX, XXX, XXX

＊障害年金給付限度日数計算式　(加重)

加重後の限度日数　－　加重前の給付限度日数　＝　給付限度日数

XXX, XXX, XXX　-　XXX, XXX, XXX　＝　XXX, XXX, XXX

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害前払一時金の計算式

((一時金給付基礎日額　×　限度日数)　－
(支給制限後給付月額の累計　＋　三者損賠調整済額の累計))
×　支給制限率　―　三者損賠調整残額
＝　前払限度額

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX)　-
(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX))
×　XXX, XXX　-　XXX, XXX, XXX　)
＝　XXX, XXX, XXX

障害年金給付限度日数計算式（再発　再治ゆ）
再治ゆ後の限度日数　×((再治ゆ後の給付日数　－
再発前の給付日数　×　1／25)　／　再治ゆ後の給付日数)
＝　給付限度日数

XXX, XXX, XXX　×　((XXX, XXX, XXX　-
XXX, XXX, XXX　×　1/25)　/　XXX, XXX, XXX
＝　XXX, XXX, XXX

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

障害前払一時金の計算式

((一時金給付基礎日額　×　限度日数)　－

(支給制限後給付月額の累計　＋　三者損賠調整済額の累計))

×　支給制限率　―　三者損賠調整残額

＝　前払限度額

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX)　-

(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX))

×　XXX, XXX　-　XXX, XXX, XXX

＝　XXX, XXX, XXX

障害年金給付限度日数計算式　(再発　再治ゆ)

加重後の限度日数　－　加重前の給付限度日数　＝　給付限度日数

XXX, XXX, XXX　-　XXX, XXX, XXX　＝　XXX, XXX, XXX

チ　遺族前払一時金の計算式

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

遺族前払一時金の計算式

((給付基礎日額　×　限度日数　×　スライド率)　―

(支給制限後給付月額の累計　＋　三者損賠調整済額の累計))

×　支給制限率　―　三者損賠調整残額

＝　前払限度額

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX　×　XXXX. XX)　-

(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX)

×　XXX, XXX　-　XXX, XXX, XXX

＝　XXX, XXX, XXX

39560　　年金一時金　計算式リスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

遺族前払一時金の計算式

((一時金給付基礎日額　×　限度日数)　－

(支給制限後給付月額の累計　＋　三者損賠調整済額の累計))

×　支給制限率　―　三者損賠調整残額

＝　前払限度額

((XXX, XXX, XXX　×　XXX, XXX, XXX)　－

(XXX, XXX, XXX　＋　XXX, XXX, XXX)

×　XXX, XXX　－　XXX, XXX, XXX

＝　XXX, XXX, XXX

リ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 帳票番号 | 入力帳票番号を印字する。 |
| 日付 | 計算式リストを出力した年月日を印字する。 |
| 枚目/枚中 | 計算式リストの枚目（ページ)、枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| データ受付番号 | データ受付番号を印字する。 |
| 決議書出力年月日 | 決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 出力回数 | 決議書を出力した回数を印字する。 |
| 計算式欄 | 金額計算方法を表す計算式を印字する。 |

(15)　メッセージリスト

決議書にメッセージが印字しきれない場合又は決議書を入力した際に注意を促す内容が存在する場合に出力する。

39562　　メッセージリスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

MXXX　「年金給付」「短期給付」がともに存在しません。
MXXX　受付から半年以上経過しています。
MXXX　【平均賃金≧25000】です。再確認してください。
MXXX　資格者(31)と被災者の年齢差を再確認してください。
MXXX　資格者(41)と被災者の年齢差を再確認してください。
MXXX　資格者(42)と被災者の年齢差を再確認してください。
MXXX　資格者(51)と被災者の年齢差を再確認してください。

39562　　メッセージリスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

死亡年月日　XX. XX. XX

再発再治ゆ事案のため、システムで失権差額一時金の計算ができません。下記の年金証書番号の「転帰情報検索」を行い、全ての年金の既支給額の累計を求め、《自給付分差引後金額》から差し引いて失権差額一時金を計算してください。また、回収額が存在する場合は、必要により充当してください。

| | ＜保険給付＞ | ＜特別年金＞ |
|---|---|---|
| ＜保障給付額＞ | XXX, XXX, XXX円 | XXX, XXX, XXX円 |
| ＜XXXXXXXXXの＞ | | |
| 《自給付分差引後金額》 | XXX, XXX, XXX円 | XXX, XXX, XXX円 |
| ◆回収額◆ | XXX, XXX, XXX円 | XXX, XXX, XXX円 |

【年金証書番号】　XXXXXXXXX　XXXXXXXXX　XXXXXXXXX

XXXXXXXXX　XXXXXXXXX　XXXXXXXXX

XXXXXXXXX　XXXXXXXXX　XXXXXXXXX

XXXXXXXXX　XXXXXXXXX　XXXXXXXXX

なお、失権差額一時金が発生した場合及び回収額を失権差額一時金に充当した場合は、本省へ「文書報告書」を提出してください。

39562　　メッセージリスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

援護費支払差止

枝番　在学者等氏名　XXXXXXXXXXXXXXX　支給区分　XX
XX　差止年月　XX. XX　　差止事由　X　定期報告書未提出

枝番　在学者等氏名　XXXXXXXXXXXXXXX　支給区分　XX
XX　差止年月　XX. XX　　差止事由　X　定期報告書未提出

枝番　在学者等氏名　XXXXXXXXXXXXXXX　支給区分　XX
XX　差止年月　XX. XX　　差止事由　X　定期報告書未提出

枝番　在学者等氏名　XXXXXXXXXXXXXXX　支給区分　XX
XX　差止年月　XX. XX　　差止事由　X　定期報告書未提出

39562　　メッセージリスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

援護費支払差止解除

枝番　在学者等氏名　XXXXXXXXXXXXXXXX　支給区分　XX
XX　差止年月　XX. XX　　解除事由　X　定期報告書提出
支払差止累計額　　XXX, XXX, XXX

枝番　在学者等氏名　XXXXXXXXXXXXXXXX　支給区分　XX
XX　差止年月　XX. XX　　解除事由　X　定期報告書提出
支払差止累計額　　XXX, XXX, XXX

枝番　在学者等氏名　XXXXXXXXXXXXXXXX　支給区分　XX
XX　差止年月　XX. XX　　解除事由　X　定期報告書提出
支払差止累計額　　XXX, XXX, XXX

枝番　在学者等氏名　XXXXXXXXXXXXXXXX　支給区分　XX
XX　差止年月　XX. XX　　解除事由　X　定期報告書提出
支払差止累計額　　XXX, XXX, XXX

出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 帳票番号 | 入力した入力帳票番号を印字する。 |
| 日付 | メッセージリストを出力した年月日を印字する。 |
| 枚目/枚中 | メッセージリストの枚目（ページ）、枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| データ受付番号 | 支給決定処理において振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 決議書出力年月日 | 支給決定決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 出力回数 | 支給決定決議書を出力した回数を印字する。 |
| メッセージ欄 | 注意を促すメッセージを印字する。 |

・　転給処理の登記入力結果（厚年等情報）

転給処理の登記が正常に終了した場合に転給者の厚年情報を印字する。厚年情報を入力しない場合においても既存の厚年情報を印字するため、厚年等の情報を確認すること。

(ｲ)様式

39562　　メッセージリスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

＜厚年情報＞

厚年等 1 種　　厚生等年金証書番号　XXXXXXXXXXXXX

厚年等種別　X-XXX
調整コード　X-XXXXXX
年額　XXX、XXX、XXX
年額　XXX . XX

厚年等 2 種　　厚生等年金証書番号　XXXXXXXXXXXXX

厚年等種別　X-XXX
調整コード　X-XXXXXX
年額　XXX、XXX、XXX
年額　XXX . XX

(ﾛ) 出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 帳票番号 | 入力帳票番号“39562”を印字する。 |
| 日付 | メッセージリストを出力した年月日を印字する。 |
| 枚目/枚中 | メッセージリストの枚目（ページ）、枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| データ受付番号 | 転給処理において振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 決議書出力年月日 | 変更決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 出力回数 | 変更決議書を出力した回数を印字する。 |
| 厚年等年金証書番号（1種） | 入力した厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード（1種）を印字する。 |
| 厚年等種別（1種） | 入力した厚年等種別（1種）及びコードに対応する種別を印字する。 |
| 厚年等調整コード（1種） | 入力した厚年等調整コード(1種)及びコードに対応する種別を印字する。入力しない場合は、「3:不支給・不該当」とする。 |
| 厚年等年額（1種） | 入力した厚年等年額（1種）を印字する。 |
| 厚年等調整開始年月（1種） | 入力した厚年等調整開始年月（1種）を印字する。 |
| 厚年等年金証書番号（2種） | 遺族（補償）年金の場合、入力した厚年等の年金証書の基礎年金番号及び年金コード（2種）を印字する。 |
| 厚年等種別（2種） | 遺族（補償）年金の場合、入力した厚年等種別（2種）及びコードに対応する種別を印字する。 |
| 厚年等調整コード（2種） | 遺族（補償）年金の場合、入力した厚年等調整コード（2種）及びコードに対応する種別を印字する。入力しない場合は、「3:不支給・不該当」とする。 |
| 厚年等年額（2種） | 遺族（補償）年金の場合、入力した厚年等年額（2種）を印字する。 |
| 厚年等調整開始年月（2種） | 遺族（補償）年金の場合、入力した厚年等調整開始年月（2種）を印字する。 |

転給処理の登記入力結果（同一生計の有無・三者情報）

転給処理の登記が正常に終了した場合、同一生計の登記情報及び三者調整情報（三者情報を入力した場合又は転給前に三者調整をしていたが転給処理で三者情報を入力しなかった場合）を印字する。

(ｲ) 様式

39562　　メッセージリスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

＜同一生計の有無＞

| 枝番 | 資格者氏名 | 同一生計 |
|---|---|---|
| XX | XXXXXXXXXXXXXXXXX | X |
| XX | XXXXXXXXXXXXXXXXX | X |
| XX | XXXXXXXXXXXXXXXXX | X |
| XX | XXXXXXXXXXXXXXXXX | X |
| XX | XXXXXXXXXXXXXXXXX | X |

＜三者情報＞

| | |
|---|---|
| 三者コード | X |
| 三者損賠受領額 | XXX、XXX、XXX |
| 三者損賠受領年月日 | XXX、XX、XX |
| 三者損賠調整開始年月日 | XXX . XX |

(ﾛ) 出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 帳票番号 | 入力帳票番号“39562”を印字する。 |
| 日付 | メッセージリストを出力した年月日を印字する。 |
| 枚目/枚中 | メッセージリストの枚目（ページ）、枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| データ受付番号 | 転給処理において振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 決議書出力年月日 | 変更決議書を出力した年月日を印字する。 |
| 出力回数 | 変更決議書を出力した回数を印字する。 |
| 資格者枝番号 | 権者との同一生計を入力した資格者枝番号を印字する。 |
| 資格者氏名 | 権者との同一生計を入力した資格者氏名を印字する。漢字情報が存在する資格者は漢字で、それ以外の資格者はカナで印字する。 |
| 同一生計 | 権者との同一生計の有無を印字する。 |
| 三者コード | 三者コードを印字する。 |
| 三者損賠受領額 | 三者損賠受領額を印字する。 |
| 三者損賠受領年月日 | 三者損賠受領年月日を印字する。 |
| 三者損賠調整開始年月 | 三者情報を調整開始する年月（転給年月の翌月）を印字する。 |

イ　住所・氏名等変更処理の終了結果

住所氏名等変更届又は外国払入力票の入力が正常に終了した場合、又は転給処理の登記が正常に終了した場合に受給権者の氏名、住所及び支払先を印字する。このリストの印字内容が今後受給権者に対する通知書の宛先及び年金の支払先となるため、印字した内容を十分確認すること。

様式①

```
39562                    メッセージリスト                    XX. XX. XX
                                                                X/X

  データ受付番号      XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
  年金証書番号        XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
  決議書出力年月日    XX. XX. XX              出力回数  XX

  管轄局署            XX-XX
  受給権者枝番        XX
  受給権者氏名        XXXXXXXXXX
  郵便番号            XXXXXXX
  住所                XXXXXXXXXX
                       XXXXXXXXXXXXXXXXXX
                      XXXXXXXXXXXXXXXXXX
  電話番号            XXXXXXX
----------------------＜支払方法が銀行振込の場合＞----------------------
  支払方法            1-銀行振込
    金融機関ｺｰﾄﾞ      XXXXXXXX
    金融機関名        XXXXXXXXXXXXXXXXX
    店舗名            XXXXXXXXXXXXXXXXX
    預金の種類        X-XXXX
    口座番号          XXXXXXX
----------------------＜支払方法が郵便振込の場合＞----------------------
  支払方法            3-郵便振込
    郵便局ｺｰﾄﾞ        XXXXXXXX
    郵便局名          XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
                       XXXXXXXXXXXXXXXXX

    預金通帳記号番号  XXXXXXX
----------------------＜支払方法が窓口現金の場合＞----------------------
  支払方法            5-窓口現金
    郵便局ｺｰﾄﾞ        XXXXXXXX
    郵便局名          XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
                      XXXXXXXXXXXXXXXXX
```

(ﾛ) 出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 帳票番号 | 入力帳票番号を印字する。 |
| 日付 | メッセージリストを出力した年月日を印字する。 |
| 枚目/枚中 | メッセージリストの枚目（ページ)、枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| データ受付番号 | 転給処理又は住所・氏名等変更処理において振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 年金証書番号 | 住所・氏名等変更処理を行った年金証書番号を印字する。<br>転給処理の場合は、印字しない。 |
| 決議書出力年月日 | 転給処理の場合に、決議書を出力した年月日を印字する。<br>住所・氏名等変更処理の場合は、印字しない。 |
| 出力回数 | 転給処理の場合に、決議書を出力した回数を印字する。<br>住所・氏名等変更処理の場合は、印字しない。 |
| 管轄局署 | 管轄局署を印字する。 |
| 受給権者枝番号 | 入力した受給権者の枝番号を印字する。傷病・障害（補償）年金の場合は、印字しない。 |
| 受給権者氏名 | 転給処理の場合は、入力した受給権者氏名を漢字で印字する。<br>住所・氏名等変更処理の場合は、入力した受給権者の氏名を漢字<br>及びカナで印字する。なお、入力しない場合は最新の状態を印字する。 |
| 郵便番号 | 入力した郵便番号を印字する。なお、住所・氏名等変更処理で入力しなかった場合は最新の状態を印字する。 |
| 住所 | 入力した住所を印字する。なお、住所・氏名等変更処理で入力しなかった場合は最新の状態を印字する。<br>また、都道府県名は入力したコード及び漢字名を印字する。 |
| 電話番号 | 入力した電話番号を印字する。なお、住所・氏名等変更処理で入力しなかった場合は最新の状態を印字する。 |
| 支払方法 | 入力した支払先情報により下記の内容を印字する。なお、住所・氏名等変更処理で入力しなかった場合は最新の状態を印字する。<br>金融機関コードを入力　……　1－銀行振込<br>預金通帳記号番号を入力　……　3－郵便振込<br>郵便局コードを入力、かつ、預金通帳記号番号を未入力<br>……　5－窓口現金 |
| 支払先情報<br>（金融機関名等） | 支払先方法により次ページのとおり印字する。なお、住所・氏名等変更処理で入力しなかった場合は最新の状態を印字する。 |

支払方法が銀行振込の場合

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 金融機関・店舗コード | 金融機関・店舗コードを印字する。 |
| 金融機関名 | 金融機関コードに対応する金融機関名を漢字で印字する。 |
| 店舗名 | 金融機関・店舗コードに対応する店舗名を漢字で印字する。 |
| 預金の種類 | 預金の種類のコードとコードに対応する文言を下記のとおり印字する。<br>1 …… 1－普通預金<br>3 …… 3－当座預金 |
| 口座番号 | 口座番号を印字する。 |

支払方法がゆうちょ振込の場合

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 郵便局コード | 郵便局コードを印字する。 |
| 郵便局名 | 郵便局コードに対応する郵便局名を漢字で印字する。 |
| 預金通帳記号番号 | 預金通帳記号番号を印字する。 |

支払方法が窓口現金払の場合

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 郵便局コード | 郵便局コードを印字する。 |
| 郵便局名 | 郵便局コードに対応する郵便局名を漢字で印字する。 |

(ハ) 様式②

39562　　メッセージリスト　　XX. XX. XX

X/X

データ受付番号　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

年金証書番号　XXXXXXXXXXXXXXXXXXX

決議書出力年月日　XX. XX. XX　　出力回数　XX

管轄局署　XX-XX

受給権者枝番　XX
受給権者氏名　XXXXXXXXXX

住所　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

支払方法　7-外国送金
金融機関名　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
店舗名　XXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
口座番号　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

金融機関所在地　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

(ﾆ) 出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 帳票番号 | 入力帳票番号を印字する。 |
| 日付 | メッセージリストを出力した年月日を印字する。 |
| 枚目/枚中 | メッセージリストの枚目（ページ)、枚中（総出力枚数）を印字する。 |
| データ受付番号 | 転給処理又は住所・氏名等変更処理において振り出したデータ受付番号を印字する。 |
| 年金証書番号 | 住所・氏名等変更処理を行った年金証書番号を印字する。<br>転給処理の場合は、印字しない。 |
| 決議書出力年月日 | 転給処理の場合に、決議書を出力した年月日を印字する。<br>住所・氏名等変更処理の場合は、印字しない。 |
| 出力回数 | 転給処理の場合に、決議書を出力した回数を印字する。<br>住所・氏名等変更処理の場合は、印字しない。 |
| 管轄局署 | 管轄局署を印字する。 |
| 受給権者枝番号 | 入力した受給権者の枝番号を印字する。傷病・障害（補償）年金の場合は、印字しない。 |
| 受給権者氏名 | 転給処理の場合は、入力した受給権者氏名をアルファベットで印字する。<br>住所・氏名等変更処理の場合は、入力した受給権者の氏名をアルファベット及びカナで印字する。なお、入力しない場合は最新の状態を印字する。 |
| 住所 | 入力した住所を印字する。なお、住所・氏名等変更処理で入力しなかった場合は最新の状態を印字する。<br>また、都道府県名は入力したコード及び漢字名を印字する。 |
| 支払方法 | “7-外国送金”を印字する。 |
| 金融機関名 | 金融機関名を印字する。 |
| 店舗名 | 店舗名を印字する。 |
| 口座番号 | 口座番号を印字する。 |
| 金融機関所在地 | 金融機関所在地を印字する。 |

# Ⅲ

# 支払事務等

## 1　支払事務の流れ

### (1) 支払事務の概要

年金たる保険給付等（以下「年金等」という）の支払事務については、監督署においてＯＣＲ入力された請求書等の情報に基づいて、本省（労災保険業務課）（以下この章において「業務課」という）においてシステムを使用して各支払期月の年金等の額の計算等を行い、受給権者の選択によりゆうちょ銀行を除く金融機関（以下「金融機関」という）又はゆうちょ銀行（支出官事務規程第11 条第３項に定める「日本銀行が指定した銀行その他の金融機関」をいう。）の支払機関を通じて行われる。

### (2) 支払期月と支払開始日

年金等の支払期月及び支払開始日は次表のとおりである。

| 支払期月 | 支払開始日 | 支　払　対　象　月 |
|---|---|---|
| 2　月 | 2 月 15 日 | 前年の 12 月、1 月の 2 か月分 |
| 4　月 | 4 月 15 日 | 2 月、3 月の 2 か月分 |
| 6　月 | 6 月 15 日 | 4 月、5 月の 2 か月分 |
| 8　月 | 8 月 15 日 | 6 月、7 月の 2 か月分 |
| 10　月 | 10 月 15 日 | 8 月、9 月の 2 か月分 |
| 12　月 | 12 月 15 日 | 10 月、11 月の 2 か月分 |

（注）　支払開始日が日曜日若しくは土曜日又は休日（以下「日曜日等」という。）に当たる場合は、その日の直前の日曜日等でない日とする。

### (3) 支払方法

イ　支払機関が金融機関の場合

支払機関が金融機関の場合は、日本銀行本店に対し、官庁会計事務データ通信システム（以下「ＡＤＡＭＳ」という。）を使用して資金交付を行うとともに、受取人の年金証書番号、金額、振込先金融機関店舗名、預貯金口座番号等を収録した媒体（以下「振込明細磁気媒体」という）を添付して振込みを依頼し受給権者が希望する預貯金口座に振込まれる。

なお、受給権者が外国にいる場合は、日本銀行本店に対し、ＡＤＡＭＳを使用して受取人の住所、氏名、金額、金融機関店舗名、口座番号､SWIFT コード等のデータを送信し送金を依頼する。

ロ　支払機関がゆうちょ銀行の場合

支払機関がゆうちょ銀行の場合は、ゆうちょ銀行の支店等または郵便局（以下､「ゆうちょ銀行支払店」という。）の窓口で現金を受け取る「現金払」と受給権者の預金口座に振込を行う「振込」の２つの方法があり、ゆうちょ銀行に対して、ＡＤＡＭＳを使用して資金交付を行うとともに、受取人の年金証書番号、支払郵便局コード、支払年月日、ゆうちょ銀行支払店、氏名、金額等を収録した媒体（以下「支払媒体」という。）を添付して支払を依頼する。

(ｲ) 現金払

ゆうちょ銀行の現金払については「支出官事務規程」により手続が定められており、厚生労働省からの支払媒体に基づき東日本貯金事務計算センターにおいて作成された｢労災保険年金等支払案内書」

（以下「支払案内書」という）が、受給権者の希望するゆうちょ銀行支払店に、当該支払店を管轄する貯金事務センターを通じて送付され、これに基づき窓口において現金で支払が行われる。

(ﾛ) 振込

ゆうちょ銀行の振込については「支出官事務規程」により手続きが定められており、ゆうちょ銀行支払店を管轄する貯金事務センターから直接受給権者が希望する預金口座に振込が行われる。

(4) 振込通知書及び送金通知書の通知方法

イ　原則的な通知方法

原則、毎年 10 月の支払開始日前に、その年の 10 月から翌年 8 月までの 1 年間の各支払期における年金等の支払額等を「労災保険年金等振込通知書」（以下「振込通知書」という。Ⅳ-8-17 ページ参照）、又は「特別遺族年金振込通知書」（以下「振込通知書」という。Ⅳ-8-23 ページ参照）を送付して、通知することとする。

なお、10 月支払期に年金等の支払がない者については、最初の年金等の支払開始日前から、次の 8 月支払期までの支払額等を通知する。

また、最初の年金等の支払が 8 月支払期となる者については、8 月支払期のみの支払額等を通知する。

なお、ゆうちょ銀行の現金払者に係る「労災保険年金等送金通知書」（以下「送金通知書」という。Ⅳ-8-13 ページ参照）、又は「特別遺族年金送金通知書」（以下「送金通知書」という。Ⅳ-8-15 ページ参照）は、支払の都度通知することとし、国外に居住する受給権者へは、振込通知書を支払の都度送付する。

ロ　受給条件に変更等があった場合の通知方法

10 月から翌年 8 月までの支払期の途中で、受給条件の変更により年額等に変更があった場合は、その都度改めて翌年 8 月支払期までの支払額等を通知する。

また、支払機関が変更になった場合には、支払額に変更がなくても改めて通知する。

(5) 振込通知書の表示方法

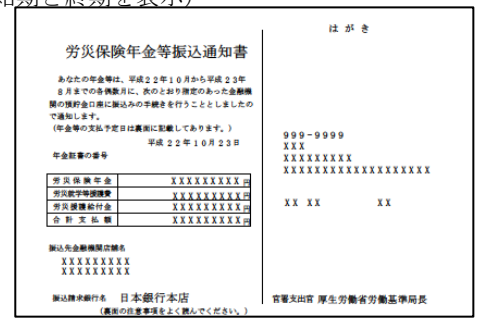
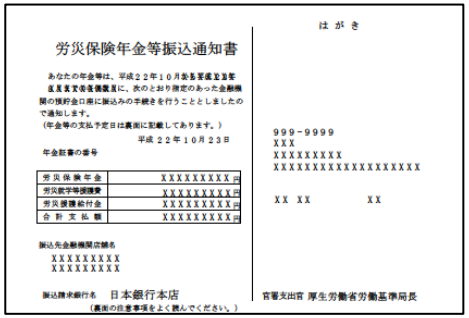
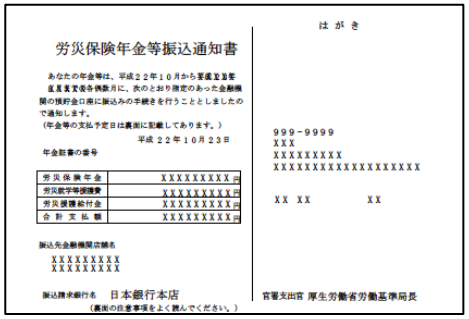
振込通知書の表示方法は、以下のとおりで、条件に応じて 3 種類のいずれかで表示を行う（次表の「労災保険年金等振込通知書の表示パターン」参照）。

原則的な表示方法は、パターンＡのとおり「あなたの年金等は、平成〇年 10 月から平成〇年 8 月までの各偶数月に、次のとおり指定のあった金融機関の預貯金口座に振込みの手続きを行うこととしたので通知します。」と表示する。

また、年金等の支払差止解除後に追給する場合等で今期と次期の支払額が異なる場合は、パターンＢのとおり、今期のみを表示することとし、また、内払充当処理に伴う回収が翌年 8 月支払期までに終了しない場合等は、パターンＣのとおり、終期を表示しない。

なお、国外に居住する受給権者へは、パターンＢの振込通知書により通知することとする。

# 振込通知書の表示パターン

| | 振込通知書の表示パターン | 内　　容 | 通　知　の　例 |
|---|---|---|---|
| A | （開始期と終期を表示）<br>  <br> | 1　１０月から翌年８月までの各支払期における年金額等を表示する。<br>2　表示内容は、各支払期における労災保険年金、労災就学等援護費及び労災援護給付金の各支払額（以下「年金額等」という。）、振込先金融機関店舗名、通知日、年金証書番号及び受給権者の住所・氏名である。 | ・　通常の場合<br>・　１０月から翌年８月までの支払期の途中で受給条件が変更となった場合 |
| B | （今支払期のみを表示）<br>  <br> | 1　今支払期の１回分の年金額等を表示する。<br>2　今期と次期で支払金額が異なる場合に使用する。<br>（次期が今期の支払金額と同様に支払われることの誤解を避けるため）<br>3　表示内容は、今支払期における年金額等、振込先金融機関店舗名、通知日、年金証書番号及び受給権者の住所・氏名である。 | ・　年金・労災就学等援護費定期報告書の未提出により支払差止となっていた者で、支払差止解除により追給額が発生した場合<br>・　審査請求等で不支給決定が支給決定に変更となった場合で追給額が発生した場合<br>・　生年月日誤り等の基本権取消により追給額が発生した場合<br>・　休業（補償）給付の過誤払いが発生し、障害年金又は傷病年金に移行した場合で労災年金により全額内払充当し、今期支払額が次期の額より少なくなる場合<br>・　障害年金又は傷病年金から遺族年金に移行し、障害年金又は傷病年金の過誤払い分を遺族年金で充当回収してきたが、今期で終了し、今期支払額がそれ以前の額より多く、次期の額より少なくなる場合<br>・　外国送金の場合 |
| C | （開始期のみを表示）<br>  <br> | 1　支払期の終期を消去し、開始期のみを表示する。<br>（終期（８月支払期）までで回収が完了し、１０月以降は全額支払われることの誤解を避けるため）<br>2　表示内容は、各支払期における年金額等、振込先金融機関店舗名、通知日、年金証書番号及び受給権者の住所・氏名である。 | ・　支給決定時に休業内払額があり、今期支払額では充当しきれなかった場合<br>・　支給決定時に前給付での過誤払い額を引き継ぎ、今期支払額では充当しきれなかった場合<br>・　生年月日誤り等の基本権取消の場合で、回収額が発生したが、今期支払額では充当しきれなかった場合 |

## 2　支払機関の変更に係る留意事項

(1) 住所・氏名等変更届等が入力締切日までに入力された場合

住所・氏名等変更届（Ⅱ-6-3 ページ～参照）又は外国払入力票（Ⅱ-6-11 ページ～参照）（以下「住所・氏名等変更届等」という）が、各支払期の入力締切日までに入力された場合は、変更後の支払機関において支払が行われる。

(2) 住所・氏名等変更届等が入力締切日までに入力されなかった場合

イ　変更前の支払機関が金融機関の場合

変更前の金融機関の預貯金口座に振込が行われる。

この場合、支払開始日までに変更前の預貯金口座が解約されると、振込不能のため支払事故となるので、変更前の預貯金口座を解約しないよう指導すること。

ロ　変更前の支払機関がゆうちょ銀行の場合

変更前のゆうちょ銀行支払店において、変更前の支払方法により支払が行われる。

変更前の支払方法が振込で、支払開始日までに変更前の預金口座が解約された場合は、支払事故となるので留意すること。この場合、一旦振込の取消を行い、変更後の預金口座への振込又はゆうちょ銀行支払店の窓口における現金払の手続きを行う。この手続きにより、支払期の翌月の下旬を目途に年金が支払われる。

住所・氏名等変更届等が入力締切日までに入力されなかったために、変更前のゆうちょ銀行支払店の窓口における現金払となってしまった場合で、受給権者が遠隔地に転居したなどの理由により変更後のゆうちょ銀行支払店の窓口において受取りを希望するときは、業務課において変更前のゆうちょ銀行支払店にある支払案内書を変更後のゆうちょ銀行支払店に転送する手続が必要となるので、その旨業務課あて連絡すること。

なお、この手続には３週間程度の日数を要するので、受給権者からの照会があったときは、その旨回答すること。

## 3　支払いに関する事故処理

### (1) 金融機関振込みに係る事故処理

#### イ　振込不能

(ｲ) 支払事故の通知

日本銀行に振込請求をしたが、受給権者の指定する金融機関に該当預貯金口座がない場合（口座を解約したり、口座番号が相違している場合を含む)、又は預貯金口座はあるが氏名が相違している場合は振込不能となり、該当金融機関から日本銀行を経由して「国庫金振込不能報告書」が業務課あて送付される。

業務課では、振込不能となったものについては、監督署に対し「支払事故通知リスト」（Ⅳ-4-12ページ参照）を配信するので、監督署においては速やかに請求書等の内容を確認し、次の処理を行うこと。

なお、受給権者が死亡していた場合は、後記４によること。

a　預貯金口座がない場合

受給権者に対し、新しく預貯金口座を設けさせるとともに、住所・氏名変更届等を最寄りの監督署に提出させること。

このとき、金融機関振込みとして支払事故となった年金は、当該支払期についてはこれをゆうちょ銀行払又は、外国送金に変更することはできないので留意すること（金融機関であれば、振込不能となった金融機関と異なる金融機関でもよい)。

口座番号等が相違している場合は、受給権者に正しい口座番号を記載した住所・氏名変更届等を管轄監督署に提出させること。

なお、入力誤りであった場合には、正しい口座番号を入力すること。

b　口座名義人と氏名が相違する場合

金融機関の預貯金口座名義人の氏名が誤っていた場合には、受給権者に預貯金口座名義人の変更を行わせること。

また、請求書等の氏名が誤っていた場合には、受給権者に正しい氏名を記載した住所・氏名変更届等を管轄監督署に提出させること。

なお、入力誤りであった場合には、正しい氏名を入力すること。

c　所在不明による場合

調査の結果、なお所在が判明せず、支払開始日から１年を超えても振込不能が解消されないものについては、１年を超えると思われる時点で調査状況を文書で業務課に報告する。

なお、その後の調査等で受給権者の所在が判明したときは、住所・氏名等変更届等（写）を添付し、文書報告書様式(1)第５号（システムで対応していない事案）により業務課に報告すること。

(ﾛ) 再振込みについて

振込不能となった年金について、業務課において検索により正しい振込先預貯金口座等を確認したときは、「国庫金振込又は送金訂正手続請求書」により財務省会計センター（以下「会計センター」という。）に対し、正しい預貯金口座への再振込みの手続を請求し、会計センターが日本銀行に対し、「国庫金振込又は送金訂正請求書」により、正しい預貯金口座への再振込みの手続を請求する。

この再振込みの手続には、支払開始日から１か月程度の日数を要するので、受給権者からの照会があったときは、その旨回答すること。

なお、支払事故が解消したものについては、年金支払検索を行うと、事故解消年月日及び事故解消事由が表示される。

ロ　振込要項補正の取扱い

労災保険年金等の振込みにおいて、振込指定事項が受給権者の預貯金口座と符合しない場合であっても、金融機関の責任において、本人と認められる場合は振込要項補正を行うこととされている。

なお、金融機関名及び店舗名の改称がある場合は、業務課で処理する。

ハ　振込通知書の返れい

住所不備、所在不明等により振込通知書が返れいされた場合には、業務課において住所・氏名検索を行い、新しい住所を確認できたものについては直ちに振込通知書を再送付する。確認できないものについては、住所確認のため業務課から監督署に対して回送を行う。

監督署は、返れいされた理由について速やかに調査の上、次の処理を行うこと。

a　住所変更による場合

正しい住所を記載した住所・氏名変更届等を提出させること。

住所変更と同時に金融機関も変更する場合は、金融機関の欄も併せて記入させること（ただし、前記２の(1)、(2)に留意すること）。

なお、入力誤りであった場合には、正しい住所を入力し、正しい住所に振込通知書を送付すること。

b　所在不明による場合

調査の結果、なお所在が判明しないものについては、支払差止めの措置をとること。

なお、その後の調査等で受給権者の所在が判明したときは、支払差止め解除の手続きをとること。また、振込通知書を正しい住所に送付すること。

(2) ゆうちょ銀行払に係る事故処理

イ　振込不能

(ｲ) 支払事故の通知

振込口座を解約した場合（口座番号が相違している場合を含む）、振込不能となりゆうちょ銀行

から「年金給付金振込不能報告書」が業務課に送付される。

業務では、振込不能となったものについては、監督署に対し「支払事故通知リスト」(Ⅳ-4-12ページ参照）を配信するので、監督署においては速やかに請求書等の内容を確認し、次の処理を行うこと。

なお、受給権者が死亡していた場合は、後記４によること。

a　預金通帳がない場合

受給権者に対し、新しく預金通帳を作らせ、監督署に届けさせること。もしくは、窓口現金払を選択するのか確認。

当該支払期分については、金融機関振込または外国送金に変更することはできないので留意すること。

b　口座名義人と氏名が相違する場合

郵便振替口座の口座名義人の氏名が異なっていた場合には、受給権者に預金口座の口座名義人の変更を行わせること。

請求書等の氏名が誤っていた場合には、受給権者に正しい氏名を記載した住所・氏名等変更届等を監督署に提出させること。

c　所在不明の場合

調査開始から１年を超えて振込不能が解消されないものについては、文書で業務課に報告すること。

(ﾛ) 再振込について

振込不能となった年金はすべて支払を取消すこととされているため、再振込が必要な年金は支払取消後再度支払処理を行うこととなる。

この手続きには、支払開始日から１ヵ月程度の日数を要すること。

ロ　振込要項補正の取扱い

金融機関の場合と同様に取扱う。

ハ　振込通知書の返れい

金融機関の場合と同様に取扱う。

ニ　送金通知書の返れい

(ｲ) 監督署に対する照会等

前記３の(1)のハの(ｲ)に準じた取扱いをすること。

なお、住所変更による場合で、住所変更と同時にゆうちょ銀行支払店を変更する場合は、ゆうちょ銀行支払店の欄も併せて記入させること（ただし、前記２の(1)、(2)に留意すること)。

(ﾛ) 本省における措置

監督署からの調査結果に基づいて正しい住所を確認したときは、直ちに業務課から送金通知書を再送付する。

ホ　転給者に係る送金通知書の返れい

送金通知書送付後、遺族（補償）年金受給権者、又は特別遺族年金受給者が死亡により失権した場合、次順位者がいればその者が受給権者となるが、現金払の場合は当該送金通知書は死亡により失権した者の氏名が印書されており、次順位者がゆうちょ銀行支払店に対し支払請求を行っても支払を受けることが出来ない。従ってこの場合、当該送金通知書を業務課あて返送させること。

この場合は業務課において支払取消の処理をし、次支払期に次順位者に対して追給処理をする。

なお、全員失権の場合においても、受給権者の遺族等から当該送金通知書を業務課あて返送させること。

ヘ　送金通知書の亡失等

現金払の場合で、受給権者に送付した送金通知書が届かなかったり、あるいは亡失した場合には、年金を受け取ることができないので、この場合には、受給権者に送金通知書の再発行の請求をさせること。

なお、送金通知書が届かなかった場合（未着）と亡失した場合で手続きが異なるので注意すること。

(ｲ) 亡失の場合

送金通知書を亡失した場合には、受給権者がゆうちょ銀行支払店に対し「労災保険年金等送金通知書亡失（き損）届」（以下「亡失届」という。）により支払の停止を請求し、この亡失届がゆうちょ銀行支払店から日本銀行を経由して業務課あてに送付され、送金通知書の再発行を行う。

a　局・監督署の措置

局・監督署が受給権者等から送金通知書の亡失（き損）等について照会を受けた場合は、次の措置を講ずること。

(a) 検索等により、当該受給権者にかかる支払の有無、ゆうちょ銀行支払店等を確認すること。

(b) (a)により支払のあることを確認したときは、ゆうちょ銀行支払店に対し支払案内書の到着の有無を確認すること。

(c) ゆうちょ銀行支払店に支払案内書が到着している場合は、直ちに当該受給権者に対し、直接ゆうちょ銀行支払店に支払停止を求めるよう指導すること。支払停止のために必要な用紙（亡失届）はゆうちょ銀行支払店に備えられている。

(d) 亡失届により支払停止の請求をした後に、当該受給権者が旧の送金通知書を見つけた場合でも、「再発行」された送金通知書でなければ年金を受け取ることはできないので注意すること。

(e) (b)によりゆうちょ銀行支払店に支払案内書が未着のときは、未払の証明ができないので、業務課にその旨連絡すること。

b　本省における措置

亡失届が送付された場合は、記載内容に誤りのないことを確認のうえ、送金通知書を再発行するとともに、日本銀行に対し、送金通知書再発行の連絡をし、支払停止の解除を求める。

なお、再発行する送金通知書には「再発行」の表示（朱印）をし、当初の送金通知書とは区別する。

(ﾛ) 送金通知書未着の場合

送金通知書が未着の場合は、受給権者は業務課に送金通知書が未着である旨を申し出る。

業務課で支払未済であるかを確認し、支払未済であった場合は会計センターに支払未済であることを連絡するとともに送金通知書の再発行を行う。

a　局・監督署の措置

局・監督署が受給権者等から送金通知書の未着について照会を受けた場合は次の措置を講ずること。

(a) 検索等により、当該受給権者にかかる支払の有無、ゆうちょ銀行支払店名等を確認すること。

(b) (a)により支払のあることを確認したときは、ゆうちょ銀行支払店に対し支払案内書の到着の有無を確認すること。

(c) ゆうちょ銀行支払店に支払案内書が到着している場合は、直ちに当該受給権者に対し、直接業務課に送金通知書の再発行を求めるよう指導すること。

(d) 未着により送金通知書の再発行の請求をした後に、当該受給権者に旧の送金通知書が届いた場合でも、「再発行」された送金通知書でなければ年金を受け取ることはできないので注意すること。

(e) (d)によりゆうちょ銀行支払店に支払案内書が未着のときは、未払の証明ができないので、業務課にその旨連絡すること。

b　本省における措置

未着の連絡を受けた場合、ゆうちょ銀行に未着の確認を行い、未着であった場合は、会計センターに対し、未着届を送付し、支払未済の確認と支払停止の請求を行う。支払未済の場合には送金通知書を再発行するとともに、会計センターに対し、送金通知書再発行の連絡をし、支払停止の解除を求める。

なお、再発行する送金通知書には、「再発行」の表示（朱印）をし、当初の送金通知書とは区別する。

ト　現金払の場合の受取期限

受給権者が支払開始日より１年以内に年金等を受け取らないときは、期限経過によりゆうちょ銀行支払い店の窓口における支払は受けられなくなる。

なお、支払開始日から１年を経過した送金通知書を所持した受給権者より支払を求められた場合には、「労災保険年金等支払請求書（期限経過分）」（Ⅲ-7-2 ページ参照）に送金通知書を添えて業務課に提出するよう指導すること。

## 4　受給権者死亡の場合の留意事項

(1) 支払取消

受給権者（遺族（補償）年金、または特別遺族年金受給者の場合は最後の受給権者）が死亡した場合は、速やかに死亡転帰の入力を行うこととするが、転帰の入力が死亡した日の属する支払期の入力締切日に間に合わなかった場合は、以下の取扱いとなる。

死亡した受給権者の預貯金口座が解約されていない場合には、振込みが行われてしまい、過誤払となる（この場合、失権差額一時金が発生すればその範囲内で充当処理されるが、それ以外は債権管理となる)。預貯金口座が解約されていた場合及び金融機関で死亡を確認して振込みを行わなかった場合は支払事故となるので、監督署に対し「支払事故通知リスト」を配信する。

この場合、業務課において支払取消を行うこととなるが、業務課では監督署において入力した転帰報を確認した上で取消処理を行うので、監督署においては転帰の入力をしておくこと。

支払取消を行った場合は、「支払事故通知リスト」の配信後、翌日以降に「支払取消リスト」（Ⅳ-4-10ページ参照）を配信する。

(2) 未支給年金の発生と支払

イ　転帰の入力が死亡した日の属する支払期の入力締切日までに行われた場合

受給権者（遺族（補償）年金の場合は最後の受給権者）が死亡した場合、その死亡した受給権者に支給すべき年金があるときは、その支給すべき年金額が未支給年金となる（労災法第 11 条)。

ロ　転帰の入力が死亡した日の属する支払期の入力締切日までに行われなかった場合

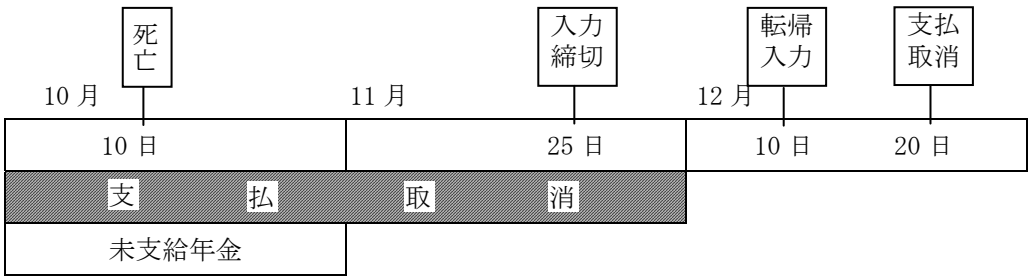
支払取消を行った場合で、この取消額のうち、死亡していた受給権者に支給すべき年金があるときは、その支給すべき年金額が未支給年金となる。

なお、支払取消の手続きが完了するまで、機械上未支給年金は発生していないことになるので、「支払取消リスト」が配信されたあとに受付入力を行うこと。

未支給年金額については「支払取消リスト」又は転帰情報検索により確認すること。

（例）　受給権者が 10 月 10 日に死亡したが、この転帰入力が死亡した日の属する支払期（12 月支払期）の入力締切日（11 月 25 日）に間に合わなかった例

支払事故となり、支払取消を行ったところで、10 月分が未支給年金となる。



## 5　債権管理について

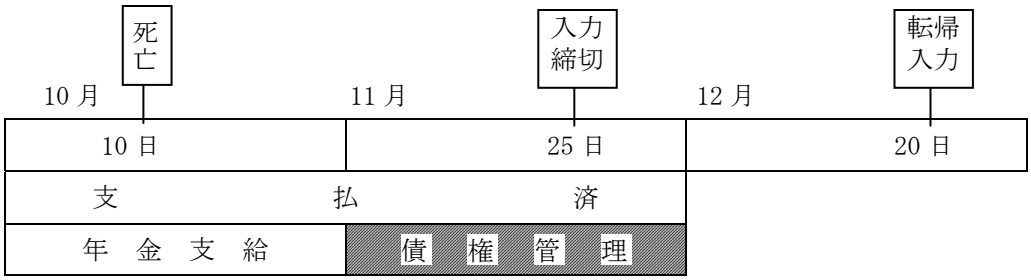
(1)　過誤払による債権の発生

受給権者（遺族（補償）年金の場合は、最後の受給権者）の死亡等による転帰の入力が、転帰した日の属する支払期の入力締切日までに入力されなかった場合や、受給権のない者の取消等を行った場合には、年金の受給権者又はその遺族等に対して、年金の返納金債権（支払超過額又は取り消した場合における既支払額の全額）が発生する。

この場合、債権管理の対象となる債務者は、死亡以外の場合には受給権者であった者、死亡の場合には受給権者の相続人等である。

（例）　受給権者が 10 月 10 日に死亡したが、この転帰入力が死亡した日の属する支払期（12 月支払期）の入力締切日（11 月 25 日）に間に合わず、支払取消も行えなかった例

11 月分が過誤払となり、債権管理となる。

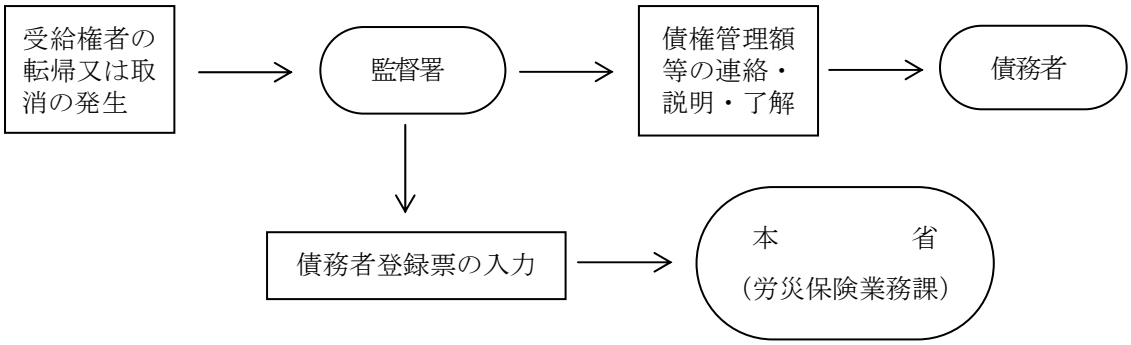



イ　監督署における事務処理

転帰等の処理により、債権が発生した場合には、債務者登録票を出力する。

ただし、障害（補償）年金や傷病（補償）年金の転帰の場合等、内払充当すべき次給付がある可能性があるので、回収額の処理方法を一旦「保留」とし、債務者登録票を出力しないため、内払・充当すべき次給付がない場合には、転帰等の処理時に、変更帳票等の「債権コード」欄に「１（債権選択)」を入力することにより、債務者登録票を出力させること。

債務者登録票については、債務者を特定し、その者に対して返納を要する額及びその理由等について、あらかじめ充分説明した上で入力を行うこと。



ロ　その他監督署の支払によるもの

過誤払による債権管理のうち、監督署払に係るものは当該監督署において債権管理を行うこと。

ただし、同一傷病により休業（補償）給付から傷病（補償）年金又は障害（補償）年金に移行する者で休業（補償）給付の過誤払があった場合には、当該傷病（補償）年金又は障害（補償）年金において内払処理ができるので、年金の登録帳票の「休業内払」欄にその額を記載して入力すること（Ⅱ-2-59 ページ参照）。

なお、援護費の債権管理については、年金の例により処理すること。

(2) 不正受給による債権管理について

労災保険法第 12 条の３に係る不正受給の債権管理については、歳入徴収官（所轄労働局長）が行うこと。

(3) 内払・充当処理について

イ　内払処理

傷病（補償）年金又は障害（補償）年金の受給権者が過誤払額を残して転帰した場合、回収額の処理方法は一旦保留となる。

次給付が障害（補償）給付、傷病（補償）年金である場合は、次給付の支給決定を行った時点で、過誤払額は次給付において内払調整される。ただし、前給付の転帰年月日と次給付の支給事由発生年月日が同一である場合に限られる。

次給付が休業（補償）給付であった場合の取扱については、労災保険給付事務取扱手引によること。

なお、休業（補償）給付において内払処理を行った場合は、債務者登録票により、保留となっている回収額の処理方法を「休業内払」へ変更すること。

ロ　充当処理

年金の受給権者が過誤払額を残して死亡したことにより、そ及転帰した場合、回収額の処理方法は一旦保留となる。

次給付が遺族（補償）年金である場合は、次給付の支給決定を行った時点で、過誤払額は次給付において充当される。

次給付が遺族（補償）一時金、葬祭料（葬祭給付）、障害（補償）年金差額一時金及び未支給の保険給付である場合の取扱については、労災保険給付事務取扱手引によること。

## 6　受給権者への指導等

(1) 受給権者への指導

受給権者からの電話、文書等による個々の照会に対しては、親切丁寧かつ分かりやすく説明すること。

年金の円滑適正な支払いを行うには、日頃から受給権者に対し法律、規則等の内容及び報告や手続き等について正しい知識を持ってもらうよう努力し、年金給付の基本となる受給権者からの報告や届出が正しくかつ迅速に行われるようにすることが、局・監督署の事務処理を円滑にし、ひいては年金の円滑適正な支払に資することとなるので、常に適正な指導を心掛けることが必要である。

(2) 受給権者に対する通知の送付

各種の報告、届出等を正しくかつ迅速に提出してもらうために、受給権者に対して次の通知を送付している。

イ　個々の受給権者に対する通知等

個々の受給権者の給付内容の通知、定期報告書等報告時期における各用紙等の送付など。

ロ　特定の受給権者に対する通知

(ｲ)　「労災保険年金等支払額についてのお知らせ」

１支払期分の年金額又は特別年金額（差額特別支給金を含む。）に追給又は回収が生じた場合（Ⅳ-8-8 ページ参照）。

(ﾛ)　「遺族（補償）年金についてのお知らせ」

遺族（補償）年金の受給権者が 18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日をむかえる場合（Ⅳ-8-4 ページ参照）

(ﾊ)　「労災年金の支給開始についてのお知らせ」

前払一時金又は損害賠償金の受領による支給停止が解除になり、年金の支給が開始される場合（Ⅳ-8-2 ページ参照）。

(ﾆ)　「特別遺族年金についてのお知らせ」

特別遺族年金の受給権者が 18 歳に達する日以降の最初の 3 月 31 日を迎える場合（Ⅳ-8-6 ページ参照）。

(ﾎ)　「特別遺族年金支払額についてのお知らせ」

1 支払期分の年金額又は特別遺族年金額に追給または回収が生じた場合（Ⅳ-8-11 ページ参照）。

## 7　様式等

書式第23号

**ゆうちょ銀行分**

送金通知書亡失(き損)届(年金 ・ 恩給等用)

| | |
|---|---|
| 種別<br>(コード) | 旧厚生年金・共済年金(61) 旧船員保険(62) 旧国民年金(63)<br>旧国民年金短期(64) 新国民・厚生年金(65) 新船員保険(66)<br>国民厚生年金短期(67) |
| | 労災年金(40) |
| | 文官恩給(11) 国会議員互助年金(31) 旧軍人恩給(51)<br>援護年金(71) 特別児童扶養手当(92) 児童扶養手当(93) |
| 支払開始日 | 年　月　日 |
| 整理番号 | |
| 年金証書番号等 | |
| 金額 | 円 |
| 払渡金融機関店舗名 | |

上記送金通知書を
1. 亡失
2. き損

しましたので、お届けします。　(日付)　年　月　日

受取人住所

御中　氏名　印

上記送金は未払であることを証明します。

(証明日付)

(被仕向店)　ゆうちょ銀行(　)　印

(証明日付)

(仕向店)　ゆうちょ銀行(　)　印

(受付日付)

(送金請求銀行名)　日本銀行　印

---

日本銀行　御中　(日付)　年　月　日

(官署支出官 官職 氏名　) 印

上記の送金通知書を　年　月　日に再発行したので通知します。

---

ゆうちょ銀行　御中　(日付)　年　月　日

日本銀行　印

上記の連絡がありましたので通知します。

(物品番号6339)

## 7　様式等　労災保険年金等支払請求書（期限経過分）

１．年金証書番号

２．受給権者氏名

〃　住所

３．支払開始日　　年　　月　　日分

４．金　　額　　円

５．払渡しを受ける＿＿＿＿銀行

＿＿＿＿支店　口座番号＿＿＿＿

金融機関名＿＿＿＿金庫

６．請求理由　1．届かないのでわからなかった。

2．亡失し、再発行請求手続きがわからなかった。

3．その他

上記のとおり請求いたします。

年　　月　　日

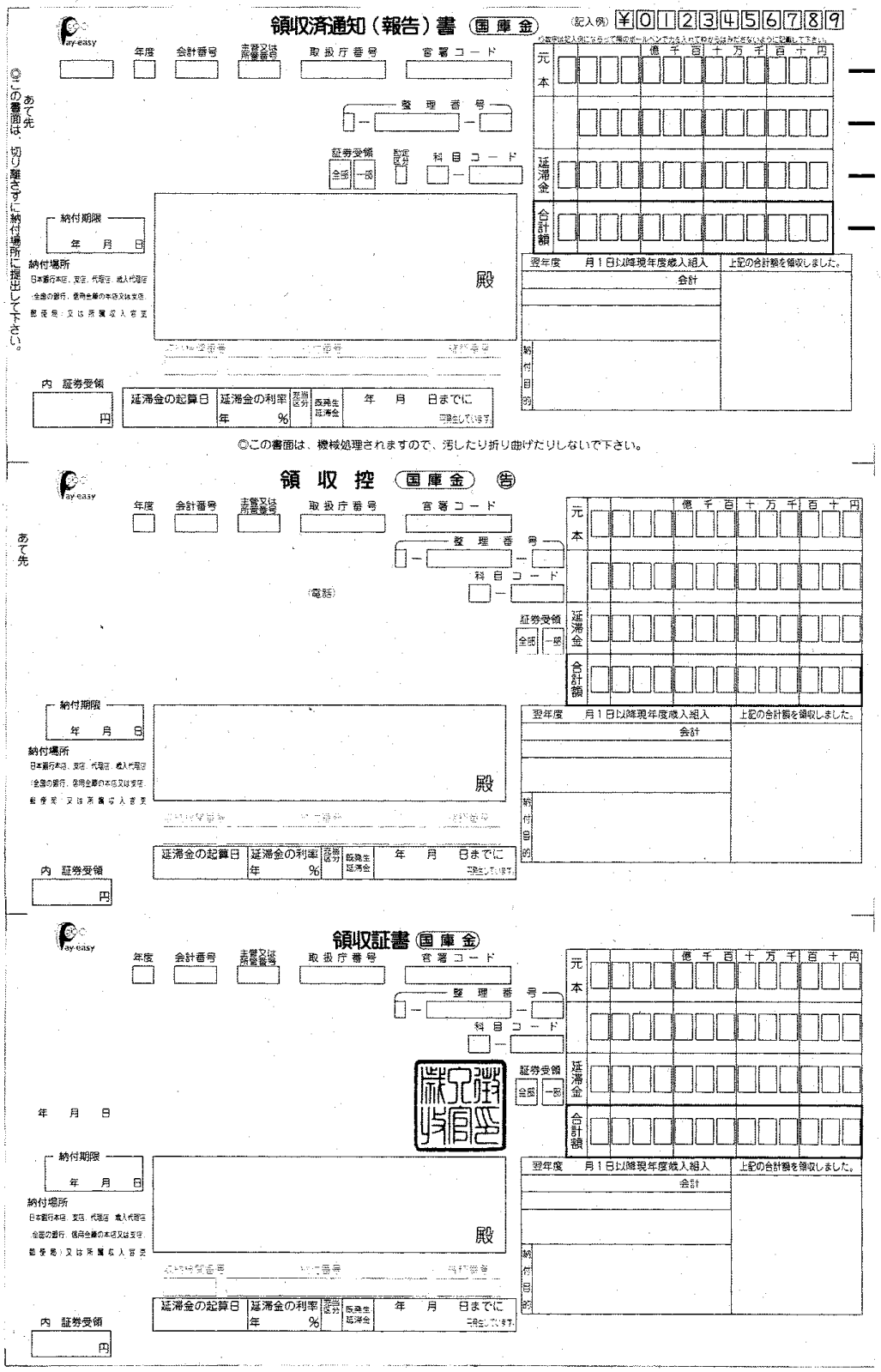
住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

厚生労働省労働基準局長　殿　　請求人の

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

（注）１．現在、引き続き労災年金等の支払を受けている方は５欄の記入は必要ありません。

２．請求理由欄は、該当するものに　○　印をつけてください。



領収済通知（報告）書 国庫金

（記入例）¥0123456789

年度 会計番号 歳入徴収官又は分任歳入徴収官 取扱庁番号 官署コード

整理番号

証券受領 全部 一部 科目コード

元本 延滞金 合計額

納付期限 年 月 日

納付場所

殿

内 証券受領 円

延滞金の起算日 延滞金の利率 年 % 差当区分 既発生延滞金 年 月 日までに

翌年度 月1日以降現年度歳入組入 会計

上記の合計額を領収しました。

納付目的

あて先

◎この書面は、切り離さずに納付場所に提出して下さい。

◎この書面は、機械処理されますので、汚したり折り曲げたりしないで下さい。

領収控 国庫金 告

年度 会計番号 歳入徴収官又は分任歳入徴収官 取扱庁番号 官署コード

整理番号 科目コード （電話）

証券受領 全部 一部

元本 延滞金 合計額

翌年度 月1日以降現年度歳入組入 会計

上記の合計額を領収しました。

納付期限 年 月 日

納付場所

殿

内 証券受領 円

延滞金の起算日 延滞金の利率 年 % 差当区分 既発生延滞金 年 月 日までに

納付目的

あて先

領収証書 国庫金

年度 会計番号 歳入徴収官又は分任歳入徴収官 取扱庁番号 官署コード

整理番号 科目コード

証券受領 全部 一部

元本 延滞金 合計額

年 月 日

翌年度 月1日以降現年度歳入組入 会計

上記の合計額を領収しました。

納付期限 年 月 日

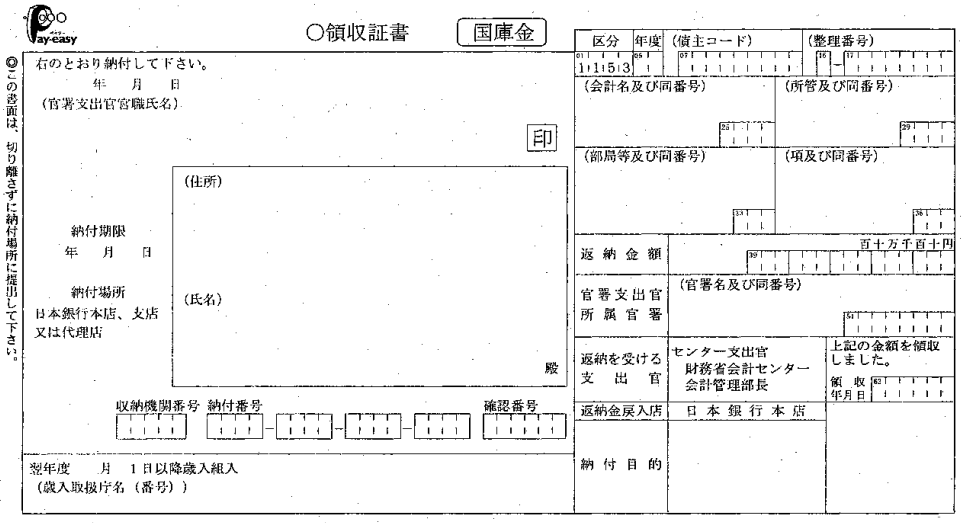
納付場所

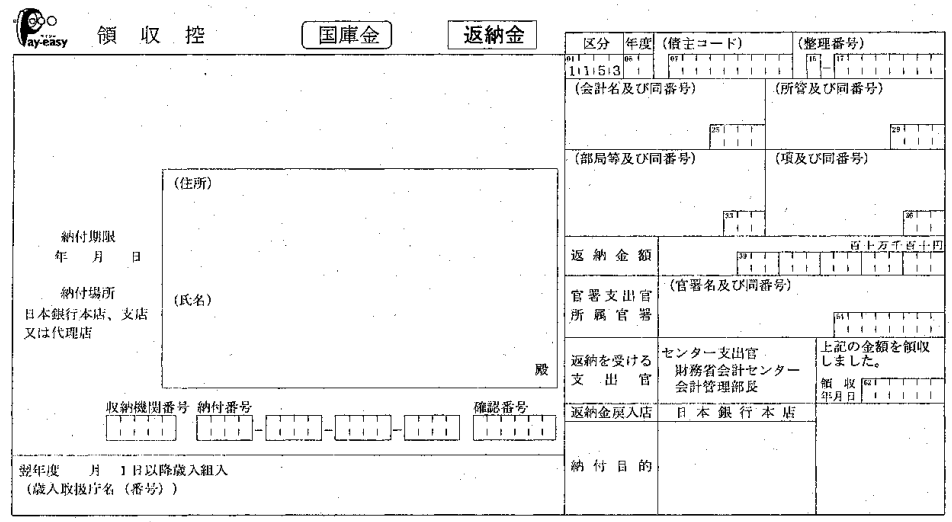
殿

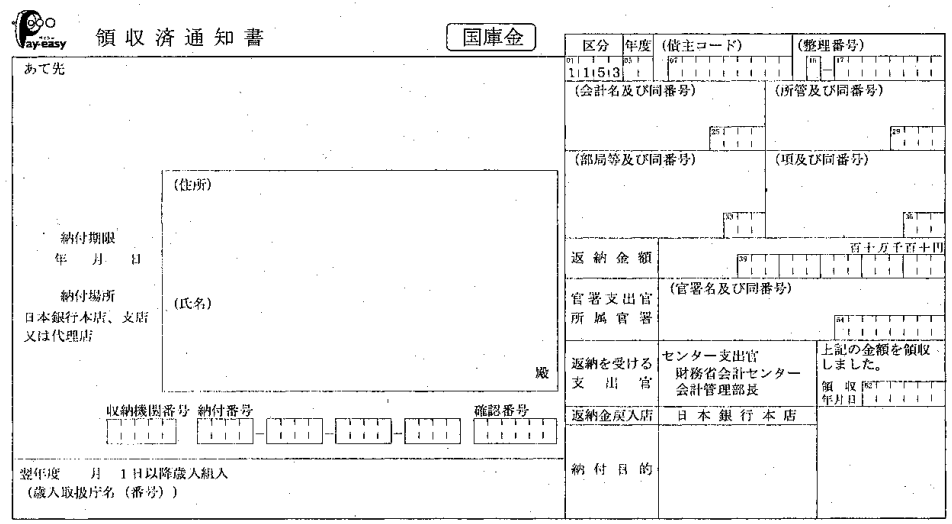
内 証券受領 円

延滞金の起算日 延滞金の利率 年 % 差当区分 既発生延滞金 年 月 日までに

納付目的


○領収証書
国庫金
◎この部分は、切り離さずに納付場所に提出して下さい。
右のとおり納付して下さい。
年 月 日
(官署支出官官職氏名)
印
(住所)
納付期限
年 月 日
納付場所
日本銀行本店、支店
又は代理店
(氏名)
殿
収納機関番号
納付番号
確認番号
翌年度 月 1日以降歳入組入
(歳入取扱庁名(番号))
区分
年度
(債主コード)
(整理番号)
(会計名及び同番号)
(所管及び同番号)
(部局等及び同番号)
(項及び同番号)
返納金額
百十万千百十円
官署支出官
所属官署
(官署名及び同番号)
返納を受ける
支出官
センター支出官
財務省会計センター
会計管理部長
上記の金額を領収しました。
領収年月日
返納金戻入店
日本銀行本店
納付目的


領収控
国庫金
返納金
(住所)
納付期限
年 月 日
納付場所
日本銀行本店、支店
又は代理店
(氏名)
殿
収納機関番号
納付番号
確認番号
翌年度 月 1日以降歳入組入
(歳入取扱庁名(番号))
区分
年度
(債主コード)
(整理番号)
(会計名及び同番号)
(所管及び同番号)
(部局等及び同番号)
(項及び同番号)
返納金額
百十万千百十円
官署支出官
所属官署
(官署名及び同番号)
返納を受ける
支出官
センター支出官
財務省会計センター
会計管理部長
上記の金額を領収しました。
領収年月日
返納金戻入店
日本銀行本店
納付目的


領収済通知書
国庫金
あて先
(住所)
納付期限
年 月 日
納付場所
日本銀行本店、支店
又は代理店
(氏名)
殿
収納機関番号
納付番号
確認番号
翌年度 月 1日以降歳入組入
(歳入取扱庁名(番号))
区分
年度
(債主コード)
(整理番号)
(会計名及び同番号)
(所管及び同番号)
(部局等及び同番号)
(項及び同番号)
返納金額
百十万千百十円
官署支出官
所属官署
(官署名及び同番号)
返納を受ける
支出官
センター支出官
財務省会計センター
会計管理部長
上記の金額を領収しました。
領収年月日
返納金戻入店
日本銀行本店
納付目的

# 債権管理<br>歳入徴収 事務引継書

第　　号

平成　　年　　月　　日

歳入徴収官

労働局長　殿

歳入徴収官

厚生労働省 労働基準局長

平成　　年　　月　　日をもって<br>債権の管理<br>歳入の徴収に関する事務を下記のとおり引継ぎする。

記

| 債権の種類 | 返納金 | | 利得償還金 | |
|---|---|---|---|---|
| 診療費 | 件 | 円 | 件 | 円 |
| 年金 | 件 | 円 | | |
| 計 | 件 | 円 | 件 | 円 |

添付書類　債権管理票

# 債　権　管　理　票

平成　年　月　日作成

| 債権番号 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 債権の種類 | 返納命債権 | 債権整理番号 | | 債権区分 | | 債務者氏名 | | 続柄 | |
| 債務者住所 | | | | | | | 債務者電話番号 | | |

| 徴定年月日 | 減額追加年月日 | 収納・消滅年月日 | 発生年度 | 発生年月 | 発生通知年月日 | 発生原因 | 徴定額 | 減額追 | 減額・追加額 | 収納額 | 収納未済額 | 履行期限 | 減額・追加後履行期限 | 納入告知年月日 | 督促年月日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

続柄:1＝本人　9＝本人以外

# 債権管理<br>歳入徴収　事務引受書

第　　号

平成　　年　　月　　日

歳入徴収官

厚生労働省　労働基準局長　殿

歳入徴収官

労働局長

平成　　年　　月　　日付け第　　号による<br>債歳入権金　については、

引継ぎを受けたので通知する。

平成　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

厚生労働省労働基準局労災補償部
労災保険業務課長

労災保険年金給付費等の返納について

受給権者＿＿＿＿＿＿＿＿様が払渡を希望した＿＿＿＿＿＿＿＿に手続をした労災保険年金等については過誤払でありましたので、先に債務者であるあなたに＿＿＿＿＿＿＿＿により返納の告知をいたしたところでありますが、未だに返納されておりません。

この返納金は平成　　年　　月　　日以降あなたの居住地を管轄する＿＿＿＿＿＿＿＿労働局の歳入徴収官が取り扱うこととなりますので、同歳入徴収官から納付書が送付されましたら、そちらの方へ返納してください。

| 整理番号 | | | |
|---|---|---|---|
| 給付区分 | 債　権　額 | 収　納　額 | 残　　額 |
| 保険給付費 | | | |
| 労災就学等援護費 | | | |
| 労災援護給付金 | | | |
| 合　　計 | | | |

# IV

# 業務資料

## 1 日報・月計表・年計表

【業務処理日報等一覧】

| No. | リスト名<br>(掲載ページ) | 内　　容 | 出力<br>時期 | 配信<br>方法 |
|---|---|---|---|---|
| (1) | 業務処理日報<br>(Ⅳ-1-2 ページ) | 年金・一時金の前日の処理件数、一時金の決裁件数、金額及び前日までの支払未済件数、金額を出力する。 | 毎日 | コマンド<br>配信 |
| (2) | 月計表<br>(Ⅳ-1-6 ページ) | 前月の支払状況を支払日毎に出力する。 | 毎月初 | コマンド<br>配信 |
| (3) | 年計表<br>(Ⅳ-1-8 ページ) | 前年度の支払状況を支払月(「支払日」欄)毎に出力する。 | 5 月初 | コマンド<br>配信 |

(1) 業務処理日報

イ　様式

413

# 業　務　処　理　日　報

管轄局署: 01-01　　処理年月日: 21.12.15　　年金・一時金

## 処　理　件　数

| 帳票種別 | 件数 | 帳票種別 | 件数 | 帳票種別 | 件数 | 帳票種別 | 件数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 39560 | 1 | 39573 | 12 | | | | |
| 39561 | 2 | 39580 | 13 | | | | |
| 39562 | 3 | 39581 | 14 | | | | |
| 39563 | 5 | 39586 | 15 | | | | |
| 39565 | 6 | 39584 | 15 | | | | |
| 39570 | 7 | | | | | | |
| 39571 | 8 | | | | | | |
| 39572 | 9 | | | | | 計 | 110 |

## 決裁処理件数（支給・追給分）

| | | 件数 | 保険給付額 | 件数 | 特別支給金額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 振込払 | 震災 | 4 | 485000 | 4 | 283000 |
| | 通災 | 5 | 720000 | 5 | 470000 |
| 当地払 | 震災 | 4 | 600000 | 4 | 400000 |
| | 通災 | 6 | 845000 | 6 | 543000 |
| 送金払 | 震災 | 3 | 415000 | 3 | 265000 |
| | 通災 | 6 | 900000 | 6 | 600000 |
| 外国払 | 震災 | 5 | 740000 | 5 | 490000 |
| | 通災 | 3 | 445000 | 3 | 295000 |

## 明細表等配信未済件数

| | | 件数 | 保険給付額 | 件数 | 特別支給金額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 現（新）年度 | 振込払 | 9 | 2700000 | 9 | 1350000 |
| | 当地払 | 4 | 845000 | 4 | 422500 |
| | 送金払 | 8 | 2425000 | 8 | 1212500 |
| | 外国払 | 7 | 1940000 | 7 | 970000 |
| | 計 | 28 | 7910000 | 28 | 3955000 |
| 旧年度 | 振込払 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 当地払 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 送金払 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 外国払 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 |

ロ　印字内容

前日の処理件数、決議件数及び前日までの支払未済の件数、金額を印字する。

なお、前日に機械処理を行っていない場合も出力する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 処理年月日 | 日報を編集した日（配信の前日）を印字する。 |
| 処理件数 | |
| 帳票種別 | 入力帳票の帳票種別を印字する。<br>ただし、キャンセルとなったものは含まない。 |
| 件数 | 帳票種別ごとの件数を印字する。 |
| 決議処理件数（支給・追給分） | |
| 件数、保険給付額 | |
| 振込払〈業災・通災〉 | 「処理年月日」当日に決議書、一時金の支給決定決議・一時金の追給に係る決議の入力によって決裁された分の件数及び支払金額を印字する。<br>保険給付の件数は、保険給付の支払額が1円以上のものを1件と数える。(この件数の数え方は業務処理日報、月計表、年計表とも共通である)。<br>※支払方法が「銀行振込」である件数、金額を「業通別」に印字 |
| 当地払〈業災・通災〉 | ※支払方法が「当地払」である件数、金額を「業通別」に印字 |
| 送金払〈業災・通災〉 | ※支払方法が「送金払」である件数、金額を「業通別」に印字 |
| 外国払〈業災・通災〉 | ※支払方法が「外国払」である件数、金額を「業通別」に印字 |
| 件数、特別支給金額 | |
| 振込払〈業災・通災〉 | 「処理年月日」当日に決議書、一時金の支給決定決議・一時金の追給に係る決議の入力によって決裁された分の件数及び支払金額を印字する。<br>特別支給金の件数は、特別支給金の支払額と特別一時金の支払額のいずれか又は両方が1円以上のものを1件と数える。(この件数の数え方は業務処理日報、月計表、年計表とも共通である)。<br>※支払方法が「銀行振込」である件数、金額を「業通別」に印字 |
| 当地払〈業災・通災〉 | ※支払方法が「当地払」である件数、金額を「業通別」に印字 |
| 送金払〈業災・通災〉 | ※支払方法が「送金払」である件数、金額を「業通別」に印字 |
| 外国払〈業災・通災〉 | ※支払方法が「外国払」である件数、金額を「業通別」に印字 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 明細票等配信未済件数 | |
| 件数、保険給付額 | |
| 現（新）年度<br>〈振込払・当地払・送金払・外国払・計〉 | 「処理年月日」まで支払未済となっている分の保険給付の件数及び保険給付の支払金額を印字する。<br>なお、「処理年月日」が4月中のものは、「決定年月日」が4月1日以降であるものを各々印字する。<br>※支払方法ごとに印字、合計件数及び合計金額を印字 |
| 旧年度　〈振込払・当地払・送金払・外国払・計〉 | 「処理年月日」が4月中で、「決定年月日」が3月31日以前である場合に、「処理年月日」まで支払未済となっている分の保険給付件数及び保険給付の支払金額を印字する。<br>※支払方法ごとに印字、合計件数及び合計金額を印字 |
| 件数、特別支給金額 | |
| 現（新）年度<br>〈振込払・当地払・送金払・外国払・計〉 | 「処理年月日」まで支払未済となっている分の特別支給金の件数及び特別支給金の支払金額を印字する。<br>なお、「処理年月日」が4月中のものは、「決定年月日」が4月1日以降であるものを各々印字する。<br>※支払方法ごとに印字、合計件数及び合計金額を印字 |
| 旧年度<br>〈振込払・当地払・送金払・外国払・計〉 | 「処理年月日」が4月中で、「決定年月日」が3月31日以前である場合に、「処理年月日」まで支払未済となっている分の特別支給金の件数及び特別支給金の支払金額を印字する。<br>※支払方法ごとに印字、合計件数及び合計金額を印字 |

ハ　出力時期

毎日、前日の入力状況を出力する。

ニ　事務処理

(ｲ) 前日の入力件数、決議件数、支払金額を確認すること。

(ﾛ) 支払未済の件数、支払金額のうち、当地払、送金払、外国払については、前渡資金残額との照合に利用すること。

ホ　留意点

(ｲ) 障害（補償）年金前払一時金及び遺族（補償）年金前払一時金の明細表等支払未処理件数は、当該処理日分の業務処理日報には反映されず、支払処理の処理対象月（1月、3月、5月、7月、9月、11月の各月）以降に件数・支払済額に反映する（決裁件数はカウントするが、支払未処理（支払未済）件数はカウントしない。）。

(ﾛ) 未支給の労災就学等援護費は、特別支給金額に含まれる。

なお、支出については(目)労災就学等援護費として支出する。

(2) 月計表

イ　様式

414

# 月　計　表

（　一　時　金　）

管轄税署 01-01　支払年月 21. 4　予算年度 新　処理年月日 21. 4. 2　1 ページ

| 支払日 | 業通別 | 件数 | 保険給付額 | 件数 | 特別支給金額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 28日 | 業災 | 2 | 801 | 2 | 802 |
| | 通災 | 2 | 802 | 2 | 803 |
| | 計 | 4 | 1603 | 4 | 1605 |
| 29日 | 業災 | 2 | 201 | 2 | 202 |
| | 通災 | 2 | 202 | 2 | 203 |
| | 計 | 4 | 403 | 4 | 405 |
| 30日 | 業災 | 2 | 401 | 2 | 402 |
| | 通災 | 2 | 402 | 2 | 403 |
| | 計 | 4 | 803 | 4 | 805 |
| 計日 | 業災 | 60 | 14630 | 60 | 14660 |
| | 通災 | 60 | 14660 | 60 | 14690 |
| | 計 | 120 | 29290 | 120 | 29350 |

ロ　印字内容

前月の支払状況が支払日ごとに印字される。なお、支払月が４月の場合には新年度予算・旧年度予算別に印字される。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 支払年月 | 支払処理を行った年月（前月）を印字する。 |
| 予算年度 | 支払月が４月の場合のみ、次の予算年度の区別が印字される。<br>新……新年度予算<br>旧……旧年度予算<br>（「決定年月日」が 4 月 1 日以降が新年度予算、3 月 31 日以前が旧年度） |
| 処理年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1 から連番に印字する。 |
| 支払日 | 支払日を印字する。 |
| 業通別 | 「業災」「通災」「計」を印字する。 |
| 件数、保険給付額 | 保険給付の支払額が 1 円以上の件数及び、総額を印字する。<br>※業通別の件数、金額及び、合計件数、合計金額を印字 |
| 件数、特別支給金額 | 特別支給金の支払額と特別一時金の支払額のいずれか又は両方が 1 円以上の件数及び、総額を印字する。<br>※業通別の件数、金額及び、合計件数、合計金額を印字 |

ハ　出力時期

毎月初に出力する。

ニ　事務処理

前渡資金科目別整理簿との突合の際に利用すること。

(3) 年計表

イ　様式

414

# 年　計　表

（　一　時　金　）

管轄税署 02-01　　予算年度 20　　処理年月日 21. 4. 3　　2 ページ

| 支払月 | 業通別 | 件数 | 保険給付額 | 件数 | 特別支給金額 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 件 | 円 | 件 | 円 |
| 1月 | 業災 | 1 | 100010001 | 1 | 200020001 |
| | 通災 | 1 | 100010002 | 1 | 200020002 |
| | 計 | 2 | 200020003 | 2 | 400040003 |
| 2月 | 業災 | 1 | 100010003 | 1 | 200020003 |
| | 通災 | 1 | 100010004 | 1 | 200020004 |
| | 計 | 2 | 200020007 | 2 | 400040007 |
| 3月 | 業災 | 1 | 100010005 | 1 | 200020005 |
| | 通災 | 1 | 100010006 | 1 | 200020006 |
| | 計 | 2 | 200020011 | 2 | 400040011 |
| 旧4月 | 業災 | 1 | 100010009 | 1 | 200020009 |
| | 通災 | 1 | 100010010 | 1 | 200020010 |
| | 計 | 2 | 200020019 | 2 | 400040019 |
| 計 | 業災 | 13 | 1300130169 | 13 | 2600260169 |
| | 通災 | 13 | 1300130182 | 13 | 2600260182 |
| | 計 | 26 | 2600260351 | 26 | 5200520351 |

ロ　印字内容

前年度の支払状況を支払月ごとに印字する。なお、支払月が 4 月の場合は新年度予算・旧年度予算別に印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 予算年度 | 対象年度を数字で印字する。 |
| 処理年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1 から連番に印字する。 |
| 支払月 | 上段：予算年度の区別を印字する。<br>「新」……新年度予算<br>「旧」……旧年度予算<br>中段：支払月を印字する。<br>但し、最終明細行の場合は「計」を印字する。<br>下段：「月」を印字する。<br>但し、最終明細行の場合は空白。 |
| 業通別 | 「業災」「通災」「計」を印字する。 |
| 件数、保険給付額 | 保険給付の支払額が 1 円以上の件数及び、総額を印字する。<br>※業通別の件数、金額及び、合計件数、合計金額を印字 |
| 件数、特別支給金額 | 特別支給金の支払額と特別一時金の支払額のいずれか又は両方が 1 円以上の件数及び、総額を印字する。<br>※業通別の件数、金額及び、合計件数、合計金額を印字 |

※最後の明細には全ての月（新年度・旧年度を含む）の合計件数、合計額が出力される。

ハ　出力時期

毎年５月初めに出力する。

## 2 未処理事案リスト

【未処理事案リスト一覧】

| No. | リスト名<br>(掲載ページ) | 内　　容 | 出力<br>時期 | 配信<br>方法 |
|---|---|---|---|---|
| (1) | 厚年等未処理リスト<br>(Ⅳ-2-2 ページ) | 厚生年金等が未調整及び厚生年金等の年額の登記が行われていないものについて出力する。 | 月初 | コマンド配信 |
| (2) | 内払充当未処理リスト<br>(Ⅳ-2-5 ページ) | 過誤払額が保留のままとなっており、内払・充当の処理が行われていないものについて出力する。 | 月初 | コマンド配信 |
| (3) | 失権差額一時金・未支給年金未処理リスト<br>(Ⅳ-2-7 ページ) | 失権差額一時金及び未支給年金が発生し、(請求がないため)支給していないものについて出力する。 | 月初 | コマンド配信 |
| (4) | 支払事故未処理リスト<br>(Ⅳ-2-9 ページ) | 支払事故が発生し、事故解消を入力をしていないものについて出力する。 | 月初 | コマンド配信 |
| (5) | データ未入力リスト<br>(Ⅳ-2-11 ページ) | 登記処理が未終了(登記処理中)のデータについて出力する。 | 月初 | コマンド配信 |
| (6) | 転給未処理リスト<br>(Ⅳ-2-13 ページ) | 失権し、転給が入力されていないものについて出力する。 | 月初 | コマンド配信 |
| (7) | データ登記未処理リスト<br>(Ⅳ-2-15 ページ) | 受付処理のみ終了し、登記処理行なわれていない事案について出力する。 | 月初 | コマンド配信 |
| (8) | 決議書未入力リスト<br>(Ⅳ-2-17 ページ) | 決議書未入力事案について出力する。 | 月初 | コマンド配信 |
| (9) | 厚年情報照合リスト<br>(Ⅳ-2-19 ページ) | 日本年金機構が保有する厚生年金等の受給権者情報と照合し、不一致となった事案を出力する。 | 9 月 | コマンド配信 |
| (10) | 被災者別未処理事案リスト(局用)<br>(Ⅳ-2-22 ページ) | 受付年月日から 6 カ月を経過しても支給・不支給決定がされていない事案を出力する。 | 月初 | コマンド配信 |
| (11) | 被災者別未処理事案リスト(署用)<br>(Ⅳ-2-24 ページ) | 受付年月日から 6 カ月を経過しても支給・不支給決定がされていない事案を出力する。 | 月初 | コマンド配信 |

(1)厚年等未処理リスト

イ　様式

**** 厚年等未調整・厚年等年額未登記リスト ****

平成23年XX月XX日　　1ページ

管轄局署　11－01

☆厚年等未調整ですので、調査の上入力してください。

| | |
|---|---|
| 年金証書番号 | 111900002 |
| 受給権者氏名 | 労災　太郎 |
| 支給事由発生年月日 | 平成23年XX月XX日 |
| 厚年等調整コード | 1：調査中 |
| 厚年等種別 | 1：XXX |
| 厚年等年金証書番号 | 999999999 |

ロ　印字内容

厚生年金等が未調整及び年額の登記が行われていないデータの情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 出力年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| メッセージ | 内容に応じ、以下のいずれかのメッセージを印字する。<br><br>・☆厚年等年額が未登記ですので、調査の上入力してください。<br>・☆厚年等年額が未登記（1 種）ですので、調査の上入力してください。<br>・☆厚年等年額が未登記（2 種）ですので、調査の上入力してください。<br>・☆厚年等未調整ですので、調査の上入力してください。<br>・☆厚年等未調整（1 種）ですので、調査の上入力してください。<br>・☆厚年等未調整（2 種）ですので、調査の上入力してください。<br>・☆厚年等年額が未登記（1 種）及び厚年等年額が未登記（2 種）ですので、調査の上入力してください。<br>・☆厚年等年額が未登記（1 種）及び厚年等年額が未調整（2 種）ですので、調査の上入力してください。<br>・☆厚年等未調整（1 種）及び厚年等年額が未登記（2 種）ですので、調査の上入力してください。<br>・☆厚年等未調整（1 種）及び厚年等未調整（2 種）ですので、調査の上入力してください。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（９桁）を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |
| 支給事由発生年月日 | 支給事由発生年月日を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 厚年等調整コード<br>厚年等種別<br>厚年等年金証書番号<br>（上段） | 〈厚年等調整2種併給以外の場合〉<br>「厚年等調整コード」「厚年等種別」のコード及びコードに対応する名称と「厚年等年金証書番号」を印字する。<br><br>〈厚年等調整2種併給（1種のみ未処理）の場合〉<br>「厚年等調整コード（1種）」「厚年等種別（1種）」のコード及びコードに対応する名称と「厚年等年金証書番号（1種）」を印字する。<br><br>〈厚年等調整2種併給（2種のみ未処理）の場合〉<br>「厚年等調整コード（2種）」「厚年等種別（2種）」のコード及びコードに対応する名称と「厚年等年金証書番号（2種）」を印字する。<br><br>〈厚年等調整2種併給（1種2種未処理）の場合〉<br>「厚年等調整コード（1種）」「厚年等種別（1種）」のコード及びコードに対応する名称と「厚年等年金証書番号（1種）」を印字する。 |
| 厚年等調整コード<br>厚年等種別<br>厚年等年金証書番号<br>（下段） | 〈厚年等調整2種併給（1種2種未処理）の場合〉<br>「厚年等調整コード（2種）」「厚年等種別（2種）」のコード及びコードに対応する名称と「厚年等年金証書番号（2種）」を印字する。 |

ハ　出力時期

毎月初に出力する。

ニ　事務処理

＜厚年等未調整の場合＞

厚年等の調整の有無を確認し、正しい厚年等調整コードを入力すること。

＜厚年等年額未登記の場合＞

厚年等の裁定通知書を確認し、厚年等年額を登記すること。

(2) 内払充当未処理リスト

イ　様式

**** 内払・充当　未処理リスト ****

平成23年XX月XX日　　1ページ

管轄局署　03－01

☆内払・充当の未処理状態が発生していますので
新しい年金の決議をすみやかに行ってください。

| | |
|---|---|
| 年金証書番号 | 031100001 |
| 受給権者氏名 | 労災　太郎 |
| 転帰年月 | 平成23年XX月 |
| 転帰事由 | 1 ： 死亡 |
| 労働保険番号 | 03101100001 |
| 被災者生年月日 | 昭和49年XX月XX日 |
| 傷病年月日 | 平成23年XX月XX日 |
| 被災者氏名 | 労災　太郎 |
| 過誤払額（年金） | 999,999,999円 |
| 過誤払額（特年） | 999,999,999円 |
| 過誤払額（援護費） | 999,999,999円 |

ロ　印字内容

過誤払額が保留のままとなっており、内払・充当の処理が行われていないデータの情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 出力年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| メッセージ | “☆内払・充当の未処理状態が発生していますので新しい年金の決議をすみやかに行ってください。”を印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（９桁）を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |
| 転帰年月 | 転帰している場合、転帰年月を印字する。 |
| 転帰事由 | 転帰している場合、転帰事由コード及びコードに対応する名称を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名カナを印字する。 |
| 過誤払額（年金） | 保留状態の年金過誤払額を印字する。 |
| 過誤払額（特年） | 保留状態の特別年金過誤払額を印字する。 |
| 過誤払額（援護費） | 保留状態の就学等援護費過誤払額を印字する。 |

ハ　出力時期

毎月初に出力する。

ニ　事務処理

過誤払額が「保留」の状態となっているので、次の処理を行うこと。

(ｲ) 次給付がある場合

次給付（年金又は一時金）の支給決定処理を行う。これにより、当該過誤払額は自動的に内払・充当される。

休業（補償）給付で内払した場合は、債務者登録帳票で「休業内払へ変更」の処理を行うこと。

(ﾛ) 次給付がない場合

債務者登録票で「債権選択」の処理を行い、債務者登録票を入力する。

(3) 失権差額一時金・未支給年金未処理リスト

イ　様式

**** 失権差額一時金・未支給年金未処理リスト ****

平成23年XX月XX日　　1ページ

管轄局署　15－01

☆失権差額一時金及び未支給年金が発生しています。

| | |
|---|---|
| 年金証書番号 | 151000001 |
| 受給権者氏名 | 労災　太郎 |
| 転帰年月 | 平成23年XX月 |
| 失権差額一時金（年金） | 999,999,999円 |
| （特年） | 999,999,999円 |
| 未支給（年金） | 999,999,999円 |
| （特年） | 999,999,999円 |
| （援護費） | 999,999,999円 |

ロ　印字内容

失権差額一時金又は未支給年金が発生しているが請求されていないデータの情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 出力年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 未処理理由 | 〈失権差額一時金が未請求の場合〉<br>「☆失権差額一時金が発生しています。」を印字する。<br><br>〈未支給年金が未請求の場合〉<br>「☆未支給年金が発生しています。」を印字する。<br><br>〈失権差額一時金及び未支給年金が未請求の場合〉<br>「☆失権差額一時金及び未支給年金が発生しています。」を印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（９桁）を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |
| 転帰年月 | 転帰している場合、転帰年月を印字する。 |
| 失権差額一時金（年金） | 未請求の失権差額一時金（年金）を印字する。 |
| 失権差額一時金（特年） | 未請求の失権差額一時金（特別年金）を印字する。 |
| 未支給年金（年金） | 未請求の未支給年金（年金）を印字する。 |
| 未支給年金（特年） | 未請求の未支給年金（特別年金）を印字する。 |
| 未支給年金（援護費） | 未請求の未支給年金（就学等援護費）を印字する。 |

ハ　出力時期

毎月初に出力する。

ニ　事務処理

失権差額一時金又は未支給金が発生しているので、請求書が提出された場合は必要な処理を行うこと。

なお、障害（補償）年金の再発・再治ゆ事案等で失権差額一時金を算出する場合は、文書報告書様式(1)第2号により本省（業務課）あて報告すること。

(4) 支払事故未処理リスト

イ　様式

**** 支払事故未処理リスト ****

平成23年XX月XX日　　1ページ

管轄局署　13－02

☆支払事故が発生していますので
早急に調査してください。

| | |
|---|---|
| 年金証書番号 | 131010001 |
| 枝番号 | |
| 受給権者氏名 | 労災　太郎 |
| 支払事故発生支払期年月 | 平成23年XX月 |
| 支払事故の種類 | 2：口座なし |
| 事故入力年月日 | 平成23年XX月XX日 |
| 支払額（年金） | 999,999,999円 |
| （特年） | 999,999,999円 |
| （援護費） | 999,999,999円 |

ロ　印字内容

支払事故が発生し、事故解消入力をしていないデータの情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 出力年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| メッセージ | “☆支払事故が発生していますので早急に調査してください。”を印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（９桁）を印字する。 |
| 枝番号 | 遺族又は特別遺族の場合、枝番号を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |
| 支払事故発生支払期年月 | 支払事故が発生した支払期年月を印字する。 |
| 支払事故の種類 | 支払事故事由のコード及びコードに対応した名称を印字する。 |
| 事故入力年月日 | 事故入力年月日を印字する。 |
| 支払額（年金） | 事故発生支払期の年金支払額を印字する。 |
| 支払額（特年） | 事故発生支払期の特別年金支払額を印字する。 |
| 支払額（援護費） | 事故発生支払期の就学等援護費支払額を印字する。 |

ハ　出力時期

毎月初に出力する。

ニ　事務処理

支払事故の原因を調査し、次のような手続をとることにより支払事故の解消を図ること。

(1) 入力されているデータに誤読等がないかを確認すること。

(2) 受給者の生存を確認すること。

(3) 受給者に請求書等の内容を確認すること。

(4) 金融機関等と口座情報の内容を確認すること。

(5)データ未入力リスト

イ　様式

**** 年金・一時金データ未入力リスト ****

平成23年XX月XX日　　1ページ

管轄局署　13－01

☆データ登記処理が終了していませんので
早急に処理してください。

| | |
|---|---|
| データ受付番号 | 9999999999999999999 |
| 被災者氏名 | 労災　太郎 |
| 請求書等名 | 年金証書再交付申請書 |
| 労働保険番号 | 13101000001000 |
| 被災者生年月日 | 昭和57年09月21日 |
| 傷病年月日 | 平成23年XX月XX日 |
| 請求人氏名 | 労災　一郎 |
| 受付年月日 | 平成23年XX月XX日 |
| 一枚目入力年月日 | 平成23年XX月XX日 |
| 入力枚数 | 1枚 |

ロ　印字内容

データ登記処理が終了していないデータの情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 出力年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| メッセージ | “☆データ登記処理が終了していませんので早急に処理してください。”を印字する。 |
| データ受付番号 | データ受付番号を印字する。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名カナを印字する。 |
| 請求書等名 | 請求書様式番号、項目群番号に対応する名称を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 請求人氏名 | 請求人氏名を印字する。 |
| 受付年月日 | 受付年月日を印字する。 |
| 一枚目入力年月日 | 一枚目入力年月日を印字する。 |
| 入力枚数 | 帳票入力枚数を印字する。 |

ハ　出力時期

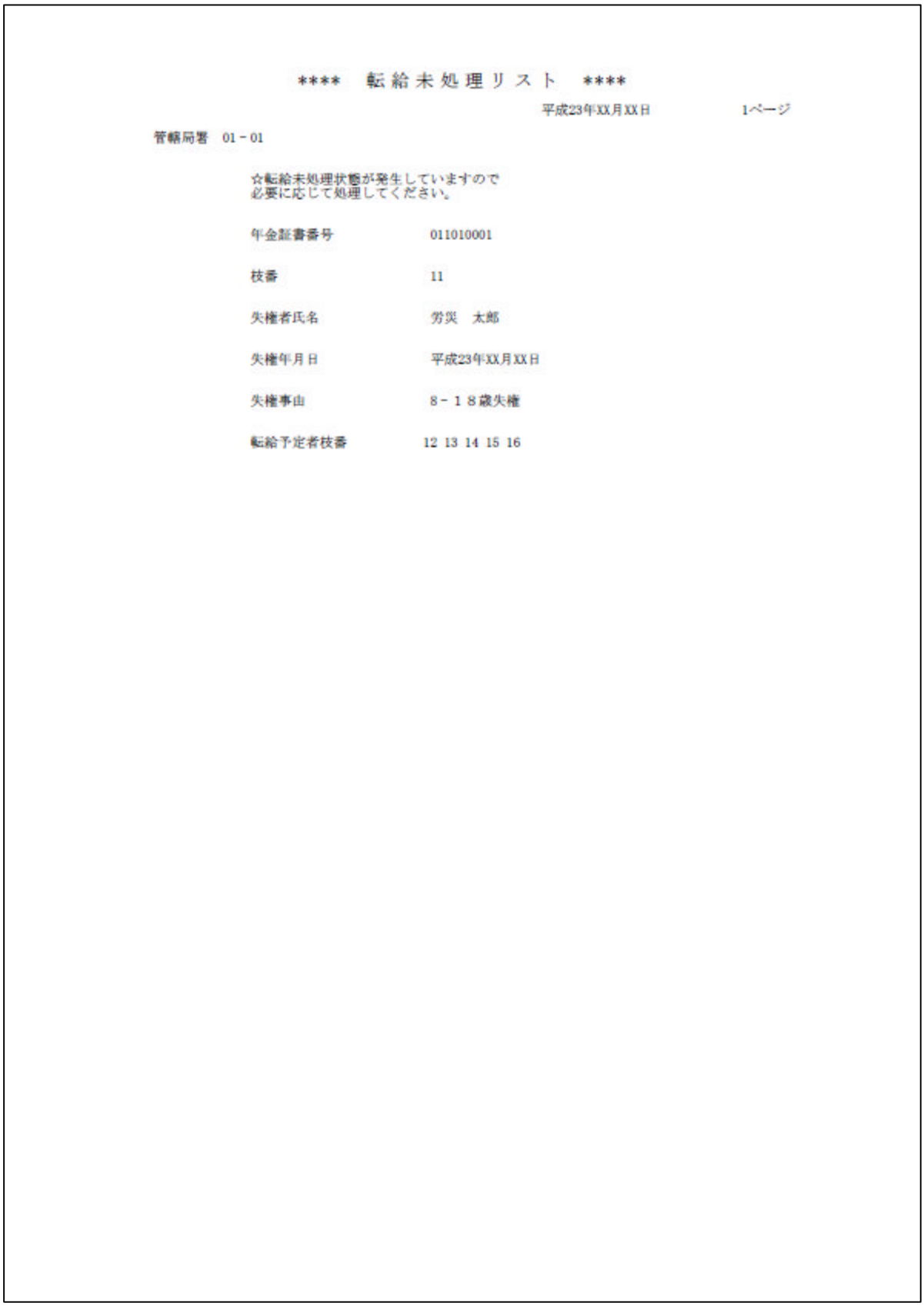
毎月初に出力する。

ニ　事務処理

データ登記処理に必要な帳票がすべて入力されていないので、早急に未入力となっている帳票を入力すること。

(6) 転給未処理リスト

イ　様式



**** 転給未処理リスト ****

平成23年XX月XX日　　1ページ

管轄局署　01－01

☆転給未処理状態が発生していますので
必要に応じて処理してください。

| | |
|---|---|
| 年金証書番号 | 011010001 |
| 枝番 | 11 |
| 失権者氏名 | 労災　太郎 |
| 失権年月日 | 平成23年XX月XX日 |
| 失権事由 | 8－１８歳失権 |
| 転給予定者枝番 | 12 13 14 15 16 |

ロ　印字内容

失権が発生し転給申請書が未入力であるデータの情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 出力年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| メッセージ | “☆転給未処理状態が発生していますので必要に応じて処理してください。”を印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（9桁）を印字する。 |
| 枝番 | 枝番号を印字する。 |
| 失権者氏名 | 失権者氏名を印字する。 |
| 失権年月日 | 失権年月日を印字する。 |
| 失権事由 | 失権事由のコード及びコードに対応した名称を印字する。 |
| 転給予定者枝番 | 失権者と同順位の資格者が存在する場合は、同順位者の枝番号を最大5件まで印字する。<br>失権者と同順位の資格者が存在しない場合は、次順位者をの枝番号を最大5件まで印字する。 |

ハ　出力時期

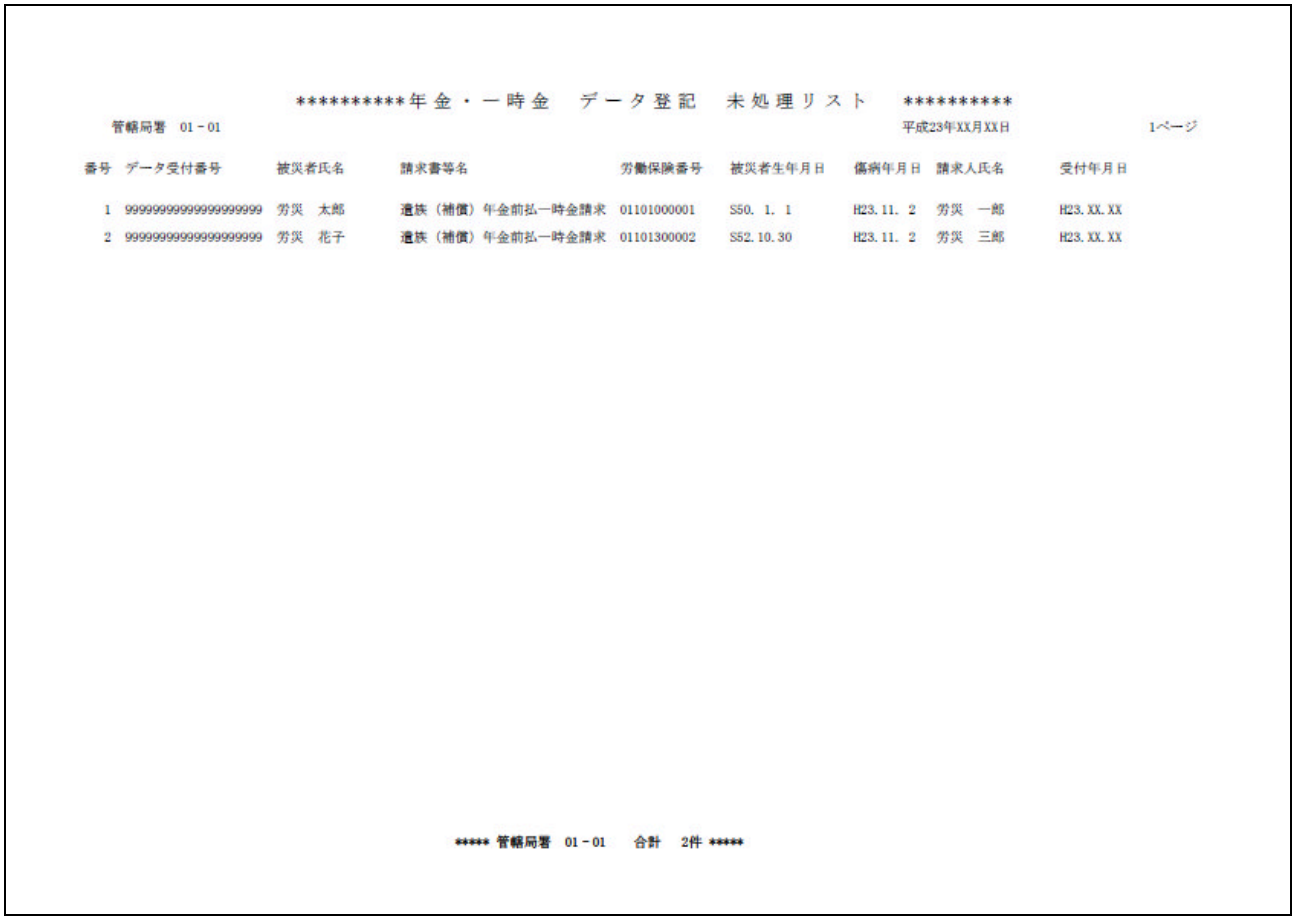
毎月初に出力する。

ニ　事務処理

転給未処理事案が発生しているので、転給等請求書が提出された場合は必要な処理を行うこと。

(7) データ登記未処理リスト

イ　様式



**********年金・一時金　データ登記　未処理リスト　**********

管轄局署　01－01　　平成23年XX月XX日　　1ページ

| 番号 | データ受付番号 | 被災者氏名 | 請求書等名 | 労働保険番号 | 被災者生年月日 | 傷病年月日 | 請求人氏名 | 受付年月日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 99999999999999999999 | 労災　太郎 | 遺族（補償）年金前払一時金請求 | 01101000001 | S50. 1. 1 | H23. 11. 2 | 労災　一郎 | H23. XX. XX |
| 2 | 99999999999999999999 | 労災　花子 | 遺族（補償）年金前払一時金請求 | 01101300002 | S52. 10. 30 | H23. 11. 2 | 労災　三郎 | H23. XX. XX |

***** 管轄局署　01－01　　合計　2件 *****

ロ　印字内容

受付処理後データ登記処理が行われていないデータの情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 出力年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 番号 | 1から連番に印字する。 |
| データ受付番号 | データ受付番号を印字する。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名カナを印字する。 |
| 請求書等名 | 請求書様式番号、項目群番号に対応する名称を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 請求人氏名 | 請求人氏名を印字する。 |
| 受付年月日 | 受付年月日を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署（合計） | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 合計件数 | 合計件数を印字する。 |

ハ　出力時期

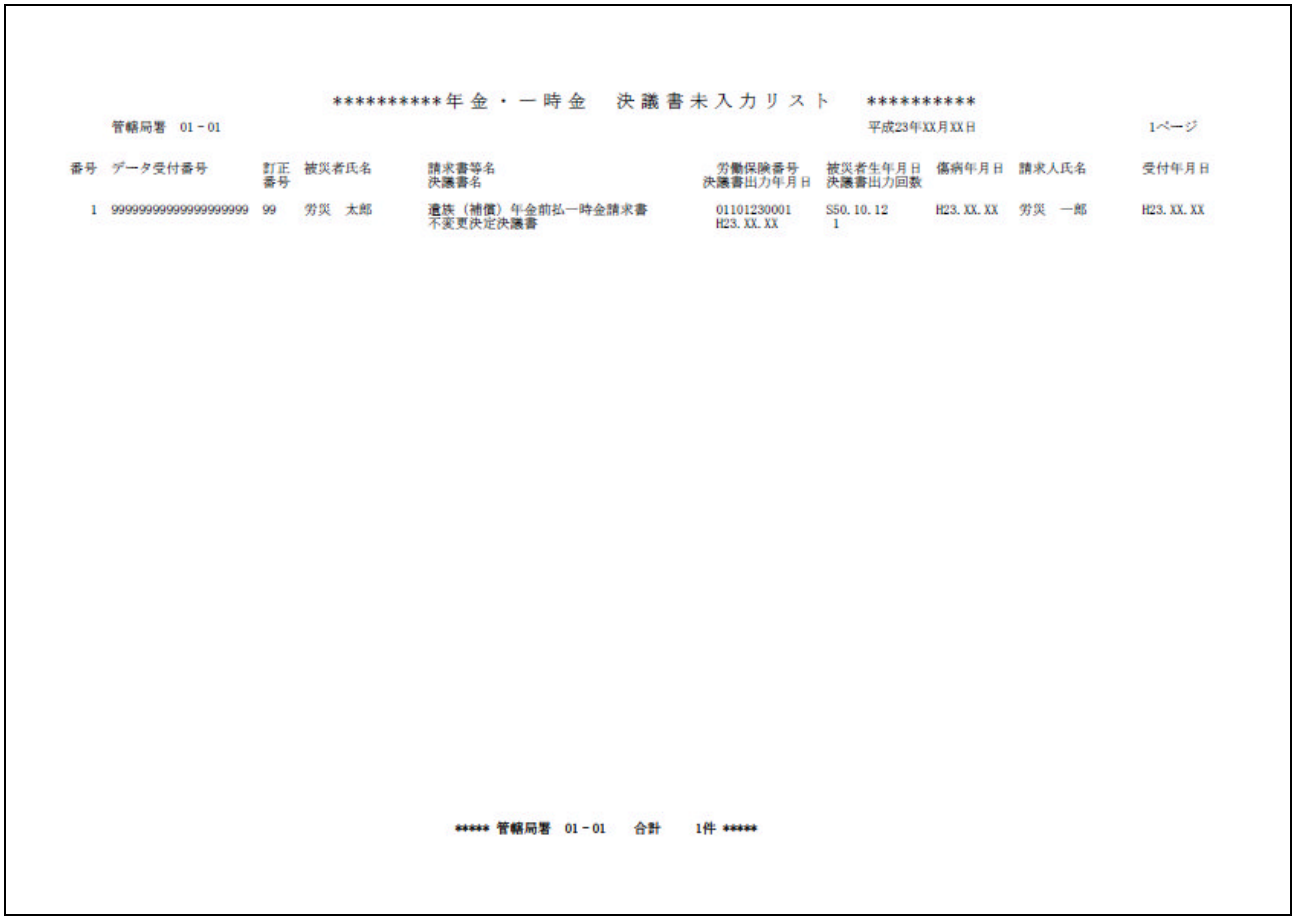
月初に出力する（ただし、データ締切日のある月においては当該月のデータ締切日まで随時）

ニ　事務処理

調査の上、データ登記等の処理を行うこと。

(8) 決議書未入力リスト

イ　様式



**********年金・一時金　決議書未入力リスト　**********

管轄局署　01－01　　平成23年XX月XX日　　1ページ

| 番号 | データ受付番号 | 訂正番号 | 被災者氏名 | 請求書等名<br>決議書名 | 労働保険番号<br>決議書出力年月日 | 被災者生年月日<br>決議書出力回数 | 傷病年月日 | 請求人氏名 | 受付年月日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 99999999999999999999 | 99 | 労災　太郎 | 遺族（補償）年金前払一時金請求書<br>不変更決定決議書 | 01101230001<br>H23. XX. XX | S50. 10. 12<br>1 | H23. XX. XX | 労災　一郎 | H23. XX. XX |

***** 管轄局署　01－01　　合計　　1件 *****

ロ　印字内容

決議書が出力されたまま未入力であるデータの情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 出力年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 番号 | 1から連番に印字する。 |
| データ受付番号 | データ受付番号を印字する。 |
| 訂正番号 | 訂正番号を印字する。但し、「００」の場合は印字しない。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名カナを印字する。 |
| 請求書等名 | 請求書様式番号、項目群番号に対応する名称を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 請求人氏名 | 請求人氏名を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 受付年月日 | 受付年月日を印字する。 |
| 決議書名 | 決議書の漢字名称を印字する。 |
| 決議書出力年月日 | 決議書の出力年月日を印字する。 |
| 決議書出力回数 | 決議書の出力回数を印字する。 |
| 管轄局署（合計） | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 合計件数 | 合計件数を印字する。 |

ハ　出力時期

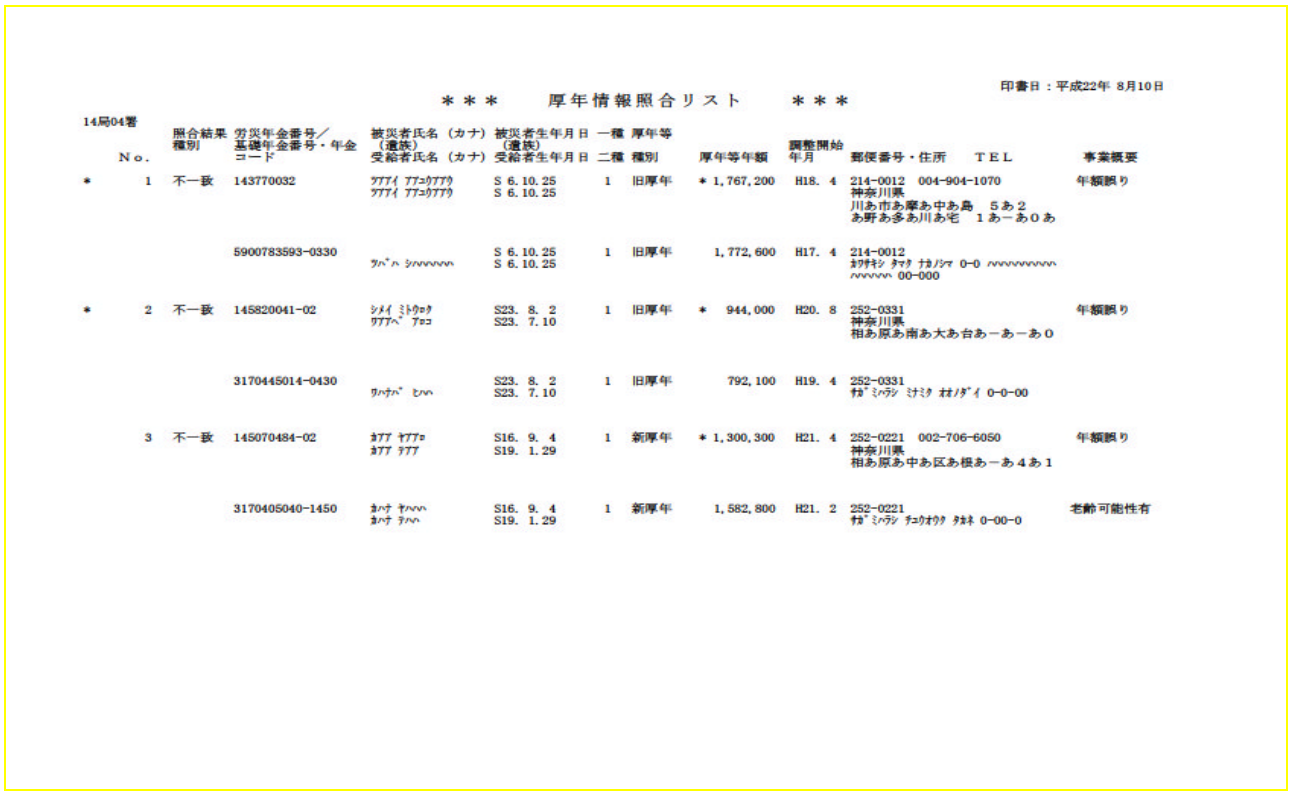
月初に出力する（ただし、データ締切日のある月においては当該月のデータ締切日まで随時）

ニ　事務処理

日数が相当期間経過しているものについては、調査の上決議書を入力すること。

(9) 厚年情報照合リスト

イ　様式



印書日：平成22年 8月10日

＊＊＊　厚年情報照合リスト　＊＊＊

14局04署

| | No. | 照合結果種別 | 労災年金番号／基礎年金番号・年金コード | 被災者氏名（カナ）（遺族）受給者氏名（カナ） | 被災者生年月日（遺族）受給者生年月日 | 一種二種 | 厚年等種別 | 厚年等年額 | 調整開始年月 | 郵便番号・住所　ＴＥＬ | 事業概要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＊ | 1 | 不一致 | 143770032 | ﾜﾀｱｲｲ ｱﾌﾆｳｱｱｳ<br>ﾜﾀｱｲｲ ｱﾌﾆｳｱｱｳ | S 6.10.25<br>S 6.10.25 | 1 | 旧厚年 | ＊1,767,200 | H18. 4 | 214-0012　004-904-1070<br>神奈川県<br>川あ市あ摩あ中あ島　５あ２<br>あ野あ多あ川あ宅　１あ－あＯあ | 年額誤り |
| | | | 5900783593-0330 | ﾜﾊﾞﾊ ｼﾊﾊﾊﾊﾊ | S 6.10.25<br>S 6.10.25 | 1 | 旧厚年 | 1,772,600 | H17. 4 | 214-0012<br>ｵｳﾅｷｼ ﾀﾏｸ ﾅｶｼﾞﾏ 0-0 ﾊﾊﾊﾊﾊﾊﾊﾊﾊ<br>ﾊﾊﾊﾊﾊ 00-000 | |
| ＊ | 2 | 不一致 | 145820041-02 | ｼﾒｲ ﾐﾄｸﾛｳ<br>ｳﾌﾌﾊﾞ ﾌﾐｺ | S23. 8. 2<br>S23. 7.10 | 1 | 旧厚年 | ＊944,000 | H20. 8 | 252-0331<br>神奈川県<br>相あ原あ南あ大あ台あ－あ－あＯ | 年額誤り |
| | | | 3170445014-0430 | ｻﾊﾅﾊﾞ ﾋﾊﾊ | S23. 8. 2<br>S23. 7.10 | 1 | 旧厚年 | 792,100 | H19. 4 | 252-0331<br>ｵｵﾞﾐﾊﾗｼ ﾐﾅﾐｸ ｵｵﾉﾀﾞｲ 0-0-00 | |
| | 3 | 不一致 | 145070484-02 | ｶﾌﾌ ﾔﾌﾌﾛ<br>ｶﾌﾌ ｳﾌﾌ | S16. 9. 4<br>S19. 1.29 | 1 | 新厚年 | ＊1,300,300 | H21. 4 | 252-0221　002-706-6050<br>神奈川県<br>相あ原あ中あ区あ根あ－あ４あ１ | 年額誤り |
| | | | 3170405040-1450 | ﾈﾊﾅ ﾔﾊﾊﾊ<br>ﾈﾊﾅ ﾖﾊﾊ | S16. 9. 4<br>S19. 1.29 | 1 | 新厚年 | 1,582,800 | H21. 2 | 252-0221<br>ｵｵﾞﾐﾊﾗｼ ﾁｺｳｵｳｸ ﾀﾅﾈ 0-00-0 | 老齢可能性有 |

ロ　印字内容

厚生年金等の受給権者情報と照合し、不一致となったデータの情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 印書日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 初回マーク | リスト出力が初回の場合は「＊」を印字する。 |
| 番号 | 1 から連番に印字する。 |
| 照合結果 | 不一致理由により、「該当無」「複数人」「不一致」のいずれかを印字する。 |
| 労災情報 | |
| 　年金証書番号 | 年金証書番号（９桁）を印字する。 |
| 　枝番号 | 遺族年金の場合、枝番号を印字する。 |
| 　被災者氏名カナ | 被災者氏名カナを印字する。 |
| 　被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 労災情報 | |
| 　受給者氏名カナ | 受給者氏名カナを印字する。 |
| 　受給者生年月日 | 受給者生年月日を印字する。 |
| 　1 種 2 種別 | 1 種の場合は「1」、2 種の場合は「2」を印字する。 |

| 項　　目 | | 内　　容 |
|---|---|---|
| | 不一致厚年等種別 | 厚年等情報履歴の不一致理由が厚年等種別誤り、又は厚年等種別と厚年等年額の両方の誤りである場合、「＊」を印字する。 |
| | 厚年等種別 | 厚年等情報履歴に不一致がある場合、以下を印字する。<br><br>〈厚年等調整中の場合〉<br>厚年等種別コードに対応する名称を印字する。<br><br>〈厚年等調整中以外の場合〉<br>厚年等調整コードに対応する名称を印字する。 |
| | 不一致厚年等年額 | 厚年等情報履歴の不一致理由が厚年等年額誤り、又は厚年等種別と年額誤りである場合、「＊」を印字する。 |
| | 厚年等年額 | 厚年等情報履歴に不一致がある場合、厚年等年額を印字する。 |
| | 厚年等調整開始年月 | 厚年等情報履歴に不一致がある場合、厚年等調整開始年月を印字する。 |
| | 郵便番号<br>電話番号<br>都道府県名<br>住所<br>外国名<br>住所外国 | 〈国内払いの場合〉<br>受給権者の住所情報（郵便番号・電話番号・都道府県・住所）を印字する。<br>〈外国払いの場合〉<br>受給権者の住所情報（外国名・住所外国）を印字する。 |
| | 事案概要マーク | 厚年等調整中以外で、厚年等種別と厚年等年額両方に不一致がある場合、「＊」を印字する。 |
| | 事案概要 | 不一致理由により、「種別誤り」「年額誤り」「種別年額誤り」「同一人の特定」「氏名等確認」のいずれかを印字する。 |
| 日本年金機構 | | |
| | 基礎年金番号 | 基礎年金番号を印字する。 |
| | 年金コード | 年金コードを印字する。 |
| | 被災者氏名カナ | 被災者氏名カナを印字する。 |
| | 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| | 受給権者氏名カナ | 受給権者氏名カナを印字する。 |
| | 受給権者生年月日 | 受給権者生年月日を印字する。 |
| | 国年失権年月日タイトル | 「国年失権年月日」を印字する。 |
| 厚年等情報 | | |
| | 国年失権年月日 | 国年失権年月日を印字する。 |
| | 厚年失権年月日タイトル | 「厚年失権年月日」を印字する。 |
| | 厚年失権年月日 | 厚年失権年月日を印字する。 |

| 項　　目 | | 内　　容 |
|---|---|---|
| | 1種2種別 | 1種の場合は「1」、2種の場合は「2」を印字する。但し、該当データなしを理由とした不一致の場合は「0」を印字する。 |
| | 厚年等種別 | 厚年等種別に対応する名称を印字する。<br>1　・・・　「旧厚年」<br>2　・・・　「新厚国」<br>3　・・・　「旧船員」<br>4　・・・　「新厚年」<br>5　・・・　「旧国年」<br>6　・・・　「新国年」<br>厚年等種別が0の場合は、以下を印字する。<br>年金コードの上3桁が135　・・・　「135」<br>年金コードの上3桁が145　・・・　「145」 |
| | 厚年等年額 | 厚年等年額を印字する。 |
| | 調整開始年月 | 厚年等調整開始年月を印字する。 |
| | 郵便番号<br>住所カナ | 住所情報（郵便番号・住所カナ）を印字する。 |
| | 老齢可能性有 | 年金コード等の情報から老齢の可能性がある場合に、「老齢可能性有」を印字する。 |
| | 共済可能性有 | 年金コード等の情報から共済の可能性がある場合に、「共済可能性有」を印字する。 |
| 署計 | | 合計件数を印字する。 |

注）厚年等情報の履歴が複数ある場合は最大20履歴印字する。

ハ　出力時期

毎年９月に出力する。

ニ　事務処理

不一致事案の内容を確認のうえ、変更処理等を行うこと。

(10)被災者別未処理事案リスト（局用）

イ　様式

01局01署　　＊＊＊被災者別未処理事案リスト（年金）＊＊＊　　1頁

平成23年10月XX日現在

| 被災者（請求人）氏名 | 労働保険番号 | 被災者生年月日 | 傷病年月日 | 受付年月日 | 三者 | 未処理期間 | 請求書種類 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 労災　太郎 | 01101200001-000 | 昭和44年02月17日 | 平成23年XX月XX日 | 平成23年XX月XX日 | 自　賠 | 10ヶ月 | 年－０１　・年－１０　・０４－００<br>１０－００・１２－００・１５－００<br>１６－００・１６－０２・１６－０７<br>１６－０８・１６－０９・１６－１０<br>１６－１１・３７－０２・７０－００<br>７１－００・職－０３　・ＸＸＸ１８<br>ＸＸＸ１９・ＸＸＸ２０・ＸＸＸ２１<br>ＸＸＸ２２・ＸＸＸ２３・ＸＸＸ２４<br>ＸＸＸ２５・ＸＸＸ２６・ＸＸＸ２７ | |
| 労災　次郎 | 01101300001-000 | 昭和58年11月30日 | 平成23年XX月XX日 | 平成23年XX月XX日 | 労　災 | 8ヶ月 | 年－０１　・年－１０　・０４－００<br>１０－００・１２－００・１５－００<br>１６－００・１６－０２・１６－０７<br>１６－０８・１６－０９・１６－１０<br>１６－１１・３７－０２・７０－００<br>７１－００・職－０３　・ＸＸＸ１８<br>ＸＸＸ１９・ＸＸＸ２０・ＸＸＸ２１<br>ＸＸＸ２２・ＸＸＸ２３・ＸＸＸ２４<br>ＸＸＸ２５・ＸＸＸ２６・ＸＸＸ２７ | |

＊請求人氏名

署計　2件
局計　2件

ロ　印字内容

受付年月日から6ヶ月を経過しても支給・不支給決定がされていないデータの情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 処理年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| 被災者（請求人）氏名 | 被災者氏名カナを印字する。被災者氏名カナが登録されていない場合は、請求人氏名カナを印字し、左側に「＊」を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 受付年月日 | 最古の請求書の受付年月日を印字する。 |
| 三者 | 三者情報がある場合、以下のいずれかを印字する。<br>「自　賠」　・・・　自賠先行<br>「労　災」　・・・　労災先行<br>「その他」　・・・　その他の第三者行為災害 |
| 未処理期間 | 受付年月日欄に印字された最古の請求書に係る未処理期間を印字する。 |
| 請求書種類 | 受付年月日の古い順に、請求書の種類を印字する。 |
| 署計 | 合計件数を印字する。 |

注）請求書種類は最大30給付まで印字可能であり、その際、各給付の種類ごとに”・”で区切る。

1行の最大印字は3給付で、4給付以上である場合は、改行を行う。

ハ　出力時期

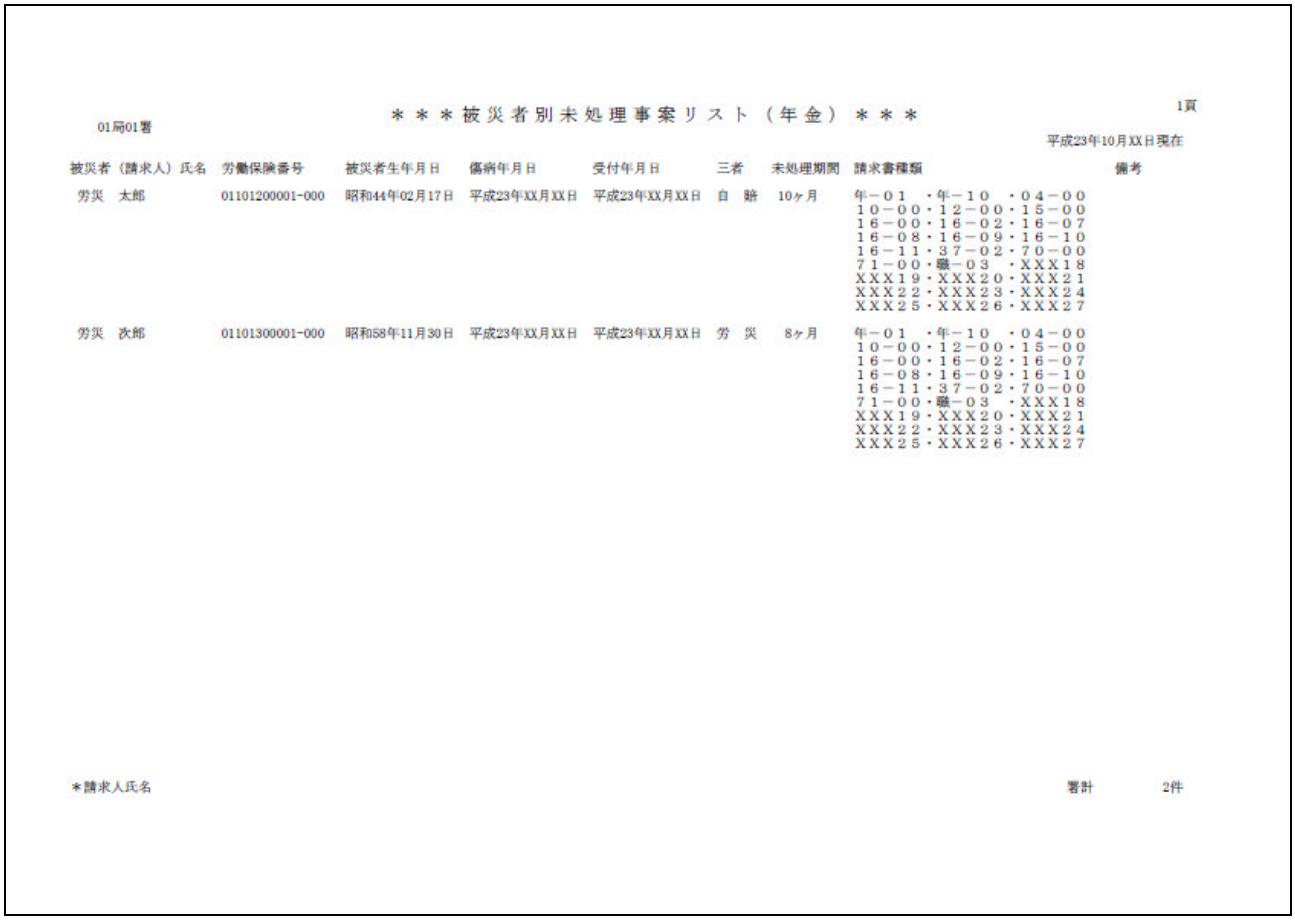
月初に出力する

ニ　事務処理

調査の上、データ登記等の処理を行うこと。

(11)被災者別未処理事案リスト（署用）

イ　様式



1頁

01局01署

＊＊＊被災者別未処理事案リスト（年金）＊＊＊

平成23年10月XX日現在

| 被災者（請求人）氏名 | 労働保険番号 | 被災者生年月日 | 傷病年月日 | 受付年月日 | 三者 | 未処理期間 | 請求書種類 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 労災　太郎 | 01101200001-000 | 昭和44年02月17日 | 平成23年XX月XX日 | 平成23年XX月XX日 | 自　賠 | 10ヶ月 | 年－０１　・年－１０　・０４－００<br>１０－００・１２－００・１５－００<br>１６－００・１６－０２・１６－０７<br>１６－０８・１６－０９・１６－１０<br>１６－１１・３７－０２・７０－００<br>７１－００・職－０３　・ＸＸＸ１８<br>ＸＸＸ１９・ＸＸＸ２０・ＸＸＸ２１<br>ＸＸＸ２２・ＸＸＸ２３・ＸＸＸ２４<br>ＸＸＸ２５・ＸＸＸ２６・ＸＸＸ２７ | |
| 労災　次郎 | 01101300001-000 | 昭和58年11月30日 | 平成23年XX月XX日 | 平成23年XX月XX日 | 労　災 | 8ヶ月 | 年－０１　・年－１０　・０４－００<br>１０－００・１２－００・１５－００<br>１６－００・１６－０２・１６－０７<br>１６－０８・１６－０９・１６－１０<br>１６－１１・３７－０２・７０－００<br>７１－００・職－０３　・ＸＸＸ１８<br>ＸＸＸ１９・ＸＸＸ２０・ＸＸＸ２１<br>ＸＸＸ２２・ＸＸＸ２３・ＸＸＸ２４<br>ＸＸＸ２５・ＸＸＸ２６・ＸＸＸ２７ | |

＊請求人氏名

署計　2件

ロ　印字内容

受付年月日から6ヶ月を経過しても支給・不支給決定がされていないデータの情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 処理年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| 被災者（請求人）氏名 | 被災者氏名カナを印字する。被災者氏名カナが登録されていない場合は、請求人氏名カナを印字し、左側に「＊」を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 受付年月日 | 最古の請求書の受付年月日を印字する。 |
| 三者 | 三者情報がある場合、以下のいずれかを印字する。<br>「自　賠」　・・・　自賠先行<br>「労　災」　・・・　労災先行<br>「その他」　・・・　その他の第三者行為災害 |
| 未処理期間 | 受付年月日欄に印字された最古の請求書に係る未処理期間を印字する。 |
| 請求書種類 | 受付年月日の古い順に、請求書の種類を印字する。 |
| 署計 | 合計件数を印字する。 |

注）請求書種類は最大30給付まで印字可能であり、その際、各給付の種類ごとに”・”で区切る。

1行の最大印字は3給付で、4給付以上である場合は、改行を行う。

ハ　出力時期

月初に出力する

ニ　事務処理

調査の上、データ登記等の処理を行うこと。

## 3 処理件数リスト

【処理件数リスト一覧】

| No. | リスト名<br>(掲載ページ) | 内　　容 | 出力<br>時期 | 配信<br>方法 |
|---|---|---|---|---|
| (1) | 年金・一時金処理件数リスト（登録）（署用）<br>(Ⅳ-3-2 ページ) | 年金・一時金処理件数（登録分）の詳細を出力する。 | ※月初 | コマンド配信 |
| (2) | 年金・一時金処理件数リスト（変更）（署用）<br>(Ⅳ-3-5 ページ) | 年金・一時金処理件数（変更分）の詳細を出力する。 | ※月初 | コマンド配信 |
| (3) | 年金・一時金処理件数リスト（訂正）（署用）<br>(Ⅳ-3-11 ページ) | 年金・一時金処理件数（訂正分）の詳細を出力する。 | ※月初 | コマンド配信 |

※　４月については、３月分及び前年度分の当該リストが出力される。

(1)　　年金・一時金処理件数リスト（登録）（署用）

イ　様式

＊＊＊　年金・一時金　処理件数リスト（登録）　＊＊＊　　月報

北海道局　　平成24年 7月26日　　1ページ

| | | 受付 | | | データ登記 | | | 修正 | | | 決議書再出力 | | | 不支給決議書 | | | 取消 | | | 決議書入力 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 業災 | 通災 | 合計 | 業災 | 通災 | 合計 | 業災 | 通災 | 合計 | 業災 | 通災 | 合計 | 業災 | 通災 | 合計 | 業災 | 通災 | 合計 | 業災 | 通災 | 合計 |
| 障害給付 | 短期 | 0 | 0 | 0 | 23 | 1 | 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21 | 1 | 22 |
| | 長期 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 合計 | 0 | 0 | 0 | 24 | 2 | 26 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21 | 2 | 23 |
| 遺族一時金 | 短期 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| | 長期 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 遺族年金 | 短期 | 0 | 0 | 0 | 5 | 1 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 1 | 6 |
| | 長期 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 合計 | 0 | 0 | 0 | 6 | 1 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 1 | 7 |
| 葬祭料 | 短期 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 3 |
| | 長期 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| | 合計 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 5 |
| 傷病年金 | | 0 | 3 | 3 | 8 | 8 | 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 8 | 16 |
| 障害前払一時金 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 遺族前払一時金 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 障害差額一時金 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 遺族差額一時金 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 未支給 | 傷病 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 未支給 | 障害 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 未支給 | 遺族 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 援護費 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 障害変更（職権） | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特別遺族年金 | | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 特別遺族一時金 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 未支給 | 特別遺族 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 特遺差額一時金 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 合　計 | | 0 | 3 | 3 | 55 | 15 | 70 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50 | 15 | 65 |

ロ　印字内容

年金・一時金処理件数（登録分）の詳細情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 月報年報の別 | 「月報」又は「年報」を印字する。 |
| 処理年月日 | 本帳票を出力した年月日を印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 請求の種類 | 明細毎に以下の文言を印字する。<br><br>・障害給付　※<br>・遺族一時金　※<br>・遺族年金　※<br>・葬祭料　※<br>・傷病年金<br>・障害前払一時金<br>・遺族前払一時金<br>・障害差額一時金<br>・遺族差額一時金<br>・未支給　傷病<br>・未支給　障害<br>・未支給　遺族<br>・援護費<br>・障害変更（職権）<br>・特別遺族年金<br>・特別遺族一時金<br>・未支給　特別遺族<br>・特遺差額一時金<br><br>※短期・長期・合計の別に印字（短期・長期は入力キーを指す） |
| 受付件数<br>（業災・通災・計） | 『登録票(39560)』又は『援護費申請書(39565)』の受付処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。<br>なお、各件数は請求の種類別に印字され、最下行には合計件数を印字する。(データ登記、修正、決議書再出力、不支給決議書出力、取消、決議書入力の件数も同様) |
| データ登記件数<br>（業災・通災・計） | 『登録票(39560)』又は『援護費申請書(39565)』の登記処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 修正件数<br>（業災・通災・計） | 『登録票(39560)』又は『援護費申請書(39565)』の修正処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 決議書再出力件数<br>（業災・通災・計） | 『登録票(39560)』又は『援護費申請書(39565)』の決議書再出力処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 不支給決議書出力件数<br>（業災・通災・計） | 『登録票(39560)』又は『援護費申請書(39565)』の不支給決議書出力処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 取消件数<br>（業災・通災・計） | 『登録票(39560)』又は『援護費申請書(39565)』の取消処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 決議書入力件数<br>（業災・通災・計） | 『(不) 支給決議書(39570)』又は『援護費決議書(39573)』の決議書入力処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |

ハ　出力時期

毎月初に出力する。

ニ　事務処理

管理資料として活用すること。

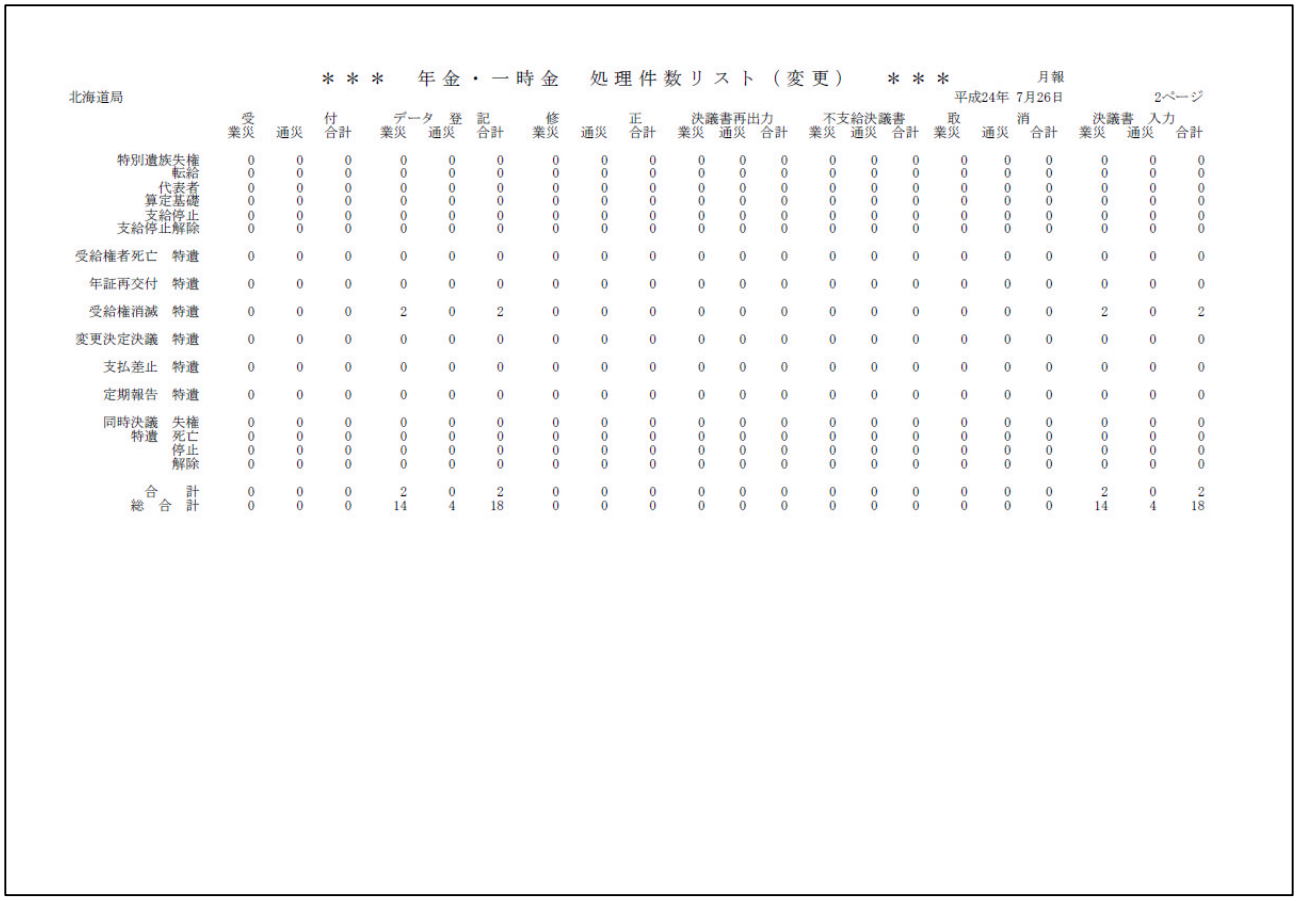
(2) 年金・一時金処理件数リスト（変更）（署用）

イ　様式

＊＊＊　年金・一時金　処理件数リスト（変更）　＊＊＊　月報

北海道局　平成24年 7月26日　1ページ

| | 受付 業災 | 受付 通災 | 受付 合計 | データ登記 業災 | データ登記 通災 | データ登記 合計 | 修正 業災 | 修正 通災 | 修正 合計 | 決議書再出力 業災 | 決議書再出力 通災 | 決議書再出力 合計 | 不支給決議書 業災 | 不支給決議書 通災 | 不支給決議書 合計 | 取消 業災 | 取消 通災 | 取消 合計 | 決議書入力 業災 | 決議書入力 通災 | 決議書入力 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 傷病年金変更 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 障害年金変更 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 再発 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 遺族年金失権 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 転給 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 代表者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 算定基礎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支給停止 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支給停止解除 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受給権者死亡 傷病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 障害 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 遺族 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 厚年等変更 傷病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 障害 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 遺族 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 年証再交付 傷病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 障害 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 遺族 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受給権消滅 傷病 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 5 |
| 障害 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 遺族 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 4 |
| 変更決定決議 傷病 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 4 |
| 障害 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 遺族 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支払差止 傷病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 障害 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 遺族 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 援護費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 援護費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 定期報告 傷病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 障害 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 遺族 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 援護費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 同時決議 失権 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 遺族 死亡 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 停止 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 解除 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 労　災　計 | 0 | 0 | 0 | 12 | 4 | 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 4 | 16 |



＊＊＊　年金・一時金　処理件数リスト（変更）　＊＊＊　月報

北海道局　平成24年 7月26日　2ページ

| | 受付 業災 | 受付 通災 | 受付 合計 | データ登記 業災 | データ登記 通災 | データ登記 合計 | 修正 業災 | 修正 通災 | 修正 合計 | 決議書再出力 業災 | 決議書再出力 通災 | 決議書再出力 合計 | 不支給決議書 業災 | 不支給決議書 通災 | 不支給決議書 合計 | 取消 業災 | 取消 通災 | 取消 合計 | 決議書入力 業災 | 決議書入力 通災 | 決議書入力 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特別遺族失権 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 転給 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 代表者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 算定基礎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支給停止 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支給停止解除 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受給権者死亡　特遺 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 年証再交付　特遺 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受給権消滅　特遺 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 変更決定決議　特遺 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支払差止　特遺 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 定期報告　特遺 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 同時決議　失権 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特遺　死亡 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 停止 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 解除 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合　計 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 総合計 | 0 | 0 | 0 | 14 | 4 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 4 | 18 |

ロ　印字内容

年金・一時金処理件数（変更分）の詳細情報を印字する。

1 枚目に特別遺族年金以外の入力処理件数、2 枚目に特別遺族年金の入力処理件数を印字する。

【出力項目の説明】

〈1 枚目：特別遺族以外〉

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 月報年報の別 | 「月報」又は「年報」を印字する。 |
| 処理年月日 | 本帳票を出力した年月日を印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 請求の種類 | 明細毎に以下の文言を印字する。<br><br>・傷病年金変更<br>・障害年金変更<br>・再発<br>・遺族年金失権<br>・転給<br>・代表者<br>・算定基礎<br>・支給停止<br>・支給停止解除<br>・受給権者死亡　*1)<br>・厚年等変更　*1)<br>・年証再交付　*1)<br>・受給権消滅　*1)<br>・変更決定決議　*1)<br>・支払差止　*2)<br>・援護費<br>・定期報告　*2)<br>・同時決議　失権<br>・遺族　死亡<br>・停止<br>・解除<br><br>*1)傷病・障害・遺族の別に印字<br>*2)傷病・障害・遺族・援護費の別に印字 |
| 受付件数<br>（業災・通災・計） | 『変更票(39562)』、『援護費申請書(39565)』、『定期報告入力票（年金）(39586)』、『定期報告入力票（援護費）(39584)』の受付処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。<br>なお、各件数は請求の種類別に印字され、最下行には1枚目（特別遺族以外）の合計件数を印字する。（データ登記、修正、決議書再出力、不変更決議書出力、取消、決議書入力の件数も同様） |
| データ登記件数<br>（業災・通災・計） | 『変更票(39562)』、『援護費申請書(39565)』、『定期報告入力票（年金）(39586)』、『定期報告入力票（援護費）(39584)』の登記処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 修正件数<br>（業災・通災・計） | 『変更票(39562)』、『援護費申請書(39565)』、『定期報告入力票（年金）(39586)』、『定期報告入力票（援護費）(39584)』の修正処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 決議書再出力件数<br>（業災・通災・計） | 『変更票(39562)』、『援護費申請書(39565)』、『定期報告入力票（年金）(39586)』、『定期報告入力票（援護費）(39584)』の決議書再出力処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 不変更決議書出力件数<br>（業災・通災・計） | 『変更票(39562)』、『援護費申請書(39565)』の不変更決議書出力処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 取消件数<br>（業災・通災・計） | 『変更票(39562)』、『援護費申請書(39565)』、『定期報告入力票（年金）(39586)』、『定期報告入力票（援護費）(39584)』の取消処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 決議書入力件数<br>（業災・通災・計） | 『(不) 変更決議書(39571)』、『援護費決議書(39573)』の決議書入力処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |

〈2 枚目：特別遺族〉

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 月報年報の別 | 「月報」又は「年報」を印字する。 |
| 処理年月日 | 本帳票を出力した年月日を印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 請求の種類 | 明細毎に以下の文言を印字する。<br>・特別遺族失権<br>・転給<br>・代表者<br>・算定基礎<br>・支給停止<br>・支給停止解除<br>・受給権者死亡　特遺<br>・年証再交付　特遺<br>・受給権消滅　特遺<br>・変更決定決議　特遺<br>・支払差止　特遺<br>・定期報告　特遺<br>・同時決議　失権<br>・特遺　死亡<br>・停止<br>・解除 |
| 受付件数<br>（業災・通災・計） | 『変更票(39562)』、『定期報告入力票（特別遺族）(39586)』の受付処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。<br>なお、各件数は請求の種類別に印字され、最下行の 1 行上には 2 枚目（特別遺族）の合計件数、最下行には 1 枚目と 2 枚目の合計件数を印字する。(データ登記、修正、決議書再出力、不変更決議書出力、取消、決議書入力の件数も同様) |
| データ登記件数<br>（業災・通災・計） | 『変更票(39562)』の登記処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 修正件数<br>（業災・通災・計） | 『変更票(39562)』の修正処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 決議書再出力件数<br>（業災・通災・計） | 『変更票(39562)』の決議書再出力処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 不支給決議書出力件数<br>（業災・通災・計） | 『変更票(39562)』の不変更決議書出力処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 取消件数<br>（業災・通災・計） | 『変更票(39562)』、『定期報告入力票（特別遺族）(39586)』の取消処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 決議書入力件数<br>（業災・通災・計） | 『(不) 変更決議書(39571)』の決議書入力処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |

ハ　出力時期

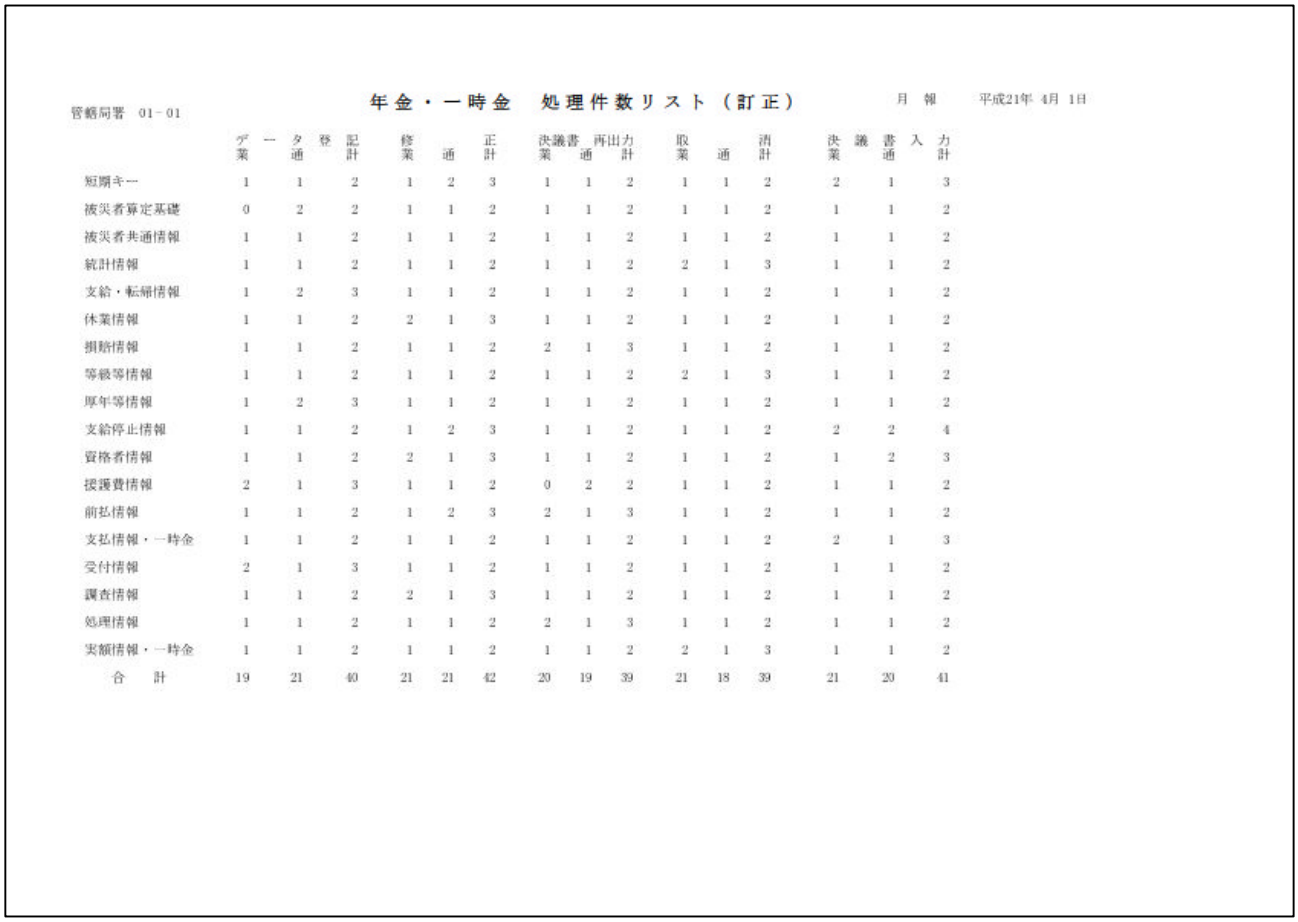
毎月初に出力する。

ニ　事務処理

管理資料として活用すること。

(3) 年金・一時金処理件数リスト（訂正）（署用）

イ　様式



管轄局署　01－01

年金・一時金　処理件数リスト（訂正）

月　報　　平成21年 4月 1日

| | データ入力 | | | 登記 | | | 修正 | | | 決議書再出力 | | | 取消 | | | 決議書入力 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 業 | 通 | 計 | 業 | 通 | 計 | 業 | 通 | 計 | 業 | 通 | 計 | 業 | 通 | 計 | 業 | 通 | 計 |
| 短期キー | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | | | |
| 被災者算定基礎 | 0 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 被災者共通情報 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 統計情報 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 支給・転帰情報 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 休業情報 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 損賠情報 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 等級等情報 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 厚年等情報 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 支給停止情報 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 4 | | | |
| 資格者情報 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | | | |
| 援護費情報 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 前払情報 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 支払情報・一時金 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | | | |
| 受付情報 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 調査情報 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 処理情報 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 実額情報・一時金 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | | | |
| 合　計 | 19 | 21 | 40 | 21 | 21 | 42 | 20 | 19 | 39 | 21 | 18 | 39 | 21 | 20 | 41 | | | |

ロ　印字内容

年金・一時金処理件数（訂正分）の詳細情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 月報年報の別 | 「月報」又は「年報」を印字する。 |
| 処理年月日 | 本帳票を出力した年月日を印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 訂正処理の種類 | 明細毎に以下の文言を印字する。<br><br>・短期キー<br>・被災者算定基礎<br>・被災者共通情報<br>・統計情報<br>・支給・転帰情報<br>・休業情報<br>・損賠情報<br>・等級等情報<br>・厚年等情報<br>・支給停止情報<br>・資格者情報<br>・援護費情報<br>・前払情報<br>・支払情報・一時金<br>・受付情報<br>・調査情報<br>・処理情報<br>・実額情報・一時金 |
| データ登記件数<br>（業災・通災・計） | 『訂正票(39563)』の登記処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。<br>なお、各件数は訂正処理の種類別に印字され、最下行には合計件数を印字する。（修正、決議書再出力、取消、決議書入力の件数も同様） |
| 修正件数<br>（業災・通災・計） | 『訂正票(39563)』の修正処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 決議書再出力件数<br>（業災・通災・計） | 『訂正票(39563)』の再出力処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 取消件数<br>（業災・通災・計） | 『訂正票(39563)』の取消処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |
| 決議書入力件数<br>（業災・通災・計） | 『(不) 支給決議書(39570)』、『(不) 変更決議書(39571)』又は『訂正決議書(39572)』の決議書入力処理件数を業災、通災、合計の別に印字する。 |

ハ　出力時期

毎月初に出力する。

ニ　事務処理

管理資料として活用すること。

## 4 支払情報リスト

【支払情報リスト一覧】

| No. | リスト名<br>（掲載ページ） | 内　　容 | 出力<br>時期 | 配信<br>方法 |
|---|---|---|---|---|
| (1) | 受給権者金融機関変更リスト（署用）<br>（Ⅳ-4-2 ページ） | 支払権者に係る払渡金融機関に変更（廃止・統廃合）があったものを出力する。 | 月初・<br>支払期 | コマンド配信 |
| (2) | 指定年齢到達予定者リスト（署用）<br>（Ⅳ-4-4 ページ） | 指定年齢到達予定者を出力する。 | 支払期 | コマンド配信 |
| (3) | 支給停止解除予定者リスト（署用）<br>（Ⅳ-4-7 ページ） | 支給停止解除予定者を出力する。 | 支払期 | コマンド配信 |
| (4) | 支払取消リスト<br>（Ⅳ-4-10 ページ） | 支払取消の入力されたものを出力する。 | 随時 | コマンド配信 |
| (5) | 支払事故通知リスト<br>（Ⅳ-4-12 ページ） | 支払事故の発生したものを出力する。 | 随時 | コマンド配信 |
| (6) | 支払回収データリスト<br>（Ⅳ-4-15 ページ） | 支払回収データを出力する。 | 月初 | コマンド配信 |
| (7) | 支払差止者リスト（署用）<br>（Ⅳ-4-17 ページ） | 支払差止者を出力する。 | 支払期 | コマンド配信 |
| (8) | 決議書破棄リスト（署用）<br>（Ⅳ-4-20 ページ） | 支払期処理で（決議書出力までの過程を）破棄した決議書を出力する。 | 支払期・<br>スライド率、援護費月額等の改定時 | コマンド配信 |
| (9) | 支払不備リスト（局用）<br>（Ⅳ-4-22 ページ） | 支払事故の発生する可能性があるデータを出力する。 | 支払期処理日の２、４開庁日前<br>（局配信） | コマンド配信 |

(1) 受給権者金融機関変更リスト（署用）

イ　様式



＊＊＊受給権者金融機関変更リスト＊＊＊

平成23年XX月XX日　　1 ページ

14 局 05 署

| | 年金証書番号 | 受給権者氏名 | 区分 | 変更前コード | 変更後コード | 変更年月日 | 転場年月 | 金融機関名<br>店舗名 | 受給権者電話番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0001 | 141010001 | 労災　太郎 | 変更 | 0001001 | 0011731 | H23.XX.XX | H23.XX | 三菱東京UFJ銀行<br>口座番号の変更を確認して下さい | 046-86-9999 | 東逗子支店 |

ロ　印字内容

金融機関の統廃合により、金融機関が廃止、コード変更、名称変更された受給者について、金融機関変更情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 処理年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 局 | 対象データの局を印字する。 |
| 署 | 対象データの署を印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（９桁）を印字する。<br>遺族又は特別遺族の場合は、年金証書番号と枝番号を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 区分 | 変更内容により、以下のいずれかを印字する。<br><br>「廃止」　・・・　廃止<br>「変更」　・・・　コード変更<br>「変更未来」　・・・　コード変更（未来情報）<br>「名称」　・・・　名称変更<br>「名称未来」　・・・　名称変更（未来情報） |
| 変更前コード | 変更前の「金融機関コード」又は「郵便局コード」を印字する。 |
| 変更後コード | 変更後の「金融機関コード」又は「郵便局コード」を印字する。 |
| 変更年月日 | 廃止の場合は「廃止年月日」、変更の場合は「変更年月日」を印字する。 |
| 転帰年月 | 年金転帰している場合は「転帰年月」を印字する。 |
| 金融機関名 | 廃止以外の場合、金融機関名称を印字する。 |
| 店舗名 | 廃止以外の場合、金融機関店舗名称を印字する。 |
| 受給権者電話番号 | 受給権者電話番号 |
| 備考 | 口座番号に変更がある場合、メッセージ「口座番号の変更を確認して下さい」を印字する。 |

ハ　出力時期

月初・支払期処理日の翌開庁日に出力する。

ニ　事務処理

支払権者に係る払渡金融機関の変更（廃止・統廃合）を確認し、廃止については支払権者に連絡をとり、新たな支払先を選択させること。

(2) 指定年齢到達予定者リスト（署用）

イ　様式

＊＊＊指定年齢到達予定者リスト＊＊＊

平成23年XX月支払期予定
1

管轄局署　01-01

☆　次の方は、指定年齢到達日が近づいていますので、
至急確認したうえで、必要に応じて処理してください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

| | |
|---|---|
| 年金証書番号 | 011200001 |
| 被災者生年月日 | 昭和53年10月 1日 |
| 支払権者氏名 | 労災　太郎 |
| 到達者枝番号 | 99 |
| 到達者氏名 | 労災　一郎 |
| 到達区分 | １８歳失権 |
| 到達状況 | 全員失権 |
| 到達年月日 | 平成23年XX月XX日 |
| 通知区分 | |
| 配信区分 | |
| 給付日数増減 | |
| 年金年額 | 999,999,999円 |
| 特別年金年額 | 999,999,999円 |
| 援護費 | 999,999,999円 |
| 失権差額一時金（年金） | |
| 失権差額一時金（特年） | |
| 未支給金（年金） | |
| 未支給金（特年） | |
| 未支給金（援護費） | |
| 回収額（年金） | |
| 回収額（特年） | |
| 回収額（援護費） | |
| 差止め有無 | 援護費 |
| 電話番号 | 010-999-9999 |

支払差止中１８歳失権のため支払差止を解除します

回収額が強制債権となります

ロ　主な出力項目

(ｲ) 主な項目の印字内容

| 項　　目 | 印　字　内　容 |
|---|---|
| 支払期年月 | 指定年齢に到達する支払期年月を印字する。 |
| ページ | 1 から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| メッセージ（上部） | “☆　次の方は、指定年齢到達日が近づいていますので、至急確認したうえで、必要に応じて処理してください。”を印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（９桁）を印字する。<br>遺族又は特別遺族の場合は、年金証書番号と枝番号を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 支払権者氏名 | 支払権者氏名を印字する。 |
| 到達者枝番号 | 指定年齢到達予定者の枝番号を印字する。 |
| 到達者氏名 | 指定年齢到達予定者氏名を印字する。 |
| 到達区分 | 次のうちいずれかの区分が印字される。<br>①18 歳失権、②18 歳失格、③妻 55 歳、④資格者 60 歳、⑤中学校進学 |
| 到達状況 | 到達区分が「18 歳失権」の場合のみ、指定年齢到達後の権者関係が、次のうちいずれかの区分により印字される。<br>①全員失権、②同順位 1 人、③同順位 2 人以上、④次順位 1 人、⑤次順位 2 人以上、⑥権者払中 |
| 到達年月日 | 指定年齢に達した年月日（生年月日当日）を印字する。<br>なお、子、孫、兄弟姉妹については、18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日を印字する。 |
| 通知区分 | 到達区分が「18 歳失権」で、到達状況が①同順位 1 人、②同順位 2 人以上、③次順位 1 人、④次順位 2 人以上の場合に以下のいずれかを印字する。<br>『遺族（補償）年金についてのお知らせ』・・・遺族年金<br>『特別遺族年金のお知らせ』・・・特別遺族年金 |
| 配信区分 | 到達区分が「18 歳失権」「18 歳失格」「妻 55 歳」「資格者 60 歳」の場合で、かつ「給付日数増減」が「増」又は「減」の場合のみ『変更通知』、「中学校進学」の場合は『援護費変更通知』を印字する。 |
| 給付日数増減 | 次のうちいずれかの区分が印字される。ただし、全員失権の場合は印字しない。<br>①増、②減、③変更なし |
| 年金年額 | 年金年額を印字する。但し、「全員失権」の場合は「０円」、権者払い中以外の失権や給付日数に増減がない場合は空白を印字する。 |
| 特別年金年額 | 特別年金年額を印字する。但し、「全員失権」の場合は「０円」、権者払い中以外の失権や給付日数に増減がない場合は空白を印字する。 |
| 援護費 | 援護費を印字する。但し、「全員失権」の場合は「０円」、権者払い中以外の失権や給付日数に増減がない場合は空白を印字する。 |

| 項　　目 | 印　字　内　容 |
|---|---|
| 失権差額一時金（年金） | 18 歳全員失権（年金転帰）時に年金に係る失権差額一時金を印字する。 |
| 失権差額一時金（特年） | 18 歳全員失権（年金転帰）時に特別年金に係る失権差額一時金を印字する。 |
| 未支給金（年金） | 当期に 18 歳全員失権（年金転帰）する場合に、年金に係る未支給金を印字する。 |
| 未支給金（特年） | 当期に 18 歳全員失権（年金転帰）する場合に、特別年金に係る未支給金を印字する。 |
| 未支給金（援護費） | 当期に 18 歳全員失権（年金転帰）する場合に、援護費に係る未支給金を印字する。 |
| 回収額（年金） | 18 歳全員失権（年金転帰）時に、年金の回収額を印字する。 |
| 回収額（特年） | 18 歳全員失権（年金転帰）時に、特別年金の回収額を印字する。 |
| 回収額（援護費） | 18 歳全員失権（年金転帰）時に、援護費の回収額を印字する。 |
| 差止め有無 | 次のとおり印字する。<br>①年金差止中の場合→「年金」<br>②援護費差止中の場合→「援護費」<br>③年金・援護費の両方ともが差止中の場合<br>→「年金・援護費」と印字する。 |
| 電話番号 | 支払権者の電話番号を印字する。 |
| メッセージ（下部） | 次のメッセージを印字する。<br>・支払差止中の 18 歳全員失権による年金転帰<br>「支払差止中 18 歳全員失権のため、解除額を未支給にします」<br>・支払差止中の 18 歳失権<br>「支払差止中 18 歳失権のため、支払差止を解除します」<br>・回収額が強制債権<br>「回収額が強制債権となります」 |

ハ　出力時期

支払期処理日の翌開庁日に出力する。

ニ　事務処理

指定年齢到達予定の者を把握すること。

(3) 支給停止解除予定者リスト（署用）

イ　様式

＊＊＊支給停止解除予定者リスト＊＊＊

平成23年12月支払期予定
1

管轄局署　13-03

☆　次の方は、支給停止解除日が近づいていますので、
至急確認したうえで、必要に応じて処理してください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

| | |
|---|---|
| 支給停止事由 | 若年停止 |
| 年金証書番号 | 135110021-61 |
| 支払権者氏名 | 遺族　請求 |
| 解除者生年月日 | 昭和26年10月25日 |
| 支給停止解除予定年月 | 平成23年10月 |
| 支給開始給付 | 年金・特別年金 |
| 給付日数増減 | 増 |
| 郵便番号 | 140-0014 |
| 住所 | 東京都<br>品川区大井４－１－２コーポ２０<br>１号３３ |
| 電話番号 | 03-3422-1002 |
| 支払方法 | 1-銀行振込 |
| 金融機関番号 | 0005-065 |
| 金融機関名 | 三菱東京ＵＦＪ銀行<br>上野中央支店 |
| 預金の種類 | 1-普通預金 |
| 口座番号 | 3113222 |

ロ　印字内容

前払一時金、三者損賠、指定年齢到達のいずれかによる支給停止解除予定者の詳細情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 支払期年月 | 支給開始となる支払期年月を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| メッセージ | “☆　次の方は、支給停止解除日が近づいていますので、至急確認したうえで、必要に応じて処理してください。”を印字する。 |
| 支給停止事由 | 「若年停止」、「三者損賠」、「前払一時金受領」のいずれかを印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（９桁）を印字する。<br>遺族又は特別遺族の場合は、年金証書番号と枝番号を印字する。 |
| 支払権者氏名 | 支払権者氏名を印字する。 |
| 解除者生年月日 | 若年停止の場合、解除予定者の生年月日を印字する。 |
| 支給停止解除予定年月 | 支給停止解除予定年月を印字する。 |
| 支給開始給付 | 支給開始される給付を全て印字する。<br>「年金」「特別年金」「援護費」「年金・特別年金・援護費」「年金・特別年金」「年金・援護費」「特別年金・援護費」 |
| 給付日数増減 | 次のうちいずれかの区分を印字する。<br>「増」「減」「変更なし」 |
| 支払先情報の明細（銀行振込） | |
| 郵便番号 | 支払権者の住所情報（郵便番号）を印字する。 |
| 住所 | 支払権者の住所情報（都道府県名＋住所）を印字する。 |
| 電話番号 | 支払権者の電話番号を印字する。 |
| 支払方法 | 支払方法コード及びコードに対応する名称を印字する。 |
| 金融機関番号 | 金融機関コード（７桁）を印字する。 |
| 金融機関名 | 金融機関名称を印字する。 |
| 店舗名 | 金融機関店舗名称を印字する。 |
| 預金の種類 | 預金種別のコード及びコードに対応する名称を印字する。 |
| 口座番号 | 口座番号を印字する。 |
| 支払先情報の明細（郵便振込、窓口現金） | |
| 郵便番号 | 支払権者の住所情報（郵便番号）を印字する。 |
| 住所 | 支払権者の住所情報（都道府県名＋住所）を印字する。 |
| 電話番号 | 支払権者の電話番号を印字する。 |
| 支払方法 | 支払方法コード及びコードに対応する名称を印字する。 |

| 項　　目 | | 内　　容 |
|---|---|---|
| | 郵便局コード | 郵便局コードを印字する。 |
| | 郵便局名 | 郵便局名称を印字する。 |
| 支払先情報の明細（郵便振込） | | |
| | 記号番号 | 預金通帳の記号番号を印字する。 |
| 支払先情報の明細（外国払い） | | |
| | 住所 | 外国名及び外国住所を印字する。 |
| | 金融機関名 | 金融機関名称を印字する。 |

ハ　出力時期

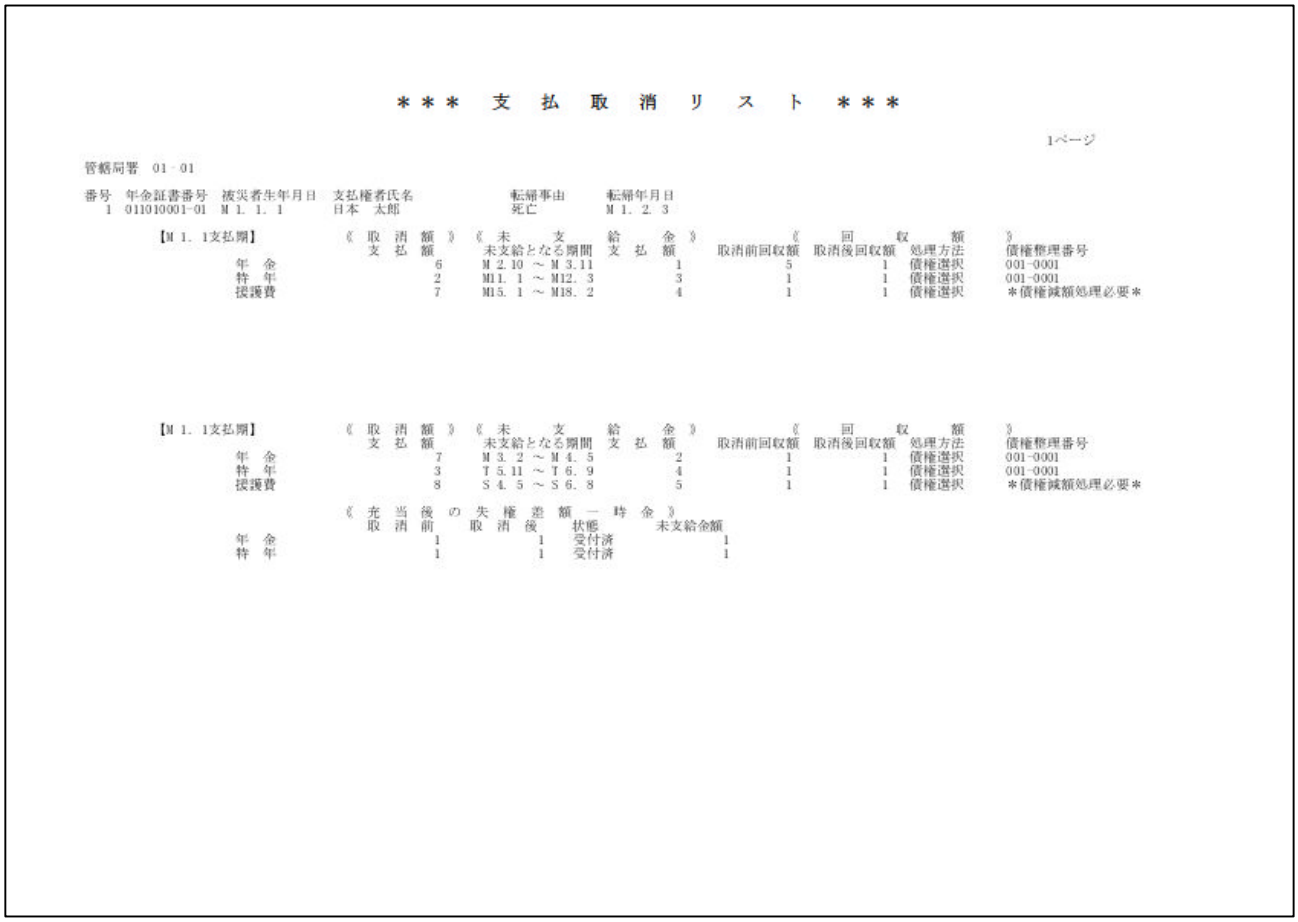
支払期処理日の翌開庁日に出力する。

ニ　事務処理

必要に応じて口座変更等の処理を行うこと。

(4)　支払取消リスト

イ　様式



＊＊＊　支　払　取　消　リ　ス　ト　＊＊＊

1ページ

管轄局署　01－01

| 番号 | 年金証書番号 | 被災者生年月日 | 支払権者氏名 | 転帰事由 | 転帰年月日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 0110100001-01 | M 1. 1. 1 | 日本　太郎 | 死亡 | M 1. 2. 3 |

【M 1. 1支払期】

| | 《取消額》 | 《未支給金》 | | 《回収額》 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 支払額 | 未支給となる期間 | 支払額 | 取消前回収額 | 取消後回収額 | 処理方法 | 債権整理番号 |
| 年金 | 6 | M 2.10 ～ M 3.11 | 1 | 5 | 1 | 債権選択 | 001-0001 |
| 特年 | 2 | M11. 1 ～ M12. 3 | 3 | 1 | 1 | 債権選択 | 001-0001 |
| 援護費 | 7 | M15. 1 ～ M18. 2 | 4 | 1 | 1 | 債権選択 | ＊債権減額処理必要＊ |

【M 1. 1支払期】

| | 《取消額》 | 《未支給金》 | | 《回収額》 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 支払額 | 未支給となる期間 | 支払額 | 取消前回収額 | 取消後回収額 | 処理方法 | 債権整理番号 |
| 年金 | 7 | M 3. 2 ～ M 4. 5 | 2 | 1 | 1 | 債権選択 | 001-0001 |
| 特年 | 3 | T 5.11 ～ T 6. 9 | 4 | 1 | 1 | 債権選択 | 001-0001 |
| 援護費 | 8 | S 4. 5 ～ S 6. 8 | 5 | 1 | 1 | 債権選択 | ＊債権減額処理必要＊ |

| | 《充当後の失権差額一時金》 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 取消前 | 取消後 | 状態 | 未支給金額 |
| 年金 | 1 | 1 | 受付済 | 1 |
| 特年 | 1 | 1 | 受付済 | 1 |

ロ　印字内容

支払取消の入力されたものについて、未支給金や失権差額一時金の情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 処理年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 番号 | 1から連番に印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（9桁）を印字する。<br>遺族又は特別遺族の場合は、年金証書番号と枝番号を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 支払権者氏名 | 支払権者氏名を印字する。 |
| 転帰事由 | 転帰事由コードに対応した名称を印字する。 |
| 転帰年月日 | 転帰年月日を印字する。 |
| 支払期年月 | 支払取消入力をした支払期年月を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 取消・支払額<br>〈年金〉〈特年〉〈援護費〉 | 支払取消した支払額を年金、特別年金、援護費の別に印字する。 |
| 未支給期間<br>〈年金〉〈特年〉〈援護費〉 | 未支給となっている期間を年金、特別年金、援護費の別に印字する。 |
| 未支給・支払額<br>〈年金〉〈特年〉〈援護費〉 | 未支給となっている支払額を年金、特別年金、援護費の別に印字する。 |
| 取消前・回収額<br>〈年金〉〈特年〉〈援護費〉 | 支払取消前の回収額を年金、特別年金、援護費の別に印字する。 |
| 取消後・回収額<br>〈年金〉〈特年〉〈援護費〉 | 支払取消後の回収額を年金、特別年金、援護費の別に印字する。 |
| 処理方法<br>〈年金〉〈特年〉〈援護費〉 | 回収額の処理方法を年金、特別年金、援護費の別に印字する。<br>「債権選択」「債務者登録済」「債権管理済」「保留」「債務者未登録」 |
| 債権整理番号<br>〈年金〉〈特年〉〈援護費〉 | 債権整理番号を年金、特別年金、援護費の別に印字する。 |
| 減額メッセージ | 債権減額処理が必要な場合は、「＊債権減額処理必要＊」を印字する。 |
| 取消前・失権差額一時金<br>〈年金〉〈特年〉 | 支払取消前の充当後失権差額一時金を年金、特別年金の別に印字する。 |
| 取消後・失権差額一時金<br>〈年金〉〈特年〉 | 支払取消後の充当後失権差額一時金を年金、特別年金の別に印字する。 |
| 状態<br>〈年金〉〈特年〉 | 失権差額一時金の請求状態を年金、特別年金の別に印字する。<br>「未請求」「受付済」「登記済」 |
| 未支給金額<br>〈年金〉〈特年〉 | 未支給の失権差額一時金を年金、特別年金の別に印字する。 |

ハ　出力時期

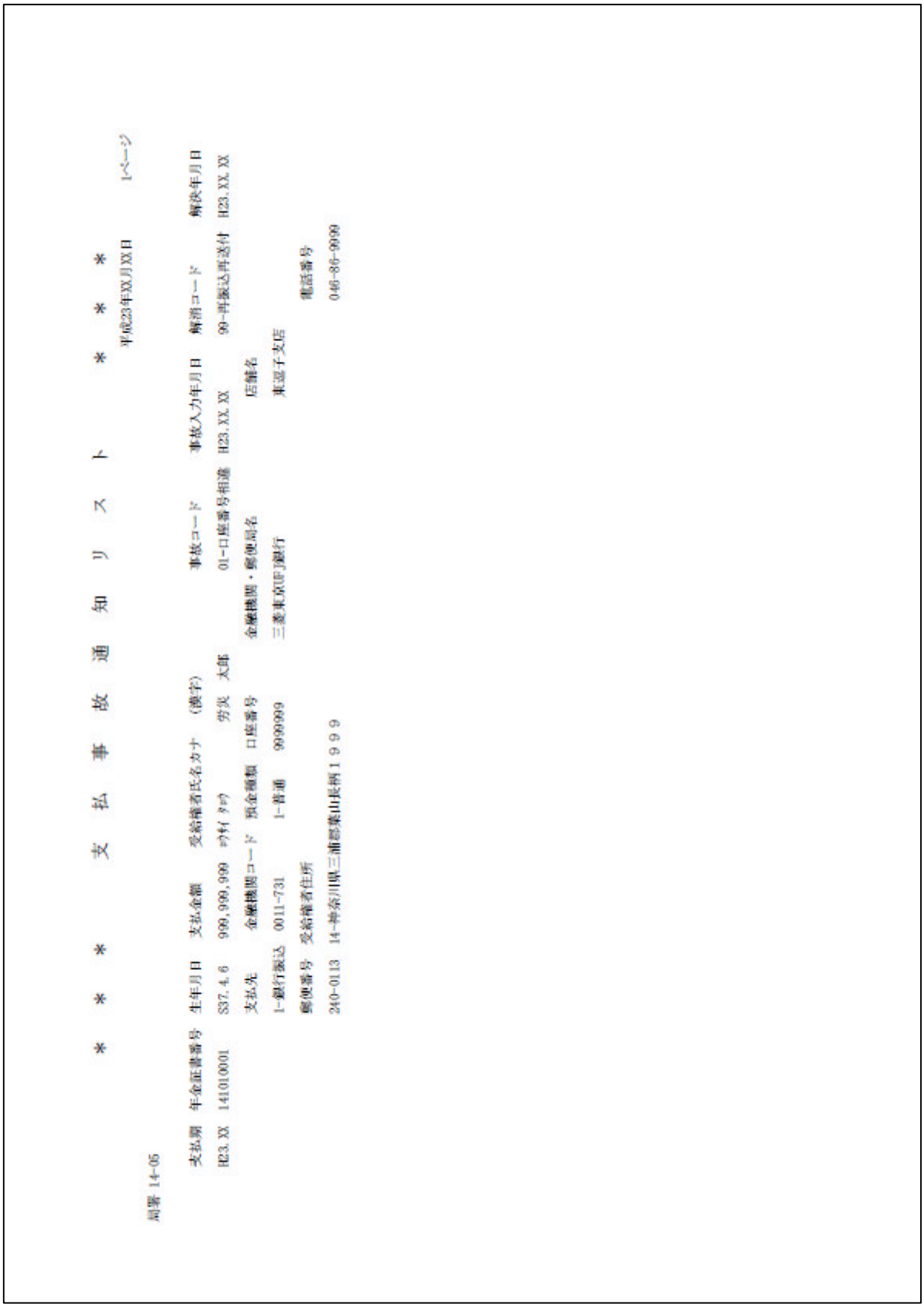
随時出力する。

ニ　事務処理

支払取消を行ったものについて、未支給金額・回収額・充当後の失権差額一時金額を確認すること。

(5) 支払事故通知リスト

イ　様式



局署 14-05

＊＊＊＊　支払事故通知リスト　＊＊＊＊　1ページ

平成23年XX月XX日

| 支払期 | 年金証書番号 | 生年月日 | 支払金額 | 受給権者氏名カナ | (漢字) | 事故コード | 事故入力年月日 | 解消コード | 解決年月日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H23.XX | 1410100001 | S37.4.6 | 999,999,999 | ﾛｳｾｲ ﾀﾛｳ | 労災　太郎 | 01-口座番号相違 | H23.XX.XX | 99-再振込再送付 | H23.XX.XX |

支払先　金融機関コード　預金種類　口座番号　金融機関・郵便局名　店舗名

1-銀行振込　0011-731　1-普通　9999999　三菱東京UFJ銀行　東逗子支店

郵便番号　受給権者住所　電話番号

240-0113　14-神奈川県三浦郡葉山長柄１９９９　046-86-9999

ロ　印字内容

支払先変更等のオンライン入力と関連する支払事故登録情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 処理年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 支払期年月 | 支払事故が発生した支払期年月を印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（9桁）を印字する。<br>遺族又は特別遺族の場合は、年金証書番号と枝番号を印字する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 支払金額 | 支払事故となった支払金額を印字する。 |
| 受給権者氏名カナ | 支払権者氏名カナを印字する。 |
| 受給権者氏名漢字 | 支払権者氏名漢字を印字する。 |
| 事故コード | 支払事故事由のコード及びコードに対応する名称を印字する。<br>支払事故事由が登録されていない場合は、「事故取消」を印字する。 |
| 事故入力年月日 | 支払事故を入力した日を印字する。 |
| 解消コード | 支払事故が解消されている場合、支払事故解消事由のコード及びコードに対応する名称を印字する。 |
| 解決年月日 | 支払事故が解消されている場合、支払事故解決日を印字する。 |
| 支払先 | 支払先コード及びコードに対応する名称を印字する。 |
| 金融機関コード | 支払先に応じ、「金融機関コード」又は「郵便局コード」又は空白を印字する。 |
| 預金種類 | 口座振込の場合、預金種類のコード及びコードに対応する名称を印字する。 |
| 口座番号 | 支払先に応じ、「口座番号」又は「預金通帳の記号番号」又は空白を印字する。 |
| 金融機関・郵便局名 | 支払先に応じ、「金融機関名」又は「郵便局名」又は空白を印字する。 |
| 店舗名 | 支払先に応じ、店舗名又は空白を印字する。 |
| 郵便番号 | 国内払いの場合、支払権者の郵便番号を印字する。 |
| 受給権者住所 | 国内払いの場合、支払権者の住所情報（都道府県コード＋住所）を印字する。 |
| 電話番号 | 国内払いの場合、支払権者の電話番号を印字する。 |

ハ　出力時期

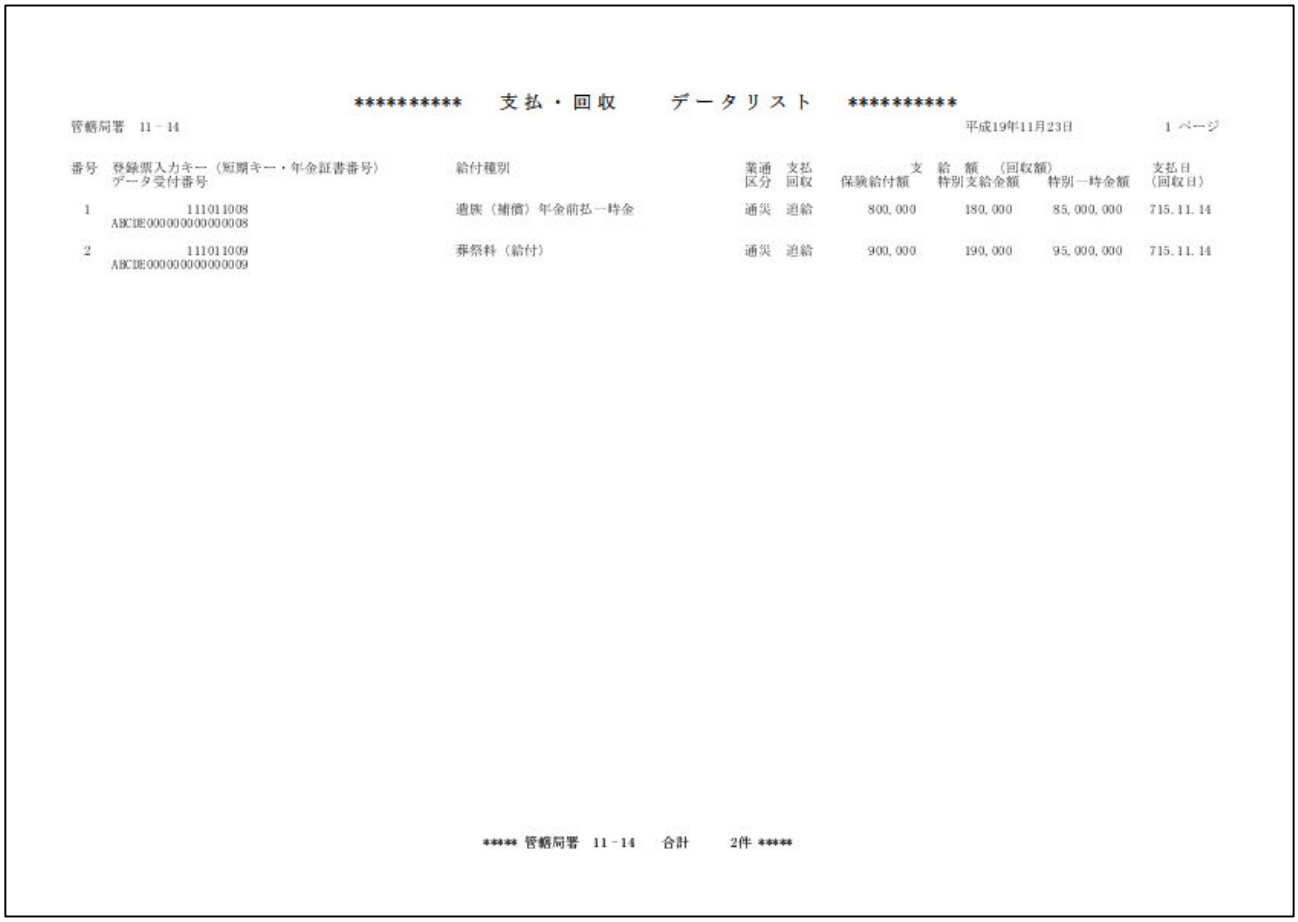
随時出力する。

ニ　事務処理

支払事故の内容を確認し、支払事故を解消すること。

(6) 支払回収データリスト

イ　様式



********** 支払・回収　データリスト **********

管轄局署　11－14　　平成19年11月23日　　1 ページ

| 番号 | 登録票入力キー（短期キー・年金証書番号）<br>データ受付番号 | 給付種別 | 業通区分 | 支払回収 | 支給額（回収額）<br>保険給付額 | 特別支給金額 | 特別一時金額 | 支払日（回収日） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 11101008<br>ABCDE00000000000008 | 遺族（補償）年金前払一時金 | 通災 | 追給 | 800,000 | 180,000 | 85,000,000 | 715.11.14 |
| 2 | 11101009<br>ABCDE00000000000009 | 葬祭料（給付） | 通災 | 追給 | 900,000 | 190,000 | 95,000,000 | 715.11.14 |

***** 管轄局署　11－14　　合計　　2件 *****

ロ　印字内容

一時金の支払・追給・回収の詳細情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 処理年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 番号 | 1から連番に印字する。 |
| 登録票入力キー（短期キー・年金証書番号） | ４キー入力の場合、”「労働保険番号」－「傷病年月日（和暦）」－「被災者生年月日（和暦）」－「被災者氏名カナ」”を印字する。<br>年金証書番号入力の場合、「年金証書番号（９桁）」を印字する。 |
| 給付種別 | 一時金の請求種別を印字する。 |
| 業通区分 | 業務災害の場合は「業通」、通勤災害の場合は「通災」を印字する。 |

| 項　　目 | | 内　　容 |
|---|---|---|
| 支払回収 | | 「支払」「追給」「回収」のいずれかを印字する。 |
| 支給額（回収額） | | |
| | 保険給付額 | 保険給付の支給額又は回収額を印字する。 |
| | 特別支給金額 | 特別支給金の支給額又は回収額を印字する。 |
| | 特別一時金額 | 特別一時金の支給額又は回収額を印字する。 |
| 支払日（回収日） | | 支払日又は回収日を印字する。 |
| 合計件数 | | 管轄局署及び合計件数を印字する。 |

ハ　出力時期

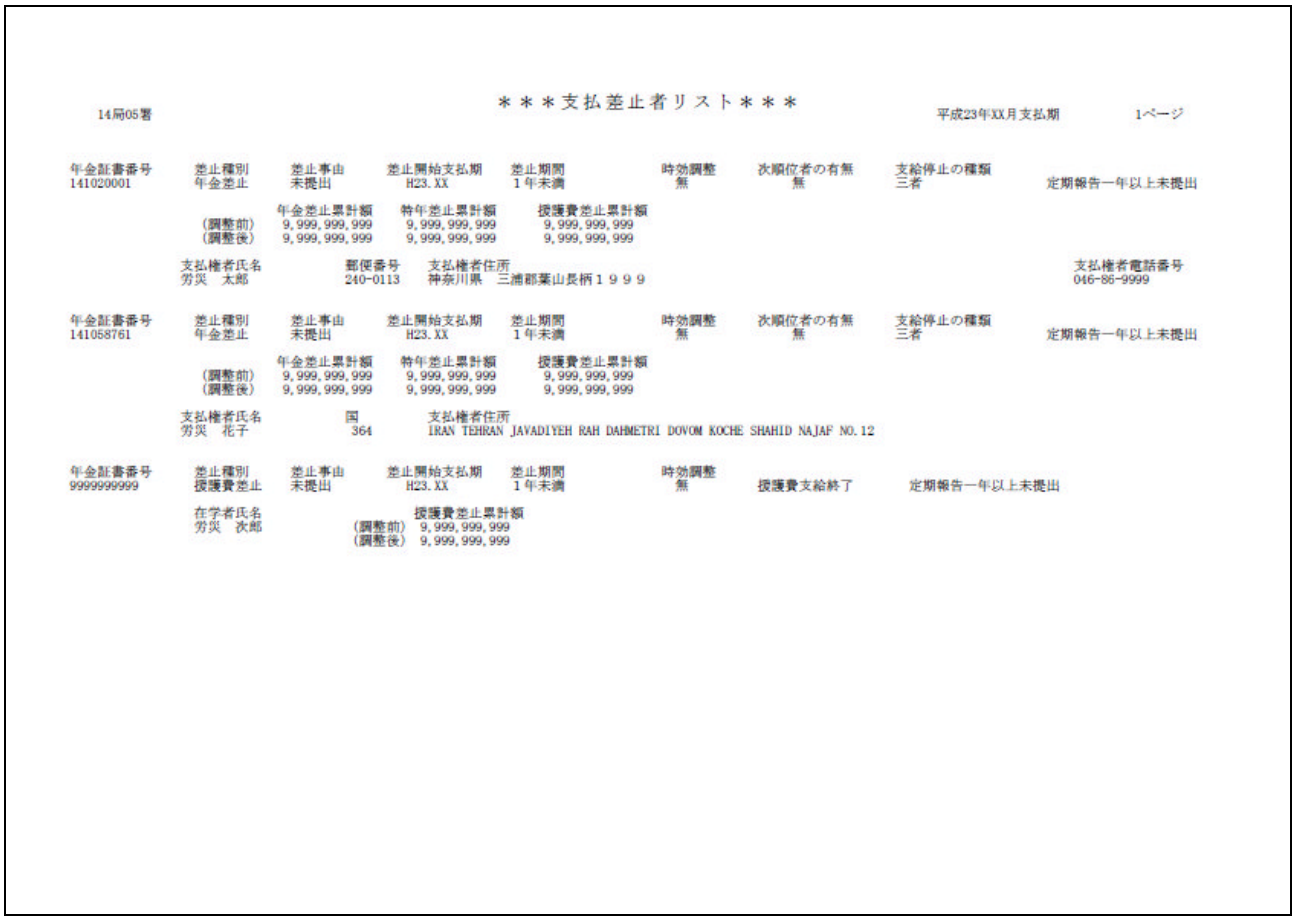
毎月初に出力する。

ニ　事務処理

給付種別支払額報告書作成の際の参考資料とすること。

(7) 支払差止者リスト（署用）

イ　様式



＊＊＊支払差止者リスト＊＊＊

14局05署　　平成23年XX月支払期　　1ページ

| 年金証書番号 | 差止種別 | 差止事由 | 差止開始支払期 | 差止期間 | 時効調整 | 次順位者の有無 | 支給停止の種類 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 141020001 | 年金差止 | 未提出 | H23.XX | 1年未満 | 無 | 無 | 三者 | 定期報告一年以上未提出 |

| | 年金差止累計額 | 特年差止累計額 | 授護費差止累計額 |
|---|---|---|---|
| （調整前） | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 |
| （調整後） | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 |

| 支払権者氏名 | 郵便番号 | 支払権者住所 | 支払権者電話番号 |
|---|---|---|---|
| 労災　太郎 | 240-0113 | 神奈川県　三浦郡葉山長柄１９９９ | 046-86-9999 |

| 年金証書番号 | 差止種別 | 差止事由 | 差止開始支払期 | 差止期間 | 時効調整 | 次順位者の有無 | 支給停止の種類 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 141058761 | 年金差止 | 未提出 | H23.XX | 1年未満 | 無 | 無 | 三者 | 定期報告一年以上未提出 |

| | 年金差止累計額 | 特年差止累計額 | 授護費差止累計額 |
|---|---|---|---|
| （調整前） | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 |
| （調整後） | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 |

| 支払権者氏名 | 国 | 支払権者住所 |
|---|---|---|
| 労災　花子 | 364 | IRAN TEHRAN JAVADIYEH RAH DAHMETRI DOVOM KOCHE SHAHID NAJAF NO.12 |

| 年金証書番号 | 差止種別 | 差止事由 | 差止開始支払期 | 差止期間 | 時効調整 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9999999999 | 授護費差止 | 未提出 | H23.XX | 1年未満 | 無 | 授護費支給終了 | 定期報告一年以上未提出 |

| 在学者氏名 | 授護費差止累計額 | |
|---|---|---|
| 労災　次郎 | （調整前） | 9,999,999,999 |
| | （調整後） | 9,999,999,999 |

ロ　主な出力内容

支払差止者の詳細情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 処理年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 年金差止の明細 | |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（9桁）を印字する。<br>遺族又は特別遺族で転給未処理中以外の場合は、年金証書番号と枝番号を印字する。 |
| 差止種別 | 「年金差止」を印字する。 |
| 差止事由 | 所在不明を理由とする支払差止の場合は「所在不明」、定期報告未提出を理由とする支払差止の場合は「未提出」を印字する。 |
| 差止開始支払期 | 支払差止開始支払期年月を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 差止期間 | 支払差止期間を印字する。<br>「1 年未満」「1 年～2 年未満」「2 年～3 年未満」「3 年～4 年未満」「4 年～5 年未満」「5 年～10 年未満」「10 年以上」 |
| 時効調整 | 時効調整ありの場合は「有」、時効調整なしの場合は「無」を印字する。 |
| 次順位者の有無 | 遺族又は特別遺族の場合に、次順位者が存在する場合は「有」、存在しない場合は「無」を印字する。 |
| 支給停止の種類 | 支給停止の種類を印字する。<br>「三者」「若年」「前払」<br>種類が複数の場合は以下のように印字する。<br>「前払・三者」「若年・前払」「若年・前払・三者」 |
| 定期報告未提出メッセージ | 定期報告未提出を理由とする支払差止において、1 年以上定期報告がない場合は、「定期報告一年以上未提出」を印字する。 |
| 年金差止累計額（調整前） | 時効調整前の年金差止累計額を印字する。 |
| 特年差止累計額（調整前） | 時効調整前の特別年金差止累計額を印字する。 |
| 援護費差止累計額（調整前） | 時効調整前の援護費差止累計額を印字する。 |
| 年金差止累計額（調整後） | 時効調整後の年金差止累計額を印字する。 |
| 特年差止累計額（調整後） | 時効調整後の特別年金差止累計額を印字する。 |
| 援護費差止累計額（調整後） | 時効調整後の援護費差止累計額を印字する。 |
| 援護費差止の明細 | |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（９桁）を印字する。<br>遺族又は特別遺族で転給未処理中以外の場合は、年金証書番号と枝番号を印字する。 |
| 差止種別 | 「援護費差止」を印字する。 |
| 差止事由 | 「未提出」を印字する。 |
| 差止開始支払期 | 支払差止開始支払期年月を印字する。 |
| 差止期間 | 支払差止期間を印字する。<br>「1 年未満」「1 年～2 年未満」「2 年～3 年未満」「3 年～4 年未満」「4 年～5 年未満」「5 年～10 年未満」「10 年以上」 |
| 時効調整 | 時効調整ありの場合は「有」、時効調整なしの場合は「無」を印字する。 |
| 支給終了メッセージ | 援護費の支給が終了している場合は、「援護費支給終了」を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 定期報告未提出メッセージ | 1年以上定期報告がない場合は、「定期報告一年以上未提出」を印字する。 |
| 在学者氏名 | 援護費資格者氏名を印字する。 |
| 援護費差止累計額（調整前） | 時効調整前の援護費差止累計額を印字する。 |
| 住所情報の明細（国内払い） | |
| 支払権者氏名 | 支払権者氏名を印字する。但し、転給未処理中の場合は「転給未処理」を印字する。 |
| 郵便番号 | 支払権者の住所情報（郵便番号）を印字する。但し、転給未処理中の場合は何も印字しない。 |
| 支払権者住所 | 支払権者の住所情報（都道府県名＋住所）を印字する。但し、転給未処理中の場合は何も印字しない。 |
| 支払権者電話番号 | 支払権者の電話番号を印字する。但し、転給未処理中の場合は何も印字しない。 |
| 住所情報の明細（外国払い） | |
| 支払権者氏名 | 支払権者氏名を印字する。但し、転給未処理中の場合は「転給未処理」を印字する。 |
| 国 | 支払権者の外国コードを印字する。 |
| 支払権者住所 | 支払権者の住所を印字する。 |

ハ　出力時期

支払期処理日の翌開庁日に出力される。

ニ　事務処理

支払差止者の管理資料として活用し、必要に応じて処理すること。

(8) 決議書破棄リスト（署用）

イ　様式

＊＊＊＊　決議書破棄リスト　＊＊＊＊

平成24年 7月25日　　1ページ

管轄局署　13－03

☆次の決議書を破棄しましたので
データ登記処理を再度行ってください。

| | |
|---|---|
| 年金証書番号 | 135120009 |
| 決議番号 | 001　（訂正番号　　） |
| 被災者氏名 | ﾄﾞｳｼﾞ ﾔｽｵ |
| 請求書等名 | 遺族年金支給請求書 |
| 労働保険番号 | 13103009084000 |
| 被災者生年月日 | 昭和28年12月12日 |
| 傷病年月日 | 平成24年 6月15日 |
| 請求人氏名 | ﾄﾞｳｼﾞ ﾔｽｺ |
| 受付年月日 | 平成24年 7月23日 |
| 決議書名 | 支給決定決議書 |
| 決議書出力年月日 | 平成24年 7月23日 |
| 決議書出力回数 | 1回 |

ロ　主な出力内容

一時金の支払・追給・回収の詳細情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 出力年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| メッセージ | “☆次の決議書を破棄しましたのでデータ登記処理を再度行ってください。”を印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（9桁）を印字する。 |
| 決議番号 | 決議番号を印字する。 |
| 訂正番号 | 訂正番号を印字する。「00」の場合は印字しない。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名カナを印字する。 |
| 請求書等名 | 請求書等の名称を印字する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 請求人氏名 | 請求人氏名を印字する。 |
| 受付年月日 | 受付年月日を印字する。 |
| 決議書名 | 決議書の名称を印字する。 |
| 決議書出力年月日 | 決議書の出力年月日を印字する。 |
| 決議書出力回数 | 決議書の出力回数を印字する。 |

ハ　出力時期

支払期及びスライド率等の改定時に出力する。

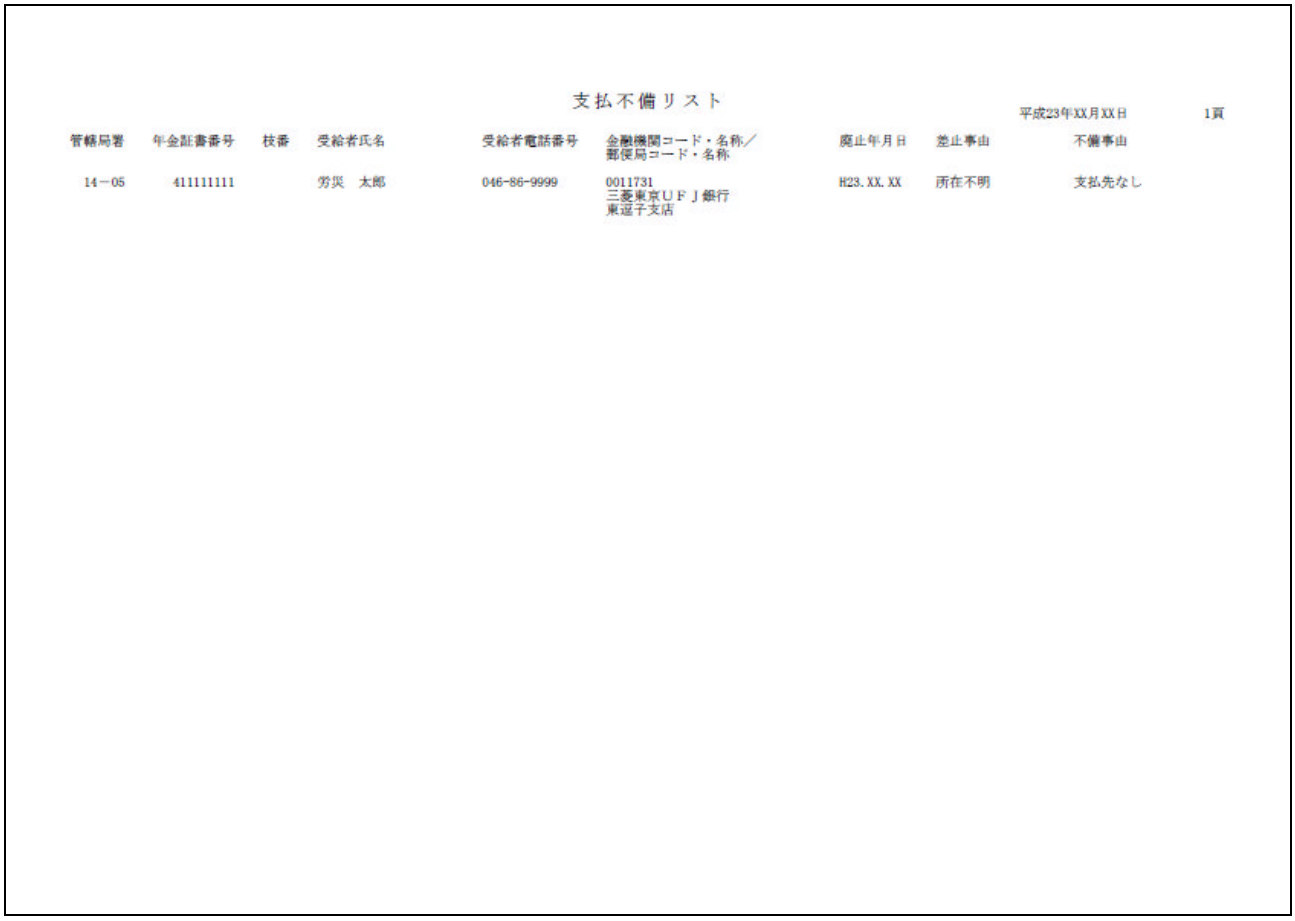
ニ　事務処理

受付処理のみ終了した状態（訂正処理においては履歴検索が終了した状態）に戻っているため、データ登記処理から再度入力し直すこと。

なお、その際、必ず破棄された決議書の出力時に使用した帳票（破棄された決議書のデータ受付番号の印書されている帳票）を使用すること。

(9) 支払不備リスト（局用）

イ　様式



支払不備リスト

平成23年XX月XX日　1頁

| 管轄局署 | 年金証書番号 | 枝番 | 受給者氏名 | 受給者電話番号 | 金融機関コード・名称／郵便局コード・名称 | 廃止年月日 | 差止事由 | 不備事由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 14－05 | 411111111 | | 労災　太郎 | 046-86-9999 | 0011731<br>三菱東京ＵＦＪ銀行<br>東逗子支店 | H23. XX. XX | 所在不明 | 支払先なし |

ロ　主な出力内容

支払先の情報に不備があるものの詳細情報を印字する。

【出力項目の説明】

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 処理年月日 | 本処理を行った年月日を印字する。 |
| ページ | １から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 対象データの管轄局署を印字する。 |
| 口座番号変更区分 | 口座番号変更ありの場合、年金証書番号の左に「＊」を印字する。口座番号変更なしの場合、何も印字しない。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（９桁）を印字する。 |
| 枝番 | 遺族又は特別遺族の場合は、年金証書番号と枝番号を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 転給未処理中以外の場合、支払権者氏名を印字する。 |
| 受給者電話番号 | 転給未処理中以外の場合、支払権者の電話番号を印字する。 |
| 金融機関コード・名称<br>郵便局コード・名称 | 支払不備事由が金融機関が存在しない又は廃止の場合に、「金融機関コード」「郵便局コード」のいずれかを印字する。廃止の場合は名称も印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 廃止年月日 | 支払不備事由が金融機関廃止の場合、「廃止年月日」を印字する。 |
| 差止事由 | 所在不明による差止中の場合は、「所在不明」、定期報告未提出による差止中の場合は、「定期報告未提出」を印字する。 |
| 不備理由 | 支払不備事由を印字する。<br>「支払先なし」「金融機関なし」「金融機関廃止」「転給未処理」 |

ハ　出力時期

支払期処理日の２・４開庁日前に出力する。

ニ　事務処理

必ず調査を行い支払不備を解消すること。

## 5 定期報告関係リスト

【定期報告関係リスト一覧】

| No. | リスト名<br>(掲載ページ) | 内　　容 | 出力<br>時期 | 配信<br>方法 |
|---|---|---|---|---|
| (1) | 所在不明差止者リスト<br>(Ⅳ-5-2 ページ) | 所在不明による年金等の差止者を出力する。 | 年 2 回<br>(定期報告書作成時) | コマンド配信 |
| (2) | 未提出状況リスト<br>(Ⅳ-5-4 ページ) | 定期報告の提出のなかった者（定期報告書未提出者）を出力する。 | 定期報告提出期間前後<br>(5 月～8 月・9 月～1 月) | 定期報告書未提出状況リスト配信要求登録画面より出力要求 |
| (3) | 住基突合不備結果リスト<br>(Ⅳ-5-6 ページ) | 障害（補償）年金定期報告対象者のうち住基ネットでの生存確認が行えなかった者を出力する。 | 年 2 回<br>(定期報告書作成時) | コマンド配信 |

(1) 所在不明差止者リスト

イ　様式



10月期　＊＊　所　在　不　明　差　止　者　リ　ス　ト　＊＊　平成23年XX月XX日　1ページ

01-01

| 番号 | 年金証書番号 | 枝番 | カナ氏名 | 受給権者氏名 | 差止・停止 | 年月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 141000001 | | ﾛｳｾｲ ﾀﾛｳ | 労災　太郎 | 支払停止 | 平成23年XX月 |
| 2 | 141500001 | | ﾛｳｾｲ ｼﾞﾛｳ | 労災　次郎 | 支給停止 | 平成23年XX月 |

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 出力時期 | 6月期又は10月期を印字する。 |
| 処理年月日 | 所在不明差止者リストを出力した日付を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署コードを印字する。 |
| 番号 | 1から連番に印字する。 |
| 年金証書番号 | 受給権者の年金証書番号を印字する。 |
| 枝番 | 遺族又は特別遺族の場合、受給権者枝番号を印字する。 |
| カナ氏名 | 受給権者のカナ氏名を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 受給権者の漢字氏名を印字する。ただし、外国払いの場合は、外国氏名を印字する。 |
| 差止・停止 | 「支払差止」又は「支給停止」を印字する。 |
| 年月 | 支払差止又は支給停止の開始年月を印字する。 |

ハ　出力時期

年２回出力する。（定期報告書作成時）

ニ　事務処理

所在不明による差止者の管理資料として活用すること。

(2) 未提出状況リスト

イ　様式



＊＊＊　定期報告書未提出者リスト　＊＊＊　出力日付：平成23年XX月XX日　1ページ

27-05

| 番号 | 年金証書番号 | 枝番 | 受給権者氏名 | 電話番号 | 種別 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 271010011 | | 労災　太郎 | 06-9999-9999 | 年金 | 支給停止 |

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 出力日付 | 定期報告書未提出者リストを出力した日付を印字する。 |
| ページ | 1 から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署コードを印字する。 |
| 番号 | 1 から連番に印字する。 |
| 年金証書番号 | 受給権者の年金証書番号を印字する。 |
| 枝番 | 年金未提出者で遺族又は特別遺族の場合、受給権者枝番号を印字する。援護費未提出者の場合は、援護費資格者枝番号を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 受給権者の漢字氏名を印字する。ただし、外国払いの場合は外国氏名、援護費資格者の場合は援護費資格者氏名（カナ）を印字する。 |
| 電話番号 | 電話番号を印字する。ただし、外国払いの場合は印字しない。 |
| 種別 | 「年金」又は「援護費」を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 備考 | 年金の場合、以下のいずれかを印字する。<br>「支給停止」<br>「未提出差止」<br>援護費の場合、以下のいずれかを印字する。<br>「未提出差止」<br>「中断中」<br>「支給終了」 |

ハ　出力時期

随時（定期報告書未提出状況リスト配信要求登録画面で配信要求した翌開庁日）に出力する。ただし、所在不明による差止者については出力しない。

ニ　事務処理

定期報告書未提出者に対し、提出を促すための管理資料として活用すること。

(3) 住基突合不備結果リスト

イ　様式



10月期　　＊＊　住基突合不備結果リスト　＊＊　　平成23年 8月 1日　　1ページ

01-02

| 番号 | 年金証書番号 | 氏名 | 生年月日 | 傷病年月日 | 住民票コード | 結果の別 | 住基ネット上の住民票コード |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 013110003 | ﾛｳｷｲ ﾀﾛｳ | 昭和45年10月13日 | 平成22年11月23日 | 00000000019 | 突合対象無し | 1999999999 |

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 定期報告時期 | 6月期又は10月期を印字する。 |
| 出力日付 | 住基突合不備結果リストを出力した日付を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署コードを印字する。 |
| 番号 | 1から連番に印字する。 |
| 年金証書番号 | 受給権者の年金証書番号を印字する。 |
| 氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |
| 生年月日 | 受給権者の生年月日を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 住民票コード | システムに登録されている住民票コードを印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 結果の別 | 以下のいずれかを印字する。<br>「住民票コード相違」<br>「生存状況：死亡」<br>「生存状況：不明」<br>「突合対象無し」<br>「住民票コード誤り」<br>「指定コード誤り」<br>「レコード不正」<br>「期間指定誤り」 |
| 住基ネット上の住民票コード | 結果の別が「住民票コード相違」の場合、住基ネット上の住民票コードを印字する。 |

ハ　出力時期

年 2 回出力する。(定期報告書作成時)。

ニ　事務処理

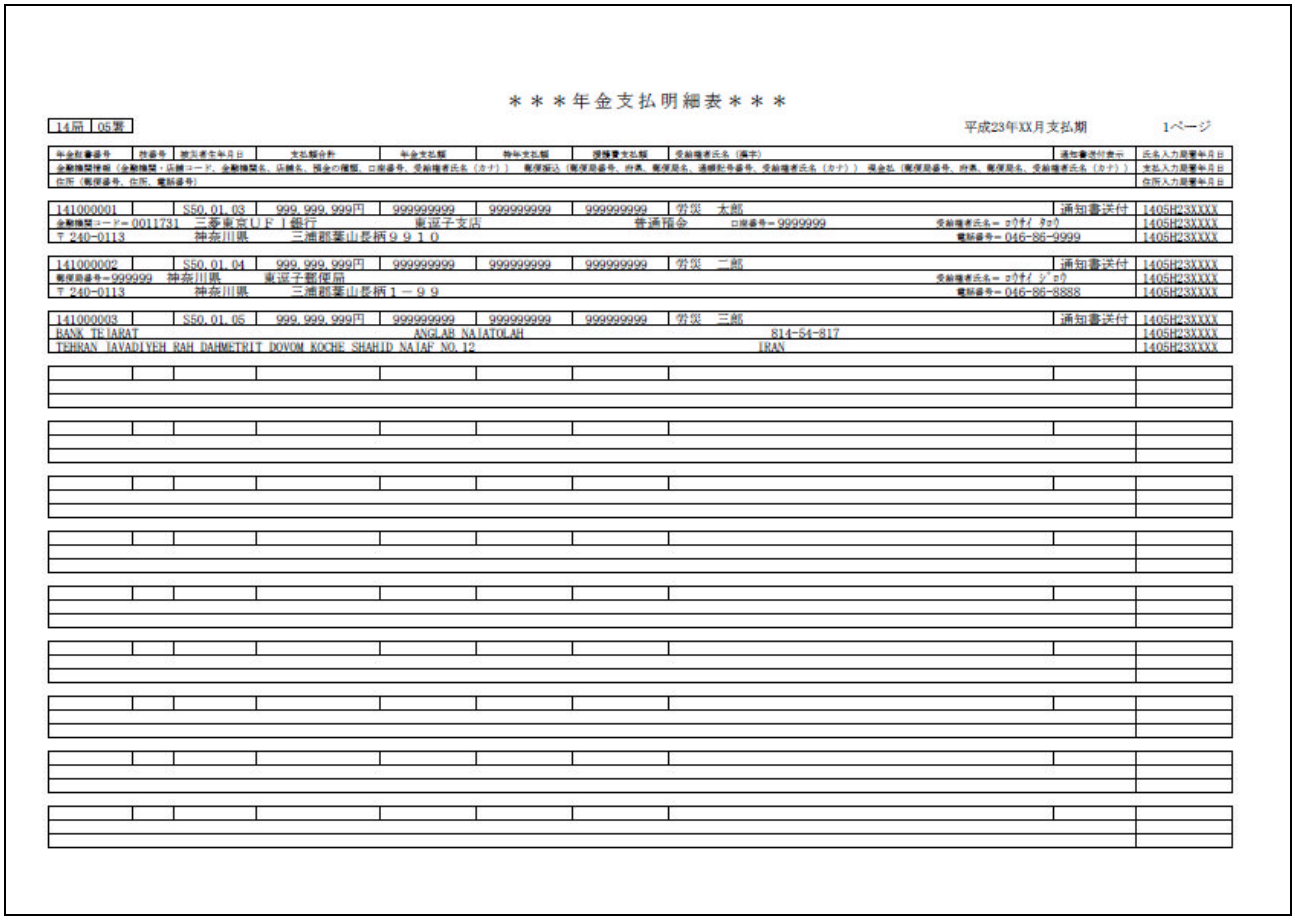
障害（補償）年金定期報告対象者のうち、住基ネットでの生存確認が行えなかった対象者を確認する。

## 6 局署管理資料

| No. | リスト名<br>(掲載ページ) | 内　　容 | 出力時期 | 出力先 | 配信方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| (1) | 年金支払明細表<br>(Ⅳ-6-2 ページ) | 年金の支払明細について、支払額、金融機関情報等を印字する。 | 支払期 | 署 | コマンド配信 |
| (2) | 年金額等変更リスト<br>(Ⅳ-6-5 ページ) | 年金額等の変更内容について、給付基礎日額、年金年額等を印字する。 | ８月中旬<br>（スライド率・最低保障額等改定時) | 署 | コマンド配信 |
| (3) | 局署別年金基本権件数・支払額リスト（局用）<br>(Ⅳ-6-7 ページ) | 各地方局の局署別年金基本権件数及び支払額等を印字する。 | 支払期 | 局 | コマンド配信 |
| (4) | 未処理事案リスト（局用）<br>(Ⅳ-6-9 ページ) | 各署の未処理事案を項目別に印字する。 | 月初<br>支払期 | 局 | コマンド配信 |
| (5) | 転帰者一覧表（局用）<br>(Ⅳ-6-12 ページ) | 各支払期の転帰者を管轄署別に印字する。 | 月初 | 局 | コマンド配信 |
| (6) | 支払差止者リスト（局用）<br>(Ⅳ-6-14 ページ) | 支払差止者を出力する。 | 支払期 | 局 | コマンド配信 |
| (7) | 援護費支給開始メッセージリスト<br>(Ⅳ-6-16 ページ) | 指定年齢に到達し、上級学校へ進学する可能性のある資格者を出力する。 | １月又は２月 | 署 | コマンド配信 |
| (8) | 援護費月額改定変更リスト（署用）<br>(Ⅳ-6-18 ページ) | 援護費月額改定処理により変更があった項目を出力する。 | 援護費月額改定時 | 署 | コマンド配信 |
| (9) | 援護費月額改定未支給金リスト（署用）<br>(Ⅳ-6-20 ページ) | 未支給金となった請求の内容を出力する。 | 援護費月額改定時 | 署 | コマンド配信 |

(1) 年金支払明細表

イ　様式



＊＊＊年金支払明細表＊＊＊

14局 05署　　平成23年XX月支払期　　1ページ

| 年金証書番号 | 枝番号 | 被災者生年月日 | 支払額合計 | 年金支払額 | 特別支払額 | 援護費支払額 | 受給権者氏名（漢字） | 通知書送付表示 | 氏名入力局署年月日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 金融機関情報（金融機関・店舗コード、金融機関名、店舗名、預金の種類、口座番号、受給権者氏名（カナ）） | | | | | | | 郵便振込（郵便局番号、府県、郵便局名、通帳記号番号、受給権者氏名（カナ）） | 現金払（郵便局番号、府県、郵便局名、受給権者氏名（カナ）） | 支払入力局署年月日 |
| 住所（郵便番号、住所、電話番号） | | | | | | | | | 住所入力局署年月日 |
| 141000001 | | S50.01.03 | 999,999,999円 | 999999999 | 999999999 | 999999999 | 労災　太郎 | 通知書送付 | 1405H23XXXX |
| 金融機関コード＝0011731　三菱東京ＵＦＪ銀行　東逗子支店　普通預金　口座番号＝9999999　受給権者氏名＝ﾛｳｻｲ ﾀﾛｳ | | | | | | | | | 1405H23XXXX |
| 〒240-0113　神奈川県　三浦郡葉山長柄９９１０　電話番号＝046-86-9999 | | | | | | | | | 1405H23XXXX |
| 141000002 | | S50.01.04 | 999,999,999円 | 999999999 | 999999999 | 999999999 | 労災　二郎 | 通知書送付 | 1405H23XXXX |
| 郵便局番号＝999999　神奈川県　東逗子郵便局　受給権者氏名＝ﾛｳｻｲ ｼﾞﾛｳ | | | | | | | | | 1405H23XXXX |
| 〒240-0113　神奈川県　三浦郡葉山長柄１－９９　電話番号＝046-86-8888 | | | | | | | | | 1405H23XXXX |
| 141000003 | | S50.01.05 | 999,999,999円 | 999999999 | 999999999 | 999999999 | 労災　三郎 | 通知書送付 | 1405H23XXXX |
| BANK TEJARAT　ANGLAR NAJATOLAH　814-54-817 | | | | | | | | | 1405H23XXXX |
| TEHRAN JAVADIYEH RAH DAHMETRIT DOYOM KOCHE SHAHID NAJAF NO.12　IRAN | | | | | | | | | 1405H23XXXX |

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局 | 管轄局番号を印字する。 |
| 管轄署 | 管轄署番号を印字する。 |
| 支払期年月 | 当期支払期年月を印字する。 |
| ページ | 1 から連番に印字する。 |
| 年金証書番号 | 当該管轄局署の管理下で、当期の支払対象となる年金証書番号（9 桁）を印字する。 |
| 枝番号 | 遺族（補償）年金、または特別遺族年金の場合、枝番号を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 支払額合計 | 当期支払額を印字する。<br>当期支払額が存在しない場合、以下のいずれかを印字する。<br>・死亡転帰<br>・転給未処理中<br>・行方不明<br>・年金担保融資中・停止 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| | ・若年停止中<br>・年金担保融資中・停止<br>・支払差止中<br>・年金担保融資中・差止<br>・民賠調整中<br>・年金担保融資中 |
| 年金支払額 | 年金支払額を印字する。<br>年金支払額が存在しない場合、以下のいずれかを印字する。<br>・三者調整中<br>・前払調整中 |
| 特年支払額 | 特年支払額を印字する。 |
| 援護費支払額 | 援護費支払額を印字する。<br>援護費が差止中の場合、以下を印字する。<br>・支払差止中 |
| 受給権者氏名（漢字） | 外国払以外の場合、受給権者の氏名（漢字）を印字する。<br>外国払の場合、受給者の氏名（外国）を印字する。 |
| 通知書出力表示 | 通知書が送付されている場合、以下を印字する。<br>・通知書送付 |
| 氏名入力局署年月日 | 氏名を入力した管轄局署の番号と、入力年月日を印字する。 |
| 金融機関情報 | ①銀行振込の場合、以下の情報を印字する。<br>・金融機関コード<br>・金融機関店舗コード<br>・金融機関名（漢字）<br>・金融機関店舗名（漢字）<br>・預金の種類（漢字）<br>・口座番号<br>・受給者氏名カナ<br>②郵便振込の場合、以下の情報を印字する。<br>・郵便局番号<br>・都道府県<br>・郵便局名<br>・通帳記号番号<br>・受給者氏名カナ<br>③現金払の場合、以下の情報を印字する。<br>・郵便局番号<br>・都道府県 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| | ・郵便局名<br>・受給者氏名カナ<br>④外国払の場合、以下の情報を印字する<br>・金融機関名（外国）<br>・金融機関店舗名（外国）<br>・口座番号（外国） |
| 支払入力局署年月日 | 支払情報を入力した管轄局署の番号と、入力年月日を印字する。 |
| 住所 | 以下の情報を印字する。<br>・郵便番号<br>・都道府県名<br>・受給者住所（漢字）※外国払以外の場合<br>・受給者電話番号※外国払以外の場合<br>・受給者住所（外国）※外国払の場合<br>・外国名※外国払の場合 |
| 住所入力局署年月日 | 住所情報を入力した管轄局署の番号と、入力年月日を印字する。 |

ハ　事務処理

管理資料として活用すること。

(2) 年金額等変更リスト

イ　様式

＊＊＊　年金額等変更リスト　＊＊＊

平成23年XX月XX日　　1ページ

01局01署　　スライド率改定

| 年金証書番号 | 枝番 | 受給者氏名 | 計算年齢 | スライド率(%) | 平均賃金 | 給付日数 | 給算出日法 | 年金給付基礎日額 | 基本年金年額 | 厚年年種別 | 厚調整率 | 厚年等年額 | 支給制限後年金年額 | 差額特出年法 | 算出基法 | 算定基礎日額 | 特別年金年額 | 差額特別年金年額 | 前年度変更理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 9 | 99 | 999999999 | | | | | | | |
| 999999999 | | 労災　太郎 | 50 | 99999 | 999999.99 | 999.99 | 99 | 99999 | 999999999 | 9 | 99 | 999999999 | 999999999 | 99 | 99 | 999999 | 999999999 | 999999999 | |

上段：当年度、下段：前年度

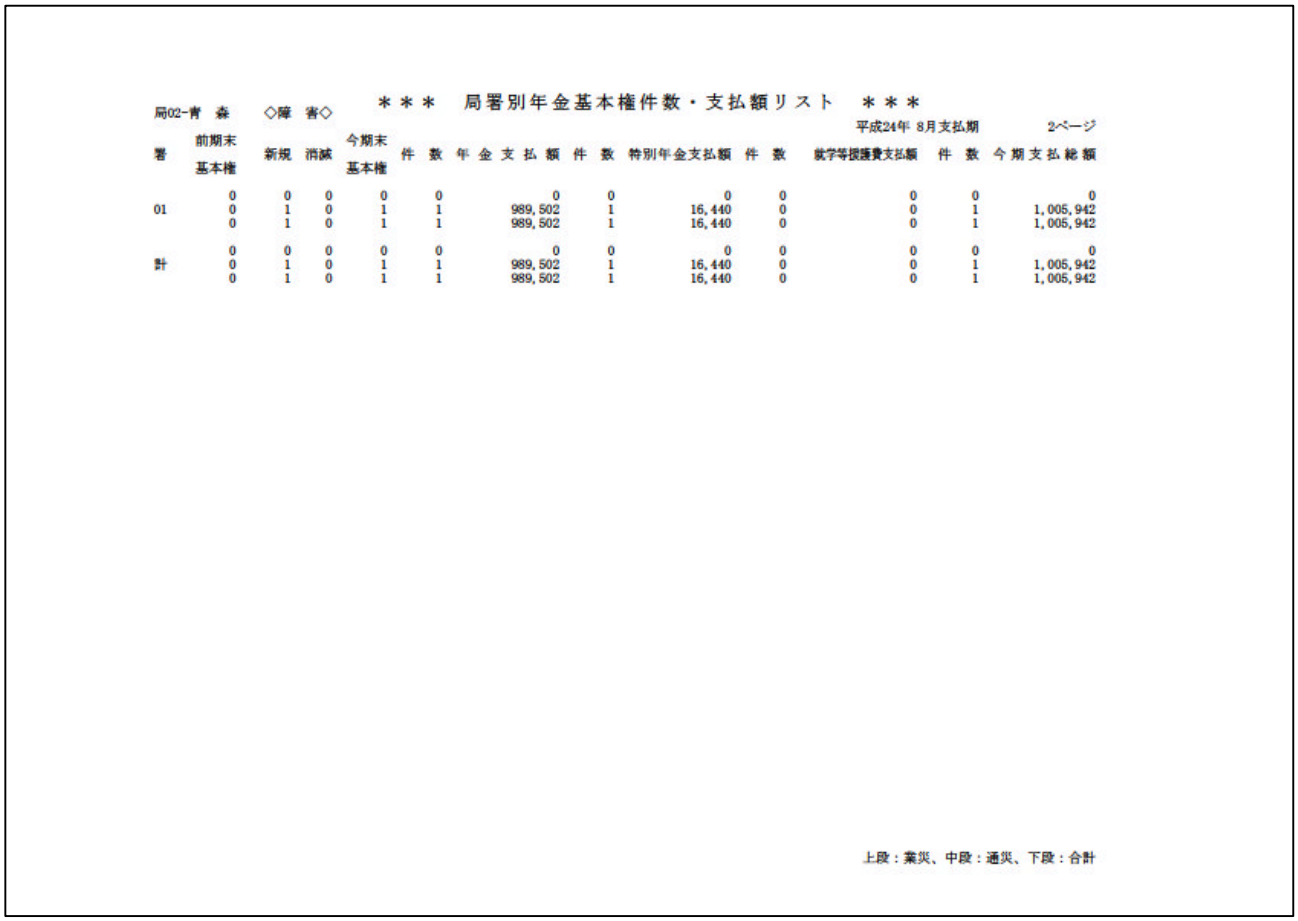
ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 処理年月日 | 処理年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局 | 管轄局番号を印字する。 |
| 管轄署 | 管轄署番号を印字する。 |
| 当年度変更理由 | 以下のいずれかの変更理由を印字する。<br>・スライド率改定<br>・最高・最低限度額改定<br>・最低保障額改定 |
| 年金証書番号 | スライド率等の改定等による年金年額に変更がある受給権者の年金証書番号（9桁）を印字する。 |
| 枝番号 | 遺族（補償）年金、又は特別遺族年金の場合、枝番号を印字する。 |
| 受給者氏名 | 受給者氏名を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 計算年齢 | 計算年齢を印字する。 |
| スライド率 | スライド率（%）を印字する。 |
| 平均賃金 | 平均賃金を印字する。 |
| 給付日数 | 給付日数を印字する。 |
| 給基日算出法 | 年金給付基礎日額算出方法を印字する。 |
| 年金給付基礎日額 | 年金給付基礎日額を印字する。 |
| 基本年金年額 | 基本年金年額を印字する。 |
| 厚年種別 | 厚年種別を印字する。 |
| 厚年調整率 | 厚年調整率を印字する。 |
| 厚年等年額 | 厚年等年額を印字する。 |
| 支給制限後年金年額 | 支給制限後年金年額を印字する。 |
| 差特年算出法 | 差額特別年金算出方法を印字する。 |
| 算基年算出法 | 算定基礎日額算出方法を印字する。 |
| 算定基礎日額 | 算定基礎日額を印字する。 |
| 特別年金年額 | 特別年金年額を印字する。 |
| 差額特別年金年額 | 差額特別年金年額を印字する。 |
| 前年度変更理由 | 以下のいずれかの前年度変更理由を印字する。<br>・スライド率改定<br>・最高・最低限度額改定<br>・最低保障額改定 |

(3) 局署別年金基本権件数・支払額リスト（局用）

イ　様式



＊＊＊　局署別年金基本権件数・支払額リスト　＊＊＊

局02-青　森　◇障　害◇　　平成24年 8月支払期　　2ページ

| 署 | 前期末基本権 | 新規 | 消滅 | 今期末基本権 | 件数 | 年金支払額 | 件数 | 特別年金支払額 | 件数 | 就学等援護費支払額 | 件数 | 今期支払総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 01 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 989,502 | 1 | 16,440 | 0 | 0 | 1 | 1,005,942 |
| | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 989,502 | 1 | 16,440 | 0 | 0 | 1 | 1,005,942 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 989,502 | 1 | 16,440 | 0 | 0 | 1 | 1,005,942 |
| | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 989,502 | 1 | 16,440 | 0 | 0 | 1 | 1,005,942 |

上段：業災、中段：通災、下段：合計

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局 | 管轄局番号を印字する。 |
| 都道府県 | 都道府県名を印字する。 |
| 年金証書種別名 | 以下のいずれかの種別を印字する。<br>・◇傷病◇<br>・◇障害◇<br>・◇遺族◇<br>・◇特別遺族◇<br>・◆合計◆ |
| 支払年月 | 支払年月を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 署 | 通勤災害の明細を出力する場合、管轄署番号を印字する。 |
| 前期末基本権 | 前支払期に、新規、又は継続、又は復活した基本権件数を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 新規 | 当支払期に、新規支給決定した基本権件数を印字する。 |
| 消滅 | 当支払期に、転帰、又は取消した基本権件数を印字する。 |
| 今期末基本権 | 当支払期に、新規、又は継続、又は復活した基本権件数を印字する。 |
| 件数 | 当支払期の年金支払件数を印字する。 |
| 年金支払額 | 当支払期の年金支払額を管轄局署ごとに合計した額を印字する。 |
| 件数 | 当支払期の特別年金支払件数を印字する。 |
| 特別年金支払額 | 当支払期の特別年金支払額を管轄局署ごとに合計した額を印字する。 |
| 件数 | 当支払期の就学等援護費支払件数を印字する。 |
| 就学等援護費支払額 | 当支払期の就学等援護費支払額を管轄局署ごとに合計した額を印字する。 |
| 件数 | 当支払期の支払総件数を印字する。 |
| 今期支払総額 | 当支払期の支払総額を印字する。 |

※最終行に、当該局に属する全署分の合計値を出力する。

ハ　事務処理

管理資料として活用すること

(4) 未処理事案リスト（局用）

イ　様式

＊＊＊　署別未処理事案・合計件数（労働局）　＊＊＊

平成24年 7月25日　　1ページ

13局01署

| 支払事故未処理 | 年金証書番号 | 受給権者氏名 | 事故発生支払期年月 | 事故入力年月日 | 支払事故の種類 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 131130118 | ﾊｯﾁ　六四 | 平成25年10月 | 平成25年10月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 135110015-02 | 遺族　請求 | 平成24年 8月 | 平成24年 8月 1日 | 4-店舗相違 |
| | 135110016-02 | 請求　遺族 | 平成24年 8月 | 平成24年 8月 1日 | 5-住所相違 |
| | 135110018-02 | 遺族　授護 | 平成24年 8月 | 平成24年 8月 1日 | 9-その他 |

| データ登記未処理 | データ受付番号 | 被災者氏名 | 受付年月日 | 請求書等名 | 受付入力年月日 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 20113111000440010000 | ﾗｲﾆｲﾁ ｾﾞﾛﾖﾝ | 平成21年10月 1日 | 傷病の状態等に関する届 | 平成23年 6月 1日 |
| | 20113111001380010000 | ﾋｻｲｼﾔ ｹｲ | 平成23年 6月30日 | 傷病の状態等に関する届 | 平成23年 6月30日 |
| | 20113112001060010000 | ﾃﾝｲﾁﾅﾝ ﾅﾝｲﾁ | 平成24年 4月 2日 | 傷病の状態等に関する届 | 平成24年 4月 2日 |
| | 20113112002610010000 | ﾀｲｼｬｲｷﾝ ｾﾞﾛｲﾁ | 平成24年 6月13日 | 傷病の状態等に関する届 | 平成24年 6月13日 |
| | 20113112010820010000 | ﾁﾖﾀｲｼｼｬﾝ ｾﾞﾛﾆ | 平成24年12月28日 | 傷病の状態等に関する届 | 平成24年12月28日 |
| | 20113113000510010000 | ﾁﾖﾋﾞﾛﾖﾝ ﾘﾋﾞﾛｺﾞ | 平成25年 1月 4日 | 傷病の状態等に関する届 | 平成25年 1月 4日 |
| | 20113113002550010000 | ﾃﾝｲﾁﾅﾝ ﾅﾝｲﾁ | 平成25年 2月 1日 | 傷病の状態等に関する届 | 平成25年 2月 1日 |
| | 20113113004910010000 | ﾁﾖﾀｲｼｼｬ ｾﾞﾛﾆ | 平成25年 3月29日 | 傷病の状態等に関する届 | 平成25年 3月29日 |
| | 20113113007920010000 | ﾁﾖﾋﾛｯｸ ｾﾖﾆ | 平成25年 5月 1日 | 傷病の状態等に関する届 | 平成25年 5月 1日 |
| | 20113113010050010000 | ｲﾁﾅﾝｼｮｸﾛｸ ｲﾁﾛｸ | 平成25年 7月 1日 | 傷病の状態等に関する届 | 平成25年 7月 1日 |
| | 20113113012540010000 | ｵﾝｳｹﾂｳｺﾞ ﾆﾆｳｾﾌﾞ | 平成25年 9月 2日 | 傷病の状態等に関する届 | 平成25年 9月 2日 |
| | 20113311008460010000 | ﾙｲﾋﾞﾛﾅﾅ ﾋﾞﾛﾅﾅﾄﾞﾁ | 平成23年12月22日 | 障害補償給付支給請求書 | 平成23年12月22日 |
| | 20113311009720010000 | ﾙｲﾋﾞﾛﾅﾅ ﾋﾞﾛﾅﾅﾄﾞﾁ | 平成23年12月26日 | 障害補償給付支給請求書 | 平成23年12月26日 |
| | 20113312005840010000 | ﾀｲｼｬｲｷﾝ ﾋﾞﾛｲﾁ | 平成24年 6月13日 | 障害補償給付支給請求書 | 平成24年 6月13日 |
| | 20113312006650010000 | ﾊﾟﾀﾞ ｷｭｳﾋﾞﾛｵﾝｲﾁ | 平成24年 7月31日 | 障害補償給付支給請求書 | 平成24年 7月31日 |
| | 20113312007590010000 | ｺﾞｺﾞ ｻﾖﾅﾗﾊｲﾜｻｲ | 平成22年12月22日 | 障害補償給付支給請求書 | 平成24年 8月 1日 |
| | 20113312014570010000 | ﾀﾝｲﾁｸﾚｲﾆ ﾚｲﾚｲﾆ | 平成24年12月17日 | 障害補償給付支給請求書 | 平成24年12月17日 |

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 作成年月日 | 処理年月日を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 管轄局 | 管轄局番号を印字する。 |
| 管轄署 | 管轄署番号を印字する。 |
| 支払事故未処理－年金証書番号 | 年金証書番号（9桁）を印字する。<br>遺族（補償）年金、又は特別遺族年金の場合は、年金証書番号＋枝番号を印字する。 |
| 支払事故未処理－受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |
| 支払事故未処理－事故発生支払期年月 | 支払事故が発生した支払期年月を印字する。 |
| 支払事故未処理－事故入力年月日 | 支払事故情報を入力した年月日を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 支払事故未処理－支払事故の種類 | 支払事故事由を印字する。 |
| データ登記未処理－データ受付番号 | データ受付番号（20 桁）を印字する。 |
| データ登記未処理－被災者氏名 | 被災者氏名を印字する。 |
| データ登記未処理－受付年月日 | 受付年月日を印字する。 |
| データ登記未処理－請求書等名 | 請求書等の名称を印字する。 |
| データ登記未処理－受付入力年月日 | 受付入力年月日を印字する。 |
| 決議書未入力－データ受付番号 | データ受付番号（20 桁）を印字する。 |
| 決議書未入力－被災者氏名 | 被災者氏名を印字する。 |
| 決議書未入力－受付年月日 | 受付年月日を印字する。 |
| 決議書未入力－請求書等名 | 請求書等の名称を印字する。 |
| 決議書未入力－決議書出力年月日 | 決議書出力年月日を印字する。 |
| 内払充当未処理－年金証書番号 | 年金証書番号（9 桁）を印字する。 |
| 内払充当未処理－受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |
| 内払充当未処理－被災者氏名 | 被災者氏名を印字する。 |
| 内払充当未処理－転帰年月 | 転帰年月を印字する。 |
| 内払充当未処理－転帰事由 | 転帰事由を印字する。 |
| 失権差額未支給年金未処理－年金証書番号 | 年金証書番号（9 桁）を印字する。 |
| 失権差額未支給年金未処理－受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |

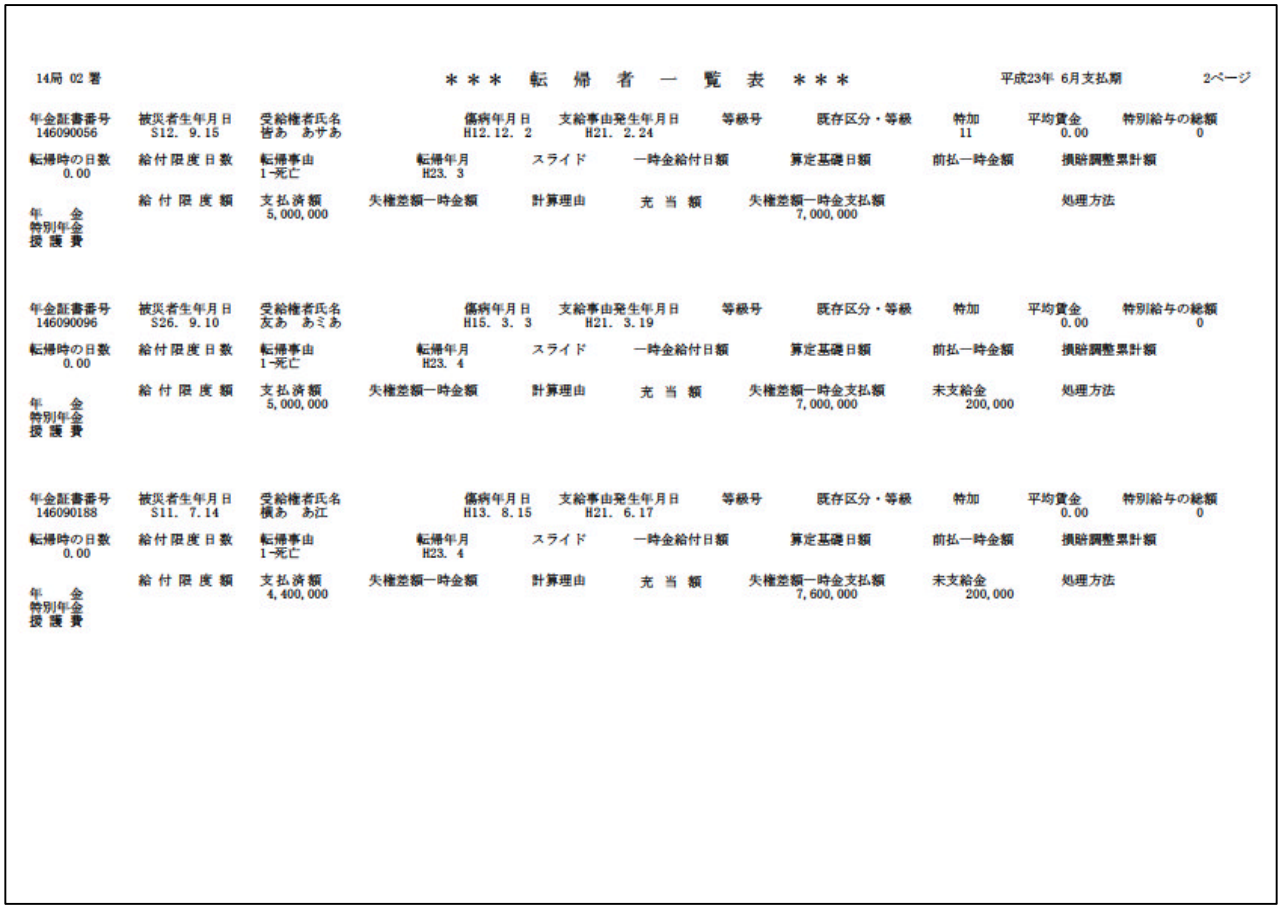
| 項　　目 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 失権差額未支給年金未処理－転帰年月 | 転帰年月を印字する。 |
| 厚年等未調整年額未登記－年金証書番号 | 年金証書番号（9 桁）を印字する。 |
| 厚年等未調整年額未登記－受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |
| 厚年等未調整年額未登記－支給事由発生年月日 | 支給事由発生年月日を印字する。 |
| 厚年等未調整年額未登記－厚年等調整コード | 厚年等調整コードを印字する。 |
| 厚年等未調整年額未登記－厚年等種別 | 厚年等種別を印字する。 |
| 年金一時金データ未入力－データ受付番号 | データ受付番号（20 桁）を印字する。 |
| 年金一時金データ未入力－被災者氏名 | 被災者氏名を印字する。 |
| 年金一時金データ未入力－受付年月日 | 受付年月日を印字する。 |
| 年金一時金データ未入力－請求書等名 | 請求書等の名称を印字する。 |
| 転給未処理－年金証書番号 | 年金証書番号（9 桁）を印字する。 |
| 転給未処理－失権者氏名 | 失権者氏名を印字する。 |
| 転給未処理－失権年月日 | 失権年月日を印字する。 |
| 転給未処理－失権事由 | 失権事由を印字する。 |

ハ　事務処理

管理資料として活用すること

(5) 転帰者一覧表（局用）

イ　様式



14局 02 署　　＊＊＊ 転 帰 者 一 覧 表 ＊＊＊　　平成23年 6月支払期　　2ページ

| 年金証書番号 | 被災者生年月日 | 受給権者氏名 | 傷病年月日 | 支給事由発生年月日 | 等級号 | 既存区分・等級 | 特加 | 平均賃金 | 特別給与の総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 146090056 | S12. 9.15 | 皆あ あサあ | H12.12. 2 | H21. 2.24 | | | 11 | 0.00 | 0 |

| 転帰時の日数 | 給付限度日数 | 転帰事由 | 転帰年月 | スライド | 一時金給付日額 | 算定基礎日額 | 前払一時金額 | 損賠調整累計額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0.00 | | 1-死亡 | H23. 3 | | | | | |

| | 給付限度額 | 支払済額 | 失権差額一時金額 | 計算理由 | 充当額 | 失権差額一時金支払額 | 処理方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金 | | 5,000,000 | | | | 7,000,000 | |
| 特別年金 | | | | | | | |
| 援護費 | | | | | | | |

| 年金証書番号 | 被災者生年月日 | 受給権者氏名 | 傷病年月日 | 支給事由発生年月日 | 等級号 | 既存区分・等級 | 特加 | 平均賃金 | 特別給与の総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 146090096 | S26. 9.10 | 友あ あミあ | H15. 3. 3 | H21. 3.19 | | | | 0.00 | 0 |

| 転帰時の日数 | 給付限度日数 | 転帰事由 | 転帰年月 | スライド | 一時金給付日額 | 算定基礎日額 | 前払一時金額 | 損賠調整累計額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0.00 | | 1-死亡 | H23. 4 | | | | | |

| | 給付限度額 | 支払済額 | 失権差額一時金額 | 計算理由 | 充当額 | 失権差額一時金支払額 | 未支給金 | 処理方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金 | | 5,000,000 | | | | 7,000,000 | 200,000 | |
| 特別年金 | | | | | | | | |
| 援護費 | | | | | | | | |

| 年金証書番号 | 被災者生年月日 | 受給権者氏名 | 傷病年月日 | 支給事由発生年月日 | 等級号 | 既存区分・等級 | 特加 | 平均賃金 | 特別給与の総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 146090188 | S11. 7.14 | 横あ あ江 | H13. 8.15 | H21. 6.17 | | | | 0.00 | 0 |

| 転帰時の日数 | 給付限度日数 | 転帰事由 | 転帰年月 | スライド | 一時金給付日額 | 算定基礎日額 | 前払一時金額 | 損賠調整累計額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0.00 | | 1-死亡 | H23. 4 | | | | | |

| | 給付限度額 | 支払済額 | 失権差額一時金額 | 計算理由 | 充当額 | 失権差額一時金支払額 | 未支給金 | 処理方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金 | | 4,400,000 | | | | 7,600,000 | 200,000 | |
| 特別年金 | | | | | | | | |
| 援護費 | | | | | | | | |

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局 | 管轄局番号を印字する。 |
| 管轄署 | 管轄署場号を印字する。 |
| 支払期年月 | 支払期年月を印字する。 |
| ページ | 1 から連番に印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（9 桁）を印字する。 |
| 被災者生年月日 | 被災者生年月日を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を印字する。 |
| 支給事由発生年月日 | 支給事由発生年月日を印字する。 |
| 等級号 | 等級号を印字する。 |
| 既存区分・等級 | 既存区分・既存障害等級を印字する。 |
| 特加 | 特別加入者コードを印字する。 |

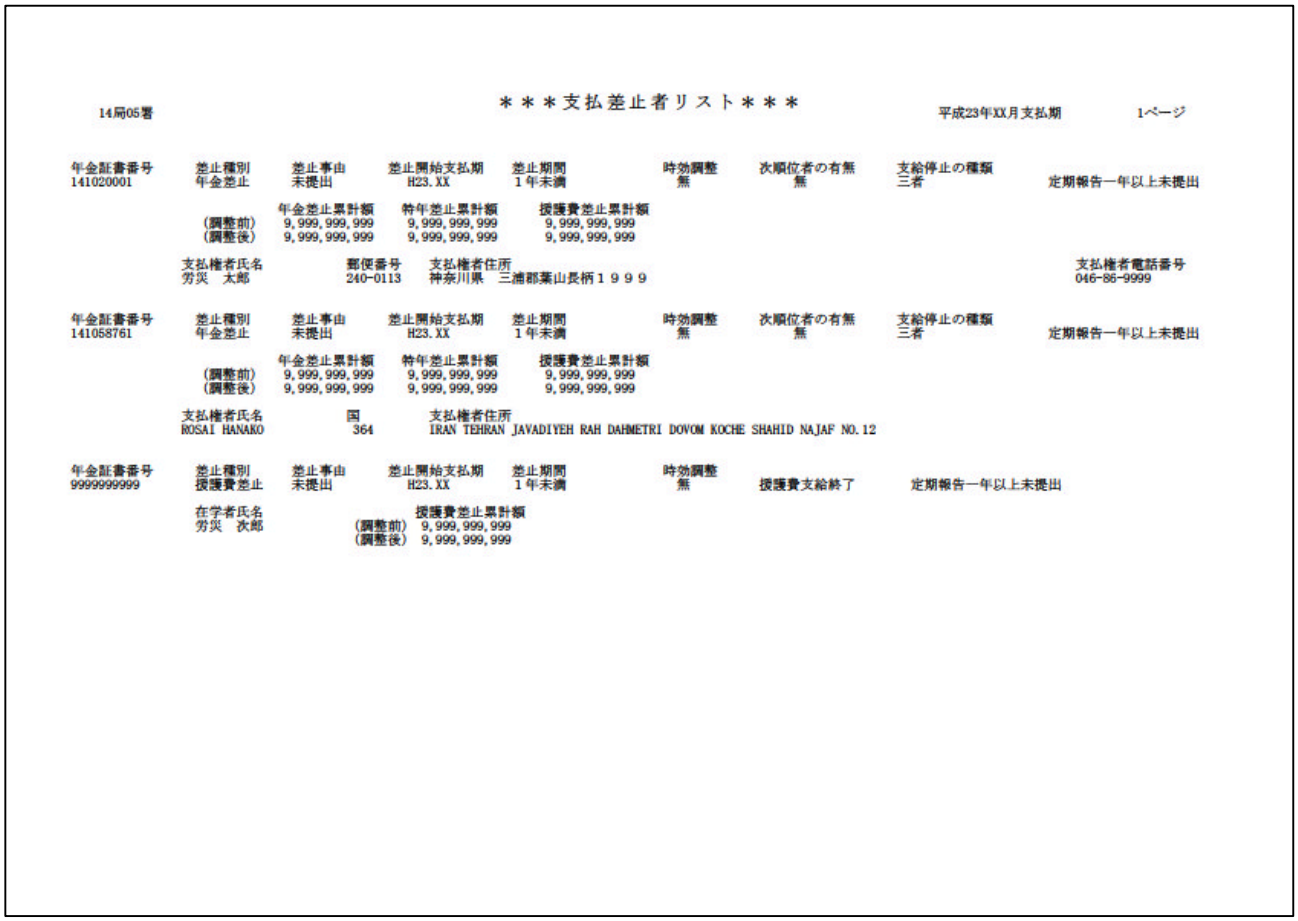
| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 平均賃金 | 平均賃金を印字する。 |
| 特別給与の総額 | 特別給与の総額を印字する。 |
| 転帰時の日数 | 転帰時の日数を印字する。 |
| 給付限度日数 | 給付限度日数を印字する。 |
| 転帰事由 | 転帰事由を印字する。 |
| 転帰年月 | 転帰年月を印字する。 |
| 給付限度額 | 年金、特別年金について、給付限度額を印字する。 |
| 前払一時金額 | 年金について、前払一時金額を印字する。 |
| 損賠調整累計額 | 年金について、損賠調整累計額を印字する。 |
| 支払済額 | 年金、特別年金について、支払済額を印字する。 |
| 失権差額一時金額 | 年金、特別年金について、失権差額一時金額を印字する。 |
| 計算理由 | 年金、特別年金について、計算理由を印字する。 |
| 充当額 | 年金、特別年金について、充当額を印字する。 |
| 失権差額一時金支払額 | 年金、特別年金について、失権差額一時支払額を印字する。 |
| 回収額／未支給金額 | 年金、特別年金、援護費について、回収額、又は未支給金額を印字する。 |
| 処理方法 | 年金、特別年金、援護費について、処理方法を印字する。 |
| スライド | 年金について、スライド率を印字する。 |
| 一時金給付日額 | 年金について、一時金給付日額を印字する。 |
| 算定基礎日額 | 年金について、算定基礎日額を印字する。 |
| | |

ハ　事務処理

管理資料として活用すること

(6) 支払差止者リスト（局用）

イ　様式



14局05署　　＊＊＊支払差止者リスト＊＊＊　　平成23年XX月支払期　　1ページ

| 年金証書番号 | 差止種別 | 差止事由 | 差止開始支払期 | 差止期間 | 時効調整 | 次順位者の有無 | 支給停止の種類 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 141020001 | 年金差止 | 未提出 | H23.XX | 1年未満 | 無 | 無 | 三者 | 定期報告一年以上未提出 |

| | 年金差止累計額 | 特年差止累計額 | 援護費差止累計額 |
|---|---|---|---|
| （調整前） | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 |
| （調整後） | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 |

| 支払権者氏名 | 郵便番号 | 支払権者住所 | 支払権者電話番号 |
|---|---|---|---|
| 労災　太郎 | 240-0113 | 神奈川県　三浦郡葉山長柄１９９９ | 046-86-9999 |

| 年金証書番号 | 差止種別 | 差止事由 | 差止開始支払期 | 差止期間 | 時効調整 | 次順位者の有無 | 支給停止の種類 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 141058761 | 年金差止 | 未提出 | H23.XX | 1年未満 | 無 | 無 | 三者 | 定期報告一年以上未提出 |

| | 年金差止累計額 | 特年差止累計額 | 援護費差止累計額 |
|---|---|---|---|
| （調整前） | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 |
| （調整後） | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 | 9,999,999,999 |

| 支払権者氏名 | 国 | 支払権者住所 |
|---|---|---|
| ROSAI HANAKO | 364 | IRAN TEHRAN JAVADIYEH RAH DAHMETRI DOVOM KOCHE SHAHID NAJAF NO.12 |

| 年金証書番号 | 差止種別 | 差止事由 | 差止開始支払期 | 差止期間 | 時効調整 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9999999999 | 援護費差止 | 未提出 | H23.XX | 1年未満 | 無 | 援護費支給終了 | 定期報告一年以上未提出 |

| 在学者氏名 | 援護費差止累計額 | |
|---|---|---|
| 労災　次郎 | （調整前） | 9,999,999,999 |
| | （調整後） | 9,999,999,999 |

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局 | 管轄局番号を印字する。 |
| 管轄署 | 管轄署場号を印字する。 |
| 支払期年月 | 支払期年月を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号（9件）を印字する。<br>遺族（補償）年金、または特別遺族年金の場合は、枝番号を印字する。 |
| 差止種別 | 以下のいずれかの差止種類が印字される。<br>・年金差止・・・年金差止の場合<br>・援護費差止・・・援護費差止の場合 |
| 差止事由 | 以下のいずれかの差止事由が印字される。<br>・所在不明・・・所在不明の場合<br>・未提出・・・定期報告書未提出の場合 |

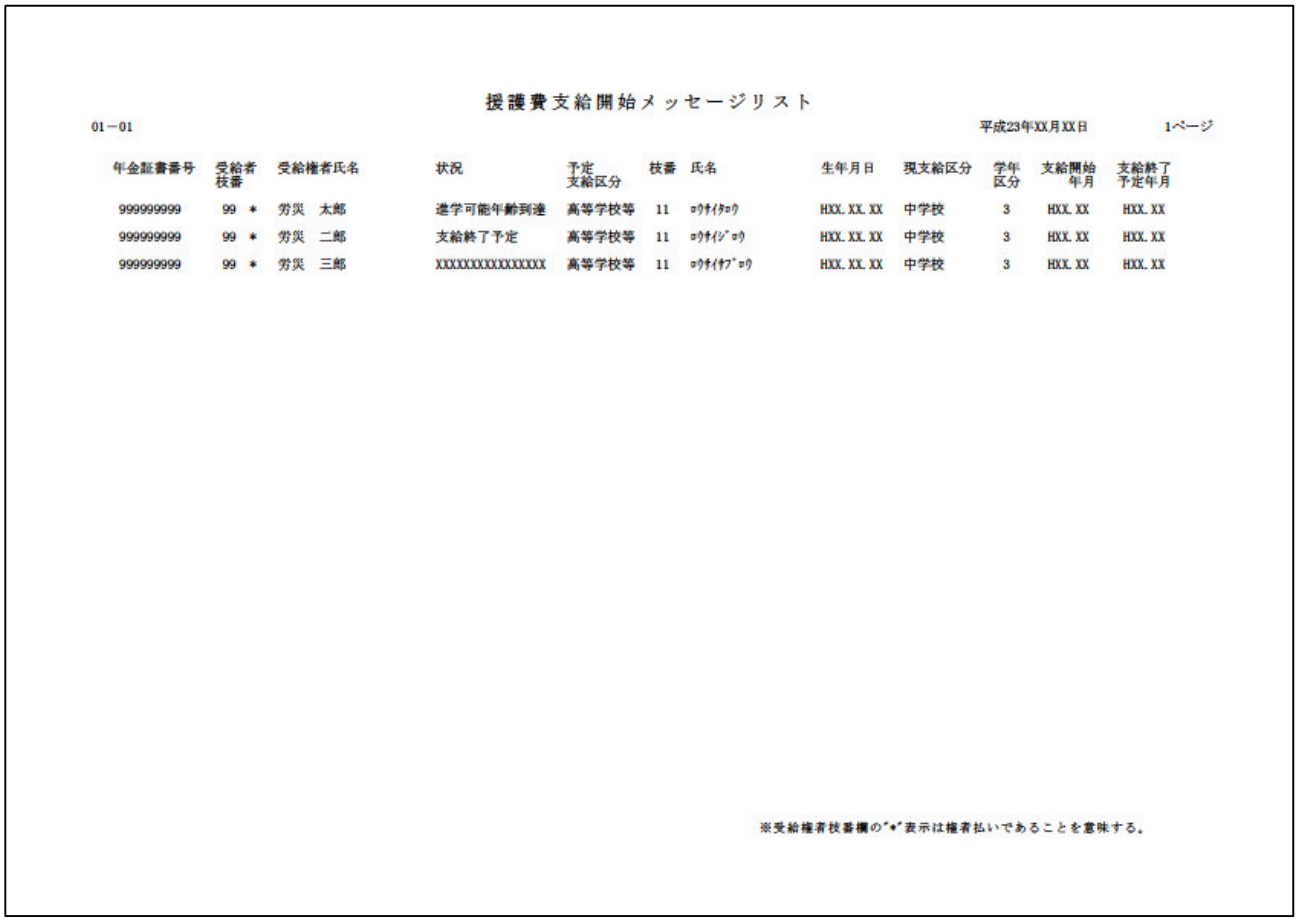
| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 差止開始支払期年月 | 差止開始支払期年月を印字する。 |
| 差止期間 | 差止期間を印字する。 |
| 時効調整 | 時効調整の有無を印字する。 |
| 次順位者の有無 | 次順位者の有無を印字する。 |
| 支給停止の種類 | 支給停止の種類を印字する。 |
| 定期報告 1 年以上未提出 | 定期報告が一年以上未提出の場合、「定期報告一年以上未提出」を設定する。 |
| 年金差止累計額（調整前） | 調整前の年金差止累計額を印字する。 |
| 年金差止累計額（調整後） | 調整後の年金差止累計額を印字する。 |
| 特年差止累計額（調整前） | 調整前の特年差止累計額を印字する。 |
| 特年差止累計額（調整後） | 調整後の特年差止累計額を印字する。 |
| 援護費差止累計額（調整前） | 調整前の援護費差止累計額を印字する。 |
| 援護費差止累計額（調整後） | 調整後の援護費差止累計額を印字する。 |
| 支払権者氏名 | 支払権者氏名を印字する。 |
| 在学者氏名 | 在学者氏名を印字する。 |
| 郵便番号／居住地コード | 外国払以外の場合、郵便番号を印字する。<br>外国払の場合、居住地コードを印字する。 |
| 支払権者住所 | 支払権者の住所を印字する。 |
| 支払権者電話番号 | 外国払以外の場合、支払権者の電話番号を印字する。 |

ハ　事務処理

支払差止者の管理資料として活用し、必要に応じて処理すること。

(7) 援護費支給開始メッセージリスト

イ　様式



援護費支給開始メッセージリスト

01－01　　平成23年XX月XX日　　1ページ

| 年金証書番号 | 受給者枝番 | | 受給権者氏名 | 状況 | 予定支給区分 | 枝番 | 氏名 | 生年月日 | 現支給区分 | 学年区分 | 支給開始年月 | 支給終了予定年月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 999999999 | 99 | * | 労災　太郎 | 進学可能年齢到達 | 高等学校等 | 11 | ﾛｳｻｲﾀﾛｳ | HXX. XX. XX | 中学校 | 3 | HXX. XX | HXX. XX |
| 999999999 | 99 | * | 労災　二郎 | 支給終了予定 | 高等学校等 | 11 | ﾛｳｻｲｼﾞﾛｳ | HXX. XX. XX | 中学校 | 3 | HXX. XX | HXX. XX |
| 999999999 | 99 | * | 労災　三郎 | XXXXXXXXXXXXXXX | 高等学校等 | 11 | ﾛｳｻｲｻﾌﾞﾛｳ | HXX. XX. XX | 中学校 | 3 | HXX. XX | HXX. XX |

※受給権者枝番欄の"*"表示は権者払いであることを意味する。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 管轄局署コードを印字する。 |
| 処理年月日 | 援護費支給開始メッセージリストを出力した日付を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号、枝番号毎の1件目のみ、受給権者の年金証書番号を印字する。 |
| 受給者枝番 | 年金証書番号、枝番号毎の1件目のみ、受給権者の枝番号を印字する。権者払いの場合は、右側に「*」を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 年金証書番号、枝番号毎の1件目のみ、受給権者氏名を印字する。 |
| 状況 | 「進学可能年齢到達」又は「支給終了予定」を印字する。 |
| 予定支給区分 | 「小学校」「中学校」「高等学校等」「大学等」のいずれかを印字する。 |
| 枝番 | 援護費が支給されていない場合は年金資格者枝番号、援護費が支給されている場合は援護費資格者枝番号を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 氏名 | 援護費が支給されていない場合は年金資格者氏名、援護費が支給されている場合は援護費資格者氏名を印字する。 |
| 生年月日 | 援護費が支給されていない場合は年金資格者生年月日、援護費が支給されている場合は援護費資格者生年月日を印字する。 |
| 現支給区分 | 「保育所等」「小学校」「中学校」「高等学校等」のいずれかを印字する。 |
| 学年区分 | 現在の学年区分を印字する。 |
| 支給開始年月 | 援護費が支給されている場合は、援護費支給開始年月を印字する。 |
| 支給終了年月 | 援護費が支給されている場合は、援護費支給終了年月を印字する。 |

ハ　出力時期

２月支払期処理後

ニ　事務処理

翌年度に小学校、中学校、高等学校等、大学等に進学する可能性のある者を把握する管理資料。

(8)　援護費月額改定変更リスト（署用）

イ　様式

＊＊＊援護費月額改定変更リスト＊＊＊

14局05署　　平成23年10月5日　　1ページ

| 年金証書番号 | 受給者枝番号 | 受給権者氏名 | 当期援護費支給予定額 | 当期援護費支給額 | 未支給の援護費 | 調整コード | 償権選択 | 資格者枝番 | 在学者氏名 | 生年月日 | 支給区分 | 学年 | 支給開始支給終了 | 差止有無 | 中断復帰 | 中断復帰年月 | 援護費月額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 141323501 | | 労災　太郎 | 150000 | 120000 | 30000 | 6 | | 01 | 労災　一郎 | H5.10.1 | 1 | 2 | H23.4<br>H28.3 | | | | 12000 |

調整コード　1：前期内払調整残あり、改定前追回額なし
2：前期内払調整残あり、改定前追給額あり
3：前期内払調整残あり、改定前回収額あり
4：前期内払調整残なし、改定前追給額あり
5：前期内払調整残なし、改定前回収額あり
6：その他

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 管轄局署コードを印字する。 |
| 処理年月日 | 援護費月額改定変更リストを出力した日付を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 年金証書番号 | 受給権者の年金証書番号を印字する。 |
| 受給者枝番号 | 遺族の場合、受給権者枝番号を印字する。 |
| 受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |
| 当期援護費支給予定額 | 当期の援護費支給予定額を印字する。 |
| 当期援護費支給額 | 改定前の当期援護費支給額を印字する。 |
| 未支給の援護費 | 未支給の援護費支給額を印字する。 |

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 調整コード | 以下のコードを印字する。<br>1 …… 前期内払調整残あり、改定前追回額なし<br>2 …… 前期内払調整残あり、改定前追給額あり<br>3 …… 前期内払調整残あり、改定前回収額あり<br>4 …… 前期内払調整残なし、改定前追給額あり<br>5 …… 前期内払調整残なし、改定前回収額あり<br>6 …… その他 |
| 債権選択 | 援護費が債権又は強制債権の場合、「*」を印字する。 |
| 資格者枝番 | 援護費資格者の枝番号を印字する。 |
| 在学者氏名 | 援護費資格者の氏名を印字する。 |
| 生年月日 | 援護費資格者の生年月日を印字する。 |
| 支給区分 | 支給区分を印字する。 |
| 学年 | 学年を印字する。 |
| 支給開始 | 支給開始年月を印字する。 |
| 支給終了 | 支給終了予定年月を印字する。 |
| 差止有無 | 差止中の場合、「有」を印字する。 |
| 中断復帰 | 中断復帰している場合、中断復帰事由を印字する。 |
| 中断復帰年月 | 中断復帰している場合、中断復帰年月を印字する。 |
| 援護費月額 | 援護費月額を印字する。 |

ハ　出力時期

随時

ニ　事務処理

援護費月額改定処理により変更があった項目の明細を確認する。

(9) 援護費月額改定未支給金リスト（署用）

イ　様式



＊＊＊　援護費月額改定未支給金リスト　＊＊＊

平成23年10月 3日　　1ページ

14局05署

| 年金証書番号 | 受給権者氏名 | 転帰年月日 | 前回未支給金（援護費） | 今回未支給金（援護費） | 合計未支給金（援護費） |
|---|---|---|---|---|---|
| 141320501 | 労災　太郎 | 平成22年12月15日 | 100,000 | 50,000 | 150,000 |

合計　　1

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 管轄局署コードを印字する。 |
| 処理年月日 | 援護費月額改定未支給金リストを出力した日付を印字する。 |
| ページ | 1から連番に印字する。 |
| 年金証書番号 | 受給権者の年金証書番号を印字する。遺族の場合、枝番号も印字する。 |
| 受給権者氏名 | 受給権者氏名を印字する。 |
| 転帰年月日 | 転帰年月日を印字する。 |
| 前回未支給金（援護費） | 前回未支給の援護費を印字する。 |
| 今回未支給金（援護費） | 【未支給の援護費】－【前回未支給の援護費】を印字する。 |
| 合計未支給金（援護費） | 未支給の援護費を印字する。 |
| 合計 | 合計件数を印字する。 |

ハ　出力時期

随時

ニ　事務処理

未支給金となった請求の内容を確認する。

## 7 リスト等の保存期間

リスト等の保存期間は、原則として1年とし、執務上の必要性が認められなくなった時点で廃棄すること。

なお、保存期間の起算は、都道府県労働局文書保存規程第6条の会計事務に関する文書の取扱に準ずることとする。従って、リスト等を処理した年度の翌年度の初めから起算すること。(昭和62.3.24付事務連絡第3号参照)

## 8 受給権者に対する通知

受給権者に対して、はがきの形式により以下の通知を行っている。ここでは、その概要及び様式について示す。

受給権者からその内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答すること。

【受給権者に対する通知一覧】

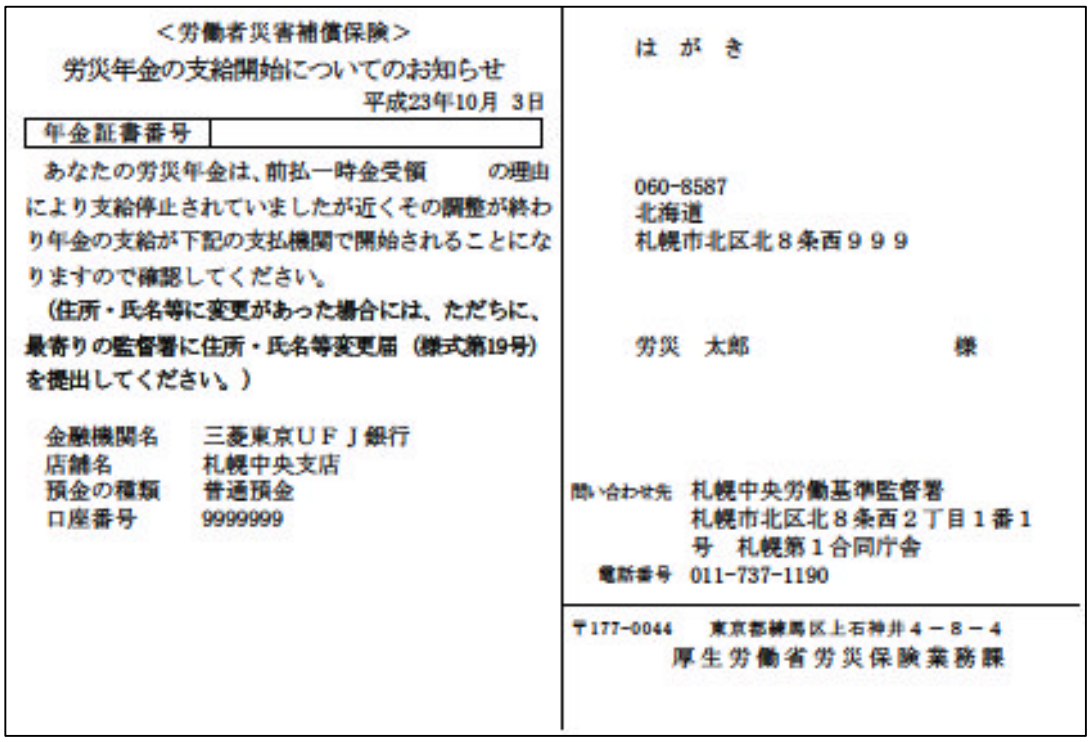
| No. | 名　　称 | 送付時期 | 送　付　元 |
|---|---|---|---|
| (1) | 労災年金の支給開始についてのお知らせ | 支　払　期 | 本省（業務課） |
| (2) | 遺族（補償）年金についてのお知らせ | 支　払　期 | |
| (3) | 特別遺族年金についてのお知らせ | 支　払　期 | |
| (4) | 労災保険年金支払額についてのお知らせ | 支　払　期 | |
| (5) | 特別遺族年金支払額についてのお知らせ | 支　払　期 | |
| (6) | 労災保険年金等送金通知書 | 支　払　期 | |
| (7) | 特別遺族年金等送金通知書 | 支　払　期 | |
| (8) | 労災保険年金等振込通知書 | 10 月 上 旬※ | |
| (9) | 労災保険年金等振込通知書（外国払） | 支　払　期 | |
| (10) | 労災保険年金等振込通知書（ゆうちょ銀行振込） | 10 月 上 旬※ | |
| (11) | 特別遺族年金振込通知書 | 10 月 上 旬※ | |
| (12) | 特別遺族年金振込通知書（外国払） | 支　払　期 | |
| (13) | 特別遺族年金振込通知書（ゆうちょ銀行振込） | 10 月 上 旬※ | |
| (14) | スライド等の改定による変更決定通知書 | 8 月 中 旬 | |

※年金支給開始時支払額に変更があった場合等にも送付

（1）労災年金の支給開始についてのお知らせ

イ　様式

（表面）



＜労働者災害補償保険＞

労災年金の支給開始についてのお知らせ

平成23年10月 3日

| 年金証書番号 | |
|---|---|

あなたの労災年金は、前払一時金受領　　の理由により支給停止されていましたが近くその調整が終わり年金の支給が下記の支払機関で開始されることになりますので確認してください。

**（住所・氏名等に変更があった場合には、ただちに、最寄りの監督署に住所・氏名等変更届（様式第19号）を提出してください。）**

金融機関名　三菱東京ＵＦＪ銀行
店舗名　札幌中央支店
預金の種類　普通預金
口座番号　9999999

はがき

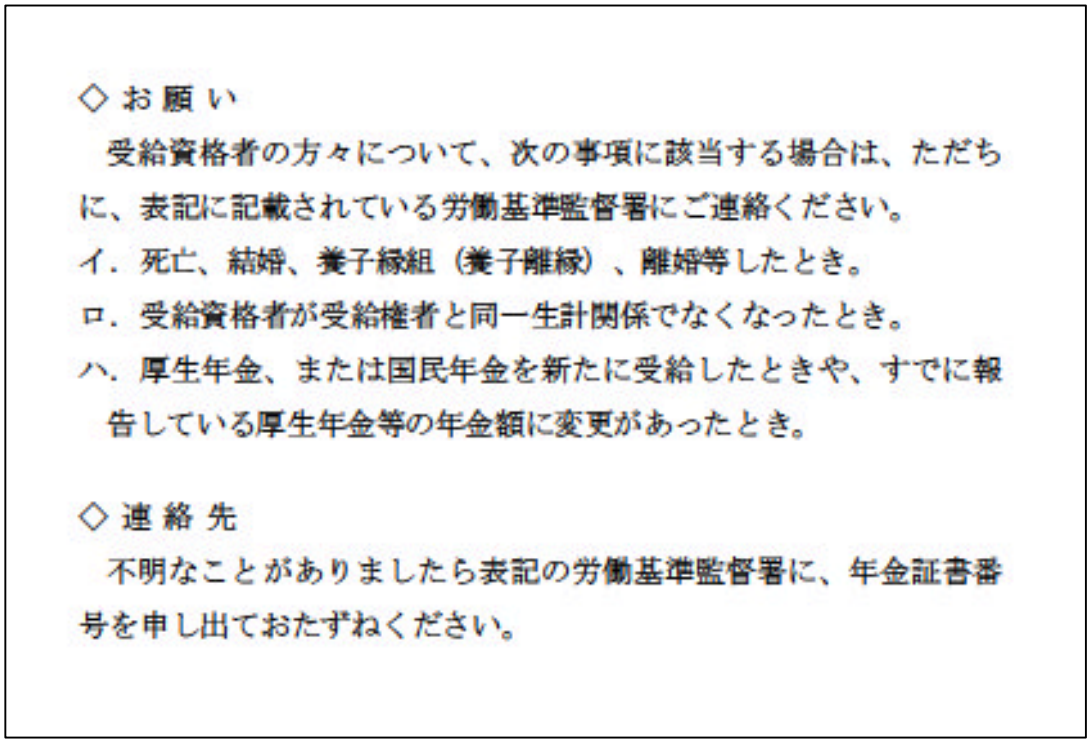
060-8587
北海道
札幌市北区北８条西９９９

労災　太郎　　様

問い合わせ先　札幌中央労働基準監督署
札幌市北区北８条西２丁目１番１号　札幌第１合同庁舎
電話番号　011-737-1190

〒177-0044　東京都練馬区上石神井４－８－４
厚生労働省労災保険業務課

（裏面）



◇ お 願 い

受給資格者の方々について、次の事項に該当する場合は、ただちに、表記に記載されている労働基準監督署にご連絡ください。

イ．死亡、結婚、養子縁組（養子離縁）、離婚等したとき。

ロ．受給資格者が受給権者と同一生計関係でなくなったとき。

ハ．厚生年金、または国民年金を新たに受給したときや、すでに報告している厚生年金等の年金額に変更があったとき。

◇ 連 絡 先

不明なことがありましたら表記の労働基準監督署に、年金証書番号を申し出ておたずねください。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 出力年月日 | 労災年金の支給開始についてのお知らせを出力した日付を印字する。 |
| 年金証書番号 | 管轄局署コード、年金証書番号を印字する。遺族の場合、枝番号も印字する。 |
| 支給開始理由 | 「前払一時金受領」「三者損賠受領」「若年停止」のいずれかを印字する。 |
| 支払機関 | 金融機関名称、金融機関店舗名称、預金の種類（銀行振込の場合）、口座番号（銀行振込、郵便振込の場合）を印字する。外国払いの場合は、金融機関名称、金融機関店舗名称、口座番号を印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の住所、氏名を印字する。 |
| 監督署名称等 | 監督署名称、住所及び電話番号を印字する。 |

ハ　出力時期

支払期

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

(2) 遺族（補償）年金についてのお知らせ

（表面）

＜労働者災害補償保険＞

遺族(補償)年金についてのお知らせ

平成23年10月 3日

| 年金証書番号 | |
|---|---|

あなたは18歳になってから最初の３月31日で受給権を失うこととなります。下記の方は転給等の手続きをすることにより、年金を受給することができます。

01 ﾛｳｻｲ ｲﾁﾛｳ

転給等の手続きをする場合は、１の書類を提出してください。

はがき

060-8587
北海道
札幌市北区北８条仲西９９９

労災 太郎 様

問い合わせ先 札幌中央労働基準監督署
札幌市北区北８条西２丁目１番１号 札幌第１合同庁舎
電話番号 011-737-1190

〒177-0044 東京都練馬区上石神井４－８－４
厚生労働省労災保険業務課

（裏面）

| | | |
|---|---|---|
| ① | 遺族(補償)年金転給等請求書 | (告示様式第13号) |
| ② | 遺族(補償)年金代表者選任・解任届 | (年金申請様式第7号) |

1 提 出 先　支給決定を受けた表記の労働基準監督署
（手続の用紙は最寄りの監督署にあります）

2 提出時期　あなたが18歳になってから最初の３月31日まで

3 注意事項　(1) あなたが18歳になってから最初の３月31日までに結婚、養子縁組（養子離縁）等により失権したときは、表記の労働基準監督署に届けてください。

(2) 不明な点がありましたら表記の労働基準監督署に年金証書番号を申し出ておたずねください。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 出力年月日 | 遺族補償年金についてのお知らせを出力した日付を印字する。 |
| 年金証書番号 | 管轄局署コード、年金証書番号、枝番号を印字する。 |
| 転給予定者 | 失権者と同順位又は次順位である資格者の枝番号及び氏名を最大５名まで印字する。 |
| 資格者その他人数 | 同順位者及び次順位者の人数に応じて、その他資格者数を印字する。 |
| 提出書類 | 同順位者が１名又は次順位者が１名の場合は「1」を印字し、同順位者が２名以上又は次順位者が２名以上の場合は「1･2」を印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の住所、氏名を印字する。 |
| 監督署名称等 | 監督署名称、住所及び電話番号を印字する。 |

ハ　出力時期

支払期

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

(3) 特別遺族年金についてのお知らせ

（表面）

石綿健康被害救済法

特別遺族年金についてのお知らせ

平成24年 1月26日

| 年金証書番号 | |
|---|---|

あなたは18歳になってから最初の3月31日で受給権を失うこととなります。下記の方は転給等の手続きをすることにより、年金を受給することができます。

12 ﾛｳｻｲ ﾀﾛｳ

転給等の手続きをする場合は、裏面1の書類を提出してください。

郵便はがき

114-8508
東京都
北区王子一丁目一番一号

労災 太郎 様

問い合わせ先 上野労働基準監督署
台東区池之端1－2－22
上野合同庁舎
電話番号 03-3828-6711

〒177-0044 東京都練馬区上石神井4－8－4
厚生労働省労災保険業務課

（裏面）

| |
|---|
| ①石綿健康被害救済法特別遺族年金転給等請求書 |
| ②石綿健康被害救済法特別遺族年金代表者選任･解任届 （年金申請様式） |

1 提 出 先　　支給決定を受けた表記の労働基準監督署

2 提出時期　　あなたが18歳になってから最初の3月31日まで

3 注意事項　(1)　あなたが18歳になってから最初の3月31日までに結婚、養子縁組(養子離縁)等により失権したときは、表記の労働基準監督署に届けてください。

(2)　不明な点がありましたら表記の労働基準監督署におたずねください。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 出力年月日 | 特別遺族年金についてのお知らせを出力した日付を印字する。 |
| 年金証書番号 | 管轄局署コード、年金証書番号、枝番号を印字する。 |
| 転給予定者 | 失権者と同順位又は次順位である資格者の枝番号及び氏名を最大５名まで印字する。 |
| 資格者その他人数 | 同順位者及び次順位者の人数に応じて、その他資格者数を印字する。 |
| 提出書類 | 同順位者が１名又は次順位者が１名の場合は「1」を印字し、同順位者が２名以上又は次順位者が２名以上の場合は「1･2」を印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の住所、氏名を印字する。 |
| 監督署名称等 | 監督署名称、住所及び電話番号を印字する。 |

ハ　出力時期

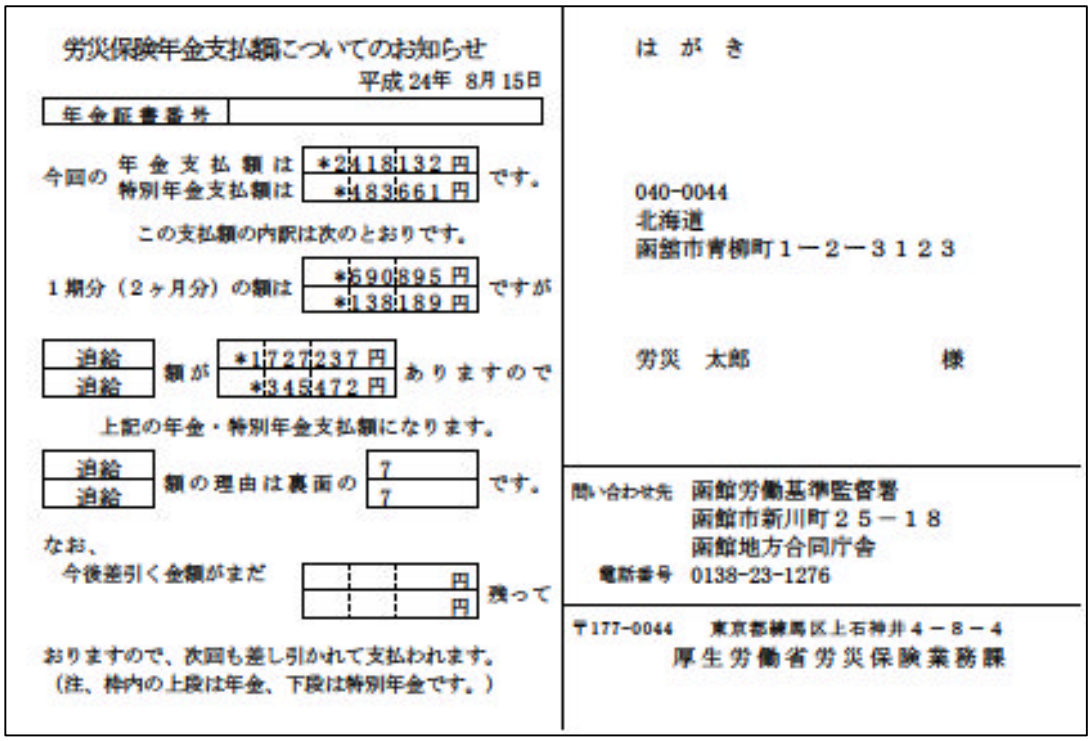
支払期

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

（4）労災保険年金支払額についてのお知らせ

（表面）



労災保険年金支払額についてのお知らせ

平成24年 8月15日

年金証書番号

今回の 年金支払額は ＊2418132円
特別年金支払額は ＊183661円 です。

この支払額の内訳は次のとおりです。

1期分（2ヶ月分）の額は ＊590895円
＊138189円 ですが

追給
追給 額が ＊1727237円
＊345472円 ありますので

上記の年金・特別年金支払額になります。

追給
追給 額の理由は裏面の 7
7 です。

なお、
今後差引く金額がまだ 円
円 残って

おりますので、次回も差し引かれて支払われます。
（注、枠内の上段は年金、下段は特別年金です。）

はがき

040-0044
北海道
函館市青柳町１－２－３１２３

労災 太郎 様

問い合わせ先 函館労働基準監督署
函館市新川町２５－１８
函館地方合同庁舎
電話番号 0138-23-1276

〒177-0044 東京都練馬区上石神井４－８－４
厚生労働省労災保険業務課

（裏面）

◎ 労災保険金額等の計算の理由は次のとおりです。理由の番号が２以上あるときは、それぞれの欄をご覧ください。

| 理由の番号 | 説明 |
|---|---|
| 1 | 厚生年金や国民年金の年額等がさかのぼって変更されたので、労災年金の額もさかのぼって変更になりました。 |
| 2 | 障害等級、傷病等級がさかのぼって変更になりました。 |
| 3 | 遺族（補償）年金の計算の対象となる人数がさかのぼって変更になりました。 |
| 4 | 休業（補償）給付の受給者が年金に移行した場合に、支給決定がさかのぼって行われた等のため、休業（補償）給付、休業特別支給金に過払額が生じたので差し引かれました。 |
| 5 | 年金の受給者が他の年金へ新たに行こうした場合に、支給決定がさかのぼって行われた等のため、以前の年金・特別年金の過払いになった額が差し引かれました。 |
| 6 | 年金額・特別年金額の計算の基礎となる平均賃金・特別給与額、厚年等情報、障害等級、資格者情報などがさかのぼって訂正されました。 |
| 7 | 支給決定がさかのぼって行われましたので１期分（2ヶ月）を超える額が支払われました。 |
| 8 | 前回お知らせしましたように、差引く金額が残っておりましたので今回も差し引いて支払われました。 |
| 9 | （支払を差止めていた額を支払いました。）または、その他（上記以外の理由により計算されました。） |

◎ 不明な点がありましたら表記の労働基準監督署に年金証書番号を申し出ておたずねください。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 支払年月日 | 年金支払日を印字する。 |
| 年金証書番号 | 管轄局署コード、年金証書番号を印字する。遺族の場合、枝番号も印字する。 |
| 年金支払額 | 当期の年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。<br>（年金担保貸付返済中の場合は０円） |
| 特別年金支払額 | 当期の特別年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 年金１期分の支払額 | 【年金給付月額（初月）＋年金給付月額（終月）】を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。<br>（前払調整中及び三者損賠調整中の場合は０円） |
| 特別年金１期分の支払額 | 【特年給付月額（初月）＋特年給付月額（終月）】を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 年金追給・回収 | 年金支払額 ＞ 年金１期分の支払額の場合は「追給」を印字、年金支払額 ＜ 年金１期分の支払額の場合は「回収」を印字する。<br>上記以外の場合は、印字しない。 |
| 年金差額 | 【年金１期分の支払額－年金支払額】を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 特別年金追給・回収 | 特別年金支払額 ＞ 特別年金１期分の支払額の場合は「追給」を印字、特別年金支払額 ＜ 特別年金１期分の支払額の場合は「回収」を印字する。<br>上記以外の場合は、印字しない。 |
| 特別年金差額 | 【特別年金１期分の支払額－特別年金支払額】を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 年金額変更理由 1～3 | 年金額変更理由の番号を最大３つまで印字する。<br>（変更理由の説明については、はがき裏面に記載） |
| 特別年金額変更理由 1～3 | 特別年金額変更理由の番号を最大３つまで印字する。<br>（変更理由の説明については、はがき裏面に記載） |
| 年金内払調整残額 | 年金内払調整残額がある場合、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 特別年金内払調整残額 | 特別年金内払調整残額がある場合、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の住所、氏名を印字する。 |
| 監督署名称等 | 監督署名称、住所及び電話番号を印字する。 |

ハ　出力時期

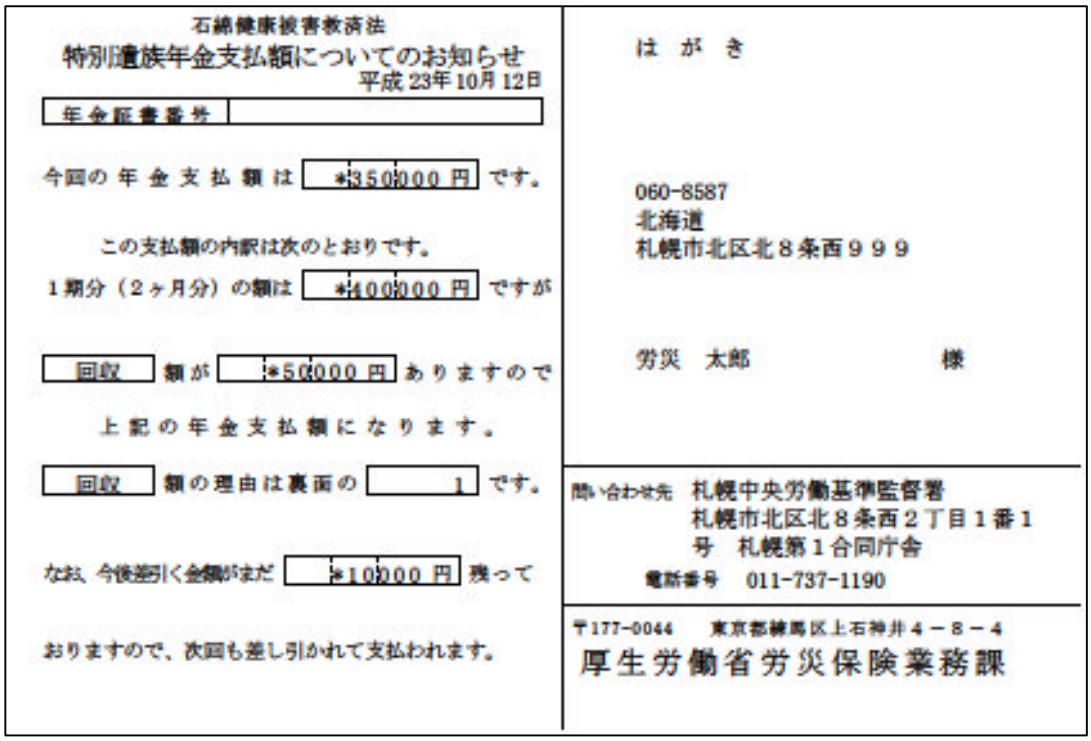
支払期

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

(5) 特別遺族年金支払額についてのお知らせ

（表面）



石綿健康被害救済法

特別遺族年金支払額についてのお知らせ

平成23年10月12日

年金証書番号

今回の年金支払額は ＊350000円 です。

この支払額の内訳は次のとおりです。

1期分（2ヶ月分）の額は ＊400000円 ですが

回収 額が ＊50000円 ありますので

上記の年金支払額になります。

回収 額の理由は裏面の 1 です。

なお、今後差引く金額がまだ ＊10000円 残って

おりますので、次回も差し引かれて支払われます。

はがき

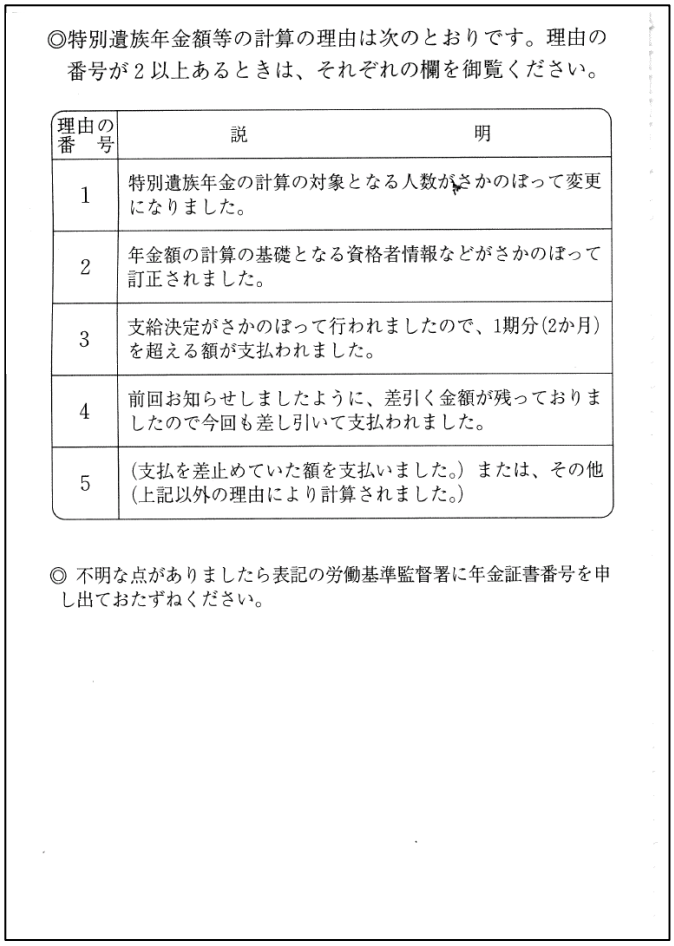
060-8587
北海道
札幌市北区北８条西９９９

労災 太郎 様

問い合わせ先 札幌中央労働基準監督署
札幌市北区北８条西２丁目１番１号 札幌第１合同庁舎
電話番号 011-737-1190

〒177-0044 東京都練馬区上石神井４－８－４
厚生労働省労災保険業務課

（裏面）



◎特別遺族年金額等の計算の理由は次のとおりです。理由の番号が２以上あるときは、それぞれの欄を御覧ください。

| 理由の番号 | 説明 |
|---|---|
| 1 | 特別遺族年金の計算の対象となる人数がさかのぼって変更になりました。 |
| 2 | 年金額の計算の基礎となる資格者情報などがさかのぼって訂正されました。 |
| 3 | 支給決定がさかのぼって行われましたので、1期分(2か月)を超える額が支払われました。 |
| 4 | 前回お知らせしましたように、差引く金額が残っておりましたので今回も差し引いて支払われました。 |
| 5 | (支払を差止めていた額を支払いました。) または、その他(上記以外の理由により計算されました。) |

◎ 不明な点がありましたら表記の労働基準監督署に年金証書番号を申し出ておたずねください。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 支払年月日 | 年金支払日を印字する。 |
| 年金証書番号 | 管轄局署コード、年金証書番号、枝番号を印字する。 |
| 年金支払額 | 当期の年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 年金１期分の支払額 | 【年金給付月額（初月）＋年金給付月額（終月）】を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 年金追給・回収 | 年金支払額 ＞ 年金１期分の支払額の場合は「追給」を印字、年金支払額 ＜ 年金１期分の支払額の場合は「回収」を印字する。<br>上記以外の場合は、印字しない。 |
| 年金差額 | 【年金１期分の支払額－年金支払額】を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 年金額変更理由 1～3 | 年金額変更理由の番号を最大３つまで印字する。<br>（変更理由の説明については、はがき裏面に記載） |
| 年金内払調整残額 | 年金内払調整残額がある場合、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の住所、氏名を印字する。 |
| 監督署名称等 | 監督署名称、住所及び電話番号を印字する。 |

ハ　出力時期

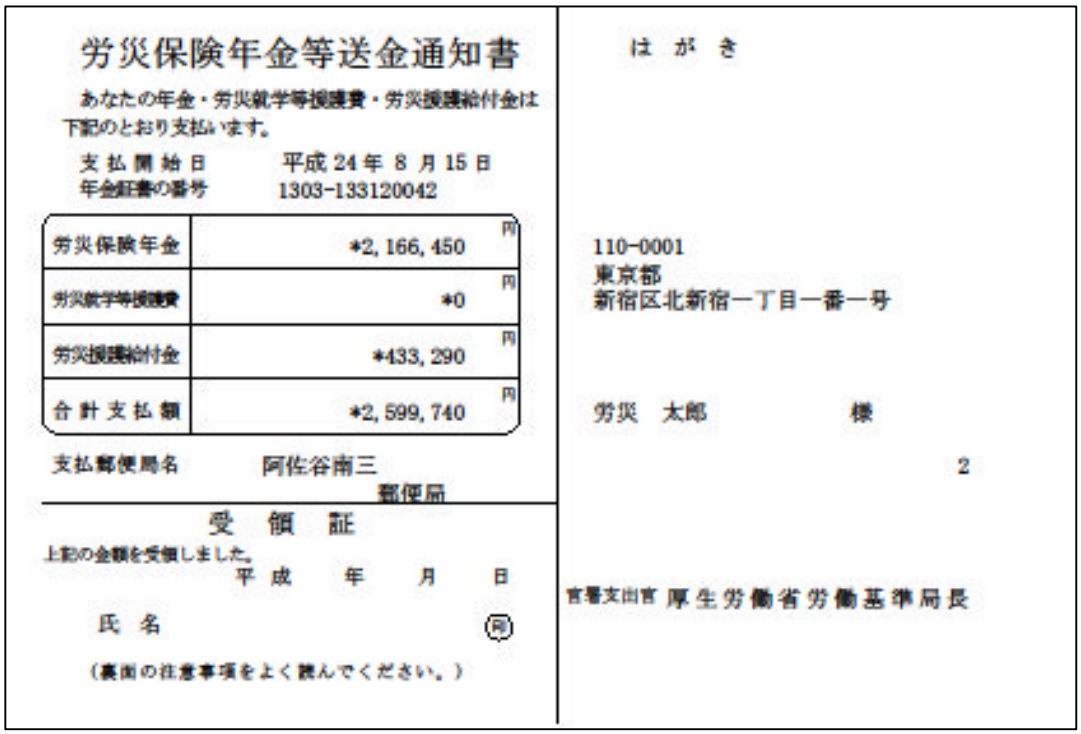
支払期

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

(6) 労災保険年金等送金通知書

（表面）



労災保険年金等送金通知書

あなたの年金・労災就学等援護費・労災援護給付金は下記のとおり支払います。

支払開始日　平成24年8月15日
年金証書の番号　1303-133120042

| | |
|---|---|
| 労災保険年金 | *2,166,450 円 |
| 労災就学等援護費 | *0 円 |
| 労災援護給付金 | *433,290 円 |
| 合計支払額 | *2,599,740 円 |

支払郵便局名　阿佐谷南三 郵便局

受領証

上記の金額を受領しました。
平成　年　月　日

氏名　㊞

（裏面の注意事項をよく読んでください。）

はがき

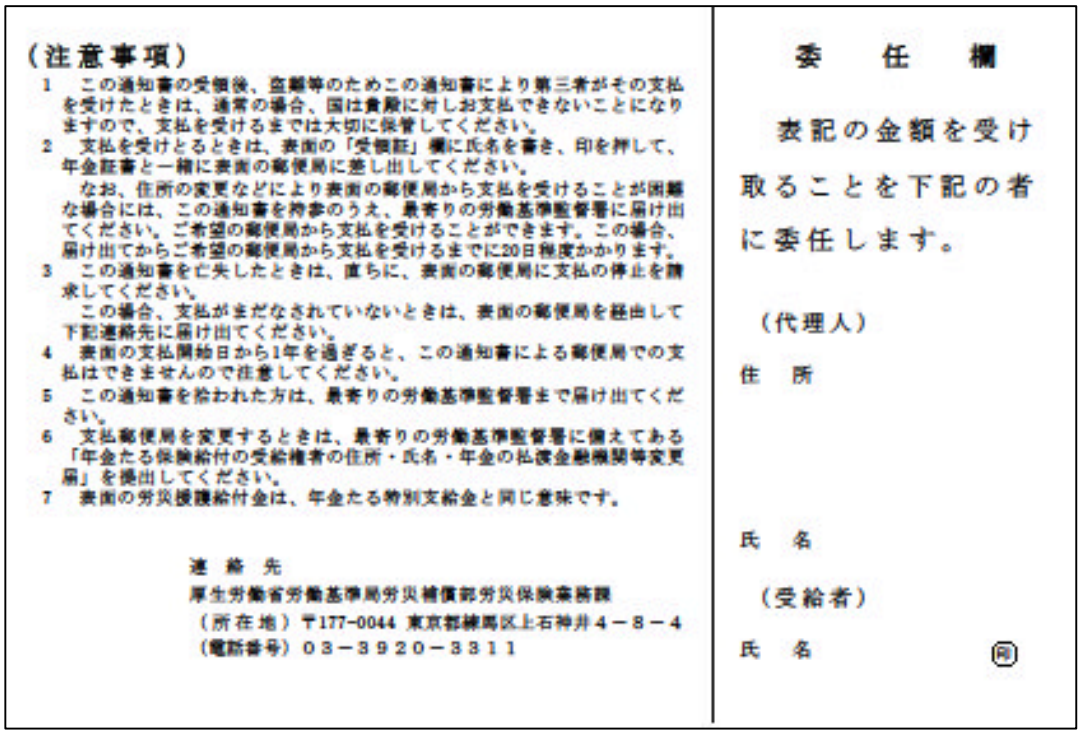
110-0001
東京都
新宿区北新宿一丁目一番一号

労災　太郎　様

2

官署支出官 厚生労働省労働基準局長

（裏面）



（注意事項）

1　この通知書の受領後、盗難等のためこの通知書により第三者がその支払を受けたときは、通常の場合、国は責務に対しお支払できないことになりますので、支払を受けるまでは大切に保管してください。
2　支払を受けとるときは、表面の「受領証」欄に氏名を書き、印を押して、年金証書と一緒に表面の郵便局に差し出してください。
なお、住所の変更などにより表面の郵便局から支払を受けることが困難な場合には、この通知書を持参のうえ、最寄りの労働基準監督署に届け出てください。ご希望の郵便局から支払を受けることができます。この場合、届け出てからご希望の郵便局から支払を受けるまでに20日程度かかります。
3　この通知書を亡失したときは、直ちに、表面の郵便局に支払の停止を請求してください。
この場合、支払がまだなされていないときは、表面の郵便局を経由して下記連絡先に届け出てください。
4　表面の支払開始日から1年を過ぎると、この通知書による郵便局での支払はできませんので注意してください。
5　この通知書を拾われた方は、最寄りの労働基準監督署まで届け出てください。
6　支払郵便局を変更するときは、最寄りの労働基準監督署に備えてある「年金たる保険給付の受給権者の住所・氏名・年金の払渡金融機関等変更届」を提出してください。
7　表面の労災援護給付金は、年金たる特別支給金と同じ意味です。

連絡先
厚生労働省労働基準局労災補償部労災保険業務課
（所在地）〒177-0044 東京都練馬区上石神井4－8－4
（電話番号）03－3920－3311

委任欄

表記の金額を受け取ることを下記の者に委任します。

（代理人）

住所

氏名

（受給者）

氏名　㊞

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 支払開始日 | 年金支払日を印字する。 |
| 年金証書の番号 | 管轄局署コード、年金証書番号を印字する。遺族の場合、枝番号を印字する。 |
| 労災保険年金 | 当期の年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 労災就学等援護費 | 当期の援護費支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 労災援護給付金 | 当期の特別年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 合計支払額 | 当期の支払額合計を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 支払郵便局名 | ①ゆうちょ銀行直営店の場合、“ゆうちょ銀行”＋郵便局名を印字する<br>②上記①以外で、名称に「郵便局」又は「出張所」の文言が含まれている場合は郵便局名を印字する。<br>③上記①②以外、郵便局名＋“郵便局”を印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の住所、氏名を印字する。 |
| 出力カウンタ | 1から連番を印字する。 |

ハ　出力時期

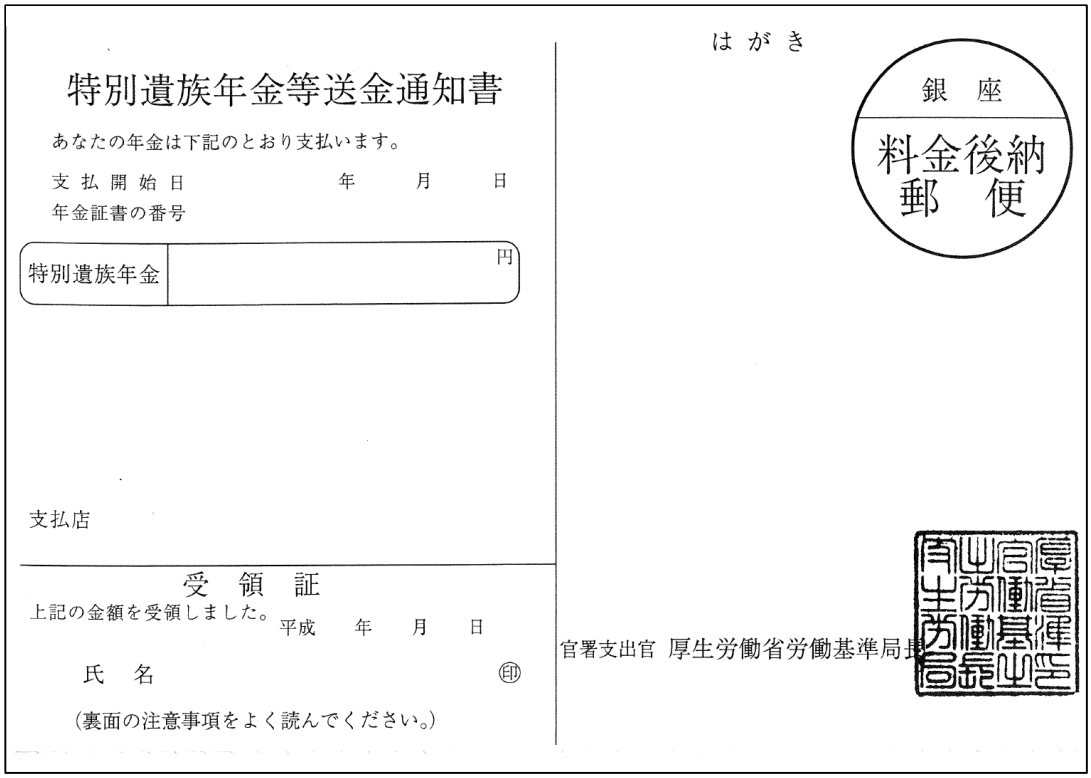
毎支払期

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

(7) 特別遺族年金等送金通知書

（表面）



特別遺族年金等送金通知書

あなたの年金は下記のとおり支払います。

支払開始日　　年　　月　　日

年金証書の番号

| 特別遺族年金 | 円 |
|---|---|

支払店

受領証

上記の金額を受領しました。　平成　　年　　月　　日

氏名　　㊞

（裏面の注意事項をよく読んでください。）

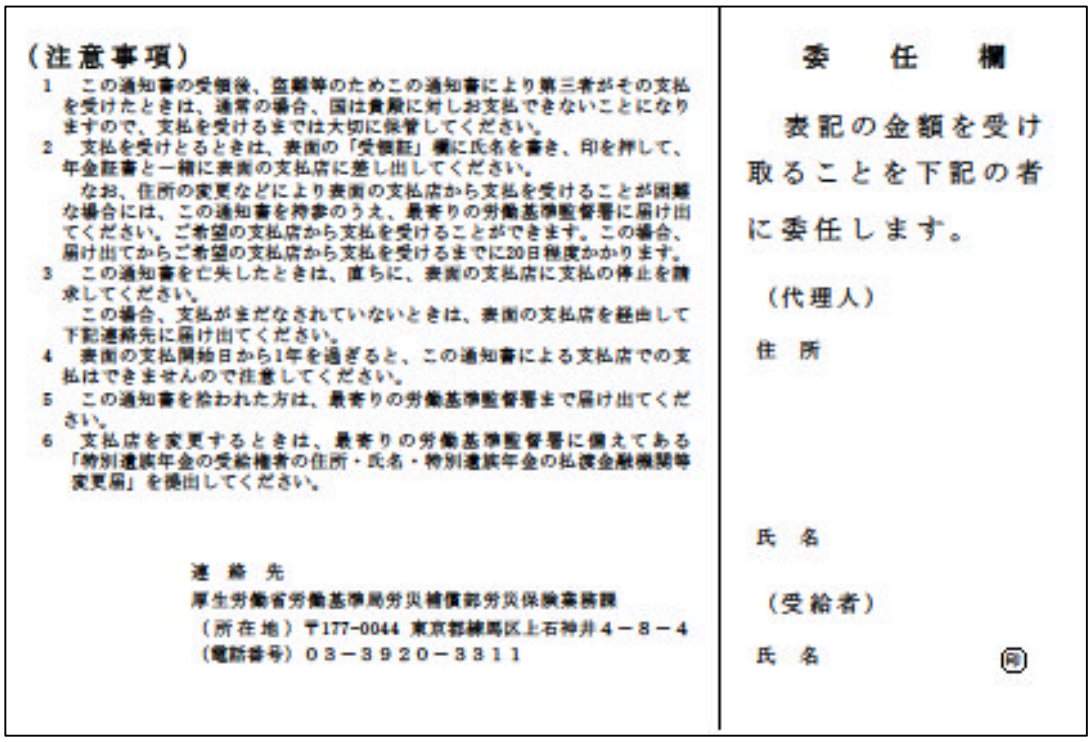
はがき

銀座

料金後納
郵便

官署支出官　厚生労働省労働基準局長

（裏面）



（注意事項）

1　この通知書の受領後、盗難等のためこの通知書により第三者がその支払を受けたときは、通常の場合、国は責務に対しお支払できないことになりますので、支払を受けるまでは大切に保管してください。

2　支払を受けとるときは、表面の「受領証」欄に氏名を書き、印を押して、年金証書と一緒に表面の支払店に差し出してください。
なお、住所の変更などにより表面の支払店から支払を受けることが困難な場合には、この通知書を持参のうえ、最寄りの労働基準監督署に届け出てください。ご希望の支払店から支払を受けることができます。この場合、届け出てからご希望の支払店から支払を受けるまでに20日程度かかります。

3　この通知書を亡失したときは、直ちに、表面の支払店に支払の停止を請求してください。
この場合、支払がまだなされていないときは、表面の支払店を経由して下記連絡先に届け出てください。

4　表面の支払開始日から1年を過ぎると、この通知書による支払店での支払はできませんので注意してください。

5　この通知書を拾われた方は、最寄りの労働基準監督署まで届け出てください。

6　支払店を変更するときは、最寄りの労働基準監督署に備えてある「特別遺族年金の受給権者の住所・氏名・特別遺族年金の払渡金融機関等変更届」を提出してください。

連絡先
厚生労働省労働基準局労災補償部労災保険業務課
（所在地）〒177-0044 東京都練馬区上石神井４－８－４
（電話番号）０３－３９２０－３３１１

委任欄

表記の金額を受け取ることを下記の者に委任します。

（代理人）

住所

氏名

（受給者）

氏名　　㊞

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 支払開始日 | 年金支払日を印字する。 |
| 年金証書の番号 | 管轄局署コード、年金証書番号、枝番号を印字する。 |
| 特別遺族年金 | 当期の特別遺族年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 支払郵便局名 | ①ゆうちょ銀行直営店の場合、“ゆうちょ銀行”＋郵便局名を印字する<br>②上記①以外で、名称に「郵便局」又は「出張所」の文言が含まれている場合は郵便局名を印字する。<br>③上記①②以外、郵便局名＋“郵便局”を印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の住所、氏名を印字する。 |
| 出力カウンタ | 1から連番を印字する。 |

ハ　出力時期

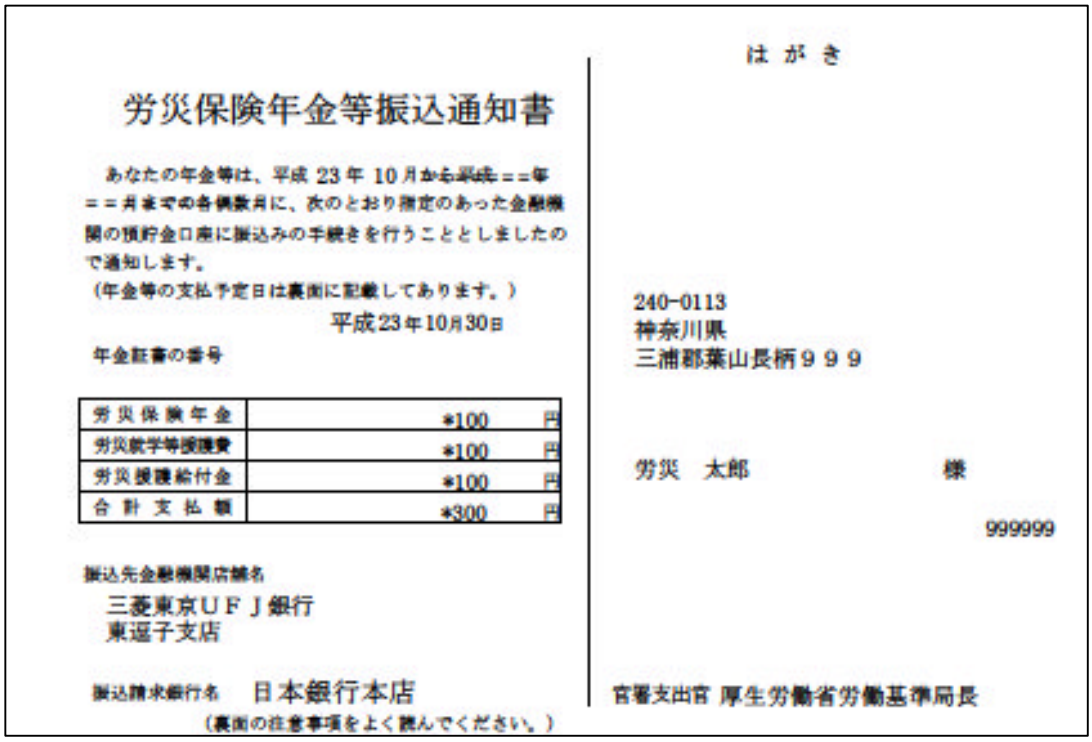
毎支払期

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

(8) 労災保険年金等振込通知書

（表面）



はがき

# 労災保険年金等振込通知書

あなたの年金等は、平成 23 年 10 月から平成＝＝年＝＝月までの各偶数月に、次のとおり指定のあった金融機関の預貯金口座に振込みの手続きを行うこととしましたので通知します。
（年金等の支払予定日は裏面に記載してあります。）

平成23年10月30日

年金証書の番号

| | |
|---|---|
| 労災保険年金 | *100 円 |
| 労災就学等援護費 | *100 円 |
| 労災援護給付金 | *100 円 |
| 合計支払額 | *300 円 |

振込先金融機関店舗名
三菱東京ＵＦＪ銀行
東逗子支店

振込請求銀行名　日本銀行本店

（裏面の注意事項をよく読んでください。）

240-0113
神奈川県
三浦郡葉山長柄９９９

労災　太郎　　様

999999

官署支出官 厚生労働省労働基準局長

（裏面）

（注意事項）

年金等の支払予定日は次に記載された各月の15日です。ただし、15日が土曜日、日曜日または休日のときは、その直前の金融機関等の営業日となります。

１０月（　８月、　９月の２か月分）　１２月（１０月、１１月の２か月分）
２月（１２月、　１月の２か月分）　４月（　２月、　３月の２か月分）
６月（　４月、　５月の２か月分）　８月（　６月、　７月の２か月分）

1　この通知書は、原則として表面に記載されている期間における各支払期毎の支払額を通知するものです。なお、この通知の内容に変更があった場合には、その都度改めて労災保険年金等振込通知書をお送りします。
2　指定された金融機関の預貯金口座への入金は、他の店舗を経由して振り込まれるため、多少遅れる場合があります。
3　指定された預貯金口座の解約等により、振込ができなかったときは、振込先等の確認、変更のために日数がかかるため、年金の受け取りが遅れることになります。
4　住所、氏名あるいは指定の金融機関を他の金融機関又は支払店に変更しようとするときは、「年金たる保険給付の受給権者の住所・氏名・年金の払渡金融機関等変更届」を最寄りの労働基準監督署へ提出してください。
5　表面の労災援護給付金は、年金たる特別支給金と同じ意味です。
6　労災保険年金・労災就学等援護費・労災援護給付金を受けることについてわからないことがあるときや変更届等の用紙が必要なときは、最寄りの労働基準監督署におたずねください。

連絡先
厚生労働省労働基準局労災補償部労災保険業務課
（所在地）〒177-0044 東京都練馬区上石神井4－8－4

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 適用開始年月 | 当期の年金支払年月を印字する（通常は 10 月を印字)。 |
| 適用終了年月 | 通常は 8 月を印字するが、そ及追回額や内払調整残額がある場合は、労災保険年金等振込通知書に印字された金額が振り込まれる支払期年月を印字する。詳細についてはⅢ支払事務等の振込通知書の表示パターン（Ⅲ-1-3 ページ）を参照。 |
| 出力年月日 | 当期の年金支払日を印字する。 |
| 年金証書の番号 | 管轄局署コード、年金証書番号を印字する。遺族の場合は枝番号も印字する。 |
| 労災保険年金 | 当期の年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。ただし、年金担保融資の返済中の受給権者については 0 円と表示される。 |
| 労災就学等援護費 | 当期の援護費支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 労災援護給付金 | 当期の特別年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 合計支払額 | 当期の支払額合計を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 振込先金融機関店舗 | 振込先金融機関名称、店舗名称を印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の住所、氏名を印字する。 |
| 出力カウンタ | 1 から連番を印字する。 |

ハ　出力時期

10 月上旬（年金支給開始時や支払額に変更があった場合等にも出力）

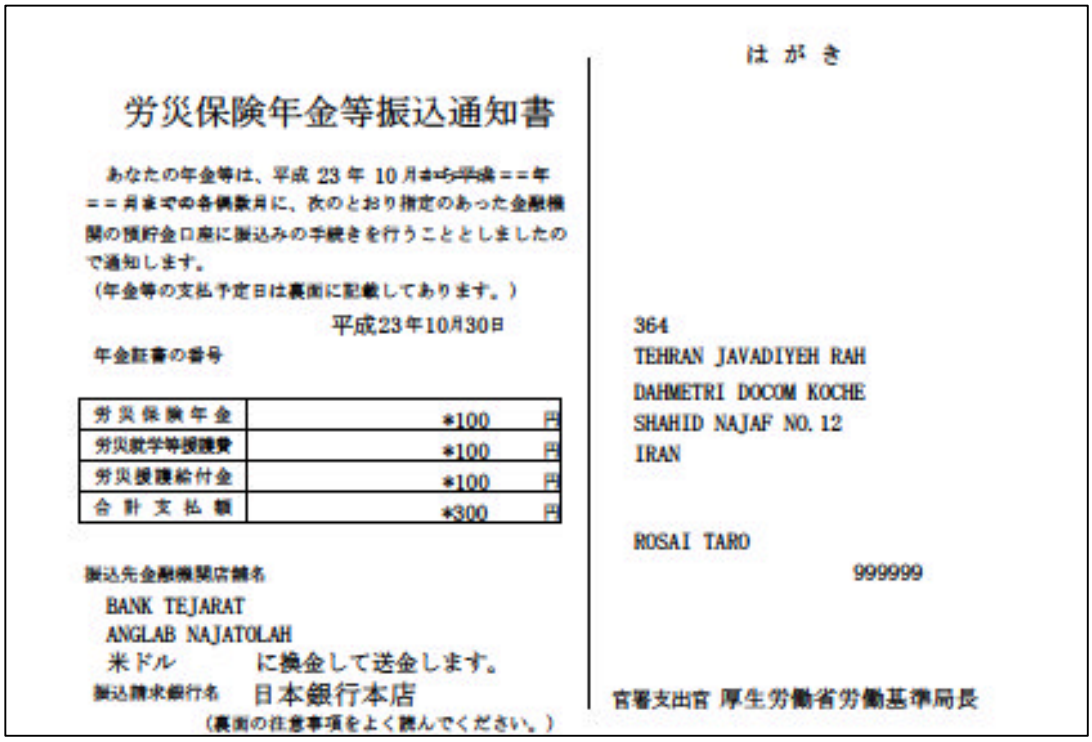
なお、年金担保融資返済中で労災就学等援護費かつ労災援護給付金の支給がない受給権者については送付されない。

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

(9) 労災保険年金等振込通知書（外国払）

（表面）



はがき

# 労災保険年金等振込通知書

あなたの年金等は、平成 23 年 10 月分から平成＝＝年＝＝月までの各偶数月に、次のとおり指定のあった金融機関の預貯金口座に振込みの手続きを行うこととしましたので通知します。
（年金等の支払予定日は裏面に記載してあります。）

平成23年10月30日

年金証書の番号

| | |
|---|---|
| 労災保険年金 | *100 円 |
| 労災就学等援護費 | *100 円 |
| 労災援護給付金 | *100 円 |
| 合計支払額 | *300 円 |

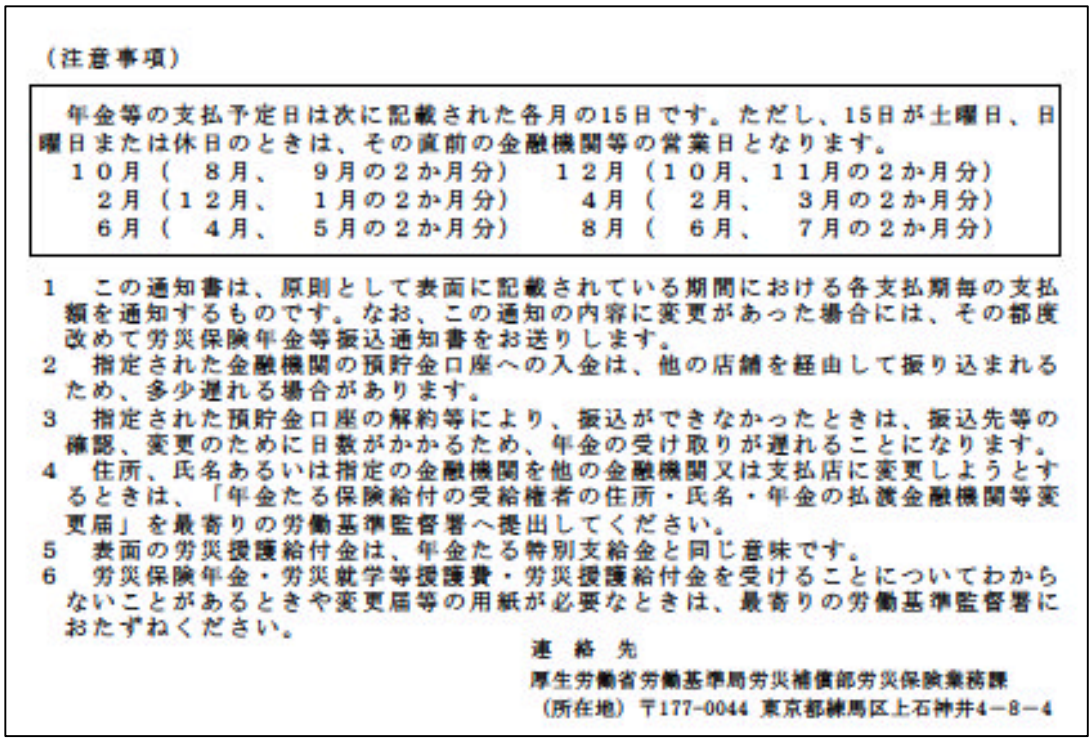
振込先金融機関店舗名
BANK TEJARAT
ANGLAB NAJATOLAH
米ドル に換金して送金します。
振込請求銀行名 日本銀行本店
（裏面の注意事項をよく読んでください。）

364
TEHRAN JAVADIYEH RAH
DAHMETRI DOCOM KOCHE
SHAHID NAJAF NO. 12
IRAN

ROSAI TARO
999999

官署支出官 厚生労働省労働基準局長

（裏面）



（注意事項）

年金等の支払予定日は次に記載された各月の15日です。ただし、15日が土曜日、日曜日または休日のときは、その直前の金融機関等の営業日となります。

| | |
|---|---|
| １０月（８月、９月の２か月分） | １２月（１０月、１１月の２か月分） |
| ２月（１２月、１月の２か月分） | ４月（２月、３月の２か月分） |
| ６月（４月、５月の２か月分） | ８月（６月、７月の２か月分） |

1 この通知書は、原則として表面に記載されている期間における各支払期毎の支払額を通知するものです。なお、この通知の内容に変更があった場合には、その都度改めて労災保険年金等振込通知書をお送りします。
2 指定された金融機関の預貯金口座への入金は、他の店舗を経由して振り込まれるため、多少遅れる場合があります。
3 指定された預貯金口座の解約等により、振込ができなかったときは、振込先等の確認、変更のために日数がかかるため、年金の受け取りが遅れることになります。
4 住所、氏名あるいは指定の金融機関を他の金融機関又は支払店に変更しようとするときは、「年金たる保険給付の受給権者の住所・氏名・年金の払渡金融機関等変更届」を最寄りの労働基準監督署へ提出してください。
5 表面の労災援護給付金は、年金たる特別支給金と同じ意味です。
6 労災保険年金・労災就学等援護費・労災援護給付金を受けることについてわからないことがあるときや変更届等の用紙が必要なときは、最寄りの労働基準監督署におたずねください。

連絡先
厚生労働省労働基準局労災補償部労災保険業務課
（所在地）〒177-0044 東京都練馬区上石神井4－8－4

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 適用開始年月 | 当期の年金支払年月を印字する。 |
| 適用終了年月 | 「＝＝＝＝＝＝＝」を印字する。 |
| 出力年月日 | 当期の年金支払日を印字する。 |
| 年金証書の番号 | 管轄局署コード、年金証書番号を印字する。遺族の場合は枝番号も印字する。 |
| 労災保険年金 | 当期の年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 労災就学等援護費 | 当期の援護費支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 労災援護給付金 | 当期の特別年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 合計支払額 | 当期の支払額合計を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 振込先金融機関店舗 | 外国名、金融機関名称を印字する。 |
| 通貨 | 「通貨名」＋「に換金して送金します。」を印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の外国住所、外国氏名を印字する。 |
| 出力カウンタ | 1から連番を印字する。 |

ハ　出力時期

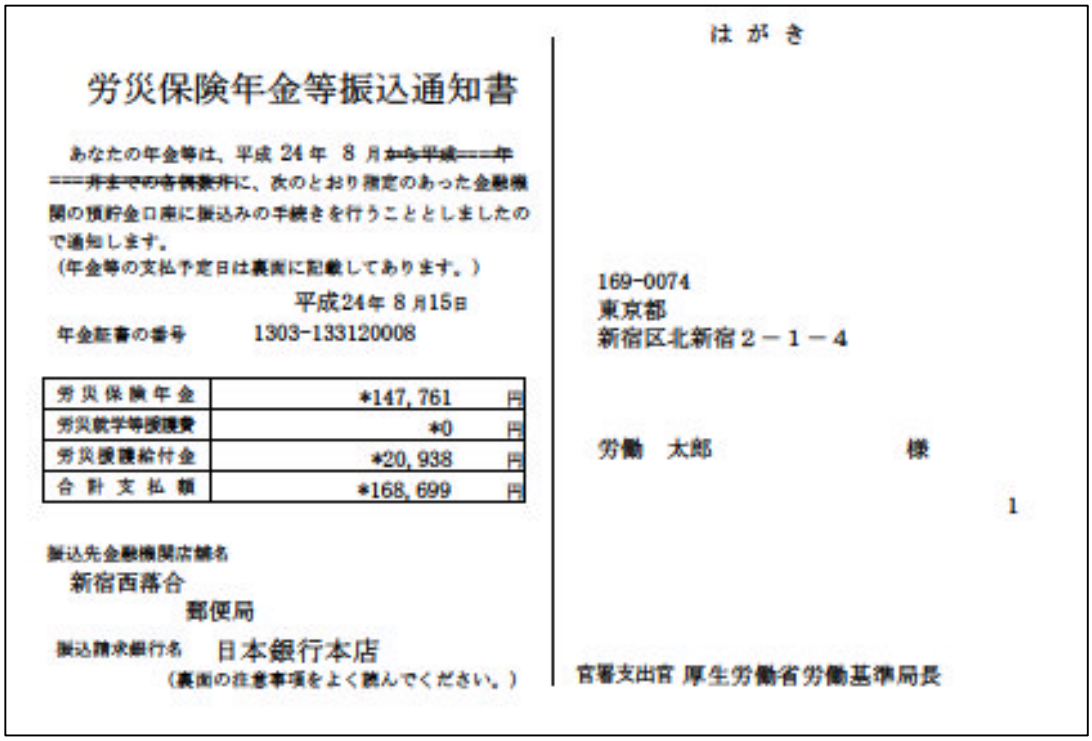
毎支払期

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

（10）労災保険年金等振込通知書（ゆうちょ銀行振込）

（表面）



はがき

# 労災保険年金等振込通知書

あなたの年金等は、平成 24 年 8 月~~から平成　年　月まで~~の各支給期月に、次のとおり指定のあった金融機関の預貯金口座に振込みの手続きを行うこととしましたので通知します。
（年金等の支払予定日は裏面に記載してあります。）

平成24年 8 月15日

年金証書の番号　1303-133120008

| | | |
|---|---|---|
| 労災保険年金 | *147,761 | 円 |
| 労災就学等援護費 | *0 | 円 |
| 労災援護給付金 | *20,938 | 円 |
| 合計支払額 | *168,699 | 円 |

振込先金融機関店舗名
新宿西落合
郵便局

振込請求銀行名　日本銀行本店
（裏面の注意事項をよく読んでください。）

169-0074
東京都
新宿区北新宿２－１－４

労働　太郎　　様

1

官署支出官 厚生労働省労働基準局長

（裏面）

（注意事項）

年金等の支払予定日は次に記載された各月の15日です。ただし、15日が土曜日、日曜日または休日のときは、その直前の金融機関等の営業日となります。

１０月（　８月、　９月の２か月分）　１２月（１０月、１１月の２か月分）
２月（１２月、　１月の２か月分）　４月（　２月、　３月の２か月分）
６月（　４月、　５月の２か月分）　８月（　６月、　７月の２か月分）

1　この通知書は、原則として表面に記載されている期間における各支払期毎の支払額を通知するものです。なお、この通知の内容に変更があった場合には、その都度改めて労災保険年金等振込通知書をお送りします。
2　指定された金融機関の預貯金口座への入金は、他の店舗を経由して振り込まれるため、多少遅れる場合があります。
3　指定された預貯金口座の解約等により、振込ができなかったときは、振込先等の確認、変更のために日数がかかるため、年金の受け取りが遅れることになります。
4　住所、氏名あるいは指定の金融機関を他の金融機関又は支払店に変更しようとするときは、「年金たる保険給付の受給権者の住所・氏名・年金の払渡金融機関等変更届」を最寄りの労働基準監督署へ提出してください。
5　表面の労災援護給付金は、年金たる特別支給金と同じ意味です。
6　労災保険年金・労災就学等援護費・労災援護給付金を受けることについてわからないことがあるときや変更届等の用紙が必要なときは、最寄りの労働基準監督署におたずねください。

連絡先
厚生労働省労働基準局労災補償部労災保険業務課
（所在地）〒177-0044 東京都練馬区上石神井4－8－4

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 適用開始年月 | 当期の年金支払年月を印字する（通常は 10 月を印字)。 |
| 適用終了年月 | 通常は 8 月を印字するが、そ及追回額や内払調整残額がある場合は、労災保険年金等振込通知書に印字された金額が振り込まれる支払期年月を印字する。詳細についてはⅢ支払事務等の振込通知書の表示パターン（Ⅲ-1-3 ページ）を参照。 |
| 出力年月日 | 当期の年金支払日を印字する。 |
| 年金証書の番号 | 管轄局署コード、年金証書番号を印字する。遺族の場合は枝番号も印字する。 |
| 労災保険年金 | 当期の年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 労災就学等援護費 | 当期の援護費支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 労災援護給付金 | 当期の特別年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 合計支払額 | 当期の支払額合計を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 振込先金融機関店舗 | ①ゆうちょ銀行直営店の場合、“ゆうちょ銀行”＋郵便局名を印字する<br>②上記①以外で、名称に「郵便局」又は「出張所」の文言が含まれている場合は郵便局名を印字する。<br>③上記①②以外、郵便局名＋“郵便局”を印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の住所、氏名を印字する。 |
| 出力カウンタ | 1 から連番を印字する。 |

ハ　出力時期

10 月上旬（年金支給開始時や支払額に変更があった場合等にも出力）

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

（11）特別遺族年金振込通知書

（表面）

はがき

東京中央局
料金後納
郵便

石綿健康被害救済法

# 特別遺族年金振込通知書

あなたの年金等は、平成　　年　　月から平成　　年　　月までの各偶数月に、次のとおり指定のあった金融機関の預貯金口座に振込みの手続きを行うこととしましたので通知します。

（年金等の支払予定日は裏面に記載してあります。）

年　　月　　日

年金証書の番号

| 特別遺族年金 | 円 |
|---|---|

振込先金融機関店舗名

振込請求銀行名　日本銀行本店

（裏面の注意事項をよく読んでください。）

官署支出官 厚生労働省労働基準局長

（裏面）

（注意事項）

年金等の支払予定日は次に記載された各月の15日です。ただし、15日が土曜日、日曜日または休日のときは、その直前の金融機関等の営業日となります。

| | |
|---|---|
| １０月（　８月、　９月の２か月分） | １２月（１０月、１１月の２か月分） |
| ２月（１２月、　１月の２か月分） | ４月（　２月、　３月の２か月分） |
| ６月（　４月、　５月の２か月分） | ８月（　６月、　７月の２か月分） |

1　この通知書は、原則として表面に記載されている期間における各支払期毎の支払額を通知するものです。なお、この通知の内容に変更があった場合には、その都度改めて特別遺族年金振込通知書をお送りします。

2　指定された金融機関の預貯金口座への入金は、他の店舗を経由して振り込まれるため、多少遅れる場合があります。

3　指定された預貯金口座の解約等により、振込ができなかったときは、振込先等の確認、変更のために日数がかかるため、年金の受け取りが遅れることになります。

4　住所、氏名あるいは指定の金融機関を他の金融機関又は支払店に変更しようとするときは、「特別遺族年金の受給権者の住所・氏名・特別遺族年金の払渡金融機関等変更届」を最寄りの労働基準監督署へ提出してください。

5　特別遺族年金を受けることについてわからないことがあるときや変更届等の用紙が必要なときは、最寄りの労働基準監督署におたずねください。

連絡先
厚生労働省労働基準局労災補償部労災保険業務課
（所在地）〒177-0044 東京都練馬区上石神井4－8－4

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 適用開始年月 | 当期の年金支払年月を印字する（通常は 10 月を印字)。 |
| 適用終了年月 | 通常は 8 月を印字するが、そ及追回額や内払調整残額がある場合は、労災保険年金等振込通知書に印字された金額が振り込まれる支払期年月を印字する。詳細についてはⅢ支払事務等の振込通知書の表示パターン（Ⅲ-1-3 ページ）を参照。 |
| 出力年月日 | 当期の年金支払日を印字する。 |
| 年金証書の番号 | 管轄局署コード、年金証書番号、枝番号を印字する。 |
| 特別遺族年金 | 当期の特別遺族年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 振込先金融機関店舗 | 振込先金融機関名称、店舗名称を印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の住所、氏名を印字する。 |
| 出力カウンタ | 1 から連番を印字する。 |

ハ　出力時期

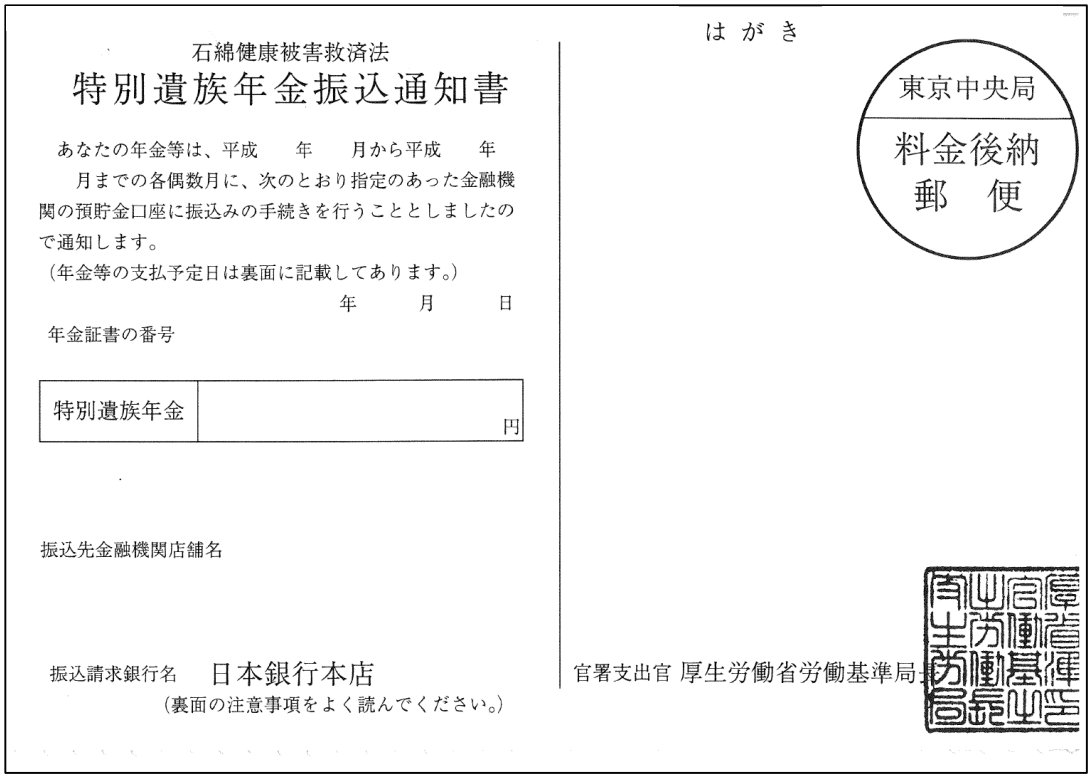
10 月上旬（年金支給開始時や支払額に変更があった場合等にも出力）

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

（12）特別遺族年金振込通知書（外国払）

（表面）



はがき

東京中央局
料金後納
郵便

石綿健康被害救済法

# 特別遺族年金振込通知書

あなたの年金等は、平成　　年　　月から平成　　年　　月までの各偶数月に、次のとおり指定のあった金融機関の預貯金口座に振込みの手続きを行うこととしましたので通知します。

（年金等の支払予定日は裏面に記載してあります。）

年　　月　　日

年金証書の番号

| 特別遺族年金 | 円 |
|---|---|

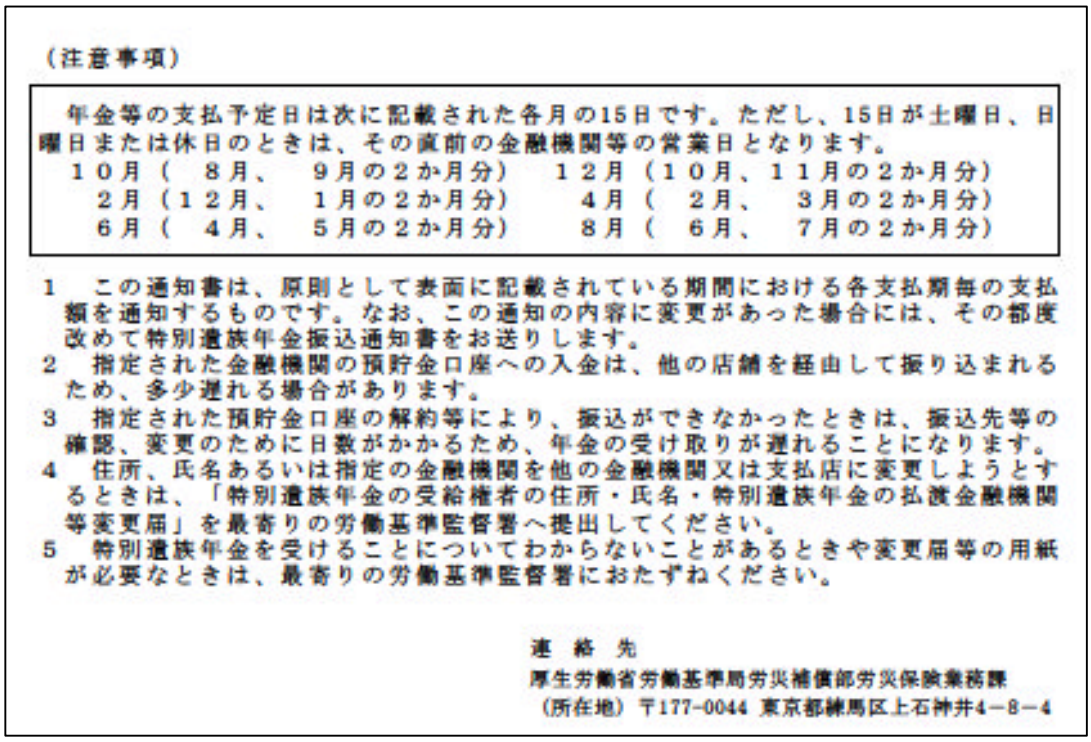
振込先金融機関店舗名

振込請求銀行名　日本銀行本店

（裏面の注意事項をよく読んでください。）

官署支出官 厚生労働省労働基準局長

（裏面）



（注意事項）

年金等の支払予定日は次に記載された各月の15日です。ただし、15日が土曜日、日曜日または休日のときは、その直前の金融機関等の営業日となります。

| | |
|---|---|
| １０月（　８月、　９月の２か月分） | １２月（１０月、１１月の２か月分） |
| ２月（１２月、　１月の２か月分） | ４月（　２月、　３月の２か月分） |
| ６月（　４月、　５月の２か月分） | ８月（　６月、　７月の２か月分） |

1　この通知書は、原則として表面に記載されている期間における各支払期毎の支払額を通知するものです。なお、この通知の内容に変更があった場合には、その都度改めて特別遺族年金振込通知書をお送りします。
2　指定された金融機関の預貯金口座への入金は、他の店舗を経由して振り込まれるため、多少遅れる場合があります。
3　指定された預貯金口座の解約等により、振込ができなかったときは、振込先等の確認、変更のために日数がかかるため、年金の受け取りが遅れることになります。
4　住所、氏名あるいは指定の金融機関を他の金融機関又は支払店に変更しようとするときは、「特別遺族年金の受給権者の住所・氏名・特別遺族年金の払渡金融機関等変更届」を最寄りの労働基準監督署へ提出してください。
5　特別遺族年金を受けることについてわからないことがあるときや変更届等の用紙が必要なときは、最寄りの労働基準監督署におたずねください。

連絡先
厚生労働省労働基準局労災補償部労災保険業務課
（所在地）〒177-0044 東京都練馬区上石神井4－8－4

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 適用開始年月 | 当期の年金支払年月を印字する。 |
| 適用終了年月 | 「＝＝＝＝＝＝＝」を印字する。 |
| 出力年月日 | 当期の年金支払日を印字する。 |
| 年金証書の番号 | 管轄局署コード、年金証書番号、枝番号を印字する。 |
| 特別遺族年金 | 当期の特別遺族年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 振込先金融機関店舗 | 外国名、金融機関名称を印字する。 |
| 通貨 | 「通貨名」＋「に換金して送金します。」を印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の外国住所、外国氏名を印字する。 |
| 出力カウンタ | 1から連番を印字する。 |

ハ　出力時期

毎支払期

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

（13）特別遺族年金振込通知書（ゆうちょ銀行振込）

（表面）

はがき

東京中央局
料金後納
郵便

石綿健康被害救済法

# 特別遺族年金振込通知書

あなたの年金等は、平成　　年　　月から平成　　年　　月までの各偶数月に、次のとおり指定のあった金融機関の預貯金口座に振込みの手続きを行うこととしましたので通知します。

（年金等の支払予定日は裏面に記載してあります。）

年　　月　　日

年金証書の番号

| 特別遺族年金 | 円 |
|---|---|

振込先金融機関店舗名

振込請求銀行名　日本銀行本店

（裏面の注意事項をよく読んでください。）

官署支出官 厚生労働省労働基準局長

（裏面）

（注意事項）

年金等の支払予定日は次に記載された各月の15日です。ただし、15日が土曜日、日曜日または休日のときは、その直前の金融機関等の営業日となります。

| | |
|---|---|
| １０月（　８月、　９月の２か月分） | １２月（１０月、１１月の２か月分） |
| ２月（１２月、　１月の２か月分） | ４月（　２月、　３月の２か月分） |
| ６月（　４月、　５月の２か月分） | ８月（　６月、　７月の２か月分） |

1　この通知書は、原則として表面に記載されている期間における各支払期毎の支払額を通知するものです。なお、この通知の内容に変更があった場合には、その都度改めて特別遺族年金振込通知書をお送りします。

2　指定された金融機関の預貯金口座への入金は、他の店舗を経由して振り込まれるため、多少遅れる場合があります。

3　指定された預貯金口座の解約等により、振込ができなかったときは、振込先等の確認、変更のために日数がかかるため、年金の受け取りが遅れることになります。

4　住所、氏名あるいは指定の金融機関を他の金融機関又は支払店に変更しようとするときは、「特別遺族年金の受給権者の住所・氏名・特別遺族年金の払渡金融機関等変更届」を最寄りの労働基準監督署へ提出してください。

5　特別遺族年金を受けることについてわからないことがあるときや変更届等の用紙が必要なときは、最寄りの労働基準監督署におたずねください。

連絡先
厚生労働省労働基準局労災補償部労災保険業務課
（所在地）〒177-0044 東京都練馬区上石神井4－8－4

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| 適用開始年月 | 当期の年金支払年月を印字する（通常は 10 月を印字)。 |
| 適用終了年月 | 通常は 8 月を印字するが、そ及追回額や内払調整残額がある場合は、労災保険年金等振込通知書に印字された金額が振り込まれる支払期年月を印字する。詳細についてはⅢ支払事務等の振込通知書の表示パターン（Ⅲ-1-3 ページ）を参照。 |
| 出力年月日 | 当期の年金支払日を印字する。 |
| 年金証書の番号 | 管轄局署コード、年金証書番号、枝番号を印字する。 |
| 特別遺族年金 | 当期の特別遺族年金支払額を、金額の左側に「*」を付加して右詰で印字する。 |
| 振込先金融機関店舗 | ①ゆうちょ銀行直営店の場合、“ゆうちょ銀行”＋郵便局名を印字する<br>②上記①以外で、名称に「郵便局」又は「出張所」の文言が含まれている場合は郵便局名を印字する。<br>③上記①②以外、郵便局名＋“郵便局”を印字する。 |
| 宛名 | 受給権者の住所、氏名を印字する。 |
| 出力カウンタ | 1 から連番を印字する。 |

ハ　出力時期

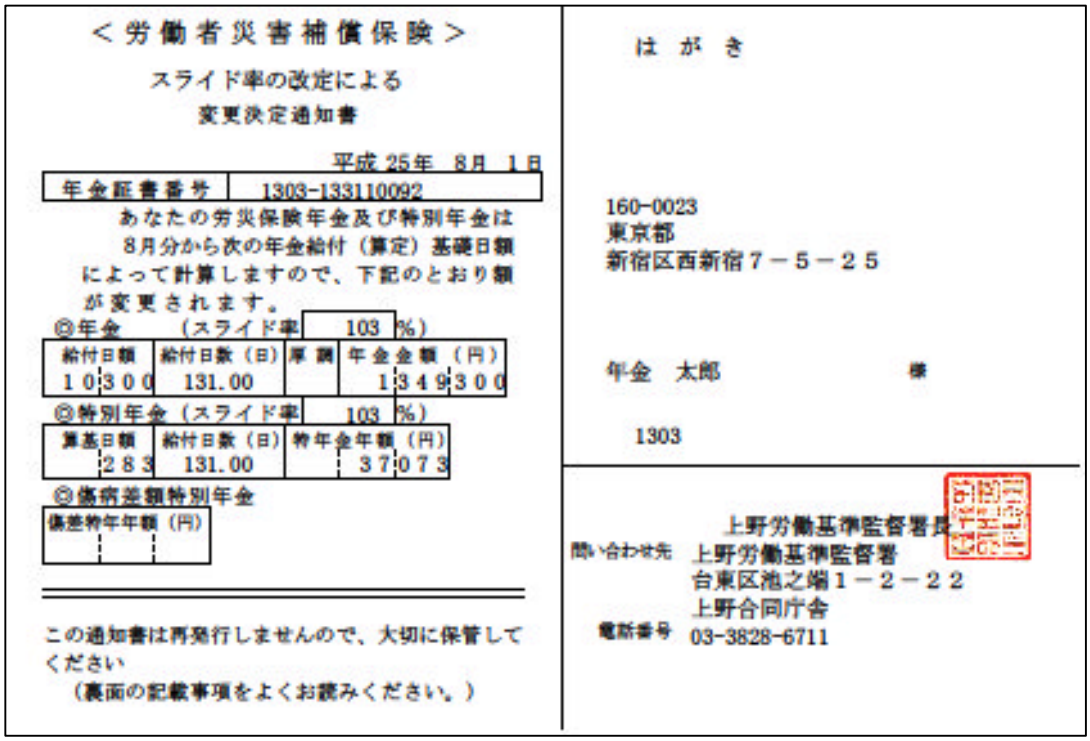
10 月上旬（年金支給開始時や支払額に変更があった場合等にも出力）

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

（14）スライド等の改定による変更決定通知書

（表面）



＜労働者災害補償保険＞

スライド率の改定による
変更決定通知書

平成 25年 8月 1日

| 年金証書番号 | 1303-133110092 |
|---|---|

あなたの労災保険年金及び特別年金は8月分から次の年金給付（算定）基礎日額によって計算しますので、下記のとおり額が変更されます。

◎年金　（スライド率　103 %）

| 給付日額 | 給付日数（日） | 厚調 | 年金金額（円） |
|---|---|---|---|
| 10300 | 131.00 | | 1349300 |

◎特別年金（スライド率　103 %）

| 算基日額 | 給付日数（日） | 特年金年額（円） |
|---|---|---|
| 283 | 131.00 | 37073 |

◎傷病差額特別年金

| 傷差特年年額（円） |
|---|
| |

この通知書は再発行しませんので、大切に保管してください

（裏面の記載事項をよくお読みください。）

はがき

160-0023
東京都
新宿区西新宿７－５－２５

年金　太郎　　様

1303

上野労働基準監督署長

問い合わせ先　上野労働基準監督署
台東区池之端１－２－２２
上野合同庁舎
電話番号　03-3828-6711

（裏面）

1　年金年額は、年金給付基礎日額を基に、次のとおり計算されます。
(1)厚年等調整率（厚調　欄が空欄の方……年金給付基礎日額×給付日数
(2)厚年等調整率（厚調　欄に率が印書されている方……年金給付基礎日額×給付日数×厚年等調整率
(3)厚年等調整率（厚調　欄に＊が付されている方……年金給付基礎日額×給付日数－厚年等年額
(4)厚年等調整率（厚調　欄に＊＊が付されている方……年金給付基礎日額×給付日数－厚年等調整率（2種併合）
2　特別年金年額は、算定基礎日額に給付日数を掛け合わせた金額です。
3　年金給付基礎日額は、原則として平均賃金に相当する額にスライド率を乗じて得た額をいいますが、その額が被災労働者の年齢階層に応ずる最低限度額（最高限度額）を下回る（上回る）ときは、その額に変えて最低限度額（最高限度額）が年金給付基礎日額となります。
4　年金のスライド率は、全産業の労働者１人あたりの平均給与額が、災害発生年度にくらべ、変動があった年の翌年度の８月から改定するものです。ただし、スライド率欄に＊＊＊＊が付されている方はスライド率が適用されません。また、最低限度額及び最高年度額については、年齢階層ごとに「賃金構造基本統計調査」の結果に基づいて算定し、８月から改定することになります。
5　算定事由発生日（災害を被った日、又は医師の診断によって病気にかかったことがわかった日）が平成12年３月31日以前である方、算定基礎事由発生日が平成13年３月31日以前であって最低・最高限度額の適用がある方については、年金年額の端数処理方法が改められ、１円単位で計算されることとなります。

---

表記の年金額の決定に不服がある場合は、決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、表記の労働基準監督署を管轄する都道府県労働局の労働者災害補償保険審査官に対して審査請求することができます。
※　不明な点がありましたら表記の労働基準監督署に年金証書番号を申し出ておたずねください。

ロ　出力項目の説明

| 項　　目 | 項　　目 |
|---|---|
| タイトル | 改定理由により以下のいずれかを印字する<br>・「スライド率の改定による」<br>・「最高・最低限度額の改定による」<br>・「最低保障額の改定による」<br>・「厚年等調整率の改定による」<br>・「厚年等調整率等の改定」 |
| 出力年月日 | 変更決定通知書を出力した日付を印字する。 |
| 年金証書番号 | 管轄局署コード、年金証書番号を印字する。遺族の場合、枝番号も印字する。 |
| 支給月 | 改定後の年金額等で支給される月を印字する（通常は８月）。 |
| 年金スライド率 | スライド率を印字する。ただし、最高・最低限度額改定及び最低補償額改定の場合は「****」を印字する。 |
| 年金給付基礎日額 | 年金給付基礎日額を印字する。 |
| 年金給付日数 | 給付日数を印字する。 |
| 厚年等調整率 | 厚年等調整率を印字する。ただし、遺族（補償）年金でⅠ種・Ⅱ種どちらも支給調整をおこなっている場合は「**」を印字する。 |
| 年金年額 | 厚年等調整後の年金年額を印字する。 |
| 特別年金スライド率 | スライド率を印字する。ただし、算定基礎日額が０円の場合は、印字しない（特別年金の項目は全て印字しない）。 |
| 算定基礎日額 | 算定基礎日額を印字する。 |
| 特別年金給付日数 | 給付日数を印字する。 |
| 特別年金年額 | 特別年金年額を印字する。 |
| 傷病差額特年年額 | 差額特年年額を印字する。支給がない場合は印字しない。 |
| 宛名 | 受給権者の住所、氏名を印字する。 |
| 監督署名称等 | 監督署名称、住所及び電話番号を印字する。 |

ハ　出力時期

８月中旬

ニ　事務処理

受給権者から内容について問い合わせがあった場合は、適切に回答する。

# V

# 別　表

## 1 傷病等級表

| 等級号 | コード |
|---|---|
| １級１号 | 0101 |
| １級２号 | 0102 |
| １級３号 | 0103 |
| １級４号 | 0104 |
| １級５号 | 0105 |
| １級６号 | 0106 |
| １級７号 | 0107 |
| １級８号 | 0108 |
| １級９号 | 0109 |
| ２級１号 | 0201 |
| ２級２号 | 0202 |
| ２級３号 | 0203 |
| ２級４号 | 0204 |
| ２級５号 | 0205 |
| ２級６号 | 0206 |
| ３級１号 | 0301 |
| ３級２号 | 0302 |
| ３級３号 | 0303 |
| ３級４号 | 0304 |
| ３級５号 | 0305 |
| ３級６号 | 0306 |

## 2 障害等級表

| 等級号 | コード |
|---|---|
| 1級1号 | 0101 |
| 1級2号 | 0102 |
| 1級3号 | 0103 |
| 1級4号 | 0104 |
| 1級6号 | 0106 |
| 1級7号 | 0107 |
| 1級8号 | 0108 |
| 1級9号 | 0109 |
| 併合1級 | 0120 |
| 準用1級 | 0130 |
| 2級1号 | 0201 |
| 2級2号 | 0202 |
| 2級3号 | 0203 |
| 2級4号 | 0204 |
| 併合2級 | 0220 |
| 2級2号の2 | 0222 |
| 2級2号の3 | 0223 |
| 準用2級 | 0230 |
| 3級1号 | 0301 |
| 3級2号 | 0302 |
| 3級3号 | 0303 |
| 3級4号 | 0304 |
| 3級5号 | 0305 |
| 併合3級 | 0320 |
| 準用3級 | 0330 |
| 4級1号 | 0401 |
| 4級2号 | 0402 |
| 4級3号 | 0403 |
| 4級4号 | 0404 |
| 4級5号 | 0405 |
| 4級6号 | 0406 |
| 4級7号 | 0407 |

| 等級号 | コード |
|---|---|
| 併合4級 | 0420 |
| 準用4級 | 0430 |
| 5級1号 | 0501 |
| 5級2号 | 0502 |
| 5級3号 | 0503 |
| 5級4号 | 0504 |
| 5級5号 | 0505 |
| 5級6号 | 0506 |
| 5級1号の2 | 0512 |
| 5級1号の3 | 0513 |
| 併合5級 | 0520 |
| 準用5級 | 0530 |
| 6級1号 | 0601 |
| 6級2号 | 0602 |
| 6級3号 | 0603 |
| 6級4号 | 0604 |
| 6級5号 | 0605 |
| 6級6号 | 0606 |
| 6級7号 | 0607 |
| 併合6級 | 0620 |
| 準用6級 | 0630 |
| 6級3号の2 | 0632 |
| 7級1号 | 0701 |
| 7級2号 | 0702 |
| 7級3号 | 0703 |
| 7級4号 | 0704 |
| 7級5号 | 0705 |
| 7級6号 | 0706 |
| 7級7号 | 0707 |
| 7級8号 | 0708 |
| 7級9号 | 0709 |
| 7級10号 | 0710 |

| 等級号 | コード |
|---|---|
| 7級11号 | 0711 |
| 7級12号 | 0712 |
| 7級13号 | 0713 |
| 併合7級 | 0720 |
| 7級2号の2 | 0722 |
| 準用7級 | 0730 |
| 8級1号 | 0801 |
| 8級2号 | 0802 |
| 8級3号 | 0803 |
| 8級4号 | 0804 |
| 8級5号 | 0805 |
| 8級6号 | 0806 |
| 8級7号 | 0807 |
| 8級8号 | 0808 |
| 8級9号 | 0809 |
| 8級10号 | 0810 |
| 8級11号 | 0811 |
| 併合8級 | 0820 |
| 準用8級 | 0830 |
| 9級1号 | 0901 |
| 9級2号 | 0902 |
| 9級3号 | 0903 |
| 9級4号 | 0904 |
| 9級5号 | 0905 |
| 9級6号 | 0906 |
| 9級7号 | 0907 |
| 9級8号 | 0908 |
| 9級9号 | 0909 |
| 9級10号 | 0910 |
| 9級11号 | 0911 |
| 9級12号 | 0912 |
| 併合9級 | 0920 |

| 等級号 | コード |
|---|---|
| 準用９級 | 0930 |
| ９級 11 号の２ | 0940 |
| ９級６号の２ | 0962 |
| ９級６号の３ | 0963 |
| ９級７号の２ | 0972 |
| ９級７号の３ | 0973 |
| 10 級１号 | 1001 |
| 10 級２号 | 1002 |
| 10 級３号 | 1003 |
| 10 級４号 | 1004 |
| 10 級５号 | 1005 |
| 10 級６号 | 1006 |
| 10 級７号 | 1007 |
| 10 級８号 | 1008 |
| 10 級９号 | 1009 |
| 10 級 10 号 | 1010 |
| 併合 10 級 | 1020 |
| 準用 10 級 | 1030 |
| 10 級 1 号の 2 | 1012 |
| 10 級３号の２ | 1032 |
| 11 級１号 | 1101 |
| 11 級２号 | 1102 |
| 11 級３号 | 1103 |
| 11 級４号 | 1104 |
| 11 級５号 | 1105 |
| 11 級６号 | 1106 |
| 11 級７号 | 1107 |
| 11 級８号 | 1108 |
| 11 級９号 | 1109 |
| 併合 11 級 | 1120 |
| 準用 11 級 | 1130 |
| 11 級３号の２ | 1132 |
| 11 級３号の３ | 1133 |

| 等級号 | コード |
|---|---|
| 12 級１号 | 1201 |
| 12 級２号 | 1202 |
| 12 級３号 | 1203 |
| 12 級４号 | 1204 |
| 12 級５号 | 1205 |
| 12 級６号 | 1206 |
| 12 級７号 | 1207 |
| 12 級８号 | 1208 |
| 12 級９号 | 1209 |
| 12 級 10 号 | 1210 |
| 12 級 11 号 | 1211 |
| 12 級 12 号 | 1212 |
| 12 級 13 号 | 1213 |
| 12 級 14 号 | 1214 |
| 併合 12 級 | 1220 |
| 準用 12 級 | 1230 |
| 12 級 8 号の 2 | 1282 |
| 13 級１号 | 1301 |
| 13 級２号 | 1302 |
| 13 級３号 | 1303 |
| 13 級４号 | 1304 |
| 13 級５号 | 1305 |
| 13 級６号 | 1306 |
| 13 級７号 | 1307 |
| 13 級８号 | 1308 |
| 13 級９号 | 1309 |
| 13 級 10 号 | 1310 |
| 併合 13 級 | 1320 |
| 準用 13 級 | 1330 |
| 13 級 2 号の 2 | 1322 |
| 13 級３号の２ | 1332 |
| 13 級 3 号の 3 | 1333 |
| 14 級１号 | 1401 |

| 等級号 | コード |
|---|---|
| 14 級２号 | 1402 |
| 14 級３号 | 1403 |
| 14 級４号 | 1404 |
| 14 級５号 | 1405 |
| 14 級６号 | 1406 |
| 14 級７号 | 1407 |
| 14 級８号 | 1408 |
| 14 級９号 | 1409 |
| 14 級 10 号 | 1410 |
| 併合 14 級 | 1420 |
| 14 級２号の２ | 1422 |
| 準用 14 級 | 1430 |
| 等級不該当 | 9999 |

## 3 特別加入者の適用年月

| 特別加入者コード | 適用年月日（傷病年月日） | |
|---|---|---|
| | 業務災害 | 通勤災害 |
| 11（中小事業主等） | 昭和 40 年 11 月 1 日 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 21（建設） | 昭和 40 年 11 月 1 日 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 22（林業） | 昭和 51 年 10 月 1 日 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 23（医薬品販売） | 昭和 51 年 10 月 1 日 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 24（職場適応訓練） | 昭和 42 年 1 月 1 日 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 25（再生資源取扱） | 昭和 55 年 4 月 1 日 | 昭和 55 年 4 月 1 日 |
| 26（事業主委託） | 平成 1 年 4 月 1 日 | 平成 1 年 4 月 1 日 |
| 27（労組専従） | 平成 3 年 4 月 12 日 | 平成 3 年 4 月 12 日 |
| 28（介護作業従事者） | 平成 13 年 3 月 31 日 | 平成 13 年 3 月 31 日 |
| 29（船員） | 平成 22 年 1 月 1 日 | 平成 22 年 1 月 1 日 |
| 41（運輸） | 昭和 40 年 11 月 1 日 | 適用なし |
| 42（漁業） | 昭和 40 年 11 月 1 日 | 適用なし |
| 43（農業） | 昭和 40 年 11 月 1 日 | 適用なし |
| 44～49（家内労働者） | 昭和 40 年 11 月 1 日 | 適用なし |
| 51（特定農業） | 平成 3 年 4 月 12 日 | 適用なし |
| 61（海外派遣） | 昭和 52 年 4 月 1 日 | 昭和 55 年 4 月 1 日 |

【特別加入者の給付基礎日額】

家内労働者を除いた場合

| 傷病年月日 | 給　付　基　礎　日　額 |
|---|---|
| 昭和 40 年<br>11 月 1 日～ | 400～3,000 までの 100 円きざみ |
| 昭和 45 年<br>4 月 1 日～ | 1,000～4,000 までの 500 円きざみ |
| 昭和 49 年<br>4 月 1 日～ | 1,000～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円 |
| 昭和 52 年<br>4 月 1 日～ | 1,000～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円、7,000 円、8,000 円、9,000 円、10,000 円 |
| 昭和 52 年<br>7 月 1 日～ | 2,000～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円、7,000 円、8,000 円、9,000 円、10,000 円 |
| 昭和 55 年<br>6 月 1 日～ | 2,000～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円、7,000 円、8,000 円、9,000 円、10,000 円、12,000 円、14,000 円、16,000 円 |
| 昭和 56 年<br>4 月 1 日～ | 2,500～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円、7,000 円、8,000 円、9,000 円、10,000 円、12、000 円、14,000 円、16,000 円 |
| 昭和 60 年<br>4 月 1 日～ | 3,000～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円、7,000 円、8,000 円、9,000 円、10,000 円、12,000 円、14,000 円、16,000 円 |
| 平成５年<br>4 月 1 日～ | 3,500～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円、7,000 円、8,000 円、9,000 円、10,000 円、12,000 円、14,000 円、16,000 円 |
| 平成７年<br>4 月 1 日～ | 3,500 円、4,000 円、5,000 円、6,000 円、7,000 円、8,000 円、9,000 円、10,000 円、12,000 円、14,000 円、16,000 円、18,000 円、20,000 円 |

家内労働者の場合

| 傷病年月日 | 給　付　基　礎　日　額 |
|---|---|
| 昭和 40 年<br>11 月 1 日～ | 400～3,000 までの 100 円きざみ |
| 昭和 45 年<br>4 月 1 日～ | 1,000～4,000 までの 500 円きざみ |
| 昭和 49 年<br>4 月 1 日～ | 1,000～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円 |
| 昭和 52 年<br>4 月 1 日～ | 1,000～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円、7,000 円、8,000 円、9,000 円、10,000 円 |
| 昭和 55 年<br>6 月 1 日～ | 1,000～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円、7,000 円、8,000 円、9,000 円、10,000 円、12,000 円、14,000 円、16,000 円 |
| 昭和 59 年<br>4 月 1 日～ | 1,500～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円、7,000 円、8,000 円、9,000 円、10,000 円、12,000 円、14,000 円、16,000 円 |
| 昭和 61 年<br>4 月 1 日～ | 2,000～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円、7,000 円、8,000 円、9,000 円、10,000 円、12,000 円、14,000 円、16,000 円 |
| 昭和７年<br>4 月 1 日～ | 2,000～4,000 までの 500 円きざみ、5,000 円、6,000 円、7,000 円、8,000 円、9,000 円、10,000 円、12,000 円、14,000 円、16,000 円、18,000 円、20,000 円 |

## 4 資格者枝番号

| 優先順位 | 受給資格者の区分 | 枝番号 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 1 | 妻又は 60 歳以上若しくは障害の夫 | 01 | 夫 |
| | | 02 | 妻 |
| 2 | 18 歳に達する日以後の最初の３月 31 日までの間にあること又は障害の子 | 11～19 | 年齢の高い者から順に番号を付す |
| 3 | 60 歳以上又は障害の父母 | 21 | 実父 |
| | | 22 | 実母 |
| | | 23 | 養父 |
| | | 24 | 養母 |
| 4 | 18 歳に達する日以後の最初の３月 31 日までの間にあること又は障害の孫 | 31～39 | 年齢の高い者から順に番号を付す |
| 5 | 60 歳以上又は障害の祖父母 | 41 | 祖父 |
| | | 42 | 祖母 |
| 6 | 18 歳に達する日以後の最初の３月 31 日までの間にあること又は 60 歳以上若しくは障害の兄弟姉妹 | 51～59 | 年齢の高い者から順に番号を付す |
| 7 | 55 歳以上 60 歳未満の夫 | 61 | 夫 |
| 8 | 55 歳以上 60 歳未満の父母 | 71 | 実父 |
| | | 72 | 実母 |
| | | 73 | 養父 |
| | | 74 | 養母 |
| 9 | 55 歳以上 60 歳未満の祖父母 | 81 | 祖父 |
| | | 82 | 祖母 |
| 10 | 55 歳以上 60 歳未満の兄弟姉妹 | 91～99 | 年齢の高い者から順に番号を付す |

## 5 厚年等種別に対応する厚年等基礎年金番号及び年金コード一覧（平成 18 年４月現在）

１．障害年金関係

| 区　分 | 種　類 | 種　別 | 基礎年金番号 | | 年金コード | | 厚年等種別 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 課所符号 | 一連番号 | 種別 | 区分 | | |
| 新厚国 | 新厚生年金保険<br>・<br>新 国 民 年 金 | 障害厚生年金<br>・<br>障害基礎年金 | ○○○○ | ○○○○○○ | １３ | ５○ | ２ | |
| 新厚年 | 新厚生年金保険 | 障害厚生年金 | | | | | ４ | |
| 新国年 | 新 国 民 年 金 | 障害基礎年金 | | | | | ※６ | |
| | | | | | ５３ | | | |
| 旧厚年 | 旧厚生年金保険 | 障害年金 | ○○○○ | ○○○○○○ | ０３ | ３○ | １ | |
| 旧船員 | 旧 船 員 保 険 | | | | ０３ | ４○ | ３ | |
| 旧国年 | 旧 国 民 年 金 | | | | ０６ | ２○ | ５ | |

※ 平成18年4月以前の厚年等調整開始年月で厚年等種別「6」を入力する場合において、年金コード種別「13」でかつ年金コード区分「５○」の場合は厚年等種別「６」を入力してもキャンセルとなる。

２．遺族年金関係

| 区　分 | 種　類 | 種　別 | 基礎年金番号 | | 年金コード | | 厚年等種別 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 課所符号 | 一連番号 | 種別 | 区分 | | |
| 新厚国 | 新厚生年金保険<br>・<br>新 国 民 年 金 | 遺族厚生年金<br>・<br>遺族基礎年金 | ○○○○ | ○○○○○○ | １４ | ５○ | ２ | |
| | | 遺族厚生年金<br>・<br>(新)<br>寡婦年金 | | | | | | |
| 新厚年 | 新厚生年金保険 | 遺族厚生年金 | | | | | ４ | |
| 新国年 | 新 国 民 年 金 | 遺族基礎年金 | | | ６４ | | － | |
| | | (新)<br>寡婦年金 | | | ５９ | | ６ | |
| 旧厚年 | 旧厚生年金保険 | 遺　族　年　金 | ○○○○ | ○○○○○○ | ０４ | ３○ | １ | |
| 旧船員 | 旧 船 員 保 険 | 遺　族　年　金 | ○○○○ | ○○○○○○ | ０４ | ４○ | ３ | |
| 旧国年 | 旧 国 民 年 金 | (旧国年)<br>母子年金 | ○○○○ | ○○○○○○ | ０７ | ２○ | ５ | |
| | | (旧国年)<br>準母子年金 | | | ０８ | | | |
| | | (旧国年)<br>寡婦年金 | | | ０９ | | | |
| | | (旧国年)<br>遺児年金 | | | １０ | | | |

3　老齢年金等

| 区　分 | 種　類 | 種　別 | 基礎年金番号 | | 年金コード | | 厚年等種別 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 課所符号 | 一連番号 | 種別 | 区分 | | |
| 新厚国 | 新厚生年金保険<br>・<br>新国民年金 | 老齢厚生年金<br>・<br>老齢基礎年金 | ○○○○ | ○○○○○○ | １１ | ５○ | －<br>（老齢年金選択） | 労災年金との調整は行わない |
| | | 特別支給老齢厚生年金<br>・<br>老齢基礎年金 | | | | | | |
| | | 老齢年金 | | | １９ | | | |
| | | 特別老齢年金 | | | １８ | | | |
| 旧厚年 | 旧厚生年金保険 | 老齢年金 | ○○○○ | ○○○○○○ | ０１ | ３○ | －<br>（老齢年金選択） | 労災年金との調整は行わない |
| | | 通算老齢年金 | | | ０２ | | | |
| | | 特例老齢年金 | | | ０８ | | | |
| 旧船員 | 旧船員保険 | 老齢年金 | ○○○○ | ○○○○○○ | ０１ | ４○ | －<br>（老齢年金選択） | 労災年金との調整は行わない |
| | | 通算老齢年金 | | | ０２ | | | |
| | | 特例老齢年金 | | | ０８ | | | |
| 旧国年 | 旧国民年金 | 老齢年金 | ○○○○ | ○○○○○○ | ０１<br>～<br>０４ | ２○ | －<br>（老齢年金選択） | 労災年金との調整は行わない |
| | | 通算老齢年金 | | | ０５ | | | |

## 4　その他の年金関係

| 区　分 | 種　類 | 種　別 | 基礎年金番号 | | 年金コード | | 厚年等種別 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 課所符号 | 一連番号 | 種別 | 区分 | | |
| 新厚国 | 新厚生年金保険<br>・<br>新国民年金 | 特例遺族年金 | ○○○○ | ○○○○○○ | ２４ | ５○ | －<br>入力の必要なし<br>（注）<br>⇩<br>労災年金との調整は行わない | 経過措置 |
| | | 障害基礎年金（20歳前障害に基づく障害基礎年金） | | | ６３ | | | 国民年金法第30条の４の規定による障害基礎年金 |
| | | 障害基礎年金（裁定替障害福祉年金） | | | ２６ | | | 旧<br>障害福祉年金 |
| | | 遺族基礎年金（裁定替母子福祉年金） | | | ２７ | | | 旧<br>母子福祉年金 |
| | | 遺族基礎年金（裁定替準母子福祉年金） | | | ２８ | | | 旧<br>準母子福祉年金 |
| | | （船員）<br>職務上障害年金 | | | ３３ | | | 船員保険からの移行分 |
| | | （船員）<br>職務上遺族年金 | | | ３４ | | | |
| 旧厚年 | 旧厚生年金保険 | 通算遺族年金 | ○○○○ | ○○○○○○ | ０９ | ３○ | －<br>入力の必要なし<br>（注）<br>⇩<br>労災年金との調整は行わない | 経過措置 |
| | | 特例遺族年金 | | | １０ | | | |
| | | 寡婦年金 | | | ０５ | | | 旧種別 |
| | | かん夫年金 | | | ０６ | | | |
| | | 遺児年金 | | | ０７ | | | |
| 旧船員 | 旧船員保険 | 通算遺族年金 | ○○○○ | ○○○○○○ | ０９ | ４○ | | 経過措置 |
| | | 寡婦年金 | | | ０５ | | | 旧種別 |
| | | 養老年金 | | | ０６ | | | |
| | | 遺児年金 | | | ０７ | | | |

（注）　新規支給決定あるいは最初の履歴から入力する場合において、「厚年調整コード」欄は「不支給・不該当」のコード「３」で入力すること。

〔 留 意 点 〕

① 「厚年等調整コード」欄等については、手引の支給決定処理、変更処理、訂正処理、定期報告処理の各該当部分を参照のこと。

② 本一覧表の「年金証書の記号番号の形態」はあくまで原則的な採番方法を示したものであり、これ以外の形態の存在を否定するものではなく、また、今後、厚生労働省・日本年金機構の予告なく変更されることがありえるので留意のこと。

③ 厚年等の年金種別について疑義が生じた場合は、年金事務所等（船員保険の場合にあっては、船舶所有者の所在地を管轄する船員保険を取り扱う年金事務所、国民年金のみの場合にあっては各市町村、又は都道府県庁の船員保険あるいは国民年金の各担当部署）に問い合わせること。

④ 「障害基礎年金」と表示された場合であっても、旧国民年金の「障害福祉年金」から裁定替えされた場合（「裁定替障害福祉年金」）、又は「遺族基礎年金」と表示された場合であっても、旧国民年金の「母子福祉年金」又は「準母子福祉年金」から裁定替えされた場合（「裁定替母子福祉年金」又は「裁定替準母子福祉年金」）については、従前どおり調整を要しないので、年金種別を目安にその内容の確認を行うこと。

## 6 厚生年金等との調整

| 社会保険の種類 | 種別コード | 給付名 | S52.4.1～S63.3.31 | | | S63.4.1～ | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 併給される年金給付 | 傷病（補償）年金 | 障害（補償）年金 | 遺族（補償）年金 | 傷病（補償）年金 | 障害（補償）年金 | 遺族（補償）年金 |
| 旧厚生年金保険 | 1 | 障害年金 | 0.76 | 0.76 | | 0.75 | 0.74 | |
| | | 遺族年金* | | | 0.83* | | | 0.80* |
| 旧船員保険 | 3 | 障害年金 | 0.76 | 0.76 | | 0.75 | 0.74 | |
| | | 遺族年金* | | | 0.83* | | | 0.80* |
| 旧国民年金 | 5 | 障害年金 | 0.88 | 0.89 | | 0.89 | 0.89 | |
| | | 母子年金*<br>準母子年金*<br>遺児年金*<br>寡婦年金* | | | 0.91* | | | 0.90* |
| 新厚生年金保険<br>新国民年金 | 2 | 障害厚生年金<br>障害基礎年金 | 0.76 | 0.76 | | 0.73 | 0.73 | |
| | | 遺族厚生年金<br>遺族基礎年金<br>寡婦年金 | | | 0.83 | | | 0.80 |
| 新厚生年金保険 | 4 | 障害厚生年金 | 0.88 | 0.88 | | 0.86 | 0.83 | |
| | | 遺族厚生年金 | | | 0.91 | | | 0.84 |
| 新国民年金 | 6 | 障害基礎年金 | 0.88 | 0.89 | | 0.88 | 0.88 | |
| | | 遺族基礎年金<br>寡婦年金 | | | 0.91 | | | 0.88 |

「*」については、厚年等の２種併給があり得る場合。

ただし、【厚年等年額＋労災の厚年等調整後年金年額＜労災の基本年金年額】の場合は、

【労災の基本年金年額－厚生年金等の年額】を調整限度額とし、その額を支給する。

## 7 外国コード表（50 音順）

| | 国　　名 | 標準簡略英文国名 | コード |
|---|---|---|---|
| ア | アイスランド共和国 | ICELAND | 352 |
| | アイルランド | IRELAND | 372 |
| | アゼルバイジャン | AZERBAIJAN | 031 |
| | アフガニスタン | AFGHANISTAN | 004 |
| | アメリカンサモア | AMERICAN SAMOA | 016 |
| | アメリカ合衆国 | U.S.A | 840 |
| | アラブ首長国連邦 | UNITED ARAB EMIRATES | 784 |
| | アルジェリア | ALGERIA | 012 |
| | アルゼンチン共和国 | ARGENTINA | 032 |
| | アルバ | ARUBA | 533 |
| | アルバニア | ALBANIA | 008 |
| | アルメニア | ARMENIA | 051 |
| | アンゴラ | ANGOLA | 024 |
| | アンチグア・バーブーダ | ANTIGUA BARBUDA | 028 |
| | アンギラ | ANGUILLA | 660 |
| | アンドラ | ANDORRA | 020 |
| イ | イエメン（〔新生〕イエメン） | YEMEN | 887 |
| | イギリス<br>(グレートブリテン及び北部アイルランド連合王国) | UNITED KINGDOM | 826 |
| | イスラエル | ISRAEL | 376 |
| | イタリア共和国 | ITALY | 380 |
| | イラク共和国 | IRAQ | 368 |
| | イラン回教共和国 | IRAN | 364 |
| | インド | INDIA | 356 |
| | インドネシア共和国 | INDONESIA | 360 |
| ウ | ウガンダ共和国 | UGANDA | 800 |
| | ウクライナ社会主義共和国 | UKRAINE | 804 |
| | ウズベク共和国（ウズベキスタン） | UZBEKISTAN | 860 |
| | ウルグアイ東方共和国 | URUGUAY | 858 |
| エ | エクアドル共和国 | ECUADOR | 218 |
| | エジプト・アラブ共和国 | EGYPT | 818 |
| | エストニア | ESTONIA | 233 |
| | エチオピア | ETHIOPIA | 230 |
| | エルサルバドル共和国 | EL SALVADOR | 222 |
| オ | オーストラリア | AUSTRALIA | 036 |

| | 国　　名 | 標準簡略英文国名 | コード |
|---|---|---|---|
| | オーストリア共和国 | AUSTRIA | 040 |
| | オマーン国 | OMAN | 512 |
| | オランダ王国 | NETHERLANDS | 528 |
| カ | ガーナ共和国 | GHANA | 288 |
| | ガーデロープ | GUADELOUPE | 312 |
| | カーボ・ベルデ共和国 | CAPE VERDE | 132 |
| | ガイアナ協同共和国 | GUYANA | 328 |
| | カザフ共和国（カザフスタン） | KAZAKHSTAN | 398 |
| | カタール国 | QATAR | 634 |
| | ガテマラ | GUATEMALA | 320 |
| | カナダ | CANADA | 124 |
| | ガボン共和国 | GABON | 266 |
| | カメルーン共和国 | CAMEROON | 120 |
| | ガンビア共和国 | GAMBIA | 270 |
| | カンボジア | CAMBODIA | 116 |
| キ | ギニア・ビサオ共和国 | GUINEA BISSAU | 624 |
| | ギニア共和国 | GUINEA | 324 |
| | キプロス共和国 | CYPRUS | 196 |
| | キューバ共和国 | CUBA | 192 |
| | ギリシア共和国 | GREECE | 300 |
| | キリバス共和国 | KIRIBATI | 296 |
| | キルギス共和国（キルギスタン） | KYRGYZSTAN | 417 |
| ク | クウェート国 | KUWAIT | 414 |
| | グルジア | GEORGIA | 268 |
| | グレナダ | GRENADA | 308 |
| | クロアチア | CROATIA | 191 |
| ケ | ケニア共和国 | KENYA | 404 |
| コ | コートジボアール共和国 | COTE DIVOIRE | 384 |
| | コスタリカ共和国 | COSTA RICA | 188 |
| | コモロ回教連邦共和国 | COMOROS | 174 |
| | コロンビア共和国 | COLOMBIA | 170 |
| | コンゴ人民共和国 | CONGO | 178 |
| サ | ザイール共和国 | ZAIRE | 180 |
| | サウジアラビア王国 | SAUDI ARABIA | 682 |
| | サモア | SAMOA | 882 |
| | サントメ・プリンシペ民主共和国 | SAO TOME PRINCIPE | 678 |

| | 国　　名 | 標準簡略英文国名 | コード |
|---|---|---|---|
| | ザンビア共和国 | ZAMBIA | 894 |
| | サンピェール・ミクロン | SAINT PIERRE,MIQUELON | 666 |
| | サンマリノ共和国 | SAN MARINO | 674 |
| シ | シェラレオネ共和国 | SIERRA LEONE | 694 |
| | ジブチ共和国 | DJIBOUTI | 262 |
| | ジブラルタル | GIBRALTAR | 292 |
| | ジャマイカ | JAMAICA | 388 |
| | シリア・アラブ共和国 | SYRIA | 760 |
| | シンガポール共和国 | SINGAPORE | 702 |
| | ジンバブエ共和国 | ZIMBABWE | 716 |
| ス | スイス連邦 | SWITZERLAND | 756 |
| | スウェーデン王国 | SWEDEN | 752 |
| | スーダン共和国 | SUDAN | 736 |
| | スペイン | SPAIN | 724 |
| | スリナム共和国 | SURINAME | 740 |
| | スリランカ民主社会主義共和国 | SRI LANKA | 144 |
| | スロバキア共和国<br>(旧チェコスロバキア社会主義共和国の一方) | SLOVAKIA | 703 |
| | スロベニア | SLOVENIA | 705 |
| | スワジランド王国 | SWAZILAND | 748 |
| セ | セイシェル共和国 | SEYCHELLES | 690 |
| | 赤道ギニア共和国 | EQUATORIAL GUINEA | 226 |
| | セネガル共和国 | SENEGAL | 686 |
| | セントキッツ・ネービス | SAINT KITTS-NEVIS | 659 |
| | セントビンセント | SAINT VINCENT,GRENADINES | 670 |
| | セントルシア | SAINT LUCIA | 662 |
| ソ | ソマリア民主共和国 | SOMALIA | 706 |
| | ソロモン諸島 | SOLOMON ISLANDS | 090 |
| タ | タイ王国 | THAILAND | 764 |
| | 大韓民国（韓国） | KOREA REP.(K.O.R) | 410 |
| | タジク共和国（タジキスタン） | TAJIKISTAN | 762 |
| | タンザニア連合共和国 | TANZANIA | 834 |
| チ | チェコ共和国<br>(旧チェコスロバキア社会主義共和国の一方) | CZECH REP. | 203 |
| | チャド共和国 | CHAD | 148 |
| | 中央アフリカ共和国 | CENTRAL AFRICAN REP. | 140 |

| | 国　　名 | 標準簡略英文国名 | コード |
|---|---|---|---|
| | 中華人民共和国（中国） | CHINA | 156 |
| | 中華民国（台湾） | TAIWAN | 158 |
| | チュニジア共和国 | TUNISIA | 788 |
| | 朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮) | KOREA　D.P.RP.（P.R.K） | 408 |
| | チリ共和国 | CHILE | 152 |
| ツ | ツバル | TUVALU | 798 |
| テ | デンマーク王国 | DENMARK | 208 |
| ト | ドイツ連邦共和国 | GERMANY | 276 |
| | トーゴ共和国 | TOGO | 768 |
| | ドミニカ共和国 | DOMINICAN　RP.（D.O.M） | 214 |
| | ドミニカ国 | DOMINICA（D.M.A） | 212 |
| | トリニダード・トバコ共和国 | TRINIDAD, TOBAGO | 780 |
| | トルクメン共和国(トルクメニスタン) | TURKMENISTAN | 795 |
| | トルコ共和国 | TURKEY | 792 |
| | トンガ王国 | TONGA | 776 |
| ナ | ナイジェリア連邦共和国 | NIGERIA | 566 |
| | ナウル共和国 | NAURU | 520 |
| | ナミビア共和国 | NAMIBIA | 516 |
| ニ | ニウエ | NIUE | 570 |
| | ニカラグア | NICARAGUA | 558 |
| | 西サハラ | WESTERN SAHARA | 732 |
| | ニジェール | NIGER | 562 |
| | ニューカレドニア | NEW CALEDNIA | 540 |
| | ニュージーランド | NEW ZEALAND | 554 |
| ネ | ネパール王国 | NEPAL | 524 |
| ノ | ノルウエー王国 | NORWAY | 578 |
| ハ | バーレーン国 | BAHRAIN | 048 |
| | ハイチ共和国 | HAITI | 332 |
| | パキスタン回教共和国 | PAKISTAN | 586 |
| | バチカン市国 | HOLY SEE（VATICAN） | 336 |
| | パナマ共和国 | PANAMA | 591 |
| | バヌアツ共和国 | VANUATU | 548 |
| | バハマ国 | BAHAMAS | 044 |
| | パプアニューギニア | PAPUA NEW GUINEA | 598 |
| | パラオ | PALAU | 585 |
| | パラグアイ共和国 | PARAGUAY | 600 |

| | 国　　名 | 標準簡略英文国名 | コード |
|---|---|---|---|
| | バルバドス | BARBADOS | 052 |
| | ハンガリー共和国 | HUNGARY | 348 |
| | バングラデシュ人民共和国 | BANGLADESH | 050 |
| ヒ | 東チモール | EAST TIMOR | 626 |
| フ | フィジー | FIJI | 242 |
| | フィリピン共和国 | PHILIPPINES | 608 |
| | フィンランド共和国 | FINLAND | 246 |
| | ブータン王国 | BHUTAN | 064 |
| | プエルトリコ | PUERTO RICO | 630 |
| | ブラジル連邦共和国 | BRAZIL | 076 |
| | フランス共和国 | FRANCE | 250 |
| | ブルガリア人民共和国 | BULGARIA | 100 |
| | ブルキナ・ファッソ | BURKINA FASO | 854 |
| | ブルネイ・ダルサラーム国 | BRUNEI DARSM | 096 |
| | ブルンジ共和国 | BURUNDI | 108 |
| ヘ | ベトナム社会主義共和国 | VIET NAM | 704 |
| | ベナン人民共和国 | BENIN | 204 |
| | ベネズエラ共和国 | VENEZUELA | 862 |
| | ベラルーシ共和国<br>（旧　白ロシア社会主義共和国） | BELARUS | 112 |
| | ベリーズ | BELIZE | 084 |
| | ペルー共和国 | PERU | 604 |
| | ベルギー王国 | BELGIUM | 056 |
| ホ | ポーランド人民共和国 | POLAND | 616 |
| | ボスニア・ヘルツェゴビナ | BOSNIA HERZEGOVINA | 070 |
| | ボツワナ共和国 | BOTSWANA | 072 |
| | ボリビア共和国 | BOLIVIA | 068 |
| | ポルトガル共和国 | PORTUGAL | 620 |
| | ホンジュラス共和国 | HONDURAS | 340 |
| | 香港(ホンコン) | HONG KONG | 344 |
| マ | マーシャル諸島 | MARSHALL ISLANDS | 584 |
| | マカオ | MACAU | 446 |
| | マダガスカル共和国 | MADAGASCAR | 450 |
| | マラウイ共和国 | MALAWI | 454 |
| | マリ共和国 | MALI | 466 |
| | マルタ共和国 | MALTA | 470 |

| | 国　　名 | 標準簡略英文国名 | コード |
|---|---|---|---|
| | マレーシア | MALAYSIA | 458 |
| ミ | ミクロネシア連邦 | MICRONESIA (F.S.M) | 583 |
| | 南アフリカ共和国 | SOUTH AFRICA | 710 |
| | ミャンマー（旧　ビルマ） | MYANMAR | 104 |
| メ | メキシコ合衆国 | MEXICO | 484 |
| モ | モーリシャス | MAURITIUS | 480 |
| | モーリタニア回教共和国 | MAURITANIA | 478 |
| | モザンビーク人民共和国 | MOZAMBIQUE | 508 |
| | モナコ公国 | MONACO | 492 |
| | モルジブ共和国 | MALDIVES | 462 |
| | モルドバ共和国 | REP. MOLDOVA | 498 |
| | モロッコ王国 | MOROCCO | 504 |
| | モンゴル人民共和国 | MONGOLIA | 496 |
| | モントセラト | MONTSERRAT | 500 |
| ユ | ユーゴスラビア(〔新生〕ユーゴスラビア連邦) | YUGOSLAVIA | 891 |
| ヨ | ヨルダン・ハシミテ王国 | JORDAN | 400 |
| ラ | ラオス人民民主共和国 | LAO P.DEM.R | 418 |
| | ラトビア | LATVIA | 428 |
| リ | リトアニア | LITHUANIA | 440 |
| | リビア・アラブ<br>(社会主義人民リビア・アラブ国) | LIBYA | 434 |
| | リヒテンシュタイン公国 | LIECHTENSTEN | 438 |
| | リベリア共和国 | LIBERIA | 430 |
| ル | ルーマニア社会主義共和国 | ROMANIA | 642 |
| | ルクセンブルグ | LUXEMBOURG | 442 |
| | ルワンダ共和国 | RWANDA | 646 |
| レ | レソト王国 | LESOTHO | 426 |
| | レバノン共和国 | LEBANON | 422 |
| | レユニオン | REUNION | 638 |
| ロ | ロシア連邦 | RUSSIAN FED. | 643 |

## 8 年金給付基礎日額算出方法

| コード | 印　字　内　容 |
|---|---|
| 0 | 平均賃金（切上げ） |
| 1 | 最低保障額 |
| 3 | 最低限度額 |
| 5 | 最高限度額 |
| 7 | 経過措置対象者 |
| 9 | 特別加入者 |

## 9 差額種別コード表

| コード | 出　力　内　容 |
|---|---|
| ０１ | 長：２９２日差額 |
| ０２ | 長：３１３日差額 |
| １１ | 長：２９２日差額 |
| １２ | 長：３１３日差額 |
| ２１ | 長：２９２日差額 |
| ２２ | 長：厚年日数差額 |
| ２３ | 長：４７日差額 |
| ２４ | 長：３１３日差額 |
| ２５ | 長：厚年日数差額 |
| ２６ | 休：６８日差額 |
| ５１ | 休：３６５日差額 |
| ５２ | 休：２９２日差額 |
| ６１ | 休：３６５日差額 |
| ６２ | 休：２９２日差額 |
| ６３ | 休：３６５日差額 |
| ６４ | 休：２９２日差額 |
| ６５ | 休：２９２日差額 |
| ７１ | 休：３６５日差額 |

| コード | 出　力　内　容 |
|---|---|
| ７２ | 休：２９２日差額 |
| ７３ | 休：３６５日差額 |
| ７４ | 休：厚年日数差額 |
| ７５ | 休：３６５日差額 |
| ７６ | 休：４７日差額 |
| ７７ | 休：２９２日差額 |
| ７８ | 休：厚年日数差額 |
| ７９ | 休：４７日差額 |
| ８０ | 休：３６５日差額 |
| ８１ | 休：２９２日差額 |
| ８２ | 休：３６５日差額 |
| ８３ | 休：厚年日数差額 |
| ８４ | 休：３６５日差額 |
| ８５ | 休：４７日差額 |
| ８６ | 休：２９２日差額 |
| ８７ | 休：厚年日数差額 |
| ８８ | 休：４７日差額 |

## 10　算定基礎年額算出方法

| 傷病年月日 | 支払対象年月 | 給付事由 | 条　　件 | コード | 印　字　内　容 |
|---|---|---|---|---|---|
| ～<br>昭和52年3月 | 昭和52年4月<br>～<br>昭和56年4月 | 最低保障額適用 | 16.9% | 01 | 基礎日額×365×16.9% |
| | | | 100万 | 02 | 100万円 |
| | | 最低保障額非適用 | 16.9% | 03 | 基礎日額×365×16.9% |
| | | | 100万÷スライド | 04 | 100万円÷スライド率 |
| | 昭和56年5月<br>～<br>昭和62年1月 | 最低保障額適用 | 16.9% | 05 | 基礎日額×365×16.9% |
| | | | 150万 | 06 | 150万円 |
| | | 最低保障額非適用 | 16.9% | 07 | 基礎日額×365×16.9% |
| | | | 150万÷スライド | 08 | 150万円÷スライド率 |
| | 昭和62年2月<br>～ | 最低限度額<br>最高限度額<br>附則4条<br>経過措置者 | (16.9%×スライド)÷スライド | 09 | 基礎日額×365×16.9% |
| | | | 20%÷スライド | 10 | 年金基礎日額<br>×365×20%÷スライド率 |
| | | | 150万÷スライド | 11 | 150万円÷スライド率 |
| | | 上記以外 | (16.9%×スライド)÷スライド | 12 | 基礎日額×365×16.9% |
| | | | 150万÷スライド | 13 | 150万円÷スライド率 |
| 昭和52年4月<br>～ | 昭和52年4月<br>～<br>昭和56年4月 | 最低保障額適用 | 特別給与 | 21 | 特別給与の総額×スライド率 |
| | | | 20% | 22 | 基礎日額×365×20% |
| | | | 100万 | 23 | 100万円 |
| | | 最低保障額非適用 | 特別給与 | 24 | 特別給与の総額 |
| | | | 20% | 25 | 基礎日額×365×20% |
| | | | 100万÷スライド | 26 | 100万円÷スライド率 |
| | 昭和56年5月<br>～<br>昭和62年1月 | 最低保障額適用 | 特別給与 | 27 | 特別給与の総額×スライド率 |
| | | | 20% | 28 | 基礎日額×365×20% |
| | | | 150万 | 29 | 150万円 |
| | | 最低保障額非適用 | 特別給与 | 30 | 特別給与の総額 |
| | | | 20% | 31 | 基礎日額×365×20% |
| | | | 150万÷スライド | 32 | 150万円÷スライド率 |
| | 昭和62年2月<br>～<br>平成2年7月 | 最低限度額<br>最高限度額<br>附則4条<br>経過措置者 | 特別給与 | 33 | 特別給与の総額 |
| | | | 20%÷スライド | 34 | 年金基礎日額<br>×365×20%÷スライド率 |
| | | | 150万÷スライド | 35 | 150万円÷スライド率 |
| | | 上記以外 | 特別給与 | 36 | 特別給与の総額 |
| | | | 20% | 37 | 年金基礎日額<br>×365×20% |
| | | | 150万÷スライド | 38 | 150万円÷スライド率 |
| | 平成2年8月<br>～ | ― | 特別給与 | 39 | 特別給与の総額 |
| | | | 20%÷スライド | 40 | 年金基礎日額<br>×365×20%÷スライド率 |
| | | | 150万÷スライド | 41 | 150万円÷スライド率 |

## 11　産業分類コード表

－日本標準産業分類（中分類）－

| 中分類・コード | 分類産業名 | 中分類・コード | 分類産業名 |
|---|---|---|---|
| 大分類Ａ－農業, 林業 | | 27 | 業務用機械器具製造業 |
| 01 | 農業 | 28 | 電子部品・デバイス・電子回路製造業 |
| 02 | 林業 | 29 | 電気機械器具製造業 |
| 大分類Ｂ－漁業 | | 30 | 情報通信機械器具製造業 |
| 03 | 漁業(水産養殖業を除く) | 31 | 輸送用機械器具製造業 |
| 04 | 水産養殖業 | 32 | その他の製造業 |
| 大分類Ｃ－鉱業, 採石業, 砂利採取業 | | 大分類Ｆ－電気・ガス・熱供給・水道業 | |
| 05 | 鉱業, 採石業, 砂利採取業 | 33 | 電気業 |
| 大分類Ｄ－建設業 | | 34 | ガス業 |
| 06 | 総合工事業 | 35 | 熱供給業 |
| 07 | 職別工事業(設備工事業を除く) | 36 | 水道業 |
| 08 | 設備工事業 | 大分類Ｇ－情報通信業 | |
| 大分類Ｅ－製造業 | | 37 | 通信業 |
| 09 | 食料品製造業 | 38 | 放送業 |
| 10 | 飲料・たばこ・飼料製造業 | 39 | 情報サービス業 |
| 11 | 繊維工業 | 40 | インターネット附サービス業 |
| 12 | 木材・木製品製造業(家具を除く) | 41 | 映像・音声・文字情報制作業 |
| 13 | 家具・装備品製造業 | 大分類Ｈ－運輸業, 郵便業 | |
| 14 | パルプ・紙・紙加工品製造業 | 42 | 鉄道業 |
| 15 | 印刷・同関連業 | 43 | 道路旅客運送業 |
| 16 | 化学工業 | 44 | 道路貨物運送業 |
| 17 | 石油製品・石炭製品製造業 | 45 | 水運業 |
| 18 | プラスチック製品製造業(別掲を除く) | 46 | 航空運輸業 |
| 19 | ゴム製品製造業 | 47 | 倉庫業 |
| 20 | なめし革・同製品・毛皮製造業 | 48 | 運輸に附帯するサービス業 |
| 21 | 窯業・土石製品製造業 | 49 | 郵便業(信書便事業を含む) |
| 22 | 鉄鋼業 | 大分類Ｉ－卸売業, 小売業 | |
| 23 | 非鉄金属製造業 | 50 | 各種商品卸売業 |
| 24 | 金属製品製造業 | 51 | 繊維・衣服等卸売業 |
| 25 | はん用機械器具製造業 | 52 | 飲食料品卸売業 |
| 26 | 生産用機械器具製造業 | 53 | 建築材料, 鉱物・金属材料等卸売業 |

| 中分類・コード | 分類産業名 | 中分類・コード | 分類産業名 |
|---|---|---|---|
| 54 | 機械器具卸売業 | 79 | その他の生活関連サービス業 |
| 55 | その他の卸売業 | 80 | 娯楽業 |
| 56 | 各種商品小売業 | 大分類Ｏ－教育,学習支援 | |
| 57 | 織物・衣服・身の回り品小売業 | 81 | 学校教育 |
| 58 | 飲食料品小売業 | 82 | その他の教育,学習支援業 |
| 59 | 機械器具小売業 | 大分類Ｐ－医療,福祉 | |
| 60 | その他の小売業 | 83 | 医療業 |
| 61 | 無店舗小売業 | 84 | 保険衛生 |
| 大分類Ｊ－金融業,保険業 | | 85 | 社会保険・社会福祉・介護事業 |
| 62 | 銀行業 | 大分類Ｑ－複合サービス事業 | |
| 63 | 協同組織金融業 | 86 | 郵便局 |
| 64 | 貸金業,クレジットカード業等非預金信用機関 | 87 | 協同組合(他に分類されないもの) |
| 65 | 金融商品取引業,商品先物取引業 | 大分類Ｒ－サービス業(他に分類されないもの) | |
| 66 | 補助的金融業等 | 88 | 廃棄物処理業 |
| 67 | 保険業(保険媒介代理業,保険サービス業を含む) | 89 | 自動車整備業 |
| 大分類Ｋ－不動産業,物品賃貸業 | | 90 | 機械等修理業(別掲を除く) |
| 68 | 不動産取引業 | 91 | 職業紹介・労働者派遣業 |
| 69 | 不動産賃貸業・管理業 | 92 | その他の事業サービス業 |
| 70 | 物品賃貸業 | 93 | 政治・経済・文化団体 |
| 大分類Ｌ－学術研究,専門・技術サービス業 | | 94 | 宗教 |
| 71 | 学術・開発研究機関 | 95 | その他のサービス業 |
| 72 | 専門サービス業(他に分類されないもの) | 96 | 外国公務 |
| 73 | 広告業 | 大分類Ｓ－公務(他に分類されるものを除く) | |
| 74 | 技術サービス業(他に分類されないもの) | 97 | 国家公務 |
| 大分類Ｍ－宿泊業,飲食サービス業 | | 98 | 地方公務 |
| 75 | 宿泊業 | 大分類Ｔ－分類不能の産業 | |
| 76 | 飲食店 | 99 | 分類不能の産業 |
| 77 | 持ち帰り・配達飲食サービス業 | | |
| 大分類Ｎ－生活関連サービス業,娯楽業 | | | |
| 78 | 洗濯・理容・美容・浴場業 | | |

＜別掲＞

＊1　プラスチック系製品で他の中分類に分類されるもののうち主なものは下記のとおり。

プラスチック製家具を製造する事業所は中分類 14－家具・整備品製造業プラスチック（ユリア樹脂、メラミン樹脂等)、合成樹脂系接着剤を製造する事業所は中分類 17－化学工業

プラスチック製履物・同付属品を製造する事業所は中分類 20－ゴム製品製造業

プラスチック製かばん、プラスチック製袋物を製造する事業所は中分類 21－なめし革・同製品・毛皮製造業

プラスチック製歯車を製造する事業所は中分類 26－一般機械器具製造業

プラスチック製計量器を製造する事業所は中分類 31－精密機械器具製造業

プラスチック製楽器、プラスチック製がん具・人形、プラスチック製事務用品、プラスチック製装身具・装飾品・ボタン、プラスチック製畳、プラスチック製モデル・模型、パレット（運搬用）を製造する事業所は中分類 32－その他の製造業

＊2　郵便業、郵便貯金業、郵便為替事業、郵便振込事業、簡易生命保険事業を複合的に行う事業をいい、主として信書の伝送を行う事業所は、中分類 37－通信業に分類される。

＊3　家具、機械など他に分類されないその他の事業所が分類され、修理する商品と同種の商品を製造又は販売する事業所は大分類「製造業」又は「卸売・小売業」に分類される。

## 12　傷病性質コード表

| 大　分　類 | 分　　類　　項　　目 | | 号番号(2 桁)<br>+<br>分類コード(2 桁) | | 枝番<br>(3 桁) |
|---|---|---|---|---|---|
| 負傷<br>（負傷を伴わない事故を含む。） | 骨折 | | 00 | 01 | 000 |
| | 切断 | | | 02 | 000 |
| | 関節の傷害（捻挫・亜脱臼及び転位を含む。） | | | 03 | 000 |
| | 打撲傷（皮膚の剥離、擦過傷、挫傷及び血腫を含む。） | | | 04 | 000 |
| | 創傷（切創、裂傷、刺創及び挫滅創を含む。） | | | 05 | 000 |
| | 外傷性の脊髄損傷 | | | 06 | 000 |
| | 頭頸部外傷症候群（いわゆる「むちうち症」） | | | 07 | 000 |
| | 火傷（高熱物体を取り扱う業務による火傷を除く。） | | | 08 | 000 |
| | 01 から 08 までに掲げるもの以外の負傷又は負傷を伴わない事故（感電、溺水、窒息等） | | | 99 | 000 |
| 業務上の負傷に起因する疾病<br>(1 号) | 頭部又は顔面部の負傷による慢性硬膜下血腫、外傷性遅発性脳卒中、外傷性てんかん等の頭蓋内疾患 | | 01 | 01 | 000 |
| | 脳、脊髄及び末梢神経等神経系の負傷による皮膚、筋肉、骨及び胸腹部臓器等の疾患 | | | 02 | 000 |
| | 胸部又は腹部の負傷による胸膜炎、心膜炎、ヘルニア（横隔膜ヘルニア、腹膜癒痕ヘルニア等）等の胸腹部臓器の疾患 | | | 03 | 000 |
| | 負傷（急激な力の作用による内部組織の損傷を含む。）による腰痛 | | | 04 | 000 |
| | 脊柱又は四肢の負傷による関節症等の非感染性疾患(負傷による腰痛を除く。) | | | 05 | 000 |
| | 皮膚等の負傷による破傷風等の細菌感染症 | | | 06 | 000 |
| | 業務上の負傷又は異物の侵入､残留による眼疾患その他の臓器の疾患 | | | 07 | 000 |
| | 爆発その他事故的な事由による風圧､音響等に起因する災害性難聴等の耳の疾患 | | | 08 | 000 |
| | 01 から 08 までに掲げるもの以外の業務上の負傷に起因する疾病 | | | 99 | 000 |
| 物理的因子による疾病(がんを除く。)（2 号） | 有害光線による疾病 | 紫外線にさらされる業務による前眼部疾患又は皮膚疾患 | 02 | 01 | 000 |
| | | 赤外線にさらされる業務による網膜火傷、白内障等の眼疾患又は皮膚疾患 | | 02 | 000 |
| | | レーザー光線にさらされる業務による網膜火傷等の眼疾患又皮膚疾患 | | 03 | 000 |
| | | マイクロ波にさらされる業務による白内障等の眼疾患 | | 04 | 000 |

| 大　分　類 | 分　　類　　項　　目 | | 号番号（2 桁）+ 分類コード(2 桁) | | 枝番 (3 桁) |
|---|---|---|---|---|---|
| 物理的因子による疾病（がんを除く。）(2 号) | 電離放射線にさらされる業務による急激放射線症、皮膚潰瘍等の放射線皮膚障害、白内障等の放射線眼疾患、放射線肺炎、再生不良性貧血等の造血器障害、骨壊死その他の放射線障害 | | 02 | 05 | 000 |
| | 異常気圧による疾病 | 高圧室内作業又は潜水作業に係る業務による潜函病又は潜水病 | | 06 | 000 |
| | | 気圧の低い場所における業務による高山病又は航空減圧症 | | 07 | 000 |
| | 異常温度条件による疾病 | 暑熱な場所における業務による熱中症 | | 08 | 000 |
| | | 高熱物体を取り扱う業務による熱傷 | | 09 | 000 |
| | | 寒冷な場所における業務又は低温物体を取り扱う業務による凍傷 | | 10 | 000 |
| | 著しい騒音を発する場所における業務による難聴等の耳の疾患 | | | 11 | 000 |
| | 超音波にさらされる業務による手指等の組織壊死 | | | 12 | 000 |
| | 01 から 12 までに掲げるもの以外の物理的因子にさらされる業務に起因することの明らかな疾病（業務上の負傷に起因する疾病及び身体に過度の負担のかかる作業態様に起因する疾病を除く。） | | | 99 | 000 |
| 身体に過度の負担のかかる作業様態に起因する疾病(3 号) | 重激な業務による筋肉、腱、骨若しくは関節の疾患又は内臓脱（腰痛を除く。） | | 03 | 01 | 000 |
| | 重量物を取り扱う業務、腰部に過度の負担を与える不自然な作業姿勢により行う業務その他腰部に過度の負担のかかる業務による腰痛（負傷に起因する腰痛を除く。） | | | 02 | 000 |
| | さく岩機、鋲打ち器、チェンソー等の機械器具の使用により身体に振動を与える業務による手指、前腕等の末梢循環障害、末梢神経障害又は運動器障害 | | | 03 | 000 |
| | 電子計算機への入力を反復して行う業務その他上肢に過度の負担のかかる業務による | 後頭部の運動器障害 | | 04 | 000 |
| | | 頸部の運動器障害 | | 05 | 000 |
| | | 肩甲帯の運動器障害 | | 06 | 000 |
| | | 前腕の運動器障害 | | 07 | 000 |
| | | 上腕の運動器障害 | | 08 | 000 |
| | | 手指の運動器障害 | | 09 | 000 |
| | 01 から 09 に掲げるもの以外の身体に過度の負担のかかる作業様態に起因することの明らかな疾病 | | | 99 | 000 |
| 化学物質等による疾病（がんを除く。）(4 号) | 厚生労働大臣の指定する単体たる化学物質及び化合物（合金を含む。）にさらされる業務による疾病であって、厚生労働大臣が定めるもの | | 04 | 01 | 001～151(※) |
| | 合成樹脂の熱分解生成物による疾病 | フッ素樹脂の熱分解生成物にさらされる業務による悪寒、発熱等の症状を伴う呼吸器疾患 | | 02 | 000 |
| | | 塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂等の合成樹脂の熱分解生成物にさらされる業務による眼粘膜及び気道粘膜の炎症等の疾病 | | 03 | 000 |

| 大分類 | 分類項目 | | 号番号（2桁）+分類コード(2桁) | | 枝番(3桁) |
|---|---|---|---|---|---|
| 化学物質等による疾病（がんを除く。）(4号) | すす、鉱物油、うるし、タール、セメント、アミン系の樹脂硬化剤等にさらされる業務による皮膚疾患 | | 04 | 04 | 000 |
| | 蛋白分解酵素にさらされる業務による皮膚炎、結膜炎又は鼻炎気管支喘息等の呼吸器疾患 | | | 05 | 000 |
| | 木材の粉じん、獣毛のじんあい等を飛散する場所における業務又は抗生物質等にさらされる業務によるアレルギー性の鼻炎、気管支喘息等の呼吸器疾患 | | | 06 | 000 |
| | 落綿等の粉じんを飛散する場所における業務による呼吸器疾患 | | | 07 | 000 |
| | 石綿にさらされる業務による良性石綿胸水 | | | 08 | 000 |
| | 石綿にさらされる業務によるびまん性胸膜肥厚 | | | 09 | 000 |
| | 空気中の酵素濃度の低い場所における業務による酸素欠乏症 | | | 10 | 000 |
| | 01から10までに掲げるもの以外の化学物質にさらされる業務に起因することの明らかな疾病 | | | 99 | 000 |
| 粉じんの吸入による疾病(5号) | じん肺症（管理4） | | 05 | 01 | 000 |
| | 管理2又は3のじん肺に係る以下の合併症 | 肺結核 | | 02 | 000 |
| | | 結核性胸膜炎 | | 03 | 000 |
| | | 続発性気管支炎 | | 04 | 000 |
| | | 続発性気管支拡張症 | | 05 | 000 |
| | | 続発性気胸 | | 06 | 000 |
| | | 肺がん(石綿肺の場合を除く。) | | 07 | 000 |
| 細菌、ウィルス等の病原体による疾病(6号) | 患者の診療若しくは看護の業務、介護の業務又は研究その他の目的で病原体を取り扱う業務による伝染性疾患 | 患者の診療の業務 | 06 | 01 | 000 |
| | | 患者の看護の業務 | | 02 | 000 |
| | | 介護の業務 | | 03 | 000 |
| | | 研究その他の目的で病原体を取り扱う業務 | | 04 | 000 |
| | 動物若しくはその死体、獣毛、革その他動物性の物又はぼろ等の古物を取り扱う業務によるブルセラ症、炭疽病等の伝染性疾患 | | | 05 | 000 |
| | 湿潤地における業務によるワイル病等のレプトスピラ症 | | | 06 | 000 |
| | 屋外における業務による恙虫病 | | | 07 | 000 |
| | 01から07までに掲げるもの以外の細菌、ウィルス等の病原体にさらされる業務に起因することの明らかな疾病 | | | 99 | 000 |
| がん原性物質若しくはがん原性因子又はがん原性工程における業務による疾病(7号) | ベンジンにさらされる業務による尿路系腫瘍 | | 07 | 01 | 000 |
| | ベーターナフチルアミンにさらされる業務による尿路系腫瘍 | | | 02 | 000 |
| | 4-アミノジフェニルにさらされる業務による尿路系腫瘍 | | | 03 | 000 |
| | 4-ニトロジルフェニルにさらされる業務による尿路系腫瘍 | | | 04 | 000 |
| | ビス（クロロメチル）エーテルにさらされる業務による肺がん | | | 05 | 000 |
| | ベンゾトリクロライドにさらされる業務による肺がん | | | 06 | 000 |
| | 石綿にさらされる業務による肺がん | | | 07 | 000 |
| | 石綿にさらされる業務による中皮腫 | | | 08 | 000 |

| 大分類 | 分類項目 | | 号番号（2桁）+分類コード(2桁) | | 枝番(3桁) |
|---|---|---|---|---|---|
| がん原性物質若しくはがん原性因子又はがん原性工程における業務による疾病(7号) | ベンゼンにさらされる業務による白血病 | | 07 | 09 | 000 |
| | 塩化ビニルにさらされる業務による | 肝血管肉腫 | | 10 | 000 |
| | | 肝細胞がん | | 11 | 000 |
| | 電離放射線にさらされる業務による白血病、肺がん、皮膚がん、骨肉腫、甲状腺がん、多発性骨髄腫又は非ホジキンリンパ腫 | 白血病 | | 12 | 000 |
| | | 肺がん | | 13 | 000 |
| | | 皮膚がん | | 14 | 000 |
| | | 骨肉腫 | | 15 | 000 |
| | | 甲状腺がん | | 16 | 000 |
| | | 多発性骨髄腫 | | 17 | 000 |
| | | 非ホジキンリンパ腫 | | 18 | 000 |
| | オーラミンを製造する工程における業務による尿路系腫瘍 | | | 19 | 000 |
| | マゼンタを製造する工程における業務による尿路系腫瘍 | | | 20 | 000 |
| | コークス又は発生炉ガスを製造する工程における業務による肺がん | | | 21 | 000 |
| | クロム酸塩又は重クロム酸塩を製造する工程における業務による肺がん又は上気道のがん | | | 22 | 000 |
| | ニッケルの製錬又は精錬を行う工程における業務による肺がん又は上気道のがん | | | 23 | 000 |
| | 砒素を含有する鉱石を原料として金属の製錬若しくは精錬を行う工程又は無機砒素化合物を製造する工程における業務による肺がん又は皮膚がん | | | 24 | 000 |
| | すす、鉱物油、タール、ピッチ、アスファルト又はパラフィンにさらされる業務による皮膚がん | | | 25 | 000 |
| | 01から25までに掲げるもの以外のがん原性物質若しくはがん原性因子にさらされる業務又はがん原性工程における業務に起因することの明らかな疾病 | | | 99 | 000 |
| 8号 | 長期間にわたる長時間の業務その他血管病変等を著しく増悪させる業務による脳出血、くも膜下出血、脳梗塞、高血圧性脳症、心筋梗塞、狭心症、心停止（心臓性突然死を含む。）若しくは解離性大動脈瘤又はこれらの疾病に付随する疾病 | | 08 | 01 | 000 |
| 9号 | 人の命にかかわる事故への遭遇その他心理的に過度の負担を与える事象を伴う業務による精神及び行動の障害又はこれに付随する疾病 | | 09 | 02 | 000 |
| 10号 | 前号に掲げるもののほか、厚生労働大臣の指定する疾病 | 超硬合金の粉じんを飛散する場所における業務による気管支肺疾患 | 10 | 01 | 000 |
| | | 亜鉛黄又は黄鉛を製造する工程における業務による肺がん | | 02 | 000 |
| | | ジアニシジンにさらされる業務による尿路系腫瘍 | | 03 | 000 |
| 11号 | その他業務に起因することの明らかな疾病 | | 11 | 01 | 000 |

※傷病コードは、平成八年三月二九日労働省告示第三十三号に記載されている化学物質の上から順に００１～１５１まで振ることとする。

## 13　傷病部位コード表

| 大分類 | 中分類 | 部位コード |
|---|---|---|
| 1　頭部 | 頭蓋部（頭蓋骨、脳及び頭皮を含む） | 11 |
| | 眼　（眼窩及び視神経を含む） | 12 |
| | 耳 | 13 |
| | 口　（唇、歯及び舌を含む） | 14 |
| | 鼻 | 15 |
| | 顔　（他に分類しない部分） | 16 |
| | 頭部中の複合部位 | 18 |
| | 頭部で部位不明のもの | 19 |
| 2　頸部 | 頸　部（咽喉及び頸骨を含む） | 21 |
| 3　胴体 | 背　部（脊柱、隣接の筋肉を含む） | 31 |
| | 胸　部（肋骨、胸骨及び胸部の内蔵を含む） | 32 |
| | 腹　部（内蔵を含む） | 33 |
| | 骨盤部（腰部） | 34 |
| | 胴体中の複合部位 | 38 |
| | 胴体で部位不明のもの | 39 |
| 4　上肢 | 肩　（鎖骨及び肩甲骨を含む） | 41 |
| | 上　膊 | 42 |
| | ひ　じ | 43 |
| | 前　膊 | 44 |
| | 手　首 | 45 |
| | 手　（指のみのものを除く） | 46 |
| | 指 | 47 |
| | 上肢中の複合部位 | 48 |
| | 上肢で部位不明のもの | 49 |
| 5　下肢 | 臀　部（しり） | 51 |
| | 大　腿（もも） | 52 |
| | ひ　ざ | 53 |
| | 下　腿（すね） | 54 |
| | 足　首 | 55 |
| | 足　（足指のみのものを除く） | 56 |
| | 足　指 | 57 |

| 大　分　類 | 中　　分　　類 | 部　位<br>コード |
|---|---|---|
| 5　下　　肢 | 下肢中の複合部位 | 58 |
| | 下肢で部位不明のもの | 59 |
| 6　複　合　部　位 | 頭部と胴体、頭部と肢体 | 61 |
| | 胴体と肢体 | 62 |
| | 上肢と下肢 | 63 |
| | その他の複合部位 | 68 |
| | 複合部位不明のもの | 69 |
| 7　一 般 的 傷 病 | 循環器系統 | 71 |
| | 呼吸器系統 | 72 |
| | 消化器系統 | 73 |
| | 神経系統 | 74 |
| | その他の一般的傷病 | 78 |
| | 一般的傷病不明のもの | 79 |
| 9　部　位　不　明 | 傷病部位不明のもの | 99 |

(注)　1　　同一の労働災害で二つ以上の部位を負傷し又は疾病にかかった場合は、その傷病の比較的重い方の部位により分類すること。

2　　二つ以上の部位に受けた傷病の重さが同程度である場合は、複合部位に分類すること。(同一の大分類に属する部位の複合は、その大分類中の複合部位とし、異なる大分類に属する部位の複合は、大分類「6 複合部位」に分類すること。)

3　　特定の負傷によらず、身体の機能を害した場合は、大分類「7　一般的傷病」に分類すること。

4　　特定の負傷により二次的に系統障害を起こした場合は、特定の負傷を受けた部位により分類すること。

5　　傷病性質のコードが「06」から「93」までのものについては、傷病部位のコードを「99」と記入すること。

## 14　通勤災害における傷病性質コード表

| 分類番号 | 分類項目 | 傷病性質コード |
|---|---|---|
| 1 | 通勤による負傷 | 10 |
| 2 | 通勤による負傷に起因する疾病 | 20 |
| 3 | その他通勤に起因することの明らかな疾病 | 30 |

## 15　通勤方法コード表

| 分類番号 | 分　　類　　項　　目 | 通勤方法コード |
|---|---|---|
| 1 | 歩行中 | 01 |
| 2 | 自転車利用中 | 02 |
| 3 | 自動車・バイク運転中 | 03 |
| 4 | 自動車・バイク同乗中 | 04 |
| 5 | 電車・列車等利用中 | 05 |
| 6 | そ　の　他 | 06 |

## 16　事故の相手方コード表

| 分 類 番 号 | 分　　類　　項　　目 | 事故の相手方コード |
|---|---|---|
| 1 | 自動車・バイク | 31 |
| 2 | 電車・列車等 | 32 |
| 3 | そ　の　他 | 33 |
| 4 | 相手なし | 34 |

## 17　都道府県労働局及び労働基準監督署コード表

| 局署名 | 局署コード |
|---|---|
| 北海道 | 01 |
| 札幌中央 | 01 |
| 函館 | 02 |
| 小樽 | 03 |
| 岩見沢 | 04 |
| 旭川 | 05 |
| 帯広 | 06 |
| 滝川 | 07 |
| 北見 | 08 |
| 室蘭 | 09 |
| 釧路 | 10 |
| 名寄 | 11 |
| 倶知安(支) | 12 |
| 留萌 | 13 |
| 稚内 | 14 |
| 浦河 | 15 |
| 苫小牧 | 17 |
| 札幌東 | 18 |
| 青森 | 02 |
| 青森 | 01 |
| 弘前 | 02 |
| 八戸 | 03 |
| 五所川原 | 04 |
| 十和田 | 05 |
| むつ | 06 |
| 岩手 | 03 |
| 盛岡 | 01 |
| 宮古 | 02 |
| 花巻 | 03 |
| 釜石 | 04 |
| 一関 | 05 |
| 二戸 | 06 |
| 大船渡 | 07 |
| 宮城 | 04 |
| 仙台 | 01 |
| 石巻 | 02 |
| 古川 | 03 |
| 大河原 | 04 |
| 瀬峰 | 06 |
| 秋田 | 05 |
| 秋田 | 01 |
| 能代 | 02 |
| 大館 | 03 |
| 横手 | 04 |
| 大曲 | 05 |
| 本荘 | 06 |
| 山形 | 06 |
| 山形 | 01 |
| 米沢 | 02 |
| 庄内 | 03 |
| 新庄 | 05 |
| 村山 | 06 |
| 福島 | 07 |
| 福島 | 01 |
| 郡山 | 02 |
| いわき | 03 |
| 会津 | 04 |
| 須賀川 | 05 |
| 白河 | 06 |
| 喜多方(支) | 07 |
| 相馬 | 08 |
| 富岡 | 09 |
| 茨城 | 08 |
| 水戸 | 01 |
| 日立 | 02 |
| 土浦 | 03 |
| 筑西 | 04 |
| 古河 | 05 |
| 常総 | 07 |
| 龍ヶ崎 | 08 |
| 鹿嶋 | 09 |
| 栃木 | 09 |
| 宇都宮 | 01 |
| 足利 | 02 |
| 栃木 | 03 |
| 鹿沼 | 05 |
| 大田原 | 06 |
| 日光 | 07 |
| 真岡 | 08 |
| 群馬 | 10 |
| 高崎 | 01 |
| 前橋 | 02 |
| 桐生 | 04 |
| 太田 | 05 |
| 沼田 | 06 |
| 藤岡 | 07 |
| 中之条 | 08 |
| 埼玉 | 11 |
| さいたま | 01 |
| 川口 | 02 |
| 熊谷 | 04 |
| 川越 | 05 |
| 春日部 | 06 |
| 所沢 | 07 |
| 行田 | 08 |
| 秩父 | 09 |
| 千葉 | 12 |
| 千葉 | 01 |
| 船橋 | 02 |
| 柏 | 03 |
| 銚子 | 04 |
| 木更津 | 06 |
| 茂原 | 07 |
| 成田 | 08 |
| 東金 | 09 |
| 東京 | 13 |
| 中央 | 01 |
| 上野 | 03 |
| 三田 | 04 |
| 品川 | 05 |
| 大田 | 06 |
| 渋谷 | 07 |
| 新宿 | 08 |

| 局署名 | 局署コード |
|---|---|
| 池袋 | 09 |
| 王子 | 10 |
| 足立 | 11 |
| 向島 | 12 |
| 亀戸 | 13 |
| 江戸川 | 14 |
| 八王子 | 15 |
| 立川 | 16 |
| 青梅 | 17 |
| 三鷹 | 18 |
| 町田（支） | 19 |
| 小笠原（総合事務所） | 20 |
| 神奈川 | 14 |
| 横浜南 | 01 |
| 鶴見 | 02 |
| 川崎南 | 03 |
| 川崎北 | 04 |
| 横須賀 | 05 |
| 横浜北 | 06 |
| 平塚 | 07 |
| 藤沢 | 08 |
| 小田原 | 09 |
| 厚木 | 10 |
| 相模原 | 11 |
| 横浜西 | 12 |
| 新潟 | 15 |
| 新潟 | 01 |
| 長岡 | 02 |
| 上越 | 03 |
| 三条 | 04 |
| 新発田 | 06 |
| 新津 | 07 |

| 局署名 | 局署コード |
|---|---|
| 小出 | 08 |
| 十日町 | 09 |
| 佐渡 | 11 |
| 富山 | 16 |
| 富山 | 01 |
| 高岡 | 02 |
| 魚津 | 03 |
| 砺波 | 04 |
| 石川 | 17 |
| 金沢 | 01 |
| 小松 | 02 |
| 七尾 | 03 |
| 穴水 | 05 |
| 福井 | 18 |
| 福井 | 01 |
| 敦賀 | 02 |
| 武生 | 03 |
| 大野 | 04 |
| 山梨 | 19 |
| 甲府 | 01 |
| 都留 | 02 |
| 鰍沢 | 03 |
| 長野 | 20 |
| 松本 | 01 |
| 長野 | 02 |
| 岡谷 | 03 |
| 上田 | 04 |

| 局署名 | 局署コード |
|---|---|
| 飯田 | 05 |
| 中野 | 06 |
| 小諸 | 07 |
| 伊那 | 08 |
| 大町 | 10 |
| 岐阜 | 21 |
| 岐阜 | 01 |
| 大垣 | 02 |
| 高山 | 03 |
| 多治見 | 04 |
| 関 | 05 |
| 恵那 | 06 |
| 岐阜八幡 | 07 |
| 静岡 | 22 |
| 浜松 | 01 |
| 静岡 | 02 |
| 沼津 | 03 |
| 三島 | 05 |
| 富士 | 06 |
| 磐田 | 07 |
| 島田 | 08 |
| 愛知 | 23 |
| 名古屋北 | 01 |
| 名古屋南 | 02 |
| 名古屋東 | 03 |
| 豊橋 | 04 |
| 岡崎 | 06 |
| 一宮 | 07 |
| 半田 | 08 |
| 津島 | 09 |

| 局署名 | 局署コード |
|---|---|
| 瀬戸 | 10 |
| 刈谷 | 11 |
| 西尾（支） | 12 |
| 江南 | 13 |
| 名古屋西 | 14 |
| 豊田 | 15 |
| 三重 | 24 |
| 四日市 | 01 |
| 松阪 | 02 |
| 津 | 03 |
| 伊勢 | 04 |
| 伊賀 | 06 |
| 熊野 | 07 |
| 滋賀 | 25 |
| 大津 | 01 |
| 彦根 | 02 |
| 東近江 | 04 |
| 京都 | 26 |
| 京都上 | 01 |
| 京都下 | 02 |
| 京都南 | 03 |
| 福知山 | 04 |
| 舞鶴 | 05 |
| 丹後 | 06 |
| 園部 | 07 |
| 大阪 | 27 |
| 大阪中央 | 01 |
| 大阪南 | 02 |
| 天満 | 04 |

| 局署名 | 局署コード |
|---|---|
| 大阪西 | 05 |
| 西野田 | 06 |
| 淀川 | 07 |
| 東大阪 | 08 |
| 岸和田 | 09 |
| 堺 | 10 |
| 羽曳野 | 11 |
| 北大阪 | 12 |
| 泉大津 | 13 |
| 茨木 | 14 |
| 兵庫 | 28 |
| 神戸東 | 01 |
| 神戸西 | 02 |
| 尼崎 | 03 |
| 姫路 | 04 |
| 伊丹 | 05 |
| 西宮 | 06 |
| 加古川 | 07 |
| 西脇 | 08 |
| 但馬 | 09 |
| 相生 | 10 |
| 淡路 | 11 |
| 奈良 | 29 |
| 奈良 | 01 |
| 葛城 | 02 |
| 桜井 | 03 |
| 大淀 | 04 |
| 和歌山 | 30 |
| 和歌山 | 01 |
| 御坊 | 02 |
| 橋本 | 03 |
| 田辺 | 04 |

| 局署名 | 局署コード |
|---|---|
| 新宮 | 05 |
| 鳥取 | 31 |
| 鳥取 | 01 |
| 米子 | 02 |
| 倉吉 | 03 |
| 島根 | 32 |
| 松江 | 01 |
| 出雲 | 02 |
| 浜田 | 03 |
| 益田 | 04 |
| 岡山 | 33 |
| 岡山 | 01 |
| 倉敷 | 02 |
| 津山 | 04 |
| 笠岡 | 05 |
| 和気 | 06 |
| 新見 | 07 |
| 広島 | 34 |
| 広島中央 | 01 |
| 呉 | 02 |
| 福山 | 03 |
| 三原 | 04 |
| 尾道 | 05 |
| 三次 | 06 |
| 広島北 | 07 |
| 廿日市 | 09 |
| 山口 | 35 |
| 下関 | 01 |

| 局署名 | 局署コード |
|---|---|
| 宇部 | 02 |
| 徳山 | 03 |
| 下松 | 04 |
| 岩国 | 05 |
| 山口 | 08 |
| 萩 | 09 |
| 徳島 | 36 |
| 徳島 | 01 |
| 鳴門 | 02 |
| 三好 | 03 |
| 阿南 | 04 |
| 香川 | 37 |
| 高松 | 01 |
| 丸亀 | 02 |
| 坂出 | 03 |
| 観音寺 | 04 |
| 東かがわ | 05 |
| 愛媛 | 38 |
| 松山 | 01 |
| 新居浜 | 02 |
| 今治 | 03 |
| 八幡浜 | 04 |
| 宇和島 | 05 |
| 高知 | 39 |
| 高知 | 01 |
| 須崎 | 02 |
| 四万十 | 03 |
| 安芸 | 04 |

| 局署名 | 局署コード |
|---|---|
| 福岡 | 40 |
| 福岡中央 | 01 |
| 大牟田 | 02 |
| 久留米 | 03 |
| 飯塚 | 04 |
| 北九州西 | 06 |
| 北九州東 | 07 |
| 門司(支) | 08 |
| 田川 | 09 |
| 直方 | 10 |
| 行橋 | 11 |
| 八女 | 12 |
| 福岡東 | 13 |
| 佐賀 | 41 |
| 佐賀 | 01 |
| 唐津 | 02 |
| 武雄 | 03 |
| 伊万里 | 04 |
| 長崎 | 42 |
| 長崎 | 01 |
| 佐世保 | 02 |
| 江迎 | 03 |
| 島原 | 04 |
| 諫早 | 05 |
| 対馬 | 06 |
| 熊本 | 43 |
| 熊本 | 01 |
| 八代 | 02 |
| 玉名 | 03 |
| 人吉 | 04 |

| 局　署　名 | 局　署<br>コード |
|---|---|
| 天　　草 | 05 |
| 菊　　池 | 06 |
| 大　　分 | 44 |
| 大　　分 | 01 |
| 中　　津 | 02 |
| 佐　　伯 | 03 |
| 日　　田 | 04 |
| 豊後大野 | 05 |
| 宮　　崎 | 45 |
| 宮　　崎 | 01 |
| 延　　岡 | 02 |
| 都　　城 | 03 |
| 日　　南 | 04 |
| 鹿児島 | 46 |
| 鹿児島 | 01 |
| 川　　内 | 02 |
| 鹿　　屋 | 03 |
| 加治木 | 04 |
| 名　　瀬 | 07 |
| 沖　　縄 | 47 |
| 那　　覇 | 01 |
| 沖　　縄 | 02 |
| 名　　護 | 03 |
| 宮　　古 | 04 |
| 八重山 | 05 |

## 18　都道府県労働局及び公共職業安定所コード表

| 局所名 | 局所コード |
|---|---|
| 北海道 | 01 |
| 札幌 | 01 |
| 函館 | 02 |
| 旭川 | 03 |
| 帯広 | 04 |
| 北見 | 05 |
| 紋別 | 06 |
| 小樽 | 07 |
| 滝川 | 08 |
| 釧路 | 09 |
| 室蘭 | 10 |
| 岩見沢 | 11 |
| 稚内 | 12 |
| 岩内 | 13 |
| 留萌 | 14 |
| 名寄 | 15 |
| 浦河 | 16 |
| 網走 | 18 |
| 苫小牧 | 19 |
| 根室 | 20 |
| 札幌東 | 23 |
| 札幌北 | 24 |
| 千歳 | 25 |
| 青森 | 02 |
| 青森 | 01 |
| 八戸 | 02 |
| 弘前 | 03 |
| むつ | 04 |
| 野辺地 | 05 |
| 五所川原 | 06 |
| 三沢 | 08 |
| 黒石 | 09 |
| 岩手 | 03 |
| 盛岡 | 01 |
| 釜石 | 02 |
| 宮古 | 03 |
| 花巻 | 04 |
| 一関 | 05 |
| 水沢 | 06 |
| 北上 | 07 |
| 大船渡 | 08 |
| 二戸 | 09 |
| 久慈 | 10 |
| 宮城 | 04 |
| 仙台 | 01 |
| 石巻 | 02 |
| 塩釜 | 03 |
| 古川 | 04 |
| 大河原 | 05 |
| 築館 | 06 |
| 迫 | 07 |
| 気仙沼 | 08 |
| 秋田 | 05 |
| 秋田 | 01 |
| 能代 | 02 |
| 大館 | 03 |
| 大曲 | 04 |
| 本荘 | 05 |
| 横手 | 06 |
| 湯沢 | 07 |
| 鹿角 | 08 |
| 山形 | 06 |
| 山形 | 01 |
| 米沢 | 02 |
| 酒田 | 03 |
| 鶴岡 | 04 |
| 新庄 | 05 |
| 長井 | 06 |
| 村山 | 07 |
| 寒河江 | 08 |
| 福島 | 07 |
| 福島 | 01 |
| 平 | 02 |
| 会津若松 | 03 |
| 郡山 | 04 |
| 白河 | 05 |
| 須賀川 | 06 |
| 二本松 | 08 |
| 相双 | 12 |
| 茨城 | 08 |
| 水戸 | 01 |
| 日立 | 02 |
| 筑西 | 03 |
| 土浦 | 04 |
| 古河 | 05 |
| 常総 | 06 |
| 石岡 | 08 |
| 常陸太山 | 09 |
| 龍ヶ崎 | 10 |
| 高萩 | 11 |
| 常陸鹿嶋 | 12 |
| 栃木 | 09 |
| 宇都宮 | 01 |
| 鹿沼 | 02 |
| 栃木 | 03 |
| 佐野 | 04 |
| 足利 | 05 |
| 真岡 | 06 |
| 矢板 | 07 |
| 大田原 | 08 |
| 小山 | 09 |
| 日光 | 11 |
| 黒磯 | 12 |
| 群馬 | 10 |
| 前橋 | 01 |
| 高崎 | 02 |
| 桐生 | 03 |
| 伊勢崎 | 04 |
| 太田 | 05 |
| 館林 | 06 |
| 沼田 | 07 |
| 群馬富岡 | 08 |
| 藤岡 | 09 |
| 渋川 | 10 |
| 埼玉 | 11 |

| 局所名 | 局所コード |
|---|---|
| 川口 | 01 |
| 熊谷 | 02 |
| 大宮 | 03 |
| 川越 | 04 |
| 浦和 | 05 |
| 所沢 | 06 |
| 秩父 | 07 |
| 春日部 | 08 |
| 行田 | 09 |
| 草加 | 10 |
| 朝霞 | 11 |
| 越谷 | 12 |
| 千葉 | 12 |
| 千葉 | 01 |
| 市川 | 02 |
| 銚子 | 03 |
| 館山 | 04 |
| 木更津 | 05 |
| 佐原 | 06 |
| 茂原 | 07 |
| 松戸 | 08 |
| 船橋 | 09 |
| 成田 | 10 |
| 千葉南 | 11 |
| 東京 | 13 |
| 飯田橋 | 01 |
| 上野 | 03 |
| 品川 | 04 |
| 大森 | 06 |
| 渋谷 | 07 |
| 新宿 | 08 |
| 池袋 | 09 |
| 王子 | 10 |
| 足立 | 11 |
| 墨田 | 12 |
| 木場 | 13 |
| 八王子 | 14 |
| 立川 | 15 |
| 青梅 | 16 |
| 三鷹 | 17 |
| 町田 | 19 |
| 府中 | 20 |
| 神奈川 | 14 |
| 横浜 | 01 |
| 戸塚 | 03 |
| 川崎 | 04 |
| 横須賀 | 05 |
| 平塚 | 06 |
| 小田原 | 07 |
| 藤沢 | 08 |
| 相模原 | 09 |
| 厚木 | 10 |
| 松田 | 11 |
| 横浜南 | 12 |
| 川崎北 | 14 |
| 港北 | 15 |
| 大和 | 16 |
| 新潟 | 15 |
| 新潟 | 01 |
| 長岡 | 02 |
| 上越 | 03 |
| 三条 | 04 |
| 柏崎 | 05 |
| 新発田 | 06 |
| 新津 | 07 |
| 十日町 | 08 |
| 糸魚川 | 10 |
| 巻 | 11 |
| 南魚沼 | 12 |
| 佐渡 | 13 |
| 村上 | 14 |
| 富山 | 16 |
| 富山 | 01 |
| 高岡 | 02 |
| 魚津 | 04 |
| 砺波 | 05 |
| 氷見 | 06 |
| 滑川 | 07 |
| 石川 | 17 |
| 金沢 | 01 |
| 小松 | 02 |
| 七尾 | 03 |
| 加賀 | 05 |
| 白山 | 08 |
| 輪島 | 09 |
| 福井 | 18 |
| 福井 | 01 |
| 武生 | 02 |
| 大野 | 03 |
| 三国 | 04 |
| 敦賀 | 05 |
| 小浜 | 06 |
| 山梨 | 19 |
| 甲府 | 01 |
| 塩山 | 03 |
| 韮崎 | 04 |
| 鰍沢 | 05 |
| 富士吉田 | 07 |
| 長野 | 20 |
| 長野 | 01 |
| 松本 | 02 |
| 上田 | 04 |
| 飯田 | 05 |
| 伊那 | 06 |
| 篠ノ井 | 07 |
| 飯山 | 08 |
| 木曽福島 | 10 |
| 佐久 | 11 |
| 大町 | 12 |
| 須坂 | 13 |
| 諏訪 | 14 |
| 岐阜 | 21 |
| 岐阜 | 01 |
| 大垣 | 02 |
| 多治見 | 03 |
| 高山 | 04 |
| 恵那 | 05 |
| 関 | 06 |
| 美濃加茂 | 07 |

| 局所名 | 局所コード |
|---|---|
| 中津川 | 09 |
| 静岡 | 22 |
| 静岡 | 01 |
| 浜松 | 02 |
| 沼津 | 03 |
| 清水 | 04 |
| 三島 | 05 |
| 掛川 | 06 |
| 富士宮 | 07 |
| 島田 | 08 |
| 磐田 | 09 |
| 富士 | 10 |
| 下田 | 11 |
| 焼津 | 12 |
| 愛知 | 23 |
| 名古屋東 | 01 |
| 名古屋中 | 02 |
| 名古屋南 | 03 |
| 豊橋 | 04 |
| 岡崎 | 05 |
| 一宮 | 06 |
| 半田 | 07 |
| 瀬戸 | 08 |
| 豊田 | 09 |
| 津島 | 10 |
| 刈谷 | 11 |
| 西尾 | 12 |
| 犬山 | 13 |
| 豊川 | 14 |
| 新城 | 15 |
| 春日井 | 17 |

| 局所名 | 局所コード |
|---|---|
| 三重 | 24 |
| 四日市 | 01 |
| 伊勢 | 02 |
| 津 | 03 |
| 松阪 | 04 |
| 桑名 | 05 |
| 伊賀 | 06 |
| 尾鷲 | 08 |
| 鈴鹿 | 09 |
| 滋賀 | 25 |
| 大津 | 01 |
| 長浜 | 02 |
| 彦根 | 03 |
| 東近江 | 04 |
| 甲賀 | 05 |
| 草津 | 06 |
| 京都 | 26 |
| 京都西陣 | 01 |
| 京都七条 | 02 |
| 伏見 | 03 |
| 京都田辺 | 04 |
| 福知山 | 05 |
| 舞鶴 | 06 |
| 峰山 | 07 |
| 宇治 | 08 |
| 大阪 | 27 |
| 大阪東 | 01 |
| 梅田 | 02 |
| 大阪西 | 03 |
| 阿倍野 | 04 |

| 局所名 | 局所コード |
|---|---|
| 淀川 | 06 |
| 布施 | 07 |
| 堺 | 08 |
| 岸和田 | 09 |
| 池田 | 10 |
| 泉大津 | 11 |
| 河内柏原 | 12 |
| 枚方 | 13 |
| 泉佐野 | 14 |
| 茨木 | 15 |
| 河内長野 | 16 |
| 大阪港労働 | 17 |
| 門真 | 18 |
| あいりん労働 | 19 |
| 兵庫 | 28 |
| 神戸 | 01 |
| 灘 | 02 |
| 尼崎 | 03 |
| 西宮 | 04 |
| 姫路 | 05 |
| 加古川 | 06 |
| 伊丹 | 07 |
| 明石 | 08 |
| 豊岡 | 09 |
| 西脇 | 10 |
| 洲本 | 11 |
| 柏原 | 13 |
| 西神 | 20 |
| 龍野 | 21 |
| 奈良 | 29 |

| 局所名 | 局所コード |
|---|---|
| 奈良 | 01 |
| 大和高田 | 02 |
| 桜井 | 03 |
| 下市 | 04 |
| 大和郡山 | 05 |
| 和歌山 | 30 |
| 和歌山 | 01 |
| 新宮 | 02 |
| 田辺 | 03 |
| 御坊 | 04 |
| 湯浅 | 05 |
| 海南 | 06 |
| 橋本 | 07 |
| 鳥取 | 31 |
| 鳥取 | 01 |
| 米子 | 02 |
| 倉吉 | 03 |
| 島根 | 32 |
| 松江 | 01 |
| 浜田 | 02 |
| 出雲 | 03 |
| 益田 | 04 |
| 雲南 | 05 |
| 石見大田 | 06 |
| 岡山 | 33 |
| 岡山 | 01 |
| 津山 | 02 |

| 局所名 | 局所コード |
|---|---|
| 倉敷中央 | 03 |
| 玉野 | 04 |
| 和気 | 06 |
| 高梁 | 07 |
| 笠岡 | 08 |
| 西大寺 | 11 |
| 広島 | 34 |
| 広島 | 01 |
| 広島西条 | 02 |
| 呉 | 03 |
| 尾道 | 04 |
| 福山 | 05 |
| 三原 | 06 |
| 三次 | 07 |
| 可部 | 08 |
| 府中 | 11 |
| 広島東 | 14 |
| 廿日市 | 15 |
| 山口 | 35 |
| 山口 | 01 |
| 下関 | 02 |
| 宇部 | 03 |
| 防府 | 05 |
| 萩 | 06 |
| 徳山 | 07 |
| 下松 | 08 |
| 岩国 | 09 |

| 局所名 | 局所コード |
|---|---|
| 柳井 | 10 |
| 徳島 | 36 |
| 徳島 | 01 |
| 三好 | 03 |
| 美馬 | 04 |
| 阿南 | 05 |
| 吉野川 | 06 |
| 鳴門 | 07 |
| 牟岐 | 08 |
| 香川 | 37 |
| 高松 | 01 |
| 丸亀 | 02 |
| 坂出 | 03 |
| 観音寺 | 04 |
| さぬき | 05 |
| 土庄 | 06 |
| 愛媛 | 38 |
| 松山 | 01 |
| 今治 | 02 |
| 八幡浜 | 03 |
| 宇和島 | 04 |
| 新居浜 | 05 |
| 西条 | 06 |
| 四国中央 | 07 |
| 大洲 | 08 |
| 高知 | 39 |
| 高知 | 01 |
| 須崎 | 02 |
| 四万十 | 03 |
| 安芸 | 04 |

| 局所名 | 局所コード |
|---|---|
| いの | 05 |
| 福岡 | 40 |
| 福岡中央 | 01 |
| 飯塚 | 02 |
| 大牟田 | 03 |
| 八幡 | 04 |
| 久留米 | 05 |
| 小倉 | 06 |
| 直方 | 08 |
| 田川 | 09 |
| 行橋 | 10 |
| 福岡東 | 12 |
| 八女 | 14 |
| 朝倉 | 15 |
| 福岡南 | 18 |
| 福岡西 | 19 |
| 佐賀 | 41 |
| 佐賀 | 01 |
| 唐津 | 02 |
| 武雄 | 03 |
| 伊万里 | 04 |
| 鳥栖 | 05 |
| 鹿島 | 06 |
| 長崎 | 42 |
| 長崎 | 01 |
| 佐世保 | 02 |
| 諫早 | 03 |
| 大村 | 04 |
| 島原 | 05 |

| 局所名 | 局所コード |
|---|---|
| 江迎 | 06 |
| 五島 | 07 |
| 対馬 | 08 |
| 熊本 | 43 |
| 熊本 | 01 |
| 八代 | 02 |
| 菊池 | 03 |
| 玉名 | 04 |
| 天草 | 06 |
| 球磨 | 07 |
| 宇城 | 08 |
| 阿蘇 | 09 |
| 水俣 | 10 |
| 大分 | 44 |
| 大分 | 01 |
| 別府 | 02 |
| 中津 | 03 |
| 日田 | 04 |
| 佐伯 | 06 |
| 宇佐 | 07 |
| 豊後大野 | 08 |
| 宮崎 | 45 |
| 宮崎 | 01 |
| 延岡 | 02 |
| 日向 | 03 |
| 都城 | 04 |
| 日南 | 05 |
| 高鍋 | 06 |
| 小林 | 07 |

| 局　所<br>名 | 局　所<br>コード |
|---|---|
| 鹿　児　島 | 46 |
| 鹿　児　島 | 01 |
| 川　　内 | 02 |
| 鹿　　屋 | 03 |
| 国　　分 | 04 |
| 加　世　田 | 05 |
| 伊　集　院 | 06 |
| 大　　隅 | 08 |
| 出　　水 | 09 |
| 名　　瀬 | 11 |
| 指　　宿 | 12 |
| 沖　　縄 | 47 |
| 那　　覇 | 01 |
| 沖　　縄 | 02 |
| 名　　護 | 03 |
| 宮　　古 | 04 |
| 八　重　山 | 05 |

# VI

# 情報検索

## (I) 基本的事項

### 1　検索の概要

検索とは、労災保険年金・一時金の給付の状況や受給権者の情報を出力することである。

### 2　検索の方法

①業務メニューより、「年金・一時金 4 キー検索」または「年金・一時金検索」を選択する。

②表示された検索入力画面へ、必要な項目（年金証書番号等）を入力し、検索メニューを選択したうえで、「検索」ボタンを押下する。

## 3　エラー表示

キャンセルメッセージ

キャンセルメッセージとは、入力した項目に形式上又は論理上による誤りがある場合に出力するメッセージのことである。

なお、エラーの種類は、形式エラー・項目間エラー・突合エラーの３種類となっている。

＜キャンセルメッセージ出力例＞



## 4　検索体系図

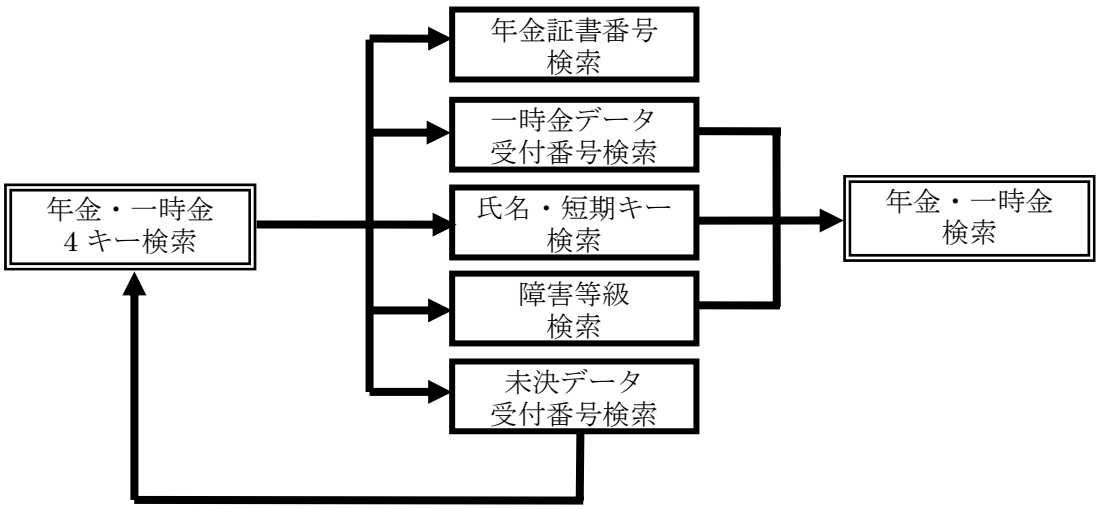
(1) 検索フロー図

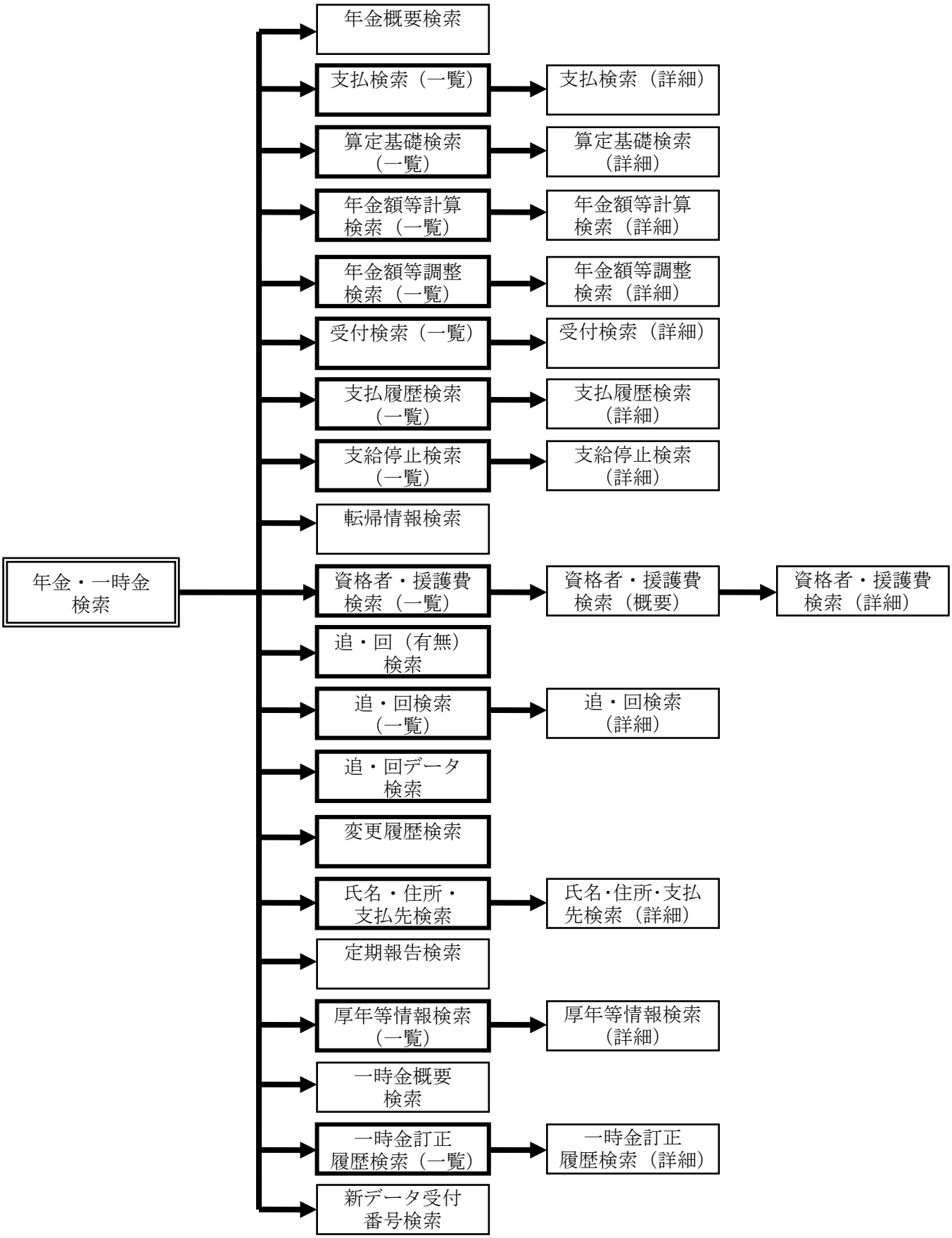
※凡例

入力画面

検索結果一覧画面（再入力画面）

検索結果詳細画面




年金・一時金検索
年金概要検索
支払検索（一覧）
支払検索（詳細）
算定基礎検索（一覧）
算定基礎検索（詳細）
年金額等計算検索（一覧）
年金額等計算検索（詳細）
年金額等調整検索（一覧）
年金額等調整検索（詳細）
受付検索（一覧）
受付検索（詳細）
支払履歴検索（一覧）
支払履歴検索（詳細）
支給停止検索（一覧）
支給停止検索（詳細）
転帰情報検索
資格者・援護費検索（一覧）
資格者・援護費検索（概要）
資格者・援護費検索（詳細）
追・回（有無）検索
追・回検索（一覧）
追・回検索（詳細）
追・回データ検索
変更履歴検索
氏名・住所・支払先検索
氏名･住所･支払先検索（詳細）
定期報告検索
厚年等情報検索（一覧）
厚年等情報検索（詳細）
一時金概要検索
一時金訂正履歴検索（一覧）
一時金訂正履歴検索（詳細）
新データ受付番号検索

(2) 画面の分類

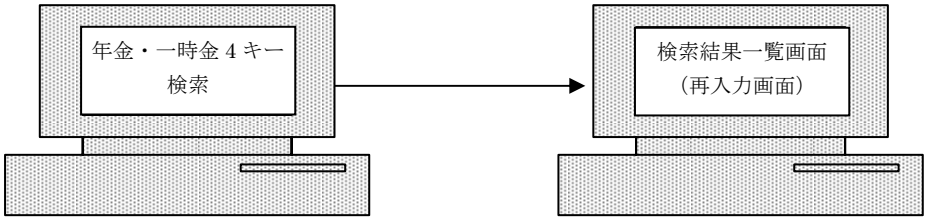
イ　入力画面

入力画面とは、業務メニューを選択後、出力された画面のことであり、下記２画面が該当する。

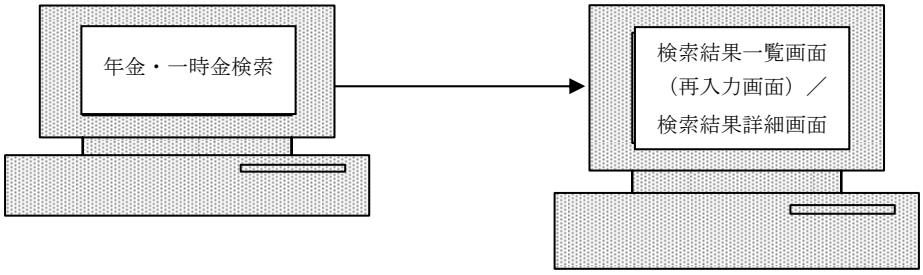
表示された入力画面へ、必要な項目（年金証書番号等）の入力及び検索メニューの選択を行い、「検索」ボタンを押下することにより、目的の情報を出力させるための画面である。

(1)　年金・一時金４キー検索……①「４キー」のうち、労働保険番号、被災者生年月日、傷病年月日が分かっている場合

②被災者氏名又は遺族受給者氏名が分かっている場合




(2)　年金・一時金検索……年金証書番号又はデータ受付番号が分かっている場合



ロ　　検索結果一覧画面（再入力画面）

入力画面から入力した条件で検索した結果を一覧で表示する画面であり、検索結果一覧画面から次画面への遷移は、下記の３種類に分けられる。

なお、画面上部には入力画面の検索条件が表示されたままで、検索結果一覧画面は検索条件の下方に表示される。

(1)　検索結果詳細画面に遷移する場合

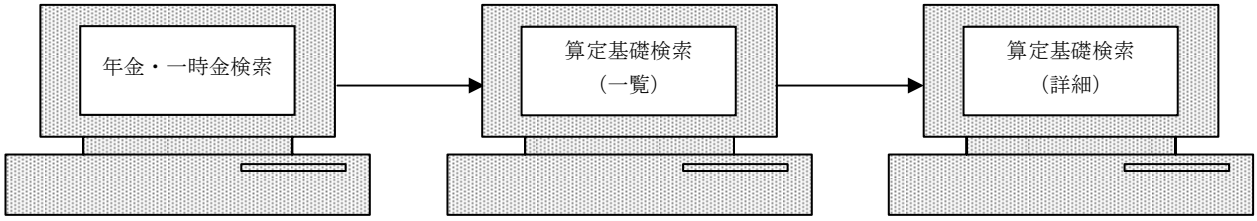
表示された一覧の「詳細」ボタンを押下することにより、検索結果詳細画面を表示する。

例えば、「年金・一時金検索」から「算定基礎検索（一覧)」を表示した場合、同画面には算定年月毎に計算年齢や平均賃金の情報が一覧で表示される。

特定の算定年月に関する算定基礎情報の詳細を知りたい場合は、一覧の「詳細」ボタンを押下することにより、該当データに関する詳細検索を行い、「算定基礎検索（詳細)」が表示される。

・入力画面→検索結果一覧画面（再入力画面）→検索結果詳細画面

（例）




年金証書番号等を入力後、検索メニュー「３」を選択し、「検索」ボタンを押下する。

表示された一覧から知りたい情報の「詳細」ボタンを押下する。

詳細情報が表示される。

なお、検索結果一覧画面の 1 画面に表示できる検索結果は最大 10 件のため、11 件目以降を表示させる場合は、画面中段（中央）に表示されているページャリンクを押下する。検索結果数と現在表示している範囲は画面中段（左）に表示される。

「前へ」: 押下すると、前の 10 件情報を一覧で表示する。

「2」～「5」: 押下すると、対応する範囲の情報を一覧で表示する。

「次へ」: 押下すると、次の 10 件情報を一覧で表示する。

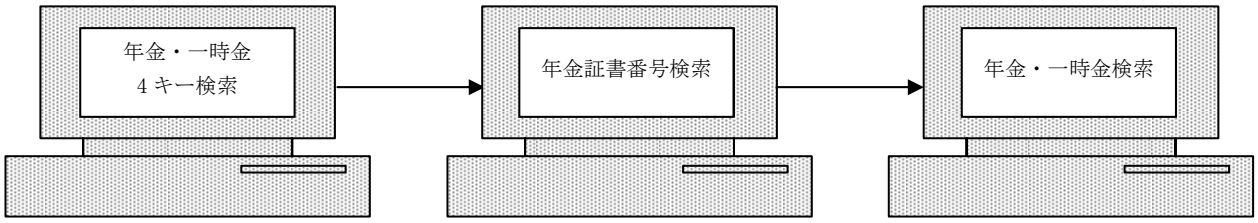
(2) 入力画面に遷移する場合

年金証書番号、４キーなどが一覧で表示され、検索対象とする年金証書番号、４キーなどの「選択」ボタンを押下することにより、入力画面（「年金・一時金検索」又は「年金・一時金 4 キー検索」）を表示する。

表示された一覧の「詳細」ボタンを押下することにより、入力画面（年金・一時金検索）を表示する。なお、入力画面には選択された一覧の年金証書番号、４キーなどを引継いで表示する。

・入力画面→検索結果一覧画面（再入力画面）→検索結果詳細画面

（例）



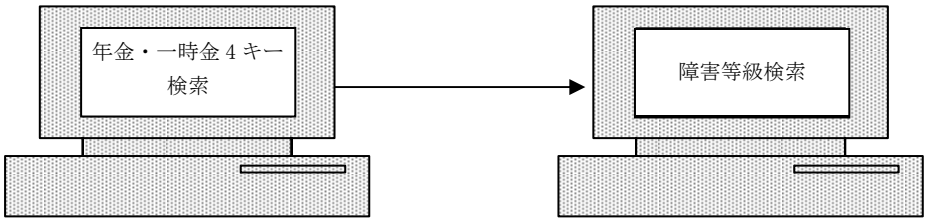

被災者氏名は分かっているが、年金証書番号が分からない場合の例。

(3)　画面遷移しない場合

検索結果一覧画面を表示後、他画面へ遷移しない。

・入力画面→検索結果一覧画面

（例）



ハ　検索結果詳細画面

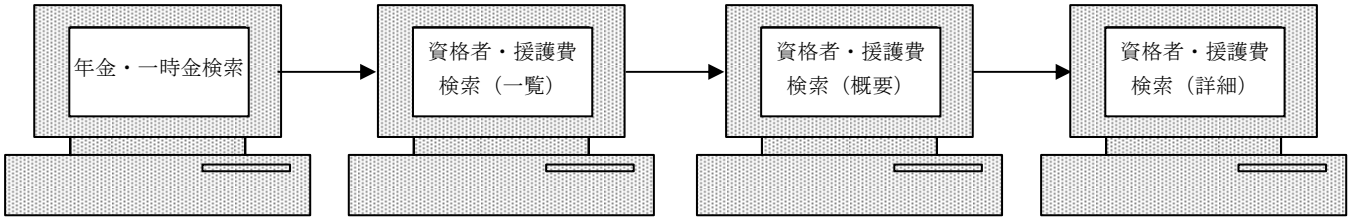
入力画面又は検索結果一覧画面で選択した情報の詳細を表示する画面である。検索結果詳細画面から次画面への遷移は、下記の２種類に分けられる。

(1) 詳細画面へ遷移する場合

表示された詳細内容から、さらに詳細内容を検索したい場合は、検索したいデータの「詳細」ボタンを押下することにより、さらに詳細な内容を検索して検索結果詳細画面を表示する。

・入力画面→検索結果一覧画面（再入力画面）→検索結果詳細画面→検索結果詳細画面

(例)

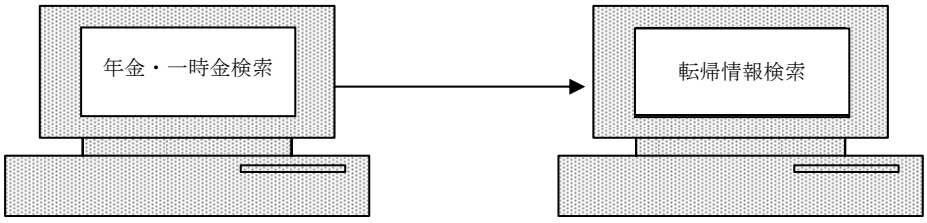



(2) 画面遷移しない場合

入力画面又は検索結果一覧画面で選択した情報の詳細内容が表示され、他画面へ遷移しない。

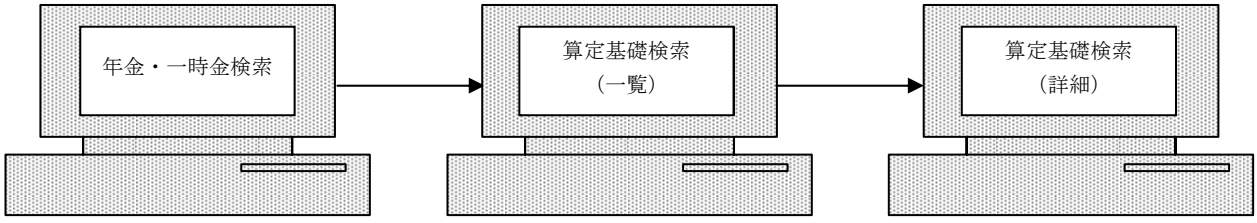
・入力画面→検索結果一覧画面

(例)




・入力画面→検索結果一覧画面（再入力画面）→検索結果詳細画面

(例)



## 5　検索一覧表

(1) 入力画面

| No. | 画　面　名 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 1 | 年金・一時金 4 キー検索画面 | 4 キー（労働保険番号、被災者生年月日、傷病年月日、被災者氏名カナ）、遺族受給権者氏名カナより検索を開始する画面 |
| 2 | 年金・一時金検索画面 | 年金証書番号又はデータ受付番号より検索を開始する画面 |

(2) 検索結果一覧画面（再入力画面）

| No. | 検　索　名 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 年金・一時金 4 キー検索 | | |
| | | 年金証書番号検索結果画面 | 入力された労働保険番号、被災者生年月日、傷病年月日、又は被災者氏名、又は遺族受給権者氏名に該当する年金証書番号の一覧を表示する画面。表示された一覧から目的とする事案の年金証書番号を選択し、年金・一時金検索画面に遷移する。 |
| 2 | | 一時金データ受付番号検索結果画面 | 入力された労働保険番号、被災者生年月日、傷病年月日、被災者氏名、遺族受給権者氏名に該当する一時金データ受付番号の一覧を表示する画面。表示された一覧から目的とする事案のデータ受付番号を選択し、年金・一時金検索画面に遷移する。 |
| 3 | | 氏名・短期キー検索結果画面 | 入力された被災者氏名カナ、または、遺族受給権者氏名カナに該当する、4 キー（労働保険番号、被災者生年月日、傷病年月日、被災者氏名カナ）の一覧、もしくは、入力された 4 キーに該当する、被災者氏名カナの一覧を表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、年金・一時金検索画面に遷移する。 |
| 4 | | 障害等級検索結果画面 | 入力された被災者氏名、遺族受給権者氏名と被災者生年月日に該当する障害等級の一覧を表示する画面。 |
| 5 | | 未決データ受付番号検索結果画面 | 入力された労働保険番号、被災者生年月日、傷病年月日、又は被災者氏名、又は遺族受給権者氏名に該当する未決データ受付番号の一覧を表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、年金・一時金検索画面に遷移する。 |

| No. | 検　索　名 | 内　　容 |
|---|---|---|
| | 年金・一時金検索 | |
| 6 | 支払検索結果一覧画面 | 入力された年金証書番号、支払期年月開始、支払期年月終了に該当する支払情報の一覧を表示する画面。 |
| 7 | 算定基礎検索結果一覧画面 | 入力された年金証書番号、支払期年月開始、支払期年月終了の期間に該当する入力支払期時点の算定基礎情報を一覧で表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、算定基礎検索結果概要画面に遷移する。 |
| 8 | 年金額等計算検索結果一覧画面 | 入力した年金証書番号に該当する、入力支払期年月時点又は当期支払期時点の支払額情報を支払期単位に一覧で表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、年金額等計算検索結果詳細画面に遷移する。 |
| 9 | 年金額等調整検索結果一覧画面 | 入力された年金証書番号、支払期年月に該当する年金額等調整情報を支払期ごとに一覧で表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、年金額等調整検索結果詳細画面に遷移する。 |
| 10 | 受付検索結果一覧画面 | 入力された年金証書番号、または、データ受付番号に該当する年金受付台帳の情報を一覧で表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、受付検索結果詳細画面に遷移する。 |
| 11 | 支払履歴検索結果一覧画面 | 入力された年金証書番号、支払期年月開始、支払期年月終了の期間に該当する年金支払履歴を一覧に表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、支払履歴検索結果詳細画面に遷移する。 |
| 12 | 支給停止検索結果一覧画面 | 入力された年金証書番号、支払期年月、入力支払期年月に該当する支給停止情報を一覧で表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、支給停止検索結果詳細画面に遷移する。 |
| 13 | 資格者・援護費検索結果一覧画面 | 入力された年金証書番号、支払期年月（算定年月）及び入力支払年月に該当する年金資格者、援護費資格者の一覧を表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、資格者・援護費概要検索結果概要画面に遷移する。 |

| No. | 検　索　名 | 内　　容 |
|---|---|---|
| | 年金・一時金検索 | |
| 14 | 追・回（有無）検索結果一覧画面 | 入力された年金証書番号、支払期年月に該当する追給額、回収額を支払期ごとに一覧に表示する画面。 |
| 15 | 追・回検索結果一覧画面 | 入力された年金証書番号、支払期年月開始、支払期年月終了の期間に該当する追給・回収額を一覧に表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、追・回検索結果詳細画面に遷移する。 |
| 16 | 追・回データ検索結果一覧画面 | 入力された年金証書番号、追給・回収（データ）情報を、決議番号、変更年月、項目名（項目番号）の昇順で一覧に表示する画面。 |
| 17 | 変更履歴検索 | 入力した年金証書番号に該当する年金の変更履歴情報を、各項目群または各項目番号単位で変更年月の降順、項目番号の昇順で一覧に表示する画面。 |
| 18 | 氏名・住所・支払先検索結果一覧画面 | 入力された年金証書番号、年月開始、年月終了の期間に該当する、氏名・住所・支払先の入力年月日を、効力開始年月の降順で一覧に表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、氏名・住所・支払先検索結果詳細画面に遷移する。 |
| 19 | 厚年等情報検索結果一覧画面 | 入力された年金証書番号、支払期年月（厚年等調整開始年月）に該当する厚年等情報を調整開始年月単位の降順で一覧に表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、厚年等情報検索結果詳細画面に遷移する。 |
| 20 | 一時金訂正履歴検索結果一覧画面 | 入力されたデータ受付番号に該当し、入力した支払期年月、又は入力した日が属する年月における一時金の訂正履歴情報を一覧に表示する画面。<br>表示された一覧から目的とする事案を選択し、一時金訂正履歴検索結果詳細画面に遷移する。 |

(3) 検索結果詳細画面

| No. | 検　索　名 | 内　　容 |
|---|---|---|
| | 年金・一時金検索 | |
| 1 | 年金概要検索結果画面 | 指定された支払期における各受給者の支払情報、年金額等計算情報、年金差止情報、算定基礎情報を表示する画面。 |
| 2 | 支払検索結果詳細画面 | 支払検索結果一覧画面で選択した支払期年月の詳細情報を表示する画面。 |
| 3 | 算定基礎検索結果詳細画面 | 算定基礎検索結果一覧画面で選択した算定年月の年金算定基礎詳細情報を表示する画面。 |
| 4 | 年金額等計算検索結果詳細画面 | 年金額等計算検索結果一覧画面で選択した支払期年月における最新の年金額等計算情報及び支払差止情報を表示する画面。 |
| 5 | 年金額等調整検索結果詳細画面 | 年金額等調整検索結果一覧画面で選択した支払期年月の年金額調整の詳細情報を表示する画面。 |
| 6 | 受付検索結果詳細画面 | 受付検索結果一覧画面で選択した受付年月日の年金受付台帳の詳細情報を表示する画面。 |
| 7 | 支払履歴検索結果一覧画面 | 支払履歴検索結果一覧画面で選択した支払期の支払履歴詳細情報を表示する画面。 |
| 8 | 支給停止検索結果詳細画面 | 支給停止検索結果一覧画面で選択した支払期年月の支給停止情報の詳細を表示する画面。 |
| 9 | 転帰情報検索結果画面 | 入力された年金証書番号をもとに、最新の転帰入力支払期の転帰情報を表示する画面。 |
| 10 | 資格者・援護費検索結果概要画面 | 資格者・援護費概要検索結果一覧画面にて選択した受給資格者及び援護費資格者の概要情報を表示する画面。 |
| 11 | 資格者・援護費検索結果詳細画面 | 資格者・援護費概要検索結果概要画面にて選択した受給資格者及び援護費資格者の詳細情報を表示する画面。 |
| 12 | 追・回検索結果詳細画面 | 追・回検索結果一覧画面で選択した支払期年月の追給額、回収額の詳細情報を表示する画面。 |
| 13 | 氏名・住所・支払先検索結果詳細画面 | 氏名・住所・支払先検索結果一覧画面で選択した効力開始年月時点の氏名・住所・支払先情報の詳細を表示する画面。 |
| 14 | 定期報告検索結果画面 | 入力された年金証書番号に該当する定期報告書の提出情報を、年金定期報告書情報、援護費定期報告提出対象者ごとにそれぞれ枝番号順に出力する画面。 |
| 15 | 厚年等情報検索結果詳細画面 | 厚年等情報検索結果一覧画面で選択した調整開始年月の厚年等情報の詳細を表示する画面。 |

| No. | 検　索　名 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| | 年金・一時金検索 | | |
| 16 | | 一時金概要検索結果画面 | 入力されたデータ受付番号、または、年金証書番号に該当する、一時金支払情報、一時金住所情報、一時金支払先情報、一時金算定基礎情報、一時金受付情報を表示する画面。 |
| 17 | | 一時金訂正履歴検索結果詳細画面 | 一時金訂正履歴検索結果一覧画面で選択した訂正番号に関する、一時金の追給・回収履歴情報、及び訂正履歴情報の詳細を表示する画面。 |
| 18 | | 新データ受付番号検索結果画面 | 入力された管轄局署、旧データ受付番号に該当する新データ受付番号を表示する画面。 |

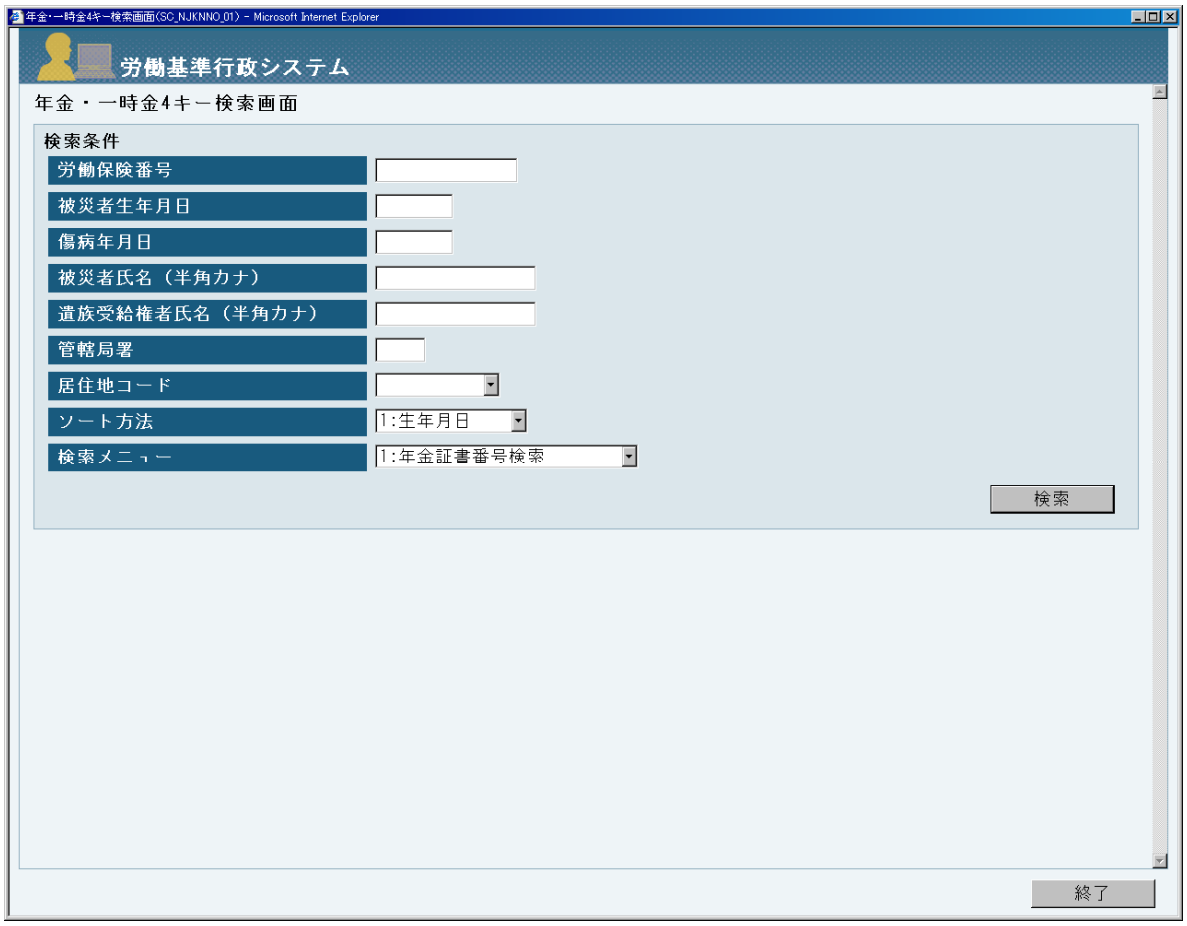
## (II) 検索画面

### 1　入力画面

(1) 年金・一時金 4 キー検索

4 キー情報、遺族受給権者氏名等を入力して、目的とする事案の検索メニューを選択する画面。

イ　検索画面



ロ　　入力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 労働保険番号 | 4 キー情報（労働保険番号）を入力する。 |
| 被災者生年月日 | 4 キー情報（被災者生年月日）を入力する。 |
| 傷病年月日 | 4 キー情報（傷病年月日）を入力する。 |
| 被災者氏名（半角カナ） | 4 キー情報（被災者氏名カナ）を入力する。 |
| 遺族受給権者氏名<br>（半角カナ） | 遺族給付又は特別遺族給付の受給権者氏名カナを入力する。 |
| 管轄局署 | 検索対象とする管轄局署を入力する。 |
| 居住地コード | コンボボックスから居住地コードを選択する。 |
| ソート方法 | コンボボックスから検索結果のソート方法を選択する。 |
| 検索メニュー | コンボボックスから目的とする検索メニューを選択する。 |

ハ　　年金・一時金４キー検索入力条件表

| 検索メニュー番号 | 検索メニュー名 | ４キー | | | | 遺族受給権者氏名（半角カナ） | 管轄局署 | 居住地コード | ソート方法 | 検索メニュー |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 労働保険番号 | 被災者生年月日 | 傷病年月日 | 被災者氏名（半角カナ） | | | | | |
| 1 | 年金証書番号 | A | A | A | B | C | △*2 | △*3 | △*4 | 1*1 |
| 2 | 一時金データ受付番号 | A | A | A | B | C | △*2 | × | △*5 | 2 |
| 3 | 氏名・短期キー | A | A | A | B | C | △*2 | × | △*5 | 3 |
| 4 | 障害等級 | × | ● | × | D | E | × | × | × | 4 |
| 5 | 未決データ受付番号 | A | A | A | B | C | △*2 | × | △*6 | 5 |

●：必須入力項目

×：入力不可項目

△：条件入力項目（任意入力項目）

英字：いずれかが必須入力（A を入力する場合は全ての A を入力）

*1…「1：年金証書番号検索」が初期表示される。

*2…省略した場合は

労働局……入力局内全ての署を対象

監督署……入力署を対象

「労働局＋00」を打鍵入力した場合は

労働局……打鍵入力した局内全ての署を対象

監督署……打鍵入力した局内全ての署を対象

「9999」を打鍵入力した場合は

労働局……全ての局署を対象

監督署……全ての局署を対象

とする。

*3…省略した場合は、全国を対象とする。

*4…省略した場合は生年月日を昇順とする。

*5…居住地コードは入力不可。省略した場合は、生年月日の昇順とする。

*6…入力する場合は生年月日、管轄局署のいずれか。

省略した場合は生年月日の昇順とする。

(2) 年金・一時金検索

年金証書番号又はデータ受付番号により検索を開始する画面。

イ　検索画面




（注）　項目・様式番号、検索メニューはコンボボックスになっている。

項目・様式番号は、Ⅵ-Ⅱ-32～Ⅵ-Ⅱ-34 ページを参照のこと。

ロ　　入力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 年金証書番号 | 年金証書番号（9 桁）を入力する。 |
| 枝番号 | 検索対象データが遺族年金又は特別遺族年金の場合は枝番号を入力する。省略した場合は支払権者枝番号となるが、権者払いの場合は検索対象の枝番号を入力すること。 |
| データ受付番号 | データ受付番号を入力する。<br><br>〈新システムでの番号体系〉<br>【’20’＋’新旧区分（0：旧システムからの移行データ、1：新システムで入力したデータ)’＋’年金証書番号’＋’ＣＤ’＋’決議番号’＋’0000’】の 20 桁 |
| 訂正番号 | 訂正番号（2 桁）を入力する。<br>（「00」）は入力不可） |
| 支払期年月（開始） | 検索対象期間の始期を指定する場合は、FROM 年月を入力する。 |
| 支払期年月（修了） | 検索対象期間の終期を指定する場合は、TO 年月を入力する。 |
| 入力支払期年月 | 入力支払期時点の検索をする場合に、該当する支払期年月を入力する。 |
| 項目・様式番号 | コンボボックスから様式番号または項目（群）番号を選択する。 |
| 検索メニュー | コンボボックスから目的とする検索メニューを選択する。 |

ハ　　年金・一時金検索入力条件表

| 検索メニュー番号 | 検索メニュー名 | 年金証書番号 | 枝番号（注1） | データ受付番号 | 訂正番号 | 支払期年月（開始）（注2） | 支払期年月（終了）（注2） | 入力支払期年月（注2） | 項目・様式番号 | 検索メニュー |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 年金概要検索 | ● | △*2 | × | × | △*5 | × | × | × | 1*1 |
| 2 | 支払検索 | ● | △*2 | × | × | △*3 | △*4 | × | × | 2 |
| 3 | 算定基礎検索 | ● | × | × | × | △*3 | △*4 | △*5 | × | 3 |
| 4 | 年金額等計算検索 | ● | △*2 | × | × | △*3 | △*4 | △*5 | × | 4 |
| 5 | 年金額等調整検索 | ● | × | × | × | △*3 | △*4 | × | × | 5 |
| 6 | 受付検索 | A | × | B | △ | △*11 | △*7 | × | △*8 | 6 |
| 7 | 支払履歴検索 | ● | △*2 | × | × | △*3 | △*6 | × | × | 7 |
| 8 | 支給停止検索 | ● | × | × | × | △*3 | △*4 | △*5 | × | 8 |
| 9 | 転帰情報検索 | ● | × | × | × | × | × | × | × | 9 |
| 10 | 資格者・援護費検索 | ● | × | × | × | △*3 | △*14 | △*5 | × | 10 |
| 11 | 追・回（有・無）検索 | ● | × | × | × | △*3 | △*4 | × | × | 11 |
| 12 | 追・回検索 | ● | × | × | × | △*9 | △*4 | △*5 | × | 12 |
| 13 | 追・回（データ） | ● | × | × | × | × | × | △*5 | × | 13 |
| 14 | 変更履歴検索 | ● | △*2 | × | × | △*9 | △*4 | × | ●*10 | 14 |
| 15 | 氏名・住所・支払先検索 | ● | △*2 | × | × | △*3 | △*13 | × | × | 15 |
| 16 | 定期報告検索 | ● | × | × | × | × | × | × | × | 16 |
| 17 | 厚年等情報検索 | ●*14 | × | × | × | △*9 | △*13 | × | × | 17 |
| 31 | 一時金概要検索 | A | × | B | △ | × | × | × | × | 31 |
| 32 | 一時金訂正履歴検索 | × | × | ● | △*12 | △*9 | △*13 | × | × | 32 |
| 91 | 新データ受付番号検索 | × | × | ● | × | × | × | × | × | 91 |

●：必須入力項目　×：入力不可項目　△：条件入力項目（任意入力項目）

AB：A 又は B のいずれかが必須入力項目

*1…「1：年金概要検索」が初期表示される。

*2…省略した場合は、支払権者枝番号とする。

*3…省略した場合は、Ｄ／Ｂが管理する最古の支払期（年月）とする。

*4…省略した場合は、入力した日の属する支払期（年月）とする。

（ただし、支払期年月（開始）に入力がある場合は支払期年月（開始）とする）

*5…省略した場合は、入力した日の属する支払期（年月）とする。

*6…省略した場合は、当期の前支払期とする。

（ただし、支払期年月（開始）に入力がある場合は支払期年月（開始）とする）

*7…受付年月を入力する。省略した場合は、入力した年月とする。

*8…様式番号を選択する。省略した場合は全ての様式を選択する。

*9…省略した場合は、支給事由発生年月日の属する年月とする。

*10…項目（群）番号を選択する。

*11…支給請求書の受付年月。

*12…省略した場合は、全ての訂正番号を対象とする。

*13…省略した場合は、入力した日の属する年月とする。

（ただし、支払期年月（開始）に入力がある場合は支払期年月（開始）とする）

*14…特別遺族年金の場合は、キャンセルとなる。

(注 1)…遺族（補償）年金又は特別遺族年金の支払権者のみ入力可能とする。

(注 2)…平成 8 年 10 月支払期以降の年月を入力した場合、2 月、4 月、6 月、8 月、10 月、12 月以外の月を入力するとキャンセルとなる。

平成 8 年 8 月以前の年月を入力した場合、2 月、5 月、8 月、11 月以外の月を入力するとキャンセルとなる。

## 2　検索結果一覧画面（再入力画面）

入力画面から入力した条件で検索した結果を一覧で表示し、かつ表示された一覧から目的とする事案を選択し、入力画面や詳細画面に遷移する。

(1) 年金証書番号検索

4 キー情報及び遺族受給権者氏名をもとにして、入力した条件に従い該当する事案を年金証書番号単位に出力し、その中から目的とする事案を選択する画面を表示する。

イ　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 年金証書番号 | 年金・一時金４キー検索にて入力した条件に該当する<br>年金証書番号を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 居住地 | ＜国内の場合＞<br>居住地コードに対応する都道府県を出力する。<br>＜外国の場合＞<br>外国コードに対応する国名を出力する。 |
| 受給権者氏名 | ＜国内の場合＞<br>最新の受給権者氏名を出力する。<br>＜外国の場合＞<br>最新の受給権者氏名を出力する。<br><br>年金継続中である場合は、支払権者氏名を出力する。<br>権者払の場合は、枝番号の一番小さい者の氏名を出力する。<br>転給未処理中又は転帰済みの場合は最終の支払権者の氏名<br>を出力する。 |
| 転帰年月 | 転帰している場合に転帰年月を出力する。 |

ハ　　検索範囲

データベース（Ｄ／Ｂ）で管理している範囲内で入力した条件に該当する年金証書番号及び情報を出力する。

（生年月日を省略した場合）

全ての生年月日を対象とする。

（管轄局署を省略した場合）

署入力の場合は入力した署を対象とする。

局入力の場合は入力局内の全ての署を対象とする。

（居住地コードを省略した場合）

署入力の場合は全国を対象とする。

局入力の場合は全国を対象とする。

ニ　　出力順

入力した４キー・遺族受給権者氏名・管轄局署・居住地コードを条件に、該当する年金証書番号及び情報を入力したソート方法により 10 件／１画面に出力する。

（生年月日を選択した場合又はソート方法未選択の場合）

【被災者生年月日（昇順）＋管轄局署（昇順）＋年金証書番号（降順)】に出力する。

（管轄局署を選択した場合）

【管轄局署（昇順）＋被災者生年月日（昇順）＋年金証書番号（降順)】に出力する。

（居住地コードを選択した場合）

【居住地コード（昇順）＋被災者生年月日（昇順）＋管轄局署（昇順）＋年金証書番号（降順)】に出力する。

ホ　画面遷移

「選択」ボタンを押下すると、選択した情報を引き継いだ上で、「年金・一時金検索」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(2) 一時金データ受付番号検索

4キー情報及び遺族受給権者氏名をもとにして、入力した条件に従い該当する事案をデータ受付番号単位毎に出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| データ受付番号 | 【’20’＋’新旧区分（1：旧システムからの移行データ、2：新システムで入力したデータ)’＋’年金証書番号’＋’ＣＤ’＋’決議番号’＋’0000’】の 20 桁をデータ受付番号として出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 支給事由発生年月日 | 支給事由発生年月日を出力する。<br>（特別遺族の場合は、請求年月日（受付年月日）を出力する） |
| 受付年月日 | 入力した受付年月日を出力する。<br>ただし、職権の場合は受付年月日の入力がないため出力はしない。 |
| 給付の種別 | 以下のいずれかを出力する。<br>・遺族前払一時金<br>・障害前払一時金<br>・未支給年金<br>・障害補償一時金<br>・障害（補償）一時金<br>・遺族補償一時金<br>・葬祭料<br>・障害一時金<br>・遺族一時金<br>・葬祭給付<br>・障害差額一時金<br>・未支給の特別遺族年金<br>・特別遺族一時金 |
| 支払額 | 支給決定後の金額を出力する。 |
| 支払年月日 | 支払処理後の場合に、支払年月日を出力する。<br>支払年月日を取消している場合は出力しない。 |

ハ　検索範囲

データベース（D／B）で管理している範囲内で入力した条件に該当するデータ受付番号及び情報を出力する。

ただし、年金給付で定額の特支金のみである場合は出力対象外とする。

（生年月日を省略した場合）

全ての生年月日を対象とする。

（管轄局署を省略した場合）

署入力の場合は入力した署を対象とする。

局入力の場合は入力局内の全ての署を対象とする。

ニ　出力順

入力した 4 キー・遺族受給権者氏名・管轄局署を条件に、該当するデータ受付番号及び情報を入力したソート方法により 10 件／1 画面に出力する。

（生年月日を選択した場合又はソート方法未選択の場合）

【被災者生年月日（昇順）＋管轄局署（昇順）＋支給事由発生年月日（降順)】に出力する。

（管轄局署を選択した場合）

【管轄局署（昇順）＋被災者生年月日（昇順）＋支給事由発生年月日（降順)】に出力する。

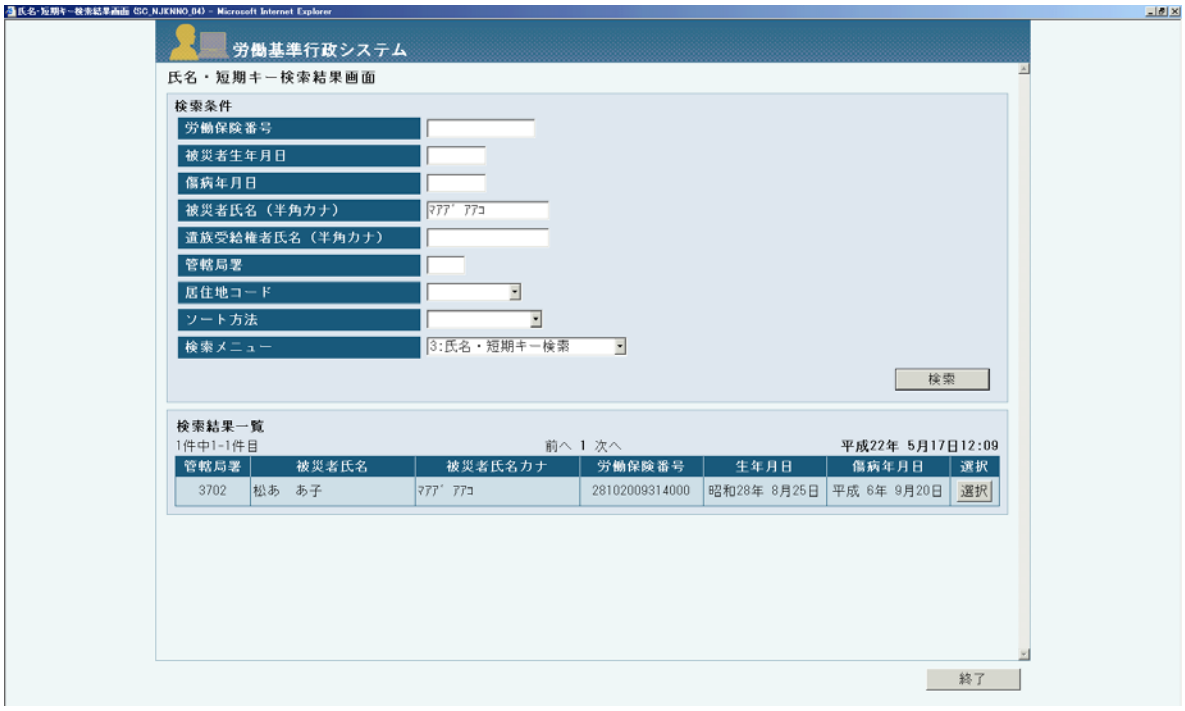
ホ　画面遷移

「選択」ボタンを押下すると、選択した情報を引き継いだ上で、「年金・一時金検索」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(3) 氏名・短期キー検索

被災者氏名、又は遺族受給権者氏名をもとにして、入力した条件に従い該当する事案を短期キー単位に出力、もしくは短期キーをもとにして、入力した条件に従い該当する事案を被災者氏名単位に出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 管轄局署を出力する。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名漢字を出力する。 |
| 被災者氏名カナ | 被災者氏名カナを出力する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を出力する。<br>（特別遺族の場合は、死亡年月日を出力する。） |

ハ　検索範囲

データベース（D／B）で管理している範囲内で入力した条件に該当する情報を出力する。

（生年月日を省略した場合）

全ての生年月日を対象とする。

（管轄局署を省略した場合）

署入力の場合は入力した署を対象とする。

局入力の場合は入力局内の全ての署を対象とする。

ニ　出力順

入力した4キー・遺族受給権者氏名・管轄局署を条件に、該当する情報を入力したソート方法により10件／1画面に出力する。

（生年月日を選択した場合又はソート方法未選択の場合）

【被災者生年月日（昇順）＋管轄局署（昇順）＋短期キー（降順)】に出力する。

（管轄局署を選択した場合）

【管轄局署（昇順）＋被災者生年月日（昇順）＋短期キー（降順)】に出力する。

ホ　画面遷移

「選択」ボタンを押下すると、選択した情報を引き継いだ上で、「年金・一時金氏名検索」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(4) 障害等級検索

被災者生年月日及び被災者氏名、又は遺族受給権者氏名をもとにして、入力した条件に従い該当する障害（補償）一時金または障害（補償）年金の事案について、効力開始日（障害（補償）一時金の場合は支給事由発生年月日、障害（補償）年金の場合は変更年月日）の新しい順に出力する画面。

イ　　検索画面



ロ　　主な出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 年金証書番号／<br>データ受付番号 | 障害（補償）年金の場合は、年金証書番号を出力する。<br>障害（補償）一時金の場合は、データ受付番号を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署を出力する。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名カナを出力する。 |
| 生年月日 | 被災者氏名生年月日を出力する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を出力する。 |
| 支給事由発生年月日 | 支給事由発生年月日を出力する。 |
| 障害等級号 | 障害等級コードを出力する。<br>障害（補償）年金　　転帰の場合は転帰時点での等級号<br>継続中の場合は処理日時点の等級号<br>障害（補償）一時金　　訂正している場合は訂正後の等級号<br>（年金の訂正が存在する場合は、訂正後を出力する。）<br>（一時金の訂正が存在する場合は、訂正後を出力する。） |
| 傷病部位 | 傷病部位コードを出力する。<br>（年金の訂正が存在する場合は、訂正後を出力する。）<br>（一時金の訂正が存在する場合は、訂正後を出力する。） |
| 傷病性質 | 傷病性質コードを出力する。<br>（年金の訂正が存在する場合は、訂正後を出力する。）<br>（一時金の訂正が存在する場合は、訂正後を出力する。） |

ハ　　検索範囲

入力した被災者年月日及び被災者氏名、又は遺族受給権者氏名に該当する障害（補償）給付を出力する。

ニ　　出力順

効力開始年月日（一時金の場合は支給事由発生年月日、年金の場合は変更年月日）の新しい順に 10 件／1 画面に出力する。

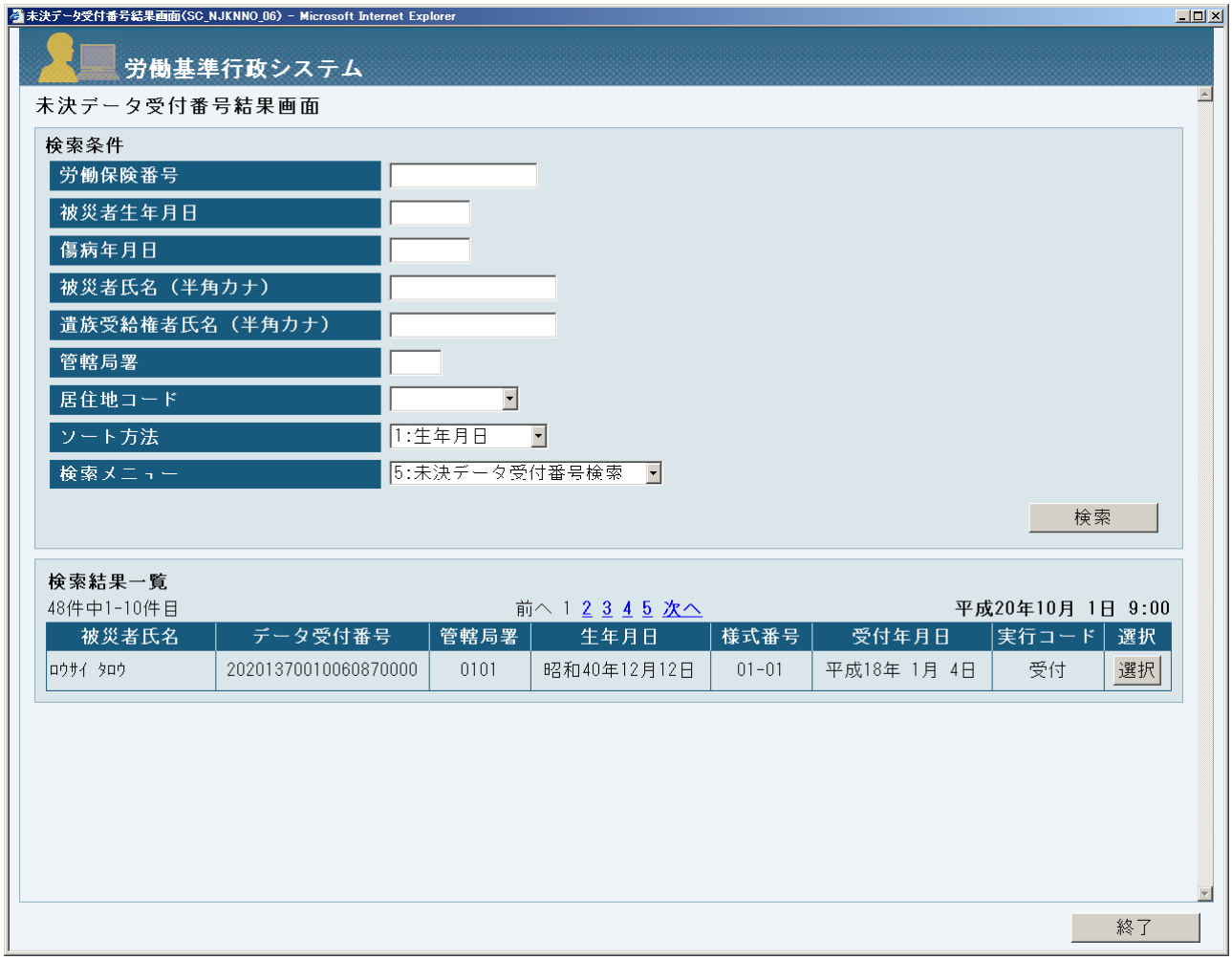
ホ　　画面遷移

「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(5) 未決データ受付番号検索

4キー及び遺族受給権者氏名をもとにして、未決議となっているデータ受付番号単位に出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 被災者氏名 | 被災者氏名カナを出力する。 |
| データ受付番号 | 【’２０’＋’新旧区分（１：旧システムからの移行データ、２：新システムで入力したデータ)’＋’年金証書番号’＋’ＣＤ’＋’決議番号’＋’０００００’】の２０桁をデータ受付番号として出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 様式番号 | 登録票に記入した様式番号（Ⅵ-Ⅱ-32, 33 ページ参照）を出力する。 |
| 受付年月日 | 受付年月日を出力する。 |
| 実行コード | 実行コードに対応する名称を出力する。<br>（検索した時点の処理状況を出力する） |

ハ　検索範囲

入力した4キー・遺族受給権者氏名について、未決議となっているデータ受付番号を出力する。ただし、受付又は登記後に取消されたデータは出力しない。

ニ　出力対象

保険給付請求等に係る処理（登録票での処理）を出力対象とし、年金給付に係る変更処理等は出力されない。

（生年月日を省略した場合）

全ての生年月日を対象とする。

（管轄局署を省略した場合）

署入力の場合は入力した署を対象とする。

局入力の場合は入力局内の全ての署を対象とする。

ホ　出力順

入力した4キー・遺族受給権者氏名・管轄局署を条件に、該当する情報を入力したソート方法により10件／1画面に出力する。

（生年月日を選択した場合又はソート方法未選択の場合）

【被災者生年月日（昇順）＋管轄局署（昇順)】に出力する。

（管轄局署を選択した場合）

【管轄局署（昇順）＋被災者生年月日（昇順)】に出力する。

ヘ　画面遷移

「選択」ボタンを押下すると、選択した情報を引き継いだ上で、「年金・一時金検索」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(6) 年金支払検索

入力した年金証書番号をもとに、入力した支払期又は当期支払期からの当該年金の支払情報を一覧出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 支払期年月 | 支払期年月を出力する。 |
| 支払額合計 | 該当支払期において実際に支払われた（支払予定）総合計額を出力する。<br>・総合計額＝支払額年金＋支払額特年＋支払額援護費<br>・支払差止等により支払額がない場合は、０円を出力。 |
| 支払事故発生年月日 | 本省において支払事故を入力した日付を出力する。 |
| 支払事故解消年月日 | 本省において支払事故解消を入力した日付を出力する。 |
| 支払方法 | 支払方法コードを出力する。<br>・口座振込の場合、「1」を出力する。<br>・ゆうちょ振込の場合、「3」を出力する。<br>・現金払いの場合、「5」を出力する。<br>・外国払いの場合、「7」を出力する。 |

ハ　検索範囲

データベース（D/B）で管理している範囲内で最古の支払期から当期支払期（支払予定）までを出力する。

支払期年月（開始)、支払期年月（終了）は入力条件により以下のように設定される。

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 当期支払期年月 |

ニ　出力順

支払期単位で新しい順に 10 件／1 画面を出力する。

ホ　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、該当データの詳細内容を表示する「支払検索（詳細)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(7) 算定基礎検索（一覧）

入力した年金証書番号をもとにして、入力した入力支払期時点又は当期支払期時点における最新の算定基礎情報の一覧を算定年月単位に出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面

＜傷病（補償）年金、障害（補償）年金の場合＞




| 算定年月 | 計算年齢 | 平均賃金 | スライド率 | 傷病障害等級号 | 詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 平成20年10月 | 20才 | 999,999円99銭 | 99999% | 0909 | 詳細 |
| 平成20年 9月 | 20才 | 999,999円99銭 | 99999% | 0909 | 詳細 |
| 平成20年 8月 | 20才 | 999,999円99銭 | 99999% | 0909 | 詳細 |
| 平成20年 6月 | 20才 | 999,999円99銭 | 99999% | 0909 | 詳細 |
| 平成20年 5月 | 20才 | 999,999円99銭 | 99999% | 0909 | 詳細 |
| 平成20年 4月 | 20才 | 999,999円99銭 | 99999% | 0909 | 詳細 |
| 平成20年 3月 | 20才 | 999,999円99銭 | 99999% | 0909 | 詳細 |
| 平成20年 2月 | 20才 | 999,999円99銭 | 99999% | 0909 | 詳細 |
| 平成19年12月 | 20才 | 999,999円99銭 | 99999% | 0909 | 詳細 |

＜遺族（補償）年金、特別遺族年金の場合＞




ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 算定年月 | 表示する算定基礎情報についての該当年月を出力する。 |
| 計算年齢 | 特別遺族以外の場合、被災者生年月日と算定年（8 月 1 日）を基準に出力する。<br>・7 月までは前年の 8 月 1 日現在の年齢<br>・8 月以降は同年の 8 月 1 日現在の年齢<br>ただし、最低・最高限度額が適用されない場合には出力しない。<br>転帰状態のときはブランク表示。 |
| 平均賃金 | 特別遺族以外の場合、平均賃金（銭まで）を出力する。<br>特別加入者は選択した給付基礎日額を銭まで出力する。 |
| スライド率 | 特別遺族以外の場合、スライド率を出力する。 |
| 傷病障害等級号<br>（傷病、障害） | 傷病（補償）年金、障害（補償）年金の場合、傷病障害等級号を出力する。 |
| 算定基礎人数<br>（遺族、特別遺族） | 遺族（補償）年金、特別遺族年金の場合、算定基礎人数を出力する。 |

ハ　　検索範囲

支給事由発生年月日から当期支払期までの範囲に存在する情報を出力する。既に転帰しているときで、当期転帰である場合には、転帰年月日の属する月の翌月まで（当期終月転帰のときは転帰年月日の属する月まで）、そ及転帰である場合は、転帰決定支払期（最終支払期）の終日までの範囲で存在する情報を表示する。支払期年月（開始）、支払期年月（終了）、入力支払期年月は、入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 検索入力日の属する年月 |

ニ　　出力順

入力支払期時点又は当期支払期時点においての最新の算定基礎情報を年月単位に新しい順に出力する 。(10 件／1 画面を出力する。)

ホ　　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、該当データの詳細内容を表示する「算定基礎検索（詳細)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(8)年金額等計算検索（一覧）

入力した年金証書番号をもとにして、入力した入力支払期時点又は当期支払期時点における最新の年金額等計算情報の一覧を支払期単位に出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 支払期年月 | 支払期年月を出力する。 |
| 支払額（年金） | 【{年金給付月額（初月）＋年金給付月額（中月）＋年金給付月額（終月）}－{三者調整額＋前払調整額＋内払調整額ｏｒ追給額}÷支払権者数】により算出した額を出力する。 |
| 支払額（特別年金） | 【{特年月額（初月）＋特年月額（中月）＋特年月額（終月）－内払調整額ｏｒ追給額}÷支払権者数】により算出した額を出力する。<br>（特別遺族の場合は出力対象外） |
| 支払額（援護費） | 【{援護費月額（初月）＋援護費月額（中月）＋援護費月額（終月）－内払調整額ｏｒ追給額}÷支払権者数】により算出した額を出力する。<br>（特別遺族の場合は出力対象外） |

ハ　検索範囲

データベース（D/B)で管理している範囲内で、最古の支払期から当期支払期までを出力する。（既に転帰している場合は転帰決定支払期（最終支払期）までを出力する）

支払期年月（開始)、支払期年月（終了)、入力支払期年月は、入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 当期支払期年月 |

・入力支払期年月の入力条件

| 入　力　条　件 | 入力支払期年月設定値 |
|---|---|
| 入力あり | 入力した入力支払期年月 |
| 省略 | 当期支払期年月 |

ニ　出力順

入力支払期時点又は当期支払期時点においての最新計算情報を支払期単位に新しい順に出力する 。(10 件／1 画面を出力する。)

ホ　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、該当データの詳細内容を表示する「年金額等計算検索（詳細)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(9)年金額等調整検索（一覧）

入力した年金証書番号をもとにして、入力した支払期又は当期支払期の当該年金に対しての最新調整情報を支払期単位に一覧で出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 支払期年月 | 支払期年月を出力する。 |
| そ及追回額（年金）<br>そ及追回額（特別年金）<br>そ及追回額（就学等援護費） | 該当する支払期において発生しているそ及追回額を出力する。<br>（追給の場合「＋」、回収の場合「－」を金額の左に出力する。）<br><br>・他給付連携の場合<br>最新給付は、他給付分も含む額を出力する。<br>最新給付以外は、自給付分のみの額を出力する。<br>・時効調整した場合<br>「*」を「+」又は「-」の左に出力する。<br>・特別遺族年金の場合<br>特別年金、就学等援護費は出力対象外。 |

ハ　検索範囲

データベース（D/B)で管理している範囲内で、最古の支払期から当期支払期までを出力する。

支払期年月（開始)、支払期年月（終了）は入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 当期支払期年月 |

ニ　出力順

支払期単位で新しい順に 10 件／1 画面を出力する。

ホ　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、該当データの詳細内容を表示する「年金額等調整検索（詳細)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(10)受付検索（一覧）

入力した年金証書番号又はデータ受付番号をもとにして、該当する処理情報を一覧で出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 受付年月日 | 受付年月日を出力する。職権入力の場合は出力しない。<br>自動更新、援護費月額改定の場合、処理年月日を出力する。 |
| 様式番号 | 請求書様式番号、項目群番号、同時決議番号を出力する。<br>（VI-Ⅱ-32～VI-Ⅱ-34 ページ参照） |
| 決議書種類 | コードに対応した文言を出力する。<br><br>・支給決定決議書<br>・不支給決定決議書<br>・変更決定決議書<br>・不変更決定決議書<br>・再決議書<br>・訂正決議書<br>・援護費支給決定決議書<br>・援護費不支給決定決議書<br>・決議書無<br><br>自動更新の場合は「自動更新処理」、援護費月額改定の場合は「援護費月額改定処理」を出力する。 |
| 決定年月日 | 決定年月日を出力する。<br>自動更新の場合は、処理年月日を出力する。 |
| 処理区分 | 処理区分コードを出力する。 |

ハ　検索範囲

データベース（D/B)で管理している範囲内で、入力した年金証書番号・データ受付番号・修正番号に該当する情報を出力する。

支払期年月（開始)、支払期年月（終了）は入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | 最古の支給請求書の受付年月 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | 最古の支給請求書の受付年月 | 検索入力日の属する年月 |

ニ　出力順

＜年金証書番号を入力した場合＞

入力した様式番号に該当する受付情報を、受付年月日の新しい順に 10 件／1 画面を出力する。

＜データ受付番号を入力した場合＞

入力した訂正番号及び様式番号に該当する受付情報を、受付年月日の新しい順に 10 件／1 画面を出力する。

修正番号省略の場合は「00」とし、様式番号省略の場合はすべての様式番号を対象とする。

ホ　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、該当データの詳細内容を表示する「受付検索（詳細)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

へ　　請求書名一覧　　表１

| No. | 様式番号 | 様　　式　　名　　称 |
|---|---|---|
| 1 | 0001 | 遺族（補償）年金前払一時金請求書 |
| 2 | 0002 | 遺族（補償）年金支給停止解除申請書 |
| 3 | 0003 | 年金証書再交付申請書 |
| 4 | 0004 | 傷病（補償）年金変更届 |
| 5 | 0005 | 障害（補償）年金受給者再発届 |
| 6 | 0006 | 年金等受給権者死亡届 |
| 7 | 0007 | 遺族（補償）年金代表者選任・解除届 |
| 8 | 0010 | 障害（補償）年金前払一時金請求書 |
| 9 | 0400 | 未支給の保険給付支給請求書 |
| 10 | 1000 | 障害補償給付支給請求書 |
| 11 | 1100 | 障害（補償）給付変更請求書 |
| 12 | 1200 | 遺族補償年金支給請求書 |
| 13 | 1300 | 遺族（補償）年金転給等請求書 |
| 14 | 1400 | 遺族（補償）年金支給停止申請書 |
| 15 | 1500 | 遺族補償一時金支給請求書 |
| 16 | 1600 | 葬祭料請求書 |
| 17 | 1602 | 傷病の状態等に関する届 |
| 18 | 1607 | 障害給付支給請求書 |
| 19 | 1608 | 遺族年金支給請求書 |
| 20 | 1609 | 遺族一時金支給請求書 |
| 21 | 1610 | 葬祭給付請求書 |
| 22 | 1611 | 傷病の状態等に関する報告書 |
| 23 | 1800 | 定期報告（年金） |
| 24 | 1801 | 定期報告（援護費） |
| 25 | 2000 | 厚生年金保険等の受給関係変更届 |
| 26 | 2100 | 遺族（補償）年金受給権者失権届 |
| 27 | 2200 | 遺族（補償）年金算定基礎変更届 |
| 28 | 3702 | 障害（補償）年金差額一時金支給請求書 |
| 29 | 9002 | （職権決議用）受給権消滅確認 |
| 30 | 9003 | （職権決議用）変更決定 |
| 31 | 9004 | （職権決議用）その他 |
| 32 | 9012 | （職権決議用）支払差止・解除 |
| 33 | 1900 | 住所・氏名等変更届（単独） |
| 34 | 1901 | 外国払入力票（単独） |
| 35 | 8800 | 就学等援護費支給・変更申請書 |
| 36 | 9800 | （職権決議用）就学等援護費支給・変更申請書 |

ト　　請求書名一覧（特別遺族）　　表２

| No. | 様式番号 | 様　　式　　名　　称 |
|---|---|---|
| 1 | 0002 | 特別遺族年金支給停止解除申請書 |
| 2 | 0003 | 年金証書再交付申請書 |
| 3 | 0006 | 年金等受給権者死亡届 |
| 4 | 0007 | 特別遺族年金代表者選任・解任届 |
| 5 | 0400 | 未支給の特別遺族給付金支給請求書 |
| 6 | 1300 | 特別遺族年金転給等請求書 |
| 7 | 1400 | 特別遺族年金支給停止申請書 |
| 8 | 1800 | 定期報告 |
| 9 | 2100 | 特別遺族年金受給権者失権届 |
| 10 | 2200 | 特別遺族年金算定基礎変更届 |
| 11 | 7000 | 特別遺族年金支給請求書 |
| 12 | 7100 | 特別遺族一時金支給請求書 |
| 13 | 9002 | （職権決議用）受給権消滅確認決議書 |
| 14 | 9003 | （職権決議用）変更決定決議書 |
| 15 | 9004 | （職権決議用）その他 |
| 16 | 9012 | （職権決議用）支払差止・解除決議書 |

チ　　同時決議番号　　表３

| 同時決議番号 | 名　　称 |
|---|---|
| 1 | 失権→転給 |
| 2 | 死亡→転給 |
| 3 | 支給停止→転給 |
| 4 | 支給停止解除→転給 |

リ　　訂正処理名一覧　　表 4

| No. | コード | 内　　容 |
|---|---|---|
| 1 | 500 | 短期キー情報訂正 |
| 2 | 510 | 被災者算定情報訂正 |
| 3 | 520 | 被災者共通情報訂正 |
| 4 | 530 | 統計情報訂正 |
| 5 | 540 | 支給・転帰情報訂正 |
| 6 | 550 | 休業情報訂正 |
| 7 | 560 | 損賠情報訂正 |
| 8 | 570 | 等級等情報訂正 |
| 9 | 580 | 厚年等情報訂正 |
| 10 | 590 | 支給停止情報訂正 |
| 11 | 600 | 資格者情報訂正 |
| 12 | 610 | 就学等援護費情報訂正 |
| 13 | 630 | 前払情報訂正 |
| 14 | 640 | 支払情報（一時金）訂正 |
| 15 | 650 | 受付情報訂正 |
| 16 | 660 | 調査書情報訂正 |
| 17 | 900 | 処理情報訂正 |
| 18 | 910 | 実額情報訂正 |

(11)支払履歴検索（一覧）

入力した年金証書番号をもとにして、入力した支払期又は当期支払期の前支払期からの支払履歴情報を、支払期単位に一覧出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

枝番号入力の場合は、入力した枝番号に対しての支払履歴情報を出力する。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 支払期年月 | 支払期年月を出力する。 |
| 年金額 | それぞれの支払期において支払われた年金額を出力する。 |
| 特別年金額 | それぞれの支払期において支払われた特別年金額を出力する。<br>（特別遺族の場合は出力対象外） |
| 就学等援護費 | それぞれの支払期において支払われた就学等援護費を出力する。<br>（特別遺族の場合は出力対象外） |

ハ　検索範囲

データベース（D/B)で管理している範囲内で、当期支払期の前支払期から存在する全ての支払履歴情報までを出力する。

支払期年月（開始)、支払期年月（終了）は入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 当期支払期の前支払期年月 |

ニ　出力順

支払期単位で新しい順に 10 件／1 画面を出力する。

ホ　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、該当データの詳細内容を表示する「支払履歴検索（詳細)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(12)支給停止検索（一覧）

入力した年金証書番号をもとにして、入力した入力支払期又は当期支払期時点における年金の支給停止情報一覧を支払期単位に出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 支払期年月 | 支払期年月を出力する。 |
| 三者受領額 | 三者損賠受領額を出力する。 |
| 三者調整残額 | 支払期終月時点の三者損賠調整残額を出力する。 |
| 前払支給額 | 前払一時金支払額を出力する。 |
| 前払調整残額 | 支払期終月時点の前払一時金調整残額を出力する。 |

注）金額の出力条件について

・特別遺族年金は出力しない。特別遺族年金以外で受領額がない場合は、「０円」を出力する。

・三者調整及び前払調整を実施せず、民事損賠調整のみの場合は、「０円」を出力する。

ハ　検索範囲

データベース（D/B)で管理している範囲内で、三者調整、前払調整、民事損賠調整のいずれか１つでも調整を行った者又は行っている者について出力する。

支払期年月（開始)、支払期年月（終了）は入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 当期支払期年月 |

・入力支払年月の入力条件

| 入　力　条　件 | 入力支払期年月 |
|---|---|
| 入力あり | 入力した入力支払期年月 |
| 省略 | 当期支払期年月 |

ニ　出力順

入力支払期時点又は当期支払期時点においての支給停止情報を支払期単位に新しい順に出力する。（10 件／1 画面を出力する。）

ホ　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、該当データの詳細内容を表示する「支給停止検索（詳細)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(13)資格者・援護費検索（一覧）

入力した年金証書番号をもとにして、入力した入力支払期又は当期支払期時点における年金資格者・援護費資格者情報の一覧を算定年月単位に出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 算定年月 | 表示する資格者、援護費資格者情報についての該当年月を出力する。 |
| 資格者数<br>（遺族及び特別遺族のみ出力） | 該当する年金証書番号についての資格者数を出力する。<br>ただし、失権・失格している場合は出力対象外とする。 |
| 支払権者数 | 該当する年金証書番号についての支払権者数を出力する。<br>（転帰入力支払期時点を検索の場合は、「0 人」を出力する。）<br>傷病・障害の場合は常に「1 人」を出力する。 |
| 算定基礎人数<br>（遺族及び特別遺族のみ出力） | ＜算定基礎人数が 5（4）人以下の場合＞<br>該当する年金証書番号についての算定基礎となる人数を出力する。<br>＜算定基礎人数が 6（5）人以上の場合＞<br>常に「5（4)」を出力する。<br>ただし、失権・失格・若年停止・行方不明の場合は出力対象外とする。<br>（転帰入力支払期時点を検索の場合は、「0 人」を出力する。） |
| 援護費対象者数 | 該当する年金証書番号についての援護費資格者数を出力する。<br>ただし、転帰・失権・失格・中断中・支給終了の場合は出力対象外とする。<br>（転帰入力支払期時点の検索の場合は、「0 人」を出力する。） |

ハ　　検索範囲

データベース（D/B)で管理している範囲内で、入力した条件に該当する資格者、援護費資格者情報を出力する。

支払期年月（開始)、支払期年月（終了）は入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 検索入力日の属する年月 |

・入力支払年月の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 |
|---|---|
| 入力あり | 入力した入力支払期年月 |
| 省略 | 当期支払期年月 |

ニ　　出力順

入力支払期時点又は当期支払期時点においての最新の資格者、援護費資格者情報を新しい順に10 件／1 画面を出力する。

ホ　　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、該当データの詳細内容を表示する「資格者・援護費検索（詳細)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、業務メニューを表示する。

(14)追・回（有無）検索（一覧）

入力した年金証書番号をもとにして、当該年金の入力した支払期の範囲に該当する追給・回収額情報（年金・特別年金・援護費別）を出力する。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 支払期年月 | 検索対象範囲内において追給又は回収が発生している支払期年月を新しい順に出力する。 |
| 年金 | 追給額の場合は、金額の左に「＋」を出力する。<br>回収額の場合は、金額の左に「－」を出力する。<br>時効適用となっている場合は、±の左に”＊”（アスタリスク）を出力する。また、金額は時効分を差し引いた額を出力する。 |
| 特別年金 | 上記、「年金」と同様とする。<br>（特別遺族の場合は出力対象外） |
| 援護費 | 上記、「年金」と同様とする。<br>（特別遺族の場合は出力対象外） |

ハ　検索範囲

データベース（D/B)で管理している範囲内で、入力した条件に該当する追給・回収情報を出力する。

支払期年月（開始)、支払期年月（終了）は入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 当期支払期年月 |

ニ　出力順

支払期単位で新しい順に、10 件／1 画面を出力する。

ホ　画面遷移

「終了」ボタンを押下すると、ウインドウを閉じる。

(15)追・回検索（一覧）

入力した年金証書番号をもとにして、当該年金の入力した支払期の範囲において発生している追給・回収情報（支払済額・正当額・差引額別）について出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 支払期年月 | 該当する入力支払期時点において、追・回が発生している支払期年月を出力する。 |
| 支払済額 | 追給又は回収前の給付月額（初月＋中月＋終月）を出力する。（【年金＋特別年金＋援護費】の合計額） |
| 正当額 | 追給又は回収後の給付月額（初月＋中月＋終月）を出力する。（【年金＋特別年金＋援護費】の合計額） |
| 差引額 | 追給又は回収後から、追給又は回収前を差し引いた額を出力する。（【年金＋特別年金＋援護費】の合計額） |

ハ　検索範囲

該当する年金に対する支給事由発生年月日から転帰年月日を含む支払期まで、または当期支払期の前支払期までに発生している追・回情報を出力する。支払期年月（開始)、支払期年月（終了)、入力支払期年月は、入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | 支給事由発生年月日の属する年月 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | 支給事由発生年月日の属する年月 | 当期支払期年月 |

・入力支払年月の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 |
|---|---|
| 入力あり | 入力した入力支払期年月 |
| 省略 | 当期支払期年月 |

ニ　出力順

支払期年月より新しい順に、10 件／1 画面を出力する。

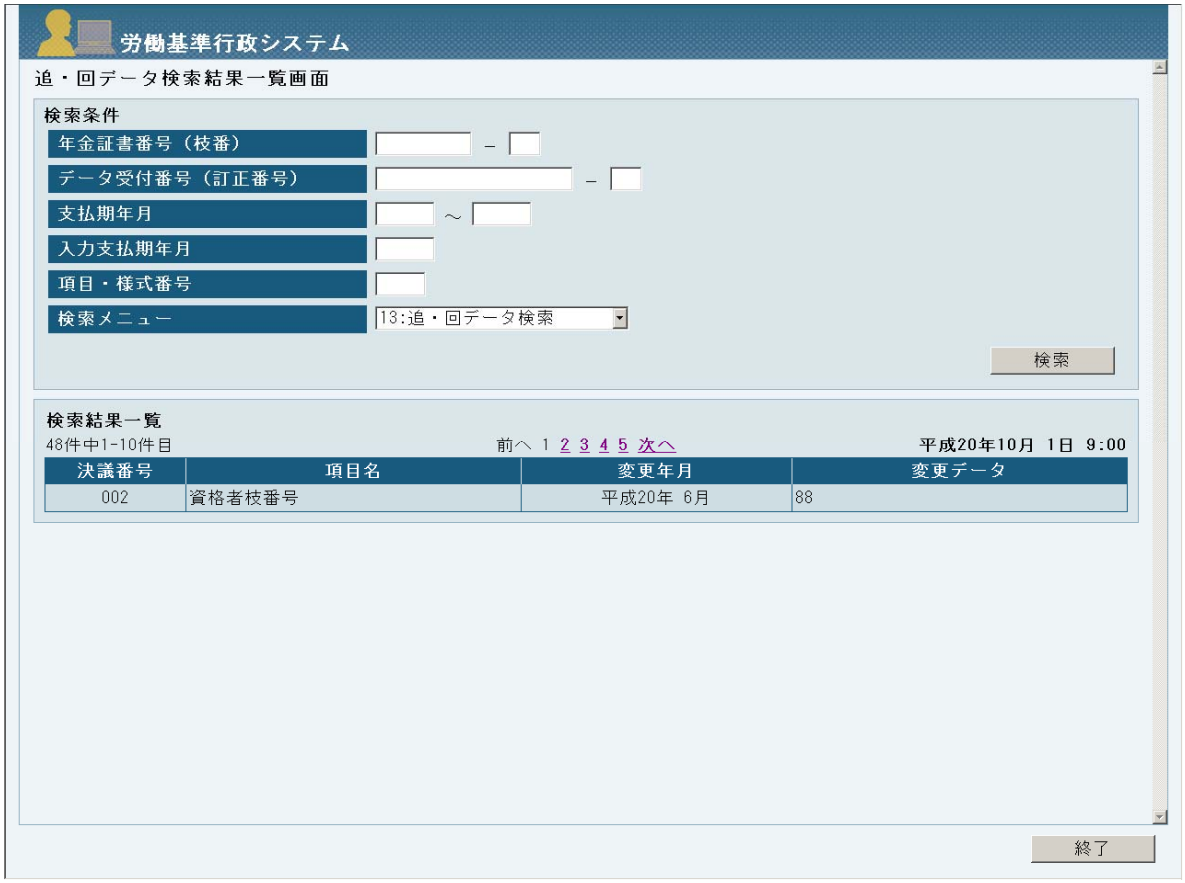
ホ　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、該当データの詳細内容を表示する「追・回検索（詳細)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(16)追・回データ検索（一覧）

入力した年金証書番号をもとにして、追給・回収データ（当該追給・回収額を発生させた原因である変更項目又は訂正項目）を、決議番号、変更年月、項目名（項目番号）の昇順で一覧に出力する。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 決議番号 | 変更・訂正処理により追・回が発生した決議番号を出力する。 |
| 項目名 | 変更・訂正処理を行った項目名称を出力する。 |
| 変更年月 | 変更年月又は訂正年月を出力する。 |
| 変更データ | 変更又は訂正した入力データを出力する。 |

ハ　検索範囲

データベース（D/B)で管理している範囲内で、追給・回収（データ）情報を出力する。

入力支払期年月は、入力条件により以下のように設定される。

・入力支払年月の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 |
|---|---|
| 入力あり | 入力した入力支払期年月 |
| 省略 | 当期支払期年月 |

ニ　出力順

【決議番号（昇順)、変更年月（昇順)、項目名（項目番号）(昇順)】の順に 10 件／1 画面を出力する 。(10 件／1 画面を出力する。)

ホ　画面遷移

「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(17)変更履歴検索（一覧）

入力した年金証書番号をもとにして、当該年金の変更履歴情報を、各項目群又は項目番号単位で変更年月日順に一覧へ出力する画面。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 変更年月 | 変更処理を行った年月を出力する。 |
| 項目番号 | 入力した項目群番号又は項目番号を出力する。 |
| 項目名 | 変更した項目名を出力する。 |
| 変更データ | 変更入力した内容を出力する。 |
| 決議番号 | 変更処理の決議番号を出力する。 |

ハ　検索範囲

データベース（D/B)で管理している範囲内で、項目群単位、項目番号単位で変更履歴情報を出力する。

支払期年月（開始)、支払期年月（終了）は入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | 支給事由発生年月日の属する年月 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | 支給事由発生年月日の属する年月 | 検索入力日の属する年月 |

ニ　出力順

変更年月の古い順＋項目番号の昇順で 10 件／1 画面を出力する。

ホ　画面遷移

「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(18)氏名・住所・支払先検索（一覧）

入力した年金証書番号をもとにして、入力した年月（開始、終了）の期間に該当する氏名・住所・支払先の入力年月日を、効力開始年月単位に一覧出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 効力開始年月 | 氏名・住所・支払先の効力開始年月を出力する。 |
| 氏名入力年月日 | 氏名を入力した日を出力する。 |
| 住所入力年月日 | 住所を入力した日をを出力する。 |
| 支払先入力年月日 | 支払先を入力した日を出力する。 |

ハ　検索範囲

データベース（D/B)で管理している範囲内で、最古の支払期年月から入力日までを出力する。

支払期年月（開始)、支払期年月（終了）は入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | Ｄ／Ｂで管理している最古の支払期 | 検索入力日 |

ニ　出力順

氏名・住所・支払先の変更履歴単位で、新しい順に 10 件／1 画面を出力する。

ホ　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、該当データの詳細内容を表示する「氏名・住所・支払先検索（詳細)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(19)厚年等情報検索（一覧）

入力した年金証書番号をもとにして、入力した支払期年月（厚年等調整開始）の期間に該当する厚年等情報を調整開始年月単位に出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 調整開始年月 | 厚年等調整開始年月を出力する。 |
| 区分 | 出力対象となる厚年等情報が１種の場合は「１種」、２種の場合は「２種」を出力する。 |
| 調整コード | 厚年等調整コードに対応する名称を出力する。<br><br>0　・・・　「調整済」<br>1　・・・　「調査中」<br>2　・・・　「請求中」<br>3　・・・　「不該当」<br>4　・・・　「未加入」<br>5　・・・　「請求拒否」<br>6　・・・　「支給停止」<br>7　・・・　「老齢選択」 |
| 種別 | 厚年等種別に対応する名称を出力する。<br><br>1　・・・　「旧厚年」<br>2　・・・　「新厚国」<br>3　・・・　「旧船員」<br>4　・・・　「新厚年」<br>5　・・・　「旧国年」<br>6　・・・　「新国年」 |
| 厚年等年額 | 厚年等年額を出力する。 |
| 入力年月 | 決定支払期を出力する。 |

ハ　検索範囲

データベース（D/B)で管理している範囲内で、当該受給（権）者に係る厚年情報を出力する。

支払期年月（開始)、支払期年月（終了）は入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | 支給事由発生年月日の属する年月 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | 支給事由発生年月日の属する年月 | 検索入力日の属する年月 |

ニ　出力順

調整開始年月の新しい順に 10 件／1 画面を出力する。

ホ　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、該当データの詳細内容を表示する「厚年等情報検索（詳細)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(20)一時金訂正履歴検索（一覧）

入力したデータ受付番号に該当し、入力した支払期年月、又は入力した日が属する年月における一時金の訂正履歴情報を訂正番号ごとに一覧に出力し、その中から目的とする事案を選択する画面。

イ　検索画面




ロ　出力項目の説明

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 訂正番号 | 訂正番号に入力が有った場合は、入力した訂正番号を出力する。訂正番号に入力が無かった場合は、入力したデータ受付番号に対して振り出した全ての訂正番号を出力する。 |
| 追回番号 | 追給額又は回収額が発生した場合に、１から昇順に振り出した番号（追・回番号）を出力する。 |
| 訂正項目（項目番号） | 訂正した項目についての項目番号を出力する。 |

ハ　検索範囲

データベース（D/B)で管理している範囲内で、入力したデータ受付番号の一時金に関する訂正履歴情報を出力する。

支払期年月（開始)、支払期年月（終了）は入力条件により以下のように設定される。

・支払期年月（開始)、支払期年月（終了）の入力条件

| 入　力　条　件 | 支払期年月（開始）設定値 | 支払期年月（終了）設定値 |
|---|---|---|
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：入力あり | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：入力あり<br>支払期年月（終了）：省略 | 入力した支払期年月（開始） | 入力した支払期年月（開始） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：入力あり | 支給事由発生年月日の属する年月 | 入力した支払期年月（終了） |
| 支払期年月（開始）：省略<br>支払期年月（終了）：省略 | 支給事由発生年月日の属する年月 | 検索入力日の属する年月 |

訂正番号に入力がある場合は入力した訂正番号に対しての情報を対象とし、

訂正番号に入力が無い場合は全ての訂正番号の情報を対象とする。

ニ　出力順

【訂正番号の降順＋項目番号の昇順】の順に 10 件／1 画面を出力する。

ホ　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、該当データの詳細内容を表示する「一時金訂正履歴検索（詳細)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

## 3　検索結果詳細画面

入力画面又は検索結果一覧画面（再入力画面）で選択した情報の詳細を表示する画面。

(1)　年金概要検索

指定された支払期における各受給者の支払情報、年金額等計算情報、年金差止情報、算定基礎情報を表示する画面。

イ　検索画面




+




ロ　出力項目の説明

年金概要検索において出力する各画面（支払・計算・算定）の出力項目の編集及び出力方法は、単独で行う検索（支払検索・年金額等計算検索・算定基礎検索）と同様であるため、詳細については当該検索についての説明を参照すること。

ただし、年金概要検索では入力支払期時点の検索が行えないため、そ及転帰となったような事案についての検索を行いたい場合は、入力支払期の入力を可能としている検索（支払検索を除く）を行うこととする。

ハ　検索範囲

データベース（D/B）で管理している範囲内で、入力した支払期の情報を出力する。

支払期年月（開始）を省略した場合は、入力した日の属する支払期（当期支払期）の情報を出力する。

ニ　出力画面

入力した支払期又は当期支払期についての「支払情報」「年金額等計算情報」、「年金差止情報」「算定基礎情報」を出力する。

ホ　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「年金・一時金検索」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(2)　支払検索（詳細）

支払検索結果一覧画面で選択した支払期年月の詳細情報を表示する画面。

イ　検索画面

＜銀行振込の場合＞



＜ゆうちょ振込の場合＞


支払検索結果詳細画面(SC_NJKNNO_10) - Microsoft Internet Explorer
労働基準行政システム
支払検索結果詳細画面
平成20年 1月 1日 12:10
支払期年月
平成20年 6月支払期
年金証書番号（枝番）
013700100
管轄局署
0101:札幌中央
生年月日
昭和41年 4月 1日
住所情報
受給権者氏名
ﾛｳｻｲ ﾀﾛｳ
氏名入力局署
0101:札幌中央
氏名入力年月日
平成11年 1月 1日
都道府県
01:北海道
住所入力局署
0101:札幌中央
郵便番号
〒079-1101
住所入力年月日
平成11年 1月 1日
住所
赤平市共和９２
支払額情報
支払額合計
999,999,999円
調整等状況
支払差止
支払事故年月日
平成11年 1月 1日
年金
999,999,999円
年金調整等状況
年金担保
支払事故内容
99:該当口座なし
特年
999,999,999円
事故解消年月日
平成11年 1月 1日
援護費
999,999,999円
援護費調整等状況
支払差止
解消内容
99:金融機関情報変更
支払先情報
支払方法
3:郵便振込
支払先入力局署
0101:札幌中央
郵便局コード
970660
支払先入力年月日
平成11年 1月 1日
郵便局名
赤平郵便局
記号番号
19790012029991
戻る
終了

＜窓口現金の場合＞


支払検索結果詳細画面(SC_NJKNNO_10) - Microsoft Internet Explorer
労働基準行政システム
支払検索結果詳細画面
平成20年 1月 1日 12:10
支払期年月
平成20年 6月支払期
年金証書番号（枝番）
095720063-02
管轄局署
0901:宇都宮
生年月日
昭和41年 4月 1日
住所情報
受給権者氏名
ﾛｳｻｲ ﾀﾛｳ
氏名入力局署
0901:宇都宮
氏名入力年月日
平成11年 1月 1日
都道府県
09:栃木県
住所入力局署
0901:宇都宮
郵便番号
〒321-2116
住所入力年月日
平成11年 1月 1日
住所
宇都宮市徳次郎町４１５
山王団地８６棟５０８号
支払額情報
支払額合計
999,999,999円
調整等状況
支払差止
支払事故年月日
平成11年 1月 1日
年金
999,999,999円
年金調整等状況
年金担保
支払事故内容
99:該当口座なし
特年
999,999,999円
事故解消年月日
平成11年 1月 1日
援護費
999,999,999円
援護費調整等状況
支払差止
解消内容
99:金融機関情報変更
支払先情報
支払方法
5:現金払い
支払先入力局署
0901:宇都宮
郵便局コード
070560
支払先入力年月日
平成11年 1月 1日
郵便局名
徳次郎郵便局
戻る
終了

＜外国送金の場合＞




ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 支払期年月 | 支払検索結果一覧画面で選択した支払期年月を出力する。 |
| 年金証書番号（枝番） | 年金証書番号を出力する。<br>遺族年金又は特別遺族年金の場合は年金証書番号と枝番号を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署コード及び名称を出力する。 |

| 項　　目　　名 | | 内　　容 |
|---|---|---|
| 住所情報 | | |
| | 受給権者氏名<br>都道府県<br>郵便番号<br>住所 | 該当年金証書番号の支払権者氏名、住所（都道府県名・郵便番号・住所）を出力する。<br>※外国払いの場合は、「都道府県」「郵便番号」の代わりに「外国名」を出力する。 |
| | 氏名入力局署<br>氏名入力年月日<br>住所入力局署<br>住所入力年月日 | 支払権者氏名、住所を入力した局署名及び年月日を出力する。 |
| 支払額情報 | | |
| | 支払額合計 | 該当支払期において実際に支払われた（支払予定）総合計額を出力する。<br>・総合計額＝支払額年金＋支払額特年＋支払額援護費<br>・死亡転帰している場合、転給を行っていない場合は、０円を出力する。 |
| | 年金 | 該当支払期において実際に支払われた年金額を出力する。 |
| | 特年 | 該当支払期において実際に支払われた特別年金額を出力する。<br>（特別遺族の場合は出力対象外） |
| | 援護費 | 該当支払期において実際に支払われた援護費額を出力する。<br>（特別遺族の場合は出力対象外） |
| | 調整等状況 | 該当支払期の調整等状況に応じて、下記の文言を出力する。<br>・「支払差止」・・・支払差止である場合<br>・「差止担保」・・・年金担保融資で支払差止である場合<br>・「若年停止」・・・若年停止である場合<br>・「死亡転帰」・・・死亡転帰の入力支払期である場合<br>・「年金取消」・・・基本権取消の入力支払期である場合<br>・「転給未決」・・・転給を行っていない場合<br>上記のいずれでもない場合は、出力しない。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 支払額情報 | |
| 年金調整等状況 | 該当支払期の年金調整等状況に応じて、下記の文言を出力する。<br>・「年金担保」・・・年金担保融資である場合<br>ただし、支払差止である場合は出力しない<br>・「三者調整」・・・三者調整である場合<br>ただし、「若年停止」または「年金担保」<br>である場合は出力しない<br>・「前払調整」・・・前払調整である場合<br>ただし、「若年停止」または「年金担保」<br>または「三者調整」である場合は出力しない<br>・「民賠調整」・・・行政裁量事由が民事損賠である場合<br>ただし、「年金担保」または「三者調整」<br>または「前払調整」である場合は出力しない<br>上記のいずれでもない場合は、出力しない。 |
| 援護費調整等状況 | 援護費受給者に最低１人でも支払差止の対象者がいる場合は、「支払差止」を出力する。<br>（特別遺族の場合は出力対象外） |
| 支払事故年月日<br>支払事故内容 | 本省において支払事故を入力した日付及び支払事故事由のコードと文言を出力する。 |
| 事故解消年月日<br>解消内容 | 本省において支払事故解消を入力した日付及び支払事故解消事由のコードと文言を出力する。 |
| 支払先情報＜銀行振込＞ | |
| 支払方法 | 「1：口座振込」を出力する。 |
| 金融機関コード | 該当支払期における金融機関情報（金融機関コード）を出力する。 |
| 金融機関名 | 該当支払期における金融機関情報（金融機関名称）を出力する |
| 店舗名 | 該当支払期における金融機関情報（店舗名称）を出力する |
| 預金の種類 | 該当支払期における金融機関情報（預金の種類）を出力する |
| 口座番号 | 該当支払期における金融機関情報（口座番号）を出力する |
| 支払先入力局署<br>支払先入力年月日 | 支払先を入力した局署名及び年月日を出力する。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| ＜ゆうちょ振込＞ | |
| 支払方法 | 「3：郵便振込」を出力する。 |
| 郵便局コード<br>郵便局名<br>記号番号 | 該当支払期における郵便局情報を出力する。 |
| 支払先入力局署<br>支払先入力年月日 | 支払先を入力した局署名及び年月日を出力する。 |
| ＜窓口現金＞ | |
| 支払方法 | 「5：現金払い」を出力する。 |
| 郵便局コード<br>郵便局名 | 該当支払期における郵便局情報を出力する。 |
| 支払先入力局署<br>支払先入力年月日 | 支払先を入力した局署名及び年月日を出力する。 |
| ＜外国送金＞ | |
| 支払方法 | 「7：外国払い」を出力する。 |
| 金融機関名 | 該当支払期における金融機関情報（金融機関名称）を出力する。 |
| 店舗名 | 該当支払期における金融機関情報（店舗名称）を出力する。 |
| 口座番号 | 該当支払期における金融機関情報（口座番号）を出力する。 |
| 支払先入力局署<br>支払先入力年月日 | 支払先を入力した局署名及び年月日を出力する。 |

注）外国払いの「氏名」「住所」「金融機関情報」については、アルファベットで出力する。

ハ　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「支払検索（一覧）」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(3)　算定基礎検索（詳細）

算定基礎検索結果一覧画面で選択した算定年月の年金算定基礎詳細情報を表示する画面。

イ　検索画面

＜傷病（補償）年金の場合＞



＜障害（補償）年金の場合＞


算定基礎検索結果詳細画面(SC_NJKNNO_12) - Microsoft Internet Explorer
労働基準行政システム
算定基礎検索結果詳細画面
平成20年 1月 1日 12:10
算定年月
平成20年10月
時効有無
時効あり
支払期時点
平成20年10月支払期時点
管轄局署
0101:札幌中央
算定基礎情報
年金証書番号
013700100
生年月日
昭和45年12月31日
特別加入コード
11:中小事業主等
計算年齢
20歳
スライド率
100%
傷病年月日
平成15年12月31日
支給事由発生年月日
平成15年12月31日
転帰事由
1：死亡
転帰年月日
平成15年12月31日
平均賃金
999,999円99銭
特別給与の総額
99,999,999円
年金給付日額
999,999円
算出方法（年金給付日額）
1：最低保障額
算定基礎日額
999,999円
算出方法（算定基礎日額）
2：999万円
給付日数
999日
療養開始年月日
平成18年 1月 1日
障害等級号
9級9号
既存区分・等級
2-2級
既存年金証書番号
123456789
重大過失
なし
滞納制限率
20%
成消給付
なし
援護費支給
あり
厚年等情報
厚年コード
0：調整中
種別
1：厚年
厚年等年額
999,999,999円
厚年等開始年月
平成19年10月10日
限度額適用
あり
戻る
終了

＜遺族（補償）年金、特別遺族年金の場合＞



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 算定年月 | 算定基礎検索結果一覧画面で選択した算定年月を出力する。 |
| 支払期時点 | 入力支払期年月を出力する。入力支払期年月を省略した場合は、検索入力日の属する支払期年月を出力する。 |
| 時効有無 | 出力する算定基礎項目について時効扱いのものがある場合には、「時効あり」を出力する。（本省入力を除く） |
| 管轄局署 | 管轄局署コード及び名称を出力する。 |
| 算定基礎情報 | |
| 年金証書番号 | 年金証書番号を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 特別加入コード | 特別加入者である場合、特別加入のコード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| スライド率　※ | スライド率を出力する。 |
| 計算年齢　※ | 被災者生年月日と算定年（8月1日）を基準に算出する。<br>・7月までは前年の8月1日現在の年齢<br>・8月以降は同年の8月1日現在の年齢<br>ただし、最低・最高限度額が適用されない場合には出力しない。<br>転帰状態の場合には出力しない。 |
| 支給事由発生年月日 | 該当年金証書番号の支給事由発生年月日（特別遺族の場合は請求年月日（受付年月日））を出力する。 |
| 傷病年月日 | 該当年金証書番号の傷病年月日（特別遺族の場合は死亡年月日）を出力する。 |
| 転帰事由 | 転帰している場合、転帰事由のコードと内容を出力する。 |
| 転帰年月日 | 転帰している場合、転帰年月日を出力する。 |
| 平均賃金　※ | 平均賃金（銭まで）を出力する。<br>特別加入者は選択した給付基礎日額を銭まで出力する。 |
| 特別給与の総額　※ | 特別給与の総額を出力する。<br>特別加入者である場合には「0円」を出力する。 |
| 年金給付日額　※<br>算出方法（年金給付日額） | 年金給付基礎日額及び年金給付基礎日額についての算出方法のコードと内容を出力する。<br>転帰状態の場合には出力しない。 |
| 算定基礎日額　※<br>算出方法（算定基礎日額） | 算定基礎日額及び、算定基礎日額についての算出方法のコードと内容を出力する。<br>転帰状態の場合には出力しない。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 給付日数 ※ | 給付日数を出力する。<br>障害年金の場合、小数点以下第3位を切り捨て第2位までを出力し、転帰状態の場合は「0」を出力する。小数点以下が0である場合は、「00」と出力する。 |
| 療養開始年月日　※ | 該当年金証書番号の療養開始年月日を出力する。 |
| <傷病><br>傷病等級号 | 傷病等級号の内容を出力する。 |
| <傷病><br>差額種別コード | 差額種別コードと内容を出力する。 |
| <傷病><br>休業給付日額 | 休業補償給付日額を出力する。 |
| <障害><br>障害等級号 | 障害等級号の内容を出力する。 |
| <障害><br>既存区分・等級 | 既存障害区分が設定されている場合に出力する。 |
| <障害><br>既存年金証書番号 | 既存年金証書番号が設定されている場合に出力する。 |
| <遺族・特別遺族><br>算定基礎人数 | 算定の基礎となる人数を出力する。<br>転帰状態の場合には「0人」を出力する。 |
| <遺族・特別遺族><br>妻55歳以上・妻障害有無 ※ | 妻55歳以上又は妻障害ありの場合、下記のメッセージを出力する。<br>・「妻55歳以上」　・・・　算定基礎が妻のみで、妻55歳以上の場合<br>・「妻障害あり」　・・・　算定基礎が妻のみで、妻障害ありの場合<br>算定基礎が妻のみで、妻55歳以上かつ妻障害ありの場合は、「妻55歳以上」を出力する。 |
| <遺族・特別遺族><br>支払権者数 | 支払権者数を出力する。<br>転帰状態の場合には「0人」を出力する。 |
| 重大過失　※ | 重大過失コードが設定されている場合には、「あり」を出力し、設定されていない場合は、「なし」を出力する。 |
| 滞納制限率　※ | 滞納制限率が設定されている場合には、滞納制限率を出力する。 |
| 成消給付　※ | 成消給付コードが設定されている場合には、「あり」を出力し、設定されていない場合は、「なし」を出力する。 |
| 援護費支給　※ | 中断・転帰していない援護費受給者が1人でも存在する場合は、「あり」を出力し、1人も存在しない場合は、「なし」を出力する。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 厚年等情報＜傷病、障害＞ | |
| 厚年コード | 調整コードとコードに対応した内容を出力する。<br>「0：調整」、「1：調査中」、「2：請求中」、<br>「3：不支給・不該当」、「4：未加入」、「5：請求拒否」、<br>「6：支給停止」、「7：老齢年金選択」 |
| 種別 | 種別コードとコードに対応した内容を出力する。<br>「1：厚年」、「2：新厚国」、「3：船員」、「4：新厚」、<br>「5：国年」、「6：新国」 |
| 厚年等年額 | 厚年等年額を出力する。 |
| 厚年等開始年月 | 厚年等開始年月を出力する。 |
| 限度額適用 | 限度額適用の場合は、「あり」を出力し、適用していない場合は、「なし」を出力する。 |
| ＜遺族・特別遺族＞ ※ | |
| 厚年コード（1 種）<br>種別（1 種）<br>厚年等年額（1 種）<br>厚年等開始年月（1 種）<br>限度額適用（1 種） | 傷病、障害の厚年等情報と同様の内容を出力する。 |
| 厚年コード（2 種）<br>種別（2 種）<br>厚年等年額（2 種）<br>厚年等開始年月（2 種）<br>限度額適用（2 種） | 厚年２種がある場合に出力する。（旧国民年金のみ） |

※特別遺族年金の場合は出力しない。

ハ　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「算定基礎検索（一覧）」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(4)年金額等計算検索（詳細）

年金額等計算検索結果一覧画面で選択した支払期年月における、最新の年金額等計算情報及び支払差止情報を表示する画面。

イ　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 年金証書番号（枝番） | 年金証書番号を出力する。<br>遺族年金又は特別遺族年金の場合は、年金証書番号と支払権者枝番号を出力する。権者払の場合は、年金額等計算検索結果一覧画面にて入力した枝番号を出力する。 |
| 受給権者氏名 | 支払権者氏名を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署コード及び名称を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 年金額等計算情報 | |
| 支払期年月 | 年金額等計算検索結果一覧画面で選択した支払期年月を出力する。 |
| 支払期時点 | 入力支払期年月を出力する。入力支払期年月を省略した場合は、検索入力日の属する支払期年月を出力する。 |
| 年金年額<br>（初月）、（中月）、（終月） | 支給制限後年金年額（初月）、（中月）、（終月）を出力する。<br>該当支払期が平成 8 年 10 月支払期以降である場合は、年金年額（中月）は出力しない。 |
| 特別年金年額<br>（初月）、（中月）、（終月） | 支給制限後特別年金年額（初月）、（中月）、（終月）を出力する。<br>該当支払期が平成 8 年 10 月支払期以降である場合は、特別年金年額（中月）は出力しない。 |
| 年金月額<br>（初月）、（中月）、（終月） | 支給制限後年金月額（初月）、（中月）、（終月）を出力する。<br>該当支払期が平成 8 年 10 月支払期以降である場合は、年金月額（中月）は出力しない。 |
| 特別年金月額<br>（初月）、（中月）、（終月） | 支給制限後特別年金月額（初月）、（中月）、（終月）を出力する。<br>該当支払期が平成 8 年 10 月支払期以降である場合は、特別年金月額（中月）は出力しない。 |
| 援護費月額<br>（初月）、（中月）、（終月）、<br>（終月の翌月） | 援護費額（初月）、（中月）、（終月）、（終月の翌月）を出力する。<br>該当支払期が平成 8 年 10 月支払期以降である場合は、援護費月額（中月）、援護費月額（終月の翌月）は出力しない。 |
| 三者調整額 | 三者損賠調整額を出力する。【初月＋中月＋終月】 |
| 前払調整額 | 前払調整額を出力する。【初月＋中月＋終月】 |
| 調整係数 | 前払調整額＞0 円の場合、前払調整係数を出力する。 |
| 内払・追給<br>（年金、特年、援護費） | 内払調整額がある場合は内払調整額を出力し、追給額がある場合には追給額を出力する。<br>内払調整額を出力する場合は金額の左に「－」、追給額を出力する場合は金額の左に「＋」を出力する。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 年金額等計算情報 | |
| 行政裁量②（年金、特年、援護費） | 本省で入力した各支払権者単位に係る行政裁量額を出力する。 |
| 行政裁量②（理由）<br>（年金、特年、援護費） | 本省で入力した行政裁量理由のコードを出力する。 |
| 支払額<br>（年金） | 【{年金給付月額（初月）＋年金給付月額（中月）＋年金給付月額（終月）}－{三者調整額＋前払調整額＋内払調整額ｏｒ追給額}÷支払権者数】により算出した額を出力する。 |
| 支払額<br>（特別年金） | 【{特年月額（初月）＋特年月額（中月）＋特年月額（終月）－内払調整額ｏｒ追給額}÷支払権者数】により算出した額を出力する。 |
| 支払額<br>（援護費） | 【{援護費月額（初月）＋援護費月額（中月）＋援護費月額（終月）－内払調整額ｏｒ追給額}÷支払権者数】により算出した額を出力する。 |
| 差止累計額時効適用<br>（年金、特年、援護費） | 差止開始支払期から5年を経過している場合には、「あり」を出力する。 |
| 差止累計額<br>（年金、特年、援護費） | 差止累計額を出力する。 |
| 差止累計額（時効適用）<br>（年金、特年、援護費） | 時効適用の場合には、時効期間の差止累計額を差し引いた金額を出力する。 |
| そ及追回額時効適用<br>（年金、特年、援護費） | 効力開始年月から5年を経過している場合には、「あり」を出力する。 |
| そ及追回額<br>（年金、特年、援護費） | 当該支払期に発生した調整後の追給・回収額を出力する。<br>（差止解除額の調整後も含む）<br>・追給である場合は、「＋」を金額の左に出力する。<br>・回収である場合は、「－」を金額の左に出力する。 |
| 差止情報（年金） | |
| 差止開始支払期 | 差止入力支払期を出力する。 |
| 差止事由 | 差止事由コード及びコードに対応する文言を出力する。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 差止情報（援護費） | |
| 枝番 | 援護費差止となっている援護費資格者の枝番号を出力する。 |
| 支給区分 | 支給区分のコードを出力する。<br>・「1」　・・・　保育所等<br>・「3」　・・・　小学校<br>・「5」　・・・　中学校<br>・「7」　・・・　高等学校等<br>・「8」　・・・　通信制大学<br>・「9」　・・・　大学等 |
| 在学者等氏名 | 援護費資格者氏名を出力する。 |
| 差止累計額 | 援護費差止累計額を出力する。<br>時効適用の場合には、時効期間の差止累計額を差し引いた金額を出力する。 |
| 差止開始支払期 | 差止入力支払期を出力する。 |
| 差止事由 | 差止事由コードに対応する文言を出力する。 |
| 時効適用 | 差止開始支払期から5年を経過している場合には、「あり」を出力する。 |
| 枝番 | 援護費差止となっている援護費資格者の枝番号を出力する。 |

注）特別遺族年金の場合は、特別年金と就学等援護費の各項目と、三者調整額、前払調整額、調整係数は出力しない。

ハ　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「年金額等計算検索（一覧）」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(5)年金額等調整検索（詳細）

年金額等調整検索結果一覧画面で選択した支払期年月における、年金額調整情報を表示する画面。

イ　検索画面




| | 年金 | 特別年金 | 就学等援護費 |
|---|---|---|---|
| 休業内払額 | -999,999,999円 | -999,999,999円 | |
| 前期内払残額 | -999,999,999円 | -999,999,999円 | -999,999,999円 |
| そ及追回額 | -999,999,999円 | -999,999,999円 | -999,999,999円 |
| そ及追回額時効調整有無 | あり | あり | あり |
| 差止解除額 | +999,999,999円 | +999,999,999円 | +999,999,999円 |
| 差止解除額時効調整有無 | あり | あり | あり |
| 行政裁量① | -999,999,999円 | -999,999,999円 | -999,999,999円 |
| 内払調整額 | +999,999,999円 | +999,999,999円 | +999,999,999円 |
| 当期内払残額 | -999,999,999円 | -999,999,999円 | -999,999,999円 |
| 内払処理方法 | 最新年金へ調整 | 最新年金へ調整 | 最新年金へ調整 |

| | 年金 | 特別年金 | 就学等援護費 |
|---|---|---|---|
| 追給額 | +999,999,999円 | +999,999,999円 | +999,999,999円 |
| 追給処理方法 | 最新年金へ調整 | 最新年金へ調整 | 最新年金へ調整 |
| 内払残額（現） | -999,999,999円 | -999,999,999円 | -999,999,999円 |
| 内払残額（過） | -999,999,999円 | -999,999,999円 | -999,999,999円 |

ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 年金証書番号 | 年金証書番号を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署コード及び名称を出力する。 |
| 年金額等調整情報 | |
| 支払期年月 | 年金額等調整検索結果一覧画面で選択した支払期年月を出力する。 |
| 休業内払額<br><年金>、<特別年金> | 最初の支払期のみ、存在する場合に出力する。<br>（金額の左に「－」を出力する。） |
| 前期内払残額<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 前支払期の内払残額を出力する。<br>最初の支払期の場合は前給付から引き継いだ過誤払額を出力する。<br>（金額の左に「－」を出力する。） |
| そ及追回額<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 該当する支払期において発生しているそ及追回額を出力する。<br>他給付連携の場合、最新給付は他給付分も含む額を出力し、最新給付以外は自給付分のみの額を出力する。<br>（追給の場合は「＋」、回収の場合は「－」を金額の左に出力する。）<br><br>※何も調整しない追回額が出力される（注：計算検索画面の「そ及追回額」と異なる） |
| そ及追回額時効調整有無<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 時効調整をした場合は、「あり」を出力し、時効調整していない場合は、「なし」を出力する。<br>差止解除がある場合は、「なし」を出力する。 |
| 差止解除額<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 該当する支払期において存在する差止解除額を出力する。<br>（金額の左に「＋」を出力する。） |
| 差止解除額時効調整有無<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 差止解除時に時効調整をした場合は、「あり」を出力し、時効調整していない場合は、「なし」を出力する。 |
| 行政裁量①<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 入力した年金証書番号に対して行政裁量が行われていた場合に出力する。<br>・発生した追給・回収額を出力する。<br>（追給の場合は「＋」、回収の場合は「－」を金額の左に出力する。） |
| 内払調整額<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 当支払期の内払調整額が存在した場合に出力する。<br>（金額の左に「＋」を出力する。） |

| 項　　目　　名 | | 内　　容 |
|---|---|---|
| 年金額等調整情報 | | |
| | 当期内払残額<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 当期の内払残額を出力する。（金額の左に「－」を出力する。）<br>休業内払額・前期内払残額・そ及追回額・差止解除額・行政裁量①・内払調整額のいずれかに金額が１円以上ある場合は、「０円」を出力する。休業へ内払した場合は出力しない。 |
| | 内払処理方法<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 内払処理方法を出力する。<br>・充当とした場合に、「充当」と出力する。<br>・内払とした場合に、「内払」と出力する。<br>・保留が続く場合に、「保留」と出力する。<br>・債権を選択し債務者登録票が未入力の場合に、「債権選択」と出力する。<br>・債務者登録票を入力した場合に、「債権管理」と出力する。<br>（債権減額により「0 円」になっても「債権管理」の状態とする。）<br>・休業へ内払した場合に、「休業内払」と出力する。<br>・他給付連携処理の場合に、「最新年金へ調整」と出力する。<br>債権選択支払期以降及び休業内払変更支払期以降、情報の出力は行わない。但し、債務者登録票の入力があった場合は「債権選択」から「債権管理」の出力に変える。（保留の場合は、継続して出力する。） |
| | 追給額<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 追給額を出力する。<br>（金額の左に「＋」を出力する。） |
| | 追給処理方法<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 追給処理方法を出力する。<br>転帰後訂正・死亡転帰で当支払期に追給が発生している場合に、「未支給金」を出力する。<br>転帰後訂正の場合に「最新年金へ調整」を出力する。<br>なお、他給付連携により追給が発生している場合で、最終の給付を検索したとき、前給付までの追給額が全て合算されて出力されるときに「他給付連携」と出力する。 |
| | 内払残額（現）<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 当期内払残額の現年度分を出力する。<br>（金額の左に「－」を出力する。）<br>（年金は福祉医療機構債権も含む。） |
| | 内払残額（過）<br><年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 当期内払残額の過年度分を出力する。<br>（金額の左に「－」を出力する。）<br>（年金は福祉医療機構債権も含む。） |

注）特別遺族年金の場合は、特別年金と就学等援護費の各項目と、休業内払額は出力しない。

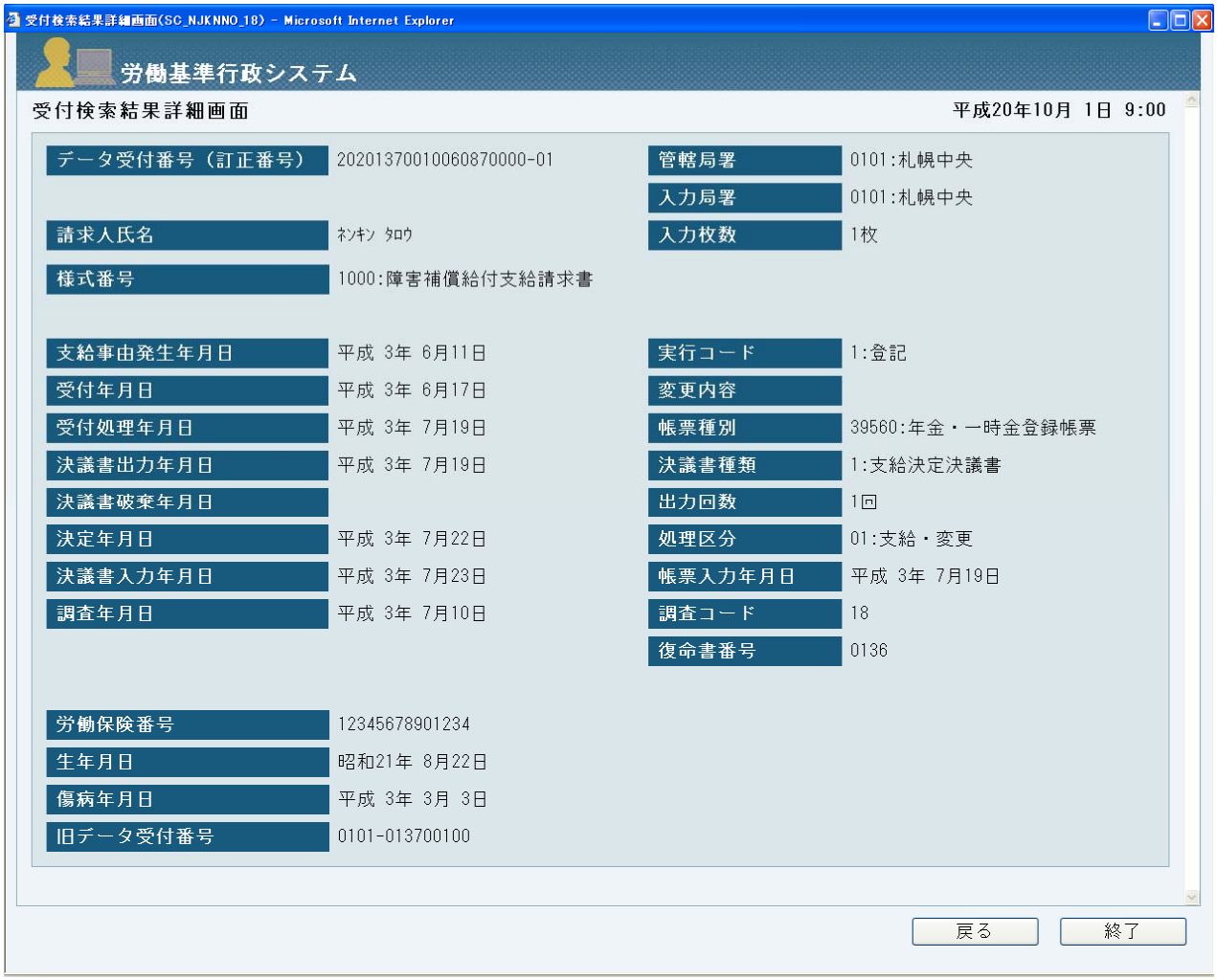
ハ　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「年金額等調整検索（一覧）」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(6)受付検索（詳細）

受付検索結果一覧画面で選択した年金証書番号又はデータ受付番号の処理情報を表示する画面。

イ　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| データ受付番号（訂正番号） | 【’20’＋’新旧区分（1：旧システムからの移行データ、2：新システムで入力したデータ)’＋’年金証書番号’＋’ＣＤ’＋’決議番号’＋’0000’】の 20 桁をデータ受付番号として出力する。訂正番号がある場合はデータ受付番号の右に’－（ハイフン)’＋’訂正番号’を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署のコード及び名称を出力する。 |
| 入力局署 | 支払先入力局署のコード及び名称を出力する。<br>自動更新の場合は、’6001:本省’と出力する。 |
| 入力枚数 | 帳票入力枚数を出力する。<br>自動更新の場合は、’1’を出力する。 |
| 請求人氏名 | 請求人氏名を出力する。<br>職権入力、自動更新の場合は、プランク出力する。 |
| 様式番号 | 請求書様式番号又は項目群番号又は同時決議番号のコード及びコードに対応した文言を出力する。（Ⅵ-Ⅱ-32～Ⅵ-Ⅱ-34 ページ参照）<br>自動更新の場合は、’本省自動更新’と出力する。 |
| 支給事由発生年月日 | 支給事由発生年月日を出力する。<br>自動更新の場合は、出力しない。<br>（特別遺族の場合は、請求年月日（受付年月日）を出力する。） |
| 実行コード | 実行コード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 受付年月日 | 受付年月日を出力する。<br>自動更新の場合は、処理年月日を出力する。<br>職権入力や訂正入力の場合は、出力しない。 |
| 変更内容 | 変更内容コード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 受付処理年月日 | 受付処理を行った日を出力する。 |
| 帳票種別 | 帳票種別コード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 決議書出力年月日 | 決議書出力年月日を出力する。<br>・再出力の場合は、再出力年月日を出力する。<br>・自動更新の場合は、処理年月日を出力する。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 決議書種類 | コード及びコードに対応した文言を出力する。<br>・「1」　・・・　支給決定決議書<br>・「2」　・・・　不支給決定決議書<br>・「3」　・・・　変更決定決議書<br>・「4」　・・・　不変更決定決議書<br>・「5」　・・・　再決議書<br>・「6」　・・・　訂正決議書<br>・「7」　・・・　援護費支給決定決議書<br>・「8」　・・・　援護費不支給決定決議書<br>・「9」　・・・　決議書無<br><br>自動更新の場合は、’自動更新処理’を出力する。援護費月額改定の場合は、’援護費月額改定処理’を出力する。 |
| 決議書破棄年月日 | 決議書破棄年月日を出力する。 |
| 出力回数 | 決議書出力回数を出力する。 |
| 決定年月日 | 決定年月日を出力する。（支給/不支給/変更/不変更/訂正/援護費支給/援護費不支給/援護費変更/援護費不変更）<br>自動更新の場合は、処理年月日を出力する。 |
| 処理区分 | コード及びコードに対応する文言を出力する。<br>自動更新の場合は、コード「01」に対応する文言を出力する。 |
| 決議書入力年月日 | 決議書入力年月日を出力する。<br>自動更新の場合は、処理年月日を出力する。 |
| 帳票入力年月日 | 帳票入力年月日を出力する。 |
| 調査年月日<br>調査コード<br>復命書番号 | 調査書情報がある場合、調査年月日、調査コード、復命書番号を出力する。 |
| 労働保険番号<br>生年月日<br>傷病年月日 | 労働保険番号、被災者生年月日、傷病年月日を出力する。<br>（特別遺族の場合は、傷病年月日に死亡年月日を出力する。） |
| 旧データ受付番号 | 一時金のみ旧データ受付番号を出力する。<br>平成７年７月以前に振出された【‘管轄局署コード’＋‘－’＋‘9桁のデータ受付番号’】の旧データ受付番号を出力する。 |

ハ　　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「受付検索（一覧）」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(7)支払履歴検索（詳細）

支払履歴検索結果一覧画面で選択した支払期に対する支払履歴情報詳細を表示する画面。

イ　　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 支払期年月 | 支払履歴検索結果一覧画面で選択した支払期年月を出力する。 |
| 年金証書番号（枝番） | 年金証書番号を出力する。<br>遺族年金又は特別遺族年金の場合は、年金証書番号と支払権者枝番号を出力する。権者払の場合は、支払履歴検索（一覧）にて入力した枝番号を出力する。 |
| 受給権者氏名 | 支払権者氏名を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署のコード及び名称を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 支払情報 | |
| 　支払取消 | 本省において支払事故解消が入力されていて、支払事故解決理由が支払取消の場合に、’支払取消’を出力する。 |
| 　通知書送付 | 平成 12 年 10 月支払期（通知書が年 1 回送付となった支払期）以降で、通知書を送付している場合に、’通知書送付’を出力する。 |
| 　年金額 | 該当支払期において支払われた年金額を出力する。 |
| 　特別年金額 | 該当支払期において支払われた特別年金額を出力する。 |
| 　就学等援護費 | 該当支払期において支払われた就学等援護費を出力する。 |

ハ　　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「支払履歴検索（一覧)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(8) 支給停止検索（詳細）

支給停止検索結果一覧画面で選択した支払期年月の支給停止情報詳細を表示する画面。

イ　　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 年金証書番号 | 年金証書番号を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署のコード及び名称を出力する。 |
| 支払停止情報 | |
| 支払期年月 | 支給停止検索結果一覧画面で選択した支払期年月を出力する。 |
| 支払期時点 | 入力支払期年月を出力する。入力支払期年月を省略した場合は、検索入力日の属する支払期年月を出力する。 |
| 三者受領額 | 三者損賠受領額を出力する。（終月時点） |
| 三者受領年月日 | 三者損賠受領年月日を出力する。 |
| 三者調整開始年月 | 三者調整開始年月を出力する。 |
| 三者調整残額 | 三者損賠調整残額を出力する。（終月時点） |
| 傷病年月日 | 傷病年月日を出力する。 |
| 三者損賠調整解除予定年月 | 最新の月額で算出した解除予定年月を出力する。若年停止中は若年解除月の月額で調整したと仮定し、三者損賠調整残額が０円となった月又は傷病年月日から３年経過後の月の小さい年月を若年停止を加味して算出、出力する。<br>既に調整が終了している場合は、’【調整終了】’を出力する。 |
| 前払支給額 | 前払一時金支払額を出力する。 |
| 前払選択日数 | 前払選択日数を出力する。 |
| 前払支給年月 | 前払一時金の支払年月を出力する。 |
| 前払調整開始年月 | 前払調整開始年月を出力する。 |
| 前払調整残額 | 前払調整残額を出力する。（支払期の終月時点） |
| 前払調整解除予定年月 | 【調整額－（給付月額×調整係数)】が０となる月を出力する。<br>（算出した解除予定年月を出力する。）<br>※給付月額：最新の月額（前期の終月又は若年停止中は若年解除月の月額を三者調整・若年停止を加味して算出、出力する。）<br>既に調整が終了している場合は、’【調整終了】’を出力する。 |
| 事業主メッセージ | 行政裁量事由が民事損賠となっている場合に、下記のメッセージを出力する。<br><br>◆◆◆事業主民事損害賠償調整中◆◆◆ |

注）三者調整と前払調整は、特別遺族年金では該当しないので、出力しない。

ハ　　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「支給停止検索（一覧)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(9)転帰情報検索（詳細）

入力した年金証書番号をもとにして、最新の転帰入力支払期の転帰情報を表示する画面。

イ　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 転帰入力支払期 | 転帰入力時点の支払期年月を出力する。 |
| 年金証書番号 | 入力した年金証書番号を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署のコード及び名称を出力する。 |
| 受給権者氏名 | 転帰入力支払期において実際に支払を行った支払先氏名を出力する。<br>遺族（補償）年金と特別遺族年金の場合は、転帰時点の支払権者氏名を出力する。 |
| 転帰・死亡年月日 | 転帰年月日を出力する。 |
| 転帰事由 | 転帰事由コード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 転帰・死亡時スライド率 | 転帰年月時点のスライド率を出力する。 |
| 限度日数 | 限度日数を小数点2桁まで出力する。 |
| 一時金給付日額 | 一時金給付日額を出力する。 |
| 算定基礎日額 | 一時金算定基礎日額を出力する。 |
| 保障給付額<年金> | 転帰年月時点の失権差額一時金の保障給付額（年金）を出力する。<br>【一時金給付基礎日額×給付限度日数】 |
| 保障給付額<特別年金> | 転帰年月時点の失権差額一時金の保障給付額（特別年金額）を出力する。<br>【一時金算定基礎日額×給付限度日数】 |
| 前払一時金額 | 平成2年7月以前は、スライド割戻し前払一時金額を出力する。<br>平成2年8月以降は、換算後前払一時金額を出力する。 |
| 損賠調整累計額 | 平成2年7月以前は、実額を出力する。<br>平成2年8月以降は、換算後調整額を出力する。 |
| 支払済額<年金> | 平成2年7月以前は、スライド割戻し支払済額を出力する。<br>平成2年8月以降は、換算後支払済額を出力する。 |
| 支払済額<特別年金> | 平成2年7月以前は、スライド割戻し支払済額を出力する。<br>平成2年8月以降は、換算後支払済額を出力する。 |
| 充当額<年金> | 転帰年月時点の充当額（保険給付）を出力する。 |
| 充当額<特別年金> | 転帰年月時点の充当額（特別年金）を出力する。 |
| 差額一時金額<年金> | 【{保障給付額－（前払一時金額＋損賠調整累計額＋支払済額）－充当額}】において算出した額を出力する。 |
| 差額一時金額<特別年金> | 【(保障給付額－支払済額）－充当額}】において算出した額を出力する。 |
| 未支給金<年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 死亡転帰等の場合に、転帰年月時点における未支給金額を出力する。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 内払残額<年金> | 転帰年月時点における内払調整額（充当後）を出力する。<br>通常の未支給金がある場合は、未支給金で調整しきれなかった額を出力する。<br>失権差額一時金がある場合は、失権差額一時金で充当しきれなかった額を出力する。<br>休業へ内払した場合は、出力しない。 |
| 内払残額<特別年金> | 転帰年月時点における内払調整額（充当後）を出力する。<br>休業へ内払した場合は、出力しない。 |
| 内払残額<就学等援護費> | 転帰年月時点における内払調整額（充当後）を出力する。 |
| 処理方法<年金>、<特別年金>、<就学等援護費> | 下記メッセージのいずれかを出力する。<br>・「保留」　・・・　保留となっている場合<br>・「内払」　・・・　その給付で内払する場合<br>・「充当」　・・・　次の給付に充当する場合<br>・「債権選択」　・・・　債務者登録票未入力の場合<br>・「債権管理」　・・・　債務者登録票入力済の場合<br>・「休業内払」　・・・　休業へ内払した場合（就学等援護費を除く）<br>・「他給付」　・・・　他給付連携により基本権取消を入力した場合に、最終給付以前の給付を検索した場合（最終給付によって内払処理されるため） |

注）下記の項目については、特別遺族年金では該当しないので、出力しない。

・特別年金及び就学等援護費に関する項目

・前払一時金、損賠調整累計額

・転帰・死亡時スライド率、限度日数、一時金給付日額、算定基礎日額

ハ　　検索範囲

入力時点（訂正処理等では、失権差額一時金との連動を行っていないため入力時点で再計算する）の最新転帰入力支払期の転帰情報を出力する。

| 出力項目 | 最新の障害年金が死亡転帰している | | 最新の障害年金が死亡以外の転帰 | 遺族年金 | 傷病年金 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 最新の障害年金 | 再治ゆ前の障害年金 | | | |
| 保険給付額 | ● | × | × | ● | × |
| 前払一時金額 | ● | ● | × | ● | × |
| 損賠調整累計額 | ● | ● | × | ● | × |
| 支払済額 | ● | ● | × | ● | × |
| 充当額 | ● | × | × | ● | × |
| 差額一時金額 | ● | × | × | ● | × |

●・・・出力　　×・・・出力しない

金額が０の場合には出力しない

ニ　　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「年金・一時金検索」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(10)資格者・援護費検索（概要）

資格者・援護費検索結果一覧画面にて選択した受給資格者及び援護費資格者の概要情報を枝番号の昇順に表示し、その中から目的とする事案を選択することにより、資格者・援護費検索（詳細）画面を表示する。

イ　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 算定年月 | 資格者・援護費検索結果一覧画面にて選択した算定年月を出力する。 |
| 支払期時点 | 入力支払期年月を出力する。入力支払期年月を省略した場合は、検索入力日の属する支払期年月を出力する。 |
| 年金証書番号 | 年金証書番号を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署のコード及び名称を出力する。 |
| 資格者数 ※ | 資格者・援護費検索結果一覧画面にて選択した情報を出力する。 |
| 支払権者数 | 資格者・援護費検索結果一覧画面にて選択した情報を出力する。 |
| 算定基礎人数　※ | 資格者・援護費検索結果一覧画面にて選択した情報を出力する。 |
| 援護費対象者数 | 資格者・援護費検索結果一覧画面にて選択した情報を出力する。 |
| 受給資格者・援護費対象者数 | |
| 枝番号 | 資格者及び援護費資格者枝番号を出力する。<br>また、障害年金の本人が援護費対象者の場合は、「00」を出力する。 |
| 資格者氏名（カナ） | 資格者及び援護費資格者のカナ氏名を出力する。 |
| 代表者　※ | 対象者が代表者（支払権者）である場合に、「○」を出力する。 |
| 権者　※ | 対象者が権者（代表者も含む）である場合に、「○」を出力する。 |
| 算定基礎　※ | 算定基礎対象者である場合に、「○」を出力する。 |
| 同一生計　※ | 対象者が権者と同一生計である場合に、「○」を出力する。また、権者の場合も出力することとする。<br>（援護費資格者は出力しない。） |
| 障害有無　※ | 対象者に障害がある場合（年金資格者のみ対象）に、「○」を出力する。 |
| 援護費支給区分 | 対象者が援護費資格者である場合（失格者は除く）に、支給区分（1、3、5、7、8、9）を出力する。支給終了又は援護費転帰である場合に、「支給終了・転帰」を出力する。 |
| 失権・失格年月日 | 対象者（援護費資格者を除く）が失権／失格している場合に、年金の失権（格）年月日を出力する。<br>基本権取消の場合は、基本権取消入力日を出力する。 |

※遺族（補償）年金及び特別遺族年金のみ出力する。

ハ　　出力順

入力支払期時点又は当期支払期時点においての最新の資格者、援護費資格者情報を枝番号の昇順に出力する。（10 件／1 画面を出力する）

ニ　　画面遷移

「詳細」ボタンを押下すると、選択した情報を引き継いだ上で、「資格者・援護費検索（詳細）」へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(11)　資格者・援護費検索（詳細）

資格者・援護費概要検索結果概要画面で選択した受給資格者及び援護費資格者の詳細情報を表示する画面。

イ　　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 算定年月 | 資格者・援護費検索結果概要画面にて表示、選択した情報を出力する。 |
| 支払期時点 | 資格者・援護費検索結果概要画面にて表示、選択した情報を出力する。 |
| 年金証書番号 | 資格者・援護費検索結果概要画面にて表示、選択した情報を出力する。 |
| 管轄局署 | 資格者・援護費検索結果概要画面にて表示、選択した情報を出力する。 |
| 枝番号 | 資格者・援護費検索結果概要画面にて表示、選択した情報を出力する。 |
| 代表者・権者・算定基礎 | 該当するメッセージを下記のとおり出力する。<br>代表者払、権者払の支払権者の場合<br>・・・「代表者・権者・算定基礎」<br>支払権者以外の場合　・・・「権者・算定基礎」<br>算定基礎対象者の資格者の場合　・・・「算定基礎」 |
| 資格者氏名（カナ） | 資格者及び援護費資格者のカナ氏名を出力する。 |
| 資格者氏名（漢字） | 対象者が権者の場合、漢字氏名を出力する。<br>（外国払いの場合は出力対象外） |
| 生年月日 | 資格者及び援護費資格者の生年月日を出力する。 |
| 続柄 | 被災者との続柄のコード及びコードに対応した文言を出力する。<br>「配偶者」「子」「孫」「兄弟姉妹」「養父母」「祖父母」「実父母」 |
| 性別 | 性別のコード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 年齢 | 算定年月時点の年齢を出力する。 |
| 指定年齢到達年月 | 該当する場合に出力する。<br>＜18 歳未満で障害なしの資格者である場合＞<br>18 歳の誕生日が平成 8 年 4 月 2 日以降のものについては、<br>・「18 歳到達年月　ＸＸＸＸ年　3 月」を出力する。<br>上記以外については、<br>・「18 到達年月　ＸＸＸＸ年ＸＸ月」を出力する。<br>＜55 歳以上 60 歳未満で障害なしの資格者である場合＞<br>・「60 歳到達年月　ＸＸＸＸ年ＸＸ月」を出力する。<br>＜算定基礎人数＝1 で妻が 55 歳未満の場合＞<br>・「妻 55 歳到達年月　ＸＸＸＸ年ＸＸ月」を出力する。 |
| 同一生計 | 対象者が権者と同一生計である場合又は、対象者が権者の場合に「あり」を出力し、同一生計でない場合は「なし」を出力する。 |
| 障害あり・診断書要否 | 障害ありの場合、「障害あり・診断書要」又は「障害あり・診断書否」を出力する。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 失権・失格年月日 | 対象者が失権／失格している場合に、年金の失権（格）年月日を出力する。基本権取消の場合は、基本権取消入力日を出力する。 |
| 失権・失格事由 | 対象者が失権／失格している場合に、年金の失権（格）事由のコード及びコードに対応した文言を出力する。<br>・「1：死亡」<br>・「2：婚姻」<br>・「3：養子縁組」<br>・「4：離縁」<br>・「5：障害無」<br>・「6：同一生計無」<br>・「8：１８歳失権」<br>基本権取消の場合は、基本権取消入力日を出力する。 |
| 行方不明年月 | 対象者が行方不明による支給停止の場合に出力する。 |
| 年金証書再発行回数 | 年金証書を再発行している場合、再発行回数を出力する。 |
| 年金証書再発行支払期 | 年金証書を再発行した支払期年月を出力する。 |
| 年金証書再発行事由 | 年金証書再発行事由のコード及びコードに対応した文言を出力する。<br>・「1：汚損」<br>・「2：紛失」<br>・「3：盗難」<br>・「9：その他」 |
| 援護費支給区分 | 援護費資格者の場合に、支給区分コード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 援護費学年区分 | 援護費資格者の場合に、支給区分コード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 援護費開始年月 | 援護費資格者の場合に、支給開始年月を出力する。 |
| 援護費終了年月 | 援護費資格者の場合に、支給終了予定年月を出力する。 |
| 援護費中断・復帰年月 | 援護費資格者の場合<br>・援護費が中断した場合、中断した年月を出力する。<br>・援護費が復帰した場合、復帰した年月を出力する。<br>（算定年月以前の最新状態を出力する） |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 援護費中断・復帰事由 | 援護費資格者の場合<br>・援護費が中断した場合、中断事由のコード及びコードに対応した文言を出力する。<br>・援護費が復帰した場合、復帰事由のコード及びコードに対応した文言を出力する。<br>（算定年月時点の最新状態を出力する） |
| 援護費転帰年月 | 援護費資格者の場合<br>・援護費が転帰している場合、援護費の転帰年月を出力する。<br>・援護費支給期間中で年金基本権の転帰により援護費支給が終了した場合は、年金転帰年月の翌月を出力する。ただし、年金基本権の転帰が支払期の終月である場合は年金転帰年月を出力する。<br>（基本権取消の場合は、基本権取消の入力年月を出力する） |
| 援護費転帰事由 | 援護費資格者の場合<br>・援護費が転帰している場合、援護費の転帰事由コード及びコードに対応した文言を出力する。<br>・援護費支給期間中で年金基本権の転帰により援護費支給が終了した場合は、’年金転帰’を出力する。<br>（基本権取消も含む） |

ハ　　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「資格者・援護費検索（概要）」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(12)　追・回検索（詳細）

追・回検索結果一覧画面で選択した支払期年月について追給額、回収額の詳細情報を表示する画面。

イ　　検索画面




| | | 年金 | 特別年金 | 援護費 |
|---|---|---|---|---|
| 支払済額 | 月額（初月） | 999,999,999円 | 999,999,999円 | 999,999,999円 |
| | （中月） | 999,999,999円 | 999,999,999円 | 999,999,999円 |
| | （終月） | 999,999,999円 | 999,999,999円 | 999,999,999円 |
| | （終月の翌月） | | | 999,999,999円 |
| 正当額 | 月額（初月） | 999,999,999円 | 999,999,999円 | 999,999,999円 |
| | （中月） | 999,999,999円 | 999,999,999円 | 999,999,999円 |
| | （終月） | 999,999,999円 | 999,999,999円 | 999,999,999円 |
| | （終月の翌月） | | | 999,999,999円 |
| 差引額 | 月額（初月） | +999,999,999円 | -999,999,999円 | +999,999,999円 |
| | （中月） | +999,999,999円 | -999,999,999円 | +999,999,999円 |
| | （終月） | +999,999,999円 | -999,999,999円 | +999,999,999円 |
| | （終月の翌月） | | | +999,999,999円 |
| 追・回額 | | +999,999,999円 | -999,999,999円 | +999,999,999円 |

ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 年金証書番号 | 年金証書番号を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署のコード及び名称を出力する。 |
| 時効調整 | 時効調整している場合、「あり」を出力し、時効調整していない場合は、「なし」を出力する。 |
| 援護費改定 | 援護費月額改定されている場合、「あり」を出力し、援護費月額改定されていない場合、「なし」を出力する。 |
| 追給・回収情報 | |
| 支払期 | 追・回検索結果一覧画面で選択した支払期年月を出力する。 |
| 支払期時点 | 入力支払期年月を出力する。入力支払期年月を省略した場合は、検索入力日の属する支払期年月を出力する。 |
| 支払済額合計 | 追給又は回収前の給付月額（初月＋中月＋終月）を出力する。<br>（【年金＋特別年金＋援護費】の合計額） |
| 正当額合計 | 追給又は回収後の給付月額（初月＋中月＋終月）を出力する。<br>（【年金＋特別年金＋援護費】の合計額） |
| 差引額合計 | 追給又は回収後から、追給又は回収前を差し引いた額を出力する。<br>（【年金＋特別年金＋援護費】の合計額） |
| 支払済額<年金><br>月額（初月）<br>（中月）<br>（終月） | 該当支払期における追・回前の給付月額を出力する。<br>該当支払期が平成８年10月支払期以降である場合は（中月）は出力しない。 |
| 支払済額<特別年金><br>月額（初月）<br>（中月）<br>（終月） | 該当支払期における追・回前の給付月額を出力する。該当支払期が平成８年10月支払期以降である場合は（中月）は出力しない。 |
| 支払済額<援護費><br>月額（初月）<br>（中月）<br>（終月）<br>（終月の翌月） | 該当支払期における追・回前の給付月額を出力する。<br>該当支払期が平成８年10月支払期以降である場合は（中月）、（終月の翌月）は出力しない。 |
| 正当額<年金><br>月額（初月）<br>（中月）<br>（終月） | 該当支払期における追・回後の給付月額を出力する。<br>該当支払期が平成８年10月支払期以降である場合は（中月）は出力しない。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 追給・回収情報 | |
| 正当額<特別年金><br>月額（初月）<br>（中月）<br>（終月） | 該当支払期における追・回後の給付月額を出力する。<br>該当支払期が平成８年10月支払期以降である場合は（中月）は出力しない。 |
| 正当額<援護費><br>月額（初月）<br>（中月）<br>（終月）<br>（終月の翌月） | 該当支払期における追・回後の給付月額を出力する。<br>該当支払期が平成８年10月支払期以降である場合は（中月）、（終月の翌月）は出力しない。 |
| 差引額<年金><br>月額（初月）<br>（中月）<br>（終月） | 追・回後給付月額から追・回前給付月額を差し引いた額を出力する。<br>追給の場合は金額の左に「＋」を出力する。<br>回収の場合は金額の左に「－」を出力する。<br>該当支払期が平成８年10月支払期以降である場合は（中月）は出力しない。 |
| 差引額<特別年金><br>月額（初月）<br>（中月）<br>（終月） | 追・回後給付月額から追・回前給付月額を差し引いた額を出力する。<br>追給の場合は金額の左に「＋」を出力する。<br>回収の場合は金額の左に「－」を出力する。<br>該当支払期が平成８年10月支払期以降である場合は（中月）は出力しない。 |
| 差引額<援護費><br>月額（初月）<br>（中月）<br>（終月）<br>（終月の翌月） | 追・回後給付月額から追・回前給付月額を差し引いた額を出力する。<br>追給の場合は金額の左に「＋」を出力する。<br>回収の場合は金額の左に「－」を出力する。<br>該当支払期が平成８年10月支払期以降である場合は（中月）、（終月の翌月）は出力しない。 |
| 追・回額<年金> | 差引額（初月・中月・終月）の合計額を出力する。<br>追給の場合は金額の左に「＋」を出力する。<br>回収の場合は金額の左に「－」を出力する。 |
| 追・回額<特別年金> | 差引額（初月・中月・終月）の合計額を出力する。<br>追給の場合は金額の左に「＋」を出力する。<br>回収の場合は金額の左に「－」を出力する。 |
| 追・回額<援護費> | 差引額（初月・中月・終月・終月の翌月）の合計額を出力する。<br>追給の場合は金額の左に「＋」を出力する。<br>回収の場合は金額の左に「－」を出力する。 |

注）特別遺族年金の場合は、特別年金と援護費の各項目はブランク出力する。

ハ　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「追・回検索（一覧）」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(13)　氏名・住所・支払先検索（詳細）

氏名・住所・支払先検索結果一覧画面で選択した効力開始年月時点の氏名・住所・支払先情報の詳細を表示する画面。

イ　　検索画面

＜銀行振込の場合＞



＜ゆうちょ振込の場合＞


氏名・住所・支払先検索結果詳細画面(SC_NJKNNO_33) - Microsoft Internet Explorer
労働基準行政システム
氏名・住所・支払先検索結果詳細画面
平成20年 1月 1日 12:10
年金証書番号
013700100
管轄局署
0101:札幌中央
生年月日
昭和41年 4月 1日
支払権者数
1人
氏名情報
受給権者氏名
労災 太郎
受給権者氏名（カナ）
ﾛｳｻｲ ﾀﾛｳ
入力局署
0101:札幌中央
氏名入力年月日
平成20年 8月 1日
住所情報
郵便番号
〒079-1101
都道府県
00:北海道
受給権者住所
赤平市共和９２
電話番号
000-000-0000
入力局署
0101:札幌中央
住所入力年月日
平成20年 8月 1日
支払先情報
支払方法
3:郵便振込
郵便局コード
970660
郵便局名
赤平郵便局
記号番号
1979001202991
入力局署
0101:札幌中央
支払先入力年月日
平成20年 8月 1日
戻る
終了

＜窓口現金の場合＞


氏名・住所・支払先検索結果詳細画面(SC_NJKNNO_33) - Microsoft Internet Explorer
労働基準行政システム
氏名・住所・支払先検索結果詳細画面
平成20年 1月 1日 12:10
年金証書番号
095720063
管轄局署
0901:宇都宮
生年月日
昭和41年 4月 1日
支払権者数
1人
氏名情報
受給権者氏名
労災 太郎
受給権者氏名（カナ）
ﾛｳｻｲ ﾀﾛｳ
入力局署
0901:宇都宮
氏名入力年月日
平成20年 8月 1日
住所情報
郵便番号
〒321-2116
都道府県
09:栃木県
受給権者住所
宇都宮市徳次郎町４１５ 山王団地８６棟５０８号
電話番号
000-000-0000
入力局署
0901:宇都宮
住所入力年月日
平成20年 8月 1日
支払先情報
支払方法
5:現金払い
郵便局コード
070560
郵便局名
徳次郎郵便局
入力局署
0901:宇都宮
支払先入力年月日
平成20年 8月 1日
戻る
終了

＜外国送金の場合＞


氏名・住所・支払先検索結果詳細画面(SC_NJKNNO_33) - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
リンク
労働基準行政システム
氏名・住所・支払先検索結果詳細画面
平成20年 1月 1日 12:10
年金証書番号
123456789
管轄局署
9999:上石神井
生年月日
昭和41年 4月 1日
支払権者数
1人
氏名情報
受給権者氏名
労災 太郎
受給権者氏名（カナ）
ﾛｳｻｲ ﾀﾛｳ
入力局署
9999:上石神井
氏名入力年月日
平成20年 8月 1日
住所情報
外国名
840:U.S.A
住所
LOS ANGELES 11 99
入力局署
9999:上石神井
住所入力年月日
平成20年 8月 1日
支払先情報
支払方法
7:外国払い
金融機関名
BANK OF AMERICA
店舗名
LOS ANGELES
SWIFT(BIC)コード
99999999999
所在地
LOS ANGELES 9999-9 A C
口座番号
12345678901234567890123 45
入力局署
9999:上石神井
支払先入力年月日
平成20年 8月 1日
戻る
終了

ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | | 内　　容 |
|---|---|---|
| 年金証書番号 | | 年金証書番号を出力する。 |
| 生年月日 | | 被災者生年月日を出力する。 |
| 管轄局署 | | 管轄局署コード及び名称を出力する。 |
| 支払権者数 | | 最新（効力開始年月時点）の支払権者数を出力する。 |
| 氏名情報 | | |
| | 受給権者氏名 | 支払権者氏名を出力する。 |
| | 受給権者氏名（カナ） | 支払権者のカナ氏名を出力する。 |
| | 入力局署 | 支払権者氏名を入力した局署のコード及びコードに対応した名称を出力する。 |
| | 氏名入力年月日 | 支払権者氏名を入力した日を出力する。 |
| 住所情報 | | |
| | 郵便番号 | 支払権者の郵便番号を出力する。<br>※外国払いの場合は、「郵便番号」「都道府県」の代わりに「外国名」を出力する。 |
| | 都道府県 | 支払権者の都道府県名を出力する。<br>※外国払いの場合は、「郵便番号」「都道府県」の代わりに「外国名」を出力する。 |
| | 受給権者住所 | 支払権者の住所を出力する。 |
| | 電話番号 | 支払権者の電話番号を出力する。 |
| | 入力局署 | 支払権者氏名を入力した局署のコード及びコードに対応した名称を出力する。 |
| | 住所入力年月日 | 支払権者住所を出力した日を出力する。 |
| 支払先情報＜銀行振込＞ | | |
| | 支払方法 | 「1：口座振込」を出力する。 |
| | 金融機関コード<br>金融機関名<br>店舗名<br>預金の種類<br>口座番号 | 該当支払期において、実際に支払を行った金融機関情報を出力する。 |
| | 入力局署 | 支払先を入力した局署のコード及びコードに対応した名称を出力する。 |
| | 支払先入力年月日 | 支払先を入力した日を出力する。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| ＜ゆうちょ振込＞ | |
| 支払方法 | 「3：郵便振込」を出力する。 |
| 郵便局コード<br>郵便局名<br>記号番号 | 該当支払期において、実際に支払を行った郵便局情報を出力する。 |
| 入力局署 | 支払先を入力した局署のコード及びコードに対応した名称を出力する。 |
| 支払先入力年月日 | 支払先を入力した日を出力する。 |
| ＜窓口現金＞ | |
| 支払方法 | 「5：現金払い」を出力する。 |
| 郵便局コード<br>郵便局名 | 該当支払期において、実際に支払を行った郵便局情報を出力する。 |
| 入力局署 | 支払先を入力した局署のコード及びコードに対応した名称を出力する。 |
| 支払先入力年月日 | 支払先を入力した日を出力する。 |
| ＜外国払い＞ | |
| 支払方法 | 「7：外国払い」を出力する。 |
| 金融機関名<br>店舗名<br>SWIFT(BIC)コード<br>所在地<br>口座番号 | 該当支払期において、実際に支払を行った金融機関情報を出力する。 |
| 入力局署 | 支払先を入力した局署のコード及びコードに対応した名称を出力する。 |
| 支払先入力年月日 | 支払先を入力した日を出力する。 |

注）外国払いの「氏名」「住所」「金融機関情報」については、アルファベットで出力する。

ハ　　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「氏名・住所・支払先検索（一覧）」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(14)　定期報告検索

入力された年金証書番号に該当する定期報告書の提出情報を、年金定期報告書情報、援護費定期報告提出対象者ごとに、それぞれ枝番号順に出力する画面。

イ　　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 年金証書番号 | 入力した年金証書番号を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署のコード及び名称を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 定期報告提出時期 | 被災者生年月日が１月から６月の場合は、’６月定期報告提出対象者’と出力する。<br>被災者生年月日が７月から１２月の場合は、’１０月定期報告提出対象者’と出力する。 |
| 住民票コード | 障害（補償）年金で住民票コードを入力している場合、住民票コードを出力する。<br>傷病（補償）・遺族（補償）・特別遺族年金の場合は、出力しない。 |
| 年金定期報告書情報 | |
| 枝番号 | 遺族（補償）年金・特別遺族年金の場合は、支払権者枝番号を出力する。<br>傷病（補償）・障害（補償）年金の場合は、出力しない。 |
| 受給権者氏名 | 支払権者氏名を出力する。 |
| 受付年月日 | 年金の定期報告の受付年月日について次のとおり出力する。<br>①定期報告書が提出済である場合には、受付年月日を出力する。<br>②定期報告が未提出の場合は、「未提出」と出力する。<br>③年金が支給停止中の場合は、「支給停止」と出力する。<br>④定期報告未提出による支払差止中の場合は、「未提出差止」と出力する。<br>⑤所在不明による支払差止中の場合は、「所在不明差止」と出力する。<br>⑥転給の場合は、受付年月日を出力する。<br>⑦代表者選任又は代表者解任の場合は、受付年月日を出力する。<br>⑧差止解除又は支給停止解除の場合には、受付年月日を出力する。 |
| 電話番号 | 未提出である場合にのみ支払権者の電話番号を出力する。<br>提出済の場合は出力しない。<br>援護費の定期報告未提出が存在する場合には、提出済（年金）でも出力する。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 援護費定期報告提出対象者 | |
| 枝番号 | 援護費資格者枝番号を出力する。 |
| 在学者等氏名 | 援護費資格者氏名を出力する。 |
| 受付年月日 | 援護費の定期報告の受付年月日について次のとおり出力する。<br>①報告書（援護費）が提出済である場合には、受付年月日を出力する。<br>②定期報告（援護費）が未提出の場合は、「未提出」と出力する。<br>③定期報告（援護費）未提出による支払差止中の場合は、「未提出差止」と出力する。<br>④所在不明による支払差止中の場合は、「所在不明差止」と出力する。<br>⑤中断中の場合は、「中断中」と出力する。<br>⑥復帰、差止解除の場合は、受付年月日を出力する。<br>⑦支給が終了した場合は、「支給終了」を出力する。 |

注）特別遺族年金の場合は、援護費定期報告提出対象者は出力対象外。

ハ　検索範囲

受給者（在学者）の最新定期報告提出状況について出力する。

ニ　出力順

各年金定期報告提出対象者について枝番号の昇順に出力する。

援護費定期報告提出対象者について枝番号の昇順に出力する。

ホ　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「年金・一時金検索」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(15)厚年等情報検索（詳細）

厚年等情報検索結果一覧画面で選択した調整開始年月の厚年等情報の詳細を表示する画面。

イ　　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 年金証書番号 | 年金証書番号を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署のコード及び名称を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |
| 支給事由発生年月日 | 支給事由発生年月日を出力する。 |
| 区分 | 厚年等情報が１種の場合は「１種」、２種の場合は「２種」を出力する。 |
| 調整コード | 厚年等調整コード及びコードに対応する名称を出力する。<br>「0 調整済」<br>「1：調査中」<br>「2：請求中」<br>「3：不該当」<br>「4：未加入」<br>「5：請求拒否」<br>「6：支給停止」<br>「7：老齢選択」 |
| 種別 | 厚年等種別のコード及びコードに対応する名称を出力する。<br>「1：旧厚年」<br>「2：新厚国」<br>「3：旧船員」<br>「4：新厚年」<br>「5：旧国年」<br>「6：新国年」 |
| 厚年等年額 | 厚年等年額を出力する。 |
| 調整開始年月 | 厚年等調整開始年月を出力する。 |
| 入力年月 | 決定支払期を出力する。 |

ハ　　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「厚年等情報検索（一覧)」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

ニ　　特別遺族給付について

厚年等情報検索は、特別遺族給付に関して管理する項目がないので、実行した場合は、キャンセルとなる。

(16)一時金概要検索

入力されたデータ受付番号、または、年金証書番号に該当する、一時金支払情報、一時金住所情報、一時金支払先情報、一時金算定基礎情報、一時金受付情報を表示する画面。

イ　検索画面






ロ　　出力項目の説明（基本項目）

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| データ受付番号 | 【’20’＋’新旧区分（0：旧システムからの移行データ、1：新システムで入力したデータ)’＋’年金証書番号’＋’ＣＤ’＋’決議番号’＋’0000’】の 20 桁をデータ受付番号として出力する。訂正番号がある場合はデータ受付番号の右に’－（ハイフン)’＋’訂正番号’を出力する。 |
| 被災者氏名 | 被災者氏名を出力する。 |
| 請求書番号 | 入力したデータ受付番号又は年金証書番号に対応する請求書様式番号又は項目群番号のコード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 訂正履歴 | 入力した訂正番号以降（入力した訂正番号は含まない）に修正履歴情報が存在する場合には、「あり」を出力し、修正履歴情報が存在しない場合には、「なし」を出力する。 |
| 追回履歴 | 入力した訂正番号以降（入力した訂正番号は含まない）に追・回履歴が存在する場合には、「あり」を出力し、追・回履歴が存在しない場合には、「なし」を出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署のコード及び名称を出力する。 |
| 時効適用 | 時効の適用がある場合には、「あり」を出力し、適用していない場合には、「なし」を出力する。 |

ハ　出力項目の説明（支払）

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 一時金支払情報 | |
| 支給決定額<br><保険給付> | 保険給付の支給決定額を出力する。<br>（特別遺族の場合は、特別遺族給付金の支給決定額を出力する）<br>ただし、追給・回収事案の場合には変更決定後の支払額を変更決定額として出力する。<br>なお、0円の場合には出力しない。 |
| 支給決定額<br><特別一時金> | 特別一時金の支給決定額を出力する。<br>ただし、追給・回収事案の場合には変更決定後の支払額を変更決定額として出力する。<br>なお、0円の場合及び特別遺族の場合には出力しない。 |
| 支給決定額<br><定額の特別支給金> | 特別支給金の支給決定額を出力する。<br>ただし、追給・回収事案の場合には変更決定後の支払額を変更決定額として出力する。<br>なお、0円の場合及び特別遺族の場合には出力しない。 |
| 支給決定額<br><未支給の援護費> | 未支給の援護費の支給決定額を出力する。<br>ただし、追給・回収事案の場合には変更決定後の支払額を変更決定額として出力する。<br>なお、0円の場合及び特別遺族の場合には出力しない。 |
| 調整額<br><保険給付> | 【内払調整額（保険給付額）＋三者調整額】を出力する。<br>（特別遺族の場合は、【内払調整額（特別遺族給付金)】を出力する。）<br>なお、以下の場合は次のようになる。<br>・0円の場合は出力しない。<br>・追給・回収の場合には出力しない。<br>・【支給決定額＜調整額】の場合は支給決定額を出力する。 |
| 調整額<br><特別一時金> | 特別一時金の内払調整額を出力する。<br>なお、以下の場合は次のようになる。<br>・0円の場合は出力しない。<br>・追給・回収の場合には出力しない。<br>・【支給決定額＜調整額】の場合は支給決定額を出力する。<br>・特別遺族の場合には出力しない。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
| --- | --- |
| 一時金支払情報 | |
| 調整額<br><定額の特別支給金> | 定額の特別支給金の内払調整額を出力する。<br>なお、以下の場合は次のようになる。<br>・０円の場合は出力しない。<br>・追給・回収の場合には出力しない。<br>・【支給決定額＜調整額】の場合は支給決定額を出力する。<br>・特別遺族の場合には出力しない。 |
| 支払額<br><保険給付> | 状況に応じて以下のように出力する。<br>・支払額の場合は【支給決定額－調整額】を出力する。<br>・回収額の場合は回収額を出力する。<br>・追給額の場合は追給額を出力する。 |
| 支払額<br><特別一時金> | 状況に応じて以下のように出力する。<br>・支払額の場合は【支給決定額－調整額】を出力する。<br>・回収額の場合は回収額を出力する。<br>・追給額の場合は追給額を出力する。<br>・特別遺族の場合には出力しない。 |
| 支払額<br><定額の特別支給金> | 状況に応じて以下のように出力する。<br>・支払額の場合は【支給決定額－調整額】を出力する。<br>・回収額の場合は回収額を出力する。<br>・追給額の場合は追給額を出力する。<br>・特別遺族の場合には出力しない。 |
| 支払額<br><未支給の援護費> | 状況に応じて以下のように出力する。<br>・支払額の場合は【支給決定額－調整額】を出力する。<br>・回収額の場合は回収額を出力する。<br>・追給額の場合は追給額を出力する。<br>・特別遺族の場合には出力しない。 |
| 支払額合計<br>又は<br>追給額合計<br>又は<br>回収額合計 | 状況に応じて以下にように出力する。<br>・支払額の場合は『支払額合計』を出力し、【保険給付、特別一時金、定額の特別支給金、未支給の援護費】の支払額の合計を出力する。<br>・追給額の場合は『追給額合計』を出力し、【保険給付、特別一時金、定額の特別支給金、未支給の援護費】の追給額の合計を出力する。<br>・回収額の場合は『回収額合計』を出力し、【保険給付、特別一時金、定額の特別支給金、未支給の援護費】の回収額の合計を出力する。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 一時金住所情報 | |
| 受給権者氏名 | 受給権者氏名（漢字）が登記されている場合には、受給権者氏名（漢字）を出力し、登記されていない場合には、出力しない。 |
| 都道府県コード<br>郵便番号<br>受給権者住所 | 受給権者の住所情報が登記されている場合には、受給権者の住所（郵便番号・都道府県名・住所）を出力し、登記されていない場合には、出力しない。 |
| 一時金支払先情報 | |
| 支払年月日 | 支給決定額又は追給額を実際に支払った日を出力する。支払がない場合には、ブランク出力する。 |
| 新・旧コード | 新年度・旧年度コードに対応した文言を出力する。<br>・新年度の場合は、「新年度」と出力する。<br>・旧年度の場合は、「旧年度」と出力する。 |
| 委任・未支給 | 未支給、委任、未支給の委任の別を状況に応じ下記のとおり出力する。<br>・委任の場合は、「委任」と出力する。<br>・未支給の場合は、「未支給」と出力する。<br>・未支給の委任の場合は、「未支給の委任」と出力する。 |
| 支払方法 | 支払方法のコードに対応した文言を出力する。<br>「銀行振込」、「当地払」、「送金払」、「外国払」 |
| 金融機関コード | 該当支払期において、実際に支払を行った金融機関情報（金融機関コード）を出力する。 |
| 金融機関名 | 該当支払期において、実際に支払を行った金融機関情報（金融機関名称）を出力する |
| 店舗名 | 該当支払期において、実際に支払を行った金融機関情報（店舗名称）を出力する |
| 預金の種類 | 該当支払期において、実際に支払を行った金融機関情報（預金の種類）を出力する |
| 口座番号 | 該当支払期において、実際に支払を行った金融機関情報（口座番号）を出力する |

ニ　　出力項目の説明（算定基礎）

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 実額入力事案算定基礎 | 実額入力がある場合は、「あり」を出力し、実額入力がない場合は、「なし」を出力する。 |
| 三・事等調整 | 三・事等調整のコード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 生年月日 | 被災者生年月日を出力する。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 傷病年月日 | 傷病年月日を出力する。<br>（特別遺族の場合は、死亡年月日を出力する） |
| 支給事由発生年月日 | 支給事由発生年月日又は転帰年月日を出力する。<br>（特別遺族の場合は、請求年月日（受付年月日）を出力する） |
| 特別加入者 | 特別加入である場合に、特別加入者コード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 平均賃金 | 平均賃金を出力するが、特別支給金の申請の場合は、「0円」を出力する。<br>定額の特別支給金の場合及び特別遺族の場合は、出力対象外。 |
| 特別給与の総額 | 特別給与の総額を出力するが、特別支給金の申請の場合は、「0円」を出力する。<br>定額の特別支給金の場合及び特別遺族の場合は、出力対象外。 |
| スライド率 | スライド率を出力する。<br>（特別遺族の場合は、出力対象外） |
| 給付基礎日額 | 一時金給付基礎日額を出力するが、特別支給金の申請の場合は、「0円」を出力する。<br>定額の特別支給金の場合及び特別遺族の場合は、出力対象外。 |
| 算出方法 | 一時金給付事由コード及びコードに対応した文言を出力する。<br>定額の特別支給金の場合及び特別遺族の場合は、出力対象外。 |
| 算定基礎日額 | 一時金算定基礎日額を出力するが、特別支給金の申請の場合は、「0円」を出力する。<br>定額の特別支給金の場合及び特別遺族の場合は、出力対象外。 |
| 算出方法 | 一時金算定事由コード及び、コードに対応した文言を出力する。<br>定額の特別支給金の場合及び特別遺族の場合は、出力対象外。 |
| 給付日数 | 給付日数を出力する。<br>（特別遺族の場合は、出力対象外） |
| 療養開始年月日 | 療養開始年月日を出力する。<br>（特別遺族の場合は、出力対象外） |
| 障害等級号 | 障害（補償）給付の場合、等級号を出力する。 |
| 併合８級 | 併合８級コードが設定されている場合に、「あり」を出力し、設定されていない場合は、「なし」を出力する。 |
| 併合調整の定額特支金 | 併合調整の定額特支金を出力する。<br>併合調整の定額特支金がない場合及び特別遺族の場合は、出力対象外。 |
| 既存障害区分・等級 | 既存障害ありの場合、【’既存障害区分’＋’－（ハイフン)’＋’既存障害等級’】を出力する。 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 既存年金証書番号 | 既存年金証書番号が設定されている場合には、既存年金証書番号を出力する。 |
| 重大過失 | 重大過失事案の場合、「あり」を出力し、重大過失事案でない場合は、「なし」を出力する。 |
| 成消給付 | 成消給付事案の場合、「あり」を出力し、成消給付事案でない場合は、「なし」を出力する。 |
| 滞納制限率 | 滞納制限率を出力する。 |
| 特別支給金のみ申請 | 特別支給金のみ申請事案の場合、「あり」を出力し、特別支給金のみ申請事案でない場合は、「なし」を出力する。 |
| 三者コード | 三者コードが設定されている場合、コードに対応した文言を出力する。<br>「自賠先行」、「労災先行」、「その他」<br>（特別遺族の場合は、出力対象外） |
| 受領日 | 三者受領年月日が設定されている場合は、三者受領年月日を出力する。<br>（特別遺族の場合は、出力対象外） |
| 受領額 | 三者損賠受領額が設定されている場合は、三者損賠受領額を出力する。<br>（特別遺族の場合は、出力対象外） |
| 前給付過払額（保険給付） | 「訂正番号＝00」の場合のみ、前年金転帰時の保険給付の内払残額を出力する。<br>ただし、債権とした場合は何も出力しない。<br>金額が 0 円の場合は、「0 円」と出力する。 |
| 前給付過払額（特支金） | 「訂正番号＝00」の場合のみ、前年金転帰時の特別支給金の内払残額を出力する。<br>ただし、債権とした場合は何も出力しない。<br>金額が 0 円の場合は、「0 円」と出力する。<br>（特別遺族の場合は、出力対象外） |
| 休業内払額（保険給付） | 「訂正番号＝00」の場合のみ、保険給付の休業内払額を出力する。<br>ただし、債権とした場合は何も出力しない。<br>金額が 0 円の場合は、「0 円」と出力する。<br>（特別遺族の場合は、出力対象外） |
| 休業内払額（特支金） | 「訂正番号＝00」の場合のみ、特別支給金の休業内払額を出力する。<br>ただし、債権とした場合は何も出力しない。<br>金額が 0 円の場合は、「0 円」と出力する。<br>（特別遺族の場合は、出力対象外） |

ホ　出力項目の説明（受付）

| 項　目　名 | 内　容 |
|---|---|
| 入力局署 | 入力局署のコード及び、コードに対応した名称を出力する。<br>本省入力の場合は、「6001：本省」を出力する。 |
| 入力枚数 | 帳票入力枚数を出力する。 |
| 請求人氏名 | 請求人氏名を出力する。 |
| 様式番号 | 請求書様式番号又は項目群番号のコード及び、コードに対応した文言を出力する。 |
| 実行コード | 実行コード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 受付年月日 | 受付年月日が設定されている場合は、受付年月日を出力する。 |
| 変更内容 | 変更内容コード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 受付処理年月日 | 受付処理を行った日を出力する。 |
| 帳票種別 | 帳票種別コード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 決議書出力年月日 | 最新の決議書出力年月日を出力する。 |
| 決議書種類 | コード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 決議書破棄年月日 | 決議書破棄年月日を出力する。 |
| 出力回数 | 最新の決議書出力回数を出力する。 |
| 決定年月日 | 支給・変更決定年月日を出力する。 |
| 処理区分 | 処理区分コード及びコードに対応した文言を出力する。 |
| 決議書入力年月日 | 決議書入力年月日を出力する。 |
| 帳票入力年月日 | 帳票入力年月日を出力する。 |
| 調査年月日<br>調査コード<br>復命書番号 | 調査書情報がある場合、調査年月日、調査コード、復命書番号を出力する。 |
| 労働保険番号 | 労働保険番号を出力する。 |
| 旧データ受付番号 | 旧データ受付番号を出力する。<br>（平成 7 年 7 月以前に振出された【‘管轄局署コード’＋‘－’＋‘9桁のデータ受付番号’】） |

ヘ　検索範囲

入力した年金証書番号又はデータ受付番号に該当する最新の一時金情報を出力する。

ト　出力順

一時金支払情報、一時金住所情報、一時金支払先情報、一時金算定基礎情報、一時金受付情報の順に出力する。

チ　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「年金・一時金検索」画面をへ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

リ　留意点

・支給決定が行われていない場合は、一時金受付情報の項目及び一時金算定基礎情報の項目（支給事由発生年月日、生年月日、傷病年月日）のみ出力する。

・一時金受付情報の出力項目（一時金算定基礎情報の項目を一部含む）は、入力したタイミングによって以下のとおり出力する。

| 項　目　名 | 受付処理 | 登記処理 | 決議処理 |
|---|---|---|---|
| 入力局署 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 入力枚数 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 請求人氏名 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 様式番号 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 支給事由発生年月日 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 実行コード | ◎ | ◎ | ◎ |
| 受付年月日 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 変更内容 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 受付処理年月日 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 帳票種別 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 決議書出力年月日 | × | ◎ | ◎ |
| 決議書種類 | × | ◎ | ◎ |
| 決議書破棄年月日 | × | ● | × |
| 出力回数 | × | ◎ | ◎ |
| 決定年月日 | × | × | ◎ |
| 処理区分 | × | × | ◎ |
| 決議書入力年月日 | × | × | ◎ |
| 帳票入力年月日 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 調査年月日 | × | × | ● |
| 調査コード | × | × | ● |
| 復命書番号 | × | × | ● |
| 労働保険番号 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 生年月日 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 傷病年月日 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 旧データ受付番号 | ● | ● | ● |

◎・・・常に出力　●該当データが存在する場合のみ出力　×・・・常に出力しない

（17） 一時金訂正履歴検索（詳細）

一時金訂正履歴検索結果一覧画面で選択した訂正番号に関する、一時金の追給・回収履歴情報、及び訂正履歴情報の詳細を表示する画面。

イ　　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| データ受付番号 | 【’20’＋’新旧区分（0：旧システムからの移行データ、1：新システムで入力したデータ)’＋’年金証書番号’＋’ＣＤ’＋’決議番号’＋’0000’】の 20 桁をデータ受付番号として出力する。 |
| 管轄局署 | 管轄局署のコード及び名称を出力する。 |
| 履歴情報 | |
| 訂正番号 | 一時金訂正履歴検索結果一覧画面にて選択した訂正番号を出力する。 |
| 訂正項目 | 訂正した項目についての項目番号及び項目名称を出力する。 |
| 訂正前内容 | 訂正前の項目内容を出力する。 |
| 訂正後内容 | 訂正後の項目内容を出力する。 |
| 決議項目名 | 追給の場合は、「追給決議」を出力する。<br>回収の場合は、「回収決議」を出力する。 |
| 追回番号 | 追給額又は回収額が発生した場合に、1 から昇順に振り出した番号（追・回番号）を出力する。 |
| 変更決定日 | 訂正入力の決定年月日を出力する。 |
| 保険給付額 | 追給の場合は、追給額を出力する。<br>回収の場合は、回収額を出力する。<br>回収額登記を行った場合は、登記した回収額を出力する。 |
| 特別支給金額 | 追給の場合は、追給額を出力する。<br>回収の場合は、回収額を出力する。<br>回収額登記を行った場合は、登記した回収額を出力する。 |
| 特別一時金 | 追給の場合は、追給額を出力する。回収の場合は、回収額を出力する。<br>回収額登記を行った場合は、登記した回収額を出力する。 |
| 支払年月日 | 追給の場合は、支払年月日を出力する。<br>ただし、支払日が取り消されている場合は、「支払日取消」と出力する。 |
| 支払方法 | 追給の場合は、支払方法のコード及びコードに対応した文言を出力する。<br>・「1：銀行振込」<br>・「3：当地払」<br>・「5：送金払」<br>・「7：外国払」 |
| 新・旧コード | 追給の場合、新年度・旧年度コードにより以下のように出力する。<br>・新年度の場合は、「1：新年度予算」と出力<br>・旧年度の場合は、「3：旧年度予算」と出力 |

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 回収データ | |
| 回収年月日 | 回収額登記を行った場合は、その年月日を出力する。 |
| 保険給付額 | 保険給付額の回収額登記を行った場合は、登記した回収額を出力する。 |
| 特別支給金額 | 特別支給金額の回収額登記を行った場合は、登記した回収額を出力する。 |
| 特別一時金 | 特別一時金の回収額登記を行った場合は、登記した回収額を出力する。 |
| 新・旧４月コード | 新年度・旧年度コードにより以下のように出力する。<br>・新年度の場合は、「新年度」と出力<br>・旧年度の場合は、「旧年度」と出力 |

ハ　出力順

回収データは回収年月日の降順に出力する。

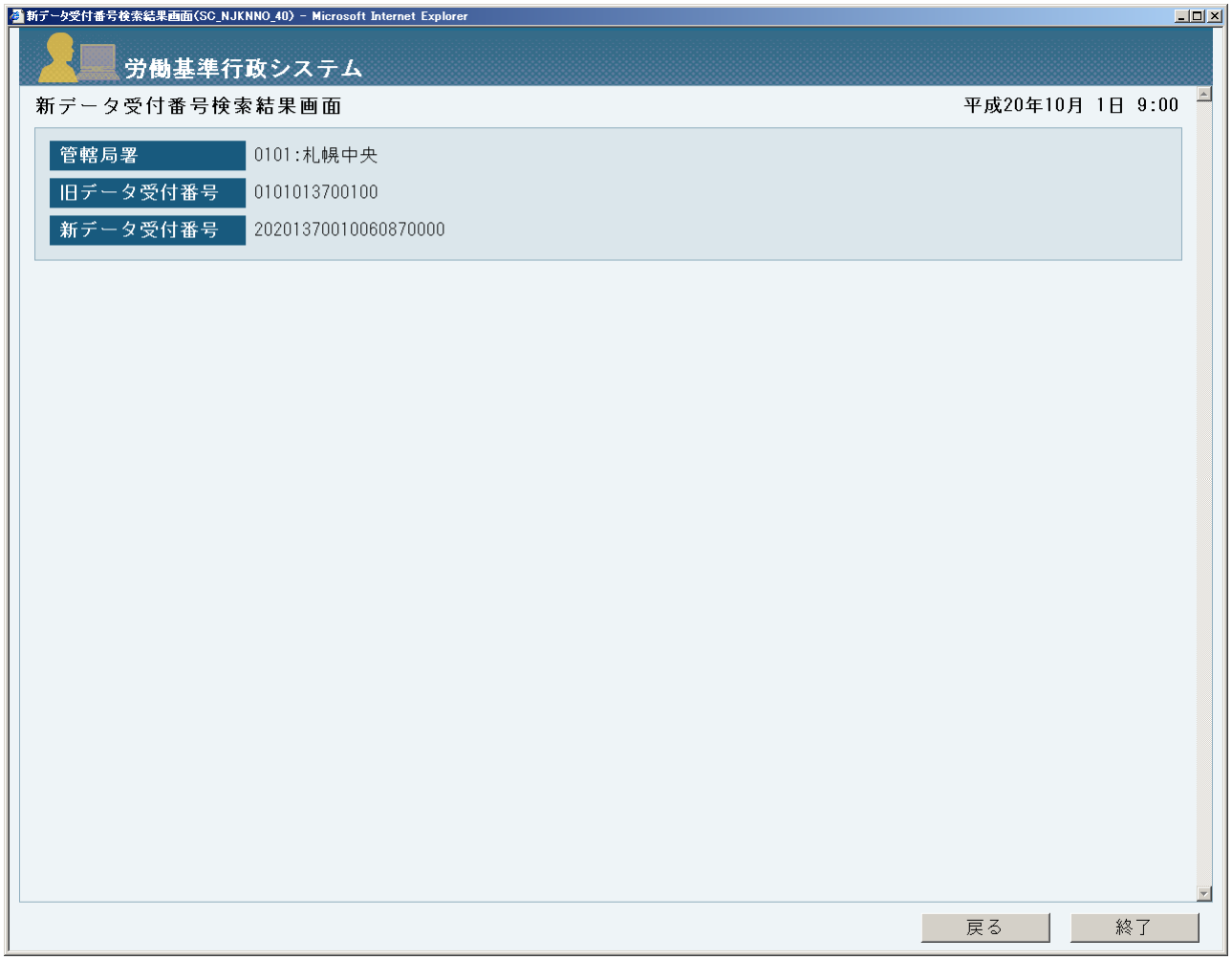
ニ　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「一時金訂正履歴検索（一覧）」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

(18)新データ受付番号検索

入力された旧データ受付番号（管轄局署＋データ受付番号）に対応する新データ受付番号を表示する画面

イ　検索画面



ロ　　出力項目の説明

| 項　　目　　名 | 内　　容 |
|---|---|
| 管轄局署 | 入力したデータ受付番号の管轄局署（1～4 桁目）のコード及び名称を出力する。 |
| 旧データ受付番号 | 入力したデータ受付番号の旧データ受付番号（平成 7 年 7 月以前に振出された管轄局署コード 4 桁＋受付番号 9 桁）を出力する。 |
| 新データ受付番号 | 入力した旧データ受付番号に対応する新データ受付番号（20 桁）を出力する。 |

ハ　　検索範囲

データベース（D／B）で管理している範囲内で出力する。

ニ　　出力画面

入力した旧データ受付番号に対応する新データ受付番号を出力する。

ホ　　画面遷移

「戻る」ボタンを押下すると、「年金・一時金検索」画面へ遷移する。「終了」ボタンを押下すると、ウィンドウを閉じる。

# Ⅶ

# メッセージ一覧

# 【情報メッセージ】

| 項番 | メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|---|
| 1 | IN_00001 | (IN_00001) {0}（帳票種別：{1}）をセットして OK ボタンを押下してください。 |
| 2 | IN_00002 | (IN_00002) {0}処理を終了しました。 |
| 3 | IN_00003 | (IN_00003) 管轄局署{0}の「{1}」の配信要求を受け付けました。 |
| 4 | IN_00004 | (IN_00004) 「{0}」及び「{1}」の配信要求を取り消しました。 |
| 5 | IN_00005 | (IN_00005) {0}します。 |
| 6 | IN_00006 | (IN_00006) {0}しますか？ |
| 7 | IN_00007 | (IN_00007) {0}しました |
| 8 | IN_00008 | (IN_00008) 「前支払期」以外のものが存在します。再確認してください。 |
| 9 | IN_00009 | (IN_00009) 転帰していません。再確認してください。 |
| 10 | IN_00010 | (IN_00010) 「年金担保融資」の支払期です。 |

# 【業務警告メッセージ】

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| WN_00002 | (WN_00002) 当該請求は時効対象となる期間を含んでいます |
| WN_00004 | (WN_00004) 【平均賃金≧25000】です。再確認してください |
| WN_00005 | (WN_00005) 被災者の年齢が１５歳未満です。再確認してください |
| WN_00006 | (WN_00006) 被災者の年齢が８０歳を超えています。再確認してください |
| WN_00007 | (WN_00007) 「休業内払額（保険給付)」が半年分を超えています |
| WN_00008 | (WN_00008) 「休業内払額（特支金)」が半年分を超えています |
| WN_00009 | (WN_00009) 【平均賃金＝最低保障額】です。再確認してください |
| WN_00010 | (WN_00010) 既存が業務上年金で「既存年証番号」が入力されていません |
| WN_00011 | (WN_00011) 併合で「併合繰上等の定額特支金」に入力がありません |
| WN_00014 | (WN_00014) 【既存等級≠既存年証番号の等級】です。 |
| WN_00015 | (WN_00015) 平均賃金額の確認を要します。 |
| WN_00016 | (WN_00016) システム化以前の「定額特支金」を差し引いてください |
| WN_00017 | (WN_00017) 「時効」のため不支給とします。不支給決議を行ってください |
| WN_00018 | (WN_00018) 既に適用外・業務外・管轄外のため不支給となります |
| WN_00019 | (WN_00019) 「重複請求」により不支給とします。不支給決議を行ってください |
| WN_00021 | (WN_00021) 定期報告入力期間外の受付です。 |
| WN_00023 | (WN_00023) 資格者（{0}）は被災者と「生年月日」が同一です |
| WN_00024 | (WN_00024) 資格者（{0}）は被災者と「氏名」が同一です |
| WN_00025 | (WN_00025) 資格者（{0}）と被災者の年齢差を再確認してください |
| WN_00026 | (WN_00026) 支払権者が「若年停止」のため年金は支給停止となります |
| WN_00027 | (WN_00027) 基本権の年金が不支給です。不支給決議を行ってください |
| WN_00028 | (WN_00028) 年金の支給後の請求です。既支給金を差し引きます |
| WN_00029 | (WN_00029) 年金との同時請求です |
| WN_00030 | (WN_00030) 年金支給決定から１年以上経過しています |
| WN_00031 | (WN_00031) 「平均賃金」が短期の内容と異なります |
| WN_00032 | (WN_00032) 「特別給与の総額」が短期の内容と異なります |
| WN_00033 | (WN_00033) 「被災者性別」が短期の内容と異なります |
| WN_00034 | (WN_00034) 「重大過失」が短期の内容と異なります |
| WN_00035 | (WN_00035) 「特別加入者コード」が短期の内容と異なります |
| WN_00036 | (WN_00036) 「療養開始年月日」が短期の内容と異なります |
| WN_00037 | (WN_00037) 「死亡年月日（短)」が登記されていません |
| WN_00038 | (WN_00038) 【支給事由発生年月日＜休業期間末日（短)】です |
| WN_00039 | (WN_00039) 「治ゆ年月日（短)」「再発年月日（短)」が不整合です |
| WN_00040 | (WN_00040) 「療養の給付請求書（５号)」が未入力です |
| WN_00041 | (WN_00041) 「死亡年月日（短)」が登記されています |
| WN_00042 | (WN_00042) 短期再発年月日登記済で三者入力があります。確認してください |
| WN_00043 | (WN_00043) 権者で行方不明による年金支給停止中の人がいます |
| WN_00044 | (WN_00044) 権者で年金支払差止中の人がいます |
| WN_00045 | (WN_00045) 現在転給が未処理状態です |
| WN_00046 | (WN_00046) 行方不明による年金支給停止中です |
| WN_00047 | (WN_00047) 援護費も差し止められます |
| WN_00048 | (WN_00048) 変更する厚年等調整額が前後の履歴と同じです |
| WN_00050 | (WN_00050) 【失権差額一時金＝0】のため、不支給となります |
| WN_00051 | (WN_00051) 【支給事由発生年月日≠死亡年月日（短)】です |
| WN_00054 | (WN_00054) 併合以外で「併合繰上等の定額特支金」に入力があります |
| WN_00056 | (WN_00056) 転帰済のため「未支給金」になります |
| WN_00057 | (WN_00057) 転帰済のため「債権」になります。 |
| WN_00058 | (WN_00058) 資格者（{0}）は「生年月日」が胎児と同一です |
| WN_00059 | (WN_00059) 請求すべき請求人と異なります |
| WN_00061 | (WN_00061) 資格者（{0}）は「氏名」が胎児と同一です |
| WN_00062 | (WN_00062) 既に支給終了しています（{0}） |
| WN_00063 | (WN_00063) 援護費資格者（{0}、{1}）は「氏名」が同一です |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| WN_00064 | (WN_00064) 夫の年齢が 18 歳未満です。再確認してください |
| WN_00065 | (WN_00065) 妻の年齢が 16 歳未満です。再確認してください |
| WN_00066 | (WN_00066) 援護費資格者（{0}、{1}）は「生年月日」が同一です |
| WN_00070 | (WN_00070) 統計情報が登録済内容と異なります。再確認してください |
| WN_00071 | (WN_00071) 年金給付基礎日額が援護費支給の限度を超えています |
| WN_00072 | (WN_00072) 支払方法が「外国払」です。再確認してください |
| WN_00073 | (WN_00073) 未支給金が発生していません。不支給決議を行ってください |
| WN_00074 | (WN_00074) 援護費資格者（{0}）を、取り消しました |
| WN_00075 | (WN_00075) 資格者（{0}）は援護費資格者でもあります |
| WN_00076 | (WN_00076) 資格者（{0}）を取消しました |
| WN_00077 | (WN_00077) 資格者（{0}）を追加しました |
| WN_00078 | (WN_00078) 支給区分に対応する通常の年齢と異なります（{0}） |
| WN_00079 | (WN_00079) 援護費が支給されなくなります{0} |
| WN_00080 | (WN_00080) 支給区分に対応する通常の支給終了年月が異なります（{0}） |
| WN_00081 | (WN_00081) 全員失権（年金転帰）になります |
| WN_00082 | (WN_00082) 転給未処理状態になります |
| WN_00083 | (WN_00083) 援護費定期報告入力期間外の受付です |
| WN_00084 | (WN_00084) 「年金給付」「短期給付」がともに存在しません |
| WN_00086 | (WN_00086) 先順位者の厚年等が「請求中」で調整です |
| WN_00087 | (WN_00087) 先順位者の厚年等が「調査中」で未調整です |
| WN_00088 | (WN_00088) 「前払選択日数」を訂正したため、再決議となります |
| WN_00090 | (WN_00090) 一時金給付額がありません。不支給決議を行ってください |
| WN_00092 | (WN_00092) 管轄局署と労働保険番号の管轄（1）が異なります |
| WN_00093 | (WN_00093) 管轄局署と労働保険番号の管轄（2）が異なります |
| WN_00095 | (WN_00095) 「処理区分（短）」が適用外・業通外・管轄外です |
| WN_00096 | (WN_00096) 休業（補償）給付が存在しません |
| WN_00097 | (WN_00097) 診療費又は費用の給付が存在しません |
| WN_00098 | (WN_00098) 【支給事由発生年月日＜診療療養期間末日（短）】です |
| WN_00099 | (WN_00099) 【支給事由発生年月日＜費用療養期間末日（短）】です |
| WN_00100 | (WN_00100) 障害年金の「業務上死亡」を再確認してください |
| WN_00101 | (WN_00101) 再発年月日（短）が登記済で支給制限に入力があります |
| WN_00102 | (WN_00102) 支払事故が発生しています。決議入力後本省に連絡してください |
| WN_00103 | (WN_00103) 「援護費定期報告未提出」です。提出を促してください |
| WN_00105 | (WN_00105) 転帰を取り消しました |
| WN_00106 | (WN_00106) 前払一時金の支給事由発生年月日も訂正してください |
| WN_00107 | (WN_00107) 葬祭料の支給事由発生年月日も訂正してください |
| WN_00108 | (WN_00108) 遺族給付の支給事由発生年月日も訂正してください |
| WN_00109 | (WN_00109) 未支給金・失権差額金の支給事由発生日も訂正してください |
| WN_00110 | (WN_00110) 前年金の転帰年月日も訂正してください |
| WN_00111 | (WN_00111) 次給付の支給事由発生年月日も訂正してください |
| WN_00112 | (WN_00112) 基本権の年金の支給事由発生年月日も訂正してください |
| WN_00113 | (WN_00113) 基本権の年金の転帰年月日も訂正してください |
| WN_00114 | (WN_00114) 【支給事由発生年月日≠診療又は費用療養期間終月（短）】です |
| WN_00115 | (WN_00115) 【支給事由発生年月日≠休業期間終月（短）】です |
| WN_00116 | (WN_00116) 【再発年月日（短）＞治ゆ年月日（短）】です |
| WN_00117 | (WN_00117) 支払権者は「若年停止中です」{0}。 |
| WN_00121 | (WN_00121) 【再発年月日（短）＜治ゆ年月日（短）】です |
| WN_00122 | (WN_00122) 「治ゆ年月日（短）」が登記されていません |
| WN_00123 | (WN_00123) 【支給事由発生年月日≦治ゆ年月日（短）】です |
| WN_00124 | (WN_00124) 【支給事由発生年月日≦再発年月日（短）】です |
| WN_00127 | (WN_00127) 「被災者氏名」が短期の内容と異なります。確認してください |
| WN_00128 | (WN_00128) 「管轄局署」が短期の内容と異なります。確認してください |
| WN_00129 | (WN_00129) 「業通別」が短期の内容と異なります。確認してください |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| WN_00130 | (WN_00130) 「既存年金証書番号」が存在しません。確認してください |
| WN_00132 | (WN_00132) 実額訂正事案となるため本省に連絡してください |
| WN_00135 | (WN_00135) 一時金支払前の訂正です。 |
| WN_00136 | (WN_00136) 受付から１ヶ月以上経過しています |
| WN_00138 | (WN_00138) 「年金定期報告」が未提出です。提出を促してください |
| WN_00139 | (WN_00139) 一番年下の受給権者が支払権者ではありません |
| WN_00140 | (WN_00140) 支給できる日数が「200 日分」未満のため、不支給とします |
| WN_00141 | (WN_00141) 受付から 6 ヶ月以上経過しています |
| WN_00142 | (WN_00142) 【支給終了（予定）年月＞１８歳失権年月日】です（{0}） |
| WN_00144 | (WN_00144) 「障害一時金」の支給決定を職権で行ってください |
| WN_00146 | (WN_00146) 前年金の「援護費情報」を引き継ぎました |
| WN_00147 | (WN_00147) 前年金の「援護費過誤払額」を引き継ぎました |
| WN_00148 | (WN_00148) 「再発再治ゆ」で同一短期キー内に障害一時金が存在しません |
| WN_00149 | (WN_00149) 資格者（{0}）の年齢と枝番号を再確認してください |
| WN_00150 | (WN_00150) 【支給事由発生日＜S61.4】で【厚年種別＝2･4･6】です |
| WN_00151 | (WN_00151) 【支給事由発生日≧S61.4】で【厚年種別＝1･3･5】です |
| WN_00152 | (WN_00152) 必ず職権で 18 歳失権をしてください |
| WN_00153 | (WN_00153) 前給付過誤払の調整残額を局へ債権発生報告してください |
| WN_00154 | (WN_00154) 資格者（{0}）は必ず職権で 18 歳失権してください |
| WN_00155 | (WN_00155) 過去に給付があるため定額特支金の支給決定額を確認してください |
| WN_00156 | (WN_00156) 過去に傷病年金を給付しているため「定額特支金」は不支給です |
| WN_00157 | (WN_00157) 上順位者が存在するため「上順位者の転給」を行ってください |
| WN_00158 | (WN_00158) 直前に休業（補償）給付が存在しません |
| WN_00159 | (WN_00159) 【休業給付の終了年月＞傷病（補償）年金の支給事由年月】です |
| WN_00160 | (WN_00160) 過去の他給付訂正に伴う追給の有無を確認してください |
| WN_00161 | (WN_00161) 失権差額一時金に追・回が生じました。本省に連絡してください |
| WN_00162 | (WN_00162) 旧システム移行前のため失権差額一時金を確認してください |
| WN_00163 | (WN_00163) 未払いの未支給年金が発生しています。本省に連絡してください |
| WN_00164 | (WN_00164) 年金{0}　特年{1}　援護{2} |
| WN_00165 | (WN_00165) 【口座名義人≠請求人氏名】です |
| WN_00166 | (WN_00166) 【口座名義人≠被災者氏名】です |
| WN_00167 | (WN_00167) 単独請求のため決議書は今月末までに入力してください |
| WN_00168 | (WN_00168) 金融機関は【{0}】廃止予定です |
| WN_00169 | (WN_00169) 郵便局は【{0}】廃止予定です |
| WN_00170 | (WN_00170) 定期報告書の送付を確認してください |
| WN_00171 | (WN_00171) 遺族年金との同時入力です |
| WN_00172 | (WN_00172) 遺族一時金との同時入力です |
| WN_00173 | (WN_00173) 葬祭料との同時入力です |
| WN_00174 | (WN_00174) 厚年等種別と厚年等年金コードを確認してください |
| WN_00175 | (WN_00175) 当年度受付分は A6 月 B10 月以降で入力してください |
| WN_00176 | (WN_00176) 支給開始年月≠前支給終了年月の翌月です（{0}） |
| WN_00177 | (WN_00177) 当年度受付年月日は 6 月以降で入力してください |
| WN_00178 | (WN_00178) 再発事案で三者情報に入力があります。内容を確認してください |
| WN_00179 | (WN_00179) 前給付過誤払額が保留状態になっています |
| WN_00180 | (WN_00180) 障害等級号が適用期間外です |
| WN_00181 | (WN_00181) 追給額は継続中年金の支払となります。本省へ連絡してください |
| WN_00182 | (WN_00182) この追給額は最新年金の支払となります。本省へ連絡してください |
| WN_00183 | (WN_00183) この追給額の支払方法については本省へ連絡して確認してください |
| WN_00185 | (WN_00185) 一時金支払後の支払先情報訂正です |
| WN_00186 | (WN_00186) 未支給年金との同時入力です |
| WN_00187 | (WN_00187) 失権差額一時金との同時入力です |
| WN_00188 | (WN_00188) 前払調整残額【{0}】が発生しています。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| WN_00189 | (WN_00189) 前給付で前払調整残額が発生しています。本省に連絡してください |
| WN_00190 | (WN_00190) 前払調整残額【{0}】 |
| WN_00191 | (WN_00191) 前給付で前払調整残額【{0}】が発生しています。 |
| WN_00192 | (WN_00192) 援護費に未支給が発生しています |
| WN_00193 | (WN_00193) 支出については（目）労災就学等援護費で支出してください。 |
| WN_00194 | (WN_00194) 【支給事由発生年月日＜治ゆ年月日（短)】です |
| WN_00195 | (WN_00195) 【支給事由発生年月日＞治ゆ年月日（短)】です |
| WN_00196 | (WN_00196) 【支給事由発生年月日＜再発年月日（短)】です |
| WN_00197 | (WN_00197) 【支給事由発生年月日＞再発年月日（短)】です |
| WN_00198 | (WN_00198) 「再発年月日（短)」が登記されていません |
| WN_00199 | (WN_00199) 「治ゆ年月日（短)」と支給事由発生年月日が同一です |
| WN_00200 | (WN_00200) 前給付の前払調整残額を引継ぎました |
| WN_00201 | (WN_00201) 前払引継額【{0}】 |
| WN_00202 | (WN_00202) 前給付に前払調整残額がないため、引継ぎは行われません |
| WN_00203 | (WN_00203) 「郵便番号」と「都道府県コード」が不整合。確認してください |
| WN_00204 | (WN_00204) 死亡労働者等の死亡年月日が法の適用外のため、不支給とします。 |
| WN_00205 | (WN_00205) 法の施行日から 6 年を経過しているので、不支給とします。 |
| WN_00206 | (WN_00206) 法に定められた請求期限を超えているので、不支給とします。 |
| WN_00207 | (WN_00207) 指定した検索キーに該当するデータが{0}件を超えました。検索条件を絞り込んでください。 |
| WN_00208 | (WN_00208) 労災で時効となっていないため、特別遺族給付は不支給とします。 |
| WN_00209 | (WN_00209) 船員に対する事案です。 |
| WN_00210 | (WN_00210) 船員に対する事案への訂正処理です。 |
| WN_00211 | (WN_00211) 船員に対する事案でない４キーへの訂正処理です。 |

# 【業務エラーメッセージ】

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00001 | (EN_00001) {0}は入力不可項目です。 |
| EN_00002 | (EN_00002) 【受付年月日＜変更年月日】です。 |
| EN_00004 | (EN_00004) 「年金証書番号」又は、データ受付番号が存在しません。 |
| EN_00005 | (EN_00005) 「訂正変更年月（{0}）」が他の「訂正変更年月（日）」と同一ではありません。 |
| EN_00006 | (EN_00006) 年金が既に転帰しているため、転帰後訂正、転帰取消、基本権取消以外の年金にかかる処理はできません。 |
| EN_00007 | (EN_00007) データに不整合が生じているため本省に連絡してください。 |
| EN_00008 | (EN_00008) 当支払期に行政裁量が入力されているため前払一時金の登録・変更・訂正は入力できません。入力の必要がある場合には本省に連絡してください。 |
| EN_00010 | (EN_00010) 前履歴と変更の内容が同一です。変更内容を再確認してください。 |
| EN_00011 | (EN_00011) 枝番号と不整合になるため、「障害の有無」は入力できません。<br>続柄が「妻」又は「18 歳未満の子供又は兄弟姉妹」以外の資格者は、障害の有無を無→有に訂正できません。訂正の必要があれば資格者の取消・追加により処理してください。 |
| EN_00012 | (EN_00012) 不支給・不変更を要求したにもかかわらず処理区分に「01 支給」・「01 変更」が入力されています。 |
| EN_00013 | (EN_00013) 等級等情報・資格者情報訂正において、項番{0}の変更年月が支給事由発生年月より前です。 |
| EN_00015 | (EN_00015) 援護費の登記処理において、決議済決議番号より前の決議番号の登記はできません。このため、決議済決議番号より前の決議番号の受付を取り消したうえで再び受付から処理してください。 |
| EN_00018 | (EN_00018) 【傷病年月日＞支給事由発生年月日】です。 |
| EN_00019 | (EN_00019) 【受付年月日＜支給事由発生年月日】です。 |
| EN_00020 | (EN_00020) 直近の「支給区分」のみ訂正できます。過去の支給区分を訂正する必要がある場合は、それ以降の全ての支給区分を取り消したうえで訂正してください。 |
| EN_00021 | (EN_00021) 「学年区分」、「支給終了（予定）年月」に訂正の「選択コード：9」は入力できません。「支給区分」を取消すことにより処理してください。 |
| EN_00022 | (EN_00022) 【調査年月日＞決定年月日】です。 |
| EN_00023 | (EN_00023) 処理の対象となる年金種別に該当する「様式番号」ではありません。様式番号を確認してください。 |
| EN_00024 | (EN_00024) 【変更年月日≦支給事由発生年月日】です。 |
| EN_00025 | (EN_00025) 年金が未決議状態のため定期報告（年金・援護費）の処理はできません。決議を行った後に入力してください。 |
| EN_00026 | (EN_00026) 翌支払期分の入力はできません。締切日以降に入力してください。<br>効力開始年月が入力支払期の終月より後です（翌月入力）。翌支払期に入力してください。 |
| EN_00027 | (EN_00027) 「労働保険番号」が存在しません。労働保険番号を確認してください。 |
| EN_00028 | (EN_00028) 「平均賃金」が登録済の「平均賃金」と異なります。確認してください。登録済の平均賃金が誤っている場合には、「被災者算定情報」により訂正したうえで再度入力してください。 |
| EN_00029 | (EN_00029) 「特別給与の総額」が登録済の「特別給与の総額」と異なります。確認してください。登録済の特別給与の総額が誤っている場合には、「被災者算定情報」により訂正したうえで、再度入力してください。 |
| EN_00030 | (EN_00030) 「被災者性別」が登録済の「被災者性別」と異なります。確認してください。登録済の被災者性別が誤っている場合には、「被災者共通情報」により訂正したうえで再度入力してください。 |
| EN_00031 | (EN_00031) 「重大過失コード」が登録済の「重大過失コード」と異なります。登録済の重大過失コードが誤っている場合には、「被災者算定情報」により訂正したうえで再度入力してください。 |
| EN_00032 | (EN_00032) 「特加コード」が登録済の「特加コード」と異なります。登録済の特別加入者コードが誤っている場合には、「被災者算定情報」又は「被災者共通情報」により訂正したうえで再度入力してください。 |
| EN_00033 | (EN_00033) 「療養開始年月日」が登録済の「療養開始年月日」と異なります。登録済の療養開始年月日が誤っている場合には、「被災者算定情報」により訂正したうえで再度入力してください。 |
| EN_00034 | (EN_00034) 登録済の「平均賃金」の情報が存在しないため引用できません。平均賃金を入力してください。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00035 | (EN_00035) 【請求人氏名≠被災者氏名】です。<br>傷病（補償）年金・障害（補償）給付・障害（補償）年金前払一時金の登録において「請求人・申請人」が被災労働者ではありません。申請人・請求人に被災労働者の氏名を入力してください。 |
| EN_00036 | (EN_00036) 登録済の「被災者性別」の情報が存在しないため引用できません。被災者性別を入力してください。 |
| EN_00037 | (EN_00037) 「成消給付コード」が登録済の「成消給付コード」と異なります。確認してください。登録済の成消給付コードが誤っている場合には、本省に連絡してください。 |
| EN_00038 | (EN_00038) 労災就労保育には「学年」は入力できません。 |
| EN_00039 | (EN_00039) 登録済の「療養開始年月日」が存在しないため引用できません。療養開始年月日を入力してください。 |
| EN_00040 | (EN_00040) 指定された支払方法に登録済の「口座情報」が存在しないため引用できません。口座情報を入力してください。 |
| EN_00041 | (EN_00041) 管轄の監督署ではありません。管轄の監督署から入力してください。 |
| EN_00042 | (EN_00042) 【請求人氏名＝被災者氏名】です。<br>遺族（補償）給付、葬祭料（給付）、死亡転帰による失権差額一時金・未支給金の登録において「申請人・請求人氏名」に被災労働者は入力できません。正しい申請人・請求人氏名を入力してください。 |
| EN_00043 | (EN_00043) 前払一時金の「支給事由発生年月日」が基本権たる年金と異なります。支給事由発生年月日を確認してください。 |
| EN_00044 | (EN_00044) 「金融機関コード」が存在しません。又は、廃止されています。他の支払先を受給者に選択させてください。 |
| EN_00045 | (EN_00045) 転給未処理の状態のため、援護費差止・解除、支給停止解除（同時決議）、転給以外の処理はできません。転給後に入力してください。 |
| EN_00046 | (EN_00046) 続柄が「子供」以外の在学者の「支給終了（予定）年月」がその在学者の 18 歳失権（格）年月を越えています。支給終了（予定）年月を 18 歳失権（格）年月にしてください。 |
| EN_00047 | (EN_00047) 受付年月日に対して未来日付の「三者損賠受領年月日」は入力できません。確認してください。 |
| EN_00048 | (EN_00048) 前払情報の訂正において､「データ受付番号」が前払一時金の給付ではありません。正しいデータ受付番号を入力してください。 |
| EN_00049 | (EN_00049) 傷病・障害（補償）年金において【特別年金＋傷病差額特別年金＋定額の特支金＝0】のため、休業内払額（特支金）の入力はできません。 |
| EN_00050 | (EN_00050) 支給事由発生年月日が療養開始年月日から 3 年を経過しているため「滞納制限」は入力できません。 |
| EN_00051 | (EN_00051) 等級等情報の訂正において、訂正後の「既存障害区分」と「既存障害等級」の組み合わせが異なります。 |
| EN_00052 | (EN_00052) 「既存障害年証番号」が存在しません。<br>入力された年金証書番号が存在しないため、確認してください。 |
| EN_00053 | (EN_00053) 「併合 8 級コード」に入力があるにもかかわらず障害等級が「0820」ではありません。 |
| EN_00054 | (EN_00054) 登録において「委任・未支給」に入力のある場合には､「請求人・申請人氏名」は必須入力です。 |
| EN_00055 | (EN_00055) 登録済の「特別給与の総額」が存在しないため引用できません。「特別給与の総額」を入力してください。 |
| EN_00056 | (EN_00056) 重大過失コード「3（事業主過失)」は特別加入コード「11（中小事業主等)」の場合のみ入力可能です。 |
| EN_00058 | (EN_00058) 「データ受付番号」に誤りがあります。決議番号、年金種別を確認してください。 |
| EN_00060 | (EN_00060) 「傷病年月日」が労働保険関係の成立前・消滅後です。「成消給付コード」に「1（成立前・消滅後)」又は「5（成消・新規)」を入力してください。 |
| EN_00061 | (EN_00061) 事業場が労災保険に加入していません。 |
| EN_00063 | (EN_00063) 既に年金給付で被災労働者の死亡が登録されているため、傷病（補償）年金・障害（補償）給付の登録はできません。 |
| EN_00064 | (EN_00064) 一時金給付についての休業情報・前払情報訂正において、既に当該一時金が支払済のため入力はできません。 |
| EN_00065 | (EN_00065) 「被災者生年月日」が登録済の「被災者生年月日」と異なります。登録済の被災者生年月日が誤っている場合には､「短期キー情報」により訂正したうえで再度入力してください。 |
| EN_00066 | (EN_00066) 情報の項目の組合せが異なります。入力項目を再度確認してください。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00067 | (EN_00067) 一時金給付において、【休業内払額（特支金）＞特別一時金＋定額の特支金】であるため、休業内払額（特別支給金）は入力できません。 |
| EN_00069 | (EN_00069) 厚年等種別に対応する厚年等年金コードと異なります。厚年種別又は厚年等年金証書番号が正しいか確認してください。 |
| EN_00070 | (EN_00070) 受給権者（{0}）に「同一生計の有無」の入力はできません。<br>遺族（補償）年金の年金入力票において、メッセージで指定された資格者は、受給権者であるため同一生計の無は入力できません。遺族（補償）年金の受給権者には、同一生計は有を入力してください。 |
| EN_00071 | (EN_00071) 上記の資格者（{0}）の「氏名」「生年月日」が被災労働者と同一です。氏名・生年月日を確認してください。 |
| EN_00072 | (EN_00072) 三者コードが「1 自賠先行」で､三者損賠受領額、三者損賠受領年月日に入力がない、又は三者コードが「3 労災先行又は 5 その他」で三者損賠受領額、及び､三者損賠受領年月日に入力があります。 |
| EN_00073 | (EN_00073) 資格者が 16 人を超えています。17 人以上登録する必要がある場合には本省に連絡してください。 |
| EN_00074 | (EN_00074) 決議書入力年月日が入力した支払期内ではありません。年金における休業情報の訂正は、支給決定を入力した支払期内のみ入力ができます。 |
| EN_00075 | (EN_00075) 障害（補償）年金において、被災労働者は特別加入者であり定額の特別支給金が「0 円」であるため、「休業内払額（特別支給金)」は入力できません。 |
| EN_00076 | (EN_00076) 転給者（{0}）が資格者に登録されていません。確認してください。ただし、胎児出生の場合を除きます。 |
| EN_00077 | (EN_00077) 変更年月日の「日」まで入力してください。 |
| EN_00078 | (EN_00078) 「4 キー」又は「年金キー」の項目がたりません<br>4 キーで入力のあった場合、「労働保険番号」「傷病年月日」「被災者生年月日」「被災者氏名」に入力がない、又は年金キーで入力のあった場合、「年金証書番号」「被災者生年月日」に入力がありません。 |
| EN_00080 | (EN_00080) 「資格者（{0}）」は行方不明を事由とする支給停止のため、その資格者に対する処理は入力できません。入力する必要がある場合には、支給停止解除を入力後再度処理してください。 |
| EN_00081 | (EN_00081) 既支給額があるため前払選択日数分の前払一時金の登録はできません。<br>なお、前払限度日数分を請求する場合に前払選択日数に「9999」を入力してください。 |
| EN_00084 | (EN_00084) 「差止解除事由」には変更できません。<br>年金・援護費差止・解除事由が次の組合わせ以外です。<br>・年金差止事由が所在不明の場合、差止解除事由は「所在判明」である。<br>・年金・援護費差止事由が定期報告未提出の場合、差止解除事由は「その他の解除事由」である。 |
| EN_00085 | (EN_00085) 「資格者（{0}）」は支払権者ではないため、支払権者に対して行う変更・訂正の処理は入力できません。 |
| EN_00086 | (EN_00086) 訂正後の「4 キー」が既に存在します。訂正できません。なお、正しい場合には本省に連絡してください。 |
| EN_00087 | (EN_00087) 遺族（補償）給付・失権差額一時金・未支給金において、入力された口座情報が直前の年金の口座情報と同一です。なお、未支給年金については、直前の年金給付が死亡転帰した場合のみ、チェック対象となります。 |
| EN_00088 | (EN_00088) 厚年等受給関係変更において、「変更年月（日)」には「日」の入力はできません。変更年月を入力してください。 |
| EN_00089 | (EN_00089) 職権による登録、変更のための実行コード「7（不支給・不変更要求)」は入力できません。 |
| EN_00090 | (EN_00090) 支払履歴データが存在しません。本省に連絡してください。 |
| EN_00091 | (EN_00091) 支払方法と口座情報の組み合わせが異なっています。 |
| EN_00092 | (EN_00092) 厚年等情報訂正において、【変更年月日（{0}）＞転帰年月日】です。変更年月を修正後、再入力してください。 |
| EN_00093 | (EN_00093) 厚年等情報・等級等情報において、支給事由発生年月日の翌月を効力開始年月日とする履歴は取り消すことはできません。選択コード「1：訂正」で処理してください。 |
| EN_00094 | (EN_00094) 等級等情報・三者損賠情報・厚年等情報・資格者情報・支給停止情報については、転帰後訂正はできません。転帰を取り消した後で再度入力し直してください。なお、等級等情報、厚年等情報は、次給付が存在する場合には転帰後訂正が可能です。 |
| EN_00095 | (EN_00095) 続柄が「妻」以外の資格者については、「障害の状態」の履歴の追加・取消はできません。変更で処理してください。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00096 | (EN_00096) 資格者（{0}）は、訂正された失権（格）事由では、失権（格）しません。失権（格）事由を確認してください。<br>なお、訂正の必要がある場合には失権（格）取消で処理してください。 |
| EN_00097 | (EN_00097) 「被災者氏名」が登録済の「被災者氏名」と異なります。登録済の被災者氏名が誤っている場合には、「被災者共通情報」により訂正したうえで再度入力してください。 |
| EN_00098 | (EN_00098) 登録済の「被災者氏名」の情報が存在しないため引用できません。被災者氏名を入力してください。 |
| EN_00099 | (EN_00099) 給付の種類が未支給金、失権差額一時金以外でデータ受付番号の決議番号が「001」以外です。データ受付番号を確認してください。 |
| EN_00101 | (EN_00101) 厚年等情報・等級等情報の訂正処理における、履歴検索の探索期間の「いつまで」が転帰年月以降の日付となっています。正しい日付に直してください。 |
| EN_00102 | (EN_00102) 厚年等情報・等級等情報・資格者情報の訂正処理における、履歴検索の検索期間の「いつから」が支給事由発生年月日以前の日付となっています。正しい日付に直してください。 |
| EN_00103 | (EN_00103) 該当するデータは存在しません。 |
| EN_00106 | (EN_00106) 変更処理において、入力された「変更年月（日）」は既に登録されている同一様式番号の変更年月（日）より過去の日付のため入力できません。履歴の割り込みは、訂正処理の追加によって処理してください。 |
| EN_00107 | (EN_00107) 変更処理において、入力された「変更年月（日）」は既に登録されている同一様式番号の変更年月（日）より過去の日付のため入力できません。訂正により処理してください。 |
| EN_00108 | (EN_00108) 障害（補償）年金において、「既存障害区分」が「7：再発・再治ゆ」にもかかわらず過去に障害（補償）一時金が存在しません。既存障害情報を確認してください。<br>なお、傷病年月日が平成 3 年 1 月（一時金システム稼動）より前の場合は、チェックの対象外とします。 |
| EN_00109 | (EN_00109) 【傷病年月日≦被災者生年月日】です。確認してください。 |
| EN_00111 | (EN_00111) 【傷病（補償）年金の支給事由発生年月日＜療養開始年月日＋1 年 6 ヵ月の応答日】です。支給事由発生年月日を確認してください。 |
| EN_00112 | (EN_00112) 【傷病年月日＞療養開始年月日】です。確認してください。 |
| EN_00113 | (EN_00113) 差額一時金・未支給金において、【支給事由発生年月日≠基本権の年金の転帰年月日】です。確認してください。 |
| EN_00114 | (EN_00114) 【支給事由発生年月日＜療養開始年月日】です。確認してください。 |
| EN_00115 | (EN_00115) 【傷病年月日＜施行日】です。傷病年月日を確認してください。 |
| EN_00116 | (EN_00116) 【特別加入者から請求･申請された給付の傷病年月日＜施行日】です。なお、各給付の適用日は手引の別表を参照してください。 |
| EN_00118 | (EN_00118) 在学者（{0}）の「復帰・再入学年月日」は、登録されている中断年月日より前です。 |
| EN_00119 | (EN_00119) 特別加入者の「給付基礎日額」が特別加入コードと傷病年月日の関係から選択できない金額です。<br>なお、特別加入コードと傷病年月日による選択可能な給付基礎日額は手引の別表を参照してください。 |
| EN_00120 | (EN_00120) 遺族（補償）年金・葬祭料（給付）において、直前の年金の転帰事由が死亡ではありません。確認してください。 |
| EN_00122 | (EN_00122) 被災労働者の「性別」が女性のため、胎児出生の入力はできません。資格者が胎児であるか確認してください。 |
| EN_00124 | (EN_00124) 障害（補償）年金差額一時金・未支給金において、基本権の年金が転帰していません。なお、障害（補償）年金差額一時金については、転帰事由は「死亡」であることを確認してください。 |
| EN_00127 | (EN_00127) 在学者は援護費中断中のため援護費差止は入力できません。 |
| EN_00128 | (EN_00128) 援護費の差止は年金で入力してください。 |
| EN_00130 | (EN_00130) 既に同一年月（日）の変更履歴が存在するため訂正による追加はできません。登録されている変更履歴を訂正で取り消した後、追加で入力してください。 |
| EN_00131 | (EN_00131) 年金が継続中である場合の「債権選択」はできません。債権管理する必要がある場合には、本省に連絡してください。 |
| EN_00132 | (EN_00132) 援護費定期報告において、【支給開始年月＞受付年月】です。確認してください。 |
| EN_00133 | (EN_00133) 援護費の【支給開始年月＞支給終了（予定）年月】です。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00134 | (EN_00134) 厚年等情報の項目の組合せが異なります。 |
| EN_00135 | (EN_00135) 「群番号」と「項目番号」が不整合です（{0}、{1}）。確認してください。 |
| EN_00136 | (EN_00136) 項目番号{0}の変更履歴が存在しないため、選択コードに「訂正」、「取消」は入力できません。確認してください。 |
| EN_00137 | (EN_00137) 【変更年月日＞入力年月日】です。変更年月（日）を確認してください。 |
| EN_00139 | (EN_00139) 「支払差止中」です。差止解除をした後でないと定期報告入力票を入力はできません。 |
| EN_00140 | (EN_00140) 「枝番号（{0}）」が存在しません。枝番号を確認してください。 |
| EN_00141 | (EN_00141) 【処理区分＝{0}】に訂正できません。確認してください。なお、訂正可能な処理区分は不支給・不変更事由→不支給・不変更事由への訂正です。<br>支給から不支給又は不支給から支給への訂正は基本権取消事案となるため本省に連絡してください。 |
| EN_00142 | (EN_00142) 在学者（{0}）は援護費差止中のため援護費定期報告および援護費関係の入力はできません。差止解除後に入力してください。援護費差止・解除については手引を参照してください。 |
| EN_00143 | (EN_00143) 枝番号（{0}）の在学者は既に 18 歳以上であるため援護費の在学者ではありません。枝番号を確認してください。なお、続柄が「子供」の在学者は除きます。 |
| EN_00144 | (EN_00144) 支給区分に対応する学年ではありません。（{0}） |
| EN_00145 | (EN_00145) 続柄が「子供」である在学者（{0}）の「生年月日」が被災労働者の生年月日より前です。 |
| EN_00147 | (EN_00147) 在学者（{0}）の[支給開始年月」が、その在学者の直前の支給区分の支給終了（予定）年月以前です。 |
| EN_00148 | (EN_00148) 在学者（{0}）の「援護費変更年月」が、その在学者の支給開始年月より前です。 |
| EN_00149 | (EN_00149) 在学者（{0}）の「援護費変更年月」が、その在学者の支給終了（予定）年月より後です。 |
| EN_00151 | (EN_00151) 障害（補償）年金の 8 級以下への等級変更を職権で行なう障害（補償）一時金の登録であるにもかかわらず、請求キーが転帰した直前の障害（補償）年金証書番号ではありません。 |
| EN_00152 | (EN_00152) 就労保育者の「支給終了（予定）年月」の訂正により支給終了（予定）年月が在学者の 18 歳の誕生月（平成 8 年 4 月以後は 18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日）より後になります。18 歳の誕生月（平成 8 年 4 月以後は 18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日）までしか訂正できません。 |
| EN_00153 | (EN_00153) 【在学者の援護費支給事由発生年月≧支給開始年月】です。確認してください。 |
| EN_00154 | (EN_00154) 障害（補償）給付の登録において、請求キーが傷病（補償）年金の年金証書番号であるにもかかわらず直前の給付が傷病（補償）年金ではありません。 |
| EN_00156 | (EN_00156) 在学者の氏名又は生年月日が登録済の資格者の氏名又は生年月日と異なります。 |
| EN_00157 | (EN_00157) 訂正後の被災労働者の生年月日が年金給付基礎日額の算定に用いられる最高・最低限度額の計算年齢に影響するため「生年月日」（{0}）の訂正はできません。基本権取消事案となるため本省に連絡してください。 |
| EN_00158 | (EN_00158) 処理区分「支給・変更」から処理区分「不支給・不変更」への訂正はできません。基本権取消事案となるため本省に連絡してください。 |
| EN_00159 | (EN_00159) 年金入力票の「資格者１」に権者以外の枝番号が入力されました。 |
| EN_00160 | (EN_00160) 厚年等 2 種併合の組合せが「1：旧厚年・5：旧国年」、「3：旧船員・5：旧国年」以外です。 |
| EN_00161 | (EN_00161) 「資格者（{0}）」と「被災者」の年齢差に不整合が生じています。生年月日を確認してください。 |
| EN_00163 | (EN_00163) 「厚年等調整コード」が厚年等調整変更パターン以外です。厚年等調整変更パターンについては、手引を参照してください。 |
| EN_00164 | (EN_00164) 「厚年等種別」が厚年等種別変更パターン以外です。厚年等調整変更パターンについては、手引を参照してください。 |
| EN_00166 | (EN_00166) 履歴検索において、指定された検索期間内に該当する変更履歴が存在しません。検索期間を確認してください。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00167 | (EN_00167) 「三事等調整」が入力されていません。 |
| EN_00169 | (EN_00169) 実額が全て「０円」で入力されています。 |
| EN_00170 | (EN_00170) 「前払一時金」は訂正できません。 |
| EN_00171 | (EN_00171) 年金給付のため「実額（保険給付)」は訂正できません。 |
| EN_00172 | (EN_00172) 「実額（特別一時金)」は訂正できません。 |
| EN_00173 | (EN_00173) 「実額（定額特支金)」は訂正できません。 |
| EN_00174 | (EN_00174) 一時金の訂正において、「保険給付」「特別一時金」「定額の特別支給金」間に追給・回収が同時に発生するため訂正は行えません。 |
| EN_00175 | (EN_00175) 「受付年月日」の訂正で、時効になります。受付年月日を確認してください。<br>なお、受付年月日が正しい場合には基本権取消の必要があるため本省に連絡してください。 |
| EN_00176 | (EN_00176) 「傷病年月日」「支給事由発生年月日」は「日」の訂正以外はできません。<br>なお、「日」以外を訂正する必要がある場合は、基本権取消事案となるため、本省に連絡してください。 |
| EN_00177 | (EN_00177) 次給付が存在するため転帰取消はできません。次給付を基本権取消した後に転帰取消を入力してください。 |
| EN_00178 | (EN_00178) 転帰事由を死亡以外から死亡に訂正はできません。転帰取消・再転帰を行ってください。 |
| EN_00179 | (EN_00179) 「年金証書番号」は年金の給付ではありません。年金証書番号を確認してください。 |
| EN_00180 | (EN_00180) 「データ受付番号」は一時金ではありません。年金証書番号を確認してください。 |
| EN_00181 | (EN_00181) 履歴検索の検索期間において「いつから」が「いつまで」より後の日付となっています。 |
| EN_00182 | (EN_00182) 転給者は既に支払権者であるため転給処理はできません。 |
| EN_00183 | (EN_00183) 「資格者（{0}）」は失権（失格）しています。 |
| EN_00184 | (EN_00184) 既に支払権者が存在するため転給処理はできません。 |
| EN_00185 | (EN_00185) 胎児枝番号が間違っています。「11」～「19」で、登録されている資格者の中で一番大きい番号となります。 |
| EN_00186 | (EN_00186) 転給年月日が前支払権者の失権年月日と同一ではありません。転給年月日を確認してください。 |
| EN_00187 | (EN_00187) 転給すべき資格者の枝番号が間違っています。枝番号を確認してください。 |
| EN_00189 | (EN_00189) 胎児出生に伴う転給で転給年月日が胎児の生年月日ではありません。転給年月日に胎児の生年月日を入力してください。 |
| EN_00190 | (EN_00190) 胎児の生年月日が支給事由発生年月日から 11 ヶ月を越えています。11 ヶ月以内でなくては胎児として入力できません。 |
| EN_00191 | (EN_00191) 同一生計の有無が既に登録されている内容と同一です。 |
| EN_00192 | (EN_00192) 転給における同一生計の有無の「変更年月」が資格者の生年月日より前です。確認してください。 |
| EN_00193 | (EN_00193) 権者について同一生計の有無は入力できません。 |
| EN_00194 | (EN_00194) 転給に伴う三者損賠情報には、「労災先行」は入力できません。訂正における三者損賠情報の追加により対応してください。 |
| EN_00195 | (EN_00195) 「三者損賠受領年月日」が登録済の三者損賠受領年月日と異なります。三者損賠受領年月日を確認してください。登録済の三者損賠受領年月日が間違っている場合には、「三者損賠情報」により訂正したうえで再度入力してください。 |
| EN_00196 | (EN_00196) 三者受領年月日が年金の支給事由発生年月日より前です。確認してください。 |
| EN_00197 | (EN_00197) 三者損賠情報で「三者損賠調整開始年月」が傷病年月日から 3 年を経過しているため三者損賠情報は入力できません。 |
| EN_00198 | (EN_00198) 転給に伴う三者損賠情報で既存の三者損賠情報が入力されていないため三者損賠情報は入力できません。労災先行として三者損賠情報の追加により対応してください。 |
| EN_00199 | (EN_00199) 同順位者が６人以上又は１人のため、代表者解任入力による「権者払」への変更はできません。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00200 | (EN_00200) 援護費訂正において、在学者は年金の資格者でもあるため「氏名」の訂正は資格者情報訂正で行ってください。 |
| EN_00201 | (EN_00201) 援護費において、支給（変更）決定年月日が調査年月日より前です。日付を確認してください。 |
| EN_00202 | (EN_00202) 援護費の決議書が出力されていません。又は取り消されています。 |
| EN_00203 | (EN_00203) 援護費において､「決議書出力回数」がシステムで管理している回数と異なります。当該処理において最後に出力された決議書を入力してください。 |
| EN_00204 | (EN_00204) 援護費において､「決定年月日」が受付年月日より前です。決定年月日を確認してください。 |
| EN_00205 | (EN_00205) 一時金口座情報の支払方法が「銀行振込」以外のため､「金融機関コード」「預金の種類」「口座番号」の入力はできません。 |
| EN_00206 | (EN_00206) 一時金給付において、支払日から 5 年を経過しているため時効により訂正できません。 |
| EN_00207 | (EN_00207) 支払情報・調査情報訂正において､「訂正番号」が存在しません。訂正番号を確認してください。 |
| EN_00208 | (EN_00208) 支払情報はセット入力です。「642 支払方法」に「1：銀行振込」を入力した場合、「643」～「646」すべての項目にデータを記入してください。 |
| EN_00209 | (EN_00209) 支給停止者解除者の枝番号が存在しません。枝番号を確認してください。 |
| EN_00210 | (EN_00210) 「支給終了（予定）年月」を入力してください。援護費の再入学処理においては、支給終了（予定）年月は必須入力です。 |
| EN_00211 | (EN_00211) 在学者（{0}）は、既に中断中のため重ねて中断の入力はできません。 |
| EN_00212 | (EN_00212) 在学者（{0}）は、現在中断中ではないため復帰・再入学の入力はできません。 |
| EN_00213 | (EN_00213) 在学者（{0}）は年金資格者でもあるため、在学者の援護費転帰・中断（同一生計の有無）は年金で入力してください。 |
| EN_00214 | (EN_00214) 在学者（{0}）は、受付年月日（職権にあっては処理日）時点で 18 歳以上のため就労等保育は入力できません。 |
| EN_00215 | (EN_00215) 「援護費資格者（{0}）」は既に援護費転帰しています。 |
| EN_00216 | (EN_00216) 在学者（{0}）は、遺族（補償）年金の資格者であり支給事由発生年月日時点で 18 歳未満のため枝番号に「10、20、･･･90」は使用できません。資格者枝番号を確認してください。 |
| EN_00217 | (EN_00217) 在学者（{0}）の処理は、現支給区分に対して下級の支給区分への変更です。入力の必要がある場合には、本省に連絡してください。 |
| EN_00218 | (EN_00218) 未支給金の請求は受付済み又は登録済みです。確認してください。 |
| EN_00219 | (EN_00219) 就労保育の在学者が 6 歳以上のため､「支給終了（予定）年月」は支給開始年月の属する年度内でなくてはなりません。年度内に修正してください。 |
| EN_00220 | (EN_00220) 支給開始年月が在学者の生年月日より前です。支給開始年月又は生年月日を確認してください。 |
| EN_00221 | (EN_00221) 訂正後の「支給終了（予定）年月」が障害（補償）年金での障害等級 4 級以下への変更の変更年月を越えています。支給終了（予定）年月を変更年月までとしてください。 |
| EN_00222 | (EN_00222) 遺族（補償）年金における枝番号「10、20、･･･90」の在学者は、支給事由発生年月日時点で年齢が 18 歳未満となる生年月日の訂正はできません。 |
| EN_00223 | (EN_00223) 在学者の最初の「支給区分」の取消はできません。在学者を取り消ししてください。 |
| EN_00224 | (EN_00224) 中断復帰転帰事由は､「中断⇔転帰」「中断⇔復帰」「復帰⇔転帰」への訂正はできません。取り消し後、訂正又は変更により対応してください。 |
| EN_00225 | (EN_00225) 援護費資格者（{0}）が存在しません。枝番号を確認してください。 |
| EN_00226 | (EN_00226) 入力された郵便番号は存在しません。 |
| EN_00241 | (EN_00241) 権者払い以外の支給停止・支給停止解除事案のため、同時決議で処理してください。 |
| EN_00243 | (EN_00243) 在学者は年金の資格者であるため、資格者生年月日の「日」以外の訂正はできません。資格者の取消・追加で処理してください。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00244 | (EN_00244) 年金資格者は胎児として登録されているため資格者情報訂正により障害の有無は訂正できません。 |
| EN_00245 | (EN_00245) 資格者の「生年月日」が支給事由発生年月日より後です。生年月日を確認してください。 |
| EN_00247 | (EN_00247) 「資格者（{0}・{1}）」は「氏名」「生年月日」が同一です。確認してください。 |
| EN_00248 | (EN_00248) 資格者（{0}）は、支払権者のため資格者の取消しは入力できません。 |
| EN_00249 | (EN_00249) 資格者の年齢が 60 歳以上のため障害の有無の訂正はできません。 |
| EN_00250 | (EN_00250) 受給権者のため同一生計の有無の訂正はできません。 |
| EN_00251 | (EN_00251) 資格者情報訂正において、失権事由を「18 歳失権」から「18 歳失権以外」の失権事由へ又は「18 歳失権以外」の失権事由から「18 歳失権」への訂正はできません。 |
| EN_00254 | (EN_00254) 資格者の追加・取消しは、「資格者氏名」「資格者生年月日」「資格者性別」を必ず入力してください。 |
| EN_00255 | (EN_00255) 資格者が、18 歳以上の子供・孫、55 歳未満の夫・父母・祖父母、18 歳以上 55 歳未満の兄弟姉妹であるため「障害の状態」における障害の有無の訂正はできません。算定基礎変更又は失権で処理してください。 |
| EN_00256 | (EN_00256) 資格者が 18 歳未満の子供・孫・兄弟姉妹のため、失権又は失格事由としての「障害の無」は入力できません。 |
| EN_00257 | (EN_00257) 妻に対して「障害の有無の変更」又は「失格」事由である「障害なし」の入力はできません。 |
| EN_00258 | (EN_00258) 資格者には、「障害あり」が登録されていないため「障害なし」を事由とする失権（格）は入力できません。 |
| EN_00259 | (EN_00259) 支給事由発生年月日時点の年齢が 55 歳以上の夫・父母・祖父母・兄弟姉妹にあっては、変更年月時点で 60 歳以上の場合には、失権・失格事由「障害なし」の入力はできません。 |
| EN_00260 | (EN_00260) 支給事由発生年月日時点の年齢が 55 歳以上の夫・父母・祖父母・兄弟姉妹にあっては、変更年月時点で 60 歳未満の場合には、失権・失格事由「障害なし」の入力はできません。入力の必要がある場合には、本省に連絡してください。 |
| EN_00261 | (EN_00261) 在学者が年金の権者・資格者であるため、「権者との同一生計の有無、死亡、婚姻、養子縁組、養子離縁」（年金での失権・失格事由）にかかる援護費の中断・転帰への訂正又は年金失権・失格事由からの訂正はできません。年金の資格者情報訂正で行ってください。 |
| EN_00262 | (EN_00262) 三者損賠情報・支給停止情報は最新の履歴以外は取り消すことができません。取り消したい場合には、当該履歴以降に存在する履歴を全て取り消した後に処理してください。 |
| EN_00263 | (EN_00263) 資格者（{0}）は、若年停止中のため支給停止情報の追加はできません。 |
| EN_00264 | (EN_00264) 在学者（{0}）は、年金で同一生計無しが登録されているため援護費の処理はできません。 |
| EN_00265 | (EN_00265) 障害（補償）年金の障害等級が 4 級以下のため、援護費定期報告及び援護費の処理はできません。 |
| EN_00266 | (EN_00266) 若年停止中の資格者について「障害なし→障害あり」の訂正はできません。訂正の必要がある場合には、資格者の取消・追加により対応してください。 |
| EN_00278 | (EN_00278) 三者損賠情報訂正において、訂正入力年月日が三者損賠の調整開始年月の属する支払期の翌日から 5 年以上経過しています。このため支払請求権の時効が適用される期間の支払額が計算できません。本省に連絡してください。 |
| EN_00279 | (EN_00279) 「特別支給金のみ請求」事案であるため三者損賠情報訂正はできません。 |
| EN_00280 | (EN_00280) 「訂正変更年月（日）」（{0}）が支給事由発生年月日以前です。訂正変更年月（日）を確認してください。 |
| EN_00281 | (EN_00281) 「訂正変更年月日（{0}）」が訂正帳票上の他の訂正変更年月と異なります。全て同一の訂正変更年月を入力してください。 |
| EN_00282 | (EN_00282) 定期報告は提出済です。 |
| EN_00283 | (EN_00283) 援護費定期報告は提出済です。 |
| EN_00284 | (EN_00284) 【調整開始年月≠支給事由発生年月の翌月】です。<br>三者損賠情報を損賠先行で追加入力する場合は、「三者損賠調整開始年月」は支給事由発生年月日の翌月を入力してください。 |
| EN_00285 | (EN_00285) 「選択コード」が入力されていません。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00286 | (EN_00286) 【調整開始年月≠支払期の初月】です。<br>傷病・障害（補償）年金の三者損賠情報の追加については、登録済の三者コードが「労災先行・その他」の場合には、三者損賠調整開始年月は三者損賠受領年月日の属する支払期の初月を入力してください。 |
| EN_00287 | (EN_00287) 転給未処理状態となる支給停止情報の追加、支給停止解除情報の取消しは入力できません。 |
| EN_00288 | (EN_00288) 「障害の状態」が登録済の内容と同一のため変更できません。 |
| EN_00289 | (EN_00289) 変更年月時点の妻の年齢が 55 歳以上のため「妻の障害の有無」は入力できません。 |
| EN_00290 | (EN_00290) 変更票の支払権者の枝番号と住所・氏名等変更届・外国払入力票の枝番号が一致しません。支払権者の枝番号を入力してください。 |
| EN_00291 | (EN_00291) 「決定年月日」が決議書出力年月日より前です。決定年月日を確認してください。 |
| EN_00292 | (EN_00292) 「調査年月日」が受付年月日より前です。調査年月日を確認してください。 |
| EN_00293 | (EN_00293) 年金の登録において、外国払入力票が既に入力されています。 |
| EN_00294 | (EN_00294) 「変更年月日」が支給事由発生年月日より前です。変更年月日を確認してください。 |
| EN_00295 | (EN_00295) 三・事等実額訂正・処理情報訂正において、署で入力できる訂正票の実行コードは「5：再出力」のみです。 |
| EN_00297 | (EN_00297) 前払一時金が存在しないため前払一時金情報の訂正はできません。 |
| EN_00300 | (EN_00300) 算定基礎変更「障害の有無の変更」において、「障害の無」から「障害の有」への変更はできません。 |
| EN_00301 | (EN_00301) 支給停止の受付年月日が変更年月日から 1 年以上経過していません。支給停止の変更年月日を確認してください。 |
| EN_00302 | (EN_00302) 資格者（{0}）は、算定基礎変更「障害の有無の変更」で「障害の無」は入力できません。算定基礎変更「失格」で入力してください。 |
| EN_00304 | (EN_00304) 資格者（{0}）は、支払権者であるため算定基礎「失格」で処理できません。変更の「失権」又は「死亡」により処理してください。 |
| EN_00305 | (EN_00305) 援護費、または受付情報訂正において、「受付年月日」が帳票の入力年月日より後の日付になるような受付年月日の訂正はできません。 |
| EN_00306 | (EN_00306) 受付情報訂正において、「決定年月日」が決議書入力年月日より後の日付になるような決定年月日の訂正はできません。 |
| EN_00308 | (EN_00308) 障害（補償）一時金は、障害（補償）年金の 8 級以下への変更に伴う職権の障害（補償）一時金であるため、「特別加入コード」及び「特別支給金のみ申請」を同時に入力できません。 |
| EN_00309 | (EN_00309) 「郵便貯金記号番号」が誤記入又は誤読の可能性があります。通帳記号番号を確認してください。 |
| EN_00310 | (EN_00310) 代表者に選任された権者は既に支払権者として登録されています。 |
| EN_00311 | (EN_00311) 代表に選任された資格者は、権者ではないため代表者に選任できません。資格者を確認してください。 |
| EN_00312 | (EN_00312) 現在、既に権者払い中のため代表者の解任はできません。 |
| EN_00313 | (EN_00313) 代表者解任において、現在の代表者を除く全ての権者の住所・氏名・支払先情報を入力してください。（枚中＝権者数となるよう入力してください） |
| EN_00314 | (EN_00314) 訂正処理はそれ自体が職権であるため決議書の処理区分には、支給・変更以外は入力できません。不支給・不変更の必要がある場合には実行コード「9：取消」を入力してください。 |
| EN_00315 | (EN_00315) 資格者（{0}）は、援護費差止中のため失権・失格・年金転帰の変更は入力できません。援護費差止解除後に入力してください。 |
| EN_00317 | (EN_00317) 「住所」等を入力してください。 |
| EN_00318 | (EN_00318) 支払先を外国払から国内払に変更したときは、支払先情報は必須入力です。支払先情報を入力してください。 |
| EN_00319 | (EN_00319) 支払先を外国払から国内払いに変更したときは、漢字氏名は必須入力です。漢字氏名を入力してください。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00320 | (EN_00320) データに不整合が生じているため本省に連絡してください。 |
| EN_00321 | (EN_00321) 年金・援護費定期報告において、「印字済年金証書番号」と「入力した年金証書番号」が一致しません。年金証書番号を確認してください。 |
| EN_00322 | (EN_00322) 年金・援護費定期報告において、「印字済被災者生年月日」と「入力した被災者生年月日」が一致しません。被災者生年月日を確認してください。 |
| EN_00323 | (EN_00323) 年金・援護費定期報告において、「印字済枝番号」と「入力した枝番号」が一致しません。資格者枝番号を確認してください。 |
| EN_00325 | (EN_00325) 支給停止解除者が既に支払権者です。 |
| EN_00326 | (EN_00326) 現支払権者に対して支給停止解除者が先順位者です。転給の必要があるため同時決議で処理してください。 |
| EN_00327 | (EN_00327) 外国払入力票の氏名・住所欄については、「*」を用いて入力データの削除はできません。 |
| EN_00328 | (EN_00328) 外国払入力票において、「店舗名」or「口座番号」or「SWIFT コード」or「所在地」に入力があるにもかかわらず、金融機関名が入力されていません。 |
| EN_00329 | (EN_00329) 同一生計の有無が入力された資格者の「生年月日」が、支給停止解除後、算定基礎変更（同一生計の有無）の受付年月日より後です。資格者の生年月日を確認してください。 |
| EN_00330 | (EN_00330) 職権による同一生計の有無が入力された資格者の「生年月日」が算定基礎変更（同一生計の有無）の処理年月日より後です。資格者の生年月日を確認してください。 |
| EN_00331 | (EN_00331) 次の事由により在学者の生年月日が未登録なので生年月日を訂正で入力後に援護費の新規・訂正を処理してください。<br>1　在学者は、当システムの稼動前に既に登録されていた傷病・障害（補償）年金の在学者である。<br>2　在学者は、当システムの稼動前に既に登録されていた支給事由発生年月日時点で 18 歳以上である遺族（補償）年金の続柄「子供」である。 |
| EN_00332 | (EN_00332) 等級等情報・厚年等情報・資格者情報の訂正において、「訂正変更年月（日）」には「日」の入力ができません。 |
| EN_00334 | (EN_00334) 年金定期報告における、「厚年等調整開始年月」が登録済の厚年等調整開始年月以前です。調整開始年月を確認してください。 |
| EN_00335 | (EN_00335) 年金・援護費定期報告の処理において、厚年等情報の変更、援護費の支給区分等変更の内容に不備が生じているため定期報告の受付年月日のみ登録しました。厚年等情報の変更、援護費の支給区分等変更はそれぞれ変更票・援護費申請書で処理してください。 |
| EN_00336 | (EN_00336) 配信要求期間外のため提出照会状・定期報告未提出者リストの配信要求はできません。配信要求期間については、手引を参照してください。 |
| EN_00337 | (EN_00337) 稼動前の「保険給付」「特別一時金」「定額の特支金」の支給額が 0 円の一時金のため、訂正は行えません。 |
| EN_00339 | (EN_00339) 資格者が 18 歳以上のため、「障害の有無」は入力できません。「失格」で処理してください。 |
| EN_00340 | (EN_00340) 資格者は行方不明を事由とする支給停止ではないため、支給停止解除の入力はできません。 |
| EN_00341 | (EN_00341) 該当の処理区分は入力できません。処理の内容により入力できる処理区分は手引を参照してください。 |
| EN_00342 | (EN_00342) 在学者等の生年月日を訂正処理により入力してください。 |
| EN_00343 | (EN_00343) 援護費の登録において、帳票上の「支給開始年月」が全て同一ではありません。異なる支給開始年月の援護費を登録する場合には、別の帳票を使用してください。 |
| EN_00344 | (EN_00344) 傷病・障害（補償）給付を伴わない稼動前の遺族（補償）年金のため被災者氏名が登録されていません。このため、「被災者生年月日」の訂正はできません。被災者共通情報訂正により被災者氏名を登録後に再処理してください。 |
| EN_00345 | (EN_00345) 傷病（補償）年金において、入力された「業通別」が登録されている業通別と異なります。業通別を確認してください。 |
| EN_00347 | (EN_00347) 帳票上の「変更年月」が全て同一ではありません。異なる変更年月を登記する場合には別の帳票を使用してください |
| EN_00348 | (EN_00348) 処理日期末時点で 18 歳以上のため、訂正の追加で行ってください。 |
| EN_00349 | (EN_00349) 転給者は胎児であるため「上順位者への転給」では処理できません。転給（様式番号 13-00）で処理してください。 |
| EN_00350 | (EN_00350) 転給者より上順位の資格者が存在するため、転給者に転給できません。上順位者への転給（様式番号 90-03）で処理してください。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00351 | (EN_00351) 同順位の支払権者が存在する（権者払い）のため、転給者に転給できません。<br>なお、転給者に代表者払いしたい場合には、代表者選任で処理してください。 |
| EN_00352 | (EN_00352) 援護費以外の登記処理において、決議済決議番号より前の決議番号の登記はできません。このため、決議済決議番号より前の決議番号の受付を取り消したうえで再び受付から処理してください。 |
| EN_00353 | (EN_00353) 支給停止又は支給停止解除の同時決議ではないため「枚目」に「1」以外入力できません。 |
| EN_00354 | (EN_00354) 遺族（補償）年金において、「請求人・申請人氏名」と年金入力票の「資格者①」に記入された氏名が同一ではありません。 |
| EN_00355 | (EN_00355) 遺族（補償）年金、葬祭料（給付）、遺族（補償）一時金の登録において、「支給事由発生年月日」が直前の年金給付の転帰年月日と同一ではありません。 |
| EN_00356 | (EN_00356) 年金給付および葬祭料（給付）の支給事由発生年月日が既に年金で登録された最新の治ゆ年月日以前です。 |
| EN_00357 | (EN_00357) 葬祭料（給付）・遺族（補償）一時金において「口座名義人」と「被災労働者氏名」が同一です。氏名を確認してください。 |
| EN_00358 | (EN_00358) 既に登録されている様式番号と入力された決議書の様式番号が異なります。システム内で不整合が発生しているため本省に連絡してください。 |
| EN_00359 | (EN_00359) 既に登録されている同時決議番号と入力された決議書の同時決議番号が異なります。システム内で不整合発生しているため本省に連絡してください。 |
| EN_00360 | (EN_00360) 登記・修正中又は決議書未入力状態（未決議状態）であるため、「受付」「履歴検索」「登記」処理できません。決議後、処理してください。 |
| EN_00361 | (EN_00361) 既に支給・不支給決議書が入力されているため、登録の「登記」「修正」「不支給要求」「取消」の処理はできません。 |
| EN_00362 | (EN_00362) 既に支給・不支給決議書が出力されているため、登録の「登記」処理はできません。 |
| EN_00363 | (EN_00363) 既に実行コードによる「取消」が入力されているため「修正」「再出力」「不支給要求」「取消」処理はできません。 |
| EN_00364 | (EN_00364) 未決議中の「データ受付番号」と異なります。データ受付番号を確認してください。 |
| EN_00365 | (EN_00365) 登記処理において、入力された帳票は当該処理で既に入力済です。 |
| EN_00366 | (EN_00366) 既に不支給決議書が出力されているため、「登記」「修正」「再出力」の実行コードの入力はできません。なお、不支給決議書を再出力したい場合は、「不支給要求」により行ってください。 |
| EN_00367 | (EN_00367) 年金給付の登録において、登記処理が終了している場合に、登録票の実行コードが「再出力」のため年金入力票、外国払入力票は入力できません。実行コード「修正」を入力してください。 |
| EN_00368 | (EN_00368) 登記処理がなされていないため、「修正」の入力はできません。登記処理終了後に入力してください。 |
| EN_00369 | (EN_00369) 登記処理がなされていないため、「再出力」の入力はできません。登記処理終了後に入力してください。 |
| EN_00370 | (EN_00370) 年金給付の登録において、登録票による登記入力が済んでいないため年金入力票、外国払入力票は入力できません。登録票による登記を行った後で入力してください。 |
| EN_00371 | (EN_00371) 年金給付の登録における「登記」「修正」において、入力された帳票（年金入力票 or 外国払入力票）の枚目から判断し直前に入力されるべき年金入力票が入力されていません。（枚目－1）枚目の年金入力票を入力してください。又は、枚目が正しいか確認してください。 |
| EN_00372 | (EN_00372) 「登記」「修正」において、入力された帳票（年金入力票 or 外国払入力票 or 変更票 or 住所・氏名等変更届 or 訂正票）の「枚中」が直前に入力された帳票の「枚中」と一致していません。枚中を確認してください。 |
| EN_00373 | (EN_00373) 既に支給決定決議書が出力されているため、「登記」処理はできません。 |
| EN_00374 | (EN_00374) 年金給付の登録において、登記処理が終了している場合に、登録票の実行コードが「修正」ではないために年金入力票、外国払入力票は入力できません。実行コード「修正」を入力してください。 |
| EN_00375 | (EN_00375) 支給決定が行われていません。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00376 | (EN_00376) 入力された給付の登録状態は「受付のみ処理」「決議書未入力」「不支給」「取消」「基本権取消」であるため、「受付」「受付未済登記」「履歴検索」はできません。ただし、調査情報訂正については、「履歴検索」を行えます。 |
| EN_00377 | (EN_00377) 既に転帰しています。 |
| EN_00378 | (EN_00378) 訂正変更年月日の「日」に入力がありません<br>資格者の追加においては、訂正変更年月（日）の「日」まで入力してください。 |
| EN_00379 | (EN_00379) 年金証書番号で指定された年金給付は未決議中でないため「登記」「修正」「再出力」「取消」は入力できません。 |
| EN_00380 | (EN_00380) 既に変更・不変更決議書が入力されているため、「登記」「修正」「再出力」「不変更要求」「取消」の処理はできません。 |
| EN_00381 | (EN_00381) 既に変更・不変更決議書が出力されているため、変更の「登記」処理はできません。 |
| EN_00382 | (EN_00382) 変更における「登記」「修正」において、入力された変更票、住所・氏名等変更届、外国払入力票の枚目から判断し直前に入力されるべき帳票が入力されていません。(枚目－1)枚目の帳票を入力してください。又は、枚目が正しいか確認してください。 |
| EN_00383 | (EN_00383) 既に不支給・不変更決議書が出力されているため、「登記」「修正」「再出力」の実行コードの入力はできません。なお、不支給・不変更決議書を再出力したい場合には、「不支給・不変更要求」により行ってください。 |
| EN_00384 | (EN_00384) 変更において、登記処理が終了している場合に、1 枚目の変更票の実行コードが「修正」ではないため、2 枚目以降の変更票、住所・氏名等変更届、外国払入力票は入力できません。実行コード「修正」を入力してください。 |
| EN_00385 | (EN_00385) 変更において、登記処理がなされていないため、「修正」の入力はできません。登記処理終了後に入力してください。 |
| EN_00386 | (EN_00386) 変更において、登記処理がなされていないため、「修正」の入力はできません。登記処理終了後に入力してください。 |
| EN_00387 | (EN_00387) 訂正において、指定された給付は支給・不支給決定決議書が未入力のため、「履歴検索」の処理はできません。 |
| EN_00388 | (EN_00388) 訂正において、既に決議書が入力されているため、訂正の「登記」「修正」「再出力」「取消」の処理はできません。 |
| EN_00389 | (EN_00389) 訂正において、「項目群番号」が登記済みの項目群番号と異なるため、「修正」「再出力」「取消」の処理はできません。項目群番号を確認してください。 |
| EN_00390 | (EN_00390) 訂正において、既に決議書入力年月日が登録されているため、「登記」「修正」「再出力」「取消」の処理はできません。 |
| EN_00394 | (EN_00394) 一度も「決議書」を出力していません |
| EN_00400 | (EN_00400) 資格者情報訂正において、「資格者生年月日」の訂正はできません。当該資格者を取り消した後、正しい生年月日の資格者を追加してください。 |
| EN_00402 | (EN_00402) 「特定疾病」に対応する「業種」「傷病性質」の組合わせではありません |
| EN_00403 | (EN_00403) 「労働保険番号」の事業所は、「継続一括・被一括」の事業所です。労働保険番号を確認してください。 |
| EN_00404 | (EN_00404) 「労働保険番号」の事業所は、「特別加入者コード」に該当する保険関係ではありません。確認してください。チェックの詳細については、手引を参照してください。 |
| EN_00405 | (EN_00405) 「労働保険番号」は、「特別加入者」に該当する「労働保険番号」ではありません。「労働保険番号」及び「特別加入者コード」を確認してください。チェックの詳細については、手引を参照してください。 |
| EN_00406 | (EN_00406) 「郵便振替口座の口座番号」があり得ない番号です。「郵便振替口座の口座番号」を確認してください。 |
| EN_00407 | (EN_00407) 障害（補償）一時金、遺族（補償）一時金（失権差額一時金を含む。）、障害（補償）年金差額一時金について、【特別一時金＝0 及び定額の特支金＝0】のため「特支金のみ申請」の入力はできません。 |
| EN_00408 | (EN_00408) 前給付の傷病区分と今回入力された傷病区分が異なるため確認してください。 |
| EN_00409 | (EN_00409) 前払一時金について、基本権取消しはできません。必要があれば、年金の基本権取消しで処理してください。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00410 | (EN_00410) 傷病年月日が遺族（補償）年金前払一時金の施行日（昭和 49 年 11 月 1 日）より前のため「請求日数」は 400 日分以外は入力できません。 |
| EN_00411 | (EN_00411) 傷病年月日が前払一時金の施行日（昭和 49 年 11 月 1 日）より前のため、同時請求の場合以外は、前払一時金の請求はできません。 |
| EN_00413 | (EN_00413) 遺族（補償）年金の年金入力票について、同順位の資格者は年齢の昇順に枝番号を振り出し、昇順に記入してください。資格者（{0}）の枝番号及び入力順を確認してください。 |
| EN_00414 | (EN_00414) 実行コードは「履歴検索」「登記」のみ入力可能です。 |
| EN_00415 | (EN_00415) 「選択コード（{0}）」は「訂正」のみ入力可能です。 |
| EN_00416 | (EN_00416) 【決議番号＝００１】のみ入力可能です。 |
| EN_00418 | (EN_00418) 「訂正データ（{0}）」が訂正前の内容と同一です。 |
| EN_00419 | (EN_00419) 既に特別加入者コードが登録されているため、特別加入者コードの訂正は被災者算定情報では入力できません。被災者共通情報で入力してください。 |
| EN_00420 | (EN_00420) 特別加入者コードが登録されていないため、「特別加入者の有無」の訂正は被災者共通情報では入力できません。被災者算定情報で入力してください。 |
| EN_00421 | (EN_00421) 障害（補償）年金において、過去に同一短期キーの障害（補償）一時金が存在するため「既存障害区分」に「7：再発・再治ゆ」を入力してください。 |
| EN_00422 | (EN_00422) 「選択コード（{0}）」は「訂正」「取消」のみ入力可能です。 |
| EN_00423 | (EN_00423) 「選択コード（{0}）」が混在しています。訂正できません。 |
| EN_00424 | (EN_00424) 「被災者算定情報」訂正の「重大過失」「滞納制限」は、支給事由発生年月日が療養開始年月日から 3 年を経過しているため入力できません。 |
| EN_00425 | (EN_00425) 傷病・障害（補償）年金において、【特別年金＝0 及び定額の特支金＜休業内払（特別支給金）】のため「休業内払（特別支給金）」には定額の特支金の金額までしか入力（訂正）できません。 |
| EN_00426 | (EN_00426) 「完納年月日」は滞納制限にかかる処理であるため特別加入者以外には入力できません。 |
| EN_00427 | (EN_00427) 完納年月日が療養開始年月日から 3 年を経過しているため、既に滞納制限による支給制限は解除されています。このため「完納年月日」は入力できません。 |
| EN_00429 | (EN_00429) 「診断書の要否」の訂正は、障害（補償）年金以外では入力できません。現在継続中の年金給付の種別を確認してください。 |
| EN_00430 | (EN_00430) 「傷病区分」の訂正は、傷病・障害（補償）年金以外では入力できません。現在継続中の年金給付の種別を確認してください。 |
| EN_00431 | (EN_00431) 支払事故が入力されているため債権選択はできません。支払事故解消後に入力してください。 |
| EN_00433 | (EN_00433) 直前の障害年金の転帰事由が「再発」以外です。転帰事由を確認してください。 |
| EN_00434 | (EN_00434) 直前の障害年金の転帰事由が「治ゆ」以外です。転帰事由を確認してください。 |
| EN_00435 | (EN_00435) 直前の障害年金の転帰事由が「等級不該当（８～１４）」以外です。転帰事由を確認してください。 |
| EN_00436 | (EN_00436) 直前の給付が「傷病年金」です。傷病（補償）年金の「支給事由発生年月日」が直前の給付である傷病（補償）年金の転帰年月日と同一です。 |
| EN_00437 | (EN_00437) 直前の給付が「障害年金」です。障害（補償）年金・障害（補償）一時金（様式番号 90-03 を除く）の支給事由発生年月日が、直前の給付である障害（補償）年金の転帰年月日と同一です。 |
| EN_00438 | (EN_00438) 訂正後の転帰年月日が支給事由発生年月日以前です。転帰年月日を確認してください。 |
| EN_00439 | (EN_00439) 訂正における「等級等情報」「休業情報」は、傷病・障害（補償）給付以外では入力できません。給付の種類を確認してください。 |
| EN_00440 | (EN_00440) 「選択コード（{0}）」は「追加」「取消」のみ入力可能です。 |
| EN_00441 | (EN_00441) 在学者（{0}）は権者払い中の支払権者でもあるため、本人以外（他の支払権者）から提出された援護費定期報告は入力できません。 |
| EN_00444 | (EN_00444) 障害（補償）一時金について、【休業内払額（保険給付）＞一時金給付額】であるため、一時金の額以上の入力はできません。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00445 | (EN_00445) 直前の給付が「障害年金」以外です。確認してください。 |
| EN_00446 | (EN_00446) 「統計情報」訂正において、「業通別」を訂正した場合には、「統計項目」すべてを訂正してください。 |
| EN_00447 | (EN_00447) 「支給・転帰情報」訂正において、「転帰の取消」を入力する場合には、「転帰事由」及び「転帰年月日」双方に取り消しを入力してください。 |
| EN_00448 | (EN_00448) 「調査書情報」「損賠情報」の追加・取消は、全ての項目に入力してください。 |
| EN_00449 | (EN_00449) 「転帰年月日」は、「日」のみ訂正できます。「日」以外を訂正する場合には、年金の基本権を取り消して再登録してください。 |
| EN_00450 | (EN_00450) 「既存障害区分」及び「既存障害等級」が「7：再発・再治ゆ」及び「94～97」の場合、傷病年月日は昭和 41 年 2 月 1 日より前でなくてはなりません。 |
| EN_00451 | (EN_00451) 「既存障害区分」及び「既存障害等級」が「7：再発・再治ゆ」及び「91～93」の場合、傷病年月日は昭和 35 年 4 月 1 日より前でなくてはなりません。 |
| EN_00452 | (EN_00452) 「既存障害区分」が「7：再発・再治ゆ」の場合、入力された「既存障害等級」と直近（最新）の一時金の障害等級が一致しません。既存障害等級を確認してください。 |
| EN_00453 | (EN_00453) 前払一時金で損賠情報の訂正は入力できません。年金で入力することにより損賠調整期間の延・短又は差額一時金で調整してください。 |
| EN_00454 | (EN_00454) 資格者情報訂正において、失権（格）の履歴は、追加できません。変更処理で入力してください。 |
| EN_00455 | (EN_00455) 枝番号と不整合となるため、「性別」は訂正できません |
| EN_00456 | (EN_00456) 援護費資格者（{0}）は、年金の資格者でもあり既に失権（格）しているため援護費の処理はできません。 |
| EN_00457 | (EN_00457) 「三者コード」が「3：労災先行・7：その他」ではないため、損賠情報の追加は入力できません。登録済の三者コードを確認してください。 |
| EN_00458 | (EN_00458) 「三者コード」が登録済の「三者コード」と異なります。三者コードを確認してください。なお、登録済の三者コードが間違っている場合には、訂正後に入力してください。 |
| EN_00459 | (EN_00459) 「三者受領日」が登録済の「三者受領日」と異なります。三者受領年月日を確認してください。なお、登録済の三者受領年月日が間違っている場合には、訂正後に入力してください。 |
| EN_00460 | (EN_00460) 三者受領年月日が支給事由発生年月日より前です。確認してください。 |
| EN_00461 | (EN_00461) 支給事由発生時の損賠情報で「三者コード」が「3：労災先行」の場合には、「三者受領年月日」「三者受領額」は入力できません。 |
| EN_00462 | (EN_00462) 支給停止解除の「受付年月日」が支給事由発生年月日以前です。受付年月日を確認してください。 |
| EN_00463 | (EN_00463) 援護費差止・解除において、一枚の変更票に差止情報と差止解除情報を混在することはできません。援護費差止、援護費差止解除ごとに別帳票で入力してください。 |
| EN_00464 | (EN_00464) 援護費の登録又は援護費差止において、在学者は枝番号が「11～19or10、20、30･･･、90」以外であるにもかかわらず年金の権者ではないため援護費の処理はできません。 |
| EN_00466 | (EN_00466) 遺族（補償）年金において、権者全員が若年停止中のため支払権者には、権者中で最高齢の権者（一番最初に若年停止解除される者）を入力してください。 |
| EN_00467 | (EN_00467) 複数枚の帳票を入力する必要のある処理において、住所・氏名等変更届は一番最後に入力してください。ただし、外国払入力票とは同等の関係です。 |
| EN_00469 | (EN_00469) 訂正の履歴検索で【検索期間（いつまで)】が支給事由発生年月より前です。検索期間（いつまで）を修正してください。 |
| EN_00470 | (EN_00470) 訂正の履歴検索で【検索期間（いつまで)】が転帰年月より後です。検索期間（いつまで）を修正してください。 |
| EN_00471 | (EN_00471) 「既存障害区分」が「1：業務上災害（年金)」以外で「既存年金証書番号」は入力できません。 |
| EN_00472 | (EN_00472) 傷病・障害（補償）年金で厚年等の 2 種の入力はできません。 |
| EN_00473 | (EN_00473) 変更票の「枚目」の最大は「3」です。枚目を確認してください。 |
| EN_00474 | (EN_00474) 「データ受付番号」が存在しません。 |
| EN_00475 | (EN_00475) 職権で入力されているため「委任・未支給」の訂正はできません。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00476 | (EN_00476) 年金給付における「未支給」は入力できません。年金の支給決定後に転帰入力することにより未支給金を生じさせて支給決定してください。 |
| EN_00477 | (EN_00477) 資格者追加に伴う上順位者への転給で、追加された資格者が支給事由発生年月日にさかのぼって支払権者となる場合には、「転給年月日」には支給事由発生年月日を入力してください。 |
| EN_00481 | (EN_00481) 訂正の追加において、項番{0}のデータの内容が前後の変更の履歴と同一です。データの内容を確認してください。 |
| EN_00482 | (EN_00482) 訂正における損賠情報の追加において、項番{0}の「訂正変更年月」が登録済の三者調整開始年月を越える場合以外は入力できません。 |
| EN_00483 | (EN_00483) 年金定期報告が既に提出されているため、「定期報告未提出」を事由とする差止は入力できません。 |
| EN_00484 | (EN_00484) 援護費定期報告が既に提出されているため、「定期報告未提出」を事由とする援護費差止は入力できません。 |
| EN_00485 | (EN_00485) 遺族（補償）年金以外で支給停止情報、資格者情報訂正は入力できません。年金種別を確認してください。 |
| EN_00487 | (EN_00487) 既に実額情報（910）が入力されているため、訂正できません。本省に連絡してください。 |
| EN_00488 | (EN_00488) 既に基本権取消が入力されているため、処理情報により基本権取消は入力できません。 |
| EN_00489 | (EN_00489) 職権のため「受付年月日」は訂正できません。 |
| EN_00490 | (EN_00490) 職権のため「請求人氏名」は訂正できません。 |
| EN_00491 | (EN_00491) 複数枚の帳票を入力する必要のある処理において、外国払入力票は一番最後に入力してください。ただし、住所・氏名変更届とは同等関係です。 |
| EN_00492 | (EN_00492) 処理情報訂正では、訂正データには「99」のみ入力できます。不支給から不支給へのコード訂正は受付情報で入力してください。 |
| EN_00493 | (EN_00493) 等級等情報及び厚年等情報において、履歴を追加する場合に項番{0}の「訂正変更年月」が転帰年月以降です。訂正変更年月を確認してください。 |
| EN_00495 | (EN_00495) 等級等情報及び厚年等情報において、履歴を追加する場合に項番{0}の「変更年月」が転帰年月以降です。変更年月を確認してください。 |
| EN_00496 | (EN_00496) 訂正処理において、データ受付番号で指定された給付は未決議中でないため「登記」「修正」「再出力」「取消」は入力できません。 |
| EN_00497 | (EN_00497) 訂正処理（被災者算定情報、等級等情報、処理情報）において、決議書が出力されていないため決議はできません。「登記」「修正」を完了してください。 |
| EN_00498 | (EN_00498) 履歴検索時に登録された「項目群番号」と登記処理時に入力された「項目群番号」が異なります。項目群番号を確認してください。 |
| EN_00499 | (EN_00499) 項目番号「581～584（2 種にあっては 586～589)」全ての入力が必要です。 |
| EN_00500 | (EN_00500) 傷病年月日から支給事由発生年月日まで 5 年以上経過しているため D/B 削除されている可能性があります。確認してください。 |
| EN_00501 | (EN_00501) 援護費以外の処理において、決議書出力数がシステムで管理している回数と異なります。当該処理において最後に出力された決議書を入力してください。 |
| EN_00502 | (EN_00502) 訂正処理（被災者算定情報、等級等情報、処理情報）以外の処理において、決議書が出力されていないため決議はできません。「登記」「修正」を完了してください。 |
| EN_00503 | (EN_00503) 傷病（補償）年金、障害（補償）給付、障害（補償）年金前払一時金において、「委任・未支給」事案であるにもかかわらず「請求人・申請人氏名」と被災労働者名が同一です。請求人・申請人氏名を確認してください。 |
| EN_00504 | (EN_00504) 特別加入者以外の「支給事由発生年月日」が各給付のシステム開発支給事由発生年月日より前の日付です。なお、システム開始支給事由発生年月日については、手引を参照してください。 |
| EN_00505 | (EN_00505) 「郵便局コード」が存在しません。または、廃止されています。他の郵便局を選択してください。 |
| EN_00506 | (EN_00506) 様式番号と業通別が異なります。様式番号又は業通別を確認してください。 |
| EN_00507 | (EN_00507) 再発事案のため、「滞納制限」は入力できません。 |
| EN_00508 | (EN_00508) 特別加入者以外のため、「滞納制限」は入力できません。 |
| EN_00509 | (EN_00509) 「既存年金証書番号」の種別が障害ではありません。既存年金証書番号を確認してください。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00510 | (EN_00510) 「既存障害区分」が「1：業務上災害（年金)」の場合、「既存障害等級」が 2 級～7 級ではありません。確認してください。 |
| EN_00511 | (EN_00511) 「既存障害区分」が「5：業通外」の場合、「既存障害等級」が 2 級～14 級ではありません。確認してください。 |
| EN_00512 | (EN_00512) 「既存障害区分」が「3：業務上災害（一時金)」の場合、「既存障害等級」が 8 級～14 級 or92～97 ではありません。 |
| EN_00513 | (EN_00513) 「既存障害区分」が「1、3、5」の場合に加重後の障害等級が「既存障害等級」より重くなっていません。 |
| EN_00514 | (EN_00514) 「既存障害区分」が「7：再発・再治ゆ」の場合、現等級が「既存障害等級」よりも重くなっていません。障害等級を確認してください。ただし、「91～97」はチェックの対象外とします。 |
| EN_00515 | (EN_00515) 「既存障害区分」が「7：再発・再治ゆ」の場合、「既存障害等級」が「8 級～14 級 or91～97」ではありません。 |
| EN_00516 | (EN_00516) 「傷病年月日」が昭和 52 年 4 月 1 日より前のため「特別給与の総額」は入力できません。「特別給与の総額」を空白としてください。 |
| EN_00517 | (EN_00517) 「特別加入者」であるため「特別給与の総額」は入力できません。<br>なお、傷病年月日が昭和 52 年 4 月 1 日以降の場合には、「0」を入力してください。 |
| EN_00518 | (EN_00518) 支給事由発生年月日が「療養開始年月日」から 3 年を経過しているため「重大過失」の入力はできません。 |
| EN_00519 | (EN_00519) 再発事案のため「重大過失」は入力できません。 |
| EN_00520 | (EN_00520) 遺族（補償）年金、葬祭料については、「重大過失」の入力はできません。 |
| EN_00521 | (EN_00521) 「三者コード」が「1：自賠先行」の場合には、「三者損賠受領額」「三者損賠受領年月日」は必須入力です。 |
| EN_00522 | (EN_00522) 「傷病年月日」から 3 年を経過しているため「三者損賠情報」の入力はできません。 |
| EN_00523 | (EN_00523) 「成消給付コード」が「1：成立前・消滅後」であるにもかかわらず、「傷病年月日」が労働保険関係の成立後、消滅前です。成消給付コードを確認してください。 |
| EN_00524 | (EN_00524) 資格者（{0}）と「被災者性別」に不整合が生じています。資格者の枝番号又は被災労働者の性別を確認してください。 |
| EN_00525 | (EN_00525) 資格者（{0}）の「枝番号」と「性別」に不整合が生じています。手引を参照して組み合わせを確認してください。 |
| EN_00526 | (EN_00526) 資格者（{0}）の「年齢」に不整合が生じています。手引を参照して組み合わせを確認してください。 |
| EN_00527 | (EN_00527) 資格者（{0}）の「枝番号」と「障害状態」に不整合が生じています。枝番号「61、71、73、81、83」の場合、障害の状態は「障害無し」です。 |
| EN_00528 | (EN_00528) 資格者（{0}）の「枝番号」と、「年齢」及び「障害状態」に不整合が生じています。<br>手引を参照して組み合わせを確認してください。 |
| EN_00529 | (EN_00529) 同一の枝番号（{0}）が存在します。 |
| EN_00530 | (EN_00530) 資格者の中に「妻」「夫」双方が存在します。資格者を確認してください。 |
| EN_00531 | (EN_00531) 年金入力票、変更票において、資格者の枝番号が昇順に記入されていません。昇順に記入してください。 |
| EN_00532 | (EN_00532) 転給処理において、転給者が「同一生計の有無」で入力された資格者よりも下順位です。正しい資格者に転給させてください。 |
| EN_00533 | (EN_00533) 資格者が存在しません（{0}）。 |
| EN_00534 | (EN_00534) 胎児出生において、胎児と同一の枝番号の資格者が存在します。胎児の枝番号を振り直してください。 |
| EN_00535 | (EN_00535) 直前の給付が傷病（補償）年金のため、請求キーは傷病（補償）年金の年金証書番号です。傷病（補償）年金の年金証書番号を入力してください。 |
| EN_00536 | (EN_00536) 「支給事由発生年月日」が直前の年金給付の転帰年月日より前です |
| EN_00537 | (EN_00537) 「支給事由発生年月日」が直前の給付の支給事由発生年月日より前です。 |
| EN_00538 | (EN_00538) 「支給事由発生年月日」が登録済みである遺族（補償）給付又は葬祭料の支給事由発生年月日と異なっています。確認してください。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00540 | (EN_00540) 支払履歴データが存在しません。 |
| EN_00541 | (EN_00541) 直前の給付が傷病（補償）年金ではないため、請求キーは短期給付キーです。短期給付キーを入力してください。 |
| EN_00542 | (EN_00542) 転帰入力時又は転帰後訂正において、回収額（内払調整残額）が発生しないため「債権コード」は入力できません。 |
| EN_00543 | (EN_00543) 「傷病年月日」が特別加入者の通勤災害適用年月日より前のため、通勤災害の入力はできません。 |
| EN_00544 | (EN_00544) 【枚目＝枚中＝1】のみ入力できます。「枚目」を確認してください。 |
| EN_00545 | (EN_00545) 傷病･障害（補償）年金、一時金給付の年金一時金入力票の枚目は「1」のみ入力できます。 |
| EN_00546 | (EN_00546) 傷病・障害（補償）年金で国内払の場合、枚中は「1」のみ入力できます。 |
| EN_00547 | (EN_00547) 傷病・障害（補償）年金で外国払の場合、枚中は「2」のみ入力できます。 |
| EN_00552 | (EN_00552) 枚目≠枚中です。「枚目」と「枚中」を確認してください。 |
| EN_00555 | (EN_00555) 遺族（補償）一時金（失権差額一時金）において、基本権たる遺族（補償）年金が転帰入力されていません。転帰後に登録処理を行ってください。 |
| EN_00556 | (EN_00556) 「項目番号{0}」が重複しています。ただし、厚年等情報の履歴検索の際に項目群番号に「583・588」を入力した場合又は同じく等級等情報で項目群番号に「571」を入力した場合は除きます。 |
| EN_00558 | (EN_00558) 「資格者（{0}）」は失権（失格）しています。 |
| EN_00560 | (EN_00560) 「資格者（{0}）」は失格しています。 |
| EN_00561 | (EN_00561) 胎児出生において、胎児「生年月日」が支給事由発生年月以前です。胎児出生ではなく訂正の資格者追加により処理してください。 |
| EN_00562 | (EN_00562) 「支給停止者」の枝番号が存在しません。枝番号を確認してください。 |
| EN_00564 | (EN_00564) 支給事由発生年月日が傷病年月日から 5 年を経過していないため､「成消給付コード」に「3」「5」は入力できません。 |
| EN_00571 | (EN_00571) 死亡転帰した障害（補償）年金は再発再治ゆ事案のため「債権コード」の入力はできません。計算の結果、内外調整残額が生じた場合には、債務者登録票により債権選択してください。 |
| EN_00573 | (EN_00573) 資格者の「同一生計の有無」「障害の状態」情報の追加を入力する帳票上の場所は、履歴検索により訂正票に印字された最古の履歴です。 |
| EN_00574 | (EN_00574) 受付未済登記時に援護費不支給・不変更「88」は入力できません。登記処理で入力してください。 |
| EN_00576 | (EN_00576) 外国払入力票の「金融機関名」の 2 段目に入力があって 1 段目に入力がありません。1 段目から入力してください。 |
| EN_00577 | (EN_00577) 外国払入力票の「金融機関名店舗名」の 2 段目に入力があって 1 段目に入力がありません。1 段目から入力してください。 |
| EN_00578 | (EN_00578) 外国払入力票の「金融機関住所」の 2 段目以降に入力があって 1 段目に入力がありません。1 段目から入力してください。 |
| EN_00580 | (EN_00580) 資格者（{0}）は存在しません。資格者を確認してください。 |
| EN_00581 | (EN_00581) 遺族（補償）年金において、資格者{0}は、行方不明又は若年停止を事由とする支給停止中です。 |
| EN_00582 | (EN_00582) 遺族（補償）年金において、資格者{0}は、所在不明又は定期報告未提出を事由とする支払差止中です。 |
| EN_00583 | (EN_00583) 年金入力票、住所・氏名変更届・外国払入力票において【枚中＜枚目】です。枚中、枚目を確認してください。 |
| EN_00584 | (EN_00584) 援護費は支給終了しているため援護費差止の入力はできません。 |
| EN_00585 | (EN_00585) 支給・転帰情報において、転帰事由「死亡」を死亡以外の転帰事由に訂正はできません。転帰取消後に再転帰させてください。 |
| EN_00586 | (EN_00586) 「枝番号（{0}）」は外国払の支払権者です。年金入力票で住所・氏名情報は入力できません。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00587 | (EN_00587) 前払一時金について、基本権たる年金が決議前に取り消されているため「登記」「修正」、決議処理は入力できません。「取消」を入力してください。 |
| EN_00588 | (EN_00588) 基本権たる年金で決議書が出力されていないため前払一時金の「登記」の入力はできません。年金の登記処理を終了させてください。 |
| EN_00590 | (EN_00590) 遺族（補償）年金において、年金が行方不明又は若年停止を事由として支給停止中です。 |
| EN_00591 | (EN_00591) 傷病（補償）年金、障害（補償）年金、遺族（補償）年金において、年金が所在不明又は定期報告未提出を事由として支払差止中です。 |
| EN_00593 | (EN_00593) 就労保育の在学者{0}の年齢が支給開始年月時点で 18 歳以上です。年齢を確認してください。 |
| EN_00594 | (EN_00594) 援護費の登記入力年月に対して「支給開始年月」が未来日付です。支給開始年月を確認してください。 |
| EN_00595 | (EN_00595) 援護費において、登記がなされていないため「修正」「再出力」「不支給要求」の入力はできません。登記後に処理してください。 |
| EN_00596 | (EN_00596) 遺族（補償）年金の年金入力票において、入力された資格者の枝番号{0}の下一ケタが「＋1」から順に振り出されていません。 |
| EN_00597 | (EN_00597) 直近の失権（格）者の失権（格）年月日より前に失権できません |
| EN_00598 | (EN_00598) 既存障害情報の項目の組合せが異なります。 |
| EN_00599 | (EN_00599) 在学者は、年金において、権者との同一生計関係がないため援護費の登録はできません。 |
| EN_00600 | (EN_00600) 「既存年金証書番号」の障害（補償）年金と当該障害（補償）年金は同一の短期キーであるため「既存障害区分＝1：業務上災害（年金）」ではありません。修正してください。 |
| EN_00601 | (EN_00601) 登録済の「住所」の情報が存在しないため引用できません。住所を入力してください。 |
| EN_00602 | (EN_00602) 登録済の「氏名」の情報が存在しないため引用できません。氏名を入力してください。 |
| EN_00603 | (EN_00603) 登録済の「郵便番号」の情報が存在しないため引用できません。郵便番号を入力してください。 |
| EN_00604 | (EN_00604) 登録済の「都道府県コード」の情報が存在しないため引用できません。都道府県コードを入力してください。 |
| EN_00605 | (EN_00605) 「厚年等調整コード」が「調整」の場合には、「厚年等年金年額」に「0」は入力できません。適切な「厚年等調整コード」を入力してください。 |
| EN_00606 | (EN_00606) 援護費において、「支給開始年月」が「受付年月日」と同一ではありません。支給開始年月日及び受付年月を確認してください。 |
| EN_00607 | (EN_00607) 「氏名」又は「生年月日」が「既存年金証書番号」の障害（補償）年金で登録されている被災労働者の「氏名」「生年月日」と異なります。「氏名」「生年月日」を確認してください。 |
| EN_00608 | (EN_00608) 資格者{0}は、権者であるため「同一生計の有無」は入力できません。 |
| EN_00609 | (EN_00609) 胎児が支払権者となるため、算定基礎変更ではなく転給で入力してください。 |
| EN_00610 | (EN_00610) 訂正において、在学者の取消しをする場合には「615 氏名」「616 生年月日」を入力してください。 |
| EN_00611 | (EN_00611) 続柄「子供」による権者払いの中の胎児出生であるため、算定基礎変更ではなく転給で入力してください。 |
| EN_00612 | (EN_00612) 等級変更による変更後の等級が既存障害等級以下であるため等級不該当を事由として年金転帰させてください。ただし、既存障害区分が再発・再治ゆの場合は除きます。 |
| EN_00613 | (EN_00613) 三・事調整情報が登録されていないため「調整コード」の入力は省略できません。三・事調整コードを併せて入力してください。 |
| EN_00617 | (EN_00617) 支給事由発生時の傷病・障害等級を訂正する場合において、以前に定額特支金調整額（登録票又は訂正票）に入力があるため、「定額特支金調整額」にも入力してください。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00618 | (EN_00618) 直近の失権（格）者の失権（格）を取り消して、失権・転給をしてください。 |
| EN_00619 | (EN_00619) 再度職権で直近の失権（格）者の失権をしてください。 |
| EN_00620 | (EN_00620) 変更で失権（格）事由に「18 歳失権（格)」を入力する場合の「失権（格）年月日」が「資格者生年月日の前日＋18 年」ではありません。 |
| EN_00623 | (EN_00623) 被災者共通情報訂正は、最終の給付キー（一時金にあっては、決議番号は「001」であること。）により行ってください。 |
| EN_00624 | (EN_00624) 遺族（補償）一時金（失権差額一時金)請求キーは、遺族（補償)年金の年金証書番号です。請求キーを確認してください。 |
| EN_00625 | (EN_00625) 三者損賠受領年月日が傷病年月日より前です。 |
| EN_00626 | (EN_00626) 今年度の年金定期報告を受け付けていないため、実行コード「9：取消」の入力はできません。 |
| EN_00627 | (EN_00627) 今年度の援護費定期報告を受け付けていないため、実行コード「9：取消」の入力はできません。 |
| EN_00629 | (EN_00629) 2 つ以上の履歴の取消しはできません。1 つずつ入力してください。 |
| EN_00630 | (EN_00630) 支給停止中の年金における上順位者への転給において、「転給年月日」が「支給停止年月日」と同一ではありません。転給年月日を確認してください。 |
| EN_00631 | (EN_00631) 同一短期キーに継続中の年金給付が存在します。年金転帰後に処理してください。 |
| EN_00632 | (EN_00632) 資格者{0}は、既に失権（格）しているため、資格者情報訂正における「同一生計の有無」、「障害の状態」は入力できません。失権（格）を取り消した後に変更で処理してください。 |
| EN_00634 | (EN_00634) 委任・未支給であるにもかかわらず、「口座名義人」と被災労働者の氏名が同一です。口座名義人を確認してください。 |
| EN_00635 | (EN_00635) 「変更年月」が「支給事由発生年月」と同月です。本省に連絡してください。 |
| EN_00636 | (EN_00636) 援護費定期報告において、学校情報（支給区分の変更）と変更情報（中断・復帰等）が混在しています。学校情報又は変更情報のどちらか一方は、援護費申請書により処理してください。 |
| EN_00637 | (EN_00637) 資格者は、障害の状態が「障害あり」のため、18 歳失権を事由に失権できません。 |
| EN_00638 | (EN_00638) 資格者情報訂正における資格者の追加において、「訂正変更年月日」が支給事由発生年月日又は追加される資格者の生年月日と同一ではありません。訂正変更年月日を確認してください。 |
| EN_00639 | (EN_00639) 修正できません。実行コード「9：取消」により取り消した後、新たな給付として受付から入力してください。 |
| EN_00640 | (EN_00640) １種と２種で調整開始年月が異なります。確認してください。 |
| EN_00641 | (EN_00641) 前支払期から持ち越した未請求の未支給金が存在するため、未支給金が生じる転帰後訂正は入力できません。未請求の未支給金を登録後に入力してください。 |
| EN_00642 | (EN_00642) 未払いの未支給年金があるため、当該訂正処理は行えません。<br>未支給年金を支払ってから処理してください。 |
| EN_00643 | (EN_00643) 障害又は遺族年金と前払一時金の同時請求で、年金、前払両方の決議書が出力されている時に年金の決議書を取消する場合、前払の決議書を先に取り消してください。 |
| EN_00644 | (EN_00644) データに不整合が生じています。本省に連絡してください。 |
| EN_00645 | (EN_00645) 暦日以外の日付が登録されています。本省に連絡してください。 |
| EN_00646 | (EN_00646) 入力しようとしている厚年データより新しい履歴が存在していないので変更帳票で処理をしてください。 |
| EN_00647 | (EN_00647) 決議書の入力期限を越えているため当該決議書は入力できません。取消後に再度登録をしてください。 |
| EN_00648 | (EN_00648) 金融機関は【{0}】廃止です。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00649 | (EN_00649) 郵便局は【{0}】廃止です。 |
| EN_00650 | (EN_00650) 再治ゆにより前給付の障害前払一時金の調整残額を調整しているため、前払一時金の請求はできません。 |
| EN_00652 | (EN_00652) 遺族と葬祭の同時決議において、既に出力されている決議書と内容が異なります。 |
| EN_00653 | (EN_00653) 未決議の前払一時金データが存在しているため、その支給決定額に影響を与えるような「修正」処理はできません。 |
| EN_00654 | (EN_00654) 遺族年金の年金入力帳票が入力されていない状況では、葬祭の登記、修正は行えません。 |
| EN_00655 | (EN_00655) 当該データ受付番号は受付状態ではありません。受付状態にあるデータ受付番号のみ取消処理ができます。 |
| EN_00656 | (EN_00656) 当該年金は転帰されていません。転帰済の年金に係るデータ受付番号のみ取消処理ができます。 |
| EN_00657 | (EN_00657) 実行コードは「1」登記又は「9」取消以外は入力できません。 |
| EN_00658 | (EN_00658) 当該データ受付番号の取消は、受付入力をした時の登録帳票で処理してください。 |
| EN_00659 | (EN_00659) 年金給付に係る変更処理のデータ受付番号ではありません。年金給付の変更処理に係るデータ受付番号のみ取消処理ができます。 |
| EN_00660 | (EN_00660) 他給付連携処理中です。当該処理は次支払期以降に行ってください。他給付連携処理が行われた支払期にはその給付に係る追回が生じるような処理はできません。 |
| EN_00661 | (EN_00661) 遺族年金の旧国年「種別 5」は二種の欄に記入してください。 |
| EN_00662 | (EN_00662) 当年度の年金定期報告受付年月日は、A グループ 6 月、B グループ 10 月初日以降の日付で処理してください。 |
| EN_00663 | (EN_00663) 当年度の援護費定期報告受付年月日は 6 月初日以降の日付で処理してください。 |
| EN_00664 | (EN_00664) 休業内払への変更はできません。 |
| EN_00666 | (EN_00666) 転帰取消及び転帰後訂正は次支払期以降に行ってください。 |
| EN_00667 | (EN_00667) 訂正した年金の後に一時金(失権差額一時金・未支給金等）が発生しているため訂正ができません。基本権取消事案となるため、本省に連絡してください。 |
| EN_00669 | (EN_00669) 資格者生年月日は（{0}）日には訂正できません。同月内の 2 日～末日期間以外への生年月日の訂正は行えません。 |
| EN_00670 | (EN_00670) 遺族（補償）年金（一時金）又は、葬祭料の受付が行われているため、傷病及び障害（補償）年金（一時金）の受付は行えません。 |
| EN_00671 | (EN_00671) 取消は「事故の型」「起因物」のセット入力です。 |
| EN_00672 | (EN_00672) 「事故の型」「起因物」は未登録のため訂正できません。 |
| EN_00673 | (EN_00673) 上順位者が存在するため「上順位者への転給」を行ってください。 |
| EN_00674 | (EN_00674) 上順位者への転給後に算定基礎変更で「失格」を行ってください。 |
| EN_00675 | (EN_00675) 再出力できません。取消入力後再度入力して下さい。 |
| EN_00676 | (EN_00676) 一時金支払日が取消されています。再登記後に入力してください。 |
| EN_00677 | (EN_00677) 前給付で前払調整残額が発生しています。引継を行ってください。 |
| EN_00678 | (EN_00678) 前給付の前払調整残額を引継ぎますので、前払の請求はできません。 |
| EN_00701 | (EN_00701) 枝番号（{0}）は「支払権者」ではありません。 |
| EN_00702 | (EN_00702) 権者払のため「枝番号」を入力してください。 |
| EN_00704 | (EN_00704) 【支払期年月（開始） ＞ 支払期年月（終了)】です。 |
| EN_00705 | (EN_00705) 【支払期年月（終了） ＞ 当期支払期年月】です。支払期年月（終了）を確認してください。 |
| EN_00707 | (EN_00707) 「年金証書番号」が形式エラーです。 |
| EN_00708 | (EN_00708) 「年金証書番号」に入力がありません。 |
| EN_00711 | (EN_00711) 「労働保険番号」が形式エラーです。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00712 | (EN_00712) 「生年月日」が形式エラーです。 |
| EN_00713 | (EN_00713) 「傷病年月日」が形式エラーです。 |
| EN_00717 | (EN_00717) 「データ受付番号」が形式エラーです。 |
| EN_00718 | (EN_00718) 「データ受付番号」に入力がありません。 |
| EN_00719 | (EN_00719) 【入力支払期年月　＜　支払期年月（終了)】です。入力支払期年月または支払期年月（終了）を確認してください。 |
| EN_00720 | (EN_00720) 【入力支払期年月　＞　当期支払期年月】です。入力支払期年月を確認してください。 |
| EN_00721 | (EN_00721) 「支給停止」が行われていません。 |
| EN_00723 | (EN_00723) 【支払期年月（開始）　＞　支払期年月（終了)】です。 |
| EN_00724 | (EN_00724) 【支払期年月（終了）　＞　当期支払期年月】です。支払期年月（終了）を確認してください。 |
| EN_00726 | (EN_00726) 該当の年金は転帰されていません。 |
| EN_00728 | (EN_00728) ソート方法「3:居住地コード」は入力できません。 |
| EN_00729 | (EN_00729) 「データ受付番号」が存在しません。 |
| EN_00731 | (EN_00731) 一時金給付の「追・回」が存在しません。 |
| EN_00732 | (EN_00732) 該当の給付は一時金ではありません。 |
| EN_00733 | (EN_00733) 【支払期年月（終了）　＞　入力支払期年月】です。支払期年月（終了）または入力支払期年月を確認してください。 |
| EN_00734 | (EN_00734) 「入力支払期年月」が形式エラーです。 |
| EN_00735 | (EN_00735) 「入力支払期年月」に入力がありません。 |
| EN_00737 | (EN_00737) 該当の給付データを検索する権限はありません。 |
| EN_00738 | (EN_00738) 【支払期年月（終了）　＞　前支払期年月】です。支払期年月（終了）を確認してください。 |
| EN_00742 | (EN_00742) 「年金証書番号」と「データ受付番号」の両方が入力されています。 |
| EN_00743 | (EN_00743) 「年金証書番号」か「データ受付番号」を入力してください。 |
| EN_00744 | (EN_00744) 項目群番号（項目番号）が検索対象外です。 |
| EN_00745 | (EN_00745) 訂正番号「00」は入力できません。 |
| EN_00749 | (EN_00749) 「枝番号」を入力してください。 |
| EN_00750 | (EN_00750) 「データ受付番号」が一時金の給付ではありません。 |
| EN_00751 | (EN_00751) 「訂正」が存在しません。データ受付番号を確認してください。 |
| EN_00752 | (EN_00752) 「定額の特別支給金」が存在しません。年金証書番号を確認してください。 |
| EN_00755 | (EN_00755) 支払期年月（終了）時点が転給未処理のため、支払履歴が存在しません。 |
| EN_00756 | (EN_00756) 検索対象支払期が転給未処理中です。 |
| EN_00757 | (EN_00757) データに不整合が生じているため検索できません。本省に連絡してください。 |
| EN_00758 | (EN_00758) 未決議中のデータはありません。 |
| EN_00759 | (EN_00759) 障害等級号が適用期間外なので、支給事由発生年月日と障害等級号を確認してください。 |
| EN_00801 | (EN_00801) 「枝番号」は入力できません。 |
| EN_00802 | (EN_00802) 「支払期年月（終了)」は入力できません。 |
| EN_00804 | (EN_00804) 「年金証書番号」が存在しません。 |
| EN_00810 | (EN_00810) 検索対象データが存在しません。被災者氏名および遺族受給権者氏名を確認してください。 |
| EN_00812 | (EN_00812) 「追・回履歴」が存在しません。 |
| EN_00814 | (EN_00814) 「訂正番号」に該当する一時金データが存在しません。 |
| EN_00815 | (EN_00815) 「一時金データ受付番号」が存在しません。 |
| EN_00816 | (EN_00816) 「障害給付」が存在しません。 |
| EN_00822 | (EN_00822) 入力支払期が年 6 回支払期の「月」と異なります。 |
| EN_00823 | (EN_00823) 入力支払期が年 4 回支払期の「月」と異なります。 |
| EN_00824 | (EN_00824) 支払期年月（開始）が年 6 回支払期の「月」と異なります。 |
| EN_00825 | (EN_00825) 支払期年月（開始）が年 4 回支払期の「月」と異なります。 |
| EN_00826 | (EN_00826) 支払期年月（終了）が年 6 回支払期の「月」と異なります。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_00827 | (EN_00827) 支払期年月（終了）が年 4 回支払期の「月」と異なります。 |
| EN_00828 | (EN_00828) 職権の場合、到達番号の入力はできません。 |
| EN_00829 | (EN_00829) 到達番号は、単独の住所・氏名等変更票（１枚目）のみ入力可能です。 |
| EN_00832 | (EN_00832) 郵便番号桁数不足です。正しい郵便番号へ変更してください。 |
| EN_00833 | (EN_00833) 【支給事由発生年月日≦治ゆ年月日（短)】です。確認してください。 |
| EN_00834 | (EN_00834) 【支給事由発生年月日≦再発年月日（短)】です。確認してください。 |
| EN_00835 | (EN_00835) 「治ゆ年月日」が短期給付で登録されていません。治ゆ年月日を確認してください。 |
| EN_00836 | (EN_00836) 短期給付で「再発年月日」が登録されていて、「治ゆ年月日」が登録されていません。確認してください。 |
| EN_00837 | (EN_00837) 「再発年月日」が短期給付で登録されていません。再発年月日を確認してください。 |
| EN_00838 | (EN_00838) 「支給事由発生年月日」が短期給付で登録されている「治ゆ年月日」と同一です。治ゆ年月日を確認してください。 |
| EN_00840 | (EN_00840) 特別遺族年金に前払一時金制度はありません。 |
| EN_00841 | (EN_00841) 特別遺族給付金が請求中であるか支給決定されています。 |
| EN_00842 | (EN_00842) 特別遺族給付金の受付年月日が支給事由発生年月日と異なります。 |
| EN_00843 | (EN_00843) 特別遺族給付金の請求（受付）年月日が法の施行日より前です。 |
| EN_00844 | (EN_00844) 平成 20 年 3 月以前は通信制大学の適用はありません。<br>支給開始年月は平成 20 年 4 月以降の年月で入力してください |
| EN_00845 | (EN_00845) 既に労災年金／一時金が請求中であるか支給決定されているので、特別遺族給付金は請求できません。 |
| EN_00846 | (EN_00846) 特別遺族給付で支給事由発生年月日の訂正はできません。 |
| EN_00847 | (EN_00847) 特別遺族給付で特加加入コード以外は訂正できません。 |
| EN_00848 | (EN_00848) 在学者・要保育児生年月日＞支給事由発生年月日です。 |
| EN_00849 | (EN_00849) 特別遺族給付で受付年月日の訂正はできません。 |
| EN_00850 | (EN_00850) 特別遺族給付で傷病年月日の訂正はできません。 |
| EN_00851 | (EN_00851) 特別遺族給付で業通別の訂正はできません。 |
| EN_00852 | (EN_00852) 特別遺族年金で厚年等情報の検索はできません。 |
| EN_00853 | (EN_00853) 船員に対する事案で「傷病年月日」が基準日より前です。 |
| EN_00854 | (EN_00854) 船員に対する事案で「受付年月日」が基準日より前です。 |
| EN_00855 | (EN_00855) 障害等級号が適用期間外なので、支給決定年月日と障害等級号を確認してください。 |
| EN_10001 | (EN_10001) {0}は桁数エラーです。 |
| EN_10002 | (EN_10002) {0}は桁数オーバーです。 |
| EN_10003 | (EN_10003) {0}は必須入力項目です。 |
| EN_10004 | (EN_10004) {0}は桁数不足です。 |
| EN_10005 | (EN_10005) {0}は字種エラーです。 |
| EN_10006 | (EN_10006) {0}はコードエラーです。 |
| EN_10007 | (EN_10007) {0}は数値エラーです。 |
| EN_10008 | (EN_10008) {0}は日付エラーです。 |
| EN_10009 | (EN_10009) {0}はその他エラーです。 |
| EN_10010 | (EN_10010) {0}は{1}文字で入力してください。 |
| EN_10011 | (EN_10011) {0}が{1}のときは、{2}は入力できません。 |
| EN_10012 | (EN_10012) {0}が{1}のときは、{2}は入力必須です。 |
| EN_10013 | (EN_10013) 支払方法が銀行振込で未支給事案でない場合は年金・一時金入力票の入力が必要です。実行コード 2 または 4 を選択してください。 |
| EN_10014 | (EN_10014) 選択した検索メニューは閲覧できません。 |
| EN_10015 | (EN_10015) 既に配信要求が登録されています。 |
| EN_10016 | (EN_10016) 取消可能な配信要求が存在しません。 |
| EN_10017 | (EN_10017) 要求コードは「1」、「2」、「9」のいずれかを入力してください。 |
| EN_10018 | (EN_10018) 短期キー（労働保険番号、傷病年月日、被災者生年月日)、被災者氏名、遺族受給権者氏名のいずれかを入力してください。 |
| EN_10019 | (EN_10019) 「メニュー」がコードエラーです。 |
| EN_10020 | (EN_10020) 「行政裁量の種類」がコードエラーです。 |
| EN_10021 | (EN_10021) 「枝番号」が形式エラーです。 |

| メッセージ ID | メッセージ文字列 |
|---|---|
| EN_10022 | (EN_10022) 「枝番号」の指定はできません。 |
| EN_10023 | (EN_10023) 「支払期」が当期支払期ではありません。 |
| EN_10024 | (EN_10024) 「被災者生年月日」が暦日ではありません。 |
| EN_10025 | (EN_10025) 「被災者生年月日」が異なります。 |
| EN_10026 | (EN_10026) 基本権が存在しません。 |
| EN_10027 | (EN_10027) 既に行政裁量が行われています。 |
| EN_10028 | (EN_10028) 支払権者が存在しません。 |
| EN_10029 | (EN_10029) 行方不明による支給停止、又は所在不明による支払差止中です。 |
| EN_10030 | (EN_10030) 既に削除データが登録されています。 |
| EN_10031 | (EN_10031) 特別遺族給付は『年金』のみ入力可能です。 |
| EN_10032 | (EN_10032) 「行政裁量事由」および「行政裁量額」が入力されていません。 |
| EN_10033 | (EN_10033) 「行政裁量事由」がコードエラーです。 |
| EN_10034 | (EN_10034) 「行政裁量入力後の支払額<0 円」です。 |
| EN_10035 | (EN_10035) 既にデータが登録されています。 |
| EN_10036 | (EN_10036) 更新、削除する登録データはありません。 |
| EN_10037 | (EN_10037) 「行政裁量額」が 0 円です。入力してください。 |
| EN_10038 | (EN_10038) 基本権が存在しません。 |
| EN_10039 | (EN_10039) 「年金証書番号」が形式エラーです。 |
| EN_10040 | (EN_10040) 「支払期年月」が形式エラーです。 |
| EN_10041 | (EN_10041) 指定した支払期は未来日付です。 |
| EN_10042 | (EN_10042) 指定した支払期は支払履歴が存在しません。 |
| EN_10043 | (EN_10043) ［支払事故］の登録はできません。 |
| EN_10044 | (EN_10044) 「事故未解消」の支払期が存在しています。 |
| EN_10045 | (EN_10045) ［支払取消］は最古の事故中の支払期を入力してください。 |
| EN_10046 | (EN_10046) 「支払事故」が入力されていません。 |
| EN_10047 | (EN_10047) 既に「事故解消」が入力されています。 |
| EN_10048 | (EN_10048) 短期キーを入力する場合は、労働保険番号、傷病年月日、被災者生年月日全ての項目を入力してください。 |
| EN_10049 | (EN_10049) 支払事故中ではありません。支払取消は行えません。 |
| EN_10050 | (EN_10050) データに不整合が生じているため、出力情報が取得できません。 |
| EN_10051 | (EN_10051) 金融機関・郵便局情報が取得できません。 |
| EN_10052 | (EN_10052) データが１件も入力されていません。 |
| EN_10053 | (EN_10053) 入力データ（年金証書番号・枝番号・支払期）が重複しています。 |
| EN_10054 | (EN_10054) 「処理コード」がコードエラーです。 |
| EN_10055 | (EN_10055) 「支払事故事由」がコードエラーです。 |
| EN_10056 | (EN_10056) 「年金担保融資」の支払期です。 |
| EN_10057 | (EN_10057) 指定した支払権者は存在しません。 |
| EN_10058 | (EN_10058) 支払額（年金、特別年金、援護費）が「0 円」です。 |
| EN_10059 | (EN_10059) 既に「支払事故」が入力されています。 |
| EN_10060 | (EN_10060) 被災者氏名、遺族受給権者氏名のいずれかを入力してください。 |
| EN_10061 | (EN_10061) 「修正／削除」に「1:修正」「9:削除」以外が入力されています。 |
| EN_10062 | (EN_10062) 支払事故情報は削除できません。 |
| EN_10063 | (EN_10063) 「解消年月日」が入力されていません。 |
| EN_10064 | (EN_10064) 「当日分削除」または「処理コード」がコードエラーです。 |
| EN_10065 | (EN_10065) 「解消年月日」が形式エラーです。 |
| EN_10066 | (EN_10066) 指定した解消年月日は未来日付です。 |
| EN_10067 | (EN_10067) 【事故年月日≦解消年月日】または【処理年月日≦解消年月日】でありません |
| EN_10068 | (EN_10068) 支払先が「窓口現金払」です。 |
| EN_10069 | (EN_10069) 支払先が「窓口現金払」でありません。 |
| EN_10070 | (EN_10070) 支払日より 12 か月以上経過していません。 |
| EN_10071 | (EN_10071) 支払日より 5 年以上経過していません。 |

# 【別　　紙】

別紙1【被災者と資格者との年齢差チェック】

〈前提条件〉

実の親子関係は11歳以上離れていること。

養子の親は養子の年齢以上であること。

夫婦関係は20歳以内であること。

兄弟姉妹の年齢差は20歳以内であること。

被災者を男性と仮定して最年少の結婚年齢は18歳とする。

祖父母、子、孫は養子関係を含む。

| 続柄 | 枝番号 | 被災者年齢との比較【被災者年齢－資格者年齢】 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | メッセージ年齢差 | キャンセル年齢差 | キャンセル年齢比較 |
| 夫 | 01 | －21以下・＋21以上 | | |
| 妻 | 02 | －21以下・＋21以上 | | |
| 子 | 11～19 | 0～17 | | 被災者年齢＜資格者年齢 |
| 実父 | 21 | －17～－11 | －10～0 | 被災者年齢＞資格者年齢 |
| 実母 | 22 | －17～－11 | －10～0 | 被災者年齢＞資格者年齢 |
| 養父 | 23 | －17～0 | | 被災者年齢＞資格者年齢 |
| 養母 | 24 | －17～0 | | 被災者年齢＞資格者年齢 |
| 孫 | 31～39 | 0～35 | | 被災者年齢＜資格者年齢 |
| 祖父母 | 41～44 | －35～0 | | 被災者年齢＞資格者年齢 |
| 兄弟姉妹 | 51～59 | －21以下・＋21以上 | | |
| 夫 | 61 | －21以下・＋21以上 | | |
| 実父 | 71 | －17～－11 | －10～0 | 被災者年齢＞資格者年齢 |
| 実母 | 72 | －17～－11 | －10～0 | 被災者年齢＞資格者年齢 |
| 養父 | 73 | －17～0 | | 被災者年齢＞資格者年齢 |
| 養母 | 74 | －17～0 | | 被災者年齢＞資格者年齢 |
| 祖父母 | 81～84 | －35～0 | | 被災者年齢＞資格者年齢 |
| 兄弟姉妹 | 91～99 | －21以下・＋21以上 | | |

別紙２【第１．２．３．種特別加入者の労働保険番号チェック】

| 特別加入者種別 | 特別加入者コード | 労働保険番号の基幹番号上１桁 | 労働保険番号の基幹番号下１桁 | 労働保険番号の枝番号 | 保険関係等 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 11 | チェックなし | チェックなし | チェックなし | チェックなし |
| 第２種特別加入者 | 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29<br>41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49<br>51 | 0～7 | チェックなし | 000 | 771 |
| | | 9 | 8 | チェックなし | 773<br>775 |
| 第３種特別加入者 | 61 | 0～5，7 | チェックなし | 301～309 | 771 |
| | | 9 | 8 | 301～399 | 775 |

別紙３【システム化対象範囲】

| 給付の種類 | システム開始支給事由発生年月日 |
|---|---|
| 傷病補償年金 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 障害補償年金 | 昭和 41 年 2 月 1 日 |
| 遺族補償年金 | 昭和 41 年 2 月 1 日 |
| 傷病年金 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 障害年金 | 昭和 48 年 12 月 1 日 |
| 遺族年金 | 昭和 48 年 12 月 1 日 |
| 障害補償一時金 | 昭和 41 年 2 月 1 日 |
| 遺族補償一時金 | 昭和 41 年 2 月 1 日 |
| 障害一時金 | 昭和 48 年 12 月 1 日 |
| 遺族一時金 | 昭和 48 年 12 月 1 日 |
| 障害補償年金前払一時金 | 昭和 56 年 11 月 1 日 |
| 障害年金前払一時金 | 昭和 56 年 11 月 1 日 |
| 遺族補償年金前払一時金 | 昭和 41 年 2 月 1 日 |
| 遺族年金前払一時金 | 昭和 48 年 12 月 1 日 |
| 障害補償年金差額一時金 | 昭和 56 年 11 月 1 日 |
| 障害年金差額一時金 | 昭和 56 年 11 月 1 日 |
| 葬祭料 | 昭和 41 年 2 月 1 日 |
| 葬祭給付 | 昭和 48 年 12 月 1 日 |
| 未支給の保険給付 | 昭和 41 年 2 月 1 日 |

| 給付の種類 | システム開始支給事由発生年月日 |
| --- | --- |
| 傷病特別年金 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 障害特別年金 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 遺族特別年金 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 長期差額特別支給金 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 休業差額特別支給金 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 障害特別一時金 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 遺族特別一時金 | 昭和 52 年 4 月 1 日 |
| 障害特別年金差額一時金 | 昭和 56 年 11 月 1 日 |
| 傷病特別支給金（定額） | 昭和 56 年 4 月 1 日 |
| 障害特別支給金（定額） | 昭和 49 年 11 月 1 日 |
| 遺族特別支給金（定額） | 昭和 49 年 11 月 1 日 |
| 未支給の特別支給金 | 昭和 49 年 11 月 1 日 |
| 就学援護費 | 昭和 45 年 11 月 1 日 |
| 就労保育援護費 | 昭和 54 年 4 月 1 日 |
| 未支給の就学援護費 | 昭和 45 年 11 月 1 日 |
| 未支給の就労保育援護費 | 昭和 54 年 4 月 1 日 |
| 特別遺族給付金 | 平成 18 年 3 月 27 日 |

別紙 4【枝番号での入力項目チェック】

〈前提条件〉

実の親子関係は 11 歳以上離れていること。

養子の親は養子の年齢以上であること。

養子をとることができるのは男性 18 歳以上、女性 16 歳以上であること。

結婚できるのは男性 18 歳以上、女性は 16 歳以上であること。

祖父母は実父母の実父母又は養父母、養父母の実父母又は養父母である。

60 歳以上の資格者は障害の有無を入力しない。（妻を除く）

| 続柄 | 枝番号 | 資格者性別 | 被災者性別 | 資格者年齢チェック | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 障害 | 正当年齢 | メッセージ年齢 | キャンセル年齢 |
| 夫 | 01 | 男 | 女 | 無 | 60～ | | 0～59 |
| | | | | 有 | 18～59 | 11～17 | 0～10・60～ |
| 妻 | 02 | 女 | 男 | 有無 | 16～ | 11～15 | 0～10 |
| 子 | 11～19 | 男・女 | 男・女 | 無 | 0～18　※ | | 18～　※ |
| | | | | 有 | 0～∞ | | |
| 実父 | 21 | 男 | 男・女 | 無 | 60～ | | 0～59 |
| | | | | 有 | 18～59 | 11～17 | 0～10・60～ |
| 実母 | 22 | 女 | 男・女 | 無 | 60～ | | 0～59 |
| | | | | 有 | 16～59 | 11～15 | 0～10・60～ |
| 養父 | 23 | 男 | 男・女 | 無 | 60～ | | 0～59 |
| | | | | 有 | 18～59 | | 0～17・60～ |
| 養母 | 24 | 女 | 男・女 | 無 | 60～ | | 0～59 |
| | | | | 有 | 16～59 | | 0～15・60～ |
| 孫 | 31～39 | 男・女 | 男・女 | 無 | 0～18　※ | | 18～　※ |
| | | | | 有 | 0～∞ | | |
| 祖父 | 41 | 男 | 男・女 | 無 | 60～ | | 0～59 |
| | | | | 有 | 36～59 | 0～35 | 60～ |
| 祖母 | 42 | 女 | 男・女 | 無 | 60～ | | 0～59 |
| | | | | 有 | 32～59 | 0～35 | 60～ |
| 兄弟姉妹 | 51～59 | 男・女 | 男・女 | 無 | 0～18・60～※ | | 18～59※ |
| | | | | 有 | 0～∞ | | |
| 夫 | 61 | 男 | 女 | 無 | 55～59 | | 0～54・60～ |
| 実父 | 71 | 男 | 男・女 | 無 | 55～59 | | 0～54・60～ |

| 続柄 | 枝番号 | 資格者性別 | 被災者性別 | 資格者年齢チェック | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 障害 | 正当年齢 | メッセージ年齢 | キャンセル年齢 |
| 実母 | 72 | 女 | 男・女 | 無 | 55～59 | | 0～54・60～ |
| 養父 | 73 | 男 | 男・女 | 無 | 55～59 | | 0～54・60～ |
| 養母 | 74 | 女 | 男・女 | 無 | 55～59 | | 0～54・60～ |
| 祖父 | 81 | 男 | 男・女 | 無 | 55～59 | | 0～54・60～ |
| 祖母 | 82 | 女 | 男・女 | 無 | 55～59 | | 0～54・60～ |
| 兄弟姉妹 | 91～99 | 男・女 | 男・女 | 無 | 55～59 | | 0～54・60～ |

※子、孫、兄弟姉妹については、18歳に達する日以後の最初の3月31日までは受給資格者となるのでキャンセルされない。

別紙５【通常の支給終了（予定）年月】

| 支給区分 | 通常年齢 | 学年区分<br>(年齢) | 通常の支給終了(予定)年月 |
|---|---|---|---|
| 1：「就労保育」 | 0～6 歳 | 0～6 歳 | 6 歳時の 3 月 |
| | | 7 歳以上 | 申請年度の 3 月 |
| 3：「小学校」 | 6～12 歳 | 1 | (請求年度+5)年度の 3 月 |
| | | 2 | (請求年度+4)年度の 3 月 |
| | | 3 | (請求年度+3)年度の 3 月 |
| | | 4 | (請求年度+2)年度の 3 月 |
| | | 5 | (請求年度+1)年度の 3 月 |
| | | 6 | (請求年度+0)年度の 3 月 |
| 5：「中学校」 | 12～15 歳 | 1 | (請求年度+2)年度の 3 月 |
| | | 2 | (請求年度+1)年度の 3 月 |
| | | 3 | (請求年度+0)年度の 3 月 |
| | | 4 | (請求年度+0)年度の 3 月 |
| 7：「高等学校」 | 15～18 歳 | 1 | (請求年度+2)年度の 3 月 |
| | | 2 | (請求年度+1)年度の 3 月 |
| | | 3 | (請求年度+0)年度の 3 月 |
| | | 4 | (請求年度+0)年度の 3 月 |
| | | 5 | (請求年度+0)年度の 3 月 |
| 8：「通信制大学」 | 18～30 歳 | 1 | (請求年度+3)年度の 3 月 |
| | | 2 | (請求年度+2)年度の 3 月 |
| | | 3 | (請求年度+1)年度の 3 月 |
| | | 4 | (請求年度+0)年度の 3 月 |
| | | 5 | (請求年度+1)年度の 3 月 |
| | | 6 | (請求年度+0)年度の 3 月 |
| 9：「大学等」 | 18～30 歳 | 1 | (請求年度+3)年度の 3 月 |
| | | 2 | (請求年度+2)年度の 3 月 |
| | | 3 | (請求年度+1)年度の 3 月 |
| | | 4 | (請求年度+0)年度の 3 月 |
| | | 5 | (請求年度+1)年度の 3 月 |
| | | 6 | (請求年度+0)年度の 3 月 |

別紙６【年金及び特別年金の計算方法】

１年金の計算方法

| 事　　項 | 電　子　計　算　機　に　よ　る　計　算　方　式 |
|---|---|
| ①<br>給付基礎日額 | A. 特別加入者は、常に平均賃金(切上)とする。<br>B. 特別加入者以外は、次の場合による。<br>B－1　昭和62年1月分以前は次による。<br>(1)　平均賃金×④スライド率＜最低保障額の場合は最低保障額とする。<br>(2)　平均賃金×④スライド率≧最低保障額の場合は平均賃金(切上)とする。<br>B－2　昭和62年2月分以降は、次による。<br>まず、労災法第8条及び労災則第9条4号(給付基礎日額の特例)による給付基礎日額を求める。<br>(1)　平均賃金×④スライド率≧最低保障額の場合は平均賃金(切上)とする。<br>(2)　平均賃金×④スライド率＜最低保障額の場合は $\frac{\text{最低保障額}}{\text{④スライド率}}$ (切捨)とする。<br>ただし、$\frac{\text{最低保障額}}{\text{④スライド率}}$ (切捨)＜平均賃金(切上)となる場合には、<br>平均賃金(切上)とする。 |
| ②<br>年金給付基礎日額 | A. 平成2年7月分以前は、次による。<br>(1)　①給付基礎日額×④スライド率＜最低限度額の場合は最低限度額とする。<br>(2)　①給付基礎日額×④スライド率＞最高限度額の場合は最高限度額とする。<br>(3)　最低限度額≦①給付基礎日額×④スライド率≦最高限度額の場合は平均賃金(切上)とする。<br>ただし、①給付基礎日額がB－2－(2) $\frac{\text{最低保障額}}{\text{④スライド率}}$ (切捨)の場合は $\frac{\text{最低保障額}}{\text{④スライド率}}$ (切捨)とする。<br>(4)　附則第4条経過措置対象者で、<br>昭和62年1月31日時点〔平均賃金(切上)×スライド率〕(切上)＞最高限度額(計算対象月)の場合は、上記(1)～(3)にかかわらず、<br>昭和62年1月31日時点〔平均賃金(切上)×スライド率〕(切上)とする。<br>B. 平成2年8月分以降は、次による。<br>B－1　特別加入者は、次による。<br>〔①給付基礎日額×④スライド率〕(切上)<br>B－2　特別加入者以外は、次による。<br>(1)　〔①給付基礎日額×④スライド率〕(切上)＜最低限度額の場合は最低限度額とする。<br>(2)　〔①給付基礎日額×④スライド率〕(切上)＞最高限度額の場合は最高限度額とする。<br>(3)　最低限度額≦〔①給付基礎日額×④スライド率〕(切上)≦最高限度額の場合は〔①給付基礎日額×④スライド率〕(切上)とする。<br>(4)　附則第4条経過措置対象者で、<br>昭和62年1月31日時点〔平均賃金(切上)×④スライド率〕(切上)＞最高限度額(計算対象月)の場合は、上記(1)～(3)にかかわらず、<br>昭和62年1月31日時点〔平均賃金(切上)×④スライド率〕(切上)とする。 |

| 事　　項 | 電 子 計 算 機 に よ る 計 算 方 式 |
|---|---|
| ③<br>給　付　日　数 | 傷　病　　1級…313日分　2級…277日分　3級…245日分<br><br>障　害　　1級…313日分　2級…277日分　3級…245日分　4級…213日分<br>5級…184日分　6級…156日分　7級…131日分<br>既存障害のあるものについては所要の計算をする。<br>遺　族<br>A. 昭和55年11月から平成7年7月分までは次による。<br>1人……{153日分<br>175日分(55歳以上の妻又は障害の妻)<br>2人……193日分<br>3人……212日分<br>4人……230日分<br>5人以上……245日分<br>B. 平成7年8月分以降は、次による。<br>1人……{153日分<br>175日分(55歳以上の妻又は障害の妻)<br>2人……201日分<br>3人……223日分<br>4人以上……245日分 |
| ④<br>ス　ラ　イ　ド　率 | 災害発生年度からみた支給時点におけるスライド率 |
| ⑤<br>基 本 年 金 年 額 | A. 昭和62年1月分以前は、次の計算式による。<br>(1)　最低保障額非適用のとき、<br>〔①給付基礎日額×③給付日数〕(切捨)×④スライド率(切捨)とする。<br>(2)　最低保障額適用のとき、<br>〔①給付基礎日額×③給付日数〕(切捨)とする。<br>B. 昭和62年2月分以降、平成2年7月以前は、次の計算式による。<br>(1)　最低限度額、最高限度額、附則第4条経過措置額のいずれも非適用のとき、<br>〔②年金給付基礎日額×③給付日数〕(切捨)×④スライド率(切捨)とする。<br>(2)　最低限度額、最高限度額、附則第4条経過措置額のいずれか適用のとき、<br>〔②年金給付基礎日額×③給付日数〕(切捨)とする。<br>C. 平成2年8月分以降は、次の計算式による。<br>〔②年金給付基礎日額×③給付日数〕(切捨) |

<table>
<tr><th>事　項</th><th>電 子 計 算 機 に よ る 計 算 方 式</th></tr>
<tr><td>⑥<br>厚 年 等 調 整 率</td><td>
<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">労災<br>厚年等</th><th colspan="3">自 52. 4. 1<br>至 63. 3.31</th><th colspan="3">自 63. 4. 1</th></tr>
<tr><th>傷病</th><th>障害</th><th>遺族</th><th>傷病</th><th>障害</th><th>遺族</th></tr>
<tr><td rowspan="3">旧</td><td>厚 年</td><td>1</td><td rowspan="2">76%<br>88</td><td rowspan="2">76%<br>89</td><td rowspan="2">83%<br>91</td><td rowspan="2">75%<br>89</td><td rowspan="2">74%<br>89</td><td rowspan="2">80%<br>90</td></tr>
<tr><td>船 員</td><td>3</td></tr>
<tr><td>国 年</td><td>5</td></tr>
<tr><td rowspan="3">新</td><td>新厚国</td><td>2</td><td>76</td><td>76</td><td>83</td><td>73</td><td>73</td><td>80</td></tr>
<tr><td>新 厚</td><td>4</td><td>88</td><td>88</td><td>91</td><td>86</td><td>83</td><td>84</td></tr>
<tr><td>新 国</td><td>6</td><td>88</td><td>89</td><td>91</td><td>88</td><td>88</td><td>88</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑦<br>厚年等調整後年額</td><td>〔⑤基本年金年額×⑥厚年等調整率〕(切捨)</td></tr>
<tr><td>⑧<br>附則第 7 条第 1 項<br>適　用　者</td><td>昭和 52 年 3 月現在の厚年等差引後の年額＞⑦厚年等調整後年額の場合は、<br>昭和 52 年 3 月現在の年額を⑦厚年等調整後の年額とする。</td></tr>
<tr><td>⑨<br>附則第 7 条第 2 項<br>適　用　者</td><td>A. 障害(補償)年金の受給権者の該当する障害等級に変更があった場合<br>旧支給額× (変更後に該当するに至った障害等級に応ずる調整前の年金額 ／ 変更前に該当していた障害等級に応ずる調整前の年金額)<br>B. 遺族(補償)年金を受ける遺族の数に増減を生じた場合、受給権者である妻が 50 歳若しくは 55 歳となり若しくは障害となった場合、又は受給権者が所在不明となり遺族(補償) 年金の支給が停止された場合<br>旧支給額× (遺族の数等に増減を生じた後の調整前の年金額 ／ 遺族の数等に増減を生ずる前の調整前の年金額)<br>C. 傷病(補償)年金の受給権者の該当する傷病等級に変更があった場合<br>旧支給額× (変更後に該当するに至った傷病等級に応ずる調整前の年金額 ／ 変更前に該当していた傷病等級に応ずる調整前の年金額)</td></tr>
<tr><td>⑩<br>限 度 額 適 用 者</td><td>(⑤基本年金年額－⑦厚年等調整後年額)＞厚年等年額の場合は、<br>(⑤基本年金年額－厚年等年額)の額を⑦厚年等調整後年額とする。</td></tr>
<tr><td>⑪<br>支　給　制　限</td><td>A. 厚年等調整のない場合<br>⑤基本年金年額－⑤基本年金年額×支給制限率<br>B. 厚年等調整のある場合<br>⑦厚年等調整後年額－⑦厚年等調整後年額×支給制限率</td></tr>
<tr><td>⑫<br>端　数　処　理<br>(法第 8 条の 6)</td><td>(1)　平成 2 年 7 月分以前は次による。<br>年金給付基礎日額×給付日数×スライド率×厚年等調整率×支給制限<br>①<br>②<br>③<br>④<br>※　上記①～④の該当する段階での最終年金額を算出したところで、端数の 50 円未満は切り捨て、50 円以上 100 円未満は 100 円に切り上げを行う。</td></tr>
</table>

| 事　項 | 電 子 計 算 機 に よ る 計 算 方 式 |
|---|---|
| | (2)　平成 2 年 8 月分以降平成 13 年 4 月分までは次による。<br>年金給付基礎日額×給付日数×厚年等調整率×支給制限<br>①<br>②<br>③<br>※　上記①～③の該当する段階での最終年金額を算出したところで、端数の 50 円未満は切り捨て、50 円以上 100 円未満は 100 円に切り上げを行う。 |
| | (3)　平成 13 年 5 月分以降は次による。<br>①　支給事由発生年月日が平成 13 年 3 月 31 日以前のとき、<br>ア　算定事由発生日が平成 12 年 3 月 31 日以前の場合<br>(ｱ)　平成 13 年 5 月分以降平成 13 年 7 月分以前<br>年金給付基礎日額×給付日数×厚年等調整率×支給制限<br>①<br>②<br>③<br>※　上記①～③の該当する段階での最終年金額を算出したところで、端数の 50 円未満は切り捨て、50 円以上 100 円未満は 100 円に切り上げを行う。<br>(ｲ)　平成 13 年 8 月分以降<br>年金給付基礎日額×給付日数×厚年等調整率×支給制限<br>①<br>②<br>③<br>※　上記①～③の該当する段階での最終年金額を算出する。端数の円未満は切り捨てる。<br>イ　算定事由発生日が平成 12 年 4 月 1 日以降平成 13 年 3 月 31 日以前の場合<br>(ｱ)　平成 13 年 5 月分以降平成 14 年 7 月以前<br>年金給付基礎日額×給付日数×厚年等調整率×支給制限<br>①<br>②<br>③<br>※　上記①～③の該当する段階での最終年金額を算出したところで、端数の 50 円未満は切り捨て、50 円以上 100 円未満は 100 円に切り上げを行う。<br>(ｲ)　平成 14 年 8 月分以降<br>年金給付基礎日額×給付日数×厚年等調整率×支給制限<br>①<br>②<br>③<br>※　上記①～③の該当する段階での最終年金額を算出する。端数の円未満は切り捨てる。<br>②　支給事由発生年月日が平成 13 年 4 月 1 日以降のとき<br>年金給付基礎日額×給付日数×厚年等調整率×支給制限<br>①<br>②<br>③<br>※　上記①～③の該当する段階での最終年金額を算出する。端数の円未満は切り捨てる。 |

<table>
<tr><th>事　項</th><th>電 子 計 算 機 に よ る 計 算 方 式</th></tr>
<tr><td>⑬<br>給 付 月 額</td><td>A. 平成８年７月分以前は次による。<br><table><tr><th>基本年金年額又は<br>厚年等調整後年額</th><th>給付月額(1)<br>（初月）</th><th>給付月額(2)<br>（中月）</th><th>給付月額(3)<br>（終月）</th></tr><tr><td>K1＝K2＝K3</td><td>K×1/12(切捨)</td><td>K×1/12(切捨)</td><td>K×1/4-月額(1)-月額(2)</td></tr><tr><td>K1≠K2＝K3</td><td>K1×1/12(切捨)</td><td>K2×1/12(切捨)</td><td>K3×1/6(切捨)-月額(2)</td></tr><tr><td>K1＝K2≠K3</td><td>K1×1/12(切捨)</td><td>K2×1/6(切捨)-月額(1)</td><td>K3×1/12(切捨)</td></tr><tr><td>K1≠K2≠K3</td><td>K1×1/12(切捨)</td><td>K2×1/12(切捨)</td><td>K3×1/12(切捨)</td></tr></table>B. 平成８年８月分以降は次による。<br><table><tr><th>基本年金年額又は<br>厚年等調整後年額</th><th>給付月額(1)<br>（初月）</th><th>給付月額(2)<br>（終月）</th></tr><tr><td>K1＝K2</td><td>K×1/12(切捨)</td><td>K×1/6(切捨)-月額(1)</td></tr><tr><td>K1≠K2</td><td>K1×1/12(切捨)</td><td>K2×1/12(切捨)</td></tr></table>※　上記のＫは、⑤基本年金年額又は⑦厚年等調整後年額を表わす。<br>（K1 は初月における⑤又は⑦の年額を表わす。）</td></tr>
<tr><td>⑭<br>追 給 額</td><td>支給要件の変更が当該支払期以前にさかのぼる場合、その期間に相当する額を追給する。</td></tr>
<tr><td>⑮<br>回 収 額</td><td>(1)　内払額が発生した場合及び支給要件の変更が当該支払期以前にさかのぼる場合、内払額及びその期間に相当する額を回収する。<br>(2)　他の年金から移行した者に対する過払額を内払調整する。<br>(3)　回収額が当該支払期に支払うべき額の 1/2 以上の場合は、1/2 の額を回収する。</td></tr>
<tr><td>⑯<br>当期損賠調整額</td><td>前月の損賠調整残額と年金給付月額とを比較し、小さい方を当月の損賠調整額とする。ただし、調整は災害発生後３年間で終了とする。</td></tr>
<tr><td>⑰<br>当期前払調整額</td><td>前月の前払調整残額と年金給付月額×調整係数とを比較し、<br>(1)　前月の前払調整残額が大きい場合は、給付月額を当月の前払調整額とする。<br>(2)　前月の前払調整残額が小さい場合は、前払調整残額(調整係数で除した額(切捨))を当月の前払調整額とする。</td></tr>
<tr><td>⑱<br>支 払 差 止</td><td>帳票種別 39562 で支払差止の入力をした支払期の初月の分から、年金の支払を差止める。</td></tr>
</table>

2　特別年金の計算方法

| 事　　項 | 電　子　計　算　機　に　よ　る　計　算　方　式 |
|---|---|
| ⑲<br>算　定　基　礎　年　額 | A. 災害発生が昭和 52 年 3 月 31 日以前は、次による。<br>A－1　昭和 62 年 1 月分以前は、次による。<br>〔①給付基礎日額×365×16.9/100〕(切上)を「A」とする。<br>(1)　A≦150 万円　の場合は A とする。<br>(2)　A＞150 万円　の場合は 150 万円とする。<br>(3)　最低保障額適用者以外について次を行う。<br>上記(1)、(2)で得られた額×④スライド率＞150 万円の場合は、上記(1)、(2)にかかわらず 150 万円/④スライド率(切上)とする。<br><br>A－2　昭和 62 年 2 月分以降は、次による。<br>まず、労災法第 8 条および労災則第 9 条第 4 号(給付基礎日額の特例)による給付基礎日額を求める。<br>計算は①給付基礎日額 B－2 であげた計算方法による。<br>〔上記で求めた給付基礎日額×365×16.9/100×④スライド率〕(切上)を「B」とする。<br>(1)　最高限度額、附則第 4 条経過措置額のいずれか適用のとき、<br>〔最高限度額あるいは 附則第 4 条経過措置額 ×365×20/100〕(切上)を「C」とする。<br>(1)－1　B≦C の場合は B/④スライド率(切上)とする。<br>(1)－2　B＞C の場合は C/④スライド率(切上)とする。<br>(1)－3　B 及び C＞150 万円の場合は 150 万円/④スライド率(切上)とする。<br>(2)　最高限度額、附則第 4 条経過措置額のいずれも非適用のとき、<br>(2)－1　B≦150 万円の場合は B/④スライド率(切上)とする。<br>(2)－2　B＞150 万円の場合は 150 万円/④スライド率(切上)とする。<br><br>B. 災害発生が昭和 52 年 4 月 1 日以降は、次による。<br>〔①給付基礎日額(昭和 62 年 1 月分以前) ②年金給付基礎日額(昭和 62 年 2 月分以降) ×365×20/100〕(切上)を「D」とする。<br><br>B－1　昭和 62 年 1 月分以前は、次による。<br>(1)　特別給与額≦D の場合は特別給与額とする。<br>(2)　特別給与額＞D の場合は D とする。<br>(3)　上記(1)か(2)で得られた額＞150 万円の場合は上記(1)、(2)にかかわらず 150 万円とする。<br>(4)　上記で得られた額が(1)による場合はすべて、また、(2)、(3)による場合は最低保障額適用者以外について次を行う。<br>上記(1)、(2)、(3)で得られた額×④スライド率＞150 万円の場合は、上記(1)、(2)、(3)にかかわらず 150 万円/④スライド率(切上)とする。 |

| 事　項 | 電子計算機による計算方式 |
|---|---|
| | B－2　昭和62年2月分以降、平成2年7月分以前は、次による。<br>(1)　最低限度額、最高限度額、附則第4条経過措置額のいずれか適用のとき、<br>(1)－1　特別給与額×④スライド率≦Dの場合は特別給与額とする。<br>(1)－2　特別給与額×④スライド率＞Dの場合はD/④スライド率(切上)とする。<br>(1)－3　特別給与額×④スライド率、及びD＞150万円の場合は上記(1)－1、(1)－2にかかわらず150万円/④スライド率(切上)とする。<br><br>(2)　最低限度額、最高限度額、附則第4条経過措置額のいずれも非適用のとき、<br>(2)－1　特別給与額≦Dの場合は特別給与額とする。<br>(2)－2　特別給与額＞Dの場合はDとする。<br>(2)－3　特別給与額×④スライド率、及びD×④スライド率＞150万円の場合は、上記(2)－1、(2)－2にかかわらず150万円/④スライド率(切上)とする。<br><br>B－3　平成2年8月分以降は、次による。<br>(1)　特別給与額×④スライド率≦Dの場合は特別給与額とする。<br>(2)　特別給与額×④スライド率＞Dの場合はD/④スライド率(切上)とする。<br>(3)　特別給与額×④スライド率、及びD＞150万円の場合は上記(1)、(2)にかかわらず150万円/④スライド率(切上)とする。<br>注)　上記計算での円未満は切上げとする。<br>注)　上記計算で「150万円」とあるが、昭和52年4月1日から昭和56年4月30日の間は、「100万円」と読み替える。 |
| ⑳<br>算定基礎日額 | A．平成2年7月分以前は、次による。<br>〔⑲算定基礎年額×1/365〕(切上)<br>B．平成2年8月分以降は、次による。<br>〔(⑲算定基礎年額×1/365)(切上)×④スライド率〕(切上) |
| ㉑<br>基本特別年金年額 | A．昭和62年1月分以前は、次の計算式による。<br>(1)　最低保障額非適用のとき、<br>〔(⑳算定基礎日額×③給付日数)(切捨)×④スライド率〕(切捨)とする。<br>(2)　最低保障額適用のとき、<br>(⑳算定基礎日額×③給付日数)(切捨)とする。<br>B．昭和62年2月分以降、平成2年7月分以前は、次の計算式による。<br>〔(⑳算定基礎日額×③給付日数)(切捨)×④スライド率〕(切捨)とする。<br>C．平成2年8月分以降は、次の計算式による。<br>(⑳算定基礎日額×③給付日数)(切捨)とする。 |

| 事　項 | 電子計算機による計算方式 |
|---|---|
| ㉒<br>休業(補償)給付年額 | 休業(補償)給付日額×365 |
| ㉓<br>長期差額特別年金年額 | A. 昭和62年1月分以前は、次の計算式による。<br>(1)　休業(補償)給付日額＝0円かつ長期傷病(補償)給付＝219日分の場合<br>〔①給付基礎日額×292×④スライド率〕(切捨)－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕……差額種別コード「01」<br>(2)　休業(補償)給付日額＝0円かつ長期傷病(補償)給付＝240日分の場合<br>〔①給付基礎日額×313×④スライド率〕(切捨)－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕……差額種別コード「02」<br>(注)　最低保障額適用者については、スライド率を乗じない。<br>B. 昭和62年2月分以降、平成2年7月分以前は、次の計算式による。<br>(1)　休業(補償)給付日額＝0円かつ長期傷病(補償)給付＝219日分の場合<br>〔②年金給付基礎日額×292×④スライド率〕(切捨)－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕……差額種別コード「11」<br>(2)　休業(補償)給付日額＝0円かつ長期傷病(補償)給付＝240日分の場合<br>〔②年金給付基礎日額×313×④スライド率〕(切捨)－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕……差額種別コード「12」<br>(注)　最低限度額、最高限度額、附則第4条経過措置額のいずれか適用の者については、スライド率を乗じない。<br>C. 平成2年8月分以降は、次の計算式による。<br>C－1　休業(補償)給付日額＝0円かつ長期傷病(補償)給付＝219日分の場合<br>(1)　厚生年金等との調整がない者<br>②年金給付基礎日額×292－(⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額)<br>……差額種別コード「21」<br>(2)　厚生年金等との調整がある者<br>(2)－1　傷病等級第2級の者<br>〔②年金給付基礎日額×厚年等種別に応ずる日数〕(切捨)－〔㉑基本特別年金年額……差額種別コード「22」<br>(2)－2　傷病等級第3級の者<br>②年金給付基礎日額×47－㉑基本特別年金年額<br>……差額種別コード「23」<br>C－2　休業(補償)給付日額＝0円かつ,長期傷病(補償)給付＝240日分の場合<br>(1)　厚生年金等との調整がない者<br>②年金給付基礎日額×313-(⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額)<br>……差額種別コード「24」<br>(2)　厚生年金等との調整がある者<br>(2)－1　傷病等級第2級の者<br>〔②年金給付基礎日額×厚年等種別に応ずる日数〕(切捨)－㉑基本特別年金年額……差額種別コード「25」<br>(2)－2　傷病等級第3級の者<br>②年金給付基礎日額×68－㉑基本特別年金年額<br>……差額種別コード「26」<br>(注)　上記計算での⑤基本年金年額と㉑基本特別年金年額は端数処理後の額 |

<table>
<tr><th>事　　項</th><th colspan="2">電 子 計 算 機 に よ る 計 算 方 式</th></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>厚年等種別に応ずる日数</td><td>C－1(2)－1の厚年等種別に応ずる日数<br><table><tr><th>厚年等種別(コード)</th><th>日　　数</th></tr><tr><td>旧厚年　　1</td><td>23.00</td></tr><tr><td>新厚国　　2</td><td>23.64</td></tr><tr><td>旧船員　　3</td><td>23.00</td></tr><tr><td>新厚年　　4</td><td>19.48</td></tr><tr><td>旧国年　　5</td><td>18.52</td></tr><tr><td>新国年　　6</td><td>18.84</td></tr></table>厚年等種別に応ずる日数＝47－32×厚年等調整率</td></tr>
<tr><td>厚年等種別に応ずる日数</td><td>C－2(2)－1の厚年等種別に応ずる日数<br><table><tr><th>厚年等種別(コード)</th><th>日　　数</th></tr><tr><td>旧厚年　　1</td><td>44.00</td></tr><tr><td>新厚国　　2</td><td>44.64</td></tr><tr><td>旧船員　　3</td><td>44.00</td></tr><tr><td>新厚年　　4</td><td>40.48</td></tr><tr><td>旧国年　　5</td><td>39.52</td></tr><tr><td>新国年　　6</td><td>39.84</td></tr></table>厚年等種別に応ずる日数＝68－32×厚年等調整率</td></tr>
<tr><td>㉔<br>休　業　差　額<br>特 別 年 金 年 額</td><td colspan="2">A. 昭和62年1月分以前は、次の計算式による。<br>(1)　〔休業(補償)給付日額×365〕－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕<br>(2)　〔①給付基礎日額×292×④スライド率〕(切捨)－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕<br>(3)　上記(1)≧上記(2)の場合は、上記(1)の額とする。……差額種別コード「51」<br>上記(1)＜上記(2)の場合は、上記(2)の額とする。……差額種別コード「52」<br>(注)　最低保障額適用のものについては、スライド率を乗じない。<br>B. 昭和62年2月分以降、平成2年7月分以前は、次の計算式による。<br>B－1　特別加入者あるいは特別加入者以外で支給事由発生年月日が昭和62年1月31日以前の者<br>(1)　〔休業(補償)給付日額×365〕－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕<br>(2)　〔②年金給付基礎日額×292×④スライド率〕(切捨)－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕<br>(3)　上記(1)≧上記(2)の場合は、上記(1)の額とする。<br>……特別加入者は差額種別コード「61」、特別加入者以外は差額種別コード「63」<br>上記(1)＜上記(2)の場合は、上記(2)の額とする。<br>……特別加入者は差額種別コード「62」、特別加入者以外は差額種別コード「64」</td></tr>
</table>

| 事　　項 | 電 子 計 算 機 に よ る 計 算 方 式 |
|---|---|
| | B－2　特別加入者以外で支給事由発生年月日が昭和62年2月1日以降の者<br>〔②年金給付基礎日額×292×④スライド率〕(切捨)－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕……差額種別コード「65」<br>(注)最低限度額、最高限度額、附則第4条経過措置額のいずれか適用の者については、スライド率を乗じない。<br>C．平成2年8月分以降は、次の計算式による。<br>C－1　特別加入者で支給事由発生年月日が平成2年7月31日以前の者、又は特別加入者以外で支給事由発生年月日が昭和62年1月31日以前の者<br>(1)　厚生年金等との調整がない者<br>(1)－1　〔休業(補償)給付日額×365〕－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕<br>(1)－2　〔②年金給付基礎日額×292〕－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕<br>(1)－3　上記(1)－1≧上記(1)－2の場合は、上記(1)－1の額とする。<br>……特別加入者は差額種別コード「71」、特別加入者以外は差額種別コード「80」<br>上記(1)－1＜上記(1)－2の場合は、上記(1)－2の額とする。<br>……特別加入者は差額種別コード「72」、特別加入者以外は差額種別コード「81」<br>(2)　厚生年金等との調整がある者<br>(2)－1　傷病等級第2級の者<br>イ　〔休業(補償)給付日額×365〕－〔⑤基本年金年額+㉑基本特別年金年額〕<br>ロ　〔②年金給付基礎日額×厚年等種別に応ずる日数〕(切捨)－㉑基本特別年金年額<br>ハ　上記イ≧上記ロの場合は、上記イの額とする。<br>……特別加入者は差額種別コード「73」、特別加入者以外は差額種別コード「82」<br>上記イ＜上記ロの場合は、上記ロの額とする。<br>……特別加入者は差額種別コード「74」、特別加入者以外は差額種別コード「83」<br>(2)－2　傷病等級第3級の者<br>イ　〔休業(補償)給付日額×365〕－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕<br>ロ　②年金給付基礎日額×47－㉑基本特別年金年額<br>ハ　上記イ≧上記ロの場合は、上記イの額とする。<br>……特別加入者は差額種別コード「75」、特別加入者以外は差額種別コード「84」<br>上記イ＜上記ロの場合は、上記ロの額とする。<br>……特別加入者は差額種別コード「76」、特別加入者以外は差額種別コード「85」 |

<table>
<tr><th>事　　項</th><th colspan="2">電 子 計 算 機 に よ る 計 算 方 式</th></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">C－2　特別加入者で支給事由発生年月日が平成２年８月１日以降の者、又は特別加入者以外で支給事由発生年月日が昭和 62 年２月１日以降の者<br>(1)　厚生年金等との調整がない者<br>〔②年金給付基礎日額×292〕－〔⑤基本年金年額＋㉑基本特別年金年額〕……特別加入者は差額種別コード「77」、特別加入者以外は差額種別コード「86」<br>(2)　厚生年金等との調整がある者<br>(2)－1　傷病等級第２級の者<br>〔②年金給付基礎日額×厚年等種別に応ずる日数〕（切捨）－㉑基本特別年金年額……特別加入者は差額種別コード「78」、特別加入者以外は差額種別コード「87」<br>(2)－2　傷病等級第３級の者<br>②年金給付基礎日額×47－㉑基本特別年金年額<br>……特別加入者は差額種別コード「79」、特別加入者以外は差額種別コード「88」</td></tr>
<tr><td></td><td>厚年等種別に応ずる日数</td><td>C－1(2)－1 の厚年等種別に応ずる日数<br><table><tr><th>厚年等種別(コード)</th><th>日　　数</th></tr><tr><td>旧厚年　　1</td><td>23.00</td></tr><tr><td>新厚国　　2</td><td>23.64</td></tr><tr><td>旧船員　　3</td><td>23.00</td></tr><tr><td>新厚年　　4</td><td>19.48</td></tr><tr><td>旧国年　　5</td><td>18.52</td></tr><tr><td>新国年　　6</td><td>18.84</td></tr></table>厚年等種別に応ずる日数＝47－32×厚年等調整率</td></tr>
<tr><td>㉕　支 給 制 限<br>㉖　端 数 処 理<br>㉗　給 付 月 額<br>㉘　　追　　給　　額<br>㉙　　回　　収　　額<br>㉚　支 払 差 止</td><td colspan="2">年金の計算方法に準ずる。</td></tr>
</table>

別紙７【スライド率早見表】(1)

（単位　%）

| ス　ラ　イ　ド　率 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金たる保険給付の額の改定に用いる率 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 災害発生年度 | 35.4.1～36.3.31 告示14号 | 36.4.1～37.3.31 告示12号 | 37.4.1～38.3.31 告示7号 | 38.4.1～39.3.31 告示12号 | 39.4.1～40.3.31 告示3号 | 40.4.1～41.3.31 告示7号 | 41.4.1～42.3.31 告示8号 | 42.4.1～43.3.31 告示7号 | 43.4.1～44.3.31 告示11号 | 44.4.1～45.3.31 告示8号 | 45.4.1～46.3.31 告示7号 | 46.4.1～47.3.31 告示13号 | 47.4.1～48.3.31 告示12号 | 48.4.1～49.3.31 告示8号 | 49.4.1～50.3.31 告示13号 | 50.4.1～52.3.31 告示23号 |
| 22年 | 1274 | 1274 | 1274 | 1669 | 1669 | 2036 | 2036 | 2444 | 2444 | 3031 | 3031 | 3971 | 3971 | 5242 | 5242 | 7758 |
| 23年 | 463 | 463 | 463 | 607 | 607 | 740 | 740 | 888 | 888 | 1102 | 1102 | 1444 | 1444 | 1907 | 1907 | 2822 |
| 24年 | 255 | 255 | 255 | 335 | 335 | 408 | 408 | 490 | 490 | 608 | 608 | 797 | 797 | 1053 | 1053 | 1558 |
| 25年 | 215 | 215 | 215 | 282 | 282 | 344 | 344 | 413 | 413 | 513 | 513 | 672 | 672 | 888 | 888 | 1313 |
| 26年 | 180 | 180 | 180 | 236 | 236 | 287 | 287 | 345 | 345 | 428 | 428 | 561 | 561 | 741 | 741 | 1097 |
| 27年 | 151 | 151 | 151 | 198 | 198 | 241 | 241 | 290 | 290 | 360 | 360 | 472 | 472 | 624 | 624 | 923 |
| 28年 | 132 | 132 | 132 | 173 | 173 | 211 | 211 | 254 | 254 | 315 | 315 | 413 | 413 | 546 | 546 | 807 |
| 29年 | 123 | 123 | 123 | 162 | 162 | 197 | 197 | 237 | 237 | 294 | 294 | 386 | 386 | 510 | 510 | 755 |
| 30年 | | 126 | 126 | 154 | 154 | 187 | 187 | 225 | 225 | 279 | 279 | 366 | 366 | 484 | 484 | 716 |
| 31年 | | | 130 | 130 | 162 | 162 | 197 | 197 | 239 | 239 | 306 | 306 | 404 | 404 | 554 | 687 |
| 32年 | | | 124 | 124 | 154 | 154 | 187 | 187 | 227 | 227 | 291 | 291 | 385 | 385 | 528 | 655 |
| 33年 | | | 123 | 123 | 153 | 153 | 186 | 186 | 225 | 225 | 288 | 288 | 381 | 381 | 522 | 648 |
| 34年 | | | | 131 | 131 | 159 | 159 | 191 | 191 | 237 | 237 | 311 | 311 | 411 | 411 | 608 |
| 35年 | | | | 122 | 122 | 148 | 148 | 178 | 178 | 221 | 221 | 290 | 290 | 383 | 383 | 567 |
| 36年 | | | | | 124 | 124 | 151 | 151 | 183 | 183 | 235 | 235 | 311 | 311 | 427 | 529 |
| 37年 | | | | | | 122 | 122 | 147 | 147 | 183 | 183 | 240 | 240 | 317 | 317 | 469 |
| 38年 | | | | | | | 122 | 122 | 148 | 148 | 190 | 190 | 251 | 251 | 344 | 427 |
| 39年 | | | | | | | | 120 | 120 | 149 | 149 | 196 | 196 | 259 | 259 | 384 |
| 40年 | | | | | | | | | 121 | 121 | 155 | 155 | 205 | 205 | 281 | 349 |
| 41年 | | | | | | | | | | 124 | 124 | 163 | 163 | 216 | 216 | 319 |
| 42年 | | | | | | | | | | | 128 | 128 | 169 | 169 | 232 | 288 |
| 43年 | | | | | | | | | | | 100 | 131 | 131 | 173 | 173 | 257 |
| 44年 | | | | | | | | | | | 100 | 100 | 132 | 132 | 181 | 225 |
| 45年 | | | | | | | | | | | | 100 | 100 | 132 | 132 | 196 |
| 46年 | | | | | | | | | | | | | | 100 | 137 | 170 |
| 47年 | | | | | | | | | | | | | | | 100 | 148 |
| 48年 | | | | | | | | | | | | | | | | 124 |
| 49年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 50年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 51年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 52年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 53年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 54年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 55年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 56年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 57年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 58年 | | | | | | | | | | | | | | | | |

（注）52年８月１日よりスライド率の適用対象の区分が年（暦年）単位から年度単位に改正された。

【スライド率早見表】(2)

（単位　%）

| スライド率 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金たる保険給付の額の改定に用いる率 | | | | | | | | | | | |
| 災害発生年度 | 52.4.1<br>～<br>52.7.31<br>告示28号 | 52.8.1<br>～<br>54.7.31<br>告示72号 | 54.8.1<br>～<br>55.7.31<br>告示69号 | 55.8.1<br>～<br>56.7.31<br>告示85号 | 56.8.1<br>～<br>58.7.31<br>告示73号 | 58.8.1<br>～<br>59.7.31<br>告示61号 | 59.8.1<br>～<br>60.7.31<br>告示52号 | 60.8.1<br>～<br>61.7.31<br>告示45号 | 61.8.1<br>～<br>63.7.31<br>告示56号 | 63.8.1<br>～<br>元.7.31<br>告示63号 | 元.8.1<br>～<br>2.7.31<br>告示51号 |
| 22年 | 10163 | 10163 | 11790 | 12380 | 13148 | 14371 | 14371 | 15449 | 15449 | 16515 | 16515 |
| 23年 | 3696 | 3696 | 4288 | 4502 | 4781 | 5226 | 5226 | 5618 | 5618 | 6006 | 6006 |
| 24年 | 2040 | 2049 | 2377 | 2496 | 2651 | 2898 | 2898 | 3115 | 3115 | 3330 | 3330 |
| 25年 | 1721 | 1754 | 2035 | 2137 | 2269 | 2480 | 2480 | 2666 | 2666 | 2850 | 2850 |
| 26年 | 1436 | 1436 | 1666 | 1749 | 1857 | 2030 | 2030 | 2182 | 2182 | 2333 | 2333 |
| 27年 | 1209 | 1237 | 1435 | 1507 | 1600 | 1749 | 1749 | 1880 | 1880 | 2010 | 2010 |
| 28年 | 1058 | 1089 | 1264 | 1327 | 1409 | 1540 | 1540 | 1656 | 1656 | 1770 | 1770 |
| 29年 | 989 | 1028 | 1193 | 1253 | 1331 | 1455 | 1455 | 1564 | 1564 | 1672 | 1672 |
| 30年 | 937 | 983 | 1141 | 1198 | 1272 | 1390 | 1390 | 1494 | 1494 | 1597 | 1597 |
| 31年 | 900 | 928 | 1077 | 1131 | 1201 | 1313 | 1313 | 1411 | 1411 | 1508 | 1508 |
| 32年 | 857 | 895 | 1039 | 1091 | 1159 | 1267 | 1267 | 1362 | 1362 | 1456 | 1456 |
| 33年 | 848 | 882 | 1024 | 1075 | 1142 | 1248 | 1248 | 1342 | 1342 | 1435 | 1435 |
| 34年 | 797 | 829 | 962 | 1010 | 1073 | 1173 | 1173 | 1261 | 1261 | 1348 | 1348 |
| 35年 | 743 | 780 | 905 | 950 | 1009 | 1103 | 1103 | 1186 | 1186 | 1268 | 1268 |
| 36年 | 693 | 697 | 809 | 849 | 902 | 986 | 986 | 1060 | 1060 | 1133 | 1133 |
| 37年 | 615 | 627 | 728 | 764 | 811 | 886 | 886 | 952 | 952 | 1018 | 1018 |
| 38年 | 559 | 565 | 656 | 689 | 732 | 800 | 800 | 860 | 860 | 919 | 919 |
| 39年 | 502 | 510 | 592 | 622 | 661 | 722 | 722 | 776 | 776 | 830 | 830 |
| 40年 | 457 | 467 | 542 | 569 | 604 | 660 | 660 | 710 | 710 | 759 | 759 |
| 41年 | 418 | 424 | 492 | 517 | 549 | 600 | 600 | 645 | 645 | 690 | 690 |
| 42年 | 377 | 382 | 444 | 466 | 495 | 541 | 541 | 582 | 582 | 622 | 622 |
| 43年 | 336 | 338 | 393 | 413 | 439 | 480 | 480 | 516 | 516 | 552 | 552 |
| 44年 | 294 | 295 | 343 | 360 | 382 | 418 | 418 | 449 | 449 | 480 | 480 |
| 45年 | 256 | 256 | 297 | 312 | 331 | 362 | 362 | 389 | 389 | 416 | 416 |
| 46年 | 223 | 223 | 259 | 272 | 289 | 316 | 316 | 340 | 340 | 363 | 363 |
| 47年 | 194 | 194 | 22 | 237 | 252 | 275 | 275 | 296 | 296 | 316 | 316 |
| 48年 | 163 | 163 | 190 | 200 | 212 | 232 | 232 | 249 | 249 | 266 | 266 |
| 49年 | 131 | 131 | 152 | 160 | 170 | 186 | 186 | 200 | 200 | 214 | 214 |
| 50年 | 100 | 111 | 129 | 135 | 143 | 156 | 156 | 168 | 168 | 180 | 180 |
| 51年 | | 100 | 116 | 122 | 130 | 142 | 142 | 153 | 153 | 164 | 164 |
| 52年 | | 100 | 100 | 112 | 119 | 130 | 130 | 140 | 140 | 150 | 150 |
| 53年 | | | | 106 | 113 | 124 | 124 | 133 | 133 | 142 | 142 |
| 54年 | | | | 100 | 106 | 116 | 116 | 125 | 125 | 134 | 134 |
| 55年 | | | | | 100 | 110 | 110 | 118 | 118 | 126 | 126 |
| 56年 | | | | | | 100 | 109 | 109 | 116 | 116 | 126 |
| 57年 | | | | | | | 100 | 107 | 107 | 114 | 114 |
| 58年 | | | | | | | | 100 | 107 | 107 | 116 |
| 59年 | | | | | | | | | 100 | 108 | 108 |
| 60年 | | | | | | | | | | 100 | 109 |
| 61年 | | | | | | | | | | | 106 |
| 62年 | | | | | | | | | | | 100 |
| 63年 | | | | | | | | | | | |
| 元年 | | | | | | | | | | | |
| 2年 | | | | | | | | | | | |
| 3年 | | | | | | | | | | | |
| 4年 | | | | | | | | | | | |
| 5年 | | | | | | | | | | | |
| 6年 | | | | | | | | | | | |
| 7年 | | | | | | | | | | | |
| 8年 | | | | | | | | | | | |
| 9年 | | | | | | | | | | | |
| 10年 | | | | | | | | | | | |
| 11年 | | | | | | | | | | | |
| 12年 | | | | | | | | | | | |

【スライド率早見表】(3)

（単位　%）

| ス　ラ　イ　ド　率 | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 集金たる保険給付の額の改定に用いる率 | | | | | | | | | | | | | |
| 災害発生年度 | 2.8.1<br>～<br>3.7.31<br>告示45号 | 3.8.1<br>～<br>4.7.31<br>告示47号 | 4.8.1<br>～<br>5.7.31<br>告示64号 | 5.8.1<br>～<br>6.7.31<br>告示83号 | 6.8.1<br>～<br>7.7.31<br>告示74号 | 7.8.1<br>～<br>8.7.31<br>告示94号 | 8.8.1<br>～<br>9.7.31<br>告示73号 | 9.8.1<br>～<br>10.7.31<br>告示87号 | 10.8.1<br>～<br>11.7.31<br>告示111号 | 11.8.1<br>～<br>12.7.31<br>告示81号 | 12.8.1<br>～<br>13.7.31<br>告示68号 | 13.8.1<br>～<br>14.7.31<br>告示260号 | 14.8.1<br>～<br>15.7.31<br>告示263号 |
| 22年 | 17669 | 18087 | 18854 | 19232 | 19531 | 19966 | 20214 | 20501 | 20701 | 20616 | 20687 | 20791 | 20630 |
| 23年 | 6426 | 6578 | 6857 | 6994 | 7103 | 7261 | 7351 | 7456 | 7528 | 7498 | 7523 | 7561 | 7502 |
| 24年 | 3563 | 3647 | 3802 | 3878 | 3938 | 4026 | 4076 | 4134 | 4174 | 4157 | 4171 | 4192 | 4160 |
| 25年 | 3075 | 3148 | 3281 | 3347 | 3399 | 3475 | 3518 | 3568 | 3603 | 3588 | 3600 | 3618 | 3590 |
| 26年 | 2514 | 2574 | 2683 | 2736 | 2779 | 2841 | 2876 | 2917 | 2946 | 2933 | 2944 | 2958 | 2935 |
| 27年 | 2169 | 2220 | 2314 | 2361 | 2397 | 2451 | 2481 | 2516 | 2541 | 2531 | 2539 | 2552 | 2532 |
| 28年 | 1910 | 1955 | 2038 | 2079 | 2111 | 2158 | 2185 | 2216 | 2238 | 2229 | 2236 | 2248 | 2230 |
| 29年 | 1803 | 1845 | 1923 | 1962 | 1993 | 2037 | 2062 | 2092 | 2112 | 2103 | 2111 | 2121 | 2105 |
| 30年 | 1724 | 1765 | 1840 | 1877 | 1906 | 1948 | 1973 | 2001 | 2020 | 2012 | 2019 | 2029 | 2013 |
| 31年 | 1626 | 1665 | 1735 | 1770 | 1798 | 1838 | 1861 | 1887 | 1906 | 1898 | 1904 | 1914 | 1899 |
| 32年 | 1570 | 1607 | 1675 | 1709 | 1735 | 1774 | 1796 | 1821 | 1839 | 1832 | 1838 | 1847 | 1833 |
| 33年 | 1547 | 1584 | 1651 | 1684 | 1710 | 1748 | 1770 | 1795 | 1812 | 1805 | 1811 | 1820 | 1806 |
| 34年 | 1453 | 1487 | 1551 | 1582 | 1606 | 1642 | 1662 | 1686 | 1702 | 1695 | 1701 | 1710 | 1697 |
| 35年 | 1367 | 1400 | 1459 | 1488 | 1511 | 1545 | 1564 | 1587 | 1602 | 1595 | 1601 | 1609 | 1596 |
| 36年 | 1223 | 1252 | 1305 | 1331 | 1352 | 1382 | 1399 | 1419 | 1433 | 1427 | 1432 | 1439 | 1428 |
| 37年 | 1100 | 1126 | 1174 | 1197 | 1216 | 1243 | 1259 | 1277 | 1289 | 1284 | 1288 | 1295 | 1285 |
| 38年 | 992 | 1015 | 1058 | 1080 | 1096 | 1121 | 1135 | 1151 | 1162 | 1157 | 1161 | 1167 | 1158 |
| 39年 | 895 | 917 | 955 | 975 | 990 | 1012 | 1024 | 1039 | 1049 | 1045 | 1048 | 1054 | 1045 |
| 40年 | 819 | 839 | 874 | 892 | 906 | 926 | 937 | 951 | 960 | 956 | 959 | 964 | 957 |
| 41年 | 744 | 761 | 793 | 809 | 822 | 840 | 851 | 863 | 871 | 868 | 871 | 875 | 868 |
| 42年 | 669 | 685 | 714 | 729 | 740 | 756 | 766 | 777 | 784 | 781 | 784 | 788 | 782 |
| 43年 | 593 | 607 | 632 | 645 | 655 | 670 | 678 | 688 | 694 | 692 | 694 | 697 | 692 |
| 44年 | 518 | 531 | 553 | 564 | 573 | 586 | 593 | 601 | 607 | 605 | 607 | 610 | 605 |
| 45年 | 445 | 456 | 475 | 485 | 492 | 503 | 510 | 517 | 522 | 520 | 522 | 524 | 520 |
| 46年 | 391 | 400 | 417 | 425 | 432 | 441 | 447 | 453 | 458 | 456 | 457 | 460 | 456 |
| 47年 | 338 | 346 | 361 | 368 | 374 | 382 | 387 | 392 | 396 | 394 | 396 | 398 | 395 |
| 48年 | 285 | 291 | 304 | 310 | 315 | 322 | 326 | 330 | 333 | 332 | 333 | 335 | 332 |
| 49年 | 229 | 234 | 244 | 249 | 253 | 259 | 262 | 266 | 268 | 267 | 268 | 269 | 267 |
| 50年 | 195 | 200 | 208 | 212 | 215 | 220 | 223 | 226 | 228 | 227 | 228 | 229 | 228 |
| 51年 | 175 | 179 | 187 | 191 | 194 | 198 | 200 | 203 | 205 | 204 | 205 | 206 | 205 |
| 52年 | 160 | 164 | 171 | 174 | 177 | 181 | 183 | 186 | 188 | 187 | 187 | 188 | 187 |
| 53年 | 152 | 155 | 162 | 165 | 168 | 171 | 173 | 176 | 178 | 177 | 178 | 178 | 177 |
| 54年 | 143 | 146 | 152 | 155 | 158 | 161 | 163 | 166 | 167 | 167 | 167 | 168 | 167 |
| 55年 | 135 | 138 | 144 | 147 | 149 | 153 | 155 | 157 | 158 | 158 | 158 | 159 | 158 |
| 56年 | 129 | 132 | 138 | 140 | 143 | 146 | 148 | 150 | 151 | 150 | 151 | 152 | 151 |
| 57年 | 123 | 126 | 131 | 134 | 136 | 139 | 141 | 143 | 144 | 143 | 144 | 145 | 143 |
| 58年 | 120 | 123 | 128 | 130 | 132 | 135 | 137 | 139 | 140 | 140 | 140 | 141 | 140 |
| 59年 | 116 | 119 | 124 | 126 | 128 | 131 | 133 | 134 | 136 | 135 | 136 | 136 | 135 |
| 60年 | 112 | 115 | 120 | 122 | 124 | 127 | 128 | 130 | 131 | 131 | 131 | 132 | 131 |
| 61年 | 109 | 112 | 117 | 119 | 121 | 124 | 125 | 127 | 128 | 128 | 128 | 129 | 128 |
| 62年 | 107 | 110 | 114 | 116 | 118 | 121 | 122 | 124 | 125 | 125 | 125 | 126 | 125 |
| 63年 | 103 | 106 | 110 | 112 | 114 | 117 | 118 | 120 | 121 | 120 | 121 | 122 | 121 |
| 元年 | 100 | 103 | 107 | 109 | 111 | 113 | 115 | 116 | 118 | 117 | 118 | 118 | 117 |
| 2年 | | 100 | 104 | 106 | 108 | 110 | 112 | 113 | 114 | 114 | 114 | 115 | 114 |
| 3年 | | | 100 | 102 | 104 | 106 | 107 | 109 | 110 | 109 | 110 | 110 | 109 |
| 4年 | | | | 100 | 102 | 104 | 105 | 107 | 108 | 107 | 108 | 108 | 107 |
| 5年 | | | | | 100 | 102 | 104 | 105 | 106 | 106 | 106 | 107 | 106 |
| 6年 | | | | | | 100 | 101 | 103 | 104 | 103 | 104 | 104 | 104 |
| 7年 | | | | | | | 100 | 101 | 102 | 102 | 102 | 103 | 102 |
| 8年 | | | | | | | | 100 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 |
| 9年 | | | | | | | | | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 10年 | | | | | | | | | | | 100 | 101 | 100 |
| 11年 | | | | | | | | | | | | 101 | 100 |
| 12年 | | | | | | | | | | | | | 99 |

【スライド率早見表】（４）－１

（単位　％）

| ス　ラ　イ　ド　率 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金たる保険給付の額の改定に用いる率 | | | | | | | | |
| 災害発生年度 | 15.8.1<br>～<br>16.7.31<br>告示252号 | 16.8.1<br>～<br>17.7.31<br>告示277号 | 17.8.1<br>～<br>18.7.31<br>告示340号 | 18.8.1<br>～<br>19.7.31<br>告示442号 | 19.8.1<br>～<br>20.7.31<br>告示253号 | 20.8.1<br>～<br>21.7.31<br>告示406号 | 21.8.1<br>～<br>22.7.31<br>告示382号 | 22.8.1<br><br>23.7.31<br>告示303号 |
| 22年 | 20,446 | 20,445 | 20,391 | 20,466 | 20,424 | 20,455 | 20,396 | 20,111 |
| 23年 | 7,436 | 7,435 | 7,415 | 7,443 | 7,427 | 7,439 | 7,417 | 7,313 |
| 24年 | 4,123 | 4,123 | 4,111 | 4,127 | 4,118 | 4,124 | 4,112 | 4,055 |
| 25年 | 3,558 | 3,558 | 3,549 | 3,562 | 3,554 | 3,560 | 3,549 | 3,500 |
| 26年 | 2,909 | 2,909 | 2,901 | 2,912 | 2,906 | 2,910 | 2,902 | 2,861 |
| 27年 | 2,510 | 2,510 | 2,503 | 2,512 | 2,507 | 2,511 | 2,503 | 2,468 |
| 28年 | 2,210 | 2,210 | 2,204 | 2,212 | 2,208 | 2,211 | 2,205 | 2,174 |
| 29年 | 2,086 | 2,086 | 2,080 | 2,088 | 2,084 | 2,087 | 2,081 | 2,052 |
| 30年 | 1,995 | 1,995 | 1,990 | 1,997 | 1,993 | 1,996 | 1,990 | 1,962 |
| 31年 | 1,882 | 1,882 | 1,877 | 1,884 | 1,880 | 1,883 | 1,877 | 1,851 |
| 32年 | 1,817 | 1,817 | 1,812 | 1,818 | 1,815 | 1,817 | 1,812 | 1,787 |
| 33年 | 1,790 | 1,790 | 1,785 | 1,792 | 1,788 | 1,791 | 1,786 | 1,761 |
| 34年 | 1,682 | 1,681 | 1,677 | 1,683 | 1,680 | 1,682 | 1,677 | 1,654 |
| 35年 | 1,582 | 1,582 | 1,578 | 1,584 | 1,581 | 1,583 | 1,578 | 1,556 |
| 36年 | 1,415 | 1,415 | 1,411 | 1,417 | 1,414 | 1,416 | 1,412 | 1,392 |
| 37年 | 1,273 | 1,273 | 1,270 | 1,274 | 1,272 | 1,274 | 1,270 | 1,252 |
| 38年 | 1,148 | 1,148 | 1,145 | 1,149 | 1,147 | 1,148 | 1,145 | 1,129 |
| 39年 | 1,036 | 1,036 | 1,033 | 1,037 | 1,035 | 1,037 | 1,034 | 1,019 |
| 40年 | 948 | 948 | 945 | 949 | 947 | 948 | 946 | 932 |
| 41年 | 860 | 860 | 858 | 861 | 859 | 861 | 858 | 846 |
| 42年 | 775 | 775 | 772 | 775 | 774 | 775 | 773 | 762 |
| 43年 | 686 | 686 | 684 | 686 | 685 | 686 | 684 | 675 |
| 44年 | 600 | 600 | 598 | 600 | 599 | 600 | 598 | 590 |
| 45年 | 516 | 515 | 514 | 516 | 515 | 516 | 514 | 507 |
| 46年 | 452 | 452 | 451 | 452 | 452 | 452 | 451 | 445 |
| 47年 | 391 | 391 | 390 | 392 | 391 | 391 | 390 | 385 |
| 48年 | 329 | 329 | 328 | 330 | 329 | 329 | 329 | 324 |
| 49年 | 265 | 265 | 264 | 265 | 265 | 265 | 264 | 261 |
| 50年 | 226 | 226 | 225 | 226 | 225 | 226 | 225 | 222 |
| 51年 | 203 | 203 | 202 | 203 | 203 | 203 | 202 | 199 |
| 52年 | 185 | 185 | 185 | 185 | 185 | 185 | 185 | 182 |

【スライド率早見表】（４）－２

（単位　%）

| ス　ラ　イ　ド　率 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年金たる保険給付の額の改定に用いる率 | | | | | | | | |
| 災害発生年度 | 15.8.1～16.7.31<br>告示252号 | 16.8.1～17.7.31<br>告示277号 | 17.8.1～18.7.31<br>告示340号 | 18.8.1～19.7.31<br>告示442号 | 19.8.1～20.7.31<br>告示253号 | 20.8.1～21.7.31<br>告示406号 | 21.8.1～22.7.31<br>告示382号 | 22.8.1～23.7.31<br>告示303号 |
| 53年 | 175 | 175 | 175 | 176 | 175 | 176 | 175 | 173 |
| 54年 | 165 | 165 | 165 | 165 | 165 | 165 | 165 | 162 |
| 55年 | 156 | 156 | 156 | 157 | 156 | 156 | 156 | 154 |
| 56年 | 149 | 149 | 149 | 149 | 149 | 149 | 149 | 147 |
| 57年 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 140 |
| 58年 | 139 | 139 | 138 | 139 | 138 | 139 | 138 | 136 |
| 59年 | 134 | 134 | 134 | 134 | 134 | 134 | 134 | 132 |
| 60年 | 130 | 130 | 129 | 130 | 130 | 130 | 129 | 128 |
| 61年 | 127 | 127 | 126 | 127 | 127 | 127 | 126 | 125 |
| 62年 | 124 | 124 | 123 | 124 | 124 | 124 | 123 | 122 |
| 63年 | 120 | 119 | 119 | 120 | 119 | 120 | 119 | 118 |
| 元年 | 116 | 116 | 116 | 116 | 116 | 116 | 116 | 114 |
| 2年 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 113 | 111 |
| 3年 | 108 | 108 | 108 | 109 | 108 | 109 | 108 | 107 |
| 4年 | 106 | 106 | 106 | 106 | 106 | 106 | 106 | 105 |
| 5年 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 103 |
| 6年 | 103 | 103 | 102 | 103 | 103 | 103 | 102 | 101 |
| 7年 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 101 | 99 |
| 8年 | 100 | 100 | 99 | 100 | 100 | 100 | 99 | 98 |
| 9年 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 97 |
| 10年 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 98 |
| 11年 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 97 |
| 12年 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 97 |
| 13年 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 97 |
| 14年 | | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 98 |
| 15年 | | | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 98 |
| 16年 | | | | 100 | 100 | 100 | 100 | 99 |
| 17年 | | | | | 100 | 100 | 100 | 98 |
| 18年 | | | | | | 100 | 100 | 98 |
| 19年 | | | | | | | 100 | 98 |
| 20年 | | | | | | | | 99 |

別紙８【年齢階層別最低限度額・最高限度額(年金給付基礎日額)】(1)

(単位　円)

| 適用期間 / 年齢階層 | 昭和62年2月～昭和62年7月 | 昭和62年8月～昭和63年7月 | 昭和63年8月～平成元年7月 | 平成元年8月～平成2年7月 | 平成2年8月～平成3年7月 | 平成3年8月～平成3年9月 | 平成3年10月～平成4年7月 | 平成4年8月～平成5年7月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20歳未満 | 高　9,894 | 高 10,140 | 高 10,377 | 高 10,747 | 高 11,224 | 高 11,784 | 高 11,784 | 高 12,347 |
| | 低　3,210 | 低　3,210 | 低　3,210 | 低　3,254 | 低　3,412 | 低　3,633 | 低　3,960 | 低　3,960 |
| 20歳以上～25歳未満 | 高　9,894 | 高 10,140 | 高 10,377 | 高 10,747 | 高 11,224 | 高 11,784 | 高 11,784 | 高 12,347 |
| | 低　3,790 | 低　3,955 | 低　3,997 | 低　4,089 | 低　4,233 | 低　4,558 | 低　4,558 | 高　4,800 |
| 25歳以上～30歳未満 | 高 10,329 | 高 10,564 | 高 10,768 | 高 11,191 | 高 11,447 | 高 12,284 | 高 12,284 | 高 12,728 |
| | 低　4,514 | 低　4,604 | 低　4,672 | 低　4,824 | 低　5,027 | 低　5,338 | 低　5,338 | 高　5,704 |
| 30歳以上～35歳未満 | 高 12,659 | 高 12,820 | 高 12,964 | 高 13,582 | 高 14,147 | 高 14,844 | 高 14,844 | 高 15,429 |
| | 低　5,139 | 低　5,200 | 低　5,278 | 低　5,429 | 低　5,597 | 低　5,929 | 低　5,929 | 低　6,271 |
| 35歳以上～40歳未満 | 高 14,471 | 高 14,863 | 高 15,155 | 高 15,666 | 高 16,194 | 高 17,207 | 高 17,207 | 高 17,554 |
| | 低　5,567 | 低　5,656 | 低　5,748 | 低　5,861 | 低　6,018 | 低　6,337 | 低　6,337 | 高　6,684 |
| 40歳以上～45歳未満 | 高 16,175 | 高 16,641 | 高 16,964 | 高 17,294 | 高 17,964 | 高 18,954 | 高 18,954 | 高 19,347 |
| | 低　5,769 | 低　5,840 | 低　5,976 | 低　6,106 | 低　6,336 | 低　6,664 | 低 6,664 | 低　7,033 |
| 45歳以上～50歳未満 | 高 17,640 | 高 18,094 | 高 18,463 | 高 19,018 | 高 20,067 | 高 21,052 | 高 21,052 | 高 21,657 |
| | 低　5,463 | 低　5,636 | 低　5,828 | 低　6,024 | 低　6,271 | 低　6,683 | 低　6,683 | 低　7,109 |
| 50歳以上～55歳未満 | 高 18,326 | 高 18,855 | 高 19,180 | 高 20,060 | 高 21,112 | 高 21,889 | 高 21,889 | 高 22,400 |
| | 低　4,939 | 低　5,126 | 低　5,241 | 低　5,452 | 低　5,681 | 低　6,097 | 低　6,097 | 低　6,522 |
| 55歳以上～60歳未満 | 高 16,879 | 高 17,298 | 高 17,883 | 高 18,646 | 高 19,267 | 高 20,631 | 高 20,631 | 高 21,476 |
| | 低　4,150 | 低　4,295 | 低　4,403 | 低　4,541 | 低　4,693 | 低　5,102 | 低　5,102 | 低　5,497 |
| 60歳以上～65歳未満 | 高 14,483 | 高 15,701 | 高 16,209 | 高 16,222 | 高 16,773 | 高 17,421 | 高 17,421 | 高 17,826 |
| | 低　3,244 | 低　3,255 | 低　3,314 | 低　3,404 | 低　3,428 | 低　3,659 | 低　3,960 | 低　3983 |
| 65歳以上 | 高　9,894 | 高 10,140 | 高 10,377 | 高 10,747 | 高 11,224 | 高 11,784 | 高 11,784 | 高 12,347 |
| | 低　3,210 | 低　3,210 | 低　3,210 | 低　3,210 | 低　3,210 | 低　3,210 | 低　3,960 | 低　3,960 |

【最　低　保　障　額】(1)

| 適用期間 | 昭和40年8月1日～昭和43年3月31日 | 昭和43年4月1日～昭和45年3月31日 | 昭和45年4月1日～昭和47年3月31日 | 昭和47年4月1日～昭和49年3月31日 | 昭和49年4月1日～昭和50年3月31日 | 昭和50年4月1日～昭和52年5月31日 | 昭和52年6月1日～昭和55年3月31日 | 昭和55年4月1日～昭和59年7月31日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 最低保障額 | 380 円 | 480 円 | 770 円 | 1,000 円 | 1,380 円 | 1,800 円 | 2,185 円 | 2,670 円 |

【年齢階層別最低限度額・最高限度額(年金給付基礎日額)】(2)

(単位　円)

| 適用期間 / 年齢階層 | 平成5年8月～平成6年7月 | 平成6年8月～平成7年7月 |
|---|---|---|
| 20歳未満 | 高 12,467 | 高 12,577 |
| | 低 4,045 | 低 4,150 |
| 20歳以上～25歳未満 | 高 12,467 | 高 12,577 |
| | 低 5,002 | 低 5,086 |
| 25歳以上～30歳未満 | 高 13,053 | 高 13,018 |
| | 低 5,952 | 低 6,032 |
| 30歳以上～35歳未満 | 高 15,755 | 高 15,807 |
| | 低 6,537 | 低 6,665 |
| 35歳以上～40歳未満 | 高 17,841 | 高 17,853 |
| | 低 6,946 | 低 7,075 |
| 40歳以上～45歳未満 | 高 20,182 | 高 20,085 |
| | 低 7,195 | 低 7,203 |
| 45歳以上～50歳未満 | 高 22,025 | 高 22,127 |
| | 低 7,285 | 低 7,396 |
| 50歳以上～55歳未満 | 高 23,089 | 高 23,406 |
| | 低 6,868 | 低 7,013 |
| 55歳以上～60歳未満 | 高 22,045 | 高 22,302 |
| | 低 5,818 | 低 6,068 |
| 60歳以上～65歳未満 | 高 18,354 | 高 18,292 |
| | 低 4,058 | 低 4,140 |
| 65歳以上 | 高 12,467 | 高 12,577 |
| | 低 3,960 | 低 3,960 |

| 適用期間 / 年齢階層 | 平成7年8月～平成8年7月 | 平成8年8月～平成9年7月 | 平成9年8月～平成10年7月 | 平成10年8月～平成11年7月 | 平成11年8月～平成12年7月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 20歳未満 | 高 12,814 | 高 13,004 | 高 13,187 | 高 13,430 | 高 13,227 |
| | 低 4,250 | 低 4,240 | 低 4,290 | 低 4,388 | 低 4,400 |
| 20歳以上～25歳未満 | 高 12,814 | 高 13,004 | 高 13,187 | 高 13,430 | 高 13,227 |
| | 低 5,278 | 低 5,264 | 低 5,306 | 低 5,335 | 低 5,317 |
| 25歳以上～30歳未満 | 高 13,225 | 高 13,370 | 高 13,417 | 高 13,723 | 高 13,653 |
| | 低 6,160 | 低 6,187 | 低 6,221 | 低 6,275 | 低 6,190 |
| 30歳以上～35歳未満 | 高 16,005 | 高 16,149 | 高 16,515 | 高 16,770 | 高 16,829 |
| | 低 6,876 | 低 6,884 | 低 6,967 | 低 7,095 | 低 7,001 |
| 35歳以上～40歳未満 | 高 18,392 | 高 18,724 | 高 18,958 | 高 19,077 | 高 19,321 |
| | 低 7,241 | 低 7,259 | 低 7,428 | 低 7,503 | 低 7,396 |
| 40歳以上～45歳未満 | 高 20,730 | 高 20,872 | 高 21,080 | 高 21,261 | 高 21,456 |
| | 低 7,386 | 低 7,373 | 低 7,579 | 低 7,665 | 低 7,460 |
| 45歳以上～50歳未満 | 高 22,370 | 高 22,452 | 高 22,550 | 高 22,583 | 高 22,566 |
| | 低 7,493 | 低 7,461 | 低 7,674 | 低 7,598 | 低 7,427 |
| 50歳以上～55歳未満 | 高 23,883 | 高 24,082 | 高 24,411 | 高 24,343 | 高 24,508 |
| | 低 7,202 | 低 7,261 | 低 7,447 | 低 7,431 | 低 7,174 |
| 55歳以上～60歳未満 | 高 22,919 | 高 23,111 | 高 23,242 | 高 23,450 | 高 23,925 |
| | 低 6,286 | 低 6,372 | 低 6,531 | 低 6,716 | 低 6,510 |
| 60歳以上～65歳未満 | 高 19,005 | 高 20,406 | 高 19,710 | 高 19,395 | 高 19,936 |
| | 低 4,395 | 低 4,517 | 低 4,615 | 低 4,549 | 低 4,503 |
| 65歳以上～70歳未満 | 高 14,491 | 高 15,815 | 高 15,232 | 高 15,220 | 高 14,293 |
| | 低 4,180 | 低 4,240 | 低 4,290 | 低 4,330 | 低 4,290 |
| 70歳以上 | 高 12,814 | 高 13,004 | 高 13,187 | 高 13,430 | 高 13,227 |
| | 低 4,180 | 低 4,240 | 低 4,290 | 低 4,330 | 低 4,290 |

【最　低　保　障　額】(2)

| 適用期間 | 昭和59年8月1日 ～ 平成3年9月30日 | 平成3年10月1日 ～ 平成7年7月31日 | 平成7年8月1日 ～ 平成8年7月31日 | 平成8年8月1日 ～ 平成9年7月31日 | 平成9年8月1日 ～ 平成10年7月31日 | 平成10年8月1日 ～ 平成11年7月31日 | 平成11年8月1日 ～ 平成12年7月31日 | 平成12年8月1日 ～ 平成13年7月31日 | 平成13年8月1日 ～ 平成14年7月31日 | 平成14年8月1日 ～ 平成15年7月31日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 最低保障額 | 3,210円 | 3,960円 | 4,180円 | 4,240円 | 4,290円 | 4,330円 | 4,290円 | 4,230円 | 4,250円 | 4,210円 |

【年齢階層別最低限度額・最高限度額（年金給付基礎日額)】(3)

（単位　円）

| 年齢階層＼適用期間 | 平成12年8月～平成13年7月 | 平成13年8月～平成14年7月 | 平成14年8月～平成15年7月 | 平成15年8月～平成16年7月 | 平成16年8月～平成17年7月 | 平成17年8月～平成18年7月 | 平成18年8月～平成19年7月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20歳未満 | 高 13,224 | 高 13,397 | 高 13,520 | 高 13,300 | 高 13,307 | 高 13,294 | 高 13,467 |
| | 低　4,292 | 低　4,250 | 低　4,318 | 低 4,288 | 低 4,315 | 低 4,307 | 低 4,229 |
| 20歳以上～25歳未満 | 高 13,224 | 高 13,397 | 高 13,520 | 高 13,300 | 高 13,307 | 高 13,294 | 高 13,467 |
| | 低　5,292 | 低　5,311 | 低　5,224 | 低 5,119 | 低 5,152 | 低 5,064 | 低 4,847 |
| 25歳以上～30歳未満 | 高 13,267 | 高 13,431 | 高 13,520 | 高 13,300 | 高 13,373 | 高 13,294 | 高 13,467 |
| | 低　6,152 | 低　6,159 | 低　6,152 | 低 6,018 | 低 5,981 | 低 5,943 | 低 5,744 |
| 30歳以上～35歳未満 | 高 16,672 | 高 16,571 | 高 16,512 | 高 16,387 | 高 16,570 | 高 16,219 | 高 16,245 |
| | 低　6,984 | 低　6,863 | 低　6,874 | 低 6,736 | 低 6,704 | 低 6,604 | 低 6,478 |
| 35歳以上～40歳未満 | 高 19,151 | 高 19,364 | 高 19,554 | 高 19,240 | 高 19,562 | 高 19,543 | 高 20,084 |
| | 低　7,396 | 低　7,344 | 低　7,417 | 低 7,217 | 低 7,196 | 低 7,124 | 低 7,062 |
| 40歳以上～45歳未満 | 高 21,464 | 高 21,650 | 高 21,730 | 高 21,716 | 高 21,936 | 高 21,703 | 高 22,591 |
| | 低　7,440 | 低　7,319 | 低　7,473 | 低 7,340 | 低 7,312 | 低 7,228 | 低 7,223 |
| 45歳以上～50歳未満 | 高 22,602 | 高 22,662 | 高 22,949 | 高 22,844 | 高 23,195 | 高 23,206 | 高 23,941 |
| | 低　7,347 | 低　7,251 | 低　7,332 | 低 7,143 | 低 7,167 | 低 7,068 | 低 6,973 |
| 50歳以上～55歳未満 | 高 24,292 | 高 24,368 | 高 24,279 | 高 24,026 | 高 23,620 | 高 23,641 | 高 24,164 |
| | 低　7,131 | 低　7,041 | 低　6,941 | 低 6,508 | 低 6,625 | 低 6,603 | 低 6,479 |
| 55歳以上～60歳未満 | 高 23,920 | 高 23,448 | 高 23,860 | 高 23,644 | 高 23,618 | 高 23,391 | 高 23,928 |
| | 低　6,564 | 低　6,405 | 低　6,362 | 低 6,091 | 低 6,130 | 低 6,064 | 低 5,843 |
| 60歳以上～65歳未満 | 高 20,612 | 高 19,671 | 高 21,126 | 高 21,252 | 高 20,658 | 高 21,539 | 高 21,164 |
| | 低　4,490 | 低　4,409 | 低　4,469 | 低 4,369 | 低 4,372 | 低 4,514 | 低 4,539 |
| 65歳以上～70歳未満 | 高 15,126 | 高 14,863 | 高 15,556 | 高 16,475 | 高 14,373 | 高 15,591 | 高 14,608 |
| | 低　4,230 | 低　4,250 | 低　4,210 | 低 4,180 | 低 4,160 | 低 4,080 | 低 4,100 |
| 70歳以上 | 高 13,224 | 高 13,397 | 高 13,520 | 高 13,300 | 高 13,307 | 高 13,294 | 高 13,467 |
| | 低　4,230 | 低　4,250 | 低　4,210 | 低 4,180 | 低 4,160 | 低 4,080 | 低 4,100 |

【最　低　保　障　額】(3)

| 適用期間 | 平成 15 年 8 月 1 日 ～ 平成１６年 9 月 30 日 | 平成 16 年 8 月 1 日 ～ 平成 17 年 7 月 31 日 | 平成 17 年 8 月 1 日 ～ 平成 18 年 7 月 31 日 | 平成 18 年 8 月 1 日 ～ 平成 19 年 7 月 31 日 | 平成 19 年 8 月 1 日 ～ 平成 20 年 7 月 31 日 | 平成 20 年 8 月 1 日 ～ 平成 21 年 7 月 31 日 | 平成 21 年 8 月 1 日 ～ 平成 22 年 7 月 31 日 | 平成 22 年 8 月 1 日 ～ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 最低保障額 | 4,180 円 | 4,160 円 | 4,080 円 | 4,100 円 | 4,080 円 | 4,060 円 | 4,040 円 | 3,950 円 |

【年齢階層別最低限度額・最高限度額（年金給付基礎日額)】(4)

（単位　円）

| 年齢階層＼適用期間 | 平成 19 年 8 月 ～ 平成 20 年 7 月 | 平成 20 年 8 月 ～ 平成 21 年 7 月 | 平成 21 年 8 月 ～ 平成 22 年 7 月 | 平成 22 年 8 月 ～ 平成 23 年 7 月 |
|---|---|---|---|---|
| 20 歳未満 | 高 13,464 | 高 13,374 | 高 13,284 | 高 12,774 |
| | 低 4,399 | 低 4,235 | 低 4,585 | 低 4,325 |
| 20 歳以上 ～ 25 歳未満 | 高 13,464 | 高 13,374 | 高 13,284 | 高 12,774 |
| | 低 4,950 | 低 5,017 | 低 5,126 | 低 4,929 |
| 25 歳以上 ～ 30 歳未満 | 高 13,673 | 高 13,594 | 高 13,868 | 高 13,053 |
| | 低 5,807 | 低 5,849 | 低 5,790 | 低 5,576 |
| 30 歳以上 ～ 35 歳未満 | 高 16,335 | 高 16,542 | 高 16,749 | 高 16,059 |
| | 低 6,477 | 低 6,501 | 低 6,363 | 低 6,102 |
| 35 歳以上 ～ 40 歳未満 | 高 20,002 | 高 19,695 | 高 19,497 | 高 18,535 |
| | 低 6,982 | 低 6,917 | 低 6,859 | 低 6,551 |
| 40 歳以上 ～ 45 歳未満 | 高 22,567 | 高 23,132 | 高 22,411 | 高 22,107 |
| | 低 7,248 | 低 7,214 | 低 7,104 | 低 6,762 |
| 45 歳以上 ～ 50 歳未満 | 高 24,073 | 高 24,571 | 高 23,969 | 高 23,795 |
| | 低 7,010 | 低 7,089 | 低 7,031 | 低 6,701 |
| 50 歳以上 ～ 55 歳未満 | 高 24,295 | 高 24,826 | 高 24,955 | 高 24,455 |
| | 低 6,546 | 低 6,597 | 低 6,627 | 低 6,286 |
| 55 歳以上 ～ 60 歳未満 | 高 23,809 | 高 23,402 | 高 23,551 | 高 23,227 |
| | 低 5,891 | 低 5,965 | 低 5,919 | 低 5,560 |
| 60 歳以上 ～ 65 歳未満 | 高 21,036 | 高 20,748 | 高 20,409 | 高 20,794 |
| | 低 4,534 | 低 4,648 | 低 4,644 | 低 4,638 |
| 65 歳以上 ～ 70 歳未満 | 高 14,303 | 高 15,224 | 高 14,451 | 高 15,246 |
| | 低 4,080 | 低 4,060 | 低 4,040 | 低 3,950 |
| 70 歳以上 | 高 13,464 | 高 13,374 | 高 13,284 | 高 12,774 |
| | 低 4,080 | 低 4,060 | 低 4,040 | 低 3,950 |

別紙９【失権差額一時金算定にかかる換算率】(1)

（単位　%）

| 算定年月<br>（傷病年月日：<br>H2.8.1～<br>の支払対象年月） | 年金転帰年月日（失権差額一時金支給事由発生年月日） | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | H2.8.1<br>～<br>H3.7.31 | H3.8.1<br>～<br>H4.7.31 | H4.8.1<br>～<br>H5.7.31 | H5.8.1<br>～<br>H6.7.31 | H6.8.1<br>～<br>H7.7.31 | H7.8.1<br>～<br>H8.7.31 | H8.8.1<br>～<br>H9.7.31 | H9.8.1<br>～<br>H10.7.31 | H10.8.1<br>～<br>H11.7.31 | H11.8.1<br>～<br>H12.7.31 | H12.8.1<br>～<br>H13.7.31 | H13.8.1<br>～<br>H14.7.31 | H14.8.1<br>～<br>H15.7.31 |
| ～S50.3 | 194 | 199 | 207 | 212 | 215 | 220 | 222 | 226 | 228 | 227 | 228 | 229 | 227 |
| S50.4～S51.3 | 194 | 199 | 207 | 212 | 215 | 220 | 222 | 226 | 228 | 227 | 228 | 229 | 227 |
| S51.4～S52.3 | 175 | 179 | 186 | 190 | 193 | 197 | 200 | 203 | 205 | 204 | 205 | 206 | 204 |
| S52.4～S53.3 | 160 | 163 | 170 | 174 | 176 | 180 | 183 | 185 | 187 | 186 | 187 | 188 | 186 |
| S53.4～S54.3 | 151 | 155 | 161 | 165 | 167 | 171 | 173 | 175 | 177 | 176 | 177 | 178 | 177 |
| S54.4～S55.3 | 142 | 146 | 152 | 155 | 157 | 161 | 163 | 165 | 167 | 166 | 167 | 167 | 166 |
| S55.4～S56.3 | 135 | 138 | 144 | 147 | 149 | 152 | 154 | 156 | 158 | 157 | 158 | 159 | 157 |
| S56.4～S57.3 | 128 | 132 | 137 | 140 | 142 | 145 | 147 | 149 | 151 | 150 | 150 | 151 | 150 |
| S57.4～S58.3 | 122 | 125 | 131 | 133 | 135 | 138 | 140 | 142 | 143 | 143 | 143 | 144 | 143 |
| S58.4～S59.3 | 119 | 122 | 127 | 130 | 132 | 135 | 136 | 138 | 140 | 139 | 140 | 140 | 139 |
| S59.4～S60.3 | 115 | 118 | 123 | 126 | 128 | 130 | 132 | 134 | 135 | 135 | 135 | 136 | 135 |
| S60.4～S61.3 | 112 | 114 | 119 | 122 | 123 | 126 | 128 | 130 | 131 | 130 | 131 | 131 | 130 |
| S61.4～S62.3 | 109 | 112 | 116 | 119 | 120 | 123 | 125 | 126 | 128 | 127 | 128 | 128 | 127 |
| S62.4～S63.3 | 106 | 109 | 114 | 116 | 118 | 120 | 122 | 124 | 125 | 124 | 125 | 125 | 124 |
| S63.4～H1.3 | 102 | 105 | 110 | 112 | 114 | 116 | 118 | 119 | 120 | 120 | 120 | 121 | 120 |
| H1.4～H2.3 | 100 | 102 | 107 | 109 | 110 | 113 | 114 | 116 | 117 | 117 | 117 | 118 | 117 |
| H2.4～H2.7 | 100 | 100 | 104 | 106 | 107 | 110 | 111 | 113 | 114 | 113 | 114 | 114 | 113 |
| H2.8～H3.7 | 100 | 102 | 107 | 109 | 110 | 113 | 114 | 116 | 117 | 117 | 117 | 118 | 117 |
| H3.8～H4.7 | | 100 | 104 | 106 | 107 | 110 | 111 | 113 | 114 | 113 | 114 | 114 | 113 |
| H4.8～H5.7 | | | 100 | 102 | 103 | 105 | 107 | 108 | 109 | 109 | 109 | 110 | 109 |
| H5.8～H6.7 | | | | 100 | 101 | 103 | 105 | 106 | 107 | 107 | 107 | 108 | 107 |
| H6.8～H7.7 | | | | | 100 | 102 | 103 | 105 | 106 | 105 | 106 | 106 | 105 |
| H7.8～H8.7 | | | | | | 100 | 101 | 102 | 103 | 103 | 103 | 104 | 103 |
| H8.8～H9.7 | | | | | | | 100 | 101 | 102 | 101 | 102 | 102 | 102 |
| H9.8～H10.7 | | | | | | | | 100 | 100 | 100 | 100 | 101 | 100 |
| H10.8～H11.7 | | | | | | | | | 100 | 99 | 99 | 100 | 99 |
| H11.8～H12.7 | | | | | | | | | | 100 | 100 | 100 | 100 |
| H12.8～H13.7 | | | | | | | | | | | 100 | 100 | 99 |
| H13.8～H14.7 | | | | | | | | | | | | 100 | 99 |

【失権差額一時金算定にかかる換算率】(2)

（単位　%）

| 算定年月<br>（傷病年月日：<br>H2.8.1～<br>の支払対象年月） | 年金転帰年月日（失権差額一時金支給事由発生年月日） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | H15.8.1<br>～<br>H16.7.31 | H16.8.1<br>～<br>H17.7.31 | H17.8.1<br>～<br>H18.7.31 | H18.8.1<br>～<br>H19.7.31 | H19.8.1<br>～<br>H20.7.31 | H20.8.1<br>～<br>H21.7.31 | H21.8.1<br>～<br>H22.7.31 | H22.8.1<br>～ |
| S50.4～S51.3 | 225 | 225 | 224 | 225 | 225 | 225 | 224 | 221 |
| S51.4～S52.3 | 202 | 202 | 202 | 202 | 202 | 202 | 202 | 199 |
| S52.4～S53.3 | 185 | 185 | 184 | 185 | 185 | 185 | 184 | 182 |
| S53.4～S54.3 | 175 | 175 | 174 | 175 | 175 | 175 | 175 | 172 |
| S54.4～S55.3 | 165 | 165 | 164 | 165 | 165 | 165 | 164 | 162 |
| S55.4～S56.3 | 156 | 156 | 155 | 156 | 156 | 156 | 156 | 153 |
| S56.4～S57.3 | 149 | 149 | 148 | 149 | 149 | 149 | 148 | 146 |
| S57.4～S58.3 | 142 | 142 | 141 | 142 | 142 | 142 | 141 | 139 |
| S58.4～S59.3 | 138 | 138 | 138 | 138 | 138 | 138 | 138 | 136 |
| S59.4～S60.3 | 134 | 134 | 133 | 134 | 133 | 134 | 133 | 131 |
| S60.4～S61.3 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 127 |
| S61.4～S62.3 | 126 | 126 | 126 | 126 | 126 | 126 | 126 | 124 |
| S62.4～S63.3 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 123 | 121 |
| S63.4～H1.3 | 119 | 119 | 119 | 119 | 119 | 119 | 119 | 117 |
| H1.4～H2.3 | 116 | 116 | 115 | 116 | 116 | 116 | 115 | 114 |
| H2.4～H2.7 | 112 | 112 | 112 | 112 | 112 | 112 | 112 | 111 |
| H2.8～H3.7 | 116 | 116 | 115 | 116 | 116 | 116 | 115 | 114 |
| H3.8～H4.7 | 112 | 112 | 112 | 112 | 112 | 112 | 112 | 111 |
| H4.8～H5.7 | 108 | 108 | 108 | 108 | 108 | 108 | 108 | 106 |
| H5.8～H6.7 | 106 | 106 | 106 | 106 | 106 | 106 | 106 | 104 |
| H6.8～H7.7 | 104 | 104 | 104 | 104 | 104 | 104 | 104 | 103 |
| H7.8～H8.7 | 102 | 102 | 102 | 102 | 102 | 102 | 102 | 100 |
| H8.8～H9.7 | 101 | 101 | 100 | 101 | 101 | 101 | 100 | 99 |
| H9.8～H10.7 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 | 98 |
| H10.8～H11.7 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 97 |
| H11.8～H12.7 | 99 | 99 | 98 | 99 | 99 | 99 | 98 | 97 |
| H12.8～H13.7 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 98 | 97 |
| H13.8～H14.7 | 98 | 98 | 97 | 98 | 98 | 98 | 97 | 96 |
| H14.8～H15.7 | 99 | 99 | 98 | 99 | 98 | 99 | 98 | 97 |
| H15.8～H16.7 | | 100 | 99 | 100 | 99 | 100 | 99 | 98 |
| H16.8～H17.7 | | | 99 | 100 | 99 | 100 | 99 | 98 |
| H17.8～H18.7 | | | | 100 | 100 | 100 | 100 | 98 |
| H18.8～H19.7 | | | | | 99 | 99 | 99 | 98 |
| H19.8～H20.7 | | | | | | 100 | 99 | 98 |
| H20.8～H21.7 | | | | | | | 99 | 98 |
| H21.8～H22.7 | | | | | | | | 98 |

別紙 10【年金給付基礎日額の算定にかかる年齢早見表】(1)

| 基準日 | 昭和61年8月1日 | 昭和62年8月1日 | 昭和63年8月1日 | 平成元年8月1日 | 平成2年8月1日 | 平成3年8月1日 | 平成4年8月1日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 計算対象月<br>生年月日 | 昭和62年2月分<br>〜<br>昭和62年7月分 | 昭和62年8月分<br>〜<br>昭和63年7月分 | 昭和63年8月分<br>〜<br>平成元年7月分 | 平成元年8月分<br>〜<br>平成2年7月分 | 平成2年8月分<br>〜<br>平成3年7月分 | 平成3年8月分<br>〜<br>平成4年7月分 | 平成4年8月分<br>〜<br>平成5年7月分 |
| T. 9. 8. 2〜T. 10. 8. 1 | 65 歳 | 66 歳 | 67 歳 | 68 歳 | 69 歳 | 70 歳 | 71 歳 |
| 10. 8. 2〜 11. 8. 1 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 |
| 11. 8. 2〜 12. 8. 1 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 |
| 12. 8. 2〜 13. 8. 1 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 |
| 13. 8. 2〜 14. 8. 1 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 |
| 14. 8. 2〜 15. 8. 1 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 |
| 15. 8. 2〜S. 2. 8. 1 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 |
| S. 2. 8. 2〜S. 3. 8. 1 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 |
| 3. 8. 2〜 4. 8. 1 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 |
| 4. 8. 2〜 5. 8. 1 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 |
| 5. 8. 2〜 6. 8. 1 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 |
| 6. 8. 2〜 7. 8. 1 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 |
| 7. 8. 2〜 8. 8. 1 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 |
| 8. 8. 2〜 9. 8. 1 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 |
| 9. 8. 2〜 10. 8. 1 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 |
| 10. 8. 2〜 11. 8. 1 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 |
| 11. 8. 2〜 12. 8. 1 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 |
| 12. 8. 2〜 13. 8. 1 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 |
| 13. 8. 2〜 14. 8. 1 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 |
| 14. 8. 2〜 15. 8. 1 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 |
| 15. 8. 2〜 16. 8. 1 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 |
| 16. 8. 2〜 17. 8. 1 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 |
| 17. 8. 2〜 18. 8. 1 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 |
| 18. 8. 2〜 19. 8. 1 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 |
| 19. 8. 2〜 20. 8. 1 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 |
| 20. 8. 2〜 21. 8. 1 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 |
| 21. 8. 2〜 22. 8. 1 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 |
| 22. 8. 2〜 23. 8. 1 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 |
| 23. 8. 2〜 24. 8. 1 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 |
| 24. 8. 2〜 25. 8. 1 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 |
| 25. 8. 2〜 26. 8. 1 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 |
| 26. 8. 2〜 27. 8. 1 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
| 27. 8. 2〜 28. 8. 1 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 |
| 28. 8. 2〜 29. 8. 1 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 |
| 29. 8. 2〜 30. 8. 1 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 |
| 30. 8. 2〜 31. 8. 1 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
| 31. 8. 2〜 32. 8. 1 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 32. 8. 2〜 33. 8. 1 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 |
| 33. 8. 2〜 34. 8. 1 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 |
| 34. 8. 2〜 35. 8. 1 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 |
| 35. 8. 2〜 36. 8. 1 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| 36. 8. 2〜 37. 8. 1 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 37. 8. 2〜 38. 8. 1 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 38. 8. 2〜 39. 8. 1 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 39. 8. 2〜 40. 8. 1 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 40. 8. 2〜 41. 8. 1 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 41. 8. 2〜 42. 8. 1 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 42. 8. 2〜 43. 8. 1 | | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 43. 8. 2〜 44. 8. 1 | | | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 44. 8. 2〜 45. 8. 1 | | | | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 45. 8. 2〜 46. 8. 1 | | | | | 19 | 20 | 21 |
| 46. 8. 2〜 47. 8. 1 | | | | | | 19 | 20 |
| 47. 8. 2〜 48. 8. 1 | | | | | | | 19 |
| 48. 8. 2〜 49. 8. 1 | | | | | | | |
| 49. 8. 2〜 50. 8. 1 | | | | | | | |
| 50. 8. 2〜 51. 8. 1 | | | | | | | |
| 51. 8. 2〜 52. 8. 1 | | | | | | | |
| 52. 8. 2〜 53. 8. 1 | | | | | | | |
| 53. 8. 2〜 54. 8. 1 | | | | | | | |

【年金給付基礎日額の算定にかかる年齢早見表】(2)

| 基準日 / 計算対象月 / 生年月日 | 平成5年8月1日<br>平成5年8月分〜平成6年7月分 | 平成6年8月1日<br>平成6年8月分〜平成7年7月分 | 平成7年8月1日<br>平成7年8月分〜平成8年7月分 | 平成8年8月1日<br>平成8年8月分〜平成9年7月分 | 平成9年8月1日<br>平成9年8月分〜平成10年7月分 | 平成10年8月1日<br>平成10年8月分〜平成11年7月分 | 平成11年8月1日<br>平成11年8月分〜平成12年7月分 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| T. 9. 8. 2〜T. 10. 8. 1 | 72 歳 | 73 歳 | 74 歳 | 75 歳 | 76 歳 | 77 歳 | 78 歳 |
| 10. 8. 2〜 11. 8. 1 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 |
| 11. 8. 2〜 12. 8. 1 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 |
| 12. 8. 2〜 13. 8. 1 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 |
| 13. 8. 2〜 14. 8. 1 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 |
| 14. 8. 2〜 15. 8. 1 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 |
| 15. 8. 2〜S. 2. 8. 1 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 |
| S. 2. 8. 2〜S. 3. 8. 1 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 |
| 3. 8. 2〜 4. 8. 1 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 |
| 4. 8. 2〜 5. 8. 1 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 |
| 5. 8. 2〜 6. 8. 1 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 |
| 6. 8. 2〜 7. 8. 1 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 |
| 7. 8. 2〜 8. 8. 1 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 |
| 8. 8. 2〜 9. 8. 1 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 |
| 9. 8. 2〜 10. 8. 1 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 |
| 10. 8. 2〜 11. 8. 1 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 |
| 11. 8. 2〜 12. 8. 1 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 |
| 12. 8. 2〜 13. 8. 1 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 |
| 13. 8. 2〜 14. 8. 1 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 |
| 14. 8. 2〜 15. 8. 1 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 |
| 15. 8. 2〜 16. 8. 1 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 |
| 16. 8. 2〜 17. 8. 1 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 |
| 17. 8. 2〜 18. 8. 1 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 |
| 18. 8. 2〜 19. 8. 1 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 |
| 19. 8. 2〜 20. 8. 1 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 |
| 20. 8. 2〜 21. 8. 1 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 |
| 21. 8. 2〜 22. 8. 1 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 |
| 22. 8. 2〜 23. 8. 1 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 |
| 23. 8. 2〜 24. 8. 1 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 |
| 24. 8. 2〜 25. 8. 1 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 |
| 25. 8. 2〜 26. 8. 1 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 |
| 26. 8. 2〜 27. 8. 1 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 |
| 27. 8. 2〜 28. 8. 1 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 |
| 28. 8. 2〜 29. 8. 1 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 |
| 29. 8. 2〜 30. 8. 1 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 |
| 30. 8. 2〜 31. 8. 1 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 |
| 31. 8. 2〜 32. 8. 1 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 |
| 32. 8. 2〜 33. 8. 1 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 |
| 33. 8. 2〜 34. 8. 1 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
| 34. 8. 2〜 35. 8. 1 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 |
| 35. 8. 2〜 36. 8. 1 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 |
| 36. 8. 2〜 37. 8. 1 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 |
| 37. 8. 2〜 38. 8. 1 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
| 38. 8. 2〜 39. 8. 1 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 39. 8. 2〜 40. 8. 1 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 |
| 40. 8. 2〜 41. 8. 1 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 |
| 41. 8. 2〜 42. 8. 1 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 |
| 42. 8. 2〜 43. 8. 1 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| 43. 8. 2〜 44. 8. 1 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 44. 8. 2〜 45. 8. 1 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 45. 8. 2〜 46. 8. 1 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 46. 8. 2〜 47. 8. 1 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 47. 8. 2〜 48. 8. 1 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 48. 8. 2〜 49. 8. 1 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 49. 8. 2〜 50. 8. 1 | | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 50. 8. 2〜 51. 8. 1 | | | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 51. 8. 2〜 52. 8. 1 | | | | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 52. 8. 2〜 53. 8. 1 | | | | | 19 | 20 | 21 |
| 53. 8. 2〜 54. 8. 1 | | | | | | 19 | 20 |
| 54. 8. 2〜 55. 8. 1 | | | | | | | 19 |
| 55. 8. 2〜 56. 8. 1 | | | | | | | |

【年金給付基礎日額の算定にかかる年齢早見表】(3)

| 基準日 | 平成12年8月1日 | 平成13年8月1日 | 平成14年8月1日 | 平成15年8月1日 | 平成16年8月1日 | 平成17年8月1日 | 平成18年8月1日 | 平成19年8月1日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 計算対象月<br>生年月日 | 平成12年8月分<br>～<br>平成13年7月分 | 平成13年8月分<br>～<br>平成14年7月分 | 平成14年8月分<br>～<br>平成15年7月分 | 平成15年8月分<br>～<br>平成16年7月分 | 平成16年8月分<br>～<br>平成17年7月分 | 平成17年8月分<br>～<br>平成18年7月分 | 平成18年8月分<br>～<br>平成19年7月分 | 平成19年8月分<br>～<br>平成20年7月分 |
| T. 9. 8. 2～T. 10. 8. 1 | 79歳 | 80歳 | 81歳 | 82歳 | 83歳 | 84歳 | 85歳 | 86歳 |
| 10. 8. 2～ 11. 8. 1 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 |
| 11. 8. 2～ 12. 8. 1 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 |
| 12. 8. 2～ 13. 8. 1 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 |
| 13. 8. 2～ 14. 8. 1 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 |
| 14. 8. 2～ 15. 8. 1 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 |
| 15. 8. 2～S. 2. 8. 1 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 |
| S. 2. 8. 2～S. 3. 8. 1 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 |
| 3. 8. 2～ 4. 8. 1 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 |
| 4. 8. 2～ 5. 8. 1 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 |
| 5. 8. 2～ 6. 8. 1 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 |
| 6. 8. 2～ 7. 8. 1 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 |
| 7. 8. 2～ 8. 8. 1 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 |
| 8. 8. 2～ 9. 8. 1 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 |
| 9. 8. 2～ 10. 8. 1 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 |
| 10. 8. 2～ 11. 8. 1 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 |
| 11. 8. 2～ 12. 8. 1 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 |
| 12. 8. 2～ 13. 8. 1 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 |
| 13. 8. 2～ 14. 8. 1 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 |
| 14. 8. 2～ 15. 8. 1 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 |
| 15. 8. 2～ 16. 8. 1 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 |
| 16. 8. 2～ 17. 8. 1 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 |
| 17. 8. 2～ 18. 8. 1 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 |
| 18. 8. 2～ 19. 8. 1 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 |
| 19. 8. 2～ 20. 8. 1 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 |
| 20. 8. 2～ 21. 8. 1 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 |
| 21. 8. 2～ 22. 8. 1 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 |
| 22. 8. 2～ 23. 8. 1 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 |
| 23. 8. 2～ 24. 8. 1 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 |
| 24. 8. 2～ 25. 8. 1 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 |
| 25. 8. 2～ 26. 8. 1 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 |
| 26. 8. 2～ 27. 8. 1 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 |
| 27. 8. 2～ 28. 8. 1 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 |
| 28. 8. 2～ 29. 8. 1 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 |
| 29. 8. 2～ 30. 8. 1 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 |
| 30. 8. 2～ 31. 8. 1 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 |
| 31. 8. 2～ 32. 8. 1 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 |
| 32. 8. 2～ 33. 8. 1 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 |
| 33. 8. 2～ 34. 8. 1 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 |
| 34. 8. 2～ 35. 8. 1 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 |
| 35. 8. 2～ 36. 8. 1 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 |
| 36. 8. 2～ 37. 8. 1 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 |
| 37. 8. 2～ 38. 8. 1 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 |
| 38. 8. 2～ 39. 8. 1 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 |
| 39. 8. 2～ 40. 8. 1 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 |
| 40. 8. 2～ 41. 8. 1 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 |
| 41. 8. 2～ 42. 8. 1 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
| 42. 8. 2～ 43. 8. 1 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 |
| 43. 8. 2～ 44. 8. 1 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 |
| 44. 8. 2～ 45. 8. 1 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 |
| 45. 8. 2～ 46. 8. 1 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
| 46. 8. 2～ 47. 8. 1 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 47. 8. 2～ 48. 8. 1 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 |
| 48. 8. 2～ 49. 8. 1 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 |
| 49. 8. 2～ 50. 8. 1 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 |
| 50. 8. 2～ 51. 8. 1 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| 51. 8. 2～ 52. 8. 1 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 52. 8. 2～ 53. 8. 1 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 53. 8. 2～ 54. 8. 1 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 54. 8. 2～ 55. 8. 1 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 55. 8. 2～ 56. 8. 1 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 56. 8. 2～ 57. 8. 1 | | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 57. 8. 2～ 58. 8. 1 | | | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 58. 8. 2～ 59. 8. 1 | | | | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 59. 8. 2～ 60. 8. 1 | | | | | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 60. 8. 2～ 61. 8. 1 | | | | | | 19 | 20 | 21 |
| 61. 8. 2～ 62. 8. 1 | | | | | | | 19 | 20 |
| 62. 8. 2～ 63. 8. 1 | | | | | | | | 19 |

【年金給付基礎日額の算定にかかる年齢早見表】(4)

| 基準日 / 計算対象月 / 生年月日 | 平成20年8月1日 | 平成21年8月1日 | 平成22年8月1日 |
|---|---|---|---|
| | 平成20年8月分～平成21年7月分 | 平成21年8月分～平成22年7月分 | 平成22年8月分～平成23年7月分 |
| T. 9. 8. 2～T. 10. 8. 1 | 87歳 | 88歳 | 89歳 |
| 10. 8. 2～ 11. 8. 1 | 86 | 87 | 88 |
| 11. 8. 2～ 12. 8. 1 | 85 | 86 | 87 |
| 12. 8. 2～ 13. 8. 1 | 84 | 85 | 86 |
| 13. 8. 2～ 14. 8. 1 | 83 | 84 | 85 |
| 14. 8. 2～ 15. 8. 1 | 82 | 83 | 84 |
| 15. 8. 2～S. 2. 8. 1 | 81 | 82 | 83 |
| S. 2. 8. 2～S. 3. 8. 1 | 80 | 81 | 82 |
| 3. 8. 2～ 4. 8. 1 | 79 | 80 | 81 |
| 4. 8. 2～ 5. 8. 1 | 78 | 79 | 80 |
| 5. 8. 2～ 6. 8. 1 | 77 | 78 | 79 |
| 6. 8. 2～ 7. 8. 1 | 76 | 77 | 78 |
| 7. 8. 2～ 8. 8. 1 | 75 | 76 | 77 |
| 8. 8. 2～ 9. 8. 1 | 74 | 75 | 76 |
| 9. 8. 2～ 10. 8. 1 | 73 | 74 | 75 |
| 10. 8. 2～ 11. 8. 1 | 72 | 73 | 74 |
| 11. 8. 2～ 12. 8. 1 | 71 | 72 | 73 |
| 12. 8. 2～ 13. 8. 1 | 70 | 71 | 72 |
| 13. 8. 2～ 14. 8. 1 | 69 | 70 | 71 |
| 14. 8. 2～ 15. 8. 1 | 68 | 69 | 70 |
| 15. 8. 2～ 16. 8. 1 | 67 | 68 | 69 |
| 16. 8. 2～ 17. 8. 1 | 66 | 67 | 68 |
| 17. 8. 2～ 18. 8. 1 | 65 | 66 | 67 |
| 18. 8. 2～ 19. 8. 1 | 64 | 65 | 66 |
| 19. 8. 2～ 20. 8. 1 | 63 | 64 | 65 |
| 20. 8. 2～ 21. 8. 1 | 62 | 63 | 64 |
| 21. 8. 2～ 22. 8. 1 | 61 | 62 | 63 |
| 22. 8. 2～ 23. 8. 1 | 60 | 61 | 62 |
| 23. 8. 2～ 24. 8. 1 | 59 | 60 | 61 |
| 24. 8. 2～ 25. 8. 1 | 58 | 59 | 60 |
| 25. 8. 2～ 26. 8. 1 | 57 | 58 | 59 |
| 26. 8. 2～ 27. 8. 1 | 56 | 57 | 58 |
| 27. 8. 2～ 28. 8. 1 | 55 | 56 | 57 |
| 28. 8. 2～ 29. 8. 1 | 54 | 55 | 56 |
| 29. 8. 2～ 30. 8. 1 | 53 | 54 | 55 |
| 30. 8. 2～ 31. 8. 1 | 52 | 53 | 54 |
| 31. 8. 2～ 32. 8. 1 | 51 | 52 | 53 |
| 32. 8. 2～ 33. 8. 1 | 50 | 51 | 52 |
| 33. 8. 2～ 34. 8. 1 | 49 | 50 | 51 |
| 34. 8. 2～ 35. 8. 1 | 48 | 49 | 50 |
| 35. 8. 2～ 36. 8. 1 | 47 | 48 | 49 |
| 36. 8. 2～ 37. 8. 1 | 46 | 47 | 48 |
| 37. 8. 2～ 38. 8. 1 | 45 | 46 | 47 |
| 38. 8. 2～ 39. 8. 1 | 44 | 45 | 46 |
| 39. 8. 2～ 40. 8. 1 | 43 | 44 | 45 |
| 40. 8. 2～ 41. 8. 1 | 42 | 43 | 44 |
| 41. 8. 2～ 42. 8. 1 | 41 | 42 | 43 |
| 42. 8. 2～ 43. 8. 1 | 40 | 41 | 42 |
| 43. 8. 2～ 44. 8. 1 | 39 | 40 | 41 |
| 44. 8. 2～ 45. 8. 1 | 38 | 39 | 40 |
| 45. 8. 2～ 46. 8. 1 | 37 | 38 | 39 |
| 46. 8. 2～ 47. 8. 1 | 36 | 37 | 38 |
| 47. 8. 2～ 48. 8. 1 | 35 | 36 | 37 |
| 48. 8. 2～ 49. 8. 1 | 34 | 35 | 36 |
| 49. 8. 2～ 50. 8. 1 | 33 | 34 | 35 |
| 50. 8. 2～ 51. 8. 1 | 32 | 33 | 34 |
| 51. 8. 2～ 52. 8. 1 | 31 | 32 | 33 |
| 52. 8. 2～ 53. 8. 1 | 30 | 31 | 32 |
| 53. 8. 2～ 54. 8. 1 | 29 | 30 | 31 |
| 54. 8. 2～ 55. 8. 1 | 28 | 29 | 30 |
| 55. 8. 2～ 56. 8. 1 | 27 | 28 | 29 |
| 56. 8. 2～ 57. 8. 1 | 26 | 27 | 28 |
| 57. 8. 2～ 58. 8. 1 | 25 | 26 | 27 |
| 58. 8. 2～ 59. 8. 1 | 24 | 25 | 26 |
| 59. 8. 2～ 60. 8. 1 | 23 | 24 | 25 |
| 60. 8. 2～ 61. 8. 1 | 22 | 23 | 24 |
| 61. 8. 2～ 62. 8. 1 | 21 | 22 | 23 |
| 62. 8. 2～ 63. 8. 1 | 20 | 21 | 22 |
| 63. 8. 2～ 1. 8. 1 | 19 | 20 | 21 |
| 1. 8. 2～ 2. 8. 1 | | 19 | 20 |
| 2. 8. 2～ 3. 8. 1 | | | 19 |

〈参　考〉

| 年号・西暦早見表 | | | |
|---|---|---|---|
| 年　　号 | 西暦 | 年　　号 | 西暦 |
| 明治　年 | | 昭和　年 | |
| 27 | 1894 | 22 | 1947 |
| 28 | 1895 | 23 | 1948 |
| 29 | 1896 | 24 | 1949 |
| 30 | 1897 | 25 | 1950 |
| 31 | 1898 | 26 | 1951 |
| 32 | 1899 | 27 | 1952 |
| 33 | 1900 | 28 | 1953 |
| 34 | 1901 | 29 | 1954 |
| 35 | 1902 | 30 | 1955 |
| 36 | 1903 | 31 | 1956 |
| 37 | 1904 | 32 | 1957 |
| 38 | 1905 | 33 | 1958 |
| 39 | 1906 | 34 | 1959 |
| 40 | 1907 | 35 | 1960 |
| 41 | 1908 | 36 | 1961 |
| 42 | 1909 | 37 | 1962 |
| 43 | 1910 | 38 | 1963 |
| 44 | 1911 | 39 | 1964 |
| 明治45・大正元 | 1912 | 40 | 1965 |
| 大正 2 | 1913 | 41 | 1966 |
| 3 | 1914 | 42 | 1967 |
| 4 | 1915 | 43 | 1968 |
| 5 | 1916 | 44 | 1969 |
| 6 | 1917 | 45 | 1970 |
| 7 | 1918 | 46 | 1971 |
| 8 | 1919 | 47 | 1972 |
| 9 | 1920 | 48 | 1973 |
| 10 | 1921 | 49 | 1974 |
| 11 | 1922 | 50 | 1975 |
| 12 | 1923 | 51 | 1976 |
| 13 | 1924 | 52 | 1977 |
| 14 | 1925 | 53 | 1978 |
| 大正15・昭和元 | 1926 | 54 | 1979 |
| 昭和 2 | 1927 | 55 | 1980 |
| 3 | 1928 | 56 | 1981 |
| 4 | 1929 | 57 | 1982 |
| 5 | 1930 | 58 | 1983 |
| 6 | 1931 | 59 | 1984 |
| 7 | 1932 | 60 | 1985 |
| 8 | 1933 | 61 | 1986 |
| 9 | 1934 | 62 | 1987 |
| 10 | 1935 | 63 | 1988 |
| 11 | 1936 | 昭和64・平成元 | 1989 |
| 12 | 1937 | 平成 2 | 1990 |
| 13 | 1938 | 3 | 1991 |
| 14 | 1939 | 4 | 1992 |
| 15 | 1940 | 5 | 1993 |
| 16 | 1941 | 6 | 1994 |
| 17 | 1942 | 7 | 1995 |
| 18 | 1943 | 8 | 1996 |
| 19 | 1944 | 9 | 1997 |
| 20 | 1945 | 10 | 1998 |
| 21 | 1946 | 11 | 1999 |
| | | 12 | 2000 |
| | | 13 | 2001 |
| | | 14 | 2002 |
| | | 15 | 2003 |
| | | 16 | 2004 |
| | | 17 | 2005 |
| | | 18 | 2006 |
| | | 19 | 2007 |
| | | 20 | 2008 |
| | | 21 | 2009 |
| | | 22 | 2010 |